963 安高文書

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
A	1		収金簿附金銭出納簿	昭和2	4	18	正交会			書綴	1	
A	2		会員名簿附記録簿	昭和2	4	18	正交会			書綴	1	
A	3		粟屋正交会金貸付簿	昭和5	8～		貸付専務委員			書綴	1	
A	4		記録簿	昭和6	8		粟屋正交会			書綴	1	
A	5		会費切立帳	昭和13			粟屋正交会			書綴	1	
A	6		遠賀村納税組合関係書類綴	昭和11～			遠賀郡蘆屋町粟屋納税組合長安高団兵衛		昭和19年まで	書綴	1	
A	7		蘆屋町振興委員ニ関スル書類綴	昭和14	3		安高団兵衛(福岡県遠賀郡蘆屋町)			書綴	1	
A	8		真體制部落会ニ関スル書類綴	昭和15～			安高団兵衛(遠賀郡蘆屋町大字蘆屋字粟屋)			書綴	1	
A	9		蘆屋町経済更正委員関係書類綴	昭和13	4～		安高団兵衛(遠賀郡蘆屋町大字蘆屋1205番地)			書綴	1	
A	10		遠賀郡経済更正委員関係書類綴	昭和14	2～		安高団兵衛(遠賀郡蘆屋1205番地)			書綴	1	
A	11		信用組合ニ関スル書類綴	大正14			安高団兵衛(蘆屋町粟屋)			書綴	1	(～昭和19年)
A	12		農業会総代ニ関スル書類綴	昭和20	3		安高団兵衛			書綴	1	(～24年12月)
A	13		農業協同組合に関する書類綴第一部	昭和22	11		安高団兵衛(蘆屋町粟屋)			書綴	1	(～23年8月)
A	14		農業協同組合に関する書類綴第二部	昭和24	5		安高団兵衛(蘆屋町粟屋)			書綴	1	(～29年4月)
A	15		第七回通常総会提出議案	昭和29年度			蘆屋町農業協同組合			書綴	2	
A	16		肥船書類綴	昭和19	4		安高団兵衛(福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋)		船で八幡市の人糞尿を運搬して肥料として使う組合会議出納記録	書綴	1	(～22年9月22日)
A	17		米穀管理事務取扱員ニ関スル書類綴	昭和16	9		安高団兵衛(蘆屋町粟屋)			書綴	1	(～21年9月)
A	18		米麦供出委員並ニ食糧調整委員ニ関スル書類綴	昭和20	12		安高団兵衛			書綴	1	(～22年12月)
A	19		農地委員ニ関スル書類綴	昭和21			安高団兵衛(蘆屋町)			書綴		(～26年)
A	20		警防団関係書類綴第二部	昭和21	7		安高団兵衛			書綴	1	(～22年9月7日)
A	21		二水会倶楽部ニ関スル書類綴(二水綴第一号)	昭和22			安高団兵衛		柔道倶楽部	書綴	1	(～29年)
A	22		粟屋公会堂建設被寄贈金品受領簿並ニ会計簿	昭和16			粟屋部落会			書綴	1	
A	23		〔蘆屋町子安観音堂、地蔵堂設立関係書類〕	昭和17			木原儀壮他		昭和26年5月3日付朝日新聞が入っている	綴		(～23年)
A	24		粟屋青年会場兼公会堂並ニ子安観音堂、地蔵尊堂(修理)建築会計簿	昭和21			安高団兵衛			書綴	1	(～23年)
A	25		蘆屋小学校父母と教師の会・PTA会関係書類綴	昭和23	5		安高団兵衛			書綴	1	(～30年9月)
A	26		蘆屋中学校父兄と教師の会・PTA会関係書類綴	昭和24	5		安高団兵衛			書綴	1	(～30年6月)
A	27		折尾簡易裁判所調停委員ニ関スル書類綴	昭和23			安高団兵衛			書綴	1	(～30年)
A	28		福岡県立東筑高等学校関係書類綴	昭和27			安高団兵衛			書綴	1	(～30年)
A	29		モーターボート競争場関係書類	昭和27	4		安高団兵衛			書綴	1	(～8月)
A	30		蘆屋町賦課徴収條例	昭和26	5	10	黒山高麿(蘆屋町長)		議案	綴(謄写版)	1	
A	31		建築関係書類綴	昭和21			安高団兵衛		住家建築	書綴	1	(～29年)
A	32		カメラ会書ルイ入						昭和33年5月23日西日本新聞衆院選挙号外、昭和34年6月16日蘆屋町農業協同組合33年度出資配当金通知等が入っている	紙袋	1	
A	33		昭和三十九年度所得税確定申告書昭和四十年三月提出の控入				安高団兵衛			紙袋	1	
A	34		大福万覚帳	明治3庚午	正月	11	安高太三郎			長帳	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
A	35		大福万覚帳	明治4辛未	正月	11	安高太三郎			長帳	1	
A	36		大福万覚帳	明治9丙子	1	11	安高藤右衛門			長帳	1	
A	37		大福万覚帳	明治13庚辰	正月	11	安高藤右衛門			長帳	1	
A	38		大福万覚帳	明治15壬午	正月	11	安高藤右衛門			長帳	1	
A	39		大福万覚帳	明治16癸未	正月	11	安高藤右衛門			長帳	1	
A	40		大福万覚帳	明治17甲申	正月	11	安高藤右衛門			長帳	1	
A	41		大福万覚帳	明治18乙酉	正月	11	安高藤右衛門			長帳	1	
A	42		大福万覚帳	明治19丙戌	正月	11	安高藤右衛門			長帳	1	
A	43		大福万覚帳	明治20乙〔ママ〕亥	正月	11	安高藤平			長帳	1	
A	44		大福万覚帳	明治21戊子	正月	11	安高藤平			長帳	1	
A	45		大福万覚帳	明治22己丑	正月	11	安高藤平			長帳	1	
A	46		大福日記帖	明治22己丑	正月	11	安高藤平			長帳	1	
A	47		大福日記帳	明治23庚寅	正月	11	安高藤平			長帳	1	
A	48		大福万覚帳	明治23庚寅	正月	11	安高藤平			長帳	1	
A	49		大福万覚帳	明治25壬辰	正月	11	安高藤平			長帳	1	
A	50		大福万覚帳	明治26巳	正月	11	安高藤平			長帳	1	
A	51		大福万覚帳	明治27午	正月	11	安高藤平			長帳	1	
A	52		大福万覚帳	明治28未	正月	11	安高藤平			長帳	1	
A	53		大福万覚帳	明治29申	正月	11	安高藤平			長帳	1	
A	54		大福万日記控帳	明治16癸未	正月	11	安高槌杰			長帳	1	
A	55		大福日記帳	明治17甲申	正月	11	安高槌杰			長帳	1	
A	56		大福万日記控帳	明治27午	正月	11	安高福蔵			長帳	1	
A	57		大福万覚帳	明治29申	正月	11	安高福蔵			長帳	1	
A	58		大福万覚帳	明治30酉	正月	11	安高福蔵			長帳	1	
A	59		年中万雑用控帳	明治30丁酉	正月	11	安高福蔵			長帳	1	
A	60		高等小学第二読本	明治21	6	12	佐沢太郎編纂・文栄堂出版			書冊	1	
A	61		小学文編巻之一				羽山尚徳編・亀谷軒評閲		早川福太郎所有	書綴	1	
A	62		小学読本	明治16	2		田中義廉編輯・那珂通高訂正			書冊	1	
A	63		小学読本巻之二				田中義廉編輯・那珂通高訂正		早川福壮所有	書冊	1	
A	64		小学読本巻之三	明治17	3		田中義廉編輯・那珂通高訂正			書冊	1	
A	65		修身初訓巻之一	明治15	5		宮本茂任編集・宗盛年校閲			書冊	1	
A	66		修身初訓二	明治15			宮本茂任編集・宗盛年校閲		早川福蔵所有	書冊	1	
A	67		修身初訓巻之三	明治15			宗盛年編集・宮本茂任校閲			書冊	1	
A	68		修身初訓巻之四	明治15			宗盛年編集・宮本茂任校閲		早河福蔵所有	書冊	1	
A	69		商売往来	嘉永3	2		早川福蔵			書綴	1	
A	70		小学読本	明治8	3					書綴	1	
A	71		尋常小学第三読本上巻				佐沢太郎編纂・塚達校閲			書綴	1	
A	72		〔手習〕				早川福蔵			綴	1	
A	73		姓氏				早川福蔵			綴	1	
A	74		弁慶状	天保15	正月		安高藤吉		写本	書冊	1	
A	75		傾城阿波の鳴門八段目	元治元甲子	初冬				写本	書冊	1	
A	76		商売往来	天保15	11		安高藤吉		写本	書冊	1	
A	77		今川状全	嘉永3戌	4		安高藤吉		写本	書冊	1	
A	78		用文章集	慶応3丁卯	8		安高藤右衛門		写本	書冊	1	
A	79		文翰	安政4巳	3		早川福蔵		写本	書冊	1	
A	80		実語教	安政3辰	8		小野与祢松		写本	書冊	1	
A	81		実語教	天保14	2		安高藤吉		写本	書冊	1	
A	82		傾城阿波之鳴戸八段目	慶応元丑						書冊	1	
A	83		童子教	天保14	3		安高藤吉			書冊	1	
A	84		庭訓往来	嘉永2酉	4		安高藤吉			書冊	1	
A	85	1	御手本	天保13寅	11		安高藤吉		手習か	書冊	1	
A	85	2	仮名手本	明治11戊寅	8		安高槌松			書冊	1	
A	86		国府	天保14卯	5		安高藤吉		手習か	書冊	1	
A	87		大日本国盡	明治12己卯	10		安高槌松		手習か	書冊	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
A	88		〔手習〕				安高藤吉			書冊	1	
A	89		〔手習〕				安高槌松		筑前国郡名、御礼儀品々、苗字略	書冊	1	
A	90	1	〔手習〕						仮名手本忠臣蔵	一紙	1	
A	90	2	〔手習〕	天保15甲辰			安高藤吉			書冊	1	
A	91		〔手習〕							書冊	1	
A	92		御手本				安高		手習か	書冊	1	
A	93		明治15年略本暦						頒暦社	書冊	1	
A	94	1	明治25年略本暦	明治24	10	24 出版	神宮司庁			書冊	1	
A	94	2	明治16年略本暦				神宮司庁			書冊	1	
A	95		〔徳目録〕							書冊	1	
A	96		新撰書簡文	大正14			玉木愛石		駸々堂書店発行	書冊	1	
A	97		静坐誌再刊第207号	昭和21	6	25 発行	安高藤吉			書冊	1	
A	98	1	高砂	大正5	2	20 発行	喜多六平太		株式会社こんや書店発行	書冊	1	
A	98	2	鞍馬天狗							書綴	1	
A	98	3	倏々世渡り草				安高藤右衛門			書冊	1	
A	98	4	親孝行和讃	安政3辰	8		安高藤右衛			書冊	1	
A	99		〔会計帳簿〕						2頁のみ使用	書冊	1	
A	100		徳満大神神号	明治28	9		徳満宮		徳満大神	掛幅装	1幅	紙本墨摺
A	101		三社託宣							掛幅装	1幅	紙本墨摺
A	102		〔恵比須像並神号〕							掛幅装	1幅	
A	103		〔雛節句図〕							掛幅装	1幅	紙本多色刷
A	104		掛軸						人と猿の絵	巻物	1	
A	105		〔包紙〕						50×35㎝	和紙	1	
A	105	1	〔賞状〕	大正15	12	7	遠賀郡農会長　三好	安高福蔵	蘆屋町農会第10回苗代品評会4等賞	一紙	1	
A	105	2	〔賞状〕	大正2	12	20	遠賀郡長　田中慶介	安高福蔵	蘆屋町農会第1回麦立毛品評会	一紙	1	
A	105	3	〔賞状〕	大正3	12	24	遠賀郡長　田中慶介	安高福蔵	蘆屋町農会第2回麦立毛品評会	一紙	1	
A	105	4	〔賞状〕	大正4	12	22	遠賀郡長　田中慶介	安高団兵衛	蘆屋町農会第3回麦立毛品評会	一紙	1	
A	105	5	〔賞状〕	大正5	12	15	遠賀郡長　左正武	安高福造	蘆屋町農会第4回麦立毛品評会	一紙	1	
A	105	6	〔賞状〕	大正6	12	21	遠賀郡長　左正武	安高福造	芦屋町農会第5回麦立毛品評会	一紙	1	
A	105	7	〔賞状〕	大正7	12	20	遠賀郡長　左正武	安高福造	芦屋町農会第6回麦立毛品評会4等賞	一紙	1	
A	105	8	〔賞状〕	大正9	12	18	遠賀郡長　鷲塚正人	安高福造	芦屋町農会第8回麦増収会4等	一紙	1	
A	105	9	〔賞状〕	大正2	3	11	遠賀郡長　田中慶介	安高福蔵	芦屋町農会第3回競犁会5等	一紙	1	
A	105	10	〔賞状〕	大正3	12	24	遠賀郡長　田中慶介	安高福蔵	芦屋町農会第1回農産物品評会4等（練馬大根）	一紙	1	
A	105	11	〔賞状〕	大正5	12	15	遠賀郡長　左正武	安高福蔵	芦屋町農会第2回農産品評会2等賞（練馬大根）	一紙	1	
A	105	12	〔賞状〕	大正9	12	18	遠賀郡長　鷲塚正人	安高福蔵	芦原（ママ）町農会第4回農産物品評会4等賞	一紙	1	
A	105	13	〔感謝状〕	大正元	12	12	遠賀郡立遠賀農学校長　松岡盛庸	安高福造	農学校品評会への農作品提供への御礼	一紙	1	
A	105	14	芦屋町農会各種品評会擬賞人員区別一覧表							一紙	1	
A	105	15	〔賞状〕	大正3	12	12	遠賀農学校長　松岡盛庸	芦屋小第5学年生　安高幸次郎	遠賀農学校の生徒成績品評会	一紙	1	
A	105	16	〔賞状〕	昭和2	12	18	遠賀郡農会長　嶺要一郎	安高福蔵	芦屋町農会第11回苗代品評会3等	一紙	1	
A	105	17	〔賞状〕	昭和2	12	17	遠賀郡農会長　嶺要一郎	安高団兵衛	芦屋町農会第8回？菜品評会2等	一紙	1	判読不明
A	105	18	〔賞状〕	昭和2	12	17	遠賀郡農会長　嶺要一郎	安高幸次郎	芦屋町農会第8回？菜品評会3等（練馬大根）	一紙	1	判読不明
A	105	19	〔賞状〕	昭和4	3	30	遠賀郡農会長　嶺要一郎	安高福蔵	芦屋町農会第1回桑園品評会4等	一紙	1	
A	105	20	〔絵〕	昭和3	11	10	福岡日日新聞		裕仁天皇即位礼記念図画	一紙	1	
A	105	21	〔写真〕	大正11	3	15	福岡日日新聞社		新聞附録	一紙	1	
A	105	22	〔写真〕	大正5	1	1	福岡日日新聞		正月のための富士山の図柄、多色刷	一紙	1	
A	105	23	〔絵〕	大正4	1	1	福岡日日新聞		新聞附録;宮殿の図か？			多色刷

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
A	105	24	〔書〕						「会員諸君　深谷少将」名「忠勇」頒布用印刷	一紙	1	
A	105	25	〔写真（御真影）〕						大正天皇と皇后の衣冠束帯など正装写真、「寿」とあり	一紙	1	
A	105	26	〔絵〕	大正4	11	10	福岡日日新聞社		紫宸殿御即位式之図、大嘗祭悠紀殿渡御之図　新聞附録	一紙	1	
A	105	27	〔写真（御真影）〕	大正5	11	3	福岡日日新聞社		裕仁の立太子礼挙行記念頒布写真			
A	105	28	〔写真〕	大正13	1	26	福岡日日新聞社		裕仁、良子結婚時の写真、新聞附録	一紙	1	
A	105	29	〔絵〕						鳥居清長「男女讌女男図」の多色刷	一紙	1	
A	105	30	〔東亜博覧会鳥瞰図〕	昭和2	1	1			新聞附録；多色刷絵画、博覧会開催予想図	一紙	1	
A	105	31	〔絵〕	大正15	1	1	福岡日日新聞		正月用新聞附録；富士山遠景図	一紙	1	
A	105	32	天皇皇后両陛下御尊影						裕仁天皇、良子皇后写真、多色刷（洋装）	一紙	1	
A	105	33	〔絵〕						「FIRE　FIGHTERS」（消防夫）とあり、多色刷	一紙	1	
A	106		〔いかずち図〕						A106～A114は黒ぬりの小箱入	掛幅装	1幅	紙本墨摺
A	107		〔毘沙門天図〕							掛幅装	1幅	紙本2色刷
A	108		〔南無十三仏図〕							掛幅装	1幅	紙本着色
A	109		〔神宮図〕						伊勢の外宮内宮図か	一紙	1	黒摺（掛軸用か）
A	110		〔十三仏・不動三尊・弘法大師図〕				〔堌幡寺〕			掛幅装	1幅	紙本多色刷
A	111		〔弘法大師図〕				譜州本山寺			掛幅装	1幅	紙本多色刷
A	112		十三仏・不動三尊・弘法大師図						A110と同一	掛幅装	1幅	紙本多色刷
A	113		〔弘法大師図〕				高野山金剛峯寺			紙幅装	1幅	紙本墨摺
A	114		〔阿弥陀如来図〕						仏画	掛幅装	1幅	紙本多色刷
A	115		高江天満宮社殿再建志願録	天保15辰	10		高江天満宮別当宮本院			書冊	1	
A	116		精神の余韻						大正3年3月吉木小学校卒業の際川原あさの先生より。広渡リキノが入嫁、持参	書冊	1	
A	117	1	地券	明治20	2	3	福岡県		遠賀郡芦屋村1286番地　持主:安高藤平	一紙	1	
A	117	2	地券	明治15	5	22	福岡県		遠賀郡鬼津村1766番地　持主:安高藤右衛門	一紙	1	
A	117	3	地券	明治15	5	23	福岡県		遠賀郡鬼津村1763番地　持主:安高藤右衛門	一紙	1	
A	117	4	地券	明治13	11	4	福岡県		遠賀郡尾崎村34番地　持主:小野嘉十	一紙	1	
A	117	5	地券	明治17	7	21	福岡県		遠賀郡鬼津村1732番地　持主:安高藤平	一紙	1	
A	117	6	地券	明治13	11	4	福岡県		遠賀郡尾崎村33番地　持主:小野嘉十	一紙	1	
A	117	7	地券	明治15	3	6	福岡県		遠賀郡鬼津村1372番地　持主:石松武吉	一紙	1	
A	117	8	地券	明治19	12	23	福岡県		遠賀郡鬼津村1765番地　持主:安高藤平	一紙	1	
A	117	9	地券	明治19	9	25	福岡県		遠賀郡芦屋村1157番地　持主:安高藤右衛門	一紙	1	
A	117	10	地券	明治20	2	3	福岡県		遠賀郡芦屋村1008番地　持主:安高藤平	一紙	1	
A	117	11	地券	明治12	6	23	福岡県		遠賀郡芦屋村1052番地　持主:安高藤右衛門	一紙	1	
A	117	12	地券	明治20	2	3	福岡県		遠賀郡芦屋村1031番地　持主:安高藤平	一紙	1	
A	117	13	地券	明治18	11	19	福岡県		遠賀郡芦屋村1060番地ノ1　持主:安高藤右衛門	一紙	1	
A	117	14	地券	明治20	3	15	福岡県		遠賀郡芦屋村1280番地　持主:安高藤平	一紙	1	
A	117	15	地券	明治20	2	3	福岡県		遠賀郡芦屋村1178番地　持主:安高藤平	一紙	1	
A	117	16	地券	明治20	2	3	福岡県		遠賀郡芦屋村1279番地　持主:安高藤平	一紙	1	
A	117	17	地券	明治19	4	24	福岡県		遠賀郡鬼津村1523番地　持主:安高藤平	一紙	1	
A	117	18	地券	明治20	2	3	福岡県		遠賀郡芦屋村1096番地　持主:安高藤平	一紙	1	
A	117	19	地券	明治20	2	3	福岡県		遠賀郡芦屋村1161番地　持主:安高藤平	一紙	1	
A	117	20	地券	明治20	2	3	福岡県		遠賀郡芦村1309番地　持主:安高藤平	一紙	1	
A	117	21	地券	明治20	2	3	福岡県		筑前遠賀郡芦屋村1900番地　持主:安高藤平	一紙	1	
A	118		〔竹筒〕						A118－1～A118－17までの入物			

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
A	118	1	借用仕候証文之事	明治5申	4		借用主　小野弥左衛門	芦屋大三郎	銀4貫400目を上畠1反6畝6歩を担保に8ヶ年借用する件	一紙	1枚	
A	118	2	麦借用証	明治7	11	14	永田要七	芦屋　安高藤右衛門	麦2俵の借用の件	一紙	1枚	
A	118	3	永代畑売渡証文之事	明治9	1		売主　小野弥左衛門	安高藤右衛門	畑1反6畝6歩を40円で売渡ノ件	罫紙綴	1	
A	118	4	永代売渡畑証文之事	明治11	2	4	売渡人　安高徳郎	安高太三郎	耕地1反8畝21歩を39円15銭4厘で売渡す件	罫紙綴	1	
A	118	5	地所永代売渡証	明治17	1		売渡人遠賀郡芦屋村　小野嘉十	芦屋村　安高藤平	田地売渡ノ件	罫紙綴	1	
A	118	6	耕地永代ニ売渡証	明治15	2		売主遠賀郡鬼津村　井ノ口伊蔵	芦屋村　安高藤右衛門	田2畝15歩の売渡ノ件	罫紙綴	1	
A	118	7	耕地永代ニ売渡証	明治15	2	15	売主遠賀郡鬼津村　二村政七	芦屋安　高藤右衛門	田1畝27歩の売渡の件	罫紙綴	1	
A	118	8	地所永代ニ売渡証	明治16	1		売渡主遠賀郡鬼津村　石松武吉	芦屋村　安高藤右衛門	田9畝24歩の売渡の件	罫紙綴	1	
A	118	9	脇家一ヶ所売渡証	明治17	8		売渡主　本田清七	安高藤右衛門		罫紙	1	
A	118	10	証	明治18	2	4	芦屋町　小野貞次郎	芦屋村　安高藤右衛門	金3円、無利子で借用ノ件	罫紙	1	
A	118	11	請取借用証	明治20	10	20	別府村　永田安五郎	あしや　安高藤右衛門	金3円20銭借用ノ件	一紙	1	
A	118	12	畑地永代売渡証	明治19	8	2	売渡人芦屋村　石松恕平	安高藤右衛門	畑5畝27歩の売渡の件	罫紙綴	1	
A	118	13	地所永代売渡証	明治19	3	22	売渡人鬼津村　石松弥作	芦屋村　安高藤平	田1反12歩売渡ノ件	罫紙綴	1	
A	118	14	〔売渡証〕	明治24	4	1	芦屋村　本田久米吉	安高藤平	山林売渡ノ件	一紙	1	
A	118	15	地所永代ニ売渡証	明治22	2	13	売渡人芦屋町　新入廉次郎	安高藤平	田5ヶ所売渡ノ件	罫紙綴	1	
A	118	16	地所売渡証	明治25	2	19	売渡人芦屋町　本田久米吉	安高藤平	山林5畝売渡ノ件	罫紙	1	
A	118	17	荷車売渡証	明治27	1	21	売渡主宗像郡赤間村　白木峯吉	芦屋町　安高福造	荷車1輌売渡ノ件	罫紙	1	
A	119	1	田畠名寄控帳	嘉永6丑	正月		(安高)太三郎			書冊	1	
A	119	2	金借用証	明治26	2		安高藤平	山鹿　田中新	控または作製途中のもの	綴	1	
A	119	3	金借用証	明治26	2	15	安高藤平(芦屋町1205番地)	田中新(山鹿村)	弁償人は本田久内、抵当物件記載あり	綴	1	
A	119	4	〔濁酒、焼酒など自家用酒製造免許〕	明治31	11	7	熊本税務管理局長　山田揆一	安藤藤平(遠賀郡芦屋町1205番地)	税務管理局指令用紙	一紙	1	
A	119	5	地所分裂売買ニ付地券御書換願	明治18	3		売買人 安高藤右衛門、買受人 安高(真)五郎	遠賀郡々長　長谷直行	芦屋村1060番地の畑	一紙	1	
A	119	6	地所分裂売買ニ付地券御書換願	明治18	7		売渡人 安高藤右衛門、買受人 安高真五郎	遠賀郡長　長谷直行	芦屋村1610番地	一紙	1	
A	119	7	荒地起返ニ付地券御書換願	明治18	5		持主　安高藤右衛門	遠賀郡々長　長谷直行	遠賀郡鬼津村1765番地	綴	1	
A	119	8	〔覚〕						遠賀郡ほか郡名書上、筑後之郡名書上	一紙	1	
A	119	9	〔覚〕						畑面積および同地価の書上、字粟屋1159番地などあり	一紙	1	
A	119	10	地所売買ニ付地券名換願						遠賀郡鬼津村1623番地の田	一紙	1	
A	119	11	〔覚〕						「字尾崎分」ほか地価、税金の書上、草稿か	一紙	1	
A	119	12	〔覚〕						「畑1反2畝3歩、地価14円52銭」など記さいあり	一紙	1	
A	119	13	名換雛方	明治18	11		売渡人 小野嘉十、買受人 安高藤平	遠賀郡々長　長谷直行	地所売買に付地券名換願の雛型か	一紙	1	
A	119	14	右畑名寄帳							綴	1	
A	119	15	上申	明治24	11	20	安高藤右衛門	遠賀郡長　樋口競	暴風被害(倒木)による損害のため税金支払いについて(草稿)	一紙	1	
A	119	16	地所売買ニ付地券御書換願	明治11	10		売渡人 安高徳郎、買受人 安高藤右衛門	安高保四郎(筑前国四大区一小区芦屋村保長)		一紙	1	
A	120	1-1	〔立候補の挨拶状〕	昭和6	9		木曽重義	有権者	県会議員に立憲政友会より立候補の挨拶状	一紙	1	
A	120	1-2	推薦状	昭和6	9		蘆屋町政友部会惣代　桑原宗重ほか5名	有権者	県会議員候補者木曽重義の推薦状	一紙	1	
A	120	2	〔議員当選の感謝状〕	昭和6	9	25	木曽重義	各位	県会議員当選の感謝の書状	一紙	1	
A	120	3	〔書簡〕		11	10	林富次郎	安高団兵衛	通帳記帳につき猶予の件通知	一紙	1	
A	120	4	〔書簡〕			19	重岡芳子	安高団兵衛	姉のリューマチの病気へ良薬紹介	罫紙	2	
A	120	5	〔書簡〕			15	刀根徳十	安高団兵衛	新聞の交渉経過を報告	罫紙	2	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
A	120	6	〔書簡〕	〔昭和〕8	8	2	広渡よりえ		近況報告（病気にきく温泉の話など）	罫紙	3	
A	120	7	〔書簡〕			31	中村藤吉郎	安高団兵衛	近況報告	罫紙	2	
A	120	8-1	〔書簡〕	昭和7	8	29	芦屋信用組合		通帳整理の通知	一紙	1	
A	120	8-2	〔書簡〕	〔昭和7ヵ〕			山野	安高隆盛	貯金通帳、カードの金受け渡しの件	罫紙	1	
A	120	8-3	小麦及ヒ藁苔共同販売	昭和7			遠賀郡農会農産物販売斡旋部	町村農会	小麦、なたねの共同販売について案内	一紙	1	
A	120	9	〔封筒〕	〔昭和8ヵ〕			松井庄次郎	安高団兵衛		封筒	1	
A	120	10	〔書簡〕	昭和7	12	1	大民倶楽部	安高団兵衛	「大民」第18年第11号	新聞	1	
A	120	11	〔挨拶状〕	昭和8	5	13	八幡青果卸売組合	安高団兵衛	組合設置ついて、挨拶	一紙	1	
A	120	12	〔書簡〕	〔昭和8〕	8	29	古部幸平	安高団兵衛	芦屋祇園社改築に尽力のお願い	罫紙	1	
A	120	13	〔書簡〕	〔昭和8ヵ〕			岡田信一	安高団兵衛	大根その他受取の遅延を通知	罫紙	1	
A	120	14	〔書簡〕	〔昭和〕7	4	16	広渡辰次郎	安高団兵衛（郡下芦屋町栗屋）	お礼状。温泉治療を終え小康状態になって帰宅予定。	罫紙	1	
A	120	15-1	〔書簡〕	昭和8	1	2	広渡団平	安高団兵衛	一敬結婚式に際し、先方の聟入客となることを依頼	罫紙	1	
A	120	15-2	〔書簡〕	〔昭和8ヵ〕			広渡団平	安高団兵衛	幸次郎マホリン植付の中止を依頼	罫紙	1	
A	120	16	〔書簡〕			11	安高	安高団兵衛	戸籍読み合せ本日午後8時の予定、都合悪く明日、明後日に変更希望	一紙	1	11日午後1時
A	120	17	〔封筒〕				佐世保海軍経理部	安高福蔵		封筒	1	
A	120	18	〔書簡〕	昭和7	8	20	大日本人造肥料株式会社大阪支店		小麦増産記事の農会報寄贈、化成肥料の宣伝	一紙	1	
A	120	19	〔書簡〕	昭和7	9	13	民政党蘆屋支部	安高団兵衛	議会報導演説会開催通知	一紙	1	
A	120	20-1	〔書簡〕	昭和7	8	17	森種苗農園本店（愛知県春日井郡小牧町）	安高団兵へ（芦屋郡大字芦屋）	別紙（20-2）種苗納入通知への添状	一紙	1	活版
A	120	20-2	出荷通知書	昭和7	8	17	森種苗農園本店	安高団兵へ	種苗納入通知書（金6円70銭の請求書を兼ねる）			
A	120	20-3	〔広告〕						玉葱・甘藍・紫雲英・ザードウキッケン・ヘヘアリーベッチの宣伝、裏表印刷1枚	一紙	1	活版
A	120	21	〔書簡〕	昭和6	11		河辺武雄（町会議員候補者）	有権者殿	立候補挨拶状、封筒には安高団兵衛	一紙	1	活版
A	120	22	〔広告〕	昭和6	10	28	大日本人造肥料株式会社大阪支店	安高団兵衛	当社の肥料によって、小麦増収の広告	一紙	1	
A	120	23	〔広告〕	昭和6	6	29	大日本人造肥料株式会社（大阪支店）	高安団兵衛（遠賀郡芦屋町）	化成肥料の推奨案内	一紙	1	活版
A	120	24	〔書簡〕	昭和9	3	14	広渡団平	安高団兵衛	藤吉母へのことづけを感謝	一紙	1	
A	120	25	〔書簡〕	昭和7	3	23	山口屋（山口県俵山温泉、旅館）	安高団兵へ　ウキノ	利用御礼と無事帰宅の知らせを受けたこと	罫紙	1	
A	120	26	〔書簡〕		〔12〕	30	広渡素一郎	安高団兵衛	新松原の吉田氏の縁談につき依頼	罫紙	1	
A	120	27	〔電報〕	〔昭和〕10	3	29	マキチ	ヤスタカフクゾウ	妻死去の通知	電報	1	
A	120	28	〔書簡〕	〔昭和〕10	1	10	本田谷之	安高団兵衛	区長選出への祝辞と近況	罫紙	6	
A	120	29-1	〔納品書〕	昭和9	1	20	愛知県小牧町森種苗農園本店卸部	安高団兵へ	本長茄子等発送した旨の通知	一紙	1	
A	120	29-2	〔現金払込用紙〕						森種苗農園本店宛の払込用紙	一紙	1	
A	120	30	〔書簡〕				下関市庁彦島出張所土木課近藤	安高福蔵	還暦祝挙行の祝	罫紙	1	
A	120	31	〔書簡〕	〔昭和ヵ〕	4	17	大分県速見郡亀川町みぎりや別館　早川佐平	安高福蔵	膝痛治療の為入湯に来ている旨通知	罫紙	2	
A	120	32	〔書簡〕		3	18	伊豆特務曹長	安高団兵衛	哈午賓における近況報告	一紙	1	
A	120	33-1	〔通知書〕	昭和10	12	23	安高団兵衛	岩崎幸一	カギナの計算誤りにつき再計算依頼	罫紙	1	
A	120	33-2	〔領収証〕	昭和10	12	21	中間青果市場	安高藤吉	大根、カギナなどの入荷か？	綴	1	
A	120	34-1	〔立候補挨拶の原稿〕	昭和10	11		安高団兵衛	有権者	町会議員立候補挨拶の原稿（表は原田幾次郎県会議員立候補の推薦状）	一紙	1	
A	120	34-2	〔立候補推薦状〕	昭和10	9		立憲政友会福岡県支部	有権者	原田幾次郎を県会議員選挙に推薦公認	一紙	1	
A	120	34-3	〔立候補挨拶状〕	昭和10	9		原田幾次郎	有権者	県会議員選挙の立候補	一紙	1	
A	120	34-4	〔立候補の挨拶状〕	昭和10	9		太田達雄	有権者	県会議員立候補の挨拶	一紙	1	
A	120	34-5	推薦状	昭和10	9		吉田磯吉ほか23名	有権者	県会議員選挙の推薦	一紙	1	
A	120	35	〔書簡〕	〔昭和10〕	〔1〕		崎野兼吉	安高団兵衛	謝礼	罫紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
A	121	1-1	〔書簡〕				白木嶺吉	安高福蔵	車の売渡しについて	一紙	1	
A	121	1-2	受領証	明治27	2	21	蘆屋東組消防	安高藤平	芝居花代	一紙	1	
A	121	1-3	明治廿六年配付麦種試作報告用紙	明治26						一紙	1	
A	121	1-4	記		旧2	17	安高藤右衛門	高□伊三郎	明治26年度前期地方税受領	一紙	1	
A	121	1-5	〔覚〕		旧3	2	吉浦彦□	安高藤平	金銭書上げ	一紙	1	
A	121	1-6	〔覚〕	明治26	旧2	3			太宰府神社参詣など	綴	1	
A	121	2-1	領収証		1	14	刀根彦次郎	小野吉次郎、安高藤平		一紙	1	
A	121	2-2	記						金銭書上げ(6名)	一紙	1	
A	121	3-1	受取証		4	11	石松弥七	安高藤平	区費金の受領証	一紙	1	
A	121	3-2	〔出頭差紙〕	明治21	11	28	遠賀郡鬼津村外六ケ村　戸長役場	遠賀郡尾崎村　安高藤兵衛	地掛未納につき出頭通知	一紙	1	
A	121	3-3	記		4	4	一居村惣代	藤兵衛	林薮税受取の通知	一紙	1	
A	121	3-4	記	明治9	11	10		藤右衛門	受取証	罫紙	1	
A	121	3-5	記					藤平	金銭書上	一紙	1	
A	121	3-6	記		旧7	27	中西光五郎	安高藤平	受取証	一紙	1	
A	121	4	受領証	明治28	11	2	官幣中社太宰府神社宮司西高辻信巖〔宮司印〕	安高藤平	保存寄納金37銭5厘の受領証	一紙	1	
A	121	5	〔覚〕						字上牟田の田の地価、地租等書上	罫紙	1	
A	121	6	受領証	明治34・35			遠賀郡島門村収入役　原田房太郎〔印〕	安高藤平	県税、村税、租税等の領収書、1枚は作成者が芦屋町収入役	一紙（一括）	18枚	
A	121	7	領収証	明治34	9	27他	島門村収入役　原田房太郎ほか	安高藤平	県税、村税、租税等の領収書、作成者は吉田利七のものもあり	一紙（一括）	12	
A	121	8	領収証	明治34	10	29他	芦屋町収入役　安高徳治ほか	安高藤平、安高福蔵	県税、村税、租税、祭典費等の領収証	一紙（一括）	10枚	
A	121	9	記		1	29		藤右衛門	若松屋金額書上	一紙	1	包紙あり
A	121	10	〔断簡〕						「酒通」	一紙	1	
A	121	11	〔領収証〕	〔明治24〕			遠賀郡島門村			一紙	2枚	
A	121	12	〔領収証〕	〔明治27年度〕			蘆屋町収入役	安高藤平	地租、地方税、町村税、荷車税	一紙（一括）	13	
A	121	12-1	領収証	〔明治〕27	10	20	芦屋町収入役　安高徳治	安高藤平	直税80銭領収書	罫紙	1	
A	121	13	〔領収証〕	〔明治32年度〕			遠賀郡芦屋町収入役	安高福蔵、安高藤平	田祖、村税、県税	一紙（一括）	12枚	
A	121	14	〔領収証〕	〔明治29年度〕			遠賀郡島門村収入役ほか	安高藤平	田祖、村税、県税など領収書	一紙（一括）	18枚	(明治30年度)
A	121	15	〔領収証〕	〔明治31年度〕			遠賀郡島門村収入役	安高藤平	県税、町村税、荷車税など	一紙（一括）	16枚	(明治32年度)
A	121	16	〔領収証〕	〔明治30・31年度〕			島門村収入役	安高藤平	地租、県税、町村税など領収書	一紙（一括）	15枚	
A	121	17	領収証書	明治33	4	22他	遠賀郡蘆屋町収入役　安高徳治	蘆屋町　安高藤平ほか	県税、町税、祭典費等の領収証、宛名は安高福蔵もあり	一紙（一括）	13枚	
A	121	18	領収証書	明治35	5	28他	遠賀郡蘆屋町収入役　安高徳治	芦屋町　安高藤平	県税町村税等の領収証、明治30年の分あり	一紙（一括）	7枚	
A	121	19	領収証書	明治31	11	15他	遠賀郡蘆屋町収入役　安高徳治	蘆屋町　安高藤平ほか	県税、租税等の領収証宛名は福蔵もあり。仮領収証1枚あり	一紙（一括）	15枚	
A	121	20	領収証書	明治29	3	25	島門村収入役　丸井藤敏	島門村　安高藤平	地租、村税等の領収証、作成者に「代理柴田藤二郎」とあるもの2枚あり	一紙（一括）	14枚	
A	121	21	〔領収証〕	明治29年分			蘆屋町収入役　安高徳治	安高藤平	県税、町村税その他	一紙（一括）	14	
A	121	22	〔領収証〕	明治33年分			島門村収入役　吉田利七	安高藤平	県税町村税その他	一紙	14	
A	121	23	〔領収証〕	明治28年分			蘆屋町収入役　安高徳治	安高藤平	県税町村税その他	一紙（一括）	13	
A	121	24	〔領収証〕	明治28年分			島門村収入役　丸井藤敏ほか	安高藤平	県税町村税その他	一紙（一括）	18	
A	121	25	〔領収証〕	明治27年分			島門村収入役　丸井藤敏	安高藤平	地方税、田租その他	一紙（一括）	5	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
A	121	26-1	〔領収証〕	明治26年分			蘆屋町収入役　安高徳治	安高藤平	地方税町村税その他	一紙（一括）	8	
A	121	26-2	領収証	〔明治〕26	10	21	安高徳治	安高藤平	税金	罫紙	1	
A	121	27	〔領収証〕	明治26年分			島門村収入役　丸井藤敏	安高藤平	一区費など	一紙	5	
A	121	28	〔領収証〕	明治24年分			島門村収入役　副田寧吉	安高藤平	地方税、田租その他	一紙（一括）	11	
A	121	29	〔領収証〕	明治27年分			島門村収入役　丸井藤敏	安高藤平	村税、田租その他	一紙（一括）	15	
A	121	30	〔領収証〕	明治25年分			蘆屋町収入役　安高徳治	安高藤平	田租、町村税その他	一紙（一括）	19	
A	121	31-1	証	明治			広瀬玄錥	安高藤平	24年度初穂料領収	一紙	1	
A	121	31-2	神納証	明治26	4	9	水天宮造営事務所	安高藤平		一紙	1	
A	121	31-3	預り証		旧10	28	石橋次八	安高藤平	米3俵預り証	一紙	1	
A	121	31-4	記						米書上カ？	罫紙	1	
A	121	31-5	〔覚〕						米書上カ？	一紙	1	
A	121	31-6	記		旧10	25	吉□彦□	安高藤兵衛	田の書上	一紙	1	
A	121	32	領収証	明治26	3	21他	島門村収入役　丸井藤敏	島門村　安高藤平	地方税、租税等の領収証、宛名は藤吉、藤右衛門あてもあり	一紙	18枚	
A	121	33	領収証	明治25	4	26他	遠賀郡島門村収入役　副田寧吉ほか	安高藤平	村税、地方税等の領収証、作成者は収入役広田覚郎と鬼津区長井口太平もあり	1紙	20枚	
A	121	34	〔領収証〕	〔明治24年度〕			蘆屋町収入役	安高藤平	田租、畑租、町村税等領収書	一紙（一括）	19枚	
A	121	35	〔袋〕						師天堂（店名カ）の記載あり	袋	1	
A	121	36	領収証	明治35	3	26他	芦屋町収入役　大庭市松	蘆屋町　安高藤平ほか	県税、租税等の領収証、宛名は福蔵もあり	一紙	11	
A	122	1	〔領収書綴〕	明治22			島門村収入役　副田寧吉	安高藤平	22年度分の田租、地價割などの領収書、16通	一紙	16枚	（一通のみ23年）「22年鬼津切符」というとじひもアリ。A122-1～8は1綴
A	122	2	〔領収証綴〕	明治22			遠賀郡鬼津村六ヶ村戸長　小野謙夫ほか	安高藤平	22年度町村費地租割外税金の領収証7通	一紙	7枚	「明治22年尾嵜切符」のとじひもあり
A	122	3	〔領収証第七七四号〕	明治22	1	10	蘆屋村戸長　筑紫辰五郎	蘆屋村　安高槌松	明治21年度戸数割、戸別割の合計83銭7厘の領収証			とじ紐に「此切符ハ21年ノ帳面写」とあり
A	122	4	〔領収証綴〕	明治22			蘆屋村収入役　古賀悦太郎ほか	安高藤平	22年度町村税等の税金領収証28通	一紙	28枚	「22年芦屋切符」ととじひもにあり
A	122	5	〔領収証綴〕	明治20			蘆屋村戸長　筑紫辰五郎ほか	安高藤平	明治20年度後期地方税戸数割外税金領収証11枚。とじ紐に「20年芦や切符」とあり	一紙	11枚	
A	122	6	〔領収証綴〕	明治20			遠賀郡鬼津村外六ヶ村戸長代理筆算生　永田想ほか	安高藤平	20年度地方税地租割など税金領収証14通	一紙	14枚	
A	122	7	〔領収証綴〕	明治20			遠賀郡鬼津村外六ヶ村戸長代理筆算生　永田想ほか	安高藤兵衛	20年度后期地方税地租割外の税金領収証	一紙	5枚	5枚、紐で一括り
A	122	8	〔領収証綴〕	明治20			遠賀郡鬼津村外六村戸長　村田登七郎ほか	尾崎村安高藤十ほか	20年度村費地価割等税金領収証7枚	一紙	7枚	紐に「20年尾嵜藤平」とあり（廃棄文書を使用）
A	122	9	〔領収証綴〕	明治21・22			蘆屋村戸長　筑紫辰五郎ほか	安高藤平ほか	20年度、21年度地方税地価割等税金の領収証22枚	一紙	22枚	紐で一括り、紐に「21年芦屋村切符」とあり
A	122	10	〔領収証綴〕	明治23			安高藤平	島門村収入役副田寧吉ほか	23年度地方税地租割等の税金領収証7枚	一紙	7枚	（一通のみ24年）ひもで一くくり。122-10～17は一くくり
A	122	11	〔金銭書上綴〕						金銭計算書2枚、領収書1枚	一紙	3枚	廃棄文書をくくり紐として使用
A	122	12	〔領収証綴〕	明治21			遠賀郡鬼津村外六ヶ村戸長代理筆算生　副田徳ほか	安高藤兵衛	21年度后半期地方税地租割等税金領収証6枚	一紙	6枚	紐で一括り「明治21年尾嵜切符」とあり
A	122	13	〔領収証綴〕	明治19・20			遠賀郡鬼津村外六村戸長役場ほか	芦屋村安高藤平ほか	印税、地券手数料等の領収証4枚	一紙	4枚	紐で一括り、紐に「槌松地券受取」とあり
A	122	14	〔領収証綴〕	明治20・21			遠賀郡蘆屋村戸長　筑紫辰五郎	安高藤平	明治20年畑租外税金領収証12枚、切紙1枚あり	一紙	12枚	とじ紐あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
A	122	15	〔領収証綴〕	明治21・22			遠賀郡鬼津村外六ヶ村戸長代理筆算生　副田徳ほか	安高藤平ほか	明治20年度田租他税金領収証31枚	一紙	31枚	くくり紐あり
A	122	16	〔領収証綴〕	明治23			島門村収入役　副田寧吉ほか	安高藤平ほか	小学設置区域村税地価割外税金領収証7枚	一紙	7枚	くくり紐あり
A	122	17	〔領収証綴〕	明治23			蘆屋村収入役　古賀悦太郎ほか	安高藤平ほか	雑地税外租税領収証14枚	一紙	14枚	くくり紐あり、紐に「23年芦屋役場」とあり
A	122	18	〔請求書綴〕	明治11			鬼津村外六村戸長役場ほか	安高藤右衛門ほか	地方税、その他租税に関する請求書38枚、受取印あり	一紙	38	（～明治20年）
A	122	19-1	借用証	明治19	旧2	13	借用主　高山勘	安高藤右衛門	金75銭の借用証（利子3分）	一紙	1	47-1、2はひもで一くくり、ひもに「井口伊造未納受取高山勘ニ証」とあり
A	122	19-2	証	明治19	3	18	鬼津村外六村戸長役場筆纂代理　松井馬作代、柴田敦策	安高藤右衛門	井口伊造未納の14年度土木費金1銭9厘受取	罫紙半折	1	
A	122	20	〔請求書綴〕	明治19			鬼津村外六村戸長役場	安高藤兵衛	明治19年度所轄町村費等の請求書7通、	一紙	7	紐で一括り、紐に「19年尾嵜村」とあり、受取印あり
A	122	21	〔請求証綴〕	明治19・20〔2通〕			鬼津村外六村戸長役場	安高藤平	明治19年度地方税地租割等請求書21通	一紙	21	とじ紐あり、受取印あり
A	122	22	〔請求書綴〕	明治19			芦屋村戸長役場	芦屋村　安高槌松ほか	明治19年度戸数割等諸租税請求書17通	一紙	17	とじ紐あり、受取印あり
A	122	23	〔請求証並領収証綴〕	明治18			鬼津村外六村戸長役場ほか	安高藤兵衛	徴収切符3通、上納金取次証2通、請求書2通など計9通	一紙	9	とじ紐あり、受取印あり
A	122	24	〔請求証綴〕	明治18	8	20	芦屋村戸長役場	安高藤平ほか	明治18年度村協議費外請求16通	一紙	16	とじ紐あり、受取印あり
A	122	25	〔徴収切符・上納取次証綴〕	明治18			鬼津村外六ヶ村戸長役場	安高藤平ほか	明治17年度学資地租外の請求証24通	一紙	24	とじ紐あり、とじ紐あり、受取印あり
A	122	26	〔領収証〕	明治20			遠賀郡鬼津村外六ヶ村戸長代理筆算生矢野芳太郎	鬼津村　安高藤平ほか	19年度地租外領収証、矢野印あり	様式	12	とじ紐あり
A	122	27	明治十七年地税徴収切符	明治17	8	20	鬼津村外六村戸長役場	アシヤ村　安高藤通	地租金61銭9厘徴収切符、受取印あり	一紙	1	くくり紐に「17年尾嵜通とあり
A	122	28	〔収入切符綴〕	明治12			芦屋村役場	安高藤平、藤右衛門、太三郎	地方税等租税収入切符2通（1つづり）、地租金11銭受取証（半折罫紙）	一紙	3	
A	122	29-1	〔領収証〕	明治20			芦屋村戸長役場	安高藤平、安高藤右衛門	明治20年地券手数料領収証2通	一紙	2	
A	122	29-2	〔包紙〕						「是ハ以らん地券印税金受取鬼津役場」とあり	一紙	1	A122-29-3、4をくくる
A	122	29-3	〔出頭願〕	明治19	2	12	遠賀郡鬼津村外六村戸長役場	芦屋村　安高藤右衛門	明治13年度ヨリ16年度ニ至ル郡村各種協接費及ヒ諸費未納ノ件ニ付出頭願	一紙	1	
A	122	29-4	地券証印税納証	明治19	4	10	芦屋村　安高藤平	鬼津村外六村戸長役場	鬼津村石松弥壮名前分金1銭5厘納入	一紙	1	
A	122	29-5	証印税領収証	明治18			遠賀郡鬼津村外六村戸長役場	芦屋村　安高藤平	納証金領収証3通	一紙	3	
A	122	30-1	協議費収入切符	明治18	1		芦屋村戸長役場	安高槌松	金11銭6厘収納	一紙	1	
A	122	30-2	記				田中磯七	藤右門	38銭、米7升5合の受取証	一紙	1	
A	122	31	〔覚〕						金額と名前の書上	一紙	1	
A	122	32	〔記（綴）〕						金額と名前の書上	一紙半折	4	
A	122	33	〔収納符綴〕						「地券税収納符」などあり	一紙、半折	10	
A	122	34	〔草稿〕						荒地に関する書類の件	罫紙	1	
A	122	35	〔領収書綴〕				村役場	小野嘉十	明治16年、17年の領収書	一紙	3	
A	122	36	明治九歳畑ヶ林成畝高貢租石代区費写	丙子	2		安高藤右衛門			一紙、横帳	4、1	くくりひもあり
A	122	37	〔請求書綴〕	明治18	12	10	鬼津外六村ヶ村戸長役場ほか	安高藤兵	「上納金取次証」2通、「記」1通、地租請求書1通、くくり紐あり	一紙	4	（～同19年4月10日）
A	122	38	〔領収書綴〕	明治19	8	20	遠賀郡芦屋村戸長有吉長年	安高藤右衛門	畑租、宅地租の領収書7枚	綴	1	（～10月23日）
A	122	39	〔請求書綴〕	明治16			蘆屋村役場他	安高藤平・安高藤右衛門	「16年度後期地価割収入切符」1通、「地方税及諸費収入符」2通、「明治16年12月賦課協議費切符」1通、「学資協力費収入符」1通、その他5通	一紙	10	くくりひもあり
A	122	40	〔領収書綴〕						明治18～19年頃、上納金取次証など	一紙	8	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
A	122	41	〔徴収切符綴〕	明治17			鬼津村外六村戸長役場	安高藤平外	明治17年度前半期村費徴収切符等6通、とじ紐に「17年尾寄切符」とあり	一紙	6	
A	122	42	〔地券税収納符・地税収入符綴〕	明治12			芦屋村役役場	安高藤右衛門、藤左衛門	地券税収納符3枚、地税収入符4枚、外切符2枚、くくり紐に「高倉村早川松太郎」とあり	一紙	9	（～明治19年）
A	122	43	〔徴収切符綴〕	明治17			芦屋村戸長役場	安高藤右衛門外	明治17年度地価割外租税徴収切符15通、受取印あり	一紙	15	とじひもアリ
A	122	44-1	建家壱軒売渡証	明治18酉	旧極月	11	売渡主　大上　安高藤兵衛	買主　阿己や　安高藤右衛門	代価金14円70銭	一紙	1	
A	122	44-2	建家壱軒永代売渡証	明治19	伐1	13	建家売主　安高藤兵衛(印)世話人2名	阿己や世話人　本田林右衛門、建家買取主　阿己や安高藤右衛門	金14円70銭で売渡	罫紙	1	
A	122	45	〔徴収切符綴〕	明治17			鬼津村外六村戸長役場	安高藤右衛門	17年度郡連合町村費外徴収切符13通	一紙	13	とじひもアリ、受取印アリ
A	122	46	〔包紙〕						墨付あり、判読不能、122-1～45を含む	袋	1枚	
A	123	1	租税切符	明治16	8		戸長役場	安高藤右門		一紙	1通	
A	123	2	記						金8円並金1円の元利合計計算書、中に下書の跡あり	折紙	1通	
A	123	3	〔領収書綴〕	明治11			第四大区一小区扱所	安高藤平	請取書1通、地券交換費1通、民費収入符3通	一紙	5通	
A	123	4	〔領収書綴〕	明治13			芦屋役場	安高藤平	学資協力費収入符2通、地方税及諸費収入符2通、収符2通、収入符1通、〔覚〕1通、土来費地戸掛2通	一紙	10通	
A	123	5	〔領収書綴〕					安高藤平		一紙	4通	
A	123	6	〔領収書綴〕	明治15			芦屋村役場	安高藤右衛門、安高藤平	地方税及諸費収入符1通、学費及協力費収入符2通、区費1通、地方税慥議費地掛り1通、収符1通、郡村慥議費1通、〔請求書〕2通	一紙	9通	
A	123	7-1	〔覚〕						メモ用紙か	一紙	1通	
A	123	7-2	借用証文之事							一紙	1通	
A	123	7-3	質物借用証文之事	明治5申	4					一紙	1通	
A	123	7-4	借用証文之事						利子支払いの誓約	一紙	1通	
A	123	7-5	覚	明治7	12		藤右衛門	村役場	官林保長出庁の件	一紙	1通	
A	123	7-6	覚		旧12		？	善吉	申4月銀預りの返済の件	一紙	1通	屋号のため入力不能
A	123	7-7	覚				善吉	藤左衛門	預銀利子の件	一紙	1通	
A	123	7-8	覚		旧11		利作	彦蔵	銀の預り証	一紙	1通	
A	123	7-9	覚	亥	2	5	清	藤右衛門、定五郎		一紙	1	
A	123	7-10	証		第8	3	小野善蔵	安高藤左衛門	金の受取り証	一紙	1	
A	123	7-11	証	明治13	2	6	小野善蔵	安高藤左衛門	利子の計算書	一紙	1	
A	123	7-12	〔金銭書上〕						元利計算表カ	一紙	1通	
A	123	7-13	案文　借用証文之事						借用証文の案文、金札、引当畠畝などの規定について	一紙	1	
A	123	8	〔「証」綴〕		8	25	安高保郎	安高多三郎	「証」(地売金、租金、他)	一紙	3	
A	123	9	借用御証文之事	明治3	11		借用主　家右衛門他	藤右衛門		一紙	1	
A	123	10-1	記		旧3	13	鬼津村　二村弥七	安高多三郎		一紙	2	封筒あり
A	123	10-2	〔領収書綴〕				二村弥七	安高多三郎	米の受領証か	一紙	8	
A	123	11-1	〔請求書〕	明治12	12		戸長役場	安高藤平	同受領書を付す	罫紙	2	
A	123	11-2	〔領収書綴〕	明治12			芦屋役場	安高藤平	諸税、負担の領収書綴	一紙綴	1	
A	123	12	〔包紙〕						A123-1～12を含む包紙	袋	1枚	
A	124		福岡日日新聞号外	明治28	2	5	福岡日日新聞社		威海衛での戦闘ほか日清戦争号外	一紙	1	活版
A	125		福岡日日新聞第三千五百三十二号	明治24	7	15	福岡日日新聞社		九州における自由党ほか	一紙	1	活版
A	126		馬関物価日報	明治29	8	26	馬関物価日報社			一紙	1	
A	127		帝国金満家一覧鑑	明治44	4	5	編集兼発行者　榎本松之助　法令館発行			一紙	1	
A	128		英語速習之友	明治32	9		中央独立実業青年団		「1名英語早学び」とあり	一紙	1	活版
A	129		明治三十二年晴雨一覧表	明治31	12	20	高木又四郎(広島県備後国世羅郡東村109番屋敷)			一紙	1	活版

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
A	130	1-1	〔授与状〕	明治17	11	16	芳樹小学校(遠賀郡第4番学区)	早川福蔵	定期試験成績優秀に付き水筆1対授与	一紙	1	墨書
A	130	1-2	〔卒業証〕	明治17	4	10	芳樹小学校	早川福蔵(9年8月)	第2年後期卒業	一紙	1	活版
A	130	1-3	証	明治14	4		高倉小学	早川福蔵(6年6月)	下等小学校第4級卒業	一紙	1	墨書
A	130	1-4	〔卒業証〕	明治17	11	16	吉木小学校(遠賀郡4番学区)	早川福蔵(10年3月)		一紙	1	
A	130	1-5	〔賞状〕	明治16	8		芳樹小学(遠賀郡第4番学区)	早川福蔵(9年)	初等小学科第4級卒業に付優等のため修身動訓第2ノ巻1冊を授与	一紙	1	墨書
A	130	1-6	〔卒業証〕	明治16	3		芳樹小学校	早川福蔵	小学校第1年後期卒業	一紙	1	
A	130	1-7	〔賞状〕	明治14	8	3	遠賀鞍手郡役所	高倉小学　早川福壮	下等第4級臨時競業試験中等に付き賞状授与	一紙	1	
A	130	1-8	〔賞状〕	明治16	3	6	芳樹小学校(遠賀郡第4番学区)	早川福蔵	試験第5級卒業優等に付筆1対を授与	一紙	1	
A	130	1-9	〔賞状〕	明治17	4	10	芳樹小学校	早川福蔵	初等小学科定期試験にて第3級卒業優等のため水筆1対授与	一紙	1	墨書
A	130	2-1	〔覚〕						3度トナエキルベシ	一紙	1	
A	130	2-2	〔断簡〕						手習帳の1部か	一紙	1	
A	130	2-3	〔汽車発着時間並に賃金表〕							一紙	1	活版、断簡
A	130	2-4	〔一紙〕						白紙、包紙か？	一紙	1	
A	130	2-5	〔控〕						「控」とあり、「鯛網焼」などとあり豊受大神宮の符を同封	一紙	1	
A	130	2-6	〔練習帳〕				早川福蔵(筑前国遠賀郡高倉村)			小横帳	1	
A	130	2-7	〔御札〕						「厳島神社」とあり	一紙	1	
A	130	2-8	〔草稿〕						明治36年3月7日付二六新報附録に墨書したもの	一紙	1	
A	130	2-9	〔書簡草稿〕				安高団兵衛			一紙	1	
A	130	2-10	〔書簡〕		1	14	安高福蔵	安高大右衛門	挨拶状(時候の挨拶)	一紙	1	
A	130	2-11	〔書簡草稿〕						練習のための下書きか	一紙	2	
A	130	2-12	〔断簡〕						金銭の書上	一紙	1	
A	130	2-13	〔断簡〕						「水こんにゃく10丁、あげとをふ2丁」などあり、注文覚か	一紙	1	
A	130	2-14	書取帳	明治16	9		早川福蔵			竪帳	1	
A	131		〔誕生賀〕						「誕生賀　安高まき」とあり	一紙	5	
A	132		〔覚〕		2	朔日			借財の覚え、断片2通	一紙	2	
A	133		〔書簡〕	〔明治38〕	12	19	大庭正作	安高福造	借用金返済猶余の願い、封筒あり	罫紙	1枚	
A	134	1	借用仕証文之事	明治5申	4		借用主　栗屋藤蔵	関屋　定次郎	銀預り40両、包紙あり	一紙	1	134-2まで一括同封
A	134	2	借用仕証文之事	明治7戌	6		借用主　栗屋藤蔵	関屋　小野吉蔵	1金40円、畑3筆を担保にして借用			
A	135		〔覚〕						西国33ヶ所回りのためのものか	一紙	1	折紙
A	136		農業新報	昭和22	3	10	農業新報社	安高藤吉	帯封あり(宛名あり)	一紙	1	新聞
A	137		金員連帯預り証	大正13	4	15	連帯預り主　安高福蔵ほか5名	小野玄一郎ほか	金5円の預り証12通	罫紙	12通	
A	138		連帯金借用証	昭和15	9	1	遠賀郡芦屋町大字芦屋1204番地　安高定十	安高団兵衛	260円の借用	罫紙	1枚	封筒あり
A	139		〔戸籍抄本〕	昭和22	6	13	福岡県遠賀郡芦屋町長　吉田俊幸		塩田為次郎前戸主、塩田国相戸主	罫紙	2	閲覧不可
A	140		〔卒業証〕	明治15	4	28	福岡県遠賀郡高倉小学	早川福蔵(7年7月)	中下等小学第3級卒業	一紙	1	
A	141	1	さしかた						和算	折紙	3	
A	141	2	〔札〕	明治27			粟屋　安高福蔵母		「奉納嶋88ヶ所」とあり	一紙	40	
A	141	3	誕生賀				安高まき			一紙	1	
A	141	4	〔厚紙〕							厚紙	1	
A	142	1	〔封筒〕	20	3	29	福岡県遠賀郡遠賀村役場	安高団兵衛	「所得税申告ニ関スル書ルイ入」とあり			
A	142	2	〔勤怠表〕						芦屋町警防団出場勤怠表	罫紙	4	
A	142	3	〔通達〕	昭和20	4	25	芦屋町警防団長	安高団兵衛	芦屋町警防団班長以上の役員会開催の件	一紙	1	
A	143	1	星献							一紙	1	
A	143	2	〔札〕						「天照皇大神宮」とあり	一紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
A	143	3	高倉宮							一紙	1	
A	144		永代売渡証文之事	申	12		借用主太三郎、証人儀三郎	芦屋町清次郎	奥書あり	一紙	1	
A	145		〔絵〕						花の絵	一紙	3枚	
A	146	1	〔俳句集〕							一紙	1	
A	146	2	〔覚〕						江戸見物記か	一紙	1	
A	146	3	玉藻前道春ヤカタノ順						回想録か	縦帳	1	
A	147		地割家相鑒察三盤和合改正布図	明治5壬申	春2	中旬	方鑒永田勝秀	安高太三郎	「地割家相鑒察和合改正之口訣」、「地割家相方鑒之吉凶口訣」、図面3枚	一紙	5	
A	148		〔和歌集〕							横帳	1	
A	149		後日納生米証手形	明治11閏寅	11		早川正五郎、証人善次郎	納米屋安高藤平	「手形証文之事（明治3年11月）」封入	一紙	3	
A	150		明治八亥年通	子	1	20			安高藤左衛門の貢租書上か	横帳	1	
A	151		明治七戌年通						太三郎の貢租書上か	横帳	1	
A	152		〔和歌集〕						和歌の書上	一紙	3	
A	153		〔和歌〕						和歌2首	一紙	1	
A	154	1	献立							横帳	1	A154-1のこよりにA154-2が結びつけられていた
A	154	2	〔覚〕						歌の歌詞か	一紙	1	
A	155		借用仕手形証文之事	明治元辰	12		藤右門(ママ)	又四郎	借銀元利について	一紙	1	
A	156		明治九年改正通						安高藤右衛門の地租改正通知か	横帳	1	
A	157		覚	戌	12				出納帳か	横帳	1	
A	158		明治卅一年日記付						同年の諸記録	一紙	1	
A	159		〔覚〕						借金の書上げか	一紙	1	
A	160		〔覚〕				総代樽井早苗	安高藤右衛門	地租の請求書か	一紙	1	
A	161		〔覚〕				安高多三郎		税金43銭4厘の内訳	折紙	1	
A	162		記						金額と人名などの記、ロウソク代などあり	折紙	1	
A	163		〔覚〕		2	27	安高藤左門		名寄仕調などの金額の覚	一紙	1	
A	164		〔覚〕				安高藤左門		受取金の覚	一紙	1	
A	165		〔収入符綴〕	明治14			芦屋役場	安高藤平など	学資及協力費などの収入符綴	一紙	6	
A	166	1	記	明治10丑	11	26	二村弥七	安高多三郎	米の収量書上	折紙	1	
A	166	2	地所売買ニ付地券御書換頼						売渡人安高徳郎、買受人安高太三郎とあり	罫紙	1	
A	167	1	〔書簡草稿〕					鞍手郡西川村字長谷　神谷喜太郎	喜蔵母病気見舞、裏に和算あり	一紙	1	
A	167	2	御手本　全	天保15辰	3	27			漢字手本カ	竪帳	1	
A	167	3	〔覚〕						十干表記のための覚	一紙	1	
A	167	4	〔広告〕				中郷勝太郎、弓崎末吉		中郷陶器店の宣伝広告	一紙	1	
A	167	5	〔書簡草稿〕						病気見舞、裏に「大福万覚帳」	一紙	1	
A	168	1	〔封筒〕				伊豆敏雄ほか		「木綿料」「御仏前」など		9	
A	168	2	〔覚〕						預入金、受下ゲ金の覚	一紙	1	
A	168	3	〔帳簿類〕							用紙	13	
A	169	1	修業証書	明治35	3	25	福岡県遠賀郡蘆屋町立蘆屋尋常小学校	平民　安高マキ		一紙	1	
A	169	2	修業証書	明治34	3	27	福岡県遠賀郡蘆屋町立蘆屋尋常小学校	平民藤平孫　安高まき		一紙	1	
A	169	3	修業証書	明治33	3	28	福岡県遠賀郡蘆屋町立蘆屋尋常小学校	平民藤平孫　安高マキ		一紙	1	
A	170		初老賀				粟屋安高福蔵			一紙	2	
A	171		〔御守り〕						御守り15枚			
A	172		〔習字〕						半紙5枚	一紙	5	
B	1		被表彰事項				安高団兵衛		安高団兵衛著作本の原作か	書冊	1	
B	2		蘆屋町戦没者慰霊塔建設写真集	昭和37			安高団兵衛			書冊	1	
B	3		芦屋町志道会関係書類綴	昭和37	2以降		安高団兵衛			書冊	1	
B	4		我が現役兵営生活の大略				安高団兵衛		大正5年12月1日入隊～大正8年11月20日満期の記録　著作の原稿	書冊	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
B	5		蘆屋町戦没者忠霊塔建設関係書類綴	昭和37	4以降		安高団兵衛		慰霊塔図面5枚、写真3枚、慰霊祭案内状1通	書冊	1	
B	6		我体経談を講話シタル箇所及回数一覧				安高団兵衛		安高団兵衛著作の原稿か	書冊	1	
B	7		芦屋飛行場地区酪農被害者組合関係書類綴（第壱部）				安高団兵衛		新聞記事、葉書(2)、勤務表、昭和34年9月以降	書冊	1	
B	8		自由民主党芦屋支部結成以降政治関係文書綴（自民綴第一）	昭和34	2以降		安高団兵衛		新聞、入党申込書	書冊	1	
B	9		参考書類綴　第弐部				安高団兵衛		葉書8、新聞記事を含む、昭和16年以降	書冊	1	
B	10		芦屋観光数へうた	昭和35	7	20（印刷）	安高団兵衛（拙作）			一紙	1	
B	11		陳情書（福岡県岡垣町）	昭和40	8	10	福岡県遠賀郡岡垣町町長　辻守荘	自治大臣　永山忠則	米軍射撃練習による薬きょうの雨、騒音に関しての陳情書	書冊	1	
B	12		粟屋共同出荷組合書類綴				安高団兵衛		昭和17年11月以降	書冊	1	
B	13		文通交際発信受信月日表	昭和30・31年度			安高団兵衛		安高福蔵宛書簡(1)、競艇ニュース、等を含む、安高団兵衛宛書簡等	書冊	1	
B	14		農業ニ関スル書類（保存ヲ要スルモノ）綴（第二部）				安高団兵衛		新聞4枚、封筒1部、安高団兵衛、津川兵市宛書簡を含む	書冊	1	
B	15		交通交際種別並ニ発信受信月日表	昭和41丙午			安高団兵衛		葉書、手紙類	書冊	1	
B	16		文通交際発信受信月日表（第六部）	昭和29	1以降		安高団兵衛		葉書、手紙類を多数含む	書冊	1	
B	17		文通交際種別並発信受信月日表	昭和32年度			安高団兵衛		電報(7)、エアメイル(4)、封書(7)、現金書留等を含む	書冊	1	
B	18		二水倶楽部関係書類綴（二水第二部）	昭和30	1以降		安高団兵衛		葉書、写真1枚	書冊	1	
B	19		遠賀村分納税組合帳	昭和11以降			粟屋納税組合			書冊	1	
B	20		粟屋排水路新設記録の概要工事竣成概略記				安高団兵衛		履歴書、安高団兵衛著作本の原本か	書冊	1	
B	21		文通交際種別並発信受信月日表	昭和38			安高団兵衛		安高団兵衛宛書簡、春夏野菜温床苗販売表(2)請求書を含む	書冊	1	
B	22		文通交際種別並ニ発信受信月日表	昭和37			安高団兵衛		封書(7)、葉書(4)、電報(2)等を含む	書冊	1	
B	23		文通交際種別並ニ発信受信月日表	昭和40乙巳			安高団兵衛		葉書、手紙類、領収書	書冊	1	
B	24		交通交際種別並ニ発信受信月日表	昭和39甲辰			安高団兵衛		手紙、葉書類、領収書	書冊	1	
B	25		神武天皇社奉讃会関係書類綴（第二部）	昭和22以降			安高団兵衛			書冊	1	(35年まで)
B	26		神社惣代ニ関スル書類綴	昭和25	3以降		安高団兵衛			書冊	1	(29年12月迄)
B	27		農家経済集計書	昭和7～11年度			安高団兵衛		農家経済決算書、其1(2)其2(1)農業経営計劃書(1)	書冊	7	農家経済集計書昭和7、8年各2冊ずつ
B	28		陳情書添附図並写真				芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合		地図、写真(5)を含む	書冊	1	
B	29		御国中浜手田地囲之松執行之事						海岸砂防林禁伐に関する文書（元文3年4月及び寛延4年）	罫紙綴	1	
B	30	1	陳情書	昭和40	10	5	福岡県遠賀郡岡垣町町長　辻守荘等		防風保安林返還について、射爆撃場移転促進について	書冊	1	
B	30	2	陳情書	昭和40	10	5	福岡県遠賀郡岡垣町町長　辻守荘ら		射爆場に関する補償要求	書冊	1	
B	31		『特損法』に関する書類綴				安高団兵衛		「特損法」、「特損法施行規則」等	書冊	1	
B	32		進駐軍伐採後四ヶ年間の被害集計				芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合		被害集計表、進駐軍への陳情書、見舞金申請書等	書綴	1	
B	33		芦屋町粟屋区原ノ上墓地参道、自動車道築設並ニ共同買得地関係書類綴	昭和39			筑前芦屋町粟屋原ノ上墓地関係者		葉書、電報を含む	書冊	1	
B	34		我が金銭出納記録	昭和31	10	20				罫紙綴	1	(～41年6月10日)
B	35		安高団兵衛不動産台帳　土地家屋	昭和30	6	1	早川利夫		安高福蔵・団兵衛の土地家屋台帳	書綴	1	
B	36		〔皇顕正同志会関係〕	昭和37	1	29以降			手紙の写し、手紙葉書を含む	書冊	1	
B	37		税金に関する書類綴第二部	昭和24年度以降			福岡県遠賀郡蘆屋町大字蘆屋字蘆屋農業　安高団兵衛		「第2種事業税関係を除く」と表紙にあり、新聞その他計算書など1つづり	書冊綴	1	
B	38		所得税ニ関スル書類綴	昭和22年度以降			福岡県遠賀郡蘆屋町大字蘆屋字蘆屋　安高団兵衛		「第1部」と表紙にあり、主に所得税関係の租税書類（計算表等）	書冊綴	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
B	39		福岡県芦屋飛行場地区粟屋浸水被害損失補償申請書	昭和28			福岡県芦屋飛行場地区芦屋町粟屋部落被害者代表　安高団兵衛	〔福岡調達局ヵ〕	芦屋飛行場地区被害損失補償申請に関する書類綴、封筒入	書冊綴	1	
B	40		福岡県芦屋飛行場地区米空軍爆音による昭和37、38年度酪農被害損失補償申請書	〔昭和39〕	〔4〕	〔1〕	芦屋飛行場地区酪農被害者組合	〔内閣総理大臣〕	年月日、宛名は陳情書による。原稿、積算表あり	書冊綴	1	
B	41		福岡県芦屋飛行場地区米空軍爆音による昭和27年～33年度酪農被害損失補償申請書組合各個人別申請書				芦屋飛行場地区酪農被害者組合		表紙に「安田原稿」とあり、個人別補償申請書	書冊綴	1	
B	42	1	〔葉書25通〕	昭和25			大庭善三郎ほか	安高団兵衛	年賀状、お見舞、選挙推薦状など25通	葉書	25	
B	42	2	電報	〔昭和〕25	2	4	ヤハタ　オリオ　タカモリ	アシヤアワヤ、アタカダンベエ	アスカエル	電報	1通	
B	42	3	〔書簡〕	〔昭和25〕	〔1〕	〔28〕	塚本一子	安高団兵衛	大牟田に無事到着、近況報告、米配給不足の旨、封筒入、年代は封筒記載のもの	罫紙	2	
B	43		短歌雑誌松稚	昭和37	1		稚松短歌会		第9巻第1号	書冊	1	
B	44		〔雑記帳〕				安高団兵衛		車角重兵操典、草鞋出納表、土地標準賃貸価格通知書、領収証、受領証を含む	縦帳	1	
B	45	1	文通交際種別並ニ発信受信月日表	昭和36			安高団兵衛		領収証、診察券、電報(4)、葉書(2)、封書(4)、北方車角重兵隊同年兵名簿等	書冊	1	
B	45	2	文通交際種別並ニ発信受信月日表	昭和35			安高団兵衛		電報、写真、32～35年の総会に関する覚え書きを含む	書冊	1	
B	46		昭和23～26年文見舞金個人別支給調書広渡部落							一紙	1	
B	47		〔陳情書〕	昭和29			安高団兵衛		粟屋排水路建設請願の陳情書3部	縦帳	1	
B	48		粟屋浸水被害申請書類控入				安高団兵衛		昭和29年以後会計報告(8)、草稿(2)、28年以後の補償金獲得事跡内容(2)を同封	一紙	12	
B	49	1	〔出納表〕				安高団兵衛			一紙	2	
B	49	2	福岡県養鶏農業協同組合定款・役員選挙規定・福岡県養鶏農業協同組合規約							縦帳	1	
B	49	3	農業労働者の求人要項	昭和29	1		三菱化成工業株式会社黒崎工場			一紙	4	
B	49	4	雇用契約書	昭和29						一紙	8	
B	49	5	〔試験問題〕						問題用紙甲・乙の2部、公務員試験か	折紙	9	
B	49	6	芦屋競艇出走表	昭和29	9	28				一紙	4	(昭和29年12月18日、30年5月24日、26日)
B	49	7	長野翁除幕式記念						国民の新聞(昭和28年7月28日、29年4月2日)西日本新聞切り抜き(昭和29年2月17日他3枚)	封筒	1	
B	49	8	〔一紙類〕						福岡県海外協会の印刷物用宛名、菓子景品カード、固定資産税のメモ	一紙	1	
B	49	9	〔封筒〕					安高	B49・1～8を包、鉛筆で「粟屋排水路設計書入」と記されている	封筒	1	
B	50	1	日記をつけ始めた動機				安高団兵衛			一紙	4	
B	50	2	被害詳細供述書	昭和28	3	7	安高団兵衛			一紙	1	
B	50	3	記載なし						1枚目裏に数字3つ記入	一紙	2	
B	50	4	短歌10首	昭和26	3	23	安高団兵衛			一紙	1	(昭和26年10月11日、昭和29年11月30日、12月2日)
B	50	5	包装紙							一紙	1	
B	50	6	蘆屋町先賢顕彰会趣意書	昭和17	5		蘆屋町先賢顕彰会	安高団兵衛		一紙	3	
B	51	1	芦屋町芦屋幸町安高幹雄結婚に関する記事	昭和32	10	9	安高団兵衛		一紙物3枚、封筒1枚	罫紙縦帳	1	(～昭和32年10月15日)
B	51	2	昭和32年度粟屋区費収出計算書他				安高団兵衛		昭和33年1月11日粟屋区初寄り、年中行事表、昭和33年2月1日粟屋区常会、委任状、封筒、主要春夏そ菜品種選択指針、昭和32年12月19日日記	罫紙縦帳	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
B	52	1	町報芦屋	昭和32	1	1	芦屋町役場		封筒1枚	一紙	1	
B	52	2	日記	昭和30	4	12	安高団兵衛			一紙	1	
B	52	3	自作農維持創設資金貸付適格認定申請に関する意見書				安高団兵衛			一紙	1	
B	52	4	戸籍用紙(広島県豊田郡本郷町大字南方、南方村)						記載なし	一紙	1	
B	52	5	自作農維持創設資金融通法関係法令通達集の一部写し	昭和30	11		安高団兵衛			一紙	4	
B	52	6	陳情書	昭和28	7	16	木原儀壮、本田耕一郎		大降雨による被害の実状と今後の被害防止対策について	一紙	3	
B	52	7	太田正以下10名の名前記載							一紙	1	
B	52	8	昭和23～27年町村別工事費等の分配表				安高団兵衛		芦屋町、遠賀村、岡垣村の3町村別	一紙	1	
B	52	9	芦屋農共号外	昭和30	11	7	安高則雄	生産組合長	家蓄共済制度改正について	一紙	1	
B	52	10	毎日新聞八幡版	昭和32	1	17			芦屋防風林伐採被害補償横領問題	一紙	1	
B	53		〔郵便物〕						葉書(9)封書(10)、電報(4)、メモ(3)、毛色見本等を包			
B	54		〔水茎社歌会〕				安高団兵衛		映画ちらし(1)、封筒(1)、一紙(2)あり	罫紙	1	
B	55		一、防風林関係 一、その他記録	昭和36	12	24			B49～B54を包、西日本新聞	一紙	2	
B	56		〔封筒〕						福岡県の封筒		1	
B	57	1	農友(第二十一巻第十二号、第二十二巻第十二号、第二十三巻第六～八、十号、第二十四巻第九～十二号、第二十五巻第一号)				大日本農友会出版部		以下B57-5までと、葉書(2)、主婦の友附録、日用品の最高販売價格表を紐でまとめてある	書冊	12	
B	57	2	福岡県農会報(第参百六十八号、第四百十二号、第四百十四号(2冊))	昭和15	6	1	福岡県農会			書冊	4	
B	57	3	家庭防空組合指導要領				福岡県警察部			書冊	1	
B	57	4	週報七月二十一日号	昭和18	7	21	情報局			書冊	1	
B	57	5	女子青年学習書雪之巻　郷土資料	昭和10	12	18発行	社会教育協会、福岡県			書冊	1	12年6月1日重刷
B	58		粟屋福寿会						会員名簿、会計簿、発会式～第3会の記録、若松ボートのちらし有	書冊	1	
B	59		防風林伐採に伴う反当被害状況グラフ(蔬菜)	昭和28	2		安高団兵衛		昭和12年～26年の蔬菜生産グラフ	一紙	1	
B	60		粟屋福寿会関係書類綴	昭和38	1	26以降	安高団兵衛		新聞記事の切り抜きを含む	書冊	1	
B	61		記録仮簿				安高団兵衛			書冊	1	
B	62	1	〔出納帳〕	明治39	6	23以降				洋帳簿	1	
B	62	2	封筒				大統社工業塾	安高団兵衛	以下2-1～2-6までを同封		1	
B	62	2-1	字芦屋浜国有林内杉松払イ願費用出納表	10	1	4				一紙	1枚	(～10年2月16日)
B	62	2-2	〔請求書〕				田中伊八郎(1通のみ)	安高(1通のみ)		一紙	3	
B	62	2-3	〔領収書〕	10	1	12	筑前芦屋港	上様		一紙	1	
B	62	2-4	昭和九年拾弐月七日字芦屋浜国有林内植木調査	昭和9	12	7				一紙	1枚	
B	62	2-5	昭和拾年壱月拾五日転木鬮売計算	昭和10	1	15				横帳	1	
B	62	2-6	昭和拾年七月弐拾参日被害木伐倒木鬮売計算書	昭和10	7	23				横帳	1	
B	63		文通交際種別並ニ発受信月日表	昭和34			安高団兵衛		葉書(2)、封書(2)、他を含む	書冊	1	
B	64		農事小組合ニ関スル書類綴	昭和12以降			安高団兵衛		農事組合例会協議事項	書冊綴	1	
B	65		第二種事業税の税金に関する書類綴(第二部)	昭和24年度以降			安高団兵衛		葉書1枚、一紙物1枚	書冊	1	
B	66	1	粟屋区長代理執務諸文書綴	昭和4	1	28	安高団兵衛		封書2通、一紙物1枚	書冊	1	(～昭和4年3月9日)
B	66	2	農事実行組合ニ関スル書類綴	昭和17	9	5	安高団兵衛		縦帳2冊、一紙物7枚、葉書6枚	書冊	1	(～昭和18年9月6日)
B	67		農事実行組合並ニ部落常会等ニ関スル記事綴	昭和20	8	下旬以降	安高団兵衛			書冊	1	
B	68		常会並ニ集会記録綴	昭和18	1	1	安高団兵衛		一紙物20枚、封書1通	書冊	1	(～昭和20年11月1日)
B	69		粟屋区記録の一部綴	昭和33	4	1	安高団兵衛		一紙物7枚	書冊	1	(～昭和38年9月11日)
B	70		粟屋集会記録簿	昭和22	1	1	安高団兵衛		一紙物36枚、封書5通、葉書2枚	書冊	1	(～昭和23年4月1日)

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
B	71		粟屋集会記録	昭和25	2		安高団兵衛		ちらし、新聞記事等を含む	罫紙綴	1	(～27年12月)
B	72		粟屋集会記録	昭和28	2以降		安高団兵衛		町報、公売広告、陳情書原稿、西日本新聞の切り抜きを含む	罫紙綴	1	
B	73	1	〔葉書〕	昭和30	10	31	日本砂丘研究会	安高団兵衛	B73-1～3、演奏会パンフレットの一部をまとめてある	一紙	1	
B	73	2	〔葉書〕	昭和31	12	25	岩崎天外	安高団兵衛		一紙	1	
B	73	3	〔案内〕					安高団兵衛	安養寺特別法要の案内、長崎観光案内	一紙	2	
B	74		貯金台帳	昭和9～			安高団兵衛		郵便貯金預入及払出表、芦屋岡湊神社建築寄附金の表、等を含む	罫紙綴	1	
B	75		区会出席表				安高団兵衛		区会出席勤怠表及び芦屋岡湊神社建築寄附金粟屋区支出表	罫紙綴	1	
B	76		福岡県芦屋町　黒潮倶楽部　関係書類綴	昭和31	5以降		安高団兵衛		黒潮倶楽部よりの封書(2)、橋本欣五郎講演会及び立候補、朝日新聞(S31. 6. 24)を含む		1	
B	77		文通交際種別並ニ発信受信月日表	昭和33			安高団兵衛		会装御礼(2)、封書(6)、葉書(6)を含む	罫紙綴	1	
B	78		文通交際発信受月日表(第五部の弐)	昭和27･28年度			安高団兵衛		葉書(44)、封書(20)、封筒のみ(5)、幸福手帳創刊号、割引債券の栞、電報(19)、IM治験例(1)、不在者投票証明書(2)(昭和28年)	罫紙綴	1	
B	79		融通表				安高団兵衛		領収証(3)、契約書(土地売却について)、日本生命保険相互会社の挨拶状有	罫紙綴	1	
B	80		文通交際発信受信月日表	大正9	1以降		安高団兵衛		民謡、国民精神総動員軍隊慰問、葉書(12)封書(9)電報(1)、受領証	罫紙綴	1	
B	81		文通交際発信受信月日表	昭和17			安高団兵衛		葉書(37)封書(11)、名刺を含む	罫紙綴	1	(～24年)
B	82		世事及ビ町村区内並ニ家事家庭ニ於ケル重要事項記録簿(第11部)	昭和37	1	21	安高団兵衛		一紙物44枚、新聞記事切り抜き35枚、封筒1枚	書冊	1	(～昭和41年10月10日)
B	83		世事、町村区内の事家事家族自己の事親族友人知己其他記録	昭和41	7	4	安高団兵衛		一紙物13枚、新聞記事切り抜き4枚(昭和42年2月7日、1月24日、1月12日)	書冊	1	(～昭和42年3月11日)
B	84		世事及家事家庭ニ於ケル重要事項記録表(第10部)	昭和32	11	11	安高団兵衛		一紙物51枚(陳情書2つを含む)、新聞切り抜き16枚、写真1枚、封書2通、入場券4枚、防犯登録カード3枚	書冊	1	(～昭和37年2月11日)
B	85		世事及家庭ニ於ケル重要記録事項(第9部)	昭和13	1	1	安高団兵衛		一紙物41枚、新聞切り抜き12枚、葉書2枚、封書1枚	書冊	1	(～昭和32年11月11日)
C	1		〔地図〕						九州地方5万分の1の地図、包紙あり	一紙	11	
C	2		〔白紙〕							一紙	11	
C	3	1	〔年賀状〕	昭和29						葉書	63	
C	3	2	電報	29	2	19	マサヨシ	アワヤ　アタカダンベエ	「ブンパイノハナシ」の件	用紙	1	
C	3	3	〔書簡〕		2	7	八幡牛乳処理販売協同組合	安高団兵衛	1月分バター負担御通知の件、封筒あり表に「安高団次郎殿」とあり	一紙	1	
C	3	4	〔葉書〕	29	2	9	福岡市天神町県庁農政部農政課　岸野武彦	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	作物の出来うかがい	葉書	1	
C	3	5	〔書簡〕	29	1	19	U. H.	福岡県遠賀郡芦屋町　粟屋安高団兵衛	年賀状、封筒あり、海外よりの通信	一紙	1	
C	3	6	〔書簡〕	29	1	1	北米日本社　扇谷与次郎	日本福岡県遠賀郡芦屋字粟屋1205番　安高団兵衛	年賀状、封筒、名刺あり	一紙	1	
C	3	7	〔書簡〕		1	28	芦屋町農業共済組合	粟屋　安高団兵衛	乳牛授受に関する件、封筒あり、天損	罫紙	1	芦屋町農業共済組合罫紙
C	3	8	〔通知〕					安高団兵衛	農協通帳の取り替えお知らせの件、封筒あり、すべて内容同じ	一紙	7	
C	3	9	〔葉書〕	29	2	4	岡垣村元松原　広渡素一郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	新年会催しの件	葉書	1	
C	3	10	〔葉書〕	昭和29	2	5	福岡県遠賀郡芦屋局内　吉田徳蔵	安高団兵衛	例の会合の日程の件	葉書	1	
C	3	11	〔葉書〕	昭和29	3	2	福岡市上若久町339　畠中はつ子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	父親死去のお悔みの件	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
C	3	12	〔葉書〕	昭和29	2	18	大城　安高久米吉	本町粟屋　安高団兵衛	父親死去のお悔みの件	葉書	1	
C	3	13	〔書簡〕		2	14	山鹿秋山光	粟屋　安高団兵衛	父親死去のお悔みの件、封筒あり	一紙	2	
C	3	14	電報		1	26	芦屋町粟屋　安高団兵衛	八幡市折尾陳の原　安高繁治郎	父の病状悪化の件	用紙	1	
C	3	15	〔書簡〕	昭和29	3	7	遠賀郡中間町唐戸山本光男方安高正義	安高団兵衛	営業に関するトラブルの件、封筒あり	罫紙	3	
C	3	16	〔葉書〕	昭和29	2	15	安高団兵衛		葬儀の御礼状	葉書	1	
C	3	17	〔葉書〕	昭和29	3	4	折尾町本城　香山満寿郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	ヒナ飼育の件	葉書	1	
C	3	18	〔葉書〕	昭和29	3	5	若松市中川通り4丁目九州電力株式会社若松営業所	安高団兵衛	割当電力のお知らせ	葉書	1	
C	3	19	電報				アキ	アワヤ　アタカダンベイ	「ケイカイタノム　オイデマツアキ」とあり	用紙	1	
C	3	20-1	〔書簡〕				北米桑港日本社　扇谷	福岡県遠賀郡芦屋字粟屋1205安高団兵衛	海外通信の書簡など		4通	封筒あり
C	3	20-2	〔書簡〕				山本鶴一、末子	扇谷	海外通信の書簡		2通	封筒あり
C	3	21	〔証〕	昭和29	3	1	先賢顕彰会　吉永会計	安高団兵衛	金3千円、香典返し寄贈金	一紙	1	封筒あり
C	3	22	〔葉書〕	昭和29	3	12	岡垣村海老津　中村正云(カ)	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況報告と機嫌伺い	葉書	1	
C	3	23	〔葉書〕	昭和29	3	16	熊本県天草郡中村長砂連　松藤キヨ	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団平	父親死去のお悔みの件	葉書	1	
C	3	24	〔封筒〕						表に「御写真　田口写真館」とあり	1		
C	3	25	〔葉書〕	昭和29	3	10	遠賀郡芦屋町山鹿重　岡本芳(カ)	遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛	七夕17回忌のお知らせ	葉書	1	
C	3	26	〔書簡〕	昭和29	3	20	熊本県天草郡中村長砂連　荒井初次	福岡県遠賀郡芦屋町　粟屋安高団兵衛	父親死去のお悔みの件	罫紙	2	封筒あり
C	3	27	〔書簡〕	昭和29	3	18	熊本県天草郡中村長砂連　尾崎金助	福岡県遠賀郡芦屋町　粟屋安高団兵	1万円送金の件	罫紙	2	封筒あり
C	3	28	〔葉書〕	昭和29	3	25	福岡県九大病院第3内科南9号室　広渡タツノ	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	20日入院報告の件	葉書	1	
C	3	29	〔葉書〕	昭和29	3	31	川西霊場参拝団	芦屋町粟屋　安高団兵衛	御焼香料御礼	葉書	1	
C	3	30	〔葉書〕	昭和29	5	3	神谷さく子ほか	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	御供物御礼	葉書	1	
C	3	31	〔葉書〕	昭和29	4	15	九大医学部第2外科南2等和室　広渡素一郎	遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛	手術後の経過報告	葉書	1	
C	3	32	〔葉書〕	昭和29	4	27	東京都渋谷区代々木外輪町明治神宮社務所	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋1205　安高団兵衛	5月3日崇敬者大祭のお知らせ	葉書	1	
C	3	33	〔葉書〕	昭和29	5	3	九大病院第2外科北3室　広渡タツノ	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・りきの	見舞の御礼	葉書	1	
C	3	34	〔封筒〕				福岡県芦屋郵便局	芦屋局区内芦屋町　安高団兵衛	表に「通信事務」とあり		1	
C	3	35	〔葉書〕	昭和29	4	29		芦屋町粟屋区　安高団兵衛	久野一美、久野新親子の強盗殺人に関する意見	葉書	1	
C	3	36	〔葉書〕	昭和29	4	10	門司市葛葉藤見町3丁目414　早川万次郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	小倉区検察庁勤務から門司区への異動の知らせ	葉書	1	
C	3	37	〔書簡〕				恵美子	父母上	元松原のおばさんの病気見舞の件	罫紙	2	
C	3	38	〔書簡〕	昭和29	4	19	長崎県福島局区内鯛之鼻職員合宿　伊豆清	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	離婚報告の件	罫紙	4	封筒あり。中島鉱業株式会社罫紙
C	3	39	〔葉書〕	昭和29	4	22	九大病院第2外科南病棟2等和室　広渡たつの	遠賀郡芦屋町粟屋　安高りきの	病状報告	葉書	1	
C	3	40	〔葉書〕	昭和29	4	19	九大第2外科南病棟2第和室　広渡たつの	遠賀郡芦屋町粟屋　安高藤吉、奥	病状報告と見舞御礼	葉書	1	
C	3	41	〔葉書〕	昭和29	4	17	芦屋町役場　和田友秀	粟屋　安高団兵衛	税務課より厚生課へ異動の知らせ	葉書	1	
C	3	42-1	〔書簡草稿〕		4	28	安高団兵衛	荒井静子、両親一同	出ていった静子への心配の件	一紙	1	
C	3	42-2	〔覚〕						家計簿一部	一紙	1	
C	3	43	〔葉書〕	〔昭和〕29	4	14	はつ子	安高リキノ	広渡タツノの手術の連絡(29．4．15来ル)とあり	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
C	3	44	〔葉書〕	〔昭和〕29	4	14	畠中はつ子	安高リキノ	広渡タツノの病状を知らせる葉書(29．4．15来ル)とあり	葉書	1	
C	3	45	〔葉書〕	〔昭和〕29	4	13		安高団兵衛	顕彰会への入会のお願い	葉書	1	
C	3	46	〔葉書〕	〔昭和〕29	4	13	秋山光清	安高団兵衛	祭典での尽力への感謝、蜂蜜送付の連絡(29．4．14来ル)とあり	葉書	1	
C	3	47	〔葉書〕	〔昭和〕29	4	12	芦屋町警察署	安高団兵衛	原動機付自転車運転許可者に対する講習会の通知	葉書	1	
C	3	48	〔葉書〕	昭和29	4	5	八幡市社会福祉協議会	安高団兵衛	木原輝秋への香典を寄附としてうけとったという通知、29．4．10とあり	葉書	1	
C	3	49	〔葉書〕	〔昭和〕29	4	5	中村藤治郎	安高団兵衛	おくやみ状(29．4．6来ル)とあり	葉書	1	
C	3	50	〔葉書〕	〔昭和〕29	4	5	中村正広	安高団兵衛	お悔やみ、近況報告(29．4．6来ル)とあり	葉書	1	
C	3	51	〔書簡〕	昭和29	4	23	芦屋町教育委員会	安高団兵衛	郷土史並史料研究機関設置について	一紙2 綴1		
C	3	52	〔書簡〕	昭和29	5	6	白羊商店	安高団兵衛	送金の御礼と領収証送付	罫紙1 一紙1		
C	3	53	〔書簡〕	昭和29	4	30	組合長安高岩雄	安高団兵衛	芦屋町農業協同組合の役員当選通知について	罫紙1 一紙2		
C	3	54	〔葉書〕	〔昭和〕29	5	9	安高正義	安高団兵衛	目鏡の忘れ物について	葉書	1	
C	3	55	〔葉書〕	昭和29	4	5	九大第3内科南9号　広渡タツノ	安高団兵衛	見舞、見舞品のお礼(29．4．6来ル)とあり	葉書	1	
C	3	56	〔葉書〕	〔昭和〕29	4	5	中間町唐戸　安高正義	安高団兵衛	近況報告(29．4．6来ル)とあり	葉書	1	
C	3	57	〔葉書〕	〔昭和〕29	4	2	中村藤治郎	安高団兵衛	病気伺い、お礼(29．4．4来ル)とあり	葉書	1	
C	3	58	〔書簡〕	29	4	1	初子	〔安高〕りきの	「姉上様」の病気について。3枚目の裏に(29．4．1来ル)とあり	罫紙	3	
C	3	59	〔葉書〕	〔昭和〕29	3	29	九大病院第3内科南9号室　広渡タツノ	安高団兵衛、リキノ	病状の報告	葉書	1	
C	3	60	〔葉書〕	〔昭和〕29	3	27	安高繁治郎	安高団兵衛	保人詞に帰る様伝えて欲しいという依頼(29．3．28来ル)とあり	葉書	1	
C	3	61	〔葉書〕	〔昭和〕29	3	24	秋山光清	安高団兵衛	(29．3．25来ル)とあり	葉書	1	
C	3	62	〔葉書〕	〔昭和〕29	3	11	広渡正樹	安高藤吉	蜂友会の通知(29．3．14来ル)とあり	葉書	1	
C	3	63	〔書簡〕	昭和29	3	26	芦屋町役場	安高団兵衛	NHKのラジオ放送の下打合せについて(29．3．26来ル)とあり	一紙	1	封筒入
C	3	64	〔書簡〕	〔昭和〕29	4	12	福岡九大病院第3内科南9号室　広渡タツノ	安高団兵衛内安高チツ子	手紙、見舞のお礼、リキノあての手紙を同封(29．4．12来ル)とあり	罫紙1 一紙1		
C	3	65	〔書簡〕	〔昭和〕29	4	19	安高正義	安高団兵衛	借金の依頼(29．4．20来ル)とあり	罫紙	1	封筒入
C	3	66	〔葉書〕	〔昭和〕29	3		西日本相互銀行取締役社長　東令三郎	安高団兵衛	新店舗俊(ママ)工の通知(29．3．中来ル)とあり	葉書	1	封筒入
C	3	67	〔書簡〕	〔昭和〕29	2	9	白羊商店	安高団兵衛	伝票(特殊郵便物受領証付)、為替金受領証書、葉書(4月28日付)を含む	罫紙	1	
C	3	68	〔電報〕	29	4	27	安高団兵衛	荒井シズコ		一紙	1	
C	3	69	〔電報〕	29	4	28		安高団兵衛	死亡通知	一紙	1	
C	3	70	〔書簡〕	〔昭和〕29	5	1	荒井静子	安高団兵衛	手紙の返事、近況報告、電報を同封(29．5．4来ル)とあり	罫紙2		一紙(電報)
C	3	71	電報	昭和29	4	15		アワヤ　アタカダンペイ	「イマシジツスル」とあり	用紙	1	
C	4		明治三十五年小学校入学の同窓会関係書類綴第弐部	昭和29	11	3	安高団兵衛			書冊	1	
C	5		私の日常信條とし実行しつつある事の大略	昭和14	3		安高団兵衛			書冊	1	
C	6		防□事写綴	昭和31					組合費不正使用による公判の記録	書冊	1	(～34年)
C	7		蘆屋飛行場内借上地ニ関スル書類綴	昭和26	5以降		安高団兵衛			書冊	1	
C	8		〔写真〕						袋1、一紙1を含む	写真	4	袋あり
C	9		来翰綴	明治45			安高団兵衛			書冊	1	(～昭和12年)
C	10		蘆屋校報	昭和2	4		安高団兵衛			書冊	1	(自昭和2年4月第1号)
C	11		中風救命散				吉村製薬所(福岡県三井郡大刀洗町字富多)		中に服用法の注意書あり	一紙	1	袋あり
C	12		選挙関係文書々類綴	昭和10			安高団兵衛		昭和10年蘆屋町町会議員選挙に関する書類、葉書37枚、封書4通	書冊	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
C	13		昭和30年度町民税個人申告書控入他				安高団兵衛		封筒のみ	封筒	1	
C	14		昭和30年分の所得税の確定申告書他	昭和30			国税庁		納付書、30年分所得税の簡易税額表、申告の説明書あり	一紙	9	
C	15	1	昭和34年～36年度被害補償申請書委任状	昭和38	6		辻守荘（受任者）	内閣総理大臣	米空軍爆音による被害損失の補償金等について、辻守荘氏の念書あり	罫紙半切縦帳	1	
C	15	2	証明書写綴	昭和23	10		安高団兵衛		乳牛1頭の年間乳出量の証明	罫紙半切縦帳	1	（～昭和31年9月）
C	16	1	筑紫（VOL.2 NO.6、VOL2 NO.7、VOL3 NO.3）	昭和28	6	30	福岡県海外協会			雑誌	3	（昭和28年7月31日、昭和29年3月2日発行）
C	16	2	農友（第9巻5月号、第9巻7月号）	昭和29	5	1	日本農友会東京事務所		蓄産についての記事が主	雑誌	2	（昭和29年7月1日発行）
C	17	1	〔書簡〕	昭和32	1		U. Hirowatari（カナダより）	安高団兵衛	年賀状	一紙	1	封筒あり
C	17	2	〔書簡〕	昭和32	1	19着	タケダミチコ	安高団兵衛	クリスマスカード兼年賀状	一紙	1	封筒あり
C	17	3	〔葉書〕	昭和32	5	30	重岡恵美子	安高団兵衛	コショウ苗について	葉書	1	
C	17	4	〔葉書〕	昭和32	7	15	安高正義	安高リキノ	母親の手紙への返事、留守をしていた理由	葉書	1	
C	17	5	〔書簡〕	昭和32	12	19	安高保正	安高団兵衛、藤吉	帰省予定について、近況報告	一紙	3	封筒あり
C	17	6	〔書簡〕	昭和32	9	2	安高保正	安高団兵衛、りきの	9月1日、無事博多駅到着	一紙	2	封筒あり
C	17	7	〔葉書〕	昭和32	8	6	安高保正	安高団兵衛、藤吉	帰省報告	葉書	1	
C	17	8	〔葉書〕	昭和32	8	22	神谷莞苒	安高団兵衛	時候のあいさつ及び大水害について	葉書	1	
C	17	9	〔書簡〕	昭和32	8		日本大学工学部後援会	安高団兵衛	決算報告など	一紙	6	封筒あり
C	17	10	〔書簡〕	昭和32	8	2	安高保正	安高団兵衛、安高藤吉	送金の御礼と近況報告	一紙	2	封筒あり
C	17	11	〔書簡〕	昭和32	7	27	安高保正	安高団兵衛、安高藤吉	近況報告、送金要求	一紙	2	封筒あり
C	17	12	〔葉書〕（往復葉書〔往〕）	昭和32	7	11	大角武（日本大学工学部後援会会長）	安高団兵衛	昭和32年度後援会総会の出欠	葉書	1	
C	17	13	〔葉書〕	昭和32	6	11	財団法人東筑学舎計理　畠山和政	安高団兵衛	舎費及び賄費領収の報告	葉書	1	
C	17	14	〔葉書〕	昭和32	6	11	安高保正	安高団兵衛、安高藤吉	舎費について、大雨の被害への心配	葉書	1	
C	17	15	〔書簡〕	昭和32	5	31	安高保正	安高団兵衛、同藤吉	送金要求、近況報告	一紙	3	封筒あり
C	17	16	〔葉書〕	昭和32	5	17	安高保正	安高団兵衛、同藤吉	送金の御礼	葉書	1	
C	17	17	〔葉書〕	昭和32	5	8	財団法人東筑学舎畠山和政（計理）	安高団兵衛	学舎宛送金領収の報告	葉書	1	
C	17	18	〔葉書〕	昭和32	5	6	安高保正	安高団兵衛	東筑学舎世話役の原田春実氏逝去の報告	葉書	1	
C	17	19	〔書簡〕	昭和32	5	26	安高保正	安高団兵衛、同りきの	近況報告	一紙	2	封筒あり
C	17	20	〔書簡〕	昭和32	5	1	安高保正	安高団兵衛、同藤吉	送金の御礼と要求、近況報告	一紙	2	封筒あり
C	17	21	〔葉書〕	昭和32	4	25	安高保正	安高団兵衛、同藤吉	送金の御礼、近況報告	葉書	1	
C	17	22	〔書簡〕	昭和32	4	16	安高保正	安高団兵衛、同藤吉	授業料、後援会費など送金要求	一紙	2	封筒あり
C	17	23	〔電報〕	昭和32	3	12	安高保正	安高団兵衛	帰省通知	一紙	1	
C	17	24	〔書簡〕	昭和32	4	10	安高保正	安高団兵衛、同りきの	東京到着の報告、近況報告	一紙	4	封筒あり
C	17	25	〔書簡〕	昭和32	2	16	安高保正	安高団兵衛、同藤吉	送金の御礼、近況報告（耳病、試験など）	一紙	2	封筒あり
C	17	26	〔書簡〕	昭和32	3	4	安高保正	安高団兵衛、同藤吉	帰省予定、送金要求	一紙	2	封筒あり
C	17	27	〔葉書〕	昭和32	2	7	財団法人東筑学舎経理　岩永正士	安高団兵衛	2月分舎費領収の報告	葉書	1	
C	17	28	〔書簡〕	昭和32	2	3	片山綾子	安高団兵衛	近況報告、借金のことについて、結婚のこと	一紙	3	C17．28～C17．32は一括り。封筒あり
C	17	29	〔書簡〕	昭和32	2	10	片山綾子	安高団兵衛	借金のこと、近況報告	一紙	3	封筒あり
C	17	30	〔書簡〕	昭和32	5	4	片山綾子	安高団兵衛	近況報告	一紙	2	封筒あり
C	17	31	〔書簡〕	昭和32	4	17	片山綾子	安高団兵衛	手紙の御礼、近況報告	一紙	2	封筒あり
C	17	32	〔書簡〕	昭和32	2	25	片山綾子	安高団兵衛	近況報告（結婚生活など）	一紙	2	封筒あり
C	17	33	〔書簡〕	昭和32	6	14	佐藤信子	安高団兵衛、同りきの	離婚後の別れのあいさつと心境	一紙	2	封筒あり
C	17	34	〔書簡〕	昭和32	5	30	佐藤重子	安高りきの	手紙の御礼、近況報告	一紙	2（内1枚は記載なし）	封筒あり
C	17	35	〔葉書〕	昭和32	4	8	安高正義	安高団兵衛	小野銀太郎氏住所の問い合わせ	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
C	17	36	〔葉書〕	昭和32	5	11	安高隆盛	安高団兵衛、同りきの	帰省できない理由（免許試験のため）、近況報告	葉書	1	
C	17	37	〔書簡〕	昭和32	2	12	安高隆盛	安高リキノ	近況報告（下宿生活について）、ふとんの御礼	一紙	3	封筒あり
C	17	38	〔葉書〕	昭和32	2	8	安高隆盛	安高団兵衛、同リキノ	帰省できない理由	一紙	2	封筒あり
C	17	39	〔書簡〕	昭和32	7	7	安高保正	安高団兵衛、同藤吉	送金の御礼、近況報告	一紙	3	封筒あり
C	17	40	〔書簡〕	昭和	9	8	重岡恵美子	安高団兵衛	腕時計について	一紙	2	封筒あり
C	17	41	〔書簡〕	昭和32	8	25	安高隆盛	安高団兵衛、同リキノ	現在の病状と近況	一紙	4	封筒あり
C	17	42	〔書簡〕	昭和32	4	25	安高信子	安高団兵衛	離婚問題について現在の心境	一紙	2	封筒あり
C	17	43	〔書簡〕	昭和32	7	5	小林綾子方　御堂丸信子	安高団兵衛	心境、思い出話	一紙	3	封筒あり
C	17	44	〔書簡〕				池田	安高団兵衛	会見要請	一紙	1	
C	17	45	〔書簡〕	昭和32	7	11	小林アヤ子方　信子	安高団兵衛	手紙の御礼、尾道での生活、心境	一紙	2	封筒あり
C	17	46	〔書簡〕	昭和32	7	29	小林アヤ子方　信子	安高団兵衛、同りきの	手紙の御礼、近況報告	一紙	4	封筒あり
C	17	47	〔書簡〕	昭和32	8	15	小林アヤ子方　信子	安高団兵衛、同りきの	暑中見舞、近況報告	一紙	4	封筒あり
C	17	48	〔葉書〕	昭和32	10	14	佐藤信子	安高団兵衛、同りきの	近況報告	葉書	1	
C	18		芦農水第486号				黒山高麿（芦屋町長）	養鶏組合長、生産組合長	成鶏の飼育羽数調査について	一紙	1	
C	19		〔メモ〕				安高団兵衛		歌2首あり、人名書上	一紙	1	
C	20		安高福蔵死去に関する書類	昭和29	2	11	安高団兵衛		葬儀関係書類（4）、遺言書、相続関係書類（2）、相続税の申告書（封書）、相続登記関係書類入（中に封書6通あり）、名刺（安高団兵衛）、領収書類（一紙物14枚）、メモ類（一紙物6枚）		35	
C	21		農業委員ニ関スル書類綴（昭和弐拾七年以降第壱部）	昭和26			安高団兵衛			書冊	1	（～29年）
C	22		参考綴	大正11	10以降		安高福蔵		粟屋区長代理のため、芦屋町行政関係の書類	書冊	1	
C	23		筑紫　VOL.2 NO.8	昭和28	8	31	福岡県海外協会			書冊	1	
C	24		〔領収証他〕	大正			安高福蔵、安高繁治郎		第1期種痘済証、安養寺寄付金領収証等	一紙	10	
C	25		参考綴	大正9以降			粟屋青年会		芦屋青年会粟屋支部会員名簿等	書冊	1	
C	26		筑紫　VOL.3 NO.1	昭和29	1	31	福岡県海外協会			書冊	1	
C	27		筑紫　VOL.2 NO.12	昭和28	12	31	福岡県海外協会			書冊	1	
C	28		筑紫　VOL.2 NO.11	昭和28	11	30	福岡県海外協会			書冊	1	
C	29		筑紫　VOL.2 NO.10	昭和28	10	30	福岡県海外協会			書冊	1	
C	30		筑紫　VOL.3 NO.2	昭和29	2	2	福岡県海外協会			書冊	1	
C	31		農友　第八巻第十一号	昭和28	11	1	日本農友会東京事務所		雑誌	書冊	1	
C	32		投資信託の御案内				山一証券			一紙	1	
C	33		農友　第八巻第十二号	昭和28	12	1	日本農友会東京事務所			書冊	1	
C	34		農友　第九巻一月号	昭和29	1	1	日本農友会東京事務所			書冊	1	
C	35		農友　第九巻四月号	昭和29	4	1	日本農友会東京事務所			書冊	1	
C	36		農友　第九巻三月号	昭和29	3	1	日本農友会東京事務所			書冊	1	
C	37	1	〔封筒〕					安高団兵衛	「昭和29年度確定申告書控入及計算書類入、昭和30年町民税個人申告書控入、昭和31年町民税個人申告書控入」との裏書きあり、C37-2～4を封入			
C	37	2	〔確定申告関係書類綴〕						「昭和29年分申告所得税の確定申告についてのお知らせ」等をC37-1に封入	一紙	8	
C	37	3	町民税個人申告書				安高団兵衛	芦屋町長　黒山高麿	下書きか、C37-1に封入	一紙	1	
C	37	4	〔領収書類〕						医療費等の領収書等、封筒あり、C37-1に封入	一紙	33	
C	38		控訴趣意書提出最終日通知書	昭和35	2	13	福岡県高等裁判所裁判所書記官補佐　藤和治	安高岩雄	「（昭和35年2月14日来着したものを同名写にした）との欄外註記あり	罫紙	3	
C	39		〔名刺〕				株式会社東京味噌醸造機製作所ほか		箱あり	名刺	79	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
C	40		昭和三十年七月以降蘆屋小学校講堂建設委員会関係書類綴	昭和30	7	5	安高団兵衛		封筒及案内状3通、「芦屋小学校講堂建設趣意書」、芦屋小学校講堂建設促進委員会のメモ2件、同委員会名簿2件、「芦屋小学校後援会規約案」、「芦屋小学校建設経過報告」	書冊	1	(～同31年10月22日)
C	41		農業委員関係書類綴				安高団兵衛		市町村農業委員会委員選挙関係、新聞切抜、農業委員会議などの関係書類をつづったもの	書冊綴	1	
C	42		農業関係書類綴第一部	大正12以降			福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋字栗屋1205番地　安高団兵衛		農業関係書類、関係書簡をつづったもの、表紙の上に目次あり	書冊綴	1	
C	43		早蕨	昭和39	3	29			安高久米吉翁米寿祝賀記念、久米吉翁自選50首、久米吉翁年譜	書冊	1	
C	44		〔短歌集〕						昭和34年3、5、6、7月の歌会における優秀作品、部分欠落カ	書冊	1	
C	45		〔短歌関係書類〕						短歌集「八雲」の草稿カ、昭和34年歌会のものカ、「民生公論社」の封筒に入	書冊	23	
C	46		〔短歌集〕	昭和32・33					筑前芦屋水茎社歌会、芦屋町うたの会の歌集、「民主公論社」封筒入	書冊	19	
C	47	1	〔広告〕				芦屋町金屋　洋品雑貨雪の家		封筒入(宛名、栗屋下組安高団兵衛)、冬物半額大投売り	一紙	1	
C	47	2	〔広告〕				芦屋町金屋　洋品雑貨雪の家		歳末大売出しの広告、割引券付、封筒入(宛名、栗屋下組安高団兵衛)	一紙	1	
C	47	3	領収証書	昭和31	12	12	遠賀村収入役　石松四郎	安高団兵衛、安高藤吉	固定資産税の領収証書2通、年月日は封筒記載のもの、封筒入	様式	2	
C	47	4	調整勘定利益金配分についてのお知らせ	昭和31	12		日本生命保険相互会社	旧御契約者各位	「御請求の手続」同封、「日本生命保険相互会社」封筒入	一紙	1	
C	47	5	〔書簡〕	昭和32			八幡市大字小嶺594医療法人八幡保養院理事長江藤義男		年始挨拶、電話架説の知らせ、封筒入(封筒宛名　安高団兵衛)、封筒に(32．1．8来ル)とあり	一紙	1	
C	47	6	〔書簡〕	昭和31	12	30	糸日まつの	安高団兵衛	近況報告並お礼の書簡、封筒入、封筒に「書留」印あり、封筒には(32．1．9来ル)とあり	一紙	2	
C	47	7	取得された資産についてのおたずね	昭和32	1	22	遠賀税務署長	芦屋町芦屋1205　安高団兵衛	原田氏より買得の遠賀郡芦屋町原の上の原野の契約価額等についての尋書、封筒入、封筒には(32．1．24来ル)とあり	一紙	1	
C	47	8-0	〔封筒〕	昭和32	2	16	静岡県伊東市松原猪戸2の593	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	表に(32．2．18来ル)とあり、現金書留封筒、C47-8-1、2を含む	封筒	1	年月日は年代消印
C	47	8-1	〔書簡〕	昭和32	2	16午前2時	秋山光見	安高団兵衛	法学界の件、近況報告、9000円利子同封の件、日本比較法研究所用箋を使用	罫紙	4	
C	47	8-2	〔書簡〕						防風林伐採被害組合の問題、補償金と組合経費の問題、廃棄文書を使用、鉛筆書	一紙	3	
C	47	9	〔書簡〕	昭和32	2	26未明	秋山光見	安高団兵衛	拝借金の一部返済、土地売却の件、飛行場地区の件について小野一派に対する痛憤、速達書留封筒入(32．2．28来ル)とあり、日本比較法研究所用箋	罫紙	4	
C	47	10	〔書簡〕	昭和32	3	13	福岡市多々良町名香野県営住宅11号　楢崎つる	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋字栗屋1205番地　安高団兵衛	近況報告、秋山光見と関係あり、土地売買の件、封筒入、32．3．16来翰	罫紙	2	
C	47	11	〔書簡〕	〔昭和32〕	3	15夜	秋山光見	安高団兵衛	父の一周忌のお礼、入試等のため多忙、金3000円利息同封、封筒入、「日本比較法研究所用箋」紙使用、「32．3．18来ル」とあり	罫紙	2	
C	47	12	〔葉書〕	昭和32	3	23	福岡市多々良町名香野県営住宅11号　楢崎つる、多半子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	手紙、写真のお礼、来月12日お参りの予定、「32．3．24来ル」とあり	葉書	1	年代消印
C	47	13	〔広告〕				芦屋町金屋　洋品雑貨雪の家		2割引大廉売の広告、封筒入(封筒宛名粟屋安高団兵衛)、「32．4．5来ル」とあり	一紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
C	47	14	〔書簡〕	〔昭和32〕	4	6	東京都新宿区下落合4ノ2254原田春実	安高団兵衛	退院の知らせ、1000円同封、上京の折、保正儀持参を願う旨、速達封筒入、「32．4．8来ル」とあり	罫紙	2	
C	47	15	〔名刺ヵ〕				鳥取市吉方320番地全国椎茸普及会本部	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高藤吉	名刺代りに使用したものカ、後筆で「本人書」とあり	一紙	1	
C	47	16	〔書簡〕	〔昭和32〕	4	15	秋山光見	安高団兵衛	4月分利息金3000円同封、多忙のため帰省できず、日本比較法研究所用箋紙を使用、封筒に「32．4．18来ル」とあり、現金書留封筒入			
C	47	17	〔葉書〕	昭和32	4	18	折尾警察署長	安高団兵衛	運転免許（許可）証臨時検査通知書	葉書	1	年月日は消印、表に「32．4．19来ル」とあり
C	47	18	〔葉書〕	昭和32	4	18	折尾警察署長	安高保正	C47-17と同様のもの	葉書	1	年月日は消印、「32．4．19来ル」とあり
C	47	19	〔葉書〕	〔昭和32〕	4	18	芦屋町　瓜生ふさの	当町粟屋　安高団兵衛	「25日前2度ばかり御習ひ申たいと存じますので御足労願ひ」たし、表に「32．4．20来ル」とあり	葉書	1	
C	47	20	〔葉書〕	〔昭和32〕	4	18	東京都新宿区下落合4ノ2254原田春実	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋	御見舞の礼状、身体の具合、「32．4．21来ル」とあり	葉書	1	
C	47	21	〔葉書〕	昭和32	4		明治神宮宮司　鷹司伸輔	福岡県遠賀郡蘆屋町蘆屋1205　安高団兵衛	崇敬者大祭への招待状、表に「32．4．21来ル」とあり	葉書	1	
C	47	22	〔葉書〕	〔昭和32〕	4	30	岩崎其外画伯後援会会長　林田守治	粟屋　安高団兵衛	来る3日午後7時半から山鹿元町藤崎窓月氏邸にて、「つつじを観る会」催し、招待状、表に「32．5．1来ル」とあり	葉書	1	
C	47	23	〔葉書〕	昭和32	5	7	東京都新宿区下落合4丁目2254番地原田登喜江、外親戚一同	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	告別式参列、香典のお礼、表に「32．5．13来ル」とあり	葉書	1	
C	47	24	〔葉書〕	昭和32	5	15	芦屋交通安全協会長　原田善一（印）	芦屋町安高団兵衛	定期総会開催御案内、表に「32．5．18来ル」とあり、往復葉書	葉書	1	
C	47	25	〔書簡〕	〔昭和32〕	5	16夜	秋山光見	安高団兵衛	母の面倒に対するお礼、拝借利子のみ金3000円同封、近況報告、現金書留封筒入、封筒に「32．5．19来ル」とあり	罫紙	1	
C	47	26	〔案内状〕				芦屋カメラ倶楽部		春季撮影会案内、封筒入、封筒に「32．5．20来ル」とあり、封筒宛名　安高団兵衛	一紙	1	
C	47	27	〔案内状〕				芦屋カメラ倶楽部		C47-26と同一、封筒宛名　安高団兵衛、封筒に「32．5．26来ル」とあり	一紙	1	
C	47	28	〔書簡〕	〔昭和32〕	5	31	藤吉仁太郎	安高団兵衛	利息1100円同封、石炭値下りのため仕事動揺、現金書留封筒入、1100円入、封筒に（32．6．2来ル）とあり	罫紙	1	
C	47	29	〔葉書〕	昭和32			遠賀郡折尾自動車組合長、折尾交通安全協会長、三原朝尾	芦屋町字粟屋　安高団兵衛	定期総会開催御案内、往復葉書往信用、表に「32．6．7来ル」とあり	葉書	1	
C	47	30	〔葉書〕				安高団兵衛	八幡市折尾警察署内遠賀折尾自動車組合折尾交通安全協会	47-29の返信用葉書、欠席の通知、未使用、委任状付	葉書	1	
C	47	31	〔葉書〕	昭和32	6		東京都千代田区小川町1の3k．k．ミナト羅沙店内ニッポン服装社　菊本実	福岡県芦屋町芦屋粟屋1205　安高団兵衛	開店と記念特価売出しの宣伝、表に「32．6．18来ル」とあり	葉書	1	
C	47	32	〔書簡〕	昭和32	6	15夜	秋山光見	安高団兵衛	金10万円今暫く拝借願たし、利子3000円のみ同封、日本比較法研究所用箋使用、現金書留封筒入、「32．6．19来ル」と封筒にあり	罫紙	3	
C	47	33-0	〔封筒〕				福岡県遠賀郡芦屋町芦屋町農業協同組合	粟屋　安高団兵衛	表に「32．6．28来ル」とあり	封筒	1	33-1、2を含む
C	47	33-1	〔書簡〕	昭和32	6		遠賀郡芦屋町金屋　芦屋町農業協同組合前組合長　安高岩雄	組合員　安高団兵衛	任期満了により組合長退任並びに御礼、後任に安高松次郎、同様のものがもう1通あり	一紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
C	47	33-2	〔書簡〕	昭和32	6	13	芦屋町農業協同組合、組合長理事安高松次郎	安高団兵衛	特別配当金振込通知、貯金、各種共済事業の奨励、同様のもの、(宛名　安高りきの)1通あり	一紙	1	
C	47	34	〔書簡〕	昭和32	6	25	大庭増次	安高団兵衛	芦屋町町政施行70周年祝典参列のお礼、無事帰京、東京味噌醸造機製作所用紙使用、同所封筒使用、表に「30．6．29来ル」とあり、32年の間違カ	一紙	1	
C	47	35	〔書簡〕	昭和32	7	15夜	秋山光見	安高団兵衛	利子3000円同封、9月末までに元金10万円支払予定、日本比較法研究所用箋使用、現金書留封筒入、「32．7．19来ル」とあり	罫紙	2	
C	47	36	通知書	〔昭和31〕			折尾警察署長	芦屋町1205　安高団兵衛	自動車運転免許証、原付自転車運転許可証の臨時検査並法令講習受講の通知、表に「31．9．28来ル」とあり	葉書	1	
C	47	37	〔葉書〕	〔昭和32〕	7	17	芦屋町山鹿　三村俊蔵	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	写真の御令、蜂蜜6升御願い、表に「32．7．18来ル」とあり	葉書	1	
C	47	38	〔葉書〕	〔昭和32〕	7	15	中間町鳥森井川方　安高正義	芦屋町粟屋　安高団兵衛・母上	花屋大室先生で働くこと、引越しの件、表に「32．7．26来ル」とあり	葉書	1	
C	47	39	〔案内状〕				鳥取市吉方鳥取大学農学部内日本砂丘研究会		日本砂丘研究会第4回会講演会御案内、講演申込用紙、会費未納通知同封、封筒入、表に「32．7．20来ル」とあり	一紙	2	
C	47	40	〔書簡〕	〔昭和32〕	9	3	藤吉仁太郎	安高団兵衛	暑中見舞、近況報告、現金書留封筒入、表に「32．9．4来ル」とあり	罫紙	1	
C	47	41	〔書簡〕	〔昭和32〕	7	31	藤吉仁太郎	安高団兵衛	近況報告、利息1100円送付、正義のこと、現金書留封筒入、表に「32．8．1来ル」とあり	罫紙	2	
C	47	42	領収証	昭和32	8	3	鳥取市吉方鳥取大学農学部内日本砂丘研究会	安高団兵衛	昭和31年度、32年度の会費領収証、表に「32．8．13来ル」とあり	葉書	1	
C	47	43	〔葉書〕	昭和32	7	6	東京都新宿区下落合嗣子原田龍之助、妻原田登喜江	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	法名豊照院浄誉明道春円居士の49忌御礼と寸志寄贈の件、表に「32．7．11来ル」とあり	葉書	1	
C	47	44	〔葉書〕	昭和32	8	22	遠賀郡芦屋町粟屋喪主本田浩、親族総代立石猪吉ほか3名	町内粟屋 安高団兵衛	亡父喜十葬儀参列の御礼、表に「32．8．24来ル」とあり	葉書	1	
C	47	45	〔暑中見舞26通〕	昭和32			糸山旅館ほか	安高団兵衛	葉書による暑中見舞	葉書	26	
C	47	46	〔書簡〕	〔昭和32〕	8	27	畠中直塩	安高団兵衛、御内室	暑中見舞、松原の家の件、登記の変更など、封筒入、封筒表に「32．8．30来ル」とあり	罫紙	2	
C	47	47	〔書簡〕	昭和32	8	15	秋山光見	安高団兵衛	利息金3000円同封、近況報告、お盆のこと、歌4首、現金書留封筒入、日本比較法研究所用箋使用、封筒表に「32．8．18来ル」とあり	罫紙	4	
C	47	48	〔通知書〕				東京都京橋区内明石町32東邦生命保険相互会社築地別館		1955年度業績のお知らせ、封筒入、表に「32．6．22来ル」とあり	一紙	1	
C	47	49-0	〔封筒〕				故橋本欣五郎葬儀事務所葬儀委員長宮本巖	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	表に「32．7．8来ル」とあり1	封筒	1	47-49-1、2を含む
C	47	49-1	〔通知書〕	昭和32	7	7	門司市日之出町喪主 橋本信一、友人代表 荒木貞夫ほか6名、葬儀委員長 宮本巖、副委員長 小野研二		橋本欣五郎葬儀(7／10)通知	一紙	1	49-0入
C	47	49-2	〔葉書〕	昭和32	7	10	門司市日之出町橋本事務所親戚一同友人一同、葬儀執行委員長 宮本巖	安高団兵衛	橋本欣五郎葬儀お礼、表に「32．7．14来ル」とあり	葉書	1	49-0入(後で入れたものカ)
C	48	1	昭和31年度被害損失(補償を受けようとする額)額各町村各部落別明納(ママ)内訳書						昭和31年度粟屋における個人別農産物(胡瓜、トマト外)生産量並所得額・補償額などの調べ、「完」とあり	書綴	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
C	48	2	昭和31年度被害損失（補償を受けようとする額）額各町村各部落別明納（ママ）内訳書						昭和31年度大城における個人別農産物（胡瓜、トマト外）生産量並所得額・補償額などの調べ、「完」とあり	書綴	1	
C	48	3	昭和31年度被害損失（補償を受けようとする額）額各町村各部落明納（ママ）内訳書						昭和31年度若松における個人別農産物（胡瓜、トマト外）生産量並所得額・補償額などの調べ、「検算スミ完」とあり	書綴	1	
C	48	4	昭和31年度被害損失（補償を受けようとする額）額各町村各部落別明納（ママ）内訳書						昭和31年度鬼津における個人別農産物（胡瓜、トマト外）生産量並所得額・補償額などの調べ、「完」とあり	書綴	1	
C	48	5	昭和31年度被害損失（補償を受けようとする額）額各町村各部落別明納（ママ）内訳書						昭和31年度尾崎における個人別農産物（胡瓜、トマト外）生産量並所得額・補償額などの調べ、「完」とあり	書綴	1	
C	48	6	昭和31年度被害損失（補償を受けようとする額）額各町村各部落別明納（ママ）内訳書						昭和31年度尾崎における個人別農産物（胡瓜、トマト外）生産量並所得額・補償額などの調べ、「計記入スミ完」とあり	書綴	1	
C	48	7	昭和32年度被害損失（補償を受けようとする額）額各町村各部落別明細内訳書						昭和32年度栗屋における個人別農産物（胡瓜、トマト外）生産量並所得額・補償額などの調べ、「完」とあり	書綴	1	
C	48	8	昭和32年度被害損失（補償を受けようとする額）額各町村各部落明細内訳書						昭和32年度若松における個人別農産物（胡瓜、トマト外）生産量並所得額・補償額などの調べ、「完」とあり	書綴	1	
C	48	9	昭和32年度被害損失（補償を受けようとする額）額各町村各部落別明細内訳書						昭和32年度鬼津における個人別農産物（胡瓜、トマト外）生産量並所得額・補償額などの調べ、「完」とあり	書綴	1	
C	48	10	昭和32年度被害損失（補償を受けようとする額）額各町村各部落別明納（ママ）内訳書						昭和32年度尾崎における個人別農産物（胡瓜、トマト外）生産量並所得額・補償額などの調べ、「完」とあり	書綴	1	
C	48	11	昭和32年度被害損失（補償を受けようとする額）額各町村各部落別明納（ママ）内訳書						昭和32年度糠塚における個人別農産物（胡瓜、トマト外）生産量並所得額・補償額などの調べ、「完」とあり	書綴	1	
C	48	12	昭和31年度補償を受けようとする金額（各個人別明細額）各部落別集計表						各部落（粟屋、大城、若松、鬼津、尾崎、糖塚）における個人の農産物（胡瓜、トマト外）ごとの補償金額明細集計表、「完」とあり	書綴	1	
C	48	13	昭和32年度補償を受けようとする額（各個人別明細額）各部落別集計表						各部落（粟屋、大城、若松、鬼津、尾崎、糖塚）における個人の農産物（胡瓜、トマト外）ごとの補償金額明細集計表、「完」とあり	書綴	1	
C	48	14	昭和33年度補償を受けようとする金額（各個人別明細額）各部落別集計表						各部落（粟屋、大城、若松、鬼津、尾崎、糖塚）における個人の農産物（胡瓜、トマト外）ごとの補償金額明細集計表、「完」とあり	書綴	1	
C	48	15	昭和34年度補償を受けようとする金額（各個人別明細額）各部落別集計表						各部落（粟屋、大城、若松、鬼津、尾崎、糖塚）における個人の農産物（胡瓜、トマト外）ごとの補償金額明細集計表、「完」とあり	書綴	1	
C	48	16	昭和27～29年三箇年平均一箇年分の所得額（各個人別明細額）各部落別集計表						各部落（粟屋、大城、若松、鬼津、尾崎、糖塚）における個人の農産物（胡瓜、トマト外）ごとの所得額明細集計表、「完」とあり、赤鉛筆で「昭和31年度」とあり	書綴	1	
C	48	17	昭和27～29年三ヶ年平均一ヶ年分の所得額（各個人別明細額）各部落別集計表						各部落（粟屋、大城、若松、鬼津、尾崎、糖塚）における個人の農産物（胡瓜、トマト外）ごとの所得額明細集計表、「完」とあり、赤鉛筆で「昭和32年度」とあり	書綴	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
C	48	18	昭和27～29年三ヶ年平均一ヶ年分の所得額（各個人別明細額）各部落別集計表						各部落（粟屋、大城、若松、鬼津、尾崎、糖塚）における個人の農産物（胡瓜、トマト外）ごとの所得額明細集計表、「完」とあり、赤鉛筆で「昭和33年度」とあり	書綴	1	
C	48	19	昭和27～29年三ヶ年平均一ヶ年分の所得額（各個人別明細額）各部落別集計表						各部落（粟屋、大城、若松、鬼津、尾崎、糖塚）における個人の農産物（胡瓜、トマト外）ごとの所得額明細集計表、「完」とあり、赤鉛筆で「昭和34年度」とあり	書綴	1	
C	48	20	昭和33年度被害損失（補償を受けようとする額）額各町村各部落別明納（ママ）内訳書						鬼津部落内における個人の農産物（胡瓜、トマト外）ごとの生産量並所得額・補償額明細集計表、「完」とあり	書綴	1	C48-20～26はクリップで1とじ（つづっていたひもがはずれている）
C	48	21	昭和31年度所得額（各個人別明細額）各部落別集計表						各部落（粟屋、大城、若松、鬼津、尾崎、糖塚）における個人の農産物（胡瓜、トマト外）ごとの昭和31年度所得額明細集計表、「完」とあり、赤鉛筆で「昭和31年度」とあり	書綴	1	
C	48	22	昭和32年度所得（各個人別明細額）各部落別集計表						各部落（粟屋、大城、若松、鬼津、尾崎、糖塚）における個人の農産物（胡瓜、トマト外）ごとの昭和32年度所得額明細集計表、「完」とあり、赤鉛筆で「昭和32年度」とあり	書綴	1	
C	48	23	昭和33年度所得額（各個人別明細額）各部落別集計表						各部落（粟屋、大城、若松、鬼津、尾崎、糖塚）における個人の農産物（胡瓜、トマト外）ごとの昭和33年度所得額明細集計表、「完」とあり、赤鉛筆で「昭和33年度」とあり	書綴	1	
C	48	24	昭和34年度所得額（各個人別明細額）各部落別集計表						各部落（粟屋、大城、若松、鬼津、尾崎、糖塚）における個人の農産物（胡瓜、トマト外）ごとの昭和34年度所得額明細集計表、「完」とあり、赤鉛筆で「昭和34年度」とあり	書綴	1	
C	48	25	昭和31年度被害損失（補償を受けようとする額）額各町村各部落別明細内訳書						芦屋町、遠賀村、岡垣村の各部落別、農産物（胡瓜、南瓜外）生産量並所得額・補償額の明細・内訳	一紙	6	
C	48	26	昭和33年度被害損失（補償を受けようとする額）額各町村各部落別明細内訳書						大城、尾崎、粟屋、鬼津、部落における個人の農産物（胡瓜、トマト外）ごとの生産量並所得額・補償額明細集計表	書綴	1	C48-20と関連カ、綴りひもがはずれている
C	48	27	昭和34年度被害損失（補償を受けようとする額）額各町村各部落別明細内訳書						粟屋部落内における個人の昭和34年度農産物（胡瓜、トマト外）生産量並所得額・補償額明細内訳書、赤鉛筆で「34年度粟屋完」とあり、C48ー27～32はクリップ一とじ	書綴	1	
C	48	28	昭和34年度被害損失（補償を受けようとする額）額各町村各部落別明細内訳書						大城部落内における昭和34年度農作物（胡瓜、トマト外）生産量並所得額・補償額明細内訳書、赤鉛筆で「34年度大城　完」とあり	書綴	1	
C	48	29	昭和34年度被害損失（補償を受けようとする額）額各町村各部落別明細内訳書						若松部落内における昭和34年度農作物（胡瓜、トマト外）生産量並所得額・補償額明細内訳書、赤鉛筆で「昭和34年度若松完」とあり	書綴	1	
C	48	30	昭和34年度被害損失（補償を受けようとする額）額各町村各部落別明納（ママ）内訳書						鬼津部落内における昭和34年度農作物（胡瓜、トマト外）生産量並所得額・補償額明細内訳書、赤鉛筆で「34年度鬼津　完」とあり	書綴	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
C	48	31	昭和34年度被害損失（補償を受けようとする額）額各町村各部落別明細内訳書						尾崎部落内における昭和34年度農作物（胡瓜、トマト外）生産量並所得額・補償額明細内訳書、赤鉛筆で「34年度尾崎　完」とあり	書綴	1	
C	48	32	昭和34年度被害損失（補償を受けようとする額）額各町村各部落明納（ママ）内訳書						糖塚部落内における昭和34年度農作物（胡瓜、トマト外）生産量並所得額・補償額明細内訳書、赤鉛筆で「34年度糖塚　完」とあり	書綴	1	
C	48	33	昭和33年度被害損失（補償を受けようとする額）額各町村各部落別明細内訳書						若松部落内における昭和33年度農作物（胡瓜、トマト外）生産量並所得額・補償額明細内訳書、赤鉛筆で「33年度若松　完」とあり、48-33、34はクリップで一とじ	書綴	1	
C	48	34	昭和33年度被害損失（補償を受けようとする額）額各町村各部落別明納（ママ）内訳書						糖塚部落における昭和33年度農作物（胡瓜、トマト外）生産量並所得額・補償額明細内訳書、赤鉛筆で「33年度糠塚　完」とあり	書綴	1	
C	48	35	〔新聞紙〕						48-1～34を包む包紙として利用	新聞紙	2	
C	48	36	〔風呂敷〕						ビニール製の風呂敷（東京のものカ）	風呂敷	1	48-1～35を包む、表に「防風林被害」とあり
C	49		〔家業実施表綴〕	大正9			福岡県遠賀郡蘆屋大字蘆屋　安高団兵衛		4年分家業の詳細な記録、裏表紙に「大正9年以降八幡下肥及雑肥料採収統計表」とあり	書冊綴	1	（13年、14年、15年）
C	50		晴曇雨雪統計表	皇紀2580〔大正9庚申〕以降			福岡県遠賀郡蘆屋町大字蘆屋字粟屋1205番地　安高団兵衛		大正9年、昭和10年、昭和30年、31年、32年の天気の統計、表に「201」とあり	書冊綴	1	
C	51	1	〔封筒〕				民主公論社	安高団兵衛	「（33．5．19来ル）」との註記あり	封筒	1	C51-2～9を封入
C	51	2	小学校のうつりかわり						紙芝居か、C51-1に封入	一紙	8	
C	51	3	昭和37年度第拾五回通常総会提出議案				芦屋町農業協同組合		C51-1に封入	書冊	1	
C	51	4	昭和35年度第拾参回通常総会提出議案				芦屋町農業協同組合		開催通知を添付、C51-1に封入	書冊	1	
C	51	5	昭和32年度第拾回通常総会提出議案				芦屋町農業協同組合		C51-1に封入	書冊	1	
C	51	6	芦屋新報　第82号	昭和33	3	5	芦屋新報社		C51-1に封入	書冊	1	
C	51	7	筑紫	昭和33			財団法人福岡県海外協会	安高国(ママ)兵衛	帯封あり、第60号、61号、C51-1	新聞	2	
C	51	8	筑紫　第六十五号	昭和33	6	20	財団法人福岡県海外協会	安高国(ママ)兵衛	帯封あり、C51-1に封入	新聞	1	
C	51	9	第三十回国会衆議院商工委員会議録第六号	昭和33	10	21	衆議院事務局（衆議院議員渡辺本治）	安高団兵衛	帯封あり、C51-1に封入	新聞	1	
C	52		農業作物別耕作明細表（第一部）				福岡県遠賀郡芦屋字粟屋1205番地　安高団兵衛		大正10年～11年の水田稲作一覧表など、表紙裏に「昭和7年家業日誌勤労表」とあり	書冊綴	1	
C	53		昭和三十五年十月　一、勅題『若』 芦屋水茎社うた会				安高団兵衛		和歌9首、封筒あり	一紙	10	
C	54	1	〔葉書〕	昭和35	10	30	渡辺本治	安高団兵衛	衆議院議員選挙立候補の挨拶状	葉書	1	年月日は消印
C	54	2	新聞	昭和31	12	18			「朝日新聞」2、「毎日新聞」1、「西日本新聞」2、「芦屋新報」1	新聞	6	（～同32年1月31日）
C	54	3	〔雑〕						祝儀袋、ビラ2枚（1枚にメモあり）、封筒等		7	
C	55	1	〔封筒〕				民主公論社	安高団兵衛	「（33．10．29来ル）」との註記あり、C55-2～4を封入	封筒	1	
C	55	2	〔和歌〕				安高団兵衛、皆田ユキエ		メモあり、C55-1に封入	一紙	8	
C	55	3	〔和歌〕				安高団兵衛他		八雲短歌会誌「八雲」等を含む。封筒あり、C55-1に封入	一紙	29	
C	55	4	聖使命	昭和34	9	1	財団法人世界聖典普及協会（岡沢麟太郎）	安高団兵衛	第246・283・287号、和歌のメモ、原紙、封筒あり、C55-1に封入	新聞	3	（～同35年8月1日）
C	56		〔書簡〕	昭和25	11	29	安高正義	安高団兵衛	近況報告、封筒あり	罫紙	3	
C	57	1	御仏前				安高団兵衛			封筒	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
C	57	2	理事会開催について	昭和35	9	1	芦屋町身体障害者福祉協議会長　畑辺半次郎	安高リキノ	封筒あり	一紙	1	
C	57	3	〔書簡〕	昭和35	10	3	町役場厚生課衛生係	安高園(ママ)兵衛	レントゲン撮影の結果、精密検査を要する旨の通知	一紙	1	
C	57	4	代金引換郵便物到着通知書		9	5	芦屋郵便局	安高団兵衛	差出人は日本功労顕彰協会（東京）、代金1210円	封筒	1	
C	57	5-1	会葬御礼	昭和35	4	20	喪主　大庭高俊		喪主の父、要蔵の葬儀への会葬のお礼、5-2を封入	葉書	1	封筒入
C	57	5-2	〔葉書〕	〔昭和〕35	4	24	片山綾ヵ子	安高団兵衛	57．5-1に封入	葉書	1	
C	58		〔短歌関係書類綴〕						外務省旅券事務担当係の封筒に。封筒の表に「神崎敏子」裏に「ソーヤレシチン血管肝臓老化予防」と書きこみ有			
C	59		音楽Ⅰ（高等学校第一学年用）	昭和22	12	5発行	中等学校教科書株式会社		裏表紙に　若高1ノ7　21号永岡田鶴子　の文字有	書冊	1	昭和25年2月14日三版発行
C	60		週刊新潮　11月16日号	昭和34	11	16	新潮社			書冊	1	
C	61		岡沢麟太郎先生選　浪懸	昭和34			筑前芦屋町水茎社		歌集	竪帳	1	
C	62		民主公論　第11巻第3号	昭和35	3	21	民主公論社		表紙に「教育と憲法」「世界は米ソ競存時代」とあり	書冊	1	
C	63		同(ママ)沢麟太郎先生選　波懸	昭和34			福岡県芦屋水茎社		歌集	竪帳	1	
C	64		岡沢麟太郎先生選　浪懸	昭和34			福岡県芦屋町水茎社		歌集	竪帳	1	
C	65		明治三十五年小学校入学の同窓生集楽会関係書類綴				福岡県遠賀郡芦屋町　粟屋安高団兵衛		表紙に「昭和29年11月3日第1回集楽以降」とあり	竪帳	1	
C	66		岡沢麟太郎先生選　浪懸	昭和34			福岡県芦屋町水茎社		歌集	竪帳	1	
C	67		岡沢麟太郎先生選	昭和34			福岡県芦屋水茎社		歌集	竪帳	1	
C	68		〔歌集〕							竪帳	1	
C	69		岡沢麟太郎先生選　波懸	昭和34			福岡県芦屋水茎社		歌集	竪帳	1	
C	70		岡沢麟太郎先生選　浪懸	昭和34			福岡県芦屋水茎社		歌集	竪帳	1	
C	71		岡沢麟太郎先生選　浪懸	昭和34			福岡県芦屋水茎社	安高団兵衛	歌集	縦帳	1	
C	72		岡沢麟太郎先生選　浪懸	昭和34			福岡県芦屋水茎社	安高団兵衛	歌集	縦帳	1	
C	73		昭和六年春季目録　ヤマト種苗月報	昭和6			ヤマト種苗農具株式会社大阪支店	安高団兵衛	野菜・農具などの注文販売用目録	雑誌	1	
C	74		記念帳　第壱	昭和10			安高団兵衛		来訪者の記帳、名刺あり	縦帳	1	
C	75		米空軍爆音による酪農被害補償申請に関する書類綴第2部	昭和27年度			安高団兵衛		役員会記録、酪農被害者組合総会記録など、葉書2枚、封筒1枚、新聞記事切り抜き7枚、領収書類2枚、一紙物5枚	罫紙縦帳	1	（～昭和36年度）
C	76		芦屋台地土地改良区第二回通常総会他	昭和34	10	19		安高団兵衛	第1回通常総会用書類(1)、第2回通常総会用書類(5)、議事録か(1)、第3回初老期相談会御案内(1)、封筒あり（但し、記載事項とは別物か）	書綴、一紙物	6、2	
C	77		芦屋町基地対策連絡協議会関係書類綴	昭和35	2	9以降	安高団兵衛		陳情書あり、葉書1枚、新聞切り抜き49枚、封筒3枚、地図2枚（封筒あり）	書冊	1	
C	78		記念帳　第弐	皇紀2399			福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋1205番地　安高団兵衛		来訪者の記帳、名刺あり	竪帳	1	
C	79		岡湊神社神武天皇社　神社氏子総代関係書類綴（第弐部）	昭和30以降			福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛		神社関係書簡等の綴り	竪帳	1	
C	80		日本大学関係書類綴（五男誠の分）	昭和34	3以降		筑前芦屋町　安高団兵衛		誠の書簡等綴	竪帳	1	
C	81		昭和三十一年四月下旬会計々算報告控						昭和29年12月下旬よりの芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合の会計報告、1枚目は83-2の原稿か	書綴	1	廃棄文書使用
C	82		〔会計報告〕	昭和29	10	〔1ヵ〕			昭和28年3月29日の組合の大会前後の会計報告、83-1とつながりか	一紙	1	
C	83	1	〔会計報告〕	昭和29	10	〔1ヵ〕			82とつながりか	一紙	1	
C	83	2	昭和31年4月下旬会計発表（自昭和29年12月下旬至昭和31年4月下旬間の分）				防風林伐採被害者組合			一紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
C	84	1	昭和29年12月下旬より昭和31年4月下旬までの間の会計報告				芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合		83-2と同じ内容	一紙	1	
C	84	2	〔覚〕						防風林伐採被害者組合の会計報告(第1～3回)の内容の覚	一紙	1	
C	84	3	昭和31年4月下旬会計発表(自昭和29年12月下旬至昭和31年4月下旬間の分)				防風林伐採被害者組合		83-2と同一	一紙	1	
C	84	4	〔覚〕	昭和32	1	2			防風林伐採被害者組合墾(ママ)談会の覚、年賀状の判の試し押しをした廃棄文書(1)をはさむ	罫紙	2	
C	85		家業日誌	皇紀2601〔昭和16〕辛巳			福岡県遠賀郡蘆屋町大字蘆屋字粟屋1205番地　安高団兵衛		毎日の記録	書冊綴	1	
C	86		金銭出納簿	皇紀2602〔昭和17〕壬午			福岡県遠賀郡蘆屋町大字蘆屋字粟屋1205番地　安高団兵衛		日毎の収入、支出記録、集計表あり	書冊綴	1	
C	87	1-1	家族健康他行休業統計表　附家畜(牛馬)就業統計表(第壱部)	大正9	1以降		安高団兵衛		1-1から1-17までを竪紙にて包む	書冊	1	
C	87	1-2	家族健康他行休業統計表　附家畜牛馬就業統計表第弐部	大正9	1以降		安高団兵衛		「第2部(自大正2年1月至大正15年9月)」とあり	書冊	1	
C	87	1-3	〔農作業等覚〕	〔大正11年度〕			(安高団兵衛)		野菜等の品目、作付反別、施肥、収量などの一覧表	書冊	1	(～大正13年度)手書
C	87	1-4	金銭出納簿	皇紀2592〔昭和7〕			安高団兵衛(筑前芦屋)		昭和7年1月1日より12月31日まで	書綴	1	
C	87	1-5	金銭出納簿	皇紀2595〔昭和10〕乙亥			安高団兵衛		1月1日より12月31まで	竪帳	1	
C	87	1-6	〔書簡〕		2	29	上原三郎(筑紫郡二日市町福岡県立農業試験場)	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	家業日誌ほか借用2冊を郵送にて返却するとの礼状	罫紙	1	
C	87	1-7	記帳類、内容品目表						家業(実施表)日誌など記帳類の年度を記した一覧表	一紙	2枚	ペン付
C	87	1-8	〔昭和8年野菜栽培記録〕	〔昭和8〕					甘栗南瓜、夏野菜温床苗、瓢箪南瓜、胡瓜、茄子などの栽培記録	一紙	9枚	
C	87	1-9	〔葉書〕				福岡県折尾町タクボ歯科　田窪久之亮	芦屋町粟屋　安宅(ママ)福造	年賀状。計算の落書きあり	葉書	1	
C	87	1-10	〔葉書〕	昭和18	2	18	産業組合遠賀郡部会内産業組合青年聯盟遠賀郡聯合支部長佐藤忠士	芦屋町　安高福蔵	衆議院議員選挙に際し、候補者石井徳久次の推薦状	葉書	1	
C	87	1-11	〔葉書〕			21	西川村永谷　神谷馬吉	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	氏神祭りの案内状	葉書	1	
C	87	1-12	〔覚〕						田畑の広さを記載	一紙	1	
C	87	1-13	〔葉書〕	昭和9	12	24	天台宗〇〇〇　〇〇定徳	芦屋町粟屋区　安高福蔵		葉書	1	
C	87	1-14	〔葉書〕				福岡県遠賀郡町村長会長　蘆屋町長小田利三郎	安高福蔵	計算の落書きあり	葉書	1	
C	87	1-15	〔葉書〕	昭和10	7	2	神□　仏太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高福蔵	暑中見舞い	葉書	1	
C	87	1-16	広告						富国化成肥料の広告	一紙	1	
C	87	1-17	〔葉書〕	昭和9	9	25	東京代々木93(明治神宮門脇)皇徳奉賛会本部	遠賀郡芦屋町粟屋　安高福蔵	3名軍人輩出のため表彰	葉書	1	
C	87	2	晴雲雨雲統計表	大正9以降			安高団兵衛		昭和9年まで、新聞紙(昭和39年2月3日付朝日新聞夕刊)に包む。	竪帳	1	(神武天皇即位紀元2580年庚申)
C	87	3	〔家業日記勤労表〕	昭和10					表紙なし	書綴	1	(皇紀2595年)
C	87	4	家業日誌勤労表	皇紀2597〔昭和12〕丁丑			安高団兵衛			竪帳	1	
C	87	5	家業日誌勤労表	昭和8			安高団兵衛			竪帳	1	(皇紀2593『癸酉』年)

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
C	87	6	勤務時間表	大正13以降			安高団兵衛		内容は大正14年1月～4月の表	竪帳	1	(神武天皇即位紀元2584年甲子)
C	87	7	農業経営大要	昭和2年度					家族並従業者、土地面積、経営ノ概況の3項目の一覧表	竪帳	1	(～昭和11年度)
C	87	8	家業日誌勤労表	昭和7			安高団兵衛			竪帳	1	(皇紀2592『壬申』年)
C	87	9	八幡下肥及雑肥料採取統計表	昭和8			安高団兵衛			竪帳	1	(～昭和10年(内容より))
C	87	10	八幡下肥及雑肥料採取統計表	昭和11			安高団兵衛			竪帳	1	(～昭和14年)
C	87	11	下肥溜壺各個別収支表	皇紀2597〔昭和12〕丁丑			安高団兵衛			竪帳	1	
C	87	12	就寝時間統計表	皇紀2580〔大正9庚申〕以降			安高団兵衛			竪帳	1	
C	87	13	就寝時間累年統計表	皇紀2580〔大正9〕	1	1以降	安高団兵衛			竪帳	1	
C	87	14-1	家業日誌	昭和7			安高団兵衛		家業の詳細な記録	書冊	1	神武天皇即位紀元2592『壬申』年。14-1～14-5まで竪紙で包む、紐でとじてある
C	87	14-2	家業日誌	皇紀2593癸酉〔昭和8〕			安高団兵衛		家業の詳細な記録	書冊	1	
C	87	14-3	家業実施表	昭和2以降			安高団兵衛			書冊	1	(神武天皇即位紀元2587(丁卯)年)
C	87	14-4	八幡下肥及雑肥料採取統計表	大正9以降			安高団兵衛			竪帳	1	(神武天皇即位紀元2580年庚申)
C	87	14-5	家業日誌	皇紀2595〔昭和10〕乙亥			安高団兵衛			書冊	1	
C	88		〔金銭出納簿〕	昭和2			〔安高団兵衛〕		日毎の収入、支出記録、表紙欠落、出納一覧表あり	書冊綴	1	
C	89	1	金銭出納簿	昭和8年度			福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋1205番地　安高団兵衛		日毎の収入、支出記録、裏表紙は「大正8年11月20日以降金銭出納簿」を使用、集計表あり	書冊綴	1	
C	89	2	金銭出納簿	昭和9年度			筑前芦屋　安高団兵衛		日毎の収入、支出記録、集計表あり	書冊綴	1	
C	90		家業日誌	皇紀2602壬午〔昭和17〕			福岡県遠賀郡蘆屋町大字蘆屋字粟屋1205番地　安高団兵衛		昭和17年の毎日の記録、途中、新聞切抜、来信封筒などあり	書冊綴	1	
C	91		金銭出納簿	皇紀2601〔昭和16〕辛巳			福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛		間に年間収入集計、支出集計をはさんであり	竪帳	1	
C	92		家業日誌	皇紀2603〔昭和18〕癸未			福岡県遠賀郡蘆屋町大字芦屋字粟屋1205番地　安高団兵衛		間に昭和17年度水稲作付栽培表、糞などの貸借表、昭和18年2月7日西日本新聞切り抜き、昭和18年9月29日朝日新聞、昭和18年11月20日西日本新聞、貴船神社奉納子供角力寄附芳名他はさんであり	竪帳	1	
C	93		金銭出納簿	皇紀1600〔昭和15〕庚辰			安高団兵衛		間に年間収入集計、支出集計との1袋、領収書6点、メモ10点をはさんであり	竪帳	1	
C	94		金銭出納簿	昭和6			安高団兵衛		間に昭和7年金銭出納簿(未完成)をはさんであり	竪帳	1	
C	95		金銭出納簿	昭和4・5			安高団兵衛		請求書、メモ2枚、ちらしが挟んであり	竪帳	1	
C	96		家業日誌	皇紀2604〔昭和19〕甲申			安高団兵衛		昭和19年2月11日西日本新聞、昭和19年9月11日毎日新聞切り抜き、昭和19年11月19日毎日新聞	竪帳	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
C	97	1	金銭出納簿	皇紀1599〔昭和14〕己卯			安高団兵衛		販売斡旋荷受票49枚、販売斡旋精算書、メモ1枚、葉書1通、金銭出納収入集計表、支出集計表を挟んであり	竪帳	1	
C	97	2	〔葉書〕	14	6	1	遠賀村別府　永田要七	遠賀郡芦屋町粟屋　安高福蔵様	亡父50回忌のお知らせ。計算の落書きあり。昭和19年家業日誌に挟まれていた	葉書	1	
C	98		家業日誌	皇紀2605〔昭和20〕乙酉			安高団兵衛		指名手配書、昭和21年1月5日西日本新聞切り抜き、昭和20年2月11日西日本新聞、葉書7枚、メモ14枚、楊枝1本、地図2点、さじ1本を挟んであり			
C	99		金銭出納簿	大正14			安高団兵衛		折り込みで大正14年金銭出納一覧表（ただし記載なし）	竪帳	1	（～昭和15年）
C	100		金銭出納簿	皇紀2579〔大正8〕	11	20以降	安高団兵衛		大正13年甲子年まで記載	竪帳	1	
C	101		家業日誌	皇紀2599〔昭和14〕己卯			安高団兵衛		メモ9枚、下肥溜壺別下肥収支表（昭和14～20年）入り	竪帳（ほどけ）	1	
C	102		家業日誌	皇紀2597〔昭和12〕丁丑			安高団兵衛		家業の詳細な記録、新聞切り抜きあり	竪帳	1	
C	103		金銭出納簿	昭和13			安高団兵衛		金銭出納の詳細な記録	竪帳	1	
C	104		金銭出納簿	大正8	11	20以降	安高団兵衛		表紙のみ	1紙	1	
C	105		家業日誌	皇紀2598〔昭和13〕戊寅			安高団兵衛		家業の詳細な記録、新聞の切り抜きあり	竪帳	1	
C	106		金銭出納簿	昭和11			安高団兵衛		金銭出納の詳細な記録	竪帳	1	
C	107		昭和弐年（神武天皇即位紀元弐千五百八拾七年丁卯）金銭出納簿	昭和2			安高団兵衛		金銭出納の記録	1紙	1	
C	108		金銭出納簿	皇紀2597昭和12丁丑			安高団兵衛		金銭出納の詳細な記録	竪帳	1	
C	109		家業日誌	皇紀2597〔昭和14〕己卯			安高団兵衛		家業の詳細な記録、新聞切り抜き、写真等あり	竪帳	1	
C	110		発送文書綴	皇紀2594〔昭和9〕	10以降		福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋区町 安高団兵衛		発送した文書の控えの綴	竪帳	1	
C	111		家業日誌	皇紀2600〔昭和15〕庚辰			安高団兵衛		家業の詳細な記録、新聞切り抜き、手紙の下書、家族調査票、演説案下書			
C	111	1	〔葉書〕	昭和14	9	19	東京市四谷区明治神宮外苑霞ヶ丘口大日本青年団本部総務部編集課　加藤平太郎	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	農業体験記録の返送	1紙	1	
C	112		区長事務勤務日誌	皇紀2594〔昭和9〕甲戌	10以降		福岡県遠賀郡芦屋町粟屋区長 安高団兵衛		区長事務の詳細な記録	竪帳	1	
C	113		栗屋区記録	皇紀2594〔昭和9〕	10以降		福岡県遠賀郡芦屋町粟屋区長 安高団兵衛		栗屋地区行事、事務の詳細な記録			
C	114		家業日誌	昭和3			安高団兵衛		家業の詳細な記録	竪帳	1	（～昭和6年）
C	115		栗屋区記録簿第参部（自百四拾参貢至　）	大正14	5				栗屋区の事務等の記録	書冊	1	（自大正14年5月至十正十　年　月）
C	116		栗屋区記録第五部（自参九九貢至　）	昭和6	4	21	安高団兵衛		栗屋区内の行事、会議等の記録	書冊	1	（自昭和6年4月21日至年　月　日）
C	117		栗屋区会記録簿第壱部	大正11	10以降				栗屋区会の記録	書冊	1	（自大正11年10月至大正13年2月）
C	118		被表彰事項				安高団兵衛		被表彰事項の列記、前半に日記苦心談あり	書冊	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
C	119		栗屋区記録簿第弐部	大正13	10以降				栗屋区内の案件、行事等の記録	書冊	1	(自大正13年3月至大正14年5月)
C	120		金銭出納簿	皇紀2594	10以降		安高団兵衛		金銭出納の詳細な記録	書冊	1	(昭和9年以降)
C	121		家業日誌	皇紀2594〔昭和9「甲戌」〕			安高団兵衛		家業の詳細な記録、新聞切り抜き、広告あり	書冊	1	
C	122		来文書綴	皇紀2594〔昭和9〕	10以降		福岡県遠賀郡芦屋町栗屋区町 安高団兵衛		来文書の写し	書冊	1	
C	123		農業作物別耕作明細表				安高団兵衛		昭和9～20年の記録、作表用のメモ、「御出征ヲ祝シ御武運長久ヲ祈リ奉ル」と書いた封筒等を含む	縦帳	1	
C	124	1	為になる面白い本	昭和10	4より		安高藤吉		農作物の栽培法についての覚	書冊	1	
C	124	2	農業作物別耕作明細表						昭和2年度～9年度、各種農作物栽培表、メモを含む	書冊	1	
C	125		〔封筒〕				福岡高等裁判所	安高団兵衛	表に特別送達、とあり。封筒のみ	封筒	1	
C	126		〔ステッカー〕		10	20	福岡県		道路愛護日のステッカー、直径4cmの円状 朱色	一紙	2	
C	127		〔葉書〕	昭和33	1	1	塚原たよ子	安高団兵衛	年賀状(33．1．1来ル)とあり	葉書	1	
C	128		〔書簡〕	昭和33	11	18	香山清寿郎、香山和寛	安高団兵衛	秀子の件に関する依頼、封筒に(33．11月21日来ル)とあり	罫紙1	1	封筒入
C	129		〔葉書〕	昭和33	11	26	高松久宣、光明寺住職瓜生幸俊	栗屋安高団兵衛	高松種雄の葬儀における供物を光明寺に寄附したいという案内	葉書	1	
C	130		〔一紙〕						映画広告(芦屋中央映劇)うらに香山家再会の件などのメモあり		1	
C	131		〔封筒〕	昭和30	4	25	福岡県遠賀郡芦屋町役場　小野福家(フクエ)	安高団兵衛	封筒のみ、至急　とあり	封筒	1	
C	132		9月分ご使用量お知らせ	昭和33	9		九州電力株式会社		33年9月分電気使用料のお知らせ。うらにメモあり	一紙	1	
C	133		〔葉書〕	昭和33	7	10	東京都千代田区神田一ツ橋2丁目9番地ノ7旅館一ツ橋寮33号室 安高団兵衛	安高藤吉、安高りきの、安高チヅ子、其他御一同	予定の旅館を変えたこと、東京事務所訪問の件、今後農林省、調達庁へ行く件を家族に書き送っている	葉書	1	
C	134		〔書簡〕	昭和33	8	3	熊本県天草郡　片山あや子	福岡県遠賀郡芦屋町栗屋　安高団兵衛	農業の話、子供が生まれた知らせ	罫紙	2	封筒入
C	135		〔葉書〕	昭和33	10	10	東京都千代田区神田一ツ橋2ノ9 旅館一橋寮10号室　安高団兵衛	安高藤吉、安高リキノ、安高千鶴子	上京中の様子、東京での運動予定をしらせる葉書、保正の書類依頼の確認	葉書	1	
C	136		〔出納控〕						10日間の出納表と、お金の請求のメモ	一紙	1	
C	137		〔葉書〕	昭和33	7	9	安高団兵衛	安高藤吉、安高りきの、チヅ子	上京途中の様子を記した葉書、表に、ちくしにて　とあり	葉書	1	
C	138		〔封紙〕	昭和33	8	18	畑地かんがい研究会	福岡県遠賀郡芦屋字栗屋　安高団兵衛	封のみ	一紙	1	
C	139		仕切書	昭和33	10	22	北九州青果株式会社遠賀営業所		宛名のところに？とあり	一紙	1	入力不能
C	140		〔短歌〕						夕されば涼しき風の通ひきてひるの暑さも忘られにけり	一紙	1	
C	141		〔絵葉書〕						帆柱ケーブルの絵葉書1セット	絵葉書	6	
C	142		相談課廻し					安高団兵衛	荷札		1	
C	143	1	〔封筒〕				福岡県直方財務事務所	遠賀郡芦屋町1205　安高藤吉	C143-2、3を封入	封筒	1	
C	143	2	〔書簡〕	昭和33	11	5	秋山光一(東京都練馬区下石神井2ノ1108)	福岡県遠賀郡芦屋町芦屋　安高団兵衛	翌年の参院選の事前の運動に関して、(33．11．7来ル)とあり	罫紙	1	封筒入
C	143	3	差押解除書	昭和33	7	28	福岡県直方財務事務所長	安高藤吉	滞納による財産差押の解除通知	一紙	1	
C	144		〔葉書〕	昭和30	10		明治神宮社務所	福岡県遠賀郡蘆毛町大字蘆屋1205　安高団兵衛	例祭奉祝行事の案内、(30．10．28来ル)とあり	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
C	145		〔書簡〕	昭和30	12	15	安高リキノ(福岡県遠賀郡芦屋町粟屋)	東京都千代田区麹町1ノ12福岡県東京事務所内第14号室　安高団兵衛	悪いなら早く帰りなさい、という内容、宛名は代筆か、(30．12．17午后5時来ル)とあり	罫紙	1	封筒入
C	146		〔書簡〕	昭和31	8	20	安高団兵衛(山口県長門市俵山温泉正川通り糸永旅館7号室)	安高藤吉、りきの、千鶴子、保正、誠、上、他御一同	湯治に来ている俵山からの近況報告	一紙	1	封筒入
C	147		〔書簡〕	昭和30	12	15	安高団兵衛(東京都千代田区麹町1ノ12福岡県東京事務所内)	安高藤吉、りきの、千鶴子、外御一同	補償金、排水路工事に関する交渉の状況と近況報告、速達	罫紙	4	封筒入
C	148		〔書簡〕	昭和31	8	21	安高団兵衛(山口県長門市俵山温泉糸永旅館第7号室)	安高藤吉、安高千鶴子、安高リキノ、外御一同	湯治先から近況報告(31．8．23来ル)とあり	一紙	1	封筒入
C	149		〔葉書〕	〔昭和30〕	12	8	安高団兵衛(東京都千代田区麹町1ノ12福岡県東京事務所内)	安高藤吉、千鶴子、りきの、外御一同	着京のしらせ、速達	葉書	1	
C	150		〔電報送達紙〕	〔昭和19〕	〔3〕	〔3〕	マサヨシ	アタカダンベエ	「四ヒアニメンカイタノムマサヨシ」安高正義カ	一紙	1	
C	151		〔葉書〕	昭和30	12	11	安高団兵衛(東京都千代田区麹町1ノ12福岡県東京事務所内第14号室)	安高藤吉、りきの、千鶴子、外御一同	東京での調達庁との交渉の模様と保正のこと、病気のことなど、速達	葉書	1	
C	152		〔葉書〕	昭和31	8	17	安高団兵衛(山口県長門市俵山温泉糸永旅館第7号室)	安高藤吉、りきの、千鶴子、他御一同	俵山に着いたという報告、台風について(31．8．19来ル)とあり	葉書	1	
C	153		御慶典記念	大正14	初夏		牧山耕蔵		慶典記念の大正天皇、皇后の写真の複写	葉書	1	
C	154		〔書簡〕	昭和31	8		安高りきの	山口県長門市俵山温泉　安高団兵衛	近況を報告する千鶴子の手紙と、日本大学工学部後援会の総会案内を同封、(31．8．21来ル)とあり	罫紙2 一紙1		封筒入
C	155		〔書簡〕	〔昭和31〕	〔8〕	〔11〕	あや子	安高団兵衛	帰郷の連絡	罫紙	1	封筒入
C	156		〔絵葉書〕	〔昭和31〕	〔7〕	〔17〕	広渡博(ハワイ島ヒロ市)	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	ハワイからのエアメイル、(31．7．17来ル)とあり	葉書	1	
C	157		〔切手台紙〕						金の星未亡人招待10円義金シールと、お年玉郵便切手の台紙			
C	158		〔礼状〕	昭和29	8	16	安高団兵衛		亡父の初盆に来訪した人々への礼状、印刷、未使用	葉書	5	
C	159		〔葉書〕	〔昭和31〕	〔1〕	〔5〕	山時隆信(月刊明鏡)	防風林伐採被害者組合組合長安高岩雄	安高岩雄をたたえる内容	葉書	1	
C	160		復活請求書				日本生命保険相互会社小倉支社	安高藤吉、安高正義	契約復活の為の払込用紙		2	
C	161		復活請求書				日本生命保険相互会社小倉支店	安高隆盛	契約復活の為の振込用紙		1	
C	162		〔手紙〕				りきの	安高	誠の先生に会う様頼んだ手紙、団兵衛宛か	罫紙1	1	
C	163		〔電報〕				安高藤吉	アサエ	シジュ(カ)ツ4ガツ10ヒゴロスルトウキチ、とある、うらに漢詩と出納メモあり	一紙	1	
C	164		〔書簡〕	〔昭和31〕	10	10	□□綾子	安高団兵衛	写真の礼及びお願い、(31．10．9来ル)とあり	罫紙	1	封筒入
C	165		〔案内〕	昭和31	10	3	遠賀郡芦屋町立芦屋小学校長川原勝	安高団兵衛	運動会のお知らせ	一紙	1	封筒入
C	166		〔封筒〕				日本大学工学部後援会創立発起人会	安高団兵衛	封筒のみ	封筒	1	
C	167		〔電報〕				安高団兵衛	アタカシゲジロ	「2ガツ7ヒホオジスルヒルマエキテクレ」とあり	一紙	1	
C	168		お願い						郵便貯金についての要望意見、利用者実態調査用紙	一紙	1	
C	169	1	〔書簡〕	〔昭和30〕	〔10〕	〔3〕	広渡卯次郎カ	安高団兵衛	近況報告と娘の道子の件	一紙	1	
C	169	2	〔書簡〕	昭和30	12	11	安高団兵衛	広渡□□□	C169-1に対する返事か	罫紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
C	170		〔電報〕	〔昭和30〕	〔12〕	〔18〕	ア ダン	アタカトウキチ	19日21時半の折尾駅着を連絡、安高団兵衛カ	一紙	1	
C	171		明治三十五年尋常小学校入学・明治三十九年尋常小学校入学・同窓生集樂会合第二回記念写真	昭和30	11	3			集合写真の人物名及び住所、生年	一紙	1	
C	172		〔控〕	昭和30	10	1	安高団兵衛	原田春実	手紙の下書き、廃紙使用、金策の件	一紙	1	
C	173		〔電報〕				アタカ			一紙	1	
C	174		〔電報〕				安高岩雄（東京都千代田区麹町1ノ12福岡県東京事務所）	ミハラアサヲ	大蔵省との交渉に入るので上京を要請	一紙	1	
C	175	1	〔入会案内〕	昭和33	9		鹿島守之助後援会		入会申込の葉書を含む、C175-2に封入	一紙	2	
C	175	2	〔書簡〕	〔昭和33〕	10	30	秋山光一	安高団兵衛	後援会入会依頼	罫紙	1	封筒入
C	175	3	〔葉書〕	〔昭和33〕	11	12	秋山光一	安高団兵衛	依頼の件に対するお礼、C175-2に封入	葉書	1	
C	176		〔切符〕	16	4	10カ			参宮急行電鐵 宇治山田より八木・西大寺経由 奈良電 京都ゆき、裏に 宇治山田驛発行 とあり		1	
C	177		家業日誌	皇紀2596〔昭和11〕			安高団兵衛		新聞の切り抜き数点及び秋山光清からの書簡(4)等を含む	書冊	1	
D	1		和歌	昭和33	11	2	団兵衛		三原氏の南米行きの壮会会に際しての歌、裏にも歌あり	1紙	1	
D	2		〔葉書〕	昭和13	元旦		遠賀郡遠賀村別府村会議員 永田要蔵	遠賀郡芦屋町 安高福蔵、団兵衛宛	新年のあいさつ	葉書	1	
D	3		〔葉書〕	昭和13	1	1	八幡市水道町3丁目 早川佐平	遠賀郡芦屋町栗屋 安高団兵衛	新年のあいさつ	葉書	1	
D	4		二宮尊徳夫人	大正11	6		名古屋市中区下茶屋町41番地子宮病血の道の良薬 龍王湯本家 長谷川半兵衛作		二宮尊徳夫人の小伝、印刷物	一紙	1	
D	5		詩						近い処でもー	罫紙	4	
D	6		〔葉書〕	昭和15	8	22	陸軍歩兵中尉 有吉有	芦屋町栗屋1205 安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
D	7		〔葉書〕		7	24着	満州国黒河省神武毛 入江部隊川口部隊石井隊 本田国雄	福岡県遠賀郡芦屋町栗屋 安高団兵衛	暑中見舞い、軍事郵便	葉書	1	
D	8		〔葉書〕	昭和15	8		朝鮮成北昭川郡古面馬乳洞 日毛緬羊牧場 清原勇次郎	福岡県遠賀郡芦屋町 安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
D	9		〔葉書〕	昭和□	8	20	岡垣村戸切 石田善四郎	遠賀郡芦屋町栗屋 安高団兵衛	初盆供物のお礼	葉書	1	
D	10		〔葉書〕	昭和15	8	12	東京市豊島区目白町3丁目3522番地 ヤマト種苗農具株式会社	福岡県遠賀郡芦屋町栗屋 安高団兵衛	注文書	葉書	1	
D	11		〔葉書〕	昭和15	8	15	遠賀村大字浅木 村田三郎	郡下芦屋町栗屋 安高団兵衛	暑中見舞いと、仏前供物のお礼	葉書	1	
D	12		〔葉書〕	昭和15	7	24	芦屋町 倉垣茂雄	芦屋町栗屋 安高団兵衛	鶏の肥料を渡す、ワラと玉ネギを持ってきてほしい	葉書	1	
D	13		〔葉書〕		7	25	北支派遣軍平内部隊氣付、此ノ木部隊高乃隊 入江初夫	福岡県遠賀郡芦屋町栗屋 安高団兵衛	暑中見舞い、軍事郵便	葉書	1	
D	14		〔葉書〕				北支派遣軍第一野戦局気付藤野部隊 広渡治身	福岡県遠賀郡芦屋町栗屋 安高団兵衛	暑中見舞い、軍事郵便	葉書	1	
D	15		〔封筒〕	16	12	5	芦屋町軍友会	安高団兵衛		封筒	1	封筒のみ、(16. 12. 5日来ルとあり)
D	16		軍隊手帳						メモ、農林特志隊員証明書、公務員旅行証明書、モールス信号表、身分証明書、軍隊手帳入れに入っている			
D	17		富士定期預金証書						裏に文通交際発信受信月日表	一紙	1	
D	18		短歌雑誌稚松 第八巻第十二号	昭和36	12	25発行	稚松短歌会			雑誌		
D	19		国誉の両面洋罫紙十二行						表紙のみ	一紙	1	
D	20		浜木綿	昭和37	1	30発行	(編集人)藤本春秋子			雑誌	1	
D	21		〔粟屋世帯書上げ〕							罫紙	32	閲覧不可

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
D	22		就寝時間累年統計表	皇紀2580〔大正9庚申〕以降			安高団兵衛			一紙	1	
D	23	1	岡沢麟太郎先生選(一)うた(十七首)	昭和40	5	9	あしや水くきうた会			書綴	1	
D	23	2	岡沢先生選(二)自由題(十八首)	昭和40	5	9	あしや水くきうた会		自由題の和歌を18首記載	書綴	1	
D	23	3	塚原先生選(1)上水道(十六首)	昭和40	5	9	あしや水くきうた会		上水道を題にして和歌を16首記載	書綴	1	
D	23	4	塚原先生選(2)硯(十五首)	昭和40	5	9	あしや水くきうた会		硯を題にして和歌を15首記載	書綴	1	
D	23	5	塚原先生選(3)自転車(十八首)	昭和40	5		あしや水くきうた会		自転車を題にして和歌を18首記載	書綴	1	
D	23	6	塚原先生選(4)折にふれて	昭和40	5	9	あしや水くきうた会		折にふれてを題にして和歌を17首記載	書綴	1	
D	23	7	塚原先生選(5)鋏(十五首)	昭和40	5	9	あしや水くきうた会		鋏を題にして和歌を15首記載	書綴	1	
D	23	8	塚原先生選(6)うた(十七首)	昭和40	5	9	あしや水くきうた会		うたを題にして和歌を17首記載	書綴	1	
D	23	9	塚原先生選(7)郵便(十七首)	昭和40	5	9	あしや水くきうた会		郵便を題にして和歌を17首記載	書綴	1	
D	23	10	塚原先生選(8)自由題(十八首)	昭和40	5	9	あしや水くきうた会		自由題で和歌を18首記載	書綴	1	
D	24		〔罫紙〕						白紙	罫紙	5	
D	25		秋山光清先生歌碑建設関係書類綴	昭和36辛丑	秋		安高団兵衛		歌碑建設に関する葉書、書簡、領収書、電報、写真など多数綴ってあり	書冊	1	
D	26		秋山光清先生歌碑建設賛助会員名簿第参号	昭和36	11				領収証控帳が挟んであり	書冊	1	
D	27		故石川町長五十年祭	昭和37	4	30	芦屋町先賢顕彰会		故石川町長の経歴と功績の概要	雑誌	6	
D	28		〔和歌集〕	昭和40	11	2	あしや水くきうた会		塚原たよ子選。各題目ごとに和歌十数首が1冊にまとめられている。紙袋に収納。	書綴	20	(～41年1月8日)
D	29		筑前蘆屋和歌の会　関係書類綴(第一部)	皇紀2614〔昭和29〕以降			安高団兵衛		和歌の会に関する写真、書簡、葉書、新聞などを綴ったもの	書冊	1	
D	30		〔和歌集〕	昭和40	9		あしや水くきうた会		岡沢麟太郎、塚原たよ子選。各題目ごとに十数首の和歌を1冊にまとめてある。紙袋に収納	書綴	9	
D	31		〔和歌集〕	昭和41	7～8		あしや水くきうた会		一部塚原たよ子選。各題目ごとに数十首の和歌をまとめたもの。明治神宮献詠兼題もあり。紙袋に収納	書綴	10	
D	32		我が日常信條とし実行しつつある事の一部	皇紀2596	12縞		安高団兵衛			書冊	1	
D	33	1	我家之系図　(安団保存)壱	昭和39	10		安高団兵衛		芦屋町浜崎楠葉家所蔵のものを写す。振仮名は岡沢りん太郎先生。D33-1～D33-6まで袋入り	書冊	1	
D	33	2	遠賀郡芦屋浦南光院世代書(弐)				安団写			書冊	1	
D	33	3	遠賀郡芦屋浦南光院世代書(参)				安団写			書冊	1	
D	33	4	遠賀郡芦屋浦南光院世代書(四)				安団写			書冊	1	
D	33	5	遠賀郡芦屋浦南光院世代書(5)				安団写			書冊	1	
D	33	6	名刺				福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋字栗屋1205　安高団兵衛			1紙	1	
D	34		東筑高等学校関係書類綴(第弐部)東筑高校	昭和31			安高団兵衛		東筑高校新聞、朝日新聞切り抜き、学校関係書類の詳しい綴	書冊	1	五男誠入学以降の分
D	35	1-1	中央大学新聞	明治30	2	25	中央大学新聞学会		1-1により1-2、1-3を包む	新聞紙	1	活版
D	35	1-2	〔安高保正小遣い覚〕	〔昭和30〕					封書に入れ一括、父団兵衛の添書1紙を含む	一紙綴	1	
D	35	1-3	〔封筒〕	〔昭和30〕	〔3〕		九州工業大学教務課(戸畑市中原)	安高保正(遠賀郡芦屋町粟屋)	封筒のみ	封筒	1	年月は消印
D	35	2	〔書簡〕	昭和30	4	9	福岡県立東筑高校	安高保正	補習科の案内	一紙	1	印刷
D	35	3	〔書簡〕	昭和30	4	9	安高保正(東京都新宿区下落合4-2254原田春実様方)	安高団兵衛、同藤吉外一同様	東京到着の知らせと礼	罫紙	2	
D	35	4	〔書簡〕	昭和30	4	15	東京都新宿区下落合4-3252原田晴美様方　安高保正	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛外一同	学債募集のため1万円送金を望む	書簡	1	
D	35	5	〔書簡〕	昭和30	3	17	福岡県遠賀郡芦屋町　安高千鶴子、リキノ	福岡県千代田区麹町1ノ12福岡県東京事務所19号室　安高団兵衛、保正	九大合格発表の通知	書簡	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
D	35	6	〔書簡〕	昭和30	3	9	福岡県遠賀郡芦屋町　安高千鶴子	東京都千代田区麹町1ノ12福岡県東京事務所第2号室　安高団兵衛、保正	近況報告（天気、天草会、東筑の学芸会など）	書簡	1	
D	35	7	〔書簡〕	昭和30	1	22	東京都千代田区神田駿河台（中央大学旧西園寺邸）日本比較法研究所	福岡県遠賀郡（芦屋局区内）芦屋町栗屋　安高団兵衛	中央大学、日本大学受験関係	書簡	1	
D	35	8	〔書簡〕	昭和30	3	20	東京都千代田区神区駿河台1丁目8番地日本大学工学部	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋1205　安高保正	日本大学入学手続案内、日大三島教養部自然科学研究所設立の趣意書	書簡	1	
D	35	9	〔書簡〕	昭和30	5	3来ル	東京都新宿区戸塚町4丁目691東筑学舎　安高保正	福岡県遠賀郡芦屋町栗屋　安高団兵衛、藤吉、外一同	東筑学舎入舎に必要な書類送付願	書簡	1	
D	35	10	診察券				若松市堺町3丁目413番地市立若松病院	遠賀郡芦屋町　安高保正		一紙	1	
D	35	11	往復葉書	昭和30	5	25	折尾交通安全協会会長　三原朝雄	遠賀郡芦屋町栗屋1205　安高保正	協会の30年度総会出・欠席の連絡	葉書	1	
D	35	12	〔葉書〕	昭和30	3	3	小づちやチェーンシューズ	遠賀郡芦屋町栗屋　安高保正	靴の広告	葉書	1	
D	35	13	書留郵便物受領証（小）	昭和30	1	14引受	芦屋町栗屋　安高保正	早稲田大学教務課入学係	現金書留	一紙	1	
D	35	14	〔葉書〕	昭和31	1	26来ル	東京都新宿区戸塚町4ノ691東筑学舎内　安高保正	福岡県遠賀郡芦屋町栗屋　安高団兵衛、同りきの	近況報告（後期試験等）	葉書	1	
D	35	15	〔書簡〕	昭和31	1	12来ル	東京都新宿区戸塚町4ノ691東筑学舎内　安高保正	福岡県遠賀郡芦屋町栗屋安高団兵衛、同りきの	福岡から東京までの道中報告	書簡	1	
D	35	16	〔入学許可書等写〕	昭和30					日本大学の入学許可書、誓約書など筆写	罫紙	1	
D	35	17	〔葉書〕	〔昭和30〕	〔11〕	7夜	安高保正（新宿区戸塚町4ノ691東筑学舎内）	安高団兵衛　同藤吉　外一同	現金着の礼、文化祭、秋期ピクニックの近況報告	葉書	1	
D	35	18	〔葉書〕	〔昭和30〕	10	10夜	安高保正	安高団兵衛、同藤吉、外一同	スェーター、手袋など送附願い	葉書	1	
D	35	19	〔書簡〕	〔昭和30〕	〔10〕	〔24〕	安高保正	安高団兵衛、同藤吉外一同	送金願い、体育祭など近況報告	便箋	3枚	ペン書き
D	35	20	〔葉書〕	〔昭和30〕	〔12〕	3夜	安高保正（新宿区戸塚町4ノ691東筑学舎内）	安高団兵衛　同藤吉様	送金願い、近況報告	葉書	1	
D	35	21	〔書簡〕	〔昭和30〕	〔10〕	27夜	安高保正	安高団兵衛　同りきの外一同	手紙拝見のお礼、セーター御礼	便箋	2枚	年月は消印
D	35	22	〔書簡〕	〔明治30〕	10	6朝	安高保正	安高団兵衛（遠賀郡芦屋町山鹿三軒屋秋山光清先生気付）	前期試験など近況報告、小遣い（金銭）覚え一紙を同封	便箋	2枚	
D	35	23	〔書簡〕	〔昭和30〕	10	3夜	安高保正	安高団兵衛、同藤吉外一同	台風見舞、友人鶴田君のこと、試験など近況報告	便箋	5枚	
D	35	24	〔書簡〕	〔昭和30〕	9	10夜	安高保正	安高団兵衛、同りきの外一同	東京（東筑学舎）へ到着、見送り御礼	便箋	2枚	
D	35	25	〔書簡〕	〔昭和30〕	6	29	安高正夫（新宿区戸塚町東筑学舎内）	安高団兵衛	保正君の近況報告	便箋	2枚	
D	35	26	〔葉書〕	〔昭和30〕	〔6〕	〔30〕	原田春実（新宿区下落合4ノ2254）	安高団兵衛	東筑学舎への入舎の尋ねへの返事	葉書	1枚	
D	35	27	御通知	〔昭和30〕	〔6〕	〔27〕	日本大学世田谷教養部会計課	安高団兵衛	学債募集応募への礼状と学債券引渡通知	葉書	1	年月日は消印
D	35	28	〔葉書〕	〔昭和30〕	〔6〕	30夕方	安高保正（新宿区戸塚町東筑学舎内）	安高団兵衛、同藤吉外一同	送金への礼状、近況見舞い	葉書	1	
D	35	29	〔書簡〕	〔昭和30〕	6	27	安高保正	安高団兵衛、同藤吉	送金願い（教科書、机、椅子代）、4月7日以降金銭出納表を同封	便箋	2枚	
D	35	30	〔書簡〕	〔昭和30〕	5	13夕方	安高保正（新宿区戸塚町4ノ691東筑学舎内）	安高団兵衛　同藤吉外一同	5月8日入舎詮衡により東筑学舎入舎決定の連絡、誓約書保証人の相談、書留郵便物受領証を同封	便箋	2枚	
D	35	31	〔葉書〕	〔昭和30〕	5	3	秋山光清（山鹿）	安高団兵衛（芦屋町粟屋）	芦屋へ出かけた際の立ち寄りを願う	葉書	1	
D	35	32	〔葉書〕	〔昭和30〕	〔5〕	〔3〕	安高保正（新宿区戸塚町4ノ691東筑学舎内）	安高団兵衛、同藤吉様	戸籍抄本、その他受験のため送付願	葉書	1	年月日は消印
D	35	33	〔葉書〕	〔昭和30〕	5	5朝	安高保正	安高団兵衛、同りきの様	5月2日付手紙4日に受領。写真送付への御礼	葉書	1	
D	35	34	〔葉書〕	〔昭和30〕	5	8夜	安高保正	安高団兵衛　同藤吉外一同	東筑学舎への入舎決定の通知	葉書	1	
D	35	35	〔葉書〕	30	5	11	山鹿　秋山光清	芦屋町粟屋　安高団兵衛	雁木の件について出達の願	葉書	1	
D	35	36-1	書留郵便受領証（小）	30	5	4	芦屋町粟屋　安高団兵衛	安高保正	芦屋郵便局			
D	35	36-2	書留郵便物受領証（小）	30	6	3	粟屋　安高団兵衛	安高保正	芦屋郵便局製			

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
D	35	37	〔葉書〕	〔昭和〕30	5	13	中外企業総合研究所（東京都中央区銀座1丁目6番地）	安高団兵衛　遠賀郡	原田春実より、保正の東筑学舎入舎の詮衡方法連絡	葉書	1	
D	35	38	〔葉書〕	昭和30	5	27	新宿区戸塚町4ノ691東筑学舎　安高保正	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛、りきの	近況報告（ピクニックなど）	葉書	1	
D	35	39	〔領収書束〕	30	9	11		安高保		一紙	9	（～同年11月30日、56年1月11日～同年2月12日）
D	35	40	〔時間割表〕						高校の授業の時間割表か	一紙	2	
D	35	41	〔電報〕	昭和30	3	20		アワヤ　アタカトウキチ	「22ヒ14ジキタクスルダン」とあり、裏面に学費についてのメモあり	用紙	1	
D	35	42	第830号転出証明書	昭和30	4	8	福岡県遠賀郡芦屋町長　黒山高麿	安高保正	「写し控へ」との註記あり	罫紙	1	
D	35	43	〔家庭情況報告書〕	昭和30	5	5	福岡県遠賀郡蘆屋町大字蘆屋1205番地　安高保正		家庭情況、経済状況の報告	一紙	1	
D	35	44	新入学学生の御父兄各位に学債応募のお願い	昭和30	3	1	学校法人日本大学会頭総長呉文炳ほか	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋1205　安高団兵衛	別紙「日本大学債券申込書」、封筒あり	一紙	2	
D	35	45	〔領収証・受領証綴〕	昭和30			日本大学世田谷教養部外	安高保正	教科書代、授業料などの領収証。受領証15通	一紙	16	
D	35	46	日本大学新聞	昭和30	3	15	日本大学新聞社		入試対策、情報	新聞紙	1	
D	35	47	〔覚〕						大学入試日などのメモ	一紙	2	
D	35	48	〔封筒〕				東京都中野区打越町11番地　民主公論社	福岡県遠賀郡芦屋字粟島　安高団兵衛	「（34．1．6来ル）」との註記あり、D35-1～47を一括			
D	36	1	〔書簡〕	昭和11	12	23	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	産業組合中央会　家の光部	書簡と雑誌原稿	罫紙綴	1	
D	36	2	我が記帳種別と其記帳法	皇紀2596	5下旬		福岡県遠賀郡蘆屋町大字蘆屋字粟屋1205番地　安高団兵衛			罫紙綴	1	
D	36	3	記帳ノ種類（現在記帳シツヽアル分）	皇紀2595〔昭和10〕乙亥	10上旬		筑前芦屋町　安高団兵衛			罫紙綴	1	
D	36	4	福岡県筑上郡南吉富村出張講演要旨	昭和12	4	16			表紙に「原稿　筑前安団」とあり	罫紙綴	1	
D	36	5	国家総動員の体製（ママ）下ニ於ケル生産拡充ノ実行法		12	23				罫紙綴	1	
D	36	6	昭和拾参年六月十日時ノ記念日ニ際シ						講演原稿か	罫紙	3	
D	36	7	我が日常信條とし実行しつつある事の一部	皇紀2596	10下旬稿		福岡県遠賀郡蘆屋町大字蘆屋字粟屋1205番地　安高団兵衛		表紙のみ	罫紙	1	（同年12月下旬再書ス）
D	37		昭和三十四年十二月以降　筑前芦屋水茎社和歌の会関係書類綴（第二部）				福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛			書冊	1	
D	38		〔和歌束〕				安高団兵衛、安高りきの		袋あり	一紙	53	
D	39		民謡処世訓抜書其他				安高団兵衛か		表紙左下「筑前安団」	罫紙綴	1	
D	40		昭和三十二年十二月以降　筑前蘆屋和歌の会水茎社会費収納並会計簿				水茎社会計係			書冊	1	
D	41	1	〔封筒〕						裏に「水くき和歌詠草　40年6月7月8月入」とあり、D41-2～4を封入	封筒	1	
D	41	2	〔和歌集束〕	昭和40	8	1	あしや水くきうた会		D41-1に封入	書冊	8	
D	41	3	〔和歌集束〕	昭和40	7	11	あしや水くきうた会		D41-1に封入	書冊	12	
D	41	4	〔和歌集束〕	昭和40	6	6	あしや水くきうた会		袋あり、D41-1に封入	書冊	13	
D	42		昭和参拾年皇紀弐千六百拾五年以降　蘆屋町郷土史研究会関係書類綴（第弐部）				筑前芦屋町　安高団兵衛			書冊	1	
D	43		昭和参拾年（皇紀弐千六百拾五年）以降　蘆屋町郷土史研究会関係書類綴				大日本筑前芦屋町　安高団兵衛			書冊	1	
D	44	1	ふくおか　第五巻第五号	昭和30	5	1	福岡県知事室広報文書課		安高団兵衛の記事あり、D44-2～7をP24・25の間にはさむ	書冊	1	
D	44	2	朝日新聞　第26709号4版	昭和30	12	23	朝日新聞社		安高団兵衛の記事あり、D44-1の間にはさむ「お手柄！団兵衛さん　36年の日記」	新聞紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
D	44	3	フクニチ　第4814号	昭和34	7	21	夕刊フクニチ新聞社		安高団兵衛の記事あり、D44-4と共にD44-1の間にはさむ	新聞紙	1	
D	44	4	〔書簡〕	昭和27	12	21	安高団兵衛・りきの	広渡大兄・外御一同	来信の礼と近況報告、下書きか。D44-3と共にD44-1の間にはさむ	罫紙	1	
D	44	5	〔覚〕	昭和26	10	8	本田増往	安高	肥料等の書上げ、裏面に事蹟のメモ、「耕作権放棄届」下書きあり、D44-1の間にはさむ	一紙	1	
D	44	6	〔封紙〕				東京都千代田区隼町5番地4合資会社奥田クリーニング		D44-1の間にはさむ	一紙	1	
D	44	7	福岡農業共済情報　第7号	昭和34	10	10	福岡県農業共済組合連合会		同じものが計2部、D44-1の間にはさむ	新聞紙	2	
D	45		大戦下の最新世界地図	昭和16	12	25	朝日新聞社		爆弾と日章旗のシール、封紙あり	一鋪	1	
D	46		しきしまのみち入門帖	明治41	2下旬		筑前芦屋　安高団兵衛		自作の和歌集	書冊	1	（～昭和30年9月23日）
D	47	1	〔表紙〕						D47-2～10の表紙	一紙	1	
D	47	2	岡之水門交響楽幸町区						仮装行列の内容一覧	一紙	2	
D	47	3	はねそ祭仮装行列幸町区						内容一覧	原稿用紙綴	1	
D	47	4	八雲　昭和三十六年十一月号					りきの	短歌会誌か	綴	1	
D	47	5	〔和歌〕	昭和32	11	2			和歌15首の書上、和歌集の一部か	一紙	1	（～同33年10月下旬）
D	47	6	昭和三十九年度和歌詠題				芦屋水くき和歌の会			一紙	1	
D	47	7	〔封筒〕				粟屋　安高団兵衛	福岡県遠賀郡蘆屋町農会	新聞紙にくるむ	封筒	1	
D	47	8	学芸会プログラム						幼稚園・尋常小学校・高等小学校の学芸会か	一紙	1	
D	47	9	紀元二千六百年記念　聖地筑前蘆屋町二六会						綱領・会則・入会申込書	一紙	1	
D	47	10	〔覚〕						インタビューのメモか、福岡日日新聞号外（昭和12年4月1日付）の裏に鉛筆書き	新聞紙	1	
D	48		〔和歌録〕	昭和35	3	6			うた会で詠まれた和歌の記録	罫紙	5	
D	49	1	農業経営設計書　概況・財産台帳（様式見本写）	大正15			安高団兵衛		台帳の様式、記入方法を記載。実際の具体的数字は記載なし	書冊	1	
D	49	2	〔白紙〕						未使用	一紙	2	
D	50		遠賀郡食糧増産委員関係書類綴				安高団兵衛		遠賀郡農会よりの封筒2つ挟み込んであり	書冊	1	
D	51		〔書冊〕						アルバム帳〔カ〕。未使用	書冊	1	
D	52	1	皇紀二千六百年（昭和拾五年）入会以降　大日本赤誠会ニ関スル書類綴				福岡県遠賀郡蘆屋町大字蘆屋1205番地　安高団兵衛		表紙のみ	一紙	1	
D	52	2	太陽大日本　第百二十五号	昭和16	6	20	大日本赤誠会		手紙の下書きあり	新聞紙	1	
D	52	3	太陽大日本　第百二十七号	昭和16	7	20	大日本赤誠会			新聞紙	1	
D	52	4	白衣従軍				東京市芝区芝公園5号地　日本赤十字社		赤十字の宣伝誌か	一紙	2	
D	52	5	〔葉書〕	昭和17	2	19	天関打開期成会理事長　満井佐吉	福岡県遠賀郡芦屋町芦屋1205安高団兵衛	全国幹部大会報告	葉書	1	
D	52	6	大日本赤誠会第五回全国大会活動方針	昭和16	11	5	大日本赤誠会			書冊	1	
D	52	7	〔覚〕							竪紙	3	
D	52	8	温床栽培日誌	昭和11			安高団兵衛			書冊	1	（～昭和13年）
D	52	9	〔雑書類〕	昭和16			安高団兵衛		温床日誌・貯金局たより・芦屋小学校関係	書綴	1	
D	52	10	大日本赤誠会入会案内	昭和15			大日本赤誠会本部		大日本赤誠会創立の精神、入会志願書	折紙（印刷）	4	
D	52	11	帝国在郷軍人会時報	昭和15	11	15	軍人会館図書部		第11回明治神宮国民体育大会、冠婚葬祭の新様式等を掲載	折紙	1	
D	52	12	〔雑書類〕	昭和12			安高リキノ他		国防婦人会員安高リキノ書簡控、大日本連合青年事業団青年カード他			（～昭和14年）
D	52	13	朝日新聞	昭和16	10	18	朝日新聞西部本社		東條中将の組閣について	竪紙	1	
D	52	14	翼賛福岡	昭和16	9	30	大政翼賛会福岡県支部		協力会議について	新聞紙	1	
D	52	15	〔要人の住居所及び面談日〕	昭和27			安高団兵衛		要人の住所及び面談、電話した月日の記録	切紙	1	（～昭和28年）
D	52	16	大政翼賛の歌				筑前芦屋二六会		大政翼賛の歌	竪紙	6	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
D	52	17	〔大日本赤誠会関係〕	昭和16			大日本赤誠会芦屋分会	安高団兵衛	大日本赤誠会岡港熟員名簿、甘藷増収栽培法例会通知書　他			（～昭和19年）
D	52	18	蘆屋町軍友会第四・五回決算報告書	昭和14			蘆屋町軍友会		蘆屋町軍友会第4・5回決算報告書、領収証書	竪紙	4	（～昭和16年）
E	1		〔手帳〕	〔大正初期ヵ〕			安高団兵衛		備忘録、日記、成績表、書き取り等を含む	書冊	1	
E	2		日本地理　全　中等学校入学及初学年受験用書	明治42	1	31	杉本書房		受験用問題集	書冊	1	
E	3		〔俵山温泉入湯療養記〕	昭和24	2	27	安高団兵衛		俵山滞在中の日記、入湯記録、金銭出納帳	書冊	1	（～3月18日、同26年12月31日）
E	4		〔懐中日記〕	大正2			安高団兵衛		金銭出納帳、住所録を含む	書冊	1	
E	5		〔懐中日記〕	大正3			安高団兵衛		金銭出納表、住所録を含む	書冊	1	
E	6		〔懐中日記〕	明治45・大正元			安高団兵衛		金銭出納表、住所録を含む	書冊	1	
E	7		〔懐中日記〕	明治43			安高団兵衛		金銭出納表、住所録を含む	書冊	1	
E	8		大東京　電車・バス案内	昭和28	4	20	日本地図株式会社		電車・バスの路線案内図	一舗	1	
E	9		〔懐中日記〕	大正5			安高団兵衛		家系図、金銭出納表、住所録を含む	書冊	1	
E	10		〔手帳〕				（安高団兵衛）		河村哲治等の夢の話、数学の問題、唱歌など	書冊	1	
E	11		大正二年度特別日誌	大正2			安高団兵衛		懐中日誌にない心情の記述等	書冊	1	
E	12		特別日誌	大正3			安高団兵衛			書冊	1	
E	13		〔懐中日記〕	大正4			安高団兵衛		金銭出納表、住所録を含む	書冊	1	
E	14		〔懐中日記〕	明治44			安高団兵衛		金銭出納表、住所録を含む	書冊	1	
E	15		〔九州一周旅行日記〕	昭和24	10	6	安高団兵衛		九州一周旅行日記、横浜旅行	書冊	1	（～昭和25年）
E	16		特別日記　大正四年	大正4	1	1	安高団兵衛			書冊	1	（～12月31日）
E	17		和歌詠草写	昭和36	1		芦屋みずくきうた会		題目別の書綴、朱筆で添削あり	書綴	55	（～12月）
E	18		〔和歌綴〕	昭和34	8	21	芦屋水茎社うた会		題目別の綴、岡沢麟太郎先生選とあり	書綴	6	
E	19		〔和歌綴〕	昭和34	7	10	筑前芦屋町水茎社うた会		題目別綴、岡沢麟太郎先生選とあり	書綴	3	
E	20		〔和歌綴〕	昭和34	5、6	7	芦屋水茎社うた会		題目別綴、岡沢先生選	書綴	5	
E	21		〔和歌綴〕三、自由歌	昭和34	5		芦屋町水茎社うた会		岡沢先生選、朱筆の添削あり	書綴	1	
E	22		〔和歌綴〕一、初花	昭和34	4		芦屋水茎社うた会		朱筆の添削あり	書綴	1	
E	23		〔和歌綴〕二、謡曲	昭和34	4		芦屋水茎社うた会		朱筆の添削あり	書綴	1	
E	24		〔和歌綴〕三、自由題	昭和34	4		芦屋水茎社うた会		朱筆の添削あり	書綴	1	
E	25		〔和歌綴〕	昭和34	3	7	筑前芦屋水茎社歌会		岡沢先生選	書綴	1	
E	26		筑前芦屋水茎和歌の会関係書類綴（第参部）	昭和37	1以降		安高団兵衛		会員の書簡、新聞の切り抜き、写真等多数を含	書冊	1	（昭和39年迄）
E	27		芦屋水茎和歌会関係書類綴	昭和34	12以降		筑前芦屋町　安高団兵衛		第5部（昭和41年1月以降分）と表紙に記載	書冊	1	
E	28	1	水茎会和歌清写入	昭和40	1	6	あしや水くきうた会		塚原先生選歌集4冊有。封筒入、表に安団用と記	書冊	4	
E	28	2-1	芦屋水くき歌会詠草入						醫人社の封筒を包紙に使用	封筒	1	E28-2の包紙
E	28	2-2	〔岡沢麟太郎先生選　初夢（二十首）他、歌集九冊〕	昭和40	1	6	あしや水くきうた会	遠賀郡芦屋町金屋　江島ミナ	岡沢麟太郎先生選歌集九冊封筒入、（八幡井筒屋）	表冊	9	
E	28	2-3	〔歌集五冊（岡沢先生選）〕	昭和39	12				岡沢先生選歌集、包紙なし	書冊	5	
E	29		〔歌集（岡沢先生選）題：入学十八首〕	昭和34	3	7	芦屋水茎社うた会		歌集　昭和34年3月7日と表紙に記	書冊	1	
E	30		自由題（歌集）	昭和34	3	7	筑前芦屋町水茎社歌会		岡沢麟太郎先生選和歌18首あり	書冊	1	
E	31		野霞（歌集）	昭和34			筑前芦屋町水茎社歌会		歌題　野霞、岡沢麟太郎先生選和歌23首あり	書冊	1	
E	32		努力（歌集）	昭和34	2	7	筑前芦屋町水茎社歌会		歌題　努力、岡沢麟太郎先生選和歌16首あり	書冊	1	
E	33		自由題（歌集）	昭和34	2	7	筑前芦屋町水茎社歌会		岡沢麟太郎先生選和歌21首あり	書冊	1	
E	34		〔歌集三冊〕	昭和34	1	10	筑前芦屋町水茎社うた会		岡沢先生添削、歌題　山雪・猪・自由題	書冊	3	
E	35		水くき（歌集）	昭和40	7		あしや水くきうた会		表紙に「第参号（塚）号」とあり	書冊	1	
E	36		自由題（歌集）	昭和34	10		芦屋水茎社うた会		岡沢麟太郎先生選和歌25首あり	書冊	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
E	37		深夜虫(歌集)	昭和34	9	4	芦屋水茎社うた会		岡沢麟太郎先生選和歌14首あり、表紙に「安団」とあり	書冊	1	
E	38		自由題(歌集)	昭和35	5	8	芦屋水茎社うた会		岡沢麟太郎先生選和歌17首あり	書冊	1	
E	39		蝶(歌集)	昭和35	4	10	芦屋水茎社うた会		歌題　蝶、18首あり	書冊	1	
E	40		〔歌集(題:机)全十四首)	昭和35	4	10	芦屋水茎社うた会		表紙に昭和35年4月10日と記載	書冊	1	
E	41		〔歌集　自由題(二十三首)〕	昭和35	4	10	芦屋水茎社うた会		表紙に昭和35年4月10日と記載	書冊	1	
E	42		〔歌集　題:雲雀二十首〕	昭和35	3	6	芦屋水茎社うた会		歌集　包紙なし　表紙に年月日を記す			
E	43		〔歌集　題　年ほきの歌(十八首)〕	昭和35	12	3	芦屋水茎社うた会		岡沢先生選、あ団用と表紙に記載	書冊	1	
E	44		〔歌集　題　火鉢　二十三首〕	昭和35	12	3	芦屋水茎社うた会		岡沢先生選	書冊	1	
E	45		〔歌集　自由題　二十一首〕	昭和35	12	3	芦屋水茎社うた会		岡沢先生選	書冊	1	
E	46		〔歌集　題:秋花　三十首〕	昭和35	11	3	芦屋水茎社うた会		歌集	書冊	1	
E	47		〔歌集　題まこゝろ　十七首、自由題二十二首〕	昭和35	3	6	芦屋水茎社うた会		歌集　2冊入り	書冊	2	
E	48		〔歌集　題:願　二十五首〕	昭和35	11	3	芦屋水茎社うた会		歌集	書冊	1	
E	49		〔歌集　文化祭　十一首〕	昭和35	11		芦屋水茎社うた会		歌集	書冊	1	
E	50		〔歌集　社梅(三十首)〕	昭和35	2	5	芦屋水茎社うた会		歌集	書冊	1	
E	51		歯(歌集)	昭和35	2		芦屋水茎社うた会		歌題　歯、和歌21首あり	書冊	1	
E	52		自由題(歌集)	昭和35	2		芦屋水茎社うた会		和歌28首あり	書冊	1	
E	53		年賀状(歌集)	昭和35	1		芦屋水茎社うた会		岡沢麟太郎先生選和歌20首あり、表紙に「昭和25年1月15日着、昭和25年1月16日発」(朱印)とあり	書冊	1	
E	54		〔歌集二冊〕	昭和35	1		芦屋水茎社うた会		岡沢麟太郎先生選歌集来客、自由題、表紙に「昭和25年1月15日着　昭和25年1月16日発」とあり	書冊	2	
E	55		除夜(歌集)	昭和34	12	4	芦屋水茎社うた会		岡沢麟太郎先生選和歌14首あり、表紙に「写し」とあり	書冊	1	
E	56		自動車(歌集)	昭和34	12	4	芦屋水茎社うた会		岡沢麟太郎先生選和歌19首あり、表紙に「写し」とあり、「優賞」とあり	書冊	1	
E	57		自由題(歌集)	昭和34	12	4	芦屋水茎社うた会		岡沢麟太郎先生選和歌17首あり、表紙に「写し」とあり	書冊	1	
E	58		庭菊(歌集)	昭和34	11	1	芦屋水茎社うた会		岡沢麟太郎先生選和歌22首あり、表紙に「写し」とあり	書冊	1	
E	59		米に関する歌	昭和34	11	1	芦屋水茎社うた会		岡沢麟太郎先生選和歌15首あり、表紙に「写し」とあり、朱ペン書きで「2、3回講話聞くか歌学書御読みにならねバ上達が遅いと思ひます…」と後筆あり	書冊	1	
E	60		〔歌集三冊〕	昭和34	11	1	芦屋水茎社うた会		歌集、自由題、月出山、耳語、自由題は「写し」とあり	書冊	3	(10月、10月2日)
E	61		〔歌集二十二冊〕	昭和39	9	5	あしや水くきうた会		野萩、台風外20冊の歌集、ビニール製の袋入	書冊	22	(10月3日)
E	62		〔歌集二十冊〕	昭和39	8	1	あしや水くきうた会		岡沢先生選和歌集20冊(蝉・氷外)11、12冊の間に「亡夫近太郎妻久栄作」の清書と添削の和歌、包紙入、包紙に「水くきうた会」とあり	書冊	20	
E	63		〔歌集〕				安高団兵衛、りきの		安高団兵衛、りきの作の和歌を綴ったもの、日本医師会封筒入、便箋同封、封筒表に「水くき」とあり	書冊	1	
E	64		自由題(歌集)	昭和35	11	3	芦屋水茎社うた会		和歌22首あり	書冊	1	
E	65		勅題『若』	昭和35	10	2	芦屋水茎社うた会		岡沢先生添削22首あり、表紙に朱書で「詠進の歌ハ1首つゝ〇印つけました」とあり	書冊	1	
E	66		歌題『工場』	昭和35	10	2	芦屋水茎社うた会		岡沢先生選和歌22首あり	書冊	1	
E	67		自由題(歌集)	昭和35	10	2	芦屋水茎社うた会		岡沢先生選和歌26首あり、表紙に朱書で「全体に込入ったことを1首に詠まうとしてあるから意味が何だかわからぬ。…」と批評あり	書冊	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
E	68		初秋(歌集)	昭和35	9	2	芦屋水茎社うた会		岡沢麟太郎先生選和歌33首あり	書冊	1	
E	69		岩(歌集)	昭和35	9	2	芦屋水茎社うた会		岡沢麟太郎先生選和歌32首	書冊	1	
E	70		〔歌集　自由題〕	昭和35	9		芦屋水茎社うた会		岡沢麟太郎先生選25首　日付は表紙	書冊	1	
E	71		〔歌集　題:納涼〕	昭和35	8	7	芦屋水茎社うた会		岡沢麟太郎先生選29首あり	書冊	1	
E	72		〔歌集　題:櫛〕	昭和35	8	7	芦屋水茎社うた会		岡沢麟太郎先生選	書冊	1	
E	73		〔歌集　自由題〕	昭和35	8	7	芦屋水茎社うた会		全36首	書冊	1	
E	74		〔歌集　題:蜂〕	昭和35	7	10	芦屋町水茎社うた会		岡沢麟太郎先生選26首	書冊	1	
E	75		〔歌集　題:夕立〕	昭和35	7	10	芦屋水茎社うた会		岡沢麟太郎先生選31首	書冊	1	
E	76		〔歌集　自由題〕	昭和35	7	10	芦屋水茎社うた会		岡沢麟太郎先生選30首	書冊	1	
E	77		〔歌集　題:早苗〕	昭和35	6	10	芦屋水茎社うた会		岡沢麟太郎先生選21首	書冊	1	
E	78		〔歌集　題:鍬〕	昭和35	6	10	芦屋水茎社うた会		岡沢麟太郎先生選	書冊	1	
E	79		〔歌集　自由題〕	昭和35	6	10	芦屋水茎社うた会		岡沢麟太郎先生選	書冊	1	
E	80		〔歌集　題:菜花〕	昭和35	5	8	芦屋水茎社うた会		岡沢麟太郎先生選17首	書冊	1	
E	81		〔歌集　題:若鮎〕	昭和35	5	8	芦屋水茎社うた会		岡沢麟太郎先生選18首	書冊	1	
E	82		会報(天関打開期成会)	昭和16	9	10発行	東京市世田谷区羽根木町1863 天関打開期成会本部		綱領、会規などあり、封筒入、封筒宛名は「福岡県遠賀郡芦屋町芦屋1205　安高団兵衛様」とあり	書冊	1	
E	83		愛馬行進軍歌						6番までであり、裏面に和歌5首あり、蘆屋町立青年学校実習、地栽培表(無記入)を使用	竪紙	1	
E	84		〔賞状〕	明治39	1	1	蘆屋尋常小学校		客年中精勤につき、紙製石盤1箇雑記帳1冊賞与	竪紙	1	
E	85		〔賞状〕	明治37	1	1	蘆屋尋常小学校	第2学年　安高団兵衛	客年中精勤につき、硯石1個賞与	竪紙	1	
E	86		賞状	明治38	3	25	蘆屋尋常小学校	安高団兵衛	皆勤賞の賞状らしい。3年生のとき	竪紙	1	
E	87		〔兵営生活においての戦友との思い出の詩〕				(安高カ)		紙の表裏に書いてある。兵営生活の苦しさを著す	竪紙	1	
E	88		〔断簡〕						墨付なし	断簡	1	
E	89		高等小学八学科表解	明治41	1	20発行	大阪田中宋栄堂		高等小学校の教科の説明	書冊	1	
F	1		博多名所　博覧会御案内				〔玉屋〕		福岡で行われた博覧会のガイドブック。市内絵地図、市内及び周辺の名所案内つき	パンフレット	1	
F	2		讃岐金比羅宮の栞	昭和24	7	1	金比羅宮社務所　香川		金比羅神社のパンフレット。周辺の絵地図つき	パンフレット	1	
F	3		八幡市地図	大正10	8	10	図書撰奨大会　発売元宮本春江堂(八幡)		八幡市内の地図。包紙あり	地図	1	
F	4		汽車の旅、比叡山廻遊	昭和33	4	1発行	蘆田英祥		汽車の旅は、旅の雑誌で投稿やクイズや各地の紹介などが掲載。小型。比叡山回遊はパンフレット、出版元は不明	書冊、一紙	2	
F	5		観光唐津	昭和12	5	27	唐津毎日新聞社(唐津市)		唐津市内の観光案内	書冊	1	
F	6		四国全図	昭和26	11	10	和楽路屋編集部		四国の詳細な地図。1／362000。地図裏面に観光案内	地図	1	
F	7	1	帝国府県地図　長崎県	昭和13	5	5	和楽路屋		長崎県内の地誌。地図はなし。県内各地の歴史、名産品などを紹介	折本状	1	
F	7	2	平戸市長よりの暑中見舞	昭和36	7	30	山鹿光世	安高団兵衛	F7-1の間にはさんであった。絵葉書で、市長自らの文章はなく印刷されているのみ。個人的な言葉はない	葉書	1	
F	8		静岡県新日本分県地図	昭和28	5		日地出版(株)		静岡県の地図、裏面に静岡の説明書きあり	地図	1	
F	9		九州観光地図	昭和24	6	5	交通案内社		九州の地図、裏面に市町村名一覧表	地図	1	
F	10		神事と芸能	昭和31	5	1	福岡県神道青年会	福岡県神道青年会　福岡市浜田町	非売品。郷土芸能、民俗行事(神社中心のもの)の詳しい解説書。福岡県内	書冊	1	
F	11		労働基準法関係法令実務便覧	昭和22	10	20	国際労働法制研究所	国際図書出版(株)　東京都港区西久保	労働基準法の内容、施行規則、その他労働者設置法施行令など	書冊	1	
F	12		中央大学　昭和29年度入学式案内				中央大学		入学案内	書冊	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
F	13		帝国議会議事堂(絵葉書)	昭和14	11	2	貴族院内厚済会		袋入り8枚組の絵葉書	葉書	8枚（袋入）	(昭和14年11月2日の記念スタンプ押印)
F	14		郵便貯金案内	昭和2			郵政省能元遞信局		郵便貯金の制度の案内。格言数編有			
F	15		参拝記念絵葉書				池上本門寺		絵葉書	葉書	8枚	
F	16		警察顕彰録	昭和28	6	25	野上伝蔵	福岡県警友会	155P			
F	17		あなたにも年金を	昭和39	4	25	西川貞一	国民年金研究会　東京都	77P			
F	18		ヨミカター	昭和16	2	10	文部省	東京書籍株式会社	90P	書冊		
F	19		小学書方手本　第五学年上	昭和12	2	24	文部省	東京書籍株式会社	12P			
F	20		帰農時代	昭和21	6	20	柴田義勝	瑞穂社　東京都	210P			
F	21		随感録	昭和6	9	14	浜口雄幸	三省堂　東京市	200P			
F	22		自転車ぶし	明治42	4	20	大淵浪(編集)	駸々堂　大阪市	93P	書冊		
F	23		吉田松陰至誠の書	昭和16	6	20	和田建爾	京文社書店　東京市	340P			
F	24		万葉集選繹	昭和10	1	15	沢瀉久孝	日本文学社　東京市	288P			
F	25		惟神の礎	昭和16	11	19	紀元2600年奉祝会(編纂)	東京印刷株式会社　東京市	100P、非売品、裏表紙欠			
F	26		明治神宮	昭和37	11	25	明治神宮社務所	(株)大塚巧芸社	32P　明治神宮内苑及外苑の写真			
F	27		飯篠山城守	大正3	11	1	雪花山人	立川文明堂　大阪市	244P			
F	28		霧隠忍術漫遊記	大正5	2	10	大淵浪	駸々堂書店　大阪市	248P			
F	29		観光のあしや						芦屋町観光案内(カラー)	折紙		
F	30		日本古今孝子伝記	昭和29	7	15	入江文太郎	日本孝道普及会假事務所、小倉市	197P　手紙あり、入江ヨリまきさん江			
F	31		祭祀と事業	昭和13	4	29	男爵平沼騏一郎	修養団　東京市	16P			
F	32		当用漢字の崩し方	昭和31	4	13	吉田数見	有楽堂　奈良市	32P			
F	33		尋常小学図画	昭和7	4	11	文部省	東京書籍株式会社　東京市	25頁			
F	34		母親と子供	大正12	6	15	藤山豊	中和堂　東京市	278頁			
F	35		昭和五年度俚謡正調集	昭和6	3	20		万朝報社　東京市	133頁	書冊		
F	36		実物そのままの風味を表した　家庭料理とその実際	昭和5	10	13	朝野料理研究会	修教社書院　東京市	463頁			箱入
F	37		農家の役馬とその利用	昭和9	3	30	帝国馬匹協会	帝国馬匹協会　東京市	20頁、小冊子	書冊		
F	38	1～4	〔尋常小学校教科書〕	明治38			文部省	修文館			4	
F	38	1	小学日本歴史一	明治38	11	11	文部省	修文館　大阪市	74頁　裏表紙に「明治39年午4月芦屋町字栗屋安高団兵衛」と有り			
F	38	2	小学日本歴史二	明治38	11	12	文部省	修文館　大阪市	72頁			
F	38	3	小学地理二				文部省		表紙のみ			
F	38	4	小学日本歴史四	明治38	11	15	文部省	修文館　大阪市	裏表紙のみ			
F	39		農家簿記計算の仕方	昭和9	8	10	米倉茂俊	明文堂　東京市	100頁、カバー付			
F	40		天皇奉祀の本義　祭祀制度の再検討	昭和11	1	1	菟田俊彦	中外日報　京都市	50頁			
F	41		高等小学読本八	明治39	6	20	文部省	嵩山堂書店　大阪市	104頁			
F	42		高等小学読本七	明治39	1	28	文部省	嵩山堂書店　大阪市	92頁			
F	43		国定小学　日本歴史附図附御歴代年表及諸系譜	明治38	1	20	歴史研究会	発行者　大塚宇三郎	58頁			
F	44		寛永　御前試合	昭和26	9	20	橋本久造編集	光文堂	467頁			
F	45		観光の耶馬渓	昭和					絵葉書8枚、袋入	葉書	8	
F	46		久留米市街図				旅行案内製図部	駸々堂書店	袋のみ		1	
F	47		立願寺温泉案内				熊本県玉名郡彌富村立願寺温泉協会		2色印刷	折紙	1	14.5cm×45.1cm
F	48		名所案内　長府新地図	大正11	4	1	立花喜太郎	立花隆盛堂	写真つき	地図		
F	49		芦屋遊覧地図	大正11	3発行		立花喜太郎	立花隆盛堂		地図		
F	50		安保条約を改定しようー独立と安全と繁栄のためにー	昭和34	12	10	自由民主党広報委員会	自由民主堂広報委員会	55頁、写真の袋、ひよ子の栞有り	書冊	1	
F	51		明治大帝御製訓	昭和10	10	10	山口鋭之助監修	愛之事業社	365頁			
F	52		農道実践	昭和16	3	20	山崎延吉	有畜農業社	46頁	書冊	1	
F	53		幸運秘法　名前のつけ方	昭和8	10	20	井沢誠一郎	大京堂出版	164頁			
F	54		習字兼用　新編手紙文	明治39	1	7	玉木本三郎	千葉久栄堂　大阪市	164頁			
F	55		実用毛筆画巻之七乙	明治27			松原三五郎	石井書房　大阪市		書冊		

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
F	56		旅行叢書第1集　湘南・箱根・伊豆	昭和28	3	30	入沢文明	日本交通公社	184頁			
F	57		調停関係法規集	昭和26	10		最高裁判所事務総局民事局		100頁			
F	58		小学地理二	明治38	11	12	文部省	有斐閣書房　東京市	裏表紙のみ			
F	59		小学地理二	〔明治38〕	〔11〕	〔12〕	文部省	(有斐閣書房)	表紙・裏表紙なし			
F	60		尋常小学国史上巻	昭和10	10	17	文部省	東京書籍株式会社				
F	61		南米視察報告記				山鹿光世(平戸市長)		全国拓植農業協同組合連合会主催の南米各国移民調査団一行の一員として、ブラジル、アルゼンチン、パラグアイの視察記			
F	62		鶴亀	昭和31	3	10	観世左近	檜書房	和書	書冊		
F	63		主婦の友	昭和11	5	1	編集　八代登	主婦之友社	軍に関する写真、記事有、2. 26事件関連の記事も有	書冊	1	
F	64		万葉集の精神と釋義	昭和18	7	10	森本治吉	赤尾好夫、旺文社(東京都牛込)	534頁、前半で万葉集の精神、評論、背景などを記載、後半に歌の解説	書冊	1	
F	65		福岡県農林要覧	昭和27	12	10	広岡光治編集	重政鯤九発行　農村文化社	450頁、県内の農林業をかなり詳しく解説してある			
F	66		闘魂－東京裁判と橘本欣五郎	昭和31	2	25	林逸郎	考現社　東京都港区芝	著者は、橘本欣五郎の主任弁護士だった。東京裁判の実況や、説明。かなり日本を弁護している	書冊	1	
F	67		楢山節考	昭和33	5	15	深沢七郎	中央公論社	213P　小説　楢山節考、東北の神武たち、揺れる家の3編　伊藤整の解説	書冊	1	
F	68		杉浦重剛座談録	昭和16	8	15	猪狩史山、中野刀水	岩波書店	岩波文庫、198P　天台道士である杉浦道士の言行を著者2人がそれぞれまとめる	書冊	1	
F	69		松口月城吟詩集七集〔葉書付〕	昭和33	2	10	松口月城	同上	漢詩集。181P。本の間に松口氏からの葉書あり。宛名は岡垣村医師加藤健次	書冊	2	
F	70		草書字典	明治44	10	21	円道祐之	有朋堂書店　東京市神田区	草書体の辞典444頁	書冊	1	
F	71		高山朽葉集	昭和19	7	12	矢島行康編集、福井久蔵校註	日本書院　東京都	421P			
F	72		銀標鷹乃羽				鷹の羽印染製元		4P　銀標鷹の羽印染品について	書冊		
F	73		高等小学読本一	明治36	10	27	文部省	国定教科書共同販売所	76P			
F	74		毛筆画手本男性用　第四学年	明治38	1	22	文部省	国定教科書共同販売所	24図、安高団兵衛の手書と思われる絵19枚、下書2枚あり			
F	75		小学校用　戦後の地理歴史	明治39	3	15	地理歴史研究会	積文社　大阪市	39P　地図あり			
F	76		福岡県用　国定小学地理附図	明治39	3	20	普通教育研究会編纂	鍾美堂　東京市	44P			
F	77		寒暖兩様營利的蔬菜農法	昭和7	2	23	松田喜一	大日本農友会出版部熊本県八代郡八代町	野菜の作り方、経営論など、386頁	書冊	1	昭和14年6月30日訂正第7版
F	78		理想の農業	昭和7	7	5	松田喜一	大日本農友会出版部熊本県	347P			
F	79		土壌肥料学講義	昭和15	2	10	松田喜一	大日本農友会出版部	313頁			
F	80		民謡処世訓	昭和5	10	1	安部正威	教育研究会　東京市	42頁			
F	81		続民謡処世訓	昭和9	8	25	安部正威	安部正威(福岡)	27頁			
F	82		標準日本軍歌	昭和17	10	20	長妻清太郎編	翼賛出版協会	105頁			
F	83		子供を病気にせぬやうに	昭和8	10	25	黒川直胤	乳幼児保護連盟:横浜市	76頁			
F	84		男爵渋沢栄一閣下　処世訓	大正8	5	1	修道文庫刊行会編集	修道会本部:東京市	312頁			
F	85		小学国語読本巻九	昭和12	3	5	文部省	東京書籍株式会社:東京市	172頁			
F	86		小学国語読本巻七	昭和11	2	20	文部省	東京書籍株式会社:東京	150頁			
F	87		小学国語読本巻六				文部省		表紙、裏表紙なし			
F	88		河童の釘	昭和35	10	30	玉井政雄	月刊「西日本」社　東京都	172頁			
F	89		改正喜多流小謡集　全	明治44	4	7	松邨知之編輯	江島伊兵衛　東京		書冊		
F	90		芦屋高等小学校児童手牒	〔明治40・41〕			芦屋高等小学校		賞状等を含む			
F	91		芦屋尋常高等小学校高等科児童手牒	明治42			芦屋高等小学校		賞状等を含む、出席表、身体検査表			
F	92		通告表	〔明治37・38〕			芦屋尋常小学校		第3学年時の安高団兵衛の成績表	折紙	1	
F	93		通告表	〔明治38・39〕			芦屋尋常小学校		第4学年時の安高団兵衛の成績表	折紙	1	
F	94		今上陛下御集	昭和31	4	29	神社本庁			折紙	1	印刷
F	95		小学国語読本巻一	昭和7	12	28	文部省	東京書籍株式会社:東京市	78頁			

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
F	96		玉はぎ	〔昭和36頃ヵ〕			岡沢政子		岡沢麟太郎より被贈、岡沢政子の歌集	書冊	1	
F	97		初等商業教本後編	昭和38	3	21	切田太郎	興文社	110頁			
F	98		〔ネガ〕	昭和31	8	15				ネガ	1	（～8月17日）
F	99		国語読本甲種巻一	明治34	8	8	小山左文二、武島又次郎	株式会社普及舎		書冊	1	
F	100		初等商業教本	明治38	3	21	切田太郎	興文社	100頁			
F	101		櫻井驛	明治45	7	25	有村彌四郎	藤井改進堂　大阪市	12P	書冊		
F	102		文芸春秋　新年特別号	昭和34	1	1	田川博一（編集）	文芸春秋新社　東京都	410P			
F	103		太平洋ひとりぼっち	1962	12	10	堀江謙一	文芸春秋新社	194P			
F	104		孝子正助翁二百年祭献詠集	昭和32	8	25	早川藤九郎（編集）	大和印刷所　福岡県	53P　非売品	書冊		
F	105		山中鹿之助幸盛	明治43	1	5	神田伯龍講演、丸山平次郎速記	柏原奎文堂　大阪市	216P			
F	106		梅遠薫	昭和27	2	〔25ヵ〕			20P、歌集	書冊		
F	107		日本大節用	明治39	10	12	小沢資郎（編集）	山口屋書店　東京市	192P	小横帳		
F	108		神韻のまにまに	昭和31	10	1	小田祐徑	久留米護城会	222P			
F	109		東京案内	1952	7	25	岩波書店編集部（編集）	岩波書店、東京都	64P、岩波写真文庫			
F	110		撮影の仕方	昭和30	2	20	カメラの友編集部	平原社　東京都	79P			
F	111		会員名簿〔福岡調停協会連合会〕	昭和30	1	1	福岡調停協会連合会		75頁　会則有	書冊	1	
F	112		新作歌用語辞典　附枕詞解	昭和22	12	20	生田蝶介	清水正光　日本出版配給株式会社	歌用語の辞典　342頁	書冊	1	
F	113		人を動かす	昭和24	11	15	D･カーネギー著　加藤直士訳	創元社	198頁　心理学書的なもの　人の心を動かす方	書冊	1	
F	114		国民に懇うーA級戦犯巣鴨10年の生活白書 対談橋本欣五郎、林逸郎（月刊西日本付録）	〔昭和35頃ヵ〕			月刊西日本　小野武雄	西日本社	月刊西日本の付録　東京裁判当時の回想などを対談の中で語る	書冊	1	
F	115		戦争と日本人ーあるカメラマンの記録ー	1952	5	25	影山正雄	岩波書店	写真を通して戦前日本の様子をあらわしている	書冊	1	
F	116		解析Ⅱ幾可の基礎事項	昭和28	6	1	旺文社	旺文社	数学の問題、参考書　128頁	書冊	1	
F	117		現代科学知識全書	大正13	9	25	原田三夫	中島三郎　現代社	各種の科学的知識を掲載している　1259頁	書冊		
F	118		水戸黄門	昭和14	4	30	海老原淳	新文芸社	娯楽小説	書冊	1	
F	119		流行粋歌　珍芸自慢　なんでもござれ	昭和5	3	25	山路夢外	粋人の友社	はやり歌をのせている。447P	書冊	1	
F	120		小学国語読本巻十二	昭和13	8	30	文部省	東京書籍株式会社　東京	198頁			
F	121		長門、俵山温泉の研究	昭和17	4	10	藤井弘人	俵山温泉の研究所	101頁、山口の地図、観行案内（山陰へ）あり			
F	122		義侠の仇討武勇怪カ間柄十郎	大正5	4	20	玉田玉秀	柏原奎文堂　大阪堂盟舘	講談を速記したもの207頁	書冊	1	
F	123		岩見重太郎	明治34	9	25	口演者　二代目広沢虎吉	岡本偉業舘	212頁			
F	124		宮本左門武勇伝	明治36	10		大川錠吉	聚栄堂　大川屋書店	188頁			
F	125		天正三勇婦	明治41	5	10	此村庄助	此村欽英堂	218頁			
F	126		後の天正三勇婦	明治39	9	15	此村庄助	此村欽英堂	215頁			
F	127		上泉伊勢守	明治38	6	15	神田伯龍	博多成象堂:大阪市	213頁			
F	128		徳川天一坊	明治40	10	1	柳塘散人	井上一書堂:大阪市	218頁	書冊	1	
F	129		小学地理三	〔明治38〕	〔11〕	〔24〕	文部省	（有斐閣書房:東京）	裏表紙はF-130			
F	130		小学地理三	明治38	11	24	文部省	有斐閣書房　東京市	裏表紙のみ			
F	131		孝子文次郎之伝並紀念碑建設旨趣書	大正					竹田定良の撰による孝子良民伝と文次郎の碑建立費募金の旨趣書	書冊	1	
F	132		茶の湯釜の研究（芦屋釜）	昭和31	3	3	嶋本久寿彌太	金属工芸研究会		書綴	1	
F	133		雪の曙義士銘々伝　第参編	明治41	2	10	桃中軒雲右衛門	精華堂書店:東京市	339頁	書冊		
F	134		雪の曙義士銘々伝　第弐編	明治41	2	10	桃中軒雲右衛門	精華堂書店:東京市	332頁			
F	135		旧約の歴史	昭和24	3	15	河辺滿甕	創元社:大阪市	144頁、裏に折尾女子中学校2年30番貞木孝子とあり			
F	136		羽賀一心斎	明治41	7	9	神田伯龍	博多成象堂:大阪市	195頁			
F	137		梁川庄八	明治41	9	2	神田伯龍	柏原奎文堂　大阪市	227頁			
F	138		通告書	明治36･37			芦屋尋常小学校	安高団兵衛	第2学年の成績、身体測定、出欠表	折紙	1	
F	139		大岡政談　貞女於仙	明治42	6	20	小出茂助（神田伯龍）	此村欽英堂	207頁			

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
F	140		尼子四郎勝久	明治42	1	5	神田伯龍	柏原奎文堂	199頁			
F	141		日清戦争実記	明治27	8	13	山本春太郎	駸々堂	90頁	書冊		
F	142		腕の喜三郎	明治30	4	1	榎本松之助	大阪平民舘本部	161頁	書冊	1	
F	143		大岡政談　越後伝吉	明治42	3	16	小出茂助	此村欽英堂	219頁			
F	144		無限への旅－自伝的人生論－	昭和38	11	30	庭野日敬	冬樹社　東京都	253P			
F	145		雪の曙義士銘々伝	明治41	2	10	桃中軒雲右衛門	精華堂書店:大阪市	335P			
F	146		毛筆画手本男性用　第三学年	明治38	10	19	文部省	国定教科書共同販売所	25図、安高団兵衛の手書きの絵15枚、下書2枚あり			
F	147		毛筆画手本男性用　第二学年甲種	明治38	10	19	文部省	国定教科書共同販売所	26図、安高団兵衛の手書の絵20枚、下書1枚あり			
F	148		毛筆画手本男性用　第一学年甲種	明治38	10	19	文部省	国定教科書共同販売所	26図			
F	149		帝国新體用文	明治29	1	3	横山順	明昇堂　大阪市	300P			
F	150		勇婦板額	大正3	1	5	尾崎東海	岡本偉業館　大阪市	210P			
F	151		塚原主水	明治44	10	25	西尾一山	博多成象堂　大阪市	218P			
F	152		小学国語読本巻十一	昭和13	3	4	文部省	東京書籍株式会社	191P			
F	153		小学国語読本巻十	昭和12	8	20	文部省	東京書籍株式会社	179P			
F	154		国語　中学習字編	昭和31	11	5	藤原青翠、吉田成堂編集	啓隆社、福岡市	35P			
F	155		民法原論第二巻	大正6	3	28	富井政章	有斐閣　東京市	756P			
F	156		吟嘯集	昭和7	9	15	山口半之亟	興国朗吟奨勵会	詩吟のやり方といろいろな詩　92頁			
F	157		吟嘯集	昭和17	6	25	吉村半之亟	同上	漢詩集　38頁	書冊	1	
F	158		音符解説　興国吟詠教本	昭和15	11	26	櫻井信一	三省堂	音符のついた詩吟の教本	書冊	1	
F	159		類聚明治天皇御製						明治天皇のつくった和歌集	書冊	1	
F	160		昭和十年農友日誌、肥後農友会からの葉書	昭和10	1	1	松田喜一	肥後農友会出版部	日誌形式だが記入はされていない。葉書がはさんであった	書冊、葉書	1、1	
F	161		信條講話	昭和14	5	1	松田喜一	大日本農友会出版部（熊本県八代郡）	農友会の心がまえを述べている　67頁	書冊	1	
F	162		疎菜料理　家庭の栞	大正5	1	5	富岡緑芳	同上	料理の本　41頁	書冊	1	
F	163		色情衛生男女生殖器の研究	明治29	12	5	大西英男	尚文館	生殖器について詳細な記述	書冊	1	
F	164		南十字星新聞人の告白	昭和24	9	1	山田潤二	創元社	286頁　著者の体験をまとめてあり	書冊	1	
F	165		帝国議会議事堂（単色版）〔絵葉書〕						絵葉書6通入　袋有	葉書	6	
F	166		帝国議事堂ブロマイド写真				貴族院内厚済会発行		ブロマイド写真3枚入　入れもの有	写真	3	絵葉書状
F	167		〔武雄温泉の絵葉書〕						1銭切手がはってある。武雄付近の絵地図付　袋入〔御絵者可き〕とある	葉書	1	
F	168		民力涵養ニ関スル訓令、実行要目及細目	大正8	3	1	遠賀郡	内務大臣、福岡県知事	民力休養について。質素な生活をすすめる	書冊	1	
F	169		愛知県新日本分県地図	昭和23	11	15	日地出版編集室	日地出版株式会社	地図	地図	1	
F	170		神奈川県新日本分県地図	昭和28	3		日地出版（株）	同上	地図	地図	1	
F	171		最新佐賀県（地図）	昭和12	4	25	駸々堂書店	同上	地図　その裏に各地の案内あり	地図	1	
F	172		千葉県新日本分県地図	昭和34	9		和楽路屋	同上	地図（地図の手帖付き）	地図	1	
F	173		写真						山口の写真　紙につつまれている	写真	26枚	
F	174		〔手紙〕	昭和20	10	9	安高りきの	安高団兵衛	茶封筒入　山口の俵山温泉内の山口屋旅館内	書簡	1	
F	175		〔日本赤十字社書類〕	大正9頃					包紙は封筒で、裏に「立憲政友会本部」とあり	料紙	30	（～昭和3年頃）
F	176		〔郵便貯金通帳〕						安高の通帳　半透明の袋入り	通帳	10	
F	177		国語読本　巻二年	明治34	8	8	小山左文二、武島又次郎	株式会社普及舎	62頁	書冊	1	
F	178		国語読本尋常小学校兒童用　巻三	明治34	8	8	小山左文二、武島又次郎	帝国書籍株式会社	64P			
F	179		国語読本尋常小学校兒童用　巻四	明治34	8	8	小山左文二、武島又次郎	帝国書籍株式会社	74P			
F	180		国語読本　巻五	明治34	8	8	小山左文次、武島又次郎	株式会社普及舎、東京市	78頁	書冊	1	
F	181		国語読本　巻六	明治34	8	8	小山左文次、武島又次郎	株式会社普及舎、東京市	80頁	書冊	1	
F	182		国語読本　巻七	明治34	8	8	小山左文次、武島又次郎	株式会社普及舎、東京	88頁	書冊	1	
F	183		綴方筆記帳				安高団兵衛		高等小学校第1学年時のもの	罫紙綴	1	
F	184		加藤完治先生言行録	昭和18	2	28	丸山義二	春陽堂　東京市	241頁			
F	185		国語読本尋常小学校兒童用巻八	明治34	8	8	小山左文二	帝国書籍株式会社、東京市	94P	書冊		
F	186		昭和篤農伝	昭和16	12	5	農政記者会	新紀元社、東京市	315P			

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
F	187		天下名倉笹野權三	大正6	5	20	玉田玉秀斎	立川文明堂　大阪市	244P			
F	188		新日本分県地図　福岡県	昭和30	6	15	和楽路屋	和楽路屋		折紙	1	
F	189		全国農具共進会会場一覧図				三徳万石			折紙	1	
F	190		岡山県	昭和27	10	1	日地出版株式会社			一紙		
F	191		広島県				塔文社			折紙	1	
F	192		兵庫県	〔昭和25〕	（10より後ヵ）		日地出版株式会社			折紙	1	
F	193		岐阜県	〔昭和25〕	（10以降ヵ）		日地出版株式会社			折紙	1	
F	194		旅と温泉				九鉄急行電車		沿線の温泉等の紹介のチラシ	折紙	1	
F	195		満蒙権益地図	昭和3	12	25	後藤庄司		戦友の附録	折紙	1	
F	196		呼子名所案内				松浦潟呼子観行協会		呼子の名所等を紹介するチラシ	折紙	1	
F	197		近畿電車交通地図				日本館			折紙	1	
F	198		別府温泉案内図	大正5	7	15	駸々堂旅行案内部					
F	199		橿原神宮参拝の栞	昭和15	6		大軌・参急電鉄			折紙	1	
F	200		鉄道路線図	昭和25	11	18	鉄道工芸株式会社			折紙	1	
F	201		天草新地図				水田文栄堂書店			折紙	1	
F	202		長崎県観光の旅				長崎県観光地連合会			折紙	1	
F	203		神戸市街地図	昭和16	1	20	赤西猶松			折紙	1	
F	204		長崎県　西日本新聞社編文県地図	昭和29	8	1	西日本新聞社			折紙	1	
F	205		折尾附近案内図	大正初頃						折紙	1	
F	206		小倉市街地図	大正7頃						一紙	1	
F	207		讃岐遊覧案内	昭和27	1	10	山本譲			折紙	1	
F	208		先哲遺物　陳列品順序表	昭和2			博多中島町共文社		東亜博に際してのチラシ	折紙	1	
F	209		〔チラシ〕				日本交通社		東京の観行バスの案内	折紙	1	
F	210		防州岩国錦帯橋細図	明治14	12	5	木村佐助			折紙	1	
F	211		天橋立観行案内図				丹後海陸交通株式会社・天橋立観行株式会社			一紙	1	
F	212		〔京都案内〕	昭和25			親光印刷出版社、高野山仏具名産品商業組合		京都市街図及び高町山図	地図	2	
F	213		〔広告〕				三陸汽船株式会社		金華山女川行直航往復船の広告	折紙	1	
F	214		若松	大正14	7	31	図書撰奨会発行		若松市の地図	折紙	1	
F	215		鎌倉と江之島	昭和25	5	15	後藤邦栄堂		名所案内	折紙	1	
F	216		店内御案内　玉屋呉服店				玉屋呉服店			折紙	1	
F	217		滋賀県	昭和24	7	5	日地出版株式会社			折紙	1	
F	218		福岡市及附近名所案内図				松尾百貨店			折紙	1	
F	219		大久留米市街図				金文堂			折紙	1	
F	220		佐賀県　日本分県地図	昭和29	6	1	西日本新聞社			折紙	1	
F	221		観光案内鉄道地図	昭和28	1	1	毎日新聞社		中国・四国・九州の地図			
F	222		〔芦屋名所〕				隆盛堂		芦屋の名所の写真	折紙	1	
F	223		俵山温泉「町の湯」の特性	〔昭和23以降ヵ〕			俵山温泉組合			折紙	1	
F	224		筑前太宰府案内	昭和3	3	24	太宰府商工会			折紙	1	
F	225		索引式　新福岡県明細全図	〔昭和11〕	〔8〕	〔20〕	文彰堂		地図なし	書冊	1	
F	226		新福岡県明細全図	昭和11	8	20	文彰堂		F225の地図カ	折紙	1	
F	227		熊本県	昭和24	7	5	日本地図株式会社			折紙	1	
F	228		最近実測地番入　熊本市街地図	昭和5	5	5	大同印刷株式会社			折紙	1	
F	229		研屋支店御案内				（研屋）			一紙		
F	230		熊本県全図	昭和23	2	29	日本地図株式会社			折紙	1	
F	231		福岡市街地図	昭和5	12	5	日本地図研究会			折紙	1	
F	232		高野山	昭和16	4	15	森本顯新			折紙	1	
F	233		〔絵画〕							一紙	1	
F	234		長崎県観光の旅				長崎県観光地聯合会		交通案内他、1／4ほど欠	折紙		
F	235		福岡市と近郊案内				博多築港記念大博覧会協賛会			折紙		

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
F	236		阿蘇観光案内図	昭和33	9	5		中央印刷紙工株式会社、熊本市	地図他	折紙		
F	237		急行げんかい・つくし号　列車食堂御案内	昭和28	11		日本食堂	株式会社折込広告社、東京都	食堂車のメニュー他	折紙	3	
F	238		Tokyo　Turkish　Bath				東京温泉		英語版東京温泉案内	折紙		
F	239		福岡市及附近名所案内図				福岡市松屋百貨店			折紙		
F	240		天草案内				天草風景協会			折紙		
F	241		京の春　観光の栞	1958			京都観光連盟			折紙		
F	242		遠賀郡地図	明治40	4			明治堂、博多		折紙		
F	243		神宮式年遷宮記念絵葉書	昭和4	10	2	逓信省	凸版印刷株式会社		葉書	2枚	
F	244		芥屋大門神社絵葉書				芥屋波渡場旅館玄洋館			葉書	4	
F	245		佐賀県唐津町市街案内地図	大正15	8	5	牧川徳次郎			折紙		
F	246		〔福岡市内電車路線図〕	明治43	3	10	中村徳太郎	中村徳太郎　博多		折紙		
F	247	1	東亜博覧会福博附近案内地図					東亜勧業博覧会案内図発行所		折紙		
F	247	2	道中日記	明治23庚寅	正月	吉日	安高藤平		馬関から大坂港への道中日記	小横帳		
F	247	3	訓練第二巻第一号附録	昭和3	1	1	後藤庄司	帝国在郷軍人会本部	昭和3年カレンダー	折紙		
F	247	4	満州電業の概要				満州鉄道株式会社			折紙		
F	247	5	〔金銭明細〕							書綴		
F	248		京都名勝案内地図	大正15	1	15	大淵善吉	駸々堂　大阪市	表　地図、裏　写真	折紙		
F	249		大正九年度陸軍特別大演習地図	大正9	10	5	財藤一	十字屋　大阪市		折紙		
F	250		京都府新日本分県地図	昭和25	4	10	日地出版編集室	日地出版株式会社、東京都		折紙		
F	251		静岡県新日本分県地図				日地出版株式会社	〃、東京都		折紙		
F	252		〔名簿〕	明治40	旧8	10	安高団兵衛		安高団兵衛が15才の時の名簿	小横帳		
F	253		鳥取県	昭和15	7	1	駸々堂旅行案内部	駸々堂、大阪市	地図	折紙		
F	254		大和宇陀郡神武天皇聖蹟御絵はがき				津村順天堂			葉書	8	
F	255		明治天皇昭憲皇太后御集	昭和25	11	1	明治神宮社務所	〃、東京都	91P、非売品			
F	256		明治天皇御製昭憲太后御歌　謹解	昭和31	11	1	明治神宮社務所	〃、東京都	39P			
F	257		純孝武丸正助	昭和30	9	22	佐々木滋寛	浄蓮寺　宗像郡	16P			
F	258		新撰朗吟　詩歌今様乃栞	昭和25	1	1	太宰府天満宮文化局		85P		1	
F	259		競技会　第二巻第二号				第2学級第2学年		生徒の画	横帳	1	
F	260		小学理科園	明治39	5	30	普通教育研究会	鍾美堂	82P		1	
F	261		高等小学算術書	明治38	11	16	文部省	修文館、大阪	81頁		1	
F	262		団楽	明治41	3	15	芦屋高等小学校第2学級第2学年児童		新体詩、和歌、作文等	書綴	1	
F	263		高等小学算術書	明治38	11	1	文部省	修文館、大阪	81頁	書冊	1	
F	264		軍事写真画報	大正6	5	20	軍事写真画報社			小横帳	1	
F	265		高等小学校算術書	明治38	11	16	文部省	修文館、大阪市	85頁		1	
F	266		高等小学算術書	明治38	11	16	文部省	修文館、大阪	84頁		1	
F	267		普通誤り易キ文字正誤　文字用法及清書心得　彙集						活版印刷	書冊	1	
F	268		小学地理一	明治38	10	29	文部省	有斐閣書房、東京市	66頁		1	
F	269		地恩と生命	大正13	10	10	佐藤範雄	金光教40年祭奉賽会	52頁		1	
F	270		上泉四天王	明治40	12	25	神田伯龍	博多成象堂	199頁	書冊	1	
F	271		諸国奇談後編　水戸黄門実記	明治42	6	10	柏原政次郎	柏原奎文堂	娯楽小説	書冊	1	
F	272		日本武術伝　丸目蔵人	明治44	2	1	博多久吉	博多成象堂	娯楽小説　講談を速記したもの	書冊	1	
F	273		日本武術伝　塚原小天狗	明治41	2	20	博多久吉	博多成象堂	娯楽小説	書冊	1	
F	274		岡本長編講談　講談西遊記	大正11	4	5	玉田玉秀	岡本増進堂	娯楽小説	書冊	1	
F	275		郵便通帳				安高隆盛		「尋高2年」のはり紙あり。学費か？半透明の紙につつむ	通帳	1	
F	276		〔封筒のみ〕				蘆屋中学	安高団兵衛	茶封筒のみ	封筒	1	
F	277		貯金通帳	昭和7	8	10	安高利都		蘆屋信用組合の通帳。2重の封筒入り、宛名は団兵衛			
F	278		郵便貯金通帳				安高恵美子名儀		郵送されてきたらしく封筒入り。2つあり。芦屋郵便局より送付	通帳	2	
F	279		封筒（芦屋郵便局のもの）				芦屋郵便局	安高団兵衛	中身はなし	封筒	1	
F	280		郵便貯金通帳				安高正義名義		通帳　茶封筒入	通帳	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
F	281		貯金通帳				安高リキノ名儀		茶封筒入	通帳	1	
F	282		貯金通帳				安高恵美子名儀		茶封筒	通帳	1	
F	283		〔青果物出荷統制に関するプリント〕	昭和19	11	2	遠賀郡翼賛壮年団	安高団兵衛	青果物出荷統制の詳細を掲載したプリント。封筒入り	一紙	2	
F	284		〔息子より両親への手紙〕	昭和21	4	1	安高藤吉、安高千鶴子	安高団兵衛、母上	山口の俵山温泉に滞在中の両親への手紙	葉書	1	
F	285		安高恵美子から温泉の父への手紙	昭和20	10	10	安高恵美子	安高団兵衛	温泉（山口、俵山）へ着いた父からの手紙への返事、封筒入	書簡	2枚	
F	286		〔西部毎日新聞模範在郷軍人表彰された安高の掲載されたもの〕	大正14	3	10	西部毎日新聞	大阪毎日新聞	模範軍人として表彰された安高の掲載された新聞の切り抜き3枚	一紙	3	（11日、12日）
F	287		〔温泉滞在中の両親への娘からの手紙〕	昭和21	4	1	重岡恵美子	安高団兵衛、りきの	温泉へと旅行に行った両親への挨拶状、封筒入	書簡	3枚	
F	288		〔家計簿〕	昭和25			〔安高カ〕		ことこまかにつけている。赤い包紙入り 2冊あり	書冊	2	（～昭和31年頃）
F	289		〔息子からの学費に関する質問とその返事の下書き〕	昭和30	5	29	安高保正	秋山光清先生気付安高団兵衛	息子の東京での学費・生活費についてのやりとりで、ことこまかな考証あり	書簡	6	
F	290		〔息子からの学費、生活費に対する手紙〕	昭和30	6	9	安高保正	安高団兵衛	学費生活費のことで、こまかく団兵衛が指示しており、それに対しての質問などを記す	書簡	5	
F	291		〔息子の成績表〕	昭和30	12頃		日本大学世田谷教養部	安高団兵衛	息子の日大工学部1年のときの成績表 プリントと成績入り	封筒	2	
F	292		〔息子からの書簡〕	昭和30	4	24	安高保正	安高団兵衛	長兄と何らかの金銭トラブルのある模様。帳簿もあり	書簡	4	
F	293		〔息子からの手紙〕	昭和30	11	16	安高保正	秋山光清先生気付安高団兵衛	帳簿をつけて送らないといけないらしい。息子からの手紙と近況報告	書簡	6	
F	294		〔息子からの手紙〕	昭和30	5	3	安高保正	秋山光清先生気付安高団兵衛	送金をのぞむ息子からの手紙、安高の返事の下書き入り	書簡	3	
F	295		〔息子からの手紙、と安高のメモ〕	昭和30	6	8	安高保正	秋山光清先生気付安高団兵衛	学費についての質問と、安高がことこまかに、息子の生活費を何ヶ月分もまとめたメモ	書簡	9	
F	296		〔メモ紙〕						走り書き 内容不詳	切紙	1	
F	297		〔息子からの手紙と写真〕	昭和30	5	11	安高保正	秋山光清先生気付安高団兵衛	写真5枚入り、小遣いに関すること多し	書簡	4枚、写真5枚	
F	298		〔内容証明郵便〕	大正2	2	16	大庭正作	安高福蔵	（安高マキの）離婚について。書き留めになっている	内容証明郵便	1	
F	299		〔保昌印という呉服メーカーの宣伝〕				保昌印		絵の書いてある厚紙	一紙	1	
F	300		〔広告数枚〕						玉屋、米伝醤油など	一紙	5	
F	301		〔相模湖グリーンハウス広告〕				日本交通公社		相模湖の広告	一紙	1	
F	302		〔葉書〕	〔明治43・44〕			小田伊平ほか	安高福蔵ほか	年賀葉書	葉書	3	
F	303		〔手習〕						絵、習字など	竪紙、書冊	45、1	
F	304		新撰吟詠集	昭和35	9	10	日本吟詠総連盟理事長朝翠会々長、佐々木孝吾編		発行所、東京都練馬区関町青龍社	書冊	1	昭和35年9月10日（改訂版）発行
F	305		朗吟詩歌集下巻	昭和32	8	20発行	編集兼発行人、熊本市大江町九品寺500 牧蘇山蘇山		発行所 熊本市大江町朗吟蘇山会本部、非売品	書冊	1	
F	306		作詩入門						「第6章 字音平仄早見表」の部分のみを製本したもの	書冊	1	
F	307		作詩秘要	明治14	4	7	編者 東京市下谷区下谷車坂 津田甚三郎		発光書林、東京市日本橋区本町 博之館	書冊	1	
F	308		ローマ字獨習	大正10	8	10	三浦圭三		発行所、大阪市東区北久宝寺町心斎橋筋 岡田文祥堂	書冊	1	（19版発行）
F	309		蘆屋小唄	昭和6	12	31	須崎義利	蘆屋商工会発行	40頁 地図付	書冊	1	
F	310		農業委員必携 昭和二十七年度	昭和27	9	30	全国農業委員会協議会	同上	159頁			

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
F	311		日支会話一ヶ月間卒業	大正4	2	15	西島良爾	石塚書舗　大阪	97頁中国語の教科書			
F	312		実いまだ熟せず	昭和14	6	16	横光利一	実業之日本社	小説　263頁			
F	313		義人烈士の面影続感激実話全集2	昭和11	7	20	飯田豊二	金星堂	363頁			
F	314		川の音	37	3	1	吉川秀子	秋　発行所　東京都世田谷区	199頁　和歌集			
F	315		鵜戸の宮居	昭和17	10	15	永友宗清	同上	95頁、(神話的)			
F	316		鵙の助太刀天下茶屋大仇討	昭和3	9	20	石川兼次郎	冨士屋書店　大阪	461頁			
F	317		諸国漫遊　後藤又兵衛	大正6	6	25	玉田玉秀	立川文明堂	440頁			
F	318		世界新地図	明治38	5	20	修文館編集部	修文館、積善館	34頁			
F	319		日清韓三国地図	明治28	2	18	製図兼発行印刷入　大阪南堀江下通4丁目350番地　平民舎　榎本松之助(カ)					
F	320		日誌	大正5			安高団兵衛		226頁、154頁に封書あり	書冊		
F	321		実業之日本　第拾七巻第弐拾号	大正3	9	20	実業之日本社、東京市京橋区南紺屋町12番地		80頁、地図2枚あり			
F	322		作詩入門	大正9	1	15	井上霊山	大阪市東区淡路町3丁目　山本文友堂	本編280頁、付録24頁	書冊		
F	323		昭和奉賛名鑑録	昭和3	12	30	青木利雄(編集)	昭和奉賛会	199P	書冊		
F	324		小学国語読本　巻五	昭和10	3	11	文部省	東京市小石川区指之谷町136番地　東京書籍株式会舎	130頁			
F	325		小学国語読本　巻四	昭和9	9	4	文部省	東京市小石川区　東京書籍株式会社	144頁			
F	326		小学国語読本　巻三	昭和9年	3	3	文部省	東京書籍株式会社、東京都	124頁		1	
F	327		小学国語読本　巻二	昭和8	8	12	文部省	東京書籍株式会社	112頁		1	
F	328		神社名鑑	昭和37	4		神社本庁調査部	神社本庁発行、東邦図書出版、東京都	箱入、箱中に岡湊神社敬神婦人会の領収証と礼状、神社本庁からの名鑑送付の挨拶と領収書の入った封筒あり		1	
F	329		手紙の作り方	大正6	6	20	斎藤春村	文永堂、東京市	68頁	書冊	1	
F	330		左甚五郎	昭和34	5	1	加藤万次郎	岡本偉業館、大阪市	205頁		1	
F	331		毛谷村六助	明治35	2	8	正流斎文鱗	鍾美堂、大阪市	184頁　安高福蔵　蔵		1	
F	332		ヘネー農会史	昭和38	2	25	山家安太郎編、ヘネー農会史編纂委員会発行(カナダ)		72頁	書籍	1	
F	333		科学の進歩と産業につくした人百人	昭和31	8	1	藤原一生　他	学習研究社、東京都	202頁　5年の学習8月号ふろく		1	
F	334		〔メモ帳〕				安高団兵衛		中身の大半が詩か歌	書冊		
F	335		吟詠詩歌集上巻	昭和29	9	15	八河友三	詩陽閣　熊本市	262P　非売品			
F	336		国定忠治	大正11	8	25	玉田玉秀斎	榎本書店　大阪市	453P			
F	337		安倍晴明	明治35	11	5	玉田玉麟	柏原圭文堂　大阪市	210P			
F	338		卒業証書	明治39	3	24	蘆屋尋常小学校校長　三原清ヨリ	安高団兵衛　江		折紙	2	もう1枚は裏
F	339		高等小学　八学科表解	明治42	1	10	普通学講習会	田中宋榮堂　大阪市	192P　絵葉書1枚あり			
F	340		一番の新はやり唄	明治39	2	25	藤の家主人	岡本増進堂、立川文明堂、大阪市	95頁	書冊		
G	1		国民性より見たる　烈婦の修養	大正15	7	10	岩佐白鷗	(資)内外出版協会　東京市神田区	310頁	書冊	1	
G	2		山鹿兵藤次秀遠	昭和7	7	10	秋山光清	山鹿秀遠顕彰会　福岡県遠賀郡	112頁	書冊	1	
G	3		孝子と貞女	大正3	1	2	鹿嶋生　編	求光閣書店　東京市京橋区	細川潤次郎・井上頼文・大町桂月・三輪田真佐子・塩井雨江・井上毅、他16大家執筆、170頁	書冊	1	(大正14年の加筆あり)
G	4		福岡の先賢と郷土研究	昭和7	12	1	伊東尾四郎氏講和		22頁、福岡市教育会主催福岡市先賢慰霊祭に於て	書冊	1	
G	5		〔絵はがき〕						官幣中社太宰府天満宮絵葉書袋入19、長崎8			
G	6		近江聖人	大正3	5	10	村井弦斎	高岡書店　東京市神田区	104頁	書冊	1	
G	7		東京裁判	昭和22	2	15	朝日新聞法廷記者団	ニュース社　東京都神田区	306頁　軍閥大陸へ侵攻す	書冊	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
G	8		受胎調節特集　別冊ジープNo.1	昭和24	6	30	狭間研一編	東京トリビューン社　東京都中央区	180頁　林譲治・戸田正三・古屋芳雄・田中耕太郎・馬島僩・天野文子・野坂竜・安藤画一・加藤シヅエ・式場隆三郎　著	書冊	1	
G	9		性典研究(性愛術篇)	昭和22	3	20	高橋鐵	性科学資料刊行会　東京都杉並区	119頁	書冊	1	
G	10		経堂日記	昭和21	3	20	有馬頼義	瑞穂社　東京都杉並区	236頁	書冊	1	
G	11		長門俵山温泉の研究	昭和5	4	1	藤井弘人	藤井旅館　山口県大津郡	46頁　高安慎一先生校閲	書冊	1	改訂5版
G	12		山鹿兵藤次秀遠	昭和7	7	10	秋山光清	山鹿秀遠顕彰会　福岡県遠賀郡	112頁	書冊	1	
G	13		掌中法律要覧昭和二年版	昭和2	5	30	梶康郎　編	帝国講学会　東京市本郷区	憲法92頁、行政108頁、刑法227頁、刑訴252頁、陪審31頁、民法114頁、商法100頁、民訴75頁、国際52頁	書冊	1	15版
G	14		九州線旅行案内　第七巻第七十九号	昭和6	11		森山岩夫　編	九州旅行案内社　別府市	40頁　本土満鮮主要駅、各地自動車案内附各地名物品案内(毎月1回27日発行)	書冊	1	
G	15		時間表　中国九州篇(全線全駅)	昭和27	1月号			鉄道弘済会	104頁　附東海・山陽・四国主要駅　航路・自動車線	書冊	1	
G	16		勤勉第一	昭和6	1	25	湯川寛吉　編	小林印刷所　大阪市北区	58頁　安部正威の名前書あり	書冊	1	
G	17		〔農歌　歌詞音譜〕						農会歌・国旗掲揚ノ歌・農道歌	一紙	1	
G	18		民謡国民精神総動員軍隊慰問	昭和12	12	25	安部正威	秀巧社印刷所　福岡市渡辺通	14頁	書冊	2	同一物
G	19		二宮翁夜話	昭和18	5	5	福重正兄	内外書房　東京市本郷区	244頁	書冊	1	背表紙なし
G	20		偉人の幼年時代に於ける共通の感激	大正14	11	10	松居甚一郎	互敬舎　福岡県嘉穂郡	166頁　互敬舎叢書　第2編	書冊	1	改訂第2版
G	21		農村演劇	昭和21	6	20	堀尾勉	瑞穂社　東京都杉並区	61頁	書冊	1	
G	22		公民読本第三編　普選と陪審	昭和2	2	30	寺島久松	大道学館出版部　福岡県筑紫郡	92頁　公民講座講義録・家庭に提供されし大文字すべて血になり肉になる　新人の叫び誰でも一読せねばならぬ大論文	書冊	1	第2版
G	23		奥さまの懺悔　一名保険金の行方	大正15	9	25	市成乙重	保険之日本社　東京府豊多摩郡	22頁	書冊	1	4版
G	24		教育勅語・戊申詔書	明治23	10	30			君が代・1月1日・紀元節・天長節・譜面　明治42年12月8日発行	折本	1	(明治41年10月13日)
G	25		日本の外交	昭和15	7	25	伊藤述史	(株)三省堂　大阪支店　大阪市西区	142頁	書冊	1	
G	26		文武仁侠　大和錦	大正7	2	20	中山蕗蜂　編	東洋興立教育会　東京市赤坂区	642頁	書冊	1	3版
G	27		忠孝義節　大和櫻	大正7	2	20	服部龍陽　編	東洋興立教育会　東京市赤坂区	642頁	書冊	1	3版
G	28		桃中軒叢書　義烈百傑　第弐編	大正13	4	10	芝松南	精華堂書店　大阪市南区　東京市神田区	329頁	書冊	1	第20版
G	29		桃中軒叢書　武士道鼓吹　義烈百傑　初編	大正13	4	10	桃中軒雲右衛門	精華堂書店　大阪市南区　東京市神田区	291頁	書冊	1	100版
G	30		大聖二宮尊徳	明治44	3	1	豊岡茂夫	報徳研究会　東京市神田区	260頁	書冊	1	第2版
G	31		源氏物語　二	大正6	7	13	塚本哲三編	有朋堂書店　東京市神田区	596頁　有朋堂文庫	書冊	1	
G	32		源氏物語　三	昭和6	3	14	塚本哲三編	有朋堂書店　東京市神田区	624頁　有朋堂文庫	書冊	1	
G	33		源氏物語　四	昭和6	4	14	塚本哲三編	有朋堂書店　東京市神田区	526頁　有朋堂文庫	書冊	1	
G	34		近松浄瑠璃集　上	大正11	4	28	塚本哲三編	有朋堂書店　東京市神田区	642頁　有朋堂文庫	書冊	1	
G	35		近松浄瑠璃集　中巻	大正7	1	8	塚本哲三編	有朋堂書店　東京市神田区	594頁　有朋堂文庫	書冊	1	
G	36		近松浄瑠璃集　下巻	大正7	3	4	塚本哲三編	有朋堂書店　東京市神田区	602頁　有朋堂文庫	書冊	1	
G	37		趣味修養　国民字典	大正8	8	10	馬場直美	帝国実業学会	1502頁　新渡戸稲造序文、大町桂月校閲、馬場峰月編纂	書冊	1	第26版。化粧ケース入
G	38		感激実話全集第二巻　世のため人のため	昭和9	11	25	福岡益雄編	金星堂　東京市神田区	349頁　第1回配本	書冊	1	
G	39		感激実話全集第四巻　孝貞のかゞみ	昭和10	2	17	福岡益雄編	金星堂　東京市神田区	348頁　第3回配本	書冊	1	
G	40		感激実話全集第八巻　義の人・情の人	昭和10	10	25	福岡益雄編	金星堂	356頁	書冊	1	
G	41		続感激実話全集第1巻　聖恩に咽ぶ人々	昭和11	5	20	飯田豊二編	金星堂　東京市神田区	362頁　第1回配本	書冊	1	
G	42		修養全集　経典名著感話集第七巻	昭和4	5	10	野間清治編	大日本雄弁会講談社　東京市本郷区	806頁	書冊	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
G	43		続感激実話全集第四巻　世を動かす少年の力	昭和11	6	20	飯田豊二編	金星堂　東京市神田区	368頁　第2回配本	書冊	1	
G	44		日本小説文庫十二　淀君(後篇)	昭和11	4	20	三上於菟吉	(株)春陽堂書店	392頁	書冊	1	28版
G	45		市制町村制　改正法律逐條示解	昭和7	9	20	自治館編輯局	自治館　東京市神田区	1050頁	書冊	1	61版。化粧ケース入
G	46		増補二宮尊徳	大正10	9	10	碧瑠璃園	(株)大鐙閣　東京市京橋区　大阪市南区	679頁　傑作叢書第1編	書冊	1	53版。ケースの背はずれ、化粧ケース入
G	47		増補渡辺華山	大正10	6	15	碧瑠璃園	(株)大鐙閣　東京市京橋区　大阪市南区	755頁　年譜2頁　傑作叢書第2編	書冊	1	16版。化粧ケース入
G	48		格言訓話　日日の修養	大正10	8	20	山田愛剣	忠誠堂　東京市神田区	828頁	書冊	1	107版。化粧ケース入
G	49		我か家叢書　我か家の料理	大正13	5	5	加納幽閑子編	帝国在郷軍人会本部　東京市牛込区	226頁	書冊	1	5版
G	50		自治と各種団体	大正11	5	20	山崎延吉	帝国在郷軍人会本部　東京市牛込区	152頁	書冊	1	
G	51		合理的炊事法	昭和2	1	15	国武菊太郎　発案、後藤静香編著	希望社　東京府下野方町	125頁	書冊	1	
H	1		日誌	昭和16	9		神武天皇社奉賛会			書冊	1	
H	2		〔神武天皇奉讃会関係書類在中〕	昭和16～					書冊1(P8)、書綴2、一紙71枚、新聞15、図面5、書簡6、葉書4、紙封筒1			
H	3		〔水茎会関係資料その他〕						一紙75、書綴1、紙封筒1			
H	4		会計簿	昭和14	10	12	福岡県遠賀郡芦屋町県社神武天皇社奉讃会			書冊	1	(～15、5、13)
H	5		〔絵葉書〕						参考　高倉神社絵葉書と記叙有	絵葉書	10	
H	6		神武天皇社奉賛会記録	昭和22	11		神武天皇社奉賛会		巻末に地元の役員名簿有	書冊	1	(～26年)
H	7	1～2	〔写真〕						皇紀2600年記念作　早川朝洋と書込有　帙に謹呈の文字有り	写真	1	帙入り
H	8		〔書簡〕	昭和17	6	13	古賀恵啓	安高団兵衛		書簡 葉書 一紙 紙袋 書綴	15 14 4 1 1	
H	9	1～4	奉賛会要書	昭和13			孝明天皇の御聖徳　昭和13年、古事記纂録功臣顕彰之急務、神武天皇社改築工事　昭18年			書冊 書綴 紙袋	2 1 1	
H	10		〔雑綴〕						奉讃会関係会計簿・議事録等	書綴	1	一紙を含む
H	11		寄贈金品及醵出金芳名簿	昭和14	10		県社　神武天皇社奉讃会			書冊	1	(～昭和15年4月)
H	12		金銭出納簿	昭和14	10以降		県社神武天皇社奉讃会	発起者　安高団兵衛		書冊	1	
H	13		支払証憑書類綴	昭和14起			神武天皇者奉讃会			書冊	1	
H	14		神武天皇社奉讃会関係書類綴(第3部)	皇紀2621 〔昭和36〕 以降			安高団兵衛		神武天皇社奉讃会会計簿は、昭和21年以降より有り	書冊	1	
H	15		神武天皇社奉讃会　会員名簿				発起者　安高団兵衛		感謝状1通在住	書冊	1	
H	16	1	私の日常信条とし実行しつつある事の一部	〔自〕昭和11	10		安高団兵衛			書冊	1	(至)昭和16年12月
H	16	2	履歴と被表彰事項控へ帳				安高団兵衛		履歴書の書類(2枚)と表彰状の写し(紙背を使用、数量5)が在中	書冊	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
H	16	3	〔履歴書・その他〕				安高団兵衛		H16／2と内容面で重複多し。詳細は裏面参照。 (裏)・履歴書、・被表彰事項・昭和16年度…家族並に従業者・農業用土地面積・主なる農業用建物・農作物外の作業の概念・農耕作物の概況・作物外の農業収入・昭和16年度農業総収入・農業経営費・農業経営費・諸税諸負担金・家計費・昭和16年度農業として経済調・16年度餘剰金の使途・我體験談実践談を講演したる箇所及回数・苦心談其他 ・昭和17年度…家族並に従業者・農業用土地面積・農業物以の作業の概況・主なる農業用建物	書綴	1	
H	16	4	〔教訓和歌集〕				安部カ	安高団兵衛	表紙に「呈　安部生　安高様　原稿まとめ」と有り	書冊	1	
H	16	5	〔記帳慣行ノ薦・その他〕				安高団兵衛		原稿	一紙	5	
H	17		警防始式計画書	昭和20	1		安高分団長			書綴	1	
H	18		葉書複写簿　第2号	〔自〕昭和12	11	29	安高団兵団衛			書綴	1	(至)昭和17年2月7日
H	19		剣舞と詩吟	昭和4	3	10	章林散士			書冊	1	
H	20		〔書簡・その他〕	〔自〕大正2	12			安高団兵衛		書簡	95	(至)昭和12年6月
H	21	1	常陸丸殉難者供養塔改建趣意書	昭和17	8		芦屋町先賢顕彰会		「(永久保存)特志寄附者芳名」とあり	書冊	1	
H	21	2	常陸丸殉難者供養塔改建寄附金書類				安高団兵衛		「本簿ニ依リ別ニ寄附台帳ヲ作製、永久保存ニ供セリ」「当分保存」とあり	書冊	1	
H	21	3	芦屋町先賢顕彰会	昭和17	4		芦屋町先賢顕彰会		内容…趣意書、会則、会員名簿、その他	書冊	1	
H	21	4	昭和18年先賢顕彰会事業費隣組寄附芳名録	昭和18			先賢顕彰会		「永久保存」とあり	書冊	1	
H	21	5	〔雑・書類〕						常陸丸殉難者供養塔関係書類・先賢顕彰会書類・決算報告書等	1袋	12件	
H	21	6	常陸丸記念碑関係・18年祭文ー参考雑書常陸丸ー							1袋	5件	
H	21	7	常陸丸建碑費出納簿会計	昭和18	5		先賢顕彰会々計			書冊	1	
H	22		常陸丸供養塔関係書類	昭和17以降			芦屋町先賢顕彰会カ		・吉永清三郎氏大塚古墳関係・先賢顕彰関係雑書	書冊	1	
H	23		〔断簡〕						奉賛会関係資料、昭和15年4月2日より昭和25年9月23までの会の主要記事	断簡	1	
H	24		昭和11年度温床日誌	昭和10	12		安高団兵衛		芦屋町町会議員候補者安高団兵衛氏の推薦状の紙背	一紙、断簡	4、1	(～昭和11年4月)
H	25		〔遠賀税務署戦時税務協力委員ノ嘱託ノ件〕	昭和20	4	1	遠賀税務署			書簡	3	
H	26		〔昭和5年度芦屋町歳入出決算〕	昭和7	3	29	福岡県遠賀郡芦屋町			書綴	1	
I	1		福岡県市町村勢要覧　1952	昭和27	1	5	福岡県総務部統計課統計資料編纂所	福岡県統計協会	312頁　ケース入り		1	
I	2		軍隊手牒							手帳	1	
I	3		新約聖書　ぞくごマコ伝　全	明治32	10	15	ヘンリー・ルミス	聖書館　神奈川県	70頁　12．8cm×9．2cm	書冊	1	
I	4		忍術名人　猿飛小源吾	大正5	5	15	雪花山人	立川文明堂、大阪市	安高団兵衛蔵	書冊	1	
I	5		農友　第二十六巻第三号	昭和18	3	1	大日本農友会出版部		18・4・15来、安団とメモあり	書冊	1	
I	6		農友　第二十六巻第四号	昭和18	4	1	大日本農友会出版部		18・5・6来ル　安団とあり	書冊	1	
I	7		農友　第二十五巻第九号	昭和17	9	1	大日本農友会出版部		17・9・27来ル　安団とメモ	書冊	1	
I	8		農友　第二十五巻第十号	昭和17	10	1	大日本農友会出版部		17・10・27来ル　安団とあり			
I	9		農友　第二十五巻第七号	昭和17	7	1	大日本農友会出版部		17・8・15来ル／安団とメモ	書冊	1	
I	10		農友　第二十五巻第八号	昭和17	8	1	大日本農友会出版部		安団　17・9・6来ル　とあり	書冊	1	
I	11		農友　第二十七巻第四、五、六号	昭和19	4	1	大日本農友会出版部			書冊	3	
I	12		農友　第二十五巻第六号	昭和17	6	1	大日本農友会出版部		17・6・29来ル　とメモ	書冊	1	
I	13		農友　第二十五巻第十二号	昭和17	12	1	大日本農友会出版部			書冊	1	
I	14		農友　第二十五巻第五号	昭和17	5	1	大日本農友会出版部		安団(17・6・20来ル)のメモあり	書冊	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
I	15		農友　第二十六巻第一号	昭和18	1	1	大日本農友会出版部		18･1･26来ルとメモ	書冊	1	
I	16		農友　第二十六巻第二号	昭和18	2	1	大日本農友会出版部		18･3･3来ル、安団のメモ	書冊	1	
I	17		武士道精華大石内蔵助	明治45	1	31	雪花山人	立川文明堂、大阪市	260頁	書冊	1	
I	18		娯楽全集	昭和17	11	20	米田勝治		軍歌･愛国歌集	書物	1	
I	19		観光のあしや							折紙	1	
I	20		〔雑記帳〕				安高団兵衛		歌、手習いカ	書冊	1	
I	21		玄海国定公園あしや							折紙	1	
I	22		〔木箱〕						中身、I23～I50　もなかの箱			
I	23		軍事極秘集成五万分一地形図唐津第一号	昭和20					座標軸あり	折紙		
I	24		軍事極秘集成五万分一地形図長崎第三号第四号	昭和20					座標軸あり	折紙		
I	25		軍事極秘集成五万分一地形図中津第一号	昭和20					座標軸あり	折紙		
I	26		秘　集成五万分一地形図中津第二号	昭和20					座標軸あり	折紙		
I	27		秘　集成五万分一地形図大分第四号	昭和20					座標軸あり	折紙		
I	28		秘　集成五万分一地形図熊本第二号	昭和20					座標軸あり	折紙		
I	29		秘　集成五万分一地形図熊本第三号	昭和20					座標軸あり	折紙		
I	30		秘　集成五万分一地形図熊本第四号	昭和20					座標軸あり	折紙		
I	31		秘　集成五万分一地形図延岡第一号	昭和20					座標軸あり	折紙		
I	32		秘　集成五万分一地形図延岡第二号	昭和20					座標軸あり	折紙		
I	33		秘　集成五万分一地形図延岡第三号	昭和20					座標軸あり	折紙		
I	34		秘　集成五万分一地形図延岡第四号	昭和20					座標軸あり	折紙		
I	35		秘　集成五万分一地形図八代第一号	昭和20					座標軸あり	折紙		
I	36		秘　集成五万分一地形図八代第二号	昭和20					座標軸あり	折紙		
I	37		秘　集成五万分一地形図八代第三号	昭和20					座標軸あり	折紙		
I	38		秘　集成五万分一地形図八代第四号	昭和20					座標軸あり	折紙		
I	39		五万分一地形図野母崎三号	昭和9	12	25	大日本帝国陸地測量部			折紙		
I	40		五万分一地形図野母崎四号	明治36	6	30	大日本帝国陸地測量部			折紙		
I	41		軍事秘密集成五万分一地形図鹿児島第一号	昭和20					座標軸あり	折紙		
I	42		軍事秘密集成五万分一地形図鹿児島第二号	昭和20					座標軸あり	折紙		
I	43		軍事秘密集成五万分一地形図鹿児島第三号	昭和20					座標軸あり	折紙		
I	44		軍事秘密集成五万分一地形図鹿児島第四号	昭和20					座標軸あり	折紙		
I	45		軍事秘密集成五万分一地形図宮崎第三号	昭和20					座標軸あり	折紙		
I	46		軍事秘密集成五万分一地形図宮崎第四号	昭和20					座標軸あり	折紙		
I	47		軍事秘密集成五万分一地形図開聞獄第一号	昭和20					座標軸あり	折紙		
I	48		軍事秘密集成五万分一地形図開聞獄第一号	昭和20					座標軸あり	折紙		
I	49		軍事秘密集成五万分一地形図開聞獄第三号	昭和20					座標軸あり	折紙		
I	50		軍事秘密集成五万分一地形図開聞獄第一号東部	昭和20					座標軸あり	折紙		
I	51		娘･妻･赤ちゃんの医典　婦人生活附録	昭和27	3	1	原田常治	同志社	400頁　婦人の本			
I	52		参戦二十将星日露大戦を語る	昭和10	3	23	相馬基	東京日日新聞社･大阪毎日新聞社	326頁　日露戦の回想を各将校たちがのべる			
I	53		農魂と農法　農家婦人読本の巻	昭和24	7	20	松田喜一	日本農友会出版部	131頁　農村婦人の心構えを説く			
I	54		偉傑小田利三郎翁畧伝	昭和6	12	10	副島重次郎	同上	16頁　遠賀郡折尾町、芦屋町長などを歴任したる小田氏の伝記		2	
I	55		追憶	昭和26	9	30	津山つる	同上	津山政夫氏という八幡市議会議員経験者の思ひ出を妻がまとめたもの			
I	56		農魂と農法　農家経営の巻	昭和25	8	20	松田喜一	日本農友会出版部	158頁　農業経営の法と心がまえ			
I	57		勤皇秀歌　鎌倉吉野時代編	昭和17	11	20	松田武夫	聖紀書房	320頁　天皇をたたえる和歌と評論を掲載			

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
I	58		〔『農友の魂と技』というプリント〕				〔松田喜一ヵ〕	〔日本農友会ヵ〕	農業に関する標語、方法など	竪紙	1	
I	59		受胎調節法	昭和23	7	30	森山豊	女性の友社　東京赤坂	210頁　正しい知識を説いてる　包紙つき			
I	60		戦時中？〔慰問のお金を入れた袋〕				国防婦人会　芦屋分会		祝儀袋の表に「慰問」「国防婦人会蘆屋分会」とあり	祝儀袋	1	
I	61		高島易斷所本部編纂　昭和七年御重宝	昭和6	6	30	奥田象現	神霊館　大阪市	運勢の本　83頁	書冊		
I	62		百万人の写真術	昭和22	8	20	北野邦雄	光画荘	100頁　いたみひどし．写真全般（写しかたから原理まで）			
I	63		〔慰問の封筒〕				蘆屋町		祝儀袋	祝儀袋	1	
I	64		〔封筒の中に、満井佐吉「大機」なる本、封筒の切れ端、選挙投票を促すビラ〕	昭和19	9	20	満井佐吉	天関打開期成会	44頁　神国日本についてかいている．自分を神人と呼んでいる。投票を呼びかけるのは、「式正次に入れてください」とかいてある。封筒入り		3	
I	65		昭和十八年徴兵徴募　検査成績優良市町村	昭和19	2	11	福岡県国防会	同上	15頁　優秀な市町村とその調査方法を記載、当時福岡県知事は吉田茂			
I	66		〔各種切り抜き〕						グラビア5枚広告2枚	竪紙	7	
I	67		家の光　九月号	昭和8	9	1			内容は1933年くらいなので、戦争のことが多い			
I	68		〔洋服の型紙〕				福岡市本町樋口洋服店		洋服の型紙	切紙	1	
I	69		毎日年鑑　昭和二十二年版	昭和22	5	25	毎日新聞社	同上	639頁			
I	70		補助警察官読本　警防団防諜須知	昭和17	2	1	岸野憲吾	協榮出版社	147頁　スパイに注意する方法など			
I	71		青年	昭和17	5	1			一部残存　ほとんど散逸せり			
I	72		日本思想家選集　本居宣長	昭和18	4	10	蓮田善明	新潮社	274頁			
I	73		西遊記　孫悟空	昭和23	12	5		大阪市東住吉区　冨士屋書店	479頁			
I	74		アジアの光　釋尊	昭和18	1	5	友松円諦	東京市小石川区　潮文閣	239頁			
I	75		現代語譯　古事記	昭和18	6	1	植木直一郎	東京市小石川区　非凡閣	356頁			
I	76		福岡県　人物篇	昭和19	4	10	秋山六郎兵衛　編	京都市　第一芸文社	476頁			
I	77		高野長英	昭和18	6	20	中貞夫	東京市豊島区　弘学社	284頁			
I	78		日露大戦秘史・海戦篇	昭和10	5	16	朝日新聞社編	東京市麹町区　東京朝日新聞発行所	320頁			
I	79		吉川英治集　鳴門秘帖	昭和3	1	1	吉川英治	東京市神田区　株式会社　平凡社	1216頁			
I	80		祝賀弔祭式辭答辭挨拶	大正7	11	29	大日本雄辯研究会編		発行所　東京市神田区錦町誠文堂	書冊	1	(14版)発行
I	81		最新隣組家庭防空	昭和16	4	5発行	福岡県警防課編纂		発行所　東京市神田区神保町日本防空普及会　パンフレット	書冊	1	
I	82		苅萱と石童丸	昭和25	10	20	著作者・発行者　和歌山県伊都郡高野町徳富義孝		発行元　和歌山県伊都郡高野山苅萱堂	書冊	1	(48版)発行
I	83		花形講談	昭和25	1	1発行	発行所　株式会社双葉社		雑誌	書冊	1	
I	84		完全なる夫婦の生活別冊結婚生活	昭和25	3	1発行	発行所　夫婦文庫社		雑誌	書冊	1	
I	85		高等小学実踐唱歌集						末尾に安高団兵衛の名前あり、自ら整本し直したものカ	小横帳	1	
I	86	1	高等小学実踐唱歌集　下巻						末尾に「安高団兵衛」の名前あり、自ら整本したものカ	小横帳	1	
I	86	2	九州御臨幸大演習頌徳唱歌	明治35	10	18発行	発行者　宮内琢磨		作歌者　今村為雄、作曲者　村上一郎、表紙に「安高団兵衛」とあり	小横帳	1	
I	87		葉隠忠臣蔵	昭和15	12	20	著者　白須賀六郎		発売元　宮越太陽堂書房	書冊	1	(再版)
I	88		麻生太吉伝	昭和9	12	8発行	著作兼刊行者　泉彦藏		発兌第一書房	書冊	1	
I	89		週報	昭和19	10	25発行	編輯者　東京都麹町区霞ヶ関情報局		表紙に「安団」とあり			
I	90		安産手引草	明治30	6	15発行	編纂兼発行者　藤野良造		非売品	書冊	1	
I	91		通俗　金解禁の話	昭和4	11	19	青木得三	福岡市　福岡日日新聞社	42頁	書冊		
I	92		大日本全史	昭和9	12	10	岡本茂男	東京市神田区　一元社	598頁			
I	93		栄養週期適期施肥法概説	昭和18	6	10	大井上康	東京市渋谷区　大日本赤誠会本部	27頁			
I	94		改新世界全図	昭和18	4	5	芥沢謦吾	東京市小石川区　大同出版社				
I	95		若松を語る	昭和9	9	1	石崎敏行	同上	182頁			

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
I	96		日本歴史軍歌記	明治29	8			積善館	156頁			
I	97		青年よ起て	昭和8	12	21	松岡洋右	東京市四谷区　日本思想研究会出版部	289頁			
I	98		史都鎌倉	昭和21	7	1	座田司氏	神奈川県鎌倉市　鶴岡八幡宮社務所	128頁			
I	99		リーダーズ・ダイジェスト　十一月号	1959	11			東京都千代田区　リーダーズダイジェスト日本支社	174頁			
I	100		五千哩競争鉄道唱歌	明治39	6	24	松内冷洋、奥村不染	大阪市北区亀齢堂	8頁			
I	101		地理歴史教育福岡県内唱歌　第二集	明治33	12	22	山王堂　定	同上　発行者	32頁			
I	102		地理教育　世界唱歌　上巻				大和田建樹		30頁　裏表紙欠			
I	103		地理教育　世界唱歌　下巻	明治33	10	10	大和田建樹	三木佐助　発行者	34頁			
I	104		ヒットパレード　歌謡ランド	昭和30	3	1		東京都　想苑社	96頁			
I	105		防空警防関係法令及例規	昭和14	8	1		福岡県警察部警防課	312頁　規則等をまとめる			
I	106		雑誌古典研究第三巻第四号第二附録　馭戎慨言	昭和13	4	1	本居宣長	東京市麹町区　株式会社　雄山閣	127頁			
I	107		聖教要録　配所残筆	昭和19	1	5	山鹿素行	東京都神田区　岩波書店	106頁、村岡典嗣校訂			
I	108		雄山閣文庫第一部　石上私淑言	昭和12	12	1	本居宣長	東京市麹町区　株式会社　雄山閣	146頁			
I	109		雄山閣文庫第一部　古事記	昭和11	10	1		東京市麹町区　株式会社　雄山閣	100頁			
I	110		吉田松陰言行録	昭和14	4	15	広瀬豊	東京市神田区　株式会社　三省堂	138頁			
I	111		名菓　窓乃雪　来歴				日高六右衛門		名菓窓乃雪の来歴について記す	折紙		
I	112		雄山閣文庫第一部　読史餘論	昭和11	10	1	新井白石	東京市麹町区　雄山閣	275頁			
I	113		国勢調査からみた日本のすがた	昭和26	7	20	総理府統計局人口部編	東京都中央区日本週報社	203頁、国勢調査より人口問題などについて記す			
I	114		幕末愛国歌	昭和20	7	20	川田順	養徳社、奈良県	321頁			
I	115		公民館運営の理論と実際	昭和26	9	1	鈴木健次郎	社会教育連合会	279頁		1	
I	116		時刻表　五月号	昭和25	5	1	日本交通公社		231P		1	
I	117		情艶実話　四月号	昭和27	4	1	情艶実話社			書冊	1	
I	118		高橋お伝	昭和25	2	15	三田村連	創文社　京都市	187頁		1	
I	119		落語百題	大正8	2	5	新落語研究会	三友会出版部	378頁	書冊	1	
I	120		大正軍人の手紙	大正6	9	21	中村孝	国華堂書店、東京市	224頁　7．3㎝×10．5㎝	書冊	1	
I	121		大津ゑぶ志　二編						浄瑠璃本	小横帳	1	
I	122		大津ゑぶし　三篇						浄瑠璃本	小横帳	1	
I	123		貯金のすゝめ	明治38	9		金森通倫		貯金をすすめる実例集		12	
I	124		遠賀案内	明治35	12	11	□繁樹		活版印刷	書冊	1	
I	125		古今雑歌集	明治29	5	29	大熊浅次郎	博文社		小横帳	1	
I	126		講孟夜話　吉田松陰著	昭和16	9	10	和田健爾	東文社	500頁		1	
I	127		日本のあけぼのー講和問題の常識ー	昭和26	4	1	欧亜協会			書冊	1	
I	128		大仏殿小史	昭和22	4	1	狭川明俊			小冊子	1	
I	129		中国民衆は何を見出したか	昭和26	3	10	欧亜協会			書冊	1	
I	130		マッカーサ元帥の解件と講和問題	昭和26	6	1	欧亜協会			書冊	1	
I	131		皇室御写真集				編集兼発行人　美平晴道		発行所　日本孤児援護協会	書冊	1	
I	132		躍進アメリカを観る	昭和25	9	1発行	著者(衆議院議員)今村忠助		非売品	書冊	1	
I	133		農業の実験	昭和24	10	15	編輯兼発行者　奥原潔		発行所　家の光協会	書冊	1	(五版)
I	134		三十周年記念日露戦役回顧写真帖	昭和10	3	9発行	編輯人　東京市麹町区九段、財団法人軍人会館事業部			書冊	1	
I	135		農魂と農法(農魂の巻)	昭和22	8	20発行	著者　熊本県下益城郡松橋町松田喜一		発行所　熊本県下益城郡松橋町日本農友会出版部	書冊	1	
I	136		婦人越志遍艸						赤穂藩士讐討畧記が1～2丁目の間に挿入	書冊	1	
I	137		福岡県農会報	昭和14	7	1発行	福岡県農会発行		第401号	書冊	1	
I	138		遠賀郡郷土史話上巻	昭和31	8	5発行	著作兼発行者　福岡県中間町鳥森　夏秋茂			書冊	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
I	139		法律のひろば	昭和30	8	1発行	発行所　株式会社帝国地方行政学会		月刊8号	書冊	1	
I	140		法律のひろば	昭和30	9	1発行	発行所　株式会社帝国地方行政学会		月刊9号	書冊	1	
I	141		自治振興座談演説大全	昭和13	11	1	著作兼発行者　長峰安三郎		発行所　市町村雑誌社　贈呈印あり	書冊	1	(三版発行)
I	142		静斎遺稿	昭和32	9	15発行	発行兼編輯者　東京市本郷区東竹町　大田三郎		印刷所　東京市京橋区西紺屋町　株式会社秀英舎	書冊	1	
I	143		家庭料理講義録料理必携　全	大正5	3	30	発行兼印刷人　東京市本郷区元町　北村佳吉		発行所　東京市本郷区元町東京割烹講習会	書冊	1	(十版発行)
I	144		現代修養大観	大正4	5	10	高木斐川(編纂)	広文社　東京市	924P			
I	145	1	〔絵葉書〕						使用済10枚　未使用28枚	絵葉書	38	
I	145	2	体当りで行け	昭和16	6	27	二味幸吉	順世堂書店　東京市	36P			
I	145	3	汽車時刻表　山陰版	昭和16	2	15か？	大阪鉄道局(編纂)	大鉄局管内構内営業人聯合会		折紙		
I	145	4	鐵道旅行図	昭和12	3	28	佐藤昌次	文彰堂　東京市	全国温泉・名物案内	折紙	2	
I	145	5	松江市	昭和14	12	20	西村善汎	東京交通社		折紙		
I	145	6	〔スタンプ帳〕						出雲のスタンプ数点あり			
I	145	7	薬師如来本願和讃						祈祷について書いた折紙3点あり	折紙	4	
I	146		万松山泉岳寺参拝記念					高輪泉岳寺	絵葉書	絵葉書	8	
I	147		万松山泉岳寺参拝記念					高輪泉岳寺	絵葉書	葉書	0	
I	148		伊勢参宮名所絵葉書							絵葉書	16	
I	149		記念絵葉書				観光大和歴史観			葉書	12	
I	150		明治神宮鎮座二十年祭記念　絵葉書				明治神宮社務所	大塚巧芸社		絵葉書	4	
I	151		橿原神宮参拝記念						絵葉書	絵葉書	8	
I	152		万松山泉岳寺参拝記念					高輪泉岳寺	絵葉書	絵葉書	8	
I	153		国民精神文化研究所編纂　山鹿素行集第一巻	昭和18	10	30	国民精神文化研究室	目黒書店	699頁　山鹿素行の年譜、著作解説			
I	154		山鹿素行集第二巻	昭和18	11	15	国民精神文化研究所	目黒書店	657頁　山鹿素行の著作と解説			
I	155		山鹿素行集第三巻	昭和18	11	30	国民精神文化研究所	目黒書店	648頁　山鹿素行の著作とその解説			
I	156		山鹿素行集第四集	昭和18	12	15	国民精神文化研究所	目黒書店	702頁　山田素行の著作と解説			
I	157		山鹿語類第一	明治43	4	20	古川黄一	国書刊行会代表者早川純三郎	574頁　言行録			
I	158		山鹿語類第二	明治43	8	25	古川黄一	国書刊行館	532　言行録			
I	159		山鹿語類第三	明治43	9	30発行	古川黄一	国書刊行会	550頁　言行録			
I	160		皇国生産大会要綱	昭和18	2	12	大日本赤誠会主催　皇国生産者大会準備委員会			冊子	1	
I	161		農友　第二十六巻第六号	昭和18	6	1	大日本農友会出版部		18. 6. 18来　安団とメモ	冊子	1	
I	162		農友　第二十四巻第五号	昭和16	5	1	大日本農友会出版部			冊子	1	
I	163		農友　第二十四巻第六号	昭和16	6	1	大日本農友会出版部			冊子	1	
I	164		農友　第二十二巻第九号	〔昭和14〕	〔9〕	〔1〕	(大日本農友会出版部)				1	
I	165		農友　(第二十二巻第九号)	昭和14	9	1	大日本農友会出版部		I164の一部			
I	166		農友　第二十六巻第七号	昭和18	7	1	大日本農友会出版部				1	
I	167		農友　第二十六巻第八号	昭和18	8	1	大日本農友会出版部			冊子	1	
I	168		農友　第二十六巻第九号	昭和18	9	1	大日本農友会出版部			冊子	1	
I	169		農友　第二十六巻第十号	昭和18	10	1	大日本農友会出版部			冊子	1	
I	170		農友　第二十六巻第十一号	昭和18	11	1	大日本農友会出版部			冊子	1	
I	171		農友　第二十六巻第十二号	昭和18	12	1	大日本農友会出版部			冊子	1	
I	172		農友　第二十七巻第一号	昭和19	1	1	大日本農友会出版部				1	
I	173		農友　第二十七巻第二号	昭和19	2	1	大日本農友会出版部			冊子	1	
I	174		農友　第二十七巻第三号	昭和19	3	1	大日本農友会出版部			冊子	1	
I	175		戸田新八郎	明治45	2	5	雲花散人	立川文明堂		書冊	1	
I	176		楠公　上編	大正2	8	5	野花散人	立川文明堂:大阪市	258頁	書冊	1	
I	177		七夕吉書							折本	1	
I	178		救護法	〔昭和17頃ヵ〕			福岡県警察部		昭和17年12月13日午前1時半木本部長殿より受領スとのメモ	冊子	1	
I	179		九州巡幸グラフ	昭和24	6	20	朝日新聞社撮影			冊子	1	
I	180		1960年リーダーズダイジェスト　十二月号	1960	12	1	リーダーズダイジェスト日本支社			書冊	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
I	181		1960年リーダーズダイジェスト　十月号	1960	10	1	リーダーズダイジェスト日本支社			書冊	1	
I	182		1960年リーダーズダイジェスト　五月号	1960	5	1	リーダーズダイジェスト日本支社			書冊	1	
I	183		1960年リーダーズダイジェスト　八月号	1960	8	1	リーダーズダイジェスト日本支社			書冊	1	
I	184		1960年リーダーズダイジェスト　四月	1960	4	1	リーダーズダイジェスト日本支社			書冊	1	
I	185		1960年リーダーズダイジェスト　七月号	1960	7	1	リーダーズダイジェスト日本支社			書冊	1	
I	186		丹下左膳				宝雲社刊				1	
I	187		丹下左膳　こけ猿の巻	昭和23	12	20	林不志	宝雲舎版			1	
I	188		丹下左膳	昭和24	3	25	林不忘	宝雲舎			1	
I	189		丹下左膳　第二巻	昭和23	10	30	林不忘	宝雲社　東京都	390P			
I	190		丹下左膳　第五巻	昭和24	5	15	林不忘	宝雲社　東京都	231P			
I	191		ポケット　汽車汽船旅行案内時刻表	昭和18	6	1	旅行案内社	〃　東京市	418P			
I	192		作詩大成	明治44	1	5発行	著者　東京市神田区裏神保町井土靈山		発行所　東京市神田区裏神保町崇文館	書冊	1	
I	193		ポケット新譯アラビヤ物語	明治44	11	5	著作者　東京市浅草区下平右衛門町日野蕨村		発行所　岡村盛花堂	書冊	1	（再版）
I	194		リーダーズダイジェスト	1952	5	15			月刊雑誌カ　6月号	書冊	1	
I	195		リーダーズダイジェスト	1952	3	15印刷			月刊雑誌　4月号	書冊	1	
I	196		リーダーズダイジェスト	1952	3	15発行			月刊雑誌　4月号			
I	197		新訂神皇正統記	昭和15	11	28発行	発兌改造社		改造文庫第2部第16篇	書冊	1	
I	198		絵入新軍歌	明治33	1	10発行	発行所　東京市日本橋区馬喰町文友堂		末尾に「福岡県筑前国遠賀郡芦屋町粟屋安高氏安高団兵衛」とあり	書冊	1	
I	199		和漢泰西格言集	明治25	11	10出版	発兌東京京橋区中橋和泉町藍外堂・神田区柳原河岸学友舘		自助樓主人撰輯	書冊	1	
I	200		流行浪花ぶし						歌曲文庫　後欠	書冊	1	
I	201		スタア愛唱集				発行所　日米音楽出版社			書冊	1	
I	202		靖獻遺言	昭和18	12	5	発行所　東京都神田区一ツ橋岩波書店		岩波文庫	書冊	1	（第2刷発行）
I	203		浪花節名人揃	昭和4	3	10	発行所　大阪市南区高津金星社書店			書冊	1	（10版発行）
I	204		〔日米日常会話〕				西日本新聞社出版局		前後欠	書冊	1	
I	205		〔欠番〕					I200の続				
I	206		現代流行歌集				発行所　大阪市南区内安堂寺町聖光社書店			書冊	1	
I	207		最新流行歌曲全集	昭和26	1	5発行	発行所　東京都文京区西丸町幸玉書館		1951年度版	書冊	1	
I	208		歌の花籠	昭和15	7	5発行	発行所　東京市淀橋区戸塚町新興音楽出版社		表紙欠	書冊	1	
I	209		清国征討新軍歌　全	明治27	10発行		著作兼発行者　東京市神田区西福田町杉山米吉		附支那征伐替うたづくし、表紙・末尾に「蘆屋町粟屋安高氏安高団兵衛」とあり	書冊	1	
I	210		写真画報CAMERA特別臨時増刊　六年間の記録	昭和26	12	25	桑原甲子雄	(株)アルス	190頁、写真で戦後6年の記録をつづる。極東軍事裁判など			
I	211		画報近代百年史1850～1950	昭和27	2	5	不動健治	国際文化情報社	654頁　第1集～第8集を紐でとじている。			
I	212		美保の関景観						16枚組絵葉書袋入	絵葉書	16	
I	213		倫理御新講草案	昭和11	4	3	猪狩又蔵	杉浦重剛先生倫理御進講草案刊行会	1176頁　東宮殿下を教えたときのこと			
I	214		現代修養大観全　の背表紙				高木斐川	加藤咄堂	背表紙のみ			
I	215		西部防衛司令部編纂　防空手簿	昭和13	10	30	西部防衛司令部	川流堂　小林又七本店	222頁　付録40頁　他補遺あり　詳しく防衛について			
I	216		感激実話全集全八巻　義の人・情の人	昭和14	3	10	福岡益雄	金星堂	356頁　世の中の美談をあつめたる本なり。巻末に感想文あり			
I	217		靖獻遺言の精神と釈義	昭和19	5	20	大塚伴鹿	旺文社	261頁　浅見絅斎関係			
I	218		神州天子国	昭和3	10	25	酒井勝軍	東京市日本橋区　万里閣書房	561頁　神国たるべき日本について			
I	219		民族日本歴史(戦国編)	昭和10	10	15	白柳秀湖	千倉書房	441頁　戦国時代の解説			
I	220		山鹿素行集　第五巻	昭和18	12	20	国民精神文化研究所	東京都神田区　目黒書店	537頁　素行の著述を集む			
I	221		山鹿素行集　第六巻	昭和19	1	10	国民精神文化研究所	東京都神田区　目黒書店	572頁　山鹿素行の著作を集む			

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
I	222		山鹿素行集　第七巻	昭和19	1	20	国民精神文化研究所	東京都神田区　目黒書店	522頁　山鹿素行の著作を集む			
I	223		山鹿素行集　第八巻	昭和18	11	30	国民精神文化研究所	東京都神田区　目黒書店	474頁　山鹿素行の著作を集む			
I	224		新選漢文教科書　第二学年用	昭和16	11	5	飯島忠夫	東京市麹町区　中等学校教科書株式会社	140頁　漢文の教科書			
I	225		新註女大学	昭和18	5	30	平原北堂	京都市下京区　人生道場	78頁　貝原益軒の女大学の解説	書冊		
I	226		高等小学国史　上巻	昭和13	2	21	文部省	東京市王子区　東京書籍株式会社	本編188頁、年表9頁			
I	227		農友　第二十六巻第五号	昭和18	5	1	大日本農友会出版部			冊子	1	
I	228		時局　第一一八号	昭和18	4	8	時局社　東京市世田谷区		22頁	冊子	1	
I	229		松陰主義の生活	昭和18	12	31	近藤留蔵	山口県、松陰精神普及会本部	28頁、吉田松陰の考えを信仰する人々への訓辞	冊子	1	
I	230		臣民の道	昭和16	8	15	櫻木俊晃	朝日新聞社	102P			
I	231		農魂と農法(農魂の巻)	昭和22	8	20	松田喜一	日本農友会出版部　熊本県	143P			
I	232		日本選挙制度の提唱	昭和29	5	20	双川喜一	明治大学出版部	260P			
I	233		山鹿語類第四	明治44	2	28	古川黄一	図書刊行会	460P　非売品			
I	234		SCRAP　BOOK						未使用	書冊		
I	235		写真・図説　日本百年の記録1近代の開幕	昭和35	11	5	小西四郎　他5名(編集)	講談社　東京都	226P			
I	236		写真・図説　日本百年の記録2世界と日本	昭和35	12	10	小西四郎　他5名(編集)	講談社　東京都	226P			
I	237		写真・図説　日本百年の記録3現代の展望	昭和36	1	20	小西四郎　他5名(編集)	講談社　東京都	226P			
J	1		金銭出納帳	昭和29	1	1			封筒・一紙挟込あり	書冊	1	(～12月31日)
J	2		金銭出納帳	昭和30	1	1			一紙(領収証他)挟込あり	書冊	1	(～12月31日)
J	3		〔書簡類〕	〔昭和30〕	〔4〕	〔25〕			封書18、電報1、葉書14	袋入	1	(～昭和32年1月30日)(大学入学願書案内書)記入あり、秋山光見差出人、静岡県伊東市松原猪戸2ノ593
J	4		昭和弐拾八年出納簿	昭和27	10	7				書綴	1	(～昭和28年12月31日)
J	5		〔昭和29年生産米供出割当計算表メモ〕	昭和29					昭和29年12月16計算　安団	一紙	1	その他後期模試案内紙挟込あり
J	6		仕切書	昭和27	12	3	遠賀青果、北九州青果(株)八幡支店・遠賀出張所			一紙	23	(～12月31日)針ピン止
J	7		〔金銭出納簿〕	昭和26	1	1			領収証、検査・注射・薬浴・投薬証明手帳、農作物メモ挟込あり	書冊	1	(～昭和27年9月29日)背表紙破損
J	8		昭和24年紀元2609年西暦1949年己丑の年金銭出納簿	昭和24	1	1			領収書・学費関係案内・仕切書他挟込あり	書冊	1	(～昭和25年12月31日)紙紐で縛る
J	9		昭和22年紀元2607年(丁亥ノ年)西暦1947年金銭出納簿	昭和22	1	1			年間収入支出一覧表・領収書綴他挟込あり	書冊	1	(～昭和23年12月31日)
J	10		金銭出納簿	昭和20	1	1			領収証・年間収入支出一覧表・衣料切符他挟込あり	書冊	1	(～昭和21年12月31日)
J	11		金銭出納簿	昭和18	1	1			年間収入支出一覧表・仕切書他挟込あり	書冊	1	
J	12		広報ふくおか　2月号	昭和31	2	1発行	福岡県知事室総務課発行			書冊	1	
J	13		〔書簡類〕	昭和16	9	3			封書14、葉書8、電報2、一紙5	紙紐括り		
J	14		〔奉讃会・日蓮宗関係書簡〕	昭和17						封書入	1	日蓮宗関係書類入封筒
J	15		〔書簡〕	〔昭和18〕	9	23				封書	1	
J	16		仕切書	〔昭和27ヵ〕	12	31	北九州青果(株)八幡支店遠賀出張所		J6の端紙カ	一紙	1	
J	17		南瓜栽培記	昭和4年度以降					神武天皇即位紀元2589年己巳　仕切書8、一紙1挟込あり	書冊	1	
J	18		胡瓜栽培記	昭和4己巳以降					神武天皇即位紀元2589年　葉書1、仕切書1、一紙1挟込あり	書冊	1	
J	19		文通交際発信受信月日表　第一部	大正9	1	1以降			帳簿目次1　一紙挟込あり	書冊	1	昭和4年12月31日迄
J	20		文通交際発信受信月日表　第二部	昭和5以降					名刺1、サンフランシスコ住所メモ1、挟込あり	書冊	1	昭和11年度迄
J	21		〔目録〕						土地台帳4冊、地中温度計4本、ハサミ2ヶ他	一紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
J	22		交通交際発信受信月日表(第五部の壱)	昭和25年度以降					封筒・葉書・奉讃会関係他挟込あり	書綴	1	昭和26年度分共
J	23		金銭出納帳	明治45	1	1	安高福蔵			書綴	1	(～12月31日)
J	24		大正五年度　金銭出納帳	大正5	1	1	安高福蔵		長男書記	書綴	1	(～12月31日)
J	25		大正六年度　金銭出納帳	大正6	1	1	安高福蔵		次男書記	書綴	1	(～12月31日)
J	26		大正七年度　金銭出納帳	大正7	1	1	安高福蔵		次男書記	書綴	1	(～12月31日)
J	27		大正八年度　金銭出納帳	大正8	1	1	安高福蔵		次男書記	書綴	1	(～12月23日)
J	28		便箋複写簿	昭和11	5	12			第1号～第9号・手紙(発信)の控	書綴	9	(～昭和15年4月14日)
J	29		便箋複写簿	昭和15	6	17			第10号～第17号・手紙(発信)の控	書綴	9	(～昭和24年5月8日)
J	30		便箋複写簿	昭和27	9	5			第2部1～15　欠番4、7、12　手紙(発信)の控	書綴	12	(～昭和37年2月20日)
J	31		〔複写式葉書簿〕	昭和11	5	19			第1号、葉書(発信)の控	書綴	1	(～昭和12年11月9日)
J	32		野戦築城教範　総則及第一部	昭和18	4	30発行		(株)尚兵館	348頁　付表20枚　昭和18年6月30日陸軍省検閲済	書冊	1	
J	33		おへその宙返り	大正8	10	1	奥野他見男	東文堂　東京中渋谷町	306頁	書冊	1	五六版
K	1		国語かな遣便覧	昭和40	12		あしや水くきうた会			書綴	1	
K	2	1	水くき	昭和40	10月号		あしや水くきうた会		和歌会の会誌	書綴	1	(第6号の1)
K	2	2	水くき	昭和40	11月号		あしや水くきうた会		和歌会の会誌	書綴	1	(第7号の1)
K	2	3	水くき	昭和40	11月号		あしや水くきうた会		和歌会の会誌	書綴	1	(第7号の1)
K	2	4	水くき	昭和41	2月号		あしや水くきうた会		和歌会の会誌	書綴	1	(第10号)
K	3		〔芦屋水くきうた会関係〕	〔昭和35～37〕					うた会「八雲」綴、和歌、回覧他	紙袋入	多数	坂口書店紙袋
K	4	1	歌題　海辺の秋風	昭和33	9	13	遠賀郡芦屋町水茎社歌会		(岡沢先生選)(安団写記)和歌綴	書綴	1	
K	4	2	歌題　閑居(十一首)	昭和33	9	13	遠賀郡芦屋町水茎社歌会		(岡沢先生選)(安団写す)和歌綴	書綴	1	
K	4	3	歌題　観月	昭和33	9	27	遠賀郡芦屋町水茎社歌会		臨時うた会(岡沢先生選)(安団写記)和歌綴	書綴	1	
K	4	4	歌題　運動会(二十一首)	昭和33	9	27	遠賀郡芦屋町水茎社歌会		臨時うた会(岡沢先生選)(安団写す)和歌綴	書綴	1	
K	4	5	歌題　豊年(十一首)	昭和33	10	18	遠賀郡芦屋町水茎社歌会		(岡沢先生選)(安団写記)和歌綴	書綴	1	
K	4	6	歌題　千鳥(十一首)	昭和33	10	18	遠賀郡芦屋町水茎社歌会		(岡沢先生選)(安団写記)和歌綴	書綴	1	
K	4	7	歌題　庭の落葉(十六首)	昭和33	11	3	遠賀郡芦屋町水茎社歌会		(岡沢先生選)(安団写記)和歌綴	書綴	1	
K	4	8	昭和三十四年度新年の御題　窓(十九首)	昭和33	11	3	福岡県遠賀郡芦屋町水茎社歌会		(岡沢先生添削)(安団うつす)和歌綴	書綴	1	
K	4	9	歌題　枯野の月(十九首)	昭和33	12	6	筑前芦屋町水茎社歌会		(岡沢先生選)(安団写す)和歌綴	書綴	1	
K	4	10	歌題　歳暮近し(二十首)	昭和33	12	6	筑前芦屋町水茎社歌会		(岡沢先生選)(安団写す)和歌綴	書綴	1	
K	5	1～57	〔和歌綴〕						自昭和37年1月～9月の9ヶ月分詠草	紙袋入	1	中尾書店紙袋
K	5	1	一、新年(十四首)	昭和37	1		芦屋水くきうた会		(昭和37年1月14日着、昭和37年1月15日返)和歌綴	書綴	1	
K	5	2	二、成人日(十首)	昭和37	1		芦屋水くきうた会		(昭和37年1月14日着、昭和37年1月1〔5〕日返)和歌綴	書綴	1	
K	5	3	三、自由題(十五首)	昭和37	1		芦屋水くきうた会		(昭和37年1月14日着、昭和37年1月15日返)和歌綴	書綴	1	
K	5	4	(壱)初日(九首)	昭和37	1		芦屋水くきうた会		(八雲会)岡沢氏病中メモあり、和歌綴	書綴	1	
K	5	5	(弐)謡曲(八首)	昭和37	1		芦屋水くきうた会		(八雲会)和歌綴	書綴	1	
K	5	6	(参)時局のうた(七首)	昭和37	1		芦屋水くきうた会		(八雲会)岡沢先生病中メモあり、和歌綴	書綴	1	
K	5	7	一、蒲公英(十五首)	昭和37	2		芦屋水くきうた会		朱書批評あり、和歌綴	書綴	1、その他一紙1	
K	5	8	二、カナリヤ(十四首)	昭和37	2		芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
K	5	9	三、自由題(十五首)	昭和37	2		筑前芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
K	5	10	(壱)朝霞(十一首)	昭和37	2		芦屋水くきうた会		(八雲会)、和歌綴	書綴	1	
K	5	11	(弐)食卓(十三首)	昭和37	2		芦屋水くきうた会		(八雲会)、和歌綴	書綴	1	
K	5	12	(参)実況のうた(十一首)	昭和37	2		芦屋水くきうた会		(八雲会)、朱書批評あり、和歌綴	書綴	1	
K	5	13	(一)野焼(十四首)	昭和37	3		芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
K	5	14	(二)握飯(十六首)	昭和37	3		芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
K	5	15	(三)自由題(十五首)	昭和37	3		芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
K	5	16	(壱)春川(十一首)	昭和37	3		芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
K	5	17	(弐)カメラ(十二首)	昭和37	3		芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
K	5	18	(参)時局のうた(七首)	昭和37	3		芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
K	5	19	(一)蝸牛(十六首)	昭和37	4		芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
K	5	20	(二)蓮華草(十七首)	昭和37	4		芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
K	5	21	(三)自由(十五首)	昭和37	4		芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
K	5	22	(壱)花盛(九首)	昭和37	4		芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
K	5	23	(弐)山峡(十一首)	昭和37	4		芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
K	5	24	(参)実況のうた(十一首)	昭和37	4		芦屋水くきうた会		朱書批評あり、和歌綴	書綴	1	
K	5	25	(一)金魚	昭和37	5	3	芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
K	5	26	(二)夏蝿	昭和37	5	3	芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
K	5	27	(三)自由題	昭和37	5	3	芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
K	5	28	(壱)若竹	昭和37	5	3	芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
K	5	29	(弐)国訛	昭和37	5	3	芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
K	5	30	(参)時局のうた	昭和37	5	3	芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
K	5	31	(一)梅雨晴(二十二首)	昭和37	6	3	芦屋水くきうた会		(岡沢麟太郎先生選)和歌綴	書綴	1	
K	5	32	明治神宮護国神社　献詠歌				(芦屋水くきうた会)		和歌綴	書綴	1	
K	5	33	(二)サボテン(十九首)	昭和37	6	3	芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
K	5	34	(三)自由題	昭和37	6	3	芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
K	5	35	(壱)川螢(二十四首)	昭和37	6	3	芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
K	5	36	(弐)鶏舎(十九首)	昭和37	6	3	芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
K	5	37	(参)実況のうた(九首)	昭和37	6	3	芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
K	5	38	(一)扇(十九首)	昭和37	7	4	芦屋水くきうた会		(岡沢麟太郎先生選)和歌綴	書綴	1	
K	5	39	(二)別荘(十六首)	昭和37	7	4	芦屋水くきうた会		(岡沢麟太郎先生選)和歌綴	書綴	1	
K	5	40	(三)自由題(二十四首)	昭和37	7	4			(岡沢麟太郎先生選)和歌綴	書綴	1	
K	5	41	(壱)夕立(十七首)	昭和37	7	4	芦屋水くきうた会		岡沢麟太郎先生選、和歌綴	書綴	1	
K	5	42	(弐)朝もや(十六首)	昭和37	7	4	芦屋水くきうた会		岡沢麟太郎先生選、和歌綴	書綴	1	
K	5	43	(参)時局のうた(十九首)	昭和37	7	4	芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
K	5	44	(一)涼風(二十六首)	昭和37	8	4	芦屋水くきうた会		岡沢麟太郎先生選、和歌綴	書綴	1	
K	5	45	(二)浴後(二十首)	昭和37	8	4	芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
K	5	46	(三)折にふれて(二十一首)	昭和37	8	4	芦屋水くきうた会		岡沢麟太郎先生選、和歌綴	書綴	1	
K	5	47	(壱)水樓(十九首)	昭和37	8	4	芦屋水くきうた会		岡沢麟太郎先生選、和歌綴	書綴	1	
K	5	48	(弐)廂(二十首)	昭和37	8	4	芦屋水くきうた会		岡沢麟太郎先生選、和歌綴	書綴	1	
K	5	49	(参)実況のうた(十首)	昭和37	8	4	芦屋水くきうた会		岡沢先生選、和歌綴	書綴	1	
K	5	50	新年御題『草原』	昭和37	9		芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
K	5	51	献詠歌(七首)	昭和37	9	5	芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
K	5	52	(一)残暑(二十二首)	昭和37	9	5	芦屋水くきうた会		岡沢麟太郎先生選、和歌綴	書綴	1	
K	5	53	(二)テレビ(二十三首)	昭和37	9	5	芦屋水くきうた会		岡沢麟太郎先生選、和歌綴	書綴	1	
K	5	54	(三)自由題(二十首)	昭和37	9	5	芦屋水茎うた会		岡沢麟太郎先生選、和歌綴	書綴	1	
K	5	55	(壱)野虫(十九首)	昭和37	9	5	芦屋水くきうた会		岡沢麟太郎先生選、和歌綴	書綴	1	
K	5	56	(弐)素早し(十九首)	昭和37	9	5	芦屋水くきうた会		岡沢麟太郎先生選、朱書批評あり、和歌綴	書綴	1	
K	5	57	(参)時局のうた(十九首)	昭和37	9	5	芦屋水くきうた会		岡沢麟太郎先生選、和歌綴	書綴	1	
K	6		〔芦屋水くきうた会関係〕	昭和38	9		芦屋水くきうた会		和歌表現、短冊紙、九大病院内安高氏宛荷札	一紙、その他短冊紙2、荷札1	14	(～昭和39年1月4日)
K	7	1	〔側溝自費設置願下書〕	昭和10	9	7	区長	折尾土木管区事務所長　七俵仙太郎		一紙	1	
K	7	2	〔敬老会出席案内〕		4	29	芦屋町長　小田利三郎、芦屋校長　小崎久太郎	区長		一紙	1	
K	7	3	〔岡湊神社建築委員会メモ〕						建築物件、予算、委員長、委員名	一紙	1	
K	8	1～4	〔和歌綴〕	昭和40	10		あしや水くきうた会		初袷ほか	書綴	4	その他無地紙袋入

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
K	9	1～5	〔和歌綴〕	昭和41	3		あしや水くきうた会		明治神宮献詠兼題・若菜ほか	書綴	5	(昭和41年3月5日)その他芦屋郵便局紙袋入
K	10	1～5	〔和歌綴〕	昭和41	2		あしや水くきうた会		明治神宮献詠兼題・野焼ほか	書綴	5	(昭和41年2月5日)日本報道写真連盟紙袋入
K	11		〔芦屋水茎関係〕	昭和34	1	10	筑前芦屋町水茎社歌会	岡沢麟太郎(福岡市浪人谷13④2585)	葉書2、封書2、書綴2、一紙13、小包袋1	袋入	多数	朝日新聞西部本社学芸課紙袋入
K	12		八雲	昭和37	1月号		八雲会		和歌会の会誌	書綴	1	
K	13		〔和歌綴他水くきうた会関係〕	昭和41	9・10		あしや水くきうた会他		一紙10・2、書冊5・1・5、新聞切抜1	袋入	多数	瓜生成子(遠賀郡芦屋町西浜町)より安高宛封筒入(九大病院内科共新2内2号室)
K	14		〔和歌添削〕	昭和33	2	1			中野亨添削か？	一紙	1	
K	15		水くき	昭和41	5月号		あしや水くきうた会		和歌会の会誌	書綴	1	(第13号)
K	16	1～22	〔和歌綴〕	昭和40	2	6	あしや水くきうた会		おみくじ他	書綴	22	(3月6日、4月12日、3月4月)肉の大力のビニール袋入
K	17	1～5	〔和歌綴〕	昭和40	10		あしや水くきうた会		明治神宮献詠兼題・鳴子他	書綴	5	日本砂丘研究会(鳥取大学農学部内)紙袋入
K	18		〔年賀状〕	昭和39				安高団兵衛		葉書	86	
K	19		〔書簡等〕	昭和16～22					封書2、葉書1(北米・塩谷まき宛封筒内)封書3、葉書30、名刺15、切符2、ヤマト種苗農具(株)払込票2、参議院議員選挙投票所入場券7			
K	20		〔書簡等〕	昭和20・21					封書27、葉書37、郵便料金受領証3、受領票1、「報徳」4、一紙1			
K	21		〔書簡等〕	昭和21・22					封書22、葉書49、一紙14			
K	22		〔書簡等〕	昭和18・19・20・21					封書17、葉書32、電報送達紙3、一紙7			
K	23		芦屋水茎和歌会関係書類綴	昭和34	12以降					書綴	1	第4部(昭和39年12月中旬以降)
K	24		〔和歌綴〕	昭和41	4		あしや水くきうた会		明治神宮献詠歌・春の海他	書綴	5	フク印紙袋入
K	25		水くき　第四号(岡号)	昭和40	8		あしき水くきうた会		和歌会の会誌	書綴	1	
K	26	1～5	〔和歌綴〕	昭和41	5	4	あしや水くきうた会		茶道他、明治神宮献詠兼題	書綴	5	(6月)内田商店紙袋入
K	27		〔和歌綴〕	昭和41	5、6		あしや水くきうた会		岡沢先生の御逝去を悼みて、明治神宮献詠歌題　戀ほか	書綴	7	(6月4日)書店紙袋入
K	28	1～7	〔和歌綴〕	昭和41	5		あしや水くきうた会		岡沢先生の御逝去を悼みて、初夏ほか	書綴	7	(6月4日)日本報道写真連盟西部本部紙袋入
K	29		農村の現情と農業経営方法の改善	昭和8	4					書冊	1	
K	30	1	石橋尺山遺稿　北斗に祈る	昭和16	4	14発行	故　石橋開蔵		発行　石橋尺山墓碑建設並遺稿出版事務所	書冊	1	
K	30	2	〔書簡〕	昭和16	4	11	石橋尺山墓碑建設並遺稿出版事務所	安高団兵衛	(福岡県宗像郡東郷町)事務所	封書	1	
K	31		文部省交公布　昭和国民礼法要項　図解説明入	昭和16	6	25	解説　渡辺皎		発行　富文館	書冊	1	5版
K	32		日本新分県地図　群馬県	昭和16	4	10発行	日本統制地図(株)		〔附〕市町村便覧　地図		1	
K	33		八幡市	昭和9	4	1発行	福岡県八幡商工会議所発行		地図		1	
K	34		最新　岡山県	昭和11	11	5発行	駸々堂書店　発行		駸々堂旅行案内部製図地図		1	
K	35		最新　兵庫県	昭和15	7	5発行	駸々堂書店　発行		駸々堂旅行案内部製図地図		1	
K	36		最新　香川県	昭和10	5	5発行	駸々堂書店　発行		駸々堂旅行案内部製図地図		1	
K	37		最新　高知県	昭和12	8	5発行	駸々堂書店　発行		駸々堂旅行案内部製図地図		1	
K	38		日本府県管内地図　京都府	大正15	8	5再版	駸々堂旅行案内部　発行		駸々堂旅行案内部製図		1	
K	39		日本府県管内地図　滋賀県	大正8	2	10再版	駸々堂旅行案内部　発行		駸々堂旅行案内部製図		1	
K	40		日本府県管内地図　愛知県	大正8	9	10再版	駸々堂旅行案内部　発行		駸々堂旅行案内部製図		1	
K	41		日本府県管内地図　福井県	大正7	9	5発行	駸々堂旅行案内部　発行		駸々堂旅行案内部製図		1	
K	42		日本府県管内地図　長野県	大正13	7	25再版	駸々堂旅行案内部　発行		駸々堂旅行案内部製図		1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
K	43		日本府県管内地図　神奈川県	大正10	2	5発行	駸々堂旅行案内部　発行		駸々堂旅行案内部製図		1	
K	44		五万分の一地形図　赤間(小倉六号共十六面)	大正3	4	30発行	大日本帝国陸地測量部				1	
K	45		五万分ノ一地形図　福岡(小倉十一号共十二面)	明治37	3	30発行	大日本帝国陸地測量部				1	
K	46		五万分の一地形図　太宰府(小倉七号共第十六面)	大正2	1	30発行	大日本帝国陸地測量部				1	
K	47		五万分ノ一地形図　後藤寺(小倉三号共十四面)	明治36	3	30発行	大日本帝国陸地測量部				1	
K	48		五万分の一地形図　行橋(小倉二号共十六面)	大正3	4	30発行	大日本帝国陸地測量部				1	
K	49		五万分の一地形図　津屋崎(小倉十号共十二面)	大正元	8	30発行	大日本帝国陸地測量部				1	
K	50		五万分ノ一地形図　中津(中津十五号共十二面)	大正7	12	28発行	大日本帝国陸地測量部				1	
K	51		二十万分ノ一(帝国図二十六行、二十七段)中津(大分県)	大正2	11	30発行	大日本帝国陸地測量部				1	
K	52		二十万分ノ一(帝国図二十七行、二十七段)小倉(福岡県)	明治45	7	30発行	大日本帝国陸地測量部				1	
K	53		二十万分ノ一(帝国図第二十七行　第二十八段)　熊本	大正2	4	30発行	大日本帝国陸地測量部				1	
K	54		大日本分県地図　最新　愛媛県	昭和17	3	15発行	日本統制地図(株)　発行		附　管内地誌、市町村便覧、諸官公衙所在地		1	
K	55		大日本分県地図　最新　香川県	昭和16	7	1発行	日本統制地図(株)　発行		附　管内地誌、市町村便覧、諸官公衙所在地		1	
K	56		三十五区詳細町名早わかり　新大東京全図	昭和17	3	18	日本統制地図(株)		官公署、学校、名勝遊覧案内		1	6版発行
K	57		大日本分県地図　最新　徳島県	昭和17	3	5発行	日本統制地図(株)　発行				1	
K	58		二十万分ノ一帝国図(第二十六行第二十八段)　大分	大正5	1	30発行	大日本帝国陸地測量部				1	
K	59		町名早わかり三十五区詳細　最新　大東京案内図	昭和18	4	15	日本統制地図(株)　発行		官公署、学校、名所遊覧案内		1	4版発行
K	60		大京都市街地図	昭和14	1	20発行	和楽路屋　発行		日下式早ワカリ最新調査精良無比　附近畿遊覧地図		1	
K	61		日本交通分県地図「其十一」　愛知県	大正13	8	15発行	大阪毎日新聞		東宮御成婚記念　第14804号4号付録		1	
K	62		大日本分県地図　最新　島根県	昭和15	1	15	日下　和楽路屋　発行		主要道路粁程・里程詳記、管内地誌、市町村便覧、人口便覧、主要物産		1	再版発行
K	63		月琴胡琴　明笛独案内	大正4	7	20	平井明(聯山)著		矢島誠進堂書店発行、雅曲・唱歌・軍歌・俗曲・剣舞詩曲譜60曲	書冊	1	第30版発行
K	64		乃木神社乃木旧邸　写真帖	昭和4	3	25発行	乃木神社々務所　発行			書冊	1	
K	65		宮内省御貸下　宮城写真帖	大正12	7	10	大日本国民教育会　発行		附新宿御苑	書冊	1	10版発行
K	66		有栖川宮記念　厚生資金　選奨録　第拾弐輯	昭和19	12	26	高松宮出版			書冊	1	
L	1		昭和四十二年一月号　水くき誌	昭和42					歌題「餅」「生花」「カレンダー」「礼儀」	書冊	4	
L	2		〔葉書〕	昭和42	2	21	芳村圭助、岡本まさ枝、安高久米吉	安高団兵衛	御見舞、二水会の現状、先賢顕彰会総会と慰霊祭の案内、写真2枚	袋入	8枚	昭和42年2月21、25、26日、昭和41年9月24日
L	3		〔葉書、手紙〕	昭和41	8～10		安高りきの他18名	安高団兵衛	病気見舞、暑中御見舞、封書中に写真あり、袋入	葉書 封筒	15 6	
L	4		市営バス時刻表	昭和41			安高団兵衛		市営バス時刻表(折尾駅前～粟屋、田屋)、市営バス折尾駅前～芦屋浜口間時刻表	方眼紙	1	
L	5		〔堅書〕							堅書	1	
L	6		昭和41年日記	皇紀2626丙午、昭和41			福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋1205番地　安高団兵衛		1966DESK　DIARYに記載	書冊	1	
L	7		〔新聞切抜〕	昭和41	11	30外不詳			4枚あり、内2枚は西日本新聞、外2枚は不詳	新聞紙	4	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
L	8		〔書簡41通〕	昭和41	12		福岡県芦屋町芳村圭助ほか40名	福岡市九州大学附属病院内科共同新病棟二内科2号室　安高団兵衛	入院中の来翰、病院の内用薬封筒入、内用薬封筒1通あり	葉書	15枚、27	(～昭和42年2月)
L	9		〔袋〕						ビニール製の袋、中身ナシ、表面に字が記載されているが所々不明	袋	1	
L	10		〔歯磨粉箱〕						中身ナシ			
L	11		〔和歌二首〕						「やむ大人の…」「サボテンの…」	一紙	2	
L	12		芦屋台地土地改良区畑地灌漑						畑地灌漑の起因について、その経過など、芦屋町郷土史編集のための資料カ	罫紙	36	芦屋町郷土史編集委員会罫紙、10枚目以降白紙
L	13		昭和四十一年敬老会芳名録	昭和41	9	15	芦屋町民生課		8頁、老人たちの名前と生年月日			
L	14		〔芦屋町郷土史編集の草稿〕				〔安高カ〕		『芦屋町郷土史編集委員会』と印刷された原稿用紙に芦屋空港のことなどを記す。3枚あり。しかし、バツ印がついている	切紙	3	
L	15		昭和四十年十一月以降　我腰痛みについての記録	昭和41	11以降		安高団兵衛		腰を悪くしたらしく、そのことについて詳細に記述されている、治療費領収証入り	書冊	2	手製
L	16		履歴控	〔昭和40頃カ〕			安高団兵衛		自分の履歴を書き記したるもの	書冊	1	
L	17		芦屋町先賢略伝				安高団兵衛		秋山光清なる人物の説明	書冊	1	
L	18		〔秋山光清氏の芦屋町先賢略伝の下書き〕				〔安高カ〕		L17の下書きらしい	竪紙	2	
L	19		福岡県遠賀郡芦屋町粟屋大正15年昭和元年より昭和10年まで拾ヶ年間風方向別統計表				安高団兵衛		月別、年度別に、どの方向に風が吹いたのかの記録をとっている	竪紙	1	
L	20		芦屋飛行場地区防風林に関する伝説並に文献				安高団兵衛		芦屋町にある防風林(松)についての調査	書冊	1	
L	21		民謡				安高団兵衛		歌における「こそ」のつけ方、民謡の写の控	竪紙	2	
L	22		芦屋町先賢顕彰会々則及び芦屋町先賢顕彰会趣意書・入会申込書	昭和17	5		芦屋町先賢顕彰会		芦屋町の先賢の事蹟調査・祭祀などの会における規則・趣意を記す。印刷各2枚	竪紙	4	
L	23		昭和四十一年度　歌題表				あしや水くき和歌会		月別に歌題を記す。1月は「初詣で」「雪」「乳」「折にふれて」など	切紙	1	
L	24	1	秋山光清氏						秋山光清氏の経歴・業績を記す。24-1、2は同折、いずれも芦屋町郷土史編さんのための史料か	竪紙	2	
L	24	2	筑前舊志略　下巻						筑前舊志略下巻より遠賀郡、岡湊、蘆屋他8項目を写す。他に安川ニューズNo.99より筑紫の仏『地蔵と上人』同No.73より安徳帝と秀遠を写す	綴	1	
L	25	1	詩歌	皇紀2624	5	9	安高団兵衛		和歌2篇、漢詩1篇を記す	継紙	1	
L	25	2	詩歌	昭和40	11	21	安高団兵衛		自衛団芦屋基地の5周年を祝した詩歌を記す	竪紙	1	
L	26		芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合事項	昭和27以降			安高団兵衛		芦屋における飛行場建設にともなう防風林伐採により被害をうけた人々の組合について記す	綴	1	
L	27	1	芦屋台地土地改良区畑地灌漑				安高団兵衛		防風林伐採による被害における飛行場反対運動の経過を記す。最後に手紙の控あり、8頁と9頁の間にL27-2あり	冊子	1	
L	27	2	〔防風林伐採問題について〕						L27-1のつづきか、同内容を記す、運動実行委員として安高団兵衛他4名の名あり	竪紙	1	
L	28		〔「持歌入り」と書かれたる封筒〕						内容物なし、主婦の友の封筒、表に墨にて「持歌入り」とあり			
L	29		三脚						革製黒袋入りのカメラ用三脚			
L	30		そろばん						途中でおれたるそろばんなり	そろばん	1	
L	31		写真5枚				(安高カ)		こいのぼり、神社2枚、慰霊塔、橋、以上5枚、ビニール入り	写真	5	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
L	32		東京都電系統図・国鉄・地下鉄　電車案内 近郊交通全線案内図	昭和34	11	16購入	日本交通旅行案内社		地図。東京周辺の鉄道全図	地図	1	
L	33		〔払込通知〕				日本生命		保険料払込期日の通知のビラ	折紙	1	
L	34		〔手帳〕				安高団兵衛		カバーのみ、表紙に鉛筆3本、ペンあり、中に領収用紙（白紙）、葉書、冊子（処世訓カ）等あり		1	
L	35		〔封筒〕				明治神宮献詠会	安高リキノ	第3種郵便物			
L	36		〔新聞〕	昭和34	1	28	朝日新聞北九州版（八幡・折尾通信局）		八幡製鉄の集じん装置取り付けの記事の切り抜き	一紙	1	
L	37		〔薬袋〕				九州大学医学部附属病院カ	安高団兵衛	小島忠臣の薬袋のウラに「安高団兵衛氏一部負担金210円　1000円在中しています」等のメモあり	封筒	1	
L	38		〔封筒〕				日本生命保険相互会社		表に「福岡市九大医学部附属病院内科共同新病棟二内2号室、安高団兵衛様」のメモあり	封筒	1	
L	39		〔写真〕	38	6	7	安高		結婚式、戦歿者慰霊塔等	写真	7	
L	40		〔歌〕						水茎歌会の会誌中にある歌の草稿カ写しカ	一紙	1	
L	41		〔郵便葉書〕						昭和32年年賀葉書、記載ナシ、裏面は全体を墨で塗る	葉書	1	
L	42		千鳥饅頭栞						裏面に記載	竪紙	1	
L	43		東京全図				発行所　日本交通出版株式会社		東京近郊交通図、大東京全図、行先町名、下車駅早見表などあり、「福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛用」とあり	一鋪	1	
L	44		帝国府県地図　大分県	大正7	1	10発行	発行所　大阪市新町通　和楽路屋		大分県全図、大分県地誌（裏面）「輜12ノ1 安高上等兵」と書込あり	一鋪	1	
L	45		帝国府県地図　福岡県	明治42	9	15発行	発行所　大阪市新町通　和楽路屋		福岡県全図、福岡県地誌（裏面）「安高氏 安高団治兵衛」と書込あり	一鋪	1	
L	46		市内地図（福岡市）	昭和35	5	25発行	福岡市役所監修、同潤社発行		市内バス電車系統図、博多新駅移転地域図	折紙	1	
L	47		異動証明						芦屋町に転入する際に役場に届出する	一紙	1	
L	48		〔覚〕						俳句の先生吉川秀子氏の住所あり	切紙	1	
L	49		福岡市地図	昭和40	7		発行所　和楽路屋		福岡市中央部の地図　80円	折紙	1	
L	50		福岡県（新日本分県地図）				和楽地屋発行		市町村便覧、観光案内、地方別道路地図、福岡市市街地　100円	折紙	1	
L	51		〔定規〕						16㎝、青　左隅に紐を通してある		1	
L	52		〔定規〕						折りたたみ式、「福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛用」とあり、1M		1	
L	53		〔箸〕						割箸、袋入		1	
L	54		断簡						白紙（2）、罫紙（墨付なし）、箸の袋、等			
L	55		〔革かばん〕						L一1～L54が入っている	かばん	1	
M	1		風呂敷						中身M2～M7			
M	2		昭和十七年五月十九日以降　蘆屋町先賢顕彰会入会申込書	昭和17	5	19	蘆屋町先賢顕彰会		136名の入会申込書	書冊		（～昭和40年9月25日）
M	3		蘆屋町先賢顕彰会ニ関スル書類綴	紀元2602〔昭和17〕	5以降		福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛		途中に挟んであるもの、書簡26点、葉書64点、絵葉書（未使用）2点、祭文9点、新聞切り抜き11点、写真6点	書冊		（昭和31年2月マデ）
M	4		蘆屋町先賢顕彰会書類綴（第五号）	昭和40以降			福岡県遠賀郡芦屋町安高団兵衛		途中に挟んであるもの、書簡3点、葉書16点、写真15点、祭文11点	書冊		
M	5		蘆屋町先賢顕彰会ニ関スル書類綴　第四号	昭和38以降			筑前芦屋町　安高団兵衛		途中に挟んであるもの、書簡24点、葉書19点、祭文13点、写真56点、未使用絵葉書6点	書冊		
M	6		蘆屋町先賢顕彰会ニ関スル書類綴（先賢第参号）	昭和36	2		筑前芦屋町　安高団兵衛用		表紙に「皇紀2602年（昭和17年）5月以降」とあり。理事会、慰霊祭関係の書類あり	書冊	1	（～昭和37年9月）

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
M	7		蘆屋町先賢顕彰会ニ関スル書類綴（先賢第弐号）	昭和31	3以降		安高団兵衛		会員氏名、会則、祭文、等、とじこみ以外に、写真、新聞、封筒3、葉書6を含む	書冊	1	
M	8		蘆屋町先賢顕彰会会員名簿	昭和17	5以降		蘆屋町先賢顕彰会		225名、昭和17年5月19日～43年5月12日入会者迄	罫紙綴	1	
M	9		祭文	昭和44	4	6	芦屋町先賢顕彰会会長黒田高麿			折紙	1	
N	1		〔和歌綴〕水茎会	昭和38	6		芦屋水くき和歌会		各月題目別の書綴　朱筆の添削あり「水茎会」と書いた袋入	書綴	40	（～12月分）
N	2		〔和歌綴〕	昭和39	1		芦屋水くきうた会		各月題目別の綴「水茎会」と書いた袋入	書綴	39	（～6月分）
N	3		〔水茎会関係文書〕	〔昭和38・39〕			安高団兵衛他		和歌	袋入	多数	
N	4		〔和歌〕				安高団兵衛他（芦屋水茎歌会）		封筒、包装紙多数混在	袋入	多数	
N	5		〔和歌〕	昭和37	9・10		芦屋水くきうた会		題目を書いた表紙のみを綴ったもの、他和歌多数	袋入	多数	
N	6		〔雑書類〕				水茎会他		水茎会の和歌、先賢顕彰会関係書類、広告	袋入	多数	
N	7		〔和歌綴〕水茎会	昭和36	6	9	芦屋水くき和歌会		朱筆の添削あり	袋入	多数	
N	8		〔和歌綴〕				水くきうた会		日本砂丘研究会の袋入、朱筆の添削あり	書綴	1	
N	9		〔和歌詠草〕	昭和38～39			安高団兵衛		福岡県護国神社本殿遷座祭奉祝献詠歌集、芦屋水くき和歌新年会	袋入	多数	
N	10		〔和歌綴〕	昭和38			芦屋水くきうた会		和歌の評価、朱筆の添削あり、坂口書店の袋入	袋入	多数	
N	11		〔葉書〕	昭和20	1	28	安高幸治郎	安高団兵衛	あいさつ	葉書	1	
N	12		〔和歌綴〕	昭和38	1		芦屋水くきうた会		各月題目別の書綴、安高団兵衛の和歌を含む	書綴	26	（～5月分）
N	13		荒木又右衛門	昭和4			明文館編輯部			書冊	1	
N	14		〔御守り〕						各種お守り入り　神武天皇社御守など。箱入り			
N	15		俠客観音丹次	大正15	1	1発行	雄文堂		娯楽小説らしい	書冊	1	
N	16		〔名刺〕						名刺がたくさん入った名刺入の箱	名刺		
N	17		名刺						名刺入れの中に多数あり	名刺		
N	18		神拝詞						天皇を崇拝するような内容の詩	折紙	1	
N	19		〔書簡・はがきなど多数〕	〔昭和20前後〕			多数	安高団兵衛	エアメールもあり。その他、陸軍省からなどもあり	葉書 書簡	235通ぐらい	
N	20		〔葉書・書簡（包紙付）〕	〔昭和40年代〕			多数	安高団兵衛	包紙は九大医学部付属病院の袋　入院中の見舞多し	葉書	37通	
N	21		大統　第五号	昭和4	2	22発行	東京大統社			書冊	1	
N	22		自給肥料等調査報告書	昭和19			啓明会		金沢春友調査報告	書冊	1	
N	23		大統　第四号	昭和3	11	5発行	大統社			書冊	1	
N	24		〔折紙〕						粕原神宮の印あり	折紙	1	
N	25		〔年賀はがき〕	昭和39			瀬戸正広他7名	安高団兵衛		葉書	1	
N	26		大統　第六号	昭和4	7	5発行	大統社			書冊	1	
N	27		大統『主婦之友』膺懲号	昭和3	3		東京大統社			書冊	1	
N	28		選奨録　第拾弐輯	昭和19	12	26	高松宮出版			書冊	1	
N	29		選奨録　第拾輯	昭和17	12	26	高松宮出版		安高団兵衛の記事が掲載された西日本新聞（昭和19年6月10日）九州日報（昭和8年11月10日）を同封	書冊	1	
N	30		水くき	昭和40	5		芦屋水くきうた会		第1号～20号の合冊、仮名遣い便覧を含む	書綴	1　合冊	（～41年1月分）
N	31		〔歌集　題：煤払ひ、短日、師走月、自由題、故郷　5冊〕	昭和41	12	5	あしや水くきうた会		5冊あり。順に23首、23首、31首、32首、8首、全117首　封筒入	書冊	4	
N	32		〔水くきうた会に関する会報や歌集数編〕	昭和37	6・7		芦屋水くきうた会		歌集のとじてあるもの1冊、紐のとれたもの1冊、バラのもの3つほど、会報1つなど	書冊、竪紙他	6～7	（八雲昭和37年7月）
N	33		神武天皇社奉賛会々則				神武天皇社奉賛会		芦屋町役場内に事務所をおく、神武天皇社奉賛会の会則	一紙	7	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
N	34		「新聞」	昭18	1	15	福岡日日新聞合資会社、帝国農会内中央農業協力会		西日本新聞、日本農業新聞			西日本新聞昭18年1月15日、日本農業新聞昭18年2月16日
N	35		〔和歌〕	昭和33	11	2	団兵衛		「南米に移住の視察をはるゝといて立つ君の先幸を祈る」「三原氏南米ゆきの壮行会に列して」とあり、裏面に年月日記載	短冊	1	
O	1		芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合ニ関スル書類綴（第七部）	昭和32			安高団兵衛			書冊	1	
O	2		芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合に関する書類綴第二部	昭和27年度				安高団兵衛		書冊	1	
O	3		芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合に関する記事綴（第四部）	昭和28	3	1以降	安高団兵衛			書冊	1	
O	4		芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合に関する記事綴（第六部）	昭和31	2以降		安高団兵衛			書冊	1	
O	5		芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合関係書類綴第一部	昭和27	6以降分		安高団兵衛			書冊	1	
O	6		福岡県芦屋飛行場地防風林伐採に伴う昭和三十一年度損失補償申請書	昭和32			芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合	内閣総理大臣		書冊	1	
O	7		福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採に伴う昭和三十一年度損失補償申請書	昭和32			芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合	内閣総理大臣		書冊	1	
O	8		福岡県芦屋飛行場地区米空軍爆音による昭和37、38年度酪農被害損失補償申請書	昭和39	4	1	芦屋飛行場地区酪農被害者組合	内閣総理大臣		書冊	1	
O	9		芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合に関する記事綴（第五部）	昭和29	9以降		安高団兵衛			書冊	1	
O	10		昭和三十一年四月計算表及31年3月29日より31、4、1迄の記録				安高団兵衛		昭和27年10月より昭和28年5月までの上京記入	書綴等、その他紙2	1	
O	11		福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採に伴う昭和二十九年度損失補償申請書	昭和30			芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合	内閣総理大臣鳩山一郎		書冊	1	
O	12		福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採に伴う昭和二十九年度損失補償申請書	昭和30			芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合	内閣総理大臣鳩山一郎		書冊	1	
O	13		④昭和二十七、八年損失補償申請参考書類入　附昭和二十七年度農業被害損失見舞追加金配分表				安高団兵衛			書綴	1	
O	14		福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採（昭和二十七年以降米空軍（駐留軍）の追加伐採せる新事態）に伴う農作物被害損失補償申請書作製資料	昭和35			安高団兵衛用		昭和27年度以降米軍の防風林伐採反別同歩合、昭和27・28．29・31・32・33・34各年度各作物反当収量表、各農作物年別市場平均単価調査票	書冊	1	
O	15		福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採に伴う昭和32～33年度損失補償申請書	昭和34			芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合	内閣総理大臣		書冊	1	
O	16		福岡県芦屋飛行場地区米空軍爆音による昭和27～33年度酪農被害損失補償申請書	昭和34	10	29	芦屋飛行場地区酪農被害者組合	内閣総理大臣岸信介		書冊	1	
O	17		芦屋飛行場被害関係〔委任承諾綴〕	昭和34	10	29	芦屋飛行場地区酪農被害者組合　代表者　辻守荘			書綴	1	
O	18		芦屋飛行場被害関係〔署名捺印綴〕							書綴	1	
O	19		芦屋飛行場被害関係〔署名捺印綴〕							書綴	1	
O	20		（写）騒音ガ乳牛ニオヨボス影響（被害）ニツイテノ調査書	昭和34	8	27	福岡県調達局			書冊	1	
O	21		№7394　高等登録証明書	昭和27	6	10	社団法人　日本ホルスタイン登録協会	ホルスタイン種牝牛　ダッチローラ　ローモート　セジス号		一紙	1	
O	22	1	〔個人別補償申請額計算メモ〕							一紙	2	
O	22	2	米空軍の爆音による乳牛の乳房炎罹病・早産流産・事故死となりし被害損失　昭和34～36年度の個人別補償申請額明細表							一紙	2	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
O	22	3	騒音と家畜						(畜産の研究　第14巻　第7号　888頁　山口大助教授小田良助)	一紙	2	
O	23	1	福岡県芦屋飛行場地区米空軍爆音による昭和27～36年度酪農被害損失組合員各個人別補償申請額明細書(第弐部　昭和34～36年度分)				芦屋飛行場地区酪農被害者組合		原稿(昭和38年4月28日プリント出来上り5月提出)	書冊	1	
O	23	2	芦屋飛行場被害関係〔委任承認綴〕	昭和34	10	29	芦屋飛行場地区酪農被害者組合　代表者　辻守荘			書綴	1	
O	24		③委員会日当、理事会日当、上京員日当宿泊料、人夫賃　計算	昭和29	12	24以降	安高団兵衛		遠賀村収入役立替分	書綴	1	(昭和31年4月20日)
O	25		〔損失補償申請書〕	〔昭和28〕					37、38頁部分〔O27の脱落部分〕	一紙	2	
O	26		損失補償申請書						〔O27と同内容、但破損あり〕	一紙	39	その他同内容一紙4
O	27		損失補償申請書	〔昭和28・29〕			芦屋飛行場地区粟屋浸水被害者　代表　安高団兵衛	内閣総理大臣吉田茂		一紙	41	その他破損紙5
O	28		損失補償申請書	〔昭和28・29〕			芦屋飛行場地区粟屋浸水被害者　代表　安高団兵衛	内閣総理大臣吉田茂		一紙	38	
O	29		損失補償申請書	〔昭和28・29〕			芦屋飛行場地区粟屋浸水被害者　代表　安高団兵衛	内閣総理大臣吉田茂		一紙	40	
O	30	1	乳牛買受の時の証明書綴	昭和34	11	28	中村勝治　八幡市清納町1丁目			書綴	1	
O	30	2	血統証明書	昭和24	8	18	熊本県畜産農業協同組合連合会	ホルスタイン種系牝牛ヒゴ　ゼュエマイマ　タイヘイ号		一紙	1	
O	31		福岡県芦屋飛行場地区米空軍爆音による昭和27～33年度酪農被害損失補償申請書	昭和34			芦屋飛行場地区酪農被害者組合	内閣総理大臣岸信介		書冊	1	
O	32		福岡県芦屋飛行場地区米空軍爆音による昭和27～36年度酪農被害損失組合員各個人別補償申請額明細書(第二部・昭和34～36年度分)				芦屋飛行場地区酪農被害者組合			書冊	1	
O	33		福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合ニ関スル書類綴(第八部)	昭和33以降			安高団兵衛			書冊	1	(昭和35年9月まで)
O	34		芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合関係書類綴(第九部)	昭和35	10上旬		安高団兵衛			書冊	1	(～昭和36年4月下旬)
O	35		福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採に伴う昭和32～33年度損失補償申請書	昭和34			芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合	内閣総理大臣		書冊	1	
O	36	1	福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採に伴う昭和32～33年度損失補償申請書	昭和34			芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合	内閣総理大臣		書冊	1	
O	36	2	福岡県芦屋飛行場地区米空軍爆音による昭和27～36年度酪農被害損失補償申請書	昭和37	7	2	芦屋飛行場地区酪農被害者組合	内閣総理大臣	申請書一式綴(安高団兵衛控)	書綴合綴	1	
O	37	1～23	〔和歌集綴〕						(肉の大力のビニール袋)	ビニール袋入	1	
O	37	1	神社献詠(九首)	昭和37	10		あしや水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
O	37	2	新年御題				あしや水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
O	37	3	(壱)庭菊(十六首)	昭和37	10	3	あしや水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
O	37	4	(弐)障子(弐十一首)	昭和37	10	3	あしや水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
O	37	5	(参)実況のうた(十二首)	昭和37	10	3	あしや水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
O	37	6	(一)茸狩(十七首)	昭和37	10	3	あしや水くきうた会		朱書批評あり、和歌綴	書綴	1	
O	37	7	(二)案山子(十九首)	昭和37	10	3	あしや水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
O	37	8	(三)自由題(十三首)	昭和37	10	3	あしや水くきうた会		朱書批評あり、和歌綴	書綴	1	
O	37	9	神社献詠歌(十二月分)(四首)	昭和37	11	3	あしや水くきうた会		岡沢麟太郎先生選、和歌綴	書綴	1	
O	37	10	終　十二月　神社献詠歌	昭和37	11		芦屋水くきうた会		和歌綴	書綴	1	
O	37	11	(一)茶梅(二十首)	昭和37	11	3	芦屋水くきうた会		岡沢麟太郎先生選、和歌綴	書綴	1	
O	37	12	(二)髪(二十五首)	昭和37	11	3	芦屋水くきうた会		岡沢麟太郎先生選、和歌綴	書綴	1	
O	37	13	(三)自由題(二十八首)	昭和37	11		芦屋水くきうた会		岡沢麟太郎先生選、和歌綴	書綴	1	
O	37	14	(壱)秋の旅(二十二首)	昭和37	11		芦屋水くきうた会		岡沢麟太郎先生選、和歌綴	書綴	1	
O	37	15	(弐)山肌(二十四首)	昭和37	11		芦屋水くきうた会		岡沢麟太郎先生選、和歌綴	書綴	1	
O	37	16	(参)時局のうた(九首)	昭和37	11		芦屋水くきうた会		岡沢麟太郎選、和歌綴	書綴	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
O	37	17	舞踊の師の霊前へ(六首)	昭和37	12	1	あしや水くきうた会		岡沢麟太郎先生添削、和歌綴	書綴	1	
O	37	18	(一)渡鳥(二十首)	昭和37	12	1	あしや水くきうた会		岡沢先生選、和歌綴	書綴	1	
O	37	19	(二)餅搗(二十一首)	昭和37	12	1	あしや水くきうた会		岡沢先生選、和歌綴	書綴	1	
O	37	20	(三)自由題(三十八首)	昭和37	12	1	あしや水くきうた会		岡沢先生選、和歌綴	書綴	1	
O	37	21	(壱)初雪(十七首)	昭和37	12	1	筑前あしや水くきうた会		岡沢先生選、和歌綴	書綴	1	
O	37	22	(弐)裸木(二十二首)	昭和37	12	1	芦屋水くきうた会		岡沢先生選、和歌綴	書綴	1	
O	37	23	(参)実況のうた(十七首)	昭和37	12	1	あしや水くきうた会		岡沢麟太郎先生選、和歌綴	書綴	1	
O	38	1～20	〔和歌集綴〕				福岡県モーターボート競走会	安高団兵衛	昭和37年10～12月の3ヶ月分和歌詠草写	小包	1	包装紙入
O	38	1	(1)反省	昭和39	11	4	あしき水くきうた会		和歌綴〔15首〕	書綴	1	
O	38	2	(2)淨闇	昭和39	11	4	あしや水くきうた会		和歌綴〔8首〕	書綴	1	
O	38	3	(3)島霧	昭和39	11	4	あしや水くきうた会		和歌綴〔10首〕	書綴	1	
O	38	4	(4)秋田	昭和39	11	4	あしや水くきうた会		和歌綴〔9首〕	書綴	1	
O	38	5	(5)海苔	昭和39	11	4	あしや水くきうた会		朱書批評あり、和歌綴〔12首〕	書綴	1	
O	38	6	(6)自由題	昭和39	11	4	あしや水くきうた会		和歌綴〔17首〕	書綴	1	
O	38	7	(一)秋風	昭和39	11	4	あしや水くきうた会		和歌綴〔22首〕	書綴	1	
O	38	8	(二)散歩	昭和39	11	4	あしき水くきうた会		和歌綴〔21首〕	書綴	1	
O	38	9	(三)庭菊	昭和39	11	4	あしや水くきうた会		和歌綴〔20首〕	書綴	1	
O	38	10	(四)秋夜読書	昭和39	11	4	あしき水くきうた会		和歌綴〔17首〕	書綴	1	
O	38	11	(臨)文化祭	昭和39	11	4	あしや水くきうた会		和歌綴〔11首〕	書綴	1	
O	38	12	(一)御饌	昭和39	12	5	あしき水くきうた会		岡沢先生選、和歌綴〔13首〕	書綴	1	
O	38	13	(二)冬至	昭和39	12	5	あしや水くきうた会		岡沢先生選、和歌綴〔15首〕	書綴	1	
O	38	14	(三)闇燈	昭和39	12	5	あしや水くきうた会		岡沢先生選、和歌綴〔13首〕	書綴	1	
O	38	15	(四)心	昭和39	12	5	あしや水くきうた会		岡沢先生選、和歌綴〔14首〕	書綴	1	
O	38	16	(五)自由題	昭和39	12	5	あしき水くきうた会		岡沢先生選、和歌綴〔19首〕	書綴	1	
O	38	17	百舌鳥	昭和39	12		あしや水くきうた会		塚原先生選、和歌綴〔1〕	書綴	1	
O	38	18	売出し	昭和39	12		あしや水くきうた会		塚原先生添削、和歌綴〔2〕	書綴	1	
O	38	19	案山子	昭和39	12		あしや水くきうた会		塚原先生選、和歌綴〔3〕	書綴	1	
O	38	20	落葉	昭和39	12		あしや水くきうた会		塚原先生選、和歌綴〔4〕	書綴	1	
P	0		〔包紙〕						警防団員制服の袋、「奉讃会書類主意書等」とあり	袋	1	
P	1		〔新聞〕	昭和17	11	18他			大阪毎日新聞(S17、11／18、11／19、11／20)3部、西日本新聞(S17、11／10)1部。大阪毎日新聞においては『貫く農民道の誉れ』の欄、西日本新聞では安高団兵衛氏表彰の欄に線を引く		4	
P	2		〔新聞〕	昭和12	7	6～13			沖縄毎日新聞昭和12年7月6日～13日分8部、沖縄県農会神谷清治郎氏より安高団兵衛氏へ郵送されたもの。神谷氏による安高氏特集記事あり			
P	3		こころの力	昭和14	4	20	小林一郎	東京市豊島区　成蹊出版部	精神修養の本、財団法人日本青年館より安高団兵衛氏へ郵送されたもの。住所記載の封筒あり	折本	9	
P	4		筑紫国崗水門(ミナト)神武天皇社奉讃会関係書類綴　第一部	昭和14	1	17以降	安高団兵衛		郵便物38通、新聞切り抜多数、陸軍少将松本勇平の名刺も有、各書類とじている	書冊	1	
P	5	1	〔包紙〕						大阪朝日新聞昭和14年11月4日、P5-2～7を包む	新聞紙	1	
P	5	2-1	〔包紙〕						福岡日日新聞昭和15年1月29日、P5-2一2を包む	新聞紙	1	
P	5	2-2	蘆屋案内				県社神武天皇社奉讃会		印刷、寺社・名所案内、88枚	竪紙	88	
P	5	3	神武天皇社奉讃会趣意書	昭和14	3		神武天皇社奉讃会(印)	各位様	神武天皇社奉讃会組織、記念事業興行、切取線あり、印刷、59枚あり	竪紙	59	
P	5	4	県社神武天皇社奉讃会趣意書	昭和14	8		県社神武天皇社奉讃会(印)	各位様	神武天皇社奉讃会組織・記念事業興行、印刷、切取線あり、県社神武天皇社奉讃会々則あり(1～7条)、54枚	竪紙	54	
P	5	5	神武天皇社奉讃会々則	昭和14	3				1～19条あり　83枚あり　印刷	竪紙	83	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
P	5	6	神武天皇社奉讃会趣意書	昭和14	3		神武天皇奉讃会(印)	各位様	印刷、入会申込書附　P5-3とほぼ同一、46枚あり、一部人名の書込あり、未使用	竪紙	46	
P	5	7	県社神武天皇社奉讃会趣意書	昭和14	8		県社神武天皇社奉讃会(印)	各位様	P5-4とほぼ同一、県社神武天皇社奉讃会々則(1～14条あり)、印刷、未使用カ、入会申込書あり、147枚、「坂田辰史」の人名あり	竪紙	14	
P	5	8	四国八十八ヶ所代参申込名簿				香川県讃岐国善通寺町大本山善通寺御遠忌局(印)		名簿記載ナシ	書冊	1	
P	5	9	〔通知〕	昭和14	2	3	神武天皇社奉讃会長　小田利三郎		昭和14年2月5日奉讃会組織及実行方法等に関する協議会開催、未使用、とじ穴あり、10枚あり	竪紙	10	
P	5	10	神武天皇社奉讃会々則	年不詳					P5-5の原稿カ、1～12条は同一のもの3枚、13～18条は1枚あり	竪紙	4	
P	5	11	神武天皇御会像建設趣意書	昭和14	3		神武天皇社奉讃会(印)	各位様	印刷、「神武天皇社奉讃会趣意書」を訂正したもの、入会申込書あり	竪紙	1	
P	5	12	〔封筒〕						表に「金一円也　直方市日向龍馬様、金一円也　芦屋町吉永早太郎様」とあり　中身ナシ	封筒	1	
P	5	13	〔封筒〕		6	1	若松市　津山ツル	遠賀郡芦屋町中小路、古賀恵啓様	表に「写真在中」とあるが、中身は竪紙のみ、裏に「秋山先生　安高様二枚内小生一枚頂きました」とあり	封筒	1	
P	5	14	〔断簡〕						白紙、9枚	切紙	9	
P	5	15	神武天皇社奉讃会寄贈金品及醵出金芳名入簿	昭和14	10以降		福岡県遠賀郡蘆屋町県社神武天皇社奉讃会発起者、安高団兵衛用(印)		全106名、封筒・感謝状挿入	書冊	1	
P	5	16	因州巻紙						巻紙未使用白い紙　包紙有　白うさぎの絵あり。因州巻紙とあり			
P	5	17	〔竪紙数点〕				〔安高カ〕		包紙に包まれたる会計簿　包紙は防空訓練連絡プリント、会計簿は裏紙使用			
P	5	18	タイキ種苗目録	昭和14	12	1	タイキ種苗(株)	同上	各種　植物類の掲載されたるカタログ			
P	5	19	神武天皇社奉讃会　会費及醵出金収入簿	昭和14	10	12	神武天皇社奉賛会			書冊	1	～昭和15年10月29日
P	5	20	タキイ種苗目録　第四二六号	昭和14	6	20	タキイ種苗株式会社(京都市)		56頁	冊子	1	
P	6	1	筑紫国崗水門神武天皇社奉賛会関係書類綴第二部	昭和16以降			安高団兵衛		4通の郵便物有			
P	6	2	神武天皇社奉讃会入会簿写	昭和14以降			安高団兵衛		入会申込書をとじている			
P	7		奉賛会参考書綴	昭和15頃			安高団兵衛		神武天皇社を名所案内標に標示することの手つづき各種書類	書冊	1	
P	8		〔安高団兵衛用〕						安高団兵衛用の書類掲載	切紙	1	
P	9	1	荒木大将閣下御書簡	昭和15	3	7	荒木貞夫	安高団兵衛	瑞兆□入認式の祝電遅延に対するお詫び	巻物	1	
P	9	2	原口中将閣下御書簡	昭和15	4	3	原口初太郎	安高団兵衛	早川氏来訪につき、奉償会入会を願上奉る	巻物	1	
P	9	3	石橋先生御書簡	昭和14	12	14	石橋□作		奉償会組織に関する激励文	巻物	1	
P	9	4	〔包紙〕							包紙	1	
P	10	1	〔書簡写〕				安高団兵衛	安高保正	書簡の下書きカ	罫紙	1	
P	10	2	昭和三十九年二月二十六日役員会	昭和39	2	26	安高団兵衛		奉讃会解散の事後処理について	罫紙	4	
P	11		今福農報	昭和13	1	10	村田鳴戸	同上(長崎県北松浦郡今福町農事研究会)	農業雑誌　ガリ版			
P	12		神武天皇社奉賛会の話し合のしらせと趣意書	昭和14	2	3	小田利三郎(奉讃会長)		おしらせ7枚趣意書31枚、趣意書になぜ神武天皇を祀るのかかいてある。	竪紙	38	
P	13		神武天皇社奉讃会々則				神武天皇社奉讃会		第1條～12條43枚、13～18條23、印刷		66	
P	14		聖地筑前蘆屋二六会関係書類綴	昭和15以降			安高団兵衛		郵便物18通、新聞切抜1部はさんでおり、神武天皇関係など	書冊	1	
P	15		〔書簡写〕	皇紀2600	11	18	安高団兵衛	石橋徳作	手紙の下書きカ	罫紙	2	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
P	16		〔書簡〕	昭和15･16			古賀恵啓、津山つる、早川朝洋、石橋（ ）作	安高団兵衛、古賀恵啓	奉賛会関係者より、古賀の潜伏中の書簡、像製作に関する早川の書簡等	封書、葉書	18	
P	17		義人烈士の面影	昭和11	7	20	飯田豊二　編	金星堂、東京市	363頁		1	
P	18		主婦之友　七月号	昭和9	7	1発行	主婦之友社		560頁	書冊	1	
P	19		主婦之友　三月号	昭和10	3	1	主婦之友社、東京			書冊	1	
P	20		大日本報徳	昭和11	8	1	佐々井信太郎　編集	大日本報徳	77頁、25頁より安高の記事有　農業の雑誌			
P	21		村の輝き	昭和11	4	14	福岡県農会		農家の情報誌　22頁より安高の記事有			
P	22		皇楯	昭和16	6	1	萩原俊三　編集	軍人会館図書部	軍事的な雑誌。節制をよびかけている。			
P	23		富民　第十四巻第八号	昭和17	8	5	富民協会	大阪毎日新聞社、東京日日新聞社	80P			
P	24		主婦之友　五月特別号	昭和11	5	1	八代登(編集)	主婦の友社　東京市	588P			
P	25		家の光　十二月号	昭和10	12	1	千石興太郎(編集)	産業組合中央会、東京市	222P			
P	26		精農家列伝	昭和9	6	30	椎木律三　他13名	福岡県農会	106P			
P	27		農業世界　二月号	昭和17	2	15	大橋進一(編集)	博文館　東京市	112P			
P	28		農村文化　六月号	昭和17	6	1	古瀬伝蔵(編集)	農村漁村文化協会　東京市	96P			
P	29		農村文化　三月号	昭和17	3	1	古瀬伝蔵(編集)	農村漁村文化協会　東京市	90P			
P	30		農村文化　六月号	昭和17	6	1	古瀬伝蔵(編集)	農村漁村文化協会　東京市	96P　P-28と同じもの			
P	31		富民　第十四巻第八号	昭和17	8	5	富民協会	大阪毎日新聞社、東京日日新聞社	80P　P-23と同じもの			
P	32		富民　十一月号	昭和11	11	5		大阪府泉北郡　富民協会	96頁		1	
P	33		農村文化　11月	昭和16	11	1		東京市麹町区　社団法人農山漁村文化協会	84頁		1	
P	34		私の日常信條とし実行しつつある事の一部	皇紀2601			安高団兵衛		農民必須の信念、時間の観念など安高氏の私観を記述。福岡県経済部農務課香月保氏より送らるるものにて、包みあり、宛名、送り主の名あり	冊子	1	
P	35		〔封筒〕	昭和14	4	9	敷田フジノ　ヨリ	安高団兵衛	表面に「書籍」とあり、但し、史料は封筒のみ	封筒	1	
P	36		〔新聞〕	昭和14	11	4			九州日報北九州版(S15、12／1)、大阪毎日新聞(S14、11／4)	新聞	2	(15年12月1日)
P	37	1	〔新聞〕	昭和12	7	17他			九州日報北九州版(S15　4／24、5／22)2部、大阪毎日北九州版(S12　7／17、S15　6／9)2部、西日本新聞(S17　11／8、S18　2／7)2部、大阪朝日北九州版(S14　11／4)1部、東宇農報(S12　9／1)1部、安高団兵衛氏の記事あり	新聞	8	
P	37	2	履歴控へ				安高団兵衛		出生より昭和16年10月までの履歴の控、P37-1とともに春慶屋旅館の封筒にあり、印あり	綴	1	
P	38		私の日常信條とし実行しつつある事の一部						205P、表紙はあるが、表題、作者名等は起載されていない	書冊		
P	39	1	〔包紙〕		2	13	伊豆国田方郡田中村田京諸伏優子	福岡県遠賀郡蘆屋町字粟屋安高団兵衛	表に「書物在中小包書留」とあり、中身P39-2と小包標送とヒモ			
P	39	2	〔新聞紙〕	昭和14	12	12	大阪毎日新聞社	〃	昭和14年12月13日九州日報、昭和9年9月29日福岡日日新聞附録	新聞紙	3	
P	40		〔断簡〕						「皇紀2592年筆記皇紀2601年12月写記及」と表にあり、文字の部分で切れている	竪紙		
P	41		〔メモ〕						内容不明、数字列記、カレンダーの紙を切って使用か	一紙	1枚	
P	42	1	県社神務天皇社奉賛会趣意書	昭和14	8		県社神武天皇社奉讃会		県社神武天皇社奉賛会の趣意書、会則、入会申込書、P42-1～5は同折	竪紙	2	
P	42	2	蘆屋案内				県社神武天皇社奉賛会		神武天皇社、昔か原、御手洗ノ池他16ヶ所を紹介	竪紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
P	42	3	〔手紙〕	昭和18	4	1	松尾三藏・長野政八ヨリ	安高団兵衛	神武天皇社奉賛会の許可をうけての集会の通知	手紙	1	
P	42	4	〔手紙〕	昭和18	5	16	長野政八ヨリ	安高団兵衛	神武天皇社奉賛会顧問　平沼男爵の神社参拝日時変更、その他の通知、宛名以外は印刷か、神武天皇社奉賛会理事長印あり			
P	42	5	〔封筒〕	昭和18	4	3	福岡県遠賀郡蘆屋町役場ヨリ	安高団兵衛	切手なし	封筒	1	
P	42	6	〔手紙〕			3	倉治	安高団兵衛	奉賛会寄附金の助力要請と社参について	切紙	2	
P	42	7	〔メモ〕	昭和18	4	3、4			昭和18年4月3日～4日における神武天皇社参拝及び、寄附金などについての記述	切紙	3	
P	43		〔青果市場の紙〕						中間青果市場の明細書らしい、安高正義名義			
P	44		〔箱の底にひいてあった新聞紙〕	〔昭和18・20頃〕					単なる敷物らしい			
Q	1		大日本歴史館絵葉書				官幣大社筥崎神宮苑内大日本歴史館		九州帝国大学教授長沼賢海　鹿子木員信監修、大日本歴史館の印あり	絵葉書	10	
Q	2		熊本百景						絵葉書、金15銭	葉書	16	
Q	3		大日本歴史館絵葉書				官幣大社筥崎宮苑内大日本歴史館		九州帝国大学教授長沼賢海　鹿子木員信監修、大日本歴史館の印あり	絵葉書	11	
Q	4		最新撮影写真　明治神宮　特製（八枚一組）						絵葉書、袋入	絵葉書	8	
Q	5		明治神宮絵葉書				明治神宮社務所		絵葉書、袋入、袋に明治神宮境内略図あり	絵葉書	8	
Q	6		黒田清綱和歌短冊集写真帖				（安高団兵衛）		黒田清綱和歌短冊の写真	折本	1	
Q	7		貯水池絵葉書				八幡市河内　樋口商店		河内貯水池名所絵葉書、袋入	絵葉書	14	
Q	8		笛						ECHOという文字あり、金属状		1	
Q	9		写真及び大日本武徳会関係	昭和41	10	8	東京玉宝堂		九大病院の写真2枚、大日本武徳会正会員之章　大日本武徳会のバッジ	袋入	1	
Q	10		印籠						絵付き、ひょうたん付き		1	
Q	11		矢立							矢立	1	
Q	12		〔特許印肉の箱〕				東京株式会社　森山工業社		専売特許第64980号	箱	1	
Q	13		出雲・石見の民謡				国鉄松江営業所、日本交通公社松江案内書　島根県観光連盟		出雲・石見の民謡集、旅館・温泉の紹介あり	書冊	1	
Q	14		葉書	昭和42	2		野知浩之	安高団兵衛	参議院農林水産常任委員長就任のあいさつ	葉書	1	
Q	15		昭和二十五年度所得税確定申告調査書類	昭和25			安高団兵衛			袋入	多数	
Q	16		報道写真	昭和41	11	25	毎日新聞社		写真雑誌	書冊	1	
Q	17		〔雑書類〕	昭和25～27			安高団兵衛		購入飼料明細表、所得税確定申告書下調表、領収証書（電話代等）、請求書	袋入	多数	
Q	18		明治神宮献詠	昭和38～42			明治神宮献詠会	安高団兵衛	領収書入	書冊	1	
Q	19		明治の歌人　与謝野晶子　伊藤左千夫	昭和42	1		明治神宮社務所内　明治記念綜合歌会	安高団兵衛	封筒入	書冊	1	
Q	20		〔祝儀袋〕	昭和41	12	10	重岡光徳　芦屋カメラ倶楽部	（安高団兵衛）	御見舞	封筒	2	
Q	21		〔荷札〕				水茎和歌会一同代理　岡本まさる	安高団兵衛	御見舞品に付いていた荷札か	荷札	1	
Q	22		代々木	昭和41	7～11		明治神宮社務所　明治神宮崇敬会	安高団兵衛	封筒入り	書冊	5	
Q	23		明治記念綜合歌会作品三十五集　明治の歌人与謝野晶子伊藤左千夫	昭和41	11	17	明治記念総合歌会	安高団兵衛	封筒入	書冊	2	
Q	24		〔絵葉書〕				長府及木神社		絵葉書、袋入	葉書	2	
Q	25		〔御見舞〕				岡本まさ枝	安高団兵衛	御見舞の手紙、和歌	封筒	1	
Q	26		〔選挙に関するメモ他〕	昭和8～10頃			（安高団兵衛）	（芦屋町長）	選挙に関するメモ、石川慶市なる人物が立候補するらしい。芦屋町長にあてたものの下書。安高は粟屋区長	切紙	3	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
Q	27		〔津山氏との要談の件の催促状〕	昭和16	12	16	芦屋町中小路　古賀恵啓	安高団兵衛	昭和16年11月26日夜に津山氏と対談し、なにか頼まれたらしく、それの催促	葉書	1	
Q	28		〔姉安高マキの事故死に関する書類・手記・電報・手紙〕	昭和35	3	27前後			弔電3通、死亡届、火葬許可証、死亡診断書、葬儀準備のメモ、御仏前のメモ、姉の事故前後の安高の行動を書いた手記。茶封筒入	電報、切紙、手紙など		
Q	29		〔写真焼増の注文袋〕		〔9〕	〔20〕				一紙	1	
Q	30		〔国会通信なる新聞〕	昭和33	4	3	国会通信社	安高団兵衛	これは、送られてきたようだが、定期購読していたわけではないらしく、「乞御購読」と判をおしてある。封は切ってない	新聞	1	
Q	31		〔各種チラシ・メモ〕	昭和10頃					農民への、米の売り方への注意、牛馬の病への注意、米価のおしらせなどのチラシ、選挙民への心構えのチラシ、はしりがきのメモ	切紙、一紙	15	
Q	32		〔こより・岡湊神社社務所のもの〕				岡湊神社社務所	安高団兵衛	茶色の封筒にこよりが14～5本入っている。	こより、封筒入	14～5	
Q	33		〔選挙の粛清を呼びかけるチラシ〕	昭和10	7		福岡県		腐敗選挙をなくし、明るい政治を目指そうとの呼びかけのチラシ。県会議員選（9／22）へ向けての運動らしい	一紙	18	
Q	34		〔会計関係、区の会計簿、家賃に関するリスト〕	昭和8～11			（安高）		家賃は、入居者の名前が列記してあり、6年度分の支払いについて書いてあり、「7年度全戸未納」の走り書きあり。区の会計簿は支出収入を昭8～11年くらいにわたって書いてある	切紙	3	
Q	35		〔見舞金の封筒〕				安部　三原熊壮　本田英　本田仲雄　門司光　小田清光　木原義美　高倉敏雄		封筒のみ8通あり。なんの見舞かは不明	封筒	8	
Q	36		〔支部長選・副支部長選開票結果及投票用紙〕						5センチ四方の小さなうすい紙に名前を記入してこよりでとじており、一番上の紙に投票結果をかいている。支部長選と副支部長選があり、安高の名前もみられる	切紙の束	2	
Q	37		〔歌集〕	昭和41	12	6消印	日本報道写真連盟カ	安高団兵衛	病院に入院中の安高に、水くきうた会の歌集を送ったものらしい。全171首　日本報道写真連盟の封筒入	書冊	6	
Q	38		〔何らかのものに出資したもののリスト〕						人名と金額が列記してある。裏書を利用したもので鉛筆の走り書き	一紙	6	
Q	39		〔電報〕				中本作次	ナカモトハルコ	文面：チチキウヤマイハハオラヌハヤコイナカモト	電報	1	
Q	40		〔新聞の付録〕	大正14	11	15	福岡日日新聞		新聞の付録で、きれいな厚紙に明治天皇の和歌が毛筆体でかかれている	一紙	7	
Q	41		〔サロン露出計〕						カメラの露出に使う器具	器具	1	
Q	42		〔メモ・新聞の切り抜き〕	昭和26～28					切り抜きは「香月小唄」というもの。昭和26年8月17日北筑タイムズ第51号より。メモは、写真をどこでうつしたのかをかいたメモらしい。	切紙、新聞切抜	4	
Q	43		〔御見舞の袋〕				本田	安高カ	祝儀袋にお見舞金を入れていたらしい	封筒	1	
Q	44		〔御見舞のお菓子の包装紙〕				重岡重俊		欧風菓子ときわの包装紙に、お見舞とかいたのしがつつんである	一紙	3	
Q	45		〔明治神宮献詠会より送られてきた歌集及び入院中の金銭出納記他〕	昭和41～42頃			明治神宮献詠会	安高団兵衛、安高リキノ	封筒入りの歌集3、封筒のみ2、出納記には見舞金洗濯代などの収入支出が記載されており。他に電話代を入れた袋、岩田屋の包装紙など	一紙、冊子	10	
Q	46		報道写真1967年2月号通巻180号	昭和42	2	25	毎日新聞社		日本報道写真連盟西部本社より郵送されてきており宛名は安高団兵衛となっている。封筒入	書冊	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
Q	47		九州大学医学部附属病院案内　財団法人恵愛団案内	昭和41	4		九州大学医学部附属病院・恵愛団		パンフレットで紙の表・裏に、それぞれの説明がしてある。恵愛団とは病院内のさまざまな便宜を図り販売などを手がけている団体らしい	一紙	1	
Q	48		〔明治神宮献詠会より送られたる歌集〕	昭和42	1	25発行	明治神宮献詠会	安高団兵衛	封筒入。明治神宮献詠録という機関紙。購読料払入用紙付	書冊	1	
Q	49		〔『選挙の粛正此の一擧に在り』なる数え唄〕	〔昭和10頃ヵ〕			福岡県宗像郡河東村　安部正威先生作　芦屋町選挙粛清委員会		選挙粛清運動の一環として、数え唄を印刷したプリントを配布したらしい	一紙	1	
Q	50		修業証書(尋常小学校第一学年)	明治36	3	26	蘆屋尋常小学校	安高団兵衛	修業証書。尋常小学校の第一学年を修めたらしい	一紙	1	
Q	51		八雲誌綴	昭和34	2月号		櫛田八雲短歌会		櫛田八雲短歌会の会報及び和歌集	書冊	1	(～37年7月号)
Q	52	1～4	昭和二十七年所得税　昭和二十八年所得税申告書類				安高団兵衛		昭和27年度所得税書係書類綴、昭和28年度所得税・町民税関係書類綴等、Q52ー1～4を新聞紙で包		5	
Q	52	1	昭和二十七年度所得税関係書類綴	〔昭和27〕			安高団兵衛		町民税申告書の写、所得税7月予定申告書の写、農作物被害調査の件等を含む	書冊	1	
Q	52	2	昭和二十八年度所得税町民税関係書類綴	〔昭和28〕			安高団兵衛		昭和28年分所得税7月分予定申告書、医療費受領証、確定申告控等	書冊	1	
Q	52	3	昭和28年度計算外分	〔昭和28〕					領収書類(遠賀青果株式会社、北九州青果株式会社)	書綴	1	
Q	52	4	〔仕切書〕	〔昭和28〕					領収書類(遠賀青果株式会社、北九州青果株式会社)	書綴	2	
Q	53		〔名刺〕						箱入　安高団兵衛のものもある　受領日、場所を記載している	名刺	36	
Q	54		〔名刺〕						箱入り　底にマッチ箱(4)あり	名刺	39	
Q	55		〔祝儀袋〕				岡湊神社　氏子総代会		御見舞	封筒	1	
Q	56		明治神宮献詠	昭和42	1		明治神宮献詠会	安高リキノ	封筒入　月刊	折紙	1	
Q	57		芦屋町郷土史編纂委員会ニ関スル書類綴　其壱	昭和40	2以降		安高団兵衛		郷土史編纂委員会議事録、芦屋飛行場に関する原稿	書冊	1	
Q	58		便箋複写簿	昭和42	1	1～	安高団兵衛		新年の挨拶状その他9通分	書綴	1	
Q	59		便箋複写簿	昭和41	8	15	安高団兵衛		101通の写	書綴	1	(～12月29日)
Q	60		〔カード〕						封筒入、富士と扇の絵、四ッ折	折紙	2	
Q	61	1、2	〔郵便貯金通帳等〕						通帳(使用済)及び安高団兵衛の個人的金銭出納帳		2	
Q	61	1	〔郵便貯金通帳〕						安高藤吉名義(3)、安高シゲ名義(5)、(全て終了)封筒入	折紙	8	
Q	61	2	昭和15年10月以降個人的金銭出納帳	昭和15	10	1	安高団兵衛			折紙	3	～昭和25年4月20日
Q	62	1、2	〔封筒〕						Q62-1・・・山鹿尋常小学校よりの礼状、Q62-2・・・通帳			
Q	62	1	〔感想文〕		3	22	刀根源太他5名(山鹿尋常小学校)	安高団兵衛	『戦友』『我家』寄贈に対する礼状及び、児童の感想文、封筒入	折紙	6	
Q	62	2	〔郵便貯金通帳〕						安高福蔵名義(2)、安高シゲ名義(1)、全て終了、封筒入		3	
Q	63	1～3	〔手帳、葉書〕						和歌、漢詩帳、走行記録帳、葉書等			
Q	63	1	和歌、漢詩帳				安高団兵衛			書冊	1	
Q	63	2	軽自動二輪車　乗用記録簿	昭和41	4	25	安高団兵衛		走行記録(乗用区間、距離、費用)	書冊	1	～10月11日
Q	63	3	〔葉書〕				秋山光見、安高千鶴子等	安高団兵衛	私信(4)、入院のしおり、ラジオの説明書等			
Q	64		〔書簡〕	昭和41	12	10	岡湊神社社務所	安高団兵衛	社殿改築俊成の報告と協力へのお礼	書簡	1	
Q	65		〔一紙〕				恵愛団		恵愛団の売上票	活版印刷	1	
Q	66		〔書簡〕	昭和41	12		安高秋生、白石芳子他	安高団兵衛	入院中のお見舞	書簡	9	～42年3月
Q	67	1、2	〔日誌等〕				安高団兵衛		Q67-1・・・日用辞典、Q67ー2・・・入院日誌			
Q	67	1	日用辞典	大正10	9	10	研文社			書冊	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
Q	67	2	日誌(第壱部)	昭和41	7	8以降	安高団兵衛		入院中の金銭出納帳、体温、体重、及日誌、薬袋(2)	書冊	1	(9月19日まで)
Q	68		〔書簡〕	昭和42	1	12	安高りきの	安高団兵衛	入院中の安高団兵衛カ　封筒入	ネガ	1	
Q	69		書簡				水茎会会員15名	安高団兵衛	入院中の安高団兵衛への見舞	継紙	1	
Q	70		〔和歌〕				安高団兵衛		廃物利用と題した和歌一首	切紙	1	
Q	71		発信文控	昭和41	8		安高団兵衛		病院からの手紙の控	書綴	1	～42年3月
Q	72		調停読本	昭和30	1		日本調停協会連合会			書冊	1	
Q	73		〔手帳〕				安高団兵衛か		修学旅行の記録、和歌、歌等	書冊	3	
Q	74		時刻表・唱歌帳・葉書・本箱の図・写真リスト〔各雑誌からの抜き書き〕露出計の空箱	大正元			(安高団兵衛カ)葉書〔安高藤吉、安高団兵衛		毎日の訓練、実業之日本などの雑誌から、いろいろ役に立ちそうな記事を抜き出したノート。葉書は近況報告	書冊、葉書、一紙	8	～大正12年
Q	75		代々木	昭和42	2		明治神宮社務所	安高団兵衛	月刊誌2部	書綴	1	
Q	76		芦屋の栞	昭和29	7		福岡県遠賀郡芦屋町観光協会			書冊	1	
Q	77		〔手紙〕	昭和20	10	6	安高正義、井筒屋、安高りきの	安高団兵衛、畑中初子	団兵衛留守中の家庭状況、広告	封筒、葉書、一紙	2、1、2	(昭和5年1月9日、昭和29年9月7日)
Q	78		〔手帳〕	昭和27～31			安高団兵衛		写真の記録	書冊	1	
Q	79		〔和歌詠草〕	昭和41	7	27	塚原たよ子	安高団兵衛	和歌2首同封	袋	1	
Q	80		〔手紙控〕	昭和41	7	21	安高団兵衛		九大病院にて記す	書冊	1	～10月5日
R	1		〔和歌93首〕				安高団兵衛外		和歌の添削とその評価、包紙入、包紙表に「早めに！おくれております。」(朱鉛筆書)とあり	竪紙	96	
R	2		〔和歌95首〕				安高団兵衛外		昭和39年9月29日先賢慰霊祭資料挿入	竪紙	98	
R	3		〔和歌外雑書類〕				西岡目修外		和歌15首あり、水くき誌、中身ナシ封筒などあり。封筒(九州産業大学)入、表に「福岡県遠賀郡芦屋町粟屋地区　安高団兵衛様」とあり			
R	4		〔和歌〕	昭和40	6		安高　他		和歌(先生に提出するためのものか)が、返却されてきたものらしく、採点してある。歌集にはなっていない	竪紙		
R	5		〔和歌〕				安高団兵衛、安高りきの		朱筆あり、安高団兵衛、りきのの和歌のみ多数	竪紙	多数	
R	6		〔和歌〕	昭和41	1～4		あしや水くき歌会、安高団兵衛他		書冊「水くき」、和歌、短冊	竪紙、短冊、書冊	10、6、8	
R	7		〔和歌〕	昭和40	8～11		あしや水くきうたの会		書冊「水くき」、会報、和歌を多数掲載した紙	袋入	1	
R	8		〔和歌〕						和歌を多数掲載した紙、同一の物2枚	竪紙	8	
R	9		〔和歌〕				安高団兵衛、安高りきの		歌題「寒波」「橋」「稲刈」「焼芋」朱書訂正あり	竪紙	23	
R	10		〔書簡〕	昭和40	3	27		安高団兵衛	和歌等を書いた紙28枚、「県道堀鋟並占用願」1冊、上記全て「福岡県遠賀郡芦屋町役場」の袋の中にあり	竪紙、短冊、書冊 書冊	28、1	
R	11		〔書簡〕	昭和41	6	20	中の浜8の5田原富士子	芦屋町粟屋安高団兵衛	安高団兵衛、りきの作の和歌あり。表に「和歌詠草在中」とあり	竪紙	47	
R	12		〔見舞金獲得援助者氏名他〕						見舞金獲得援助者氏名、議員等への贈り物リスト	罫紙	2	
R	13		〔歌集〕水くき	昭和40	5月号		あしや水くきうた会		岡沢先生選第1号～14号をとじてある	書冊	1	～41年6月号(通巻第1号～14号)
R	14		〔書き付け〕				〔安高カ〕		贈り物を誰に何を贈るかかいたもののうらに、金の計算をしている	罫紙	1	
R	15		〔養鶏のための飼料の買付け帳簿など〕	昭和26～8			安高団兵衛		年度別に鶏の飼料(魚屑(アラ))の買いつけ表をまとめ、とじている。他に原乳価格改正御通知、雇女、出欠簿など	書冊	1	
R	16	1	ビニール袋(R16の包紙)						透明のビニール袋なり	ビニール袋	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
R	16	2	福岡県芦屋飛行場地区米空軍爆音による自昭和二十七年至昭和三十三年酪農被害損失補償申請書	昭和27～33			安高団兵衛		S27～33の年度別の牛の被害の表（早産流産減乳など）	書冊	1	
R	16	3	昭和三十五年六月芦屋飛行場地区芦屋町大城米軍基地ガソリン流入浸透のため不耗地となりたる田畑～	昭和35	6		安高団兵衛		表題長し。年代は表紙にあり。米軍基地ガソリン流出の被害調査。総理大臣への陳情書有	書冊	1	
R	16	4	〔防風林被害に対する損失見舞金通知及同意書〕	昭和35	12	27	深田順一、大音一男	大音一男、深田順一	大音一男、福岡調達局長から深田順一、被害者組合への見舞金決定通知と、深田からの同意書、請求書、紐にてつづってあり。書類4種5枚をとじる	書冊	1	
R	16	5	〔竪紙十点程〕	昭和27頃			〔安高、防風林伐採被害者組合〕		陳情書5枚、地図1枚、上京表（被害運動に関する上京）承認書（書きかけ）、各種農作物生産高表、全て、芦屋防風林被害関係	竪紙	9	
R	16	6	〔地図を包紙にしたる竪紙数点〕	昭和30前後			（安高カ）		包紙は手製の芦屋飛行場付近の地図。中身は防風林被害者組合のプリント、メモ、昭和31年4月会計の被害者組合の会計表。ジェット機爆音に関する記事、福岡県知事よりの芦屋台地かんがい工事起工式の招待状、県庁にかわり、立て替えた金額の表など			
R	16	7	福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採に伴う昭和三十一年度より昭和三十四年度まで四ヶ年分損失補償申請書	昭和35頃			芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合		公的機関に提出したと思わるる正式な申請書である。	書冊	1	
R	17		福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採に伴う損失補償申請書	昭和29年度～33年度			芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合	内閣総理大臣	損失明細及申請書、袋入	横帳	6	
R	18	1	芦屋観光数へうた	昭和35	7	20印刷	安高団兵衛		岡沢麟太郎の印の押された封筒	一紙	18	
R	18	2	ふくおか　5月	昭和30	5	1	福岡県知事室広報文書課		32P	書冊	1	
R	18	3	防風林伐採被害者組合ニ関スル各事項略記簿（第二部）	昭和31	12		安高団兵衛					～36年6月
R	19		芦屋観光数へうた	昭和35	7	20印刷	安高団兵衛		R18-1と同じ	一紙	4	
R	20		福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採に伴う昭和32～33年度損失補償申請書	昭和34			芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合	内閣総理大臣　岸信介	地図、写真つき	横帳	1	
R	21		昭和三十年度特別損失補償見舞金配分　粟原の分　計算綴	昭和34	4		安高団兵衛		芦屋飛行場地区米駐留空軍の防風林伐採に伴う農作物被害損失に対する損失補償金の配分の各人ごとの計算	綴	1	
R	22		芦屋防風林伐採ニヨル農業被害特別損失見舞金配分計算書	昭和34	4		安高団兵衛		各部落、各作物別の見舞金配分計算書	綴	1	
R	23	1	福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採に伴う昭和三十一年度損失補償申請書				芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合		損害状況、損失補償内訳、申請書を記す。R23-2とは同折	綴	1	
R	23	2	計算書						昭和32・33年度それぞれの地区別、作物別の損失補償の計算。R23-1とは同折	竪紙	6	
R	24		福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採に伴う昭和三十一年度より昭和三十四年度まで四ヶ年分損失補償申請書（原稿）				芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合		申請書、補償内訳などの原稿	綴	1	
R	25	1	皇紀二千五百九十九年（昭和拾四年）参月以降　警防団ニ関スル書類綴	昭和14	3	15	安高団兵衛		警防団組織の為の協議会、芦屋町警防団団員名簿、燈火管制規則、防火訓練記録、防空訓練記録、警報規定、防火デーについて、海岸警備について、石油消費量調査票、夜間警備、大型焼夷弾防護要項、市民毒ガス防護要領、等	書綴	1	（～19年12月13日）
R	25	2	防空訓練所第八回講習会出席筆記事項	昭和14	8	7～10	安高団兵衛			書冊	1	
R	26		蘆屋町身体障害者福祉協議会関係文書綴	昭和28以降			身体障害者　安高りきの		芦屋町身体障害者福祉協議会会則障害福祉年金廃疾認定診断（りきの）	書冊	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
R	27		明治三十五年小学校入学の同窓会　関係書類綴第参部	昭和29以降			安高団兵衛		同窓会案内状発送表、記念写真あり、世話人会の記録	書冊	1	
R	28		花の都の蕾よりの便り	昭和39	4以降		安高団兵衛		手紙の写し	書冊	1	
R	29		昭和三十六年三月八日結成蘆屋町高砂会関係書類綴り第壱号	昭和36以降			安高団兵衛		老人クラブ高砂会の発足、例会等の記録、写真あり	書冊	1	
R	30		大正五年十二月一日徴兵トシテ小倉北方輜重兵　第十二大隊　同年兵輜友会関係書類綴	昭和36	11以降		安高団兵衛		戦友からの手紙、電報、名簿などを集めてつづる	綴	1	
R	31		演説草稿						昭和41年1月1日芦屋町新年祝賀会に於ける演説を記す	切紙	2	
R	32		便箋複写簿	昭和11	12	22より	安高団兵衛		配求、入営、その他諸通知の写、及び『我が日常信條とし実行しつつある事の一部』の稿の写	綴	2	
R	33		請願書　他	昭和40	5	19	松波明美、他8名		現住所での投票を望む請願書の写し。安高農園で働く女性8名による。他にその請願書への返答、及び、8名の初投票の感想文の写しをつづる	綴	1	
R	34		雑書類						ローマ字練習、手紙の写し、反古の紙類34部あり、内綴2部あり。借用証の反古、委任状も含まれるが、詳細不明		34	
R	35		〔断簡〕						表紙	竪紙	1	
R	36		〔手紙〕		8	13他	西川虎次郎　他	安高団兵衛　他	手紙8通、葉書42通、賞状の写し1枚、主に安高福蔵、団兵衛、りきの等家族、親族のやりとり			
R	37	1	〔手紙　他〕	昭和34	11	14	安高団兵衛	安高藤吉他一同	葉書17枚、内3枚は白紙、封筒4つ、手紙13通、切手シート3枚、虫ピン1点、広告1点、他8点、R37ー2ととも縛			
R	37	2	芦屋飛行場地区酪農被害者組合関係						芦屋飛行場地区酪農被害者組合規約1通、被害報告書（白紙）92通、R37ー1とはとも縛、包紙あり	竪紙	93	
R	38		近世　万国新地図	明治41	1	20	地理研究会	田中宋榮堂　大阪市	77P、途中に挟んであるもの、「尾道市」地図（昭和29年10月5日、若山太陽社）〔書簡〕大正15年12月18日帝国在郷軍人会本部ヨリ安高団兵衛江、書簡の内容・定期購読している雑誌の前金が切れたので、振込むようにとのこと。地図の表紙なし（R一49か？）			
R	39	1	〔戦没者慰霊塔入魂式について他〕				安高団兵衛		安高繁治郎への手紙の下書、常陸丸詢難勇士30年祭について。途中に挟んであるものR39ー2、3、未使用半紙、罫紙の表紙、買い物のメモ	罫紙	10	
R	39	2	地目変換証明願	昭和39	4		立石ハツエ（印）、安高幸治郎	芦屋町農地委員会会長富永弥門	所有地が農地に不向きであることを証明してもらうための願書、地図付き、安高幸治郎の書冊には変更前の起載と印がない	書冊	2	
R	39	3	〔葉書〕	昭和39	3	7	香山満寿郎	安高団兵衛	安高からの手紙のお礼と、次回の訪問の件について	葉書		
R	40		動産評價調書				遠賀税務署		果樹、農機具、家畜、船舶、営業権等の価格について	折紙	4	
R	41		〔不発曝弾処理法要項専修員講習会について〕	昭和20	2	11			曝弾処理について。途中に挟んである物昭和20年3月芦屋町長長野政八から表彰式等の出席要請を記した折紙3枚あり	罫紙	6	
R	42	1	〔病害虫防除協議会協議事項〕						浮塵子駆除ニ関スル件（督励計画、実施指導）4P。R-42-2、3とともにまとめてあり	書冊		

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
R	42	2	〔病害虫防除協議会ノ件等〕	昭和16	8	25	芦屋町農会長長野政八(印)	各農業組合長共励員殿	他に、家畜市場開設ノ件、養鶏用釘並ビニ針金配給に関スル件、食糧増産共励大会開催ノ件、麦白トビ虫モドキ防除ニ関スル件	折紙	5	
R	42	3	〔農業関係技術員ノ心構ニ就テ〕	昭和16	7	1	遠賀郡農会　食料増産指導部	遠賀郡食料増産指導職員、各町村農会駐在技術員	初めに「急告」とあり、4P	書冊		
R	43		普通預金通帳	昭和28	5	7	株式会社福岡銀行中間支店　支店長　相部寛志(印)	安高正義	昭和30年4月20日に全部引き出してから未使用			
R	44	1	〔借用証等〕	昭和31	4	30	安高一雄(印)	安高団兵衛	安高一雄、安高トミ子、本田某の借用証3枚と岡村輝毅の受領証1枚。それぞれの名前の下に印あり、他に利息を記した折紙1枚あり。上記全て封筒の中にあり	罫紙	4	
R	44	2	〔書簡〕	昭和40	5	8	芦屋郵便局長	安高団兵衛	簡易保険が満期になったことについて。保険料領収帳2点同封、全て芦屋郵便局の封筒にあり	折紙	3	
R	44	3	〔書簡〕	昭和32	5	28	安高正義(印)	御堂丸信子殿	債権譲渡書と借用証書「粟屋、安高正義」とかかれた封筒の中にあり	罫紙、折紙	1、1	
R	44	4	〔金銭明細表〕						「芦屋郵便局」と書かれた封筒とともにあり。R44-1～4は全てまとめてあり	折紙	1	
R	45		〔宗像安部先生の原稿を写したもの〕	昭和11	8	19			安部正威がある講演会の時に話したものの原稿の写し	罫紙	9	
R	46	1	青果物配給統制協議会	昭和18	2		蘆屋町農会		「芦屋町青果物統制組合創立総会附議事項」(昭和18年9月10日)と共にクリップでまとめてあり。R46-1～4はまとめてあり	書綴		
R	46	2	〔果物統制に関する要項等〕	昭和18	9	14	芦屋町農会		他に青果振売許可取扱要項	折紙	2	他に罫紙1、折紙2
R	46	3	〔蘆農〕	昭和18	9	13	蘆屋町農会長長野政八	安高団兵衛殿(朱書)	「蘆農705号」は青果物配給統制協議会について「蘆農720号」は蓮根出荷示達書	折紙	2	
R	46	4	〔メモ〕						昭和18年9月14日午後の青果物統制組合協議会について	罫紙		
R	47		防風林被害者組合横領被疑事件　安高岩雄君第三回公判	昭和33	5	19			裁判の質疑応答の記録	一紙	3	
R	48	1	支払委任書	昭和36	10	3	安高鶴雄	安高松次郎	金10万円安高団兵衛への支払を安高松次郎に委任する。封筒入	一紙	1	
R	48	2	〔借用証並に抵当権設定契約証〕	昭和33	4	24	安高団兵衛、安高幸治郎		35万円を安高幸治郎が安高団兵衛より借入る。抵当の記載あり。封筒	一紙	1	
R	48	3	後日の為めに事実を記録する	昭和33	5	9	安高幸治郎、安高鶴雄、安高団兵衛		芦屋町農業協同組合より団兵衛が借用した金は幸治郎鶴雄両人の債務である。封筒入	一紙	1	
R	48	4	「封筒」	昭和33	5	9	久野久雄	安高団兵衛	R48-1～R48-3が入っていた。名刺あり	封筒	1	
R	49		〔堅紙〕				大阪田中宋栄堂発行		R38の表紙か、近世万国新地図と記載あり	堅紙	1	
R	50	1	〔封筒〕	昭和27・28			安高団兵衛		R50-2～R50-5が入っていた	封筒	1	
R	50	2	初回申請書	昭和27			芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合		書名一覧、農作物被害明細書	書冊	1	
R	50	3	昭和二十八年度分被害申請書	昭和28					補償を受けようとする金額個人別明細内訳書、個人別所得額、損失額	書冊	1	
R	50	4	昭和二十八年度水稲被害計算資料	昭和28			安高団兵衛		昭和28年水稲実収高調査参考表、水害・虫害等に依る減収量及被害全額	書冊	1	
R	50	5	〔農作物実態調査〕	昭和28			安高団兵衛		各人の各農作物における作付反別、反当収量、所得額、被害額等を記載	書綴	1	
R	51	1	〔包紙及ヒ紐〕						ナショナルの包装紙と麻紐2本	紙・紐	3	
R	51	2	〔R51　1～10の袋〕						ビニール袋R51　1～10を包みたり。	ビニール袋	1	
R	51	3	〔防風林被害説明書と農作物被害調査書〕	〔昭和30頃ヵ〕			〔安高カ〕		訴訟を起こしたる時のものかと思はるる。昭和14年～27年くらいの作物穫れ高の表、気象の表などとじてある	書冊	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
R	51	4	昭和二十九年度中諸関係書類綴	昭和29頃			安高団兵衛		各作物作付調査表、各作物関係市場平均価格調査書類、補償申請書などとじており	書冊	1	
R	51	5	昭和30～31年度補償申請について	昭和30～33			〔安高カ〕芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合		昭和30、31年の補償申請についての記録。いつ何をしたかなど書いてある。	書冊	1	
R	51	6	昭和三十一年度損失補償申請書原稿	昭和31			芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合		各種農作物の収穫量を記したる表13枚並ニ包紙1枚	竪紙	1	
R	51	7	〔昭和三十～三十三年の防風林被害の損失計算簿〕	〔昭和33頃ヵ〕			安高団兵衛		いろいろとこまごまと計算している。村別・農作物別に	書冊	1	
R	51	8	北九州青果価格調査	昭和32～34			〔安高カ〕		青果（果物）の値段の表を閉じている。北九州地区	書冊	1	
R	51	9	昭和三十二年度蔬菜価格月報写し	昭和32年度			〔安高カ〕		北九州地区の野菜の価格表、日によってのうつりかわりわかる	書冊	1	
R	51	10	自昭和三十二年至昭和三十四年三ヶ年分蔬菜価格調査書	昭和32～34			〔安高カ〕		北九地区の野菜価格のうつりかわりがわかる	書冊	1	
R	51	11	〔未記入の被害損失内訳書〕	〔昭和33頃カ〕					全8枚。未使用。地区別に損失補償額を記入する方式	竪紙	8	
R	51	12	〔昭和31年～34年度四ヶ年分損失補償申請書〕	〔昭和35頃カ〕			〔安高カ〕		未使用。首相宛。被害状況を記載するらしい	書冊	1	
R	51	13	〔防風林伐採被害者組合員の出荷関係の青果市場の青果物の表〕						29枚　未使用	竪紙	29枚	
R	51	14	〔竪紙9点〕						未使用の防風林関係プリント。農作物関係	竪紙	9	
R	51	15	〔米軍基地が原因の被害をまとめたる表〕	昭和11～26			〔安高又ハ被害者組合カ〕		三里松原防風林伐採を原因とする被害をまとめたる冊子	書冊	1	
R	52	1	福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採に伴う昭和二十七年度損失補償申請書				芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合		損失補償書、被害状況、内訳を記載	横帳	1	
R	52	2	福岡県遠賀郡蘆屋飛行場地区防風林伐採被害者組合申請書控	昭和28			安高団兵衛		昭和23～26年分の部落、人ごとの見舞金内訳、被害状況などを記す	横帳	1	
R	52	3	芦屋飛行場地区防風林伐採に伴う昭和二十七年度農業特別損失補償見舞金追加支給金、昭和二十九年十二月末配分に関する控書類等				安高団兵衛		書類控、内訳など記す	横帳	1	
R	52	4	農作物別各町村部落別被害全額明細表						昭和23年より昭和26年まで4ヶ年分の明細表	竪紙、継紙	2、8	
R	52	5	福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採に伴う農作物被害調査書				芦屋町・遠賀村・岡垣村被害者組合		被害状況、その内訳を記す。昭和23年より昭和26年までの分	横帳	1	
R	52	6	水稲被害増加に對する説明書						被害額差額計算の訂正の説明など、R52ー7と同折	竪紙	2	
R	52	7	調査書						集会の記録、調査書の控、陳情書あり、R52ー6とは同折	綴	1	
R	52	8	調査書						被害の内訳を記す。昭和23～26年分	継紙、竪紙	1、1	
R	52	9	調査書						作物・地域別被害内訳、被害歩合などの昭和23～26年分を記す	綴	1	
R	52	10	芦屋飛行場地区防風林伐採被害明細内訳書控へ						昭和23～26年分の被害内訳・集計の控え、安高団とあり	横帳	1	
R	52	11	生産者価格調査書類綴				安高団兵衛		昭和23～26年分、生産者価格、地域差、青果市場についてなど	綴	1	
R	52	12	請願書	昭和27	12		芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合		後部に各地域別に人名列記	冊子	1	
R	52	13	書類控						昭和23～26年分の被害内訳、被害物件評価調書、見舞金支給調書あり	綴	1	
R	52	14	陳情書				芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合		陳情書、被害集計、証明書などあり	冊子	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
R	52	15	申請書　他	昭和27	11		安高団兵衛		被害状況、内訳、集計を記す、綴1、他に切紙1枚、竪紙4枚、竪紙は水稲被害増加に對する説明書、これら綴と同折			
R	52	16	集計表						昭和23～26及び27年度の集計表	綴	1	
R	52	17	調査書						被害集計を記す	継紙	4	
R	52	18	計算書						計算・カーボン紙同折	竪紙	1	
R	52	19	調査書						被害調査・金額、内訳を記す	綴	1	
R	52	20	計算書							竪紙	1	
R	52	21	畑一町歩耕作者作物収入計算						計算表、作物別、被害原因別に分類	竪紙	1	
R	52	22	書類						陳情書12通、防風林について、被害地決定の理由、表の見方などのメモ、下書、すべて同折	竪紙 罫紙	12 10	
R	52	23	被害金額表案						表の原本、数字不書入	竪紙	1	
R	52	24	計算紙						計算紙カ		11	
R	52	25	物的被害内訳書						昭和23年～26年分の水稲の分のみ記入	竪紙	2	
R	52	26	進駐軍伐採後四ヶ年間の被害集計						昭和23～26年の4ヶ年の分を水稲・蔬菜・果物に分類し、3ヶ村合計、芦屋町・遠賀村・岡垣村ごとにそれぞれ集計	綴	1	
R	52	27	断簡						祭りの告知のための貼紙か		1	
R	52	28	グラフ						年別に記す。5ヶ年、4ヶ年平均を出す	竪紙	1	
R	52	29	芦屋飛行場地区防風林伐採被害高						芦屋町分、田水稲、畑野菜、家屋など6項目に別け集計	切紙	1	
R	52	30	申請書						無記入の申請書4通、無記入の物的被害内訳書1通同折	竪紙	5	
R	52	31	申請書・物的被害内訳書						無記入、案文か	竪紙	4	
R	52	32	雑書類						罫紙1枚、切紙4枚、他2枚			
R	52	33	包紙						「昭和27年度損失補償申請書関係書類集」とあり、紐あり	包紙	1	
R	53		福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採に伴う昭和二十七年度損失補償申請書	昭和27～28			芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合		陳情書、農作物被害調査書を含む、却下分	書綴	4	
R	54	1	防風林伐採による反当被害状況グラフ	昭和28	2		安高団兵衛			グラフ	1	
R	54	2	〔雑書類(防風林関係)〕						芦屋町地図、福岡県全図、都心地図、大会議事録の一部。衆議院議員宿所一覧		5	
R	54	3	田畑農作物栽培明細表	昭和23年度			安高団兵衛			書冊	1	～26年度分
R	54	4	〔防風林関係書類〕				安高団兵衛　他		大正15年より10年間の風向統計表、防風林に関する伝説の冊子			
R	55		〔葉書〕	17	9	20	安高藤吉	安高団兵衛	手紙の返事	葉書	1	
R	56		〔雑書類〕				安高団兵衛　他		同窓会写真の名簿、1月のカレンダー、和歌、世紀タイムズ(S37．8．5)、日本砂丘研究会からの全国大会の通知等			
R	57		粟屋排水路設計書						仕様書、工事費明細表、図面4つ	書冊 折紙	1 4	
R	58		〔粟屋排水路新設工事関係〕	昭和32～33			〔安高団兵衛〕		粟屋排水路工事に関しての会合の記録	書冊	1	
R	59		〔雑書類〕						神武天皇社奉賛会解散通知ほか	切紙	5	
R	60	1	昭和三十二年二月調査	昭和32	2		〔安高団兵衛〕		芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合中央運動上京一覧表等	書冊	1	
R	60	2	供述写し	昭和31～32					芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合の組合費不正使用に関する供述調書	書冊	1	
R	60	3	〔防風林事件関係〕	昭和35			〔安高団兵衛〕		安高岩雄控訴公判第2回の記録、防風林事件裁判に関する全記録	書冊	1	
R	60	4	折尾警察署取調控	昭和32					安高岩雄の供述調書	書冊	1	
R	60	5	昭和三十二年八月調停委員会関係書類綴	昭和32					安高団兵衛に対する債務引受金請求における調停書類	書冊	1	
R	60	6	上京日誌	昭和27・28			安高団兵衛		芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合中央運動上京概略記と成果	書冊	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
R	60	7	昭和三十四年十一月上京報告	昭和34			安高団兵衛		芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合上京の様子の記載	書冊	1	
R	60	8	〔雑書類〕						芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合上京の様子の記載	袋入	1	
R	61		〔堅紙百27枚〕						127枚が包紙につつまれている。水くき歌会の和歌を書きつけた物が多い			
R	62		〔未使用の巻紙(白)〕						5束の巻紙入り。紙でくるんで紐でしばりたり	巻紙	5	
R	63		〔名刺〕						名刺箱の中に、各人からもらいたる名刺100枚程の入りたる	名刺	100程度	
R	64		大学出の兵隊さん	大正4	10	15	奥野他見男	磯部甲陽堂	第74版というくらいものすごく売れた本らしい。内容は、軍を批判的な立場で見ている			
R	65		〔手帳〕	1996			富士フィルム		未使用	手帳	1	
R	66		大石内蔵助東下り	明治45	3	1	雪花山人	立川文明堂、大阪市	260頁	書冊	1	
R	67		東京都区分地図帳	昭和30	10	1	日本地図株式会社		手帳型	地図	1	
R	68		神社関係書類綴	昭和38	10		安高団兵衛		神武天皇祭関係、懇談会記録等	書綴	1	～41年6月
R	69		大日本国防婦人会雑誌『銃後の花』綴	昭和13	9	1	安高団兵衛		第19～24号を綴ったもの	書綴	1	昭和13年9月1日号～14年1月1日号
R	70		芦屋町軍友会ニ関スル書類綴	昭和12	8		安高団兵衛		創立趣意書、規約、その他活動記録等	書綴	1	～昭和14年8月
R	71		選挙肅清委員書類	昭和10	7		安高団兵衛			書綴	1	～14年9月
R	72		〔書簡〕				芳子	お兄様	私信、封筒入	書簡	1	
R	73		〔手帳〕				安高団兵衛		電話番号、和歌等	手帳	1	
R	74		あしやすいけい社うた会	昭和29	11	23	安高団兵衛　他		歌の写、266頁	書綴	1	～39年7月4日
R	75		〔書簡〕	昭和18	7月分		秋山光清、広渡静枝等	安高団兵衛、りきの他	書簡38、葉書84、その他10	書簡	132	～30年12月27日
R	76		実益　日本新玉編	明治38	10	8	綾部天外編	東京　盛花堂	226頁	書冊	1	
R	77		懐玉御和讃	明治22	4	5	西村七兵衛編	法蔵館;京都		書冊	1	
R	78		楠神社由緒							継紙	1	
R	79		〔紙〕						墨付なし			
R	80		〔芦屋町付近の航空写真と書類〕	〔昭和24頃ヵ〕			〔安高カ〕		航空写真を役所から貰い受けたらしく、またそれには書類が必要なため書類もある。写真2枚書類3枚、包紙新聞	写真	2	
R	81		〔短冊の束〕				安高団兵衛		127首有。包紙有	短冊	127	
R	82		〔和歌書き付けたる和紙他〕						書付25、診察券2、名刺12、断簡1、歌を書き付けたる習字紙多数、包紙入り	竪紙	多数	
R	83		筑前蘆屋水くきうた会歌集(第弐部)	昭和34	1以降		安高団兵衛		あしや水くきうた会の、発表された和歌を安高が自分でまとめたもの	書冊	1	
R	84		〔書き付け〕	昭和28	8	12	〔安高カ〕		糸島地方事務所の人々の住所などを書きつけている	切紙	2	
R	85		〔水くきなる歌集〕	昭和40	5		あしや水くき歌会		水くきなる歌集昭40、5月号～昭41、6月号を紐にてとじたる	書冊	1	～41年6月
R	86		明治神宮献詠	昭和36	2	25	明治神宮献詠会		144、146、148～158、166、168号	書冊	1	～37年12月25日
R	87		浪懸　第一号	昭和34			芦屋町水茎社			書綴	1	
R	88		浪懸　第一号	昭和34			芦屋町水茎社		R87と同一	書綴	1	
R	89		自衛隊父兄会ニ関スル書類綴(第一部)	昭和39	5		安高団兵衛		自衛隊父兄会設立趣意書、入会申込書、会則、自衛隊資料、写真、事業報告等	書綴	1	～41年8月
R	90		〔雑書類〕				安高団兵衛		リヤカ使用表、自転車使用表(計18)、大久保五反田荒地開墾日数計算表	一紙	19	
R	91	1	会費切立帳	昭和9	1		粟屋正交会			書綴	1	～12年8月
R	91	2	貴船神社鳥居建立収支明細簿	昭和3	8		粟屋正交会			書綴	1	
R	91	3	貴船神社鳥居建船寄附者芳名録	昭和3			粟屋正交会			書綴	1	
R	91	4	正交会総会費決算表綴	昭和8	正月		正交会会計			罫紙綴	1	～13年1月
R	91	5	粟屋正交会決算書綴	昭和5年度			正交会会計			罫紙綴	1	～6年度
R	91	6	発受信其他	昭和3以降			粟屋正交会			書綴	1	
R	91	7	粟屋正交会金貸付簿(会計用)	昭和5	8以降		貸付専務委員			書綴	1	
R	91	8	〔正交会関係書類〕						連帯借用書(白紙)罫紙(無記入)			

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
R	91	9	〔印〕				粟屋正交会		粟屋正交会の印　2×2×6cm		1	
R	92		福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採に伴う昭和三十一年度損失補償申請書				芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合		原稿を含む	横帳	2	
R	93	1	福岡県芦屋飛行場地区予備調査報告	1954	7		財団法人　政治経済研究所		損失補償申請書準備の書類カ	書綴	1	
R	93	2	防風林造成計画書				芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合			書綴	1	
R	93	3	福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採に伴う農作物被害調査書				芦屋町遠賀郡岡垣村被害者組合			書綴	1	
R	93	4	昭和二十八年度所得額及損失額計算表	昭和28～29			安高団兵衛			書綴	1	
R	93	5	福岡県芦屋飛行場補償工事事業計画	30	10	7	農地局		14頁	書綴	1	
R	93	6	農地　第十七号	昭和28	2	5	農林省農地局編集			書冊	1	
R	93	7	福岡県芦屋飛行場隣接粟屋部落排水路埋立被害陳情に関する書類綴	昭和28			安高団兵衛		陳情書、被害明細、浸水被害損失補償申請書の写、用紙	書綴		
R	93	8	家屋被害　陳情書控	昭和28	6		福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合					
R	93	9	〔補償金受領表〕	昭和28･29					昭和28、29年分見舞金部落別支給調書並に組合費計算書もあり	一紙	14	
R	93	10	〔新聞切り抜き〕	昭和27･28			朝日新聞、西日本新聞等		防風林関係記事		5	
R	93	11	〔写真〕	昭和28	4	21			芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合と米空軍の懇親会のもの		1	
R	93	12	〔雑書類〕						「昭憲皇太后の御坤徳」という明治神宮の冊子、写真8、広告等			
R	94		〔芦屋防風林に関する申請書〕	昭和27			（安高、芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合）		1番上の書冊に、「受理されなかった申請書」とある。全て受理されなかったものを紐にてしばりたるものと思はるる。	書冊	10	
R	95		〔防風林問題に関する書類〕	昭和29年度			芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合		申請書3、陳情書、農作物被害調査書	書冊	5	
R	96		〔昭和三十三年度損失補償申請書他〕	昭和33			芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合		申請書3冊、防風林の伝説、被害の書き付2、副申書13、代表委任状	書冊	23	
R	97		〔防風林関係書類〕				安高団兵衛カ		防風林関係書類、天候に関する新聞切り抜き、申請書など	書冊	51	
R	98	1	昭和30年度損失補償申請書　芦屋町･遠賀村･岡垣村個人別明細書				福岡県芦屋郡飛行場地区防風林伐採組合		補償額明細など、封筒あり、表に「防風林伐採に伴う昭和30年度被害補償個人別申請書昭和35年5月13日提出控入」とあり	横帳	1	
R	98	2	昭和三十年被害調査原簿						歎願書、被害状況、集計、内訳を記す	横帳	1	
R	98	3	昭和三十年度被害損失補償申請書個人別申請書　芦屋町粟屋分				芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合		芦屋町　粟屋分の内訳、集計を記す	綴	1	
R	98	4	被害者組合費収支一覧表						昭和27年7月～昭和31年12月の組合費収支表	長綴	1	
R	98	5	昭和31年度各作物別作付反別並に反当収量各部落別一覧表						内訳･集計を各項目毎に記す	竪紙	1	
R	98	6	昭和30年度各部落別作物作付反別並に反当収量一覧表、昭和30年度果実地区別（北九州地区）平均価格表						それぞれ項目ごとに収量あるいは価格を示す。それぞれ標題脇に印あり	竪紙	2	
R	98	7	各個人別明細内訳集計書						補償を受けようとする金額、所得額、被害の明細･内訳を記す	綴	1	
R	98	8	昭和30年度補償申請書原稿				芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合		被害状況、内訳を記す	綴	1	
R	98	9	福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採に伴う昭和三十年度損失補償申請書				芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合		申請書･被害状況･内訳･所得額･損失額などを記す	横帳	1	
R	98	10	紐						R98を縛る		1	
R	99		物的被害集計書	昭和23～26			芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合		芦屋町、遠賀村、岡垣村物的被害集計、芦屋町、岡垣村戸別物的被害内訳書	書綴	11	
R	100		〔明治神宮お守りなど〕				明治神宮		お札、領収書、お守り2、しおり、明治天皇、昭憲皇后の御歌	各種あり	7	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
R	101		福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採に伴う昭和30～31年度損失補償申請書	昭和30～31			芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合		補償を受けようとする金額の明細表、書名、袋入	書冊	2	
R	102		芦屋飛行場地区防風林に関する伝説並に文献						農林省編纂「日本林制史資料福岡藩厳原藩」が文献	書冊	5	
R	103		〔陳情書〕	昭和27	11		芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合		芦屋飛行場拡張中止を求める陳情書	一紙	3	
R	104		〔封筒〕	昭和21	12	3	安高辰雄	安高岩雄　東京都千代田区麹町	破れたる封筒、速達、中身なし	封筒	1	
R	105		〔防風林関係書類〕						防風林被害者組合規約37枚、29年度申請所2枚、プリント30枚、見舞金個別支給調書カ2、弁当包4、新聞1部紐にてしばられたり。断簡数点含	註記	註記	
R	106	1	福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採に伴う昭和二十八年年度損失補償申請書	昭和29			芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合	内閣総理大臣吉田茂殿	18P、補償を受けようとする金額の明細内訳書（各町村部落別、諸作物別）、R106-1～5まで紐でくくってあり	書冊		
R	106	2	昭和二十八年度青果物単價調査書類綴				芦屋町安高団兵衛		20P、昭和28年産米及青果物平均単価表、市場での月別単価調査票	書冊		
R	106	3	〔福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採に伴う昭和28年度損失補償申請書控〕	昭和28	4	1	芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合		23P、朱書で「控」とあり。昭和28年度損失補償申請額作物別内訳書	書冊		～昭和29年3月末日
R	106	4	〔補償を受けやうとする金額個人別明細内訳書〕						45P、昭和28年度所得額個人別集計表（作物別）と昭和16～20年の5ヶ年間平均所得額及昭和28年所得額並差引損失額個人別明細内訳書	書綴		
R	106	5	福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採に伴う昭和二十八年度損失補償申請書	昭和28			芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合		防風林被害報告なり	書冊	1	
R	107	1	福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採に伴う昭和三十年度損失補償申請書	昭和30			芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合		補償を受けようとする金額一覧、昭和30年度被害損失一覧	書冊	2	
R	107	2	〔手紙の下書〕	昭和32	4	25	安高団兵衛	根本武夫	排水路工事の早期施工を、県耕地保に求めるよう根本氏に依頼する手紙	一紙	2	
R	107	3	〔雑書類〕	昭和32	3	21	安高団兵衛		遠賀村公民館にての被害組合協議会実行理事会記録	一紙	7	
R	108		〔防風林関係之署名〕						7冊有。住所・氏名・印を記載。同じもの5冊と他2冊。防風林関係の署名と思はるる。茶色の遠賀町役場封筒入	書綴	7	
R	109		昭和三十年度損失補償申請書	昭和30			芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合		農作物被害の表を掲載しています。深田順一氏が代表となったらしい	書冊	1	
S	1		東宮殿下御外遊記念写真帖	大正10	9	8		尚美堂　東京市神田区	御帰朝版増補	書冊	1	
S	2		農事功労者名簿	昭和16	5	27表彰	大日本農会		安高氏名誉賞受賞の伝達封書挟込1	書冊	1	
S	3		大日本農会綱要	昭和16	5	20	伊藤喜一郎編	大日本農会　東京市赤坂区	36頁	書冊	1	
S	4		老人に贈る長寿と健康	昭和37	1		植木三郎	滝沢直治郎（(株)うた椿社長東信用組合組合長）複写配布	24頁　贈呈	書冊	1	
S	5		日本国憲法					芦屋町選挙管理委員会	21頁	書冊	1	
S	6		政五郎一代記	昭和40	8	10	八谷新次監修	オール財界社　福岡市	200頁　謹呈	書冊	1	
S	7		独逸戦史	昭和16	11	25	藤井祥正編	亜細亜画報　東京市京橋区	写真192頁と本文30頁。第二次世界大戦記録。昭和14年12月13日大阪毎日新聞挟入あり	書冊	1	
S	8		1950年版・昭和二十五年版　毎日年鑑	昭和24	12	1発行		(株)毎日新聞社　東京都千代田区	532頁　追録挟込あり	書冊	1	化粧ケース入
S	9		やさしい催眠術	昭和38	1	5	田宮馨		66頁　平凡1月号第2付録　30分でマスターできる若い人のための催眠術入門ブック	書冊	1	
S	10		神武天皇	昭和18	8	8	甲佐知定　編	橿原道場　大和畝傍町（奈良県）	45頁	書冊	1	
S	11		随想集　猫の靴	昭和36	6	20	玉井政雄	浩文社　小倉市	217頁	書冊	1	
S	12		〔サロン露出計使用法〕	昭和15	12	10再版	関実	玄光社　東京市牛込区	76頁	書冊	1	表紙なし

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
S	13		改新ポケット日本地図　百万分之一	大正14	1	10	日下伊兵衛	和楽路屋　大阪市	里程入		1	
S	14		〔メモ・シート〕						未記入	ノート	2	
S	15		戦ふ農村婦人	昭和18	8	15	古瀬伝蔵　編	農山漁村出版所　東京都牛込区	270頁	書冊	1	
S	16		浪かけ岩	昭和35			瓜生天全		瓜生天全歌集、248首、(たむけ)56首	書冊	1	
S	17		字を上手に書く法	昭和8	11	1	八代登　編	主婦之友社　東京神田	198頁　主婦の友11月号附録、(挟込)写真4枚(昭和33年4月6日)サンフランシスコキンモン公園、MR. KAY. OHGITANI宛封筒1	書冊	1	
S	18		民謡処世訓	昭和12	6	20	安部正威	英進社　東京市神田区、大阪市東区	178頁	書冊	1	
S	19		毎日グラフ別冊　明治100年	昭和41	3	1	伊奈一男　編	毎日新聞社　東京都千代田区	202頁　チョンマゲからGO！GO！GO！・アメリカにあった明治日本・号外に見る3代の世相・カゴからジェット機まで	書冊	1	
S	20		報徳教祖　二宮翁夜話　全	明治42	3	5	故福住正兄	報徳学図書館　静岡市	268頁＋12頁	書冊	1	第13版。背表紙破損、表紙はずれ
S	21		甘藷栽培早わかり				丸山方作	大日本翼賛壮年団本部	43頁　詳細は「生理応用甘藷栽培法」大日本報徳社発行、静岡県小笠郡	書冊	1	
S	22		麦多収穫栽培法	昭和18	8	30	伊藤恒治	大日本翼賛壮年本部　東京都麹町	88頁	書冊	1	
S	23		戦ふ農村婦人	昭和17	11	20	古瀬伝蔵　編	集文館　東京市牛込区	256頁　古瀬氏は(社)農山漁村文化協会常任理事。「増産乃武器とあか免よ鍬と鎌」	書冊	1	
S	24		指導錬成農村戦士報告書　第一回発表	昭和17	6	20	古瀬伝蔵　編	集文館　東京市牛込区	194頁　古瀬氏は(社)農山漁村文化協会常任理事	書冊	1	
S	25		現代農村の傑作人物	昭和17	8	20	天谷虎之助　編	集文館　東京市牛込区	371頁	書冊	1	
S	26		船津伝次平	昭和16	7	25	和田伝	新潮社　東京市牛込区	269頁　土の偉人叢書	書冊	1	
S	27		剛健主義	大正10	4	10	綿貫仁門　編	小林川流堂　東京市麹町区	270頁　福島大将講演、帝国在郷軍人会本部蔵版	書冊	1	7版
S	28		新語新知識附常識辞典	昭和9	1	1	淵田忠良　編	大日本雄弁会講談社　東京市本郷区	514頁　キング第10巻第1号附録	書冊	1	化粧ケース入
S	29		〔明治神宮絵葉書〕					明治神宮社務所発行	白黒写真	絵葉書	8	絵葉書紙袋入
S	30		天孫降臨の世界史的意義と宗像三神	昭和15	12	27	森清人	官幣大社宗像神社社務所　福岡県宗像郡	50頁、官幣大社宗像神社紀元2600年記念出版	書冊	1	
S	31		活農民道	昭和18	7	20	山崎延吉	農山漁村出版所　東京都牛込区	125頁　古瀬氏(編者)は農山漁村文化協会代表者	書冊	1	
S	32		〔農作物農作業収穫等覚書〕	大正2・3・4年度					裸麦・西瓜・南瓜・大角豆・大根・芋・人参・豆他	ノート	1	
S	33		〔帝国議会議事堂絵葉書〕				貴族院内厚済会発行		貴族院参観記念　1511. 10の青色スタンプ押し、2枚は色つき8枚は白黒写真	絵葉書	10	絵葉書紙袋入
S	34		誰にも出来る　暗渠排水の話	昭和12	11	5	林進士	大日本農友会出版部　熊本県八代郡	70頁	書冊	1	
S	35		教訓歌謡集	昭和10	10	20	倉橋四郎　編	報徳会総務所　京都市	49頁	書冊	1	
S	36		修身斉家之極意　自訓十則	昭和13	12	12	松田喜一	大日本農友会出版部　熊本県八代郡	52頁	書冊	1	8版
S	37		野間清治短話集	昭和7	9	1	野間清治	大日本雄弁会講談社　東京市本郷区	181頁　キング第8巻第9号附録	書冊	1	
S	38		義侠鼠小僧治郎吉	大正5	8	25	蒼川生	岡本偉業館　大阪市東区	250頁　史談文庫第65編	書冊	1	4版
S	39		召集令　南山血染聯隊旗	大正11	3	1	湯浅条策　編	(株)〔審カ〕江堂　東京市日本橋区		書冊	1	18版
S	40		昭和之義農	昭和17	10	20	山崎延吉	集文館　東京市牛込区	247頁	書冊	1	
S	41		召集令　山瀬幸太郎血染の聯隊旗	大正12	2	25	丸山他三郎　編	丸山ゼイロク堂　大阪市北区	202頁　千代田文庫　第15編	書冊	1	
S	42		農道要訣　問答集(心の巻)	昭和13	7	10	松田喜一	大日本農友会出版部　熊本県八代郡	68頁	書冊	1	
S	43		自力更生読本　農家の医局	昭和7	11	10	河原治作	肥後農友会出版部　熊本市	104頁　河原氏は熊本病院医学博士	書冊	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
S	44		信條講話	昭和17	6	30	松田喜一	大日本農友会出版部　熊本県八代郡	75頁	書冊	1	3版
S	45		実用蔬菜園芸全書	大正14	6	10	橋本章司	帝国在郷軍人会本部　東京市牛込区	244頁	書冊	1	2版
S	46		CHIKARA　NO　IZUMI　力の泉	大正14	8	10	後藤静香	希望社出版部　東京府下西大久保	153頁	書冊	1	8版
S	47		文部省推薦　憲法制定と欧米人の評論	昭和13	8	25	金子堅太郎	(財)日本青年館(東京市四谷区)、金子伯爵功績顕彰会(東京市日本橋区)	355頁	書冊	1	
S	48		日月光華	大正13	1	20	畑徳三郎	金光教本部　岡山県浅口郡	47頁	書冊	1	2版
S	49		ツーリスト案内書　第七輯　九州地方	昭和16	8	15		(社)ジャパン・ツーリスト・ビューロー(日本旅行協会)　東京市麹町区	50頁	書冊	1	6版
S	50		ツーリスト案内叢書　第十六輯　山陽地方	昭和15	6	30		(社)ジャパン・ツーリスト・ビューロー(日本旅行協会)　東京市麹町区	46頁	書冊	1	再版
S	51		農村襍記　季節風	昭和21	6	20	鍵山博史	瑞穂社　東京都杉並区	202頁	書冊	1	
S	52		小学日本歴史三	明治38	11	14	文部省	修文館　大阪市南区	72頁＋4頁　歴史項目メモ書4枚挟込	書冊	1	教科書
S	53		小学日本歴史四				文部省		88頁　S52に小学日本歴史三あり。歴史項目メモ書1枚挟込	書冊	1	裏表紙なし(教科書)
S	54		高等小学読本二	明治39	7	22	文部省	嵩山堂書店　大阪市東区	79頁	書冊	1	教科書
S	55		高等小学読本三	明治38	12	31	文部省	博文館　東京市日本橋区	84頁	書冊	1	教科書
S	56		高等小学読本四	明治39	7	28	文部省	博文館　東京市日本橋区	86頁	書冊	1	教科書
S	57		高等小学読本五	明治39	1	21	文部省	嵩山堂書店　大阪市東区	85頁	書冊	1	教科書
S	58		高等小学読本六	明治39	5	1	文部省	博文館　東京市日本橋区	88頁	書冊	1	教科書
S	59		中学校、高等女学校、幼年学校、実業高校入学受験綴方自習書(六学年自習用)	明治45	1	15　再版	小関源助	三友堂書店　東京市早稲田鶴巻町	95頁　明治45年5月10日中園武十郎の墨書あり	書冊	1	
S	60		小学地理　四	明治38	12	7	文部省	有斐閣書房　東京市神田区	78頁　教室を騒せし者氏名メモ2枚挟込	教科書	1	
S	61		農家婦人の修養	昭和12	4	1	松田喜一	大日本農友会出版部　熊本県八代郡	74頁	書冊	2	10版
S	62		農業往来読本、商売往来読本							小横帳	1	
S	63		日常知識宝典	昭和22	9	5	瑞穂社編輯部	瑞穂社　東京都杉並区	36頁・60頁・58頁・20頁、もの知り博士の虎の巻、学習便覧知識の宝庫	書冊	1	再版
S	64		新編軍歌集					帝国在郷軍人会本部編纂部	119頁	書冊	1	
S	65		農民への大号令	昭和9	9	27	古瀬伝蔵　編	(資)泰文館　東京市神田水川町	409頁	書冊	1	化粧ケース入
S	66		精農家列伝　第四巻	昭和8	3	25		福岡県農会　福岡市福岡県庁内	97頁	書冊	1	
S	67		九州の誇	昭和9	6	7	川村新次郎　編	大日本雄弁会講談社　東京市本郷区	10頁　幼年倶楽部付録カ	書冊	1	
S	68		増訂改版　理想之農村	大正2	9	15	山田太一郎	裳華房　東京日本橋区	401頁	書冊	1	第9版
S	69		メートル法の友　教育ノ巻						68頁　詳細は大正11年11月『修正算術書各巻各教材主眼点及取扱上の注意』上下2巻、福岡県女子師範学校付属小学校研究会編纂	書冊	1	
S	70		メートル法の友　(衣類の巻)					秀巧社印刷所　福岡市鍛冶町	50頁　福岡県宣伝	書冊	1	
S	71		剣豪列伝集　第四十四集	昭和34	12	1	芳尾理吉　編	(株)双葉社　東京都新宿区	406頁	書冊	1	
S	72		郷土の社	昭和16	4	15	鉄道省　編	(社)ジャパン・ツーリスト・ビューロー(日本旅行協会)	190頁　郷土旅行叢書	書冊	1	
S	73		国の教育と富の教育	大正15	4	26	西沢之助	金光教甘木教会所　福岡県朝倉郡	58頁　西氏は日本文化協会会長	書冊	1	
S	74		日本古今孝子伝記	昭和29	7	15	入江文太郎	日本孝道普及会仮事務所　小倉市	195頁	書冊	1	その他「入江文太郎」の名刺1枚挟込
S	75		ツーリスト案内叢書　第十四輯　山陰地方	昭和16	8	31		(社)東亜旅行社(ツーリスト・ビューロー)東京市麹町区	52頁	書冊	1	3版

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
S	76		ツーリスト案内叢書　第十九輯　京都地方	昭和15	12	10		(社)ジャパン・ツーリスト・ビューロー(日本旅行協会)　東京市麹町区	52頁	書冊	1	
S	77		ツーリスト案内叢書　第三輯　大和めぐり	昭和16	8	30		(社)東亜旅行社(ツーリスト・ビューロー)東京市麹町区	52頁	書冊	1	5版
S	78		皇軍慰問　銃後と戦線を結ぶ　娯楽全集	昭和17	12	25	米田勝治　編	米田商会　名古屋市西区	90頁　大政翼賛臣道実践	書冊	1	
S	79		北九州の名勝　芦屋の浜	大正13	8	1	刀根為次郎	刀根為次郎　発行　福岡県遠賀郡	278頁　佐野孝福撮影	書冊	1	
S	80		〔日記他覚書・皇紀2598年12月〕	昭和13・14					団兵衛氏43才、弟結婚式(佐世保)、農友会講習会(熊本県八代郡)	ノート	1	
S	81		大典記念　帝国農業史要	大正4	11	10	左子清道　編	帝国農会　東京市赤坂区	193頁＋10頁	書冊	1	
S	82		精農家列伝　第三巻	昭和7	4	30		福岡県農会　福岡市福岡県庁内	92頁	書冊	1	
S	83		土の聖者尊徳伝	昭和13	5	10	福田正夫	東江堂　東京市浅草区	225頁	書冊	1	
S	84		家産財団　全	大正10	2	5	山下信義　村田太平　共著	大成協会　京都府伏見町	125頁	書冊	1	3版
S	85		斜月峡月　難局打開	昭和3	8	14	小林寅之助編	真田山聯珠図書出版部　大阪市東区	32頁	書冊	1	再版
S	86		世間雑話	昭和10	12	7	野間清治	大日本雄弁会講談社　東京市小石川区	257頁	書冊	1	第88版
S	87		隣組と常会	昭和15	12	28	鈴木嘉一	(株)誠文道新光社　東京神田区	278頁　常会運営の基礎知識	書冊	1	第6版
S	88		改正　帝国市町村制	大正11	12	5	文進堂編纂部　編	文進堂書店　大阪市東区	68頁	書冊	1	
T	1	1	〔神武天皇社奉讃会関係書類〕	昭和18	3	28	安高団兵衛	天谷虎之助	履歴書・農業内容・奉讃会発起について等記入、その他趣意書・入会申込書2枚、会則6枚、包紙付	書綴	1	「奉賛会重要書類入」記入封筒入
T	1	2	〔新聞記事〕	昭和33	2	9、23	税のしるべ		(4面)確定申告をする人へ・(3面)農業所得標準決るの記事に◎印の表示	新聞紙	2	
T	2		芦屋町遺族会ニ関スル書類綴	昭和24	10以降					書冊	1	
T	3		参考綴(第三部)	昭和30以降					新聞切抜関係	書綴	1	
T	4		〔役場だより・芦屋新報他〕	昭和33	8	9		芦屋町総務課・芦屋新報社	役場だより第1～76号綴・6部は単独、79号あり、芦屋新報第80～85号綴、86～116号は単独、緑白紙紐しばり、その他ニュース新聞3、広渡卯壮宛(英領カナダ)安高リキノより封筒1	書綴	2	(～昭和35年11月1日)
T	5		福岡県立遠賀高等学校諮問委員会関係書類綴	昭和29	12上旬以降					書冊	1	
T	6	1	〔旅行記録類〕	昭和20	10	9			素人演芸大会(山口県俵山温泉)、四国旅行記	書綴	2	(昭和37年5月7日～10日)二〇加面2枚、園芸関係一紙17枚
T	6	2	売渡通知書	昭和23	8	5カ	福岡県知事	(遠賀郡鬼津2051)	田の売渡　松尾保から安高幸治郎へ	一紙	2	T6一1とともに茶紙袋入
T	7		熊本県天草行記	昭和28	1	9			名刺・使用電力量・芦屋ボートちらし等挟込あり。安高氏旅行記録	手帳	1	
T	8		昭和30年日誌	昭和30	1	1				手帳	1	～12月31日
T	9		〔上京日誌〕	昭和30	7				7冊目～10冊目・5男(誠)日大受験上京、表紙なし1冊	手帳	6	～37年10月。1冊は表紙なしでクリップ止
T	10		農業経営費調査簿	昭和18以降〔第1部〕					昭和18年度～22年度、領収証綴の挟込あり。〔T123〕に第2部以降あり	手帳	1	表紙は「金銭出納」の印刷
T	11		栗屋共同出荷組合金銭出納簿	昭和17	10	14			金員借用証書・領収証等挟込あり、祝儀袋	手帳	1	(～昭和22年5月9日)
T	12		〔和歌集・国語練習帳・メモ等〕							手帳	1	
T	13		〔和歌集他メモ帳・切手他メモ挟込〕	〔昭和33〕					名刺5枚・切手(5厘～4銭)38枚、他挟込雑種	定期券入	1	
T	14		〔各種記章〕				明治21年日本赤十社・国婦八幡支部、勤労章・福岡県他		紙箱入、輜重兵第12大隊第1中隊　大正8年7月23日入会即時受領スの裏書あり	記章 リボン	6 1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
T	15		〔葉書・封筒〕		〔12〕	〔29ヵ〕			封筒の中にヘアーネット挟込あり	葉書 封筒	1 1	〔1月10日カ〕
T	16		〔陳情書・出納メモ〕	昭和28	4	5				一紙	2	～8日（出納メモ分）
T	17		便箋複写簿	昭和28	5	13			手紙（発信）の控	書綴	10冊	～昭和40年3月11日
T	18		粟屋区記録	大正11	2	4			第1部～第4部	ノート 書冊	2 2	～昭和6年4月21日
T	19		町村区内諸記録	〔昭和6以降〕					委任状、災害地地租免除申請他挟込、一紙多数あり	ノート	1	
T	20		〔出納簿兼日記帳〕	〔昭和12以降〕					出納メモ他一紙挟込あり	ノート	1	〔～昭和16年〕
T	21		塾報	昭和8	8	10	大統社工業塾		8月号	書冊	1	
T	22		〔特別調達庁メモ〕	〔昭和27〕	〔10〕	〔4〕			来芦の職位人名メモ	一紙	1	〔～昭和28年10月28日〕
T	23		〔日記兼生活メモ綴〕	昭和10					日常生活心得他一紙挟込あり	ノート	1	～昭和13年。表紙なし
T	24		福岡地方裁判所小倉支部、福岡家庭裁判所小倉支部、小倉簡易裁判所管内（各種調停委員ニ関スル書類綴）	昭和24	1	1以降			安高氏調停委員・昭和24年1月調停関係法規集挟込	書冊	1	
T	25		農産物販売価格表	昭和6	6以降				作物別一覧表の一紙挟込多数	ノート	1	
T	26		〔上京日誌〕	〔昭和38〕	〔10〕	〔14以降〕			東京タワー展望券・日光東照宮祈祷御守他東京観光記念・上京メモ下書挟込あり、その他手帳鉛筆1本	手帳	1	
T	27		〔日誌〕	〔昭和19ヵ〕						手帳	2	〔～昭和22年〕昭和19年分カ手帳は表紙なし
T	28		秋山雁木地所管理帳	〔昭和36〕					第1～2号、ノート1冊は1号の下書カ、秋山カメノ氏郵便貯金は2号に昭和41年11月11日まで記入あり、一紙挟込あり	ノート	3	〔～昭和39年〕
T	29		〔各地旅行日誌〕	〔昭和12〕	〔3以降〕				伊勢神宮・大阪・京都・西長崎・佐賀・東京他・切符・名刺の挟込あり	手帳	1	
T	30		〔妻リキノ入院費用記録〕	〔昭和28〕	〔4〕	〔5〕				手帳	1	〔～4月20日〕
T	31		〔日誌〕	〔昭和15ヵ〕	〔6〕	〔13以降〕			靖国神社御守他メモ挟込あり	手帳	1	
T	32		歌の記録	〔昭和35〕	〔3〕	〔27以降〕			昭和35年3月28日姉さま轢死のメモが和歌の途中にあり	手帳	1	
T	33		〔上京日誌〕	〔昭和15以降〕					切符・旅館等の挟込あり	手帳	1	
T	34		就寝時間入浴回数統計簿	大正8	11	20			第1部～7部と総統計表1、第1部と3部を除く各帳簿に挟込あり	手帳 ノート	6 2	～昭和41年7月7日
T	35		大正九年壱月以降　家族　健康・他行・休業統計表	〔大正15〕	〔9〕				第3部、即位大礼祝賀会祝詞下書他挟込あり	ノート	1	〔～昭和6年3月〕
T	36		〔日誌〕	〔昭和11〕					昭和11・17・33～40年、白紐で括ってあったものを年代順に並べかえ、紙紐で3つに分冊する	手帳	5、5	〔～昭和40年〕卓上カレンダー
T	37		福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採に伴う昭和二十七年度損失補償申請書	昭和28			芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合	内閣総理大臣吉田茂	四つ折りにしてビニール紐で括る	書冊	1	その他未記入の明細内訳書8枚
T	38		〔諸請求書・領収証類綴〕	〔昭和30年度〕					仕切書、飼料代、医薬代その他出納表類多数の綴	一紙	多数	鳥取大学農学部の紙袋入で緑色紙紐で括る
T	39		〔農業費用一覧表並びに領収証類〕	〔昭和4・5〕					弟幸治郎分家屋建築費用メモあり	一紙	多数	紙筒にまるめて入れてある（農業日誌入郵送分）
T	40		〔所得税・町民税関係書類〕	昭和33年度					所得税確定申告調査書類は昭和33年度35年度、町民税関係は34年度	一紙	多数	～昭和35年度。「民主公論社」紙袋入白紐で括る
T	41	1	〔安高一雄カの世話借用証類〕	〔昭和28〕	〔3〕	〔19〕	借主　安高団兵衛			一紙	9	〔～6月16日〕茶封筒入、T41／1、2一緒に紐で括る
T	41	2	〔和歌・民謡等〕	〔昭和28以降ヵ〕						一紙	多数	茶封筒6個に入る、T41／1、2と一緒に紐で括る
T	42		石井翠女句集　春北風	昭和34	7	26	石井翠女（本名石井カツエ）	堀江ユキノ発行福岡県若松市	121頁	書冊	1	化粧ケース入

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
T	43		〔書簡綴〕	〔昭和35〕	〔1〕	〔27〕	日本功労顕彰協会　東京都千代田区神田神保町2の40番地		葉書3、封書3、自治功績記念章木箱1（空箱）、皇太子殿下御成婚記念	協会封筒入		〔～9月2日消印〕
T	44		〔白紙〕							一紙	22	芦屋町役場の封筒入
T	45		〔金銭出納集計表関係書類〕	〔昭和28〕					収入・支出集計表・仕切書・領収証等	一紙	多数	〔～昭和32年〕透明ビニール袋入
T	46		〔家業日誌・祝辞・講話原稿〕	〔昭和14〕	〔12〕	〔23以降〕				一紙	多数	
T	47		胡瓜出荷の件	昭和19	6	19	栗屋出荷組合・大城出荷組合	八幡市？青果市場　佐村・末広様		一紙	1	屋号のため入力不可
T	48		〔農作物日誌〕	〔大正10〕					集計表メモ挟込	ノート	1	〔～大正11年〕
T	49		〔日誌〕	〔昭和6ヵ〕					農家の日記は昭和5年10月30日発行　福岡県農会借金メモ他挟込あり	書冊	2	〔昭和23年〕
T	50		私の現在記帳の種類						1～16の記帳名と開始年月日記入	一紙	1	
T	51		〔奉賛会よりの願書〕	昭和19			古賀恵啓（発起人ノ1人）	安藤紀三郎　東京都麹町区	長音寺住職栗原氏外処分依頼	一紙	1	
T	52		〔農業日誌〕	〔大正9〕						ノート	1	〔～大正10年〕集計メモの挟込あり
T	53		〔兵役日誌〕	〔大正8〕						書冊	2	メモ挟込あり
T	54		私の日常信條として実行しつつあることの一部	昭和7筆縞					205頁、一部追記増補ス、手書原稿	書冊	1	昭和16年写記
T	55		〔出納簿〕	〔昭和30〕	〔4〕	〔3〕			団兵衛氏以外のものカ、パン・バター・エイガ等の支出多し	書冊	1	〔～昭和35年3月1日〕その他家族写真3枚、領収証等の挟込あり
T	56		一粟屋十年二十年台生懇親会記・粟屋元老寄り帳	昭和27	8	31以降				書綴	1	
T	57		〔雑記綴〕	〔昭和29〕					和歌・被表彰事項（書綴）、栗屋排水路新設について	書綴	1、多数	〔～昭和41年〕和歌題一覧表。一紙、白厚紙2枚の2つ折の中に挟む
T	58		〔芦屋飛行場地区酪農被害証明綴〕	昭和27			芦屋飛行場地区酪農被害者組合			書綴	4、6	～36年度。一紙、茶封筒入
T	59		〔割増金附勧業債券〕	大正6	12		日本勧業銀行		各金10円、第67回、68回、71回、72回、76回各2枚	債券	10枚	～大正9年6月。「支那事変国債」印刷の紙袋入
T	60		八幡乳業株式会社関係書類綴	昭和34	4	1		会社住所　八幡市紅梅町4の3	第3期営業報告書等	書冊	1	～昭和35年3月31日
T	61		〔団兵衛個人金銭収支抜すい〕	昭和27	1	26				書綴	1	～昭和31年11月25日
T	62		〔警防団集会メモ〕	昭和20	3	16				一紙	1	
T	63		〔郵便貯金通帳〕	昭和15	3	31	福岡貯金支局ては□33032			貯金通帳	1	～昭和19年7月23日
T	64		妻入院ニ関スル記録綴	昭和28	4				その他3月21日～4月1日食事メモ（一紙）と病院関係者メモ（封筒）あり	書冊	1	「安高りきの入院日記」の封筒（安部自転車商会）に紅白の紐括り
T	65		婚礼本客献立	昭和3	4	12			幸次郎婚礼嫁入本客献立	長冊	1	
T	66		〔預貯金財産一覧表〕	昭和15	4	1				一紙	9	～昭和21年3月3日
T	67		有限責任芦屋信用組合貯金台帳	大正15	2	2				書冊	1	～昭和21年9月28日。メモ書4枚挟込あり
T	68		財産税課税価格等申告書	昭和22	2	15				一紙	5	
T	69		〔国税納付書送付依頼書・預金口座振替依頼書〕						未記入用紙	一紙	2	
T	70		〔預貯金期日案内・利息計算書〕	昭和28	12				安高団兵衛・リキノ・芦屋農協・富士銀行分	一紙	3	「富士定期預金証書」紙袋入
T	71		〔日誌〕	〔昭和10〕						手帳	1	〔～昭和12年〕名刺・一紙挟込あり
T	72		〔日誌〕	〔昭和20〕					背表紙がとれて手帳の冊数不確実	手帳	3冊分カ	〔～昭和22年カ〕一紙外挟込あり
T	73		軽自動二輪車記録帳	昭和39	8	4			バイク（カブ）55CC	ノート	1	～昭和41年4月25日。部品メモ挟込あり
T	74		〔日誌〕	〔昭和40〕						ノート	1	メモ挟込あり
T	75		〔日誌〕	〔昭和18〕					背表紙がとれて手帳の冊数不確実	手帳	5カ	〔～昭和24年カ〕メモ挟込あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
T	76		〔名刺・メモ類〕	〔昭和36〕					手帳形式の紐綴の間に挟込あり	名刺	14	〔～昭和38年カ〕メモ多数
T	77		勤倹手帳	大正14					未記入	手帳	1	
T	78		〔日誌〕	昭和36						ノート	1	メモ・ポケットカレンダー等挟込あり
T	79		〔年間行事一覧表〕	昭和36						一紙	6	～昭和38年。その他方眼紙2枚あり
T	80		〔郡酪農部会創立総会書類〕	昭和40	8	10	遠賀郡酪農部会設立委員会		創立総会は8月16日	書綴	1	
T	81		〔累計一覧表〕	大正9					累計内容不明・日付毎の数字と赤丸で囲んだ数字2種類の累計あり	一紙	2	～昭和39年
T	82		忍術名人　佐久間兵庫	大正6	2	25	榎本松之助　編	法令館　大坂市南区	60頁　英勇文庫	書冊	1	
T	83		南九州一週旅行	昭和38	2	26				ノート	1	～3月2日。葉書・メモ挟込あり
T	84		旅行中備忘略記簿	昭和40	11	15			仏教教会　日向神ダム旅行	ノート	1	
T	85		〔歌謡曲・軍歌・民謡・唱歌他〕	〔昭和36〕						手帳	2	ノート、メモ挟込あり
T	86		〔輪十二壱関係人名住所録〕	〔大正8〕						手帳	2	メモ・名刺・針と糸挟込あり
T	87		〔日誌〕	〔昭和34〕						手帳	2	〔～昭和35年〕
T	88		〔針と糸〕							携帯針と糸、黒・白・緑・赤の糸、針5本	1	
T	89		〔扇子〕							扇子	1	ビニール袋入
T	90		脱腸病者の相談書					万木医療器械店　東京本郷3丁目	40頁	書冊	1	「大学脱腸帯」紙箱の中に入る
T	91		〔日記〕	〔明治41ヵ〕					団兵衛12歳の頃のものカ	書冊	1	
T	92		〔日誌〕	大正8	11	20			欠年度なし、大正12年日記に「大日本交通全図」の挟込あり	日記帳	6	～大正14年
T	93		〔日誌〕	昭和13					欠年度なし、切符・名刺・メモ等挟込あり	手帳 日記帳	1 4	～昭和16年
T	94		〔日誌〕	昭和21					昭和21年度に日誌（第1部）と表記あり。昭和22年は3冊に分冊	手帳	4	～昭和22年
T	95		〔日誌〕	昭和24					団兵衛氏54才・月別カレンダー・仕切書・メモ・葉書他挟込多し	日記帳	1	
T	96		〔日誌〕	昭和25					欠年度なし、メモ他挟込あり	手帳 日記帳	2 3	～昭和29年
T	97		〔日誌〕	昭和31					昭和33年～35年度欠年、昭和31年3冊うち1冊は俵山温泉行き分、昭和37年度は2冊	手帳 日記帳	3 4	～昭和37年
T	98		〔和歌メモ集〕	〔明治41〕						ノート	1	〔～昭和41年〕
T	99		〔日誌〕	昭和41					「7月8日以降（第2部）診察入院記帳」に家族写真、メモ他挟込あり、他の1冊にはレントゲン写真外・名刺・メモ等挟込多数	ノート、卓上カレンダー綴	1、1	
T	100		〔日誌〕	昭和42					メモ挟込あり	日記帳	1	化粧ケース入
T	101		〔芦屋飛行場地区酪農被害損失補償申請書関係原稿類〕	昭和27					個人別申請書、補償申請書、乳牛証明写し綴、団兵衛と勉の明細書、調査書（福岡調達局）、坂口書店の紙袋入	書冊	4、2、6	～33年、昭和34年8月27日。記入済一紙、未記入一紙
T	102		〔記帳日誌名メモと金銭出納下書メモ〕						家業日誌メモに大正9年から昭和19年の年度記載あり	一紙	2	
T	103		見舞金個人別支給調査　2	昭和23					広渡部落分	一紙	1	～26年分
T	104		酪農被害者組合各個人別（附各部落集計書）申請書控	昭和27					書冊8、書綴6、記入ずみ一紙（4、4）、未記入一紙3、白紙3	民主公論社紙袋入		～33年（昭和35年2月9日提出）
T	105		〔和歌メモ〕						9月臨時うた会、運動会〔題〕	一紙	1	
T	106		（写）騒音ガ乳牛ニオヨボス影響（被害）ニツイテノ調査書	昭和34	8	27	福岡調達局		5頁、洞海プリントの小包紙に包む	書冊	16	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
T	107		〔芦屋台地土地改良区組合書類〕	昭和33	9	30			通常総会記録、議案、定款(案)	書冊 書綴	3 7	～昭和38年4月30日。民主公論社紙袋入
T	108		便箋複写簿	昭和26	12	24			手紙(発信)の控	書綴	1	～昭和27年8月16日
T	109		農村特志隊粟屋組八幡市役所屎尿利用　関係書類綴	昭和26					第3部	書冊	1	
T	110		福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋戸籍簿写	昭和7	11	5写製	安高団兵衛		昭和17年春訂正加除	書冊	1	閲覧不可
T	111		貴船神社鳥居建設寄附者芳名録	昭和3	4					書冊	1	
T	112		貴船神社鳥居建設費支出明細簿	昭和3						書冊	1	
T	113		八幡下肥(八幡市役所清掃課払下送付屎尿)採用粟屋実行組合ニ関スル書類綴	昭和16以降						書冊	1	
T	114		農村特志隊粟屋組・都市屎尿利用農村受入協議会関係書類綴	昭和23	1以降(特志隊・第2部)					書冊	1	昭和24年秋以降(受入協議会)
T	115		農村特志隊安高組関係書類綴(第壱部)	昭和19	7以降					書冊	1	昭和22年12月迄
T	116		農業調整生産割当・供出割当に関する書類綴	昭和23	1以降					書冊	1	
T	117		〔不動産関係書類〕	明治23	7以降			安高藤平・安高福蔵	所有土地台帳・総丈量野取及反別地価名寄帳・売渡証・登記申請書・反別地価地租表、大正4年9月16日福岡日日新聞紙包み	書冊、書綴4、一紙1	2	
T	118		土地ニ関スル書類綴	昭和4以降						書冊、紅白の紐括り	1	
T	119		土地台帳	昭和9夏写記					4冊ノ内第1～第4　879番地～1481番地	書冊	4	
T	120		〔粟屋侵水関係書類〕	昭和29	5以降				侵水発生は昭和28年6月7日～28日、芦屋飛行場の影響	合綴	1	記入済一紙2、未記入一紙27、政治経済研究所紙袋入
T	121		〔諸書類・メモ類〕	昭和27					葉書・領収証・計算書・下書メモ他	昭和28年4月9日付、紅白紙紐括り、日本経済新聞紙包み	多数	～27年カ
T	122		〔諸費用支出分類〕	昭和29					オート三輪車費用・肥料代・飼育費・公租公課・電気代、仕切書他、昭和28年2月25日付、緑白紙紐括り、朝日新聞紙包み		多数	
T	123		農業経営費調査簿・明細簿	昭和23					昭和23年分は昭和18年以降の第2部になる〔T10〕に第1部あり	書冊	3	領収証綴他挟込多数
T	124		〔家計簿〕	昭和31					年間一覧表・駅弁包装紙・若松市議会決議書(昭和28年2月20日)、他挟込あり	書冊	1	家の光家計簿
T	125		粟屋区貴船社基本財産小作日誌	大正11	旧1					ノート	1	～大正20年旧12月末
T	126		〔葉書・便箋複写簿〕	昭和17	2	13			葉書用2、便箋用1、手紙(発信)の控	書綴	3	～昭和41年2月16日
T	127		〔罫紙〕						白紙	書綴	1	
T	128		芦屋町振興委員会書類綴	〔昭和27〕	〔5〕	〔31〕			祝儀袋1挟込あり	書冊	1	〔～昭和29年6月10日〕
T	129		我が現役間(軍隊生活)の大略	大正5	12	1			三ヶ年間分	書冊	1	大正8年11月20日満期迄
T	130		芦屋町先賢略伝						慰霊祭執行時に使用	書冊	1	
T	131		〔郵便小包外装〕	〔昭和34〕	〔12〕	〔1〕	宇野得三　鳥栖市村田町		紙袋1つは無地	紙袋	2	
T	132		金銭出納帳	大正4年度			安高福蔵(長男書記)			書冊	1	
T	133		昭和二十五年国勢調査調査員ニ関スル書類綴	昭和25	10	1			1950国勢調査の襟章あり	書冊	1	昭和25年10月1日午前0時現在。一紙で包装
T	134		〔農作物関係出納帳〕	大正15	2	1			「現金出納帳　生産物収納簿　原料使用簿　覚帳　物価表」の表題あり	書冊	1	～昭和2年1月31日
T	135		〔領収証〕	昭和36	8	18	芦屋町農業協同組合	安高藤吉		一紙	2	芦屋町農協茶封筒入
T	136		耕地調査に関する書類綴	昭和23	4以降					書冊	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
T	137		〔農産物日誌・国勢調査照査表写他〕	〔大正14～15〕					帝国第1回国勢調査の調査員安高健次郎雑誌我が友の配布表記載あり	ノート	1	〔大正9年10月1日〕国勢調査。メモ挟込あり
T	138		〔演芸大会招待券〕		3	19	青年演劇協会・福岡日日新聞八幡支局		東北地方凶作地義捐金募集　満州上海出動軍人家族慰安於大国屋	一紙	1	
T	139		農産物販売品種別集計簿	〔昭和12～18〕					一覧表他挟込あり	書冊	1	
T	140		〔粟屋下ノ組納税組合記録簿〕	〔昭和3〕	〔1以降〕				納税関係メモの他農産物メモの挟込あり	ノート	1	〔昭和10年10月〕
T	141		農業調査（福岡県遠賀郡芦屋町第一調査区）	昭和4	9	1				書冊	1	昭和4年9月1日午前0時現在
T	142		農耕雇入人に関する書類綴	昭和21以降						書冊	1	
T	143		農業稼働者雇入に関する書類綴（第二部）	昭和28年度以降						書冊	1	
T	144		蔬菜販売書類綴	昭和16	7					書冊	1	
U	1		〔写真〕	昭和36	11	24以降			知人・兵役関係・詳細なメモ書あり	アルバム	1	
U	2		〔写真〕						文化祭応募写真展出品分、文化祭応募写真展と書いた紙あり、芦屋の漁場林田守治分台紙で包む	引伸写真	9	
U	3		〔リールフィルム〕						85㎜リール式フィルム1本・ケース入、空のケース1			
U	4		〔写真〕	紀元2600	10	30（両親分）			写真立入、団兵衛氏父67才母66才、団兵衛氏分は伊勢神宮前、その他スナップ写真2挟込あり（牛とオート三輪車・記録中の団兵衛氏）			紀元2600年11月13日
U	5		〔昭和天皇皇后両陛下写真〕						御大典画報附録	写真	1	
U	6		〔写真〕	明治45	春				明治45年春　吉木尋常小学校改築前記念撮影、大正5年　徴集1年志願兵及兵卒、大正6年11月2日　大正3年度入営満期、大正7年度　第2期入営、その他	写真	6	
U	7		〔写真〕						防風林カ、同じ写真3枚	袋入	1、3	プリント
U	8	1	〔宮崎県地図〕	昭和14	2	25	和楽路屋			地図	2	昭和37年6月
U	8	2	〔鹿児島県地図〕	昭和15	7	1	和楽路屋			地図	2	昭和37年6月
U	8	3	九州最新地図	昭和8	11	1	駸々堂旅行案内部			地図	1	
U	8	4	〔絵葉書・しおり類〕						南九州・指宿・霧島絵葉書4袋、熊本朝鮮飴しおり、旅のしおり	絵葉書		
U	8	5	〔書簡他〕	昭和25					葉書19・封書10・封筒のみ6・電報2・外国郵便（扇谷氏より）4、名刺9、通帳受領証1	白紐括り	1	
U	8	6	〔封筒〕						「1、アメリカとの手紙　1、地図在中」のメモあり、U8／1～5が入っていた紙袋	封筒	1	
U	9	1	ポケット日米会話	昭和20	11	20	愛育社編輯部　編	愛育社　東京都神田区	128頁	書冊	1	
U	9	2	最新大阪地図	昭和34	1		和楽路屋			地図	1	
U	9	3	〔京都地図・案内図〕	昭和11	11	2	大鉄電車・福井朝日堂・日地出版			袋入	3	（昭和36年2月20日）
U	9	4	奈良名所地図	昭和24	3	30	藤田藤影堂			地図	1	
U	9	5	日光国立公園観光地図	昭和34	5	15	日本観光文化協会			地図	1	
U	9	6	〔絵葉書・しおり他〕						京都・東京・二見浦・杖立・雲仙・筑紫・耶馬渓絵葉書、旅順・鞍山他、1枚毎　8枚　その他観光バスしおり他あり	絵葉書袋	6	
U	9	7	〔封筒〕						「地図、写真（絵葉書）」のメモあり	封筒	1	U9／1～6が入っていた紙袋
U	10	1	〔葉書〕	壬辰〔昭和27〕		元旦	八幡市折尾町浅川町　中村建二・同つた	遠賀郡蘆屋町大字粟屋　安高団兵衛様・御全家様	年賀状	葉書	1	U10-1～190紐一括
U	10	2	〔葉書〕	壬辰〔昭和27〕		元旦	山鹿　秋山光清	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	10	3	〔葉書〕	昭和27		元旦	山田源太郎	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	10	4	〔葉書〕	昭和27	1	1	大分県宇佐郡安心院町竜王　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛兄	年賀状	葉書	1	
U	10	5	〔葉書〕	昭和27		元旦	若松市浜二番地二丁目　津山ツル・津山房雄	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状、旧年中は皆様の援助により津山組も津山得船株式会社も大過なく事業遂行できた事	葉書	1	
U	10	6	〔葉書〕	昭和27		元旦	佐賀県三養基郡基山町　岸金四郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	10	7	〔葉書〕	昭和27		元旦	遠賀川局　永田	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	10	8	〔葉書〕	昭和27	正月	元旦	戸畑市中本町二丁目五番地　早川万次郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	10	9	〔葉書〕	昭和27		元旦	福岡県芦屋町　堤写場　堤義雄・堤元信	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	10	10	〔葉書〕	昭和27	1	1	熊本県内牧町　小島頼男	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	10	11	〔葉書〕	昭和27	1	元旦	（中村正広）	遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	10	12	〔葉書〕	昭和27		元旦	芦屋町田屋　重岡重俊	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	10	13	〔葉書〕	昭和27	1	1	遠賀郡芦屋町山鹿　三村俊蔵	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	10	14	〔葉書〕	昭和27	正月	元旦	林田守治	町内粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	10	15	〔葉書〕	昭和27		元旦	芦屋町中小路　長野クニ	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	10	16	〔葉書〕	昭和27		元旦	衆議院議員渕上房太郎　東京仮寓中野区昭和通二ノ四七・衆議院千代田区霞関第三議員会館	遠賀郡芦屋町芦屋粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	10	17	〔葉書〕	昭和27		元旦	福岡県八幡市西本町五丁目一六一七ノ一　北九州青果株式会社八幡支店　支店長竹井清三郎・外従業員一同	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団平殿	年賀状	葉書	1	
U	10	18	〔葉書〕	昭和27	1	元旦	遠賀郡香月町楠橋　統計事ム所　西島巌	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	10	19	〔葉書〕	昭和27		元旦	八幡市折尾町日の出二丁目　日本観光社　植田儀三郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	10	20	〔葉書〕	昭和27		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋二七七九　梅林土木株式会社芦屋出張所　森山武夫	蘆屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	10	21	〔葉書〕	昭和27		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町　芦屋町議会議員・芦屋町新聞販売所　所長刀根善太郎	芦屋町粟屋区　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	10	22	〔葉書〕	昭和27	1	1	八幡市折尾町本城　大庭善三郎	蘆屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	10	23	〔葉書〕	昭和27		元旦	中間町議会議長　加来繁雄　自宅福岡県遠賀郡中間町唐戸（加来歯科医院）	芦屋町　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	10	24	〔葉書〕	昭和27		元旦	東京都杉並区西高井戸一ノ五三　早川朝洋	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	10	25	〔葉書〕	昭和27		元旦	東京都港区芝神谷町六（神谷方）　山本武・佳子	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛様・御一同様	年賀状	葉書	1	
U	10	26	〔葉書〕	昭和27	1	元旦	八幡市折尾町本城　香山満寿郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	10	27	〔葉書〕	昭和27		元旦	県議　三原朝雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	10	28	〔葉書〕	昭和27	1	1	全国農業委員協議会副会長・九州農業委員協議会会長　政時鹿義　福岡県田川郡川崎町六三二	遠賀郡芦屋町芦屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	10	29	〔葉書〕	昭和27	1	元旦	八幡市黒崎町二丁目　伊豆安夫	遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	10	30	〔葉書〕	昭和27		元旦	宗像郡岬村上八　和田積蔵	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	10	31	〔葉書〕	昭和27		元旦	山口県俵山局区内俵山温泉町温泉旅館山口屋旅館・静かな別館光陽館	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛・リキの様	年賀状	葉書	1	
U	10	32	〔葉書〕	昭和27		元旦	長崎県口之津町　植木保・トミ	福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋　安高団兵衛・御内室外御一同様	年賀状、諫早市天満町にて農業農機具肥料などの販売会社を創設した事ほか	葉書	1	
U	10	33	〔葉書〕	昭和27	正月	元旦	佐賀県神埼郡二比山村　宮地三郎・エイ	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	10	34	〔葉書〕	昭和27		元旦	神奈川県川崎市生田　明治大学農学部　木村修三	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状、九大在官中の御厚情への御礼ほか	葉書	1	
U	10	35	〔葉書〕	昭和27	8	14	九州電力株式会社	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	9月から10月まで31KWHほか割当電力量のお知らせ	葉書	1	
U	10	36	〔葉書〕	昭和27	8	14	九州電力株式会社	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	9月から10月まで20KWHほか割当電力量のお知らせ	葉書	1	
U	10	37	〔葉書〕	昭和26	8	16	東京都港区芝神谷町六番地　神谷莞爾方　山本佳子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様・御一同様	暑中見舞い、お産も無事済んだ事ほか	葉書	1	
U	10	38	〔葉書〕	昭和27	8	16		福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛様	手紙の御礼、今は以前弟子についていた先生の宅にて頑張っている事ほか	葉書	1	
U	10	39	〔葉書〕	昭和27	9	10	宇佐郡安心院町竜王　中村藤次郎	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛様	正広の御世話・御指導への御礼	葉書	1	
U	10	40	〔葉書〕	昭和27	9	14	海老津にて　中村	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・一同様	試験終了の事	葉書	1	日は消印
U	10	41	〔葉書〕	昭和27	9		自由党総裁吉田茂・鳩山一郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	候補者渕上房太郎君の推薦	葉書	1	印刷
U	10	42	〔葉書〕	昭和27	9	17	宇佐郡安心院大字龍王　中村正広	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛様	試験結果を心配している事	葉書	1	日は消印
U	10	43	〔葉書〕	昭和27	9	18	宇佐郡安心院町竜王　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛様	正広御世話の御礼	葉書	1	
U	10	44	〔葉書〕	昭和27	9	21	宇佐郡安心院町龍王　中村正弘	福岡県遠賀郡芦屋粟屋　安高団兵衛様	色々と御心配を掛けて申し訳ない事ほか	葉書	1	日は消印
U	10	45	〔葉書〕	昭和27	9	24	海老津局内　山辺国政	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛殿	試験結果について	葉書	1	日は消印
U	10	46	〔葉書〕	昭和27	10	1	推薦者　遠賀区保護司会長・折尾簡易裁判所調停協議会長　加来繁雄	遠賀郡芦屋町調停委員　安高団兵衛殿	県議会員候補者栗川正雄君の推薦	葉書	1	印刷
U	10	47	〔葉書〕	昭和27	10	7	岡垣村元松原　広渡素一郎	芦屋町大字粟屋　安高団兵衛殿	高倉神社祭礼のお知らせ	葉書	1	日は消印
U	10	48	〔葉書〕	昭和27	10	9	海老津局内　山辺国政	遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛殿	正広君の試験得点について	葉書	1	日は消印
U	10	49	〔葉書〕	昭和27	10	11	大分県宇佐郡安心院竜王　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛様	正広合格との通知を山辺様より頂いた事ほか	葉書	1	
U	10	50	〔葉書〕	昭和27	10	12	宇佐郡安心院町大字龍王　中村正弘	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	皆様のおかげで第一次には合格致した事	葉書	1	
U	10	51	〔葉書〕	昭和27	10	13	大分県宇佐郡あじみ町竜王　中村昌弘	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	局より正式に通知があり次第、御礼に参上する事ほか	葉書	1	
U	10	52	〔葉書〕	昭和27	10	14	播州特産製造元直結特約店　嶺興農園（種苗荒物製網・園芸具度量衡　福岡県遠賀郡中間町唐戸四、一三五番）	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	永光印の鎌の広告	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	10	53	〔葉書〕	昭和27	10	18	鬼津太田秀夫	郡下芦屋町粟屋　安高団兵衛様	宮日祭りの余興の際に愚息秀和へ多大の御花御恵与下さるにつき御礼	葉書	1	日は消印
U	10	54	〔葉書〕	昭和27	10	20	岡垣村元松原　広渡タツノ	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様内　りきの様	トタンの樋がいつ頃出来上がるかにつき伺い	葉書	1	日は消印
U	10	55	〔葉書〕	昭和27	10	20	安心院町龍王　中村正弘	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	手紙の御礼、局からはまだ通知がない事ほか	葉書	1	日は消印
U	10	56	〔葉書〕	昭和27	10	22	（九州電力株式会社）	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	12月から1月まで33KWHほか割当電力量のお知らせ	葉書	1	
U	10	57	〔葉書〕	昭和27	10	22	（九州電力株式会社）	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	12月から1月まで+I40921KWHほか割当電力量のお知らせ	葉書	1	
U	10	58	〔葉書〕	昭和27	10	29	小倉市大阪町九丁目一二二ノ一　日本生命保険相互会社小倉支社	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高正義様	保険料引下げの案内	葉書	1	
U	10	59	〔葉書〕	昭和27	10	29	小倉市大阪町九丁目一二二ノ一　日本生命保険相互会社小倉支社	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高隆盛様	保険料引下げの案内	葉書	1	
U	10	60	〔葉書〕	昭和27	10	29	安心院町龍王　中村昌弘	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	親身に勝る御世話をして頂いた結果、非常に嬉しいお便りを頂いた事ほか	葉書	1	日は消印
U	10	61	〔葉書〕	昭和27	10	28	大分県宇佐郡安心院町竜王　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	正広の件につき御礼	葉書	1	日は消印
U	10	62	〔葉書〕	昭和27	10	31	中間町昭和町通り内田トメ方　安高正義	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様・外御一同様	開店1ヶ月随分苦労するも近頃は漸次好転して来た事ほか	葉書	1	日は消印
U	10	63	〔葉書〕	昭和27	11	7	学舎兄弟文庫	遠賀郡芦屋町粟屋　安高正義殿	立太子式を卜し若松恵比寿神社々務所にて第1回公開講座を開催するにつきお知らせ	葉書	1	年月日は消印
U	10	64	〔葉書〕	昭和27	11	9	安心院町竜王　中村正弘	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	先日山辺様が色々と私の事を父母に語られ、父母も安心した様子である事ほか	葉書	1	日は消印
U	10	65	〔葉書〕	昭和27	11	10	芦屋町東町　北村道夫	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	卵50個御届け願い	葉書	1	
U	10	66	〔葉書〕	昭和27	11	11	芦屋町東町　北村道夫	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	小学校遠足などにつき卵50個御届け願い	葉書	1	
U	10	67	〔葉書〕	昭和27	11	11	喪主安高ナカエ・外親族一同	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	亡進葬儀会葬の御礼	葉書	1	
U	10	68	〔葉書〕	昭和27	12	12	折尾にて　中村正広	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	近日中に父上福につき叔父様の御都合伺い	葉書	1	日は消印
U	10	69	〔葉書〕	昭和27	11	17	日蓮宗芦屋教会内古賀恵啓事示誠日雄	蘆屋町粟屋区　安高団兵衛様	奉賛会発起の際、御神霊の大精神を知って発起されたのか否か、全蘆屋町民へ発表され度事	葉書	1	
U	10	70	〔葉書〕	昭和27	12	19	芦屋町新川　大庭千代吉	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	亡父吉次葬式会葬の御礼	葉書	1	
U	10	71	〔書簡〕	昭和27	3	8	佳子拝（東京都港区芝神谷町六番地神谷莞爾方山本佳子）	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋安高団兵衛様・御一同様	ふみ江は日増しに大きく育っている事、ふみ江の写真1枚送付の事	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
U	10	72	電報	昭和27	10	10	エビツ（海老津山辺国政）	アワヤ　アタカダンベヱ（粟屋安高団兵衛）	ウンドウノケツカゴウカクツウチスミ（運動の結果合格通知済み）	電報	1	
U	10	73	〔書簡〕	昭和27	8	6	福岡県八幡市折尾町国道筋　井戸ポンプ・電動ポンプ・水道工事　山賀ポンプ店	安高団平様（芦屋町粟屋）	揚水ポンプより畑に送水している鉄管の交換について	紙	1	紙2枚書類留（針）にて綴り（針除去済）。封筒あり
U	10	74	需用家の皆様を犠牲にする電気事業設備復元法案に反対する	昭和27	7		九州電力株式会社（福岡県若松市中川通り四丁目九州電力株式会社若松営業所）	御需用家各位（遠賀郡芦屋町粟屋）	復元法の影響などについて	紙	1	印刷。封筒あり
U	10	75-1	〔書簡〕	昭和27	8	22	波多野アサノ（筑紫郡二日市町武蔵）	安高りきの様（遠賀郡芦屋町字粟屋）	先日汽車車中にて広渡ナルキ様に会いたる事ほか近況報告	罫紙	1	罫紙4枚。U10-75-1、2封筒一括
U	10	75-2	〔書簡案文〕	〔昭和27〕	8		（安高りきの）		手紙の御礼ほか	紙	1	
U	10	76	〔書簡〕	昭和27	9	5	中村（大分県宇佐郡安心院町竜王中村藤次郎）	安高様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛）	正広の通知の件につき御礼ほか	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
U	10	77	〔書簡〕	昭和27	9	7	田島村深田　徳満神社々務所	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	徳満神社秋季大祭の案内、案内の掲示依頼	紙	1	印刷。封筒あり。日は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	10	78	〔書簡〕	昭和27	9	6	藤治郎（大分県宇佐郡安心院町竜王中村藤治郎）	大兄様（福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋安高団兵衛）	正広の件につき御礼と御願い、本日門司鉄道管理局より通知が参るにつき送付する事ほか	紙	1	封筒あり
U	10	79-1	〔書簡〕	昭和27	9	29	福岡県京都郡豊津村光富豊津村農業協同組合　組合長理事上村正幸（印）	安高団兵衛様（福岡県遠賀郡芦屋町）	弊村篤農家35名貴所見学願い	罫紙	1	U10-79-1、2封筒一括。封筒に「返電報打つ」と安高団兵衛のメモ書きあり
U	10	79-2	電報	〔昭和27〕	9	30	芦屋町粟屋　安高団兵衛	福岡県京都郡豊津村光富豊津村農業協同組合　上村正幸	ケンガククルナオラヌアタカ「見学来るな、居らぬ。安高」	電報	1	
U	10	80	〔書簡〕	昭和27	10	8	直方市福地農協組合長　加藤守	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	農場視察の御礼	罫紙	1	封筒あり
U	10	81	〔書簡〕	昭和27	10	26	農林省福岡統計調査事ム所　安高隆盛	福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋　安高団兵衛様・外御一同様	食欲も旺盛になりゆっくり養生して居る事、俸給を使い果たし困り居る事、俸給などを持って来て下され度事	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
U	10	82	〔葉書〕	昭和28	2	7	九州電力株式会社若松営業所	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	3月から4月まで20KWHほか割当電力量のお知らせ	葉書	1	
U	10	83	〔葉書〕	昭和28	2	7	九州電力株式会社若松営業所	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	3月から4月まで28KWHほか割当電力量のお知らせ	葉書	1	
U	10	84	〔葉書〕	昭和28	2	16	八幡市折尾町陣原　安高重二琅	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	正月訪問時の御礼ほか	葉書	1	日は消印
U	10	85	〔葉書〕	昭和28	2	15	遠賀郡芦屋町　中西常吉	東京市千代田区麹町一ノ十二福岡県東京事務所内　安高団兵衛殿	中村つたの住所お知らせ	葉書	1	日は消印
U	10	86	〔葉書〕	昭和28	2	10	岸正男　糸島郡前原町　糸島地方事務所	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	遠賀地方事務所より糸島へ転任につきお知らせ	葉書	1	
U	10	87	〔葉書〕	昭和28	2		東京都練馬区下石神井二丁目一、三三三番地　秋山光一	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	寒中見舞い、常に両親が御世話になるにつき御礼	葉書	1	
U	10	88	〔葉書〕	昭和28	2	19	宗像郡岬村鐘崎　仲田佐代子	遠賀郡蘆屋町大字粟屋　安高団兵衛様	貴方様方に居る節に色々と御世話になるにつき御礼	葉書	1	日は消印
U	10	89	〔葉書〕	昭和28	2	25	遠賀郡岡垣村海老津　山辺様方中村正広	遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛様	先日帰宅の際の御礼	葉書	1	
U	10	90	〔葉書〕	昭和28	2	26	山鹿　秋山光清	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	堀江君病気急変し永眠致すにつきお知らせ	葉書	1	
U	10	91	〔葉書〕	昭和28	2	26	顕友会員吉永光雄	粟屋　安高団兵衛様	山鹿の堀江幸太郎の葬儀につき通知	葉書	1	日は消印
U	10	92	〔葉書〕	昭和28	3	6	東京都千代田区半蔵門　福岡県東京事ム所　安高岩雄	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋区　安高団兵衛殿	御家内様病気の見舞いほか	葉書	1	
U	10	93	〔葉書〕	昭和28	3	11	福岡市福岡局区内上若久町三三九　畠中初子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	奥様病気の見舞い	葉書	1	日は消印
U	10	94	〔葉書〕	昭和28	3	14	東京都京橋区内明石町三二　東邦生命築地別館　配備課	福岡県遠賀郡芦屋町芦屋粟屋安高団兵衛殿	誠・保正殿保険料払込みについて	葉書	1	
U	10	95	〔葉書〕	昭和28	3	14	主催者　芦屋町公安委員会・芦屋町警察署	町内粟屋　安高団兵衛殿	防犯思想普及のため芦屋中学校にて開催の防犯浪曲御来聴につき御礼	葉書	1	日は消印
U	10	96	〔葉書〕	昭和28	3	15	山鹿　秋山光清	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	病気御見舞、雁木の宅地の件ほか	葉書	1	
U	10	97	〔葉書〕	昭和28	3	18	大分県宇佐郡安心院町竜王　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	病気御見舞ほか	葉書	1	
U	10	98	〔葉書〕	昭和28	3	19	折尾町本城　香山満寿郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	奥様病気の御見舞	葉書	1	日は消印
U	10	99	〔葉書〕	昭和28	3	20	東京都千代田区半蔵門　福岡県東京事務所　安高岩雄	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	病気御見舞、交渉は次々と支障が続出し手間取っておる事	葉書	1	
U	10	100	〔葉書〕	昭和28	3	26	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	仝町市場　小野成一	御尋ね致し度事があるにつき御立寄り願い	葉書	1	
U	10	101	〔葉書〕	昭和28	3	27	遠賀郡岡垣村海老津山辺様方中村正広	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	叔母様病気の御見舞ほか	葉書	1	
U	10	102	〔葉書〕	昭和28	3		福岡県農政部農政課　鈴木四市	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	福岡県遠賀地方事務所より福岡県農政部農政課に転勤となるにつきお知らせ	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	10	103	〔葉書〕	昭和28	4	1	山鹿　秋山光清	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	病人御見舞、神武天皇祭参拝の件	葉書	1	
U	10	104	〔葉書〕	昭和28	4	6	大分県宇佐郡安心院町字竜王　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛兄	病気御見舞	葉書	1	
U	10	105	〔葉書〕	昭和28	3	24	衆議院議員候補　自民党公認　渕上房太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	選挙協力依頼	葉書	1	月日は消印。印刷
U	10	106	〔葉書〕	昭和28	4	9	芦屋町山鹿　秋山光清	八幡市徳広町三　済生会八幡病院旧二十号室　安高団兵衛殿	病気御見舞、秀遠将軍慰霊祭も無事終りし事	葉書	1	
U	10	107	〔葉書〕	昭和28	5	9	九州電力株式会社若松営業所	遠賀郡芦屋町粟屋　高団兵衛様	6月から7月まで5KWHほか割当電力量のお知らせ	葉書	1	
U	10	108	〔葉書〕	昭和28	5	2	大分県宇佐郡安心院町竜王　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛兄	病気御快方に向かうとの由につき御祝い	葉書	1	
U	10	109	〔葉書〕	昭和28	5	8	山鹿　秋山光清	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	病気御見舞	葉書	1	
U	10	110	〔葉書〕	昭和28	5	10	富町昭和通り　安高正義	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	山鹿秋山さんの土地入手の際は貸し下され度事	葉書	1	日は消印
U	10	111	〔葉書〕	昭和28	5	11	福岡県宗像郡津屋崎町　東京千代田区永田町参議院会館　吉田光晴	遠賀郡芦屋町大字芦屋　安高団兵衛殿	選挙当選の御礼	葉書	1	日は消印。印刷
U	10	112	〔葉書〕	昭和28	4(5)	12	三原朝雄　自宅遠賀郡遠賀村	芦屋町粟屋区　安高団兵衛様	選挙落選につき御礼と御詫び	葉書	1	推定月と日は消印。印刷
U	10	113	〔葉書〕	昭和28	4(5)	12	三原朝雄　自宅遠賀郡遠賀村	芦屋町粟屋区　安高隆盛様	選挙落選につき御礼と御詫び	葉書	1	推定月と日は消印。印刷
U	10	114	〔葉書〕	昭和28	5	13	芦屋町山鹿三軒屋　中西商店	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	卵2貫匁送付願い	葉書	1	
U	10	115	〔葉書〕	昭和28	5	15	株式会社富士銀行八幡支店	遠賀郡芦屋町栗(ママ)屋　安高誠様	富士割増定期当籤番号のお知らせ	葉書	1	
U	10	116	〔葉書〕	昭和28	5	14	神仏の使ひ示誠日雄(古賀恵啓)	町内粟屋区　安高団兵衛先生	事件に関し吉田三郎先生と会談するため、御来訪願い	葉書	1	
U	10	117	〔葉書〕	昭和28	5	15	あしや町　古賀恵啓事示誠日雄	蘆屋町粟屋区　安高団兵衛先生	野口初太郎さんの件につき依頼	葉書	1	
U	10	118	〔葉書〕	昭和28	5	18	遠賀郡岡垣村元松原　広渡タツノ	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	妹の件につき御礼	葉書	1	
U	10	119	〔葉書〕	昭和28	5	18	中小路　永田	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	蜂蜜1升ほど送付願い	葉書	1	
U	10	120	〔葉書〕	昭和28	5	19	中小路区第四組　神仏の使ひ示誠日雄(宗教研究会併供養会発願主外一同)	同郡粟屋区　安高団兵衛先生	先日福岡地方検察庁小倉支部へ出頭した事ほか	葉書	1	
U	10	121	〔葉書〕	昭和28	5	20	九州電力株式会社若松営業所	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	6月から7月まで29KWHほか割当電力量のお知らせ	葉書	1	
U	10	122	〔葉書〕	昭和28			若松市中川通り四丁目　九州電力株式会社若松営業所	遠賀郡芦屋町粟や　安高団兵衛様	12月から1月まで33KWHほか割当電力量のお知らせ	葉書	1	
U	10	123	〔葉書〕	昭和28			若松市中川通り四丁目　九州電力株式会社若松営業所	遠賀郡芦屋町粟や　安高団兵衛様	12月から1月まで21KWHほか割当電力量のお知らせ	葉書	1	
U	10	124	〔葉書〕	昭和28	9	1	小倉市大阪町九丁目一二二の二　日本生命保険相互会社　小倉支社	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高藤吉様	契約保険料払込み期日のお知らせ	葉書	1	
U	10	125	〔葉書〕	昭和28	9	1	小倉市大阪町九丁目一二二の二　日本生命保険相互会社　小倉支社	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高正義様	契約保険料払込み期日のお知らせ	葉書	1	
U	10	126	〔葉書〕	昭和28	9	1	小倉市大阪町九丁目一二二の二　日本生命保険相互会社　小倉支社	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高隆盛様	契約保険料払込み期日のお知らせ	葉書	1	
U	10	127	〔葉書〕	昭和28	11	5	社会係(芦屋町役場)	芦屋町粟屋　安高リキノ殿	身体障害者の手帳が本日到来につき受取願い	葉書	1	
U	10	128	〔葉書〕	昭和28	11	6	福岡県海外教会　福岡市天神福岡県総務部渉外課内	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛殿	福岡県海外長逝県人慰霊祭のお知らせ	葉書	1	
U	10	129	〔葉書〕	昭和28	11	7	福岡市東中州二一〇　福岡調達局事業部補償二課	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・木原儀壮様	被害調査出張の節、錦地滞在中の御配慮への御礼	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	10	130	〔葉書〕	昭和28	11	6	小倉市大阪町九丁目一二二ノ二　日本生命保険相互会社小倉支社	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高隆盛様	保険料払込み期日のお知らせ	葉書	1	年月日は消印
U	10	131	〔葉書〕	昭和28	11	6	小倉市大阪町九丁目一二二ノ二　日本生命保険相互会社小倉支社	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高正義様	保険料払込み期日のお知らせ	葉書	1	年月日は消印
U	10	132	〔葉書〕	昭和28	11	26	遠賀郡忍津　太田シゲ	芦屋町粟屋　安高団兵衛様方リキノ様	手紙の御礼、体の方しっかり御養生され度事	葉書	1	
U	10	133	電報	昭和28	1	28	（中間・正義）	アワヤ　アタカダンベイ（粟屋安高団兵衛）	「シズコスグカセイタノムスヘノマサヨシ」（シズコすぐ加勢頼む、末の正義）	電報	1	
U	10	134	電報	昭和28	1	27	（中間・正義）	アワヤ　アタカダンベイ（粟屋安高団兵衛）	「シズコスグコイ」（シズコすぐ来い）	電報	1	
U	10	135	〔電報写〕	〔昭和28〕			（安高団兵衛）		「ハハノヲシユケツイシキフメイトウキチ」（母脳出血、意識不明、藤吉）	罫紙	1	U10-157の写
U	10	136	電報	昭和28	2	19		アワヤ　アタカトウキチ（粟屋安高藤吉）	「二五ヒコロマデカカル？コ？　アタカ」（二五日頃まで掛かる？コ？　安高）	電報	1	
U	10	137	電報	昭和28	3	3	芦屋町粟屋　安高藤吉	トウキヨウト　チヨダク　コウジマチ一ノ一二　フクオカケントウキヨウジムショ　アタカダンベイ（東京都千代田区麹町一ノ一二　福岡県東京事務所　安高団兵衛）	「ハハノヲシユケツイシキフメイトウキチ」（母脳出血、意識不明、藤吉）	電報	1	
U	10	138	電報	昭和28	3	4	東京駅前　安高団兵衛	フクオカケンオンガグンアシヤマチアワヤ　アタカトウキチ（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高藤吉）	「八ジトウキヨウタツサイゼンノテアテタノムアタカ」（八時東京立つ、最善の手当頼む、安高）	電報	2	送信用紙と受信用紙あり
U	10	139	電報	〔昭和28〕	3	6	芦屋町粟屋　安高団兵衛	トウキヨウト　チヨダク　コウジマチ一ノ一二　フクオカケントウキョウジムショ　ヒガイシャクミアイジョウキョウイン（東京都千代田区麹町一ノ一二　福岡県東京事務所被害者組合上京員）	「サキカヘリスマヌミナサマノケントウネガフツマイシキフメイノママテアテチウアタカ」（先帰り済まぬ、皆様の検討願う、妻意識不明のまま手当中、安高）	電報	1	
U	10	140	電報	昭和28	3	6	（東京・被害者組合員一同）	アワヤ　アタカダンベエ（粟屋安高団兵衛）	「オクサマノヘイユヲココロカライノリキデンノゴシンロウヲサツスミトオシハ二三ヒゴワレライチドウサイゴマデガンバルイチドウ」（奥様の平癒を心から祈り、貴殿の御心労を察す、見通しは二三日後、我ら一同最後まで頑張る、一同）	電報	1	
U	10	141	電報	昭和28	4	16	（熊本ヤナギ・ヨシコ）	アワヤ　アタカダンベエ（粟屋安高団兵衛）	「アスクルヨシコ」（明日来る、ヨシコ）	電報	1	
U	10	142	電報	昭和28	4	18	発信局ヨシヅカエキ（吉塚駅安高団兵衛）	アシヤマチアワヤ　アタカトウキチ（芦屋町粟屋安高藤吉）	「リキノケイカヨク二〇ヒタイイン」（リキノ経過よく、20日退院）	電報	1	
U	10	143-1	〔書簡〕	昭和28	1	4	正義（中間町昭和町三丁目内田トメ方）	父上・兄上様（遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛・安高藤吉）	唐戸の支店は赤字につき人に譲る事、天草の人手の件につき伺い	罫紙	1	罫紙3枚。U10-143-1～3封筒一括
U	10	143-2	〔電報〕	昭和28	1	16	（中間・正義）	アシヤマチアワヤ　アタカダンベエ（芦屋町粟屋安高団兵衛）	「ヒトデデキタカ　スヘノマサ」（人手出来たか、末の正）	電報	1	
U	10	143-3	〔葉書〕	昭和28	1	16	中間町昭和町三内田方　安高正義	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	天草の人手の件、山鹿秋山さん所有地借用の件	葉書	1	日は消印
U	10	144	〔書簡〕	昭和28	1	15	於愛媛県有畜営農伝習場　藤井満信（愛媛県周桑郡庄内村）	安高団兵衛様（福岡県遠賀郡芦屋町）	視察・見学の御礼	罫紙	1	封筒あり
U	10	145-1	駐留軍接収地借地料の支払いについて	昭和28	2	10	芦屋町渉外係（福岡県遠賀郡芦屋町役場）	粟屋　安高福蔵	借地料受取り願い	紙	1	印刷。U10-145-1、2封筒一括
U	10	145-2	〔領収証等写〕	昭和28	2		（安高団兵衛）		駐留軍接収地借上料の領収証、支払明細書などの写	罫紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	10	146-1	駐留軍接収地借地料の支払いについて	昭和28	2	10	芦屋町渉外係（福岡県遠賀郡芦屋町役場）	粟屋　安高福蔵	借地料受取り願い	紙	1	印刷。U10-145-1と同じ。U10-146-1～3封筒一括
U	10	146-2	支払明細書	昭和28	2		（芦屋町）	（安高福蔵）	飛行場として借上げ分214円内訳書上	紙	1	
U	10	146-3	支払明細書	昭和28	2		（芦屋町）	（安高福蔵）	陳地として借上げ分18円内訳書上	紙	1	
U	10	147	〔書簡〕	昭和28	2	13	仲尾私雄（東京都台東区浅草橋一の一一　日曜新聞社）	安高団兵衛様（福岡県芦屋町芦屋飛行場地区防風伐採被害者組合）	防風林伐採にともなう被害の具体的な実情について知りたい事、この件は記事として取り上げたいと考えている事	罫紙	1	罫紙3枚。封筒あり。未開封
U	10	148-1	月産弐万台突破躍進大懸賞御案内	昭和28	2		株式会社山口自転車工業　社長山口重彦（本社東京都台東区竹町一三五番地）	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様		紙	1	印刷。U10-148-1、2封筒一括
U	10	148-2	山口の自転車PR叢書(2)　日本の生きる道	昭和28	1	15	株式会社山口自転車工場　社長山口重彦述		「国家の力で労働の生産性を高めよ」ほか	冊子	1	印刷
U	10	149	〔書簡〕	昭和28	3	9	主催者芦屋町公安委員会・芦屋町警察署・後援芦屋町公民舘ほか2団体	安高団平殿（粟屋）	九州防犯浪曲会に於いて名声ある寿々木若菊一行の浪曲会開催につき案内	紙	1	印刷。封筒あり
U	10	150	〔書簡〕	昭和28	3	9	松川佐与次・ヨシコ（熊本県天草郡中村長砂連）	安高団平様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）	奥様病気の御見舞、給与前借り分の返済は暫く猶予下され度事ほか	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり。日は消印
U	10	151	〔書簡〕	昭和28	3	12	中村藤治郎（大分県宇佐郡安心院町龍王）	兄上外一同様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛）	病気御見舞、正広の鉄道職員への就職の件につき御礼	罫紙	1	封筒あり。日は消印
U	10	152	〔書簡〕	昭和28	3	27	隆盛（農林省福岡統計調査事務所）	父上様（遠賀郡蘆屋町大字蘆屋一二〇五）	保正の健康診断の結果について、杉本久子ほかの現住所・本籍地お知らせ	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
U	10	153-1	農地潰廃現地調査について	昭和28	3	19	芦屋農業委員会長	各農業委員殿	調査日時ほか通知	紙	1	印刷。裏に「粟屋　安高団兵衛殿」とあり。U10-153-1、2封筒一括
U	10	153-2	〔卒業式進行写〕	〔昭和28〕			（安高団兵衛）		来賓祝詞・在校生総代の答辞ほか	罫紙	1	
U	10	154-1	日曜クラブニュース　No.4	1953	3	1	東京都港区芝田村町一ノ二日産館（六一八号室）　日曜クラブ事務局	福岡県芦屋町　安高団兵衛様	「スト禁止法は日本経済再建に役立つか」ほか	紙	1	U10-154-1、2封筒一括
U	10	154-2	〔葉書〕	〔昭和28〕				東京都港区芝田村町一ノ二　日産館六階六一八号室　日曜クラブ（事務局）行	同封の印刷物についての意見を求める返信用はがき	葉書	1	未使用
U	10	155-1	〔書簡〕	昭和28	4	7	隆盛より（若松市堺町三丁目）	父上様（八幡市春の町局区内済生会病院内　安高団兵衛・りきの）	例の件につき杉山さんよりの返事を同封の事ほか	罫紙	1	U10-155-1、2封筒一括
U	10	155-2	〔書簡〕	〔昭和28〕	4		久子（杉山）	安高様	お母様の病気について、当院に入院する際の手続きについてほか	罫紙	1	罫紙2枚
U	10	156	〔書簡〕	昭和28	4	11	無極天全（市場区）	粟屋安高大人に送る（粟屋区安高団兵衛）	詩歌書上	紙	1	紙
U	10	157-1	〔書簡〕	昭和28	4	18	タツノ（遠賀郡岡垣村元松原広渡タツノ）	リキノ様（福岡市九州帝国大学医学部附属病院泌尿科第十室）	病気御見舞	罫紙	1	U10-157-1～3封筒一括。日は消印
U	10	157-2	〔書簡〕	昭和28	4	18	タツノ	団兵衛様	りきのの病気の件につき御礼	罫紙	1	日は消印
U	10	157-3	〔書簡〕	昭和28	4	18	素一郎	安高団平・リキノ・叔母様	病気見舞い	罫紙	1	日は消印
U	10	158-1	〔書簡〕	昭和28	4	20	光清（山鹿秋山光清）	安高君（芦屋町粟屋安高団兵衛）	東京より別紙の通り申来るにつき、アイエム注射薬が到着か否かを取調べの上で東京へ御伝え下され度事	紙	1	U10-158-1～3封筒一括
U	10	158-2	領収証	昭和28	4	6	東京都港区芝西久保巴町42　株式会社振東科学研究所（印）	安高殿	「IM」8箱代2000円領収	紙	1	
U	10	158-3	〔書簡〕	昭和28	4		東京都港区芝西久保巴町42　株式会社振東科学研究所	（秋山光清）	「IM」の使用法・効能・注文方法など	紙	1	紙3枚
U	10	159	〔書簡〕	昭和28	4	22	村本ハルエ（熊本県天草郡今津村樋合　松本清方）	安高様（福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋一二〇五番地安高団兵衛）	訪問時御配慮の御礼、領収書同封の事	罫紙	1	日は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	10	160-1	日曜クラブ結成の趣旨	〔昭和25〕			日曜クラブ　東京都港区芝田村町一ノ二日産館六階(六一八号室)		日曜クラブ規約付	紙	1	印刷。U10-160-1～3封筒一括
U	10	160-2	日曜クラブニュース　No.5	1953	4	1	東京都港区芝田村町一ノ二日産館(六一八号室)　日曜クラブ事務局			紙	1	印刷
U	10	160-3	日曜新聞　第90号	昭和28	4	5	発行所　日曜新聞社		「総選挙、中盤戦へ、国民連合政府の動き、吉田施政に全面的な批判」ほか	紙	1	印刷
U	10	161	〔書簡〕	昭和28	5	4	村本ハルエ(八幡市春日町二丁目　小樋マサキ方)	安高団兵衛・安高りきの様(遠賀郡芦屋町粟屋)	手紙の御礼ほか	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
U	10	162	〔書簡〕	〔昭和28〕	5	12	隆盛	父上様(安高団兵衛)	健康診断などにより退院帰宅を延期した事	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
U	10	163	〔書簡〕	昭和28	5	11	松川佐与次(熊本県天草郡中村字長砂連前平)	安高様	奥様病気の御見舞	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
U	10	164-1	〔書簡〕	昭和28	11	20	小倉市大阪町122の1　日本生命保険相互会社　小倉支社(印・「浜脇」)	芦屋農協　吉永恭俊様	安高藤吉分保険料について	罫紙	1	U10-164-1、2封筒一括
U	10	164-2	〔葉書〕	昭和28	11	6	小倉市大阪町九丁目一二二ノ一　日本生命保険相互会社小倉支社	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高藤吉様	保険料払込み期日のお知らせ	葉書	1	日は消印
U	10	165	〔書簡〕	昭和28	12	8	校長山崎季敏(福岡県遠賀郡芦屋小学校)	安高様(粟屋安高団兵衛)	調査の結果古墳出土品は本校の小使室に無事保存してあった事ほか	罫紙	1	封筒あり
U	10	166	〔葉書〕	昭和28	4		緑風会公認(全国区)参議院議員候補者　楠見義男	米国桑港　扇谷与次郎様、Mr. Kay. Ogitani、1962 Bosh. Sto、Sanfransisco California、U.S.A	参議院議員選挙立候補の挨拶	葉書	1	
U	10	167	〔書簡〕				広渡卯壮(U. Hirowatari、R.R. no.1、Kamloops B.A. Canada1)	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛様、Mr. D. Ataka、Ashiya City Awaya、Fukuoka-ken Ongagun kyushu Japan)	第二次大戦時の収容所生活について、当地仏教会五周年慶賛法要式順ほか	罫紙・紙	1	罫紙・紙3枚。封筒あり
U	10	168	〔写真〕	昭和27	4	29	(北米桑港扇谷)	団兵衛家へ	「祝賀独立日本、奉迎天長節」とある垂れ幕などの写真	写真	1	
U	10	169	〔写真〕	昭和27	4	29	北米桑港扇谷	団兵衛家へ	日米国旗の写真	写真	1	裏に「天長節と独立祭記念」とあり
U	10	170	資生堂ポアン剃刀　7枚入	〔昭和20年代〕						剃刀	1	
U	10	171	〔名刺〕	〔昭和28頃〕			愛媛県主事藤井満信　愛媛県周桑郡庄内村　愛媛県立農事修練場			名刺	1	「昭和二十八年一月二日十一時記帳等視察ニ来訪」と安高団兵衛のメモ書きあり
U	10	172	〔書簡〕	〔昭和28頃〕	5	21	六の一担任　杉山明乃(印)(芦屋小学校)	安高団兵衛様(芦屋町粟屋)	胸の痛みのため、誠さんの修学旅行には付添い人の同伴が必要と考えている事	紙	1	紙2枚。封筒あり
U	10	173	〔薬品服用法書上〕	〔昭和28頃〕			(古賀恵啓カ)			紙	1	『日本小説』創刊号、107-108頁を切り離して使用
U	10	174	〔葉書〕	〔昭和28頃〕			八幡市中央区通り六丁目　株式会社富士銀行八幡支店	遠賀郡芦屋町粟屋　安高誠様	富士定期の案内ほか	葉書	1	
U	10	175	〔封筒〕	〔昭和28頃〕			福岡県遠賀郡芦屋町芦屋二、九七〇　芦屋中学校	粟屋　安高団兵衛殿		封筒	1	
U	10	176	〔封筒〕	〔昭和28頃〕			(安高団兵衛)			封筒	1	上書「のし　御祝儀　安高団兵衛」
U	10	177	〔書簡〕	昭和28	5	20	神仏の使ひ古賀恵啓事　示誠日雄	神武天皇社奉賛会発起社安高団兵衛先生	野口初太郎氏の件につき依頼	紙	1	
U	10	178	電報	〔昭和28頃〕			芦屋町粟屋　安高団兵衛	嘉穂郡嘉穂地区農業改良普及事務所長　深見城	「トウキヨウユキシテオラヌアタカ」(東京行きしておらぬ、安高)	電報	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	10	179	受領書	〔昭和28頃〕			福岡県海外協会　福岡市天神町福岡県総務部渉外課内	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛殿	補償金受領。飛行場に関係するものか	紙	1	印刷。未記入、未使用。
U	10	180	〔封筒〕	〔昭和28頃〕	4	8	福岡県遠賀郡芦屋町　芦屋町農業協同組合	粟屋　安高藤吉様		封筒	1	上書に「領収証在中」とあり
U	10	181	〔封筒〕	〔昭和28頃〕				粟屋　安高団兵衛殿		封筒	1	
U	10	182	〔封筒〕	〔昭和28頃〕			福岡県遠賀郡芦屋町二、九七〇芦屋中学校	安高団兵衛殿		封筒	1	
U	10	183	〔封筒〕	〔昭和28頃〕			福岡県遠賀郡芦屋町役場	粟屋　安高団兵衛殿		封筒	1	
U	10	184	〔荷札〕	〔昭和28頃〕			港区芝西久保田町四二　K･K振東化学研究所	福岡県遠賀郡芦屋町(芦屋局区内)粟屋　安高団兵衛殿		荷札	1	
U	10	185	〔通知〕	昭和28	2		福岡県海外協会　福岡市天神町福岡県総務部渉外課内	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛殿	選挙広報の様式変更について	紙	1	印刷
U	10	186	〔大国座落成式案内状〕	昭和24	11	25	主催者大国座代表長野政八･世話人矢野喜五郎･仝林武七ほか7名	粟屋　安高団兵衛様		紙	1	印刷。封筒あり
U	10	187	〔帯紙〕	〔昭和20年代〕			福岡局区内　福岡市天神町一番地　福岡県知事室広報文書係	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛殿		帯紙	2	
U	10	188	〔書簡〕	昭和27	10	30	福岡県遠賀郡蘆屋町大字二千六百二十七番地　古賀恵啓事示誠日雄	神武天皇奉賛会発起者安高団兵衛先生	事件の真相を全関係者に発表して下され度事	紙	1	
U	10	189	〔書簡〕	昭和27	11	23	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	金子久続様	場内見学訪問の御礼	紙	1	
U	10	190	〔年賀葉書広告〕	〔昭和20年代〕			年賀葉書代金、お年玉年賀葉書商品ほか			紙	1	印刷
U	10	191	〔葉書〕	昭和26	2	17	鞍手郡西川村永谷　神谷喜造･神谷嵩	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	亡父馬吉葬儀会葬の御礼	葉書	1	印刷。U10-191～259紐一括
U	10	192	〔葉書〕	昭和27	1	1	中間町駅前通り　戸次敬□	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	下部欠
U	10	193	〔葉書〕	昭和27		元旦	山口県大津郡俵山温泉　岡島旅□(館)	福岡県遠賀郡芦屋町芦屋　安高団兵衛様･仝リキノ様	年賀状	葉書	1	下部欠
U	10	194	〔葉書〕	昭和27		元旦	神奈川県川崎市生田　明治大学農学部　木村修□(三)	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	下部欠
U	10	195	〔葉書〕	昭和27	2	29	山鹿　秋山光清	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	田中の家本日受取の処、申込み人多数につき保留致し居る事	葉書	1	
U	10	196	〔葉書〕	昭和27	3	1	柏原　田中健介	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	御依頼の件は本日福岡弟より回答参るにつき御立寄り願い	葉書	1	
U	10	197	〔葉書〕	昭和27	3	8	大分県宇佐郡安心院町龍王　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛様	正広の件につき御礼ほか	葉書	1	
U	10	198	〔葉書〕	昭和27	3	9	大分県宇佐郡安心院町大字龍王六二　中村正広	福岡県遠賀郡(芦屋局区内)大字粟屋	仕事の件について	葉書	1	日は消印
U	10	199	〔葉書〕	昭和27	3	18	岡垣村元松原　広渡タツノ	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	卓次郎さん役の話し合いの件につき依頼	葉書	1	日は消印
U	10	200	〔葉書〕	昭和27	3	20	八幡市折尾町陣原　安高重二琅	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	話の件はその内に詳しく御伝えする事	葉書	1	日は消印
U	10	201	〔葉書〕	昭和27	3	23	大分県宇佐郡安心院町大字竜王　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛様	手紙の御礼、近況報告ほか	葉書	1	
U	10	202	〔葉書〕	昭和27	3	29	山鹿　堀江良幸	芦屋町粟屋区　安高団兵衛殿	病気療養中につき、ハチミツ少し御分け下され度事	葉書	1	日は消印
U	10	203	〔葉書〕	昭和27	3	31	八幡市折尾町本城　香山満寿郎拝	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	昨日の招待への御礼	葉書	1	
U	10	204	〔葉書〕	昭和27	3	30	山形県山形市七日町三六〇　中村恵美子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	手紙の御礼、近況報告	葉書	1	月日は消印
U	10	205	〔葉書〕	昭和27	4	1	山鹿　秋山光清	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	岡湊神社神武天皇祭を執行するための資料の件につき依頼	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	10	206	〔葉書〕	昭和27	4	1	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	祭主石橋良之・親戚代表中川伍郎次・友人代表吉田三郎ほか3名	故石橋十三回忌の案内	葉書	1	
U	10	207	〔葉書〕	昭和27	4	10	宗像郡赤間町石丸　竹原宗光	遠賀郡芦屋町大字芦屋　安高団兵衛様	御依頼の件は本日農協の店に頼んで置く事ほか	葉書	1	
U	10	208	〔葉書〕	昭和26	4	2	遠賀郡芦屋町中小路　喪主安部守雄・親族総代刀根午吉	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	亡父伊之助葬儀会葬の御礼	葉書	1	
U	10	209	〔葉書〕	1952	4	11	若松市若松病院内科三七号室　安高隆盛	福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋　安高団兵衛様・外御一同様	入院のお知らせ	葉書	1	
U	10	210	〔葉書〕	昭和27	4	18	福岡県立農業試験場　上原三郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	農場見学と帳簿借用の御礼	葉書	1	
U	10	211	〔葉書〕	昭和27	4	20	福岡県農業改良課　丸山播千代	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	農場見学などの御礼	葉書	1	日は消印
U	10	212	〔葉書〕	昭和27	4	21	嗣子石橋良之・友人代表吉田三郎・吉武弥太郎ほか2名	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	無礙光院霊誉正允尺山居士十三回忌法要参列への御礼	葉書	1	
U	10	213	〔葉書〕	昭和27	5	21	宇佐郡安心院町竜王　中村藤次郎	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛大兄	近況報告	葉書	1	
U	10	214	〔葉書〕	昭和27	5	14	遠賀郡水巻町吉田日炭社宅鯉口区十三棟　門司三平方　木下太郎拝	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋一、二〇五番地　安高団兵衛様	御蔭様で弟を病院に入院させる事ができた事ほか	葉書	1	日は消印
U	10	215	〔葉書〕	昭和27	5	21	（九州電力株式会社）	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	6月から7月まで5KWHほか割当電力量のお知らせ	葉書	1	
U	10	216	〔葉書〕	昭和27	5	21	（九州電力株式会社）	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	6月から7月まで29KWHほか割当電力量のお知らせ	葉書	1	
U	10	217	〔葉書〕	昭和27	6	17	芦屋町中小路　長野クニ	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	御見舞の御礼、山本の件などにつき依頼	葉書	1	
U	10	218	〔葉書〕	昭和27	6	20	役場前　永田	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	蜂蜜1升御分与願い	葉書	1	
U	10	219	〔葉書〕	昭和27	6	20	芦屋町東町　北村道夫	芦屋局区内芦屋町粟屋　安高団兵衛様	卵60個配達願い	葉書	1	
U	10	220	〔葉書〕	昭和27	6	29	芦屋町東町　北村道夫	芦屋局区内芦屋町粟屋　安高団兵衛様	卵70個配達願い	葉書	1	
U	10	221	〔葉書〕	昭和27	7	2	大分県宇佐郡安心院町竜王　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	正広の事は今後万事御願い申す事ほか	葉書	1	
U	10	222	〔葉書〕	昭和27	7	12	芦屋町東町　北村道夫	芦屋局区内　芦屋町粟屋　安高団兵衛様	卵60個ばかり配達願い、新しいのでなかなか評判がよい事ほか	葉書	1	
U	10	223	〔葉書〕	昭和27	7	16	遠賀郡芦屋町東町　北村道夫	芦屋局区内芦屋町字粟屋　安高団兵衛様	卵100個配達願い	葉書	1	
U	10	224	〔葉書〕	昭和27	7	20	宇佐郡安心院町大字龍王　中村昌弘	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	10	225	〔葉書〕	昭和27	盛夏(7)		山口県大津郡俵山温泉　岡島旅館	福岡県遠賀郡芦屋町芦屋　安高団兵衛様・仝リキノ様	暑中見舞い	葉書	1	
U	10	226	〔葉書〕	昭和27	7	30	大分県宇佐郡安心院町竜王　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛兄	暑中見舞いほか	葉書	1	月日は消印
U	10	227	〔葉書〕	昭和27	盛夏(8)		津山得船株式会社・津山組　本社若松市浜二番町二丁目	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	
U	10	228	〔葉書〕	昭和27	8	3	山形市七日町三六〇　中村ツタ・杉尾文子	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛様	母は元気に暮らして居る事、主人は東京に就職致した事ほか	葉書	1	
U	10	229	〔葉書〕	昭和27	8	2	東京都港区芝神谷町六神谷方　山本佳子	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い、去月のふみ江の誕生日は親類も招き御祝いした事	葉書	1	
U	10	230	〔葉書〕	昭和27	8	5	小倉市白銀町二ノ四の一入江博方　入江文太郎	芦屋町大字芦屋粟屋　安高団兵衛殿	8日午後に訪問する事、短歌2首書上	葉書	1	
U	10	231	〔葉書〕	昭和27	盛夏(8)		衆議院議員　渕上房太郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	印刷
U	10	232	〔葉書〕	昭和27	盛夏(8)		八幡市折尾町日の出二丁目　植田儀三郎	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛殿	暑中見舞い	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	10	233	〔葉書〕	昭和27	8		歯科医師加来繁雄　中間町議会議長・遠賀郡町村議会議長会長ほか（加来歯科医院　福岡県遠賀郡中間町）	芦屋町　安高団兵衛殿	暑中見舞い	葉書	1	印刷
U	10	234	〔葉書〕	昭和27	8	16	芦屋駅前　吉田三郎	粟屋　安高団兵衛様	亡母初盆会に際しての御供物への御礼	葉書	1	
U	10	235	〔葉書〕	昭和27	7	10	遠賀郡芦屋町金屋　西日本相互銀行　芦屋支店	各位殿（遠賀郡芦屋町安高団平殿）	預金係1名退職につき通知	葉書	1	
U	10	236	〔葉書〕	昭和27	8	24	大分県宇佐郡安心院町竜王　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛大兄	正広の件につき御願い	葉書	1	
U	10	237	〔葉書〕	昭和27	8	26	安心院町龍王　中村正弘	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	毎日勉強に追われている事	葉書	1	
U	10	238-1	〔書簡〕	〔昭和27〕	1	31	福岡県遠賀郡芦屋町長　黒山高麿	安高団兵衛殿	本町第一船頭町の火災に対する御見舞と別記金品御恵与の御礼	紙	1	印刷。U10-238-1～2封筒一括
U	10	238-2	受領証	昭和27	2	25	福岡県遠賀郡蘆屋町長　黒山高麿（印）	安高団兵衛殿	船頭町及び東町新川における火災見舞金として金千円受取	紙	1	印刷
U	10	239-1	〔書簡〕	昭和27	3	29	中村藤治郎（大分県宇佐郡安心院町字竜王）	安高団兵衛兄様（福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋）	正広の木工部への就職について	罫紙	1	年月日は消印。U10-239-1～3封筒一括
U	10	239-2	〔書簡〕	昭和27	3	29	安心院町龍王古城六二番地　中村正弘	叔父様・一同様	普通の駅員よりも木工部を希望して居る事、願書の書方や履歴書などについて御教示願い	罫紙	1	
U	10	239-3	〔書簡〕	昭和27	4	12	中村藤治郎（大分県宇佐郡安心院町字竜王）	安高様（福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋安高団兵衛）	正広の木工部への就職につき御願い	罫紙	1	
U	10	240	〔書簡〕	〔昭和27〕	4	9	福岡県遠賀地区農業改良普及事務所　所長白石一昌	安高団兵衛様（芦屋町）	県庁農業改良課の農業経営係丸山技師ほかの農業経営・農家簿記など視察受入願い	罫紙	1	封筒あり
U	10	241	農業経営改善に関する御協力方お願いについて	昭和27	4	8	福岡県立農業試験場農業経営係　上原技師（福岡県筑紫郡二日市町福岡県農業試験場）	安高団兵衛殿（遠賀郡芦屋町）	農家簿記の研究につき協力願い	紙	1	印刷。封筒あり
U	10	242	〔書簡〕	昭和27	4	29	石松恒芳（八幡市黒崎小学校々長）	安高団兵衛様（遠賀郡芦屋町粟屋）	山鹿の老父母の件につき御礼、小生黄疸に罹りし時にシジミ貝を沢山届けて下さりし件につき御礼ほか	罫紙	1	封筒あり
U	10	243-1	〔書簡〕	昭和27	5	7	日蓮宗芦屋教会内　求法求道人古賀恵啓事示誠日雄（福岡県遠賀郡蘆屋町中小路二六二七番地宗教研究所）	安高団兵衛先生（蘆屋町粟屋）	長野政八親類の田中義郎君が示誠日雄へ暴行を加えたる件につき相談のため御来訪願い	紙	1	「宗教研究会並供養会入会書」の裏を使用。U10-243-1、2封筒一括
U	10	243-2	〔書簡〕	昭和27	5	7	示誠拝	安高先生	国宝的仏画につき相談のため御来寺願い	紙	1	電報用紙の裏を使用
U	10	244-1	〔書簡〕	昭和27	5	21	皆様の富士銀行　八幡支店長那須希（印）（八幡市中央区通町六丁目）	安高保正様（遠賀郡芦屋町粟屋）	富士割増定期預金満期日のお知らせ	紙	1	印刷。U10-244-1、2封筒一括
U	10	244-2	〔富士割増定期広告〕	〔昭和27〕	5		八幡市通町六丁目（中央区電停前）　富士銀行　八幡支店			紙	1	印刷
U	10	245	〔書簡〕	昭和27	5	26	上原三郎（筑紫郡二日市町福岡県立農業試験場）	安高団兵衛様（遠賀郡芦屋町芦屋一二〇五）	借用した家業日誌及び農業経営大要の整理・転記などについてほか	罫紙	1	封筒あり
U	10	246	〔書簡〕	昭和27	5	30	安高生（折尾安高正義）	安高団兵衛様	折尾保健所でのレントゲン検査の結果は異常なく再発の恐れもなきとの事ほか	罫紙	1	封筒あり
U	10	247	〔書簡〕	昭和27	5	26	佳子（山本佳子）	安高団兵衛様	母の命日についてほか	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
U	10	248-1	〔葉書〕	昭和27	5	30	喪主吉田三郎・親族久野惣吉・総代黒山高磨（ママ）	蘆屋町粟屋　安高団兵衛様	義母フジノ永眠につきお知らせ	葉書	1	印刷。U10-248-1、2封筒一括
U	10	248-2	〔葉書〕	昭和27	6	8	遠賀郡芦屋町　喪主吉田三郎・親族久野惣吉・総代黒山高麿	粟屋　安高団兵衛殿	亡母フジノ葬儀会葬の御礼	葉書	1	印刷
U	10	249-1	昭和二十七年度乳牛の結核予防定期検査施行について	昭和27	5	15	芦屋町長黒山高麿	粟屋安高団兵衛殿	検査日程などの通知	紙	1	印刷。U10-249-1、2封筒一括
U	10	249-2	乳牛結核病定期検査について	昭和27	6	2	経済課　勧業係（福岡県遠賀郡芦屋町役場）	粟屋　安高団兵衛殿	薬品入手の関係上、検査を延期する事	罫紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	10	250-1	〔書簡〕	昭和27	6	3	皆様の富士銀行　八幡支店長那須希(印)	安高隆盛・同マキ様	富士割増定期預金満期日のお知らせ	紙	1	印刷。U10-250-1、2封筒一括
U	10	250-2	〔富士割増定期広告〕	〔昭和27〕	6		八幡市通町六丁目(中央区電停前)　富士銀行　八幡支店			紙	1	印刷
U	10	251-1	〔書簡〕	昭和27	8	13	中村藤次郎(大分県宇佐郡安心院町竜王)	安高兄上様(福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋)	正広就職の件について	罫紙	1	罫紙2枚。年月日は消印。U10-251-1～3封筒一括
U	10	251-2	〔電報下書〕	昭和27	8	18	芦屋町粟屋　安高団兵衛	大分県宇佐郡安心院町竜王　中村正広	「ソツギヨウシヨウメイシヨー九ヒマデツクヨウスグオクレヤマベ」(卒業証明書19日まで着くようすぐ送れ、山辺)	電報	1	
U	10	251-3	〔電報下書〕	〔昭和27〕	8	18	(安高団兵衛)		「ソツギヨウシヨウメイシヨー九ヒマデオクレヤマベ」などとあり	紙	1	
U	10	252-1	〔書簡〕	昭和27	8	20	中村つた(山形市七日町三六十番地松尾平槌方)	おなつかしき　芦屋の　安高さま(福岡県遠賀郡粟屋安高団兵衛)	御供物料御贈与の御礼、当地盆踊りは老いも若きも別紙の歌をうたって踊るとの事、木下氏の件につき御礼	罫紙	1	罫紙2枚。年月日は消印。U10-252-1、2封筒一括
U	10	252-2	御案内	昭和27	8	10	日の出町あゆみ会		町内納涼盆踊大会の案内、山形盆踊歌付	紙	1	印刷。年は消印
U	10	253	〔書簡〕	昭和27	8	22	遠賀郡岡垣村海老津　山辺国政	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋安高団兵衛殿	正広君の国鉄受験の関係書類を送付する事、正広君の受験につき種々運動して居る事ほか	罫紙	1	封筒あり。年月日は消印
U	10	254	〔書簡〕	昭和27	9	3	遠賀郡岡垣村海老津　山辺国政	福岡遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛殿	正広君の試験についてほか	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり。年月日は消印
U	10	255-1	〔書簡〕	昭和27	4	7	与次郎ヨリ(from. Kay. Ohgitani. 1449. Laguna. St. Sanfrancisco. 15. California. U.S.A.　扇谷与次郎)	敬愛なる　団兵衛御夫婦へ(日本福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋一二〇五番地)	米政府の賠償問題により帰朝準備が滞って居る事、2年前に帰朝した妻まき子の御世話の御礼	紙	1	紙2枚。U10-255-1、2封筒あり
U	10	255-2	〔封筒〕	〔昭和27〕	4			MR. Kay. Yojiro. Ohgitani. 1449. Laguna. Street. San Francisco. 15. California. U.S.A.	未使用	封筒	1	
U	10	256	〔封筒〕	昭和27	3	14	熊本県柳局区内　中村長砂連前原　荒井もよ	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様		封筒	1	
U	10	257	〔封筒〕	〔昭和27頃〕			金岡本？		「御仏前」と上書あり	封筒	1	
U	10	258	〔書簡〕	〔昭和27頃〕	5	3	黒山高麿・安高団兵衛先生	神仏の使い示誠日雄	恵心僧都筆文殊菩薩像の掛軸を芦屋町へ持ってくるために御協力願い	紙	1	「宗教研究会並供養会入会書」の裏を使用
U	10	259	〔映画俳優ブロマイド〕	〔昭和27頃〕					「ケニー・ダンカン」とあり	葉書	1	
U	11	1	〔亡母(安高シゲ)葬儀法事関係〕	昭和35	9	5没			葬式写真・被贈金品目録・弔電・香典袋・会葬御礼　他	ビニール袋入	多数	
U	11	2	大阪市街地図	大正14	4	10	和楽路屋			地図		
U	11	3	〔絵葉書他〕	昭和32・33					赤間神宮絵葉袋入1、福岡県の栞昭和32年度版・関門海底国道トンネル開通絵葉書・しおり(2袋)・その他・福岡県神職並総代総会次第のプリント1			
U	11	4	〔観光案内しおり・絵葉書他〕	〔昭和24〕	〔7〕	〔15〕			箱根絵葉書1袋、東京・日光・富士五湖・京都のしおり			〔昭和35年11月1日　日付あり〕
U	11	5	〔封筒〕						「名所写真絵葉書在中」のメモあり	封筒	1	U11／1～4が入っていた紙袋
U	12	1	〔葉書〕	昭和33		元旦	福岡県遠賀郡岡垣村大字海老津　山辺国政	遠賀郡芦屋町栗(ママ)屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	下部欠。U12-176～紐一括
U	12	2	〔葉書〕	昭和33		元旦	尾道市　信子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様・外御一同様	年賀状	葉書	1	下部欠
U	12	3	〔葉書〕	昭和33	1	元旦	第二船頭町　津田為次	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	下部欠
U	12	4	〔葉書〕	昭和33		元旦	安高澄夫	岡垣村吉木元松原　広渡一敬様・同八重子様・同重信様	年賀状	葉書	1	下部欠
U	12	5	〔葉書〕	昭和33		元旦	福岡県芦屋郵便局　吉永光雄	粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	12	6	〔葉書〕	昭和33		元旦	久留米市櫛原町四丁目　酒井善左衛門・幸子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状、秋山の母の御世話のお願い	葉書	1	
U	12	7	〔葉書〕	皇紀2618		元旦	福岡県遠賀郡岡垣村　高倉神社々務所　宮司大庭実	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	12	8	〔葉書〕	昭和33	1	1	遠賀郡岡垣村内浦　吉田徳壮	芦屋町栗(ママ)屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	12	9	〔葉書〕	昭和33		元旦	福岡県議会副議長　三原朝雄　自宅福岡県遠賀郡遠賀村	芦屋町粟屋下組　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	10	〔葉書〕	昭和33	1		東京都文京区白山前二　安藤敏夫	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	年賀状、御地の畑地灌漑について	葉書	1	
U	12	11	〔葉書〕	昭和33		元旦	福岡県若松市有毛一五九二　松浦猛	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	12	12	〔葉書〕	昭和33		元旦	折尾町本城大浦　香山満寿郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	12	13	〔葉書〕	昭和33		元旦	天草郡苓北町坂瀬川大岳　金子朝枝	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・御一同様	年賀状、昨年中は妹達が御世話になりし事	葉書	1	
U	12	14	〔葉書〕	昭和33		元旦	福岡県遠賀郡水巻町吉田　白垣弥次	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	15	〔葉書〕	昭和33		元旦	東京都武蔵野市西窪　公団住宅第26号館第107号　秋山光民	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状、母の御世話の御礼	葉書	1	
U	12	16	〔葉書〕	昭和33		元旦	福岡県郵便局保健課　畠中直次　住所福岡市上若久町三三九	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	17	〔葉書〕	昭和33	1	元旦	大盛産業株式会社　妹尾環・喜久子　自宅福岡市杵屋谷三	遠賀郡芦屋町粟や　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	18	〔葉書〕	昭和33		元旦	東京都港区芝神谷町六番地　神谷莞爾	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	19	〔葉書〕	昭和33		元旦	東京都大田区糀谷町二ノ六五三番地　亀津広門	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	20	〔葉書〕	昭和33		元旦	遠賀郡海老津　中村昌広	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	21	〔葉書〕	昭和33		元旦	東京都渋谷区上通一丁目七番地　大庭勝一	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	22	〔葉書〕	昭和33	1	1	芦屋町山鹿　中西勇雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	23	〔葉書〕	昭和33	1	1	市場　瓜生ふさの	本町栗(ママ)屋　安高団兵衛様	年賀状、短歌1首書上	葉書	1	
U	12	24	〔葉書〕	昭和33	1	1	衆議院議員　渕上房太郎　福岡県鞍手郡小竹町小竹・東京都中野区昭和通二の四七	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	25	〔葉書〕	昭和33		元旦	若松市営　森田芳子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	26	〔葉書〕	昭和33		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町　朝日新聞坂口新聞店　坂口静子	芦屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	27	〔葉書〕	昭和33		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町中小路　吉田呉服店　吉田達雄	粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	28	〔葉書〕	昭和33		元旦	西田隆男　福岡県嘉穂郡稲築町	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	29	〔葉書〕	昭和33	1	1	福岡県遠賀郡芦屋町中小路　黒山高麿	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	30	〔葉書〕	昭和33		元旦	静岡県伊東市松原猪戸二ノ五九三　秋山光見・たけ子・一同	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	31	〔葉書〕	昭和33		元旦	福岡県警察本部　入江節雄	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	32	〔葉書〕	昭和33	1	元旦	神奈川県相模原市小山七八七　内山昌亮	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	12	33	〔葉書〕	昭和33		元旦	遠賀郡遠賀町　豊水園	芦屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	34	〔葉書〕	昭和33		元旦	参議院議員野田俊作　福岡市薬院露切町二〇・東京都港区麻布材木町二九	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	35	〔葉書〕	昭和33		元旦	八幡市桃園アパ(ママ)ート北十三ノ十　藤崎正次郎	遠賀郡芦屋粟屋　安高団兵衛様	年賀状、記念写真送付の御礼	葉書	1	
U	12	36	〔葉書〕	昭和33		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町正門町　柴田喜次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	12	37	〔葉書〕	昭和33		元旦	東京都練馬区上石神井一ノ七九　笠国男	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	38	〔葉書〕	昭和33		元旦	篠原とよ・白風　八幡市春日町二丁目	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	39	〔葉書〕	昭和33	1	1	遠賀郡岡垣村吉木　広渡成男	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	40	〔葉書〕	昭和33		元旦	ニッポン服装社　株式会社ミナト羅紗店内　東京都千代田区神田小川町一ノ三　菊本実	福岡県芦屋町芦屋粟屋一、二〇五　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	41	〔葉書〕	昭和33		元旦	近松一好	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	12	42	〔葉書〕	昭和33		元旦	福岡県八幡市黒崎駅前新天街谷岡光次	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	43	〔葉書〕	昭和33	1	1	遠賀郡芦屋町山鹿　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	44	〔葉書〕	昭和33		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町　芳村圭助	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	45	〔葉書〕	昭和33		元旦	東京都文京区湯島天神町三ノ一九　旅館九州　陣場正輝・陣場政則	福岡県遠賀郡芦屋町芦屋粟屋1205　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	46	〔葉書〕	昭和33		元旦	福岡市須崎土手町三七　福岡県園芸組合連合会・大庭善三郎　八幡市折尾本城	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	47	〔葉書〕	皇紀2618		元旦	岡湊神社宮司林田守治・禰宜西田広義・江南学舎　福岡県遠賀郡芦屋町	町内粟屋　安高団兵衛殿	年賀状、紀元節の復活を念願する事ほか	葉書	1	
U	12	48	〔葉書〕	昭和33		元旦	佐賀県三養基郡基山町　岸金四郎	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	49	〔葉書〕	昭和33	1	1	市場区　瓜生天全	町内粟屋区　安高団兵衛殿	年賀状、短歌1首書上	葉書	1	
U	12	50	〔葉書〕	昭和33	1	元日	若松市山手通三丁目五〇三　吉浦英信	遠賀郡芦屋町粟屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	51	〔葉書〕	昭和33		元旦	八幡市折尾八幡　割烹志免	遠賀郡芦屋町大字芦屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	52	〔葉書〕	昭和33		元旦	山口県長門市俵山温泉(魚市場隣)　糸永旅館	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	53	〔葉書〕	昭和33		元旦	東京都世田谷区舩橋町三五五　山崎小五郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	54	〔葉書〕	昭和33		元旦	吉田節　福岡県遠賀郡芦屋町花屋運送店本店・八幡市黒崎三丁目　花屋運送店・花屋砂利八幡連絡所	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	12	55	〔葉書〕	昭和33		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町正門町　坂田熊一	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	56	〔葉書〕	昭和33		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町市場　筑水旅館　中西ハナ	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	57	〔葉書〕	昭和33		元旦	福岡県芦屋町　堤写真館	芦屋町粟屋　安高団兵衛団兵衛様	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	12	58	〔葉書〕	昭和33		元旦	東京都千代田区神田一ツ橋二ノ九(教育会館隣り) 旅館一橋寮	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋一、二〇五 安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	59	〔葉書〕	昭和33		元旦	直方市上頓野 石橋良之	遠賀郡芦屋町粟屋 安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	60	〔葉書〕	昭和33		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋三〇九六番地の一 一級建築士・土地家屋調査士 早川利夫	遠賀郡芦屋町字栗(ママ)屋 安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	12	61	〔葉書〕	昭和33		元旦	福岡市大字名島 桑原勇吉・桑原菊夫	遠賀郡芦屋町栗(ママ)屋 安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	62	〔葉書〕	昭和33		元旦	福岡県遠賀郡遠賀村 議会議長 井口強	遠賀郡芦屋町 安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	12	63	〔葉書〕	昭和33		元旦	西日本鉄道株式会社 事業部長 桑原宗人	遠賀郡芦屋町大字粟屋一二〇五 安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	12	64	〔葉書〕	昭和33		元旦	八幡市折尾国道 高橋時計店 高橋清一	遠賀郡芦屋町粟屋 安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	12	65	〔葉書〕	昭和33		元旦	芦屋町議会議員・芦屋町住宅組合 刀根善太郎	芦屋町粟屋区 安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	66	〔葉書〕	昭和33		元旦	瀬戸正広 福岡県芦屋町芦屋	芦屋町粟屋 安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	67	〔葉書〕	昭和33	1	1	おんがぐん芦屋町山が田屋 重岡成美	おんがぐん芦屋町あわや あたかだんべえさま	年賀状	葉書	1	
U	12	68	〔葉書〕	昭和33		元旦	福岡県遠賀郡広渡一六八七 重広新	遠賀郡芦屋町粟屋 安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	12	69	〔葉書〕	昭和33		元旦	山賀ポンプ店 山賀清之 八幡市折尾国道筋	芦屋町粟屋 安高団平様	年賀状	葉書	1	
U	12	70	〔葉書〕	昭和33	1	元旦	山口県豊浦郡豊浦町黒井 伊藤百太郎	福岡県筑前芦屋町 安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	71	〔葉書〕	昭和33		元旦	山口モーター・山口の自転車代理店 安部自転車商会 安部守雄 福岡県遠賀郡芦屋町	芦屋町粟屋 安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	72	〔葉書〕	昭和33		元旦	安高久米吉	粟屋 安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	73	〔葉書〕	昭和33		元旦	八幡市清田町一丁目 安武タマ	遠賀郡芦屋町粟屋 安高団兵衛様	年賀状、同窓会写真送付の御礼	葉書	1	
U	12	74	〔葉書〕	昭和33		元旦	全味号味噌醸造機 株式会社東京味噌醸造機製作所 東京都港区芝金杉浜町三十五番地 社長 大庭増次・常務大庭利生・従業員一同	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋 安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	12	75	〔葉書〕	昭和33		元旦	早川朝洋 東京都杉並区西高井戸一ノ五三	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋 安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	76	〔葉書〕	昭和33	1	元旦	杉尾文子・中村ハタ	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋 安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	77	〔葉書〕	昭和33		元旦	佐賀県東松浦郡入野村 山田屋旅館・山田淙次郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋 安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	12	78	〔葉書〕	昭和33		元旦	八幡市河内 石松恒芳・仝周・仝(旧姓樋口)昌子	遠賀郡芦屋町粟屋 安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	79	〔葉書〕	昭和33	1	1	農林省岡山農地事務局長 和栗博 (官舎)岡山市国富御堂町二の四	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋 安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	年月日は消印
U	12	80	〔葉書〕	昭和33		元旦	芦屋町粟屋 安高保正	東京都世田ヶ谷区四ノ三五四 三菱鉱業学生寮内 村田睦夫様	年賀状	葉書	1	表に郵便局の貼紙(名あて不完全のため返戻)あり
U	12	81	〔葉書〕	昭和33		元旦	瀬戸正広 福岡県芦屋町	芦屋町粟屋 安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	82	〔葉書〕	昭和33		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町中之浜 刀根善太郎	芦屋町粟屋区 安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	12	83	〔葉書〕	昭和33		元旦	若松市波打町　藤吉仁太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	84	〔葉書〕	昭和33		元旦	福岡県遠賀郡中間町唐戸　加来歯科医院　加来繁雄	芦屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	85	〔葉書〕	昭和33	1	2	中間町唐戸　佐藤勲	郡内芦屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	日は消印
U	12	86	〔葉書〕	昭和33	1	1	安高繁治郎	遠賀郡芦屋町粟や　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	87	〔葉書〕	昭和33	1	1	東京都中野区打越町十一番地　橘喜朔	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	88	〔葉書〕	昭和33		元旦	若松市小竹　中山司	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	89	〔葉書〕	昭和33		元旦	遠賀村議会議員　議会副議長仲野馨　遠賀郡遠賀村大字別府	芦屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	90	〔葉書〕	昭和33		元旦	東京都練馬区下石神井二の一一一〇八　石神井公園池畔　秋山光一	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	91	〔葉書〕	昭和33	1	2	熊本県阿蘇町内牧小園　小島頼男	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	12	92	〔葉書〕	昭和33		元旦	長駅(崎カ)駅前　植木保	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛・外御一同様	年賀状	葉書	1	
U	12	93	〔葉書〕	昭和33		元旦	京都市左京区岡崎西福ノ川町二三　森本政次郎	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	94	〔葉書〕	昭和33		元旦	東京都港区芝神谷町六番地　山本武・佳子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	95	〔葉書〕	昭和33		元旦	洞海プリント社　江藤優　八幡市折尾鷹見一の二	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	96	〔葉書〕	昭和33		元旦	本田智恵	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	97	〔葉書〕	昭和33	1		福岡県遠賀郡芦屋町　梅林土木株式会社芦屋出張所　森山武夫	芦屋町大城　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	12	98	〔葉書〕	昭和33	1	4	福岡市東簀子町一三九　高群花子・博文	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	喪中欠礼	葉書	1	
U	12	99	〔葉書〕	昭和33	1	11	芦屋町正門町十組　宮川博善	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	父民雄永眠につき通知	葉書	1	日は消印
U	12	100	〔葉書〕	昭和33	1	11	東京世田ヶ谷区島山一四六三　杉尾文子・中村君代	福岡県遠賀郡芦や　安高団兵衛様	父の七回忌法要はこちらで致した事、品物送付の事ほか	葉書	1	年月日は消印
U	12	101	〔葉書〕	昭和33	1	13	芦屋町山鹿三軒屋　小田	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	卵50個程配達願い	葉書	1	日は消印
U	12	102	〔葉書〕	昭和33	1		衆議院議員渕上房太郎　東京都千代田区霞関衆議院第三議員会館	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高国(ママ)兵衛様	寒中見舞い	葉書	1	
U	12	103	〔葉書〕	昭和33	1	21	特許坂口式三光鋸屑燃焼器製造・特許鋸屑ストーブ販売製造　三光工業所　坂口鋳物工場　福岡県八女市福島町宮野町	遠賀郡芦屋町粟屋　あたか農園殿	代金5500円の注文品発送につき出荷案内	葉書	1	
U	12	104	〔葉書〕	昭和33	1		衆議院議員有馬英治　東京都千代田区霞ケ関三ノ六衆議院第三議員会館一二九号室	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	年頭挨拶	葉書	1	
U	12	105	〔葉書〕	昭和33	2	8	東京都港区芝神谷町六　山本武	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	帰郷日程お知らせほか	葉書	1	日は消印
U	12	106	〔葉書〕	昭和33	2	14	宗像郡宗像町東郷一〇一九　安高隆盛	遠賀郡芦屋町大字芦屋一、二〇五　安高団兵衛様	先日訪問時の土産物の御礼	葉書	1	
U	12	107	〔葉書〕	昭和33	2	17	伊東市松原区猪戸二ノ五九三　秋山光見	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	手紙・写真送付の御礼	絵葉書	1	日は消印。伊東温泉・一碧湖の絵葉書

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	12	108	〔葉書〕	昭和33	2	18	久留米市櫛原町四丁目　酒井善左衛門・幸子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	記念の写真送付の御礼、女中の件の依頼ほか	葉書	1	年は消印
U	12	109	〔葉書〕	昭和33	2	27	熊本県荒尾局区内　新日本連珠社　名人坂田吾瑞	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	連珠（五目並べ）普及などのため協力願い	葉書	1	日は消印。印刷
U	12	110	〔葉書〕	昭和33	3	1	遠賀村鬼津　太田豊造	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・安高幸次郎殿	親族会本年は私方にて開催につき通知	葉書	1	
U	12	111	〔葉書〕	昭和33	3	13	山鹿三軒屋　小田喜五郎店	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	卵配達願い	葉書	1	
U	12	112	〔葉書〕	昭和33	3	14	八幡市陣の原下西　安高繁治郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高まき様	田屋で話していた兄弟からの話について	葉書	1	
U	12	113	〔葉書〕	昭和33	3	17	山鹿三軒屋　吉永商店	町内粟屋区　安高団兵衛殿	卵200個配達願い	葉書	1	日は消印
U	12	114	〔葉書〕	昭和33	2	24	伊東市松原猪戸二ノ五九三　秋山光見	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	四国での亡父納骨に御尽力下された件につき御礼	絵葉書	1	大川橋の絵葉書
U	12	115	〔葉書〕	昭和33	4	2	海老津　中村昌広	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	時候挨拶	葉書	1	
U	12	116	〔葉書〕	昭和33	4	30	小竹にて　渕上房太郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	此度も御世話の程お願い申し上げる事ほか	葉書	1	月日は消印
U	12	117	〔葉書〕	昭和33	5	5	遠賀郡芦屋町山鹿　柴田正生	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	芦屋小学校より教育庁遠賀出張所へ転任につき挨拶	葉書	1	印刷
U	12	118	〔葉書〕	昭和33	5	1	松本七郎	遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋一二〇五番地　安高国（ママ）兵衛様	選挙支援依頼	葉書	1	日は消印。印刷
U	12	119	〔葉書〕	昭和33	5	1	衆議院議員候補者　渕上房太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高国（ママ）兵衛様	選挙支援依頼	葉書	1	日は消印。印刷
U	12	120	〔葉書〕	昭和33	5	27	芦屋町山鹿三軒屋局横　小田	芦屋町大城　安高団兵衛様	卵50個配達願い	葉書	1	日は消印
U	12	121	〔葉書〕	昭和33	5	30	直方市植木町中之江　上野政明	遠賀郡芦屋局区内粟屋　安高団平様	先日の相談の御礼	葉書	1	月日は消印
U	12	122	〔葉書〕	昭和33	6	9	直方市植木町中之江　上野政明	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団平様	先日の話の件が決まりたるにつきお知らせ	葉書	1	日は消印
U	12	123	〔葉書〕	昭和33	6	7	日本大学理工学部後援会　会長大角武	福岡県遠賀郡芦屋町字芦屋一二〇五　安高団兵衛殿	後援会総会開催につき案内	葉書	1	印刷
U	12	124	御案内	昭和33	6	9	主催芦屋町体育協会・芦委や町東筑会・後援芦屋町教育委員会・芦屋中体育後援会	粟屋　安高団兵衛・保正殿	芦中グランド完成記念事業として東筑高校対下関高校など招待野球開催につき案内	葉書	1	印刷
U	12	125	定期総会開催御案内	昭和33	6	16	芦屋交通安全協会長　原田善一（印）	粟屋　安高団兵衛様	芦屋交通安全協会定期総会開催の案内	葉書	1	印刷
U	12	126	定期総会開催御案内	昭和33	6	26	遠賀折尾自動車組合・折尾交通安全協会長　三原朝雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	遠賀折尾自動車組合・折尾交通安全協会定期総会開催につき案内	葉書	1	印刷
U	12	127	〔葉書〕	昭和33	6	28	東京都中野区昭和通二丁目　渕上房太郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高国（ママ）兵衛様	落選のお詫びほか	葉書	1	印刷。日は消印
U	12	128	〔葉書〕	昭和33	6(7)	9	東京都中野区昭和通二丁目　渕上房太郎	福岡県遠賀郡芦屋粟屋　安高団兵衛様	落選のお詫びほか	葉書	1	印刷。推定月・日は消印
U	12	129	運転免許（許可）証の臨時検査通知書	昭和33	6	20	折尾警察署長	遠賀郡芦屋町大字芦屋一、二〇五　安高保正殿	検査日程など通知	葉書	1	印刷
U	12	130	〔葉書〕	昭和33	7	19	戸畑市東中原十九ノ十七　塚原たよ子	遠賀郡芦屋町字粟屋一、二〇五　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	12	131	〔葉書〕	昭和33	7	18	福岡県筑紫郡春日町春日原東町四ノ八一　ドライクリーニング新生舎　津田為次	遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋一二〇五　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	12	132	〔葉書〕	昭和33	盛夏(7)	18	福岡県嘉穂郡稲築町鴨生　参議院議員西田隆男	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	12	133	〔葉書〕	昭和33	盛夏(7)	21	吉田節　福岡県遠賀郡芦屋町花屋運送店本店　八幡市黒崎三丁目　花屋運送店・花屋砂利八幡連絡所	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	暑中見舞い	葉書	1	日は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	12	134	〔葉書〕	昭和33	盛夏(7)	23	長崎県平戸市長　山鹿光世	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛殿	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	12	135	〔葉書〕	昭和33	盛夏(7)	22	伊藤百太郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	12	136	〔葉書〕	昭和33	盛夏(7)	22	瀬戸正広　福岡県芦屋町芦屋	芦屋町大城　安高団兵衛先生	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	12	137	〔葉書〕	昭和33	盛夏(7)	23	福岡市杵屋谷三番地　妹尾環・美予子　喜久子改め　福岡市西堅粕東光町四八番地　倉庫部大盛産業株式会社	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	12	138	〔葉書〕	昭和33	盛夏(7)	25	山口県長門市俵山温泉（魚市場隣）　糸永旅館	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋　安高団兵衛殿	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	12	139	〔葉書〕	昭和33	盛夏(7)	24	福岡県知事　土屋香鹿	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛殿	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	12	140	〔葉書〕	昭和33	盛夏(7)	25	福岡県遠賀郡遠賀村　福岡県議会副議長　三原朝雄	芦屋町粟屋下組　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	12	141	〔葉書〕	昭和33	盛夏(7)	28	福岡県遠賀郡芦屋町正門町　坂田熊一	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	
U	12	142	〔葉書〕	昭和33	盛夏(7)	29	福岡県遠賀郡芦屋町　朝日新聞・夕刊フクニチ　坂口新聞店	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	12	143	〔葉書〕	昭和33	7	29	福岡県三井郡山本村豊田一八八七　兜山麓療養所にて（古賀恵啓）	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋区　国宝的篤農家昭和の二宮尊徳・元神武天皇奉賛会発起者　安高団兵衛先生	暑中見舞い、結核にて入院療養中の事	葉書	1	
U	12	144	〔葉書〕	昭和33	盛夏(7)	28	東京都千代田区神田一ツ橋二ノ九(教育会館隣り)　旅館一橋寮	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋一、二〇五　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	12	145	〔葉書〕	昭和33	盛夏(7)	29	久留米市櫛原町四丁目　酒井善左衛門・幸子	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	暑中見舞い、老母への御配慮につき御礼	葉書	1	日は消印
U	12	146	〔葉書〕	昭和33	盛夏(7)	30	福岡県遠賀郡中間町　加来歯科医院　加来繁雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	12	147	〔葉書〕	昭和33	7	31	若松市唐戸町　藤吉仁太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い、夏場の石炭が予想以上に悪く、家も出費のかからぬ所へ移転した事	葉書	1	
U	12	148	〔葉書〕	昭和33	盛夏(7)	31	海老津　中村昌弘	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	12	149	〔葉書〕	昭和33	7	30	東京都練馬区下石神井二の一一〇八　秋山光一	福岡県遠賀郡芦屋町芦屋　安高団兵衛様	暑中見舞い、三菱信託銀行亀戸支店に転任になるにつき帰省できない事	葉書	1	
U	12	150	〔葉書〕	昭和33	7	晦日	八幡市河内　石松恒芳	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い、山鹿の母の御世話の御礼	葉書	1	
U	12	151	〔葉書〕	昭和33	盛夏(8)	1	福岡県遠賀郡遠賀村　議会議長井口強	芦屋町栗（ママ）屋　安高団兵衛殿	暑中見舞い	葉書	1	
U	12	152	〔葉書〕	昭和33	7	31	正門町　山下靴店	町内粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い、カメラレンズの蓋をお忘れにつきお知らせ	葉書	1	
U	12	153	〔葉書〕	昭和33	盛夏(8)	3	一級建築士・土地家屋調査士・裁判所所属鑑定人　早川利夫事務所八幡市陣原電停前・自宅遠賀郡芦屋町大字芦屋三〇九六番地	遠賀郡芦屋町字栗（ママ）屋　安高団兵衛殿	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	12	154	〔葉書〕	昭和33	8	2	京都市左京区岡崎西福川にて　森本倚代	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い、秋山姉さんの御世話の御礼	葉書	1	日は消印
U	12	155	〔葉書〕	昭和33	盛夏(8)	3	東京都武蔵野市西窪公団住宅26-107　秋山光民	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い、母の御世話の御礼	葉書	1	日は消印
U	12	156	〔葉書〕	昭和33	8	4	安心（ママ）町竜王　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	12	157	〔葉書〕	昭和33	8	12	福岡市上若々町三三九　畠中直次・同初子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・りきの様	暑中見舞い	葉書	1	日は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	12	158	〔葉書〕	昭和33	8	9	伊東市松原猪戸二ノ五九九　秋山光見	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い、写真の御礼	絵葉書	1	日は消印。「(霊峰富士)白糸の滝と富士」の絵葉書
U	12	159	〔葉書〕	昭和33	盛夏(8)	13	萬漬物佃煮製造卸商　合資会社椛田商店　直方市津田町	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛殿	暑中見舞い	葉書	1	
U	12	160	〔葉書〕	昭和33	盛夏(8)	14	辰元登　福岡県秘書課　筑紫郡大野町瓦田県公舎	福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合　安高団兵衛殿	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	12	161	〔葉書〕	昭和33	盛夏(8)	15	福岡県遠賀郡遠賀村　福岡県議会副議長　三原朝雄	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い、中元の御礼	葉書	1	日は消印
U	12	162	〔葉書〕	昭和33	7	30	福岡市天神町八八番地　小林喜利選挙事務所	粟屋　安高団兵衛様	参議院補欠選挙での投票願い	葉書	1	月日は消印。印刷
U	12	163	〔葉書〕	昭和33	8	17	東京都港区芝神谷町六　神谷莞爾	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞いの御礼	葉書	1	
U	12	164	〔葉書〕	昭和33	8	23	福岡市簀子町　高群花子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	残暑見舞い、手紙の御礼	葉書	1	
U	12	165	〔葉書〕	昭和33	9	4	遠賀川局区内別府　永田賀一	遠賀郡遠賀村字粟屋　安高団兵衛様	両親法事の案内	葉書	1	日は消印
U	12	166	〔葉書〕	昭和33	9	7	宗像郡玄海町深田　徳満神社々務所	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵様	秋季大祭の案内	葉書	1	日は消印
U	12	167	〔葉書〕	昭和33	9	24	久留米市櫛原町四丁目　酒井幸子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	秋山の老母の御世話の御礼、写真送付の御礼	葉書	1	
U	12	168	〔葉書〕	昭和33	10	2	新宿区戸塚町四ノ六九一　安高保正	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・同藤吉様	日本工営の採用試験の結果についてほか	葉書	1	
U	12	169	〔葉書〕	昭和33	10	5	遠賀郡岡垣村元松原　広渡一敬	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	高倉神社祭礼の案内	葉書	1	日は消印
U	12	170	〔葉書〕	昭和33	10	18	遠賀村鬼津　太田秀夫	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	当地神社御祭りの青年会余興に際し愚息秀和宛に御花下さるにつき御礼	葉書	1	日は消印
U	12	171	〔葉書〕	昭和33	1	2	遠賀郡芦屋町山鹿　喪主兵道武一・親戚総代重岡徳十・富田真澄	芦屋局区内粟屋　安高団兵衛殿	亡母トモ葬儀会葬の御礼	葉書	1	印刷。封筒あり
U	12	172	〔書簡〕	昭和33	2	7	三軒屋　浜崎(山鹿小田喜彦店・吉永幸男店)	安高団兵衛様	卵配達願い	罫紙	1	封筒あり
U	12	173	〔葉書〕	昭和33	6		岡部得三　連絡先東京都千代田区永田町衆議院第一議員会館四二三号室	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	総選挙当選の御礼	葉書	1	印刷。封筒あり
U	12	174-1	〔葉書〕	昭和33	7	23	加藤健次(福岡県遠賀郡岡垣村糠塚)	安高団兵衛様	病気快復のお知らせ	葉書	1	印刷。U12-174-1、2封筒一括
U	12	174-2	定期預金利息計算書	昭和32	2	25	株式会社福岡銀行　折尾支店(印・「楠田」)	安高ユキ殿	利息金ほか書上	紙	1	
U	12	175	〔クリスマスカード〕	1957	12	6	U. Hirowatari and family. R. R. no.1. Kamloops. B.C.	Mr & Mrs D. Ataka and family (福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋安高団兵衛)		紙	1	封筒あり。年月日は消印。未開封
U	12	176	〔クリスマスカード〕	1957	12	23	武田みち子(カナダ)	Mr & Mrs D. Ataka Awaya Ashihyamachi Ongagun Fukuokaken Japan(福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋安高団兵衛)	年頭挨拶	紙	1	封筒あり。年月日は消印。未開封
U	12	177	〔書簡〕	昭和33	1	8	保正(東京都新宿区戸塚町四ノ六九一東筑学舎内)	父上・兄上様(福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛・同藤吉)	無事東筑学舎に到着の事、東京までの車中の出来事についてほか	罫紙	1	罫紙6枚。封筒あり。U12-177～229紐一括
U	12	178	〔書簡〕	昭和33	1	9	あや子より(熊本県天草郡大矢野町大字中小瀬戸　片山綾子)	安高団兵衛様(福岡県遠賀郡芦屋町粟屋)	玉葱苗受取の事ほか	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
U	12	179	〔書簡〕	昭和33	正	19	隆盛より	父上・母上様(遠賀郡芦屋町芦屋一、二〇五安高団兵衛)	血沈の検査結果についてほか	罫紙	1	罫紙3枚。封筒あり
U	12	180	〔書簡〕	昭和33	1	20	秋山光材(東京都練馬区中村町三ノ七七一)	安高団兵衛様(福岡県遠賀郡芦屋町粟屋)	八幡製鉄などの視察と帰省の予定、事業金として金3万円斡旋願いほか	罫紙	1	罫紙4枚。封筒あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	12	181	〔書簡〕	昭和33	1	31	保正（東京都新宿区戸塚町四ノ六九一東筑学舎内）	父上・兄上様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛・同藤吉）	学校の33年度納入金第3期分7千円ほか送金願いほか	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
U	12	182	〔書簡〕	昭和33	1	25	信子（尾道市外向島兼吉チャックファースナー有限会社内佐藤信子）	安高の御父母様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛・同りきの）	正義さんの事、会社での一日についてほか	罫紙	1	罫紙4枚。封筒あり
U	12	183	〔書簡〕	昭和33	2	1	秋山かめの	安高さま	今日は欠席する事	紙	1	封筒あり
U	12	184	〔書簡〕	昭和33	1	28	秋山光材（東京都練馬区中村町三ノ七七一）	安高団兵衛様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）	借用金3万円落掌の事、母喜寿の祝歌有難く拝誦の事ほか	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
U	12	185	〔書簡〕	昭和33	2	6	小野藤右衛門（遠賀村若松）	安高団兵衛様（遠賀郡芦屋町粟屋）	昨日あの件の話を承り大変うれしかった事、裁きの日にはぜひ傍聴致し度事ほか	罫紙	1	封筒あり
U	12	186	〔書簡〕	昭和33	2	10	秋山光材（東京都練馬区中村町三ノ七七一）	安高団兵衛様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）	借用金の第1回返済分送金の事、父の歌稿出版の件ほか	罫紙	1	罫紙2枚。封筒（現金封かん紙）あり
U	12	187	〔書簡〕	昭和33	2	12	安高隆盛より	父上・母上様（遠賀郡芦屋町大字芦屋安高団兵衛）	順調に快方に向かって居る事、病院での食事についてほか	罫紙	1	罫紙4枚、封筒あり
U	12	188	貸金について	昭和33	2	12	芦屋町農業協同組合（印）	債務者重岡本芳殿・債務者重岡一馬殿・仝連帯保証人安高団兵衛殿・仝連帯保証人重岡徳嘉殿・仝人重岡徳嘉殿・仝人佐野貫治郎	貸付金20万円返済滞りの件について			
U	12	189	〔書簡〕	昭和33	2	14	信子（広島県尾道市外兼吉チャックファースナー佐藤信子）	御父母様	隆盛さん入院の件、正義さんの事についてほか	罫紙	1	罫紙3枚。封筒あり
U	12	190	〔書簡〕	昭和33	2	17	安高隆盛より（宗像郡宗像町東郷）	父上様・母上様（遠賀郡芦屋町芦屋一、二〇五）	先日の見舞いの御礼ほか	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
U	12	191	〔書簡〕	昭和33	2	20	山本武拝（東京都港区芝神谷町六）	安高団兵衛様	過日帰郷時の佳子子供達御世話の御礼、別府の文つき今後とも御世話願いほか	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり。月日は消印
U	12	192	〔書簡〕	昭和33	2	25	三村俊蔵（芦屋町山鹿）	安高団兵衛君（芦屋町粟屋）	2万円借用願い	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
U	12	193	〔書簡〕	昭和33	2	25	尾道市向島兼吉　チャックファースナ有限会社　佐藤信子	お父母様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛・同りきの）	正義さんの事がなかなか忘れられない事ほか	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり。日は消印
U	12	194-1	〔書簡〕	昭和33	3	29	アヤ子より（熊本件天草郡大矢野町小瀬戸片山綾子）	福岡県遠賀郡芦屋町粟（ママ）屋　安高団兵衛様	小父さんから戴いた玉葱の生育状態の事ほか	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり。日は消印。U12-194-1、2封筒一括
U	12	194-2	〔書簡案文〕	昭和33	5	15	（安高団兵衛）		お産も済み今頃は御達者になって居ると察して居る事ほか	紙	1	広告の裏を使用
U	12	195	〔通知〕	昭和33	4	3	芦屋カメラ倶楽部	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	クラブ行事予定ほか	紙	1	印刷。封筒あり。日は消印
U	12	196	〔書簡〕	昭和33	4	10	保正（東京都新宿区戸塚町四ノ六九一東筑学舎内）	父上・母上様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛・同りきの）	無事学舎に到着の事、京都市内の観光など上京途中の模様について	罫紙4	1	罫紙4枚。封筒あり
U	12	197	〔書簡〕	昭和33	4	17	秋山光材（東京都練馬区中村町三ノ七七一）	安高団兵衛様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）	帰省中の御世話の御礼、借用金返済分同封の事ほか	罫紙	1	罫紙4枚。封筒（現金封かん紙）あり
U	12	198	〔書簡〕	昭和33	4	26	保正（東京都新宿区戸塚町四ノ六九一東筑学舎内）	父上様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛）	予定外の支出が多いためいくらか送金願い、東郷の兄の住所お知らせ願いほか	罫紙	1	罫紙3枚。封筒あり
U	12	199	〔書簡〕	昭和33	5	4	保正（東京都新宿区戸塚町四ノ六九一東筑学舎内）	兄上・姉上様（福岡県芦屋町粟屋安高藤吉・同千鶴子）	5月分生活費送金願いほか	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
U	12	200	〔書簡〕	昭和33	5	9	秋山光材（東京都練馬区中村町三ノ七七一）	安高団兵衛様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）	写真の御礼、新会社の資金調達に苦慮しているため今月分の借用金返済猶予願いほか	罫紙	1	罫紙5枚。封筒あり
U	12	201	〔書簡〕	昭和33	5	11	信子より（尾道市私書箱十八号（有）チャックファースナー会社佐藤信子）	御父母様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛）	正義さんとお別れして早や一年が経った事、会社の会計課事務員が79万円を持ち逃げした事ほか	罫紙	1	罫紙3枚。封筒あり
U	12	202	〔書簡〕	昭和33	5	14	安高隆盛より（宗像郡宗像町東郷桑野恵方）	父上様・母上様（遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛）	5月より歩行療法に入った事、一度公判を傍聴したいと思っている事ほか	罫紙	1	罫紙4枚。封筒あり
U	12	203	〔書簡〕	昭和33	5	18	保正（東京都新宿区戸塚町四ノ六九一東筑学舎内）	兄上・姉上様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高藤吉・同千鶴子）	五月分送金の御礼、虫歯につき乳歯2本を抜歯した事ほか	罫紙	1	罫紙3枚。封筒あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	12	204	〔書簡〕	昭和33	5	27	保正（東京都新宿区戸塚町四ノ六九一東筑学舎内）	兄上・姉上様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高藤吉・同千鶴子）	卒業研究などのため3千円ほど送付願いほか	罫紙	1	罫紙3枚。封筒あり
U	12	205	〔書簡〕	昭和33	6	2	酒井幸子（久留米市櫛原町四丁目）	安高団兵衛様（遠賀郡芦屋町粟屋）	母の件につき依頼	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
U	12	206	〔書簡〕	昭和33	6	10	保正（東京都新宿区戸塚町四ノ六九一東筑前学舎内）	兄上・姉上様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高藤吉・同千鶴子様）	日大工学部電気科行事の強歩大会の模様についてほか	罫紙	1	罫紙4枚。封筒あり
U	12	207	〔書簡〕	昭和33	6	21	保正（東京都新宿区戸塚町四ノ六九一東筑学舎内）	兄上・姉上様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高藤吉・同千鶴子様）	八幡市にある安川電機に実習申込をした事、7月分生活費など送金願い	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
U	12	208-1	〔書簡〕	昭和33	6	27	秋山光材（東京都練馬区中村町三ノ七七一・東京都中央区新佃島西町二ノ四あさの工業株式会社）	安高様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛）	借用金返済猶予願い、防塵処理機のデータを1部同封の事ほか	罫紙	1	罫紙3枚。U12-208-1、2封筒一括
U	12	208-2	報告書	昭和33	6	3	工業技術院資源技術試験所長馬場有政（印）	依頼者　東京都中央区新佃島西町2～4　あさの工業株式会社	あさの式防塵機の性能試験結果について	綴	1	紙3枚紙留（ステンプラー）にて綴
U	12	209	〔書簡〕	昭和33	6	28	永島武雄（福岡市須崎裏町五二番地　福岡県モーターボート競走会）	安高国（ママ）兵衛殿（遠賀郡芦屋町粟屋）	選挙支援の御礼	紙	1	印刷。封筒あり。日は消印
U	12	210	〔書簡〕	昭和33	6	30	恵美子	母上様（芦屋町粟屋安高りきの）	年金病院での胃液の検査結果について、田植え時の飯炊きにアメリカのおばさんに手伝いに来てもらいたい事	紙	1	紙2枚。封筒あり
U	12	211	〔書簡〕	昭和33	7	9	保正（東京都新宿区戸塚町四ノ六九一東筑学舎内）	兄上・姉上様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高藤吉・同千鶴子）	安川での実習の日程について、父上京時の出迎えの件ほか	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
U	12	212	〔書簡〕	昭和33	7	10	本町通り商店連盟　山笠世話人会	町内粟屋　安高団兵様	岡湊神社祇園祭りに協賛して新しく飾山笠を建立致した事、山笠町内行進の日程案内	紙	1	印刷。封筒あり
U	12	213	〔書簡〕	昭和33	8	2	隆盛より（宗像郡宗像町大字東郷一、〇一九）	父上様・母上様（遠賀郡芦屋町大字芦屋一、二〇五番地）	レントゲンにて小空洞が見つかり試歩も中止となった事、入院費用の件についてほか	罫紙	1	罫紙4枚。封筒あり
U	12	214	〔書簡〕	昭和33	8	22	隆盛より（宗像郡宗像町東郷一、〇一九）	父上様・母上様（遠賀郡芦屋町芦屋一、二〇五安高団兵衛）	住民登録の件について	罫紙	1	罫紙4枚。封筒あり
U	12	215	〔書簡〕	昭和33	8	30	保正（東京都新宿区戸塚町四ノ六九一東筑学舎内）	父上・母上様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛・同りきの）	東京に無事到着の事、出雲神社や大阪など上京途中での観光について	罫紙	1	罫紙3枚。封筒あり
U	12	216	〔書簡〕	昭和33	9	14	保正（東京都新宿区戸塚町四ノ六九一東筑学舎内）	兄上・姉上様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高藤吉・同千鶴子）	第2期分の学校への納入金送付願い、就職先選定の件	罫紙	1	罫紙3枚。封筒あり
U	12	217	給与支払明細書　10月分（給与封筒）	昭和33	9	17	農林省福岡統計調査事務所（福岡県宗像郡宗像町田熊五三〇ノ四番地　田中ミドリ）	安高隆盛殿（遠賀郡芦屋町大字芦屋一、二〇五番地）	現金支給額9181円につき	封筒	1	封筒（現金封かん紙）あり
U	12	218	〔書簡〕	昭和33	9	27	営業科目　材木商・建具一式・便利瓦・板硝子　福岡県遠賀郡芦屋町　吉田徳蔵	当町粟屋　安高団兵衛殿	別紙確認願い	紙	1	別紙精算書（杉材購入につき）書類留（針）にて綴
U	12	219	〔書簡〕	昭和33	9	28	隆盛より（宗像郡宗像町大字東郷一、〇一九）	父上・母上様（遠賀郡芦屋町大字芦屋団兵衛・仝りきの）	11月末のレントゲン検査の結果により自宅療養するか決まる事、入院費用の件についてほか	罫紙	1	罫紙5枚。封筒あり
U	12	220	〔書簡〕	昭和33	10	2	保正（東京都新宿区戸塚町四ノ六九一東筑学舎内）	兄上・姉上様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高藤吉・同千鶴子）	新宿区の郵便関係でストをやっているらしく郵便物の配達が遅れている事、日本工営の入社試験についてほか	罫紙	1	罫紙4枚。封筒あり
U	12	221	〔書簡〕	昭和33	10	9	保正（東京都新宿区戸塚町四ノ六九一東筑学舎内）	父上様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛）	入社採用決定につき同封の誓約書に捺印の上、送付願い	罫紙	1	封筒あり。日は消印
U	12	222	〔書簡〕	昭和33	10	12	保正（東京都新宿区戸塚町四ノ六九一東筑学舎内）	兄上・姉上様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高藤吉・同千鶴子）	就職採用の件について	罫紙	1	罫紙3枚。封筒あり
U	12	223	〔封筒〕	昭和33	10	17	宗像郡宗像町田熊五三〇ノ四田中ミドリ	遠賀郡芦屋町大字芦屋　安高隆盛様		封筒	1	日は消印。現金封かん紙使用

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	12	224	御礼状	昭和33	10	15	勧進元中ノ浜青年会・祭典番頭中ノ浜区氏子中・区長三浦静夫・氏子総代中原富造(印)	安高団兵衛様(粟屋)	奉納素人大相撲御臨席の御礼、金百円拝受の事	紙	1	印刷。封筒あり
U	12	225	〔書簡〕	昭和33	10	23	保正(東京都新宿区戸塚町四ノ六九一東筑学舎内)	兄上・姉上様(福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高藤吉・同千鶴子)	日大電気科の就職について、11月分生活費送付願いほか	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
U	12	226-1	〔書簡〕	昭和33	2	17	北米　扇谷与次郎(桑港日本社)	団兵衛御夫妻・仝一家御一同(福岡県遠賀郡芦屋町字芦屋一二〇五番地)	帰国準備の件、紀元節祝典の記念写真送付の事	紙	1	U226-1～3封筒一括
U	12	226-2	〔写真〕	昭和33	2	11	(扇谷与次郎)		祭壇の写真	写真	1	
U	12	226-3	〔写真〕	昭和33	2	11	(扇谷与次郎)		「監禁六ヶ年」などとある垂れ幕、扇谷などの写真	写真	1	
U	12	226-4	〔写真〕	昭和33	2	11	(扇谷与次郎)		「故父福蔵士第五週忌追悼」などとある垂れ幕の写真	写真	3	
U	12	227	〔帯紙〕	昭和33	2	28	荒尾市万田西区六〇八　新日本連珠社	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	第3種郵便物送付につき	帯紙	1	
U	12	228	〔書簡〕	〔昭和33頃〕			恵美子	(母上様)	西瓜の御礼、お盆の予定について	紙	1	
U	12	229	〔封筒〕	昭和33	6	20	U. Hirowatari. R.R. no.1. Kamloops BC Canada.	Mr. D Ataka、Ashiya City. Awaya. Fukuoka-ken. Ongagun. Kyushu Japan、福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿		封筒	1	
U	13		〔リール式テープレコード〕						(昭和35年10月21日慰霊祭用御詠歌(表)〃　流行歌(裏)(昭和36年4月10日高砂会余興録音(表)昭和37年7月23日今様芦屋の四季南国土佐(裏)(昭和37年7月31日落語(三遊亭円馬・幽霊船)昭和37年8月流行歌・詩吟)	リール式テープ(7インチ)	3	
U	14		〔リール式テープレコード〕						第5番(浪花節　いもだね・おらんだばやし)流行歌(昭和39年6月15日常陸丸　殉難勇士供養慰霊祭流行歌	リール式テープ(7インチ)	2	
U	15		〔リール式テープレコード〕						(安高吹込・秋山カメ)安高正義・安高隆盛(昭和35年11月3日ラジオニュース山口オトヤ自殺、ラジオ番組録音・民謡・流行歌(昭和39年流行歌・紅白歌合戦昭和40年漢詩うた会始め)	リール式テープ(7インチ)	3	
U	16		〔リール式テープレコード〕						(昭和38年12月浪曲(慈母観音)昭和39年1月漢詩・俳句・和歌　ラジオの録音(昭和37年10月流行歌　ラジオ録音(今様　芦屋の四季　高群吹込(不明)	5インチリール式テープ、空のケース	4、1	
U	17	1	〔封筒〕				日本大学理工学部後援会	福岡県遠賀郡芦屋町芦屋　安高団兵衛	17-1～22一括	封筒	1	1-1、2、3、4同封
U	17	1-1	〔書簡〕	昭和37	6	28	日本大学理工学部後援会会長山中国男		後援会長就任挨拶	紙	1	
U	17	1-2	日本大学理工学部後援会会則							紙	1	
U	17	1-3	日本大学理工学部後援会役員	昭和37	6		日本大学理工学部後援会			紙	1	
U	17	1-4	日本大学理工学部後援会昭和三十六年度決算書	昭和37	6	8	監事　菅沼清美			紙	1	
U	17	1-5	日本大学理工学部後援会昭和三十七年度収支予算書							紙	1	
U	17	2	〔葉書〕	昭和37	1	3	市川市真間町　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの	着京連絡	葉書	1	
U	17	3	〔葉書〕	昭和37	3	2	市川市真間町　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの	近況報告と滞京予定	葉書	1	日付は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	17	4	〔葉書〕	昭和37	4	8	市川市真間町　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの	大阪の国際見本市見学と着京報告	葉書	1	
U	17	5	〔葉書〕	昭和37	5	30	日本大学理工学部後援会	福岡県遠賀郡芦屋町芦屋　安高団兵衛	昭和三十七年度後援会総会通知	往復葉書	1	
U	17	6	〔葉書〕	昭和37	6	4	市川市真間町　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　りきの	着京連絡	葉書	1	
U	17	7	〔葉書〕	昭和37	6	26	市川市真間町　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの	近況伺い	葉書	1	
U	17	8	〔葉書〕	昭和37	7	7	市川市真間町　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの	帰郷予定連絡	葉書	1	
U	17	9	〔電報〕	昭和37	2	18	タチハナ	アワヤ　アタカダンベイ	ージ　クロヤマカタエオイデマツ	電報	1	日付は消印
U	17	10	〔封筒〕	昭和37			市川市真間町　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの		封筒	1	10-1、2、3同封
U	17	10-1	〔書簡〕	昭和37	1	21	誠	父上　母上	送金依頼	罫紙	1	
U	17	10-2	2月分金銭出納表	昭和37						罫紙	2	
U	17	10-3	〔領収書〕	昭和37	1	11	日本大学理工学部会計課	安高誠	授業料領収書	紙	1	
U	17	11	〔書簡下書〕	昭和37	1	26	安高団兵衛	安高誠	近況と送金連絡	紙	1	10に同封
U	17	12	〔封筒〕	昭和37	2	18	市川市真間町　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの		封筒	1	12-1、2、3、4同封
U	17	12-1	〔書簡〕	昭和37	2	18	誠	父上　母上	近況、帰郷予定連絡と送金依頼	罫紙	2	
U	17	12-2	12月分金銭出納表	昭和36						罫紙	2	
U	17	12-3	昭和37年1月分金銭出納表	昭和37						罫紙	2	
U	17	12-4	3月分金銭出納表	昭和37						罫紙	2	
U	17	13	〔封筒〕	昭和37	4	17	市川市真間町　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの		封筒	1	13-1、2、3同封
U	17	13-1	〔書簡〕	昭和37	4	17	誠	父上　母上	下宿料値上げのこと、送金依頼、テープレコーダー拝借依頼、学年末成績報告	罫紙	5	
U	17	13-2	3、4月分金銭出納表	昭和37						罫紙	2	
U	17	13-3	5月分予算	昭和37						罫紙	1	
U	17	14	〔書簡〕	昭和37	4	29	市川市真間町　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの	送金依頼と近況・成績報告	罫紙	3	封筒あり
U	17	15	〔書簡〕	昭和37	5	14	市川市真間町　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの	戸籍謄本郵送依頼と送金依頼	罫紙	2	封筒あり
U	17	16	〔書簡〕	昭和37	5	7	市川市真間町　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの	父親の虫歯治療のこと、戸籍謄本送付依頼	罫紙	2	封筒あり
U	17	17	〔封筒〕	昭和37	5	23	市川市真間町　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの		封筒	1	17-1、2、3同封
U	17	17-1	〔書簡〕	昭和37	5	23	誠	父上　母上	就職活動近況報告と送金依頼	罫紙	2	
U	17	17-2	5月分出納表	昭和37						罫紙	4	
U	17	17-3	六月分生活費	昭和37						罫紙	1	
U	17	18	〔書簡〕				しいめい一同代筆後藤	おじ	写真送付の礼	罫紙	2	17に同封
U	17	19	〔電報〕	昭和37	5	26	マコト	アタカダンベエ	二七ヒキリシマニテオリオツク	電報	1	17に同封
U	17	20	〔書簡〕	昭和37	6	21	市川市真間町　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの	安川電機採用通知が来た件と送金依頼	罫紙	2	7月分予算同封
U	17	21	〔書簡〕	昭和37	6	18	市川市真間町　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの	安川電機採用通知電報が来た件	罫紙	2	封筒あり
U	17	22	〔封筒〕	昭和37	6	25	市川市真間町　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの		封筒	1	22-1、2、同封
U	17	22-1	〔書簡〕	昭和37	6	25	誠	父上　母上	最近の所感と送金依頼	罫紙	3	
U	17	22-2	六月分金銭出納表	昭和37						罫紙	5	
U	17	23	不動産競売期日通知書	昭和38	10	8	福岡地方裁判所小倉支部裁判所書記官　山崎秀雄	抵当権者	債権者正金相互銀行　債務者本田久野　所有者安高幸次郎	紙	1	17-23～57一括
U	17	24	〔書簡〕	昭和37	2	11	港区芝白銀三光町　安高保正	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　藤吉	会社の寮が火事になって住所を移転した事の報告	罫紙	5	封筒あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	17	25	〔書簡〕	昭和38	11	7	練馬区中村　秋山光材	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	芦屋の家の井戸のついて、隣家(小田哲夫)からの屋根撤去要請に対する反論	罫紙	5	封筒あり
U	17	26	〔書簡〕	昭和38	11	3	安高幸次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	墓地の件に関する相談	罫紙	1	封筒あり、差出人は本田菊郎とある
U	17	27	〔葉書〕	昭和38	10	31	水野進	遠賀療養所　本田菊郎　安高幸次郎	墓地の件に関する相談、売却値段4万円	葉書	1	26に同封
U	17	28	〔通信事務〕	昭和38	10	30	芦屋郵便局長	粟屋　安高団兵衛	郵便貯金の勧誘	罫紙	1	封筒あり
U	17	29	〔封筒〕				芦屋町公民館	粟屋　安高団兵衛		封筒	1	29-1、2、3、4同封
U	17	29-1	御案内	昭和38	10	28	芦屋町茶道同好会　芦屋町公民館		お茶会開催案内	紙	1	
U	17	29-2	会員券	昭和38			芦屋町茶道同好会　芦屋町公民館		お茶会会員券	紙	1	
U	17	29-3	〔文化祭開催案内〕	昭和38	10	29	芦屋町公民館館長　松浦猛		芦屋町文化祭開催案内、芸能大会プログラム	紙	1	
U	17	29-4	御案内	昭和38	10	29	芦屋町公民館館長　松浦猛		芦屋町文化祭開催案内、各行事案内と時間割	紙	1	
U	17	30	〔書簡〕	昭和38	10	26	福岡部隊第十九普連第三中隊　安高秋生	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	勤務部隊連絡	罫紙	2	封筒あり
U	17	31	〔書簡〕	昭和38	10	25	遠賀療養所　本田菊郎　安高幸次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	墓地買い取りの件、買い取り金額2万円	罫紙	1	封筒あり
U	17	32	〔書簡〕	昭和38	10	24	遠賀療養所　本田	芦屋町粟屋　安高団兵衛	墓地の件につき連絡請う	罫紙	1	封筒あり
U	17	33	〔書簡〕	昭和38	9	30	遠賀療養所　安高幸次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	墓地に土地寄贈者の標石建設の件	罫紙	3	封筒あり
U	17	34	〔書簡〕	昭和38	9	20	岡湊神社放生会祭当番区	奉賛会	寄付への礼状	紙	1	封筒あり、差出人は金屋区とあり
U	17	35	農地等被買収者実態調査に伴う調査票の提出について	昭和38	7	22	芦屋町農業委員会事務局	粟屋　安高団兵衛		紙	1	封筒あり
U	17	36	〔封筒〕				遠賀郡芦屋町芦屋　安高団兵衛	福岡市警固本通り　福山医院　福山喜徳		封筒	1	封筒のみ
U	17	37	〔岡湊神社祇園大祭報告〕	昭和38	7		岡湊神社祇園大祭山笠総委員長　榎枝卯七他		昭和三十八年度岡湊神社祇園山笠経費決算書、同建設寄付者芳名	書綴	1	封筒あり
U	17	38	〔封筒〕	昭和38	7	14	福岡市浪人谷　岡沢麟太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	封筒のみ、日付は消印
U	17	39	〔書簡〕	昭和38	7	30	福岡市　半田	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	店をやめたことと近況	罫紙	1	封筒あり
U	17	40	〔長唄浴衣会案内〕	昭和38	9	5	中小路　花田正稔	粟屋　安高団兵衛	長唄浴衣会演奏プログラム	紙	1	封筒あり、日付は消印
U	17	41	〔書簡〕	昭和38	7	27	折尾町本城西　小田勝子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高りきの	奈良漬けの漬け方	罫紙	2	封筒あり、日付は消印
U	17	42	〔書簡下書〕	昭和38	5	12	安高団兵衛	若松市有毛　能間一美	縁談の断り	紙	1	封筒あり
U	17	43	〔書簡〕	昭和38	7	25	福岡市警固本通り　中村正広	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞と近況伺い	罫紙	2	封筒あり
U	17	44	〔書簡〕	昭和38	7	23	安川電機小倉寮　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの	東京支社勤務決定の報告	罫紙	2	封筒あり
U	17	45	〔書簡〕	昭和38	7	13	福岡市　河村(半田か？)	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況伺いと店の電話番号連絡	罫紙	1	封筒あり
U	17	46	不動産競売期日通知書	昭和38	7	5	福岡地方裁判所小倉支部裁判所書記官　山崎秀雄	抵当権者	債権者正金相互銀行　債務者本田久野　所有者安高幸次郎他	紙	1	地裁小倉支部封筒あり
U	17	47	〔書簡〕	昭和38	7	1	福岡市　半田	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況伺い	罫紙	1	封筒あり
U	17	48	不動産競売期日通知書	昭和38	5	31	福岡地方裁判所小倉支部裁判所書記官　山崎秀雄	抵当権者	債権者正金相互銀行　債務者本田久野　所有者安高幸次郎他	紙	1	地裁小倉支部封筒あり
U	17	49	〔書簡〕	昭和38	6	7	大安工業　安高正義	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	福山医院にてレントゲン撮影のこと	罫紙	2	封筒あり
U	17	50	〔書簡下書〕	昭和38	6	20	安高団兵衛	安高正義	福山医院の診断結果と遠賀保健所での検査のこと	罫紙	1	49に同封
U	17	51	〔書簡〕	昭和38	6	11	伊丹市　兼松喜太郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	九州地方旅行の報告と病気近況	罫紙	3	新興化学工業の封筒あり
U	17	52	御案内	昭和38	5	28	岡湊神社敬神婦人会	安高団兵衛	婦人会総会開催通知	紙	1	封筒あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	17	53	〔封筒〕	昭和38	5	29	福岡市　半田	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	封筒のみ
U	17	54	〔書簡〕	昭和38	5	11	福岡市　河村（半田か？）	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況と和歌添削の依頼	罫紙	2	封筒あり
U	17	55	〔封筒〕	昭和38	4	29	福岡市西春町　半田とき	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	封筒のみ
U	17	56	不動産競売期日通知書	昭和38	4	18	福岡地方裁判所小倉支部裁判所書記官　山崎秀雄	抵当権者	債権者正金相互銀行　債務者本田久野所有者本田アキノ他	紙	1	地裁小倉支部封筒あり
U	17	57	〔封筒〕				岩崎天外		裏面に安高誠の住所、電話番号等のメモあり	封筒	1	封筒のみ
U	17	58	〔書簡〕	昭和37	2	2	福井県坂井郡芦原町　北風すえ	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	姉（マキか？）墓建設の礼と米国在住の兄から連絡が途絶えていることの報告	罫紙	2	封筒あり、日付は消印、17-58～74一括
U	17	59	〔書簡〕	昭和37	1	1	HIROWATARI	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	新年挨拶	カード	1	封筒あり
U	17	60	〔書簡〕	昭和37	1	10	福井県坂井郡芦原町　北風すえ	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	姉（マキか？）死去への悔やみ	罫紙	2	封筒あり
U	17	61	〔書簡〕	昭和37	1	9	佐藤洋服店　牛島貞己　恵美子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	新年挨拶と結婚生活の報告	罫紙	2	封筒あり
U	17	62	〔書簡〕	昭和37	2	13	立花商会　立花喜二郎	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛	芦屋に出向くので連絡依頼	罫紙	3	封筒あり、封筒破損
U	17	63	〔書簡〕	昭和36	12	20	立花商会　立花喜二郎	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛	同窓会写真送付の礼と近況報告	罫紙	3	封筒あり
U	17	64	〔封筒〕	昭和37	1	12	大庭善三郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	福岡県園芸農業協同組合連合会封筒、64-1、2、3、4同封
U	17	64-1	〔書簡〕	昭和37	1	12	大庭善三郎	安高団兵衛	NHK優秀農家へ応募するための手続き依頼	罫紙	1	
U	17	64-2	〔NHK「優秀な農家をみんなで選びましょう」調査用紙雛形写〕						調査用紙手書き写しと記入例	紙	1	
U	17	64-3	〔所有土地書上げ〕						所有地の所在場所、面積、入手経緯等の一覧	罫紙	1	
U	17	64-4	NHK第4回「優秀な農家をみんなで選びましょう」調査用紙・同応募規定	昭和36	12		日本放送協会			紙	1	2通あり
U	17	65	御案内	昭和37	3		遠賀川西四国霊場巡拝団	芦屋町粟屋　安高団兵衛	巡拝団創立60周年記念大法典開催通知	紙	1	式次第のメモあり、封筒あり
U	17	66	〔書簡〕	昭和37	2	27	立花商会　立花喜二郎	黒山高麿、安高団兵衛、兵道武一他	宴会招待への礼	継紙	1	封筒あり、「回覧ニ付シテ下サイ」の表記あり
U	17	67	〔書簡〕	昭和37	3	11	立花商会　立花喜二郎	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	宴会招待への礼と写真送付礼	罫紙	2	封筒あり
U	17	68	〔書簡〕	昭和37	4	5	東京都練馬区中村橋　秋山光材	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	歌碑建設への礼、写真送付への礼、式次第送付依頼他	罫紙	3	封筒あり
U	17	68-1	〔書簡下書〕	昭和37	4	27	安高団兵衛	秋山光材	家屋修理、ボート場駐車場管理、関係者の動向、小田よりの土地返還に関する件、歌碑除幕式の次第等	紙	2	68に同封
U	17	69	〔書簡〕	昭和37	5	24	久留米市櫛原町　酒井幸子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	わかめ、いりこ代金送付のこと、近況報告	罫紙	2	現金書留用封筒あり
U	17	70	森部隆輔後援会規約				大庭善三郎	安高団兵衛		紙	1	封筒あり
U	17	71	〔名刺〕				大庭善三郎		福岡県農山漁村振興顧問　福岡県園芸農業協同組合連合会参事　大庭善三郎、裏面に「感謝申し上げます」とあり	紙	1	封筒あり
U	17	72	〔書簡〕	昭和37	6	16	八幡市陣ノ原　安高正義	遠賀郡芦屋町粟屋　安高りきの	父親病気療養のこと	罫紙	1	大安工業封筒あり
U	17	73	障害福祉年金の定時届について	昭和37	7	23	芦屋町役場住民課国民年金係	安高りきの		紙	1	町役場封筒あり
U	17	74	不動産競売期日通知書	昭和38	7	5	福岡地方裁判所小倉支部裁判所書記官　国永順治	抵当権者	債権者正金相互銀行　債務者本田久野所有者安高幸次郎　本田アキノ	紙	1	地裁小倉支部封筒あり
U	17	75	御案内	昭和38	4	3	〔立正佼成会〕		神武社供養実施通知	紙	1	封筒あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	17	76	不動産競売期日通知書	昭和38	11	7	福岡地方裁判所小倉支部裁判所書記官　山崎秀雄	抵当権者	債権者正金相互銀行　債務者本田久野所有者安高幸次郎	紙	1	封筒あり
U	17	77	〔書簡〕	昭和38	3	25	日本大学理工学部後援会　山中国男	安高団兵衛	子息卒業祝い状	紙	1	後援会封筒あり
U	17	78	〔通知〕	昭和38	3	25	遠賀保健所長	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	X線検査受診依頼	紙	1	保健所封筒あり、日付は消印
U	17	79	〔書簡〕	昭和38	2	19	熊本県天草郡大矢野町　りき江	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況報告と写真送付への礼	罫紙	2	封筒あり、日付は消印
U	17	80	〔封筒〕	昭和38	2	12	千葉県市川市真間町　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの		封筒	1	80-1、2、3、4同封
U	17	80-1	〔書簡〕	昭和38	2	12	誠	父上　母上	送金への礼と背広代送金依頼他	罫紙	3	
U	17	80-2	2月分金銭出納表	昭和38						罫紙	4	
U	17	80-3	3月分金銭出納表	昭和38						罫紙	2	
U	17	80-4	〔上京費内訳〕	昭和38	3					罫紙	1	
U	17	81	〔封筒〕	昭和38	2	24	伊東市松原　秋山光見	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛		封筒	1	中央大学日本比較法研究所封筒、81-1、2同封
U	17	81-1	〔書簡〕	昭和38	2	24	秋山光見	安高団兵衛	亡父法要、歴木土地の件、近況他	罫紙	3	
U	17	81-2	〔書簡下書〕	昭和38	3	11	安高団兵衛	秋山光見、カメノ	法要の様子、歴木土地家屋の件回答	紙	1	
U	17	82	〔書簡〕	昭和38	2	17	東京都練馬区中村橋　秋山光材	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	亡父法要の件依頼、近況	罫紙	2	封筒あり
U	17	83	〔封筒〕	昭和38	1	30	福岡市新麦野　河村たか	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛		封筒	1	83-1、2、3同封
U	17	83-1	〔書簡〕	昭和38	1	30	河村たか	安高団兵衛	短歌指導依頼	罫紙	1	
U	17	83-2	八雲	昭和37	8		博多櫛田八雲会		八雲会会報	書綴		
U	17	83-3	〔短歌〕				河村たか		短歌5首	紙	5	
U	17	84	〔精密検診結果〕	昭和38	4	1	遠賀保健所長	安高団兵衛	検診結果通知	紙	1	遠賀保健所封筒あり
U	17	85	不動産競売期日通知書	昭和38	2	13	福岡地方裁判所小倉支部裁判所書記官　山崎秀雄	抵当権者	債権者正金相互銀行　債務者本田久野所有者安高幸次郎　本田アキノ	紙	1	地裁小倉支部封筒あり
U	17	86	〔封筒〕	昭和38	1	20	千葉県市川市真間町　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの		封筒	1	破損、86-1、2、3、4同封
U	17	86-1	〔書簡〕	昭和38	1	20	誠	父上　母上	帰省予定連絡、送金依頼	罫紙	2	
U	17	86-2	1月分金銭出納表	昭和38	1					罫紙	2	
U	17	86-3	商工芦屋	昭和38	1	25	芦屋商工会		芦屋商工会報4号	紙	1	タブロイド版
U	17	86-4	〔覚〕						日付、金額書上げ	紙	1	
U	17	87	〔書簡〕	昭和38	1	12	千葉県市川市真間町　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの	授業料送金依頼	罫紙	1	封筒あり
U	17	88	〔書簡〕	昭和37	12	27	故秋山光清先生歌碑建設発起者会　会長中西森之助	安高団兵衛	賛助者芳名碑建設通知	紙	1	封筒あり
U	17	89	〔書簡〕	昭和37	11	30	東京都練馬区中村橋　秋山光材	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	遠賀郡誌送付礼、法要布施依頼	罫紙	3	封筒あり
U	17	90	〔封筒〕		9		瓜生	芦屋水茎会		封筒	1	封筒のみ
U	17	91	〔封筒〕				皆田ゆきえ	安高		封筒	1	封筒のみ
U	17	92	〔書簡〕	昭和38	1	8	あしや本町　上田久三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	面談依頼	罫紙	2	封筒あり
U	17	93	〔カード〕	昭和37	12	6	Mitiko Takeda	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	クリスマスカード	紙	1	封筒あり、日付は消印
U	17	94	〔書簡〕	昭和37	10		浜崎青年会	安高団兵衛	奉納相撲大会開催通知	紙	1	封筒あり
U	17	95	〔封筒〕				芦屋町農業協同組合	粟屋　安高団兵衛		封筒	1	95-1、2同封
U	17	95-1	〔通知〕	昭和38	6	15	芦屋町農業協同組合	安高団兵衛	出資配当金振込通知	紙	1	
U	17	95-2	〔通知〕	昭和38	6	15	芦屋町農業協同組合	安高りきの	出資配当金振込通知	紙	1	
U	17	96	〔封筒〕		8	31	黒川てる	鶴原吉平　安高団兵衛		封筒	1	封筒のみ
U	17	97	〔通知〕	昭和37	10	30	芦屋町長　黒山高麿	安高団兵衛	37年度芦屋町観光写真コンクール入賞通知	紙	1	町役場封筒あり
U	17	98	〔封筒〕	昭和37	6	10	八幡市陣ノ原　安高正義	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	大安工業封筒、98-1、2同封
U	17	98-1	〔書簡〕				安高正義	父上	病気養生のこと	罫紙	2	
U	17	98-2	〔書簡〕				正義	母上	母上心配はいりません	罫紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	17	99	〔通知〕	昭和37	6	8	岡湊神社敬神婦人会	安高りきの	岡湊神社敬神婦人会総会開催通知	紙	1	封筒あり
U	17	100	〔封筒〕				安高久米吉	歌会　安高団兵衛		封筒	1	封筒のみ
U	17	101	〔書簡〕	昭和37	11	30	西多摩郡福生町　高橋仁亮	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	写真送付依頼	罫紙	1	封筒あり
U	17	102	御案内	昭和38	3	30	芦屋台地土地改良組合理事長　桃川学	安高団兵衛	芦屋台地土地改良組合総会開催通知	紙	1	封筒あり
U	17	103	〔通知〕	昭和37	12	24	岡湊神社宮司　林田守治	粟屋　安高団兵衛	歳旦祭通知	紙	1	封筒あり
U	17	104	〔葉書〕	昭和38	11	16	太田善胤	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	葬儀会葬礼状	葉書	1	
U	17	105	〔葉書〕	昭和38	10	22	三原朝雄後援会	芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの	選挙事務所開設通知	葉書	1	
U	17	106	〔書簡〕		1	2	恵美子	母上	着物購入のこと	罫紙	2	封筒なし
U	17	106-1	〔書簡〕				恵美子	母上	母親の着物購入連絡	罫紙	1	封筒なし
U	17	107	〔通知〕				日本大学理工学部経工機械教室謝恩会準備委員会		謝恩会費支払依頼	紙	1	
U	17	108	〔断簡〕							罫紙	1	
U	17	109	〔葉書〕	昭和37	1	1	福間町　松尾豊	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	110	〔葉書〕	昭和37	1	1	渋谷区　鈴木康治	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	111	〔葉書〕	昭和37	1	1	水巻町　白垣弥次	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	112	〔葉書〕	昭和37	1	1	芦屋町　入江勝	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	113	〔葉書〕	昭和37	1	1	港区　剣木亨弘	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	114	〔葉書〕	昭和37	1	1	福岡市　桑原宗人	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	115	〔葉書〕	昭和37	1	1	福岡市　中村正広	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	116	〔葉書〕	昭和37	1	1	筑紫郡　入江節雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	117	〔葉書〕	昭和37	1	1	大田区　亀津広門	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	118	〔葉書〕	昭和37	1	1	渋谷区　大庭勝一	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	119	〔葉書〕	昭和37	1	1	中間市　西義男	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	120	〔葉書〕	昭和37	1	1	福岡市　畠中直次	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	121	〔葉書〕	昭和37	1	1	若松市　藤吉仁太郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	122	〔葉書〕	昭和37	1	1	岡垣村　広渡松雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	123	〔葉書〕	昭和37	1	1	黒井　伊藤百太郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	124	〔葉書〕	昭和37	1	1	芦屋町　梅林忠春	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	125	〔葉書〕	昭和37	1	1	尾道市　佐藤信子	安高団兵衛・りきの	年賀状	葉書	1	
U	17	126	〔葉書〕	昭和37	1	1	大阪市　立花商会	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	127	〔葉書〕	昭和37	1	1	芦屋町　吉永光雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	128	〔葉書〕	昭和37	1	1	戸畑市　松本道子	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	129	〔葉書〕	昭和37	1	1	芦屋町　黒山冨靖	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	130	〔葉書〕	昭和37	1	1	八幡市　山本脩一郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	131	〔葉書〕	昭和37	1	1	小倉市　樋口宗利	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	132	〔葉書〕	昭和37	1	1	芦屋町　中西勇雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	133	〔葉書〕	昭和37	1	1	芦屋町　セト薬局	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	134	〔葉書〕	昭和37	1	1	戸畑市　松本道子	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	135	〔葉書〕	昭和37	1	1	八幡市　大庭善三郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	136	〔葉書〕	昭和37	1	1	直方市　石橋良之	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	137	〔葉書〕	昭和37	1	1	宇佐郡　中村藤五郎	安高団兵衛・一同	年賀状	葉書	1	
U	17	138	〔葉書〕	昭和37	1	1	岡垣村　広渡成男	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	139	〔葉書〕	昭和37	1	1	芦屋町　柴田喜次郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	140	〔葉書〕	昭和37	1	1	若松市　中山司	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	141	〔葉書〕	昭和37	1	1	若松市　津山つる	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	142	〔葉書〕	昭和37	1	1	岡山市　和栗博	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	143	〔葉書〕	昭和37	1	1	千代田区　旅館一橋寮	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	144	〔葉書〕	昭和37	1	1	芦屋町　黒山高麿	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	145	〔葉書〕	昭和37	1	1	岡垣村　高倉神社　大庭実	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	146	〔葉書〕	昭和37	1	1	宗像町　安高繁治郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	147	〔葉書〕	昭和37	1	1	芦屋町　皆田ゆきえ	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	17	148	〔葉書〕	昭和37	1	1	東京武蔵野市　秋山光民	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	149	〔葉書〕	昭和37	1	1	佐賀基山町　山本金五郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	150	〔葉書〕	昭和37	1	1	遠賀村鬼津　井口強	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	151	〔葉書〕	昭和37	1	1	八幡市　大庭浅男	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	152	〔葉書〕	昭和37	1	1	安高久米吉	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	153	〔葉書〕	昭和37	1	1	神奈川相模原市　内山昌亮	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	154	〔葉書〕	昭和37	1	1	港区　山本武	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	155	〔葉書〕	昭和37	1	1	練馬区　秋山光一	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	156	〔葉書〕	昭和37	1	1	芦屋町　上野武雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	157	〔葉書〕	昭和37	1	1	芦屋町　三村俊蔵	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	158	〔葉書〕	昭和37	1	1	広渡一敬	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	159	〔葉書〕	昭和37	1	1	京都市　森本政次郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	160	〔葉書〕	昭和37	1	1	東京北多摩郡　西田広義	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	161	〔葉書〕	昭和37	1	1	久留米市　酒井善左衛門・幸子	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	162	〔葉書〕	昭和37	1	1	千代田区　菊本実	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	163	〔葉書〕	昭和37	1	1	港区　神谷莞爾	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	164	〔葉書〕	昭和37	1	1	芦屋町教育長　松浦猛	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	165	〔葉書〕	昭和37	1	1	遠賀村　小野藤右衛門	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	166	〔葉書〕	昭和37	1	1	福井県　北風忠良	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	167	〔葉書〕	昭和37	1	1	八幡市　小田万三郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	168	〔葉書〕	昭和37	1	1	遠賀村　重広新	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	169	〔葉書〕	昭和37	1	1	芦屋町　福原勇	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	170	〔葉書〕	昭和37	1	1	福岡市　高群花子	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	171	〔葉書〕	昭和37	1	1	静岡伊東市　秋山光見	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	172	〔葉書〕	昭和37	1	1	鳥栖市　宇野仙翁	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	173	〔葉書〕	昭和37	1	1	芦屋町　浜中耕三郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	174	〔葉書〕	昭和37	1	1	遠賀村　三原朝雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	175	〔葉書〕	昭和37	1	1	稲築町　西田隆男	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	176	〔葉書〕	昭和37	1	1	唐津市　大橋喜一	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	177	〔葉書〕	昭和37	1	1	芦屋町　瓜生ふさの	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	178	〔葉書〕	昭和37	1	1	芦屋町　瀬井明生	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	179	〔葉書〕	昭和37	1	1	富山市　広貫堂　田村兵治	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	180	〔葉書〕	昭和37	1	1	浦和市　野知浩之	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	181	〔葉書〕	昭和37	1	1	遠賀村　矢田智	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	182	〔葉書〕	昭和37	1	1	芦屋町　中西新聞店	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	183	〔葉書〕	昭和37	1	1	芦屋町　熊野太郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	184	〔葉書〕	昭和37	1	1	渋谷区　旅寮しんめん	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	185	〔葉書〕	昭和37	1	1	小倉市経済部　波多野一治	安高団兵衛・りきの	年賀状	葉書	1	
U	17	186	〔葉書〕	昭和37	1	1	多賀谷文子	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	187	〔葉書〕	昭和37	1	1	遠賀村　永田賀一	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	188	〔葉書〕	昭和37	1	1	広島県高田郡　竹内忠範・小春	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	189	〔葉書〕	昭和37	1	1	〔直方〕市津田町　椛田商店	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	190	〔葉書〕	昭和37	1	1	練馬区　秋山かめの　秋山光材・孝子	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	191	〔葉書〕	昭和37	1	1	立川市　安高保正	安高団兵衛・りきの	年賀状	葉書	1	
U	17	192	〔葉書〕	〔昭和〕37	2	8	宗像町　安高繁治郎　美記代	安高団兵衛	新築祝い案内（速達便）	葉書	1	
U	17	193	〔葉書〕	昭和37	1	1	若松市　岡部得三	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	194	〔葉書〕	昭和37	1	1	平戸市　松尾久子	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	195	〔葉書〕	昭和37	1	1	市川市　安高誠	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
U	17	196	〔葉書〕	昭和37	1	1	福岡市　島上正三	安高団兵衛	農場負債の調達等について	葉書	1	
U	17	197	〔葉書〕	昭和37		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町市場　筑水旅館　中西五郎六・中西ハナ	町内粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	U17-197～276紐一括
U	17	198	〔葉書〕	昭和37	1	1	若松市森　大庭藤九郎	安高団兵衛様・誠様	年賀状	葉書	1	
U	17	199	〔葉書〕	昭和37		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町中小路　和田友秀	粟屋　安高団兵衛様・御一同様	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	17	200	〔葉書〕	昭和37		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町　吉田呉服店　吉田達雄	町内粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	201	〔葉書〕	皇紀2622		元旦	山鹿田屋　重岡達雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	202	〔葉書〕	昭和37		元旦	芦屋町身体障害者福祉協議会会長　畑辺半次郎　事務所福岡県遠賀郡芦屋町	町内粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	203	〔葉書〕	昭和37	1	1	遠賀郡岡垣村吉木　麻生治正	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀所	葉書	1	
U	17	204	〔葉書〕	昭和37		元旦	芦屋町幸町　安高幹雄	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	205	〔葉書〕	昭和37		元旦	八幡市桃園アパ(ママ)ート北十三ノ十　藤崎正次郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	206	〔葉書〕	昭和37	1	1	古賀恵啓・同善子	町内粟屋区　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	207	〔葉書〕	昭和37		元旦	太宰府天満宮指定・日本交通公社指定・日本通運指定　吉村茶店　福岡市外太宰府町	遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋一二〇五番地　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	208	〔葉書〕	昭和37		元旦	？？？	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	209	〔葉書〕	昭和37	1	1	しんめい内　工藤八代子	福岡県遠賀郡芦屋字栗(ママ)屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	210	〔葉書〕	昭和37	1	元旦	福岡市大字名島　桑原勇吉	遠賀郡芦屋町栗(ママ)屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	211	〔葉書〕	昭和37	1	1	熊本県阿蘇郡阿蘇村西小園　小島頼男	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	212	〔葉書〕	昭和37		元旦	渕上房太郎　福岡県鞍手郡小竹町・東京都中野区昭和通二ノ四七	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	213	〔葉書〕	皇紀2622		元旦	八幡市本町五丁目四八番地　大安工業株式会社　安高正義	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	214	診察券	昭和36	6	23	八幡市熊手町拾番地の壱　九州厚生年金病院	安高団兵衛殿	「マル放」科315号	紙	1	「マル放」は「〇」の中に「放」
U	17	215	〔人名等書上〕	〔昭和37頃〕			(安高団兵衛)		「遠賀郡水巻町大字古賀　篠原勤　石炭セメント販売業」など	紙	1	
U	17	216	〔諸費用書上〕	〔昭和37頃〕			(安高団兵衛)		牛肉1.4キロ・結婚式費用ほか計34、381円書上	紙	1	
U	17	217	〔葉書〕	昭和37		元旦	福岡県玄海町神ノ湊　永島伝三郎	遠賀郡芦屋町栗(ママ)屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	218	〔算用書上〕	〔昭和37頃〕			(安高団兵衛)		計算時のメモ書き	紙	1	芦屋町筑水旅館の箸袋使用
U	17	219	〔葉書〕	昭和37		元旦	航空自衛隊芦屋基地司令　空将補　加納健一	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状、芦屋基地も本年は待望の飛行部隊を迎える事	葉書	1	
U	17	220	〔葉書〕	昭和37		元旦	旅館九州　陣場正輝・トキエ　東京都新宿四ツ谷一ノ八	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋一二〇五　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	221	〔葉書〕	昭和37	1	元旦	八幡市大字本城　香山満寿郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	222	〔葉書〕	昭和37		元旦	商工会会長・体育協会会長・自民党支部幹事長　会長　徳永勝一　福岡県遠賀郡芦屋町正門通り	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	223	〔葉書〕	昭和37	1	元旦	あしや　北村志賀	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状、短歌1首書上	葉書	1	
U	17	224	〔葉書〕	昭和37		元旦	福岡県遠賀郡岡垣村野間　辻守荘	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	225	〔葉書〕	昭和37		元旦	遠賀郡遠賀川駅前　宮崎サト	芦屋町栗(ママ)屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	226	〔年頭挨拶書上〕	昭和37		元旦	芦屋町本町通り　朝日新聞・夕刊フクニチ　坂口新聞店	愛読者様		紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	17	227	〔葉書〕	昭和37	正	元旦	橘喜朔　東京都中野区打越町十一番地	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	228	〔葉書〕	昭和37		元旦	八幡市大蔵河内　石松恒芳	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	229	〔葉書〕	昭和37		元旦	全味号味噌醸造機　株式会社東京味噌醸造機製作所・トムゼット自動製麹機　新全味号精機工業株式会社　東京都港区芝金杉浜町三十五番地　社長大庭増次	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋三〇五　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	230	〔葉書〕	昭和37		元旦	芦屋町　吉田徳蔵	当町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	231	〔葉書〕	昭和37		元旦	鶴原造園　園主庭園師　鶴原吉平・主任同　鶴原真一　福岡県賀(ママ)賀郡芦屋町山鹿	町内粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	232	〔葉書〕	昭和37		元旦	市川市中山町　遠寿院住職　田中日浄	福岡市芦屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	233	〔葉書〕	昭和37		元旦	金屋　有吉みね	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	234	〔葉書〕	昭和37	壱	元旦	遠賀郡水巻町吉田片山　白石貞蔵	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	235	〔葉書〕	昭和37		元旦	佐賀県東松浦郡肥前町入野　山田屋旅館	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	236	〔葉書〕	昭和37	正	元旦	芦屋町金屋　江島みな	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	237	〔葉書〕	昭和37	1	1	天坊会福岡県支部　世話人代表永島武雄　福岡市須崎土手町二〇永島ビル	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	238	〔葉書〕	昭和37	1	6	市場町　北村志賀	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	歌会の節に御立寄願い	葉書	1	
U	17	239	〔葉書〕	昭和37		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町　梅林建設株式会社芦屋出張所　森山武夫	町内粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	240	〔葉書〕	昭和37	1	29	遠賀郡鬼津　太田秀夫	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	亡父一週忌の案内	葉書	1	
U	17	241	〔葉書〕	昭和37	1	9	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　喪主小野重吉・親族総代長畑宗明・同田中八郎・同平川光雄	(安高団兵衛)	亡母ハル葬儀会葬の御礼	葉書	1	封筒あり
U	17	242	〔葉書〕	昭和37	2	8	芦屋町　桑原静治	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	川西四国創立六十周年記念祭典への寄付金千円受取	葉書	1	
U	17	243	〔葉書〕	昭和37	2	8	山鹿三軒屋一、九七二　安高隆盛	芦屋町粟屋一、二〇五　安高りきの様・同静江様	宿直日に来訪願い	葉書	1	
U	17	244	〔葉書〕	昭和37	2	9	本郷芳香・北村志賀	芦屋町栗(ママ)屋　安高団兵衛様	本郷様とも相談あるにつき御立寄願い	葉書	1	
U	17	245	〔葉書〕	昭和37	2	27	宗像町城ヶ谷団地96号　安高美記代	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	写真送付の御礼	葉書	1	日は消印
U	17	246	〔葉書〕	昭和37	2		天坊会福岡県支部　世話人代表永島武雄	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	参議院議員天坊裕彦への支援願い	葉書	1	印刷
U	17	247-1	〔葉書〕	昭和37	3	22	喪主田中健介・長男田中俊男・三男田中健夫・四男田中寿男・親族総代田中斉之	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	荊妻望東女告別式会葬の御礼、御香典返しとして地元山鹿小学校図書館へ金一封寄付した事	葉書	1	印刷。U17-247-1、2封筒一括
U	17	247-2	〔葉書〕	昭和37	3	22	芦屋町立山鹿小学校　広渡清		田中望東女殿葬儀御香典返しとして多額の御寄付を戴いた事	葉書	1	印刷
U	17	248	〔葉書〕	昭和37	3	31	遠賀郡芦屋町金屋　喪主宮本武雄・親戚総代永末千秋・外親戚一同	(安高団兵衛)	亡母ウメ葬儀会葬の御礼	葉書	1	印刷
U	17	249	〔葉書〕	昭和37	3	29	久留米市櫛原町四丁目　酒井幸子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	歌碑除幕式並びに亡父七回忌法要の際の御配慮の御礼ほか	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	17	250	〔葉書〕	昭和37	4	1	尼崎市元浜町一丁目二十六番地　尼鉄武庫川寮312号　安高忠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	赴任出発の際の餞別の御礼ほか	葉書	1	
U	17	251	〔葉書〕	昭和37	4	6	八幡市香月大辻本町　平井喜代次・同サトノ	遠賀郡芦屋町粟屋　安高国(ママ)兵衛殿	川西四国参拝の節、突然参上致し色々と御世話になるにつき御礼	葉書	1	月日は消印
U	17	252	〔葉書〕	昭和37	4	12	久留米市櫛原町四丁目　酒井幸子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	京都岡崎の森本いよへイリコ送付願いほか	葉書	1	
U	17	253	〔葉書〕	昭和37	4	20	福岡市警固本通り一ノ二　三春様方　中村正広・美智子	遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛様	近況報告	葉書	1	日は消印
U	17	254	〔葉書〕	昭和37		元旦	八幡市大字下上津役　大和利武	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	255	〔葉書〕	昭和37	4	22	山口県宇部市西岐波区住吉潤輝館　安高新	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	無事入学式を終え入寮した事	葉書	1	日は消印
U	17	256	〔葉書〕	昭和37	4	30	久留米市櫛原四丁目　酒井幸子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	京都へイリコ1袋と若芽1貫目送付願い	葉書	1	
U	17	257	〔葉書〕	昭和37	5	14	福岡市白金町六九　伊豆清	県下遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	住居移転のお知らせ	葉書	1	日は消印
U	17	258	〔葉書〕	昭和37	5	15	京都市左京区岡崎西福の川二三　森本政次郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	わかめ・いりこ送付の御礼	葉書	1	日は消印
U	17	259	〔葉書〕	昭和37	5	18	久留米市櫛原町四丁目　酒井幸子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	京都への小包送付の御礼、送料共代金お知らせ願い	葉書	1	
U	17	260-1	〔葉書〕	昭和37	5	23	遠賀郡芦屋町金屋　喪主二村貞見・外親族一同	町内粟屋　安高団兵衛様	亡父与壮葬儀会葬の御礼、今般御芳志の一部を社会福祉協議会その他へ寄付した事	葉書	1	印刷。U17-260-1、2封筒一括
U	17	260-2	〔葉書〕	昭和37	5	23	芦屋町社会福祉協議会長　黒山高麿		二村与壮殿葬儀御香典返しとして多額の御寄付を戴いた事	葉書	1	印刷
U	17	261	〔葉書〕	昭和37	5	17	遠賀郡岡垣村黒山　喪主花田なつの・花田仁・花田利男・花田武・花田悟・外親族一同	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	亡父永造葬儀会葬の御礼	葉書	1	封筒あり
U	17	262	〔葉書〕	昭和37	5	29	天坊会福岡県支部(福岡市薬院大通り一丁目三一番地藤井ビル二階)	遠賀郡芦屋町芦屋　安高団兵衛様	事務所移転のお知らせ	葉書	1	月日は消印
U	17	263	発送御案内	昭和37	5	1	京都市左京区岡崎西福ノ川23　森本イヨ・京都市東山区平安神宮道三条北入　平安殿本舗	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	平安殿30入り1個発送の事	葉書	1	印刷
U	17	264	〔葉書〕	昭和37	6	1	宗像郡宗像町城ヶ谷九十六号　安高繁治郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	美記代入院に際し病床御見舞の御礼	葉書	1	日は消印
U	17	265	〔葉書〕	昭和37	5	30	京都市左京区岡崎西福の川　森本イヨ	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋町　安高団兵衛様	わかめほか送付の御礼、当地銘菓平安殿送付の事	葉書	1	
U	17	266	〔葉書〕	昭和37	6	22	八幡市折尾町自由ケ町　九州女子大学寮　石橋つもる	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	九州女子大学自由ケ丘寮の寮監に勤める事になるにつき通知	葉書	1	印刷。日は消印
U	17	267	〔葉書〕	昭和37	盛夏(7)	20	福岡市大字名島　桑原勇吉・桑原菊夫	遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	
U	17	268	〔葉書〕	昭和37	盛夏(7)	21	福岡県遠賀郡芦屋町　吉田徳蔵	当町粟屋　安高団兵衛殿	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	17	269	〔葉書〕	昭和37	盛夏(7)	21	土地・建物取引業　公認立花商会　代表者立花康平　大阪市西成区今池町四〇番地(飛田新天地大門前)	福岡県芦屋町大城　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	17	270	〔葉書〕	昭和37	盛夏(7)	23	福岡県遠賀郡遠賀村　県議会議員・自民党組織委員長　三原朝雄	県下芦屋町粟屋下組　安高団兵衛様	暑中見舞い、県下参議院選の御支援への御礼ほか	葉書	1	日は消印
U	17	271	〔葉書〕	昭和37	7	23	東京都渋谷区桜ヶ丘九六　しんめん旅寮内　後藤徳子	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	暑中見舞い、写真送付の御礼	葉書	1	月日は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	17	272	〔葉書〕	昭和37	5	30	天坊会福岡県支部（福岡市薬院大通り一丁目三一番地藤井ビル二階）	遠賀郡芦屋町　安高リキノ様	事務所移転のお知らせ	葉書	1	月日は消印
U	17	273	〔葉書〕	昭和37	5	30	天坊会福岡県支部（福岡市薬院大通り一丁目三一番地藤井ビル二階）	遠賀郡芦屋町　安高チヅ子様	事務所移転のお知らせ	葉書		
U	17	274	〔葉書〕	昭和37	11	26	千葉県市川市真間町一ノ二五二　内田権一方　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高藤吉・千鶴子様	近況報告、卒論はあと2週間位でめどがつく事	葉書	1	日は消印
U	17	275	〔葉書〕	〔昭和37頃〕				八幡市中央町五丁目　最中の亀屋行	最中・包装などにつきアンケートほか	葉書	1	未記入
U	17	276	〔葉書〕	昭和37	9	15	遠賀郡遠賀村鬼津　喪主男三原広・男三原朝雄ほか8名	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	母ツタ儀死去につき通知	葉書	1	印刷。封筒あり
U	17	277	〔葉書〕	昭和37	12	23	福岡県遠賀郡芦屋町中小路　和田友秀	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	喪中欠礼	葉書	1	U17-277～326紐一括
U	17	278	〔葉書〕	昭和38	1	1	福岡市浪人谷　岡沢麟太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	279	〔葉書〕	昭和38		元旦	東京都新宿区四谷一丁目八番地　旅館九州　陣場正輝・トキエ	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	280	〔葉書〕	昭和38		元旦	スーパーカブ・山口モーター・山口の自転車　安部商会	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	281	〔葉書〕	昭和38	1	1	遠賀郡岡垣町吉木　麻生治正	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	282	〔葉書〕	昭和38		元旦	辻守荘	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	283	〔葉書〕	昭和38		元旦	芦屋町商工会々長・体育協会々長　徳永勝一	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	284	〔葉書〕	昭和38		元旦	橘喜朔　東京都中野区打越町十一番地	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	285	〔葉書〕	昭和38	1	1	東京　渕上房太郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	286	〔葉書〕	昭和38		元旦	福岡県宗像郡福間町津丸「養鶏と園芸」香豊園　松尾豊・松尾香苗	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	287	〔葉書〕	癸卯〔昭和38〕		元旦	遠賀郡芦屋町市場　筑水旅館　中西五郎六・中西ハナ	粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	288	〔葉書〕	皇紀2623		元旦	八幡市本町五丁目四八番地　大安工業株式会社　安高正義	遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	289	〔葉書〕	昭和38		元旦	福岡県遠賀郡岡垣村　高倉神社宮司大庭実・奉賛会々長俵口静江	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	290	〔葉書〕	昭和38		元旦	福岡県玄海町神ノ湊　永島伝三郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	291	〔葉書〕	昭和38		元旦	東京都港区芝神谷町六　神谷莞爾	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	292	〔葉書〕	昭和38		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町議会　議長中西森之助　遠賀郡芦屋町大字山鹿雁木	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	293	〔葉書〕	昭和38		元旦	山田キヱ	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	294	〔葉書〕	昭和38		元旦	八幡市折尾町　タクボ歯科　田窪照逸	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	295	〔葉書〕	昭和38		元旦	福岡県遠賀郡岡垣村元松原　広渡松雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	296	〔葉書〕	昭和38		元旦	参議院議員　農学博士野知浩之　東京都千代田区永田町一ノ一　参議院議員会館九二号室	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	17	297	〔葉書〕	昭和38		元旦	東京都千代田区麹町一丁目十二番地　福岡県東京事務所　吉川秀	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	298	〔葉書〕	昭和38		元旦	八幡市本城西　小田万三郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	299	〔葉書〕	昭和38		元旦	市内白金一丁目十二街区七号　伊豆清	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	絵葉書	1	鹿島祐徳神苑の絵葉書
U	17	300	〔葉書〕	昭和38		元旦	鶴原造園　園主庭園師　鶴原吉平・主任仝　鶴原真一　福岡県遠賀郡芦屋町山鹿	町内粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	301	〔葉書〕	昭和38		元旦	福岡県太宰府町北神苑　吉村茶店	遠賀郡芦屋町大字芦屋字栗（ママ）屋一二〇五　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	302	〔葉書〕	昭和38		元旦	化学ドライクリーニング　八幡井筒屋指定　テツプタツプ商会　大場勝太郎　工場福岡県遠賀郡芦屋町正門通り・自宅八幡市熊西町一丁目	遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋一二〇五番地　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	303	〔葉書〕	昭和38	1	4	港区芝神谷町六　山本佳子	福岡県遠賀郡芦屋町字栗（ママ）屋　安高団兵衛様	年賀状	絵葉書	1	月日は消印。第一生命の絵葉書
U	17	304	〔葉書〕	昭和38		元旦	福岡県遠賀郡遠賀村木守　溝辺好一	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	305	〔葉書〕	昭和38	1	元旦	畑辺半次郎	芦屋町栗（ママ）屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	306	〔葉書〕	昭和38		元旦	株式会社東京味噌醸造機製作所 トムゼツト自動製麹機　新全味号精機工業株式会社　社長大庭増次　本社東京都港区芝金杉浜町三十五番地・川崎工場川崎市小倉南耕地一六六一番地	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋一二〇五　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	307	〔葉書〕	昭和38	1	1	福岡県遠賀郡芦屋町中小路　黒山高麿	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	308	〔葉書〕	昭和38		元旦	福岡市大字名島　桑原勇吉・桑原菊夫	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	309	〔葉書〕	昭和38		元旦	八幡市桃園アパート北13-10　藤崎正次郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	310	〔葉書〕	昭和38	1	1	こくら市京町十一丁目　秋枝正助	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	311	〔葉書〕	昭和38		元旦	福岡市西原町二丁目　塗装請負半田智晧	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	312	〔葉書〕	昭和38		元旦	佐世保市下京町一二五番地　旅館丸見荘　三城平三	福岡市遠賀郡芦屋町芦屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	313	〔葉書〕	昭和38		元旦	唐津市呉服町　大橋喜一	福岡県遠賀郡芦屋町芦屋　安高団兵衛殿	年賀状	絵葉書	1	唐津景観唐津山笠の絵葉書
U	17	314	〔葉書〕	昭和38		元旦	東松浦郡相知町大字相知　高田千代次	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	315	〔葉書〕	昭和38		元旦	若松市東二島　水田市太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	316	〔葉書〕	昭和38	1	1	中小路区　古賀恵啓・同善子	町内粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	317	〔葉書〕	昭和38		元旦	白垣弥次	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	318	〔葉書〕	昭和38	1	元旦	別府　永田要蔵	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	319	〔葉書〕	昭和38	1	3	渡辺新平	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	月日は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	17	320	〔葉書〕	昭和38		元旦	品川区大井林町三三四　日本工営大井寮　安高保正	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・りきの様	年賀状	葉書	1	
U	17	321	〔葉書〕	昭和38	1	1	元松原　広渡一敬	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	322	〔葉書〕	昭和38		元旦	石橋良之	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	323	〔葉書〕	昭和38		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町議会　議長中西森之助	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	324	〔葉書〕	昭和38		元旦	佐賀県基山町　山本金四郎	筑前国芦屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	325	〔葉書〕	昭和38	1	7	千葉県市川市真間町一ノ二五二　内田権一方　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・りきの様	無事東京に到着の事	葉書	1	
U	17	326	〔葉書〕	癸卯〔昭和38〕		元旦	岩崎天外	町内粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	327	〔葉書〕	昭和38		元旦	有限会社新生舎　代表取締役津田為次　筑紫郡春日町春日原東四丁目八一番地	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	U17-327～403紐一括
U	17	328	〔葉書〕	昭和38		元旦	若松市浜二番地二丁目　津山つる	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	329	〔葉書〕	昭和38		元旦	遠賀村議会議員　土木経済常任副委員　重広新　福岡県遠賀郡遠賀村大字広渡一六八七	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	330	〔葉書〕	昭和38		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町　吉田徳蔵	当町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	331	〔葉書〕	昭和38		元旦	福岡市上若久町三三九　畠中直次　勤先福岡中央郵便局保険課	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	332	〔葉書〕	昭和38		元旦	戸畑市夜宮町三ノ一天籟荘・東京都新宿区市谷砂土原町三ノ二〇　松本道子	遠賀郡芦屋町大字芦屋粟屋一二〇五　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	333	〔葉書〕	昭和38		元旦	岡山市住吉町二丁目三十七番地　和栗博・菊代ほか3名	福岡県遠賀郡芦屋町　粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	334	〔葉書〕	昭和38		元旦	久留米市櫛原町四丁目　酒井善左衛門・幸子	筑前芦屋町　安高団兵衛様・皆々様	年賀状	葉書	1	下部欠
U	17	335	〔葉書〕	昭和38		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町「マル吉」吉田呉服店　吉井達雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	「マル吉」は「〇」の中に「吉」
U	17	336	〔葉書〕	昭和38		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町　吉永光雄	粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	337	〔葉書〕	昭和38		元旦	福岡県若松市有毛一五九二　松浦猛	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状、旧年教育功労者として文部大臣表彰を受けた事	葉書	1	
U	17	338	〔葉書〕	昭和38		元旦	市川市中山町二ノ五五九　遠寿院住職田中日浄・同祥靖ほか3名	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	339	〔葉書〕	昭和38		元日	大分県宇佐郡安心院町　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	340	〔葉書〕	昭和38		元旦	八幡市本城　小田悟	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	341	〔葉書〕	昭和38	1	元旦	黒山てる	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	342	〔葉書〕	昭和38	1	1	福岡県園芸農業協同組合連合会　大庭善三郎　八幡市折尾局区内本城碇地	芦屋町大字粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	343	〔葉書〕	昭和38		元旦	福岡市警固本通り一丁目二番地三春様方　中村正広・美智子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	344	〔葉書〕	昭和38		元旦	福岡県遠賀郡遠賀川駅前国道筋　木村農機株式会社	芦屋町粟屋安高農園　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	345	〔葉書〕	昭和38	正月	元旦	山本眼科　山本脩一郎　八幡市黒崎町一丁目	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	17	346	〔葉書〕	昭和38癸卯	1	元旦	福岡県遠賀郡芦屋町芦屋　上野武雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	347	〔葉書〕	癸卯〔昭和38〕		元旦	小倉市井堀町一丁目四ノ三　塚原たよ子	遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	348	〔葉書〕	昭和38		元旦	八幡市本城大浦　香山満寿郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	349	〔葉書〕	昭和38		元旦	安高久米吉	本町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	350	〔葉書〕	昭和38	1	元旦	福岡市桑原　重松千歳	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	351	〔葉書〕	昭和38		元旦	東京都武蔵野市緑町公団住宅二六―一〇七　秋山光民	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様・皆様	年賀状、母は伊豆で元旦を迎えた事	葉書	1	
U	17	352	〔葉書〕	昭和38	1	元旦	八幡市古屋敷社宅一一九号　大庭浅男	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	353	〔葉書〕	癸卯〔昭和38〕		元旦	石川重則・浜江	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	354	〔葉書〕	昭和38		元旦	福岡県遠賀郡水巻町頃末　水巻町商工会長　栗川正雄	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	355	〔葉書〕	昭和38		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町　梅林忠春	芦屋町栗(ママ)屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	356	〔葉書〕	昭和38		元旦	八幡市大蔵河内　石松恒芳・周ほか3名	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	357	〔葉書〕	昭和38		元旦	郡内大矢野町　荒井初次・モヱ	福岡県遠賀郡芦屋町栗(ママ)屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	358	〔葉書〕	昭和38		元旦	剣木亨弘・昌子　事務所東京都千代田区永田町参議院会館・福岡事務所福岡市大名八八わこうビル五一〇・自宅東京都港区芝白金今里町三九	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	年賀状、本年の統一地方選挙では福岡県政一新のため最善を尽くす所存の事	葉書	1	
U	17	359	〔葉書〕	昭和38		元旦	平山流舞鶴吟詠会々長　高群花子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	360	〔葉書〕	昭和38		元旦	東京都千代田区神田紺屋町七　株式会社菊本ニツポン服装社	福岡県芦屋町芦屋粟屋　一、二〇五　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	361	〔葉書〕	昭和38		元旦	勤務先筑紫野警察署交通課・住所筑紫郡筑紫野町湯町九組　入江節雄	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	362	〔葉書〕	昭和38		元旦	セト薬局　瀬戸正広・峰子　福岡県芦屋町本町通り	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	363	〔葉書〕	昭和38		元旦	若松市藤木唐戸町　藤吉仁太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	364	〔葉書〕	昭和38	1	元旦	遠賀郡芦屋町　宮本武雄	区内粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	365	〔葉書〕	昭和38		元旦	京都市左京区岡崎西福ノ川二三　森本政次郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	366	〔葉書〕	昭和38		元旦	直方市津田町　合資会社椛田商店	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	367	〔葉書〕	昭和38		元旦	九州女子大学　石橋つもる　八幡市折尾町自由ヶ丘	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	368	〔葉書〕	昭和38	1	1	遠賀郡島津　矢の智	芦屋町大城粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	369	〔葉書〕	昭和38		元旦	佐賀県東松浦郡肥前町　山田屋旅館	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	370	〔葉書〕	昭和38		元旦	宗像郡宗像町城ヶ谷九十六号　安高繁治郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	371	〔葉書〕	昭和38		元旦	遠賀郡別府　永田賀一	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	17	372	〔葉書〕	昭和38		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町山鹿三軒屋　瀬井明生	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	373	〔葉書〕	昭和38		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町　助役熊野太郎	粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	374	〔葉書〕	昭和38		元旦	芦屋町幸町　波田健三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	375	〔葉書〕	昭和38	1	1	福岡県遠賀郡芦屋町山鹿　浜中耕三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	376	〔葉書〕	昭和38		元旦	芦屋町山鹿　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	377	〔葉書〕	昭和38		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町幸町七組入江勝	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	378	〔葉書〕	昭和38		元旦	静岡県伊東市松原区猪戸二の五九三　秋山光見・秋山かめの	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	379	〔葉書〕	昭和38		元旦	有吉みね	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	380	〔葉書〕	昭和38	1	1	本社東京都渋谷区笹塚三丁目二一　西富士観光株式会社　取締役社長内山昌亮	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状、観光会社設立の案内	葉書	1	
U	17	381	〔葉書〕	昭和38		元旦	東京都小平市花小金井南町一丁目一一四　西田広義	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	382	〔葉書〕	昭和38		元旦	遠賀郡岡垣村吉木　広渡成男	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状、退院のお知らせ	葉書	1	
U	17	383	〔葉書〕	昭和38		元旦	東京都港区青山北六丁目三十二番地　白石太基	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	384	〔葉書〕	昭和38	1	1	東京都杉並区天沼一の三九長谷川荘　小松義信・八代子	福岡県遠賀郡芦屋字粟屋　安高団兵衛様	年賀状、結婚のお知らせ	葉書	1	
U	17	385	〔葉書〕	昭和38		元旦	東京都大田区糀谷町二ノ六五三　亀津広門	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	386	〔葉書〕	昭和38		元旦	東京都渋谷東町四ノ四三高野荘　鈴木康治	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	387	〔葉書〕	昭和38		元旦	安高幸治郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	388	〔葉書〕	昭和38		元旦	東京都千代田区神田一ツ橋二丁目九番地教育会館隣　旅館一橋寮	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋一、二〇五　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	389	〔葉書〕	昭和38	1	元旦	芦屋町幸町　安高定十	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	390	〔葉書〕	昭和38	1	1	芦屋町山鹿？？　中西勇雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	391	〔葉書〕	昭和38	1	元旦	宅地・建物取引業　公認立花商会　代表者立花康平　大阪市西成区今池町40番地	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	392	〔葉書〕	昭和38	1	1	福岡県芦屋町一、八四五　久野和英・光枝	町内大城　安高団兵衛先生	年賀状	葉書	1	
U	17	393	〔葉書〕	昭和38		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町　森山武夫	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	394	〔葉書〕	昭和38		元旦	若松市字小竹　中山司	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	395	〔葉書〕	昭和38	1	元旦	福岡県粕屋郡古賀町　長崎秀雄	遠賀郡芦屋町芦屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	396	〔葉書〕	昭和38	1	1	多賀谷久子	芦屋町大城　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	397	〔葉書〕	昭和38		元旦	中間市大辻町　島田マツノ	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	398	〔葉書〕	昭和38		元旦	福岡県遠賀郡遠賀村大字若松小野藤右衛門	芦屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	399	〔葉書〕	昭和38		元旦	遠賀郡芦屋町浜口　皆田ゆきえ	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	400	〔葉書〕	昭和38		元旦	大分県米水津村色利　佐藤弥十	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
U	17	401	〔葉書〕	昭和38	1	2	吉田町宮司国司　竹内小春	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	17	402	〔葉書〕	昭和38		元旦	鳥栖市村田町　宇野得三	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	403	〔葉書〕	昭和38		元旦	秋山光材・孝子　東京都練馬区中村北三丁目七番地	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	404	〔葉書〕	昭和38	9	14	芦屋町粟屋　安高団兵衛	宗像郡宗像町土穴製鉄団地住宅96号　安高繁治郎様	先日の亡母亡姉三周忌法事における御世話の御礼、飼い犬の件について	葉書	1	未投函。U17-404～502紐一括
U	17	405	〔葉書〕	昭和38		元旦	大場一法（福岡県遠賀郡芦屋町正門通り　合資会社テツプタツプ商会）	芦屋町栗（ママ）屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	406	〔葉書〕	昭和38		元旦	遠賀郡岡垣町元松原　広渡素一郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
U	17	407	〔葉書〕	昭和38癸卯	1	6	熊本県阿蘇郡阿蘇町内牧大字栗園　小島頼男	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状の御礼	葉書	1	
U	17	408	〔葉書〕	昭和38	1	9	千葉県市川市真間町一ノ二五二内田権一方　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・りきの様	レントゲン検査の結果は異常なかった事	葉書	1	
U	17	409	〔葉書〕	昭和38	正	7	東京都渋谷区上通一ノ七　大庭勝一	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	寒中見舞い	葉書	1	
U	17	410	〔書簡〕	昭和38	1	8	みち子（Michiko Takeda、Giscome B.C. Canada）	叔父叔母上様（福岡県遠賀郡芦屋町千二百五番地安高団兵衛）	クリスマスカード・叔母様の写真などの御礼、息子の結婚についてほか	紙	1	紙3枚。封筒あり
U	17	411	〔クリスマスカード〕	昭和38	1	元旦	U. Hirowatari and family 740 windsor ave. N. Kamloops B.C. Canada	Mr & Mrs. D. Ataka and family（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛）	年頭挨拶	紙	1	封筒あり。未開封
U	17	412	〔葉書〕	昭和38	厳冬(1)	26	渕上房太郎　東京都中野区昭和通二丁目	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	寒中見舞い、石炭問題について	葉書	1	推定月と日は消印。印刷
U	17	413	〔封筒〕	〔昭和38頃〕			喪主二村寛・妻タカヨ・親族代表二村幸吉ほか4名	（安高団兵衛）	「会葬御礼」と上書あり	封筒	1	
U	17	414-1	〔書簡〕	昭和38	1	18	広渡夫妻より	安高御夫妻様	カナダ・タシメでの戦時中の収容所生活について、カナダの社会保障についてほか	紙	1	紙4枚。U17-414-1～6封筒一括
U	17	414-2	〔写真〕	〔昭和38〕	1		（広渡卯壮）	（安高団兵衛）	裏に「昭和三十七年二月初旬撮影、当地の冬風景　ポーチの西側ツラヽ約五尺位、温度0度位」とあり	写真	1	
U	17	414-3	〔写真〕	〔昭和38〕	1		（広渡卯壮）	安高御家族御中	裏に「昭和三十七年二月初旬撮影、自宅ポーチ前にて。広渡卯壮（75才3ヶ月）、同ゆう61才」などとあり	写真	1	
U	17	414-4	〔写真〕	〔昭和38〕	1		（広渡卯壮）	（安高団兵衛）	裏に「昭和三十七年二月初旬撮影、自宅パウラ室にて、上は貴君の和歌の額、テレビーの上に置くのは日本訪問記念の人形」	写真	1	
U	17	414-5	〔写真〕	〔昭和38〕	1		（広渡卯壮）	（安高団兵衛）	裏に「昭和三十七年二月初旬撮影、自宅北側、私の後は積める薪」などとあり	写真	1	
U	17	414-6	〔写真〕	〔昭和38〕	1		（広渡卯壮）	（安高団兵衛）	裏に「昭和三十七年七月下旬撮影、末子正治二十六才、妻照子二十三才、ハーネームーン（新婚旅行）シヤトル市街上で」とあり	写真	1	
U	17	415	〔葉書〕	昭和38	1	30	鬼津太田秀夫	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年始状の御礼、亡父三年忌の案内	葉書	1	
U	17	416	〔葉書〕	昭和38	1		福岡県遠賀郡遠賀村　福岡県議会議員・自由民主党県連組織委員長　三原朝雄・満寿枝	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	喪中欠礼	葉書	1	
U	17	417	〔葉書〕	昭和38	2	15	八幡市陣ノ原新地中　安高正義	遠賀郡芦屋町粟屋　安高リキノ様	費用支払いなどについて	葉書	1	日は消印
U	17	418	〔葉書〕	昭和38	2	14	東京都千代田区神田紺屋町七株式会社菊本ニッポン服装社菊本実	福岡県芦屋町粟屋一、二〇五安高団兵衛様	末弟誠様御卒業につき御祝、服装新調の御下命の御礼ほか	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	17	419	〔覚書〕	昭和38	2	19		(安高団兵衛)	牛乳統計資料などについて	紙	1	
U	17	420	〔葉書〕	昭和38	2	18	千葉県市川市真間町一ノ二五二　内田権一方　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・りきの様	主に奈良・京都を見て帰省する事ほか	葉書	1	
U	17	421	〔葉書〕	昭和38	2	27	久留米市櫛原町四丁目　酒井幸子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	名古屋次男の嫁が当方で御産するにつき亡父祥月命日には仏参できざる事ほか	葉書	1	
U	17	422	〔葉書〕	昭和38	2	20	遠賀郡遠賀村鬼津　喪主二村寛・妻タカヨ・親族代表二村幸吉ほか4名	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	亡父寛一葬儀会葬の御礼	葉書	1	印刷
U	17	423	三月健康講座御案内	昭和38	3	15	福岡市大宮二丁目四―十三　福岡健康会館　館主　西医学一級司教　水足実好	遠賀郡芦屋町大字芦屋　字粟屋一二〇五　安高団兵衛様	講師・演題などにつき	葉書	1	印刷
U	17	424	〔葉書〕	昭和38	3	14	福岡県筑紫郡春日町　自衛隊第十九普通科連隊二中隊　安高秋生	福岡県遠賀郡芦屋町栗(ママ)屋　安高団兵衛様	入隊時の餞別の御礼	葉書	1	日は消印
U	17	425	〔葉書〕	昭和38	3	14	静岡県伊東市松原猪戸二ノ五九三　秋山光見	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	手紙の御礼	葉書	1	日は消印
U	17	426	〔葉書〕	昭和38	3	13	岡垣村野間　辻方明	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	先日旅行の際の御世話などの御礼、松苗注文の件について	葉書	1	
U	17	427	福岡県知事候補鬼丸勝之選挙事務所開き御案内	昭和38	3	19	自由民主党福岡県支部連合会選挙対策本部長　石井光次郎・自由民主党福岡県支部連合会会長　簡牛凡夫・鬼丸勝之後援会	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	日時・住所などについて	葉書	1	印刷
U	17	428	〔葉書〕	昭和38	3	28	長崎県佐世保市相ノ浦局区内相ノ浦部隊第三二三中隊二区隊一班　安高秋生	福岡県遠賀郡芦屋町栗(ママ)屋　安高団兵衛様	福岡部隊より相ノ浦部隊へ移転につきお知らせ	葉書	1	
U	17	429	〔葉書〕	昭和38	4	6	福岡市千早一の十一　福岡県警察学校三号室　安高保人詞	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	福岡県警察学校入学につきお知らせ	葉書	1	日は消印
U	17	430	〔葉書〕	昭和38	4	6	自由民主党公認　福岡県議会議員候補　三原朝雄	芦屋町粟屋　安高国(ママ)兵衛様	知事選挙御支援願い	葉書	1	印刷
U	17	431	福岡県知事並びに県議選挙結果通知	昭和38	4	18	自由民主党芦屋支部	粟屋　安高団兵衛殿	県知事選挙は候補者落選の事ほか	葉書	1	印刷
U	17	432	〔葉書〕	昭和38	4	21	北九州市小倉区篠崎字朝倉1551の10　森川団地安川電機小倉寮　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	印鑑証明送付願いほか	葉書	1	
U	17	433	町議立候補に当つて	昭和38	4	25	浜口　福原泰助	町内粟屋下組　安高団兵衛様・御一同様	町政の施政方針について	葉書	1	印刷
U	17	434	〔葉書〕	昭和38	4	23	町議会議員候補　自民党地方指導員　坂田熊一	芦屋町粟屋下組　安高団兵衛様・御家族御一同様	投票願い	葉書	1	印刷。日は消印
U	17	435	〔葉書〕	昭和38	4	25	芦屋町婦人会長　吉永サイ	芦屋町粟屋　婦人会支部長　高松キヌ様	町長候補個人演説会開催につき御支部より数人御出席願い	葉書	1	日は消印
U	17	436	立候補の挨拶	昭和38	4	25	遠賀郡芦屋町柏原　芦屋町議会議員候補　吉田惣太		選挙御支援願い	葉書	1	印刷
U	17	437	〔葉書〕	昭和38	4	23	重岡生(芦屋町議会候補重岡重俊)	芦屋町粟屋　安高団兵衛様・御家内皆様	候補者略歴、推薦の言葉など	葉書	1	印刷
U	17	438	〔葉書〕	昭和38	4	26	町会議員立候補者　藤江品十	町内粟屋　安高団兵衛様	選挙御支援願い	葉書	1	印刷
U	17	439	〔覚書〕	〔昭和38頃〕			正義	父上様	痰の検査の件、芦屋行き等は控え福山医院で決めたように養生され度事	罫紙	1	手帳の罫紙を使用
U	17	440	〔葉書〕	昭和38	3	23	福岡県知事候補者　鬼丸勝之	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様・御家族御一同様	選挙御支援願い	葉書	1	月日は消印
U	17	441	〔葉書〕	昭和38	5	3	アシヤ町　吉田徳壮	当町粟屋　安高団兵衛殿	俵山温泉での養生に同伴致し度事	葉書	1	
U	17	442	〔葉書〕	昭和38	5	1	東京都練馬区中村北三ノ七　秋山光材	福岡県遠賀郡芦屋局区内粟屋　安高団兵衛様	帰省予定について	葉書	1	
U	17	443	〔葉書〕	昭和38	5	憲法記念の日(3)	筑前芦屋町　重岡重俊	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	町議選落選につきお詫び	葉書	1	印刷

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	17	444	〔葉書〕	昭和38	5	7	遠賀郡岡垣村元松原　広渡重信・睦子（旧姓八尋）	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	結婚のお知らせ	葉書	1	印刷
U	17	445	〔葉書〕	昭和38	5	21	熊本県天草郡大矢野町中江後西山ユキ子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高藤吉様	無事帰宅につきお知らせほか	葉書	1	日は消印
U	17	446	〔葉書〕	昭和38	5	30	遠賀郡尾崎　広田市子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	写真などの御礼	葉書	1	日は消印
U	17	447	〔葉書〕	昭和38	6	21	遠賀村尾崎　広田上枝	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	加藤医院にて撮影の写真の御礼	葉書	1	
U	17	448	〔葉書〕	昭和38	6	10	東京都港区青山南町六の五〇　大庭勝一	福岡県芦屋町栗（ママ）屋　安高団兵衛様	転居通知	葉書	1	日は消印
U	17	449	〔葉書〕	昭和38	7	2	芦屋市場　北村志賀	芦屋町内粟屋　安高団兵衛様	安否お知らせ願い、競艇場には御出になっていることを聞き安心した事	葉書	1	
U	17	450	〔葉書〕	昭和38	7	17	町内一舟　渡辺新平	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	敬老会は欠席の事、野菜の御礼ほか	葉書	1	日は消印
U	17	451	〔葉書〕	昭和38	盛夏(7)	19	太宰府天満宮指定　太宰府町北神苑　吉村茶店	遠賀郡芦屋町大字芦屋栗（ママ）屋一二〇五番地　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	
U	17	452	〔葉書〕	昭和38	盛夏(7)	16	旅館九州　陣場正輝・トキエ　東京都新宿四ツ谷一丁目八番地	福岡県遠賀郡芦屋栗（ママ）屋一二〇五　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	17	453	〔葉書〕	昭和38	盛夏(7)	21	筑紫郡春日町　福岡部隊第十九連隊重迫中隊　安高秋生	遠賀郡芦屋町栗（ママ）屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	17	454	〔葉書〕	昭和38	盛夏(7)	22	小倉区井堀町一丁目四ノ三　塚原たよ子	遠賀郡芦屋町字粟屋一、二〇五　安高団兵衛様	暑中見舞い、秋山先生の墓所の件につき御礼	葉書	1	日は消印
U	17	455	〔葉書〕	昭和38	7月盛夏	22	名島　桑原勇吉	福岡県芦屋町栗（ママ）屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	17	456	〔葉書〕	昭和38	盛夏(7)	24	芦屋町長　中西森之助	町内粟屋　安高団兵衛殿	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	17	457	〔葉書〕	昭和38	盛夏(7)	24	福岡県遠賀郡芦屋町　森山武夫	町内粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	17	458	〔葉書〕	昭和38	7	24	北九州市小倉区香春口六丁目東亜工業株式会社　取締役社長樋口宗利・同専務藤原弘	遠賀郡芦屋町大字芦屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	17	459	〔葉書〕	昭和38	盛夏(7)	24	北九州市若松区浜二番町二丁目　津山つる	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	17	460	〔葉書〕	昭和38	盛夏(7)	26	北九州市八幡区本町五丁目　大安工業株式会社　安高正義	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	17	461	〔葉書〕	昭和38	7月盛夏	28	北九州市若松区藤の木唐戸町　藤吉仁太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い、故橋本順五郎七回忌追悼会について	葉書	1	日は消印
U	17	462	〔葉書〕	〔昭和38〕	盛夏		福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋東町　福原勇	町内粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	絵葉書	1	「はねそ踊り（福岡県指定文化財）」の絵葉書
U	17	463	〔葉書〕	昭和38	盛夏(7)	25	全味号味噌醸造機一般専門設計製作　株式会社東京味噌醸造機製作所・新全味号精機工業株式会社　東京都港区芝金杉浜町三五番地	福岡県遠賀郡芦屋町栗（ママ）屋一、二〇五　安高団兵衛殿	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	17	464	〔葉書〕	昭和38	盛夏(7)	28		福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	暑中見舞い、今年の夏は帰省できない事	葉書	1	日は消印
U	17	465	〔葉書〕	昭和38	7	31	福岡県遠賀川駅（国道筋）　木村農機株式会社	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	
U	17	466	〔葉書〕	昭和38	7	晦日	八幡区河内　石垣恒芳	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	
U	17	467	〔葉書〕	昭和38	盛夏(7)	30	久留米市櫛原町四丁目　酒井善左衛門・幸子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	推定月と日は消印
U	17	468	〔葉書〕	昭和38	盛夏(7)	31	岡部得三　北九州市若松区下原町六ノ二	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	暑中見舞い	葉書	1	推定月と日は消印
U	17	469	〔葉書〕	昭和38	盛夏(8)	1	福岡県議会議員　三原朝雄　福岡県遠賀郡遠賀村	郡内芦屋町粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	推定月と日は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	17	470	〔葉書〕	昭和38	8	2	福岡県遠賀郡芦屋町　梅林忠春	町内栗屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	
U	17	471	〔葉書〕	昭和38	8	1	安心院町竜王　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町字栗屋　安高団兵衛兄	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	17	472	〔葉書〕	昭和38	8	1	東京都練馬区中村北三ノ七　秋山光材	福岡県遠賀郡芦屋局区内栗屋　安高団兵衛様	帰省予定についてほか	葉書	1	
U	17	473	〔葉書〕	昭和38	7	31	東京都練馬区下神井二ノ一、一〇八　秋山光一	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	暑中見舞い、6月より母を預かって居る事	葉書	1	月日は消印
U	17	474	〔葉書〕	昭和38	盛夏(8)	3	衛生工事サービス・公認清掃運輸　北九州市八幡区中央町四番地の四（1丁目）　株式会社　重岡組　代表取締役　重岡重俊　遠賀郡芦屋町局410	芦屋町栗屋　安高団兵衛殿	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	17	475	〔葉書〕	昭和38	8	4	福岡市簀子町　高群花子	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	暑中見舞い、6月上旬は北海道旅行をした事ほか	葉書	1	
U	17	476	〔葉書〕	昭和38	盛夏(8)	6	北九州市小倉区京町十一　秋枝正助	遠賀郡芦屋町栗屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	月日は消印
U	17	477	〔葉書〕	昭和38	8	5	北九州市小倉区日明上の原　佐藤作一様方　牛島貞己・恵美子	遠賀郡芦屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	17	478	〔葉書〕	昭和38	盛夏(8)	7	福岡県遠賀郡芦屋町　浜中茂足・桂子	町内栗屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	推定月と日は消印
U	17	479	〔葉書〕	昭和38	8	6	浮羽郡浮羽町御幸通り　古賀時枝・こずえ	遠賀郡芦屋町栗（ママ）屋　安高団兵栄（ママ）様	暑中見舞いの御礼	葉書	1	
U	17	480	〔葉書〕	昭和38	盛夏(8)	8	芦屋町中小路　和田友秀	町内栗屋屋上　安高団兵衛殿	暑中見舞い	葉書	1	
U	17	481	〔葉書〕	昭和38	盛夏(8)	8	遠賀郡芦屋町山鹿　瀬井明生	町内栗屋　安高団兵衛殿	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	17	482	〔葉書〕	昭和38	盛夏(8)	9	北九州市戸畑区夜宮町三ノ一天籟荘　松本道子	遠賀郡芦屋町大字芦屋字栗（ママ）屋1205　安高団兵衛様	暑中見舞い、七郎は9月党代表として朝鮮民主主義共和国を訪問する事	葉書	1	日は消印
U	17	483	〔葉書〕	昭和38	盛夏(8)	11	直方市上頓野出口　石橋良之	遠賀郡芦屋町栗屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	17	484	〔葉書〕	昭和38	8	12	福岡市白金一丁目十二街区七号　伊豆清	遠賀郡芦屋町栗屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
U	17	485	〔葉書〕	昭和38	盛夏(8)	12	参議院議員米田正文　東京都世田谷区玉川田園調布二ノ七二六（福岡市須崎土手町二十番地永島ビル二階米田国土建設研究所九州支所）	遠賀郡芦屋町栗（ママ）屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	
U	17	486	〔葉書〕	昭和38	8	11	東京都港区芝神谷町六　神谷莞爾	福岡県芦屋町栗屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	
U	17	487	レントゲン実施について	昭和38	8	21	芦屋町母子健康センター	芦屋町栗屋　安高団兵衛殿	検査日時・場所などについて	葉書	1	日は消印
U	17	488	〔葉書〕	昭和38	盛夏(8)	20	東京都港区青山南町六の五〇　大庭勝一	福岡県芦屋町栗屋　安高団兵衛様	暑中見舞い、移転につき新住所お知らせ	葉書	1	日は消印
U	17	489	〔葉書〕	昭和38	9	23	福岡県遠賀郡芦屋市場　父松浦藤右衛門・外親族一同	（安高団兵衛）	長女寿枝儀葬儀会葬の御礼	葉書	1	封筒あり
U	17	490	〔葉書〕	昭和38	8	22	東京都港区青山南町五ノ四五番地・北九州市小倉区香春口岩井ビル内　衆議院議員　有馬英治	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	残暑見舞い	葉書	1	日は消印
U	17	491	〔葉書〕	昭和38	8	28	宗像郡宗像町城ヶ谷A団地九六号　安高繁治郎	遠賀郡芦屋町栗屋　安高団兵衛様	亡妻すま子13年法要の案内	葉書	1	
U	17	492	〔書簡〕	昭和38	10	1	郵政省簡易保険局長　田中鎮雄	安高団兵衛様	団兵衛・リキノ簡易保険満期につき保険金など支払について	紙	1	印刷。封筒あり
U	17	493	〔封筒〕	〔昭和38〕	10		芦屋郵便局	安高団兵衛様	簡易保険満期につき14,950円支払	封筒	1	
U	17	494	〔葉書〕	昭和38	10	7	新宿区四ッ谷一ノ八　陣場トキヱ	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	御手紙拝見の事ほか	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	17	495	〔葉書〕	昭和38	9	13	神武天皇社放生会祭典当番　金屋区	粟屋　神武天皇社奉賛会、安高団兵衛殿・外御一同殿	神武天皇社放生会祭典執行につきお知らせ	葉書	1	印刷
U	17	496-1	〔葉書〕	昭和38	10	14	遠賀郡芦屋町大城　喪主小田稔之・外親族一同	町内粟屋　安高団兵衛様	亡長女睦美葬儀会葬の御礼	葉書	1	U17-496-1、2封筒一括
U	17	496-2	〔葉書〕	昭和38	10	14	芦屋町社会福祉協議会　中西森之助		小田睦美殿葬儀御香典返しとして小田稔太殿より寄付金受取の事	葉書	1	
U	17	497	〔葉書〕	昭和38	10	24	身障会　国岡実	町内粟屋　安高団平様	旅行の写真送付願い	葉書	1	
U	17	498	お知せ	昭和38	10	22	三原朝雄後援会	芦屋町粟屋下　安高団兵衛殿	三原朝雄選挙事務所開設のお知らせ	葉書	1	
U	17	499-1	〔講演案内〕	昭和38	11	15	主催全薬パワーライン北九州支部（福岡県芦屋町セト薬局）	町内粟屋　安高団兵衛様	人間医学社々長大浦孝秋先生講演につき	紙	1	印刷。U17-499-1、2封筒一括
U	17	499-2	成人病予防大講演会招待券	〔昭和38〕	11		主催全薬パワーライン北九州支部（福岡県芦屋町セト薬局）		人間医学社々長大浦孝秋先生講演	紙	1	
U	17	500	〔葉書〕	昭和38	12	13	福岡県遠賀郡岡垣町野間　喪主辻守荘・親族総代広渡清・同高山伝吉ほか2名	（安高団兵衛）	亡父泰平葬儀会葬の御礼	葉書	1	封筒あり
U	17	501	〔葉書〕	昭和38	12	12	東京都練馬区中村北三ノ七　秋山光材	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	御令息成婚の御祝い、法輪寺本年度補助金170円の納金の件ほか	葉書	1	
U	17	502	〔葉書〕	昭和38	12	16	岡垣村元松原　広渡一敬	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	写真送付などの御礼	葉書	1	日は消印
U	18		特別大演習写真帖	大正15						アルバム	1	
U	19		参考綴	大正8	11	20以降			目次1～174　農作業・届出の書き方、図書館目録他多種	書冊	1	高島屋紙袋入れ、紙袋括り
U	20		撮影記録	昭和31	8	15			フジカカメラ　昭和31年8月15日～昭和39年7月28日、第1号～第6号。オリンパス・ペン・S　昭和37年7月6日～昭和39年7月28日、第1号～第3部～第2号。フジカカメラ5、6号はオリンパス・ペン・Sの記録帳裏側にあり、U21以降のカード〔写真〕の番号と対応する（このカード裏面に事例図あり	手帳ノート	25	名刺、電報他、挟込あり
U	21		〔写真〕	昭和38	7	28			ネガとプリント16袋（オリンパス第18番～第38番　欠番20・21・32・33・36）プリントのみの袋5。〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり	紙箱）	1	～昭和39年9月14日。長岡交配の箱
U	22		〔写真〕	昭和39	8	12			プリントのみ、オリンパス第36、39カ・40～49番　12袋。〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり	紙箱	1	～昭和40年5月。（趣味の陶器の箱）
U	23		〔写真〕						（ネガのみ）7本35ミリ第2番・フジカ第28・53・54・56・57、（プリントのみ）第48番　1袋、（ネガとプリント）第42・46・55・59・60・61・62・63号　計8袋。〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり	ビニール袋	1	
U	24		〔写真〕	昭和37～38					（ネガのみ）オリンパス第3～16番　17本、（ネガとプリント）オリンパス第17番　1袋、常陸丸の供養祭4袋、写真を再度撮影分1袋、石川町長50年祭2袋。〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり	ビニール袋	1	
U	25		〔写真〕	昭和38					（プリントのみ）オリンパス第10～16番　8袋。〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり	ビニール袋、茶紙紐括り	2	
U	26		〔写真〕	昭和37					（ネガのみ　第39番・不明　2本　結婚式、安高誠大学生、楠家由緒他、プリント5枚、その他一紙あり。〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり	ビニール袋	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	27		〔写真〕	昭和39	10	8			安高隆盛（二男）結婚式（プリント3袋、ネガ1本）、結婚式関係メモ。〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり	ビニール袋	1	
U	28		〔写真〕	昭和38					（ネガのみ）オリンパス第20・21番2本、（ネガ・プリント）常陸丸殉難勇士供養祭〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり			
U	29		〔写真〕	昭和38					（プリントのみ）フジカ第59番　1袋、（ネガ・プリント）2袋、常陸丸殉難勇士供養祭、結婚式、その他プリント、空袋4〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり			
U	30		〔写真〕	昭和39					（プリントのみ）オリンパス第35号、39号、2袋、苗取り、畑、山笠、太宰府旅行他のプリント、21袋、その他のメモ、空袋〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり	紫紙紐括り	1	
U	31		〔写真〕	昭和40					（プリントのみ）オリンパス第50～54番、黒田長礼公夫妻神武天皇社参拝～芦屋町山麓海岸通路他、6袋〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり	ビニール袋	1	明糖の白砂糖のビニール袋
U	32		〔写真〕	昭和39、40					（ネガのみ）オリンパス第40番～54番、欠番48番・14本、その他幼児等のネガ1本〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり	ビニール袋入	1	
U	33		〔ネガケース〕						空のネガケース　24本	紙箱入	1	
U	34		〔写真〕						道路と碑の前での写真ネガ1本、空のネガケース11本〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり	ビニール袋入	1	
U	35		〔写真〕	昭和39					（ネガ・プリント）オリンパス第32・33番2袋、奉賛会関係の文書暴力・貼紙・門の扉にマジック書他、常陸丸殉難勇士供養祭〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり			
U	36		〔写真〕	昭和37					東京修学旅行（静江）・農園風景・防風生垣、石川町長50年祭他、プリント6袋〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり	ビニール袋入	1	
U	37		〔写真〕	昭和37					（プリント）フジカ第57・58番、耶馬渓羅漢時・菊人形他　2袋、常陸丸殉難勇士60周年祭　2袋、（ネガ・プリント）日光いろは坂1袋（さくらカラープリントの紙袋入）。〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり			
U	38		〔写真〕	昭和37					（ネガ・プリント）オリンパス第1～2番ネガ3本プリント4袋、畑・自宅・海水浴他。〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり	紙袋入	1	
U	39		〔写真〕	昭和37・38					（プリントのみ）オリンパス第3～9番の2、欠番6の1、8袋、畑・運動会・戦没者慰霊塔工事から完成まで他〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり	紙袋入	1	（欠番6の1はU40にあり）
U	40		〔写真〕	昭和37	11				（プリントのみ）オリンパス第6番の1、若戸大橋・老人学級高砂会　他、U39欠番分〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり		1袋	
U	41		〔写真〕	昭和37	7				（ネガのみ）フジカ第48番　1本、（ネガとプリント）フジカ第49～52番　4袋、（プリントのみ）フジカ第53、54、56番（55欠番）3袋、若松戸畑両市慰霊祭祝祭。〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり			～昭和37年10月19日
U	42		〔写真〕	昭和37	3	15			（プリントのみ）フジカ第46番　1袋、（ネガとプリント）フジカ第39～47番（欠番42）　8袋〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり	紙袋	1	～昭和37年7月14日。茶色の紙袋入

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	43		〔写真〕	昭和36	3	23			(ネガとプリント)フジカ第1～22番　22袋〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり	紙袋	1	～昭和36年9月14日。茶色の紙袋入、その他空封筒あり
U	44		〔写真〕	昭和40	5	15			(ネガのみ)オリンパス第48番　1本、(あしや国民宿舎分)フジカ第64番　1本、ヤシカ第1～11番　11本、(ネガとプリント)家族の写真1本、空袋1本、富士フィルムの紙記入〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり	紙袋	1	
U	45		〔写真〕	大正8	10	31	大正5年12月1日入営　輜重兵第12大隊	第一中隊大正8年11月20日満期兵	昭和36年5月8日付朝日新聞で包む・紅白の紙紐で括る	写真	1	
U	46		〔写真〕	昭和36	9	21			(プリントのみ)フジカ第28番　1袋、(ネガとプリント)フジカ第23～38番　17袋〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり	紙袋	1	
U	47	1	〔写真〕	大正3					大正3年　妻リキノ吉木尋常高等小学校卒業式、岡湊神社社殿建築落成記念、妻リキノと男性正装写真、昭和10年3月10日　在郷軍人会総会、大統社関係写真	写真	5	
U	47	2	〔写真他〕						明治神宮御本殿・明治天皇・皇后陛下　1枚、4年式15珊榴弾砲　2枚、「国民精神作興詔書」　1枚			
U	47	3	〔卒業証書・賞状他〕	昭和9	7	31			昭和9年7月31日　賞状　安高エミ子　1枚 昭和14年3月20日　卒業証書　安高恵美子　1枚 同上　同上　安高隆盛　1枚 昭和22年10月8日・昭和25年11月3日　感謝状　安高団兵衛　2枚			
U	48		〔写真〕	昭和41	7				九大病院入院関係多し、ヤシカカメラ第14・15番のネガその他のネガ計4本、西日本新聞昭和41年「縄文から維新まで」他の切抜の挟込あり	アルバム	1	～昭和41年12月
U	49		〔写真〕	昭和36	11	26			昭和36年11月26日岡垣村保安林から芦屋飛行場、昭和37年4月16日金台寺、昭和39年9月13日あしや国民宿舎よりの全景防風林全景、芦屋町全景・戦没者慰霊塔その他〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり	写真	多数	
U	50		〔写真〕						(プリントのみ)山と海(芦屋町カ)フジカ第64番　1袋、昭和40年10月9日～昭和40年11月3日、高倉神社直会・運動会・かん水風景～あしや国民宿舎、安高氏の家・田んぼ・老人クラブ他、ヤシカ第2～4番　4袋〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり	ビニール袋	1	
U	51		〔写真〕						(プリントのみ)昭和41年4月5日山鹿白山神社祭典・直会　5袋、昭和41年4月12日山鹿大君大師堂　1袋、芦屋競艇場・安高リキノ(68才)・加藤医院他カラー写真　4袋	紙袋	1	
U	52		〔写真〕						(プリントのみ)昭和40年11月3日岡湊神社小学校同窓会・松口月城他、昭和40年11月21日芦屋基地開庁5周年記念式典、昭和41年1月8日水くきうた会・明治42年入学同窓会他、昭和41年1月21日天草明美結婚関係他、ヤシカ第6～10番　5袋	ビニール袋	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	53		〔写真〕						(プリントのみ)昭和32年6月25日　野田繁治郎夫妻・田畑他、昭和33年3月22日　四国天満頼夫氏方他、奉賛会関係抗議文貼紙(長野政八宛)、昭和38年9月19日黒田清綱公和歌短冊集写真・結婚式・土砂くずれ他、1枚づつの写真18枚、その他葉書1枚写真注文メモあり〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり	紙袋	13袋	
U	54	1	〔写真〕						(プリントのみ)昭和40年11月21日芦屋基地開庁5周年記念式典カ、昭和41年1月21日黒崎中央パーキング有料駐車場、同窓会・安高氏自宅・家族写真他　計3袋	ビニール袋、ママ印の砂糖ビニール袋入	1	
U	54	2	議会報告	昭和40	6	2	発行者　谷　幸道		第12号・ガリバン刷	一紙	2	
U	55		〔写真〕						(プリントのみ)昭和37年12月10日戦没者慰霊塔除幕式、昭和38年12月18日石川町長50年祭碑建立祭、昭和39年10月24日海苔養殖場、その他畑・家族・常陸丸殉難勇士の供養祭他　計5袋 〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり	ビニール袋	1	
U	56		〔ガラス乾板・写真〕	昭和19	3	26			神武天皇像奉載記念写真1枚、ガラス原板1枚	紙箱	1	
U	57		〔写真〕						(プリントのみ)昭和41年5月7日ナイキ施設完成記念、昭和41年6月4日あしや水くき和歌会・山鹿兵藤次秀遠之城址・自動車トヨペット、戦没者慰霊塔全景他　その他転入届・手紙の下書あり 〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり	紙袋、フジカラーの紙袋	1	
U	58		〔写真〕						(ネガとプリント)昭和40年11月15日旅行カラー1袋、(プリントのみ)畑・隆盛モモヨ結婚式・広渡重信結婚式・運動会・青果市場・旅行・山笠他、昭和32年9月30日農業労働者慰労・個人別もあり、昭和33年9月8日扇谷氏関係(渡米分)、昭和38年7月14日奉賛会関係貼紙〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり	紙袋	21	空袋2
U	59		〔写真〕	昭和41	4	17			(ネガのみ)1本、(ネガとプリント)競艇場前無料駐車場・農場労働者・敬老会・ナイキ施設完成記念・芦屋水くき和歌会関係・輜友会・自動車(トヨペット)・慰霊塔・安高リキノ他、ヤシカ第12～14番、その他空のネガケース6本			～6月18日
U	60		〔写真〕						(プリントのみ)昭和38年9月19日黒田清綱公和歌集、昭和38年10月4日あたか農園大根洗い、昭和38年10月6日あしや水くき会関係・神武天皇社前・岡沢麟太郎氏(91才)・児童福祉施設福智寮他、オリンパス第20・21番〔参照〕U20の袋に撮影記録帳あり	紙袋	2	
U	61	1	〔絵葉書〕				濱田書画堂(熊本市西通町)		「昭和6年11月陸軍特別大演習実況　熊本県下に於て」	絵葉書	8	封筒あり
U	61	2	〔絵葉書〕						「野戦重砲兵第五聯隊　営門」	絵葉書	1	
U	61	3	〔絵葉書〕	〔昭和5・6〕					「安芸厳島」〔厳島神社絵葉書〕	絵葉書	10	
U	61	4	帝国軍艦六十隻出動　大海戦カード	昭和5	9	1			『日本少年　第25巻第9号』附録	カード	12	カードケース入り

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
U	61	5	乃木大将旧邸址	大正13	11	15	乃木神社々務所　発行		27頁	書冊	1	腐蝕につきホチキスはずす
U	61	6	長門壇の浦案内記　源平戦争略記						観光パンフレット	紙	1	
U	62		〔写真〕						(プリントのみ)ヤシカ第1番11番　2袋、昭和40年9月～昭和41年3月、志賀海神社・志賀島国民休暇村、安養寺・太田秀雄三女結婚式・あたか農園他、(その他)安高氏自宅及びその周辺・家族・敬老会・選挙他　4袋			
U	63		〔フィルム〕						SAKURA　FILMのケース入　テープで封をした状態		1	
U	64		〔新聞綴〕	昭和11	1	21～25	福〔(新聞)〕カ		ラジオ番組・茶の湯釜・ヴィタミンと加熱の度の記事あり	新聞綴	1	
U	65		〔狂歌書上げ〕						或人江戸より狂歌御送り候之内	継紙	1	継はずれ
U	66		埋葬認可証	昭和10	2	11			安高宇多子　昭和9年11月1日生れ	一紙	1	
U	67		第二期種痘済証	昭和7	4	28		安高正義　大正12年3月生		一紙	1	
U	68		〔ラジオ体操・テスト用紙〕						ラジオ体操順序図(ガリバン刷)、算数テスト1年アタカタカモリ	一紙	2	
U	69		在米本田仙兵衛氏ニ出ス書状文面控	昭和8	10	7	栗屋正交会々長本田豊吉　外会員一同	本田仙兵衛		書冊	1	
U	70		〔役割分担並びに配置図メモ〕						主任・購買・販売・穀物等の担当人名メモあり	一紙	1	
U	71		〔区長代理当選通知書〕	大正11	10	2	芦屋町長　下郡一成	安高福蔵		一紙	1	
U	72		農業調査耕地票	昭和4	9	1現在	内閣統計局		30枚記入済・1枚白紙	一紙	31	吉田呉服店の一部入金の記用紙に包む
U	73		売買届	昭和7	3		売渡人安高幸治郎	芦屋町長小田利三郎		一紙	1	
U	74		自転車表	昭和3	4	16			(第21～28)摘要・行先・里程・費用の一覧表	一紙	5	～昭和4年5月11日
U	75		農友会の精神と流義	昭和9	5	10	松田喜一		印刷物	一紙	1	
U	76		防護計画書						ガリバン刷	書冊	1	綴じはずれ
U	77		帝国在郷軍人芦屋町分会規約	昭和8	4改正					書冊	1	
U	78		昭和十年度市町村予算概覧	昭和10	7刊行		福岡県総務部統計課			一紙	1	
U	79		〔芦屋町勢要覧・教育要覧〕	〔昭和11年度〕					表紙紛失・ガリバン刷	書冊	1	綴じはずれ
U	80		現金受払簿	昭和9年度分			芦屋町養蚕実行組合			書冊	1	
V	1	1	〔葉書〕				阿蘇郡地獄温泉ヨリ　矢野藤五郎	安高団兵衛	12月24日より阿蘇郡地獄温泉場へ入浴、17日間くらいで帰る予定。付箋あり「大正10年度来信」	葉書	1	
V	1	2	〔葉書〕				伊万里町一番ヶ瀬医院内　成守源太郎	安高団兵衛	大庭長次郎殿の住所を教えてほしい	葉書	1 1	
V	1	3	〔葉書〕				八幡市通町12丁目　藤原靴店	安高団兵衛	し尿くみ取り願	葉書	1	
V	1	4	〔葉書〕	〔大正10〕	〔12〕	〔17〕	騎兵12ノ2ノ1　二等卒ノ進	安高団兵衛・同幸次郎大兄	郷地に異変の節は、即時お知らせありたし	葉書	1	
V	1	5	〔葉書〕	〔大正10〕	〔12〕	〔12〕	山口県豊浦郡安岡村大字横野田中豊	安高団兵衛	昨今は促成栽培に従事	葉書	1	
V	1	6	〔葉書〕	〔大正10〕	12	11	北方騎兵第12聯隊　小野進	安高団兵衛・同幸次郎兄	入営の礼と挨拶	葉書	1	
V	1	7	〔葉書〕				呉市宮原村下室瀬133ノ3　米田増太郎	安高団兵衛	大いに勉強致し居り	葉書	1	
V	1	8	〔葉書〕	〔大正10〕	〔12〕	〔4〕	八幡市通町12丁目　藤原靴店	安高団兵衛	し尿くみ取り願	葉書	1	
V	1	9	〔葉書〕				北方輜重兵第12大隊　本田昇	安高団兵衛	御来隊の折の礼	葉書	1	
V	1	10	〔葉書〕	〔大正10〕	11	26	北方輜重兵第12大隊　尾家信介	安高団兵衛	面会と芳志への礼	葉書	1	
V	1	11	〔葉書〕	〔大正10〕	〔11〕	〔28〕	宮崎県西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	安高団兵衛	家内一同達者にてご安心を	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	1	12	〔葉書〕	〔大正10〕	〔11〕	28	西松浦郡伊万里町一番瀬病院内　成守源太郎	安高団兵衛	見舞状の礼	葉書	1	
V	1	13	〔葉書〕	〔大正10〕	11	14	粕屋郡山田村字山田　河辺金吾	安高団兵衛	郡競犁会は盛大に挙行、牛馬耕の研究は裏作の増収に重大な関係あり	葉書	1	
V	1	14	〔葉書〕	〔大正10〕	〔11〕	23	西松浦郡伊万里町一番瀬病院内　成守源太郎	安高団兵衛	再入院の知らせ	葉書	1	
V	1	15	〔葉書〕	〔大正10〕	11	4	豊前宇佐郡和間村西大堀　松原敏夫	安高団兵衛	写真のお礼	葉書	1	
V	1	16	〔葉書〕	〔大正10〕			入野村字入野　成守源太郎	安高団兵衛	入院の見舞状の礼	葉書	1	
V	1	17	〔葉書〕	〔大正10〕	10	27	福岡日日新聞社販売部	安高団兵衛	新聞代金請求	葉書	1	印刷物
V	1	18	〔葉書〕	〔大正10〕	〔10〕	〔24〕	八幡市通町12丁目　藤原靴店	安高団兵衛	し尿汲み取り願	葉書	1	
V	1	19	通知状	大正10	10	11	遠賀郡進農会	安高団兵衛	遠賀郡進農総会通知状	紙	1	
V	1	20	〔葉書〕	〔大正10〕	〔10〕	〔18〕	福岡日日新聞社販売部	安高団兵衛	新聞代金請求	葉書	1	印刷物
V	1	21	〔葉書〕	〔大正10〕	10	9	呉市外吉浦町西濱　米田増太郎	安高団兵衛	時候挨拶	絵葉書	1	「飛行中のルローン百二十馬力　富士第一号」民間飛行家後藤勇吉氏郷土訪問飛行のスタンプあり
V	1	22	〔葉書〕	〔大正10〕	11	15	竜王村　中村藤次郎	安高団兵衛	手紙の礼	葉書	1	
V	1	23	〔葉書〕	〔大正10〕	10	15	芦屋町　林新聞舗本店	安高団兵衛	宮日祭（おくんち）の案内	葉書	1	
V	1	24	〔葉書〕	〔大正10〕	〔10〕	〔16〕	小倉市外北方新町桜屋旅館内千田少尉	安高団兵衛	手紙の礼	葉書	1	
V	1	25	〔葉書〕	大正10	10	8	大分県宇佐郡和間村西大堀　松原	安高団兵衛	婚礼の式にご出席を乞う	葉書	1	
V	1	26	〔葉書〕	〔大正10〕	10	5	小倉衛成病院　尾家信介	安高団兵衛	ケガにより入院するも退院の見込み	葉書	1	
V	1	27	〔切り抜き〕	〔大正10〕	〔10〕	〔8〕	東京市京橋区桶町15　株式会社大鐙閣	安高団兵衛	封筒の表の切り抜きか	紙	1	
V	1	28	〔葉書〕	〔大正10〕	11	8	大分県日田郡中川村　素野寛治	安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	1	29	〔葉書〕	大正10	9	23	大分県宇佐郡和間村西大堀　松原	安高団兵衛	理想の妻を見つけたい	葉書	1	
V	1	30	〔葉書〕	〔大正10〕	9	22	福岡日日新聞社販売部	安〔高〕団兵衛	新聞代金請求	葉書	1	印刷物
V	1	31	〔葉書〕	〔大正10〕	〔9〕		東京淀橋町　日本種苗株式会社	安高団兵衛	注文玉ねぎ、延引の通知	葉書	1	印刷物
V	1	32	〔葉書〕	大正10	9	18	福岡市外箋島　広瀬孝次	安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
V	1	33	〔葉書〕	〔大正10〕	9	10	姫島勇	安高団兵衛	長男誕生の祝辞	葉書	1	
V	1	34	〔葉書〕	〔大正10〕	〔9〕	〔2〕	山鹿百姓町　三村俊蔵	安高団兵衛	当地の放生会へ誘い	葉書	1	
V	1	35	〔葉書〕	〔大正10〕	〔9〕	〔8〕	山鹿百姓町　三村俊蔵	安高団兵衛	磯見物の件	葉書	1	
V	1	36	〔葉書〕	〔大正10〕			八幡市通町12丁目　藤原靴店	安高団兵衛	し尿汲み取り願	葉書	1	
V	1	37	〔葉書〕	〔大正10〕	9	3	折尾町長崎　波多野倉吉	安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
V	1	38	〔葉書〕	〔大正10〕			内牧町西山園　弟	安高団〔兵衛〕	時候挨拶	葉書	1	
V	1	39	〔葉書〕	〔大正10〕	〔8〕	〔29〕	福岡市地行　渡辺二郎	安高団兵衛	結婚の知らせ	葉書	1	
V	1	40	〔葉書〕	〔大正10〕	〔8〕	〔19〕	山鹿百姓町　三村俊蔵	安高団兵衛	訪問のお礼	葉書	1	
V	1	41	〔葉書〕	〔大正10〕	8	22	八幡市通町12丁目　藤原靴店	安高団兵衛	至急立ち寄り下されたし（し尿汲み取り願か）	葉書	1	
V	1	42	〔葉書〕	〔大正10〕	8	24	福岡日日新聞社販売部	安高団兵衛	新聞代金請求	葉書	1	印刷物
V	1	43	〔葉書〕	〔大正10〕	8	17	粕屋郡山田村　河辺金吾	安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
V	1	44	〔葉書〕	大正10	8	15	姫島勇	安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
V	1	45	〔葉書〕	〔大正10〕	〔8〕	〔15〕	山鹿百姓町　三村俊蔵	安高団兵衛	西瓜のご案内に林君と推参する	葉書	1	
V	1	46	〔葉書〕	〔大正10〕	8	14	門司市錦町10丁目　長崎国蔵方渋田直三郎	安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
V	1	47	〔葉書〕	〔大正10〕	8	10	宇佐郡竜王村　中村藤次郎	安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
V	1	48	〔葉書〕	大正10	8	7	宮崎県東臼杵郡東海村大字稲葉崎　小田秋三郎	安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	1	49	〔葉書〕	大正10	8	4	小倉北方輜重兵第12大隊　尾家信介	安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
V	1	50	〔葉書〕	〔大正10〕	8	4	伊万里町前田病院内　成守源太郎	安高団兵衛	入院中、上等兵殿の写真を乞う	葉書	1	
V	1	51	〔葉書〕	〔大正10〕	8	1	大分県玖珠郡飯田村　素野寛治	安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
V	1	52	〔葉書〕	〔大正10〕	〔8〕		山口県豊浦郡安岡村　田中豊	安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
V	1	53	〔葉書〕	〔大正10〕	〔7〕	〔31〕	大阪にて　　代々の	安高団兵衛	暑中見舞い	絵葉書	1	大阪市庁舎の写真
V	1	54	〔葉書〕	〔大正10〕	7	30	呉市外吉浦町新郵便局前　米田増太郎	安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
V	1	55	〔書簡〕	〔大正10〕	7	26	宇佐郡和間村　松原敏夫	安高団兵衛	宇佐八幡の祭礼への招待	郵便書簡	1	
V	1	56	〔葉書〕	〔大正10〕	〔7〕	〔29〕	山鹿　三村俊蔵	安高団兵衛	雁木の船御幸（菅原神社か）への招待	葉書	1	
V	1	57	〔葉書〕	〔大正10〕	7	27	福岡日日新聞社販売部	安高団兵衛	新聞代金請求	葉書	1	印刷物
V	1	58	〔葉書〕	〔大正10〕	〔7〕	〔23〕	宮崎県西臼杵郡鞍岡村　矢野	安高団兵衛	暑中見舞い返礼	葉書	1	墨を塗った上に鉛筆書き
V	1	59	〔葉書〕	〔大正10〕	7	25	大分県直入郡菅生村　堀祐世	安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
V	1	60	〔葉書〕	〔大正10〕	〔7〕	〔28〕	東松浦郡入野村　成守源太郎	安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
V	1	61	〔葉書〕	〔大正10〕	〔7〕	〔2〕	日向東臼杵郡田代橘口としお	安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
V	1	62	〔葉書〕	大正10	7	5	歩兵第14連隊第7中隊長宇佐美八郎	安高団兵衛	表彰状を授与した報告（人物不明）	葉書	1	
V	1	63	〔葉書〕	〔大正10〕			八幡市通町12丁目　藤原靴店	安高団兵衛	大至急願う（し尿汲み取り願いか）	葉書	1	
V	1	64	〔葉書〕	〔大正10〕	6	30	宇佐郡和間村西大堀　松原	安高団兵衛	梅雨の見舞い	葉書	1	
V	1	65	〔葉書〕	〔大正10〕			やまが　三村俊蔵	安高団兵衛	2円宛の貯金加入を勧める	葉書	1	
V	1	66	〔葉書〕	〔大正10〕	6	25	阿蘇郡内牧口　小島頼男	安高団兵衛	梅雨の見舞い、当地は洪水の為耕地が荒れる	葉書	1	
V	1	67	〔葉書〕	〔大正10ヵ〕			八幡市通町12丁目　藤原靴店	安高団兵衛	し尿汲み取り願い	絵葉書	1	サンドリン靴クリーム
V	1	68	〔葉書〕	〔大正10〕	6	22	福岡日日新聞社販売部	安高団兵衛	新聞代金請求	葉書	1	印刷物
V	1	69	〔葉書〕	〔大正10ヵ〕			小倉市大阪町　新野商店	安高団兵衛	行賞賜金取扱いのお知らせ	葉書	1	印刷物
V	1	70	〔葉書〕	〔大正10〕	6	19	大阪市西区市岡町62　佐野与繁	安高団兵衛	九州の大雨報道に関し安否確認	葉書	1	
V	1	71	〔葉書〕	〔平成10〕	6	16	宇佐郡和間村西大堀　松原敏夫	安高団兵衛	梅雨の見舞い	葉書	1	
V	1	72	〔葉書〕	大正10	5	20	福岡日日新聞社	安高団兵衛	福引券番号の通知	葉書	1	印刷物
V	1	73	〔葉書〕	〔大正10ヵ〕			山鹿百姓町　三村俊蔵	安高団兵衛	旅行の帰還の報告と留守見舞いのお礼	葉書	1	
V	1	74	〔葉書〕	〔大正10〕	5	28	東松浦郡入野村入野　成守源太郎	安高団兵衛	時候見舞	葉書	1	
V	1	75	〔葉書〕	大正10	5	28	福岡日日新聞合資会社販売部	安高団兵衛	福引券番号通知発送の知らせ	葉書	1	
V	1	76	〔葉書〕	〔大正10〕	5	24	瀧壷村　旅烏	安高団兵衛	華厳の瀧の感想など	絵葉書	1	日光華厳瀧
V	1	77	〔葉書〕	〔大正10〕	5	24	呉市清水通り50　米田増太郎	安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	1	78	〔葉書〕	〔大正10〕	5	16	西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	1	79	〔葉書〕	〔大正10〕	5	17	大分県速見郡別府町　友永繁男	安高団兵衛	中井間・渡辺の居所を尋ねる	葉書	1	
V	1	80	〔葉書〕	〔大正10〕	5	20	福岡日日新聞社販売部	安高団兵衛	新聞代金請求	葉書	1	
V	1	81	〔葉書〕	〔大正10〕	5	5	東松浦郡入野村　成守源太郎	安高団兵衛	男子誕生の祝辞	葉書	1	
V	1	82	〔葉書〕	〔大正10〕	〔5〕	〔2〕	西臼杵郡鞍岡村　矢野	安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	1	83	〔葉書〕	〔大正10〕			安田両替店	安高団兵衛	賜金通帳公債の取扱いのお知らせ	葉書	1	
V	1	84	〔葉書〕	〔大正10〕	4	25	宇佐郡和間村西大堀　松原	安高団兵衛	男子誕生の祝辞	葉書	1	
V	1	85	〔葉書〕	〔大正10〕	〔4〕	〔28〕	あしや町山鹿　三村俊蔵	安高団兵衛	時候挨拶、返信	葉書	1	
V	1	86	〔葉書〕	〔大正10〕	4	24	東松浦郡入野村　成守源太郎	安高団兵衛	写真の催促	葉書	1	
V	1	87	〔葉書〕	〔大正10〕			豊浦郡安岡村　田中豊	安高団兵衛	当地にて農事の研究致し居り	葉書	1	
V	1	88	〔簡易書簡〕	〔大正10〕	4	21	福岡市東港町　渡辺二郎	安高団兵衛	安高兄上様の子供写真を所望	郵便書簡	1	
V	1	89	〔葉書〕	大正10	4	18	宇佐郡和間村西大堀　松原	安高団兵衛	大分市の聯合共進会の盛況	葉書	1	
V	1	90	〔簡易書簡〕	〔大正10ヵ〕	4	15	福岡市東港町　渡辺二郎	安高団兵衛	九州電灯鉄道株式会社に就職	郵便書簡	1	
V	1	91	〔葉書〕	〔大正10〕	〔4〕	〔11〕	西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	安高団兵衛	4月10日分教場開校式あり、ご安心を	葉書	1	墨を塗った上に鉛筆書き
V	1	92	〔葉書〕	〔大正10〕	4	6	大分市浜町　村山春夫	安高団兵衛	大分共進会の状況報告	葉書	1	
V	1	93	〔葉書〕	〔大正10〕	〔4〕	〔4〕	山鹿　三村俊蔵	安高団兵衛	お見舞いの品のお礼	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	1	94	〔葉書〕	大正10	4	3	呉市元町　米田増太郎	安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	1	95	〔葉書〕	〔大正10〕	〔春〕		西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	1	96	〔葉書〕	〔大正10〕	〔5〕	〔25〕	山鹿　三村俊蔵	安高団兵衛	男子誕生の祝辞	葉書	1	
V	1	97	〔葉書〕	〔大正10〕	〔3〕	〔17〕	西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	安高団兵衛	時候挨拶、此の567日は雪が降った	葉書	1	墨を塗った上に鉛筆書き
V	1	98	〔葉書〕	〔大正10ヵ〕			阿蘇郡内牧町　小島	安高団兵衛	時候挨拶、北方兵営の同時期に当たり	葉書	1	
V	1	99	〔葉書〕	〔大正10〕	〔3〕	〔15〕	輜重12ノ1　尾家信介	安高団兵衛	軍務精励致し居り	葉書	1	
V	1	100	〔葉書〕	大正10	3	12	陸軍輜重兵軍曹　大塚久三郎	安高団兵衛	時候挨拶、返信	葉書	1	
V	1	101	〔葉書〕	〔大正10〕	3	12	北方輜12ノ1　尾家信介	安高団兵衛	返信	葉書	1	
V	1	102	〔葉書〕	〔大正10〕	〔3〕	〔13〕	北方輜重12ノ1ノ4　宮永軍曹・松井軍曹	安高団兵衛	乗馬行軍で山鹿－福岡－幸袋の予定、貴村通過は16日午前8時頃の予定	葉書	1	
V	1	103	〔葉書〕	〔大正10〕	〔3〕	12	輜重ノ宮永軍曹	安高団兵衛	乗馬三泊行軍で山鹿に宿泊、面謁を得たい	葉書	1	
V	1	104	〔葉書〕	大正10	3	10	呉市元町　米田増太郎	安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	1	105	〔葉書〕	〔大正10〕	3	11	大分市浜町　村山春雄	安高団兵衛	九州沖縄連合共進会開催の知らせ	葉書	1	
V	1	106	〔葉書〕	〔大正10〕	2	24	名古屋　興雲院	安高団兵衛	ご照会の二宮尊徳は品切れ	葉書	1	
V	1	107	〔葉書〕	〔大正10〕	〔2〕	〔27〕	福岡市　藤瀬吉次	安高団兵衛	軍隊生活を忘れず軍人精心を以て働いている	葉書	1	
V	1	108	〔葉書〕	〔大正10〕	〔2〕	〔27〕	福岡日日新聞社販売部	安高団兵衛	新聞代金請求	葉書	1	
V	1	109	〔葉書〕	大正10	2	16	宇佐郡和間村西大堀　松原	安高団兵衛	宇佐参詣の折お立ち寄りを	葉書	1	
V	1	110	〔葉書〕	〔大正10〕	2	16	下関市奥小路　□尾清	安高団兵衛	勲功調査の結果は如何	葉書	1	
V	1	111	〔葉書〕	〔大正10〕	〔2〕	〔7〕	大分県南海部郡下堅田村　和田助市	安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	1	112	〔葉書〕	〔大正10〕	〔1〕	〔27〕	八幡市不老町4丁目　村山巍一郎	安高団兵衛	し尿汲み取り願い	葉書	1	
V	1	113	〔葉書〕	〔大正10〕	〔1〕	〔26〕	小倉市大阪町　新野商店金融部	安高団兵衛	行賞賜金取扱いのお知らせ	葉書	1	
V	1	114	〔葉書〕	〔大正10〕	1	25	福岡日日新聞社販売部	安高団兵衛	新聞代金請求	葉書	1	
V	1	115	〔葉書〕	〔大正10〕	〔1〕	〔9〕	竹内両替店小倉支店	安高団兵衛	賜金通帳公債の取扱いのお知らせ	葉書	1	
V	1	116	〔葉書〕	〔大正10〕	1	21	和間村西大堀　松原敏夫	安高団兵衛	米価下落で農家は困窮、貴地は如何	葉書	1	
V	1	117	〔葉書〕	〔大正10〕	〔1〕	〔12〕	宇佐郡龍王村　中村弟	安高団兵衛	当地は2月1日が正月、年末で忙しい	葉書	1	
V	1	118	〔年賀状〕	大正10	1	1	底井野村　瓜生延一	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	119	〔年賀状〕	大正10	1	1	中原三造	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	120	〔年賀状〕	大正10	1	1	大連市福昌公司　松下俊一	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	1	121	〔年賀状〕	大正10	1	1	大分市汐九舛町　成重光義	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物　九州沖縄聯合共進会大分県主催
V	1	122	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	穂波村南尾　井田	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	1	123	〔年賀状〕	大正10	1	1	福岡県芦屋町　桑原伝次郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	1	124	〔年賀状〕	大正10	1	1	蘆屋尋常高等小学校　高橋格	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	1	125	〔葉書〕	〔大正ヵ〕	12	27	宇佐郡和間村西大堀　松原敏夫	安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	1	126	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	宇佐郡和間村　松原敏夫	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	1	127	〔年賀状〕	大正10	1	1	三村俊蔵	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	128	〔年賀状〕	大正10	1	1	徳山中学校　黒山高麿	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	1	129	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	遠賀郡芦屋町　林貞蔵商店	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	1	130	〔年賀状〕	大正10	1	1	東京市深川内家町　本田重蔵	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	131	〔年賀状〕	大正10	1	1	宇佐郡の弟	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	132	〔年賀状〕	大正10	1	1	東臼杵郡東郷村　永野実	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	133	〔年賀状〕	大正10	1	1	大阪市北区伊勢町　梅崎徳次	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	1	134	〔年賀状〕	〔大正9〕	12	31	小倉市鍛冶町　横山偉夫	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	1	135	〔年賀状〕	〔大正10ヵ〕	1	1	遠賀郡折尾町　波多野倉吉	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	1	136	〔年賀状〕	大正10	1	1	粕屋郡山田村　河辺金吾	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	137	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	杉村安馬	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	138	〔年賀状〕	大正10	1	1	速見郡東山香村　大田俊一	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	139	〔年賀状〕	大正10	1	1	小倉市船頭町　安木原嘉□	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	1	140	〔年賀状〕	大正10	1	1	大阪市東区谷町9丁目　三村保郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	141	〔年賀状〕	大正10	1	1	中津カキゼ　身上政秀	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	142	〔年賀状〕	大正10	1	1	輜重12ノ1　江良大尉	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	143	〔年賀状〕	大正10	1	1	中島実	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	144	〔年賀状〕	大正10	1	1	渡辺二郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	145	〔年賀状〕	大正10	1	1	輜重兵第12大隊本部　山口□□	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	1	146	〔年賀状〕	大正10	1	1	豊浦郡神田村　藤井増市	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	147	〔年賀状〕	大正10	1	1	糸島郡前原町　吉村秀雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	148	〔年賀状〕	大正10	1	1	小島頼雄	阿高団衛	年賀状	葉書	1	
V	1	149	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	150	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	加藤慶太	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	151	〔年賀状〕	大正10	1	1	芦屋町　二村喜代次	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	152	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	輜重兵第12大隊第1中隊　宮永三郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	153	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	小倉市米町　秋枝止助	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	154	〔年賀状〕	大正10	1	1	東臼杵郡西郷村　橘口	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	155	〔年賀状〕	大正10	1	1	咸南遮湖　堀祐世	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	156	〔年賀状〕	大正10	1	1	永留□□	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	157	〔年賀状〕	大正10	1	1	東松浦郡厳木村　山田棋一	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	158	〔年賀状〕	大正10	1	1	西臼杵郡岩井川村　戸田飛佐市	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	159	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	沖縄県国頭郡本部村　吉川亀吉	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	160	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	下関市　□尾清	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	161	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	大阪市西区市岡町　佐野典繁	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	162	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	千葉習志野騎兵学校千田少尉	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	163	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	筑前神湊町呉服商　永島伝三郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	1	164	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	早良郡姪浜東町　矢野惣右衛門	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	1	165	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	呉市元町　米田増太郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	1	166	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	福岡市外住吉町　古屋荒次郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	167	〔年賀状〕	大正10	1	1	大分市浜町　村山春雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	168	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	笠松村満の浦本坑　安部格一	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	1	169	〔年賀状〕	大正10	1	1	玖珠郡飯田村　桑野寛治	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	170	〔年賀状〕	大正10	1	1	大分別府町九水営業所　友永繁男	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	171	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	東松浦郡入野村　成守源太郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	1	172	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	戸畑駅　楠木新一郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	173	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	福岡市外簔島　藤瀬吉次	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	174	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	博多中島町　牛島半蔵	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	175	〔年賀状〕	大正10	1	1	北方輜重兵第12大隊第1中隊　尾家信介	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	176	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	堺市少林寺町　末包喜太郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	1	177	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	粕屋郡多々良村名島発電所　渋田武三郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	178	〔年賀状〕	大正10	1	1	嘉穂郡碓井村　武田与八郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	179	〔年賀状〕	大正10	1	1	小倉輜重兵第12大隊第1中隊　門田善実	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	1	180	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	京城府元町　広池厚男	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	1	181	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	大分県別府町　友永卓爾	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物　九州沖縄聯合共進会大分県主催
V	1	182	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	輜重兵第12大隊　大塚軍曹	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	1	183	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	陸軍輜重兵軍曹　大庭長次郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	1	184	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	島郷村　田中豊	安高団兵衛	年賀状、在営中のお礼	葉書	1	
V	1	185	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	粕屋郡古賀(材木商)長崎秀雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	1	186	〔年賀状〕	〔大正10〕	1	1	筑前木屋瀬町(白米卸)中村三郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	2	1	〔書簡〕	〔大正8〕	3	21	沖縄県国頭郡恩納村　金城幸助	北方輜重兵第12大隊　安高団兵衛	満期退営帰宅の挨拶、入院中の礼	継紙	1	V2-1～14こよりで一括、「輸卒…」とあり 継はずれ、封筒あり
V	2	2	〔書簡〕	〔大正8〕	〔4〕	〔6〕	出征野砲兵第12連隊本部　田中謙次	北方輜重兵第12大隊　安高団兵衛	出征後、無沙汰の詫び	継紙	1	封筒あり
V	2	3	〔書簡〕	〔大正8〕	3	29	宮崎県東臼杵郡北川村　米田増太郎	北方輜重兵第12大隊　安高団兵衛	満期退営帰宅の挨拶、勝尾上等へにもよろしく	継紙	1	継はずれ、封筒あり
V	2	4	〔書簡〕	〔大正8〕	4	23	沖縄県国頭郡本部村　松川亀吉	北方輜重兵第12大隊　安高団兵衛	満期退営帰宅の挨拶	継紙	1	継はずれ、封筒あり
V	2	5	〔書簡〕	〔大正8〕	3	5	九水電気株式会社中津営業所　身上政秀	北方輜重兵第12大隊　安高上等兵・中島一等卒	満期退営帰宅の挨拶、活動写真のフィルム1枚を送る	罫紙	2	封筒あり、中津北部尋常高等小学校の罫紙
V	2	6	〔書簡〕	〔大正8〕	〔6〕	〔2〕	大分県速見郡東山香村　大田俊一	北方輜重兵第12大隊　安高団兵衛	満期退営帰宅の挨拶、兵営に帰り度様な心	紙	3	封筒あり
V	2	7	〔書簡〕	〔大正8〕	〔6〕	〔1〕	築上郡山田村　上田謙一郎	北方輜重兵第12大隊　安高上等兵	満期退営帰宅の挨拶	継紙	1	継はずれ、封筒あり
V	2	8	〔書簡〕	〔大正8〕	〔6〕	〔1〕	大分県玖珠郡森町　安部格一	北方輜重兵第12大隊　安高上等兵	満期退営帰宅の挨拶	継紙	1	継はずれ、封筒あり
V	2	9	〔書簡〕	〔大正8〕	〔6〕	〔11〕	大分県宇佐郡豊川村　安倍	北方輜重兵第12大隊　安高上等兵	満期退営帰宅の挨拶	継紙	1	継はずれ、封筒あり
V	2	10	〔書簡〕		6	15	九州水力電気中津営業所　身上政秀	北方輜重兵第12大隊　安高上等兵	軍馬競売の為中津に来た重本という人に会った。活動に連れて行った	罫紙	2	封筒あり、中津北部尋常高等小学校の罫紙
V	2	11	〔書簡〕	〔大正8〕	〔5〕	〔6〕	大分県直入郡管生村　堀祐也	北方輜重兵第12大隊　安高上等兵	在営時代の思い出を懐かしむ	罫紙	1	封筒あり
V	2	12	〔書簡〕	〔大正8〕	3	4	大分県立直入郡菅生村　堀祐也	北方輜重兵第12大隊　安高上等兵	満期退営帰宅の挨拶	継紙	1	継はずれ、封筒あり
V	2	13	〔書簡〕	大正8	5	1	大分県大野郡南緒方村　首藤森人	北方輜重兵第12大隊　安高団兵衛・中嶋実・渡辺二郎・仲井間宗祐	在営中の礼と思い出を懐かしむ、眼病に罹り入院、退院するもまだ全快せず、	継紙	1	封筒あり
V	2	14	〔書簡〕	〔大正8〕	6	27	築上郡黒土村　萩原勇	北方輜重兵第12大隊　安高上等兵	時候挨拶、眼病全快の知らせ	継紙	1	継はずれ、封筒あり
V	3	1	〔書簡〕	大正7	3	28	大分県大分郡鶴崎町　房前常喜実父新三郎	北方輜重兵第12大隊　安高上等兵	息子常喜を一人前の軍人として取り立てて下され度	罫紙	1	V3-1～16麻紐で一括、「諸方・諸人より」 封筒あり
V	3	2	〔軍務成績通知〕	〔大正7〕	〔5〕	〔9〕	輜重兵第12大隊　中村喜代蔵	安高福蔵	団兵衛の成績	紙	1	封筒あり、ガリ版印刷
V	3	3	〔書簡〕	〔大正8〕	3	18	大分県北海部郡南津留村　安部ナセ	北方輜重兵第12大隊　安高上等兵	貴官の部下に入隊した愚息をよろしく	紙	1	封筒あり
V	3	4	〔書簡〕	〔大正8〕	3	31	宮崎県東臼杵郡東野村　永野ツヨ	小倉北方輜重兵第12大隊　安高団兵衛	入営中、実をよろしく	紙	1	封筒あり
V	3	5	〔書簡〕	〔大正8〕	3	16	大分県速見郡東山香村　太田二平	北方輜兵第12大隊　班長安高団兵衛	愚息俊市教育のお礼	継紙	1	封筒あり
V	3	6	〔書簡〕	〔大正8〕	3	5	東山〔香〕村　太田二平	北方輜重兵第12大隊　班長安高団兵衛	太田俊市を丁稚にお使いくだされ度	継紙	1	継はずれ、封筒あり
V	3	7	〔書簡〕	大正8	2	10	沖縄県国頭郡本部村　松川嘉助	小倉北方輜重兵第12大隊　安高上等兵	親類の松川亀吉教育の件、お礼として沖縄名産の砂糖を送る	紙	1	封筒あり
V	3	8	〔書簡〕	〔大正8〕	3	9	大分県速見郡東山香村　阿部音治	北方輜重兵第12大隊　班長安高団兵衛	同じ地区より入隊の太田俊市、病身勝の為ご配慮を願う	継紙	1	継はずれ、封筒あり
V	3	9	〔書簡〕	大正8	3	8	大分県速見郡東山香村　松田衛	北方輜重兵第12大隊　班長安高団兵衛	愚弟の同朋太田俊市の教育を万事頼む	紙	1	封筒あり
V	3	10	〔書簡〕	〔大正8〕	3	12	速見郡東山香村　太田二平	北方輜重兵第12大隊　班長安高団兵衛	亀川温泉(別府)の絵葉書と名産のそてつだんごを送る	継紙	1	封筒あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	3	11	〔書簡〕	〔大正8〕	3	18	豊前中津蛎瀬新町　清水昌俊	北方輜重兵第12大隊　班長安高団兵衛	愚息身上政秀の教導に対する礼	紙	1	封筒あり
V	3	12	〔書簡〕	大正8	5	11	速見郡東山香村　太田二平	北方輜重兵第12大隊　班長安高上等兵	息子俊市教育の礼、焼米を作ったので送る	継紙	1	封筒あり
V	3	13	〔書簡〕	大正8	7	3	大分県玖珠郡森町　金丸喜多里	小倉北方輜重兵第12大隊　安高団兵衛	満期退営帰宅の挨拶	継紙	1	継はずれ、封筒あり
V	3	14	〔書簡〕	大正8	10	21	唐津電気製鋼(株)内　今田兼五郎	北方輜重第12大隊　安高上等兵	時候挨拶	罫紙	1	唐津電気製鋼株式会社の罫紙
V	3	15	〔書簡〕	大正8	9	25	唐津電気製鋼(株)内　今田兼五郎	小倉輜重兵第12大隊　安高上等兵	一家打揃って大喜び、ご厄介なれどお頼み申す	継紙	1	継はずれ、封筒あり
V	3	16	〔書簡〕	〔大正8〕	10	14	東松浦郡厳木村　山田磯吉	北方輜重兵第12大隊　安高上等兵	愚子山田楳一教育の件、お頼み申す	紙	1	封筒あり
V	4	1	〔書簡〕	〔大正8〕	7	13	大分県玖珠郡森町　安部格一	北方輜重兵第12大隊　安高上等兵殿	時候挨拶、3才の時養子にきて金丸姓となった	継紙	1	V4-1～18こよりで一括、「輸卒より来る封書」「諸方・諸人より来る封書」継はずれ、封筒あり書簡の差出人名は金丸平之助
V	4	2	〔書簡〕	〔大正8〕	8	28	大分県玖珠郡森町　安部格一	北方輜重兵第12隊　安高上等兵殿	時候挨拶、軍隊生活が好きで兄上様のように3ケ年送りたかった	継紙	1	封筒あり
V	4	3	〔書簡〕	〔大正8〕	8	13	沖縄県図頭郡本部村　松川亀吉	小倉北方輜重兵第12大隊　安高上等兵	近況報告、長男誕生	紙	2	封筒あり
V	4	4	〔書簡〕	〔大正8〕	〔8〕	〔4〕	大分県速見郡別府町　友永繁男	小倉市外北方輜重兵12大隊　安高上等兵	時候挨拶	継紙	2	継はずれ、封筒あり安高・中井間・中島・渡辺各上等の満期退営の月日を問い合わせる手紙同封
V	4	5	〔書間〕	〔大正8〕	10	2	咸南道麻生鉱業所　堀祐世	小倉北方輜重兵12大隊　安高団兵衛	近況報告、本年7月中旬に急に当地へ赴任	継紙	1	継はずれ、封筒あり
V	4	6	〔書間〕	〔大正8〕	11	6	大分県玖珠郡森町　安部格一	北方輜重兵第12大隊　安高・中井間兄上	満期退営の記念として二人に日出生台の絵葉書を送る	継紙	1	継はずれ、封筒あり
V	4	7-1	〔書簡〕	〔大正8〕	11	12	大分県下毛郡中村　身上政秀	北方輜重兵第12大隊　安高上等兵	満期記念のため安高・中島・中井間・渡辺4人で撮った写真を送ってほしい	紙	1	封筒あり、V4-7-1,2を同封
V	4	7-2	〔書簡〕	〔大正8〕	11	13	大分県下毛郡中村　身上政秀	北方輜重兵第12大隊　安高上等兵	満期退営の祝い	紙	1	
V	4	8	〔書簡〕	大正8	11	18	宮崎県東臼杵郡北川村　米田増太郎	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	満期退営の祝い	継紙	1	継はずれ、封筒あり
V	4	9	〔書簡〕	大正8	11	16	肥前伊万里町合名会社蠟屋呉服店　中尾浩	小倉北方輜重兵第12大隊　安高団兵衛	「祝安高団兵衛君退営」とあり	便箋	4	封筒あり、合名会社蝋屋呉服店の便箋
V	4	10	〔書間〕	〔大正8〕	11	22	在底井村下大隈　弟より	遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	満期退営の祝い	継紙	1	継はずれ、封筒あり
V	4	11	〔書簡〕	〔大正8〕	11	22	輜重12一1一1　成守源太郎	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	満期退営の祝い、退営時の依頼事の確認	便箋	3	封筒あり
V	4	12	〔書簡〕	大正8	11	28	大分県宇佐郡和間村　松原敏夫	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	満期退営の土産送付につき礼	継紙	1	封筒あり
V	4	13	〔書簡〕	〔大正8〕	12	2	福岡市外住吉町　古屋荒次郎	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	在営中の礼	継紙	1	継はずれ、封筒あり
V	4	14	〔書簡〕	〔大正8〕	12	3	佐賀県東松浦郡厳木村　山田楳一	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	満期退営帰宅の挨拶	継紙	1	継はずれ、封筒あり
V	4	15	〔書簡〕	大正8	12	9	大連市土佐町　松下俊一	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	満期退営の祝い	便箋	3	封筒あり、大連福昌公司の便箋ゼムピン留めをはずす
V	4	16	〔書簡〕	大正8	11	11	糟屋郡山田村　河辺金吾	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	11月29日をもって満期退営予定	継紙	1	継はずれ、封筒あり
V	4	17	〔書簡〕	〔大正8〕	12	16	佐賀県東松浦郡　成守源太郎	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	満期退営帰宅の報告延引の詫び	紙	2	封筒あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	4	18	〔書簡〕	〔大正8〕	12	18	沖縄県図頭郡本部村　松川亀吉	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	下士適任書証・善行書証を拝戴しての満期退営帰郷、目出度く存じ候	継紙	1	継はずれ、封筒あり
V	5	1	〔書簡〕	〔大正9〕	3	6	小倉歩14一1　三村保郎	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	送られた小使いの礼、昨秋の粟屋付近の演習の際には世話になったことなど	便箋	2	V5-1～19こよりで一括、「大正九年度来信　拾九通」 封筒あり
V	5	2	〔書簡〕	大正9	1	17	朝鮮新義州守備隊　和田竹市	遠賀郡あしや町　安高団兵衛	満期退営・上等兵昇進・下士適任証・善行証書授受の祝い、金一円恵与の礼など	紙	1	封筒あり
V	5	3	〔書簡〕		2	3	福岡市外住吉町鐘紡博多支店古屋荒次郎	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	死亡者続出の感冒（スペイン風邪）のこと、工業博覧会のことなど	便箋	3	封筒あり ピン留めのUピンはずす
V	5	4	〔書簡〕	大正9	2	19	宇佐郡和間村　松原敏夫	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	訪問馳走の礼	継紙	1	封筒あり
V	5	5	〔書簡〕	〔大正8〕	〔12〕	〔25〕	咸南麻生鉱業所　堀祐世	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	無事退営の祝い、山祭りの際の仮装行列の写真を送る	便箋	3	封筒あり
V	5	6	〔書簡〕	〔大正9〕	1	15	大分県玖珠郡森町　安部格一	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	無事退営の祝い、北方の輜重兵隊では流行感冒（スペイン風邪）により一日に20名の死者ありとのこと	継紙	1	封筒あり
V	5	7	〔書簡〕	大正9	2	2	宇佐郡西馬城村　岩男	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	在営中の思い出	継紙	1	継はずれ、封筒あり
V	5	8	書簡	大正9	3	18	福岡県鞍手郡笠松村満之浦本坑　安部格一	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	転居通知	紙	1	封筒あり
V	5	9	〔書簡〕	〔大正9〕	3	24	宇佐郡和間村　松原弟	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	此頃東山香村の太田俊市君の処に遊びに行った	継紙	1	継はずれ、封筒あり
V	5	10	〔書簡〕	大正9	4	5	粕屋郡山田村　河辺金吾	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	時候挨拶、自分の百姓姿の写真を送る	便箋	4	封筒あり
V	5	11	書簡		4	12	咸南麻生鉱業　堀祐世	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	時候挨拶	罫紙	1	封筒あり
V	5	12	〔書簡〕	大正9	4	13	宮崎県東臼杵郡北川村　米田増太郎	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	時候挨拶	継紙	1	継はずれ、封筒あり
V	5	13	〔書簡〕	大正9	10	4	咸南麻生鉱業　堀祐世	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	時候挨拶、虎疫のことなど	便箋	1	封筒あり、京城府麻生鉱業株式会社の便箋
V	5	14	〔書簡〕	〔大正9〕	8	5	沖縄県国頭郡本部村　松川亀吉	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	近況報告、沖縄では7月の稲刈りのあとかづらを植える	継紙	1	継はずれ、封筒あり
V	5	15	〔書簡〕	〔大正9〕	10	4	宮崎県東臼杵郡北川村　米田増太郎	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	残留した者45円、出征したもの100～150円という噂	紙	1	封筒あり
V	5	16	〔書簡〕	〔大正9〕	5	10	咸南麻生鉱業　堀祐也	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	前回送らなかった山神祭の時の仮装行列の写真を送る、朝鮮婦人に仮装	継紙	1	継はずれ、封筒あり
V	5	17	〔書簡〕	大正9	7	14	宮崎県東臼杵郡北川村　米田増太郎	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞い	継紙	1	封筒あり
V	5	18	書簡	〔大正9〕	12	3	大分県宇佐郡龍王村　中村藤次郎	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	妹の病気見舞金への礼	継紙	1	継はずれ、封筒あり
V	5	19	〔書簡〕		12	28	大分県宇佐郡龍王村　中村藤次郎	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	妹の快気祝いとしてチョッキと真綿を贈る	継紙	1	継はずれ、封筒あり
V	6	1～19	〔書簡括り〕							括	1	
V	6	1	〔書簡〕	大正8	11	17	宇佐郡龍王村　中村藤次郎	北方輜重隊第1中隊　伍長勤務上等兵　安高団兵衛	満期除隊祝	封書	1	
V	6	2	〔書簡〕	大正8	12	1	大分県宇佐郡龍王村　中村藤次郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	病気見舞礼状	封書	1	
V	6	3	〔書簡〕	大正8	6	23	芦屋町粟屋　安高幸次郎	小倉北方輜重兵12一1一2　安高団兵衛	産業休暇についての報告	封書	1	
V	6	4	〔書簡〕	大正8	3	25	〔宇佐郡龍王村〕竜王　中村藤次郎	北輜重隊第1中隊　安高上等兵	返書	封書	1	
V	6	5	〔書簡〕	大正8	2	2	宇佐郡龍王村　中村藤次郎	北方輜重隊第1中隊　安高上等兵	退営後の挨拶	封書	1	
V	6	6	〔書簡〕	大正8	2	9	宇佐郡竜王村　中村〔藤次郎〕	北方輜重隊第1中隊　安高上等兵	病気通知	封書	1	
V	6	7	〔書簡〕	大正8	1	8	宇佐郡竜王　中村〔藤次郎〕	北方輜重隊第1中隊　安高上等兵	挨拶	封書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	6	8	〔書簡〕	大正8	1	11	遠賀郡芦屋町粟屋　安高幸次郎	北方輜重兵第12大隊第1中隊　安高団兵衛	カリホルニア在住の姉の住所につき連絡、住所同封	封書	1	
V	6	9	〔書簡〕	大正7	11	30	宇佐郡龍王村竜王　中村〔藤次郎〕	北方輜重隊第1中隊　安高上等兵	返書	封書	1	
V	6	10	〔書簡〕	大正7	6	14	遠賀郡芦屋町粟屋　安高幸次郎	北方輜重兵2一1一1　安高団兵衛	知人の入営連絡	封書	1	
V	6	11	〔書簡〕	大正7	8	15	遠賀郡芦屋町粟屋　安高幸次郎	北方輜重兵13一1一1　安高団兵衛	祖父の初盆につき連絡	封書	1	
V	6	12	〔書簡〕	大正7	10	17	粟屋　安高幸次郎	北方輜重兵第12大隊補充隊第1中隊　安高団兵衛	姉の写真結婚、渡米予定等連絡	封書	1	
V	6	13(1-2)	〔書簡〕	大正7	10	30	芦屋町長藤井正倫、在郷軍人芦屋分会長桑原十郎	北方輜重兵第12大隊補充隊　安高団兵衛	慰問状、芦屋町応居軍人々名表在中	封書	1	判読不明
V	6	14	〔書簡〕	大正7	6	9	遠賀郡底井野村下大隈　西長次郎	北方輜重兵12一1上等兵　安高団兵衛	知人の入営連絡、追伸も含めて2通同封	封書	1	
V	6	15	〔書簡〕	大正7	7	12	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高太四郎	北方輜重兵12一1上等兵　安高団兵衛	近況報告（返書）	封書	1	
V	6	16	〔書簡〕	大正7	7	22	熊本県菊池郡瀬田村　永田限次郎	北方輜重兵12一1　安高団兵衛	近況報告（返書）	封書	1	
V	6	17(1-2)	軍事郵便	大正7	9	22	浦塩派遣軍第12師団　安高大右衛門	小倉北方輜重兵大隊補充大隊第1中隊　安高団兵衛	近況報告、渋田武三郎（在スパスカヤ）の書簡同封	封書	1	
V	6	18-1	軍事郵便	大正7	10	12	出征第12師団　安高大右衛門	北方輜重兵第12補充大隊　安高団兵衛	近況報告（在スパスカヤ）	封書	1	
V	6	18-2	〔書簡〕	〔大正7〕	11	14	安高大右衛門	北方輜重補充大隊　安高団兵衛	門司港上隊通知（18一1と同封書入り）	紙	1	
V	6	19	〔書簡〕	大正8	7	23	在下大隈　西長次郎	北方輜重兵12一1　安高団兵衛	近況報告（返書）	封書	1	
V	7	1	〔封筒〕						破損、裏面に大正14年度来着葉書入と墨書	封筒	1	
V	7	2	〔年賀状〕	大正〔14〕	〔1〕	〔1〕	永田要三（八幡市）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年月日は消印
V	7	3	〔年賀状〕	大正14	1	1	工藤祐世（京城府）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	7	4	〔年賀状〕	大正14	1	1	宮永三郎（陸軍経理学校、輜重兵曹長）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷
V	7	5	〔年賀状〕	大正14	1	1	田中豊	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	7	6	〔年賀状〕	大正14	1	1	樋口伝三郎（直方外町）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	7	7	〔年賀状〕	大正14	1	1	小田勝吉（芦屋）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	7	8	〔年賀状〕	大正14	1	1	成守弥太郎（入野）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	7	9	〔年賀状〕	大正14	1	1	中村寅次郎（宇佐郡龍王村）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	7	10	〔年賀状〕	大正14	1	1	高橋格（福岡市薬院）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	7	11	〔年賀状〕	大正14	1	1	古屋荒次郎（福岡市簀島本町）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷
V	7	12	〔年賀状〕	大正〔14〕	1	1	幸野寛治（東京市外平塚村）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	差出年消印
V	7	13	〔年賀状〕	大正14	1	1	矢野藤五郎（鞍岡村）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	7	14	〔年賀状〕	大正〔14〕	1	1	広瀬久男	安高段平（ママ）	年賀状	葉書	1	年消印
V	7	15	〔年賀状〕	大正〔14〕	1	1	渋田武三郎（西新町）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年消印
V	7	16	〔年賀状〕	大正14	1	1	中島実（豊後武蔵町）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	7	17	〔年賀状〕	大正〔14〕	1	1	佐野睦太郎（芦屋町）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年消印
V	7	18	〔年賀状〕	大正14	1	1	波多野倉吉（折尾）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	7	19	〔年賀状〕	大正〔14〕	1	1	矢野惣右衛門（福岡市外姪浜）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷、年消印
V	7	20	〔年賀状〕	大正14	1	1	吉田徳蔵	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	7	21	〔年賀状〕	大正14	1	1	伊藤清	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	7	22	〔年賀状〕	大正14	1	1	重岡倉吉（若松市）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	7	23	〔年賀状〕	大正14	1	1	本田金蔵（東京深川）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	7	24	〔年賀状〕	大正〔14〕	1	1	手嶋米蔵（田川郡）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年消印
V	7	25	〔年賀状〕	大正14	1	1	阿辺金吾（粕屋郡山田村）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	7	26	〔年賀状〕	大正〔14〕	1	1	戸田飛佐市（宮崎県北方村）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年消印
V	7	27	〔年賀状〕	大正〔14〕	1	1	黒山玄麿（大阪市外東天下茶屋）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	7	28	〔年賀状〕	大正〔14〕	1	1	永島伝三郎（神湊、永島呉服店）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷、年消印
V	7	29	〔年賀状〕	大正14	1	1	柴原伝次郎（芦屋町）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	7	30	〔年賀状〕	大正〔14〕	1	1	松原（宇佐郡）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年消印
V	7	31	〔年賀状〕	大正〔14〕	1	1	武田与八郎（嘉穂郡碓井村）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年消印
V	7	32	〔年賀状〕	大正〔14〕	1	1	二村貞雄（東京深川区）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年消印
V	7	33	〔年賀状〕	大正〔14〕	1	2	波多野アサ	安高りきの	年賀状	葉書	1	年消印
V	7	34	〔年賀状〕	大正14	1	1	古賀晋平	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	7	35	〔年賀状〕	大正14	1	1	小島頼男	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	7	36	〔年賀状〕	大正〔14〕	1	1	広池厚男（咸北摩興郡）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年消印
V	7	37	〔年賀状〕	大正14	1	1	尾家信介（近衛輜重兵大隊）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	7	38	〔年賀状〕	大正14	1	1	与田壮二郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	7	39	〔年賀状〕	大正〔14〕	1	1	大庭弘造（東京府下荏原町）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	7	40	〔葉書〕	大正〔14〕	1	15	秋枝正助（小倉市）	安高団兵衛	年賀欠礼御用捨	葉書	1	年消印
V	7	41	〔葉書〕	大正	1	20	伊豆清（福岡24連隊衛戍病院）	安高団兵衛	入院近況	葉書	1	
V	7	42	〔葉書〕	大正〔14〕	1	26	伊豆清（福歩24、衛戍病院）	安高団兵衛	明日退院	葉書	1	
V	7	43	〔葉書〕	大正〔14〕			松本寛（松本農事研究所）	安高団兵衛	農家経済記録是非内容拝見致したし	葉書	1	
V	7	44	〔葉書〕	大正〔14〕	2	8	二宮一成（芦屋）	安高団兵衛	漬物大根2斗樽分御送付煩し度	葉書	1	年消印
V	7	45	〔葉書〕	大正〔14〕	〔2〕	〔9〕	松本寛（松本農事研究所）	安高団兵衛	資料借用礼状	葉書	1	年月日消印
V	7	46	〔葉書〕	大正〔14〕	〔2〕	〔1〕	三村俊蔵（芦屋）	安高団兵衛	挙式通知	葉書	1	年月日消印
V	7	47	〔葉書〕	大正〔14〕	〔2〕	〔15〕	樋口伝三郎（直方外町）	安高団兵衛	女児出産通知	葉書	1	年月日消印
V	7	48	〔葉書〕	大正〔14〕	〔3〕	〔3〕	山下清右衛門	安高団兵衛	野菜の礼	葉書	1	年月日消印
V	7	49	〔葉書〕			10	成守弥太郎（入野）	安高団兵衛	近況伺	葉書	1	
V	7	50	〔葉書〕		〔3〕	〔29〕	野見山春平（嘉穂郡大隈村）	安高団兵衛	在郷軍人の良民としての覚悟と生活、働きこそ人類救済の根源	葉書	1	月日消印
V	7	51	〔葉書〕	大正〔14〕	3	29	無し	安高団兵衛	悪病除無名の手紙	葉書	1	年消印
V	7	52	〔葉書〕	大正〔14〕	〔3〕	〔30〕	無し	安高団兵衛	悪病除無名の手紙	葉書	1	年月日消印
V	7	53	〔葉書〕				広渡団平（岡垣村）	安高団兵衛	礼状	葉書	1	
V	7	54	〔葉書〕	大正〔14〕	4	23	伊豆清（福岡歩兵24ノ5）	安高団兵衛	近況	葉書	1	
V	7	55	〔葉書〕	大正14	4	8	本田安平、倭茂（肥後山鹿）	安高団兵衛	餞別礼状	葉書	1	
V	7	56	〔葉書〕	大正〔14〕	4	27	本田倭茂（肥後山鹿）	安高団兵衛	在郷中の御指導感謝、貴兄は芦屋の誇り	葉書	1	
V	7	57	〔葉書〕	大正〔14〕	〔4〕	〔27〕	千田中尉（小倉市外北方本町）	安高団兵衛	移転通知	葉書	1	年月日消印
V	7	58	〔葉書〕	大正	5	4	重岡本芳（多屋）	安高団兵衛	胡瓜苗余り候故御出浮乞	葉書	1	
V	7	59	〔葉書〕	大正〔14〕	5	7	本田倭茂（山鹿）	安高団兵衛	区有宮田競売の件	葉書	1	年消印
V	7	60	〔葉書〕	大正〔14〕	5	12	早川佐平（八幡市）	安高団兵衛	長女名付祝礼状	葉書	1	年消印
V	7	61	〔葉書〕		5	13	中村藤次郎（宇佐郡）	安高団兵衛	近況	葉書	1	
V	7	62	〔葉書〕		5	17	松原敏夫（宇佐郡）	安高団兵衛	近況	葉書	1	
V	7	63	〔葉書〕	大正〔14〕	〔5〕	〔7〕	成守弥太郎（入野）	安高団兵衛	近況	葉書	1	年月日消印
V	7	64	〔葉書〕		5	25	広渡素一郎（岡垣村）	安高団兵衛	棟上案内	葉書	1	
V	7	65	〔葉書〕	大正〔14〕	5	29	広渡久男（前田桃園町）	安高団兵衛	愚息へ御旗代礼状	葉書	1	年消印
V	7	66	〔葉書〕		6	4	広渡素一郎（岡垣村）	安高団兵衛	御加勢御礼	葉書	1	
V	7	67	〔葉書〕	大正14	6	7	広渡多津乃（岡垣村）	安高団兵衛	フシン加勢礼状、沼津の祖母様逝去の通知	葉書	1	
V	7	68	〔葉書〕	大正〔14〕	〔6〕	〔10〕	広渡素一郎（岡垣村）	安高団兵衛	御加勢礼状	葉書	1	年消印
V	7	69	〔葉書〕	大正〔14〕	6	20	早川佐平（八幡平原水道町）	安高福蔵	正俊病気見舞い上京	葉書	1	年消印
V	7	70	〔葉書〕	大正〔14〕	〔7〕	〔25〕	小島	安高団兵衛	近況、阿蘇絵葉書	葉書	1	
V	7	71	〔葉書〕	大正14	8	15	野口福蔵（野戦重砲5連隊　砲兵大尉）	安高団兵衛	幸次郎へ精勤章付与の件通知	葉書	1	謄写版印刷
V	7	72	〔葉書〕	大正〔14〕	〔8〕	〔17〕	三村俊蔵（山鹿）	安高団兵衛	西瓜御案内礼状	葉書	1	年月日消印
V	7	73	〔葉書〕	大正〔14〕	〔8〕	〔3〕	成守源太郎（肥前入野）	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	年月日消印
V	7	74	〔葉書〕	大正〔14〕	7	7	中村藤次郎（宇佐龍王村）	安高団兵衛	近況	葉書	1	年消印
V	7	75	〔葉書〕	大正〔14〕	〔8〕	〔5〕	秋枝正助（小倉市）	安高団兵衛	西瓜受取	葉書	1	年月日消印
V	7	76	〔葉書〕	大正〔14〕	8	19	伊豆	安高団兵衛	名誉射撃戦中隊勝利	葉書	1	年消印
V	7	77	〔葉書〕	大正〔14〕	8	30	高橋格（久留米市櫛原町）	安高団兵衛	家族の状況	葉書	1	年消印
V	7	78	〔葉書〕	大正〔14〕	〔9〕	〔6〕	出利葉直次市（八幡市通町）	安高団平（ママ）	至急汲み取り依頼	葉書	1	年月日消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	7	79	〔葉書〕	大正〔14〕	〔9〕	〔7〕	千田中尉（東京市牛米市）	安高団兵衛	転居通知	葉書	1	年月日消印
V	7	80	〔葉書〕	大正〔14〕	9	15	草場幸七（芦屋）	安高団平（ママ）	愚弟救助の礼	葉書	1	年消印
V	7	81	〔葉書〕	大正〔14〕	9	14	広渡素一郎（岡垣村）	安高福蔵	放生会祭招待	葉書	1	年消印
V	7	82	〔葉書〕	大正14	9	14	広渡団平（岡垣村）	安高団兵衛	放生祭招待	葉書	1	
V	7	83	〔葉書〕	大正〔14〕	〔9〕	22	小島（熊本県）	安高団兵衛	作状近況	葉書	1	年月消印
V	7	84	〔葉書〕	大正14	10	2	重岡本芳（輜重18大隊）	安高団兵衛	第1中隊編入	葉書	1	
V	7	85	〔葉書〕	大正〔14〕	10	3	重岡本芳（久留米歩兵18ノ1ノ1）	安高団兵衛	千田中尉の新在地通報下され度	葉書	1	年消印
V	7	86	〔葉書〕	大正〔14〕	〔8〕	〔12〕	桑野寛治（長野県下高井郡平穂村）	安高団兵衛	移転通知	葉書	1	年月日消印
V	7	87	〔葉書〕	大正〔14〕	〔10〕	〔14〕	重岡本芳（輜重兵18ノ1ノ1）	安高団兵衛	近況	葉書	1	年月日消印
V	7	88	〔葉書〕	大正〔14〕	〔10〕	〔15〕	林貞蔵（芦屋）	安高団兵衛	小宴案内	葉書	1	年月日消印
V	7	89	〔葉書〕	大正14	10	1	尾家信介（近衛輜重兵大隊）	安高団兵衛	第1中隊付任官	葉書	1	印刷
V	7	90	〔葉書〕	大正〔14〕	〔10〕	22	永田デン（八幡市荒生田）	安高福蔵	近く上る積り	葉書	1	年月消印
V	7	91	〔葉書〕	大正〔14〕	〔10〕	26	永田（八幡市荒生田）	安高団兵衛	伯父の具合が悪い為、他に人手をやとってほしい。差出人の「デン」を抹消	葉書	1	年月消印
V	7	92	〔葉書〕				中村藤次郎（竜王村）	安高団兵衛	近況	葉書	1	
V	7	93	〔葉書〕	大正〔14〕	11	11	広渡寿雄（八幡市前田）	安高団兵衛	当所創業25周年に付、来家乞う	葉書	1	年消印
V	7	94	〔葉書〕	大正〔14〕	11	12	本田倭茂（山鹿）	安高団兵衛	粟屋の思い出、近況	葉書	1	年消印
V	7	95	〔葉書〕	大正〔14〕	〔11〕	〔20〕	中村藤次郎（宇佐郡竜王村）	安高団兵衛	子供死去	葉書	1	年月日消印
V	7	96	〔葉書〕	大正〔14〕	12	20	伊豆清（満州臨時派遣第1旅団）	安高団兵衛	派遣の状況	葉書	1	年消印
V	8	1～191	〔葉書袋入り〕						輸卒より	袋	1	
V	8	1	〔年賀状〕	大正8	1	1	八幡市桜町　二田清治	北方12大隊　安高上等兵	年賀状	葉書	1	
V	8	2	〔年賀状〕	大正8	1	1	宗像郡岬村　高崎与平	小倉北方輜重兵　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	8	3	〔年賀状〕	大正8	1	1	穂波村南尾　井田	北方輜重第12大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	8	4	〔年賀状〕	〔大正8〕	1	1	博多綱場町青木呉服店　藤原学	北方輜重兵第12大隊　安高上等兵	年賀状	葉書	1	
V	8	5	〔年賀状〕	大正8	1	3	長崎市東小島町　佐野興繁	北方輜重兵第12大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	8	6	〔年賀状〕	大正8	1	1	宮崎県東臼杵郡東郷村　永野実	北方輜重大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	8	7	〔年賀状〕	大正8	1	1	〔宮崎西郷〕松浦伝十郎	北方輜重大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	8	8	〔年賀状〕	大正8	1	1	福岡県田川郡金川村　辻長市	北方輜重兵大隊　安高上等兵	年賀状	葉書	1	
V	8	9	〔年賀状〕	大正8	1	1	大分県西国東郡呉崎村　石滝中男	北方輜重大隊　安高上等兵	年賀状	葉書	1	印刷画　小僧の悪戯　天川屋
V	8	10	〔年賀状〕	大正8	1	1	宗像郡神湊町　永島伝三郎	北方輜重大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	8	11	〔年賀状〕	大正8	1	1	熊本県阿蘇郡内牧町　小島頼雄	輜重大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	8	12	〔年賀状〕	大正8	1	1	若松市五反町　山田倉吉	北方輜重兵大隊　安高上等兵	年賀状	葉書	1	
V	8	13	〔年賀状〕	大正8	1	1	山口県厚狭町　安永良一	北方輜重兵12一1　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物　安永店（芸者置屋か）
V	8	14	〔年賀状〕	〔大正8〕	1	1	大連市土佐町　松下俊一	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	8	15	〔葉書〕	大正7	12	29	〔宮崎県〕東臼杵郡東海村　米田増太郎	北方輜重兵大隊　安高上等兵	返書（伍長勤務昇進祝）	葉書	1	
V	8	16	〔年賀状〕	大正8	1	1	遠賀郡戸畑駅　柳井新一郎	北方輜重兵大隊　安高上等兵	年賀状	葉書	1	
V	8	17	〔年賀状〕	大正8	1	1	日向国東臼杵郡北川村　米田増太郎	北方輜重兵大隊　安高上等兵	年賀状	葉書	1	印刷物
V	8	18	〔年賀状〕	大正8	1	1	甘木警察署内　吉田東蔵	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	8	19	〔年賀状〕	大正8	1	1	出征第12師団　白石寿	北方輜重兵大隊　安高段兵衛	年賀状	葉書	1	
V	8	20	〔年賀状〕	大正8	1	1	熊本阿蘇郡白水村　二千石次男	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	8	21	〔年賀状〕	大正8	1	1	朝倉郡三輪村　今福	北方輜重大隊　阿(ママ)高上等兵	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	8	22	〔年賀状〕	大正7	12	31	福岡県遠賀郡折尾村　末永久	北方輜重兵隊　安高上等兵	年賀状	葉書	1	印刷物
V	8	23	〔年賀状〕	大正7	12	31	大分県宇佐郡佐田村　大隈敏夫	北方輜重兵大隊　阿(ママ)高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	8	24	〔年賀状〕	大正7	12	31	京都郡城井村　野口長蔵	北方輜重兵大隊　安高上等兵	年賀状	葉書	1	
V	8	25	〔年賀状〕	大正8	1	1	早良郡姪浜砿業所土作課　徳田寅吉	北方輜重兵大隊　安高上等兵	年賀状	絵葉書	1	「福博名所　西公園桜花満開」の絵葉書
V	8	26	〔年賀状〕	大正8	1	1	日州〔宮崎県東臼杵郡〕田代　橘口としお	北方輜重兵第1中隊　安高上等兵	年賀状	葉書	1	
V	8	27	〔年賀状〕	大正7	12	31	八幡市枝光北本町　下川澄次	北方輜重兵大隊　安高上等兵	年賀状	葉書	1	
V	8	28	〔年賀状〕	大正8	1	1	福岡市博多上西町　百武広一	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	名刺入り封書	封書	1	
V	8	29	〔年賀状〕	大正8	1	1	大分県玖珠郡森小林区署　植田繁十	北方輜重兵大隊　安高上等兵、勝尾一等率	年賀状	葉書	1	ガリ版印刷
V	8	30	〔年賀状〕	大正8	1	1	八幡市枝光　木村益大商店(醤油部)	北方輜重兵大隊　安高上等兵	年賀状	葉書	1	
V	8	31	〔年賀状〕	大正8	1	1	豊浦郡粟野港　よしだ	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	墨書きの絵入り
V	8	32	〔年賀状〕	大正8	1	1	遠賀郡底井野村　瓜生	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	8	33	〔年賀状〕	大正8	1	1	八幡市徳広町　吉岡	北方輜重兵大隊　安高上等兵	年賀状	葉書	1	
V	8	34	〔年賀状〕	大正8	1	1	山口県厚狭郡須恵村　日本礦業所　河上才一	北方輜重兵大隊　安高上等兵	年賀状	葉書	1	
V	8	35	〔年賀状〕	大正8	1	1	宮崎県東臼杵郡門川村　水永緑	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	絵葉書	1	「別府名所　かまど地獄」の絵葉書
V	8	36	〔年賀状〕	大正8	1	1	底井野村下大隈　前田鶴夫	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	8	37	〔年賀状〕	大正8	1	1	東京　山本政次郎	小倉輜重兵大隊　安高上等兵	年賀状、写真受取の礼	絵葉書	1	「不動貯金銀行上野支店営業場の一部」の絵葉書
V	8	38	〔年賀状〕	大正8	1	1	〔大倉円治〕	小倉輜重兵大隊　安高上等兵	年賀状	絵葉書	1	「温陽温泉市街」(韓国か)の絵葉書
V	8	39	〔書簡〕	大正8	1	1	佐賀県伊万里仲下町　中尾浩	輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀、写真送付する、同郷の友人松永が入営したのでよろしく頼む	便箋3	1	肥前伊万里町蝋屋本店の便箋、封筒あり
V	8	40	〔年賀状〕	大正8	1	1	大阪市北区莫大小商・吉武康夫方　前田増市	北方輜重兵大隊　安高上等兵	年賀状	葉書	1	
V	8	41	軍事郵便〔年賀状〕	大正8	1	1	出征第12師団　藤井徳七	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	ガリ版印刷
V	8	42	〔葉書〕	大正8	1	4	宮崎県東臼杵郡東郷村　佐藤徳太郎	北方輜兵大隊　安高団兵衛	近況報告	葉書	1	日付は消印
V	8	43	〔葉書〕	大正8	1	13	遠賀郡水巻村頃末　渡辺正	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	新年を祝う、寒中見舞	葉書	1	
V	8	44	〔書簡〕	大正8	1	10	宮崎県東臼杵郡西郷村　松浦伝十郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	賀状返書、伍長昇進を祝う	絵葉書	1	「都農神社社殿」の絵葉書、封筒あり
V	8	45	〔葉書〕	大正8	1	5	〔山口県〕厚狭郡小野村　岡田福一	北方輜重兵大隊　安高上等兵	賀状返書	葉書	1	日付は消印
V	8	46	〔葉書〕	〔大正8〕			東京　松本　悌	小倉北方輜重兵大隊　安高団兵衛	消息報告	葉書	1	
V	8	47	〔葉書〕	大正8	旧正月	2	宮崎県東臼杵郡門川村　水永緑	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	写真送付の礼	葉書	1	
V	8	48	〔葉書〕	大正8	2	5	宮崎県東臼杵郡北川村　米田増太郎	北方輜重兵大隊　安高上等兵	寒中見舞	葉書	1	
V	8	49	〔年賀状〕	大正8	1	1	村田久右衛門	北方輜重兵大隊　安高上等兵	年賀状	絵葉書	1	「片倉組大分製糸所　現業上ノ一部」の絵葉書
V	8	50	〔葉書〕	大正8			遠賀郡底井野村　瓜生輸卒	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	寒中見舞	葉書	1	
V	8	51	〔葉書〕	大正8			戸畑駅　柳井新一郎	北方輜重兵士隊　安高伍勤上等兵	寒中見舞	葉書	1	
V	8	52	〔葉書〕	大正8	2	19	肥前伊万里町蠟屋本店　中尾浩	北方輜重兵士隊　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	肥前伊万里町蝋屋本店の葉書
V	8	53	〔葉書〕	大正8	2	27	阿蘇郡内牧町　小嶋頼雄	輜重兵大隊上等兵　仲野悦次・安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	8	54	〔葉書〕	大正8	3	4	大分県北海部郡住□丸船長　川村良一	北方輜重兵大隊教育課　安高団兵衛	満期退営帰宅の挨拶	葉書	1	日付は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	8	55	〔葉書〕	大正8	3	1	宗像郡池野村　横山栄樹	北方輜重兵大隊　安高上等兵	満期退営帰宅の挨拶	葉書	1	日付は消印
V	8	56	〔葉書〕	大正8	3	1	大分市　村上春夫	北方輜重中隊　安高上等兵	満期退営帰宅の挨拶	葉書	1	日付は消印
V	8	57	〔葉書〕	大正8	3	6	熊本県阿蘇郡波野村　市原今朝次	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	満期退営帰宅の挨拶	葉書	1	日付は消印
V	8	58	〔葉書〕	大正8	3	7	三宅保	北方輜重兵大隊　安高上等兵	満期退営帰宅の挨拶	葉書	1	日付は消印
V	8	59	〔葉書〕	大正8	3	7	大分県大野郡南諸方村　首藤森人	北方輜重兵大隊　安高団兵衛・中嶋実	満期退営帰宅の挨拶	葉書	1	日付は消印
V	8	60	〔葉書〕	〔大正8〕	3	11	採銅所村　坂井梅次郎	北方輜重大隊　安高団兵衛	返書	葉書	1	
V	8	61	〔葉書〕	大正8	3	9	西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	北方輜重兵隊　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	8	62	〔葉書〕	大正8	3	11	沖縄県国頭郡本部村　島袋貞仁	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	満期退営帰宅の挨拶	葉書	1	日付は消印
V	8	63	〔葉書〕	大正8	3	20	宮崎県東臼杵郡西郷村　橋口元輸卒	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	8	64	〔葉書〕	大正8	3	26	西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	返書	葉書	1	日付は消印
V	8	65	〔葉書〕	大正8	3	23	阿蘇郡内牧町　小島頼雄	輜重兵大隊　安高団兵衛	各上官等の様子をお知らせ願う	葉書	1	日付は消印
V	8	66	〔葉書〕	大正8	3	27	宮崎県西臼杵郡岩井川　戸田久市	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	8	67	〔葉書〕	大正8	3	9	宗像郡池野村　横山栄樹	北方輜重兵大隊　日野七五三一	将校用の拍車一組の値段を知らされ度	葉書	1	日付は消印
V	8	68	〔葉書〕	〔大正8〕	〔3〕		田川郡採銅所村　坂井梅次郎	北方輜重兵大隊　〇〇上等兵	満期退営帰宅の挨拶	絵葉書	1	美人絵葉書、宛名は墨で塗りつぶし、日付は消印
V	8	69	〔葉書〕	大正8	3	7	田川郡採銅所村　坂井梅次郎	北方輜重兵大隊　〇〇上等兵	満期退営帰宅の挨拶	絵葉書	1	美人絵葉書、宛名は墨で塗りつぶし、日付は消印
V	8	70	〔葉書〕	大正8	3		沖縄県中頭郡具志川村　照屋寛亀	北方輜重兵大隊　安高伍長勤務上等兵	満期退営帰宅の挨拶	葉書	1	日付は消印
V	8	71	〔葉書〕	大正8	4	7	宮崎県西臼杵郡岩井川　戸田〔久市〕	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	入営時の思い出	葉書	1	日付は消印
V	8	72	〔葉書〕	大正8	4	8	宮崎県西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	農作業のことなど近況	葉書	1	日付は消印
V	8	73	〔葉書〕	大正8	4	13	福岡県遠賀郡底井野村　瓜生延一	北方輜重兵　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	8	74	〔葉書〕	大正8	4	5	折尾町　波多野倉吉	北方輜重兵　安高上等兵	近況報告	葉書	1	日付は消印
V	8	75	〔葉書〕	大正8	4	13	宗像郡池野村　横山〔栄樹〕	北方輜重兵大隊　安高上等兵	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	8	76	〔葉書〕	大正8	4	27	大分県夏〔直か〕入郡荻村　白石寿	北方輜重兵大隊　安高上等兵	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	8	77	〔葉書〕	大正8	5	1	大阪市北区松ヶ枝町　前田増市	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	8	78	〔葉書〕	大正8	5	8	神湊　永しま	北方輜重兵大隊　安高上等兵	入営時の思い出	葉書	1	
V	8	79	〔葉書〕	大正8	5	7	西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	返書	葉書	1	日付は消印
V	8	80	〔葉書〕	〔大正8〕	4	6	嘉穂郡穂波村　井田仁田郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	勝尾殿に頼んだ軍服の件	葉書	1	
V	8	81	〔葉書〕	大正8	5	2	沖縄県島尻郡渡嘉敷村　慶田喜政	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	退営挨拶	葉書	1	日付は消印
V	8	82	〔葉書〕	大正8	5	11	宮崎県西臼杵郡岩井川　〔戸田久市〕	北方輜重兵大隊　安高団兵衛・仲井間	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	8	83	〔葉書〕	大正8	5	14	佐賀県東松浦郡打上村　太田政太郎	北方輜重兵大隊　安高上等兵	時候挨拶	葉書	1	
V	8	84	〔葉書〕	大正8	5	7	宮崎県西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	兵営内の消息を尋ねる	葉書	1	
V	8	85	〔葉書〕	大正8	5	21	宮崎県西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	返状（近況報告）	葉書	1	
V	8	86	〔葉書〕	大正7	3	1	豊前中津米町　先川誠二	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	退営帰宅の挨拶	葉書	1	日付は消印
V	8	87	〔葉書〕	大正8	5	26	福岡県嘉穂郡内野　三宅保	北方輜重兵大隊　安高上等兵	内務に関する問答本を1週間ばかり借りたい	葉書	1	日付は消印
V	8	88	〔葉書〕	大正8	6	4	福岡県築上郡黒土村　萩原勇	北方輜重兵大隊　安高団平（ママ）	在営中の礼	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	8	89	〔葉書〕	〔大正8〕	6	1	大分県宇佐郡和間村　松原敏夫	北方輜重兵大隊　安高上等兵	満期退営帰宅の挨拶	葉書	1	
V	8	90	〔葉書〕	大正8	5	28	日向国東臼杵郡北川村〔米田源太郎〕	北方輜重兵大隊　安高上等兵	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	8	91	〔葉書〕	大正8	6	2	永島呉服店内　伝三郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	6月1日の記念日のこと	葉書	1	
V	8	92	〔葉書〕	〔大正〕8	6	2	田川郡井田　中原三蔵	北方輜重兵大隊　安高上等兵	在営中の礼と無事帰宅の挨拶	絵葉書	1	〔かかあ天下〕の絵葉書 日付は消印
V	8	93	〔葉書〕	〔大正〕8	5	31	道後　川村	北方輜重大隊　安高上等兵外御一同	在営中の御礼	絵葉書	1	「歩兵第二十二連隊兵衛」の絵葉書、日付は消印
V	8	94	〔葉書〕	〔大正〕8	5	31	大分県速見郡別府町　友永繁男	北方輜重兵大隊　安高上等兵	在営中の御礼と帰宅の挨拶	葉書	1	日付は消印
V	8	95	〔葉書〕	〔大正〕8	6	3	大分県日田郡中川村　桑野寛治	北方輜重兵大隊　安高上等兵	在営中の礼と帰宅の挨拶	葉書	1	
V	8	96	〔葉書〕	〔大正〕8	3	2	下毛郡中津カキゼ　政秀〔身上〕	北方輜重兵大隊　安高上等兵	在営中の礼と帰宅の挨拶、九水電気中津営業所に勤務	葉書	1	日付は消印
V	8	97	〔葉書〕	大正8	6	2	大分県速見郡朝日村　毛利常好	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	在隊中御礼	葉書	1	
V	8	98	〔葉書〕	〔大正〕8	6	7	宇佐郡和間村　松原作市	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	倅の在営中の御礼	葉書	1	日付は消印
V	8	99	〔葉書〕	大正8	6	7	宗像郡池野村　横山栄樹	北方輜重兵大隊　安高上等兵	時候挨拶	葉書	1	
V	8	100	〔葉書〕	〔大正〕8	6	8	三宅保	北方輜重兵大隊　安高上等兵	書物送付礼状	葉書	1	日付は消印
V	8	101	〔葉書〕	〔大正〕8	6	10	大分県塩九舛町　成重光義	北方輜重兵大隊　安高上等兵	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	8	102	〔葉書〕	大正8	6	10	大分県宇佐郡和間村　松原敏夫	北方輜重兵大隊　安高上等兵	近況報告（返状）	葉書	1	
V	8	103	〔葉書〕	大正8	6	15	田川郡伊田町　中原三蔵	北方輜重大隊　安高上等兵	返状	葉書	1	
V	8	104	〔葉書〕	〔大正8〕	6	16	大分県速見郡別府町　友永繁男	北方輜重兵大隊　安高上等兵	近況報告	葉書	1	
V	8	105	〔葉書〕	〔大正〕8	6	25	山口県厚狭町　安永良一	小倉輜重12一1　安高団兵衛	時候挨拶	絵葉書	1	「日本火薬製造株式会社厚狭工場」の絵葉書 日付は消印
V	8	106	〔葉書〕	〔大正〕8	6	23	宇佐郡西馬城村　岩雄	北方輜重兵大隊　安高団兵衛・渡辺次郎	無事帰宅の挨拶	絵葉書	1	「李王家昌慶苑動物園」の絵葉書、日付は消印
V	8	107	〔葉書〕	〔大正〕8	6	23	大分県下毛郡中津　身上政秀	北方輜重兵大隊　安高上等兵	来月15・16日の中津祇園への誘い	葉書	1	日付は消印
V	8	108	〔葉書〕	〔大正〕8	6	24	三宅保	北方輜重兵大隊　安高上等兵	書籍の借用延期について	葉書	1	日付は消印
V	8	109	〔葉書〕	大正8	6	21	宮崎県西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	8	110	〔葉書〕	大正8	6	27	大分県宇佐郡和間村　松原敏夫	北方輜重兵大隊　安高上等兵	6月より「輸ちゃんの守り」から事務室での仕事に異動になった由、御身の楽を喜ぶ	葉書	1	
V	8	111	〔葉書〕	〔大正〕8	6	25	阿ソ内牧町　小島頼雄	北方輜重兵大隊　阿高団兵衛	時候挨拶、第三中隊の輸卒松本常彦は友人なり、よろしく頼む	葉書	1	日付は消印
V	8	112	〔葉書〕	大正8	6	27	宮崎県東臼杵郡東海村　小田秋三郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	8	113	〔葉書〕	〔大正〕8	7	22	大分県速見郡東山香村　大田俊一	北方輜重兵隊　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
V	8	114	〔葉書〕	〔大正〕8	7	7	中津　政秀	北方輜重兵大隊　安高上等兵	先月末の面会に行けなかったことの詫び	葉書	1	日付は消印
V	8	115	〔葉書〕	〔大正〕8	7	4	宮崎県西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	8	116	〔葉書〕	大正8	7	19	大分県宇佐郡和間村　松原敏夫	北方輜重兵大隊　安高上等兵	本月末の宇佐の祭典に参詣くだされ度	葉書	1	
V	8	117	〔葉書〕	〔大正8〕	7	31	大分市塩九舛町　成重光義	北方輜重兵大隊　安高団兵衛・工藤続	暑中見舞	葉書	1	
V	8	118	〔葉書〕	〔大正8〕			内野村　三宅保	北方輜重兵大隊　安高上等兵	時候挨拶	葉書	1	
V	8	119	〔葉書〕	〔大正8〕	7	2	遠賀郡底井野村　瓜生	北方輜重兵大隊　安高上等兵	戦争（第一次世界大戦）も結局を告げ、昨日は平和克復にて当地にても祝儀仕り	葉書	1	
V	8	120	〔葉書〕	〔大正〕8	7	13	下大隈　鶴夫	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	8	121	〔葉書〕	大正8	7	7	宇佐郡西馬城村　岩男	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	8	122	〔葉書〕	〔大正〕8	7	17	大分県南海部郡下堅田村　和田助市	北方輜重兵大隊　安高上等兵	退営帰宅の挨拶	葉書	1	
V	8	123	〔葉書〕	〔大正〕8	7	2	田川郡伊田町　中原三蔵	北方輜重兵大隊　安高上等兵	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	8	124	〔葉書〕	〔大正〕8	8	10	下大隈　津る夫　（前田鶴雄）	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	奉公袋落手の知らせと礼	葉書	1	
V	8	125	〔葉書〕	大正8	7	28	中津九水　政秀	北方輜重兵大隊　安高上等兵	近況報告	葉書	1	
V	8	126	〔葉書〕	〔大正〕8	7	28	宮崎県西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	返状（近況報告）	葉書	1	墨を塗った上に鉛筆書き
V	8	127	〔葉書〕	〔大正8〕			宗像郡池野　横山重起	北方輜重兵大隊　安高上等兵	時候挨拶、欧乱終わり	葉書	1	
V	8	128	〔葉書〕	〔大正〕8	8	16	戸畑明治町　柳井新一郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	8	129	〔葉書〕	〔大正〕8	8	16	大分県宇佐郡和間村　松原年〔敏〕夫	北方輜重兵大隊　安高上等兵	時候挨拶	葉書	1	
V	8	130	〔葉書〕	〔大正〕8	8	24	熊本県阿蘇郡内牧　小島頼男	北方輜重兵大隊　阿高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	8	131	〔葉書〕	〔大正〕8	8	26	大分県宇佐郡和間村　松原敏夫	北方輜重兵大隊　安高上等兵	9月4日よりの輜重隊の十泊行軍には如何なご都合か	葉書	1	
V	8	132	〔葉書〕	〔大正〕8	8	27	下大隈　まえだ津る夫	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	残暑見舞い、帰郷の日にちの問い合わせ	葉書	1	
V	8	133	〔葉書〕	〔大正〕8	9	10	大分県宇佐郡和間村　松原敏夫	北方輜重兵大隊　安高上等兵	面会できた喜び、無事帰宅の挨拶	葉書	1	
V	8	134	〔葉書〕	大正8	9	20	大〔分県〕別〔府町〕　友永繁男	北方輜重兵大隊　安高上等兵	退営後は一度別府に入湯あり度	葉書	1	日付は消印
V	8	135	〔葉書〕	〔大正〕8	9	22	博多青木慶太郎商店内　藤原学	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	新聞紙上にて検閲開始の報を知る、準備にて繁忙のことと推察	葉書	1	「青木慶太郎商店」のスタンプあり
V	8	136	〔葉書〕	〔大正8〕	9	23	底井野村　瓜生延一	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	面会に立ち寄ったが病気流行の為面会禁止で叶わず、残念	葉書	1	
V	8	137	〔葉書〕	大正8	9	24	日田郡中川村　桑野寛治	北方輜重兵大隊　安高上等兵	芋屋一同息災、この品挨拶の印までに贈呈（品物不明）	葉書	1	
V	8	138	〔葉書〕	大正8	9	30	中津　政〔秀〕	北方輜重兵大隊　安高上等兵	輸ちゃんの六泊行軍は何方面か	葉書	1	
V	8	139	〔葉書〕	大正8	9	27	宇佐郡和間村　松原〔敏夫〕	北方輜重兵大隊　安高上等兵	養蚕農業多忙につき返信延引の詫び	葉書	1	
V	8	140	〔葉書〕	〔大正〕8	10	7	宮崎県西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	近況報告、旧8月1日に鞍岡日限神社で祭礼あり、大いに賑わう	葉書	1	
V	8	141	〔葉書〕	〔大正8〕	9	30	田川郡採銅所村　坂井梅次郎	北方輜重兵大隊　安高団平	時候挨拶	葉書	1	
V	8	142	〔葉書〕	大正8	10	5	大分県宇佐郡和間村　松原敏夫	北方輜重兵大隊　安高上等兵	10月1日から仲秋祭あり、大田俊市君来る	葉書	1	
V	8	143	〔葉書〕	〔大正〕8	10		中谷村　松村安馬	北方輜重兵大隊　安高上等兵	返状	葉書	1	日付は消印
V	8	144	〔葉書〕	〔大正〕8	10	9	西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	返状、近況報告	葉書	1	
V	8	145	〔葉書〕	〔大正8〕	10	13	宗像郡池野村　横山栄樹	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	返状、在営中の思い出	葉書	1	
V	8	146	〔葉書〕	〔大正〕8	10	18	速見郡東山香村　大田俊市	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	先日3日に松原（宇佐郡）のうちに行った	葉書	1	
V	8	147	〔葉書〕	大正8	10	18	大分県南海部郡下堅田村　和田助市	北方輜重兵大隊　安高上等兵	満期退営近づき無事の帰宅を祈る	絵葉書	1	「御吉野丸」の絵葉書、日付は消印
V	8	148	〔葉書〕	〔大正〕8	11	1	大分県大野郡　首藤森人	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	眼病全快、農務従事致し居り	葉書	1	日付は消印
V	8	149	〔葉書〕	〔大正8〕	〔11〕	2	大分県南海郡佐伯町　成重光義	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	9月1日より表記の住所で生活す、10余日後の満期退営を祝す	葉書	1	
V	8	150	〔葉書〕	大正8	〔11〕	〔1〕	宗像郡池野村　横山栄樹	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	（満期退営を控えて）近況を写せる勇姿一枚の恵与を願う	葉書	1	日付は消印
V	8	151	〔葉書〕	〔大正8〕			日州田代　橋口	輜重兵大隊　安高団兵衛	上等兵殿の満期退営を祝す、里の住所を知りたい	葉書	1	
V	8	152	〔葉書〕	〔大正〕8	11	8	中谷村　松村安馬	北方輜重兵大隊　安高上等〔兵〕	10・11日の当村氏神様例年際に是非ご参詣下され度	葉書	1	日付は消印
V	8	153	〔葉書〕	〔大正〕8	11	10	神湊　永島	北方輜重兵大隊	満期退営祝	葉書	1	日付は消印
V	8	154	〔葉書〕	〔大正〕8	12	10	大分県宇佐郡和間村　松原敏夫	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	満期退営前に写真を送ってほしい	葉書	1	日付は消印
V	8	155	〔葉書〕	〔大正〕8	11	22	北方輜重兵大隊　古屋荒次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	満期退営祝	葉書	1	
V	8	156	〔葉書〕	大正8	11	18	行軍中の大道村　松井開造	芦屋町粟屋　安高団兵衛	行軍の様子報告	葉書	1	
V	8	157	〔葉書〕	〔大正〕8	11		前期輸卒　大田	北方輜重大隊　安高団兵衛	満期祝（自宅に転送）	葉書		墨を塗った上に鉛筆書き
V	8	158	〔葉書〕	大正8	11	18	山口県豊浦郡豊西上村　笹山	北方輜重兵大隊　安高上等兵	満期祝（自宅に転送）	葉書	1	日付は消印
V	8	159	〔葉書〕	〔大正〕8	11	14	大分県宇佐郡和間村　松原	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	満期祝、写真の礼	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	8	160	〔葉書〕	〔大正〕8	11	18	宗像郡池野村　横山涯峯	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	満期祝、写真の礼	葉書	1	日付は消印
V	8	161	〔葉書〕	大正8	11	27	大分県速見郡別府町　友永繁男	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	満期祝	葉書	1	
V	8	162	〔葉書〕	大正8	11		大分県東海郡下堅田村　和田助市	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	満期祝	葉書	1	日付は消印
V	8	163	〔葉書〕	大正8	11	25	底井野村　瓜生延一	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	満期祝	葉書	1	
V	8	164	〔葉書〕	大正8	11	28	企救郡中谷村　松村安馬	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	満期祝、満期記念の品のお礼	葉書	1	日付は消印
V	8	165	〔葉書〕	〔大正〕8			福岡市外箱崎町　藤原吉次	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	退営帰宅の挨拶	葉書	1	日付は消印
V	8	166	〔葉書〕	〔大正〕8	12	3	佐賀県東松浦郡鏡村　今田正丸	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	退営帰宅の挨拶	葉書	1	日付は消印
V	8	167	〔葉書〕	〔大正8〕	12	3	福岡市外姪浜町　矢野惣右衛門	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	退営帰宅の挨拶	葉書	1	日付は消印
V	8	168	〔葉書〕	大正8	12		熊本県阿蘇郡内牧町　小島頼雄	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	満期祝	葉書	1	日付は消印
V	8	169	〔葉書〕	〔大正〕8	12	5	大阪商船門司支店北京丸　谷寅吉	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	退営挨拶、遠洋航路に職を得た	葉書	1	日付は消印
V	8	170	〔葉書〕	大正8	12	7	大阪商船北京丸　谷寅吉	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	三池着港明日出帆、来年2月帰国予定	絵葉書	1	「興津海岸の風光」の絵葉書、日付は消印
V	8	171	〔葉書〕	大正8	12		博多中島町　手島米蔵	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	満期祝	葉書	1	日付は消印
V	8	172	〔葉書〕	大正8	12	3	大分県大野郡南諸方村　首藤森人	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	満期祝	葉書	1	
V	8	173	〔葉書〕	大正8	12	4	大分県速見郡東山香村　大田俊一	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	満期祝	葉書	1	
V	8	174	〔葉書〕	大正8	12	4	京都府久世郡宇治町　菊屋自動車部　高崎嶋吉	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	満期祝、自動車運転手に就職した	葉書	1	
V	8	175	〔葉書〕	大正8	12	6	大分県下毛郡中津　身上政秀	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	満期祝	葉書	1	
V	8	176	〔葉書〕	大正8	12	4	田川郡採銅所村　坂井梅次郎	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	満期祝	葉書	1	
V	8	177	〔葉書〕	大正8	12	5	宮崎県西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	満期祝	葉書	1	
V	8	178	〔葉書〕	大正8	12		戸畑駅　柳井新一郎	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	満期祝	葉書	1	日付は消印
V	8	179	〔葉書〕	大正8	12	18	弥山　三宅保	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	満期祝	葉書	1	日付は消印
V	8	180	〔葉書〕	大正8	12	6	大分県日田郡中川村　桑野寛治	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	満期祝	葉書	1	
V	8	181	〔葉書〕	大正8	12	10	折尾町　波多野倉吉	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	満期祝	葉書	1	
V	8	182	〔葉書〕	大正8	12	10	大分県宇佐郡和間村　松原敏夫	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	進物御礼	葉書	1	
V	8	183	〔葉書〕	大正8	12	30	田川郡添田本町北尋常小学校建築場ニテ　桑野寛治	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	満期祝	葉書	1	
V	8	184	〔転居先不明用紙〕					遠賀郡芦屋町　安高団兵衛		紙	2	葉書からはずれたもの
V	8	185	〔葉書〕	〔大正〕8		11	宮崎県西臼杵郡岩井川　戸田	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	満期祝	葉書	1	日付は消印
V	8	186	〔葉書〕	〔大正〕8	12	11	日向東臼杵郡西郷村田代　橘口利夫	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	満期祝	葉書	1	日付は消印
V	8	187	〔葉書〕	〔大正〕8		17	糸島郡前原町　吉村秀雄	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	退営挨拶	葉書	1	日付は消印
V	8	188	〔葉書〕	大正8	12	11	宗像郡池野村　横山峯涯	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	満期祝	葉書	1	
V	8	189	〔葉書〕	大正9	1	1	大分県玖珠郡森町　安部格一	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	8	190	〔葉書〕	大正8	12	26	大分県速見郡東山香村　大田俊一	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	中井間・渡辺の居所を御一報くだされ度	葉書	1	
V	8	191	〔葉書〕	〔大正8〕			宮崎県東臼杵郡　永野実	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	伍長勤務昇位祝	葉書	1	
V	9	1-1	〔葉書〕	〔大正〕8	5	19	遠賀郡芦屋町　三村俊蔵	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	軍務倍々御奮励の由	葉書	1	V9-1-1～13入り包紙あり「親友より」
V	9	1-2	〔葉書〕	〔大正〕	5	12	芦屋町字粟屋　木原儀壮・武雄	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	返状、君の入隊早2年有半に対し我等は何の働き溜めもなく	葉書	1	
V	9	1-3	〔葉書〕	〔大正〕8	3		芦屋町粟屋　小野進	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	行軍で芦屋へ来た節、面会に行けず失礼	葉書	1	日付は消印
V	9	1-4	〔葉書〕	〔大正〕8	2	1	折尾町本城　本田茂雄	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	委細あって表記の住所に暮らし居り	葉書	1	
V	9	1-5	〔年賀状〕	大正8	1	1	粟屋　木原儀壮・武雄	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	9	1-6	〔年賀状〕	大正8	1	1	遠賀郡芦屋町　高橋格	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	1-7	〔年賀状〕	大正8	1	1	三村俊蔵	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	1-8	〔年賀状〕	〔大正8〕	1	1	小倉市米町　秋枝正助	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	1-9	〔年賀状〕	大正8	1	1	遠賀郡芦屋町　黒山高麿	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	1-10	〔年賀状〕	大正8	1	1	芦屋町山鹿　中西栄次郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	1-11	〔葉書〕	〔大正8〕	1	1	遠賀郡芦屋町　木原泰平	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	1-12	〔葉書〕	大正8	1	1	芦屋町粟屋　小野	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	1-13	〔葉書〕	大正8	1	1	あし屋町　二村喜代次	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	2-1	〔葉書〕	〔大正〕8	12	20	大分県大野郡片田舎姫島	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	帰宅後は互いに百姓をすばらしくやりましょう、地方人のズベラな風は困るね	葉書	1	V9-2-1～39入り包紙あり「同年兵より来れる信書入」
V	9	2-2	〔葉書〕	〔大正〕8	12	16	北方輜重12ノ1　中嶋実	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	輸卒第4班の係、踵に低（底か）豆できて手術した	葉書	1	
V	9	2-3	〔葉書〕	〔大正〕8	12	17	□屋郡古賀　長崎秀雄	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	近況報告	葉書	1	日付は消印
V	9	2-4	〔葉書〕	〔大正〕8	12		輜重兵第12大隊　山口	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	近況報告	葉書	1	日付は消印
V	9	2-5	〔葉書〕	〔大正〕8	12	8	北方輜重兵第12大隊　日野七五三一	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	9	2-6	〔葉書〕	〔大正〕8	12	7	輜重兵第12大隊　山口□□	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	近況報告、初年兵係りで声をからす	葉書	1	
V	9	2-7	〔葉書〕	〔大正〕8	12	11	北方輜12ノ1　尾家信介	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	時候挨拶、新兵教育に励む	葉書	1	
V	9	2-8	〔葉書〕	〔大正〕8			宮永軍曹	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	返状、退営帰郷の祝い	葉書	1	
V	9	2-9	〔葉書〕	〔大正〕8	11	30	北方輜12ノ1　尾家信介	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	面会の礼	葉書	1	日付は消印
V	9	2-10	〔葉書〕	〔大正〕8	11	25	下関市阿弥陀寺町　梅崎徳次郎？	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	在隊中のお礼	葉書	1	
V	9	2-11	〔葉書〕	〔大正〕8	11	23	輜12ノ2　後藤□長	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	祝満期退営	葉書	1	
V	9	2-12	〔葉書〕	〔大正〕8		21	北方輜重兵第12大隊　田中豊	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	在隊中のお礼	葉書	1	
V	9	2-13	〔葉書〕	〔大正〕8	11	24	北方輜12ノ1　□□頼房	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	返状、将来とも交際を祈る	葉書	1	
V	9	2-14	〔葉書〕	〔大正〕8	11	23	粕屋郡須恵村海軍第6坑　渋田	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	祝満期退営	葉書	1	日付は消印
V	9	2-15	〔葉書〕	〔大正〕8	11	25	日田郡小野村　権藤熊彦	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	退営無事帰郷	葉書	1	日付は消印
V	9	2-16	〔葉書〕	〔大正〕8	9	15	郷里のくろすけ(シブタ)	北方輜重兵大隊　安高上等兵	返状、満期退営の日を祈る	葉書	1	日付は消印
V	9	2-17	〔葉書〕	〔大正〕8	5	13	第二野戦病院　長斉秀雄	北方輜重兵第一中隊　安高伍長勤務上等兵	凱旋命令が出て、17日出発する	葉書	1	
V	9	2-18	〔葉書〕	〔大正〕8	2	21	嘉穂郡鎮西村　川辺光雄	北方輜重兵大隊　安高上等兵	在営中のお礼	葉書	1	日付は消印
V	9	2-19	〔葉書〕	〔大正〕8	2	20	粕屋郡郷原村安河内魁三郎	北方輜重兵大隊　姫島上等兵、外輪卒者三年兵		葉書	1	
V	9	2-20	〔葉書〕				宗像郡吉□村　伊豆英夫	北方輜重兵大隊　安高、姫島、白木原各上等兵、外幹部	退営帰宅の挨拶	葉書	1	
V	9	2-21	〔葉書〕	〔大正8〕	2	21	小倉衛戍病院　後藤武彦	北方輜重12ノ1　安高上等兵	面会の礼	葉書	1	日付は消印
V	9	2-22	〔葉書〕		2	21	粕屋郡大川村　渋田武三郎	北方輜重兵大隊　安高上等兵外班員一同	退営帰宅の挨拶	葉書	1	日付は消印、印刷物
V	9	2-23	〔葉書〕		12	9	朝倉郡杷木町　吉松秀親	輜重兵大隊　林貞夫	近況伺い	絵葉書	1	「箱崎浜の夕照」の絵葉書
V	9	2-24	〔年賀状〕	大正8	1	1	東松浦郡相知村小川祐三郎	小倉輜重兵第12大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	2-25	〔年賀状〕	〔大正8〕	1	1	北方騎兵12ノ9　松浦卯作	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	2-26	〔年賀状〕	大正8	1	1	大分県大野郡井田村十時実男	輜重兵第12大隊　安高上等兵	年賀状	葉書	1	
V	9	2-27	〔年賀状〕	大正8	1	1	下関市　植田正章	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	2-28	〔年賀状〕	大正8	1	1	朝倉郡杷木町　吉松秀親	北方輜重兵大隊　安高上等兵	年賀状	葉書	1	印刷物
V	9	2-29	〔年賀状〕	大正8	1	1	出征第12師団　峰原三郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	軍事郵便
V	9	2-30	〔年賀状〕	大正8	1	1	宇佐郡北馬城村　北崎与作	北方輜重兵大隊　江藤八平、安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	2-31	〔葉書〕	〔大正〕7	7	12	築上郡 尾家信介	北方輜重兵大隊　輸卒者第三班幹部	近況伺い	葉書	1	日付は消印
V	9	2-32	〔葉書〕	〔大正〕7	7	8	下毛郡の残留の友	北方輜重兵大隊　高見上等兵	近況報告	葉書	1	日付は消印
V	9	2-33	〔葉書〕		7	8	旅行の友	北方輜重兵大隊　川辺上等兵	近況報告、十泊行軍の様子など	葉書	1	日付は消印
V	9	2-34	〔年賀状〕	大正7	1	1	郷里　藤田与作	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	9	2-35	〔葉書〕	〔大正〕7	3	9	小倉衛戍病院　仲の上等兵	北方氏徴兵大隊　高見、安高上等兵	入院中の体調の様子、留守中万事宜しく頼む	葉書	1	日付は消印
V	9	2-36	〔葉書〕	〔大正〕7	〔3〕	24	病院にて　仲野上等兵	北方輜重兵大隊　高見、安高上等兵	近況報告、快方に向かい近々退院の見込み	葉書	1	日付は消印
V	9	2-37	〔葉書〕		7	9	帰郷の友	北方輜重兵大隊　輸卒者第三班	近況報告、山国～彦山、明日から帰郷、中津祇園に行く	絵葉書	1	「英彦山高住神社」絵葉書、日付は消印
V	9	2-38	軍隊手牒				陸軍	安高団兵衛	大正5年12月1日入隊～大正8年12月1日満期	手帳	1	小林又七製
V	9	2-39	〔葉書〕	〔大正8〕	5	13	哈府(ﾊﾊﾞﾛﾌｽｸ)ヨリ　たけご	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	17日哈府発19日浦汐(ｳﾗｼﾞｵｽﾄｸ)着予定、拝顔も遠からず	葉書	1	
V	9	2-40	〔葉書〕	〔大正〕8	5	11	第12師団第2野戦病院　武田与八郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	返状、近況報告	絵葉書	1	「両堂全景」の絵葉書
V	9	3-1	〔葉書〕	〔大正〕7	2	11	遠賀郡島川村　永田要七母	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	昇進祝い	葉書	1	V9-3-1～22入り包紙あり「諸方諸人より来る」
V	9	3-2	〔葉書〕	〔大正7〕		12	遠賀郡芦屋本町　三好喜七郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	返状、時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	9	3-3	〔年賀状〕	〔大正7〕	1	1	遠賀郡芦屋町　安高太四郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	3-4	〔年賀状〕	大正7	1	1	遠賀郡岡垣村　広渡団平	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	3-5	〔年賀状〕	大正7	1	1	遠賀郡芦屋町　小野成一	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	3-6	〔年賀状〕	大正7	1	1	底井野村　西長次郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	3-7	〔書簡〕		3	21	野砲兵第12連隊本部　三代元喜	輜重兵第12大隊　高見松美、安高団平(ママ)上等兵	知人の房前常喜を宜しく頼む	便箋	1	封筒あり
V	9	3-8	〔年賀状〕	大正7	1	1	遠賀郡芦屋町　高橋格	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	3-9	〔年賀状〕	〔大正7〕	1	1	芦屋町　桑原十郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	3-10	〔年賀状〕	大正8	1	1	芦屋町長藤井正倫、芦屋町分会長桑原十郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	9	3-11	〔葉書〕	〔大正〕8			速見郡東山香村　大田伝平	北方輜重平大隊　安高団兵衛	俊市を御頼み申す	葉書	1	
V	9	3-12	〔葉書〕	〔大正8〕	8	20	速見郡藤原村　口市太郎	北方輜重平大隊　安高団兵衛	太田俊一の教育を伏して御依頼申す	葉書	1	日付は消印
V	9	3-13	〔葉書〕	〔大正〕8	3	14	速見郡大神村　竹内福太郎	北方輜重平大隊　安高団兵衛	大田俊一の御世話を御頼み致す	葉書	1	日付は消印
V	9	3-14	〔葉書〕	〔大正8〕	4	25	宇佐郡和間村　松原作市	北方輜重平大隊　安高団兵衛	倅敏夫を宜しく	葉書	1	
V	9	3-15	〔葉書〕		5	26	直方町　藤本きな	北方輜重平大隊　安高団兵衛	返状、折角のご宿泊に何のお構いもできず	葉書	1	
V	9	3-16	〔案内状〕	大正8	10	18	芦屋町尚武会長　下郡一成	安高団兵衛	凱旋祝賀会、10月24日、於芦屋大国座	葉書	1	印刷物
V	9	3-17	〔葉書〕	〔大正〕8	6	23	豊前市中津　清水昌俊	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	愚息政秀の在営中の礼	葉書	1	
V	9	3-18	〔葉書〕	大正8	9	20	唐津電気製鋼株式会社　今田兼五郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	9	3-19	〔葉書〕	大正8	11	13	唐津電気製鋼株式会社　今田兼五郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	満期退営を祝す	葉書	1	
V	9	3-20	〔葉書〕	〔大正〕8	12	2	唐津電気製鋼株式会社　今田兼五郎	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	在営中の礼	葉書	1	
V	9	3-21	〔葉書〕	〔大正〕8	12	3	東松浦郡鏡村　今田市太郎	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	満期退営祝い	葉書	1	日付は消印
V	9	3-22	〔葉書〕	〔大正〕8	12	2	高崎正戸	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	満期退営祝い、近況報告	葉書	1	
V	9	4-1	〔葉書〕	〔大正〕8	11	20	芦屋船頭町　二村喜代次	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	満期除隊祝い	葉書	1	V9-4-1～34入り包紙あり「郷里の近隣より(及共より)来れる葉書　日順入」
V	9	4-2	〔葉書〕	〔大正〕8	11	15	芦屋町粟屋　木原儀壮	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	来る満期退営の祝い	葉書	1	
V	9	4-3	〔葉書〕	〔大正〕8	11	13	東京芝区浜松町　本田重蔵	遠賀郡芦屋町　安高福蔵	子息(団兵衛)の来る満期退営の祝い	葉書	1	
V	9	4-4	〔葉書〕	〔大正〕8	11	24	東京芝浜松町　本田重蔵	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	退営祝い	葉書	1	
V	9	4-5	〔葉書〕	大正8	11	10	芦屋町　中西栄次郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	愈々満期近づき、首尾よく満期退営あらんことを祈る	葉書	1	
V	9	4-6	〔葉書〕	〔大正〕8	8	19	芦屋町　林貞蔵	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	9	4-7	〔葉書〕	〔大正〕8	8	8	三村俊蔵	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	暑気のため衰弱、招魂祭に行けず	葉書	1	日付は消印
V	9	4-8	〔葉書〕	〔大正〕8	8	2	芦屋町木原儀壮、武雄	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	臨時招魂祭案内に対する礼	葉書	1	
V	9	4-9	〔葉書〕	〔大正〕7	4	26	芦屋町木原儀壮	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	消息報告	葉書	1	
V	9	4-10	〔年賀状〕	大正7	1	1	木原儀壮・武夫	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	4-11	〔年賀状〕	〔大正〕7	1	1	芦屋町　小野進	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	9	4-12	〔葉書〕	〔大正〕7	4	2	芦屋町　小野進	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	日独間は今にも砲火取り交わされるかと恐々	葉書	1	
V	9	4-13	〔年賀状〕	〔大正〕7	1	1	あしや町　二村喜代次	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	4-14	〔葉書〕	〔大正〕7	1	21	芦屋　林貞蔵	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	上等兵昇進の祝い	葉書	1	
V	9	4-15	〔葉書〕	〔大正〕7	4	29	芦屋町　林貞造	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	悔状の礼	葉書	1	日付は消印
V	9	4-16	〔年賀状〕	〔大正〕7	1	1	芦屋町　中西栄次郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	4-17	〔葉書〕	〔大正〕7	4	27	山鹿　中西栄次郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	林貞造君妹千代子氏死去の知らせ	葉書	1	
V	9	4-18	〔葉書〕	大正7	1	26	芦屋町山鹿　中西栄次郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	9	4-19	〔年賀状〕	大正7	1	1	三村俊蔵	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	4-20	〔年賀状〕	大正7	1	1	芦屋町　本田茂雄	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	4-21	〔年賀状〕	〔大正〕7	1	1	小倉市米町　正助	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	4-22	〔葉書〕		1	5	東京市深川区　本田金蔵	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	手紙延引の詫び	葉書	1	
V	9	4-23	〔葉書〕	大正7	1	1	東京市深川区　本田金蔵	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	4-24	〔年賀状〕	大正7	1	1	佐世保□備隊　田中栄一	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	4-25	〔年賀状〕	大正7	1	1	芦屋町　木原泰平	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	4-26	〔葉書〕	〔大正〕7	5		芦屋町　木原泰平	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	招魂祭案内の礼	葉書	1	
V	9	4-27	〔年賀状〕	大正7	1	1	芦屋町中之浜　本田清吉	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	9	4-28	〔年賀状〕	大正7	1	1	芦屋町粟屋　本田	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	4-29	〔年賀状〕	大正7	1	1	芦屋町　木原正七	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	4-30	〔年賀状〕	大正7	1	1	芦屋町　大庭実平	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	4-31	〔年賀状〕	大正7	1	1	芦屋町　小野玄一郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	4-32	〔年賀状〕	大正7	1	1	芦屋町　冨永商店	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	4-33	〔年賀状〕	〔大正〕7	1	1	筑前芦屋　本田伊勢蔵	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	4-34	〔葉書〕	〔大正〕8	9	1	芦屋幸町　冨永商店	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	コレラ流行の見舞い	葉書	1	
V	9	5(1～6)	〔葉書等入り封筒〕							封筒	1	V9-5-1～6入り
V	9	5-1	〔内務班名簿〕				〔安高団兵衛〕		第1～4内務班、氏名・出身地・経歴職業・品行・家族・嗜好・特技など	継紙	1	前欠、方眼紙
V	9	5-2	〔葉書〕	〔大正8〕	5	3	輜12-1　安高上等兵	福岡県遠賀郡芦屋町　木原儀荘	眼病の見舞い、近況報告	葉書	1	未投函かスタンプなし
V	9	5-3	〔葉書〕	大正8	5	2	輜12-1　安高上等兵	宮崎県東臼杵郡北方村　米田増太郎	病気見舞い、近況報告	葉書	1	返還郵便か
V	9	5-4	〔葉書〕	〔大正8〕	12	1	芦屋町粟屋　安高団兵衛	戸畑町明治町　柳井新一郎	満期退営帰郷報告	葉書	1	返還郵便か
V	9	5-5	〔葉書〕	大正8	11	30	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	〔福岡県〕早良郡鳥飼村　佐野与繁	満期退営帰郷報告	葉書	1	返還郵便か
V	9	5-6	〔郵便物持戻票〕	〔大正8〕			集配人			書類	3	
V	9	6(1-7)	〔封筒〕福博名所絵葉書　十六枚組				大崎周水堂発行			封筒	1	V6-1～7入り
V	9	6-1	〔葉書〕	〔大正〕8	1	1	遠賀郡芦屋町　大庭実平	北方輜重兵12一1　伍長勤務上等兵　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	6-2	〔葉書〕	〔大正〕8	1	1	芦屋町　大庭良作	北方輜重兵12一1　伍長勤務上等兵　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	6-3	〔葉書〕	大正8	1	1	芦屋白浜　大庭磯松	北方輜重兵12伍長勤務上等兵安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	6-4	〔葉書〕	大正8	1	1	芦屋町粟屋　小田又六	北方輜重兵12伍長勤務上等兵安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	6-5	〔葉書〕	大正8	1	1	芦屋町粟屋　白石集	北方輜重兵12一1　伍長勤務安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	9	6-6	〔葉書〕	大正8	1	1	福岡県遠賀郡芦屋町中之浜　本田清吉	北方輜重兵12一1　上等兵　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	9	6-7	〔葉書〕	大正8	1	1	アシヤ　冨永商店	北方輜重兵12一1　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	10	1	〔包紙〕						「東北農園」の封書筒	包紙	1	
V	10	2-1	〔書簡〕	大正〔15〕			福神奉祠会永井長二	安高団兵衛	甲子大黒天御尊像の販売広告	一紙	1	
V	10	2-2	〔葉書〕	大正15			福神奉祠会永井長二	安高団兵衛	甲子大黒天御尊像の注文申込書	葉書	1	
V	10	3	〔書簡〕	〔大正15〕			牧田平次郎	安高団兵衛、リキノ	甲子大黒天の注文、福神会加入の勧誘	一紙	1	
V	10	4	〔書簡〕	大正15	5		福岡県宮城拝観団本部	安高団兵衛	県下国勢調査員による宮城、新宿御苑拝観の件	一紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	10	5	〔書簡〕				三原(芦屋尋常高等小学校)	安高団兵衛	「舌代」、安高氏の帳簿について質問	一紙	1	
V	10	6	〔書簡〕	大正15	5	12	福岡県農会(香月秀雄)	安高団兵衛	『福岡県農会報』代金納入について	一紙	1	
V	10	7	〔書簡〕	〔大正14〕	9	6	谷口城	安高団兵衛	在郷軍人分会規約改正のため芦屋分会の資料送付お願い	一紙	2	
V	10	8	〔書簡〕		5	9	吉永熊太郎	在郷軍人分会長吉田万造	亡弟供養へのお礼(封書なし)	一紙	1	
V	10	9	〔書簡〕		7	27	秋枝正助	安高団兵衛	すいか買い求め依頼	罫紙	2	
V	10	10	赤誠会推薦ノ趣意	大正13	1	20	遠賀郡憲政会常仕幹事野村利助	芦屋町有権者	芦屋町将来のため赤誠会候補を支持する旨通知	一紙	1	
V	10	11-1	東京蒟蒻会内農産時報				農産時報社	芦屋在郷軍人	定期刊行物45688号(封筒)	一紙	4	
V	10	11-2	〔書簡〕	大正			理事中西儀助	安高団兵衛	農産時報送付の件	一紙	1	
V	10	12	〔書簡〕	〔昭和〕2	7	19	本男(田屋)	安高団兵衛	借金のお願い	一紙	1	
V	10	13	〔印刷物〕				帝国在郷軍人会本部　理事榎秀岳		『大正公論』代金払込みのお願い	一紙	1	
V	10	14	〔封筒〕						芦屋町役場封書、表に「安高団兵衛殿」裏に「軍人分会」とあり	封筒	1	
V	10	15	〔封筒〕						芦屋町役場封書、表に「粟屋安高団兵衛」とあり	封筒	1	
V	10	16	東京蒟蒻会内農産時報				農産時報社	芦屋在郷軍人一同	定期刊行物第634号(封筒あり)	一紙	4	
V	10	17	〔封筒〕						表に「安高団兵衛」とあり	封筒	1	
V	10	18	〔書簡〕	〔大正14〕	〔10ヵ〕		中村藤次郎	安高団兵衛	近況報告	罫紙	3	
V	10	19	〔書簡〕	〔大正15〕	3	18	占部豊子	安高団兵衛	雑誌送付のお礼	一紙	1	
V	10	20	〔広告紙〕						村井兄弟商会の広告、松方正義の肖像につき		1	
V	11		大正九年度来信　一、弐百弐拾通							一紙	1	一括りの表題
V	11	1	〔葉書〕	〔大正9〕	2	18	宇佐郡龍王村　弟(中村藤次郎)	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	2	〔葉書〕	〔大正9〕	11	15	宇佐郡龍王村　中村藤次郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	3	〔葉書〕	〔大正9〕	9	10	宇佐郡龍王村　中村	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	4	〔葉書〕	〔大正9〕	〔7〕		龍王村　愚弟(中村藤次郎)	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	5	〔葉書〕	〔大正9〕	4	21	龍王村　中村藤次郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	6	〔葉書〕	〔大正9〕	3	12	宇佐郡龍王村　中村藤次郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	7	〔葉書〕	〔大正9〕	2	6	宇佐郡龍王村　弟(中村藤次郎)	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	8	〔葉書〕	〔大正9〕	1	21	宇佐郡龍王村　中村藤次郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	9	〔葉書〕	大正9	1	1	宇佐郡龍王村　中村藤次郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	10	〔葉書〕	〔大正9〕			西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	11	〔葉書〕	〔大正9〕	〔12〕	23	大分県下毛郡　身上政秀	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	12	〔葉書〕	〔大正9〕			宇佐郡和問村　松原敏夫	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	13	〔葉書〕	〔大正9〕	12	14	入野村　成守源太郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	14	〔葉書〕	大正9	12	2	呉市元町　米田増太郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	15	〔葉書〕	〔大正9〕	11	24	西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	16	〔葉書〕	〔大正9〕	11	30	粕屋郡山田村　河辺金吾	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	17	〔葉書〕	〔大正9〕	11	16	阿蘇郡内牧町　小島頼雄	阿高団平	近況報告	葉書	1	
V	11	18	〔葉書〕	〔大正9〕	11	13	福岡市外住吉町　藤瀬吉次	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	19	〔葉書〕	〔大正9〕	11	11	遠賀郡底井野村瓜生延一	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	20	〔葉書〕	〔大正9〕	〔11〕	〔11〕	西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	21	〔葉書〕	〔大正9〕	11	5	阿蘇郡恭国□　葉野寛治	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	22	〔葉書〕	〔大正9〕	〔10〕	31	下毛郡大江村　身上政秀	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	23	〔葉書〕	〔大正9〕	〔10〕	〔28〕	西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	24	〔葉書〕	〔大正9〕	〔10〕	〔24〕	東松浦郡鏡村　今田正丸	安高大兄	近況報告	葉書	1	
V	11	25	〔葉書〕	〔大正9〕	〔10〕	〔2〕	田川郡伊田町　中原三蔵	安高団兵衛	近況報告	絵葉書	1	「(別府名所)坊主地獄」
V	11	26	〔葉書〕	〔大正9〕	9	29	入野　成守源太郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	27	〔葉書〕	大正9	9	20	東臼杵郡北川村　米田増太郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	28	〔葉書〕	〔大正9〕	〔9〕		西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	29	〔葉書〕	〔大正9〕	9	4	底井野村前田鶴雄	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	11	30	〔葉書〕	〔大正9〕	8	31	日田郡中川村　葉野寛治	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
V	11	31	〔葉書〕	〔大正9〕	8	1	粕屋郡山田村　河辺金吾	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
V	11	32	〔葉書〕	〔大正9〕	〔8〕	〔27〕	橋口（日向田代）	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
V	11	33	〔葉書〕	〔大正9カ〕			中津町　身上政秀	安高団兵衛	近況報告、暑中見舞	葉書	1	
V	11	34	〔葉書〕	〔大正9〕	8	17	阿蘇　小島	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
V	11	35	〔葉書〕	〔大正9〕	〔8〕	〔20〕	東松浦郡入野村成守源太郎	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
V	11	36	〔葉書〕	大正9	8	10	宇佐郡和問村　松原	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
V	11	37	〔葉書〕	〔大正9〕	〔8〕	〔3〕	糸島郡前原町　吉村秀雄	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
V	11	38	〔葉書〕	〔大正9〕	7	16	底井野村　瓜生延一	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
V	11	39	〔葉書〕	〔大正9〕	7	4	阿ソ郡内牧町　小島頼雄	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	40	〔葉書〕	大正9	6	30	宇佐郡和問村　松原敏夫	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	41	〔葉書〕	〔大正9〕	〔6〕	〔25〕	神湊町　永しま	安高団兵衛	シベリア出兵隊への賜金通知	葉書	1	
V	11	42	〔葉書〕	〔大正9〕	〔6〕	〔15〕	南海部郡下堅田村　和田助市	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	43	〔葉書〕	〔大正9〕	6	18	遠賀郡底井野村瓜生延一	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	44	〔葉書〕	〔大正9〕	5	11	粕屋郡山田村河辺金吾	安高団兵衛	写真送付の御礼	葉書	1	
V	11	45	〔葉書〕	〔大正9カ〕			大牟田市新浜田町　成守源太郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	46	〔葉書〕	〔大正9〕	〔5〕	〔28〕	内野村　三宅保	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	47	〔葉書〕	〔大正9〕	5	25	粕屋郡山田村河辺金後	安高団兵衛	博覧会見物の誘い	葉書	1	
V	11	48	〔葉書〕	〔大正9〕	〔5〕		速見郡東山香村　太田弟	安高団兵衛	豊後宅川温泉（むろや旅館）	絵葉書	1	「豊後亀川温泉場　むろや旅館」
V	11	49	〔葉書〕	〔大正9〕			西臼杵郡岩井川村　戸田飛佐一	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	50	〔葉書〕	〔大正9〕	5	6	東松浦郡鏡村　今田正丸	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	51	〔葉書〕	〔大正9ヵ〕			企救郡中谷村　松村安馬	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	52	〔葉書〕	大正9	4	30	宇佐郡和問村　松原弟	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	53	〔葉書〕	〔大正9〕	4	27	速見郡別府町　繁男	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	54	〔葉書〕	〔大正9〕	4	21	T、tani	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	55	〔葉書〕	〔大正9〕	4	13	阿蘇郡内牧町　小島頼雄	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	56	〔葉書〕	〔大正9カ〕			嘉穂郡内野村　三宅保	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	57	〔葉書〕	〔大正9〕	〔4〕	〔3〕	日田郡中川村　葉野寛治	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	58	〔葉書〕	〔大正9カ〕			福岡市外住吉町古屋荒次郎	安高団兵衛	工業博覧会のお誘い	絵葉書	1	「福岡市工業博覧会　福岡県物産陳列場前アーチ」
V	11	59	〔葉書〕	〔大正9〕	〔3〕	〔30〕	西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	60	〔葉書〕	〔大正9カ〕			日州元輸卒　橋口	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	61	〔葉書〕	〔大正9〕	3	24	成守源太郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	62	〔葉書〕	〔大正9〕	2	16	宗像神湊　永島	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	63	〔葉書〕	〔大正9〕	3	14	入野　成守源太郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	64	〔葉書〕	〔大正9〕	3	13	朝倉郡金川村　池田市五郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	65	〔葉書〕	〔大正9〕	3	15	小倉市鍛冶町　横山栄樹	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	66	〔葉書〕	〔大正9〕	3	3	西臼杵郡鞍岡村矢野藤五郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	67	〔葉書〕	〔大正9〕	2	18	阿蘇郡内牧町　小島頼男	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	68	〔葉書〕	〔大正9〕	〔2〕	〔15〕	田舎座より大隈	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	69	〔葉書〕	〔大正9〕	〔2〕	〔4〕	西臼杵郡鞍岡村矢野藤五郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	70	〔葉書〕	〔大正9〕	〔2〕	〔16〕	福岡市外箕島	安高団兵衛	博覧会参加のお誘い	葉書	1	
V	11	71	〔葉書〕	〔大正9〕	2	3	宇佐郡和間村松原敏夫	安高団兵衛	細君を迎える都合をお知らせ下され度	葉書	1	
V	11	72	〔葉書〕	〔大正9〕	2	3	入野　成守源太郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	73	〔葉書〕	〔大正9カ〕			早良郡姪浜町　矢野惣右衛門	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	74	〔葉書〕	〔大正9〕	1	27	入野　成守源太郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	75	〔葉書〕	〔大正9〕	〔1〕	〔16〕	朝倉郡金川村　池田市五郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	76	〔年賀状〕	大正9	1	1	西馬城村　岩男	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	77	〔年賀状〕	大正9	1	7	宇佐郡和間村松原敏夫	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	78	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	今田正丸	安高団兵衛	年賀状	絵葉書	1	「（唐津名所）大手口通」

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	11	79	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	咸南利原遮湖港麻生鉱業所　堀祐世	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	80	〔年賀状〕	大正9	1	1	西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	81	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	田川郡　坂井福次郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	82	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	山口県阿佐町　安永良一	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	83	〔年賀状〕	大正9	1	1	豊浦郡吉見　笹川徳	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	84	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	長崎市東小島町　佐野与繁	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	85	〔年賀状〕	大正9	1	1	糸島郡前原町　吉村秀雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	86	〔年賀状〕	大正9	1	1	下毛郡大江村　身上政秀	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	87	〔年賀状〕	大正9	1	1	日向東臼杵郡西郷村　橋口利夫	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	88	〔年賀状〕	大正9	1	1	日田郡中川村　桑野寛治	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	89	〔年賀状〕	大正9	1	1	天草郡　森本□一	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	90	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	西松浦郡伊万里　康常一	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	91	〔年賀状〕	大正9	1	1	東松浦郡厳木村　山田楳一	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	92	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	早良郡姪浜東町　矢野惣右衛門	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	11	93	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	京都府宇治町　高崎嶋吉	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	94	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	速見郡東山香村　大田俊一	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	95	〔年賀状〕	大正9	1	1	福岡市外住吉町　古屋荒次郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	96	〔年賀状〕	大正9	1	1	遠賀郡底井野生	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	「前田鶴夫ナラン」と朱書あり
V	11	97	〔年賀状〕	大正9	1	1	折尾町　波多野倉吉	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	98	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	佐伯町　成重光義	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	99	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	横山栄樹	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	100	〔年賀状〕	大正9	1	1	底井野村　瓜生延一	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	101	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	宇佐郡和間村　松原敏夫	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	11	102	〔年賀状〕	大正9	1	1	大分市浜町　村山春雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	103	〔年賀状〕	大正9	1	1	小島頼雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	104	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	岡垣村　松井開蔵	安高団平(ママ)	年賀状	葉書	1	
V	11	105	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	台湾総督府土木局　小田用正	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	11	106	〔年賀状〕	大正9	1	1	東臼杵郡東郷村　永野実	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	107	〔年賀状〕	大正9	1	1	成守源太郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	108	〔年賀状〕	大正9	1	1	企救郡中谷村　松村安馬	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	109	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	神湊　永島	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	110	〔年賀状〕	大正9	1	1	速見郡別府町　友永繁男	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	111	〔年賀状〕	大正9	1	1	大連市山県通福昌公司　松下俊一	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	11	112	〔年賀状〕	大正9	1	1	藤瀬吉次	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	113	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	博多中島町　手島米蔵	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	114	〔年賀状〕	大正9	1	1	山田村　河辺金吾	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	115	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	戸畑駅　柳井新一郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年賀スタンプ
V	11	116	〔年賀状〕	〔大正9〕	〔1〕	〔1〕	伊万里町ろーや　中尾浩	安高団兵衛	年賀状	絵葉書	1	〔申年〕
V	11	117	〔年賀状〕	大正9	1	1	遠賀郡芦屋町　林貞蔵	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	11	118	〔年賀状〕	大正9	1	1	三村俊蔵	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	119	〔年賀状〕	大正9	1	1	本田金蔵	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	120	〔年賀状〕	大正9	1	1	芦屋町　二村喜代次	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	121	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	芦屋町　黒山高麿	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	122	〔年賀状〕	大正9	1	1	やまが　中西栄次郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	123	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	小倉市米町　秋村政助	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	124	〔年賀状〕	大正9	1	1	芦屋町　桑原伝次郎(十郎改)	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	11	125	〔年賀状〕	大正9	1	1	芦屋町　高橋格	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	126	〔年賀状〕	大正9	1	1	加藤慶太	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	127	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	唐津電気製鋼株式会社　今田兼五郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	11	128	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	嘉穂郡宮野村　江藤八平	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	129	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	粕屋郡古賀　長崎秀雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	130	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	輜重兵第12大隊第1中隊　山口藤若	安高団兵衛	年賀状	絵葉書	1	「(軍隊生活)軍用飛行機」
V	11	131	〔年賀状〕	大正9	1	1	陸軍輜重兵伍長　大庭長次郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	132	〔年賀状〕	大正9	1	1	陸軍輜重兵少尉　門田善実	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	11	133	〔年賀状〕	大正9	1	1	北方　杉永彦次郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	134	〔年賀状〕	大正9	1	1	陸軍輜重兵軍曹　宮永三郎	安高団兵エ(ママ)	年賀状	葉書	1	ガリ版印刷
V	11	135	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	粕屋郡大川村　渋田武三郎	安高団兵エ(ママ)	年賀状	葉書	1	
V	11	136	〔年賀状〕	大正9	1	1	宇佐郡安心院村　勝尾清	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	137	〔年賀状〕	大正9	1	1	唐津材木町　大橋喜市	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	138	〔年賀状〕	大正9	1	1	糸島郡怡土村　浦志五郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	139	〔年賀状〕	大正9	1	1	輜12ノ1　中島実	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	140	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	野上信一	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	141	〔年賀状〕	大正9	1	1	小倉輜重兵第12大隊　千田少尉	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	142	〔年賀状〕	大正9	1	1	嘉穂郡碓井村　武田与八郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	143	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	下関市外安□村　徳永秀一	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	144	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	北方輜重兵第12大隊　日野七五三一	安高団兵衛	年賀状	絵葉書	1	「(軍隊生活)班内食事」
V	11	145	〔年賀状〕	大正9	1	1	陸軍輜重兵軍曹　大塚久三郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	11	146	〔年賀状〕	大正9	1	1	下城野　江良定治	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	147	〔年賀状〕	大正9	1	1	輜重隊　田中豊	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	148	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	輜12ノ1　広池厚男	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	149	〔年賀状〕	大正9	1	1	北方輜12ノ1　松尾鷹之助	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	150	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	輜ノ12ノ1　林田三之助	安高団兵衛	年賀状	絵葉書	1	「官幣大社宇佐神宮　鉄ノ鳥居」
V	11	151	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	小倉市外下城野　坂本中尉	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	152	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	輜12ノ3　笠間暾助	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	11	153	〔年賀状〕	大正9	1	1	輜重兵第12大隊　洲崎大佐	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	154	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	向井清一	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	155	〔年賀状〕	大正9	1	1	在郷　権藤	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	156	〔年賀状〕	〔大正9〕	1	1	「渡辺二郎ナラン」と朱書あり	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	157	〔年賀状〕	大正9	1	1	輜12ノ1　橋本匠	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	158	〔年賀状〕	大正9	1	1	ふじい	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	159	〔年賀状〕	大正9	1	10	堺市少林寺町　末包喜太郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	160	〔葉書〕	〔大正〕9	1	27	輜重兵第12大隊第1中隊　田中豊	安高団兵衛	近況報告、悪性感冒で死者多数	葉書	1	日付は消印
V	11	161	〔葉書〕	〔大正〕9	〔1〕		北方輜12ノ1　尾家信介	安高団兵衛	近況報告、感冒で死者17名、目下下火	葉書	1	日付は消印
V	11	162	〔葉書〕	〔大正〕9	1	31	輜重の弟　軍好楽花生	安高団兵衛	近況報告、感冒も皆無となり	葉書	1	
V	11	163	〔葉書〕	〔大正9〕	2	8	輜重　橋本猪三郎	安高団兵衛	返状、流感も終息せり	葉書	1	日付は消印
V	11	164	〔書簡〕	〔大正9〕	2	15	福岡市外西堅粕町　渡辺二郎	安高団兵衛	近況報告	郵便書簡	1	
V	11	165	〔葉書〕	大正9	2	28	在沖縄　月照「仲井間ナラン」と朱書あり	安高団兵衛	近況報告、製糖会社で製造している	葉書	1	
V	11	166	〔葉書〕	〔大正〕9	4		福岡市外西堅粕町　渡辺二郎	安高団兵衛	博覧会への誘い	葉書	1	日付は消印
V	11	167	〔葉書〕	〔大正9〕	4	14	宇佐郡安心院村　勝尾清	安高団兵衛	在営中の思い出、結婚の祝い	葉書	1	
V	11	168	〔葉書〕	〔大正〕9	4	12	朝鮮新義州守備隊　和田竹市	安高団兵衛	消息報告	葉書	1	日付は消印
V	11	169	〔葉書〕	〔大正〕9	4	9	大阪市北区旅篭町　梅崎	安高団兵衛	昨年暮当地に来て商道の真髄を学んでいる	葉書	1	日付は消印
V	11	170	〔葉書〕	〔大正〕9	4	18	北方輜重兵第12大隊第1中隊尾家信介	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	日付は消印
V	11	171	〔葉書〕	〔大正9〕	5	4	北方輜重兵第12大隊　中島実	安高団兵衛	隊の近況報告	葉書	1	
V	11	172	〔葉書〕	〔大正〕9	5	26	輜重隊　田中豊	安高団兵衛	消息報告	葉書	1	日付は消印
V	11	173	〔葉書〕	〔大正〕9	7	16	輜重兵第12大隊　田中豊	安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日付は消印
V	11	174	〔葉書〕	〔大正〕9	7	22	粕屋郡大川村　武三郎(渋田)	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	11	175	〔葉書〕	〔大正〕9	12	14	北方輜重兵第12大隊　尾家信介	安高団兵衛	返状、時候見舞の礼	葉書	1	日付は消印
V	11	176	〔葉書〕	〔大正〕9	11	21	北方輜重兵第12大隊　大塚久三郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	日付は消印
V	11	177	〔葉書〕	〔大正9カ〕			大阪市西区松島町芝綿行　末包喜太郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	178	〔葉書〕	〔大正9〕	11	13	輜重兵　山口弟	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	179	〔葉書〕	大正9	10	20	北方輜12ノ1　尾家信介	安高団兵衛	面会の礼	葉書	1	
V	11	180	〔葉書〕	〔大正9〕	10		粕屋郡多々良村名島発電所　しぶた	安高団兵衛	近況報告	絵葉書	1	「(九州電灯鉄道株式会社)名島発電所一部」
V	11	181	〔葉書〕	〔大正〕9	10	1	福岡市外西堅粕町　渡辺二郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	182	〔葉書〕	〔大正〕9	9	22	堺市少林寺町　末包喜太郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	日付は消印
V	11	183	〔葉書〕	〔大正9カ〕		15	堺　末包喜次郎	安高団兵衛	消息報告	葉書	1	
V	11	184	〔葉書〕	〔大正9〕	8	18	福岡市外西堅粕町　渡辺二郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	11	185	〔葉書〕		8		福岡市外西堅粕町　渡辺二郎	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	私今頃長崎行。点呼は明后6日	葉書	1	
V	11	186	〔葉書〕	〔大正〕9	11	14	八幡市水道町　生方利平	遠賀郡蘆屋町大字蘆屋字粟屋　安高団兵衛	弊家下肥全部つかえ、実に困却につき御来幡願う	葉書	1	
V	11	187	〔葉書〕	〔大正〕9	11	4	木屋瀬青物市場(印)	遠賀郡島津村大字粟屋　安高団平	目下出廻り候につき、近所の目通御出浮願う	葉書	1	日付は消印
V	11	188	〔葉書〕	〔大正〕9	10	25	八幡市尾倉水道町生方利平	遠賀郡蘆屋町大字蘆屋字粟屋　安高団兵衛	自家下肥全部つかえ困却につき、御来幡願う	葉書	1	日付は消印
V	11	189	〔葉書〕	〔大正〕9	10	7	八幡市水道町　生方利平	遠賀郡蘆屋町大字蘆屋字粟屋　安高団兵衛	下肥たまり候につき、御来幡願う	葉書	1	
V	11	190	〔葉書〕		10	2	大見益太郎	芦屋町粟屋青年会代表　安高団平(ママ)	愚息弥壮次の会葬御礼	葉書	1	日付は消印
V	11	191	〔葉書〕	〔大正〕9	9	18	八幡市屋倉水道町　生方利平	遠賀郡蘆屋町大字蘆屋字粟屋　安高団兵衛	弊家下肥つかえ困却につき、御来幡願う	葉書	1	
V	11	192	〔葉書〕	〔大正〕9	9	10	八幡市尾倉水道町1丁め学校横　生方利平	遠賀郡蘆屋町大字蘆屋字粟屋　安高団兵衛	肥料つかえおり、来幡依頼	葉書	1	
V	11	193	〔葉書〕	〔大正9〕	8	22	八幡市尾倉水道町1丁目平原学校の東横　生方利平	遠賀郡芦屋町　安高福蔵、安高団兵衛	肥料つかえおり、出浮依頼	葉書	1	
V	11	194	〔葉書〕	〔大正〕		8	八幡市尾倉 水道町1丁目平原学校の東横　生方利平	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	肥料くみ取り願	葉書	1	
V	11	195	〔葉書〕	〔大正9〕	6	3	八幡市不老町4丁目　村山	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	拙宅両便所大に閊、大至急御出浮くだされ度	葉書	1	
V	11	196	〔葉書〕	〔大正〕9	4	1	若松炭焼　河野菊兵衛	安高団兵衛	大根大至急入用	葉書	1	日付は消印
V	11	197	〔葉書〕	大正9	2	19	福岡日日新聞社販売部	安高団兵衛	新聞代金請求	葉書	1	印刷物
V	11	198	〔葉書〕	大正9	3	14	福岡日日新聞社販売部	安高団兵衛	新聞代金請求	葉書	1	印刷物
V	11	199	〔葉書〕	大正9	4	11	福岡日日新聞社販売部	安高団兵衛	新聞代金請求	葉書	1	印刷物
V	11	200	〔葉書〕	大正9	5	3	福岡日日新聞社販売部	安高団兵衛	新聞代金請求	葉書	1	印刷物
V	11	201	〔葉書〕	大正9	5	9	福岡日日新聞社販売部	安高団兵衛	購読に関する件	葉書	1	
V	11	202	〔葉書〕	大正9	7	22	福岡日日新聞社販売部	安高団兵衛	新聞代金請求	葉書	1	印刷物
V	11	203	〔葉書〕	大正9	10	27	福岡日日新聞社販売部	安高団兵衛	新聞代金請求	葉書	1	印刷物
V	11	204	〔葉書〕	大正9	11	20	福岡日日新聞社販売部	安高団兵衛	新聞代金請求	葉書	1	印刷物
V	11	205	〔葉書〕	大正9	12	19	福岡日日新聞社販売部	安高団兵衛	新聞代金請求	葉書	1	印刷物
V	11	206	〔葉書〕	〔大正〕9	12	3	山鹿百姓町　三村俊蔵	安高団兵衛	ご来駕とご祝儀の礼	葉書	1	日付は消印
V	11	207	〔葉書〕	〔大正〕9	11	24	山鹿　三村俊蔵	安高団兵衛	結婚披露宴招待	葉書	1	
V	11	208	〔葉書〕	〔大正〕9	10	26	山鹿　三村俊蔵	安高団兵衛	稲麦扱機到着、試験されては如何、定価35円のところ30円で	葉書	1	
V	11	209	〔葉書〕	〔大正〕9	10	26	藤の木　中西栄次郎	安高団兵衛	返状、手紙の礼	葉書	1	
V	11	210	〔葉書〕	〔大正〕9	10	13	芦屋町中の浜橋際　林貞蔵商店	安高団兵衛	岡港(湊)宮の宮日祭の案内	葉書	1	日付は消印
V	11	211	〔葉書〕	〔大正〕9	9	10	山鹿　三村俊蔵	安高団兵衛	放生会案内	葉書	1	日付は消印
V	11	212	〔葉書〕	〔大正〕9	9	13	小倉市米町　秋枝正助	安高団兵衛	無沙汰の侘び	葉書	1	日付は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	11	213	〔葉書〕	〔大正〕9	8	20	山鹿百姓町　三村俊蔵	安高団兵衛	訪問馳走の礼	葉書	1	日付は消印
V	11	214	〔葉書〕	〔大正〕9	8	10	芦屋橋畔　林貞蔵	安高団兵衛	西瓜馳走の案内に対し三村君と14日に参上する	葉書	1	
V	11	215	〔葉書〕	〔大正〕9	8	11	山鹿　三村俊蔵	安高団兵衛	西瓜馳走案内に対する返状	葉書	1	日付は消印
V	11	216	〔葉書〕	〔大正〕9	〔　〕	19	東京市芝区西久保　本田金蔵	安高団兵衛	近況報告、文部省試験の為一生懸命	葉書	1	
V	11	217	〔葉書〕	〔大正〕9	〔　〕	〔28〕	三村俊蔵	安高団兵衛	歓待御礼	葉書	1	
V	11	218	〔葉書〕	大正9	8	3	若松市外藤ノ木　中西栄次郎	安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	11	219	〔葉書〕	大正9			東京市深川区　本田金蔵	安高団兵衛	帰国中の礼、新住所の知らせ	葉書	1	
V	11	220	〔葉書〕	〔大正〕9	7	26	あしや町　二村喜代次	安高団兵衛	福日新聞前金納入の件	葉書	1	
V	11	221	〔葉書〕	〔大正9カ〕			山鹿　三村俊蔵	安高団兵衛	祇園山笠の案内	葉書	1	
V	11	222	〔葉書〕	大正9	1	1	北方輜重兵第12大隊　尾家信介	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	11	223	〔葉書〕	〔大正〕9	11	4	東松浦郡入野村　成守源太郎	安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	11	224	〔葉書〕	〔大正9〕		18	噴火山を眺めつつ　小島頼雄	安高団兵衛	近況報告、阿蘇山ふもとの様子	葉書	1	
V	11	225	〔帯〕				福岡市魚ノ町　九州(之)青年社	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	発行紙？送付」の帯か	帯	1	切手貼付
V	12	1	〔葉書袋〕						「大正13年来信」とあり	封筒	1	
V	12	2	〔葉書〕	〔大正13〕	12	23	福前24ノ5　伊豆清	安高団兵衛様	近況報告	葉書	1	
V	12	3	〔葉書〕	〔大正13〕	11	6	大分県宇佐郡竜王村　中村藤次郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	12	4	〔葉書〕	〔大正13〕	12	7	佐の貫次郎	安高団兵衛	御礼	葉書	1	
V	12	5	〔葉書〕	〔大正13〕	〔12〕	〔4〕	小倉市外上城の郡営住宅第六号〇田生	安高団兵衛	手紙の礼と近況報告	葉書	1	
V	12	6	〔葉書〕	大正13	12	2	岡垣村松腹　広渡団平	安高団兵衛	御出松見合せの件	葉書	1	
V	12	7	〔葉書〕	〔大正13〕	11	8	福前24ノ5　伊豆清	安高団兵衛	秋季演習参賀の件	葉書	1	
V	12	8	〔葉書〕	〔大正13〕	10	19	福前24第5中隊　伊豆清	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	12	9	〔葉書〕	〔大正13〕	〔11〕	23	(田原正)佐野貫次郎	安高団兵衛	30日御来光のお願い	葉書	1	
V	12	10	郵便貯金通帳検閲通告書	〔大正13〕	〔9〕	〔17〕	福岡貯金支局	安高団兵衛	貯金通帳と当局原簿とを突き合せる旨	紙	1	
V	12	11	〔葉書〕	〔大正13〕	9	10	第5中隊　伊豆清	安高団兵衛様	久留米野営演習の件	葉書	1	
V	12	12	〔葉書〕	〔大正13〕	〔10〕	〔12〕	九州芦屋町林新聞舗本店	安高団兵衛	15日夕の御案内	葉書	1	
V	12	13	〔葉書〕	〔大正13〕	10	11	前24ノ5　伊豆清	安高団兵衛	第12師団陣地攻防演習参賀の件	葉書	1	
V	12	14	〔葉書〕	〔大正13〕	〔10〕	〔23〕	島門村大字尾崎　勧進元	安高団兵衛	来る10月26日本廻し披露の御案内	葉書	1	
V	12	15	〔葉書〕	〔大正13〕	〔11〕	〔1〕	遠賀郡島門村尾崎　勧進元	安高団兵衛	御礼	葉書	1	
V	12	16	〔簡易書簡〕	大正13	9	19	大分県宇佐郡和間村西大堀松原敏夫	安高団兵衛	近況報告	郵便書簡	1	
V	12	17	〔葉書〕	〔大正13〕	9	18	粕屋郡山田村字山田　河辺金吾	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	12	18	〔葉書〕	〔大正13〕	9	20	やな河　三村俊蔵	安高団兵衛	放生会の御案内	葉書	1	
V	12	19	〔葉書〕	〔大正13〕	9	2	歩24ノ5　伊豆清	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	12	20	〔葉書〕	〔大正13〕	8	29	近衛輜軍兵大隊本部　尾家信介	安高団兵衛	無事軍務に勉励している旨報告	葉書	1	
V	12	21	〔葉書〕	〔大正13〕	8	27	やな河　三村俊蔵	安高団兵衛	招待の旨	葉書	1	
V	12	22	〔葉書〕	〔大正13〕	8	27	小倉市米野3丁目大八木方　秋枝正助仝ヒデ子	安高団兵衛	御礼	葉書	1	
V	12	23	〔葉書〕	〔大正13〕	〔8〕	〔27〕	早良郡入部村大字熊本　渋田武三郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	12	24	〔葉書〕	〔大正13〕	8	15	竜王の弟	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	12	25	〔葉書〕	不詳			大阪市北区西野田亀甲町　佐野与繁	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
V	12	26	〔葉書〕	〔大正13〕	8	21	小倉市外香春口砂本床屋裏　塩田利七	安高団兵衛	9月1日予後備兵勤務演習収集通知について	葉書	1	
V	12	27	〔葉書〕	〔大正13〕	8	22	小倉市　秋枝正助	安高団兵衛	都合伺い	葉書	1	
V	12	28	〔葉書〕	〔大正13〕	8	17	八幡市栗町10丁目　広渡近郎	安高団兵衛	仏前への供物の御礼	葉書	1	
V	12	29	〔葉書〕	〔大正13〕	8	18	岡垣村吉木入口岩五郎	安高団平様	ナシ、ウリ種の件	葉書	1	
V	12	30	〔葉書〕	〔大正13〕	〔8〕	〔13〕	福岡貯金支局	安高団兵衛	貯金通帳不符号の旨	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	12	31	〔葉書〕	〔大正13〕	〔8〕	〔12〕	小倉市米町3丁目　秋枝正助	安高団兵衛	西瓜上出来につき御案内に対する返事	葉書	1	
V	12	32	〔葉書〕	〔大正13〕	〔8〕	〔9〕	やな河　三村俊蔵	安高団兵衛	御歓待の御礼	葉書	1	
V	12	33	〔葉書〕	〔大正13〕	〔7〕	〔24〕	入野　成守源太郎	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
V	12	34	〔書簡〕	〔大正13〕	〔7〕	〔18〕	福岡歩兵弟(ママ)24連隊　伊豆清	安高団兵衛	近況	書簡	1	
V	12	35	〔葉書〕	〔大正13〕	7	6	大分県宇佐郡龍王村龍王　中村藤次郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	12	36	〔葉書〕	〔大正13〕	〔7〕	〔2〕	入野　成守源太郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	12	37	〔葉書〕	大正13	7	7	岡垣村　広渡団平	安高団兵衛	帝国在郷軍人会より賞状を受けられた御祝	葉書	1	
V	12	38	〔葉書〕	〔大正13〕	6	4	於野営地　伊豆清	安高団兵衛	近況報告、イラストつき	葉書	1	
V	12	39	〔郵便書簡〕	〔大正13〕	5	2	福岡歩兵第24連隊第5中隊　伊豆清	安高団兵衛	招魂祭について	郵便書簡	1	
V	12	40	〔葉書〕	〔大正13〕	〔6〕	〔7〕	小倉市外片野857　村田幾太郎	安高団兵衛	退職に当り餞別の御礼	葉書	1	
V	12	41	〔葉書〕	〔大正13〕	5	16	宇佐郡竜王村　中村藤次郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	12	42	〔葉書〕	〔大正13〕	4	21	西臼杵郡鞍岡村字へ半　矢野藤五郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	12	43	〔葉書〕	〔大正13〕	〔4〕	〔22〕	染田栄次郎内伊豆清母	安高団兵衛	御礼	葉書	1	
V	12	44	〔葉書〕	〔大正13〕	〔4〕	〔21〕	大分県う佐郡和間村　松原敏夫	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	12	45	〔葉書〕	大正13	4	19	元松原　広渡団平	安高団兵衛	御出下さるようお願い	葉書	1	
V	12	46	〔葉書〕	〔大正13〕	〔4〕	〔16〕	入野　成守源太郎	安高団兵衛	近況報告、伺い	葉書	1	
V	12	47	〔葉書〕	〔大正13〕	4	13	元松原　広渡団平	安高団兵衛	嫁入のため御来松のお願	葉書	1	
V	12	48	〔葉書〕	〔大正13〕	4	8	直方外町　樋口出	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	12	49	〔葉書〕	不詳			遠賀郡芦屋町下郡一成	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	12	50	〔葉書〕	〔大正13〕	〔2〕		黒崎占部眼科病院内太田尽造	安高団兵衛	見舞の御礼	葉書	1	
V	12	51	〔葉書〕	〔大正13〕	3	15	京都広渡一敬母より	安高団兵衛	見送りの御礼と京都到着の通知	葉書	1	
V	12	52	〔葉書〕	〔大正13〕	〔3〕	〔11〕	帝国在郷軍人会本部編纂部	安高団兵衛	送金の照会	葉書	1	
V	12	53	〔葉書〕	〔大正13〕	〔3〕	〔18〕	東京市上野　かすみ館中　小野玄一郎	安高団兵衛	旅行報告	葉書	1	
V	12	54	〔葉書〕	〔大正13〕	〔2〕	〔23〕	宮崎県西臼杵郡鞍岡村矢野藤五郎	安高団兵衛	年賀状の返事	葉書	1	
V	12	55	〔葉書〕	〔大正13〕	〔2〕	〔23〕	芦屋町　下郡一成	安高団兵衛	大根の漬け桶の件	葉書	1	
V	12	56	〔葉書〕	〔大正13〕	2	20	竜王　中村藤次郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	12	57	〔葉書〕	〔大正13〕	〔2〕	〔7〕	やな河　三村俊蔵	安高団兵衛	同級生の会合通知	葉書	1	
V	12	58	〔葉書〕	〔大正13〕	1	24	福歩24ノ第5中隊　伊豆清	安高団兵衛	近況報告、流感見舞	葉書	1	
V	12	59	〔葉書〕	〔大正13〕	1	20	小倉市米町3丁目角　秋枝正助	安高団兵衛	小倉14連隊御入営の御祝	葉書	1	
V	12	60	〔葉書〕	大正13	1	元旦	近衛輜重兵大隊本部　陸軍輜重兵曹長長家信介	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
V	12	61	〔葉書〕	〔大正13〕	1	元旦	咸北雄基税関支署　広池厚男	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
V	12	62	〔葉書〕	大正13	1	元旦	入野　成守源太郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
V	12	63	〔葉書〕	大正13	正月	元旦	西臼杵郡鞍岡村矢野藤五郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
V	12	64	〔葉書〕	大正13	1	元旦	渡辺金吾	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
V	12	65	〔葉書〕	大正13	1	元旦	嘉穂郡維井村西郷　武田与八郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
V	12	66	〔葉書〕	大正13	1	元旦	大阪市北区西野田亀甲町　佐野与繁	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
V	12	67	〔葉書〕	大正13	1	1	福歩24ノ5　伊豆清	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
V	12	68	〔葉書〕	大正13	1	1	福岡市住吉花園町高橋格	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
V	12	69	〔葉書〕	〔大正13〕	1	元旦	遠賀郡芦屋町山鹿　小田勝吉	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
V	12	70	〔葉書〕	大正13	1	1	大阪市外東天下茶屋　黒山高麿	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
V	12	71	〔葉書〕	〔大正13〕	1	元旦	早良郡田隈村　渋田武三郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
V	12	72	〔葉書〕	大正13	1	元旦	田中学	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
V	12	73	〔葉書〕	大正13	1	1	市外姪浜東町　矢野惣右衛門	安高団兵衛	年賀	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	12	74	〔葉書〕	大正13	1	1	福岡県宗像郡神湊町永島呉服店永島伝三郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
V	12	75	〔葉書〕	大正13	1	元旦	福岡市簀島東町古屋荒次郎	安高団兵衛	賀状	葉書	1	
V	12	76	〔葉書〕	〔大正13〕	1	元旦	宇佐郡和間村西大垣　松原敏夫	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	12	77	〔葉書〕	大正13	1	元旦	中村藤次郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	12	78	〔葉書〕	大正13	1	1	遠賀郡芦屋町　桑原勇吉	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	12	79	〔葉書〕	大正13	1	元旦	西臼杵郡岩井川大人　戸田久市	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	12	80	〔葉書〕	〔大正13〕	1	元旦	松丸喬	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	12	81	〔葉書〕	大正13	1	1	福岡地方裁判所所属司法代書人　位地睦太郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	12	82	〔葉書〕	〔大正13〕	1	元旦	木本久三郎　福岡市外吉塚火ノ見通り	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	12	83	〔葉書〕	〔大正13〕	1	1	市外平塚村戸越　幸野寅吉	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	12	84	〔葉書〕	〔大正13〕	1	元旦	九州線遠賀川駅前　帝国ラヂウム商会	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	12	85	〔葉書〕	大正13	1	1	折尾町長嶋　波多野倉吉	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	12	86	〔葉書〕	大正12	12	22	帝国在郷軍人会本部編纂部	安高団兵衛	雑誌発行通知	葉書	1	
V	13	1-94	〔昭和参年来信(葉書)〕							紙帯	1	
V	13	1	〔葉書〕	昭和3	1	1	古藤長兵衛	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	2	〔葉書〕	昭和3	1	1	入野　成守弥太郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	3	〔葉書〕	昭和3	1	1	佐賀唐津材木町　大橋喜一	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	4	〔葉書〕	〔昭和3〕	1	1	宗像郡神湊町　永島伝二郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	5	〔葉書〕	昭和3	1	1	河辺重吾	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	6	〔葉書〕	昭和3	1	1	八幡市前田今市　西依康吉	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	7	〔葉書〕	昭和3	1	1	八幡市西本町　山果浅治本店	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	8	〔葉書〕	昭和3	1	1	東京都深川区内別町　本田重蔵	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	9	〔葉書〕	昭和3	1	1	芦屋町山鹿　小田勝吉	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	10	〔葉書〕	昭和3	1	1	芦屋町柴原伝次郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	11	〔葉書〕	昭和3	1	1	芦屋町　松井賢治	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	12	〔葉書〕	昭和3	1	1	金屋区　大竹嘉三郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	13	〔葉書〕	昭和3	1	1	大阪市外小阪町　黒山高麿	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	14	〔葉書〕	〔昭和3〕	1	1	八幡市水道町早川佐平	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	15	〔葉書〕	昭和3	1	1	大分県宇佐郡龍王村中村〔藤次郎〕	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	16	〔葉書〕	昭和3	1	1	岡垣村　広渡貢	安高団平	年賀状	葉書	1	
V	13	17	〔葉書〕	昭和3	1	1	大阪市此花区亀甲町　佐野与繁	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	18	〔葉書〕	昭和3	1	1	築上郡合河村　尾家信助	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	19	〔葉書〕	昭和3	1	1	東京目黒近衛輜重兵大隊　門田善実	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	20	〔葉書〕	昭和3	1	1	直方町　犬脇次郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	21	〔葉書〕	昭和3	1	1	小嶋頼男	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	22	〔葉書〕	昭和2	12	〔30〕	宮崎県西臼杵郡七折村　工藤六郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	23	〔葉書〕	昭和3	1	1	小倉市米町　大八木商店	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	24	〔葉書〕	昭和3	1	1	筑前中山下新橋　手嶋米茂	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	25	〔葉書〕	昭和3	1	1	宮崎県東臼杵郡西郷村　橋口利夫	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	26	〔葉書〕	昭和2	12	〔30〕	大分県大分市渡町　村山春雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	27	〔葉書〕	昭和3	1	1	若松市古前　重岡倉吉	安高団平	年賀状	葉書	1	
V	13	28	〔葉書〕	昭和3	1	〔2〕	〔直方〕谷口	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	29	〔葉書〕	昭和3	1	〔3〕	東松浦郡相知村　高田千代次	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	13	30	〔葉書〕	昭和3	1	〔14〕	芦屋町　吉田呉服店	安高団兵衛	大安売宣伝	葉書	1	
V	13	31	〔葉書〕	昭和3	1	〔3〕	戸畑市牧之町　本田勇	安高福蔵、安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	32	〔葉書〕	昭和3	1	〔2〕	小久保連実	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	33	〔葉書〕	昭和3	1	〔3〕	梅詞　花田仙蔵	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	34	〔葉書〕	昭和3	1	〔2〕	大刀洗　石井	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	35	〔葉書〕	昭和3	1	1	中島貢	安高団兵	年賀状	葉書	1	
V	13	36	〔葉書〕	昭和3	1	1	折尾　波多野倉吉	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	27	〔葉書〕	昭和3	1	2	海老津村　広渡照夫	安高団平	年賀状(漬物大根の値段問合せ)	葉書	1	
V	13	38	〔葉書〕	昭和3	1	〔2〕	嘉穂郡稲葉村　原口五六	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	39	〔葉書〕	昭和3	1	〔4〕	〔小倉〕塩田和七	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	40	〔葉書〕	昭和3	1	〔4〕	香月運蔵	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	41	〔葉書〕	昭和3	1	1	水巻村　小田藤雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	42	〔葉書〕	昭和3	1	9	対島下果郡雞知上見坂砲台　伊豆清	安高団兵衛	入学通知	葉書	1	
V	13	43	〔葉書〕	昭和3	1	20	芦屋町中之浜　秋枝正助	安高団兵衛	はきもの出張販売の通知	葉書	1	
V	13	44	〔葉書〕	昭和3	1	26	芦屋船頭町　堤義雄	安高団平	大根一樽分注文	葉書	1	
V	13	45	〔葉書〕	昭和3	1	〔30〕	深川内別町　本田重蔵	安高団兵衛	帰国中の配慮に対する御礼	葉書	1	
V	13	46	〔葉書〕	昭和3	2	〔2〕	舟頭町　堤義雄	安高団兵衛	大根御代、隣杉一樽注文	葉書	1	
V	13	47	〔葉書〕	昭和2	12		田川郡伊田町　長尾松次郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	13	48	〔葉書〕	〔昭和3〕	2	14	嶋門村　永田要造	安高団兵衛	両親大分行の件問合せ	葉書	1	
V	13	49	〔葉書〕	昭和3	2	17	岩崎寿喜蔵	安高団兵衛	衆院選立候補挨拶	葉書	1	
V	13	50	〔葉書〕	昭和3	2		大庭延治	安高団兵衛	町議選当選御礼	葉書	1	
V	13	51	〔葉書〕	昭和3	2	22	吉田磯吉	安高団兵衛	総選挙当選御礼	葉書	1	
V	13	52	〔葉書〕	昭和3	2	〔23〕	中間町　岩崎寿喜蔵	安高団兵衛	総選挙落選挨拶	葉書	1	
V	13	53	〔葉書〕	昭和3	3	〔2〕	八幡市前田　西依康吉	安高団兵衛	沃業肥料の案内	葉書	1	
V	13	54	〔葉書〕	昭和2	11	23	戸畑市牧の町　本田勇	安高福蔵	畑地売却の件	葉書	1	
V	13	55	〔葉書〕	昭和3	〔2〕	〔26〕	戸畑市牧の町　本田勇	安高団兵衛	畑売却の件	葉書	1	
V	13	56	〔葉書〕	昭和3	3	9	戸畑市牧の町　本田勇	安高団兵衛	畑地売却御礼	葉書	1	
V	13	57	〔葉書〕	昭和3	3	13	古賀梅之木　服部桝市	安高団平	野菜注文	葉書	1	
V	13	58	〔葉書〕	昭和3			築上郡宇野　小久保□春	安高団兵衛	折角の周旋だが今年は松はすでになし	葉書	1	
V	13	59	〔葉書〕	昭和3	3	23	八幡市前田　西依康吉	安高団兵衛	沃来試験の件	葉書	1	
V	13	60	〔葉書〕	〔昭和3〕	3	31	〔芦屋町〕山鹿　重岡本男	安高団兵衛	寄附金の件	葉書	1	
V	13	61	〔葉書〕	昭和3	3	26	吉田呉服店	安高団兵衛	安価販売案内	葉書	1	
V	13	62	〔葉書〕	昭和3	4	5	小倉市米町　秋枝正助	安高団兵衛	店員希望者の紹介依頼	葉書	1	
V	13	63	〔葉書〕	〔昭和3〕	4	4	芦屋町呉服店　吉田安吉	安高団兵衛	弟の結婚祝・久留米絣販売の件	葉書	1	
V	13	64	〔葉書〕	昭和3	4	24	入野　磯守弥太郎	安高団兵衛	饅頭送付	葉書	1	
V	13	65	〔葉書〕	昭和3	5	1	対島下県郡ケチ上見坂　伊豆清	安高団兵衛	母の渡対出発につき御礼	葉書	1	
V	13	66	〔葉書〕	昭和3	5		別府市軍事劇太陽団大橋幸太郎	安高団兵衛	御地開演満員御礼	葉書	1	
V	13	67	〔葉書〕	昭和3	6	20	宇佐郡龍王村　中村藤次郎	安高幸次郎	来訪御礼及び近況報告	葉書	1	
V	13	68	〔葉書〕	昭和3	6	〔14〕	久留米第一戦車隊　入江勝	安高団兵衛・安高幸次郎	着任挨拶	葉書	1	
V	13	69	〔葉書〕	昭和3	6	29	市場　柴原勇吉	安高団兵衛	田植慰問	葉書	1	
V	13	70	〔葉書〕	昭和3	7	5	芦屋町　吉田呉服店	安高団兵衛	祇園会大売出し	葉書	1	
V	13	71	〔葉書〕	昭和3	7	〔30〕	歩兵14聯隊　入江勝	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
V	13	72	〔葉書〕	昭和3	8	〔5〕	入野　成守弥太郎	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
V	13	73	〔葉書〕	昭和3	8	〔6〕	宇佐郡龍王町　中村藤次郎	安高団兵衛、幸次郎	暑中見舞	葉書	1	
V	13	74	〔葉書〕	昭和3	8	10	唐津材木町　大橋	安高団兵衛	返状	葉書	1	
V	13	75	〔葉書〕	昭和3	8	〔10〕	入野　成守弥太郎	安高団兵衛	返状(入野は西唐津より3里余)	葉書	1	
V	13	76	〔葉書〕	昭和3	8	〔9〕	小倉市米町高等はきもの商　大八木商店	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
V	13	77	〔葉書〕	昭和3	8	〔17〕	芦屋町　吉田呉服店	安高団兵衛	夏物一掃大売出し案内	葉書	1	
V	13	78	〔葉書〕	昭和3	8	〔13〕	若松市仲町　本田勇	安高団兵衛	暑中見舞(転居通知)	葉書	1	
V	13	79	〔葉書〕	昭和3	8	18	小島頼男	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	13	80	〔葉書〕	昭和3	10	4	山鹿　三村俊蔵	安高団兵衛	林君来訪通知	葉書		

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	13	81	〔葉書〕	〔昭和3〕	〔秋〕		京都府葛野郡西院村　林貞蔵	安高団兵衛	上京につき挨拶	葉書	1	
V	13	82	〔葉書〕	昭和3	10	11	嶋門村　太田春造	安高団兵衛	当区祭礼案内	葉書	1	
V	13	83	〔葉書〕	昭和3	8	23	若松市仲町　本田勇	安高団兵衛	亡父初盆御礼	葉書	1	
V	13	84	〔葉書〕	昭和3	10	16	小島〔頼男〕	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	13	85	〔葉書〕	〔昭和3〕	10	14	京都市外葛野郡西院村　林貞造	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	13	86	〔葉書〕	昭和3	10	26	から津材木町　大橋喜一	安高団兵衛	当地神祭案内	葉書	1	
V	13	87	〔書簡〕	昭和3	12	3	対馬下県郡雞知上見坂　伊豆清	安高団兵衛	歩兵曹長叙任挨拶	郵便書簡	1	
V	13	88	〔葉書〕	昭和3	12	26	対馬下県郡雞知村　伊豆清	安高団兵衛	女児出産通知、配置換通知	葉書	1	
V	13	89	〔葉書〕	昭和3	12	〔20〕	芦屋町　吉田呉服店	安高団兵衛	年末大売出案内	葉書	1	
V	13	90	〔葉書〕	昭和3	12	7	芦屋町　呉服商　吉田安吉	安高団兵衛	買物御礼	葉書	1	
V	13	91	〔葉書〕	昭和3	12	〔11〕	京都仏教学院　林貞造	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	13	92	〔葉書〕	昭和3	12	〔12〕	黒崎二村眼か病院内　門司白郎	安高福太郎、同団兵衛	眼病入院通知	葉書	1	
V	13	93	〔葉書〕	昭和3	12	〔2〕	芦屋町　吉田呉服店	安高団兵衛	誓文晴大売出案内	葉書	1	
V	13	94	〔葉書〕	昭和3	12	1	近衛歩兵第1聯隊　三原広	安高団兵衛、繁次郎	入営挨拶	葉書	1	
V	14	1	〔のし紙〕	不詳			不詳		めでたいのし、赤、青の印刷あり	紙	1	
V	14	2	〔葉書〕	〔大正15〕	〔11〕	〔16〕	入野　成守源太郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	14	3	〔葉書〕	〔大正15〕	〔8〕	〔11〕	大阪市此花区亀甲町　佐野与繁	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
V	14	4	〔葉書〕	〔大正15〕	11	25	岡垣村　本松原　広渡貢	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	14	5	〔葉書〕	〔昭和2〕	2	22	直方町白戸時重商店	安高段平	大根漬物の件	葉書	1	
V	14	6	〔葉書〕		〔2〕	〔4〕	對馬下県郡雞知村雞知　伊豆清	安高団兵衛　幸次郎	近況報告	葉書	1	
V	14	7	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔1〕	〔16〕	福岡歩兵第24連隊第10中隊第1班	安高団兵衛	入隊の報告	葉書	1	
V	14	8	〔葉書〕	〔昭和2〕	1	元旦	福岡県芦屋町　本田勇	安高団兵衛	年賀を遠慮する旨	葉書	1	
V	14	9	〔葉書〕	〔昭和2〕	1	元旦	入野　成守源太郎	安高団兵衛	年賀遠慮通知	葉書	1	
V	14	10	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔2〕	〔5〕	村寶造	安高団兵衛	御礼	葉書	1	
V	14	11	〔葉書〕	昭和2	1	23	直方古町井上喜商店直方支店	安高福蔵	出荷御案内	葉書	1	
V	14	12	〔葉書〕	昭和2		元旦	山鹿村　山崎久太郎	安高団兵衛	年賀遠慮の通知	葉書	1	
V	14	13	〔葉書〕	昭和2	1	元旦	小島生	安高団兵衛殿	諒闇通知	葉書	1	
V	14	14	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔1〕	〔11〕	朝鮮龍山歩兵第78連隊第5中隊三村茂雄	安高団兵衛	見送りの御礼	葉書	1	
V	14	15～23	我が家参ヶ月購読券	大正15	12	23送付		福岡県鞍手郡直方町末広町　旭活久平　他9名		紙	9	
V	14	24	〔葉書〕	〔昭和2〕	11	14	中村弟より	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	14	25	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔1〕	〔20〕	蘆屋町　吉田呉服店	安高団兵衛	旧年末の大売出しのお知らせ	葉書	1	
V	14	26	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔4〕	〔10〕	芦屋町吉田呉服店	安高団兵衛	着物新柄大売出しのお知らせ	葉書	1	
V	14	27	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔3〕	〔28〕	水巻村大字杁　小田藤男	安高団兵衛	御礼	葉書	1	
V	14	28	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔4〕	〔1〕	水巻村大字杁　小田藤作	安高団兵衛	名付祝の御案内	葉書	1	
V	14	29	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔4〕	〔1〕	入野　成守源太郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	14	30	〔葉書〕	〔昭和2〕	10	24	岡垣村元松原　広渡タツノ	安高団兵衛	兄上の父病気のため御見舞下さるよう、お願	葉書	1	
V	14	31	〔葉書〕	不詳			本郡岡垣村元松原　広渡団平	安高団兵衛	17日から当区放生祭に付御出浮の御案内	葉書	1	
V	14	32	〔葉書〕	〔昭和2〕	4	14	岡垣村元松原　広渡素一郎	安高団平	放生会の招待、その他御礼	葉書	1	
V	14	33	〔葉書〕	〔昭和2〕	5	1	對馬下県郡雞知村俵辰雄様内伊豆清　〃キヌエ	安高団兵衛　幸次郎	近況報告	葉書	1	
V	14	34	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔5〕		水巻村大字杁　小田藤雄	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	14	35	〔葉書〕	〔昭和2〕	5	30	岡垣村元松原　広渡たづの母	安高団兵衛	御礼	葉書	1	
V	14	36	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔6〕	〔7〕	火山村塵　小島余吉	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	14	37	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔6〕	〔16〕	宇佐郡の中村より	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	14	38	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔6〕	〔21〕	八幡市黒崎占部眼科病院　本田花子	安高団兵衛	父上の手術の経過方向	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	14	39	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔7〕	〔6〕	芦屋町　吉田呉服店	安高団兵衛	祇園会大売出しのお知らせ	葉書	1	
V	14	40	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔7〕	〔3〕	入野　なり守	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	14	41	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔7〕	〔16〕	直方町役場　谷口誠	安高団兵衛	出発日時の打合せ	葉書	1	
V	14	42	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔7〕	〔23〕	八幡市前田祇園原鉾　西依康吉	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
V	14	43	〔葉書〕	〔昭和2〕	7	22	島門村鬼津　太田秀夫	安高団兵衛	御見舞	葉書	1	
V	14	44	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔8〕	〔2〕	遠賀民友会会長　田代丈三郎	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
V	14	45	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔8〕	〔2〕	蘆屋町　吉田呉服店	安高団兵衛	旧盆会大売出しのお知らせ	葉書	1	
V	14	46	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔8〕	〔1〕	入野　成守源太郎	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
V	14	47	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔8〕	〔27〕	佐賀ノ故郷ニテ　古藤長之助	安高団兵衛	御礼と大和西瓜種の依頼	葉書	1	
V	14	48	〔葉書〕	不詳			鞍手郡古月村字下木月　香月運蔵	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	14	49	〔葉書〕	〔昭和2〕	9	2	18大隊2中隊　赤間忠	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	14	50	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔9〕	5	鞍手郡直方立部町　大塚太郎	安高団兵衛	生命保険加入の件	葉書	1	
V	14	51	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔9〕	〔7〕	佐賀県西杉浦郡大川村字小原　古藤長之助君ナラン	安高団兵衛	西瓜種の御礼	葉書	1	
V	14	52	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔9〕	〔7〕	山鹿　三村俊蔵	安高団兵衛	放生会延期の旨	葉書	1	
V	14	53	〔葉書〕	〔昭和2〕	9	5	岡垣村元松原　広渡団平	安高団兵衛	御礼	葉書	1	
V	14	54	〔葉書〕	〔昭和2〕	9	22	ヤハタ市水道町　早川佐平	安高団平エ様	招待を断ったおわび	葉書	1	
V	14	55	〔葉書〕	〔昭和2〕	9	12夜	佐賀県東杉浦郡　大橋喜一	安高団兵衛	招待	葉書	1	
V	14	56	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔10〕	〔22〕	芦屋船頭町　堤藤雄	安高団平	アルバム写真の件	葉書	1	
V	14	57	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔10〕	〔26〕	材木町　大橋喜一	安高団兵衛	神祭のおさそい	葉書	1	
V	14	58	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔10〕		大分県宇佐郡竜王村　中村藤次郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	14	59	〔葉書〕	〔昭和2〕	11	29	小島	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	14	60	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔11〕	〔29〕	芦屋町　吉田呉服店	安高団兵衛	大売出しのお知らせ	葉書	1	
V	14	61	〔葉書〕	〔昭和2〕	10	25	三村俊蔵　他	安高団兵衛様	母タケ葬儀の挨拶	葉書	1	
V	14	62	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔11〕	〔21〕	山鹿三村俊蔵	安高団兵衛	母死去の通知	葉書	1	
V	14	63	〔葉書〕	〔昭和2〕	12	4	対馬下県郡雞知　伊豆清	安高団兵衛	年末参上する旨	葉書	1	
V	14	64	〔葉書〕	〔昭和2〕	9	11	島門村ヲニズ　太田秀夫	安高団兵衛	祭のさそい	葉書	1	
V	14	65	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔11〕	〔15〕	九州芦屋町林新開舗本店	安高団兵衛	招待	葉書	1	
V	14	66	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔11〕	〔6〕	芦屋町山鹿　？本店	安高団平	大根の件	葉書	1	屋号のため入力不能
V	14	67	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔12〕	〔29〕	八幡市西本町　山県淺治本店	安高団兵衛	出荷のお願い	葉書	1	
V	14	68	〔葉書〕	〔昭和2〕	〔12〕	〔24〕	芦屋町　吉田呉服店	安高団兵衛	年末大売出しのお知らせ	葉書	1	
V	15	1	〔包紙〕							紙		
V	15	2	〔葉書〕	〔大正〕14	12	15	あしや町山鹿　三村俊蔵	安高団兵衛	愚弟健次郎死去の知らせ	葉書		日付は消印
V	15	3	〔葉書〕				東京府下西大久保236希望社出版部	安高団兵衛	『力の泉』発送通知書	葉書		
V	15	4	〔葉書〕	大正14	12	9	遠賀郡岡垣村吉木　広渡団平	安高団兵衛	幸次郎退営の宴席の礼	葉書		
V	16	1	〔こより〕							こより		
V	16	2	〔書簡〕				渋田武三郎	輜重兵第12大隊　安高団兵衛	近日中面会の予定	罫紙	1	封筒あり
V	16	3	〔書簡〕	〔大正8〕	4	21	哈府第2陸軍病院　武田与八郎	北方輜重兵第12大隊　安高団兵衛	ハバロフスクの様子、道の悪さなど	継紙	1	封筒あり
V	16	4	〔書簡〕	大正8	4	1	出征の友人ヨリ　長奇〔秀雄〕	北方輜重兵第12大隊　安高団兵衛	シベリアの様子、青島節を作ったので送る	便箋	3	封筒あり
V	16	5	〔書簡〕	大正8	3	27	出征第12師団第2野戦病院　武田与八郎	北方輜重兵第12大隊　安高団兵衛	返状、シベリアの様子	紙	1	封筒あり
V	16	6	〔書簡〕	大正8	3	14	出征第12師団第2野戦病院　長奇秀雄	北方輜重兵第12大隊　安高団兵衛	輜重隊の初年兵、糟屋郡出身の2名の世話依頼	便箋	2	封筒あり
V	16	7	〔書簡〕	〔大正8〕	2	27	第12師団第2野戦病院　武田与八郎	北方輜重兵第12大隊　安高団兵衛	シベリアの近況報告、凱旋で守備兵員が減少した為各所に過激派が勃興	紙	2	封筒あり
V	16	8	〔書簡〕	大正8	1	1	第12師団第2野戦病院　武田与八郎	北方輜重兵第12大隊　安高団兵衛	年始の挨拶	紙	1	封筒あり
V	16	9	〔書簡〕	〔大正8〕	1	20	出征第12師団第2野戦病院　長奇秀雄	北方輜重兵第12大隊　安高団兵衛	シベリアの厳しい寒さ、イルクスケにいる日本美人の話など	罫紙	2	封筒あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	16	10	〔書簡〕	〔大正8〕	1	3	第12師団第2野戦病院　武田与八郎	北方輜重兵第12大隊　安高団兵衛	凱旋部隊続々、ハバロフスクも淋しくなった	紙	1	封筒あり
V	17	1	〔書簡〕	大正14	9	25着	神谷まき（カリフォルニア州ロサンゼルス）	安高福蔵	親族の消息を尋ねる	紙	2	17-1～32封筒入り「在米神谷繁吉・まき殿よりの来信入」、封筒あり
V	17	2	〔書簡〕	大正14	7	10	神谷繁吉（カリフォルニア州ロサンゼルス）	安高団兵衛	経営していた球場は譲り渡し、ロスで事業か商売をするつもり。ロス開催の日本学生相撲は素晴らしい前人気	紙	2	封筒あり
V	17	3	〔葉書〕	大正14	1	1	神谷繁吉（北米）	安高団兵衛	年賀状	絵葉書	1	「Beach Scene」の絵葉書、封筒あり
V	17	4	〔書簡〕	大正13	11	30	神谷繁吉（カリフォルニア）	安高団兵衛	昨年以来カリフォルニアは大不景気	紙	1	封筒あり
V	17	5	〔書簡〕	大正13	8	7	神谷繁吉（カリフォルニア州セルマ市）	安高団兵衛	一時帰国の友人の後を引き受け球場と水店を開業したが、両三年のうちには帰国する考え	紙	1	封筒あり
V	17	6	〔書簡〕	大正13	4	21	神谷繁吉（在米）	安高団兵衛	大正大震災雑誌の礼、米国日本新聞を送る	紙	1	封筒あり
V	17	7	〔書簡〕	大正13	1	13	神谷まき（カリフォルニア）	安高団兵衛	入営の幸次郎に50円送る、ふくという名前のチン（犬）を飼っている	紙	3	封筒あり
V	17	8	〔書簡〕	大正12	9	18	神谷繁吉（カリフォルニア州セルマ市）	安高団兵衛	関東大震災の見舞い、米国内でも大きな同情募金始まる。仕送りの件、米価100ドル送る	紙	2	封筒あり
V	17	9	〔書簡〕	大正12	7	10	神谷繁吉(カリフォルニア)	安高団兵衛	干しブドウ下落、今後も見込みなく他に事業を探す考え	紙	2	封筒あり
V	17	10	〔書簡〕	大正12	1	6	神谷まき（カリフォルニア）	安高団兵衛	ばば様の死に目に会えなかったこと、妹よし子の嫁入りのこと、米国の不景気のこと	紙	3	封筒あり
V	17	11	〔年賀状〕	大正12	1	1	神谷（北米）	安高団兵衛	年賀状	絵葉書	1	Tulare St.,looking West Fresno.Cal
V	17	12	〔書簡〕	大正11	8	12	神谷繁吉（加州ダイニウバ）	安高福蔵	離婚騒動収まり心配かけた、ブドウつみが始まり多忙になる	紙	1	封筒あり
V	17	13	〔書簡〕	大正11	7	26	神谷繁吉（加州ダイニウバ市）	安高福蔵	マキとの離婚話、戸籍引取願い	紙	1	封筒あり
V	17	14	〔書簡〕	大正11	10	26	神谷繁吉（加州ダイニウバ）	安高団兵衛	祖母（キミ）死去のお悔やみと香典として米貨30ドル送る	紙	1	封筒あり
V	17	15	〔書簡〕	大正11	6	14	神谷まき（カリフォルニア）	安高団兵衛	腹の手術で白人病院に入院	紙	1	封筒あり
V	17	16	〔書簡〕	大正11	6	4	神谷繁吉（在米）	安高団兵衛	マキの病状の説明	紙	1	封筒あり
V	17	17	〔書簡〕	大正11	4	2	神谷繁吉（加州ダイニウバ市）	安高団兵衛	11月上旬より酒造するつもりで場所を探している、10月頃当地の種なし干しブドウ送る、12年4月頃マキだけひとまず帰国させる考え	紙	2	封筒あり 繁次郎宛ての手紙を同封
V	17	18	〔書簡〕	大正11	3	29	神谷繁吉（加州ダイニウバ市）	安高団兵衛	スタクトン市を引き上げ、加州第一のブドウ産地ダイニウバ市へ来た	紙	1	封筒あり
V	17	19	〔書簡〕	大正10	11	30	神谷繁吉（加州スタクトン市）	安高団兵衛	玉ねぎ事業害虫の為失敗、吉木・門司・倉吉氏は今年は好作、米国では2千や3千の失敗は一度で帰るので心配はない	紙	1	封筒あり
V	17	20	〔書簡〕	大正10	10	4	神谷まき（カリフォルニア）	安高福蔵	私たちのあにうん（オニオンか）は虫がついて駄目に、仕事が少ないので宿は人ばかり、私は今は15～30人までのコックをしている	紙	1	封筒あり
V	17	21	〔年賀状〕	大正11	1	1	神谷（北米加州）	安高団兵衛	年賀状	絵葉書	1	Happy New Year
V	17	22	〔書簡〕	大正10	1	19	神谷まき（カリフォルニア）	安高福蔵	今年は玉ねぎをやる、正月は餅を半俵ついて近所の人を皆呼んだ、かるた遊びをした	紙	2	
V	17	23	〔書簡〕	大正10	4	23	神谷まき（カリフォルニア）	安高福蔵	弟（団兵衛）に男子誕生の祝い	紙	3	封筒あり
V	17	24	〔年賀状〕	大正10	1	1	神谷繁吉（加州スタクトン市）	安高福蔵	年賀状	絵葉書	1	Hotel St.Mark,Twelfth and Franklin Sts.,Oakland,Cal

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	17	25	〔書簡〕	大正9	10	14	神谷繁吉(加州スタクトン市)	安高団兵衛	花向けの印として米貨25ドル送付	紙	2	封筒あり
V	17	26	〔書簡〕	大正8	〔12〕	30	神谷繁吉(加州スタクトン市)	安高福蔵	歳暮として米貨20ドル送付、本年度は他2名と共同で200英町(エーカー)の事業している	紙	1	封筒あり
V	17	27	〔書簡〕	大正9	6	9	神谷まき(カリフォルニア)	安高福蔵	もうすぐ渡米1年、稲は見たことなし、ちょっとの距離でも自動車や電車で歩くことなし	紙	2	封筒あり
V	17	28	〔書簡〕	大正9	2	28	神谷繁吉(北米の空より)	安高団兵衛	3人で共同し200英町(エーカー)の事業している、作物はコーン・玉ねぎ	紙	1	封筒あり
V	17	29	〔書簡〕	大正9	2	20	神谷まき(カリフォルニア)	安高福蔵	(団兵衛の)軍隊での出世と結婚を祝う	紙	4	封筒あり
V	17	30	〔書簡〕	大正9	1	16	神谷まき(カリフォルニア)	安高福蔵	帰国の知人(吉木の門司すえきちさん)に繁次郎の時計と靴、まきの着物を託けたが届いたか、返事を乞う。今年は百姓とコックをしている	紙	2	封筒
V	17	31	〔年賀状〕	大正9	1	1	神谷繁吉(北米加州)	安高福蔵	年賀状	絵葉書	1	UPPER MAIN STREET, STOCKTON,CALIFORNIA. 印刷物
V	17	32	〔書簡〕	大正8	11	24	神谷まき(カリフォルニア)	安高福蔵	弟や妹の結婚など知らせてくれ、門司さんにことづけた着物は届いたか	紙	3	封筒あり
V	18	1	〔葉書〕	明治43	11	13	明治専門学校内　中西栄次郎	安高団兵衛	目的の市立明治専門学校の給仕に入学	葉書	1	中西は明専の給仕入学、団兵衛とは高小友人
V	18	2	〔葉書〕	明治44	11	28	明治専門学校　朋友白翁〔中西栄次郎〕	安高団兵衛	高等小学校時代の先生が明専の図書係員として勤務している	葉書	1	
V	18	3	〔葉書〕	〔明治〕44	10	20	明治専門学校　中西〔栄次郎〕	安高団兵衛	小学校時代の茸狩の思い出など	葉書	1	日付は消印
V	18	4	〔葉書〕	〔明治〕44	9	8	明治専門学校　中西栄次郎	安高団兵衛	芦屋高等小学校の同窓会に欠席との事残念	葉書	1	
V	18	5	〔葉書〕	〔明治〕44	8	3	山鹿　中西〔栄次郎〕	安高団兵衛	面談の都合伺い	葉書	1	
V	18	6	〔葉書〕	明治44	6	22	明治専門学校　白翁〔中西栄次郎〕	安高団兵衛	今朝の新聞に載りたる「芦屋田金実業補習学校」開校の件	葉書	1	
V	18	7	〔葉書〕	〔明治〕44	6	19	明治専門学校　中西栄次郎	安高団兵衛	給仕3人での交代作業のため帰宅の日が定まらず	葉書	1	
V	18	8-1、2	〔葉書〕	〔明治〕44	5	22	明治専門学校　中西〔栄次郎〕	安高団兵衛	5月28日は(開校)記念日で校内参観随意、御参校下され度	絵葉書	2	(第1回)「明治専門学校運動会之光景」2枚続きの絵葉書
V	18	9	〔葉書〕	〔明治〕44	5	4	戸畑　中西〔栄次郎〕	安高団兵衛	返状、絶交に驚き入る	葉書	1	日付は消印
V	18	10	〔葉書〕	〔明治〕44	4	10	明治専門学校内　弟〔中西栄次郎〕	安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	18	11	〔欠番〕									史料なし
V	18	12	〔葉書〕	〔明治〕44	4	5	山鹿　中西〔栄次郎〕	安高団兵衛	帰宅の日時通知	葉書	1	日付は消印
V	18	13-1	〔年賀状〕	明治44	1	元旦	中西栄次郎	安高団兵衛	年賀状	絵葉書	1	「明治専門学校遠望」
V	18	13-2	〔葉書〕	〔明治〕44	2	26	明治専門学校内　中西栄次郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	日付は消印
V	18	14	〔葉書〕	明治45	1	元旦	明治専門学校　中西栄次郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷
V	18	15	〔年始名刺〕	明治45	1	元旦	中西栄次郎		名刺か	紙	1	
V	18	16	〔葉書〕	〔明治〕45	1	19	明治専門学校内　中西栄次郎	安高団兵衛	帰宅の折尋ねようとしたが行けず	葉書	1	
V	18	17	〔葉書〕	〔明治〕45	4	9	明治専門学校内　中西栄次郎	安高団兵衛	帰宅の通知、お立ち寄りを乞う	葉書	1	
V	18	18	〔葉書〕	〔明治〕45	5	20	山鹿村　なかにし〔栄次郎〕	安高団兵衛	家事上学校辞職の通知	葉書	1	
V	18	19	〔葉書〕	〔明治〕45	7	14	やまが　なかにし〔栄次郎〕	安高団兵衛	遠賀川改修工事に従事中、祇園祭の誘い	葉書	1	
V	18	20	〔葉書〕	〔明治〕45	1	30	明専校　中西白翁〔栄次郎〕	安高団兵衛	小学校時代の大雪の思い出	葉書	1	日付は消印
V	18	21	〔葉書〕	〔大正〕1	8	13	伊佐座工事場仕事場　中西栄次郎	安高団兵衛	盆がきて天皇の崩御が思い出される、盆休みに来られたし	葉書	1	日付は消印
V	18	22	〔葉書〕	大正2	4	26	明治専門学校内　中西栄次郎	安高団兵衛	帰宅の通知、お立ち寄りを乞う	葉書	1	
V	18	23	〔葉書〕	大正2	1	24	明治専門学校　中西栄次郎	安高団兵衛	家内の船業従事後、明専再出勤の挨拶	葉書	1	
V	18	24	〔葉書〕	〔大正〕2	6	12	山鹿村1982番地　中西栄次郎	安高団兵衛	当今父の舟業に従事	葉書	1	
V	18	25	〔葉書〕	大正2	9	20	大牟田三井亜鉛製錬所爐　中西栄次郎	安高団兵衛	舟業は長々する積りはなく密かに職を探し、この度三井亜鉛製錬所に勤務することになった、爐前は1500度の暑さ	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	18	26	〔葉書〕	〔大正〕2	12	1	山鹿村　中西栄次郎	安高団兵衛	相変わらず舟業に従事	葉書	1	
V	18	27	〔葉書〕	〔大正2〕	〔5〕ころ		山鹿村　中西栄次郎	安高団兵衛	一生の失望、家事上学校辞職、以後舟業従事か第二の目的を立てるか	絵葉書	1	「大正二年日曜表」
V	18	28	〔年賀状〕	大正3	1	1	やまが　中西栄次郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	18	29	〔葉書〕	大正3	4	13	やまが　中西白翁〔栄次郎〕	安高団兵衛	鐘崎発注の川舟新造に従事	葉書	1	
V	18	30	〔葉書〕	大正3	7	6	山鹿村　中西栄次郎	安高団兵衛	相変わらず若松にて揚荷の節油をしぼり候	葉書	1	
V	18	31	〔葉書〕	〔大正〕3	1	23	山鹿村　中西栄二郎	安高団兵衛	天満宮祭礼の誘い	葉書	1	日付は消印
V	18	32	〔葉書〕	大正3	11	23	やまが村　中西栄次郎	安高団兵衛	時候挨拶（新嘗祭）	葉書	1	
V	18	33	〔葉書〕	大正3	8	15翌日	山鹿村　中西栄次郎	安高団兵衛	訪問馳走の礼	葉書	1	
V	18	34	〔年賀状〕	大正4	1	1	やまが町　中西栄次郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	18	35	〔葉書〕	大正4	12	23	吉武金山　中西栄次郎	安高団兵衛	野菜取り揃え送付の依頼、川原竹三郎様内	葉書	1	
V	18	36	〔年賀状〕	〔大正5〕	1	1	金山分配所　中西栄次郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	18	37	〔年賀状〕	〔大正初〕	1	1	山鹿村　中西栄次郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	18	38	〔葉書〕	〔明治末か〕	3	9	山鹿村　中西栄次郎	安高団兵衛	明専在学時の帰宅挨拶、青年中学会入会の件	葉書	1	日付は消印
V	18	39	〔葉書〕	〔大正初期か〕			なかにし栄次郎	安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
V	18	40	〔年賀状〕	〔大正〕2	1	1	大阪東区道修町小池薬店内〔本田〕金蔵	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	墨を塗った上に鉛筆書き
V	18	41	〔葉書〕	〔大正〕2	1	22	大阪市東区道修町薬種問屋小池祥一方〔本田〕金蔵	安高団兵衛	時候挨拶、留守を宜しく御頼み申す	葉書	1	
V	18	42	〔葉書〕	〔大正〕2	3		大阪小池祥一方　本田〔金蔵〕	安高団兵衛	時候挨拶、アメリカの本田君へもよろしく	葉書	1	日付は消印
V	18	43	〔葉書〕	〔大正〕2	4	26	大阪　本田金蔵	安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	18	44	〔葉書〕	〔大正〕2	5	23	大阪小池方　本田金蔵	安高団兵衛	米国の本田君と手紙のやりとりができた礼	絵葉書	1	美人絵葉書
V	18	45	〔葉書〕	〔大正〕2	6	10	大阪　本〔田〕金〔蔵〕	安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	18	46	〔葉書〕			21	大阪小池内　本田金蔵	安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	18	47	〔葉書〕	〔大正〕1	11	8	大阪市小池商店内　本田金蔵	安高団兵衛	餞別の礼、大坂到着の報告	葉書	1	日付は消印
V	18	48	〔年賀状〕	大正2	1	1	大阪小池薬店内　ほんだ〔金蔵〕	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	18	49	〔年賀状〕	大正3	1	1	小池祥一商店（本田金蔵か）	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	薬品貿易商小池祥一商店の葉書
V	18	50	〔葉書〕	〔大正〕2	7	15	小池祥一商店方　ほんだ〔金蔵〕	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	薬品貿易商小池祥一商店の葉書
V	18	51	〔葉書〕	〔大正〕2	7	22	小池祥一商店方　ほんだ〔金蔵〕	安高団兵衛	返状、うちの事をよろしく	葉書	1	日付は消印、薬品貿易商小池祥一商店の葉書
V	18	52	〔葉書〕	〔大正〕2	8	8	小池祥一商店　本田〔金蔵〕	安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	日付は消印、薬品貿易商小池祥一商店の葉書
V	18	53	〔葉書〕	〔大正〕2	8	15	小池祥一商店内　ほんだきんぞう	安高団兵衛	諒闇開でさぞ賑わしきことと思う	葉書	1	薬品貿易商小池祥一商店の葉書
V	18	54	〔葉書〕		8	14	筑芦栗にて安高〔団兵衛〕	大阪小池祥一方　本田金蔵	暑中見舞返礼（未投函）、貴兄方（喜十郎様方）も御一同御達者にて安心を	葉書	1	未投函
V	18	55	〔帯封〕		9	24	大阪小池内　本田金蔵	安高団兵衛	印刷物「神の訓へ」を送ったものか	帯封	1	日付は消印 「明治天皇御製集“神の訓へ”を送り下れり」と付記
V	18	56	〔葉書〕	〔大正〕2	9	1	大阪小池祥一内　ほんだ	安高団兵衛	米国の本田君から手紙届く	葉書	1	日付は消印、薬品貿易商小池祥一商店の葉書
V	18	57	〔葉書〕	〔大正〕2	9	24	大阪小池祥一商店内〔本田〕金三	安高団兵衛	教の訓1冊本日送付、ご笑納を	葉書	1	薬品貿易商小池祥一商店の葉書
V	18	58	〔葉書〕	〔大正〕2	10	30	大阪小池祥一商店内〔本田〕金蔵	安高団兵衛	米国の□□君から手紙が届いた由、大坂にはまだ届かず	葉書	1	日付は消印、薬品貿易商小池祥一商店の葉書
V	18	59	〔葉書〕	〔大正〕3	2	24	大阪小池祥一商店内〔本田〕金蔵	安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	薬品貿易商小池祥一商店の葉書

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	18	60	〔葉書〕	〔大正〕3	4	1	大阪小池祥一商店内〔本田〕金蔵	安高団兵衛	絵葉書送付す、ご笑納を	葉書	1	薬品貿易商小池祥一商店の葉書
V	18	61	〔葉書〕		7	10	大阪小池商店内〔本田〕金蔵	安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	薬品貿易商小池祥一商店の葉書
V	18	62	〔葉書〕	大正3	9	3	大阪小池商店内〔本田〕金蔵	安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	薬品貿易商小池祥一商店の葉書
V	18	63	〔葉書〕	〔大正〕3	12	14	大阪小池祥一商店〔本田金蔵〕	安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	薬品貿易商小池祥一商店の葉書
V	18	64	〔年賀状〕	〔大正〕4	1	1	大阪小池方　本田金蔵	安高団兵衛	年賀状	絵葉書	1	兎の写真
V	18	65	〔葉書〕	〔大正〕4	7	1	大阪小池祥一商店内koute	安高団兵衛	実家への心懸けを感謝	葉書	1	薬品貿易商小池祥一商店の葉書
V	18	66	〔書簡〕	大正5	4	23	大阪小池祥一商店　本田金蔵	〔安高団兵衛〕	写真館で撮影した写真1枚を送る	便箋	1	薬品貿易商小池祥一商店の便箋
V	18	67	〔葉書〕	〔大正〕5	2	8	大阪小池方　本田〔金蔵〕	安高団兵衛	時候挨拶	絵葉書	1	「木曽勝景　寝覚床浦島堂」の絵葉書
V	18	68	〔葉書〕	大正5	1	1	大阪小池祥一商店　本田金造	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	薬品貿易商小池祥一商店の葉書
V	18	69	〔葉書〕	〔大正〕4	12	16	在大阪　本田〔金蔵〕	安高団兵衛	時候挨拶	絵葉書	1	「石狩川鉄橋・植民道路開鑿工事」の絵葉書
V	18	70	〔葉書〕	〔大正5〕	11	27	在東京　本田金蔵	安高団兵衛	祝入営	葉書	1	日付は消印
V	18	71	〔葉書〕	〔大正〕5	11	11	在京　志賀医院内　本田〔金蔵〕	安高団兵衛	入営激励	葉書	1	日付は消印、表は朱書き
V	18	72	〔葉書〕	〔大正〕5	9	20	東京　本田金蔵	安高団兵衛	時候挨拶	絵葉書	1	「東京名所　九段靖国神社」
V	18	73	〔葉書〕	〔大正〕5	7	8	東京浅草　志賀医院　本田金蔵	安高団兵衛	或目的のため東京にて勉強の報知	絵葉書	1	「備後　鞆港全景」
V	18	74	〔葉書〕	〔大正〕3	4	18	有馬兵衛旅館　〔　　〕	安高団兵衛	旅行の便りか、六甲山から有馬温泉へ、宿は兵衛旅館	絵葉書	1	「摂津有馬瑞宝寺日暮ノ庭」日付は消印
V	18	75	〔葉書〕	〔大正〕5	4	11	在大阪　KinzoHonta	安高団兵衛	帰国（帰郷）の通知	絵葉書	1	「備後鞆港　仙酔島全景」日付は消印
V	18	76	〔葉書〕	〔大正〕5	3	〔27〕	27	安高団兵衛	（徴兵）検査5月5日の由承知、5月1日頃帰国（帰郷）する	絵葉書	1	「備後鞆港　弁天島」日付は消印
V	18	77	〔葉書〕	〔大正〕5	2	13	在大阪　本田〔金蔵〕	安高団兵衛	徴兵検査の日時を至急お知らせくだされ度	絵葉書	1	「大阪市外中津町下三番北野天主公教会」日付は消印
V	19	1	〔葉書〕	〔大正〕□	7	21	芦屋町　木原儀荘	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	退院祝い	葉書	1	
V	19	2	〔葉書〕	大正5	12	19	遠賀郡芦屋町　小野玄一郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	（団兵衛の）入隊後の寂しさを綴る	葉書	1	
V	19	3	〔葉書〕	大正6	1	1	遠賀郡芦屋町　小野玄一郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	19	4	〔葉書〕	□	12	5	遠賀郡芦屋町　本田角郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	無事入隊を喜び健康を祈る	葉書	1	
V	19	5	〔葉書〕	大正6	1	1	遠賀郡芦屋町　木田惣六	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	19	6	〔葉書〕	〔大正〕15	11	1	長崎県下県郡鶏知村　伊豆清	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	糸島郡前原付近での師団演習に書記として参加する報告	葉書	1	
V	19	7-1	〔書簡〕	昭和3	4	4	〔神谷〕マキ（ロサンゼルス）	遠賀郡芦屋町　安高繁次郎	時計はそのうち必ず送る、皆様の写真を早く送ってほしい	紙	1	V19-7-1～2同封 封筒あり
V	19	7-2	〔書簡〕	昭和3	4	4	〔神谷〕マキ（ロサンゼルス）	遠賀郡芦屋町　〔安高〕リキノ	父母のことはあなたにお願いします	紙	1	V19-7-1～2同封 封筒あり
V	19	8-1	〔封筒〕	昭和3	2	14	〔神谷〕まき（ロサンゼルス）	遠賀郡芦屋町　安高福蔵		封筒	1	
V	19	8-2	〔書簡〕	〔昭和3〕	2	14	まき	父上母上御家内様へ	返状、皆様からの手紙で嬉し涙	紙	1	
V	19	9	〔葉書〕	昭和3	1	1	〔神谷繁吉・まき〕（ロサンゼルス）	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	絵葉書	1	Circular Bridge, Mt.Lowe,California
V	19	10	〔葉書〕	〔大正〕6	1	2	鞍手郡西川村　魚類仲買商 神谷松太郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年賀スタンプ
V	19	11	〔葉書〕	大正6	1	1	底井野村　中西長次郎・轍之助	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	19	12	〔葉書〕	大正6	1	1	遠賀郡底井野村　永田辰次郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	19	13	〔葉書〕	〔大正〕6	8	3	冨永まさ	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
V	19	14	〔葉書〕		12	6	冨永まさ	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	上等兵昇進の祝	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	19	15	〔葉書〕			29	竜王　弟より	安高・姫島伍長勤務上等兵	写真の礼	葉書	1	
V	19	16	〔葉書〕	〔大正〕8	5	1	アシヤアワヤ〔オトオト〕(安高繁次郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	近況報告、先月入学、子牛の買い入れ、夏野菜の移植、在米姉より写真など	葉書	1	
V	19	17	〔葉書〕	〔大正〕8	4	25	芦屋町　安高幸次郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	吉田仁右衛門の葬儀通知	葉書	1	日付は消印
V	19	18	〔葉書〕	〔大正〕8	6	□	竜王　中村	安高上等兵	時候挨拶	絵葉書	1	美人絵葉書、3枚にはずれ
V	19	19	〔欠番〕									
V	19	20	〔葉書〕	大正11	1	1	田中豊	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	19	21	〔葉書〕	〔大正〕11	10	9	芦屋町　林新聞舗本店	本町　安高団兵衛御一統様	御祖母様逝去のお悔み	葉書	1	日付は消印
V	19	22	〔葉書〕	〔大正〕6	12	15	遠賀郡芦屋町　大庭良作	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	19	23	〔葉書〕	〔大正〕6	5	22	遠賀郡芦屋町　大庭市松	北方町小倉衛戍病院　安高団兵衛	病気入院見舞い	葉書	1	
V	19	24	〔葉書〕		10	15	遠賀郡芦屋　大庭良作	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	詫び状か	葉書	1	日付は消印
V	19	25	〔葉書〕	大正6	1	1	芦屋町粟屋　大庭市松	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	19	26	〔葉書〕	大正6	1	1	芦屋町粟屋　大庭要蔵	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	19	27	〔葉書〕	〔大正〕6	1	1	遠賀郡芦屋町　本田清吉	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	19	28	〔葉書〕		12	15	芦屋町粟屋　本田久	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	返状、時候挨拶	葉書	1	
V	19	29	〔葉書〕	〔大正〕6	1	11	粟屋　大庭礒松、白石松吉	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	返状、時候挨拶	葉書	1	
V	19	30	〔葉書〕	〔大正〕5	12	8	芦屋町粟屋　小野冨吉	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	入営激励	葉書	1	
V	19	31	〔葉書〕		1	14	遠賀郡八幡通り町　本田伊六	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	裏面の半分は墨塗りの上に鉛筆書き
V	19	32	〔葉書〕	大正6	1	1	八幡通町　本田〔伊六〕	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	19	33	〔葉書〕	〔大正〕8	9	14	八幡氏尾倉　早川佐平	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	病気入院見舞い	葉書	1	
V	19	34	〔葉書〕		12	5	底井野村　西轍之助	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	入営祝	葉書	1	
V	19	35	〔葉書〕		12	10	あしや町　二村喜代次	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	寒気見舞	葉書	1	
V	19	36	〔葉書〕	〔大正〕6	2	18	あしや町　二村喜代次	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	軍務激励	葉書	1	
V	19	37	〔葉書〕	大正6	1	1	芦屋町　二村喜代次	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	19	38	〔葉書〕	〔大正〕6			病院内　かと	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	見舞の礼	葉書	1	
V	19	39	〔葉書〕	大正5	12	7	遠賀郡芦屋町　小野貞次郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	入営激励、寒気見舞	葉書	1	
V	19	40	〔葉書〕	〔大正〕6	6	26	別府分院　目原	小倉衛戍病院　片山軍曹、小串末次郎、田中良敏、政田治三郎、加藤実、矢野帋夫、内田　外患者御一同	転院報告	絵葉書	1	「小倉衛戍病院別府分院娯楽室」、日付は消印
V	19	41	〔葉書〕	〔大正〕8			鳥栖ノ西　南中尉	小倉輜重兵　第一中隊将校室	旅団演習終了ほか	絵葉書	1	「(久留米名所)水天宮境内より泉州翁の銅像を望む」
V	19	42	〔絵葉書〕				山口県厚狭郡　片岡米一	小倉輜重兵　第一中隊将校室	在営中の礼、帰郷の報告	絵葉書	1	「馬山神社」
V	19	43	〔葉書〕	〔大正〕5	12	6	芦屋町粟屋　本田茂雄	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	入営後も文通を願う	葉書	1	日付は消印
V	19	44	〔葉書〕	〔大正〕6	1	1	芦屋町粟屋　本田茂雄	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	19	45	〔葉書〕	〔大正〕6	3	9	芦屋町粟屋　本田茂雄	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	返状、無沙汰の侘び	葉書	1	日付は消印
V	19	46	〔葉書〕	〔大正〕6	2	26	芦屋町粟屋　木原武雄	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
V	19	47	〔葉書〕	〔大正〕6	1	1	芦屋町粟屋　小野進	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	19	48	〔葉書〕	大正6	2	6	芦屋町粟屋　小野進	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	降雪見舞い	葉書	1	
V	19	49	〔葉書〕	〔大正〕6	5	3	芦屋町粟屋　安高太四郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	病気入院見舞い	葉書	1	
V	19	50	〔葉書〕	〔大正〕6	7	19	八幡氏前田　近藤梅太郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	退院祝い	葉書	1	日付は消印
V	19	51	〔葉書〕	〔大正〕6	7	19	八幡氏不老町　吉田梅太郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	退院祝い	葉書	1	
V	19	52	〔葉書〕			12	芦屋町粟屋　おの	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	御祖父上逝去のお悔やみ、廃馬買いに行くつもりが残念ながら行けず	葉書	1	
V	19	53	〔葉書〕	〔大正〕6	10	6	芦屋町粟屋　小野進	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	軍廃馬斡旋の依頼	葉書	1	
V	19	54	〔葉書〕	〔大正〕5	12	12	芦屋町粟屋　木原武雄	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	19	55	〔葉書〕	〔大正〕6	12	27	芦屋町粟屋　木原儀荘	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	上等兵昇進の祝い	葉書	1	
V	19	56	〔葉書〕	〔大正〕5	12	22	芦屋町粟屋　木原儀壮	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	軍務激励	葉書	1	
V	19	57	〔葉書〕	〔大正6〕	1	1	芦屋町粟屋　木原儀壮	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	19	58	〔葉書〕	〔大正〕6	2	13	芦屋町粟屋　木原儀壮	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	面会時の厚情に対する礼	葉書	1	
V	19	59	〔葉書〕	〔大正〕6	6	14	芦屋町粟屋　木原儀壮	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	病気入院見舞い	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	19	60	〔葉書〕	〔大正〕6	9	14	芦屋町粟屋　木原儀壮	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	演習時に面会できなかったことの侘び、軍廃馬の情報依頼	葉書	1	日付は消印
V	19	61	〔葉書〕	〔大正〕6	3	15	芦屋町粟屋　本田茂雄	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	青年会の酒宴の話	葉書	1	
V	19	62	〔タバコカード〕				京都　村井兄弟商会		西洋美人画×2、大島陸軍中将×1	紙	3	
V	20	1	〔葉書〕	〔大正〕15	7	31	若松市藤本町　大庭盈	遠賀軍芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
V	20	2	〔葉書〕	〔大正〕	4	29	竜王　弟より	北方輜重隊　安高伍長勤務上等兵	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	20	3	〔葉書〕	〔大正〕8	3	26	オトオト	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	戦死の吉田仁右衛門宅の住所報知、悔状送付の為	葉書	1	
V	20	4	〔葉書〕	大正8	1	1	芦屋町粟屋　安高幸次郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	20	5	〔葉書〕	〔大正7〕	〔1〕	〔7〕	粟屋　弟	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	永田要造の消息報知	葉書	1	
V	20	6	〔葉書〕	〔大正〕7	11	17	宇佐郡竜王村　中村藤次郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	在営中の礼、帰郷報告	葉書	1	
V	20	7	〔葉書〕	大正8	1	1	竜王の弟より	北方輜重兵大隊　安高上等兵	年賀状	葉書	1	
V	20	8	〔葉書〕	〔大正〕	8	10	底井野村　西長次郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	彼地への出兵問題は如何なりや	葉書	1	
V	20	9	〔葉書〕	大正8	1	1	八幡市平泉水道町　早川佐平	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	20	10	〔葉書〕	〔大正〕8	1	1	八幡市通町　永田要造	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	20	11	〔葉書〕	大正8	1	1	芦屋町粟屋　安高太四郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	20	12	〔葉書〕	大正8	1	1	底井野村　西長次郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	20	13	〔葉書〕	大正8	1	1	遠賀郡岡垣村　広渡団平	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	20	14	〔葉書〕	大正8	1	1	遠賀郡島門村　伊豆敏雄	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	20	15	〔葉書〕	〔大正〕8	4	2	八幡市不老町　吉田梅太郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	吉田仁右衛門への香典の礼	葉書	1	
V	20	16	〔葉書〕	大正7	1	1	芦屋町粟屋　安高幸次郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	20	17	〔葉書〕	〔大正〕7	8	4	宇佐郡龍王村　中村止	北方輜重兵大隊　中村藤二郎	写真の礼	葉書	1	
V	20	18	〔葉書〕	〔大正〕7	6	11	宇佐郡龍王村　中村藤吉郎	北方輜重兵大隊　中村藤次郎	養蚕順調	葉書	1	
V	20	19	〔葉書〕	〔大正〕7	8		宇佐郡竜王村　中村止	北方輜重兵大隊　中村藤二郎	赤痢が流行、六さんの内の辰巳さん死去の報	葉書	1	墨塗りの上に鉛筆書き、日付は消印
V	20	20	〔葉書〕	〔大正〕7		13	宇佐郡竜王村　中村止	北方輜重兵大隊　中村藤二郎	頼まれた品受け取られ度	葉書	1	墨塗りの上に鉛筆書き、日付は消印
V	20	21	〔葉書〕		7	1	宇佐郡竜王村　中村止	北方輜重兵大隊　中村藤次郎	農作業のことなど近況	葉書	1	
V	20	22	〔葉書〕	〔大正〕8	7	24	竜王　中村	北方輜重兵大隊　安高上等兵	春蚕、秋蚕のことなど	葉書	1	
V	20	23	〔葉書〕		8	13	宇佐郡龍王村　中村藤次郎	北方輜重兵大隊　安高上等兵	病気もよくなり蚕業に働き居り	葉書	1	
V	20	24	〔葉書〕		8	21	竜王　中村	北方輜重兵大隊　安高上等兵	お見舞いのお礼	葉書	1	
V	20	25	〔葉書〕	〔大正〕8	9	15	芦屋町粟屋　安高幸次郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	注文の軍服や靴できあがり通知	葉書	1	
V	20	26	〔葉書〕	〔大正〕7	11	6	宇佐郡龍王村　中村藤吉郎	北方輜重兵大隊　安高上等兵	愚息藤二郎流行性感冒罹患の折、尽力に対する礼	葉書	1	
V	20	27	〔葉書〕	〔大正〕8	10	23	竜王　中村弟	北方輜重兵大隊　安高上等兵御兄上	兄上の満期目前、退営後も交際を願う	葉書	1	
V	20	28	〔葉書〕	大正7	7	27	芦屋町粟屋　弟	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	負傷お見舞い	葉書	1	
V	20	29	〔葉書〕	大正7	7	7	芦屋町粟屋　安高幸次郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	家業農業の近況報告、精勤章拝受のお祝い	葉書	1	
V	20	30	〔葉書〕		9	24	龍王村竜王　中村弟	北方輜重兵大隊　安高上等兵	近況報告	葉書	1	挿絵入り
V	20	31	〔葉書〕		12	24	宇佐郡竜王村　中村	北方輜重兵大隊　安高上等兵	姫島大兄様の病気のその後と、所属中隊をたずねる	葉書	1	
V	20	32	〔葉書〕	〔大正〕7	11	26	芦屋町　安高大右衛門	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	病気余程快気、ご安心を	葉書	1	
V	20	33	〔葉書〕	〔大正〕7	12	22	芦屋町粟屋　安高太四郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	下士勤務昇進のお祝い	葉書	1	
V	20	34	〔葉書〕	〔大正〕8	3	18	岡垣村高倉　早川松太郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	倅万次郎、戸畑駅員に従事	葉書	1	
V	20	35	〔葉書〕		5	3	底井野村　西轍之助	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	妻待（帯か）の報告	葉書	1	
V	20	36	〔葉書〕		7	31	底井野村　西轍之助	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	軍務激励	葉書	1	
V	20	37	〔葉書〕	〔大正〕8	2	22	竜王　中村	北方輜重兵大隊　安高上等兵	近況報告、悪風病余程快復	葉書	1	
V	21	1	〔葉書〕	〔大正〕9	9	16	長崎市椛島町山口屋内　広渡卯壮	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	本検査に合格、加奈太（カナダ）に上陸したら報知する	葉書	1	
V	21	2	〔葉書〕	〔大正〕9	9	25	横浜港碇泊日本郵船伏見丸ニテ　広渡卯壮	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	四日市・清水港両港にて茶を積み、28日に横浜港を出帆し遠路の航海に向かう	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	21	3	〔葉書〕				長崎市椛島町山口旅館　広渡卯壮	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	13日の予備検査で「ユウ儀重血性」のため筒井眼科病院に入院、16日の本検査を待つ	葉書	1	
V	21	4	〔年賀状〕						未使用年賀状	葉書	1	印刷物
V	21	5	〔年賀状〕						未使用年賀状	葉書	1	印刷物
V	21	6	〔年賀状〕						未使用年賀状	葉書	1	印刷物
V	21	7	〔年賀状〕						未使用年賀状、書き損じか	葉書	1	印刷物
V	21	8	〔年賀状〕						未使用年賀状	葉書	1	印刷物
V	21	9	〔年賀状〕						未使用年賀状	葉書	1	印刷物
V	21	10	〔年賀状〕						未使用年賀状	葉書	1	印刷物
V	21	11	〔年賀状〕						未使用年賀状	葉書	1	印刷物
V	21	12	〔年賀状〕						未使用年賀状	葉書	1	印刷物
V	21	13	〔葉書〕		12	25	福岡市地行東町　渡辺四郎	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	出福の案内	葉書	1	
V	21	14	〔葉書〕	大正11	12	12	門司市栄町巡査派出所　横山栄樹	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	初任早々色々の事件に遭遇し閉口、場所柄警察事故の多さに驚く	葉書	1	
V	21	15	〔葉書〕	〔大正〕11	12	9	輜重12ノ1　本田昇	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	演習の際貴町役場で拾得の携帯□を送ってほしい	葉書	1	日付は消印
V	21	16	〔葉書〕		12	7	松丸番	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	12月10日の神社の祭典案内	葉書	1	日付は消印
V	21	17	〔葉書〕	〔大正〕9	7	7	八幡市西本町　石田トリ内よりゑ	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	所在通知	葉書	1	
V	21	18	〔葉書〕	大正9	6	21	岡垣村　広渡団平	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	照会の田植えの日時の返答	葉書	1	
V	21	19	〔葉書〕	〔大正〕11	12	6	若松市外二島　硝子商中西栄次郎	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	近況報告、硝子店経営	葉書	1	日付は消印
V	21	20	〔葉書〕	〔大正〕13	1	17	岡垣村　広渡団平	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	幸次郎様入営祝いの馳走の礼ほか	葉書	1	震災葉書
V	21	21	〔葉書〕		11	21	岡垣村　広渡たつの	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	高倉神社祭礼の案内	葉書	1	日付は消印
V	21	22	〔葉書〕	〔大正〕12	12	4	岡垣村　広渡団平	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	受領証送付の礼	葉書	1	
V	21	23	〔葉書〕		12	10	島門村　太田豊造	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	加勢の礼と当区祭礼の案内	葉書	1	
V	21	24	〔葉書〕				同町山鹿　重岡徳十	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	亡母葬送・会葬お礼との初七日案内	葉書	1	
V	21	25	〔葉書〕	〔大正〕12	8	14	広渡団平	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	売却値段通知を願う	葉書	1	
V	21	26	〔葉書〕	〔大正〕6	11	9	岡垣村　広渡団平	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	漬物用米糠は海老津に着荷の由	葉書	1	
V	21	27	〔葉書〕	〔大正〕11	9	22	岡垣村　広渡団平	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	漬物商売良好、天本氏へ買い付ける	葉書	1	
V	21	28	〔葉書〕		9	16	岡垣村　広渡素一郎	遠賀郡芦屋町　安高福蔵	放生会案内	絵葉書	1	「名古屋金城」
V	21	29	〔葉書〕	不詳			島門村　太田豊造	遠賀郡芦屋町　安高団平	世話になったお礼	葉書	1	
V	21	30	〔葉書〕	〔大正〕11	7	3	岡垣村　広渡団平	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	田植え加勢の礼	葉書	1	
V	21	31	〔葉書〕	〔大正〕11	6	11	島門村　永田要七	遠賀郡芦屋町　阿高団平（ママ）	早産に効く薬の問い合わせ、及びおばあさん滞在の礼	葉書	1	
V	21	32	〔葉書〕		5	2	島門村　太田豊造	遠賀郡芦屋町　安高団平	母上お見舞の礼	葉書	1	
V	21	33	〔葉書〕	大正15	7	26	肥後山鹿円仏古賀出張所（本田倭茂）	遠賀郡芦屋町　安高福蔵・団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
V	21	34	〔葉書〕	〔大正〕10	11	6	島門村　太田秀雄	遠賀郡芦屋町　安高福造（ママ）	御母さん帰宅の知らせ、羽織預かっている	葉書	1	
V	21	35	〔葉書〕	〔大正〕10	9	8	島門村　太田豊造	遠賀郡芦屋町　安高団平	母の病気見舞いの礼	葉書	1	
V	21	36	〔葉書〕	〔大正〕10	8	31	岡垣村　広渡団平	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	鬼津（島門村）の愚妹はまだ入院、漬物は高値で取引につき中間へも出荷	葉書	1	
V	21	37	〔葉書〕	〔大正10〕	8	9	島門村　太田豊造	遠賀郡芦屋町　安高団平	母の病状報告	葉書	1	日付は消印
V	21	38	〔葉書〕		12	30	岡垣村　広渡団平	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	米糠と黄□着荷次第通知する	葉書	1	
V	21	39	〔葉書〕	〔大正〕9	10	14	島門村　太田豊造	遠賀郡芦屋町　安高団平	当区祭礼の案内	葉書	1	
V	21	40	〔葉書〕	大正9	9	8	岡垣村　広渡団平	遠賀郡芦屋町　安高兵衛	長崎行きの前日に皆様でお出で下され度	葉書	1	
V	21	41	〔葉書〕	〔大正〕9	〔6〕	30	岡垣村　広渡するゑ	芦屋町　安高団兵衛・リキノ	同窓会案内	葉書	1	
V	21	42	〔葉書〕				岡垣村　広渡団平	芦屋町　安高福蔵	弟の結婚式案内	葉書	1	
V	21	43	〔葉書〕	〔大正〕6		6	鞍手郡西川村　神谷千太郎	芦屋町　阿高（ママ）団兵衛	輜重兵何番位までが入営するのか問合せ	葉書	1	
V	22	1	〔葉書〕	大正11	1	1	小倉輜重兵大隊　門田善実	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	22	2	〔葉書〕	大正11	1	1	折尾町　波多野倉吉	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	3	〔葉書〕	大正11	1	1	福岡市外住吉町鐘紡博多支店古屋荒次郎	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	22	4	〔葉書〕	〔大正〕11	10	4	山鹿　三村俊蔵	芦屋町　安高団兵衛	御祖母様病気お見舞	葉書	1	日付は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	22	5	〔葉書〕	〔大正11〕	1	1	小倉市錦町大八本履物店 秋枝正助	芦屋町 安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年賀スタンプ
V	22	6	〔葉書〕	〔大正11〕			別府町陸軍療養所 小野進	芦屋町 安高団兵衛	療養中	葉書	1	
V	22	7	〔葉書〕	〔大正〕11	9	3	山鹿 三村俊蔵	芦屋町 安高団兵エ	放生会の案内	葉書	1	日付は消印
V	22	8	〔葉書〕	〔大正〕11	9	28	宇佐郡和間村 松原敏夫	芦屋町 安高団兵衛	悪病流行見舞い	葉書	1	
V	22	9	〔葉書〕		10	6	芦屋町 林新聞舗本店	芦屋町 安高団兵衛	祖母様危篤の噂、病状伺い	葉書	1	
V	22	10	〔葉書〕	〔大正〕11	1	18	陸軍療養所騎兵之友(小野進)	芦屋町 安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	22	11	〔葉書〕	〔大正〕11	1	12	別府町陸軍療養所(小野進)	芦屋町 安高団兵衛	未だ淋しく療生中	葉書	1	
V	22	12	〔葉書〕		4	14	宇佐郡和間村 松原	芦屋町 安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	22	13	〔葉書〕	〔大正11〕	4	10	直方市果実・青物問屋 旭治久平	芦屋町 安高団兵衛	大根漬けの注文、牛車または馬車一台、貴地の相場にて構わず	葉書	1	
V	22	14	〔葉書〕	〔大正〕	4	8	中川村 桑野寛治	芦屋町 安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	22	15	〔葉書〕		4	8	水牧村 久保田藤十	芦屋町 安高福蔵	種蓮注文の件、来月15日まで堀置くつもり	葉書	1	
V	22	16	〔葉書〕	〔大正11〕	4	6	別府町陸軍療養所(小野進)	芦屋町 安高団兵衛	今だ全快せず温泉も飽き飽き	葉書	1	
V	22	17	〔葉書〕	〔大正〕11	4		宮崎県西臼杵郡鞍岡村 矢野藤五郎	芦屋町 安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	22	18	〔葉書〕		3	28	若松市藤ノ木 生魚商塩田利七	芦屋町 安高団兵衛	補充隊について	葉書	1	日付は消印
V	22	19	〔葉書〕	〔大正〕11	3	27	別府陸軍療養所外科室 騎兵進(小野進)	芦屋町 安高団兵衛	快方の印象はないが心急くまま退院致すべく思い居る	葉書	1	日付は消印
V	22	20	〔葉書〕			20	別府町陸軍療養所 騎兵隊小野進	芦屋町 安高団兵衛	療養中、三度の食事より手紙が楽しみ	葉書	1	日付は消印
V	22	21	〔葉書〕	〔大正〕11	3	15	福岡日日新聞社	芦屋町 安高団兵衛	福引券番号通知	葉書	1	印刷物
V	22	22	〔葉書〕	〔大正〕11	3	16	別府陸軍療養所 小野	芦屋町 安高団兵衛	別府は流石天下の奇観、景色が良い	葉書	1	日付は消印
V	22	23	〔葉書〕		3	14	宇佐郡竜王村 中村藤次郎	芦屋町 安高団兵衛	近況報告、病気で休んでいる	葉書	1	
V	22	24	〔葉書〕	〔大正11〕	3	14	小倉市米町 大八木履物店内あき枝(秋枝正助)	芦屋町 安高団兵衛	高等小学校卒業者の就職希望者斡旋依頼	葉書	1	
V	22	25	〔葉書〕				呉市宮原村 米田増太郎	芦屋町 安高団兵衛	四国中国生産品共進会の案内	葉書	1	
V	22	26	〔葉書〕	〔大正〕11	3	4	岡垣村 広渡卓次郎	芦屋町 安高団兵衛	御子息藤吉様誕生の内祝のお礼	葉書	1	
V	22	27	〔葉書〕	〔大正〕11	3	12	小倉市米町 大八木履物店内秋枝正助	芦屋町 安高団兵衛	突然の来訪を詫びるとともに土産の礼	葉書	1	
V	22	28	〔葉書〕	〔大正〕15	8	〔3〕	小倉市米町 大八木商店秋枝	芦屋町 安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	印刷物
V	22	29	〔葉書〕	〔大正〕11	9	23	福岡市住吉町 古屋荒次郎	芦屋町 安高団兵衛	虎列刺流行見舞い	葉書	1	
V	22	30	〔葉書〕	大正11	9	21	小倉連隊区司令部発送係 森中曹長	芦屋町 安高団兵衛	『我が友』の支払済は9月号まで、以後の注文を問う	葉書	1	
V	22	31	〔葉書〕	〔大正〕11	9	16	別府町陸軍療養所騎兵科 小の	芦屋町 安高団兵衛	転院の知らせ	葉書	1	
V	22	32	〔葉書〕		9	15	福岡県巡査教習所 横山栄樹	芦屋町 安高団兵衛	近況報告、巡査教習所に入所	葉書	1	
V	22	33	〔葉書〕	〔大正〕11	9	9	八幡市通り町 出利葉国造	芦屋町 安高団兵衛	し尿汲み取り願い	葉書	1	
V	22	34	〔葉書〕	〔大正〕11	9	8	門司市仲町相原様方 中西栄次郎	芦屋町 安高団兵衛	ある目的の為月末までここに滞在	葉書	1	日付は消印
V	22	35	〔葉書〕	〔大正〕11	9	4	小倉市米町 大八木商店 秋枝正助	芦屋町 安高団兵衛	訪問の礼、粗品の小包を送る	葉書	1	
V	22	36	〔葉書〕	〔大正〕11			西臼杵郡鞍岡村 矢野藤五郎	芦屋町 安高団兵衛	時候挨拶、農作業の様子	葉書	1	日付は消印
V	22	37	〔葉書〕		8	17	小倉市米町大八木商店 秋枝正助	芦屋町 安高団兵衛	実家帰省の通知	葉書	1	
V	22	38	〔葉書〕	〔大正〕11	8	27	小倉市米町大八木商店 秋枝正助	芦屋町 安高団兵衛	歓待の礼と写真の送付依頼	葉書	1	
V	22	39	〔葉書〕	〔大正〕11	8	11	輜重12ノ1 宮永三郎	芦屋町 安高団兵衛	行軍無事終了の報告	葉書	1	
V	22	40	〔葉書〕	〔大正〕11	8	9	宮崎県西臼杵郡鞍岡村 矢野藤五郎	芦屋町 安高団兵衛	返状、時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	22	41	〔葉書〕	〔大正〕11	8	12	東松浦郡入野村 成守源太郎	芦屋町 安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
V	22	42	〔葉書〕	〔大正〕11	8	12	東京市神田区松永町 藤瀬吉次	芦屋町 安高団兵衛	暑中見舞い、正月より東京で働いている	葉書	1	日付は消印
V	22	43	〔葉書〕	〔大正〕11	8	21	宇佐郡和間村 松原	芦屋町 安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
V	22	44	〔葉書〕	〔大正〕11	8	15	山鹿 三村俊蔵	芦屋町 安高団兵衛	歓待のお礼	葉書	1	日付は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	22	45	〔葉書〕	大正11	8	6	糟屋郡山田村　河辺金吾	芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
V	22	46	〔葉書〕	〔大正〕11	8	7	北方輜重12ノ1　八木軍曹	芦屋町　安高団兵衛	宿営中世話になった礼		1	
V	22	47	〔葉書〕	〔大正〕11	8	5	山鹿　三村	芦屋町　安高団兵衛	早稲田大学文化大講演会開催のしらせ	葉書	1	
V	22	48	〔葉書〕	〔大正〕11	8	2	東京市深川　本田	芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
V	22	49	〔葉書〕	〔大正〕11	8	4	神湊　尾家信介	芦屋町　安高団兵衛	訪問の礼と無事帰着のしらせ	葉書	1	
V	22	50	〔葉書〕	〔大正〕11	8	5	神湊　門田中尉・千田中尉	芦屋町　安高団兵衛	訪問の礼	葉書	1	日付は消印
V	22	51-1	〔書簡〕	〔大正〕11	7	19	京城府龍山漢江　堀祐世	芦屋町　安高団兵衛		封筒	1	
V	22	51-2	〔書簡〕	〔大正〕11	7	19	堀祐世	芦屋町　安高団兵衛	当地で偶然第二中隊の森田に出会った、森田の情報を乞う	書簡	4枚	
V	22	52	〔葉書〕		8	1	宇佐郡竜王村　中村藤次郎	芦屋町　安高団兵衛	弟への香典の礼	葉書	1	
V	22	53	〔葉書〕	〔大正〕11	8	1	北方　尾家信介	芦屋町　安高団兵衛	芦屋、宗像行軍の日程通知	葉書	1	
V	22	54	〔葉書〕	〔大正〕11	7	31	直方　果実・青物問屋旭治久平	芦屋町　安高団兵衛	本日仕切り分に南瓜48斤仕切りもれ	葉書	1	
V	22	55	〔葉書〕	〔大正〕11	7	26	小倉騎兵第12□隊　小の	芦屋町　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	22	56	〔葉書〕	〔大正〕11	7	25	大阪市北区西野田　佐野与繁	芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
V	22	57	〔葉書〕	〔大正〕11	7	28	北方歩兵 機実銃隊　黒木真鶴	芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
V	22	58	〔葉書〕	〔大正〕11		24	宇佐郡竜王村　中村藤次郎	芦屋町　安高団兵衛	弟の死去のしらせ	葉書	1	
V	22	59	〔葉書〕	〔大正〕11	7	20	入野　成守源太郎	芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日付は消印
V	22	60	〔葉書〕	〔大正〕11	7	18	宮崎県西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	墨塗りの上に朱書き、日付は消印
V	22	61	〔葉書〕	〔大正〕11	7	21	底井野村　瓜生	芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
V	22	62	〔葉書〕	〔大正〕11	7	20	島門村　小野周太郎	芦屋町　安高団兵衛	懇篤な指導への礼	葉書	1	
V	22	63	〔葉書〕	〔大正〕11	7	21	直方　果実・青物問屋旭治久平	芦屋町　安高団兵衛	大根漬の注文	葉書	1	
V	22	64	〔葉書〕	〔大正〕11	7	18	北方輜12ノ1　尾家信介	芦屋町　安高団兵衛	軍備縮小問題	葉書	1	
V	22	65	〔葉書〕	〔大正〕11	7	15	騎兵12ノ2　小野	芦屋町　安高団兵衛	久留米・唐津へ水馬行□	葉書	1	
V	22	66	〔葉書〕	〔大正〕11	7	13	山鹿百姓町　三村俊蔵	芦屋町　安高団兵衛	祇園の山笠見物への招待	葉書	1	日付は消印
V	22	67	〔葉書〕	〔大正〕11	7	3	島郷村　田中豊	芦屋町　安高団兵衛	近況報告、農業について	絵葉書	1	「□野連生栽培所」
V	22	68	〔葉書〕	〔大正〕11	6	26	歩兵連隊機実銃隊　永井一郎	芦屋町　安高団兵衛	第二期検閲で当地へ出張した際の礼	葉書	1	
V	22	69	〔葉書〕	〔大正〕11	6	28	北方歩兵連隊機実銃隊　黒木真鶴	芦屋町　安高団兵衛	第二期検閲で当地へ出張した際の礼	葉書	1	日付は消印
V	22	70	〔葉書〕	〔大正〕11	6	22	騎12ノ2中　S. O.	芦屋町　安高団兵衛	行軍などの報告	葉書	1	日付は消印
V	22	71	〔葉書〕	〔大正〕11	10	6	中村藤次郎	芦屋町　安高団兵衛	病気も全快	葉書	1	
V	22	72	〔葉書〕	〔大正〕11	6	24	小倉市外北方歩兵　鰐渕	芦屋町　安高団兵衛	演習で出張した際のお礼	葉書	1	日付は消印
V	22	73	〔葉書〕	大正11	6	10	宮崎県東臼杵郡延岡　戸田素市	芦屋町　安高団兵衛	近況報告、時々工藤さんにも会う	葉書	1	
V	22	74	〔葉書〕	〔大正〕11			宇佐郡竜王村　中村藤二郎父	芦屋町　安高団兵衛	二男の看病の為、長男藤二郎は渡鮮し留守	葉書	1	
V	22	75	〔葉書〕	〔大正〕11	6	6	騎12ノ2中（小野進）	芦屋町　安高団兵衛	兵営の近況報告	葉書	1	日付は消印
V	22	76	〔葉書〕	〔大正〕11	6	2	入野　なるもり	芦屋町　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	22	77	〔葉書〕	〔大正〕11	5	26	宮崎県西臼杵郡七折村　戸田飛佐市	芦屋町　安高団兵衛	転居と商売をはじめたしらせ	葉書	1	
V	22	78	〔葉書〕	〔大正〕11	6	1	輜重兵大隊　宮永軍曹	芦屋町　安高団兵衛	5月号『我が友』紙上で表彰されたことへの賛辞	葉書	1	日付は消印
V	22	79	〔葉書〕				騎12ノ2　小野	芦屋町　安高団兵衛	返状、水不足の見舞い	葉書	1	
V	22	80	〔葉書〕	〔大正〕11	5	17	騎12ノ2中　小野	芦屋町　安高団兵衛	実砲射撃で好成績	葉書	1	日付は消印
V	22	81	〔葉書〕	〔大正〕11		27	芦屋町　林新聞舗本店	芦屋町　安高団兵衛	愚息節句祝の礼と、旧節句祝への招待	葉書	1	日付は消印
V	22	82	〔葉書〕	〔大正〕11	5	12	東京深川　K. Honda	芦屋町　安高団兵衛	返状、少し不快のため伺えず	葉書	1	
V	22	83	〔葉書〕		5	12	北方輜12ノ1　尾家信介	芦屋町　安高団兵衛	本年の予備役召集は如何なりや	葉書	1	
V	22	84	〔葉書〕	〔大正〕11	5		西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	芦屋町　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	22	85	〔葉書〕	〔大正〕11	5	10	騎兵12連隊　小野進	芦屋町　安高団兵衛	全快して退院の運び	葉書	1	日付は消印
V	22	86	〔葉書〕	〔大正〕11	5	8	五病棟　小野	芦屋町　安高団兵衛	来週火曜日あたりには退院のつもり	葉書	1	日付は消印
V	22	87	〔葉書〕	〔大正〕11	5	2	北方衛戍病院　小野	芦屋町　安高団兵衛	本日は小倉招魂祭、ほか軍隊の近況	葉書	1	日付は消印
V	22	88	〔葉書〕	〔大正〕11	4	23	北方病院五病棟　小野進	芦屋町　安高団兵衛	病院に到着のしらせ	葉書	1	
V	22	89	〔葉書〕	〔大正〕11	4	27	輜12ノ1　木本曹長	芦屋町　安高団兵衛	小倉練兵場での招魂祭の案内	葉書	1	
V	22	90	〔葉書〕	〔大正〕11		27	もじ　しぶた	芦屋町　安高団兵衛	返状、時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	22	91	〔葉書〕	〔大正〕11	4	21	入野　成守源太郎	芦屋町　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	日付は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	22	92	〔葉書〕	〔大正〕11	4	22	別府分院　退院患者小野	芦屋町　安高団兵衛	患部未快のまま退院のしらせ	葉書	1	
V	22	93	〔葉書〕	〔大正〕11	11	28	宇佐郡和間村　松原	芦屋町　安高団兵衛	近況報告、米作のことなど	葉書	1	
V	22	94	〔葉書〕	〔大正〕11	11	24	小倉市外北方　小野進	芦屋町　安高団兵衛	退営のしらせ	葉書	1	
V	22	95	〔葉書〕	〔大正〕11	11	10	宇佐郡竜王村　中村	芦屋町　安高団兵衛	結婚の日延べ	葉書	1	
V	22	96	〔葉書〕	〔大正〕11	10	27	築上郡合河村　尾家信介	芦屋町　安高団兵衛	東京近衛大隊に転任の知らせ	葉書	1	
V	22	97	〔葉書〕	〔大正〕11	11		東松浦郡入野村　成守源太郎	芦屋町　安高団兵衛	近況報告	葉書	1	日付は消印
V	22	98	〔葉書〕	〔大正〕11	10	18	西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	芦屋町　安高団兵衛	男児出生の知らせ	葉書	1	
V	22	99	〔葉書〕	〔大正〕11	10	19	東京府下千駄ヶ谷町原宿　桑野寛治	芦屋町　安高団兵衛	所在通知、同所で働き居り	葉書	1	
V	22	100	〔葉書〕			16	宇佐郡和間村　松原敏夫	芦屋町　安高団兵衛	近況報告、年明けに出産予定	葉書	1	
V	22	101	〔葉書〕	〔大正〕11	10	14	芦屋町　林新聞舗本店	芦屋町　安高団兵衛	宮日祭の案内	葉書	1	
V	22	102	〔葉書〕	大正11	10	11	福岡日日新聞合資会社販売部	芦屋町　安高団兵衛	引き続き取次店より購読の件	葉書	1	
V	22	103	〔葉書〕	大正6	1	1	芦屋幸町　冨永商店	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	104	〔葉書〕	〔大正〕6	4	3	芦屋町　冨永まさし	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	22	105	〔葉書〕		12	20	入野竜王　弟	芦屋町　安高団兵衛	病気全快の知らせ	葉書	1	
V	22	106	〔葉書〕		2	27	北方の病院　小野	芦屋町　安高団兵衛	返状、病状大分よろしい	葉書	1	
V	22	107	〔葉書〕	〔大正〕11	2	21	入野　成守源太郎	芦屋町　安高団兵衛	退院祝の礼	葉書	1	日付は消印
V	22	108	〔葉書〕	〔大正〕11	2	17	輜12　千田少尉	芦屋町　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	22	109	〔葉書〕	〔大正〕11	2	16	門司市元清瀧町　武三郎（渋田）	芦屋町　安高団兵衛	返状、転居案内	葉書	1	日付は消印
V	22	110	〔葉書〕	〔大正〕11	2	12	北方衛戍病院　小野	芦屋町　安高団兵衛	芦屋政治改正相成り喜ばし、今後も郷里の異動報知くだされ度	葉書	1	日付は消印
V	22	111	〔葉書〕	〔大正〕11	2	12	西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	芦屋町　安高団兵衛	返状、時候挨拶	葉書	1	
V	22	112	〔葉書〕	〔大正〕11	2		北方衛戍病院　騎兵隊　進	芦屋町　安高団兵衛	病状報告	葉書	1	日付は消印
V	22	113	〔葉書〕	〔大正〕11	2	1	西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	芦屋町　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	22	114	〔葉書〕	〔大正〕11	1	29	山口県豊浦郡安岡村　田中豊	芦屋町　安高団兵衛	在営中の礼、帰郷の予定	葉書	1	
V	22	115	〔葉書〕	〔大正〕11	1	30	小倉衛戍病院　騎兵隊3小野進	芦屋町　安高団兵衛	落馬して左足脚部骨折の知らせ	葉書	1	日付は消印
V	22	116	〔葉書〕		1	23	芦屋町山鹿　三村俊蔵	芦屋町　安高団兵衛	安高家藤吉君の初正月祝の品の件	葉書	1	
V	22	117	〔葉書〕	〔大正〕11	1	22	鞍岡村　矢野藤五郎	芦屋町　安高団兵衛	寒中見舞い	葉書	1	日付は消印
V	22	118	〔葉書〕	〔大正〕11	1	22	騎兵12二等卒　進	芦屋町　安高団兵衛	訓練の様子	葉書	1	日付は消印
V	22	119	〔葉書〕			21	伊万里町　成守源太郎	芦屋町　安高団兵衛	退院の通知	葉書	1	日付は消印
V	22	120	〔葉書〕	〔大正〕11	1	14	長門国　藤井増市	芦屋町　安高団兵衛	年末より病床にあり年賀欠礼の侘び	葉書	1	日付は消印
V	22	121	〔葉書〕				宇佐郡和間村　松原	芦屋町　安高団兵衛	寒中見舞い	葉書	1	
V	22	122	〔葉書〕	〔大正〕11	1	14	下島郷村字二島 大野宇右衛門様方　中西栄次郎	芦屋町　安高団兵衛	移転通知	葉書	1	
V	22	123	〔葉書〕	〔大正〕11	1	10	堺市　末包喜太郎	芦屋町　安高団兵衛	返状、年賀状	葉書	1	
V	22	124	〔葉書〕	大正11	1	10	別府浜脇　友永卓爾	芦屋町　安高団兵衛	新年のあいさつ状	葉書	1	印刷物
V	22	125	〔葉書〕	〔大正〕11	1	5	輜重12ノ1　宮永三郎	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	日付は消印
V	22	126	〔葉書〕	大正11	1	1	嘉穂郡碓井村　武田与八郎	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	127	〔葉書〕	大正11	1	1	九州水力電気株式会社別府営業所　友永繁男	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	128	〔葉書〕	〔大正〕11	1	1	輜重兵軍曹　本田昇	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	129	〔葉書〕	〔大正〕11	1	1	小倉米町履物商大八木商店　秋枝正助	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	22	130	〔葉書〕	〔大正〕11	1	1	千田少尉	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	131	〔葉書〕	〔大正〕11	1	1	大阪市北区西野田亀甲南町　佐野与繁	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	22	132	〔葉書〕	大正11	1	1	輜12ノ1　江良定治	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	133	〔葉書〕	大正11	1	1	速見郡東山香村　大田弟	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	134	〔葉書〕	不詳		3	あしや町山賀　三村俊蔵	芦屋町　安高団兵衛	新年演会の弁に賛同	葉書	1	
V	22	135	〔葉書〕		1	1	百三十銀行小倉支店　白木原嘉市	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	22	136	〔葉書〕	大正11	1	1	直方市外町　樋口伝三郎	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	137	〔葉書〕	大正11	1	1	福岡市外蓑島　藤瀬吉次	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	138	〔葉書〕	大正11	1	1	日向3　橋口利夫	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	22	139	〔葉書〕	大正11	1	1	神武社　黒山高麿	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	140	〔葉書〕	〔大正〕11	1	1	芦屋町　三原清	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	22	141	〔葉書〕	〔大正〕11	1	1	加藤慶太	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	142	〔葉書〕	大正11	1	1	福岡市地行東町　渡辺二郎	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	143	〔葉書〕	〔大正〕11	1	1	遠賀郡底井野　瓜生延一	芦屋町　安高団兵衛	年賀欠礼状	葉書	1	
V	22	144	〔葉書〕	〔大正〕11	1	1	竜王村　中村藤二郎	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	145	〔葉書〕	大正11	1	1	深川区富岡門前町　本田重蔵	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	146	〔葉書〕	大正11	1	1	大野郡田野村　姫島勇	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	147	〔葉書〕	大正11	1	1	内牧町　小島頼男	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	148	〔葉書〕	大正11	1	1	宇佐具和間村　松原敏夫	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	149	〔葉書〕	〔大正〕11	1	1	神湊町　永島伝三郎	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	日付は消印
V	22	150	〔葉書〕		1	1	京城龍山漢口通り　堀祐世	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	151	〔葉書〕	〔大正〕11	1	1	陸軍輜重兵曹長　木本久三郎	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	22	152	〔葉書〕	〔大正〕11	1	1	門司市元清滝町　渋田武三郎	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	153	〔葉書〕	大正11	1	1	中島実	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	154	〔葉書〕	〔大正〕11	1	1	早良郡姪浜東町　矢野惣右衛門	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	22	155	〔葉書〕		1	1	中間町　唐芋・果実・青物卸商　岩崎幸一	芦屋町　安高団平	年賀状	葉書	1	印刷物
V	22	156	〔葉書〕	大正11	1	1	輜重兵大隊　軍曹尾家信介	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	22	157	〔葉書〕	大正11	1	1	東松浦郡厳木村　山田楳一	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	158	〔葉書〕	大正11	1	1	下之関市田中新町　勝尾清	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	159	〔葉書〕	大正11	1	1	中西栄次郎	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	160	〔葉書〕	〔大正〕11	1	1	宗像郡池野村　横山栄樹	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	161	〔葉書〕	大正11	1	1	下毛郡大江村　身上政秀	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	162	〔葉書〕	〔大正〕11	1	1	輜12ノ1　松井□次郎	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	163	〔葉書〕	〔大正〕11	1	1	嘉穂郡宮野村　熊本八平	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	164	〔葉書〕	大正11	1	1	高橋格	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	165	〔葉書〕	大正11	1	1	満州開原坂井洋行　松下俊一	芦屋町　安高団兵衛	年賀状、大連市福昌公司から坂井洋行への転職通知	葉書	1	
V	22	166	〔葉書〕	〔大正〕11	1	1	田川郡彦山村　手島米蔵	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	167	〔葉書〕	大正11	1	1	糟屋郡山田村　河辺金吾	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	168	〔葉書〕	大正11	1	1	鞍手郡植木町　大庭長次郎	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	169	〔葉書〕	大正11	1	1	三村俊蔵	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	170	〔葉書〕	〔大正〕11	1	1	日田郡中川村　桑野寛治	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	22	171	〔葉書〕	〔大正〕11	1	1	大分市塩九井町　成重光義	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	172	〔葉書〕		1	1	伊万里町　成守源太郎	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	173	〔葉書〕	大正11	1	1	糟屋郡古賀　長崎秀雄	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	22	174	〔葉書〕	大正11	1	1	西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	175	〔葉書〕	〔大正〕11	1	1	米田増太郎	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	22	176	〔葉書〕	〔大正〕11	1	1	芦屋町　代筆業位地睦太郎	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	22	177	〔葉書〕	〔大正〕11	1	1	芦屋町　桑原伝次郎	芦屋町　安高団平	年賀状	葉書	1	印刷物
V	22	178	〔葉書〕	大正11	1	1	芦屋町〔各新聞〕大取次商　林貞蔵	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	22	179	〔葉書〕	〔大正〕6	4	22	遠賀郡山鹿　中西栄次郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	門司発の蒸気船で大阪着、そこから汽車、大和国生駒郡安堵村東安堵で神社の普請を手伝う	絵葉書	1	「（水屋敷）天神社鳥居」
V	22	180	〔葉書〕		2	4	山鹿　中西	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	寒中見舞い	葉書	1	
V	22	181	〔葉書〕	大正6	1	1	中西栄次郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	22	182	〔葉書〕	大正5	12	5	遠賀郡山鹿村　中西栄次郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	入営の祝	葉書	1	
V	22	183	〔葉書〕	大正5	8	19	芦屋町山鹿村　中西栄次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	もてなしの礼	葉書	1	
V	22	184	〔葉書〕	〔大正〕5	8	10	山鹿村　中西栄次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	三村君林君と談合の上お招きに甘える	葉書	1	
V	22	185	〔葉書〕	〔大正〕5	5	15	□海中若松より　なかにし栄次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	徴兵検査合格の祝い	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	22	186	〔葉書〕	〔大正〕5	4	27	鞍手郡勝野村後徳炭坑　中西栄次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況報告、会山分配所を退き船業に従事、不足の野菜代金いよいよ支払う考え	葉書	1	
V	22	187	〔葉書〕	〔大正〕5	1	30	宗像郡吉武村　中西栄次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	野菜代金不足につき詫び	葉書	1	
V	22	188	〔葉書〕	〔大正〕11	4	14	島郷村　田中豊	芦屋町粟屋　安高団兵衛	返状、農作業のことなど	葉書	1	
V	22	189	〔葉書〕	〔大正〕11	4	8	阿蘇郡内牧町　小島頼雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	23	1	〔葉書〕	〔大正〕12	1	1	小倉輜重兵大隊　千田中尉	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	2	〔葉書〕	〔大正〕12	1	21	弟　友永直	芦屋町粟屋　安高団兵衛	兄の死去の通知と年賀欠礼	葉書	1	日付は消印
V	23	3	〔葉書〕	〔大正〕12	1	8	宮永	芦屋町粟屋　安高団兵衛	来訪の礼ほか	葉書	1	日付は消印
V	23	4	〔葉書〕	大正12	1	7	騎兵学校　□田中尉	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	5	〔葉書〕	大正12	1	1	市徴兵大隊　八木又男	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	6	〔葉書〕	〔大正〕12	1	1	東京近衛輜重兵大隊本部　尾家信介	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	23	7	〔葉書〕	〔大正〕12	1	29	芦屋町山鹿　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	2月1日の夕食への招待	葉書	1	日付は消印
V	23	8	〔葉書〕	〔大正〕12	2	10	宇佐郡和間村　松原敏夫	芦屋町粟屋　安高団兵衛	男子出生の報	葉書	1	
V	23	9	〔葉書〕	〔大正〕12	2	13	宇佐郡竜王村　弟	芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況報告、病気全快	葉書	1	
V	23	10	〔葉書〕	〔大正〕12	2	20	宮崎県西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	23	11	〔葉書〕	〔大正〕12	2	25	福歩第二十四聯隊　伊豆清	芦屋町粟屋　安高団兵衛	文信のお願い	葉書	1	
V	23	12	〔葉書〕	〔大正〕12	3	6	福歩第二十四聯隊　伊豆清	芦屋町粟屋　安高団兵衛	奉天大会戦記念日（陸軍記念日）の案内	葉書	1	
V	23	13	〔葉書〕	〔大正〕12	3	1	近衛輜重兵大隊本部　尾家信介	芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況報告、当地の状況にも慣れ	葉書	1	
V	23	14	〔葉書〕		2	7	田家　重岡本芳	芦屋町粟屋　安高団兵衛	出産祝	葉書	1	消印なし
V	23	15	〔葉書〕	〔大正〕12	3	10	入野村　成守源太郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	23	16	〔葉書〕	〔大正〕12	3	11	阿蘇郡内牧町　小島頼夫	芦屋町粟屋　安高団兵衛	時候挨拶、阿蘇山の様子、来光を願う	葉書	1	
V	23	17	〔葉書〕	大正12	3	13	宇佐郡和間村　松原	芦屋町粟屋　安高団兵衛	男子誕生のお祝	葉書	1	
V	23	18	〔葉書〕	〔大正〕12	3	10	遠賀郡芦屋町　矢野泰三薬房	芦屋町粟屋　安高団兵衛	産前産後特効薬の宣伝	葉書	1	日付は消印、印刷物、私製はがき
V	23	19	〔葉書〕		3	15	宇佐郡龍王村　中村	芦屋町粟屋　安高団兵衛	男子誕生のお祝	葉書	1	
V	23	20	〔葉書〕	〔大正〕12	3	25	東京市外渋谷街　桑野寛治	芦屋町粟屋　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	23	21	〔葉書〕	〔大正〕12	3	30	福岡歩兵第二十四聯隊　伊豆清	芦屋町粟屋　安高団兵衛	博多千代町にて東京東西合併大相撲あり	葉書	1	
V	23	22	〔葉書〕	〔大正〕12	4	3	東京市浅草区向柳原町　藤瀬吉次	芦屋町粟屋　安高団兵衛	都会に憧れて上京したが、都会は人の墓場にて寿命縮まる感じ	葉書	1	日付は消印
V	23	23	〔葉書〕	〔大正〕12	4	2	西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	返状、時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	23	24	〔葉書〕	〔大正〕12	4	22	宇佐郡龍王村　中村藤次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	結婚の報告	葉書	1	
V	23	25	〔葉書〕	大正12	4		警察部保安課　前原泰次郎	芦屋町粟屋　小野玄一郎、安高団兵衛	転勤あいさつ、4月18日来着とあり	葉書	1	印刷物
V	23	26-1	〔書簡〕	不詳			〔高橋格〕	芦屋町粟屋　安高団兵衛	開封をしたものが閉じたのか？（開封済み）差出人は内容物より推定	封筒	1	
V	23	26-2	〔書簡〕	大正12	4	29	福岡市外箱崎町　高橋格	〔安高団兵衛〕	転居あいさつ	書簡	1	印刷物
V	23	27	〔葉書〕	〔大正〕12	4	28	福岡県歩第二四聯隊　伊豆清	芦屋町粟屋　安高団兵衛	福岡聯隊衛戍地での招魂祭案内	葉書	1	
V	23	28	〔葉書〕	〔大正〕12	5	19	速見郡東山香村　大田俊一	芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況報告	葉書	1	日付は消印
V	23	29	〔葉書〕	〔大正〕12	4	2	東松浦郡入野村　成守源太郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	男児出生のお祝	葉書	1	日付は消印
V	23	30	〔葉書〕	〔大正〕12	5	28	宮崎県鞍岡村　矢野藤五郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	返状、時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	23	31	〔葉書〕	〔大正〕12	6	4	田家　重岡本芳	芦屋町粟屋　安高団兵衛	茶摘の儀、多忙の為行けず	葉書	1	
V	23	32	〔葉書〕	〔大正〕12	6		山鹿　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	男児出生の祝	葉書	1	日付は消印
V	23	33	〔葉書〕	〔大正〕12	6		あしや町山鹿　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	もてなしの礼状	葉書	1	日付は消印
V	23	34	〔葉書〕	〔大正〕12	6	13	岡垣村　広渡団平	芦屋町粟屋　安高団兵衛	茶葉贈与の件、多忙の為行けず	葉書	1	
V	23	35	〔葉書〕		6	19	福歩24　伊豆清	芦屋町粟屋　安高団兵衛	軍医診断によれば黄疸の由	葉書	1	
V	23	36	〔葉書〕	〔大正〕12	6	32（ママ）	宇佐郡　中村	芦屋町粟屋　安高団兵衛	消印6月23日、大雨見舞	葉書	1	
V	23	37	〔葉書〕	〔大正〕12	6	29	はかた　しぶた	芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況報告	葉書	1	日付は消印
V	23	38	〔名刺〕				渋田武三郎	安高大兄	病気療養のための転居先を裏に記す	名刺	1	
V	23	39	〔葉書〕	〔大正〕12	7	8	門司市幸町　渋田武三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	病気全快のしらせ	葉書	1	日付は消印
V	23	40	〔葉書〕	〔大正〕12	7	13	宮永	芦屋町粟屋　安高団兵衛	予備役の令状の到来を問う	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	23	41	〔葉書〕	〔大正〕12	1	1	輜十二　日野七五三一	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	42	〔葉書〕	〔大正〕12	7	5	久留米高良台野営地福岡24　清	芦屋町粟屋　安高団兵衛	日々の戦闘教練に励む	絵葉書	1	「書中お伺ひ」
V	23	43	〔葉書〕	〔大正〕	7	15	東松浦郡入野村　成守源太郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	23	44	〔葉書〕		7	22	宇佐郡和間村　松原敏夫	芦屋町粟屋　安高団兵衛	宇佐神輿への誘い	葉書	1	
V	23	45	〔葉書〕	〔大正12〕	〔8〕	□	岡垣村糠塚　□□□□	芦屋町粟屋　大庭団平	ザードウィッケン協同購入の件	葉書	1	
V	23	46	〔葉書〕	〔大正〕12	8	5	木本久三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	印刷物、日付は消印
V	23	47	〔葉書〕		8	2	東松浦郡入野村　成守源太郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
V	23	48	〔葉書〕	大正12	8	1	福歩24ノ5　伊豆清	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
V	23	49	〔葉書〕	大正12	7		福岡市蓑島本町　古屋荒次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	印刷物
V	23	50	〔葉書〕	〔大正〕12	7	28	福岡市外箱崎綱屋間町海岸通　高橋格	芦屋町粟屋　安高団兵衛	返状、近況報告	葉書	1	
V	23	51	〔葉書〕	〔大正12〕	7	29	西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
V	23	52	〔葉書〕	〔大正〕12	7	盛夏	堺市少林寺町　毛製品原料商末包喜太郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	印刷物
V	23	53	〔葉書〕	〔大正〕12	7	30	竜王村　弟より	芦屋町粟屋　安高団兵衛	時候挨拶、農作業のことなど	葉書	1	
V	23	54	〔葉書〕	大正12	8	5	小倉市米町　大八木履物店　秋枝正助	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	印刷物
V	23	55	〔葉書〕	〔大正〕12	9	28	西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況報告	葉書	1	墨塗りの上に鉛筆書き、日付は消印
V	23	56	〔葉書〕	〔大正〕12	8	5	大阪市北区西野田　佐野与繁	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
V	23	57	〔葉書〕	〔大正〕12		20	山鹿　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	もてなしの礼状	葉書	1	日付は消印
V	23	58	〔葉書〕	〔大正〕12			町役場　山部一成	町内粟屋　安高団兵衛	九州日報掲載の農業模範青年のこと	葉書	1	日付は消印
V	23	59	〔葉書〕	〔大正〕12	8	23	入野村　成守源太郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	無事点呼を受けたしらせ	葉書	1	日付は消印
V	23	60	〔葉書〕	〔大正12〕	9	13	弟より	芦屋町粟屋　安高団兵衛大兄	近況報告、養蚕の様子など	葉書	1	
V	23	61	〔葉書〕			21	山鹿　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	放生会の誘い	葉書	1	
V	23	62	〔葉書〕	〔大正〕12	9	21	東松浦郡入野村　成守源太郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	伝染病の流行もやっとおさまった	葉書	1	
V	23	63	〔葉書〕	〔大正〕12	9	27	小倉市米町　大八木　秋枝正助	芦屋町粟屋　安高団兵衛	三村氏宅の会合の楽しい思い出	葉書	1	
V	23	64	〔葉書〕	〔大正〕12	10	14	芦屋町　林貞蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	宮日祭の案内	葉書	1	
V	23	65	〔葉書〕	〔大正〕12	10	14	福歩25ノ5　清	芦屋町粟屋　安高団兵衛	10月1日付で歩兵軍曹となったしらせ	葉書	1	日付は消印
V	23	66	〔葉書〕	〔大正〕12	10		早良郡田隈村野芥　渋田武三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	転居のしらせ、8月15日に妻が死去	葉書	1	日付は消印
V	23	67	〔葉書〕	〔大正〕12	10	30	福岡市住吉花園町　高橋格	芦屋町粟屋　安高団兵衛	転居のしらせ	葉書	1	
V	23	68	〔葉書〕	〔大正〕12	11	1	市外平塚村　桑野寛治	芦屋町粟屋　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	23	69	〔葉書〕	不詳			北方輜重兵大隊　安高団兵衛上等兵	芦屋町芦屋　本田清吉	未投稿か	葉書	1	裏面墨塗り、下は年賀状
V	23	70	〔葉書〕	不詳			北方輜重兵大隊　安高団兵衛上等兵	芦屋町芦屋　黒山高麿	未投函か	葉書	1	裏面墨塗り、下は年賀状
V	23	71	〔葉書〕	〔大正〕12	1	1	東京市浅草区　藤瀬吉次	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	72	〔葉書〕	大正12	1	5	輜重兵大隊　本田昇	芦屋町粟屋　安高団兵衛	正月に持参してもらったことの礼と、不在の侘び	葉書	1	
V	23	73	〔葉書〕	大正12	1	1	武蔵町糸原　中島実	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	74	〔葉書〕	大正12	1	1	朝鮮咸北雄基税関支署　広池厚男	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	23	75	〔葉書〕	大正12	1	1	遠賀郡芦屋町〔各新聞〕大取次ぎ商　林貞蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	23	76	〔葉書〕		1	1	輜重兵大隊　曹長宮永三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	23	77	〔葉書〕	大正12	1	1	遠賀郡芦屋町　高橋格	不詳	年賀状	葉書	1	表面なし、剥離か 印刷物
V	23	78	〔葉書〕	〔大正〕12	1	1	市外吉塚町火ノ見通り　木本久三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	79	〔葉書〕		1	1	遠賀具芦屋町　大日本武徳会大阪支部　黒山高麿	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	23	80	〔葉書〕	〔大正〕12	1	1	福岡氏住吉町蓑島本町　古屋荒次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	23	81	〔葉書〕	〔大正〕12	1	1	輜重兵大隊　本田昇	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	23	82	〔葉書〕	〔大正〕12	1	1	東京市外千駄ヶ谷町原宿　桑野寛治	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	23	83	〔葉書〕	1923	1	1	若松市二島　硝子店　中西栄次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛、外一同	年賀状	葉書	1	印刷物
V	23	84	〔葉書〕	〔大正〕12	1	1	小島	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年賀スタンプ
V	23	85	〔葉書〕	大正12	1	1	遠賀郡底井野　瓜生延一	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	23	86	〔葉書〕	大正12	1	1	東松浦郡入野村　成守源太郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	87	〔葉書〕	大正12	1	1	宮崎県西臼杵郡岩井川　戸田久市	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	88	〔葉書〕		1	1	芦屋町　桑原伝次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	絵葉書	1	年賀絵葉書
V	23	89	〔葉書〕	〔大正〕12	1	1	中村藤次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	90	〔葉書〕	大正12	1	1	岡垣村　広渡経次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	91	〔葉書〕	大正12	1	1	下之関市田中新町　勝尾清	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	92	〔葉書〕	大正12	1	1	重岡光治	芦屋町粟屋　安高団平	年賀状	葉書	1	
V	23	93	〔葉書〕	〔大正〕12	1	1	八幡市前田松ヶ枝町　永田	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	94	〔葉書〕	大正12	1	1	千手獣医蹄工場	安高蘭平〔ママ〕	年賀状	葉書	1	印刷物
V	23	95	〔葉書〕	〔大正〕12	1	1	八幡市前田祇園町　永田辰次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	96	〔絵葉書〕	〔大正〕12	1	1	若松市　園山呉服店	芦屋町粟屋　安高福蔵	年賀状	絵葉書	1	年賀絵葉書
V	23	97	〔葉書〕	〔大正12〕	1	1	芦屋町　佐野代香人	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	98	〔葉書〕	大正12	1	1	永野実	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	99	〔葉書〕		1	1	小倉市木船場町　手島米蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	100	〔葉書〕		1	1	早良郡姪浜東町　矢野惣右衛門	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	23	101	〔葉書〕	大正12	1	1	東松浦郡厳木村　山田楳一	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	102	〔葉書〕	大正12	1	1	下毛郡大江村　身上政秀	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	103	〔葉書〕	〔大正〕12	1	1	大分市塩九舛町　成重光義	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	104	〔葉書〕		1	1	芦屋町　桑原勇吉	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	絵葉書	1	年賀絵葉書、印刷物
V	23	105	〔葉書〕	大正12	1	1	福岡氏地行東町　渡辺二郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	106	〔葉書〕	大正12	1	1	底井野　永冨	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	107	〔葉書〕	〔大正〕12	1	1	門司警察署栄町ハ出所　横山栄樹	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	108	〔葉書〕	大正12	1	1	深川富岡門前町　本田重蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	109	〔葉書〕	〔大正〕12	1	1	東臼杵郡西郷村　橋口利夫	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	110	〔葉書〕		1	1	若松市古前　重岡倉吉	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	111	〔葉書〕	大正12	1	1	河辺金吾	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	112	〔葉書〕	〔大正〕12	11	2	入野村　なる守	芦屋町粟屋　安高団兵衛	時候挨拶、11．4来着、返11日出	葉書	1	日付は消印
V	23	113	〔葉書〕	〔大正〕12	11	7	演習地京都郡にて　清	芦屋町粟屋　安高団兵衛	秋季野外演習日程通知	葉書	1	
V	23	114	〔葉書〕	〔大正〕12	11	29	西臼杵郡鞍岡村　矢野藤五郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	23	115	〔葉書〕		12	23	深川区富岡門前町　本田重蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	焼野原の東京へ無事帰着	葉書	1	
V	23	116	〔葉書〕	〔大正〕12	11	8	東京市牛込区　帝国在郷軍人会本部編纂部	芦屋町粟屋　安高団兵衛	大正公論代未到着の件、8月28日振出しの書込みあり	葉書	1	日付は消印
V	23	117	〔葉書〕	大正12	1	1	福岡市外千代町　藤原研助、学	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	23	118	〔葉書〕	大正12	1	1	輜重12ノ1　井上	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	119	〔葉書〕	〔大正〕12	1	1	松丸喬	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	120	〔葉書〕	〔大正〕12	1	1	若松市古前　重岡銀造	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	121	〔葉書〕	大正12	1	1	香川県高松市野才町　中西直太郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	122	〔葉書〕	大正12	1	1	波多野倉吉	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	123	〔葉書〕	〔大正〕12	1	1	宇佐郡和村　松原	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年賀スタンプ
V	23	124	〔葉書〕	大正12	1	1	島郷村　田中豊	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	23	125	〔葉書〕		1	1	遠賀郡島門村　加藤慶太	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	23	126	〔葉書〕	大正12	1	1	大阪市帰宅西野田　佐野与繁	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	24	1	〔葉書〕	大正15	7	盛夏	糟屋郡山田村　河辺金吾	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	24	2	〔葉書〕		7	31	宇佐郡竜王村　中村藤次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
V	24	3	〔葉書〕	〔大正〕15	8	17	嘉麻郡大分村　矢野平吉	芦屋町粟屋　安高団兵衛	世話になった礼状、昨日無事帰宅	葉書	1	
V	24	4	〔葉書〕	大正15	盛夏		西臼杵郡七折村　工藤六郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	印刷物
V	24	5	〔葉書〕	〔大正〕15	8	28	小島	芦屋町粟屋　安高団兵衛	時候挨拶、登山の好期お出ではいかが	葉書	1	
V	24	6	〔葉書〕	〔大正〕15	8	27	直方外町　樋口伝三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	亡父の会葬お礼	葉書	1	
V	24	7	〔葉書〕	〔大正〕15		16	山鹿　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	放生会案内	葉書	1	
V	24	8	〔葉書〕	〔大正〕15	9	15	岡垣村元松原　広渡団平	芦屋町粟屋　安高団兵衛	当区放生祭案内	葉書	1	
V	24	9	〔葉書〕	〔大正〕15	10	22	入野　成守源太郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	24	10	〔書簡〕	〔大正〕15	7	26	宇佐郡和間村　松原敏夫	芦屋町粟屋　安高団兵衛	宇佐神宮例祭への案内など	郵便書簡	1	
V	24	11	〔葉書〕	〔大正〕15	7	20	入野　成守源太郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
V	24	12	〔葉書〕	〔大正〕15	7	18	水巻村　小田藤男	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
V	24	13	〔葉書〕	〔大正〕15		13	岡垣村　広渡団平	芦屋町粟屋　安高団兵衛	田植手伝いの礼	葉書	1	日付は消印
V	24	14	〔葉書〕	〔大正〕15	7	8	直方町　果実・青物問屋旭治久平	芦屋町粟屋　安高団兵衛	胡瓜出荷依頼	葉書	1	
V	24	15	〔葉書〕	大正15	7	8	元芦屋小学校長　三原清	粟屋　安高団兵衛	退職あいさつ状	葉書	1	
V	24	16	〔葉書〕	大正15	7	2	直方新町　白子漬物店	遠賀郡芦屋町　安高段平衛	大根漬の有無照会	葉書	1	
V	24	17	〔葉書〕	〔大正15〕		22	豊後別府町　軍事劇大陽団事務所、大橋幸次郎、後藤駒太郎、事務員一同	遠賀郡芦屋町　安高団兵エ	公演の後援礼状	葉書	1	日付は消印
V	24	18	〔葉書〕	〔大正〕15	6	5	福歩24ノ5　伊豆清	芦屋町粟屋　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	24	19	〔葉書〕	〔大正〕15	4	15	水巻村　小田ひさ子	芦屋町粟屋　安高団兵衛	結婚と本送付に対する礼	葉書	1	震災葉書
V	24	20	〔葉書〕	〔大正〕15	4	3	入野　なる守	芦屋町粟屋　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	24	21	〔葉書〕	〔大正〕15	4	2	元松原　広渡団平	芦屋町粟屋　安高団兵衛	転居につき、転居祝の会への招待状	葉書	1	
V	24	22	〔葉書〕	〔大正〕15	3	7	島門村　太田豊造	芦屋町粟屋　安高団兵衛	3月11日久子の婚礼につき祝宴への招待状	葉書	1	
V	24	23	〔葉書〕	〔大正〕15	3	21	鞍手郡植木町　幸田利久次	芦屋町粟屋　安高団平	大根の出荷が遅れるしらせ	葉書	1	
V	24	24	〔葉書〕	〔大正〕15	3	19	若松市藤之木藤本町　大庭盈	芦屋町粟屋　安高団兵衛	移転の際の手伝い、餞別の礼と蛭子祭・博覧会の案内	葉書	1	
V	24	25	〔葉書〕	大正15	1	1	東松浦郡厳木村　山田楳一	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	24	26	〔葉書〕	〔大正〕15	2	20	山鹿百姓町　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	羽子板料のお礼と初正月祝への招待状	葉書	1	
V	24	27	〔葉書〕	〔大正〕15	2	2	岡垣村元松原　広渡団平	芦屋町粟屋　安高団兵衛	家普請の手伝依頼	葉書	1	
V	24	28	〔葉書〕	大正15	1	1	西臼杵郡七折村　工藤六郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	24	29	〔一紙〕						転居先不明　郵便物附紙	一紙	1	
V	24	30	〔葉書〕	大正15	1	1	芦屋町粟屋　安高福蔵	東京府下荏原郡馬込村　大庭弘造	年賀状	葉書	1	消印あり、返送されたものか
V	24	31	〔葉書〕	大正15	1	11	小倉歩兵第14聯隊　小野秀夫	芦屋町粟屋　安高団兵ヱ衛（ママ）	入隊の際の見送りと餞別の礼	葉書	1	
V	24	32	〔葉書〕	〔大正〕15	1	3	咸鏡北道慶興郡下汝坪税関出張所　広池厚男	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	日付は消印
V	24	33	〔葉書〕	大正15	1	1	大阪氏此花区四貫島嘉永町　広渡林平	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	24	34	〔絵葉書〕	大正15	1	1	在米　神谷	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	絵葉書	1	Hart’s Home Hollywood,Cal
V	24	35	〔葉書〕	〔大正15〕	1	10	満派歩2ノ3　伊豆清	芦屋町粟屋　安高団兵衛	18日に奉天をたち、21日頃帰国の予定	葉書	1	
V	24	36-1	〔書簡〕	〔大正〕15	2	2	黒山武彦（36ー2のハガキより）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	開封してあったものが閉じたのか？開封して内身を確認済	封筒	1	日付は消印
V	24	36-2	〔葉書〕	大正15	1		黒山武彦	安高団兵衛（36ー1の封筒表書より）	亡父の会葬御礼	紙	1	印刷物
V	24	37	〔葉書〕	〔大正〕15	1	1	直方外町　紋上絵専業　紋伝樋口伝三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	絵葉書	1	年賀絵葉書、印刷物
V	24	38	〔葉書〕	大正15	1	1	大阪市此花区亀甲町　佐野与繁	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	24	39	〔葉書〕	大正15	1	1	東臼杵郡東郷村　永野実	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	24	40	〔葉書〕	大正15	1	1	東臼杵郡西郷村　橋口利夫	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	24	41	〔葉書〕	大正15	1	1	東京市牛込区原町　早川正俊	安高福蔵	年賀状	葉書	1	印刷物

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	24	42	〔葉書〕	〔大正〕15	1	1	福岡市天神町　不動貯金銀行　木本久三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	24	43	〔葉書〕	大正15	1	1	東京目黒近衛輜重兵大隊　中尉　門田善実	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	24	44	〔葉書〕	大正15	1	1	竜王村　中村	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	24	45	〔葉書〕	大正15	1	1	大阪府中河内郡小阪町　黒山高麿	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	24	46	〔葉書〕	大正15	1	1	満州臨時派遣軍混成第一旅団歩兵第二大隊第三中隊　伊豆清	芦屋町粟屋　安高団兵衛、安高幸次郎	年賀状	葉書	1	
V	24	47	〔葉書〕	大正15	1	1	島郷村　田中豊	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	24	48	〔葉書〕	〔大正〕15	1	1	小倉市米町　大八木商店　正助	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	24	49	〔葉書〕	大正15	1	1	底井野村　永冨鶴雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	24	50	〔葉書〕	大正15	1	1	引の　古賀晋平	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	24	51	〔葉書〕	大正15	1	1	折尾町長崎　波多野倉吉	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	24	52	〔葉書〕	〔大正〕15	1	1	岡垣村元松原　広渡たつの・はつ子	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	24	53	〔葉書〕	大正15	1	1	宇佐郡和間村　松原敏夫	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年賀スタンプ
V	24	54	〔葉書〕	大正15	1	1	福岡市外吉塚出口　古屋荒次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	24	55	〔葉書〕	大正15	1	1	遠賀郡芦屋町山鹿　小田勝吉	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物、「第一徴兵保険芦屋代理店印」あり
V	24	56	〔葉書〕	〔大正〕15	1	1	桑原勇吉	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	24	57	〔葉書〕	〔大正〕15	1	1	芦屋町　大竹自転車店	当町粟屋区　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	24	58	〔葉書〕	大正15	1	1	東京市深川区東大工町　二村貞雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	24	59	〔葉書〕	〔大正〕15	1	1	八幡市前田西中町　広渡寿雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	24	60	〔葉書〕	大正15	1	1	入野　成守源太郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	24	61	〔葉書〕	大正15	1	1	鞍手郡下境村　谷口城	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	24	62	〔葉書〕	大正15	1	1	久留米市櫛原町　高橋格	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	24	63	〔葉書〕	大正15	1	1	嘉穂郡碓井村　武田与八郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	24	64	〔葉書〕	〔大正〕15	1	1	若松市浜元番町　森谷大治郎	芦屋町粟屋　安高だん平	年賀状	葉書	1	
V	24	65	〔葉書〕	大正15	1	1	芦屋町　桑原伝次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	24	66	〔葉書〕	〔大正〕15	1	1	八幡市西元町　青物果実海産物問屋　山県淺治本店、山県支店	安高団平	年賀状	葉書	1	印刷物
V	24	67	〔葉書〕	大正15	1	1	肥後山鹿駅前　本田安平、倭茂	芦屋町粟屋　安高福蔵、団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	24	68	〔葉書〕	〔大正〕15	1	1	八幡市前田松ヶ枝町　永田□□□	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	24	69	〔葉書〕	〔大正〕15	1	1	糟屋郡和白村　藤原学	芦屋町粟屋　安高団兵エ	年賀状	葉書	1	
V	24	70	〔葉書〕	大正15	1	1	小島頼男	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	24	71	〔葉書〕	大正15	1	1	豊前英彦山　手島米蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	24	72	〔葉書〕	大正15	1	1	糟屋郡山田村　河辺金吾	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	24	73	〔タバコカード〕				京都　村井兄弟商会		西洋美人画×2、日本画トランプ×2	紙	4	
V	25	1－(1～10)	〔封筒〕				〔安高団兵衛〕		表に「広渡林平先生より受けし信書入」の記載、内容物葉書10枚	封筒	1	
V	25	1-1	〔葉書〕	明治45	1	3	歩兵第14聯隊予備勤ム中　広渡林平	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	25	1-2	〔葉書〕	明治43	1	5	東京　広渡	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	25	1-3	〔葉書〕	〔明治〕42	5	1	東京東洋協会専門学校　広渡	芦屋高等小学校内　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	25	1-4	〔絵葉書〕	〔明治〕42	3	11	東都　広渡	芦屋高等小学校内　安高団兵衛	中学へ進学するつもりなら入試に備えよ	絵葉書	1	日付は消印、「月島小学校郊外運動」絵葉書
V	25	1-5	〔葉書〕	明治42	1	1	東京　広渡林平	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状、好成績を祝す	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	25	1-6	〔絵葉書〕	〔明治41〕	10	26	東都　広渡	芦屋高等小学校　岩野孫三郎、黒山高麿、安高団兵衛	東京は米艦隊歓迎会で賑わう	絵葉書	1	日付は消印、「東京名所新東宮御所」絵葉書
V	25	1-7	〔葉書〕	不詳			岡垣村　広渡	芦屋町粟屋　安高団兵衛	海水浴の誘い	葉書	1	
V	25	1-8	〔葉書〕	〔明治〕41	4	16	東京荒川区東洋協会専門学校　広渡	芦屋町粟屋　安高団兵衛	好成績を祝すとともに、勉励を勧める	葉書	1	
V	25	1-9	〔葉書〕	明治41	1	1	東京小石川区東洋協会　広渡	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	25	1-10	〔葉書〕		8	24	東京本郷区湯島　広渡	芦屋町粟屋　安高団兵衛	鎌倉・浦賀・大磯地方へ旅行に出かける	葉書	1	日付は消印
V	25	2－(1～2)	〔封筒〕				〔安高団兵衛〕		表に「古賀晋平先生より来る信書」の記載	封筒	1	
V	25	2-1	〔書簡〕		4		古賀	粟屋区　安高団兵衛		書簡（封筒）	1	
V	25	2-2	〔書簡〕		4	19	古賀	安高君	返状、意志の鍛錬・人格の修養を願う	罫紙	1	芦屋尋常高等小学校の罫紙
V	25	3－(1～3)	〔封筒〕				安高団兵衛		表に「冨士原純城先生より来る」と記載	封筒	1	
V	25	3-1	〔絵葉書〕	〔明治〕42	5	12	京都仏教大学　冨士原	芦屋町粟屋　安高団兵衛	好成績での進級を祝す、京都ではペストが流行	絵葉書	1	日付は消印、「京都紀念動物園　ライヲン」絵葉書
V	25	3-2	〔葉書〕	〔明治〕43	7	22	中浜　冨士原	芦屋町粟屋　安高団兵衛	進学せずとも勉強の精神を守れ、中学程度の書籍も貸す、何でも相談を	葉書	1	
V	25	3-3	〔書簡〕		10	28	京都　冨士原	旧第三学年　安高団兵衛	運動会案内の礼	紙	1	京都観光地案内のパンフレット裏面を使用
V	25	4－(1～13)	〔封筒〕				安高団兵衛		表に「諸人より来る信書入」の記載	封筒	1	
V	25	4-1	〔葉書〕	大正6	5	1	東京市神田区今川小路　忠誠堂	小倉衛戍病院　安高団兵衛	書籍「日々之修養」出荷案内	葉書	1	印刷物
V	25	4-2	〔葉書〕	大正6	1	1	遠賀郡芦屋町　高橋格	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	25	4-3	〔葉書〕	5	11	23	輜重兵大隊　柴田直助	芦屋町粟屋　安高団平	入営先が同じ輜重兵と聞き嬉しい	葉書	1	
V	25	4-4	〔一紙〕				不明	安高団兵衛	内容物無し、郵便物に帯としてまかれていたもの、「約束郵便」	紙	1	
V	25	4-5	名刺				中西直太郎		「賀正　中西直太郎」	紙	1	印刷物
V	25	4-6	〔葉書〕		1	1	福岡氏渡辺通り　ながた	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	25	4-7	〔葉書〕	3	4	19	福岡市橋口町　許斐帽子店　ながた	芦屋町粟屋　安高団兵衛	浮世の風浪の生活がいやになってしまった	葉書	1	
V	25	4-8	〔葉書〕		1	1	鞍手郡宮田村菅牟田礦業所　永田要造	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	25	4-9	〔葉書〕	明治42	1	1	鞍手郡宮田村貝島鉱業所菅牟田糧食課　永田要造	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年賀スタンプ
V	25	4-10	〔葉書〕		1	1	門司市宝栄町　藤崎正治郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	25	4-11	〔葉書〕	〔大正〕3	5	4	□□町　二村貞雄	芦屋町粟屋　安高団兵へ	同窓会案内	葉書	1	日付は消印
V	25	4-12	絶交証	明治43	3	19	秋武	安高団次兵衛(ママ)	絶交状、4年間の交際を絶つ	罫紙	1	
V	25	4-13	〔葉書〕	大正3	5	6	粟屋区　安高団兵衛	芦屋町中之浜　二村貞雄、同窓生諸君	同窓会欠席の届	葉書	1	
V	25	5－(1～12)	〔封筒〕				安高団兵衛		表に「在営中内より来る信者」の記載	封筒	1	
V	25	5-1	〔葉書〕	〔大正〕6	11	17	粟屋　安高福蔵	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	祖父及び三原先生の死去のしらせ	葉書	1	
V	25	5-2	〔葉書〕	〔大正〕6	9	22	粟屋　弟	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	大根播き忙しく面会に行けず	葉書	1	
V	25	5-3	〔葉書〕	大正6	6	12	弟	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	手傷の見舞い、祖父の回復	葉書	1	
V	25	5-4	〔葉書〕	〔大正〕6	5	12	芦屋町粟屋　安高幸次郎	小倉衛戍病院　安高団兵衛	手傷入院の見舞い	葉書	1	
V	25	5-5	〔葉書〕	〔大正〕6	1	5	芦屋町粟屋　安高幸次郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	両親の写真の件	葉書	1	
V	25	5-6	〔葉書〕	大正6	1	1	芦屋町粟屋　安高幸次郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	25	5-7	〔葉書〕	〔大正〕5	12	11	粟屋　弟	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	兄に代わり毎夜金銭出納帳を記す	葉書	1	墨塗りの上に鉛筆書き
V	25	5-8	〔葉書〕	大正5	12	6	芦屋町粟屋　安高福蔵	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	家庭の事は打ち忘れ上官の教えに従い軍務専一に	葉書	1	
V	25	5-9	〔封筒〕	〔大正〕6	3	15	芦屋町粟屋　安高福蔵	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	至急	封筒	1	中にV25-5-10あり
V	25	5-10	〔書簡〕		3	14	父〔安高福蔵〕	団兵衛	下士志願は必ずやめるよう	紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	25	5-11	〔封筒〕	大正6	8	11	粟屋　弟	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	平信	封筒	1	中にV25-5-12あり
V	25	5-12	〔書簡〕	〔大正6〕	8	11	弟	営内　安高団兵衛	面会時に持参したいが営内にて西瓜が食べられるかどうか照会	紙	1	
V	25	6－(1～8)	〔封筒〕				安高団兵衛		表に「田中栄一君より来る信書」の記載	封筒	1	
V	25	6-1	〔葉書〕	〔大正〕6	8	21	芦屋町　田中栄一	小倉輜重兵大隊　安高団兵衛	病気全快の祝い	葉書	1	日付は消印
V	25	6-2	〔廻送票〕	大正6	6	1	陸軍輜重兵総長　橋本猪三郎		転送依頼票	紙	1	
V	25	6-3	〔封筒〕	〔大正〕6	6	1	佐世保防備隊　田中栄一	北方輜重兵大隊　安高団兵衛		封筒	1	中にV25-6-4あり
V	25	6-4	〔書簡〕	〔大正〕6	6	1	愚なる田中より	親愛なる安高さまへ	時候挨拶	継紙	1	
V	25	6-5	〔葉書〕	大正6	1	1	佐世保防備隊　田中栄一	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	25	6-6	〔葉書〕	〔大正〕5	12	6	佐世保防備隊　田中栄一	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	軍務専一に勉励あらんことを希望す	葉書	1	日付は消印
V	25	6-7	〔葉書〕	〔大正〕5	11	9	佐世保防備隊　田中栄一	芦屋町粟屋　安高団兵衛	入営後は必ず隊名をしらせてくれるよう	葉書	1	日付は消印
V	25	6-8	〔葉書〕	〔大正〕5	9	22	佐世保防備隊　田中栄一	芦屋町粟屋　安高団兵衛	入営後も文通を願う	葉書	1	日付は消印
V	25	7－(1～6)	〔封筒〕						表に「黒山高麿君との交際（我に来る信書）」の記載	封筒	1	
V	25	7-1	〔葉書〕	大正5	1	1	京都市武術専門学校　黒山高麿	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	25	7-2	〔葉書〕	大正4	1	1	黒山高麿	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	25	7-3	〔葉書〕	大正3	1	1	黒山高麿	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	25	7-4	〔葉書〕	大正2	1	1	黒山高麿	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状　国家の為メ健全ヲ祈ル	葉書	1	
V	25	7-5	〔葉書〕	〔明治〕45	1	1	あしや　黒山高麿	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	25	7-6	〔葉書〕	明治44	1	1	黒山高麿	芦屋町粟屋　安高団平	年賀状	葉書	1	
V	25	8－(1～29)	〔封筒〕						表に「三村俊蔵君より来る信書入」の記載	封筒	1	
V	25	8-1	〔書簡〕		11	28	芦屋町山鹿　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	中にV25-8-2あり
V	25	8-2	〔書簡〕		11	29	二村俊蔵	安高団兵衛	入営の祝いと祝宴の礼、我は不合格	継紙	1	
V	25	8-3	〔葉書〕	〔大正〕8	8	13	遠賀郡山鹿　三村俊蔵	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	返状、時候挨拶	葉書	1	
V	25	8-4	〔葉書〕			10	遠賀郡山鹿　三村俊蔵	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	返状、時候挨拶	葉書	1	日付は消印
V	25	8-5	〔葉書〕	大正6	1	1	あしや町山鹿　三村俊蔵	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	25	8-6	〔葉書〕				あしや町山鹿　三村俊蔵	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	入営を祝す、軍務激励	葉書	1	
V	25	8-7	〔葉書〕		9	22	山鹿　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	御光来への礼	葉書	1	
V	25	8-8	〔葉書〕	〔大正〕5	9	10	山鹿　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	放生会の招待	葉書	1	
V	25	8-9	〔葉書〕	〔大正〕5	8	18	山鹿　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	饗応に対する礼状	葉書	1	
V	25	8-10	〔葉書〕		8	4	山鹿　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	貴君の弟の名を知らされ度	葉書	1	
V	25	8-11	〔葉書〕	〔大正〕5	6	25	山鹿　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	25	8-12	〔葉書〕	〔大正〕4	8	11	山鹿　三村	芦屋町粟屋　安高団兵衛	招待への返事	葉書	1	日付は消印
V	25	8-13	〔葉書〕	〔大正〕4	8	14	山鹿　三村、中西	芦屋町粟屋　安高団兵衛	山鹿同年会開催のため、招待された日に行けなくなったための断り状	葉書	1	
V	25	8-14	〔葉書〕	〔大正4〕	9	10	山鹿　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	当地放生会につき招待	葉書	1	
V	25	8-15	〔葉書〕	〔大正〕5	1	1	三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	絵葉書	1	印刷物
V	25	8-16	〔葉書〕	〔大正〕5	5	12	山鹿　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	検査の結果について（徴兵検査か）	葉書	1	日付は消印
V	25	8-17	〔葉書〕	〔大正〕4	6	24	山鹿　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	徴兵検査で不合格の報知	葉書	1	日付は消印
V	25	8-18	〔葉書〕	大正4	1	1	山鹿　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	25	8-19	〔葉書〕	〔大正〕3	10	8	山鹿　三村	芦屋町粟屋　安高団兵衛	当地の旬日への招待	葉書	1	
V	25	8-20	〔葉書〕		8	15	やまが　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	饗応に対する礼状	葉書	1	日付は消印
V	25	8-21	〔葉書〕	〔大正〕3	8	10	山鹿　三村	芦屋町粟屋　安高団兵衛	お盆休みの招待を、中西、林、三村3人で受ける返事	葉書	1	日付は消印
V	25	8-22	〔葉書〕	大正3	1	1	山鹿　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	25	8-23	〔葉書〕	明治45	1	1	芦屋町山鹿　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	25	8-24	〔葉書〕	〔明治44〕	1	1	山鹿　美村俊造	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	25	8-25	〔封筒〕		11	9	山鹿百性町　三村	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	中にV-8-26あり
V	25	8-26	〔書簡〕		11	9	三村	安高	「ムクロ」を4、50集めて送ってほしい	紙	1	
V	25	8-27	〔封筒〕		6	14	山鹿百姓町　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	中にV-8-28あり
V	25	8-28	〔書簡〕		6	14	三村俊蔵	安高団兵衛	返状、健康を祈る	紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	25	9－(1～16)	〔封筒〕						表に「林貞造君より来る信書」の記載	封筒	1	
V	25	9-1	〔葉書〕	〔大正〕6	8	16	芦屋町中ノ浜　宇治筑後茶林貞蔵商店	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	今後も文通を乞う	葉書	1	日付は消印
V	25	9-2	〔葉書〕	〔大正〕6	2	10	芦屋町中ノ浜　宇治筑後茶林貞蔵商店	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	転宅と開業の知らせ	葉書	1	日付は消印
V	25	9-3	〔葉書〕	〔大正〕5	12	13	芦屋町　林貞蔵	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	入営祝い	葉書	1	
V	25	9-4	〔葉書〕	〔大正〕5	8	19	芦屋町　林貞蔵	芦屋粟屋　安高団兵衛	夏の土産のお礼と御大師祭への招待	葉書	1	
V	25	9-5	〔葉書〕	〔大正〕5	5	14	芦屋町ひかしまち　林貞蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	徴兵検査合格のお祝	葉書	1	
V	25	9-6	〔葉書〕	大正5	1	1	芦屋町　林	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	25	9-7	〔葉書〕	〔大正〕4	10	14	芦屋　林貞造	芦屋粟屋　安高団兵衛	御宮日が16～17日に変更となり、16日にお出でを待つ	葉書	1	
V	25	9-8	〔葉書〕	〔大正〕4	10	4	ひがしまち　林貞蔵	芦屋粟屋　安高団兵衛	宮日16日夕、宮日祭への招待	葉書	1	
V	25	9-9	〔葉書〕	大正4	3	23	蘆の辺　林撰葉	芦屋町粟屋　安高団兵衛	旧節句の休みに三村君と君とを自宅へ招待	葉書	1	
V	25	9-10	〔葉書〕	大正4	1	1	蘆の辺　林撰葉	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	25	9-11	〔葉書〕	大正3	10	11	同町東町　林撰葉	芦屋町粟屋　安高団兵衛	当地宮日につき1宿にて御来遊の招待状	葉書	1	
V	25	9-12	〔葉書〕		8	17	芦屋東町　林撰葉	芦屋町粟屋区　安高福蔵、団兵衛	饗応に対する礼状	葉書	1	日付は消印
V	25	9-13	〔葉書〕	〔大正〕3	1	1	芦屋東町　林	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	25	9-14	〔葉書〕	大正2	1	1	芦屋町東町　林貞蔵	本町粟屋区　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	25	9-15	〔葉書〕	〔明治〕45	1	1	あしや　林貞蔵	本町粟屋区　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	25	9-16	〔葉書〕	〔明治〕44	1	1	あしや　林	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	絵葉書	1	「(筑前芦屋)山鹿城跡」絵ハガキ面剥がれ別封筒に入る
V	25	10－(1～11)	〔封筒〕				安高団兵衛		表に「小野三郎君より来る信書入」と記載	封筒	1	
V	25	10-1	〔葉書〕	大正5	1	1	門司市東本町長崎写真館　小野三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	絵葉書	1	「御大典紀念写真」
V	25	10-2	〔葉書〕	大正4	1	1	小野三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	25	10-3	〔葉書〕	大正3	1	1	東京市日本橋区住吉町　小野三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状、転居通知	葉書	1	
V	25	10-4	〔葉書〕	〔大正〕2	6	22	東京市下谷区中根岸町　小野三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	転居通知、日々英語学校に通学	葉書	1	飛行機2機が飛ぶイラストあり
V	25	10-5	〔葉書〕	〔大正〕2	2	30	東京市下谷区中根岸　小野みどり	芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況報告	葉書	1	文章をイラスト化
V	25	10-6	〔絵葉書〕	〔大正〕2			花の都にて　小野　S．O	芦屋町粟屋　安高団兵衛	桜の便り	絵葉書	1	「(帝都の桜)靖国神社境内」、日付は消印
V	25	10-7	〔葉書〕	大正2	1	1	東京市下谷区元金杉　小野三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	25	10-8	〔葉書〕	〔大正〕1	9	9	東京市下谷区下金杉　小野三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	無事東京着のしらせ	葉書	1	
V	25	10-9	〔葉書〕	〔明治〕45	1	1	幸町　小野三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	絵葉書	1	ねずみの絵
V	25	10-10	〔葉書〕	明治44	1	1	遠賀郡芦屋町　小野三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	25	10-11	〔葉書〕	〔明治〕43	7	10	アシヤ　小　三十郎	本郡芦屋町市外粟屋　安高団兵衛	百人一首の記してある本を貸してほしい	葉書	1	日付は消印
V	25	11－(1～5)	〔封筒〕				安高団兵衛		表は白紙	封筒	1	
V	25	11-1	葉書					小田又六	未投函か	葉書	1	裏面は墨塗り
V	25	11-2	葉書						未使用葉書	葉書	1	上部一部破れ
V	25	11-3	葉書						書き損じ	葉書	1	
V	25	11-4	〔記〕						木原与之吉以下14名書上げ	紙	1	
V	25	11-5	〔書簡〕	大正9	4	15	安高団兵衛	神谷繁吉、まき	(渡米の)吉木の門司さんに絹張りのコーモリ傘を託す、御出世御成功を祈る	罫紙	1	下書きまたは控えか

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	25	12－(1～28)	〔封筒〕						表に「秋枝正助君より来る信書入」と記載	封筒	1	
V	25	12-1	〔葉書〕	〔大正〕6	3	1	小倉市米町大八木商店　狐狸窟冠者著作	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	近々面会に行く	葉書	1	一部墨塗りあり
V	25	12-2	〔葉書〕	〔大正〕6	1	1	小倉市米町大八木　秋枝政助	北方輜重兵大隊　安高団治(ママ)兵衛	年賀状	葉書	1	年賀スタンプ
V	25	12-3	〔葉書〕	〔大正〕5	5	22	小倉市米町大八木商店　秋枝正助	芦屋町粟屋　安高団治兵衛(ママ)	返書の礼状	葉書	1	
V	25	12-4	〔葉書〕	〔大正〕5	5	17	小倉市米町大八木商店　秋枝	芦屋町　安高団治(ママ)兵衛	甲種合格か検査後のしらせを尋ねる	葉書	1	
V	25	12-5	〔葉書〕	大正5	1	1	小倉市米町大八木商店　秋枝正典	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	25	12-6	〔葉書〕	〔大正〕4	1	1	小倉市米町大八木　秋枝正助	芦屋港粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年賀スタンプ
V	25	12-7	〔葉書〕	〔大正〕2	9	25	小倉市錦町　秋枝正助	芦屋港粟屋　安高団兵衛	小倉市にて開催の第8回全国特産品博覧会へ案内	葉書	1	
V	25	12-8	〔葉書〕	〔大正〕1	8	30	小倉市錦町大八木履物店　秋枝正助	芦屋町粟屋　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	25	12-9	〔葉書〕	〔明治〕45	6	13	小倉市錦町大八木履物店　秋枝正助	芦屋町粟屋　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	25	12-10	〔葉書〕	〔明治〕45	4	19	小倉市錦町大八木履物店　秋枝政助	芦屋町粟屋　安高団治(ママ)兵衛	帰宅予定と小倉の陸軍招魂祭への誘い	葉書	1	一部墨塗りの上に鉛筆書き
V	25	12-11	〔葉書〕	〔明治〕45	3	10	小倉市錦町　秋枝正助	芦屋町粟屋　安高団治(ママ)兵衛	時候挨拶	葉書	1	墨塗りの上に鉛筆書き
V	25	12-12	〔絵葉書〕	〔明治〕	1	3	小倉市錦町　老人アキムラマサスケ	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	絵葉書	1	「小倉歩兵第十四聯隊正門」、日付は消印
V	25	12-13	〔葉書〕	〔明治〕44	10	29	小倉市錦町履物屋　秋枝正助	芦屋町粟屋　安高団治(ママ)兵衛	小倉赤坂延命寺の菊花園盛り	葉書	1	日付は消印
V	25	12-14	〔葉書〕	〔明治〕44	7	23	小倉市錦町履物卸店　秋枝正助	芦屋町粟屋　安高団治(ママ)兵衛	暑中見舞	葉書	1	
V	25	12-15	〔葉書〕	〔明治〕44	6	3	小倉市錦町　秋枝正助	芦屋町粟屋　阿田加団治兵衛	小倉電車開通式祝賀会の誘い	葉書	1	
V	25	12-16	〔葉書〕	〔明治〕44	4	13	小倉市錦町大八木商店　秋枝正助	芦屋町粟屋　阿田加団治兵衛	小倉陸軍招魂際の案内	葉書	1	
V	25	12-17	〔葉書〕	明治44	1	1	小倉市錦町大八木商店　秋枝正助	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	25	12-18	〔葉書〕	〔明治〕43	10	16	小倉市錦町大八木商店　秋枝政助	芦屋町粟屋　安高団治兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	25	12-19	〔葉書〕	〔明治〕43	5	8	小倉市錦町大八木商店　秋枝正介	芦屋町粟屋　安高団兵衛	高等小学校卒業後の進路を問う	葉書	1	
V	25	12-20	〔葉書〕	〔明治〕43	3	6	小倉市錦町　秋枝正助	芦屋町粟屋　安高団兵衛	絵葉書の礼と小倉招魂祭の案内	葉書	1	
V	25	12-21	〔封筒〕	明治43	2	13	小倉市錦町履物商大八木商店　秋枝正助	芦屋町粟屋　安高団兵	鉛筆にて「小倉名所絵葉書6枚送り来る」とあり	封筒のみ	1	
V	25	12-22	〔葉書〕	大正3	1	1	小倉市錦町大八木　秋枝正助	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	絵葉書	1	「延命寺宮本武蔵の碑（赤坂花壇）」絵葉書剥離別封筒入り
V	25	12-23	〔葉書〕	〔明治〕29	6	29	小倉市錦町履物商店　秋枝正助	芦屋町粟屋　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	
V	25	12-24	〔葉書〕	明治42	1	1	小倉市錦町　秋枝正助	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	25	12-25	〔書簡〕	〔明治〕41	8	14	小倉市錦町大八木分店　秋枝正助	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	中にV-25-12-26あり
V	25	12-26	〔書簡〕	〔明治41〕	〔8〕	〔14〕封筒より	〔秋枝正助〕	〔安高団兵衛〕	住所に「大八木履物商店」と書いてほしい	継紙	1	ほかに紙1枚あり
V	25	12-27	〔葉書〕	〔明治〕41	1	1	小倉市錦町大八木分店　秋枝正助	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
V	25	12-28	〔絵葉書〕		8	21	旅より　秋枝一寒	芦屋町粟屋　安高団兵衛	時候挨拶	絵葉書	1	「小倉旭町」絵葉書剥離別封筒入り

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	26	1-1	〔封筒〕	1913	5	4	Honda Nursery(ロサンゼルス)	芦屋町粟屋 安高団兵衛	「大正2年5月30日来着す」とあり	封筒	1	日付は消印 中にV26-1-2～5あり
V	26	1-2	〔書簡〕					安高団兵衛	写真の礼、大阪で辛抱している金造君のことなど、この返事の下書きを裏に記す	罫紙	1	
V	26	1-3	〔葉書〕	〔大正〕2	6	20	〔安高団兵衛〕	本田倍郎	「6月20日出」と「19(10出)立戻る」の2つの書込みあり、葉書面はV26-1-2に記されたのと同じ文面	葉書	1	日付は消印
V	26	1-4	〔書簡控〕	大正2	8	28	安高団兵衛	親愛友なる本田倍郎君	V26-1-5に対する返事と思われる 倍郎の身内宅の消息など	紙	1	
V	26	1-5	〔絵葉書〕	1913	7	31		芦屋町粟屋 安高団兵衛	「大正2年8月25来着」とあり	絵葉書	1	「ROUGH WEATHER ON THE PACIFIC OCEAN」
V	26	2-1	〔封筒〕	1913	10	4	Honda Nursery(ロサンゼルス)	芦屋町粟屋 安高団兵衛	「大正2年10月23日来着」とあり	封筒	1	日付は消印 中にV26-2-2～5あり
V	26	2-2	〔書簡控〕	大正2	10	31	安高団兵衛	親友の本田倍郎君	V26-2-4に対する返事と思われる、母堂のお悔やみと依頼のゆずりはの種の件	紙	3	
V	26	2-3	〔貼り紙用宛名書〕						M. Honda(本田倍郎)のアメリカの住所を記す	紙	1	
V	26	2-4	〔書簡〕	大正2	10	3	(本田)倍郎	安高団兵衛	母の死去をしらせる、又、「ゆずりは」の種を乞う	便箋	3	
V	26	2-5	〔絵葉書〕	大正3	1	1～	本田倍郎(ロサンゼルス)	芦屋町粟屋 安高団兵衛	年賀状、「大正3年1月10来着ス」とあり	絵葉書	1	「Bisby's Spiral Airship,Long Beach,Cal」
V	26	3-1	〔封筒〕	1913	2	8	(ロサンゼルス)	芦屋町粟屋 安高団兵衛	「大正2年3月6日来着」とあり	封筒	1	日付は消印
V	26	3-2	郵便物受領証	〔大正〕2	1	8	福岡芦屋郵便局	〔安高団兵衛〕	安高団兵衛よりアメリカM. HONDAへの書留小包の受領証	紙	1	専用紙
V	26	3-3	〔書簡〕		2	8	本田倍郎	安高団兵衛	種子物到着の礼、安高の写真を乞う	紙	2	
V	26	3-4	〔書簡控〕				安高団兵衛	本田倍郎	V26-3－3に対する返事と思われる、本田に送る手紙のための宛名ハリガミの送付を乞う	紙	1	
V	26	4-1	〔封筒〕		9	28	Honda Nursery(ロサンゼルス)	芦屋町粟屋 安高団兵衛	「大正元年10月25日来着」とあり	封筒	1	日付は消印
V	26	4-2	〔封筒〕				M. Honda(ロサンゼルス)	芦屋町粟屋 安高団兵衛	「大正元年10月25日来着」とあり	封筒	1	破損あり
V	26	4-3	〔絵葉書〕	大正2	1	1	倍郎(ロサンゼルス)	芦屋町粟屋 安高団兵衛	年賀状、「此ノエハ裁判所デアル」「大正2年正月17日来着ス」とあり	絵葉書	1	「Hall of records and County Court House Los Angeles,California」
V	26	4-4	〔書簡〕				ホンダマスロー	アタカダンベエ	写真を2枚送付、1枚は本田角郎へ、みんなの写真を送ってほしい	紙	3	
V	26	4-5	〔書簡控〕				安高団兵衛	本田倍郎	V26-4－4に対する返事と思われる、写真の礼など	紙	1	
V	26	5-1	〔封筒〕	1912	7	17	Honda Nursery(ロサンゼルス)	芦屋町粟屋 安高団兵衛	「45.8.10来着ス」とあり	封筒	1	日付は消印
V	26	5-2	〔書簡控〕	大正1	8	31	安高団兵衛	本田倍郎	返信用下書きか	紙	1	
V	26	5-3	〔書簡〕		7	15	〔本田倍郎〕	〔安高団兵衛〕	頼みごとへの礼	紙	1	
V	26	6-1	〔書簡〕	1912	5	16	Honda Nursery(ロサンゼルス)	芦屋町粟屋 安高団兵衛	「45.6.6朝9着」とあり	封筒	1	日付は消印
V	26	6-2	〔書簡控〕	明治45	6	12	日本なる安高団兵衛	米国なる本田倍郎	種子物の件など、V26-6-3に対する返信下書き	紙	1	
V	26	6-3	〔書簡〕		5	16	本田倍郎	安高団兵衛	ナンテン、イヅリハ、ハナシバ、椿などの種子を乞う	紙	4	
V	26	7-1	〔封筒〕	1912	3	4	Honda Nursery. Masuro Honda(ロサンゼルス)	(芦屋町粟屋)安高団兵衛	「明治45年4月5日来着」	封筒	1	日付は消印
V	26	7-2	〔書簡控〕	明治45	4	6	〔安高団兵衛〕	〔本田倍郎〕	返信下書き、種子物の件	紙	1	
V	26	7-3	〔書簡〕				〔本田倍郎〕	安高団兵衛	種子物送付依頼	便箋	1	
V	26	8-1	〔封筒〕	1912	1	31	Honda Nursery(ロサンゼルス)	芦屋町粟屋 安高団兵衛	「45年2月26日来着す」とあり	封筒	1	年月日は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	26	8-2	〔書簡控〕	明治45	3	8	芦屋町粟屋　安高団兵衛	米国の本田倍郎	返信下書きか、松露取りや村の若いしの組に入会したことなど	紙	1	
V	26	8-3	〔書簡〕				本田倍郎	安高団兵衛	明治45年新年のあいさつと転居のしらせ、貼り紙用宛名書き10枚送付	紙	1	
V	26	9-1	〔封筒〕	1911	10	10	Honda　Nursery（ロサンゼルス）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「明治44年10月□日着来」とあり	封筒	1	日付は消印
V	26	9-2	〔書簡控〕	明治44	11	8	日本なる安高団兵衛	米国なる本田倍郎	返信下書きカ、学校へ通学の由大勉強を祈る	紙	1	
V	26	9-3	〔貼り紙用宛名書き〕						英語表記の本田倍郎の住所氏名	紙	2	
V	26	9-4	〔書簡〕		10	10	本田倍郎	安高団兵衛	ロサンゼルスの町の様子など	紙	3	
V	26	9-5	〔書簡控〕	明治45	1	元旦	安高団兵衛	本田倍郎	10月7日の手紙が着いたか問うと共に所書きの紙を5、6枚乞う、年始のあいさつ名刺をはさむ	紙	2	
V	26	9-6	〔絵葉書〕	1911	10	11	〔本田倍郎〕（ロサンゼルス）	芦屋町粟屋　安高団兵衛		絵葉書	1	「Broadway from Fourth St. lookingu North Los Angeles,Cal.」日付は消印
V	26	9-7	〔絵葉書〕	1911	12	13	倍郎（ロサンゼルス）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「明治45年1月来着」とあり、年賀状	絵葉書	1	「Polytechnic High School,Los Angeles,Cal.」日付は消印
V	26	9-8	〔絵葉書〕	1911	10	11	（ロサンゼルス）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「44年11月5日来」とあり	絵葉書		「Interior Sutro Baths, SanFrancisco,California」日付は消印
V	26	10-1	〔封筒〕	1911	8	11	M. Honda（ロサンゼルス）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「明治44年9月6日着」とあり	封筒	1	日付は消印
V	26	10-2	〔書簡控〕	明治44	9	10	あたか	本田倍郎	久しぶりのご両親との再会を祝す	紙	1	
V	26	10-3	〔書簡〕				本田	団兵衛	米国到着のしらせ、アメリカへの封書表書きの方法を記す別紙あり	紙	2	
V	26	10-4	〔葉書〕	明治44	5	15	横浜より本田倍郎	芦屋町粟屋　安高団兵右衛	長崎の検査を通って横浜についたしらせ、出発は16日午後3時	葉書	1	
V	26	11-1	〔封筒〕	1914	10	27	Honda　Nursery（ロサンゼルス）	芦屋町粟屋　安高団兵右衛	「大正3年11月20日来着す」とあり	封筒	1	
V	26	11-2	〔書簡控〕	大正3	12	8	安高団兵衛	本田倍郎	日々の農作業のこと、青島陥落をしらせる	紙	1	
V	26	11-3	〔書簡〕	大正3	10	23	M. Honda	〔安高団兵衛〕	大阪の本田金造君からは返事が来ないことなど、本田明の消息を尋ねる	紙	1	
V	26	11-4	〔絵葉書〕	1914	12	14	〔本田〕倍郎（ロサンゼルス）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	絵葉書	1	「Broadway & 8th St.looking North, showing Morosco Theatre Building,Los Angeles,Cal.」日付は消印
V	26	12-1	〔封筒〕	1914	9	11	Honda　Nursery（ロサンゼルス）	芦屋町粟屋　安高団兵右衛	「大正3年10月2日来着」とあり	封筒	1	日付は消印
V	26	12-2	〔書簡控〕	大正3	10	5	安高〔団兵衛〕	本田倍郎	日本の身内の消息などを知らせる	紙	1	
V	26	12-3	〔書簡〕				〔本田倍郎〕	〔安高団兵衛〕	無事の報告	紙	1	HONDA　NURSERY用箋
V	26	13-1	〔封筒〕	1915	1	19	〔本田倍郎〕（ロサンゼルス）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「大正4年2月14日来着」とあり	封筒	1	日付は消印
V	26	13-2	〔書簡控〕	大正4	2	末日	安高団兵衛	本田倍郎	日本の寒波の様子、遠賀川に厚氷が張ったことなど、身内の本田勝平宅の消息、雑煮の餅を最高で25個食べたことなど	紙	1	
V	26	13-3	〔書簡〕	大正4	1	17	本田倍郎	〔安高〕団兵衛	正月に雑煮の餅を14個食べた	紙	1	
V	26	14-1	〔封筒〕	1925	3	3	Uso　Hirowatari（カナダ）	安高団兵衛	「大正14年3月22日来着」とあり、親展	封筒	1	
V	26	14-2	〔書簡〕	大正13	11	14	広渡卯壮	安高リキノ	9年度農会役員名列挙（平寧農会）、本年の幹事となったことを報告	罫紙	1	THE NANEY FRUITS RANCHER'S ASSOCIATION用箋

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	26	14-3	〔書簡〕	大正14	3	3	広渡外壮	安高団兵衛	無沙汰の侘び、農会の幹事となり多忙の為	紙	1	「平寧農会々則」の裏紙利用
V	26	15-1	〔封筒〕	1924	12	23	U. HIROWATARI（カナダ）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「大正14年1月20日来着」とあり、至急進展	封筒	1	
V	26	15-2	〔書簡〕	大正13	12	23	広渡外壮	安高団兵衛	別紙を至急団平兄へ送付してほしい	紙	3	平寧農会の用箋
V	26	16-1	〔封筒〕	1927	4	18	（ロサンゼルス）	芦屋町粟屋　安高福蔵	「昭和2年5月11日来着」とあり	封筒	1	日付は消印
V	26	16-2	〔書簡〕	昭和2	4	15	まき	御家内様	手紙、写真の礼	便箋	3	「羅府市内の景」
V	26	16-3	〔書簡〕				（まき）		追伸、太宰府と宮地嶽のおまもりを頼む	紙	1	
V	26	16-4	〔タバコカード〕				株式会社　村井兄弟商会		韓国皇帝李熙陛下	紙	1	
V	26	17-1	〔書簡〕	1927	1	21	（ロサンゼルス）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「昭和2年2月17日来着」とあり	封筒	1	日付は消印
V	26	17-2	〔書簡〕	昭和2	1	18	マキ	父、母様	手紙の宛名はこうや（神谷）と書かずに安高マキと書いてくれ	紙	1	
V	26	17-3	〔書簡〕	昭和2	1	18	マキ	安高シゲ次郎	腕時計を帰国に人にことずける、写真を送って	紙	1	
V	26	17-4	〔書簡〕	昭和2			マキ	コヲジド（幸次郎）	兄様の加勢をしてくれ	紙	1	
V	26	18-1	〔封筒〕				HONDA NURSERY（ロサンゼルス）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「大正5年9月30日」とあり	封筒	1	
V	26	18-2	〔書簡〕		9	7	本田倍郎	安高団兵衛	徴兵検査合格を祝す、自分は徴兵猶予の手続きをした、送ってもらった『塚原ト伝』を繰り返し読んだ、同封の手紙を兄に渡すよう依頼す	紙	2	
V	26	18-3	〔書簡控〕	大正5	10	12	安高団兵衛	本田倍郎	V26-18－2に対する返信下書きか	紙	1	
V	26	19-1	〔封筒〕	1928	6	14	（サンフランシスコ）	芦屋町粟屋　安高福蔵	「昭和3年7月5日来着」とあり	封筒	1	日付は消印
V	26	19-2	〔書簡〕		6	10	マキ	父上母上みな様	日本が恋しい早く帰国したい、母への見舞いとして20円送金	紙	2	
V	26	20-1	〔封筒〕	1928	8	22	M（サンフランシスコ）	芦屋町粟屋　安高幸次郎	「昭和3年9月10日来着」とあり	封筒	1	
V	26	20-2	〔書簡〕		8	21	まき	父上、母上、家内様	写真の送付を乞う、貼紙用宛名書き1枚入り	紙	4	
V	26	21	〔年賀状〕	1928	1	8	隅田□一（破レにより不明）（ロサンゼルス）	芦屋町粟屋　安高福蔵	年賀状	絵葉書	1	日付は消印、「□□□ OF LEWIS STONE,LOS ANGELES □□」
V	26	22-1	〔書簡〕	1925	1	24	U.HIROWATARI（カナダ）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「大正14年2月11日来着」	封筒	1	日付は消印
V	26	22-2	〔書簡〕	大正14	1	元旦	広渡外壮	安高団兵衛	年賀状	紙	1	ガリ版刷り
V	26	23	〔葉書〕	1920	10	25	Uso　Hirowatari（カナダ）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	ビクトリア港に入港、無事上陸、農園地たるポート安寧に着	葉書	1	
V	26	24-1	〔封筒〕	1924	12	22	THE HANEY FRUIT RANCHERS' ASS'N（カナダ）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「大正14年1月□来着」とあり、親展	封筒	1	日付は消印
V	26	24-2	〔年賀状〕	〔大正14〕	1	1	Uso　Hirowatari（カナダ）	安高団兵衛	「大正14年1月20日来着」とあり	絵葉書	1	「晩香坡市　スタンレー公園大木、加奈陀ロッキー、シービー鉄道埠頭」
V	26	25-1	〔書簡〕	〔大正〕4	11	8	HONDA NURSERY（ロサンゼルス）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「大正4年12月10日来着す」とあり	紙	1	日付は消印
V	26	25-2	〔書簡控〕	大正5	3	20	東洋日本あわや　安高団兵衛	在米　本田倍郎	絵画のお礼、『塚原ト伝』を送る	紙	1	
V	26	25-3	〔書簡控〕	大正5	7	19	安高団兵衛	本田倍郎	『猿飛佐助』の礼、『塚原ト伝』が届いたかの問い合せ、本年12月より輜重兵に入営する	紙	1	
V	26	25-4	〔書簡控〕	大正5	正月	元旦	安高団兵衛	本田倍郎	大正5年の年賀状、以前送った絵葉書「西芦屋停車場」（芦屋から遠賀川までの軽便鉄道）の説明	紙	1	
V	26	25-5	〔書簡〕		11	16	〔本田〕倍郎	安高先生	もらった絵葉書「芦屋西停車場」の説明を求める、夜学で学んだ英作文1枚をつける	罫紙	2	
V	26	25-6	〔年賀状〕	大正5	1	1	〔本田〕倍郎（ロサンゼルス）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	絵葉書	1	オランダの風車と民族衣装の少女の絵
V	26	26-1	〔封筒〕	〔1915〕	8	28	HONDA NURSERY（ロサンゼルス）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「大正4年9月23日来着ス」とあり	封筒	1	日付は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	26	26-2	〔書簡控〕	大正4	10	8	安高団兵衛	在米親友　本田倍郎	芦屋の絵葉書7枚を送る、明・九十九・勝平の近況をしらせる	紙	1	
V	26	26-3	〔書簡〕		8	28	本田倍郎	安高団兵衛	兄　明・九十九の近況をたずねる、斑鳩平次の本の礼	紙	2	
V	26	27-1	〔封筒〕	〔1915〕	〔3〕	〔25〕	HONDA NURSERY（ロサンゼルス）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「大正4年4月17日来着す」とあり	封筒	1	
V	26	27-2	〔書簡〕		3	25	本田倍郎	安高団兵衛	アメリカの新聞を送る	紙	1	
V	26	27-3	〔書簡控〕	大正4	4	29	安高団兵衛	本田倍郎	新聞の礼、本田家へ依頼された所書きを届けた報告	紙	1	
V	26	28-1	〔封筒〕				Uso　Hirowatari（カナダ）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「大正2年4月24日来着」とあり、親展	封筒	1	
V	26	28-2	〔書簡〕	大正12	2	11	広渡外壮	安高団兵衛	昨年12月4日に男子出生、敏邦と命名	紙	1	
V	26	28-3	〔書簡〕	大正12	4	3	〔広渡〕外壮	安高団兵衛	渡米者たちの多くが初心を忘れ浪費に走っていること、このまま農園を持続するか会社の俸給取りになるか悩む	紙	1	
V	26	29-1	〔封筒〕	1923	2	16	Uso　Hirowatari（カナダ）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「大正12年3月30日来着」とあり、親展	封筒	1	
V	26	29-2	〔書簡〕	大正12	2	16	広渡外壮	安高団兵衛	成功すれば大きい農園経営の持続と会社勤めの安定との間で悩む	紙	3	
V	26	30-1	〔封筒〕	1924	1	29	Uso　Hirowatari（カナダ）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「2月24日来着」とあり　、至急親展	封筒	1	
V	26	30-2	〔書簡〕	大正13	1	29	広渡外壮	安高団兵衛	関東大震災関係の書籍送付の礼など	便箋	4	
V	26	30-3	〔書簡〕	大正13	1	29	在北米加奈陀　広渡外壮	安高リキノ	震災の話題など	紙	1	
V	26	31-1	〔封筒〕	1920	11	17	Uso　Hirowatari（カナダ）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「大正9年12月25日来着」とあり、至急親展	封筒	1	
V	26	31-2	〔書簡〕	大正9	11	17	オションフォルスに於て　広渡外壮	安高団兵衛	10月11日午前ビクトリア港に上陸、再渡米の報告	紙	3	
V	26	32-1	〔封筒〕				広渡外壮（カナダ）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「大正12年1月12日来着」とあり	封筒	1	
V	26	32-2	〔年賀状〕	〔大正12〕	1	1	Uso　Hirowatari	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	印刷物
V	26	33-1	〔封筒〕	1922	11	26	Uso　Hirowatari（カナダ）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「大正11年12月16日来着」とあり、親展	封筒	1	日付は消印
V	26	33-2	〔書簡〕	大正11	11	11	広渡外壮	安高団兵衛	御祖母様御逝去のおくやみ	罫紙	1	
V	26	34-1	〔封筒〕	1922	5	14	Uso　Hirowatari（カナダ）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「大正11年6月1日来着」とあり、親展	封筒	1	
V	26	34-2	〔書簡〕	大正11	5	11	在北米加奈陀　広渡外壮	安高団兵衛	姉上（神谷夫妻）のカリフォルニアの住所通知の礼、（明治）39年21才で単身渡米し17年になる	紙	1	
V	26	35-1	〔封筒〕	1922	1	22	Uso　Hirowatari（カナダ）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「大正11年2月18日来着」とあり	封筒	1	
V	26	35-2	〔書簡〕	大正11	1	22	〔広渡〕外壮	安高団兵衛	牛嶋謹爾（ポテト王）ら移民成功者の例など	罫紙	3	
V	26	35-3	〔書簡〕	大正11	1	22	安寧に於て　広渡外壮	安高リキノ	明治維新の元勲らが年々凋落していくことへの思いなど、裏に所書きを10回書き並べる	書簡	1	
V	26	36-1	〔封筒〕	1921	12	15	Uso　Hirowatari（カナダ）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「大正11年1月10日来着」とあり	封筒	1	日付は消印
V	26	36-2	〔書簡〕	大正11	1	元旦	広渡外壮	安高団兵衛	3、4年後には帰国したいと思う	罫紙	1	
V	26	37	〔葉書〕	1921	8	16	Uso　Hirowatari（カナダ）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「大正10年9月28日来着」とあり、北米太平洋沿岸一帯は景気強く、流行病もなく在留民大いに安心	葉書	1	
V	26	38-1	〔封筒〕	1921	8	23	Uso　Hirowatari（カナダ）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「大正10年9月25日来着」とあり	封筒	1	
V	26	38-2	〔書簡〕		8	23	広渡外壮	安高団兵衛	鬼津の姉の病気の心配、苺栽培のこと	紙	1	
V	26	39-1	〔封筒〕	1921	6	3	Uso　Hirowatari（カナダ）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「大正10年7月26日来着」とあり、至急親展	封筒	1	
V	26	39-2	〔貼り紙用宛名書き〕						英語表記の広渡外壮の住所氏名	紙	2	
V	26	39-3	〔書簡〕	大正10	6	19	在安寧村　広渡外壮	安高団兵衛	藤吉出生のお祝い、3エーカーを開拓し苺栽培に賭ける思い	紙	1	
V	26	40	〔葉書〕	1921	5	20	Uso　Hirowatari（カナダ）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「大正10年6月7日来着」とあり、男子誕生の祝い、目下開墾に全力を集注	葉書	1	日付は消印
V	26	41	〔年賀状〕	1921	1	1	Uso　Hirowatari（カナダ）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状、「対象10年1月24日来着」とあり	葉書	1	
V	26	42-1	〔包紙〕				M. Honda（カナダ）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「大正4年12月10日来着す」とあり	紙	1	42-2を包んで郵送したものか
V	26	42-2	〔観光写真集〕24View Souvenir Folder of Coney Island,N.Y.						コニーアイランド（ニューヨーク市）の観光写真集	紙	1	封筒あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	26	43-1	〔封筒〕	1928	4	5	〔神谷まき〕(ロサンゼルス)	芦屋町粟屋　安高福蔵	「昭和3年4月25日来ル」とあり	封筒	1	日付は消印
V	26	43-2	〔書簡〕		4	4	まき	父上様、母上様	母上様の病気見舞い、見舞金20円を送る、所書の紙片1枚あり	紙	3	
V	26	44-1	〔封筒〕	1917	6	23	HONDA NURSERY(ロサンゼルス)	小倉市外輜重兵大隊　安高団兵衛		封筒	1	日付は消印
V	26	44-2	〔書簡〕		6	22	本田倍郎	安高団兵衛	入営の祝い	紙	1	
V	26	45-1	〔封筒〕	1924	8	21	Uso　Hirowatari(カナダ)	遠賀郡粟屋　安高団兵衛	「大正13年9月28日来着」とあり、親展	封筒	1	
V	26	45-2	〔書簡〕	大正13	8	21	広渡卯壮	安高団兵衛	花田登君より写真受け取り、抜歯後の騒動、男子誕生の知らせ	紙	5	
V	26	45-3	〔書簡〕	1924	8	21	Uso　Hirowatari	〔安高〕リキノ	写真の礼、抜歯後の心得、男子誕生英明と命名	紙	1	
V	26	46-1	〔封筒〕	1924	3	29	Uso　Hirowatari(カナダ)	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「大正13年4月19日来着ス」とあり	封筒	1	
V	26	46-2	〔書簡〕	大正13	3	29	広渡卯壮	安高団兵衛	定着農夫として赤間町の花田登君の証明書が下附されたので団平兄の許へ送付、出来れば同君へ託して一同の写真を送ってほしい	紙	3	
V	26	47-1	〔封筒〕	1915	7	2	〔本田倍郎〕(ロサンゼルス)	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「大正4年7月23日来着ス」とあり	封筒	1	日付は消印
V	26	47-2	〔書簡控〕	大正4	8	4	安高団兵衛	本田倍郎	斑鳩平次という人の伝記を送る	紙	1	
V	26	47-3	〔書簡〕		7	2	本田倍郎	安高団兵衛	「サンデーファニーペーパー」を送る	紙	1	
V	26	48-1	〔封筒〕	1923	11	16	U．Hirowatari(カナダ)	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「大正12年12月8日来着」とあり、親展	封筒	1	
V	26	48-2	〔書簡〕	大正12	11	16	〔広渡〕卯壮兄より	安高団兵衛	もう1年苺栽培することに決めた、日本金融社の破産、関東大震災の見舞にカナダ在留民で約14万ドルを日本政府に寄附	紙	3	
V	27	1-1	〔封筒〕	大正11	5	16	遠賀郡農会　末沢技手	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	遠賀郡農会の封筒
V	27	1-2	〔書簡〕		5	16	末沢技手	安高団兵衛	蔬菜栽培収益一覧表返却通知	罫紙	1	遠賀郡農会の用箋
V	27	2-1	〔封筒〕	11	12	11	東京近衛輜重兵大隊　尾家曹長	芦屋町粟屋安高団兵衛		封筒	1	
V	27	2-2	〔書簡〕	11	12	11	尾家曹長	安高団兵衛	近衛輜重兵大隊への転任挨拶	継紙	1	
V	27	3-1	〔封筒〕	11	3	21	島郷村　田中豊	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	3-2	〔書簡〕	11	3	21	豊	安高大兄	悪口を触れ回れていることへの釈明 ローマ字で書かれている	ノート 箋	2	
V	27	4-1	〔封筒〕	11	3	7	京城府龍山練兵町　堀　祐世	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	4-2	〔書簡〕		3	7	堀　祐世	安高団兵衛	京城にて偶然秋月修三君(兵営同期)に出会い、(安高が)ただ今巡査奉職中という噂を聞いた	継紙	1	
V	27	5-1	〔封筒〕		11	8	入野　成守源太郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	5-2	〔書簡〕				〔成守〕源太郎	上等兵殿外御一同様	写真受領の礼状	罫紙	2	
V	27	6-1	〔封筒〕	10	11	4	下関市田中新町　勝尾清	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「親展」	封筒	1	
V	27	6-2	〔書簡〕		〔11	4〕	勝尾清	安高君	封入の手紙　投函依頼	継紙	1	
V	27	7-1	〔封筒〕	10	3	12	宇佐郡竜王村　中村	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	7-2	〔書簡〕	〔10〕	3	12	中村弟より	安高兄	出産祝詞、桑の植付けで多忙	紙	1	
V	27	8-1	〔封筒〕	10	5	29	宇佐郡竜王村　中村藤三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	8-2	〔書簡〕	〔10〕	5	29	弟より	兄上様	結婚の相談	継紙	1	
V	27	9-1	〔封筒〕				柴原伝次郎	粟屋　安高団兵衛	「至急親展」	封筒	1	
V	27	9-2	〔書簡〕		1	30	柴原伝次郎	安高団兵衛	相談のため来宅依頼	継紙	1	
V	27	10-1	〔封筒〕		2	10	入野　成守弥太郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	10-2	〔書簡〕		2	6	成守弥太郎	上等兵衛	家族写真送付依頼	罫紙	2	
V	27	11-1	〔封筒〕	大正10	7	1	糟屋郡山田村　河邉金吾	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	11-2	〔書簡〕		7	1	金吾	蘆屋之兄様の許へ	農況報告	継紙	1	
V	27	12-1	〔封筒〕	大正11	10	14	福岡市須崎土手町　福岡日日新聞合資会社販売部	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「書留親展」	封筒	1	
V	27	12-2	〔書簡〕		10	14	福岡日日新聞合資会社販売部	安高団兵衛	販売部設置に付郵送購読料残金返金の為替送付通知	便箋	1	
V	27	13-1	〔封筒〕	大正11	10	23	福岡市須崎土手町　福岡日日新聞合資会社販売部	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「書留親展」	封筒	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	27	13-2	〔書簡〕		10	23	福岡日日新聞合資会社販売部	安高団兵衛	購読料残金再返送通知	便箋	1	
V	27	14-1	〔書簡〕				芦屋町山鹿　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛			1	
V	27	14-2	〔書簡〕			14	三村俊蔵	安高団兵衛	団兵衛祖母死去への悔状	継紙	1	
V	27	15-1	〔封筒〕		11	30	大庭岩五郎	安高団兵衛		封筒	1	封筒に糸のついた針1本とほか針2本が刺してある。サビついておりはずす
V	27	15-2	〔書簡〕		11	30	大庭岩五郎	安高団兵衛	入営見送りに行けず、託び状	紙	1	
V	27	16-1	〔封筒〕		12	9	芦屋町粟屋　安高太四郎	北方輜重兵大隊　安高団兵衛	「親展」	封筒	1	
V	27	16-2	〔書簡〕	大正6	12	9	阿多閑より	安高団兵衛	二年兵昇進につき激励文	継紙	1	
V	27	17-1	〔封筒〕		8	21	宇佐郡龍王村　中村藤次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「大至急」	封筒	1	
V	27	17-2	〔書簡〕	11	8	21	弟より	兄様へ	弟初盆供物への礼状	便箋	2	
V	27	18-1	〔封筒〕		8	27	芦屋町駐在所 見陣季吉	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「至急親展」	封筒	1	
V	27	18-2	〔書簡〕	大正11	8	27	見陣季吉	安高団兵衛	共衛会組織に関し折尾警察署への出頭の人員が芦屋町部長派出所へ来るので、安高も出頭してほしい	紙	1	
V	27	19-1	〔封筒〕	11	7	6	糟屋郡山田町　河邉金吾	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	19-2	〔書簡〕	〔11〕	7	6	河邉金吾	安高団兵衛	農況報告、近況報告	継紙	1	
V	27	20-1	〔封筒〕		4	3	宇佐郡竜王村　中村藤次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	20-2	〔書簡〕	〔11	4	3〕	中村	兄様へ	来信御礼、近況報告	紙	1	
V	27	21-1	〔封筒〕	10	8	22	大野郡田野村　姫島勇	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	21-2	〔書簡〕	〔10	8	22〕	姫島勇	安高団兵衛	来信御礼、無沙汰の事情	便箋	5	
V	27	22－1～5	〔絵葉書〕	大正11	3	12	別府小倉衛戍病院　小野	芦屋町粟屋　安高団兵衛	絵葉書5枚入	封筒	1	
V	27	22-1	〔絵葉書〕						別府名所　紺屋地獄ノ壮観	絵葉書	1	
V	27	22-2	〔絵葉書〕						別府名所　朝日公園本坊主地獄	絵葉書	1	
V	27	22-3	〔絵葉書〕						別府名所　鬼石地獄	絵葉書	1	
V	27	22-4	〔絵葉書〕						別府名所　今井地獄	絵葉書	1	
V	27	22-5	〔絵葉書〕						別府名所　八幡地獄	絵葉書	1	
V	27	23-1	〔封筒〕	大正14	11	23	肥前山鹿駅前株式会社円仏個が出張所　本田倭茂	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「平信」	封筒	1	
V	27	23-2	〔書簡〕				本田倭茂	安高団兵衛	郷里の情況報告への礼「雄弁」11号送付	便箋	2	
V	27	24-1	〔封筒〕	〔14〕	5	12	戸畑町私立明治専門学校内　中西栄次郎	あしや町あわや　安高団兵衛	「秘」	封筒	1	
V	27	24-2	〔書簡〕	〔14〕	5	12	戸畑　中西	安高君	暑中休暇中に面会予定　友人の動向について	継紙	1	帯封あり「高上」
V	27	25-1	〔封筒〕	〔明治45〕	2	2	戸畑町明治専門学校内ニテ　中西栄次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「至急親展」	封筒	1	
V	27	25-2	〔書簡〕	明治45	2	2	中西	安高君	不足切手代　三銭分切手送付への御礼	罫紙	1	「私立明治専門学校電気工学教室」の罫紙
V	27	26	〔封筒〕		2	20	戸畑町明治専門学校内　中西栄次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「規則書在中」	封筒	1	封筒のみ
V	27	27-1	〔封筒〕	明治44	5	1	戸畑町私立明治専門学校　中西栄次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	27-2	〔書簡〕	〔明治44	5〕		中西	兄上殿	春季陸上運動会への参観来校依頼	継紙	1	
V	27	28-1	〔封筒〕	〔2	1	27〕	大阪東区道修町小池薬店　本田金造	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「平信」	封筒	1	
V	27	28-2	〔書簡〕	〔2	1	27〕	本田金造	安高君	粟屋の儀壮さん、長作さんに嫁が来た話題など	罫紙	2	
V	27	29	〔封筒〕	〔2	2	22〕	大阪道修町　本田金造	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「大阪名称絵葉書十枚入」とあり	封筒	1	封筒のみ
V	27	30-1	〔封筒〕	大正2	8	21	大阪市東区道修町薬品貿易商小池祥一商店(本田金造)	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	30-2	〔書簡〕	〔2	8	21〕	金吾	親愛なる安高様	返状、梅雨よりこのかた雨無しで困難を察す	便箋	3	「大学目薬」の印刷便箋

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	27	31-1	〔封筒〕	大正5	5	31	山鹿ゟ中西栄次郎	〔安高団兵衛〕		封筒	1	封筒表に「粟屋より学校に通われ居られる生徒諸君ご迷惑ながら此書籍を安高団兵衛君に渡し下さい御頼み申します」とあり
V	27	31-2	〔封筒〕	〔大正5〕	5	31	山鹿村　中西栄次郎	安高団兵衛	歩兵教範書を貸与す、参考のため一読を	紙	1	
V	27	32-1	〔封筒〕	〔14	8	30	入野　なる守	芦屋町粟屋　安高団兵衛様		封筒	1	
V	27	32-2	〔書簡〕				輜卒　成守	上等兵殿	近くに住む西特務曹長の妻の死去報告	便箋	2	
V	27	33-1	〔封筒〕	〔15	1	27〕	田屋　重岡本芳	本町粟屋区　安高団兵衛	「平信」	封筒	1	
V	27	33-2	〔書簡〕	〔15	1	27〕	〔重岡本芳〕	兄上様	昨日訪問のお礼、29日一馬（息子）同道にて皆様お出で下され度	便箋	1	
V	27	34-1	〔封筒〕	〔15	1〕	22	田屋　重岡本芳	本町粟屋　安高団兵衛	「至急」	封筒	1	
V	27	34-2	〔書簡〕	〔15	1	22〕	〔重岡本芳〕	〔安高団兵衛〕	竹頂戴のお礼、25日息子一馬参上の時叔母たちが来訪するのでよろしく頼む	便箋	1	
V	27	35-1	〔封筒〕	〔15〕	1	19	八幡市前田西仲町　広渡寿雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「平信」	封筒	1	
V	27	35-2	〔書簡〕	〔15〕	1	19	広渡寿雄	安高団兵衛	息子誕生祝へのお礼	継紙	1	
V	27	36-1	〔封筒〕	〔大正12〕	5	12	八幡市西本町　製靴商麻生商店	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「依頼状」	封筒	1	
V	27	36-2	〔書簡〕	〔大正12	5〕	12	麻生勇	安高団兵衛	月に2回下肥汲み取りを依頼したい、謝礼はする、返事を待つ	紙	1	
V	27	37-1	〔封筒〕		7	1	元松原　広渡団平	芦屋町外粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	37-2	〔書簡〕		7	1	広渡団平	安高	稲苗分与の礼	紙	1	
V	27	38-1	〔封筒〕				福岡県遠賀郡芦屋町役場 松井書記	安高大兄	「至急」	封筒	1	
V	27	38-2	〔書簡〕				松井	安高	軍隊履歴照会	罫紙	1	
V	27	39－1～4	御賜				永田要造			袋	1	
V	27	39-1	〔封筒〕				粟屋　安高団兵衛	芦屋町分会長　小田勝吉		封筒	1	
V	27	39-2	〔書簡控カ〕	大正12	5	5	安高団兵衛	分会長　小田勝吉	招魂祭準備欠席届	継紙	1	
V	27	39-3	〔封筒〕				粟屋　安高団兵衛	芦屋町役場内　田代技術員	「打返し御返事を乞ふ」	封筒	1	
V	27	39-4	〔書簡控カ〕	大正12	1	25	安高団兵衛	〔田代技術員〕	宗像糟屋両郡下視察に参加希望、集合地など詳細を尋ねる	紙	1	
V	27	40-1	〔封筒〕				福岡県遠賀郡芦屋町役場内 下部一成	粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	40-2	〔書簡〕				下部一成	安高団兵衛	下肥汲取依頼	罫紙	1	芦屋町役場の罫紙
V	27	41-1	〔封筒〕		2	21	福岡県遠賀郡芦屋町役場内 下部一成	粟屋　安高団兵衛	「金員在中」	封筒	1	破損
V	27	41-2	〔書簡〕		2	21	下部一成	安高団兵衛	大根代金送付	継紙	1	
V	27	42-1	〔封筒〕	大正13	2	19	八幡市　青物問屋山県浅治商店	芦屋町粟屋　阿高団平（ママ）		封筒	1	
V	27	42-2	商取引改善主意声明書	大正13	2	11	八幡市　青物果実委託問屋業山県浅治		欧州大戦後の不況のなか地に落ちた商人の信用を取り戻すべく商取引上の一大革新を行う	紙	1	印刷物
V	27	43-1	〔封筒〕	〔大正〕	5	14	福岡県遠賀郡芦屋町役場内 下部一成	粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	43-2	〔書簡〕		5	14	下部一成	安高団兵衛	南瓜、水芋等園芸の苗物を依頼	継紙	1	
V	27	44-1	〔封筒〕	大正13	6	24	芦屋港　万材木商　吉田徳蔵	当町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	44-2	〔書簡〕		6	23	吉田徳蔵	安高団兵衛	在郷軍人会よりの受賞を祝す	継紙	1	
V	27	45-1	〔封筒〕				蘆屋尋常高等小学校　三原清	粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	45-2	〔書簡〕	大正13	5	6	芦屋小学校　三原清	安高団兵衛	尋常6年生への談話依頼	罫紙	1	芦屋尋常高等小学校の罫紙
V	27	46-1	〔封筒〕	〔大正13〕	7	15	入野　成守源太郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	46-2	〔書簡〕		7	14	源太郎	兄	近況報告	罫紙	4	午後10時32分
V	27	47-1	〔封筒〕		7	19	阿蘇郡内牧町　小島	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「平信」	封筒	1	
V	27	47-2	〔書簡〕				小頼	安高	近況報告	罫紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	27	48-1	〔封筒〕	〔大正13〕	9	13	入野　成守源太郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	48-2	〔書簡〕		9	13	入野　愚弟ヨリ	兄上	赤痢流行等近況報告	罫紙	3	
V	27	49-1	〔封筒〕				中間町　岩崎店	粟屋　安高		封筒	1	
V	27	49-2	〔書簡〕				岩崎	安高	商品値段を通知	継紙	1	
V	27	50-1	〔封筒〕				広渡団平	安高団兵衛		封筒	1	
V	27	50-2	〔書簡〕	大正13	1	2	団平	安高団兵衛	幸次郎様へ粗酒差し上げたく来訪を乞う、塩はやかましき物につき御入用ならば小生の名義にて海老津駅にてご購入あれ	紙	1	
V	27	51-1	〔封筒〕	〔大正12〕	5	1	宇佐郡龍王村　中村藤次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	51-2	〔書簡〕				弟	兄	鱸への礼状	紙	1	
V	27	52-1	〔封筒〕		11	24	鬼津　太田豊造	安高団兵衛	「親展」	封筒	1	
V	27	52-2	〔書簡〕	大正11	12	24	太田豊造	安高団平	山鹿の招待、風邪のため行けず	罫紙	1	
V	27	53-1	〔封筒〕				蘆屋町赤誠会	安高団兵衛		封筒のみ	1	V27-53-1～7の封筒は一括して封筒入り
V	27	53-2	〔封筒〕		8	23	遠賀郡蘆屋尋常高等小学校	粟屋　安高団平(ママ)		封筒のみ	1	
V	27	53-3	〔封筒〕				遠賀郡蘆屋尋常高等小学校	粟屋　安高団平(ママ)		封筒のみ	1	
V	27	53-4	〔封筒〕				蘆屋町教育会長	安高団兵ェ		封筒のみ	1	
V	27	53-5	〔封筒〕				遠賀郡蘆屋尋常高等小学校謝恩会	粟屋　安高団兵衛		封筒のみ	1	
V	27	53-6	〔封筒〕					安高団兵衛		封筒のみ	1	
V	27	53-7	〔封筒〕		1	9	蘆屋尋常高等小学校	粟屋　安高団兵衛		封筒のみ	1	
V	27	54-1	〔封筒〕	〔大正12〕	11	28	芦屋町山鹿　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	54-2	〔書簡〕		11	28	三村俊蔵	安高団兵衛	新築祝に対する返礼	継紙	1	
V	27	55-1	〔封筒〕				福岡県蘆屋郵便局	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「通信事務」	封筒のみ	1	
V	27	56-1	〔封筒〕			15	勧進元　芦屋東町青年会	粟屋区　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	56-2	〔書簡〕	大正12	9		東町青年会		9月17日神武社放生会素人相撲御案内	紙	1	印刷物
V	27	57-1	〔封筒〕	〔大正12	9	26〕	京都市東山　劇と映画社京都支社　二村貞雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	57-2	〔書簡〕						無事帰宅、今回の面会を喜ぶ	便箋	1	
V	27	58-1	〔封筒〕	大正12	7	14	糟屋郡山田村　河邉金吾	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「平信」	封筒	1	
V	27	58-2	〔書簡〕	〔大正12〕	7	14	河邉金吾	安高兄上様	農況報告、農業問題		1	
V	27	59-1	〔封筒〕				元松原　広渡たつの	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	59-2	〔書簡〕				たつの	御一同様江	ブタの受け取り延引願	便箋	1	
V	27	60-1	〔封筒〕		7	10	宇佐郡和間村　松原敏夫	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	60-2	〔書簡〕		7	10	敏夫	安高団兵衛様	時候伺	紙	1	
V	27	61-1	〔封筒〕	〔11〕	6	20	寂しき田舎の弟より	芦屋町粟屋安　高団兵衛	消印「佐賀・高□(平)」	封筒	1	
V	27	61-2	〔書簡〕	〔11〕	6	20	淋しき入野の弟ヨリ	お兄様　外御一同へ	二十五年来の早魃につき、見舞状	便箋	2	
V	27	62	〔封筒〕	〔2〕	4	27	遠賀郡山鹿　中村□次郎	芦屋町粟屋　安高団□□	「写真□□在中」とあり	封筒のみ	1	虫損大
V	27	62-1	〔封筒〕	〔8〕	3	7	沖縄県国頭郡本部村　松川亀吉	北方輜重兵大隊　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	62-2	〔書簡〕	〔8〕	3	8	亀吉	兄上様	除隊時の見送りのお礼など	継紙	1	継はずれ
V	27	63-1	〔封筒〕	8	3	8	彦山にて　手島米蔵	北方輜重兵十二大隊　安高上等兵殿		封筒	1	
V	27	63-2	〔書簡〕		3	2	手島米蔵	安高上等兵殿	在隊中のお礼	継紙	1	
V	27	64-1	〔封筒〕		2	20	北方小倉衛戍病院　金城幸助	小倉輜重兵第十二大隊上等兵安高団兵衛		封筒	1	
V	27	64-2	〔書簡〕	大正8	2	20	金城幸助	陸軍輜重兵伍長勤務上等兵　安高上等兵殿	入院中の見舞いの礼	継紙	1	継はずれ

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	27	65-1	〔封筒〕	8	3	7	出征第十二師団騎兵第十二聯隊第二中隊　和田助市	北方輜重兵第十二大隊第一中隊　安高団兵衛殿	「軍事郵便　川名」	封筒	1	
V	27	65-2	〔書簡〕		3	6	哈府兵舎内　和田助市	安高上等兵殿	シベリア出兵、ハバロフスクより近況	罫紙	1	
V	27	66-1	〔封筒〕				出征第十二師団騎兵第十二聯隊第一中隊　牧太二郎	北方輜重兵第十二大隊第一中隊　安高団兵衛殿	「軍事郵便　川名」	封筒	1	
V	27	66-2	〔書簡〕		3	1	在哈府　牧太二郎	安高上等兵殿	シベリア出兵、ブラゴの様子など	罫紙	2	
V	27	67-1	〔封筒〕		2	11	哈府第三野戦病院外科　森崎芳彦	第十二師団輜重第十二大隊第壱中隊　安高団兵衛殿	「軍事郵便」	封筒	1	
V	27	67-2	〔書簡〕				芳彦	安高殿	シベリア出兵、落馬して入院中、過激派軍との戦いの様子など	継紙	1	継はずれ
V	27	68-1	〔封筒〕	〔大正8〕	正月	4	於ハバロスク兵站監部　森崎芳彦	小倉第十二師団輜重第十二大隊第壱中隊第壱内務班　安高団兵衛殿	「軍事郵便」	封筒	1	
V	27	68-2	〔書簡〕	大正8	1	4	森崎芳彦	安高団兵衛	シベリア出兵、当地にて田中謙治君に面会、よろしくとの事。同期兵で凱旋したものがあればお知らせあれ	紙	1	
V	27	69-1	〔封筒〕	8	1	15	出征第十二師団歩兵十四聯隊第三大隊本部　古里亮吉	北方輜重兵第十二大隊第一中隊　阿〔ママ〕高団平〔ママ〕様	「軍事郵便」	封筒	1	
V	27	69-2	〔書簡〕		1	15	古里亮吉	阿〔ママ〕高上等兵殿	シベリア出兵、クラエスキ付近の戦いにも参加ハバロスクに到着、露営の苦労など	継紙	1	継はずれ
V	27	70-1	〔書簡〕		2	1	遠賀郡底井野村大字下大隈　西鉄ノ所内　鶴雄	北方輜重兵第十二大隊壱中隊伍長勤務上等兵　安高団兵衛殿				
V	27	70-2	〔書簡〕	〔大正8〕	2	1	前田	伍長勤務上等兵　安高団兵衛	伍長昇進の祝い、無事退営を待つ	継紙	1	継はずれ
V	27	71-1	〔封筒〕		1	8	宗像郡神湊町　永島伝三郎	北方輜重兵第十二大隊第一中隊兵器係　伍長勤務上等兵　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	71-2	〔書簡〕	大正8	1	8			伍長昇進の祝い、自身の除隊後の報告	紙	2	「呉服・綿布・雑貨商　永島商店用箋」
V	27	72-1	〔書簡〕		正月	25	出征第十二師団兵站監部　森崎芳彦	第十二師団輜重第十二大隊第壱中隊　安高団兵衛	「軍事郵便」			
V	27	72-2	〔書簡〕		正月	25	森崎芳彦	安高団兵衛	伍長昇進の祝い、我等現役兵の凱旋は4・5月くらいになるだろう	継紙	1	
V	27	73-1	〔封筒〕		3	25夜	博多中島町新道通り小島善次郎内　手島米蔵	北方輜重兵第十二大隊第一中隊第一内務班　安高団兵衛	「親展」	封筒	1	
V	27	73-2	〔書簡〕		3	25夜	手島米蔵	安高上等兵	在隊中の思い出、上等兵殿のご指導は一生忘却いたさず	便箋	4	
V	27	74-1	〔封筒〕	大正10	10	21	宇佐郡和間村　松原敏夫	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	74-2	〔書簡〕				松原敏夫	安高団兵衛	結婚祝の金子の礼	継紙	1	
V	27	75-1	〔封筒〕		8	10	宇佐郡竜王村　中村藤次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	75-2	〔書簡〕				中村	兄上様	弟死去の際の懇情に対する礼、形見を送る	罫紙	1	
V	27	76-1	〔封筒〕				朝鮮京城竜山漢江通参番地73号　S.Hori（堀祐世）	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	76-2	〔書簡〕	11	4	28	祐世	大正七年十二月ニ得た私の兄へ	ご結婚を祝すとともに御愛児と共に御栄を祈る。	便箋	2	ローマ字文の文書あり
V	27	77-1	〔封筒〕				朝鮮京城府漢江通三番地73号堀祐世	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
V	27	77-2	〔書簡〕	11	4	20	祐世	安高様	巡査奉職に関する噂に対して、返信された種々の弁明について	便箋	2	
V	28	1	〔観光写真集〕Scenic Folder						オーシャンパークとヴェニスの観光写真集	紙	1	封筒あり
V	28	2-1	〔観光写真集〕Scenic Folder						ロサンゼルスとその近辺の観光写真集	紙	1	封筒あり、綴り破損あり
V	28	2-2	〔メモ〕				〔安高団兵衛〕		運命の伸縮（一）（二）、退営者38名中善行証書受取者ほか	紙	4	
V	28	3	九州線汽車時間表	大正15	9		大阪市　駸々堂旅行案内部		住所氏名（芦屋町安高団兵衛）の記名有	書冊	1	印刷物、綴り補修あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
V	28	4	汽車及自動車発着時間表				芦屋町　小西自動車部		海水浴客を対象とした臨時自動車の宣伝ビラ	紙	1	印刷物
V	28	5	〔封筒〕						「一組　十銭」とあり	封筒	1	
V	28	5-1	〔年賀状〕							年賀状	1	印刷物、未使用
V	28	5-2	〔年賀状〕							年賀状	1	印刷物、未使用
V	28	5-3	〔年賀状〕							年賀状	1	印刷物、未使用
V	28	5-4	〔年賀状〕							年賀状	1	印刷物、未使用
V	28	5-5	〔年賀状〕							年賀状	1	印刷物、未使用
V	28	5-6	〔年賀状〕							年賀状	1	印刷物、未使用
V	28	5-7	〔年賀状〕							年賀状	1	印刷物、未使用
V	28	5-8	〔年賀状〕							年賀状	1	印刷物、未使用
V	28	5-9	〔年賀状〕							年賀状	1	印刷物、未使用
V	28	5-10	〔年賀状〕							年賀状	1	印刷物、未使用
V	28	6	〔上方いろはかるた〕						読み札か	紙	21	印刷物、ミニサイズ
V	28	7	〔答案用紙〕							紙	5	非公開
V	28	8	〔断簡〕									
W	1	1	〔封筒〕					芦屋町　安高団兵衛		封筒	1	1-1～1-7同封
W	1	1-1	〔葉書〕		9	30	遠賀郡香月町　木曽重義		県会議員当選の挨拶	葉書	1	
W	1	1-2	〔葉書〕	昭和9	1	元旦	福岡県遠賀郡香月町　木曽重義	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	1	1-3	〔葉書〕	昭和8	1	元旦	福岡県遠賀郡香月町　木曽重義	本郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	1	1-4	〔葉書〕	昭和9	盛夏		福岡県遠賀郡香月町岩崎炭坑　木曽重義	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中御見舞	葉書	1	
W	1	1-5	〔葉書〕	昭和6	8		福岡県遠賀郡香月町岩崎鉱業所　木曽重義	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中御見舞	葉書	1	
W	1	1-6	〔葉書〕	昭和7	盛夏		福岡県遠賀郡香月町　木曽重義	芦屋町　安高団兵衛	暑中御見舞	葉書	1	
W	1	1-7	〔電報〕	昭和6	9	21		アシヤアワヤ　ヤスタカダンペイ	キソキケン　タノム　セイユウカイケンシブ	電報	1	
W	1	2	〔書簡〕		8	24	吉谷荒士朗	安高先生	父死亡以来再々引き続き御厚志下さいまして有難く御礼申し上げます	紙	1	封筒あり
W	1	3	〔葉書〕	〔昭和7〕	〔1〕	〔1〕	千葉県東葛飾郡八幡町　大統社農業塾	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	日付は消印
W	1	4	〔葉書〕	紀元2593	1	元旦	宗像郡東郷町田熊　吉武弥太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	1	5	〔葉書〕	〔昭和9〕	1	元旦	吉武弥太郎	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年は消印
W	1	6	〔葉書〕	〔昭和7〕	1	元旦	福岡県蘆屋町　野田貫三	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年は消印
W	1	7	〔葉書〕	昭和5	盛夏		筑前芦屋町中之浜　野田貫三	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中御見舞	葉書	1	
W	1	8	〔葉書〕	昭和6	1	元旦	福岡県蘆屋町　野田貫三	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	1	9	〔葉書〕	〔昭和4〕	〔5〕	24	高内雄峰	芦屋町粟屋1205　安高団兵衛	突然帰京することになりましたから失礼します	葉書	1	年月は消印
W	1	10	〔葉書〕		12	23	東京市外瀧野川町大字瀧野川2103　油谷周次	福岡県遠賀郡粟屋村　安高団兵衛	小生当地滞在中は一方ならぬ御厄介に相成り誠に有難く厚く御礼申し上げます	葉書	1	
W	1	11	〔葉書〕	昭和6	1	元旦	大庭勝一	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	1	12	〔葉書〕	〔昭和6〕	1	1	丸田政則	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年は消印
W	1	13	〔葉書〕	〔昭和6〕	5	22	浜口　石川元太郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	先日は苗物沢山御運被下御厚情深謝	葉書	1	
W	1	14	〔葉書〕		1	元旦	石橋開蔵		年賀状	葉書	1	
W	1	15	〔書簡〕			4	開蔵	団兵衛尊兄	別封の品甚だ粗末なるものにて候も御厳父様晩酌の御肴にも供して下されば実に幸甚だに存じ候	紙	1	封筒あり
W	1	16	〔葉書〕	昭和5	1	元旦	石橋開蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	1	17	〔書簡〕		1	10	石橋開蔵　代筆	安高	御親切に御配慮を煩わし誠に有難く御礼申し上げます	紙	1	封筒あり
W	1	18	〔葉書〕			12	芦屋東町　石橋開造	芦屋町粟屋　安高団兵衛	日曜は甚だ失礼申し上げ候	葉書	1	
W	1	19	〔葉書〕	〔昭和5〕	9	8	芦屋町東町　石橋開蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	御仏前に御心配相かけまして何とも申し訳ございません	葉書	1	年は消印
W	1	20	〔葉書〕		10	1	芦屋町中の浜　石橋つもる	芦屋町粟屋　安高団兵衛	先日は主人までお世話になり大変ご馳走に預り御礼申し上げます	葉書	1	
W	1	21	〔葉書〕	〔昭和9〕	〔9〕	〔15〕	直方町　中川与五郎	遠賀郡芦屋町アワヤ　安高団兵衛	初盆でのお供え物深く御礼申し上げます	葉書	1	年月日は団兵衛メモ
W	1	22	〔葉書〕	紀元2593	1	元旦	福岡県蘆屋町　石橋開蔵	蘆屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	1	23	〔葉書〕			17	工業塾　石橋つもる	芦屋町粟屋　安高団兵衛	大根4斗桶の半分ばかり漬けたいと存じますがお分け頂けませんか	葉書	1	
W	1	24	〔葉書〕	紀元2594	1	元旦	福岡県蘆屋町大統社工業塾　石橋開蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	1	25	〔書簡〕		6	3	石橋開蔵	安高	お疲れ御体にもかかわらず御出下さいまして御餞別迄頂戴いたし御礼の言葉も存じません	罫紙	2	封筒あり
W	2	1	蘆屋町民諸君に告ぐ	〔昭和4〕	〔5〕		大統社代表　吉田三郎		大火からの蘆屋町復興の檄文	書冊	1	
W	2	2	〔中島気□講演要旨〕	〔昭和4〕			〔吉田三郎〕		大統社工業塾生徒に対する講演	綴	1	
W	2	3-1	〔封筒〕	昭和8	9	26	大統社代表　吉田三郎	安高団兵衛		封筒	1	
W	2	3-2	貧窮の老国士の邸を奪はんとする川崎財閥を駆るの檄				大統社代表　吉田三郎			紙	1	
W	2	4-1	〔封筒〕				大統社代表　吉田三郎	安高団兵衛		封筒	1	
W	2	4-2	檄	昭和8	8		大統社代表　吉田三郎		警視庁倉庫内の刀剣類の保全についての檄	紙	1	
W	2	5-1	〔封筒〕	昭和8	1	2	吉田三郎	安高団兵衛		封筒	1	
W	2	5-2	〔年賀挨拶〕	〔昭和8〕	1	2	吉田三郎	安高団兵衛		切紙	1	
W	2	6-1	〔封筒〕	昭和5	10	30	吉田つぎ	安高団兵衛		封筒	1	
W	2	6-2	〔書簡〕	〔昭和5〕	10	30	吉田内	安高	味噌の礼状	紙	2	
W	2	7-1	〔封筒〕	〔昭和5〕	4	8	吉田三郎	安高		封筒	1	
W	2	7-2	〔書簡〕				吉田三郎	安高	すぐれた稲種子の紹介	紙	6	
W	2	8-1	〔封筒〕	昭和5	2	8	吉田内	安高団兵衛		封筒	1	
W	2	8-2	〔書簡〕	〔昭和5〕	2	8	よした内	安高	お願いのおわび	継紙	1	
W	2	9-1	〔封筒〕	昭和5	2	25	吉田つぎ	安高団兵衛		封筒	1	
W	2	9-2	〔書簡〕	〔昭和5〕	2	24	よしだ内	安高	田舎味噌4斗樽2つお願い	継紙	1	
W	2	10-1	〔封筒〕	〔昭和5〕	〔1〕	29	吉田三郎	安高団兵衛		封筒	1	
W	2	10-2	〔書簡〕	〔昭和5〕	〔1〕	29	〔吉田〕三郎	安高	今般の事の御礼と杉浦重剛のものを別送の知らせ	紙	4	
W	2	11-1	〔封筒〕	〔昭和4〕	〔8〕	29	吉田三郎	安高団兵衛		封筒	1	
W	2	11-2	〔書簡〕				吉田三郎	安高、梅原	故郷の事情に関する書受取りの報告と帰省は困難 を知らせる	紙	3	
W	2	11-3	徴兵保険の栞				第一徴兵保険株式会社		裏面に手紙下書	紙	1	
W	2	12-1	〔封筒〕	〔昭和4	3〕	27	吉田三郎	安高団兵衛	親しき人のみに送付していまして未だ正式の公開 は致しませぬから御含み下さいの注記	封筒	1	
W	2	12-2	〔書簡〕						杉浦重剛五周年祭に井上博士を大統社同人が なぐった事に関する説明	綴	1	
W	2	13-1	〔封筒〕	〔昭和4〕	〔1〕	15	吉田三郎			封筒	1	
W	2	13-2	〔書簡〕	〔昭和4〕	〔1〕	15	〔吉田〕三郎	安高光覚	新年の挨拶および近況報告	継紙	1	
W	2	14-1	〔封筒〕	〔昭和3〕	〔12〕	〔14〕	工業塾　吉田三郎	安高		封筒	1	
W	2	14-2	〔書簡〕	〔昭和3〕	〔12〕	14	吉田三郎	安高光覚	新しい先生就任の餅つきへの招待	継紙	1	
W	2	15-1	〔封筒〕	昭和7	3	20	大道館長　今村貞治	安高団兵衛		封筒	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	2	15-2	〔書簡〕	昭和7	3	20	大道館長　今村貞治		大道館ならびに大道館武道専修学校移転挨拶	紙	1	
W	2	16-1	〔書簡〕						15に同じ			
W	2	16-2	〔書簡〕						15に同じ			
W	2	17-1	〔封筒〕	昭和8	10	19	大道館	安高団兵衛		封筒	1	
W	2	17-2	大道館設立趣意書	昭和8	10		大道館　今村貞治			紙	1	
W	2	17-3	〔大道館開館式案内状〕	昭和8	10		大道館　今村貞治			紙	1	
W	2	18-1	〔封筒〕				永嶋	安高団兵衛		封筒	1	
W	2	18-2	〔書簡〕		1	1	永嶋武雄	安高団兵衛	種子を使の者にお渡しを願う	継紙	1	
W	2	19-1	〔封筒〕	〔大同2〕	1	1		安高団兵衛		封筒	1	
W	2	19-2	〔書簡〕	癸酉	1	1	今村貞治		謹賀新年	紙	1	
W	2	20-1	〔封筒〕	〔大同3〕	1	1		安高団兵衛		封筒	1	
W	2	20-2	〔書簡〕	甲戌	1	1	今村貞治		謹賀新年	紙	1	
W	2	21	〔葉書〕	昭和7	7	28	吉田三郎	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	2	22	〔葉書〕	昭和8	1	1	吉田三郎	安高団兵衛	謹賀新年	葉書	1	
W	2	23	〔葉書〕	〔昭和5〕	11	7	吉田三郎	安高団兵衛	大統社農業塾　創設挨拶	葉書	1	
W	2	24	〔葉書〕	昭和6	1	1	吉田三郎	安高団兵衛	謹賀新年	葉書	1	
W	2	25	〔葉書〕	〔昭和5〕	8	10	〔吉田〕三郎	安高団兵衛	青島から挨拶	絵葉書	1	
W	2	26	〔葉書〕	〔昭和5〕	7	〔19〕	吉田三郎	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	2	27	〔葉書〕	〔昭和5〕	1	1	大統社代表　吉田三郎	安高団兵衛	謹賀新年	葉書	1	
W	2	28	〔葉書〕	昭和4	8		吉田三郎	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	2	29	〔葉書〕	昭和4	4	12	東京大統社	安高団兵衛	移転通知	葉書	1	
W	2	30	〔名刺〕				大統社代表　吉田三郎	安高光覚	明日訪問の予定　御都合を伺う	紙	1	
W	2	31	〔葉書〕	〔昭和4〕		30	〔吉田〕三郎	安高団兵衛	薩南大道館訪問の挨拶	絵葉書	1	
W	2	32	〔葉書〕	〔昭和4〕	1	1	吉田三郎	安高団兵衛	謹賀新年	葉書	1	
W	2	33	〔葉書〕	昭和6	正	1	小山□太郎	安高団兵衛	謹賀新年	葉書	1	
W	2	34	〔葉書〕	〔昭和6〕	1	1	大道館今村貞治	安高団兵衛	謹賀新年	葉書	1	
W	2	35	〔葉書〕				今村貞治	安高団兵ェ	戦禍は止み候へ共　日本人の働くは之から	葉書	1	
W	2	36	〔葉書〕				今村貞治	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	2	37	〔葉書〕	〔昭和5〕	8	〔22〕	中野亨	安高団兵衛	貴地滞在中のお礼	葉書	1	
W	2	38	〔葉書〕	辛未	1	1	中野亨	安高団兵衛	謹賀新年	葉書	1	
W	2	39	〔葉書〕	昭和7	1	1	中野亨	安高団兵衛	謹賀新年	葉書	1	
W	2	40	〔葉書〕	癸酉	1	1	中野亨	安高団兵衛	謹賀新年	葉書	1	
W	2	41	〔葉書〕	昭和9	1	1	大日社　中野亨	安高団兵衛	恭賀新年	葉書	1	
W	2	42	御中元				吉田三郎			袋のみ	1	
W	2	43	大八洲特選種壱□分	〔昭和5〕	4	〔11〕	富農協会			袋のみ	1	
W	2	44	受領票	昭和5	6	28	山水社書房		「巨人頭山満翁」書籍代	紙	1	
W	3	1	名士盟友ノ手紙							包紙	1	
W	3	2-1	〔封筒〕				町会議員候補者重岡徳十選挙事務所	安高団兵衛		封筒	1	
W	3	2-2	〔推薦状〕	〔昭和12〕	6	17	重岡本芳ほか7名	安高団兵衛	重岡徳十君ヲ町会議員ノ最適任者ト認メマシテ推薦	紙	1	「重岡徳十」の名刺入
W	3	2-3	〔名刺〕				重岡徳十			紙	1	
W	3	3-1	〔封筒〕				町会議員候補者入江清	安高団兵衛		封筒	1	
W	3	3-2	〔挨拶状〕	昭和12	6	20	候補者入江清	有権者各位	立候補の御挨拶	紙	1	
W	3	4-1	〔封筒〕				町会議員候補者佐多房太郎選挙事務所	安高団兵衛		封筒	1	
W	3	4-2	〔挨拶状〕	昭和12	6		候補者佐多房太郎	有権者殿	立候補の御挨拶	紙	1	
W	3	4-3	〔推薦状〕	昭和12	6		推薦者長門清治ほか14名	有権者殿	佐多房太郎君を最適任者として推薦	紙	1	
W	3	4-4	〔名刺〕				佐多房太郎			紙	1	
W	3	5-1	〔封筒〕				町会議員候補者亀津藤太郎選挙事務所	安高団兵衛		封筒	1	
W	3	5-2	〔挨拶状〕	昭和12	6		町会議員候補者亀津藤太郎	有権者殿	立候補の御挨拶	紙	1	
W	3	5-3	推薦状	昭和12	6		田中新ほか8名	有権者殿	亀津藤太郎君を推薦	紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	3	5-4	〔名刺〕				亀津藤太郎			紙	1	
W	3	6-1	〔封筒〕				町会議員候補者小野浅次郎	安高団兵衛		封筒	1	
W	3	6-2	〔挨拶状〕	昭和12	6	17	小野浅次郎	有権者各位	立候補の御挨拶	紙	1	
W	3	6-3	推薦状	昭和12	6		推薦者石松勝三郎ほか6名・友人中西長之助ほか5名	有権者殿	小野浅次郎君が最も適任者と思い推薦	紙	1	
W	3	6-4	〔名刺〕				小野浅次郎			紙	1	
W	3	7-1	〔封筒〕				町会議員候補者・安高一郎	安高団兵衛		封筒	1	
W	3	7-2	〔挨拶状〕	昭和12	6	19	町会議員候補者・安高一郎	有権者殿	立候補の御挨拶	紙	1	
W	3	7-3	〔挨拶状〕	昭和12	6	19	推薦者安高久米吉ほか9名	安高団兵衛	安高一郎君を最適任者と認め推薦	紙	1	
W	3	7-4	〔名刺〕				安高一郎			紙	1	
W	3	8-1	〔封筒〕				町会議員候補者三村俊蔵	安高福蔵・安高団兵衛・安高幸次郎		封筒	1	
W	3	8-2	御挨拶・推薦	昭和12	6	18	三村俊蔵・花田順平		立候補の御挨拶と三村俊蔵君の推薦	紙	1	
W	3	9-1	〔封筒〕				安高団兵衛			封筒	1	
W	3	9-2	〔葉書〕	昭和13	4		東京麹町区陸軍築城部本部陸軍工兵大尉　敷田正夫	安高団兵衛	3月31日陸軍築城部本部に転任	葉書	1	
W	3	9-3	〔葉書〕	〔昭和12〕	11	〔22〕	敷田正夫	安高団兵衛	目下第一中隊長として大いに奮闘	葉書	1	
W	3	9-4	〔葉書〕	昭和13	正		久留米工兵第十八連隊陸軍工兵大尉　敷田正夫・敷田艶子	安高団兵衛	謹賀新年	葉書	1	
W	3	9-5	〔葉書〕				敷田艶子	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
W	3	9-6	〔葉書〕				新原大久保部隊工兵大尉敷田正夫	安高団兵衛	出征の命下り司令部部員として本月18日出発	葉書	1	
W	3	9-7	〔葉書〕		10	21	久留米工兵第十八連隊留守隊第三中隊長陸軍工兵大尉　敷田正夫		本日九日無事入隊、元気に服務致居候	葉書	1	
W	3	10	〔葉書〕		11	23	吉谷荒士郎	安高団兵衛	居住中のお礼	葉書	1	
W	3	11	〔葉書〕	昭和13戊寅	正		中野　亨		謹賀新年	葉書	1	
W	3	12	〔葉書〕		1	1	門田善実	安高団兵衛	謹賀戦捷新春	葉書	1	
W	3	13	〔葉書〕	昭和13 皇紀2598	1	1	古賀恵啓	安高団兵衛	謹賀新年	葉書	1	
W	3	14	〔葉書〕	昭和12	12		石橋開蔵	安高団兵衛	服喪中に付年末年始の御挨拶遠慮申上候	葉書	1	
W	3	15	〔葉書〕	昭和13	1		洪水会本部黒山高麿	安高団兵衛	寒中御見舞	葉書	1	
W	3	16	〔葉書〕	昭和13 皇紀2598	1		吉谷荒士郎	安高団兵衛	恭賀新年	葉書	1	
W	3	17	〔葉書〕		1	1	永島武雄	安高団兵衛	謹賀新年	葉書	1	
W	3	18	〔葉書〕	昭和13	1	1	木曽重義		謹奉賀新年	葉書	1	
W	3	19-1	〔封筒〕	昭和11	盛夏		木曽重義	安高団兵衛	暑中見舞	封筒	1	
W	3	19-2	〔葉書〕					安高団兵衛		葉書	1	
W	3	20-1	〔封筒〕					安高団平		封筒	1	
W	3	20-2	〔葉書〕	昭和13	12		陸軍築城部本部陸軍工兵大尉敷田正夫		12月19日無事着任	葉書	1	
W	3	21-1	〔封筒〕					安高団兵衛		封筒	1	
W	3	21-2	〔葉書〕	昭和13	9		宇都宮憲兵隊本部陸軍憲兵少佐　門田善実		転任の御挨拶	葉書	1	
W	3	21-3	〔葉書〕		1		門田善実	安高団兵衛	謹賀新年	葉書	1	
W	3	22	〔葉書〕	昭和13	盛夏		大道館　今村貞治	安高団兵衛	暑中御見舞	葉書	1	
W	3	23	〔葉書〕		旧正		中支派遣湯原部隊気付・山下部隊　吉武弥太郎	安高団兵衛	新年の御挨拶	葉書	1	
W	3	24-1	〔封筒〕					安高団兵衛		封筒	1	
W	3	24-2	〔葉書〕	昭和14	4		大道館国民高等学校　今村貞治		開校式・入学式のお知らせ	葉書	1	
W	3	25	〔葉書〕		4	17	石橋開蔵	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
W	3	26	〔葉書〕		3	21	石橋開蔵	安高団兵衛	写真の焼増をお願い	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	3	27	〔葉書〕				選挙事務長　花田順平	安高団兵衛	推薦状に署名の件	葉書	1	
W	3	28	〔葉書〕	昭和11	1		矢野喜五郎	安高団兵衛	謹賀新年	葉書	1	
W	3	29	〔葉書〕	昭和11	1		塩田平兵衛	安高団兵衛	恭賀新年	葉書	1	
W	3	30	〔葉書〕				吉武弥太郎	安高団兵衛	祝電へのお礼	葉書	1	
W	3		〔葉書〕	昭和12	8	25	吉武弥太郎	安高団兵衛	時局の為応召	葉書	1	
W	3	32	〔葉書〕	昭和14	1		石橋開蔵	安高団兵衛	謹賀新年	葉書	1	
W	3		〔葉書〕	昭和14 己卯			黒山高麿	安高団兵衛	謹賀新年	葉書	1	
W	3	34	〔葉書〕	昭和14	1		大庭製作所	安高団兵衛	謹賀新年	葉書	1	
W	3	35	〔葉書〕	昭和14 己卯			中野　亨	安高団兵衛	賀正	葉書	1	
W	3	36	〔葉書〕	昭和14 己卯			中西儀助	安高団兵衛	聖戦迎三春	葉書	1	
W	3	37	〔葉書〕	昭和14	1		執行伊太郎	安高団兵衛	新春の御祝詞申上候	葉書	1	
W	3	38	〔葉書〕	昭和14	1		木曽重義	安高団兵衛	謹奉賀戦捷之新年	葉書	1	
W	3	39	〔葉書〕	昭和12	盛夏		石橋開蔵	安高団兵衛	暑中御見舞	葉書	1	
W	3	40	〔葉書〕	昭和12	8	22	佐世保海兵団第三分隊応召兵 川原浦武	安高団兵衛	本日差支なく入団	葉書	1	
W	3	41	〔葉書〕				吉武とし□□	安高団兵衛	新年の御挨拶	葉書	1	
W	3	42	〔葉書〕	昭和13 戊寅	1	1	石川元太郎	安高団兵衛	祷	葉書	1	
W	3	43-1	〔封筒〕	昭和12 皇紀2597	4	25	安高団兵衛	山田源太郎		封筒	1	
W	3	43-2	〔書簡〕	昭和12	4	25	山田源太郎	安高団兵衛	参男隆盛、宮地嶽神社へ遠足時にお世話になったことへのお礼	紙	5	
W	3	44-1	〔封筒〕				蘆屋町有志一同	安高団兵衛		封筒	1	
W	3	44-2	〔推薦状〕	昭和12	7	22	矢野喜五郎ほか17名及び蘆屋 町有志一同		長野政八氏を最適任者と認め推薦	紙	1	
W	3	45-1	〔封筒〕				関東陸軍倉庫新京支庫　伊豆清	安高団兵衛		封筒	1	
W	3	45-2	〔書簡〕		7	9	伊豆清	安高団兵衛	無事男子分娩の知らせ	罫紙	2	
W	3	46-1	〔封筒〕		6	7	大統社工業塾　吉谷荒士郎	安高団兵衛		封筒	1	
W	3	46-2	〔書簡〕		6	7	大統社工業塾　吉谷荒士郎	安高団兵衛	七周忌法要に際する御志に対して、粗菓一折御届	紙	1	
W	3	47-1	〔封筒〕				加藤慶太	安高団兵衛		封筒	1	
W	3	47-2	〔書簡〕	〔昭和12〕	5	23	加藤慶太	安高団兵衛	『福日』記事拝見と桑葉の分与方御世話の依頼	紙	1	
W	3	48	〔封筒〕				蘆屋仏教連合会	安高団兵衛	封筒のみ	封筒	1	
W	3	49-1	〔封筒〕		8	12	石橋開蔵	安高団兵衛		封筒	1	
W	3	49-2	〔書簡〕		8	12	石橋開蔵代筆	安高	御立寄の際の御みやげ、お供物料などに対するお礼	紙	1	
W	3	50-1	〔封筒〕				大統社工業塾　石橋開蔵	安高団兵衛		封筒	1	
W	3	50-2	〔書簡〕				石橋	安高仁兄	選挙に際し援助のお願い	紙	1	
W	3	51	薄謝　南吉富村						包紙のみ	包紙	1	破損
W	3	52-1	〔封筒〕	〔昭和13〕	〔10〕	〔24〕		安高団平（ママ）		封筒	1	
W	3	52-2	〔葉書〕	昭和13	10	24	長野政八ほか4名		葬儀の通知	葉書	1	
W	3	53-1	〔封筒〕	昭和11	10	12	岡之浦化粧廻披露・相撲事務所	安高団兵衛		封筒	1	
W	3	53-2	〔御礼状〕		10	12	主催大統社工業塾・岡之浦吉田 金太郎		化粧廻披露大相撲に際するお礼	紙	1	
W	3	53-3	拝受証	昭和11	10	11	岡之浦化粧廻披露・相撲事務所	安高団兵衛	金5円	紙	1	
W	3	54-1	〔封筒〕	昭和11	9	25	岡之浦化粧廻披露・相撲事務所	安高団兵衛		封筒	1	
W	3	54-2	〔挨拶状〕		9	25	岡之浦事　吉田金太郎		化粧廻披露の相撲開催	紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	3	54-3	〔案内状〕		9	25	主催大統社工業塾、後援団体蘆屋町消防組ほか4団体、後見人小田利三郎ほか		化粧廻披露大相撲来る10月11日挙行	紙	1	
W	3	55-1	〔書簡〕				大統社工業塾	安高団兵衛		紙	1	
W	3	55-2	〔書簡〕		1	14	大庭延治	安高団兵衛	金参拾円のうち本日拾五円返却、残金は今暫くの猶予をお願い	罫紙	1	
W	3	56-1	〔封筒〕	昭和12	2	4	大統社工業塾	安高団兵衛		封筒	1	
W	3	56-2	〔書簡〕	昭和12	2	4	大庭延治	安高団兵衛	未返却金15円を同封	罫紙	1	
W	3	57-1	〔封筒〕				大庭延治（大統社工業塾）	安高団兵衛		封筒	1	
W	3	57-2	〔書簡〕		11	26	大庭延治	安高団兵衛	金30円貸与のお願い	紙	1	
W	3	58-1	〔封筒〕	昭和11	11	27	大統社工業塾	安高団兵衛		封筒	1	
W	3	58-2	〔書簡〕		12	27	大庭延治	安高団兵衛	金員30円同封	罫紙	1	
W	3	59-1	〔封筒〕	12	3	29	本田虎雄	安高団兵衛		封筒	1	
W	3	59-2	〔書簡〕		3	28	虎雄	安高団兵衛	明治35・36・37年の暦があるならば拝借をお願い	罫紙	1	
W	3	60-1	〔包紙〕				日本化学工業株式会社大阪支店	高安〔ママ〕団兵衛		包紙	1	
W	3	60-2	日肥ニュース	昭和12	8	1	日本化学工業株式会社大阪支店		8月号（第19号）	新聞	1	
W	3	61	〔葉書〕	〔昭和11〕	〔10〕	〔2〕	大統社工業塾	安高団兵衛	間引菜頂戴の件	葉書	1	
W	3	62	〔葉書〕	〔昭和11〕	〔10〕	〔16〕	敷田正夫	安高団兵衛	国防婦人会勧誘の件	葉書	1	
W	3	63	〔葉書〕		9		吉谷荒士朗	安高団兵衛	沢庵清田大根ぼうぼう漬込時期にて例年通り御高配被下度候	葉書	1	
W	3	64	〔葉書〕			26	大庭延治	安高団兵衛	御厚志臭に有難御礼申上候	葉書	1	
W	4	1	〔封筒〕				大日本帝国福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	Mrs.Maki Ataka 2022 Pine Street San Francisco California U.S.A		封筒	1	1-1～1-2同封
W	4	1-1	〔書簡〕	昭和15	7	9	安高まき	安高団兵衛	父母上様御家内様、私の方もみな達者でぼつぼつ働いていますので安心して下さい	罫紙	3	
W	4	1-2	〔書簡〕	昭和15	7	9	安高まき	安高団兵衛	安高りきの様、私の方もみな達者でぼつぼつ働いていますので安心して下さい	罫紙	2	
W	4	2	〔書簡〕	昭和4	10	27	芦屋町田屋　重岡本芳	安高福造	借用証作製延引いたし申し訳ございません。別紙借用証お送りいたします	罫紙	1	封筒あり
W	4	3	〔書簡〕	〔昭和11〕	9	28	大分県宇佐郡龍王村　中村藤次郎	安高団兵衛	朔日は亡父母の仏前へ御金お送り下され有難く厚く御礼申し上げます	罫紙	3	封筒あり
W	4	4	〔葉書〕	昭和12	10	9	大分県宇佐郡龍王村　中村藤次郎	安高団兵衛	粗末な品を本日少しお送りいたします。両親のかたみのしるしです	葉書	1	
W	4	5	〔葉書〕	〔昭和11〕	10	21	大分県宇佐郡龍王村　中村藤次郎	安高団兵衛	父母のかたみのしるしお送りいたしました。万一着がない様でしたら御手数ながらお知らせ下さい	葉書	1	
W	4	6	〔葉書〕	昭和12	1	1	大分県宇佐郡龍王村　中村藤次郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	4	7	〔書簡〕	〔昭和12〕	9	12	大分県宇佐郡龍王村　中村藤次郎	安高団兵衛	主婦の友5月号に兄様御一家の世の中のお手本と成る様な記事が出ておりました	罫紙	4	封筒あり
W	4	8	〔書簡〕	昭和10	9	12	米国加州桑港パエン街2158 安高マキ	安高団兵衛	弟の繁次郎さんが6月にお出でになりました	罫紙	3	
W	4	9	〔葉書〕	〔昭和11〕	〔1〕	〔1〕	〔安高マキ〕	安高団兵衛	加州桑港公認日米証券株式会社。塩谷喜一郎の年賀状	葉書	1	封筒あり
W	4	10	〔葉書〕	〔昭和12〕	6	7	特攻艦佐多第4分隊　安高重二琅	安高団兵衛	ポストカード	葉書	1	
W	4	11	〔書簡〕	昭和11	3	28	米国加州桑港　安高マキ	御家内・父上・母上	昨年12月に弟の繁治郎さんがお見えになり、父母上様のことずけたお餅やゴマなどを下さいましてありがとうございます	罫紙	6	封筒あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	4	12	〔書簡〕	〔昭和11〕	9	21	米国加州桑港　塩谷喜一郎	安高福蔵	ご依頼旁々平木喜三郎様ご紹介	罫紙	1	封筒あり
W	4	13	〔書簡〕	昭和12	1	7	福岡県遠賀郡中間昭和町天本商店	安高団兵衛	宗像郡の方面に壱町五反約束申居り相場も安価	罫紙	1	封筒あり
W	4	14-1～7	〔封筒〕	〔昭和12〕			福岡県遠賀郡芦屋町立青年学校	安高団兵衛		封筒	1	1-1～1-7同封
W	4	14-1	記	昭和11	3	12	山口県〔俵〕山温泉　山口屋	安高団兵衛	23円28銭受取	領収書	1	
W	4	14-2	仕切書	昭和11	1	23	直方青果市場株式会社	安高	白菜5円59銭、大根52銭	紙	1	
W	4	14-3	〔住所録〕						出利・木村、計13人の住所記載	紙	1	
W	4	14-4	〔雑誌代金払込請求書〕				財団法人軍人会館事業部		雑誌『戦友我が家』代金は12月号をもって前金切れとなります	紙	1	
W	4	14-5	奉安殿建設費概算書					〔安高団兵衛〕	収入金額、支出金額記載	紙	1	
W	4	14-6	〔メモ紙〕						安高宇多子、団兵衛、福蔵生年月日及び〔宇多子死亡日時〕記載	紙	1	
W	4	14-7	〔電報頼信紙〕						未記入	電報	1	
W	4	15-1～2	〔封筒〕				財団法人軍人会館出版部	安高団兵衛		封筒	1	1-1～1-2同封
W	4	15-1	〔雑誌代金払込請求書〕				軍人会館出版部	安高団兵衛	雑誌『戦友我が家』代金は1月号をもって前金切れとなります	紙	1	
W	4	15-2	〔払込通知書〕				軍人会館出版部	安高団兵衛	未使用	紙	1	
W	4	16-1～2	〔封筒〕				財団法人軍人会館出版部	安高団兵衛		封筒	1	1-1～1-2同封
W	4	16-1	〔雑誌広告〕				軍人会館出版部	安高団兵衛	「戦友」「我が家」雑誌の広告	紙	1	
W	4	16-2	〔雑誌代金払込請求書〕				軍人会館出版部	安高団兵衛	雑誌『戦友我が家』代金は1月号をもって前金切れとなります	紙	1	
W	4	17	〔書簡〕	昭和11	11	9	Haney.Ble.Canada　広渡卯壮	安高団兵衛	昭和11年5月発行の主婦の友に貴殿御奮闘の記事が掲載されているとのこと、何度も読んでは家内一同が喜んだのであります	紙	2	封筒あり
W	4	18	〔書簡〕	昭和11	12	29	平木夫婦	安高御一同	福岡市浜田町1丁目に仮住まいしております	罫紙	1	封筒あり
W	4	19	〔書簡〕	昭和11	11	1	ロサンゼルスシティ　本田	安高団兵衛	去る5月主婦の友で委しい御日常の御活動ぶりを拝読いたしました	罫紙	2	封筒あり
W	4	20-1～2	〔封筒〕	昭和12	1	1	サンフランシスコ　塩谷喜一郎・マキ	安高団兵衛		封筒	1	1-1～1-2同封
W	4	20-1	〔ポストカード〕	昭和12	1	1	サンフランシスコ　塩谷喜一郎・マキ	安高団兵衛	新年の挨拶、近況報告お慶び目出度く申し上げ舞す（裏面はSAN FRANCISCO-OAKLAND BAY BRIDGE）	葉書	1	
W	4	20-2	〔ポストカード〕	昭和12	1	1	サンフランシスコ　塩谷喜一郎・マキ	安高団兵衛	新年の挨拶、近況報告お慶び目出度く申し上げ舞す（裏面はSAN FRANCISCO-OAKLAND BAY BRIDGE　LOOKING TOWARD SAN FRANCISCO FROM BRIDGE TOWER）	葉書	1	
W	4	21	〔書簡〕	昭和13	8	3	北米合州国加州桑港　安高マキ	父母上・御家内	おたよりありませんがどうしておりますでしょうか	罫紙	3	封筒あり
W	4	22	〔書簡〕	昭和15	3	26	北米合衆国加州桑港　塩谷マキ	父母上・御家内	この3月15日の浅間丸にて芦屋町の大木さんの姪にあたる娘さんが御帰りになりました	罫紙	6	封筒あり
W	4	23	〔書簡〕	昭和15	3	26	北米合衆国桑港パイン街2158　塩谷喜一郎	安高福蔵・御家内御一同	この機会に御両親御御見舞のため是非錦地へ参上の心組であります	罫紙	2	封筒あり
W	4	24	〔書簡〕	昭和14	6	23	北米加州サンフランシスコ市1634　安高マキ	父母上・御家内	仕事のないお方がたくさんありますけど、私はお陰さまで仕事をもっております	罫紙	6	封筒あり
W	4	25	〔書簡〕	昭和14	8	16	北米合衆国加州桑港　塩谷マキ	父母上・御家内	父母上様二人で佐世保に博覧会見物にお出でになりましたそうですね	罫紙	6	封筒あり
W	4	26	〔書簡〕	昭和14	8	21	桑港日米証券株式会社東京支店	安高福蔵	郵便小為替同封35円77銭	罫紙	1	封筒あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	4	27	〔書簡〕	皇紀2599	9	21	佐世保市松川町216　安高重治郎	安高団兵衛	満期になれば何か記念品を区内や親類には配らなくてはならぬでしょうからどんな品を配るかその品名と数量を知らせて下さいませんか	罫紙	2	封筒あり
W	4	28	〔書簡〕	昭和14	9	1	佐世保市松川町216　安高すま子	兄上（安高団兵衛）	海軍病院に行きましたが軍医さんが魚つりばかりであまりうてあってくれません	罫紙	3	封筒あり
W	4	29	〔書簡〕	昭和14	11	15	黒崎駅前　広渡立野	安高団兵衛	本月6日より秋の取り入れでさぞ忙しいでしょう	罫紙	3	封筒あり
W	4	30	〔葉書〕	昭和14	11	17	八幡市黒崎西岡田町　広渡喜一郎	安高団兵衛	起業祭、歓送等への御礼	葉書	1	
W	4	31	〔書簡〕	皇紀2599	11	5	佐世保市松川町　安高重二郎	安高団兵衛	退院見舞への御礼ほか退院後は毎日病院に通って治療を致しております、今より悪くさえなりませんでしたら不自由はありません	紙	1	封筒あり
W	4	32	〔葉書〕	昭和12	5	17	特務艦佐多　安高重二郎	安高団兵衛	私は元気に5月13日佐世保に帰りました	葉書	1	
W	4	33	〔書簡〕	昭和12	4	23	特務艦佐多　安高重二郎	御一同	18日旅順を出て21日佐世保に着きました。また、24日には徳山、舞鶴、横須賀、大阪方面に出ます	罫紙	2	封筒あり
W	4	34	〔書簡〕	昭和12	3	31	特務艦佐多第四分隊　安高重二郎	御両親	いよいよ明日は呉、徳山、鎮海、旅順に向います	罫紙	1	封筒あり
W	4	35	〔書簡〕	昭和12	3	7	特務艦佐多第四分隊　安高重二郎	安高団兵衛	アメリカからの近況報告	罫紙	2	封筒あり
W	4	36	〔書簡〕	昭和12	2	19	特務艦佐多第四分隊　安高繁治郎	安高団兵衛	サンフランシスコからの近況報告	罫紙	3	封筒あり
W	4	37	〔葉書〕	昭和12	1	1	特務艦佐多第四分隊　安高繁治郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	4	38	〔封筒〕							封筒	1	38-1～38-2同封
W	4	38-1	再現役同意書	昭和11	12	15	福岡県遠賀郡蘆屋町大字蘆屋戸主某	佐多特務艦長　森国造	海軍一等兵機関兵安高繁治郎　右ノ者再現役志願ニ同意候也	紙	1	
W	4	38-2	〔書簡〕	昭和11	12	10	安高繁治郎	兄上	再現役志願せねばなりませぬが戸主の同意書が要るそうですから書式と様式を同封しておきますから着き次第書いて私宛に送って下さい	罫紙	1	
W	4	39	〔書簡〕	昭和11	10	10	佐世保第三船渠佐多安高繁治郎	安高団兵衛	一晩泊まりでも帰ろうと思っております	罫紙	1	封筒あり
W	4	40	〔書簡〕	昭和11	1	3	特務艦佐多第四分隊　安高繁治郎	安高団兵衛	入港と共にお便り楽しみにしておりましたが一本のお便りにも接することができず淋しい感が致しました	罫紙	1	封筒あり
W	4	41	〔書簡〕	昭和11	7	3	特務艦佐多第四分隊　安高繁治郎	安高団兵衛	いよいよ明日午後出港です	罫紙	2	封筒あり
W	4	42	〔葉書〕	昭和11	6	24	特務艦佐多第四分隊　安高繁治郎	安高団兵衛	午後3時14分無事佐世保着致しました	葉書	1	
W	4	43	〔書簡〕	昭和9	10	3	特務艦佐多　安高繁治郎	安高団兵衛	火鉢は本日受取りて発送致します故11月1日午前中には海老津に着く予定	罫紙	2	封筒あり
W	4	44	〔簡易書簡〕	昭和10	10	4	特務艦佐多四　安高繁治郎	安高団兵衛	佐世保にて	簡易葉書	1	
W	4	45	〔葉書〕	〔昭和10〕	11	14	特務艦佐多第四分隊　安高繁治郎	安高団兵衛	光にて　16日米国向け出発	葉書	1	
W	4	46	〔葉書〕	昭和11	4	11	特務艦佐多第四分隊　安高繁治郎	安高団兵衛	本日佐世保出港	葉書	1	
W	4	47	〔葉書〕	〔昭和11〕	3	17	特務艦佐多第四分隊　安高繁治郎	安高団兵衛	今日鎮海入港	葉書	1	
W	4	48	〔葉書〕	〔昭和11〕	1	31	特務艦佐多第四分隊　安高繁治郎	安高団兵衛	佐世保帰着、帰船	葉書	1	
W	4	49	〔書簡〕	昭和11	3	30	特務艦佐多第四分隊　安高繁治郎	安高団兵衛	在米国の姉安高マキ手紙を同封	罫紙	6	封筒あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	4	50	〔書簡〕	昭和10	12	10	羅府より特務艦佐多第四分隊 安高繁治郎	安高団兵衛	12月11日ロスアンゼルス入港予定	罫紙	2	封筒あり
W	4	51	〔葉書〕	〔昭和11〕	11	1	特務艦佐多第四分隊 安高繁治郎	安高団兵衛	母港帰着	葉書	1	
W	4	52	〔書簡〕	〔昭和11〕	8	31	佐世保泊特務艦佐多 安高繁治郎	安高団兵衛	第二回目の航海で新鮮な塩鮭を少し直輸入しましたから近日中に送ります	罫紙	2	封筒あり
W	4	53	〔葉書〕	〔昭和11〕	10	19	特務艦佐多第四分隊 安高繁治郎	安高団兵衛	帰着御礼	葉書	1	
W	4	54	〔書簡〕	〔1936〕	5	12	羅府にて特務艦佐多第四分隊 安高繁治郎	安高団兵衛	ロス滞在報告、本田宅にて	罫紙	3	封筒あり
W	4	55	〔書簡〕	昭和11	5	9	北米羅府 安高繁治郎	安高団兵衛	安高繁治郎写真〔S10.3.28撮影〕同封	罫紙	1	封筒あり
W	4	56	〔葉書〕	昭和11	6	19	柴田運送店	安高団兵衛	貨物到着通知	葉書	1	
W	4	57	〔葉書〕	昭和11	5	24	安高繁治郎	安高団兵衛	ハワイのホノルル到着の件	葉書	1	
W	4	58	〔葉書〕	昭和11	〔7〕	〔31〕	安高繁治郎	安高団兵衛	暑中御見舞	葉書	1	
W	4	59	〔書簡〕	〔昭和14〕	9	7	安高繁治郎	安高団兵衛	帰省の御礼と佐世保無事帰着のこと	一紙	1	封筒あり
W	4	60	〔書簡〕	〔昭和11〕	9	28	安高繁治郎	安高団兵衛	近況報告	一紙	3	封筒あり
W	4	61	〔書簡〕	〔昭和11〕	1	22	安高繁治郎	安高団兵衛	航海中の近況	一紙	3	封筒あり
W	4	62	〔書簡〕	〔昭和〕	〔3〕	〔31〕	広渡立野	安高団兵衛、リキノ	近況報告	一紙	3	封筒あり
W	4	63	〔書簡〕	昭和12	3	28	本田	安高団兵衛	年賀状のお礼、近況報告	一紙	3	封筒あり
W	4	64	〔書簡〕	〔昭和〕	2	25	重岡芳子	安高団兵衛	近況報告	一紙	1	封筒あり
W	4	65	〔葉書〕	〔昭和11〕	〔10〕	〔26〕	安高繁治郎	安高福蔵	27日神戸で観艦式挙行の件通知	葉書	1	
W	4	66	〔書簡〕	〔昭和12〕	7	12	安高重二琅	安高団兵衛	12日夕刻北支に出兵するとの通知	書簡	1	封筒あり
W	4	67	〔書簡〕	〔昭和〕	3	25	安高重二琅	安高団兵衛	本日佐世保に入港無事とのこと	書簡	1	封筒あり
W	4	68	〔書簡〕	〔昭和〕	3	27	カモメ会	安高繁次郎、御家族	出征軍人家族慰安舞踊の夕	一紙	1	封筒あり
W	4	69	〔葉書〕	〔昭和14〕	〔1〕	〔27〕	安高重二琅	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
W	4	70	〔葉書〕	〔昭和〕14	4	10	安高スマ子	安高恵美子	女子青年学校入学のお祝い	葉書	1	
W	4	71	〔書簡〕	昭和14	3	2	安高重二琅	安高団兵衛	節酒のこと守っているとのこと、近況報告	一紙	3	封筒あり
W	4	72	〔書簡〕	〔昭和〕	3	3	安高スマ子	安高団兵衛	芦屋に滞在した時のお礼	一紙	2	封筒あり
W	4	73	〔書簡〕	〔昭和〕	2	11	安高重二琅・スマ子	安高団兵衛	返信、近況報告ほか仲人へのお歳暮の件	一紙	4	封筒あり
W	4	74	〔祝儀袋〕							袋	1	
W	4	75	〔封筒〕				安高団兵衛選挙事務所		表に「蘆屋町百姓町花田順平殿」と墨書	封筒	1	
W	4	76	〔封筒〕						表に「のし御祝儀安高団兵衛」とペン書	封筒	1	
W	4	77	〔封筒〕	〔昭和〕	1	23	安高スマ子	安高団兵衛	近況報告	一紙	3	封筒あり
W	4	78	〔書簡〕	〔昭和14〕	2	24	小島頼男	安高団兵衛	近況報告	一紙	2	封筒あり
W	4	79	〔書簡〕	〔昭和13〕	8	17	安高重二琅	安高団兵衛	近況報告、伺い	一紙	2	封筒あり
W	4	80	〔葉書〕	〔昭和13〕	〔10〕	〔26〕	安高重二琅	安高団兵衛	10月18日付手紙が着いたかどうか確認	葉書	1	
W	4	81-1	〔書簡〕				安高スミ子	安高団兵衛	支那事変博覧会開催の通知、近況報告	一紙	3	(81-1～3は同じ封筒にあり)
W	4	81-2	〔書簡〕	昭和14	4	19	安高重二琅	安高団兵衛	支那事変博覧会開催の件	一紙	2	
W	4	81-3	〔書簡〕	〔昭和14〕	3	24	安高重二琅・スマ子	安高団兵衛	異動届、満期延期について	一紙	2	
W	4	82	〔書簡〕	〔昭和〕13	10	18	安高重二琅	安高団兵衛	近況報告、伺	一紙	2	封筒あり
W	4	83	〔書簡〕	昭和13	12	22	安高重二琅	安高団兵衛	近況報告	一紙	2	封筒あり
W	4	84	〔書簡〕				栗屋 安高団兵衛		「婚礼客事献立壱月参日」、仲媒人書上	一紙	2	封筒あり
W	4	85	〔書簡〕	〔昭和13〕	12	23	安高重二琅	安高福蔵	入江スマ子の身分証明発行の領収証	一紙	1	封筒あり
W	4	86-1	〔書簡〕	〔昭和〕	12	17	安高重二琅	安高団兵衛	結婚の客事について	一紙	1	封筒あり
W	4	86-2	普通着仕立上寸法						普通着仕立の寸法書上他	一紙	1	封筒あり
W	4	87	〔封筒〕	〔昭和14〕	〔2〕	〔15〕	遠賀村役場			封筒	1	
W	4	88	〔書簡〕	昭和14	1	11	安高重二琅	安高団兵衛	婚姻のお礼	一紙	2	封筒あり
W	4	89	〔書簡〕	〔昭和14〕	1	6	安高スマ子	安高団兵衛	婚姻のお礼	一紙	3	封筒あり
W	4	90	〔書簡〕	〔昭和〕	11	2	安高重二琅	安高団兵衛	結婚相手の希望を通知	一紙	3	封筒あり
W	4	91	〔封筒〕				遠賀郡山鹿尋常小学校		表に「安高団兵衛殿」と墨書	封筒	1	
W	4	92	〔葉書〕	〔昭和13〕	10	29	安高重二琅	安高福蔵	神経痛療法について	葉書	1	
W	4	93	〔書簡〕	〔昭和13〕	12	5	安高重二琅	安高団兵衛	年内に結婚を決めたい旨の内容	一紙	2	封筒あり
W	4	94-1	〔封筒〕	昭和12	六□		安高団兵衛	本田専兵衛		封筒	1	
W	4	94-2	〔封筒〕				井地廉之助	安高	「御礼」の封筒	封筒	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	4	94-3	〔封筒〕					本田専兵衛		封筒	1	
W	5	1	〔絵葉書〕	〔昭和〕17	1	10	新野重喜	安高団兵衛	小生軍務精励、休心されたし	葉書	1	
W	5	2	〔葉書〕	〔昭和〕17	2	18	本田仲雄	安高団兵衛	安高君へ僕の部隊名を知らせてほしい	葉書	1	
W	5	3	〔葉書〕	〔昭和〕17	6	4	門司庫雄	安高団兵衛	藤吉君元気に軍務に奮闘、第一期間優秀な成績で終了	葉書	1	
W	5	4	〔葉書〕	〔昭和〕17	6	15	三木春男	安高団兵衛	来信礼状	葉書	1	
W	5	5	〔葉書〕	〔昭和〕17	7	23	大足近一	安高団兵衛	転任挨拶	葉書	1	
W	5	6	〔葉書〕	〔昭和〕17	7	27	本田国雄	安高団兵衛	自分軍務精進報告	葉書	1	
W	5	7	〔葉書〕	〔昭和〕17	8	17	古野彦市	安高団兵衛	弔問および供物お礼	葉書	1	
W	5	8	〔葉書〕	〔昭和〕17	8	19	中西徳男	安高団兵衛	海兵団入団のため芦屋町農会辞職挨拶	葉書	1	
W	5	9	〔絵葉書〕	〔昭和〕17	7	2	和田清	安高団兵衛	中支より近況報告	葉書	1	
W	5	10	〔葉書〕	〔昭和〕17	8	31	太田秀夫	安高団兵衛	南方よりの戦況報告	葉書	1	
W	5	11	〔葉書〕	〔昭和〕17	9	2	太田秀雄	安高団兵衛	来信お礼、近況報告	葉書	1	
W	5	12	〔葉書〕	〔昭和〕17	9	2	木原三郎	安高団兵衛	入隊挨拶	葉書	1	
W	5	13	〔葉書〕	〔昭和〕17	9	6	門司庫雄	安高団兵衛	藤吉君元気で軍務に邁進	葉書	1	
W	5	14	〔葉書〕	〔昭和〕17	7	6	□節徳	安高団兵衛	北支より近況報告	葉書	1	
W	5	15	〔絵葉書〕	〔昭和〕17	9	17	和田清	安高団兵衛	中支より近況報告	葉書	1	
W	5	16	〔葉書〕	〔昭和〕17	9	19	中西徳男	安高団兵衛	海兵団入団挨拶	葉書	1	
W	5	17	〔葉書〕	〔昭和〕17	9	17	小野寿一	安高団兵衛	海兵団入団挨拶	葉書	1	
W	5	18	〔葉書〕	〔昭和〕17	10	4	吉田徳蔵	安高団兵衛	芦屋町翼賛壮年団より礼状	葉書	1	
W	5	19	〔葉書〕	〔昭和〕17	10	6	守田一男	安高団兵衛	入営挨拶	葉書	1	
W	5	20	〔葉書〕	〔昭和〕17	10	11	門司庫雄	安高団兵衛	来信お礼、近況報告	葉書	1	
W	5	21	〔葉書〕	〔昭和〕17	10	13	三木春男	安高団兵衛	暴風お見舞い	葉書	1	
W	5	22	〔葉書〕	〔昭和〕17	10	14	重岡本芳	安高団兵衛	法事案内	葉書	1	
W	5	23	〔葉書〕	〔昭和〕17	10	16	本田太郎	安高団兵衛	ビルマより近況報告	葉書	1	
W	5	24	〔葉書〕	〔昭和〕17	10	25	重岡本芳	安高団兵衛	着京のしらせ、留守中依頼	葉書	1	
W	5	25	〔葉書〕	〔昭和〕17	10	27	門司庫雄	安高団兵衛	帰郷中の礼状	葉書	1	
W	5	26	〔葉書〕	〔昭和〕17	11	3	重岡本芳	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	検閲塗りつぶし箇所あり
W	5	27	〔葉書〕	〔昭和〕17	11	16	佐野武男	安高団兵衛	入隊挨拶	葉書	1	
W	5	28	〔葉書〕	〔昭和〕17	11	18	木原三郎	安高団兵衛	満州よりの近況報告	葉書	1	
W	5	29	〔葉書〕	〔昭和〕17	11	22	縄田益三	安高団兵衛	除隊および遠賀村農会勤務挨拶	葉書	1	
W	5	30	〔絵葉書〕	〔昭和〕18	1	7	大橋富一	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	
W	5	31	〔葉書〕	〔昭和〕18	1	8	太田秀雄	安高団兵衛	馬来よりの近況報告	葉書	1	
W	5	32	〔葉書〕	〔昭和〕18	1	12	□□一男	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	
W	5	33	〔葉書〕	〔昭和〕18	1	17	吉津市次	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	
W	5	34	〔葉書〕	〔昭和〕18	2	3	広渡タツノ	安高団兵衛	来る2月6日昼招待	葉書	1	
W	5	35	〔葉書〕	〔昭和〕18	2	10	早川万次郎	安高団兵衛	帰郷中の礼状、帰台報告	葉書	1	
W	5	36	〔葉書〕	〔昭和〕18	2	10	黒山武彦	安高団兵衛	神武天皇社紀元節祭典および大東亜戦争完遂祈願祭典案内	葉書	1	
W	5	37	〔葉書〕	〔昭和〕18	2	10	黒山武彦	安高団兵衛	神武天皇社祈年祭祭典案内	葉書	1	
W	5	38	〔葉書〕	〔昭和〕18	1	19	広渡活身	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	
W	5	39	〔葉書〕	〔昭和〕18	2	14	安高福蔵	安高団兵衛	鉄輪到着報告	葉書	1	
W	5	40	〔葉書〕	〔昭和〕18	3	6	小野重吉	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	
W	5	41	〔葉書〕	〔昭和〕18	3	11	安高すま子	安高団兵衛	薬調合のための蜂蜜購入依頼	葉書	1	41・42は2葉で一文
W	5	42	〔葉書〕	〔昭和〕18	3	11	安高すま子	安高団兵衛	薬調合のための蜂蜜購入依頼	葉書	1	41・42は2葉で一文
W	5	43	〔葉書〕	〔昭和〕18	3	11	太田秀雄	安高団兵衛	新年の挨拶、近況報告	葉書	1	
W	5	44	〔葉書〕	〔昭和〕18	3	18	花田仙蔵	安高団兵衛	関屋式□□(脱穀)機依頼	葉書	1	
W	5	45	〔葉書〕	〔昭和〕18	3	20	入江節雄	安高団兵衛	無沙汰詫び状	葉書	1	
W	5	46	〔葉書〕	〔昭和〕18	3	20	本田太郎	安高団兵衛	ビルマから新年の挨拶	葉書	1	
W	5	47	〔葉書〕	〔昭和〕18	3	26	椛田	安高団兵衛	5、6日間故郷へ帰るので留守を宜しく	葉書	1	
W	5	48	〔葉書〕	〔昭和〕18	4	8	本田仲雄	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
W	5	49	〔葉書〕	〔昭和〕18	4	12	本田正一	安高団兵衛	入隊挨拶	葉書	1	
W	5	50	〔葉書〕	〔昭和〕18	4	10	椛田精造	安高団兵衛	入隊挨拶	葉書	1	
W	5	51	〔葉書〕	〔昭和〕18	5	8	広渡活身	安高団兵衛	無沙汰詫び状・高堂様大臣賞祝詞	葉書	1	
W	5	52	〔葉書〕	〔昭和〕18	5	8	占部八重	安高団兵衛	早苗を分けてもらったお礼状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	5	53	〔葉書〕	〔昭和〕18	5	12	小島頼男	安高団兵衛	中野悦次来阿蘇について報告	葉書	1	
W	5	54	〔葉書〕	〔昭和〕18	5	12	本田太郎	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
W	5	55	〔葉書〕	〔昭和〕18	5	17	大日本赤誠会太陽塾	安高政義	開塾通知	葉書	1	
W	5	56	〔葉書〕	〔昭和〕18	5	21	太田秀雄	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
W	5	57	〔葉書〕	〔昭和〕18	6	19	田中初夫	安高団兵衛	入隊挨拶	葉書	1	
W	5	58	〔葉書〕	〔昭和〕18	6	19	吉田徳蔵	安高団兵衛	野菜送付礼状	葉書	1	
W	5	59	〔葉書〕	〔昭和〕18	6	21	永田金十郎	安高団兵衛	野菜生育状況報告	葉書	1	
W	5	60	〔葉書〕	〔昭和〕18	7	14	広渡タツノ	安高団兵衛	活身10日小倉に帰着	葉書	1	
W	5	61	〔葉書〕	〔昭和〕18	8	26	白石強	安高団兵衛	警察退職挨拶状	葉書	1	
W	5	62	〔葉書〕	〔昭和〕18	8	31	広渡寿雄	安高団兵衛	娘来訪の礼状	葉書	1	
W	5	63	〔葉書〕	〔昭和〕18	9	4	石川為市	安高団兵衛	南瓜10貫目依頼	葉書	1	
W	5	64	〔葉書〕	〔昭和〕18	9	10	早川利雄	安高団兵衛	仏前への供物礼状	葉書	1	
W	5	65	〔葉書〕	〔昭和〕18	10	24	安高重二浪	安高団兵衛	酒配給あり、立ち寄られたし	葉書	1	
W	5	66	〔葉書〕	〔昭和〕18	10	20	近藤さち恵	安高団兵衛	訪問礼状	葉書	1	
W	5	67	〔葉書〕	〔昭和〕18	11	12	本田勇	安高団兵衛	墓地改装について依頼	葉書	1	
W	5	68	〔葉書〕	〔昭和〕18			安高福蔵	安高団兵衛	〔白紙〕	葉書	1	
W	5	69	〔葉書〕	〔昭和〕18	2	15	安高りきの	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
W	5	70	〔封筒〕	〔昭和〕18	2	20	木原范蔵	安高団兵衛	芦屋町役場退職挨拶	封筒	1	
W	5	71	〔封筒〕	〔昭和〕18	4	11	早川万次郎	安高団兵衛	亡母会葬礼状	封筒	1	
W	5	72	〔封筒〕	〔昭和〕18	4	10	安高半次郎	安高団兵衛	福岡県属転任挨拶	封筒	1	
W	5	73	〔封筒〕	〔昭和〕18	5	15	本間精	安高団兵衛	飛行場竣工献納式案内73-1、式次第73-2	封筒	1	
W	5	74	〔封筒〕	〔昭和〕18	5	31	佐野孝福	安高団兵衛	父死去通知	封筒	1	
W	5	75	〔封筒〕	〔昭和〕18	11	2	安高スマ子	安高団兵衛	家内病人につきメリケン粉送付依頼	封筒	1	
W	5	76	〔封筒〕	〔昭和〕18	11	7	安高スマ子	安高団兵衛	兄の見舞いに対する礼状	封筒	1	
W	5	77	〔封筒〕	〔昭和17〕	12	20	室本季男	安高藤吉	手紙への礼状	封筒	1	
W	5	78	〔葉書・頼信紙〕						会葬お礼の封筒に、未使用の葉書11枚、頼信紙2枚入り	封筒	1	
W	5	79	〔封筒〕	昭和18	11	1	浜崎青年団	安高団兵衛	恵比寿神社での相撲大会案内	封筒	1	
W	5	80	〔郵便回送付箋〕				港屋旅館	安高福蔵		紙	1	
W	5	81	〔電報〕	〔昭和〕18	2	2	コウヤ	アタカフクゾウ	マンシハハ三ヒシマウ	電報	1	
W	5	82	〔電報〕	〔昭和〕18	2	11	イヅ	アタカフクゾウ	コウジヨウトシヤクヤマルヤケ	電報	1	
W	5	83	〔葉書〕	〔昭和〕18	3	4	阿辺一郎	安高福蔵	姉葬儀会葬礼状	葉書	1	
W	5	84	〔電報〕	〔昭和〕18	2	28	阿部一郎	アタカフクザウ	ジツノシスアスゴ四ジシキスル	電報	1	
W	5	85	〔案内〕		7	15	芦屋国民学校長		父兄会案内	紙	1	
W	5	86	〔口上〕		2	13	神武社	安高団兵衛	紀元節供えの鏡餅の分配	紙	1	
W	5	87	共同作業野帳				安団		農作業メモ	帳	1	
W	5	88	〔封筒〕						お年玉袋にメモ	袋	1	
W	5	89	〔封筒〕				芦屋町役場	安高団兵衛	封筒にメモ	封筒	1	
W	5	90	共同作業野帳						農作業メモ　名刺1枚あり	帳	1	破損後欠
W	5	91	〔封筒〕	昭和18	5	25	新川俊一商店	安高団兵衛		封筒	1	
W	5	91-1	〔書簡〕	昭和18	5	25	新川俊一商店	安高団兵衛	長野氏負債返済方についての礼状	紙	2	
W	5	91-2	〔書簡〕	昭和18	5	26	安高団兵衛	新川俊一	長野氏負債返済方についての礼状	紙	2	
W	5	92	〔封筒〕	昭和18	3	7	石橋つもる	安高団兵衛	娘結婚披露招待状	封筒	1	
W	5	93	〔封筒〕	昭和18	3	17	石橋つもる	安高団兵衛	娘婚礼祝いへの礼状	封筒	1	
W	5	94	〔封筒〕	昭和18	11	13	敷田正夫	安高団兵衛	芦屋町の方々の厚情への礼と家族の近況報告	封筒	1	
W	5	95	〔封筒〕	昭和17	11	10	清交会	安高団兵衛	岩崎天外展覧会案内	封筒	1	
W	5	96	〔封筒〕	昭和17	10	5	県社高倉神社　菟田大彦	安高徳蔵	大祭案内	封筒	1	
W	5	97	〔封筒〕	〔昭和〕17	10	29	入江勝	安高団兵衛	満州での近況報告	封筒	1	
W	5	98	〔封筒〕	〔昭和〕17	11	15	浜崎青年会	安高団兵衛	兵士の武運長久祈念の相撲大会開催案内	封筒	1	
W	5	99	〔封筒〕	〔昭和〕17	11	11	大島少尉	安高団兵衛		封筒	1	
W	5	99-1	〔書簡〕	昭和17	11	10	中隊長	ご父兄	兵士の農繁期休暇についての注意事項	紙	2	
W	5	99-2	〔書簡下書〕	昭和17	11	19	安高団兵衛	藤井隊長	息子の農繁期休暇に対する礼状	紙	3	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	5	100	〔封筒〕	〔昭和〕17	11	10	張替伍長	安高団兵衛	子息農繁期休暇の通知	封筒	1	
W	5	101	中部種苗目録	〔昭和〕18	7	14		安高団兵衛		雑誌	1	帯封あり
W	5	102	〔書簡下書き〕							紙	1	断簡
W	5	103	〔作業簿〕							紙	2	断簡
W	5	104	防空暗幕統制証票				福岡県防空暗幕製造販売統制組合			証紙	1	
W	6	1	〔葉書〕	〔昭和13〕	12	14	小島頼男	安高団兵衛	小生恙なく起去罷在候御放念被下。新正月頃錦地に罷越度、其節昔話も致度	葉書	1	W6-1～99ビニール紐一括
W	6	2	〔葉書〕				遠賀郡芦屋町消防組代表　久野一美	安高団兵衛大兄	植木の御相談の御引届について御礼	葉書	1	消印「13.12.30」
W	6	3	〔葉書〕				安田良市	安高団兵衛	有の講習会で偶然貴殿を知り何かの縁と思う。有の松田先生の講義、貴殿の面影がしのばれる。有の農民精神を永久に持ち今後奮闘の覚悟	葉書	1	消印「13.12.30」
W	6	4	〔年賀状〕	昭和14	1	元旦	龍王の中村藤次郎	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「14.1.29」
W	6	5	〔葉書〕	〔昭和14〕	旧正月	2	太田豊造	安高団兵衛	旧正月の御祝。年始礼を本年は私方で開宴仕度候間、旧五日早朝より御出浮被下度御案内申上	葉書	1	消印「14.2.19」
W	6	6	〔書簡〕	〔昭和13〕	11	22	本田増住	安高団兵衛	入営後台湾で四ヶ月軍務に就き、当教育隊を卒業する。当隊航空隊では飛行機の修理作業の猛練習、歩哨などに従事。在郷軍人会からの慰問状の御礼。	便箋	3	封筒あり、切手剥離につき、手紙に内包
W	6	7	〔年賀状〕	〔昭和13〕	1	1	村田三郎	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「13.1.1」
W	6	8	〔年賀状〕	〔昭和13〕	1	1	中村藤次郎	安高団兵衛兄	年始挨拶	葉書	1	
W	6	9	〔年賀状〕	昭和13	1	元旦	小野成一	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	
W	6	10	〔年賀状〕	13	1	1	本田虎雄・みのる	安高福蔵様外御中	年始挨拶	葉書	1	
W	6	11	〔年賀状〕	昭和13	1	1	執行伊太郎	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「12.12.30」
W	6	12	〔年賀状〕	昭和13	1	1	広渡成男	安高団兵衛	年始挨拶、「満州帝国郵便返信明」葉書使用	葉書	1	消印「奉天中央5.1.1」
W	6	13	〔年賀状〕			元旦	タクボ歯科　田窪久之亮	安高福造	年始挨拶	葉書	1	消印「？.12.31」？は擦れ
W	6	14	〔年賀状〕		1	1	安部守雄	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「？.12.31」？は印字不鮮明
W	6	15	〔葉書〕				吉田さと	安高団平	餅米二斗程をお持参下さるよう御願い申し上ます	葉書	1	消印「13.12.24」
W	6	16	〔葉書〕				黒崎　広渡富津能	安高団兵衛	御機嫌伺。来る十七日八日起業祭につき子供でもたちよらせて下さい	葉書	1	消印「13.11.15」
W	6	17	〔葉書〕				製造業　伊豆敏雄	安高福蔵	御機嫌伺。来る本月十七、八日起業祭につき御案内	葉書	1	年月日消印不鮮明につき不詳
W	6	18	〔葉書〕	〔昭和13〕	11	6	池田勝市	安高円平	こやし至急御くみとり下さるようおねがい致します	葉書	1	消印「13.11.6」
W	6	19	〔葉書〕				直方待合所ニテ　小島頼男	安高団兵衛	一昨日御伺の折の御もてなしの御礼。直方まで自動車、直方から伊田まで汽車にて種々設備を見学、原田経由で帰宅中のこと	葉書	1	消印「？？.22」？は欠落
W	6	20	〔年賀状〕			元旦	平木善三郎	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「14.？？」？は印字不鮮明
W	6	21	〔年賀状〕		1	元旦	山田涼太郎	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「14.1.1」
W	6	22	〔年賀状〕	皇紀二千五百九拾九年卯			大場良夫	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「14.1.3」
W	6	23	〔年賀状〕	昭和14	1	元旦	本田谷之	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「沙河口14.1.1」
W	6	24	〔年賀状〕	皇紀二千五百九拾九年	1	元旦	安高団兵衛	矢野正義	年始挨拶、折尾より芦屋局へ廻戻の付紙あり	葉書	1	消印「14.1.2」
W	6	25	〔年賀状〕	昭和14		元旦	黒山武彦	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「14.1.10」

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	6	26	〔年賀状〕	昭和14		元旦	堤義雄	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「14.1.1」
W	6	27	〔年賀状〕		1	1	村田三郎	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「14.1.1」
W	6	28	〔年賀状〕	聖戦3	1	1	本田虎雄	安高団兵衛	年始挨拶	封緘葉書	1	消印「14.1.1」、封緘につき、部分開封
W	6	29	〔年賀状〕		1	1	神谷捨松	安高福造	年始挨拶	葉書	1	消印「14.1.1」
W	6	30	〔年賀状〕	昭和14		元旦	中西健一郎	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	
W	6	31	〔年賀状〕		1	1	加藤慶太	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「14.1.1」
W	6	32	〔年賀状〕		1	元旦	本田条吉	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「14.1.1」
W	6	33	〔年賀状〕			元旦	安部守雄	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「14.1.1」
W	6	34	〔年賀状〕	皇紀二千五百九拾九年	1	1	古賀恵啓	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「14.1.1」
W	6	35	〔年賀状〕		1	1	亀津藤太郎	安高団平	年始挨拶	葉書	1	消印「14.1.1」
W	6	36	〔年賀状〕		1	元旦	永島伝三郎	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「14.1.1」
W	6	37	〔年賀状〕		1	1	矢野正義	安高団平	年始挨拶	葉書	1	消印「14.1.1」
W	6	38	〔年賀状〕	昭和14	1	元旦	早川佐平	安高福蔵	年始挨拶	葉書	1	
W	6	39	〔年賀状〕	昭和14		元旦	波多野倉吉	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「14.1.1」
W	6	40	〔年賀状〕	昭和14	1	1	小島頼男	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「14.？？」？は印字不鮮明
W	6	41	〔年賀状〕	昭和14	1	元旦	本田キクノ	安高リキノ	年始挨拶	葉書	1	消印「沙河口14.1.1」
W	6	42	〔年賀状〕	昭和14		元旦	山口県俵山温泉温泉旅館山口屋	安高リキノ	年始挨拶	葉書	1	消印「14.1.1」
W	6	43	〔年賀状〕		1	元旦	薬剤師本田薬局　本田金蔵	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「14.1.1」
W	6	44	〔書簡〕	昭和13	12	10	遠賀郡中間町長　名和朴	安高団兵衛	今次事変における戦死者町葬の案内状	紙	1	封筒あり、案内状内包
W	6	45	〔封筒〕				安高団兵衛様		封筒のみ、異筆で「昭和十三年来信の」とあり	封筒	1	消印「13.1.1」
W	6	46	〔葉書〕		5	1	阿蘇山麓小島	安高団兵衛	御機嫌伺	葉書	1	消印「13.5.3」
W	6	47	〔葉書〕				黒崎駅前広渡素一郎	安高団兵衛	御機嫌伺。先達御報の苗物は全部元杉原より持って参ったので至急御報申上	葉書	1	消印「13.5.3」
W	6	48	〔葉書〕	昭和13	5	5	出利葉国次郎・出利葉常夫	安高団兵衛	八幡市槻田八王寺に転居の旨	葉書	1	消印「13.5.5」
W	6	49	〔葉書〕	昭和13	4	20	県社高倉神社社務所	安高団兵衛	御子様安高保正氏の御誕生を祝福し、誕生祭を執行につき、参拝の案内	葉書	1	消印「？.4.28」？は印字不鮮明
W	6	50	〔葉書〕		4	30	吉田清	安高団兵衛	足負傷の見舞い。ナスビ苗、トマト苗、カボチャ苗、コショウ苗を当地御参上の節、持参を願う	葉書	1	消印「13.5.1」
W	6	51	〔葉書〕				山鹿三村俊蔵	安高団兵衛	近所よりナスビ苗注文依頼に付至急お運び下さい	葉書	1	消印「13.4.29」
W	6	52	〔葉書〕	昭和13	4	12	堤義雄	安高団兵衛	苗類の御分譲下さるに付、参上日時の伺い	葉書	1	消印「13.4.12」
W	6	53	〔葉書〕		4	22	倉垣茂雄	安高団兵衛	畑生さんと共に茄子苗入用に付、参上日時の伺い。受取人不詳につき廻戻の付紙あり	葉書	1	消印「13.4.23」
W	6	54	〔葉書〕				酉轍之助	安高団兵衛	茄子苗、トマト苗を御分譲頂き度	葉書	1	消印「13.4.15
W	6	55	〔葉書〕		4	28	林田三郎	安高団兵衛	表記に転居に付、一度御来遊被下度	葉書	1	消印「13.4.29」
W	6	56	〔葉書〕				黒崎広渡タツノ	安高団兵衛、りきの	私が賞与金をもらったのでやること。餅を蒸すセイロのスノ竹がないので青竹を下さい	葉書	1	消印「12.12.22」
W	6	57	〔葉書〕		11	29	委任問屋天本商店	安高団兵衛	美濃早生大根につき、此手紙着次第、自動車志台にて引取おき下被度	葉書	1	消印「11.11.10」
W	6	58	〔葉書〕				広渡卓次郎	安高団兵衛	拙宅飼牛失踪のところ、昨日夕赤間署にて受取に付、御安心被下度	葉書	1	消印「11.11.23」
W	6	59	〔書簡〕	昭和12	2	21	井地鹿之助		母シゲの葬儀に御会葬、香華料の儀御礼申上	紙	1	
W	6	60	〔年賀状〕	昭和13		元旦	九州電気軌道株式会社		年始挨拶	紙	1	
W	6	61	〔年賀状〕	丁丑		元旦	福岡日日新聞専売店　小田藤男	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「13.1.1」
W	6	62	〔年賀状〕				永島伝三郎	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「13.1.1」

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	6	63	〔年賀状〕	昭和13		元旦	県社神武天皇社社司　黒山武彦	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「13.1.1」
W	6	64	〔葉書〕		11	12	倉垣茂雄	安高団兵衛	ワラと飼料として大麦の種子二升、裸麦二升をお送り下さい	葉書	1	消印「13.11.12」
W	6	65	〔葉書〕				工藤六郎	安高団兵衛	近況報告。第二中隊の保田中尉が熊本輜重第六聯隊留守部隊に居て少佐になっている旨お知らせ	葉書	1	消印「13.11.12」
W	6	66	〔書簡〕	昭和13	12	29	小田勝吉	安高団兵衛	愚息の戦友が北支で戦死、安高団兵衛氏の娘婿か真偽確認、他1項につき、河村房子という人物の照会を依頼	便箋	2	封筒あり、切手剥離に付、封筒に内包
W	6	67	〔書簡〕				芦屋郵便局	安高団兵衛	郵便物又は電報の配達確認	紙	1	
W	6	68	〔年賀状〕		1	元旦	矢野喜五郎	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「13.1.1」
W	6	69	〔年賀状〕		1	元旦	関門毎火遠賀支局　土谷繁義	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「？12.31」？は印字不鮮明
W	6	70	〔年賀状〕	戊寅		元旦	筑前若松中西儀助	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「12.12.31」
W	6	71	〔年賀状〕	昭和13	1	1	土木建築請負業山田材木店	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「13.12.31」
W	6	72	〔年賀状〕	昭和13		元旦	天満旅館	安高福蔵様	年始挨拶	葉書	1	消印「？12.31」？は印字不鮮明
W	6	73	〔年賀状〕		1	元旦	高級製靴大場良夫	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「？1.2」？は印字不鮮明
W	6	74	〔年賀状〕			元旦	広渡貢	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「13.1.2」
W	6	75	〔年賀状〕			元旦	古屋荒次郎	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「13.1.2」
W	6	76	〔年賀状〕	昭和13		元旦	原憲太郎	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「13.1.2」
W	6	77	〔封筒〕	〔昭和13〕	1	1	平木善三郎	安高団兵衛	未開封につき不詳、年賀状ヵ	封筒	1	封筒あり
W	6	78	〔年賀状〕		1	1	桑原勇吉	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「13.1.2」
W	6	79	〔年賀状〕	昭和13		元旦	広渡素一郎	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「13.1.1」
W	6	80	〔年賀状〕		1	1	山崎一夫	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「13.1.4」
W	6	81	〔年賀状〕		1	1	大石忠市	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「13.1.2」
W	6	82	〔年賀状〕			元旦	秋枝正助	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「13.1.3」
W	6	83	〔葉書〕	昭和13	12		魚市場長野匡利	安高団平	年始挨拶	葉書	1	消印「13.12.28」
W	6	84	〔年賀状〕		1	1	神谷松太郎	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「13.1.1」
W	6	85	〔年賀状〕	昭和13		元旦	山口県俵山温泉温泉旅館山口屋	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「13.1.1」
W	6	86	〔封筒〕				粟屋安高団兵衛殿	（福岡県芦屋郵便局）	封筒のみ	封筒	1	
W	6	87	〔年賀状〕	昭和13		元旦	加藤慶太	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	消印「13.1.1」
W	6	88	〔葉書〕		6	21	呉服雑貨石油　吉田馨	安高団兵衛	芋蔓の売却被下度、有れば早速参上御相談致度	葉書	1	消印「18.6.21」
W	6	89	〔年賀状〕	昭和13	1	元旦	津田部隊大室隊　小田藤男拝	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	軍事郵便の葉書
W	6	90	〔葉書〕	昭和11	8		陸軍憲兵少佐門田義実	安高団兵衛	転任の御挨拶。佐世保在勤中の御懇情を深謝	葉書	1	消印「11.8.3」
W	6	91	〔年賀状〕				渋田武三郎	安高団兵衛	年始挨拶。石井岩夫輜重大尉と尾家準尉は北支にて活躍中	葉書	1	消印「13.1.5」
W	6	92	〔年賀状〕	昭和13	1	1	尾家マツ	安高団兵衛	年始挨拶。主人は北支派遣軍徳川部隊中西隊で活動	葉書	1	消印「13.1.2」
W	6	93	〔書簡〕		4	7	中支派遣牛島部隊竹下隊柴田隊　中山通	安高団兵衛	近況報告。堀口、本田両君の町葬の御礼。当部隊相当の戦死者あるも郷土出身者は全員活躍。当地域茶業が盛ん、良民を保護、当地彼岸のこと	便箋	4	軍事郵便の封筒あり
W	6	94	〔年賀状〕				U.Hirowatari.Haney.Bl	安高団兵衛	年始挨拶	葉書	1	
W	6	95	〔書簡〕		3	2	牛島部隊片岡隊柴田隊　入江	安高団兵衛	粟屋区御一同様への御機嫌伺の依頼	便箋	1	封筒あり、異筆で「昭和十三年四月三日来着」、軍事郵便のスタンプ
W	6	96	〔葉書〕		2	28	中支那派遣牛島部隊片岡部隊荒川部隊福島隊　三原庄拝	安高団兵衛	近況報告。不撓不屈の勇気で第一線で活躍	葉書	1	軍事郵便のスタンプ、被筆で「昭和十三年三月十四日来着」とあり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	6	97	〔葉書〕	昭和13	2	2	柳川兵団牛島部隊片岡部隊高下隊　小野岩雄	安高団兵衛	軍務専心、二ヶ月余り戦斗に少々参加、此地に入城守備に任居、	葉書	1	軍事郵便の葉書、異筆で「昭和十三年二月十二日来着」とあり
W	6	98	〔葉書〕				柳川部隊牛島部隊片岡隊柴田隊　入江勝	安高団兵衛	一昨日より茅家地方の警備に就いたこと。現地の良民の保護に力を入れていること	葉書	1	軍事郵便の葉書、異筆で「昭和十三年二月九日来着」とあり
W	6	99	〔葉書〕				柳川部隊牛島部隊片岡隊柴田隊　入江勝	安高団兵衛	御機嫌伺	葉書	1	軍事郵便の絵葉書
W	7	1	〔葉書〕	〔昭和〕17	6	11	あしや町　古賀恵啓	芦屋町粟屋町　安高団兵衛	津山様へ御通知願い、長野氏の件につきお願い	葉書	1	
W	7	2	〔書簡〕	皇紀2602・〔昭和〕17	9	9	芦屋町中小路　古賀恵啓	安高団兵衛（蘆屋町大字粟屋）	神武天皇社境内と山鹿城山神前の清浄（御掃除）奉仕の件につきお願い	罫紙	1	封筒あり
W	7	3	〔葉書〕	〔昭和〕17	9	13	あしや町　古賀恵啓	芦屋町粟屋区　安高団兵衛	相談のため一両日中に御来訪願い	葉書	1	
W	7	4	〔書簡〕	〔昭和〕17	9	20	古賀恵啓（福岡県鞍手郡宮田町大之浦第二礦　坂田辰夫内ヨリ）	安高団兵衛（遠賀郡芦屋町粟屋）	愚妻・愚娘の病気は今般の事件に関する神仏の御訓示かと思考致す事、尊台様の御教示の通り芦屋町側の問題は水に流す所存の事ほか	罫紙	1	封筒あり
W	7	5	〔葉書〕	〔昭和〕17	10	4	鞍手郡宮田町大之浦　坂田辰夫内ニテ　古賀恵啓	遠賀郡芦屋町粟屋区神武天皇社奉賛会発起者　安高団兵衛	長野政八奉賛会理事長の悪徳行為の件を全会員に発表致す考えの事	葉書	1	
W	7	6	〔書簡〕	皇紀2602・〔昭和〕17	10	5	折尾義弟宅ニテ　古賀恵啓（折尾町日吉町多々野友光内ニテ）	神武天皇社奉賛会発起者　安高団兵衛（遠賀郡芦屋町粟屋区）	今般の不祥事の件を奉賛会理事などへお伝え下されたき事	罫紙	1	封筒あり。罫紙3枚
W	7	7	〔葉書〕	〔昭和〕17	10	9	古賀恵啓	芦屋町粟屋区　安高団兵衛	明日は問題から満2ヶ年にあたる故に全会員へ発表致す決心の事	葉書	1	
W	7	8-1～2	〔封筒〕							封筒	1	8-1～2封筒一括
W	7	8-1	〔書簡〕	〔昭和17〕	10	11	愚人恵啓（中小路区）	安高様（芦屋町粟屋区）	別紙謹告書発送の件につき報告	一紙	1	
W	7	8-2	奉賛会々員へ謹告ス	昭和17	10	11	神武天皇社奉賛会	奉賛会会員	芦屋町日蓮宗教会所内古賀恵啓師に対する横領などの嫌疑は長野政八氏の悪徳行為に依るもので、事実無根である事	紙	1	印刷
W	7	9	〔書簡〕	皇紀2602〔昭和17〕	10	17	愚人恵啓（芦屋町）	安高団兵衛（芦屋町粟屋区）	今回の問題の解決のため奉賛会の協力を依頼	紙	1	封筒あり
W	7	10-1	〔書簡〕	〔昭和〕13	12	7	求道庵ニテ愚人合掌（芦屋中小路古賀拝）	安高団兵衛（蘆屋町粟屋区）	野菜のお礼	紙	1	紙背に立正安国論講読の勧誘文（福岡県遠賀郡遠賀村→芦屋町粟屋納税組合長安高団兵衛殿）あり。10-1～6封筒一括
W	7	10-2	〔書簡〕	昭和16	9	10	古賀恵啓拝（芦屋町中小路）	安高団兵衛（芦屋町粟屋区）	直方長遠寺・福岡宗務所ほか訪問の節の参考のため通知書など同封の事、同所における事件の証言に関しお願い	罫紙	1	封筒あり。罫紙2枚
W	7	10-3-1	〔書簡〕	昭和14	2	13	愚人恵啓（中小路区古賀拝）	安高（蘆屋区粟屋区）	今朝脳中に浮ぶまゝに謹書仕る分送付の事	罫紙	1	10-3-1～4封筒一括
W	7	10-3-2	〔書〕	皇紀2599〔昭和14〕	2	13	愚人恵啓（印）		「火ハ焼キ照スヲ以テ行トナシ…」	切紙	1	
W	7	10-3-3	〔経文写〕	紀元2599〔昭和14〕	2	13	求道庵ニテ愚人恵啓合掌（印）		「南無妙法蓮華経日蓮大菩薩…」	切紙	1	
W	7	10-3-4	〔警句書付〕	昭和14	3	1	求道愚人謹書	（安高団兵衛）	「淀む水は腐る人も停頓してはいけぬ…」	罫紙	1	
W	7	10-4-1	〔書簡〕	〔昭和〕13	11	4	古賀恵啓合掌（芦屋日蓮宗教会所）	安高団兵衛（蘆屋町粟屋区）	別紙の通り第2回祈願会執行につき案内	切紙	1	10-4-1～2封筒一括
W	7	10-4-2	御案内	〔昭和〕13	11	4	日蓮宗　蘆屋教会所		日蓮大上人御報恩御会式執行の案内	紙	1	印刷
W	7	10-6	〔葉書〕	〔昭和〕14	2	2	芦屋町中小路区　古賀恵啓	蘆屋区粟屋　安高団兵衛	時候の挨拶	葉書	1	年月日は消印
W	7	10-7	〔葉書〕	〔昭和〕17	4	25	津山内（若松市浜二ノ二　津山つる）	安高（遠賀郡芦屋町粟屋）	山隈先生立候補の件について	葉書	1	年は消印
W	7	11	〔書簡〕	〔昭和〕17	10	18	愚人恵啓（芦屋町）	安高（芦屋町粟屋区）	今般事件の解決のため、若松の吉田代議士などへ仲介を依頼するなど協力願い	紙	1	封筒あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	7	12	〔書簡〕	〔昭和〕17	10	25	恵啓(芦屋町)	安高(芦屋町粟屋区)	去る22日折尾署司法主任の取調べを受けし事、相談のため今夜御来訪願い	罫紙	1	封筒あり
W	8	1	〔葉書〕	〔昭和〕12	2	11	芦屋町　庄野琴乃	遠賀郡芦屋町栗(ママ)屋　安高団兵衛様	奨励金給付のお礼	葉書	1	年は消印
W	8	2	〔葉書〕	〔昭和〕12	2	11	蘆屋小学校　高二女担当原	蘆屋町字栗(ママ)屋　安高団兵衛様	庄野琴乃への奨励金給付のお礼	葉書	1	年は消印
W	8	3	〔年賀状〕	昭和14	1	元旦	芝区高輪台町二八　石橋徳作	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様		葉書	1	
W	8	4	〔年賀状〕	昭和14	1	3	？？市薬戸町三番丁一九九　米倉茂俊	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様		葉書	1	
W	8	5	〔年賀状〕	〔昭和戦前期〕	12	22	南支派遣久納部隊　川内部隊古賀隊吉村隊　山岸保夫	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	時候の挨拶	葉書	1	軍事郵便。小倉静三画伯筆の絵葉書
W	8	6	〔年賀状〕	昭和14	1	元旦	熊本県鹿本郡大道村大字中　相川音熊	福岡県遠賀郡蘆屋町大字蘆屋字栗屋千二百〇五番地　安高団兵衛殿		葉書	1	
W	8	7	〔年賀状〕	昭和14	1	元旦	朝鮮咸北明川郡下古面　日毛緬羊牧場　韓龍佶	福岡県遠賀郡蘆屋町 安高団兵衛殿		葉書	1	
W	8	8	〔年賀状〕	〔昭和戦前期〕	1	1	南支派遣久納部隊　川内部隊古賀隊吉村隊　山岸保夫	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様		葉書	1	軍事郵便
W	8	9	〔葉書〕	〔昭和〕13	11	1	小倉聯隊区小倉部内　国婦本部	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	57銭確かに領収済の事	葉書	1	年は消印。大日本国婦人会の葉書使用
W	8	10	〔書簡〕	〔昭和〕14	2	25	(長崎県)南高来郡聯合青年団長　小国志佐人	安高団兵衛殿(福岡県遠賀川郡芦屋町)	南高来郡青年団幹部講習会にての講演のお礼	継紙	1	年は消印。封筒あり
W	8	11	〔書簡〕	〔昭和〕14	2	24	内田美雄(長崎県庁社会教育課)	安高団兵衛殿(福岡県遠賀郡芦屋町)	南高来郡青年団幹部講習会にての講演のお礼	継紙	1	年は消印。封筒あり
W	8	12	〔書簡〕	〔昭和〕14	2	6	長崎県庁学務部社会教育課　長崎県聯合青年団　内田美雄(印)	安高団兵衛殿(福岡県遠賀郡芦屋町)	農家経営と記帳生活の体験につき、本県聯合青年団修練場及び南高来郡青年団幹部講習会での講演依頼	罫紙	1	年は消印。封筒あり。罫紙4枚
W	8	13	〔葉書〕	〔昭和〕14	2	10	長崎県庁社会教育課　内田美雄	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛殿	先日依頼の修練場の講演会は延期の事ほか	葉書	1	年は消印
W	8	14	〔葉書〕	〔昭和〕14	1	25	芦屋東町　倉垣茂雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	大根菜のお礼、どんな菜にても頂きたき事	葉書	1	年月日は消印
W	8	15	〔葉書〕	〔昭和10年代〕	11	11	中支派遣部隊　植木部隊　植木保	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	本月の明治節には敵塹壕へ皆様贈与の日章旗を押立し事ほか近況報告	葉書	1	軍事郵便。「雁門関の嶮を突破する自動輜重隊」の絵葉書
W	8	16	〔葉書〕	昭和14	2	15	種子・農具・農薬卸商　アマノ殖産農園　福岡県折尾町国道筋	遠賀郡芦屋町大字大城　安高団兵衛殿	南瓜種子至急御持参願い	葉書	1	
W	8	17	〔葉書〕	〔昭和〕14	2	19	福岡県遠賀郡農会　農産物配給所遠賀川支所　遠賀郡水巻村立屋敷	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	来ル3日御出荷願い	葉書	1	
W	8	18	〔葉書〕	皇紀2598・昭和13	2	20	牛島本部隊川内部隊古賀隊　岸保夫	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	杭洲より湖州に入り長興青山へ食料弾薬を輸送途中、敵襲撃を撃退せし事	葉書	1	軍事郵便
W	8	19	〔葉書〕	皇紀2598〔昭和13〕	1	25	牛島本部隊川内部隊古賀隊原隊　岸保夫	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	杭洲城内にて宿営中の事、城外は敵敗残兵多く危険の事	葉書	1	軍事郵便
W	8	20	〔書簡〕	昭和13	4	2	岸保夫(中支派遣牛島部隊川内部隊古賀隊十班)	安高団兵衛様・家内一同様(福岡県遠賀郡芦屋町粟屋)	先日来より〇〇方面の大討伐始まりし事、食料輸送など隊務について、日本軍の進軍模様について	罫紙	1	軍事郵便。封筒あり。罫紙3枚
W	8	21	〔葉書〕	皇紀2598〔昭和13〕	4	15	佐賀県三養基郡基山村白坂　岸金四郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	目下温床の用意に忙殺されし事、最近植木先生より便りなき事ほか	葉書	1	
W	8	22	〔葉書〕	〔昭和10年代初頭〕	11		？？輜重第八聯隊気付　川内部隊古賀隊　南支派遣　岸保夫	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	任地到着の通知	葉書	1	軍事郵便。印刷
W	8	23	〔簡易書簡〕	〔昭和10年代〕	12	29	植木保(北支派遣山口部隊　植木部隊)	安高団兵衛様　侍史(福岡県遠賀郡芦屋町粟屋)	御手紙と日章旗送付のお礼、一昨日斎用も陥落致し祝盃を挙げし事、我部隊を取材した新聞記事について	簡易書簡	1	軍事郵便

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	8	24	〔書簡〕	〔昭和〕13	12	15	阿部正成（宗像郡河東村）	安高団兵衛（遠賀郡芦屋町粟屋）	次男武夫広東攻略軍に参加し博羅附近の空中戦闘中戦死を遂げ申す件につきお知らせ	罫紙	1	封筒あり。年は消印。罫紙3枚
W	8	25	〔年賀状〕	〔昭和〕13	1	元旦	東京市大森区上池上町壱野田内　芳住和代	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高りきの様		葉書	1	年は消印
W	8	26	〔年賀状〕	昭和13	1	元旦	小倉市横代　杉山重敏	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様		葉書	1	
W	8	27	〔葉書〕	〔昭和10年代〕	12	21	柳川兵団牛島本部隊川内部隊古賀隊　岸保夫	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	上海上陸後、金山・湖洲・下四安へ行軍した事	葉書	1	軍事郵便
W	8	28	〔葉書〕	〔昭和〕13	1	4	浮羽軍竹野村地穂　内田要太	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	時局に鑑み年賀状は差控える事	葉書	1	年は消印
W	8	29	〔年賀状〕	昭和13	1	元旦	慶北清道郡伊西面　潘在鉉	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛殿		葉書	1	
W	8	30	〔葉書〕	〔昭和10年代〕			北支派遣山口部隊気附植木部隊本部　原尾初治	福岡県遠賀郡蘆屋町大字蘆屋字粟屋　安高団平（ママ）様	私及び中隊長共元気に軍務に服し居る事	葉書	1	軍事郵便
W	8	31	〔年賀状〕	〔昭和〕13	1	4	福岡市住吉新簀島　山時隆信	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛殿		葉書	1	年月日は消印
W	8	32	〔年賀状〕	昭和13	1	元旦	古賀林一　勤先　福岡県統計課仮寓　福岡市西新町百道官舎	遠賀郡蘆屋町粟屋　安高団兵衛殿		葉書	1	
W	8	33	〔書簡〕	昭和13	1	12	（長崎県南高来郡湯江村）長崎県立雲仙農民道場長（印）	安高団兵衛殿（福岡県遠賀郡蘆屋町）	今般当道場修練生53名修学旅行のため福田輔導引率にて貴地農場へ派遣致す事	切紙	1	封筒あり
W	8	34	〔名刺〕	〔昭和13〕			長崎県立雲仙農民道場輔導　長崎県農林主事補　福田茂人　南高来郡湯江村			名刺	1	
W	8	35	〔書簡〕	〔昭和〕13	4	2	北松浦郡今福町農会　金子国輔（印）	福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋　安岡（ママ）団兵衛殿	視察のお礼	罫紙	1	封筒あり。「今福町農会」とある罫紙使用。年は消印
W	8	36	〔葉書〕	昭和13	4	3	長崎県北松浦郡今福町北免七百六拾九番地　徳永久雄	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	去月訪問時の御教諭御指導のお礼	葉書	1	
W	8	37	〔書簡〕	〔昭和〕13	2	25	音辻時夫（長崎県立雲仙農民道場　修練生）	安高団兵衛殿（福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋）	日記・金銭支出簿等につき御教示願い	罫紙	1	封筒あり。年は消印。「長崎県立雲仙農民道場修練生」とある罫紙使用。罫紙3枚
W	8	38	〔書簡〕	昭和13	2	10	広渡団平（満洲国奉天市紅葉町二十二番地ノ一ノ七　広渡成男内）	安高団兵衛様・同幸次郎様（福岡県遠賀郡芦屋町？粟屋）	奉天・撫順にて日露戦争の戦跡や忠霊塔などを見物・参詣して居る事	罫紙	1	封筒あり
W	8	39	〔書簡〕	〔昭和10年代〕	1	31	米倉茂俊（福岡市因幡町　福岡県産業会館内　福岡県農会）	安高様　御机下	本日長崎県農会植木保氏より軍事郵便到来の事。植木氏の住所お知らせ	紙	1	封筒あり
W	8	40	〔書簡〕	〔昭和〕13	1	30	雲仙農民道場　修練生一同（長崎県南高来郡湯江村　長崎県立雲仙農民道場）	安高団兵衛殿（福岡県遠賀郡芦屋町字大城）	視察のお礼	罫紙	1	封筒あり。年は消印。「長崎県立雲仙農民道場修練生」とある罫紙使用。罫紙3枚
W	8	41	農事視察ニ関スル件	昭和13	3	26	長崎県北松浦郡今福町農会（印）	安岡（ママ）団兵衛殿（福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋）	本月31日に本町農業研究会15名余視察に伺参致す事	罫紙	1	封筒あり
W	8	42	〔葉書〕	〔昭和〕13	2	24	長崎県南高来郡湯江村　長崎県立雲仙農民道場　辻山浅一	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛様	原稿拝借と日誌類寄贈のお礼	葉書	1	年月日は消印
W	8	43	〔書簡〕	〔昭和〕13	1	3	諸伏優子（伊豆三島町奈良橋松本好子様方）	安高様（福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋）	年賀状のお礼、安高様の記事を兄へ送った処、大変感動したとの事ほか	罫紙	1	封筒あり。年月日は消印。罫紙2枚
W	8	44	〔書簡〕	〔昭和〕13	1	3	石橋たつ子（芦屋町）	安高団兵衛様（芦屋町粟屋）	慰問金のお礼、戦地の主人は先日の富陽の戦にても負傷せず無事との事	罫紙	1	封筒あり。年は消印。罫紙2枚
W	8	45	〔葉書〕	〔昭和〕13	10	11	長崎県東彼杵郡折尾瀬村農会技手　村田辰市	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛殿	視察のお礼	葉書	1	
W	8	46	〔書簡〕	昭和13	1	3	辻山浅一（長崎県高来郡湯江村長崎県立雲仙農民道場）	安高団兵衛様（福岡県遠賀郡芦屋町大城）	修学旅行時の視察のお礼、拝見した日誌類送付願い	罫紙	1	封筒あり
W	8	47	〔葉書〕	〔昭和〕13	3	28	大分県宇佐郡龍王村竜王　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛兄	福岡県黒崎の会社へ入社した私の従兄弟の訪問時には宜しく御教示願いたき事	葉書	1	年月日は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	8	48	〔葉書〕	〔昭和〕13	3	26	郡下中間町下大隈　西轍之助	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	御地の茄子・トーマト等の苗物、当地に多数の希望者あるにつき御譲り願い	葉書	1	年月日は消印
W	8	49	〔葉書〕	〔昭和10年代〕	11	11	南支派遣久納部隊　川内部隊古賀隊吉村隊　岸保夫	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛殿	10月17日〇〇に上陸致し広東攻撃に参加、21日無事〇〇に帰着の事	葉書	1	軍事郵便。上海ガーデンブリッジの絵葉書
W	8	50-1	民謡　国民精神総動員軍隊慰問	昭和12	12	25	発行兼発行人　福岡県宗像郡河東村　阿部正成		一、暴支膺懲、二、尽忠報国ほか	冊	1	W8-50-1～2封筒一括
W	8	50-2	附言	〔昭和12〕	12		（阿部正成）	（安高団兵衛）	出版理由、歌3首書上	罫紙	1	W8-50-1に挟込み
W	8	51	〔葉書〕	昭和12	12	8	筑前若松市新中町二丁目　万漬物佃煮製造元卸問屋松本兄弟商会本店　店主松本礒太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	来る10日貨物自動車が行く故、貴家大根を出し置く様依頼	葉書	1	
W	8	52	〔葉書〕	〔昭和〕12	12	14	浮羽郡竹野村地徳　内山要太	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	植木先生御頼みの国旗、昨日夕方植木部隊長宛に送付の事	葉書	1	年は消印
W	8	53	〔葉書〕	〔昭和〕12	11	23	宗像郡神興村津丸　松尾豊	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	植木先生国旗紛失につき、新しい国旗へ署名願い	葉書	1	年は消印
W	8	54	〔葉書〕	昭和12	11	11	北支派遣山口部隊気付　植木部隊　植木保	福岡県遠賀郡芦屋村粟屋　安高団兵衛様・外御一同様	先般御御贈りの日章旗紛失致しにつき、至急各氏署名の上御贈与下されたき事	葉書	1	軍事郵便。支那事変　天津市政府門に於ける我が〇〇隊」とある絵葉書
W	8	55	〔葉書〕	〔昭和〕12	10	5	支那天津山口部隊気付　植木部隊　植木保	大日本帝国福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	小生出征時の御厚情のお礼ほか	葉書	1	軍事郵便。「（日支事変）〇〇部隊の活躍」とある絵葉書
W	8	56	〔葉書〕	皇紀2597〔昭和12〕	12	5	佐賀県基山　岸金四郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	植木部隊長殿へ贈呈の日章旗への署名依頼	葉書	1	
W	8	57	〔書簡〕	昭和12	11	22	東京日々新聞社内　富民協会編集係（東京市麹町区有楽町一ノ十一）	安高団兵衛殿（福岡県遠賀郡芦屋町）	『富民』掲載のため20才台の回顧文依頼	紙	1	封筒あり
W	8	58	満州国絵葉書	〔康徳4・昭和12〕	7	15	満州国斉々哈爾男子師範附属主事　小西秀雄　斉々哈爾博済工廠七号	日本福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	満州帝国陸軍特別演習記念葉書（康徳2年発行）6枚、及び小西秀雄の肖像写真	葉書	1	封筒（チチハル・クラブ写真舘の封筒を裏返して使用）あり。年月日は消印。クリップあり（除去済）
W	8	59	〔書簡〕	〔昭和10年代〕	10	11	芦屋小学校長　山崎久太郎（印）	安高団兵衛殿	軍需乾野菜用間引菜御寄贈のお礼	罫紙	1	封筒あり。「福岡県遠賀郡芦屋尋常高等小学校」とある罫紙使用
W	8	60	〔葉書〕	〔昭和〕13	5	25	於札幌　竹内得一	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛様	健康回復のお知らせ、北海道アイヌの減少について	葉書	1	年は消印、北海道アイヌの絵葉書
W	8	61	〔葉書〕	昭和13	8	26	中支派遣東部隊気付　植木部隊植木保	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	当地暑気格別の事、近く新任務に服する事ほか	葉書	1	軍事郵便、瓶窯鎮での部隊移送の絵葉書
W	8	62	〔書簡〕	昭和13	10	25	長崎県壱岐郡青年団長（印）	安高団兵衛殿	農業経営・記帳生活・精神修養など視察受入願い	紙	1	封筒あり。印刷
W	8	63	〔書簡〕	〔昭和〕13	10	29	長崎県社会教育主事補　園田晋毅	安高団兵衛様（福岡県遠賀郡蘆屋町）	経営視察受入願い	罫紙	1	封筒あり。「長崎県壱岐支庁　県費用紙」とある罫紙使用。年は消印
W	8	64	〔書簡〕	〔昭和〕13	12	12	園田晋毅（長崎県壱岐郡武生水町本村触三三）	安高様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）	視察のお礼	継紙	1	封筒あり
W	8	65	〔書簡〕	昭和14	5	2	遠賀郡農会職務執行者　小田利三郎（印）	殿	農事組合幹部大会開催の通知	紙	1	封筒あり。印刷
W	8	66	〔書簡〕	昭和12	10	27	原田実三（宮崎経済部規格画課地方農林技師）	安高団兵衛様（福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋）	農業経営につき問合せ	罫紙	1	封筒あり。「宮崎県経済部規画課　宮崎物産販売統制部」とある罫紙使用。罫紙3枚
W	8	67	〔書簡〕	昭和12	12	16	於山西省太原市　吉武弥太郎（北支派遣加納部隊気付　山下部隊）	安高団兵衛殿（福岡県遠賀郡蘆屋町）	当地天候について、見舞状のお礼	紙	1	封筒あり。「部隊行動宿営地一覧図」付。印刷。軍事郵便
W	8	68	〔年賀状〕	昭和13		元旦	宗像郡東郷町田熊　吉武としえ	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	主人弥太郎事変の為夏応召以来北支を転戦中の事	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	8	69	〔年賀状〕	〔昭和〕13	正	2	長崎市梅馬場町六六　植木富	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛・御家内様		葉書	1	
W	8	70	〔葉書〕	昭和13	4		筑紫郡曰佐青年学校　小野敏行 筑紫郡曰佐村下曰佐	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	芦屋町青年学校より曰佐青年学校へ転任につきお知らせ	葉書	1	印刷
W	8	71	〔葉書〕	昭和13		元旦	芝区高輪台町二八　石橋徳作	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様		葉書	1	
W	8	72	〔年賀状〕	昭和13		元旦	米倉茂俊　勤務先　福岡県農会 住所　福岡市荒戸町三番丁一九九	遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛様		葉書	1	
W	8	73	〔年賀状〕	皇紀2598 〔昭和13〕		歳旦	中間町　？中？正	芦屋町　安高団兵衛様		葉書	1	
W	8	74	〔葉書〕	〔昭和〕12	10	23	川内部隊古賀隊　岸保夫	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	10月25日荒木駅発にて出発の事	葉書	1	年は消印
W	8	75	〔簡易書簡〕	〔昭和〕12	10	16	岸保夫（入女郡下広川村当條園田三太郎様方）	安高団兵衛様（福岡県遠賀郡芦屋粟屋）	行軍状況について	簡易書簡	1	年は消印
W	8	76	〔葉書〕	〔昭和〕12	10	23	慶北清道郡伊西　潘在鉉	福岡県遠賀郡芦屋　安高団兵衛様	子供出生時の御祝詞へのお礼	葉書	1	年月日は消印
W	8	77	〔葉書〕	昭和12	12	30	東京市渋谷区幡ヶ谷中町　佐藤□作	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛殿	喪中につき年始の挨拶欠礼の事	葉書	1	
W	8	78	〔年賀状〕	昭和13		元旦	阿部正威	遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛殿		葉書	1	
W	8	79	〔葉書〕	〔昭和〕13	4	26	宗像郡河東村　阿部正威	遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛様	茄子苗分譲願い	葉書	1	年は消印
W	8	80	〔書簡〕	〔昭和10年代〕	4	20	岸保夫（中支派遣牛島部隊　川内部隊古賀隊？）	安高団兵衛様・御家内一同様	手紙のお礼、隊務の状況ほか	罫紙	1	封筒あり。罫紙2枚
W	8	81	〔葉書〕	〔昭和〕13	5	3	宗像郡赤間町農士道場　韓龍佶	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛殿	貴地滞留の際のお礼、帰鮮後は我が農村更正復興に邁進する覚悟の事	葉書	1	年月日消印
W	8	82	〔葉書〕	昭和13	5	7	沖縄県中頭郡北谷村役場内　新垣実	福岡県遠賀郡芦屋村　安高団兵衛殿	視察のお礼	葉書	1	
W	8	83	〔書簡〕	昭和13	5	6	阿部正威（宗像郡河東村）	安高団兵衛様（遠賀郡蘆屋町）	（茄子苗）御持参のお礼	罫紙	1	封筒あり。罫紙3枚
W	8	84	修業生農業実習依託ニ関スル件	昭和13	4	23	（宗像郡赤間町）福岡県立農士道場宗像塾長　林幸一（印）	安高団兵衛殿	当塾第3回修業生韓龍佶今回帰郷の処、是非貴宅にて農業実習致したきと申すにつき、受入依頼	罫紙	1	封筒あり
W	8	85	〔書簡〕	昭和13	9	15	長崎県聯合青年団長　遠藤直人	福岡県遠賀郡芦屋町　安高善兵衛殿	青年団幹部遍歴講習会見学受入のお礼	継紙	1	封筒あり。年は消印。W8-85～107紐一括
W	8	86	〔書簡〕	昭和13	8	1	長崎県西彼杵郡矢上村青年団長　松本平八郎（印）	安高団兵衛殿　侍史（福岡県遠賀郡蘆屋町）	青年団員15名見学受入のお礼	罫紙	1	封筒あり。「矢上村青年団」とある罫紙使用
W	8	87	〔書簡〕	昭和13	8	19	長崎県西彼杵郡矢上村青年団長　松本平八郎	安高団兵衛殿　侍史（福岡県蘆屋町）	青年団員見学受入のお礼	継紙	1	封筒あり
W	8	88	電報送達紙	〔昭和〕13	8	20		アシヤマチ　アワヤ　アタカダンベイ殿（芦屋町粟屋安高団兵衛）	「ありヨシシユツセケフ三ジタツ（ありヨシ出征、今日3時発つ）」とあり	電報	1	年月日は消印
W	8	89	〔葉書〕	〔昭和〕13	8	22	長崎県聯合青年団	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛殿	青年団遍歴講習会見学につき依頼	葉書	1	
W	8	90-1	遍歴講習会実施ニ関スル件	昭和13	8	10	長崎県聯合青年団長遠藤直人（印）	安高団兵衛殿	講習員見学の依頼	罫紙	1	「長崎県聯合青年団」とある罫紙使用。W8-90-1～2封筒一括
W	8	90-2	遍歴講習会要項	〔昭和13〕			（長崎県聯合青年団）		日程、経費並補助、参加者心得について	紙	1	印刷。2枚
W	8	91	〔葉書〕	〔昭和〕13	7	23	福岡県鞍手郡福丸高等実業青年学校長　有吉権三郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	本校生徒20名程の農業経営見学につき依頼	葉書	1	年月日は消印
W	8	92	〔葉書〕	〔昭和〕13	7	28	福丸高等実業青年学校	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	生徒見学のお礼	葉書	1	年月日は消印
W	8	93	領収書	昭和13	7	31	大阪市東淀川区十三南之町一丁目四七　ヤマト種苗農具株式会社　大阪支店会計係	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛殿	金13円余領収	葉書	1	
W	8	94	〔葉書〕	〔昭和〕13	7	28	咸北明川郡日毛緬羊牧場　韓龍佶	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	暑中見舞い	葉書	1	年月日は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	8	95	〔葉書〕	〔昭和〕13	5	22	朝鮮咸南永典郡徳典面？典里 韓龍佶	福岡県蘆屋町大字粟　安高団兵衛殿	在塾中の指導のお礼、先生の手本を参考に金銭出納簿など来月より記帳する積りの事	葉書	1	年月日は消印
W	8	96	〔書簡〕	昭和13	6	7	戸畑市立職業青年学校　教諭野田健造	安高団兵衛先生	非常時に於ける時の利用法につき講話依頼	罫紙	1	封筒あり。「戸畑市立職業青年学校」とある罫紙使用
W	8	97	〔書簡〕	〔昭和〕13	6	11	戸畑市立職業青年学校　□山貞次郎	安高団兵衛殿	講演のお礼	継紙	1	封筒あり。年は消印
W	8	98	中堅青年農事視察ニ関スル件	昭和13	5	13	糸島郡前原農会長　納富正己（印）	安高団兵衛殿	視察受入につき依頼	罫紙	1	封筒あり。「糸島郡前原町農会」とある罫紙使用
W	8	99	電報送達紙	〔昭和〕13	5	18	（前原農会）	アシヤマチアワヤ　アダカダンベイ殿（芦屋町粟屋安高団兵衛）	「シサツチウシマイバルノウカイ（視察中止、前原農会）」とあり	電報	1	
W	8	100	〔葉書〕	〔昭和10年代〕			上満派遣久納部隊川内部隊古賀隊　岸保夫	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	軍事郵便
W	8	101	〔書簡〕	〔昭和10年代〕	6	28	岸保夫（中支派遣牛島部隊川内部隊古賀隊）	安高団兵衛様・御家内一同様（福岡県遠賀郡芦屋）	部隊の近況報告	罫紙	1	封筒あり。軍事郵便。罫紙2枚
W	8	102	〔書簡〕	昭和10	5	8	岸保夫（中支派遣牛島部隊川内部隊古賀隊）	安高団兵衛様・御家内一同様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）	戦地の余暇などについて	罫紙	1	封筒あり。軍事郵便。罫紙2枚。班長と岸を撮影した写真1枚同封
W	8	103	領収証	昭和12〔13カ〕	11	6	福岡県農会会長石井徳久次（印）	遠賀郡芦屋町農会殿・安高団兵衛殿	県農会報購読料1円領収	葉書	1	昭和13年の消印あり
W	8	104	〔葉書〕	〔昭和〕13	8	9	鞍手郡若宮村福丸　福丸高等実業青年学校研究科生　清賀外	遠賀郡蘆屋町粟屋　安高団兵衛様	見学のお礼	葉書	1	年月日は消印
W	8	105	〔書簡〕	昭和13	2	10	植木保（北支派遣山口部隊気付植木部隊　植木保）	安高団兵衛様　侍史（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）	国旗落手の事、最近迄1人の犠牲者なき処、2名の病死者と土匪の襲来により1名の行方不明者を出し残念至極の事	罫紙	1	封筒あり。軍事郵便
W	8	106	〔葉書〕	〔昭和〕13	5	12	沖縄県中頭郡浦湊村役場　安和良盛・親冨祖誠幸・仝郡北谷村役場　新垣実	福岡県遠賀郡蘆屋町字粟屋一二〇五　安高団兵衛殿	視察のお礼	葉書	1	年は消印
W	8	107	〔葉書〕	〔昭和〕13	7	14	新潟県刈羽郡刈羽村　安沢徳次郎	福岡県芦屋町　安高団兵衛殿　侍史	暑中見舞い、当地は梅霖の被害少なき事、議会開会中御上京御立寄りを待ち居る事	葉書	1	年月日は消印。「鶴原ホテル」の絵葉書
W	8	108	〔書簡〕	昭和14	5	24	（長崎県平戸町）長崎県北松浦郡農会（印）	遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛殿	本郡内技術員視察のお礼	紙	1	封筒あり。印刷
W	8	109	〔書簡〕	昭和14	5	18	（長崎県平戸町）長崎県北松浦郡農会（印）	蘆屋町安高団兵衛殿	本郡内技術員数名の視察受入依頼	紙	1	封筒あり。印刷
W	8	110	〔葉書〕	〔昭和〕14	5	24	福岡県立農士道場　塾生一同	遠賀郡蘆屋町字粟屋　安高団兵衛様	視察のお礼	葉書	1	年月日は消印
W	8	111	〔葉書〕	〔昭和〕14	4	10	福岡県庁統計課　白丸二郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	朝倉郡三奈木村統計調査員と共に訪問した事につきお礼	葉書	1	年は消印
W	8	112	〔書簡〕	〔昭和〕14	4	9	敷田フジノ	安高団兵衛様	借用中の民謡処世訓を返送する事	罫紙	1	封筒あり。年月日は消印
W	8	113	〔書簡〕	〔昭和〕14	4	12	安部正威（宗像郡河東村）	安高団兵衛様（遠賀郡芦屋町粟屋）	茄子譲り分け願い、和歌2首書上	罫紙	1	封筒あり。年は消印。罫紙3枚
W	8	114	〔葉書〕	〔昭和〕14	4	22	岡垣村農会　太田頼（カ）	芦屋町大城　安高団兵衛殿	本月24日相談に参上仕るにつき御在宅願い	葉書	1	年は消印
W	8	115	〔葉書〕	皇紀2599〔昭和14〕	4	13	佐賀県三養基郡基山町白坂　岸金四郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様・安高藤吉様・安高正義様	座談会日程の件ほか	葉書	1	
W	8	116	〔書簡〕	〔昭和〕14	2	16	長崎県聯合青年団　内田美雄（印）	安高団兵衛様　侍史（福岡県遠賀郡芦屋町）	青年団幹部会合での講話依頼、遠賀川駅島原湊駅間の汽車時刻表写し	罫紙	1	封筒あり。年は消印。「長崎県聯合青年団」の罫紙2枚使用

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	8	117	〔葉書〕	〔昭和〕14	9	25	すま子(佐世保)	福岡県遠賀郡あしや町粟屋　安高団兵衛様・皆様　御許江	主人入院につきお知らせ	葉書	1	年月日は消印。「佐世保鎮守府開庁五十周年記念　支那事変大博覧会」の絵葉書
W	8	118	〔葉書〕	昭和14	3	1	大日本聯合青年団総務部編輯課	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	機関誌「青年」5月号「戦時下に於けるわが家の生産計画」への寄稿願い	葉書	1	印刷
W	8	119	〔葉書〕	〔昭和〕14	3	15	東京市四谷区霞ヶ丘口明治神宮外苑　大日本聯合青年団総務部編輯課　「青年」編輯加藤平太郎	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	昨日原稿受取の事、写真は使用が済み次第返却する事	葉書	1	年は消印
W	8	120	〔封筒〕	〔昭和〕14	3	3	財団法人日本青年館　東京市四谷区明治神宮外苑	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	雑誌『青年』の封筒	封筒	1	年月日は消印。速達不足料金22銭の受領証つき
W	8	121	〔書簡〕	〔昭和〕14	3	3	東京市四谷区明治外苑　大日本聯合青年団「青年」編集部　加藤平太郎	安高団兵衛様	農業体験談の寄稿依頼	罫紙	1	封筒あり。年は消印。「大日本聯合青年団」の罫紙2枚使用。速達不足料金22銭の受領証つき
W	8	122	〔葉書〕	昭和14	3	27	香月町馬場山　敷田八郎　内フジノ	遠賀郡蘆屋町粟屋　安高団兵衛様	民謡処世訓借用願い	葉書	1	
W	8	123	〔書簡〕	皇紀2599〔昭和14〕	3	29	岸金四郎(佐賀県三養基郡基山町白坂)	安高団兵衛様　玉机下(福岡県遠賀郡芦屋町粟屋)	書簡のお礼、雑誌青年への寄稿の件、倅保夫・植木先生の事ほか	罫紙	1	封筒あり。罫紙3枚
W	8	124	〔書簡〕	〔昭和〕14	5	9	安部正威(宗像郡河東村)	安高団兵衛様(遠賀郡蘆屋町)	苗物御恵贈のお礼、拙作の俚謡を紹介下される件につきお礼	罫紙	1	年は消印。罫紙3枚
W	8	125	〔葉書〕	〔昭和10年代〕	4	26	宗像郡河東村　安部正威	遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛様	茄子圃は位置を変えた事、茄子苗などの本数について	葉書	1	
W	8	126	〔葉書〕	〔昭和〕14	5	1	宗像郡河東村　安部正威	遠賀郡芦屋町　安部団兵衛殿	苗物輸送の日程について	葉書	1	年は消印
W	8	127	〔葉書〕	〔昭和〕14	5	8	遠賀郡芦屋町幸町　宗清隆　於日本火薬製造会社	遠賀郡蘆屋町粟屋　安高団兵衛殿	茄子苗15本余り送付願い	葉書	1	年月日は消印
W	8	128	〔書簡〕	昭和13	9	14	福岡県羽犬塚　日清製粉株式会社羽犬塚工場　工場長安口吉三郎(印)	安高団兵衛様(福岡県遠賀郡芦屋町)	調査協力の御礼として小麦粉1袋進呈	罫紙	1	封筒あり。罫紙裏に小麦粉に対する安高団兵衛の礼状写あり
W	8	129-1	〔書簡〕	昭和13	6	11	調査課(福岡県八女郡羽犬塚町山ノ井字前田百拾七番地　日清製粉株式会社羽犬塚工場)	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛殿	全国主要小麦産地調査の協力依頼	紙	1	封筒あり。印刷。129-1～2封筒一括及びクリップ一括(除去済)
W	8	129-2	〔書簡写〕	皇紀2598	6	23	安高団兵衛	東京市日本橋小網町壱丁目弐番地四　日清製粉株式会社　調査部御中	全国主要小麦産地調査の質問項目に対する回答	罫紙	1	129-1～2クリップ一括(除去済)
W	8	130-1	銃後の花の件	昭和13	9	17	大日本国防婦人会関門北九州本部(印・「中司」)	安高様	郵便振替用紙の印刷間違いの件につきお詫び	罫紙	1	130-1～7封筒一括。「大日本国防婦人会関門北九州本部」とある罫紙使用
W	8	130-2	水稲合理的施肥実地指導地(四十三府県一千三百九十一ヵ所)　昭和十、十一年度二ヶ年平均成績	〔昭和13頃〕	9		東京市丸ノ内帝国生命館　大日本加里株式会社農業部		反当自給肥料、同金肥などにつき	紙	1	印刷
W	8	130-3	〔郵便振替用紙〕	〔昭和13頃〕						紙	1	印刷。未使用
W	8	130-4	「銃後の花」紙代の件	昭和13	10	7	大日本国防婦人会山門北九州本部	安高様	「銃後の花」代金送金未確認につき払込みの受領証など送付願い	罫紙	1	「大日本国防婦人会関門北九州本部」とある罫紙使用
W	8	130-5	〔「銃後の花」代金振替関係書類綴〕	昭和13	10	18	大日本国防婦人会関門北九州本部ほか	安高団兵衛様ほか	振替貯金御送金の件は調査不能の事ほか	罫紙	1	書類留め(針)にて綴り。封筒あり
W	8	130-6	銃後花紙代受領の件	昭和13	10	14	大日本国防婦人会関門北九州本部	安高団兵衛殿	「銃後の花」代金78銭入金確認の事	罫紙	1	封筒あり。「大日本国防婦人会関門北九州本部」とある罫紙使用。領収証書付き。書類留め(針)にて綴り

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	8	130-7	〔封筒〕	昭和13	9	18			「銃後の花」代金78銭送金につき団兵衛の覚書あり	封筒	1	年月日は消印
W	8	131	〔書簡〕	〔昭和10年代〕	8	19	蘆屋町役場　帝国在郷軍人会蘆屋町分会	出征現役軍人御家族様（安高福蔵殿）	本町かもめ会主催童謡舞踏会招待状寄贈の事	紙	1	封筒あり。印刷
W	8	132	〔書簡〕	昭和14	7	11	永井柳太郎　代筆（東京市渋谷区千駄ヶ谷三ノ五〇七）	福岡県芦屋町粟屋区　安高団兵衛様	古賀恵啓氏に依頼して小生に対する御祈祷並に御写経の御配慮下さるにつき御礼	継紙	1	封筒あり。年は消印
W	8	133	〔書簡〕	〔昭和10年代〕	7	11	矢野綱次（福岡県遠賀農学校）	安高団兵衛様　侍史（芦屋町粟屋）	経済更正委員会出席願い	継紙	1	封筒あり
W	8	134	〔書簡〕	〔昭和10年代〕	7	10	矢野綱次（福岡県遠賀農学校）	安高団兵衛殿　侍史（芦屋町大城）	農学校にて講話依頼	罫紙	1	封筒あり。罫紙3枚
W	8	135	〔葉書〕		6	26	熊本県八代郡二ノ町四〇六　高級植苗・農芸用薬品・農芸用農具　大日本農会斡旋部　八代農産斡旋所	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	御注文の植苗は着任次第送付する事	葉書	1	
W	8	136	〔葉書〕	昭和14	6	14	大日本聯合青年団　総務部財務課（東京市四谷区明治神宮外苑霞丘口）	安高団兵衛殿	金5円領収証送付願い	葉書	1	年月日は消印
W	8	137	〔小為替送付状〕	昭和14	6	10	大日本青年団　総務部財務課（印・「中村」）（東京市四谷区明治神宮外苑霞丘口）	安高団兵衛殿	雑誌青年7月料原稿料金5円送付	紙	1	封筒あり
W	8	138	〔書簡〕	昭和14	6	13	植木富（長崎市梅馬場町六六）	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛様	夫の戦地での行軍状況お知らせ	罫紙	1	封筒あり。年は消印
W	8	139	〔葉書〕	昭和14	6	24	日清製粉株式会社　調査課	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛殿	昭和14年度小麦事情調査の件につき御礼	葉書	1	
W	8	140	〔書簡〕	昭和14	5	23	芦屋町分会町黒山テル	御家族様	活動映写会の案内	紙	1	印刷。封筒あり
W	8	141	領収証	昭和12	7	29	帝国在郷軍人会　蘆屋町分会長森田吉助（印）	安高団兵衛（粟屋）	寄付金30円受取	紙	1	封筒あり
W	9	1	関門北九州銃後の花第三十六号	昭和15	2	1	山本真輔、小倉聯隊区司令部		国防婦人会の会誌。下関、田川、戸畑、八幡支部彙報、歌壇などの記事	新聞	1	w9-1～19紙縒一括
W	9	2-1	森種苗農園目録特売号	昭和14	9	5	森種苗農園本店卸部		野菜の種苗の販売目録	冊子	1	封筒あり、愛知県小牧町森種苗農園本店卸売部より安高団兵衛宛、w9-2-2～9を一括
W	9	2-2	販売斡旋精算書	昭和10	8	13	（鞍手直方農産物配給所）	安高様	南瓜の売上精算書	紙	1	
W	9	2-3	販売斡旋精算書		8	13	（鞍手直方農産物配給所）	安高様	トマト、コンヨの売上精算書	紙	1	
W	9	2-4	販売斡旋精算書		8	12	（鞍手直方農産物配給所）	安高様	コンヨ、南瓜の売上精算書	紙	1	
W	9	2-5	販売斡旋精算書		2	16	（鞍手直方農産物配給所）	安高様	白菜、大根の売上精算書	紙	1	
W	9	2-6	〔領収書〕	昭和10	1	12	中間青果市場	安高藤吉様	正味金五七とあり。異筆で計算などの雑記あり	紙	1	
W	9	2-7	〔領収書〕	昭和10	7	16	中間青果市場	安団様	正味金一〇、二九とあり。青果市場の検印スタンプ	紙	1	
W	9	2-8	〔領収書〕	昭和10	7	16	中間青果市場	安高藤吉様	正味金四、六七とあり。青果市場の検印スタンプ	紙	1	
W	9	2-9	仕切書	昭和10	3	15	直方青果市場株式会社	安高殿	大根、白才、小ネギ、ホーレンの買取。支払済のスタンプあり	紙	1	
W	9	3	拝受証				佐野孝福	安高団兵衛殿	御仏前、難有拝受仕候	紙	1	
W	9	4	〔書簡〕		2	19	恵啓拝	安高様	中村先生御出になり、参拝者のあった時について御相談。黒山社司明二十日より福岡へ行くとの由	紙	1	紙背には日本陸軍、歩兵の本領の歌詞あり
W	9	5	支那事変国債				芦屋郵便局	安高団兵衛殿	国債売出の案内	紙	1	
W	9	6	〔葉書〕	皇紀二千六百	旧暦	元旦	安高重二琅	安高団兵衛様	先日、正義君の書面により、国婦より慰問袋及手紙を受取ったら返信下さいとの由、休暇後帰佐して巻紙に墨書にて出したが、其後何も受取らないので行き違いではないかと尋ねる	葉書	1	消印「15.2.8」

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	9	7	〔葉書〕		2	11	石川為市	安高団兵衛様	御機嫌伺。羽子板代過分の御恵与の御礼	葉書	1	消印「15.2.11」
W	9	8	貯金局たより	昭和14	11		貯金局		為替貯金読本、貯金奨励の記事	紙	1	
W	9	9	支那事変貯蓄債券				大蔵省・日本勧業銀行		貯蓄債券購買奨励の案内	紙	1	
W	9	10	関門北九州銃後の花第三十三号	昭和14	11	1	山本真輔、小倉聯隊区司令部		大日本国防婦人会宣言、本部指導事項、国婦会員の心構、支部たよりなどの記事	新聞	1	
W	9	11	関門北九州銃後の花第三十号	昭和14	8	1	山本真輔、小倉聯隊区司令部		総力戦の戦士に告ぐ、昭和十四年度本部指導方針、国策推進力強化、支部たより、日本の家などの記事	新聞	1	封筒あり、大日本国防婦人会関門北九州支部より安高団兵衛宛
W	9	12	記	昭和14	12	末	加藤医院	安高団兵衛殿	治療費金壱円、7月、レキノ殿、領収印あり	紙	1	
W	9	13	関門北九州銃後の花第二十七号	昭和14	5	1	山本真輔、小倉聯隊区司令部		天長の佳節に当りて、日本精神の由来、慰問袋に関する希望などの記事	新聞	1	封筒あり、大日本国防婦人会関門北九州支部より安高団兵衛宛
W	9	14	関門北九州銃後の花第三十三号	昭和14	11	1	山本真輔、小倉聯隊区司令部		大日本国防婦人会宣言、本部指導事項、国婦会員の心構、支部たよりなどの記事	新聞	1	封筒あり、大日本国防婦人会関門北九州支部より安高団兵衛宛
W	9	15	洪火会会報	昭和15	2	11	沢山勝、洪火会本部		嗚呼皇紀二千六百年、洪火会長黒山高麿の論説、会員消息他の記事	新聞	1	封筒あり、洪火会本部より安高団兵衛宛
W	9	16	関門北九州銃後の花第三十号	昭和14	8	1	山本真輔、小倉聯隊区司令部		総力戦の戦士に告ぐ、昭和十四年度本部指導方針、国策推進力強化、支部たより、日本の家などの記事	新聞	1	
W	9	17	〔広告〕				熊本逓信局、国民精神総動員中央連盟、福岡県、電気協会九州支部		「電力難を斯うして克服いたしませう」の題で節電を奨励	紙	1	
W	9	18	ラヂオ巡回相談				熊本中央放送局指定ラヂオ相談所		受信機に関する相談案内	紙	1	
W	9	19	〔送付状〕				大日本国防婦人会関門北九州本部（朱印）	大日本国防婦人会安高団兵衛殿	銃後の花二月号送付の件	紙	1	封筒あり、大日本国防婦人会関門北九州支部より安高団兵衛宛
W	10	1-1	〔書簡〕	昭和14	6		貴族院書記官石橋徳作、貴族院議員田中徳兵衛、貴族院議員大塚惟精、貴族院議員男爵伊江朝助、貴族院議員子爵保科正昭		南支皇軍慰問旅行の途次貴地へ罷出候節は御高配により、予定の旅行を終了、奉深謝。書面に墨で×印あり	紙	1	w10-1～新聞紙一括。新聞は昭和15年9月27日の福岡日日新聞。封筒あり、w10-1-1～1-3一括、貴族院内石橋徳作より安高団兵衛宛
W	10	1-2	〔書簡〕			28	石橋徳作	安高団兵衛	御依頼の尊像の製作について原口中将と相談。画帖に各士の揮毫の件	便箋	2	
W	10	1-3	〔書簡〕		3	4	安高団兵衛・古賀恵啓ノ筆	石橋徳作先生様	先生の御言葉に従い高さサ二尺八寸カ三尺二寸に致しては如何か。御意中の処に御願申上。木材代も送金致し度、早川先生に御相談下さいまして御通知下さい。謝礼も先生様の御意中に御願申上	罫紙	2	
W	10	2-1	〔書簡〕			7	石橋徳作	安高団兵衛様	瑞兆旗入魂式挙行目出度、御依頼の神武天皇の御像の製作に付、彫刻師早川朝洋先生へ相談の処、御承諾相成、大作につき御礼の予算御依頼	便箋	4	封筒あり、w10-2-1～2-2一括、石橋徳作より安高団兵衛宛
W	10	2-2	〔書簡〕	皇紀二千六百	2	19	安高団兵衛	石橋徳作様侍史	神武天皇御尊像彫刻の件、御配慮深く感謝、予算は相当集金のこと、像の高さは五尺位になること	罫紙	2	
W	10	3	〔書簡〕		4	15	徳作	安高団兵衛様	原口中将を訪問、貴下より千円送金に付、早川氏へ材料費三百円を渡し、完成後財余を相渡、七百円は小生預り仕。御尊像の件、小野氏へ御通知被成、早川氏の先生について	便箋	2	封筒あり、石橋徳作より安高団兵衛宛

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	10	4	〔書簡〕		4	12	石橋徳作	安高団兵衛様	神武天皇御尊像彫刻材料等予め千円送金の件で材料費三百円を早川氏に渡し、完成の暁に七百円を渡すこと諒承被下	便箋	2	封筒あり、石橋徳作より安高団兵衛宛
W	10	5	〔電報〕	〔昭和15〕	4	9	イシバシ	アタカダンベエ殿	「三〇〇エンタノムイシバシ」とあり	紙	1	年月日はスタンプ
W	10	6-1	〔書簡〕		4	9	安高団兵衛・津山政夫	石橋徳作先生様	お手元へ金壱仟円送金致し候	便箋	1	封筒あり、w10-6-1～6-3一括、石橋徳作より安高団兵衛宛
W	10	6-2	〔書簡〕				石橋徳作	安高団兵衛様	神武天皇御聖蹟に御指定相成由、早川氏も非常なる決意、材料費は御通知に付、転送申上	便箋	2	
W	10	6-3	〔書簡〕		4	3	早川朝洋	石橋徳作様	神武天皇尊像のデザインや装飾について、材料費が三百円位必要のこと	便箋	2	封筒あり、早川朝洋より石橋徳作宛
W	10	7-1	〔書簡〕						神武天皇御尊像建立の件、御決定相成、小生に彫刻御依頼相成、其像の高さ及予算等御通知被下度	継紙	1	封筒ありw10-7-1～7-3一括、貴族院内石橋徳作より安高団兵衛宛
W	10	7-2	〔書簡〕	皇紀二千六百	1	21	安高団兵衛	石橋徳作様	神武天皇御尊像建設の件、像の高さ、謝礼について、神武天皇社にて入魂式について	罫紙	1	写し
W	10	7-3	〔書簡〕	皇紀二千六百	1	15			奉賛会事業として神武天皇御尊像建設の件、具体的に着手、彫刻の件先生へ一切御依頼のこと	罫紙	1	
W	10	8	〔書簡〕		4	3	早川朝洋	安高団兵衛様	尊像製作の進捗状況、デザイン、使用木材について、大いさについてお考えを承りたい	継紙	1	
W	10	9	〔書簡〕		4	16	早川朝洋	安高団兵衛様	石橋様へ御送金の内より材料購入の分預り感銘に奉存、良材を求置、聖像一層入念研究考察して貴殿の願望の達成を期する覚悟	継紙	1	
W	10	10	〔葉書〕		4	8	山鹿秋山光清	安高団兵衛殿	紙面墨塗、墨書の上に鉛筆書の文面あり	葉書	1	消印「15.4.8」
W	10	11	〔葉書〕		4	12	洪火会本部黒山高麿	安高団兵衛様	御尽力の程、御礼申上、当局の出足鈍き故失礼に当たり候、会長等の責任者氏名の書類なければ具合あしき様、寄付行為の法的許可を得られ候や	葉書	1	消印「15.4.13」
W	10	12	〔葉書〕		4	8	洪火会本部黒山高麿	安高団兵衛様	神武天皇御東航順路航走の件、同社においても種々協議、計画の変更困難にて附近海上航行にて船中遙拝式を行うこと御勘弁乞うとの返事	葉書	1	消印「15.4.8」
W	10	13	〔葉書〕	昭和15	4		黒山高麿	安高団兵衛殿	大阪府警察部、大阪高等学校、大阪刑務所等に柔道教師を勇退、洪火会の経営に専念、福岡に数日滞在の予定、万事拝眉の上で	葉書	1	消印「15.5.2」
W	10	14	〔葉書〕		3	29	中村健二	安高団兵衛様	当局より何等の交渉も無之、此侭にて祭典当日総代及町当局と顔合致すも協賛態度にも出て難かる、一度市内否町内会員の集会御開催の必要と被存、一応貴兄御伺	葉書	1	消印「15.3.30」
W	10	15	〔葉書〕		3	7		安高団兵衛殿	町協議会にて新聞記事の影響を顕し道案内の差支ないこと、本日町長及繁栄担当の議員6、7福間に出頭社寺課長も面会、新聞記事に付、詳細の状況を尋ねる	葉書	1	消印「15.3.8」
W	10	16	〔葉書〕			7	中小路恵啓	安高団兵衛様	本日午後御出の節、少々早く御出を願う	葉書	1	消印「15.4.7」
W	10	17	〔書簡〕		1	10	大竹嘉三郎	安高団兵衛様御侍史	皇紀二千六百年乃皇祖奉賛会御発起、難有御礼申上、申込書の通り賛同入会仕度御願申上	罫紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	10	18	〔葉書〕				香正寺泰信	日蓮宗教会所御主古賀恵啓様	瑞兆旗入魂式1月31日執行目出度、御案内有難存候、来る27日より5日間寒行奉修の予定にて欠席	葉書	1	消印「15.1.25」
W	10	19	〔年賀状〕			元日	宮村三郎	安高団兵衛様、中村健二様、他御一同様	年始挨拶	葉書	1	消印「15.1.3」
W	10	20	〔年賀状〕	皇紀二千六百			不屋喜久次	安高団兵衛、外御一同殿	年始挨拶	葉書	1	消印「15.1.2」
W	10	21	〔葉書〕				松本勇平	安高団兵衛様、中村健二様、秋山光清様、古賀雲啓様	年始挨拶	葉書	1	消印「15.1.3」
W	10	22	〔葉書〕				九州日報社折尾通信部	安高団兵衛様	昨年十一月四日附、貴殿の記事記載の大阪朝日新聞その他雑誌等があれば、貸して下さい	葉書	1	消印「15.4.15」
W	10	23	〔葉書〕				秋老人	安高団兵衛殿	「かりすてん」で始まる和歌	葉書	1	消印「14.11.16」
W	10	24	〔葉書〕	皇紀二千六百	4	14	石橋徳作・早川朝洋	安高団兵衛殿、古賀恵啓殿	石橋氏来訪、早川氏も会合、神武天皇社について	葉書	1	消印「15.4.16」
W	10	25	〔葉書〕		3	20	安川寛次郎氏方早川朝洋	安高団兵衛様	岩田屋開催の彫刻展のため滞福中、来21日閉会数日後帰京につき、22日御地へ参上仕度、御都合の返事下され度	葉書	1	消印「15.3.20」
W	10	26	〔葉書〕				松本勇平	安高団平様	新聞記事を古賀氏より頂き拝見、御精励に対し、深く敬虔の意を表する	葉書	1	消印「14.12.13」
W	10	27	〔葉書〕				軍艦赤城一次室	安高団兵衛殿	尊き御話を拝し、今回の聖挙に対する御精神を聴き感激、今後とも御鞭撻の程を頼む	葉書	1	消印「14.10.23」
W	10	28	〔葉書〕				中村健二	安高団兵衛様	本日区長集会、祇園社の昇格運動を議決の由、神武天皇奉賛会の集金に対して奉賛会の趣旨不徹底につき、今後徹底的普及の必要	葉書	1	消印「14.9.30」
W	10	29	〔葉書〕				秋山光清	安高団兵衛殿	四国より大阪に出、大和に橿原神宮を賽シ京都に滞在中、今明日中に帰途に就可申候	葉書	1	消印「15.3.2」
W	10	30	〔書簡〕		4	28	恵啓拝	安高様	金壱百円の奉献感涙、磐崎氏の宿代、小生上京の汽車代、荒木閣下西下の折の汽車代など加入して頂き度	罫紙	1	封筒あり、古賀恵啓より安高団兵衛宛、消印「15.4.28」
W	10	31	〔書簡〕		5	30	黒山高麿	安高団兵衛様侍史	神武天皇奉賛会は町全体で斡旋の由、和衷協力して目的達成に邁進を願う、此運動の記録綴中の小生より差上げた手紙等は綴中より御取去り被下度	便箋	3	封筒あり、洪火会本部黒山高麿より安高団兵衛宛、消印「15.5.31」
W	10	32	〔書簡〕		8	14	黒山高麿	安高団兵衛様侍史	地蔵尊土地の件、寄附は具合悪く、売却も芦屋講の抵当の為、応じ難きこと御諒承被下度	便箋	1	封筒あり、洪火会本部黒山高麿より安高団兵衛宛、消印「15.8.14」
W	10	33-1	〔書簡〕		5	15	黒山高麿	安高団兵衛兄侍史	来る5月26日洪火会福岡支部柔道大会挙行、芦屋神武天皇社に奉納致す事にし、当日会場に神武天皇社神霊御降神を乞う、就ては神武天皇社奉賛会、芦屋町の主立たる方に試合参観を相願度、招待状の送付先選定を願う、5月22日芦屋へ行くので御面会致度	便箋	4	封筒あり、洪火会本部黒山高麿より安高団兵衛宛、消印「15.5.15」
W	10	33-2	〔電報〕				タカマテ	アタカダンベエ	「アスゴゴジンムニテアヒタシヨロシク」	紙	1	消印「15.5.22」、紙背に活動写真興行願などの下書あり
W	10	34	〔書簡〕		4	8	小野賢一郎	安高様	今朝古賀恵啓より書面参、奉賛会の件について、神社拝殿奉納の像は私一手に引受、毎月掛金について、社殿内東安の尊像は独力で寄進のこと	便箋	4	封筒あり、小野賢一郎より安高団兵衛宛、消印「15.4.8」
W	10	35	〔封筒〕				門司鉄道局運輸部長	神武天皇奉讃会安高団兵衛殿	封筒のみ	封筒	1	消印「15.3.18」

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	10	36	〔書簡〕		4	7	太田達雄	安高団兵衛殿	神武社奉讃会設立に関し古賀恵啓より賛否御照会に接し、貴下宛返信方申来、結構の義に付、賛式可仕	便箋	1	封筒あり、太田達雄より安高団兵衛宛、消印「15.4.8」
W	10	37	〔封筒〕				江藤清太郎	古賀恵啓殿	封筒のみ	封筒	1	消印「15.4.14」
W	10	38	〔封筒〕			17	中村健二	安高団兵衛様	声明書の内容に同感、奉賛会について秋山氏の意向を確かめたが小生と同感、今後対外的関係もあり貴下も御考察置下さる様	封筒	1	封筒あり、中村健二より安高団兵衛宛、消印「15.1.18」
W	10	39	祝詞	昭和15	1	30	若松市会議員津山政夫		神武天皇の事蹟と天皇中心の国風を顕彰、奉賛会の一員としての謝辞、瑞兆旗奉献の祝意を示す	継紙	1	包紙あり、上書「祝詞」とあり
W	11	1	〔葉書〕	〔昭和〕12	2	10	〔郵便局〕	安高シゲ	貯金通帳確認依頼	葉書	1	
W	11	2	〔葉書〕	〔昭和〕14	6	25	安高重二琅	安高団兵衛	田植え繁忙のため妻の派遣打診	葉書	1	
W	11	3	〔葉書〕	〔昭和15〕	7	14	工藤六郎	安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
W	11	4	〔葉書〕	〔昭和15〕	9	1	小野敏行	安高団兵衛・藤吉	入隊挨拶	葉書	1	
W	11	5	〔葉書〕	〔昭和15	9	4〕	重岡本芳	安高団兵衛	父71、自分41才の祝宴招待状	葉書	1	
W	11	6	〔葉書〕	〔昭和15	9	6〕	松尾豊	安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
W	11	7	〔葉書〕	〔昭和15〕	9	5	徳満神社社務所	安高団兵衛	秋季大祭開催通知	葉書	1	
W	11	8	〔葉書〕	〔昭和15	9	6〕	広渡タツノ	安高団兵衛	リキノ男児出生	葉書	1	
W	11	9	〔葉書〕	〔昭和〕15	9	12	小野啓雄	安高団兵衛	来信へのお礼、近況報告	葉書	1	
W	11	10	〔封筒〕	昭和15	9	14	本田増往	安高団兵衛	帰郷時の礼、マラリアに罹患、伍長に昇進報告	封筒	1	
W	11	11	〔封筒〕	〔昭和15〕	9	〔4〕	三木春男	安高団兵衛	訪問のお礼、父母病気、祖母死亡等報告	封筒	1	
W	11	12	〔封筒〕	〔昭和15〕	9	14	三木春男	安高団兵衛	父母の見舞いへのお礼、	封筒	1	
W	11	13	〔封筒〕	〔昭和15〕	10	13	三木春男	安高団兵衛	父母の見舞いへのお礼、	封筒	1	
W	11	14	〔封筒〕	昭和15	10	26	小野啓雄	安高団兵衛	任務を終え内地に一時帰還、その後空母飛龍へ乗船予定	封筒	1	
W	11	15	〔封筒〕	昭和15	10	23	三木春男	安高団兵衛	見舞状に対し、心境吐露	封筒	1	
W	11	16	〔封筒〕	〔昭和15〕	11	20	三木春男	安高団兵衛	母死去報知	封筒	1	
W	11	17	〔封筒〕	〔昭和15	12	5〕	小田利三郎	安高団兵衛		封筒	1	
W	11	17-1	〔挨拶状〕	昭和15	12	3	小田利三郎	安高団兵衛	米寿祝儀お礼	紙	1	
W	11	17-2	〔葉書〕	昭和15	12	1	吉田金太郎	安高団兵衛	入隊餞別お礼	葉書	1	
W	11	17-3	〔葉書〕	〔昭和15〕	11	12	白石清	安高団兵衛	入院見舞お礼	葉書	1	
W	11	17-4	〔葉書〕	〔昭和15	11	20〕	山本賢一	汐谷まき	レイズン一袋送付	葉書	1	
W	11	17-5	〔葉書〕			30	広渡立野	安高団兵衛	戦地の義弟への手紙に対するお礼	葉書	1	
W	11	17-6	〔葉書〕	〔昭和15	11	15〕	広渡素一郎	安高団兵衛	戦地の活身への慰問に対するお礼	葉書	1	
W	11	17-7	〔葉書〕	〔昭和15〕	11	28		安高団兵衛	餞別お礼、門出の祝杯のため来宅依頼	葉書	1	
W	11	17-8	招待券	〔昭和15〕	11		福岡日日新聞社		北九州総局開設記念招待券	紙	1	
W	11	18	〔葉書〕	〔昭和15	12	30〕	中村藤治郎	安高団兵衛	新年の挨拶	葉書	1	
W	11	19	〔葉書〕	〔昭和16〕	1	1	山田源太郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	11	20	〔葉書〕	〔昭和〕16	1	6	本田増往	安高団兵衛	新年の挨拶	葉書	1	
W	11	21	〔葉書〕	〔昭和16〕	1	7	本田馨	安高団兵衛	年末の夜警出場人員を至急報せて欲しい	葉書	1	
W	11	22	〔封筒〕	〔昭和15〕	12	17	小野利則	安高団兵衛	南支派遣軍よりの近況報告	封筒	1	
W	11	23	〔封筒〕	〔昭和〕16	1	7	丸柏百貨店	安高団兵衛	風呂敷送付通知	封筒	1	
W	11	24	〔封筒〕	〔昭和〕16	1	9	古賀恵啓	安高	白垣氏を訪問、赤誠会を組織中とのこと	封筒	1	
W	11	25	〔葉書〕	昭和16	1	1	平井義紹	安高団兵衛・古賀恵啓	年賀状	葉書	1	
W	11	26	〔封筒〕	昭和16	1	18	日清製粉株式会社調査課	安高団兵衛	小麦事情の通信の御礼として乾麺送付	封筒	1	
W	11	27	〔封筒〕	昭和16	2	13	日清製粉株式会社	安高団兵衛		封筒	1	
W	11	27-1	〔書簡〕	昭和16	2	13	日清製粉株式会社		乾麺送付遅延、去る9日発送手続完了	紙	1	
W	11	27-2	事務用付箋				福岡県芦屋郵便局	安高団兵衛	貯蓄債券到着通知	紙	1	
W	11	28	〔封筒〕				塩谷マキ	安高福蔵		封筒	1	
W	11	28-1	〔書簡〕	昭和16	1	22	マキ	父母上様　御家内様	長い滞在の御礼、23日横浜より出港の米国へ予定	紙	4	
W	11	28-2	〔電報〕	〔昭和16	2	3〕	シヲ	アタカフクゾウ	ブジ三一ヒハワイニツイタアンシンアレ　シヲ	電報	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	11	28-3	〔葉書〕	昭和16	2	3	福岡県芦屋郵便局	アタカフクゾウ	貴殿発電報文改正通知	葉書	1	
W	11	29	〔封筒〕	昭和16	1		石橋尺山墓碑建設並遺稿出版事務所	安高団兵衛	趣意書、墓碑設計図、予算概算書	封筒	1	
W	11	30	〔葉書〕	〔昭和16	2	3〕	山本賢一	安高団兵衛	塩谷マキへ送付の品、米国へ送付又は自分の所へ送付を依頼	葉書	1	
W	11	31	〔葉書〕	〔昭和16	2	12〕	大庭喜壮	安高団兵衛	先日来の度々の訪問の礼状	葉書	1	
W	11	32	〔封書〕	〔昭和16〕	2	12	九州日報販売部	安高団兵衛	新聞購読振替用紙送付、振替用紙同封	葉書	1	
W	11	33	〔封書〕	〔昭和〕16	2	16	入江節雄	安高団兵衛	北支での近況報告	封書	1	
W	11	34	〔封書〕	昭和16	2	20	本田増往	安高団兵衛		封書	1	
W	11	34-1	〔書簡〕						満州での近況報告	紙	2	
W	11	34-2	〔写真〕						兵隊服での写真	写真	1	
W	11	35	〔葉書〕	〔昭和16〕	2	19	安高重二琅	安高団兵衛	自転車に乗れないため来月迄伺えない	葉書	1	
W	11	36	〔葉書〕	〔昭和〕16	4	7	安高福蔵	安高団兵衛	本日午後みなとや旅館に無事着いた	葉書	1	
W	11	37	〔葉書〕	〔昭和〕16	4	6	安部正威	安高団兵衛	飛行場設置状況見学に行きたいが用事が多く行けない、息子靖国神社に合祀のため20日より上京予定	葉書	1	
W	11	38	〔葉書〕	昭和16	4	14	石橋つもる・玲子	安高団兵衛	石橋開蔵墓碑建立・遺稿出版への御礼、墓碑竣工式への案内	葉書	1	
W	11	39	〔葉書〕	〔昭和〕16	4	17	防府市農会	安高団兵衛	本市農業実行組合長以下5名農業経営視察のため参上するので便宜方依頼	葉書	1	
W	11	40	〔葉書〕	〔昭和〕16	4	23	防府市農会	安高団兵衛	視察への御礼	葉書	1	
W	11	41	〔葉書〕	〔昭和16	4	25〕	中西儀七郎	安高団兵衛	茄子苗50本、トマト10本依頼	葉書	1	
W	11	42	〔葉書〕	〔昭和〕16	4	29	三原百之	安高団兵衛	父母への芳情に対する礼状	葉書	1	
W	11	43	〔葉書〕	〔昭和16〕	4	29	刀根吉次郎	安高団兵衛	ナスビ苗依頼	葉書	1	
W	11	44	〔葉書〕	〔昭和16	5	5〕	有田喜代子	安高団兵衛	自転車故障の助勢への礼状	葉書	1	
W	11	45	〔封書〕	〔昭和16〕	6	10	入江節雄	安高団兵衛	北支での近況報告	葉書	1	
W	11	46	〔葉書〕	昭和16	6	30	矢野政勝	安高団兵衛	入隊挨拶	葉書	1	
W	11	47	〔葉書〕	昭和16	7		大庭進	安高団兵衛	入隊挨拶	葉書	1	
W	11	48	〔封筒〕	〔昭和16〕	7	10	入江節雄	安高団兵衛	北支での近況報告、福岡での豪雨見舞	封筒	1	
W	11	49	〔葉書〕	〔昭和〕16	7	30	入江節雄	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	11	50	〔葉書〕	〔昭和〕16	8	4	本田増往	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	11	51	〔挨拶状〕	昭和16	7		株式会社十七銀行直方支店長林昌也・折尾支店長荒巻直二		支店長交代挨拶、封筒なし	紙	1	52～62まで挟み込み
W	11	52	〔葉書〕	〔昭和16	2	19〕	山下健一	安高団兵衛	返送の品落手、桑港着後塩谷氏に渡す予定	葉書	1	52～62まで挟み込み
W	11	53	〔葉書〕	〔昭和〕16	6	27	椛田マス	安高ダンベエ本家	留守宅世話依頼	葉書	1	52～62まで挟み込み
W	11	54	〔葉書〕	昭和16	8	10	大勢屋旅館	塩屋喜一郎	暑中見舞	葉書	1	52～62まで挟み込み
W	11	55	〔封筒〕	昭和16	8	10	遠賀村農会縄田益三	安高団兵衛	転任挨拶	封筒	1	52～62まで挟み込み
W	11	56	〔葉書〕	〔昭和15	8	8〕	倉垣茂雄	安高団兵衛	カボチャ・アマクリ10ヶばかり送付依頼	葉書	1	52～62まで挟み込み
W	11	57	〔電報〕	〔昭和16	7	26〕		アタカフクゾウ	ハハシスケフシマイ五ジスルイヅ	電報	1	52～62まで挟み込み
W	11	58	〔葉書〕	〔昭和〕16	6	10	吉永マチノ	安高団平	キウリの御礼、今日のね10銭であることを報知	葉書	1	52～62まで挟み込み
W	11	59	〔封筒〕	〔昭和16〕	8	15	占部吉三郎	安高団兵衛	初盆会供物御礼	封筒	1	52～62まで挟み込み
W	11	60	〔葉書〕	〔昭和〕16	8	3	坂田秀人	安高団兵衛	暑中見舞、製材時の御礼	葉書	1	52～62まで挟み込み
W	11	61	〔葉書〕	〔昭和〕16	8	25	川津徳市	安高団兵衛	転出挨拶	葉書	1	52～62まで挟み込み
W	11	62	〔葉書〕	〔昭和〕16	10	5	羅紗裏地並附属品卸商小田実商店	安高団兵衛	御依頼の洋服仕直し完了通知	葉書	1	52～62まで挟み込み
W	11	63	〔葉書〕		9	14	入江初夫	安高団兵衛	手紙への御礼、近況報告	葉書	1	
W	12	1	〔葉書〕	紀元2600〔昭和15〕	12	26	茨城県内原訓練所推進隊福岡中隊第八中隊第二小隊安高藤吉	芦屋町粟屋町　安高団兵衛様方安高恵美子	茨城内原で農民訓練を一応受けている	葉書	1	
W	12	2	〔葉書〕	紀元2600〔昭和15〕	12	26	茨城県内原訓練所推進隊福岡中隊第八中隊第二小隊安高藤吉	芦屋町粟屋町　安高団兵衛様方安高隆盛	本式訓練が始まったので、一生懸命やれば身体丈けは暖まる	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	12	3	〔葉書〕	紀元2600〔昭和15〕	12	27	茨城県内原訓練所推進隊福岡中隊第八中隊第二小隊安高藤吉	芦屋町1205　安高団兵衛様外一同様	昨夜私達小隊に岩手県の小隊が一小隊来まして	葉書	1	
W	12	4	〔葉書〕	紀元2600〔昭和15〕	12	28	茨城県内原訓練所推進隊福岡中隊第八中隊第二小隊安高藤吉	芦屋町安高団兵衛様方伯母様	伯母様も船出が次第に近まりましたね‥‥米国へ行かれたら一生懸命やられて	葉書	1	
W	12	5	〔葉書〕	紀元2600〔昭和15〕	12	28	茨城県内原訓練所推進隊福岡中隊第八中隊第二小隊安高藤吉	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様方安高恵美子	内原には毎日福岡日日新聞社より新聞が各兵舎に一部送って来るので	葉書	1	
W	12	6	〔葉書〕	昭和16	1	1	北支派遣軍村井部隊佐々木部隊本部入谷節雄	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	軍事郵便
W	12	7	〔葉書〕	昭和16	1	4	香月町　江藤清太郎	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様方古賀恵啓	新年挨拶	葉書	1	日付は消印
W	12	8	〔葉書〕	昭和16	1	3	霧島山にて　高木恵三郎	芦屋町　忠誠の人　安高団兵衛	新年挨拶	葉書	1	日付は消印
W	12	9	〔葉書〕	昭和16	1	1	若松市　吉田敬太郎　種代	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	新年挨拶	葉書	1	日付は消印
W	12	10	〔葉書〕	昭和16	1	1	木屋瀬町　梅本　雄	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	新年挨拶	葉書	1	日付は消印
W	12	11	〔葉書〕	昭和16	1	6	芦屋町中浜　中村建二	芦屋町粟屋安高団兵衛様御全家様	新年挨拶　七言絶句2題	葉書	1	日付は消印
W	12	12	〔葉書〕	昭和15	12	29	渋谷区笹塚町1398名倉方池田貫道	遠賀郡芦屋町粟屋1205番地　安高福蔵方塩谷マキ	折角の御世話ですが迚も一月十九日には帰米出来ませぬから一月二十八日出帆の平安丸でシアトル航路を取る	葉書	1	日付は消印
W	12	13	〔葉書〕	皇紀2601〔昭和16〕	1	1	大阪毎日新聞社折尾通信部小池太郎	遠賀郡芦屋町大蔵安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
W	12	14	〔葉書〕	昭和15	12	31	若松市山手通山分祥弘	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	日付は消印
W	12	15	〔葉書〕	昭和16	4	10	八幡市大蔵園田木原泰平	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	4月より九州専門学校に書道教師として勤務	葉書	1	印刷
W	12	16	〔葉書〕	昭和16	3	15	北支派遣軍第一野戦郵便局気付藤野部隊広渡活身	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	小生も其の後元気で御奉公致して居ります	絵葉書	1	軍事郵便　日付は団兵衛のメモ
W	12	17	〔葉書〕	紀元2600〔昭和15〕	12	25	茨城県内原訓練所推進隊福岡中隊第八中隊第二小隊安高藤吉	遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛様外御一同様	午後は元気百倍で総べての行事をする事が出来ました	葉書	1	
W	12	18	〔葉書〕	紀元2600〔昭和15〕	12	26	茨城県内原訓練所推進隊福岡中隊第八中隊第二小隊安高藤吉	遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛様外御一同様	茨城の生活や寒さにも馴れ	葉書	1	
W	12	19	〔葉書〕	紀元2600〔昭和15〕	12	26	茨城県内原訓練所推進隊福岡中隊第八中隊第二小隊安高藤吉	芦屋町粟屋　安高正義	青年の新年号を読み終られたらそれと農友の十二月号を‥‥‥御送り下され	葉書	1	
W	12	20	領収証	昭和15	9	4	福岡県農会会長森部隆輔	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	農会報購読料	葉書	1	
W	12	21	〔葉書〕	昭和16	2	26	八幡惣祭　　渋田武兵衛	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	不在致して実に恐縮且つ残念に存じます	葉書	1	昭和16は消印
W	12	22	〔葉書〕	昭和16	1	1	南支派遣軍百武部隊伊東部隊松下隊　堤元信	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	絵葉書	1	軍事郵便
W	12	23	〔書簡〕	〔昭和15〕	12	28	篠塚部隊長谷川(逸)部隊第一外科第二病棟占部房雄	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	出陣の栄を得ば以て玉砕皆々様の御期待に副へ度く	簡易書簡	1	軍事郵便
W	12	24	〔書簡〕	皇紀2600〔昭和15〕	12	24	茨城県内原訓練所推進隊福岡中隊第八中隊第二小隊安高藤吉	遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛様外御一同様	本式訓練日課を御知らせ致します	罫紙	3	封筒あり
W	12	25	〔封筒〕	昭和16	5	1	東京市中野区城山町日本農村文化研究所理事長草場七郎次	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛		封筒	1	25-1、2同封
W	12	25-1	〔書簡〕	昭和16	5	1	日本農村文化研究所理事長草場七郎次	安高団兵衛	向坊氏を経て貴台にハ丹精ニなる貴重なる文献此上もなき資料として当方に於て拝見	継紙	1	
W	12	25-2	〔書簡草稿〕	皇紀2600〔昭和15〕			安高団兵衛	草場七郎次	拙稿ノ一部雑誌『皇楯』に御投稿賜はりし由恐縮	罫紙	1	
W	12	26	〔葉書〕	〔昭和19〕	3	29	芦屋町市場　桑原静治	市内粟屋　安高団兵衛様	野菜苗分譲依頼	葉書	1	昭和19は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	12	27	〔葉書〕	昭和19	3	16	芦屋町山廉タヤ　重岡本芳	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	父葬儀会葬お礼	葉書	1	日付は消印
W	12	28	〔葉書〕	昭和19	3	12	岡垣村元松原　広渡素一郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	婚礼祝トシテ酒粕差上度	葉書	1	日付は消印
W	12	29	〔葉書〕	〔昭和19〕	3	12	田屋　重岡芳子	芦屋町粟屋　安高団兵衛		葉書	1	
W	12	30	〔葉書〕	昭和19	3	16	芦屋町大師講　中西徳一郎	芦屋町粟や　安高福太郎外世話人一同	彼岸参詣の案内	葉書	1	日付は消印
W	12	31	〔葉書〕	昭和19	2	23	川下ワキ	芦屋町粟屋区　安高団兵衛様	告別式案内	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	12	32	〔葉書〕	昭和19	5	2	東京都杉並区堀ノ内　三原広	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	政弘帰京に際しては過分の餞別を賜り	葉書	1	日付は消印
W	12	33	〔葉書〕	昭和19	5	2	市場　小野弥右衛門	芦屋町粟屋　安高団兵衛	「タカナ」がありましたらお分け下されば	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	12	34	〔葉書〕	昭和19	4	9	遠賀村別府　永田要蔵	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	野菜苗分譲依頼	葉書	1	日付は消印
W	12	35	〔葉書〕	昭和19	5	5	満州国牡丹江第五軍事郵便所気付満州第九一六部隊中村隊小野岩雄	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋共同出荷組合	無事に精励して居ります	葉書	1	軍事郵便
W	12	36	〔葉書〕	昭和19	5	16	中間町下大隈　西轍之助	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	御報せの儀は丁度苗代と茶摘とで甚だ御気毒ですが忙しいので他に御廻し	葉書	1	日付は消印
W	12	37	〔葉書〕	昭和19	4	6	安高福蔵	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	無事ニ鉄輪ニ付御安心被下度	葉書	1	
W	12	38	〔書簡〕	昭和16	1	7	福岡市浜田町一丁目　平木	遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛様御宅にて塩谷まき	再渡米前に一度お出で下さいという依頼	罫紙	3	封筒あり
W	12	39	〔書簡〕	1941〔昭和16〕	3	12	北米合衆国加州桑港1634post.sanfransisco K.Sioya(塩谷喜一郎)	遠賀郡芦屋町粟屋　安高福蔵	妻マキ女過月六日無事上陸	日米証券(株)罫紙	2	封筒あり
W	12	40	〔書簡〕	昭和15		20	本田	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様方塩谷マキ	在米家族の近況	罫紙	2	横浜大勢屋旅館封筒あり
W	12	41	〔封筒〕	昭和16	1	14	福岡市浜田町一丁目　平木善三郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様　塩谷マキ		封筒	1	41-1、2同封
W	12	41-1	〔書簡〕	昭和16	1	14	平木善三郎	安高団兵衛　塩谷マキ	先達態々御出に成れました節何等御構いも致さず	罫紙	2	
W	12	41-2	〔書簡〕				平木	塩谷マキ	渡米前に会えなかった事の詫び、その他近況	罫紙	3	
W	12	42	〔書簡〕		1	9	東京都中野区白鷺1ノ76小沢静雄方二階堂クラ	遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋安高団兵衛様方塩谷マキ	横浜旅館と大勢屋に居ります御出の日を御待ち申上ます	罫紙	1	封筒あり
W	12	43	〔封筒〕				1856 Sutter St S.F.山本里野	塩谷マキ		封筒	1	43－1、2同封
W	12	43-1	〔書簡〕		12	20	美代子	まき子	来状への礼、近況報告	桑港重住杏之助罫紙	2	
W	12	43-2	〔書簡〕	皇紀2599〔昭和14〕	10	3	安高重二琅	姉上	イハテがシスコに来ましたら柿田様をご案内して　その他近況報告	罫紙	4	
W	12	44	〔葉書〕	昭和16	1	12	大勢屋旅館	遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋1205　安高団兵衛様方塩谷マキ	宿泊案内	葉書	1	
W	12	45	〔書簡〕	昭和16	1	6	和歌山県海草郡亀川村字多田山本こう	遠賀郡芦屋町大字芦屋1205　安高団兵衛様方塩谷マキ	あなた様は近い内にアメリカへ御帰りの由承り私はアメリカへ帰るのはいつの事やら日本に居りましても別にたのしい事もありません	罫紙	1	封筒あり
W	12	46	〔封筒〕	1940	10	24		Mr.F.Adaka Yokohama Japan遠賀郡芦屋町字粟屋　安高福蔵		封筒	1	日付は消印、46-1、2同封
W	12	46－1	〔書簡〕	1940	10	24	塩谷喜一郎	安高福蔵　御一同	妻マキ帰国滞在中の世話に対する礼状	罫紙	2	日米証券(株)罫紙
W	12	46-2	〔書簡〕	1940	10	24	主　喜一郎	妻　マキ	先日布哇ホノルル港よりの御手紙難有	罫紙	1	日米証券(株)罫紙
W	12	47	〔葉書〕	昭和16	1	16	茨城県　安高藤吉	遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛	十四日夜各県技師が入所され遠賀よりは占部技師が入所されました	葉書	1	日付は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	12	48	〔葉書〕	皇紀2601〔昭和16〕	1	15	茨城県内原訓練所推進隊福岡中隊第八中隊第二小隊安高藤吉	遠賀郡芦屋町粟屋　安高恵美子	今日（十四日）は利根川の荒廃地の開墾並に作道作り作業	葉書	1	
W	12	49	〔葉書〕	2601	1	13	茨城県　安高藤吉	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛一同	十七日修了式、二十日午前十一時過ぎ内原発	葉書	1	
W	12	50	〔書簡〕	紀元2601〔昭和16〕	1	12	茨城県内原訓練所推進隊福岡中隊第八中隊第二小隊安高藤吉	遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛御一同	修了式二日間延期報告、その他近況報告	罫紙	4	封筒あり
W	12	51	〔書簡〕	昭和16	1	13	陣の原宮ノ下888　安高すま子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛マキ姉	マキ帰米に際しての挨拶	罫紙	3	封筒あり　昭和16は団兵衛メモ
W	12	52	〔書簡〕	紀元2601〔昭和16〕	1	9	茨城県内原訓練所推進隊福岡中隊第八中隊第二小隊安高藤吉	遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛御一同	残り一週間となりました訓練日中には水戸行、刀根(ママ)川原のカイコン等	罫紙	2	封筒あり
W	12	53	〔書簡〕	紀元2601〔昭和16〕	1	9	茨城県内原訓練所推進隊福岡中隊第八中隊第二小隊安高藤吉	遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛御一同	此の頃私達小隊に急激にしらみが繁殖してずいぶん困っています	罫紙	2	封筒あり
W	12	54	〔書簡〕	紀元2601〔昭和16〕	1	6	茨城県内原訓練所推進隊福岡中隊第八中隊第二小隊安高藤吉	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛御一同	今夜（六日夜）農林省係官出席の下に座談会が開かれました。隊員の質問に対してそれぞれ返答致されますので、大分政府の農政状態を知る事が出来ました	罫紙	4	封筒あり
W	12	55	〔葉書〕	2601	1	17	茨城県内原訓練所推進隊員安高藤吉	遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛御一同	今修了式が終て中食をすましたばかりです、東京発午後八時三十分定期急行で帰郷	葉書	1	
W	12	56	〔書簡〕	紀元2601〔昭和16〕	1	3	茨城県内原訓練所推進隊福岡中隊第八中隊第二小隊安高藤吉	遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛様方伯母様	訓練所正月行事報告、その他近況	罫紙	7	封筒あり
W	12	57	〔葉書〕		12	15	第三十四駆逐隊蓼小野□雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛　安高幸次郎	本月二十一日無事任務を終へて凱旋の予定	絵葉書	1	軍事郵便
W	12	58	〔葉書〕	昭和15	12	15	博多駅前金八旅館推進隊福岡県第二中隊第八中隊第二小隊藤吉	遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛外御一同	一行は無事福岡着県庁の壮行会を終わり	葉書	1	日付は消印
W	12	59	〔葉書〕	紀元2600〔昭和15〕	12	16	茨城県東茨城郡内原訓練所推進隊第八中隊第二小隊安高藤吉	遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛外御一同	十六日午後一時過ぎ無事内原駅へ着き徒歩にて訓練所へ参りました	葉書	1	
W	12	60	〔葉書〕	紀元2600〔昭和15〕	12	18	茨城県東茨城郡内原訓練所推進隊福岡中隊第八中隊第二小隊安高藤吉	遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛外御一同	後期隊の全入所式は二十日です、それからが本式の訓練です　その他訓練所内の日課	葉書	1	
W	12	61	〔書簡〕	紀元2600〔昭和15〕	12	19	茨城県内原訓練所推進隊福岡中隊第八中隊第二小隊安高藤吉	遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛御一同	訓練所の食事内容等近況	罫紙	3	封筒あり
W	12	62	〔葉書〕	紀元2600〔昭和15〕	12	21	茨城県内原訓練所推進隊福岡中隊第八中隊第二小隊安高藤吉	遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛外御一同	近況報告	葉書	1	
W	12	63	〔葉書〕	紀元2600〔昭和15〕	12	22	茨城県内原訓練所推進隊福岡中隊第八中隊第二小隊安高藤吉	遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛内伯母様	近況報告	葉書	1	
W	12	64	〔書簡〕	紀元2600〔昭和15〕	12	22	茨城県東茨城郡内原訓練所推進隊福岡中隊第八中隊第二小隊安高藤吉	遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛外御一同	今日（二十二日）後期推進隊員七千四百九拾八名、訓練所広場に集合し、午前十時三十分より石黒農林大臣臨席の下に入所式が挙行	罫紙	3	封筒あり
W	12	65	満蒙開拓青少年義勇軍訓練所絵葉書	昭和15	12	24	茨城県東茨城郡内原訓練所推進隊福岡中隊第八中隊第二小隊安高藤吉	遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛外御一同		絵葉書	8	絵葉書8枚1組　封筒あり
W	12	66	〔書簡〕	紀元2601〔昭和16〕	1	1	茨城県内原訓練所推進隊福岡第八中隊第二小隊安高藤吉	遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛外御一同	訓練内容、正月準備等近況報告	罫紙	10	封筒あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	12	67	〔書簡〕	昭和16	1	16	北支派遣軍村井部隊入江節雄	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況報告	罫紙	2	軍事郵便封筒あり
W	12	68	〔葉書控え〕	皇紀2601〔昭和16〕	5	16	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	宗像郡河東村　阿部正成	民謡指導への礼状	罫紙	1	
W	12	69	〔葉書〕	昭和16	5	19	宗像郡河東村　阿部正成	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	団兵衛作詞の添削	葉書	1	
W	12	70	〔葉書〕	昭和16	5	13	宗像郡河東村　阿部正成	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	来訪に対する礼状	葉書	1	
W	12	71	〔葉書〕	昭和16	5	8	宗像郡河東村　阿部正成	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	野菜苗分譲依頼	葉書	1	
W	12	72	〔葉書〕	昭和16	5	19	板橋区上板橋五丁目五一八二田中五一内聴潮	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	短歌2首	葉書	1	
W	12	73	〔書簡〕	昭和16	4	30	北支派遣軍若松部隊佐々木部隊本部　入江節雄	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	近況報告	罫紙	2	軍事郵便封筒あり
W	12	74	〔葉書〕	昭和16	5	16	糟屋郡山田村楮野天照皇大神宮内千人館　柴田喜次郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	講習会報告	葉書	1	
W	12	75	〔葉書〕	昭和16	5	10	あしや町　古賀恵啓	芦屋町粟屋区　安高団兵衛様	来訪依頼	葉書	1	
W	12	76	〔封筒〕	昭和16	5	23	宗像郡東郷町石橋尺山墓碑建設並遺稿出版事務所	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	日付は消印、76-1、2、3、4同封
W	12	76-1	石橋尺山墓碑建設並遺稿出版資金寄付者芳名録				石橋尺山墓碑建設並遺稿出版実行委員会			紙	4	
W	12	76-2	石橋尺山墓碑建設並遺稿出版費決算報告書	昭和16	4	29	石橋尺山墓碑建設並遺稿出版実行委員吉武弥太郎　中野亨			紙	1	
W	12	76-3	〔感謝状〕	昭和16	5		石橋尺山墓碑建設並遺稿出版発起人頭山満ほか4名　実行委員吉武弥太郎・中野亨			紙	1	
W	12	76-4	〔墓写真〕							写真	1	
W	12	77	〔封筒〕	皇紀2600〔昭和15〕	12	3	遠賀郡芦屋町字粟屋安高福蔵内塩谷マキ					封筒のみ
W	12	78	〔書簡〕	昭和15	8	4	大阪市天王寺区東高津北之町百十四番地洪火会本部　黒山高麿	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	神武天皇社復興および修養道場建設に付き意見	罫紙	6	
W	12	79	〔我ガ八幡青果株式会社ガ営業権ヲ無償ニテ八幡市ニ献納シタルニ就イテ〕	昭和15	11	20	八幡青果株式会社	遠賀郡芦や町安高団兵衛		紙	1	封筒あり
W	12	80	〔封筒〕				不具者更生会会長花田更生	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	80-1、2同封
W	12	80-1	〔感謝状〕	昭和15	10	30	不具者更生会会長花田更生	安高団兵衛	寄付金に対する感謝状	紙	1	
W	12	80-2	〔領収書〕	昭和15	10	30	不具者更生会会長花田更生	安高団兵衛	寄付金10円に対する領収	紙	1	
W	12	81	〔葉書〕	皇紀2601〔昭和16〕	1	3	東京市杉並区西高井戸　早川朝洋	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	12	82	〔葉書〕	昭和16	1	4	東京市世田谷区松原町二丁目七一〇　松本勇平	福岡県芦屋町　安高団兵衛　古賀恵啓	年賀状	葉書	1	日付は消印
W	12	83	〔書簡〕	昭和16	1	15	東京市芝区高輪台町二八　石橋満作	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	新年挨拶、息子は県の模範青年に選ばれた事のお祝い、その他	継紙	1	封筒あり
W	12	84	〔封筒〕				宗像郡東郷町石橋尺山墓碑建設並遺稿出版事務所	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	84－1同封
W	12	84-1	〔領収書〕	昭和16	3	13	石橋尺山墓碑建設並遺稿出版実行委員吉武弥太郎	安高団兵衛	10円の領収書	紙	1	
W	12	85	〔書簡〕	昭和16	4	16	まき	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	近況	罫紙	5	封筒あり、封筒差出人は塩谷マキ
W	12	86	〔書簡〕	昭和16	4	16	まき	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高リキノ	近況	罫紙	3	封筒あり、封筒差出人は塩谷マキ
W	12	86-1	〔メモ〕						MT.T SHIOYA 2022 PINE STREET SAN FRANCISCO CAL　U、S、A、	紙	1	86に同封
W	12	87	経済学上より見たる現代日本	昭和15	9	27	横田左輔		天関打開期成会発行	書冊	1	封筒あり、会報（11月5日付）同封
W	12	88	〔葉書〕	昭和15	12		満州新京憲兵隊陸軍憲兵中佐門田善実	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	転任挨拶	葉書	1	封筒あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	12	89	〔葉書〕	昭和15	12	7	朝鮮第二十六部隊馬場隊　木原輝夫	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	入隊報告	葉書	1	
W	12	90	〔書簡〕	昭和15	12	19	製鉄病院九病舎第三号室　安高重二琅	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	盲腸炎の手術に関する相談	罫紙	2	
W	12	91	〔葉書〕	昭和15	7		若松市浜二番町二丁目　津山政夫	遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	12	92	〔葉書〕	昭和15	8	13	中小路区　古賀恵啓	芦屋粟屋区　安高団兵衛	自著を松尾、長野他に送った旨の報告	葉書	1	年次不明
W	12	93	〔葉書〕	昭和15	7	24	中ノ浜　中村建二	芦屋町大字芦屋字粟屋　安高団兵衛	遠賀川橋畔建設広告作成について	葉書	1	
W	12	94	〔葉書〕	昭和15	8	14	中ノ浜　中村建二	芦屋町大字芦屋字粟屋　安高団兵衛	遠賀川駅ホーム設置の案内表示板制作について	葉書	1	
W	12	95	〔葉書〕	昭和15	8	17	石橋つもる	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	初盆供物礼状	葉書	1	
W	12	96	〔葉書〕	昭和15	7	22	山鹿　秋病客	芦屋町粟屋　安高団兵衛	眼病経過報告、その他	葉書	1	日付は消印
W	12	97	〔葉書〕	昭和15	8	1	若松市小石　川下熊四郎	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	12	98	〔葉書〕	昭和15	7	30	東京市世田谷区松原町二丁目七一〇　松本勇平	福岡県芦屋町　安高団兵衛　古賀恵啓	見舞礼状	葉書	1	日付は消印
W	12	99	〔葉書〕	昭和15	7	24	東京市渋谷区千駄ヶ谷三丁目五〇七　永井柳太郎	福岡県芦屋町　安高団兵衛　古賀恵啓	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	12	100	〔葉書〕	昭和15	7		鞍手郡西川村新目尾鉱業所社宅　平井義紹	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	転職通知	葉書	1	
W	12	101	〔葉書〕	昭和15	8		若松市山手通五丁目　山分祥弘	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	12	102	〔葉書〕	昭和15	8	7	あしや　古賀恵啓	芦屋粟屋区　安高団兵衛	松尾先生に本日貴方様の意中の会長県知事閣下であった事を御知らせして	葉書	1	
W	12	103	〔葉書〕	昭和15	7	25	中小路区　古賀恵啓	芦屋粟屋区　安高団兵衛	座談会講師の件	葉書	1	日付は消印
W	12	104	〔葉書〕	昭和15	7	21	古賀恵啓	芦屋粟屋区　安高団兵衛	座談会出席者の件	葉書	1	日付は消印
W	12	105	〔葉書〕		8	13	福岡市西ノ庄飛石町　久永貞男	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	洪火会支部大会参列お礼、その他	葉書	1	日付は消印
W	12	106	〔葉書〕	昭和15	8	17	大阪市天王寺区東高津北之町洪火会本部　黒山高麿	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	神武天皇社頭における写真送付の件	葉書	1	
W	12	107	〔葉書〕	昭和15	11	16	山鹿　秋山光清	芦屋町粟屋　安高団兵衛	お立ち寄り下さい	葉書	1	
W	12	108	小荷物到着通知書	昭和15	10	29	遠賀川駅長	芦屋町字粟屋　安高団兵衛内三木谷二平		葉書	1	
W	12	109	〔葉書〕	昭和15	8	1	入野　山田沢太郎	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	12	110	〔封筒〕					芦屋町前町会議員安高団兵衛		封筒	1	未開封、110-1、2同封
W	12	110-1	〔式出席案内〕	昭和15	10	12	遠賀郡芦屋町芦屋橋竣工祝賀会会長　小田利三郎			紙	1	
W	12	110-2	〔竣工式案内〕	昭和15	10	12	福岡県知事　本間精			紙	1	
W	12	111	〔荷札〕				横浜市中区本町六丁目欧米各国汽船切符取扱所大勢屋旅館	遠賀川駅　塩谷	9個口	荷札	1	
W	12	112	〔封筒〕						抹消人名6名	封筒	1	封筒のみ
W	12	113	〔書簡〕	皇紀2006〔昭和15〕	11	9	北支派遣軍村井部隊佐々木部隊本部　入江節雄	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛外御一同	近況報告	罫紙	2	軍事郵便、封筒あり
W	12	114	〔葉書〕	昭和15	10	12	油類専業卸小売　波多野義彦	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	接待礼状	葉書	1	
W	12	115	〔葉書〕	昭和15	10	9	芦屋町派出所内　阿部義雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛	警察公報紛失について所在尋ね	葉書	1	
W	12	116	無窮　第13巻第9号	昭和15	9	11	姫野鞆友		修養団九州連合会機関紙	新聞	1	
W	12	117	〔書簡〕		9	6	大分県宇佐郡竜王村字竜王　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	北方で御別れしてより早や二十四年	罫紙	2	藤治郎は団兵衛の弟、封筒あり
W	12	118	〔書簡〕		3	6	折尾町陣の原宮下　安高すま子	芦屋町粟屋　安高団兵衛	野菜、卵の礼	罫紙	4	封筒あり
W	12	119	〔葉書〕		10	29	陣の原宮下　安高すま子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛方　マキ姉	お遊びにおいで下さい	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	12	120	〔領収証〕	昭和15	12	10	芦屋町信用購買販売利用組合	二村清吉	家の光6ヶ月分	紙	1	
W	12	121	〔葉書〕	昭和15	9	1	折尾町陣の原宮下　安高すま子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高恵美子	着物の洗い張り経過報告	葉書	1	日付は消印
W	12	122	〔転勤通知〕	昭和16	2		旗山郡旗山街　早川万次郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	屏東郡警察課から旗山郡警察課への転勤	紙	1	封筒あり
W	12	123	〔書簡〕	昭和16	2	27	北米加州桑港　塩谷マキ	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　リキノ	近況報告	罫紙	4	封筒あり
W	12	124	〔書簡〕	昭和16	2	27	北米加州桑港　塩谷マキ	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高福蔵	近況報告	罫紙	5	封筒あり
W	12	125	〔書簡〕	昭和16	5	1	北米加州桑港　塩谷マキ	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	近況報告	罫紙	4	封筒あり
W	12	126	〔葉書〕	昭和15	7	29	芦屋町山鹿　重岡本芳	芦屋町粟屋　安高団兵衛	母三回忌法要通知	葉書	1	
W	12	127	〔書簡〕	昭和15	7	30	北支派遣的田部隊肥后田部隊入江節雄	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	近況配属先決定報告	罫紙	3	封筒あり
W	12	128	〔書簡〕	皇紀2006〔昭和15〕	8	14	北支派遣軍村井部隊佐々木部隊本部　入江節雄	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	神武天皇社お守りの礼、近況	罫紙	2	封筒あり
W	13	1	〔書簡〕		1	3	折尾日吉町　多々野	安高様	古賀様の問題にて迷惑をかけ、申し訳なく御容赦下さい。古賀様の事は私に一切を託して居りますから、充分考えていることと思う	便箋	1	W13-1～紙縒一括、封筒あり多々野友光より安高団兵衛宛
W	13	2	〔書簡〕		8	3	多々野	安高様	古賀氏の件につき芦屋町長と会談予定は多忙に付、延引の処、私に召集が来たので、8月9日に御貴家へ伺い経過を申し上げたいが、勤務の関係で御伺できない時は、古賀氏のこと宜しく頼む	便箋	2	封筒あり多々野友光より安高団兵衛宛
W	13	3	〔書簡〕		7	7	多田野友光	安高様	古賀氏の問題で原田清吉氏と会談、芦屋町長に事件解決の対策を要請。町会議員による陳情書却下の依頼、後日伺う旨	便箋	3	封筒あり多田野友光より安高団兵衛宛
W	13	4	〔書簡〕		3	6	多々野	安高様	本日午後、原田氏と古賀様問題について会談、結局芦屋町に住むこと、信者の復帰という様になり、私が町長と会う	便箋	2	封筒あり多田野友光より安高団兵衛宛
W	13	5-1	〔要望書〕		11	1	久野一美	福岡市地方裁判所内検事局御中	長野政八氏による古賀恵啓氏の芦屋町追放運動や陳情書に関わりないことの証明の写と、この事件の円満解決のため調査を依頼	紙	1	封筒あり、古賀恵啓より安高団兵衛宛、「債券在中」とあり、W13-5-1～5-5一括
W	13	5-2	〔要望書〕		11	2	愚人恵啓拝	芦屋町助役倉垣義雄様、奉賛会発起者安高団兵衛様	皇国、芦屋町、奉賛会を思い長野政八氏による事件の解決に向けて最善の方策を願う	紙	2	
W	13	5-3	〔要望書〕	昭和18			日本国民ノ一人願人古賀恵啓		不敬罪に問われ、芦屋町追放の運動を起こされていることに対して、問題解決を陳情する	紙	1	
W	13	5-4	〔書簡〕		11	1	愚人恵啓	安高様	久野一美氏名義で福岡地方裁判所検事局に書類送付。長野氏の撒布した証明書を一枚所望、債券を同封	紙	1	
W	13	5-5	〔証〕	18	11	1	古賀恵啓	安高団兵衛様	十五円券一枚、十円券四枚、七円五十銭一枚、弐円貯金切手三枚を生活苦の為、御手元へ差上、	紙	1	
W	13	6-1	〔書簡〕			28	古賀恵啓	安高様	福岡の実兄に今般の件を話した、今後検束の場合は実兄に知らせを頼む。23日に和田様宅にて直方長遠寺住職栗原上人と面会、葬式を行う、25日に和田様宅で法事読経	便箋	2	封筒あり、古賀恵啓より安高団兵衛宛、W13-6-1～3一括
W	13	6-2	〔書簡〕				某氏	古賀上人様	折尾署の司法主任の熱誠をもって円満に解決、祝金の受納のこと	紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	13	6-3	〔書簡〕			30	古賀	安高様	本日折尾署出頭、検束の場合は御願いします。八幡市枝光米村長太郎先生を通じて満井先生に願って下さい	便箋	1	
W	13	7	〔葉書〕			30	古賀恵啓	安高団兵衛様	本日折尾署出頭、もしもの時は実兄に御通知下さい。米村先生は八幡市枝光です	葉書	1	消印「17.12.30」
W	13	8	〔葉書〕				古賀生	安高団兵衛様	二月一日午前三時頃無事愚妻安産	葉書	1	消印「18.2.2」
W	13	9-1	〔葉書〕		2	5	恵啓拝	安高様	今般の件の御礼。問題終結に付、御尊台様へ御相談申し上げたき事あり、御来芦の折、御来訪を願う	封緘葉書	1	W13-9-2～3を内包
W	13	9-2	〔書簡〕				古賀	安高様	昨十一日義弟が参り、愚妻の病状につき、県の救済をうけること、安高様へ御相談するよう申した	紙	1	
W	13	9-3	〔書簡〕		2	14	古賀	安高様	久野一美様に御面接の前に御相談申し度	紙	1	
W	13	10	〔書簡〕		2	18	古賀恵啓	安高様	原田清吉氏の同情金は受取らない心積もりについて、御尊台様の後高判を願う	便箋	3	封筒あり、古賀恵啓より安高団兵衛宛
W	13	11	〔葉書〕		3	24	古賀恵啓	安高団兵衛様	御来町の折、御来訪下さい、要談があります	葉書	1	
W	13	12-1	〔書簡〕		3	28	古賀恵啓	安高団兵衛様	拙僧一家の物的苦慮について。事件の円満解決による贈呈金を同情金と称されていることなど、事後処理で苦悩しており、早期解決を願う	便箋	7	封筒あり、古賀恵啓より安高団兵衛宛、W13-12-1～2一括
W	13	12-2	〔書簡〕						本日義弟が参り、一切手を引くとのこと、拙僧罪人として検束の時は博多実兄に御通知下さい	便箋	1	
W	13	13	〔葉書〕			30	古賀恵啓	安高団兵衛様	一昨28日に原田清吉氏が円満解決させた上でこのままにな置かぬ、亡とか申したとのこと。原田氏によって円満解決できたら、私は亡くなっても本法悦	葉書	1	
W	13	14-1	〔書簡〕				愚人恵啓	安高団兵衛様	安高様、御尊台様の念願、芦屋町、折尾署の浄化の好機	便箋	4	封筒あり、古賀恵啓より安高団兵衛宛、W13-14-1～2一括
W	13	14-2	〔書簡〕		4	1	愚人恵啓	安高様	長野、原田両氏へ書面差上。御尊台様ノ御人格世ニ輝ク日ノ来ルヲ法悦マス	便箋	1	
W	13	15-1	〔書簡〕		4	3	愚人恵啓	安高団兵衛様	御尊台様は大人格者、大賢者と信じる。恵啓の諦観を信じ自己の信念に猛精進した	紙	2	封筒あり、古賀恵啓より安高団兵衛宛、W13-15-1～5一括
W	13	15-2	〔書簡〕		4	3	愚人恵啓	安高様	恵啓は自己を知り、御尊台様の御聖業をお手伝いした。法華経の無限の力を信じ、知って下さい	便箋	4	
W	13	15-3	〔覚〕	昭和18	4	3	愚人恵啓	安高団兵衛様	今般の事件の件について自身の信念などを記す	書綴	1	
W	13	15-4	〔書簡〕	昭和18	4	1	愚人恵啓	芦屋町第一ノ大智者長野政八殿	事件中の行為について糾弾	罫紙	1	
W	13	15-5	〔書簡〕	昭和18	4	1	愚人恵啓	原田清吉殿	事件中の行為について糾弾	罫紙	1	
W	13	16	〔書簡〕		4	10	恵啓	安高様	決心して自己の無限の力を発揮すべく、全会員へ此の事件の真相発表こそ精神的光明運動、日本精神と米英思想の違いを知って戴く好機会	便箋	5	封筒あり、古賀恵啓より安高団兵衛宛
W	13	17	〔書簡〕		4	18	古賀恵啓	安高団兵衛様玉座下	四月十三日に金五拾円要用に付、事件解決後まで御都合できれば、宜敷願う	紙	1	封筒あり、古賀恵啓より安高団兵衛宛
W	13	18	〔葉書〕			17	古賀恵啓	安高団兵衛様	日本精神の持主とは何某氏の如き人を云う、米英思想の持主とは何某氏の如き人物を云うとの発表をする	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	13	19-1	〔書簡〕						自己の本分を御尊台様へ御報告と共に職城奉公を御承認下さい。日本精神代表者安高団兵衛氏、米英思想代表者長野政八氏、栗原正隆師として双方の発表を実施すること	罫紙	1	封筒あり、古賀恵啓より安高団兵衛宛、W13-19-1～5一括
W	13	19-2	〔発表要旨〕						日本精神代表者安高団兵衛氏、米英思想代表者長野政八氏、栗原正隆師、日本精神の説明	罫紙	1	
W	13	19-3	〔書簡〕						日本精神は精神的主体、米英思想は物質的主体との説。御尊台様と長野政八氏の比較	罫紙	1	
W	13	19-4	〔書簡〕	昭和18	4	18			今回の事件の概要について。日本精神代表者安高団兵衛氏、米英思想代表者長野政八氏、栗原正隆師として双方の発表を実施すること	書綴	1	
W	13	20	〔葉書〕		5	12	古賀恵啓	安高団兵衛様	来る五月十七日に平沼閣下が神武天皇社へ参拝の由。閣下へ小生を紹介して戴きたく願う	葉書	1	
W	13	21-1	〔書簡〕		5	18	古賀恵啓（朱印）	安高団兵衛様	私一家を救って下さい。ご返信を乞う	罫紙	1	封筒あり、古賀恵啓より安高団兵衛宛、W13-21-1～2一括
W	13	21-2	御願状				神武天皇社奉賛会会員古賀恵啓（朱印）	神武天皇社奉賛会発起人者安高団兵衛様	私に対する捏造告訴の件と、東京への陳情書等の件について奉賛会内で円満解決を図りたい旨	書綴	1	
W	13	22	〔葉書〕		5	20	古賀拝	安高団兵衛様	今般の問題を奉賛会会員諸賢に譬へをもって発表に付、御承知下さい	葉書	1	
W	13	23	〔葉書〕		5	27	古賀恵啓	安高団兵衛様	長野政八氏の精神的藩政のない限り問題の真相を譬へにて御報告し、全奉賛会員諸賢の精神的御参考に致すことに決心	葉書	1	
W	13	24	〔葉書〕		5	29	神武天皇社奉賛会会員古賀恵啓	神武天皇奉賛会発起者安高団兵衛様	長野政八氏の私に対する行為こそ米英思想であり、これを発表しても奉賛会妨害者だと言わざる様御願いします	葉書	1	
W	13	25	〔葉書〕	昭和18	6	1	古賀恵啓	安高団兵衛様	長野政八氏の私に対する行為こそ米英思想であり、長野氏の精神的反省を求めることが芦屋町の為になる。長野氏の精神的苦悩を救って下さい	葉書	1	
W	13	26	〔葉書〕	昭和18	6	1	古賀恵啓	神武天皇社奉賛会発起者安高団兵衛様	長野政八氏の私に対する行為こそ米英思想であり、奉賛会として最善の方策をなし、長野氏の精神的反省の悔悟を願う	葉書	1	
W	13	27-1	御願状				神武天皇社奉賛会発起者ノ一人古賀恵啓（朱印）	奉賛会発起者安高団兵衛様、芦屋町助役倉垣茂雄様	長野政八氏が私に対する行為の件、奉賛会として最善の方策を願います	罫紙	1	封筒あり、古賀恵啓より安高団兵衛宛、緊急親展、W13-27-1～2一括
W	13	27-2	〔書簡〕	昭和18	6	3	神武天皇社奉賛会会員古賀恵啓	奉賛会発起者現理事安高団兵衛様	長野政八氏の私に対する行為こそ米英思想であり、長野氏の精神的反省を求めることが芦屋町の為になる。長野氏の精神的苦悩を救って下さい	罫紙	6	
W	13	28	〔葉書〕		6	4	古賀生	芦屋町青年団員安高正義様	日本精神発揮好機会なり。聖地芦屋の為に芦屋青年諸賢を誘導されることを乞う	葉書	1	
W	13	29	〔葉書〕		6	7	古賀恵啓	安高団兵衛様	御尊体様の御教訓を仰ぐ処ありと信じる。聖地の為、純真なる青年の御誘導を願う	葉書	1	
W	13	30	〔葉書〕	昭和18	6	12	示誠院日雄	安高団兵衛様	御尊台様の御教訓に答えて返歌、問題の解決は精神的浄化の光明と信じる	葉書	1	
W	13	31	〔葉書〕		6	14	古賀拝	安高団兵衛様	原田清吉氏が私を殺すというので、殺害期日を尋ね、妻子を殺してから私を殺すよう御願いした	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	13	32	〔葉書〕		6	17	古賀恵啓	安高団兵衛様	原田清吉氏が私を殺すというので、殺す期日を御尋ねに参ります	葉書	1	
W	13	33	〔葉書〕		6	18	古賀恵啓	安高団兵衛様	原田氏に私一家を殺す期日を尋ねてきた。殺しに来ぬ時は旗を立てて原田氏の宅へ行く様に折尾署特高課牧野様へ御届申し置いた	葉書	1	
W	13	34	〔葉書〕		6	19	古賀恵啓	安高団兵衛様	坪井春次殿へ内容証明を差上げた。返信の有無により、中央部へ報告。長野政八氏の為に重大問題となり、芦屋町の名誉云々となること遺憾に存ずる	葉書	1	
W	13	35	〔葉書〕			21	古賀恵啓	安高団兵衛様	今後問題が重大化した時、取下願状提出せざる町側の責任と内容証明を町議久野一美、前区長石谷虎之助様へ差上ました	葉書	1	
W	13	36-1	〔書簡〕	昭和18	6	23	示誠院日雄（花押）	安高団兵衛様	今日までの全責任を奉賛会理事と陳情書へ署名捺印せる御方様へ還した。長野氏の野心野望が奉賛会永久的不名誉を発生させた	紙	2	封筒あり、W13-36-1～2一括
W	13	36-2	〔書簡〕		6	23	古賀恵啓（朱印）	芦屋町神武天皇社奉賛会理事御一同様、代表中村健二様、久野一美様	今日までの問題の件に対する全責任は奉賛会並に陳情書へ署名捺印せる御方方に宜敷御願申し上げ置きます	書綴	1	
W	13	37-1	〔書簡〕		6	22	愚人恵啓（花押）	安高幸次郎様	長野政八氏の野心野望による芦屋町永久的不名誉を回復させるには御賢兄へ長野、原田両氏を助けるよう御相談下さい	紙	2	封筒あり、古賀恵啓より安高幸次郎宛、W13-37-1～5一括
W	13	37-2	〔書簡〕				奉賛会発起者ノ一人古賀恵啓	奉賛会会員御中	長野政八氏の精神的苦悩を奉賛会で救って戴きたい	紙	1	
W	13	37-3	〔書簡〕						今回の事件の概要についての写。古賀恵啓から原田清吉宛、坪井春次宛書簡の写、返書の写	書綴	1	
W	13	37-4	〔書簡〕	昭和18	6	22	古賀恵啓	芦屋町々長様、芦屋町助役様	芦屋町前町長小田利三郎他が連署捺印し、日蓮宗管長へ提訴した捏造の陳情の件、円満解決のため取下願状を提出して下さい	罫紙	1	
W	13	37-5	〔書簡〕	昭和18	6	22	古賀恵啓	久野一美様、石谷鹿之助様	御一同様の御意中を御伺申していたが、返信がなく如何なっているか。今後の問題は全部御一同様へ責任ある事を承知願いたい	書綴	1	
W	13	38-1	〔書簡〕		6	28	恵啓		原田氏が私を殺すとのことに付、芦屋町当局として最善の方策を懇願したいとので助役に御相談、町長は就寝中に付、面会せず。義弟時局柄二六会を更正させたいとのこと	紙	1	封筒あり、古賀恵啓より安高団兵衛宛、W13-38-1～2一括
W	13	38-2	〔書簡〕		6	28	愚人恵啓	安高様	原田氏より返信なく、私一家を殺すとの発言あり、絶対的に消極的では円満解決は不可能	便箋	2	
W	13	39	〔葉書〕	〔昭和〕18	7	19	古賀恵啓	安高団兵衛様	昨夕寻々野へ面接、昨日御尊台様と津山様が面談した事伝える。確かな証拠が出来たこと	葉書	1	
W	13	40	〔葉書〕	昭和18	7	25	古賀	安高団兵衛様	守田様を津山様へ紹介の件、御報知下さい。和田様が奉賛会の経過を聴きたいとの、御報知下さい	葉書	1	
W	13	41	〔葉書〕	〔昭和〕18	7	27	古賀恵啓	安高団兵衛様	本日知事閣下と警察部長殿へ書類写を送付	葉書	1	
W	13	42	〔葉書〕		7	31	古賀恵啓	安高団兵衛様	原田情吉氏が私を殺すと申した事、病妻幼児の苦悩になる。原田氏こそ奉賛会より恐喝罪で告訴することが本意ではないか	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	13	43	〔葉書〕	〔昭和〕18	8	20	古賀恵啓合掌	安高団兵衛様	本日黒山先生外奉賛会役員一同へ御願状提出	葉書	1	
W	13	44	〔葉書〕	〔昭和〕18	9	6	古賀恵啓	安高団兵衛様	諸問題の件、憲兵隊へ御報告と御願申し置いた	葉書	1	
W	13	45	〔葉書〕	〔昭和〕18	9	3	示誠日雄合掌	安高団兵衛様	某氏の反省と悔悟を求め、円満解決こそが日本国民として為すべき道ではないか	葉書	1	
W	13	46	御報告書		9	14	愚人恵啓拝	安高様	松尾三蔵代議士に面談し、長野政八氏を弾劾する要求書を渡した。要求書の写も記載	葉書	1	
W	13	47	〔葉書〕	〔昭和〕18	9	21	第一隣組古賀恵啓	安高団兵衛様	問題の円満解決は御尊台様の誠心にあると信じる	葉書	1	
W	13	48	〔葉書〕		9	20	第一隣組示誠日雄	安高団兵衛様宅安高政義様	自分自身の特長を知って下さい	葉書	1	
W	13	49	〔葉書〕	昭和18	9	24	古賀恵啓	安高団兵衛様	「尊徳の･･･」など自作の和歌3首	葉書	1	
W	13	50-1	〔書簡〕				仏弟子愚人恵啓	神ノ子安高様	松尾代議士との協議を願う。別紙愚書は松尾副会長殿へ今日差上置いた	紙	1	封筒あり、古賀恵啓より安高団兵衛、松尾三蔵宛、「乞不他見」とあり、W13-50-1～2一括
W	13	50-2	〔願書状〕	昭和18	9	27			古賀恵啓氏と長野政八氏らの問題の早期円満解決を願う	紙	3	
W	13	51-1	〔陳情書写〕	昭和15	12	5	町会議員松野信太郎、区長石松勝三郎ほか35名	日蓮宗管長望月日講殿、福岡県宗務所長永江義清殿	日蓮宗僧侶古賀恵啓の町内における活動を糾弾し、処置を懇願	紙	1	封筒あり、古賀恵啓より安高団兵衛宛、W13-51-1～2一括
W	13	51-2	御願状	昭和18	10	7	神武天皇社奉賛会々員ノ一人古賀恵啓(花押)	神武天皇社奉賛会発起者安高団兵衛様	神武天皇奉賛会妨害罪で前町長小田利三郎氏外町会議員、区長より日蓮宗管長へ提訴の陳情書の取下に御努力下さい	罫紙	1	
W	13	52	葉書	昭和18	10	10	古賀恵啓	安高団兵衛様	本日の内容証明は御覧の上、松尾先生へ御送り下さい。町会議員、区長へも内容証明、黒山先生、奉賛会役員も内容証明を差上げ置きました	葉書	1	
W	13	53-1	〔書簡〕	昭和17	10	17	古賀恵啓、妻善子、泰信、誠、ヒデコ、高光	安高藤吉様、外御皆々様	神武天皇奉賛会妨害罪にて某氏より芦屋町追放せられんとした問題に対し、御父上団兵衛氏の御力に依り早期円満解決を願う	紙	1	封筒あり、古賀恵啓より安高団兵衛、藤吉宛、W13-53-1～3一括
W	13	53-2	〔御願状〕	〔昭和〕18	10	17	古賀恵啓、妻善子、泰信、誠、ヒデコ、高光	安高団兵衛御夫人様	御主人の御力に依り問題の円満解決願う。御子息藤吉様、政義様と御相談下さい	紙	1	
W	13	53-3	〔御願状〕		10	17	古賀恵啓、妻善子、泰信、誠、ヒデコ、高光	安高団兵衛様	御尊台様の御力を仰ぎ和解の道を開いて戴きたい。問題の円満解決を願う	紙	1	
W	13	54	〔葉書〕		10	21	古賀恵啓	安高団兵衛様	松尾先生、町議員、区長殿、奉賛会理事御一同HR御願状を内容証明にて差上たが、何の返信もない。近日私宅前に奉賛会役員、町民全部、奉賛会々員に円満解決を求める願状を張り出す	葉書	1	
W	13	55	〔葉書〕		10	22	古賀恵啓	安高団兵衛様	奉賛会全会員並びに副会長、会長総裁閣下へも発表して下さい。本日久野一美、高倉敏夫両人様へ御願状を差上、廿三日午后三時までに久野氏が面談せざれば、中小路区へ張出。もし折尾署検束の場合、満井先生、米村先生、実兄へ御通知下さい	葉書	1	
W	13	56	〔葉書〕		10	24	第一隣組古賀恵啓	安高団兵衛様	翼壮年団の御協力にて諸問題の円満解決を願う	葉書	1	
W	13	57	〔葉書〕	昭和18	10	26	示誠日雄	安高団兵衛様宅ニテ仝政義様	御貴君よりも諸問題の件、円満なる和解になる様、御父上様へ御相談下さい	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	13	58	〔葉書〕		10	27	古賀恵啓	安高団兵衛様	五年以前上京出立の記念の日顕官名士へ対し、奉賛会名義並びに某氏の名義にて某々氏の云々の件発表致す決心をした	葉書	1	
W	13	59	〔葉書〕		10	27	古賀恵啓	安高団兵衛様	本日黒田長礼侯閣下、吉田知事閣下外数名に久野氏の名義にて書面発送	葉書	1	
W	13	60	〔葉書〕			29	古賀恵啓	安高団兵衛様	若松の某氏の御話に津山御夫人が問題の御尊像御迎の準備をしているとの由、承りました	葉書	1	
W	13	61	〔葉書〕				古賀恵啓	安高団兵衛様	長野氏の反省は町全体の精神的光明なり	葉書	1	昭和18年10月30日ごろ
W	13	62	〔葉書〕		11	8	第一隣組古賀恵啓	安高団兵衛様	親子、家庭に譬へて諸問題の件を申し上げる	葉書	1	
W	13	63	〔葉書〕	〔昭和〕18	11	13	彡々野友光内ニテ古賀恵啓	安高団兵衛様	本日折尾署より呼出を受けた。留置場へ入ることがあれば、奉賛会会長閣下へ御尊台様より御報告下さい、愚妻は折尾の義妹と宮田の兄の処へ参ったので帰芦屋後に御報告下さい	葉書	1	
W	13	64	〔葉書〕		11	14	古賀恵啓	安高団兵衛様	昨夜六時半頃署僚殿と面談、久野氏が願出した様でした。詳細は拝眉の上、本日内容証明を差上	葉書	1	
W	13	65	〔書簡〕	昭和18	11	18	古賀恵啓	安高団兵衛様	諸問題の件に付、松尾副会長より奉賛会へ妨害行為者が有れば処分するとのことにて、御尊台様から長野氏へ反省と悔悟を求めて下さい。反省等なき場合は副会長、総裁会長閣下へ申請し、処分するよう願う	罫紙	1	封筒あり、古賀恵啓より安高団兵衛宛
W	13	66-1	〔書簡〕				愚人恵啓、妻善子	（安高団兵衛様）	長野政八氏の行為に関する件につき、責任が奉賛会並びに役員にある理由四ヶ条を列記につき御覧下さい。	紙	1	封筒あり、愚人恵啓、妻善子より神の子安高団兵衛宛、W13-66-1～4一括
W	13	66-2	〔願書状写〕	昭和18	11	20	求道愚人恵啓合掌、妻善子	神の子矢野喜五郎様、大庭正太郎様、外町議員区長御一同様	前芦屋町長外が私一家の芦屋町追放の陳情書を提訴した件で、円満解決を願うとともに長野政八氏の精神的反省と悔悟を求める	紙	1	
W	13	66-3	〔和歌〕						「尊徳の断の一字の･･･」他1首	罫紙	1	
W	13	66-4	〔和歌〕						「建国の経の道を･･･」他1首	罫紙	1	
W	13	67-1	〔書簡〕		11	22	古賀恵啓、妻善子	安高様	諸問題について長野氏の反省と悔悟を求め、奉賛会にて円満解決を望む	紙	1	封筒あり、古賀恵啓、妻善子より安高団兵衛宛、W13-67-1～4一括
W	13	67-2	〔書簡〕		11	23	恵啓拝	安高様	生活費に苦痛に付、当分しのげるだけの御相談	罫紙	1	
W	13	67-3	〔願書状写〕	昭和18	11	19	神武天皇社奉賛会会員古賀恵啓、外家内一同	芦屋町神武天皇社奉賛会総裁黒田長礼侯閣下、会長広田弘毅閣下、発起者安高団兵衛様	理事長長野政八氏による私一家に対する行為について厳重なる処分を懇願	罫紙	1	
W	13	67-4	〔願書状写〕	昭和18	11	13	古賀恵啓	司法保護委員原田清吉殿、警部補坪井春次殿	奉賛会の件で、前芦屋町長外による私一家の追放運動に関して円満解決を求める	罫紙	1	
W	13	68	〔葉書〕			24		安高団兵衛様	昨日小倉に参りました。円満和解出来ないので其の筋の某一人御願した	葉書	1	
W	13	69	〔葉書〕	〔昭和〕19	1	22	古賀恵啓	安高団兵衛様	本日警察官の話で長野氏が告訴状提出の準備中とのこと。全責任奉賛会並役員にあり。県警察部長、折尾署長殿、東条英機閣下にも内容証明にて御願いした	葉書	1	
W	13	70	〔葉書〕	〔昭和〕19	2	1	示誠院日雄	安高団兵衛様	本日は、長遠寺総代東仁八郎氏より上京費三百円と三ヶ年費用贈呈方申入の記念日	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	13	71	〔葉書〕		2	4	示誠院日雄	安高団兵衛様	吉田三郎先生の金に迷はぬ、権力に恐れぬ云々の至言の実行出発点	葉書	1	
W	13	72	〔葉書〕		2	5	古賀恵啓	安高団兵衛様	松尾代議士に長野氏を不敬罪で処分するよう要求した。県警察部長、折尾署長にも本日報告。昨日直方で栗原師と面談、栗原氏が全責任者	葉書	1	
W	13	73	〔書簡〕		2	7	恵啓	安高様	本日検束されたこと。御尊台様の御力を信じる	罫紙	1	封筒あり、折尾警察署ニ於テ古賀恵啓より安高団兵衛宛
W	13	74	〔書簡〕		2	12	古賀ヨシコ	安高らんべエ様	おとさんが先日折尾に行って帰ってないので、申しかねるが貴方様にお話していただけないか	罫紙	1	封筒あり、日付、差出、宛は封筒記載のもの
W	13	75-1	〔書簡〕	昭和18	11	24	愚人恵啓(花押)	安高団兵衛様	自己の信条。諸問題起こり、悟道を得た。	紙	2	
W	13	75-2	〔願書状写〕	昭和18	11	19	神武天皇社奉賛会会員古賀恵啓、外家内一同	司法保護委員原田清吉殿、警部補坪井春次殿、総裁黒田長礼侯閣下、会長広田弘毅閣下	前芦屋町長外の私一家への行為の円満解決と、長野政八氏による私一家に対する行為に厳重な処分を下すよう求める	紙	1	願書二通の写
W	13	76	〔葉書〕	〔昭和〕18	12	2	古賀恵啓	安高団兵衛様	昨夜、愚妻が鬼達から謝られ、妙法を唱えるよう諭す夢をみた	葉書	1	
W	13	77	〔葉書〕		12	4	古賀恵啓	安高団兵衛様	町会議員一人一人へ長野政八氏処分の要求書を差上げた。芦屋町並奉賛会として最善の方策を御願いします	葉書	1	
W	13	78	〔葉書〕	〔昭和〕18	12	6	神武天皇社奉賛会々員ノ一人古賀恵啓	神武天皇社奉賛会発起者安高団兵衛様	理事長長野政八氏に長遠寺への謝罪参拝、反省と悔悟を要求	葉書	1	
W	13	79	〔葉書〕	〔昭和〕18	12	11	神武天皇社奉賛会々員古賀恵啓	神武天皇社奉賛会発起者安高団兵衛様	理事長長野政八氏の件、奉賛会妨害の件、緊急に奉賛会役員で御協議の上、厳重に処分を願う	葉書	1	
W	13	80	〔書簡〕		12	13	古賀恵啓	安高団兵衛様	長野氏の処分を奉賛会として早く実行するよう御尽力下さい。	紙	1	封筒あり、古賀恵啓より安高団兵衛宛
W	13	81	〔書簡〕		10	24	日蓮宗教会所古賀恵啓	安高様	諸問題の円満解決の努力こそが翼賛壮年団の運動の一部分の光明となるのではないか。本日張出した。張出は警察官が持って行った	名刺	1	名刺紙背に書込
W	13	82	〔書簡〕		8	16	日蓮宗教会所古賀恵啓	安高様	本日夕刻若松市津山政夫氏来芦、是非面接致したき事あり、御出下さい	名刺	1	名刺紙背に書込
W	13	83	〔書簡〕		10	224	日蓮宗教会所古賀恵啓	安高団兵衛様	諸問題解決に御努力下さい。御尊台様の御力に依れば立派な和解となる	名刺	1	名刺紙背に書込
W	13	84	〔葉書〕	昭和18	12	14	神武天皇社奉賛会発起者ノ一人古賀恵啓	神武天皇奉賛会発起者安高団兵衛様、副会長松尾三蔵先生、外役員御一同様	理事長長野政八氏による私一家に対する行為に芦屋町々会決議の上、町費を以て運動費としたる由、恵啓一家の問題に関して支出した費用を町会議員協議の上贈呈致す様奉賛会役員協議の上、要求	葉書	1	
W	13	85	〔葉書〕	昭和18	12	16	長遠寺住職栗原正隆、総代東仁八郎、外総代一同	神武天皇社奉賛会発起者安高団兵衛様、副会長松尾三蔵様	貴町々長長野政八氏は坪井警部補と共に謀して長遠寺より金五百円横領。貴町、貴会の為、最善の方策を御願い申上	葉書	1	
W	13	86	〔葉書〕	〔昭和〕18	12	18	古賀恵啓	安高団兵衛様	今般の事件の解決の秘法は御尊体の掌中にあり	葉書	1	
W	13	87	〔葉書〕	〔昭和〕18	12	20	芦屋町々長神武天皇社奉賛会理事長長野政八、外町会議員一同	安高団兵衛様	前折尾署司法主任坪井春次警部補、原田清吉司法保護委員は共謀して人を偽り迷はして金一千円横領、かかる人物の精神的撲滅こそ皇国の為也	葉書	1	
W	13	88	〔葉書〕	〔昭和〕18	12	22	長遠寺総代東仁八郎外一同	神武天皇社奉賛会発起者安高団兵衛殿、外奉賛会役員一同殿	貴会理事長長野政八氏は長遠寺への迷惑をかけた上、金五百円を坪井警部補と共謀して横領した人物。長野政八氏の処分を願う	葉書	1	
W	13	89	〔葉書〕		12	25	長遠寺住職仏弟子栗原正隆	安高団兵衛様	芦屋町長を非難し、仏弟子を讃える歌	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	13	90	〔葉書〕				奉賛会々員古賀恵啓	奉賛会発起者安高団兵衛様	現町長長野政八氏、坪井警部補、原田司法保護委員は共謀して金一千円を横領した人物也。諸員の協力により、町長の不正を是正して下さい	葉書	1	昭和19年1月2日ごろ
W	13	91	〔葉書〕	皇紀2604	1	6	神武天皇社奉賛会発起者ノ一人古賀恵啓	神武天皇社奉賛会発起者安高団兵衛様、芦屋町助役外町会議員御一同様	昭和十五年十二月五日町当局より恵啓に対する提訴の件、円満和解の為、取下願状提出ができなければ、主謀者の厳重な処分を願う	葉書	1	
W	13	92	〔葉書〕		1	8	修行中古賀恵啓	安高団兵衛様	司法主任坪井警部補は原田清吉司法保護委員と共謀して金一千円を横領、関係者漏れなく厳重に取調、検事局へ送局するよう願う	葉書	1	
W	13	93	〔葉書〕		1	13	奉賛会々員ノ一人古賀恵啓	神武天皇社奉賛会発起者安高団兵衛様、外奉賛会々員御一同様	長野政八氏の人道無視の件、奉賛会地元役員協議の上、最善の方策を進めるよう願う。処分なき場合は、文部大臣、司法大臣、総理大臣へ御報告し、厳重に処分を御願いする	葉書	1	
W	13	94	〔葉書〕	〔昭和〕19	1	16	古賀恵啓	安高団兵衛様	長野氏や坪井氏など関係者を非難する歌	葉書	1	
W	13	95	〔葉書〕	昭和19	3	19	古賀恵啓	安高団兵衛様	本日十六日夕刻帰宅。早速お伺いする考えであったが病気の為、書面を以て御礼申上	葉書	1	
W	13	96	〔葉書〕	〔昭和〕19	6	1	神武天皇社奉賛会発起者ノ一人古賀恵啓	安高団兵衛様、外副会長松尾先生外、役員御一同様	長遠寺住職栗原正隆師の人道無視の私一家に対する行為の件、検事局へ告訴状提出。奉賛会は問題の件の善処を願う	葉書	1	
W	13	97	〔葉書〕	〔昭和〕19	5	7	古賀恵啓	神武天皇社奉賛会発起者安高団兵衛様	「道の為、道を求めて、道を説く、道と信じて、道を示さん」とあり。御尊台様へ献言	葉書	1	
W	13	98	〔書簡〕		11	29	古賀恵啓	安高政義様	御見送したいが、信者の家へ先祖供養に行くので、同封の切手を祝入営の印として受納下さい	葉書	1	封筒あり、古賀恵啓より安高団兵衛様内安高政義宛
W	13	99	〔葉書〕		7	16	宗像郡九州国民勤労訓練所第四寮第二班第二室古賀恵啓	安高団兵衛様	本日無事入所、訓練期間は三週間。不在中は家内が御世話になるが何卒宜敷御願申上	葉書	1	
W	13	100	〔葉書〕	〔昭和〕19	7	23	九州国民勤労訓練所第四寮第二班第二室古賀恵啓	安高団兵衛様	寮長よりサイパン島玉砕、東条内閣辞職小磯内閣成立とのこと拝承。世は益々重大化、私一増職城奉公を尽くしたい。病妻と子供を宜敷御願申上	葉書	1	
W	13	101	〔葉書〕	〔昭和〕19	7	28	宗像郡国民勤労訓練所第四寮第二班第二室古賀恵啓	安高団兵衛様	訓練は日本精神発揮に全力を尽くしての御教示。私歓喜に満ちて御教示を賜る。国民皆訓練を受け、実行すれば、建国の理想顕現すると信ず	葉書	1	
W	13	102	〔葉書〕	〔昭和〕19	8	6	日立製作所内古賀恵啓	安高団兵衛様	本日訓練所退所、表記へ参った。カボチャが有れば御都合下さい。愚妻や子供の御世話の御礼申上	葉書	1	
W	13	103	〔葉書〕	〔昭和〕19	8	26	日立製作所鋳運徴用士古賀恵啓	安高団兵衛様	長野政八氏は私の諸問題の件で、若松署特高課署員と日立製作所事務所応接間にて舎監殿立会の上、御話申上。昼食時、某応徴士から長野氏の芦屋町民某応徴士に対する人道無視の行為を承った。諸問題の件、若松署で厳重に取調べる様子。調べなき場合は陸海軍、厚生大臣へ御願致す	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	13	104	〔葉書〕	〔昭和〕19	8	28	若松市日立製作所内古賀恵啓	神武天皇社奉賛会発起者安高団兵衛様	黒田長礼侯家執事殿より黒田侯は奉賛会総裁ではないと御書面を賜った。松尾代議士殿は（黒田侯が）総裁と申された。奉賛会総裁、会長を明白にして長野氏の人道無視行為の件、奉賛会で最善の方策を致すこと皇国民の本分	葉書	1	
W	14	1-1	〔年賀状〕	〔昭和〕14	1	1	佐賀陸軍病院第六病棟五室三原広	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様		葉書	1	紐一括W14-1-1～、包紙「支那事変軍人手紙」一括W14-1-1～
W	14	1-2	〔年賀状〕	昭和14	1	元旦	東京市牛込区陸軍経理学校少尉候補者陸軍主計曹長小野利則	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛殿		葉書	1	
W	14	1-3	〔年賀状〕		1	1	中支派遣軍畑部跡気付里野部隊本部皆川春男	大日本福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋一二〇五番地安高団兵衛殿		葉書	1	
W	14	1-4	〔書簡〕	昭和14	1	5	（久留米陸軍病院第拾八病棟衛生兵　入江）初夫	（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）安高（団兵衛）様	面会・写真の礼	便箋	1	封筒あり
W	14	1-5	〔年賀状〕				竹下隊黒田隊入江	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛殿		葉書	1	
W	14	1-6	〔年賀状〕	昭和14	1	元旦	南支派遣軍久納部隊中井第二隊大庭盈	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様		葉書	1	
W	14	1-7	〔年賀状〕	昭和14	1	1	中支派遣江橋部隊山野部隊本田増径	大日本福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋安高団兵衛殿		葉書	1	
W	14	1-8	〔葉書〕	昭和14	2	13	小倉野戦重砲兵第六聯隊小倉隊第四班堀江房吉	遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛	出征見送りの礼	葉書	1	
W	14	1-9	〔葉書〕	昭和14	2	14	小倉北方野戦重砲兵第六聯隊一中隊七班宮辺義雄	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	出征見送りの礼	葉書	1	
W	14	1-10	〔葉書〕				中支派遣江橋部隊山野部隊本田増径	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋安高団兵衛	軍務に専心する旨など近況報告	葉書	1	
W	14	1-11	〔書簡〕		2	1	（南支派遣久納部隊中島（徳）部隊大堀隊）三原稔	（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）安高団兵衛様	田舎町の警備勤務経過など近況報告	便箋	2	封筒あり
W	14	1-12	〔年賀状〕		1	1	中支派遣岡村部隊金沢部隊古川隊本部横山実	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛殿		葉書	1	
W	14	1-13	〔葉書〕	昭和13	3	1	北方歩兵第十四聯隊本田三二	遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	入営見送りの礼	葉書	1	
W	14	1-14	〔年賀〕	昭和13	1	1	於太原北支派遣乙集団兵站監部気付患者輸送部竹島部隊安高則夫	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛		葉書	1	
W	14	1-15	〔葉書〕	昭和13	1	10	小倉歩兵第十四聯隊第三中隊第九班本田龍幸	遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	入営見送りの礼	葉書	1	
W	14	1-16	〔葉書〕	〔昭和〕13	1	2	近衛歩兵第一聯隊第十一中隊安高勝美	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	寒中見舞い、皇居守衛など近況報告	葉書	1	
W	14	1-17	〔葉書〕	昭和12	10	28	北方歩兵第十四聯隊小田隊三原広	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	出征部隊入営報告	葉書	1	
W	14	1-18	〔葉書〕	〔昭和〕12	11	16	歩一四気付小田隊第四小隊五分隊石橋保雄	遠賀郡芦屋町粟屋軍友会監事安高団兵衛様	任地へ出発の旨報告	葉書	1	
W	14	1-19	〔葉書〕			16	大日本第二十七駆逐隊蓼主計科小野双雄	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛殿	任地に到着の旨報告	葉書	1	
W	14	1-20	〔葉書〕	昭和13	3	10	中支那派遣牛島部隊片岡部隊高下隊小野岩雄	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛・安高幸次郎殿	降雪の告	葉書	1	
W	14	1-21	〔葉書〕		2	20	柳川部隊牛島部隊片岡部隊中牟田部隊小田隊石橋保雄	福岡県遠賀郡芦屋町安高団兵衛様	戦況報告	葉書	1	
W	14	1-22	〔葉書〕		2	7	納屋川部隊牛島部隊片岡部隊中牟田部隊小田隊石橋保雄	大日本福岡県遠賀郡芦屋町安高団兵衛様	戦況報告	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	14	1-23	〔葉書〕				北支派遣乙集団兵站監部気付患輸泉部隊安高則夫	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	北支周辺の自然環境報告	葉書	1	
W	14	1-24	〔簡易書簡〕	〔昭和13	2	25)	柳川部隊牛島部隊片岡隊柴田隊山中通	(福岡県遠賀郡芦屋町粟屋)安高団兵衛殿	戦況報告、慰問品の礼	簡易書簡	1	
W	14	1-25	〔葉書〕	〔昭和13〕	3	23	牛島部隊片岡隊柴田隊入江勝	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛殿	軍務に励む旨報告	葉書	1	
W	14	1-26	〔葉書〕		8	9	北支派遣谷口部隊気付池田砲兵部隊古賀隊　河村忠若	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	暑中御見舞	葉書	1	
W	14	1-27	〔葉書〕		盛夏		中支牛島部隊竹下隊黒田隊　入江勝	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	暑中御伺	葉書	1	
W	14	1-28	〔葉書〕	昭和13	4	1	北方歩兵第十四聯隊短期現役兵　上野利雄	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	お陰を以て本日無事入隊	葉書	1	
W	14	1-29	〔葉書〕				南支牛島部隊気付中村悌二部隊　大庭盈	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　正交会御中	私もお陰にて1月20日付で一等兵	葉書	1	
W	14	1-30	〔葉書〕		7	19	□□派遣久納部隊竹下部隊美蓑川部隊福島隊　三原広	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	暑中御見舞	葉書	1	
W	14	1-31	〔葉書〕				中山通	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	任地到着の報告、今後のご指導ご鞭撻のお願い	葉書	1	
W	14	1-32	〔葉書〕	昭和12	10	28	北方歩兵第十四聯隊気付小田隊　石橋保雄	遠賀郡芦屋町大城　安高団兵衛様	お陰を以て滞りなく入隊、軍務に一意専心励む旨報告	葉書	1	
W	14	1-33	〔葉書〕	昭和12	10	29	北方歩兵十四気付小田隊　中山通	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	お陰を以て滞りなく左隊に入隊、今後奮闘致すべく報告	葉書	1	
W	14	1-34	〔葉書〕		10	19	北支山西省平綏線陽高駅気付小谷部隊　伊豆清	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	目下表記のヶ所において後方勤務に従事中	葉書	1	
W	14	1-35	〔書簡〕		1	13	入江勝	安高	杭州からの近況報告	罫紙	1	封筒あり
W	14	1-36	〔書簡〕				(杭州市片岡部隊柴田隊　入江勝)	在郷軍人会・御一同様	無事后後十時杭州市に入城	紙	1	封筒あり
W	14	1-37	〔書簡〕		1	6	旅団警備小隊　入江勝	安高殿	招集中より門司港出発迄の報告	紙	2	封筒あり
W	14	1-38	〔書簡〕	昭和13	1	元旦	北支派遣徳川部隊中西隊　尾家信介	安高団兵衛殿	年頭の挨拶	紙	1	封筒あり
W	14	1-39	〔書簡〕		3	6	第二十七駆逐隊蓼第一分隊　小野啓雄	安高団兵衛殿	山東省での匪賊討伐などの戦況報告	罫紙	4	封筒あり
W	14	1-40	〔書簡〕				大庭盈	安高団兵衛様	戦地からの近況報告	罫紙	6	封筒あり
W	14	1-41	〔書簡〕		2	28	西湖法相警備中　入江勝	安高様	杭州からの戦況報告	罫紙	2	封筒あり
W	14	1-42	〔名刺〕	昭和13	1	14	真言宗善通寺派　竹内了海		飯塚市碓井に教会所建立に付き、寄附募集	名刺	1	
W	14	2	〔葉書〕	昭和14	1	10	小倉北方井上部隊小野隊二班本田国雄	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	入営見送りのお礼	葉書	1	
W	14	3	〔葉書〕	昭和14	1	10	佐世保海兵団第十八分隊第三教班　長野佐一郎	福岡県遠賀郡蘆屋町軍友会　安高団兵衛	入営見送りのお礼	葉書	1	
W	14	4	〔葉書〕	昭和14	1	元旦	南派遣軍久納部隊竹下部隊白石隊　堤元信	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	14	5	〔葉書〕		1	10	浜田歩兵第廿一聯隊第八中隊岡村一夫	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	入営見送りのお礼と入営報告	葉書	1	
W	14	6	〔葉書〕				中支江橋部隊山野部隊皆川隊本田増往	大日本福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛殿	元気に教育隊を卒業、本田も12月12日付で一等兵に命ぜられました	絵葉書	1	絵は「日本兵士と支那小児」
W	14	7	〔葉書〕		11	19	小倉第十四聯隊気附片岡部隊柴田隊　入江勝	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高福三様	10月5日門司港出発途中無事当地に上陸、明日より第一戦に向う事と相成り取遭敢ず御通知申上げ	葉書	1	
W	14	8	〔葉書〕	〔昭和14〕	〔5〕	〔27〕	徳島市大森部隊神原隊幹部候補生　本田三二	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	療養中の御丁重なる御見舞に謹んでお礼申上候	葉書	1	日付は消印
W	14	9	〔葉書〕		11	19	小倉第十四聯隊気附片岡部隊柴田隊　入江勝	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　在郷軍人会・安高団兵衛・御一同様	残念ながら11月13日の戦に傾なす	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	14	10	〔葉書〕	昭和14	4	1	中支派遣岡村部隊気付金沢部隊古川隊　横山実	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛殿	平素のご無沙汰を詫び近状御報知申し上げ	葉書	1	年は消印
W	14	11	〔書簡〕		3	22	(南支派遣久納部隊中島(徳)部隊大堀隊)三原稔	安高団兵衛様	目下警備勤務に服しておりますが相変わらず元気旺盛です	罫紙	2	封筒あり
W	14	12	〔葉書〕	昭和14	4	29	中支江橋部隊山野部隊皆川隊本田増往	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛様	戦場ニュースとて変わった事はありません。俸給も1ヶ月8円80銭戴いております	簡易書簡	1	
W	14	13	〔葉書〕	昭和13	1	元旦	佐世保郵便局気付第二十七駆逐蓼　小野啓雄	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	
W	14	14	〔葉書〕	〔昭和14〕	3	9	小倉市高橋部隊小倉隊第九班堀口房吉	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛	軍務に精励して御懇情にお答えする覚悟でございます	葉書	1	年は消印
W	14	15	〔葉書〕	〔昭和13〕	〔10〕	〔9〕	久留米市外御井町　小畠忠生	遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛殿	応召者への御慰問に際するお礼	葉書	1	日付は消印
W	14	16	〔葉書〕		12	12	南支派遣軍久納部隊竹下部隊白石隊木部小隊　堤元信	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	在倉中は種々御慰問被下ありがとうございました。只今南支の第一線で警備にあたっています	葉書	1	
W	14	17	〔葉書〕		12	11	南支派遣久納部隊中島(徳)部隊大堀隊　三原稔	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	お陰様にて本日付きを以て表記の部隊に入隊	葉書	1	
W	14	18	〔葉書〕	〔昭和13〕	〔12〕	〔17〕	福岡県朝倉郡甘木町高射砲第四聯隊第五中隊第三内務班　関守勝	福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋　安高団兵衛様	お礼と帰営報告	葉書	1	
W	14	19	〔葉書〕	〔昭和13〕			福岡県朝倉郡甘木町高射砲第四聯隊第五ノ二　吉村信義	福岡県遠賀郡蘆屋町字粟屋　安高団兵衛様	お礼状	葉書	1	
W	14	20	〔葉書〕		12	25	久留米陸軍病院第拾八病棟衛生室　入江初夫	福岡県遠賀郡蘆屋町字粟屋　安高団兵衛殿	遠路御見舞へのお礼	葉書	1	
W	14	21	〔書簡〕		12	6	歩兵上等兵　入江勝	安高殿	戦地からの況報告	罫紙	2	封筒あり
W	14	22	〔葉書〕	昭和13	12	10	小倉歩兵第十四聯隊第二機銃中隊第一班　黒山悠紀雄	遠賀郡蘆屋町粟屋　安高団兵衛様	入営見送りのお礼	葉書	1	
W	14	23	〔葉書〕	昭和13	12	10	北方歩兵第十四聯隊第九中隊六班　田中正治	遠賀郡芦屋町粟屋　町会議員安高団兵衛様	入営見送りのお礼	葉書	1	
W	14	24	〔葉書〕				柳川部隊牛島部隊片岡部隊牛川隊　二村寛一	大日本福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年頭の挨拶	葉書	1	
W	14	25	〔葉書〕				中支牛島部隊竹下部隊高下隊小野岩夫	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	軍務に専心しておりますので他事乍御休心下さい	絵葉書	1	絵は「朝暾の進軍」
W	14	26	〔封筒〕	昭和12	1	26	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高リキノ	東京市杉並区和泉町128　□住和代様		封筒	1	封筒のみ
W	14	27	〔封筒〕				大日本農友会出版部	福岡県遠賀郡芦屋町芦屋　安高団兵衛		封筒	1	封筒のみ
W	14	28	〔封筒〕					遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	昭和13年度応召兵士よりの来信入	封筒	1	28-1～28-21同封
W	14	28-1	〔葉書〕	昭和12	7	24	直方鞍手農産物配給所・直方市		直方鞍手農産物配給所の事業を継承し、直方青果市場株式会社経営の市場を買収し直方市において8月1日を以て開場	葉書	1	
W	14	28-2	〔葉書〕	昭和13	6	2	福岡歩兵第廿四聯隊第三中隊第一班　内田栄蔵	遠賀郡芦屋町大字芦屋粟屋　安高団兵衛殿	入営見送りのお礼、お陰を以て5月29日無事入隊	葉書	1	
W	14	28-3	〔葉書〕	昭和13	7	11	台湾嘉義第二航空隊教育隊第四班　本田増往	福岡県遠賀郡芦屋字粟屋　安高団兵衛殿	入営見送りのお礼、お陰を以て滞りなく入隊	葉書	1	
W	14	28-4	〔葉書〕				牛島部隊竹下隊中川隊　二村寛一	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団平衛殿	暑中お伺い	葉書	1	
W	14	28-5	〔葉書〕				牛島部隊竹下隊中川隊　二村寛一	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団平様	暑中お伺い	葉書	1	
W	14	28-6	〔葉書〕	昭和13	盛夏		中支派遣軍久納部隊本部経理部陸軍主計曹長　小野利則	大日本福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	暑中御見舞	葉書	1	
W	14	28-7	〔葉書〕	昭和13	盛夏		第二十七駆逐隊蓼第一分隊　小野啓雄	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	暑中お伺い	葉書	1	
W	14	28-8	〔葉書〕	昭和13	盛夏		中支派遣牛島部隊中村悌二隊大庭盈	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛様	吾等戦士責微刀越捧御奉公之一端尽居候間御放念成下度候	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	14	28-9	〔葉書〕	昭和13	8		中支派遣軍畑部隊気付黒野隊 皆川春夫	福岡県遠賀郡蘆屋町大字蘆屋字粟屋1205 安高団兵衛殿	残暑御見舞	葉書	1	
W	14	28-10	〔書簡〕		8	22	(中支派遣久納部隊竹下部隊黒田隊)入江勝	安高団兵衛様	昨年11月13日片岡部隊の激戦地で負傷なせしが軽傷にて今は無事元気です	罫紙	4	封筒あり
W	14	28-11	〔葉書〕	昭和13	9	2	福岡歩兵第廿四聯隊第九中隊第四班 山田芳次	遠賀郡蘆屋町粟屋 安高団兵衛殿	聖召見送りのお礼	葉書	1	
W	14	28-12	〔葉書〕	昭和13	9	2	小倉歩兵第十四聯隊第七中隊二班 三原稔	福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋 安高団兵衛様	入営見送りのお礼	葉書	1	
W	14	28-13	〔葉書〕	昭和13	9	3	小倉市北方歩兵十四 八ノ二 堤元信	芦屋町粟屋 安高団兵衛殿	応召見送りのお礼	葉書	1	
W	14	28-14	〔葉書〕		9	7	久納部隊竹下隊黒田隊 入江勝	福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋 安高団兵衛殿	小生儀もその後豆にて御奉公を仕り居り候間他事ながら御安心下さい	絵葉書	1	
W	14	28-15	〔葉書〕	昭和13	9	18	久留米軽重兵第十八聯隊 入江初夫	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋 安高団兵衛殿	応召見送りのお礼	葉書	1	
W	14	28-16	〔葉書〕		9	6	中支派遣岡村部隊気付金沢部隊古川隊本部 横山実	福岡県遠賀郡蘆屋町 安高団兵衛殿	日夜軍務に精励致居候間、乍他事御放念被下度候	葉書	1	
W	14	28-17	〔葉書〕		10	9	久留米□□十八聯隊第二中隊一班 石田勝海	遠賀郡芦屋町粟屋 安高団平様	御多忙の処御慰問被下厚くお礼申し上げ候	葉書	1	
W	14	28-18	〔葉書〕		10	10	久留米陸軍病院第一分舎第二内務班 入江初夫	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋 安高団兵衛様	お礼状	葉書	1	
W	14	28-19	〔葉書〕				八女郡上広川村字吉常中村政義方 横山実	遠賀郡芦屋町 安高団兵衛殿	万歳 謹而御礼申上候	葉書	1	
W	14	28-20	〔葉書〕	〔昭和14〕	〔3〕	〔30〕	南支派遣久納部隊中島部隊高下隊 小野岩雄	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋 安高団兵衛殿	こちら戦地も一段と緊張して次の行動準備に忙しくしておる次第です	葉書	1	
W	14	28-21	〔葉書〕				満州国牡丹紅省軍事郵便書気付米丸部隊気付大木隊 本田竜平	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋 安高団平様	至極元気にて軍務に精励しておりますから、乍他事御放念被下度候	葉書	1	
W	14	29	〔葉書〕	〔昭和15〕	2	8	柴部隊高野部隊 入江初夫	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋 安高団平殿	私も数十日間は御手紙も書く間も無くして討伐に参加しておりました	葉書	1	年は団兵衛メモ
W	14	30	〔葉書〕	〔昭和15〕	〔2〕	〔28〕	黒崎 広渡タツノ	芦屋町粟屋 安高団兵衛様	母の病気に際し御世話になり厚くお礼申し上げます	葉書	1	
W	14	31	〔葉書〕		2	20	奉天紅葉町 広渡成男	福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋 安高団平様	2月3日女児分娩、その後達者でございます	葉書	1	
W	14	32	〔葉書〕	昭和15	4	7	日豊線新田原駅前 九州函材原木買入部 小田藤男	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋 安高団平殿	官有林払い下げに伴う原木大量買入について、詳しいご返答をお願いしたい	葉書	1	
W	14	33	〔葉書〕	〔昭和15〕	〔4〕	〔15〕	岡垣村元松原 広渡団平	芦屋町粟屋 安高団兵衛様	来る17・18日は当区春祭りに付、万障御繰り合わせの上御出浮下され	葉書	1	日付は消印
W	14	34	〔葉書〕		〔4〕	〔18〕	水巻町字吉田鯉口日産社宅13 池田五三	遠賀郡芦屋町字粟屋 安高団兵衛殿	芦屋郵便局在職中は公私共に多大な御懇情に預かり厚くお礼申し上げます	葉書	1	月日は消印
W	14	35	〔葉書〕		4	17	東京市第一陸軍病院第三外科 三原稔	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋 安高団兵衛様	帰郷の節は鄭重なるお見舞いを受けお礼申し上げます	葉書	1	
W	14	36	〔葉書〕				鹿児島へ向け進行中の車中にて 安高半次郎	筑前遠賀郡芦屋町字粟屋 安高団兵衛様	旅先からの近況報告	葉書	1	
W	14	37	〔葉書〕	昭和15	4	19	久保田隊四班 本田耕睦	遠賀郡芦屋町字粟屋 安高団兵衛殿	応召見送りのお礼	葉書	1	
W	14	38	〔葉書〕	昭和15	4		遠賀郡中間町新手 平井十郎	遠賀郡芦屋粟屋 安高団兵衛殿	今般鞍手郡養蚕業組合技手を拝命	葉書	1	
W	14	39	〔葉書〕				八幡市黒崎西岡田町 広渡素一郎	遠賀郡芦屋町粟屋 宅高福蔵様	御祝いへのお礼状	葉書	1	
W	14	40	〔葉書〕				芦屋町金屋 横田魚店	芦屋町粟屋 安高団兵衛・御尊父様	魚代、計算書誤りに付幸便の節にて結構ですので御送金下され	葉書	1	
W	14	41	〔葉書〕				阿蘇郡内牧村大字西小園 小島頼男	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋 安高団兵衛殿	植え付けのことなど近況報告	葉書	1	
W	14	42	〔葉書〕	〔昭和15〕	〔7〕	〔18〕	岡垣村糠塚 入江保雄	遠賀郡芦屋町 安高団兵衛様	会葬礼状	葉書	1	日付は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	14	43	〔葉書〕	〔昭和15〕	〔7〕	〔20〕	岡垣村糠塚　入江保雄	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛様	初七日を21日に相営み度御通知	葉書	1	日付は消印
W	14	44	〔葉書〕	皇紀2600	1	元旦	南支派遣軍百武部隊中島徳部隊白石隊　堤元信	九州福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
W	14	45	〔葉書〕				九大耳鼻科　小田利三郎	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	遠路の処御見舞を恭しお礼申し上げます	葉書	1	
W	14	46	〔葉書〕		盛夏		牡丹紅省城子溝河辺部隊本部　本田龍幸	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛様	暑中お見舞い	葉書	1	
W	14	47	〔葉書〕		7	1	阿蘇郡内牧村西小園　小島頼男	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	小生も田植えに働いております、御安心下さい	葉書	1	
W	14	48	〔葉書〕		6	27	北支派遣軍第一野戦局気付藤野部隊　広渡活身	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	僕は上陸以来益々元気で御奉公いたしております。他事ながら御球心下さい	葉書	1	
W	14	49	〔葉書〕				三好利行	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	私無事3月10日現地に入隊致し元気でおります	葉書	1	
W	14	50	〔葉書〕				満州東寧松倉部隊気付川口隊松川嘉永	福岡県遠賀郡芝屋町2500　安高団兵衛殿	満州からの近況報告	葉書	1	
W	14	51	〔葉書〕				満洲国北安省嫩江野口部隊村上隊　本田増往	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛様	未使用絵葉書	葉書	4	封筒あり
W	14	52	〔葉書〕	昭和15	5	26	八幡市中本町4丁目　本田トメノ	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	会葬礼状	葉書	6	封筒あり、未使用葉書5葉同封
W	14	53	〔葉書〕				北支派遣多田部隊本部副官部管理班　入江節雄	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・外御一同様	餞別・見送りへのお礼状	葉書	1	
W	14	54	〔葉書〕		6	25	北支派遣多田部隊本部副官部管理班　入江節雄	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛・外御一同様	基本訓練ほか体操や必要な御話を受けております	葉書	1	
W	14	55	〔葉書〕				遠賀郡遠賀村　柴田儔	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	入隊報告	葉書	1	
W	14	56	〔葉書〕		6	9	飯塚市吉原町3丁目　高野成義	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	お土産へのお礼状	葉書	1	
W	14	57	〔葉書〕	〔昭和18〕	〔10〕	〔17〕	北支派遣勝第五二一二部隊　入江節雄	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	戦地からの近況報告	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	14	58	〔葉書〕	〔昭和18〕	〔10〕	〔27〕	ビルマ派遣菊第八九〇五部隊有吉隊　三好喜七郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	ビルマからの近況報告	葉書	1	
W	14	59	〔葉書〕	〔昭和18〕	〔10〕	〔27〕	ビルマ派遣菊第八九〇五部隊有吉隊　三好喜七郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	耳よりな事を聞きました。それは貴殿もご存じの在郷軍人会会長をしておられた有吉有殿が今私達の隊の隊長として元気に御奉公しておられます	葉書	1	
W	14	60	〔葉書〕	〔昭和18〕	〔12〕	〔29〕	芦屋町東町　倉垣藤雄	芦屋町字粟屋 安高団兵衛様	正月手かざり用のワラ注文	葉書	1	日付は消印
W	14	61	〔葉書〕	〔昭和18〕	〔12〕	〔24〕	芦屋町東町　倉垣藤雄	芦屋町字粟屋 安高団兵衛様	ワラの礼、団兵衛来訪時不在の詫び	葉書	1	日付は消印
W	14	62	〔年賀状〕	〔昭和18〕	1	元旦	芦屋町　吉田徳蔵	当町粟屋 安高団兵衛殿		葉書	1	年は消印
W	14	63	〔葉書〕	〔昭和19〕	1	3	福岡県遠賀郡芦屋町呉服雑貨石油商　吉田馨	芦屋町粟屋 安高団兵衛様	日頃野菜頂戴の礼	葉書	1	年は消印
W	14	64	〔葉書〕	〔昭和19〕	1	3	当町　吉田徳蔵	当町粟屋　安高団兵衛殿	白菜頂戴の礼	葉書	1	年は消印
W	14	65	〔葉書〕	〔昭和19〕	1	23	遠賀村鬼津　太田豊造	遠賀郡あしや町粟屋　安高団兵衛様	親族年始会の案内	葉書	1	年は消印
W	14	66	〔葉書〕	〔昭和19〕	〔1〕	〔25〕	北支派遣甲第一八二九部隊　本田仲雄	福岡県遠賀郡芦屋町　安高隆盛様	年始挨拶	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	14	67	〔葉書〕	〔昭和19〕	〔1〕	〔25〕	満州国熱河省古北口満州第百五十四部隊　小野利則	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年始挨拶	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	14	68	〔葉書〕	〔昭和19〕	〔1〕	〔25〕	中之浜町榎枝卯七	芦屋町粟屋　安高団兵衛	白菜注文	葉書	1	日付は消印
W	14	69	〔葉書〕	〔昭和19〕	〔4〕	〔12〕	濠北派遣堅第六七五七部隊　田中初夫	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	軍務精励の旨近況報告	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	14	70	〔葉書〕	〔昭和19〕	〔1〕	〔17〕	芦屋町　本田久野	郡内芦屋町粟屋　安高団兵衛様	主人出征に際しての餞別礼	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	14	71	〔葉書〕	〔昭和19〕	〔5〕	〔5〕	満州国牡丹江第五軍事郵便所気付満州第九一六部隊中村隊小野岩雄	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	軍務精励の旨近況報告	葉書	1	日付は団兵衛メモ

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	14	72	〔葉書〕	昭和19	5		愛知県岡崎海軍航空隊　永見光七郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	入隊見送り・餞別の礼	葉書	1	
W	14	73	〔葉書〕	〔昭和19〕	〔6〕	〔5〕	中支派遣第一〇五野戦郵便局気付広第三六六一部隊相良隊陸軍准尉　伊豆清	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	第一線にて奉公の旨など近況報告	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	14	74	〔簡易書簡〕	昭和19	7	2	戸畑市天瀬寺大谷三六八六番地　宮川氏雄	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	キュウリ分譲の際、上着を置き忘れたので届けてほしい	簡易書簡	1	
W	14	75	〔葉書〕	〔昭和19〕	7	1	芦屋町東町　倉垣シオ	遠賀郡芦屋町安高団兵衛様	カボチャ注文	葉書	1	年は消印
W	14	76	〔葉書〕	〔昭和19〕	7	6	芦屋町　吉田徳蔵	当町粟屋　安高団兵衛殿	珍品頂戴の礼	葉書	1	年は消印
W	14	77	〔葉書〕	〔昭和19〕	7	12	芦屋町東町　倉垣シオ	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	カボチャ注文	葉書	1	年は消印
W	14	78	〔葉書〕	〔昭和19〕	7	12	芦屋町　江田春吉・位地睦太郎	芦屋町粟屋区　安高団兵衛殿	初物鮮果頂戴の礼	葉書	1	年は消印
W	14	79	〔葉書〕	〔昭和19〕	〔7〕	〔17〕	小倉市西部七三部隊気付一二五八三部隊松井隊　柴田寿	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	トマト頂戴の礼	葉書	1	日付は消印
W	14	80	〔葉書〕	〔昭和19〕	〔7〕	〔17〕	八幡市黒崎築地町二丁目　石川為市	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛様	カボチャ注文	葉書	1	日付は消印
W	14	81	〔挨拶状〕	昭和19	5		(高雄町)鳳山郡鳳山街新庄子五九番地　早川万次郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高福蔵殿	鳳山郡警察課長となる旨報告	挨拶状	1	封筒あり
W	14	82	〔葉書〕	〔昭和19〕	〔7〕	〔27〕	芦屋中ノ浜　中村内	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	カボチャ注文	葉書	1	日付は消印
W	14	83	〔葉書〕	〔昭和19〕	〔8〕	〔24〕	熊本県内牧町　小島頼男	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	大根種子入手の依頼	葉書	1	日付は消印
W	14	84	〔葉書〕	〔昭和19〕	8	29	〔　〕　広渡八重子	芦屋町粟屋安高団兵衛様	団兵衛との面会の礼	葉書	1	年は消印
W	14	85	〔葉書〕	〔昭和19〕	〔9〕	〔16〕	牡丹紅第三軍事郵便所気付第八〇二部隊三田村隊　広渡成男	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	軍務精励の旨近況報告	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	14	86	〔葉書〕	〔昭和19〕	〔7〕	18	金屋　中西徳一郎	芦屋町粟や　安高福蔵様・弘世話人一同様	兵士武運長久祈願の案内	葉書	1	年月は消印
W	14	87	会葬御礼				夫村田三郎、親族総代村田牛太郎・太田豊造、友人総代藤田秋助・川原茂		未使用の簡易書簡2点同封	簡易書簡	2	封筒あり
W	14	88	〔葉書〕		1	19	北支派遣平田部隊此ノ木部隊高の隊　入江初夫	福岡県遠賀郡芦屋町屋　安高団兵衛様	無沙汰無礼の詫び	葉書	1	
W	14	89	〔年賀状〕				北支派遣軍第一野戦局気付　藤野部隊　広渡活身	福岡県声(ママ)屋町粟屋　安高団兵衛様	軍務精励の旨近況報告	葉書	1	
W	14	90	〔年賀状〕		1	吉日	北支派遣半田部隊気付此ノ木部隊小久保隊　石田勝海	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様		葉書	1	
W	14	91	〔名刺〕				合資会社吉積至誠堂印刷所工場長　本田勇		勤務先若松市西薪町二丁目・自宅若松市堺町四丁目	葉書	1	
W	14	92	〔書簡〕		〔1〕	〔13〕	南支派遣久能部隊中村次郎部隊小山部隊士官室　小野利則・中支派遣第十三航空隊主計課(佐世保局気附)小野□雄	(福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様)	年始挨拶・近況報告	印刷物	1	封筒あり、日付は消印、宛名は封筒
W	14	93	〔書簡〕		〔2〕	〔26〕	(南支派遣軍百弐部隊中村(次)部隊小山部隊)小野利則	(福岡県遠賀郡芦屋町)　安高団兵衛殿	部隊移転など近況報告	便箋	2	封筒あり、宛名補足は封筒
W	14	94	〔書簡〕	昭和15	2	2	沖縄県国頭郡本部村字渡久地一七六　松川嘉永	(福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋)安高団兵衛殿	久留米歩兵第四十八聯隊高橋部隊永江隊に入隊に付面会依頼	便箋	4	封筒あり、宛名補足は封筒
W	14	95	〔書簡〕				(満州国北安省嫩江野口部隊村上隊)本田増往	(福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様)	満州の近況報告	印刷物	1	封筒あり、差出・宛名補足は封筒
W	14	96	〔書簡〕		〔6〕	〔9〕	(南支派遣軍塩田部隊林部隊北川隊　大通)要	(福岡県遠賀郡芦屋町芦屋)　安高(団兵衛)様	軍務精勤の旨近況報告	便箋	1	封筒あり、差出・宛名補足は封筒、日付は団兵衛メモ
W	14	97-1	〔案内状〕		1		遠賀郡芦屋町長　小田利三郎	安高団兵衛殿	納税組合表彰式開催の案内	印刷物	1	封筒一括w14-97-1～97-4
W	14	97-2	式順							印刷物	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	14	97-3	昭和十五年諸税納期限表	昭和15			芦屋町			印刷物	1	
W	14	97-4	納税組合長納税成績表	昭和15	2		芦屋町			印刷物	1	
W	14	98	〔書簡〕	昭和16	5		（直方市上頓野）故石橋関蔵妻石橋つもる・女同玲子、親類総代中川伍郎次	（遠賀郡芦屋町粟屋） 安高団兵衛殿	関蔵一周忌の礼	印刷物	1	封筒あり、差出・宛名補足は封筒
W	14	99	緊急御伺ヒ		5	29	（中小路区） 古賀恵啓	（芦屋町粟屋区） 安高（団兵衛）様	明五月三十日に町常会開催、昨年来の事件を町会にて発表することが芦屋のためとなる	紙	1	封筒あり、差出・宛名補足は封筒
W	14	100-1	〔依頼状〕	昭和16	12	10	東部第二部隊平松隊長平松信武	安高福蔵殿	安高藤吉入隊に付必要書類提出依頼	印刷物	1	封筒一括w14-100-1～100-8
W	14	100-2	入営者預知事項ニ関スル件	昭和17	1	2	芦屋町長 長野政八	安高藤吉殿	東京市東部第二部隊入営に付注意事項、写し	罫紙	1	
W	14	100-3	兵身上明細書近衛歩兵第一聯隊						身上明細書の書き方事例	印刷物	1	
W	14	100-4	兵卒身上明細書近衛兵第一聯隊						安高藤吉分き	罫紙	1	
W	14	100-5	衛生身上調査申告票						安高藤吉分下書き	罫紙	1	
W	14	100-6	第三表嗜好及趣味調査表						下書き	罫紙	1	
W	14	100-7	〔書簡下書〕						出征餞別の礼、「国税・附加税臨時増徴について」の紙背を利用	紙	1	
W	14	100-8	米穀通帳中「年令及割当量」訂正方ノ件	昭和17	1	7	芦屋町長	粟屋町内部落会長殿		印刷物	1	
W	14	101	〔書簡〕	〔昭和16〕	10	29	（八幡市神明町一丁目川原彦二方） 手島幾茂	（遠賀郡芦屋町粟屋） 安高団兵衛様	唐芋注文	便箋	2	封筒あり、年は消印、差出・宛名補足は封筒
W	14	102-1	〔広告〕	〔昭和19〕	〔3〕	〔6〕	大淀農場		麦・馬鈴薯の作施肥法について	印刷物	1	封筒（奈良県吉野郡大淀町大字檜垣本 農村文化研究会大淀農場→福岡県遠賀郡芦屋町芦屋 安高団兵衛様）一括102-1～102-4、日付は団兵衛メモ、差出・宛名は封筒
W	14	102-2	〔広告〕	〔昭和19〕	〔3〕	〔6〕	大淀農場		皇道農法について、『稲の画期的増収法』・『栄養週期適期施肥論』案内	印刷物	1	
W	14	102-3	〔広告〕	〔昭和19〕	〔3〕	〔6〕	大淀農場		皇道農法について	印刷物	1	
W	14	102-4	〔広告〕	〔昭和19〕	〔3〕	〔6〕	大淀農場		皇道農法について	印刷物	1	
W	14	103-1	〔依頼書〕	昭和18	6	20	福岡県遠賀農学校長	保護者殿	家庭訪問に付調査依頼	印刷物	1	封筒一括103-1～103-2
W	14	103-2	〔書付〕						学校規則案か	紙	1	
W	14	104	銃後乃花一月号第四十七号	昭和16	1	1	小倉聯隊区司令部内発行兼発行人 小林甚兵衛	（遠賀郡芦屋町安高団兵衛殿）		印刷物	1	帯封あり、宛名は帯封
W	14	105	〔書簡〕	〔昭和19〕	1	4	（東京都中野区上町三十二番地） 三原広	（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）安高団兵衛様	年始挨拶・無沙汰の詫び	便箋	3	封筒あり、年は消印、差出・宛名の補足は封筒
W	14	106	〔電報〕	昭和15	1	24	発信局ナカマセウワ局番一三〇	アシヤマチアザアワ ヤアタカダンヘイ	「ホシタイコケフトリユクテハイタノムアマ」	電報送達紙	1	
W	14	107	〔年賀状〕	昭和14	1	元旦	Uso.Hirowatari.Haney.Blo	（福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋）安高団兵衛様		葉書	1	封筒あり、宛名補足は封筒
W	14	108	〔年賀状〕	1939	1		本田	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋 安高団平様		葉書	1	
W	14	109	〔年賀状〕	皇紀2600		元朝	伊豆田方郡田中村田京諸伏優子	福岡県遠賀郡芦屋町字粟谷（ママ） 安高団兵衛様		葉書	1	
W	14	110	〔年賀状〕	〔昭和15〕	〔1〕	〔6〕	壱岐郡武生水町大久保勲	福岡県遠賀郡芦屋町 安高団兵衛様		葉書	1	
W	14	111	〔葉書〕	〔昭和15〕	2	23	若松市竹並 平安八十子	遠賀郡芦屋町大城 安高団兵衛様	肩掛を拾ってもらった礼、団兵衛による礼状への返信メモあり	葉書	1	年は消印
W	14	112	〔葉書〕	昭和15	3	22	諸官衛農会御用達 福岡県浮羽郡竹野村地徳 旭農園 主幹内山恵太郎・主任内山要太	遠賀郡芦屋町粟屋 安高団兵衛様	注文商品発送	葉書	1	
W	14	113	〔葉書〕	〔昭和15〕	4	23	宗像郡河東村 安部正威	遠賀郡芦屋町 安高団兵衛殿	金婚式と喜寿を兼ねた祝宴開催に付、記念品送付	葉書	1	年は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	14	114	〔葉書〕	〔昭和15〕	6	9	久留米　渋田武三郎	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛殿	新聞記事感想			年は消印
W	14	115	〔書簡〕	昭和14	12	7	広渡卯壮(R.R.No1.Haney.Blo)	(福岡県遠賀郡芦屋町粟屋)安高団兵衛殿	年末・年始挨拶、日本人会の様子など近況報告	紙	3	封筒あり、差出・宛名補足は封筒
W	14	116	〔書簡〕	皇紀2600	3	30	(南支那方面軍安藤部隊井場部隊古賀隊本部)　岸保夫	(福岡県遠賀郡芦屋町)　安高団兵衛様・外御一同様	戦地での生活について	便箋	2	封筒あり、差出・宛名補足は封筒
W	14	117	薄謝				南高来郡聯合青年団		25円、袋のみ	袋	2	包紙あり
W	14	118	〔書簡〕	昭和15	6	9	(福岡県直方市)　大塚久三郎	(遠賀郡芦屋町)　安高(団兵衛)君	新聞記事感想、自宅への招待状	便箋	4	封筒あり
W	14	119	〔書簡〕		1	22	(長崎県壱岐郡支庁)　園田晋毅	(福岡県遠賀郡芦屋町)　安高(団兵衛)様	講演礼状、記念写真送付の知らせ	継紙	1	封筒あり
W	14	120	〔書簡〕	〔昭和15〕	2	13	静岡県田方郡田中村田京諸伏優子	(福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋)安高御一家様	書籍返却の報告、開墾地での生活について近況報告	便箋	4	封筒あり、年は消印
W	14	121	〔書簡〕		〔6〕	〔30〕	安部守雄	粟屋　安高様	留守に付、訪問断り	罫紙	1	封筒、日付は団兵衛メモ
W	14	122	〔送券〕	昭和15	3	28	福岡県浮羽郡竹野村地徳　諸官衛農会御用達　旭農園　主幹内山恵太郎・主任内山要太	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	貨物積送	送券	1	
W	14	123-1	〔書簡〕	昭和14	11	14	安高マキヨリ	母・父上様、御家内様	アメリカでの近況報告	便箋	5	封筒(北米合衆国加洲桑港　姉安高マキ→大日本帝国福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛様)一括123-1～123-2
W	14	123-2	〔書簡〕	昭和14	11	14	姉まきより	なつかしき妹りきの様	アメリカでの近況報告	便箋	3	
W	14	124	年中万雑用控帳	大正2	3	元旦(ママ)	安高福蔵　同団兵衛筆		裏表紙には「大正弐年度一月元旦　大福万覚帳」とあり	横半帳	1	
W	14	125	貯金局たより	昭和15	5		貯金局			印刷物	1	
W	14	126	〔書付〕	昭和4					昭和4・5年の正月・盆の入用控え、貴舟神社鳥居建設費寄付受領証の裏面を利用	紙	1	
W	14	127	〔葉書〕	〔昭和19〕	7	25	福岡県遠賀郡芦屋町船頭町　林田守治	芦屋　安高団兵衛殿	出征見送り・餞別の礼	葉書	1	年は消印
W	14	128	〔葉書〕	昭和19	7		千葉県下志津　小野義信	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	入隊見送り・餞別の礼	葉書	1	
W	15	1	〔葉書〕	〔昭和17〕	8	31	東京九段東部第二部隊藤井隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛・御一同	近況報告(是非身体ニ障ル迄ニハ手ヲ広メラレヌ様ニ重ネ重ネ御願ヒ致シマス)	葉書	1	年は消印
W	15	2	〔葉書〕	〔昭和17〕	9	2	東京九段東部第二部隊藤井隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛・御一同	近況報告(二解ヘ残シタ本箱ノ目バリ恵美子ニ頼ンデ居リマシタガヤッテクレテヰルデセウカ)	葉書	1	年は消印
W	15	3	〔葉書〕	〔昭和17〕	9	2	東京九段東部第二部隊藤井隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛・御一同	去ル日痛メラレタ父上様ノ左手ハ此ノ頃如何デスカ	葉書	1	年は消印
W	15	4	〔葉書〕	〔昭和17〕	9	2	東京九段東部第二部隊藤井隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛・御一同	母上様ヨリノ詳シイ御便リ何回ト無ク読ミ返シ十分ニ我ガ家ノ様子ガ解リ懐シサデ一パイデス	葉書	1	年は消印
W	15	5	〔葉書〕	〔昭和17〕	8	16	東京九段東部第二部隊藤井隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高恵美子	夏野菜片付ケ並ニ蒔付ケ準備デ忙シイ事トハ思フガ御体ヲ大切ニ	葉書	1	年は消印、裏面は絵葉書(国立公園・富士五湖)
W	15	6	〔葉書〕	〔昭和17〕	8	25	東京九段東部第二部隊藤井隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高隆盛	以前ヨリ御願シテヰタ御一同様ノ写真ヲ待ツ	葉書	1	年は消印、裏面は絵葉書(国立公園富士・長尾峠ヨリ)
W	15	7	〔葉書〕	〔昭和17〕	8	6	東部第二部隊藤井隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛・御一同	私モ至極元気一パイ	葉書	1	年は消印、裏面は絵葉書(富士山)
W	15	8	〔葉書〕	〔昭和17〕	7	29	東京九段東部第二部隊藤井隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛・御一同	名峰富士ノ裾野デ存分ニ演習ガ出来ル私ハ全ク幸セデありマス	葉書	1	年は消印、葉書29日の(4)
W	15	9	〔葉書〕	〔昭和17〕	7	29	東京九段東部第二部隊藤井隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛・御一同	此ノ度富士へ出張スル事ニナリマシタ	葉書	1	年は消印、葉書29日の(3)
W	15	10	〔葉書〕	〔昭和17〕	7	29	東京九段東部第二部隊藤井隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛・御一同	今年ハ蔬菜ノ生育ガ相当ニ遅レタ模様デスガ、決シテ他ノ家ニ負ケテハ居ナイトノ記事ハ力強く胸ニ響キマシタ	葉書	1	年は消印、葉書29日の(2)

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	15	11	〔葉書〕	〔昭和17〕	7	29	東京九段東部第二部隊藤井隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高 団兵衛・御一同	写真ハ無事着イタ御様子故安心致シテ居リマス	葉書	1	年は消印、葉書29日の(1)
W	15	12	〔葉書〕	〔昭和17〕	7	29	東京九段東部第二部隊藤井隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高 団兵衛・御一同	手紙ヲ時々御認メ下サイ、元気百倍致シマスカラ	葉書	1	年は消印、葉書29日の(5)
W	15	13	〔葉書〕	〔昭和17〕	7	12	東京九段東部第二部隊藤井隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高 団兵衛・御一同	夏野菜収穫最盛中トテ目ノ廻ルガ如キ忙シサト御察シ致シマス	葉書	1	年は消印、葉書12日の(1)
W	15	14	〔葉書〕	〔昭和17〕	7	12	東京九段東部第二部隊藤井隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高 団兵衛・御一同	御一同様クレグレモ御体大切ニ	葉書	1	年は消印、葉書12日の(2)
W	15	15	〔葉書〕	〔昭和17〕	7	3	東京九段東部第二部隊藤井隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高 団兵衛・外一同	今ノ度七月一日附ヲ以テ一等兵ニ進メラレマシタ	葉書	1	年は消印
W	15	16	〔葉書〕	〔昭和17〕	6	19	東京九段東部第二部隊藤井隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高 団兵衛・御一同	愚生ノ写真御着申候ヤ、御受納ノ節ハ宗像郡河東村山田・吉田虎雄様へ御手数乍御送附相成度願上候	葉書	1	年は消印
W	15	17	〔葉書〕	〔昭和17〕	1	31	東京九段東部第二部隊平松隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高 団兵衛・外一同	戦友殿（野村守上等兵殿）が種々大へん良く世話をして下さいます。父上様よりも何卒御礼の手紙並に今後の依頼状を少々丁寧に御認め下さいます様切に御願ひ致します	葉書	1	年は消印
W	15	18	〔葉書〕	〔昭和17〕	2	1	東京九段東部第二部隊平松隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高 団兵衛・外一同	寒さも訓練で忘れ元気至極であります	葉書	1	年は消印、検閲による黒塗りあり
W	15	19	〔葉書〕	〔昭和17〕	2	6	東京九段東部第二部隊平松隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高 団兵衛・外一同	写真着イタトノ便リ拝見致シマシタ	葉書	1	年は消印
W	15	20	〔葉書〕	〔昭和17〕	2	9	東京九段東部第二部隊平松隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高 団兵衛・外一同	家ヨリノ写真ヲ待ツテヰル	葉書	1	年は消印
W	15	21	〔葉書〕	〔昭和17〕	2	14	東京九段東部第二部隊平松隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高 団兵衛・外一同	是非沢山ノ封書、葉書ヲ出シテ下サイ	葉書	1	年は消印
W	15	22	〔葉書〕	〔昭和17〕	2	15	東京九段東部第二部隊平松隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高 団兵衛・外一同	家ヨリノ小包確カニ拝受致シマシタ、小包ガ来テイルト聞イタ時ノ嬉シサ全ク子供ノ様デスヨ	葉書	1	年は消印
W	15	23	〔葉書〕	〔昭和17〕	2		東京九段東部第二部隊平松隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高 団兵衛・外一同	何デモ一寸シタ事デモ聞カセテ下サイ	葉書	1	年は消印
W	15	24	〔葉書〕	〔昭和17〕	2	17	東京九段東部第二部隊平松隊 五内務班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高 団兵衛・外一同	コチラカラハ封筒ハ一切出ス事ガ出来マセンガ、兵ガ受ケル方ダツタラ、ドンナ封筒・小包デモ確実ニ着キ入手出来マス	葉書	1	年は消印
W	15	25	〔葉書〕	〔昭和17〕	2	22	東京九段東部第二部隊平松隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高 団兵衛・外一同	戦友殿ヘノ礼状誠ニ有難ウ御座イマシタ	葉書	1	年は消印
W	15	26	〔葉書〕	〔昭和17〕	2	24	東部第二部隊平松隊第五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高 団兵衛・外御一同	面会モ三月ニ入レバ伝染病ノ関係モ無クナリ、出来ル様ニナルト考ヘマス	葉書	1	年は消印
W	15	27	〔葉書〕	〔昭和17〕	2	28	東部第二部隊平松隊第五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高 団兵衛・外一同	家ノ方ハ随分変ツタ事ヤ変ツタ話モ沢山アル事デセウ、面会ノ節聞カシテイタダキマス	葉書	1	年は消印
W	15	28	〔葉書〕	〔昭和17〕	3	1	東部第二部隊平松隊第五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高 団兵衛・外一同	面会ニ来テ下サイマスナラバ三月八日カ三月十四日ガ良イト思ヒマス	葉書	1	年は消印、検閲による黒塗りあり
W	15	29	〔葉書〕	〔昭和17〕	3	5	東部第二部隊平松隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高 団兵衛・外一同	十四日ガ良イト思ヒマス	葉書	1	年は消印
W	15	30	〔葉書〕	〔昭和17〕	3	7	東部第二部隊平松隊第五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高 団兵衛・外一同	東京デハ未ダ春ラシイ気ハ少イ様デス	葉書	1	年は消印
W	15	31	〔葉書〕	〔昭和17〕	3	10	東京九段東部第二部隊平松隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高 団兵衛・外一同	飲食物ノ送附ハ堅ク禁ジラレテヰル故、絶対ニ送ラナイ様ニシテ下サイ	葉書	1	年は消印
W	15	32	〔葉書〕	〔昭和17〕	3	21	東京九段東部第二部隊平松隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高 団兵衛・外一同	田舎道ヲ通ルノガ実ニ懐シク殊ニ蔬菜園ヲ見レバ故郷ノ事ヲ強ク思出シマス	葉書	1	年は消印
W	15	33	〔葉書〕	〔昭和17〕	3	31	東京九段東部第二部隊平松隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高 団兵衛・外一同	二十九日ハ誠ニ懐シク祖父母様へ面会致シマシタ	葉書	1	年は消印
W	15	34	〔葉書〕	〔昭和17〕	4	12	東京九段東部第二部隊平松隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高 団兵衛・外一同	軍隊生活ニモスッカリ馴レ面白ク愉快ナ毎日ヲ過シテ居リマス故、何卒御安心下サイ	葉書	1	年は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	15	35	〔葉書〕	〔昭和17〕	4	23	東京九段東部第二部隊藤井隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛	工事ニ依ル粟屋ノ農業ノ受ケル影響ガ詳シク知リタイデス	葉書	1	年は消印
W	15	36	〔葉書〕	〔昭和17〕	4	25	東京九段東部第二部隊藤井隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛・外一同	今後度々写真ヲ送リマスガ何卒袋カ何カニマトメテ保存シテ置イテ下サイ	葉書	1	年は消印
W	15	37	〔葉書〕	〔昭和17〕	4	30	東京九段東部第二部隊藤井隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛・外一同	野菜ノ事、仕事ノ事等便ヲ願ヒマス	葉書	1	年は消印
W	15	38	〔葉書〕	〔昭和17〕	5	2	東京九段東部第二部隊藤井隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛・外御一同	自然ノ恵ミ、美シサト云ウモノガ、如何ニ人生ニ潤ヲ与ヘルカト云フ事ガ痛感サセラレマス	葉書	1	年は消印、2日の(1)
W	15	39	〔葉書〕	〔昭和17〕	5	2	東京九段東部第二部隊藤井隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛・外御一同	隆盛ハ農学ヘ私ハ入隊ト急ニ二人減リマシタガ、クレグレモ身体ハ大切ニ御働キ下サイ	葉書	1	年は消印、2日の(2)
W	15	40	〔葉書〕	〔昭和17〕	5	2	東京九段東部第二部隊藤井隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛・外御一同	父上様ヨリノ詳シイ便リヲ拝見スレバ、全ク家ノ事粟屋ノ事ガ手ニ取ル様ニ解リ読ンデヰル間ハ実ニ粟屋ヘ帰ツテ居ル様デありマス	葉書	1	年は消印、2日の(3)
W	15	41	〔葉書〕	〔昭和17〕	5	12	東京九段東部第二部隊藤井隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛・外一同	正義ノ過去ト現在ノ考ヘノ変化、相当参考ニナリ感ズル処ガアツタ、其ノ事ニ就イテハ何時カ話サウ	葉書	1	年は消印
W	15	42	〔葉書〕	〔昭和17〕	5	15	東京九段東部第二部隊藤井隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高正義	話シタイ事多ケレド到底葉書十枚、二十枚デハ書尽セヌ、デハ元気デ	葉書	1	年は消印
W	15	43	〔葉書〕	〔昭和17〕	5	27	東京九段東部第二部隊藤井隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛・外一同	元気デヤッテ居リマスカラ御安心下サイ	葉書	1	年は消印
W	15	44	〔葉書〕	〔昭和17〕	5	31	東京九段東部第二部隊藤井隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛・外一同	父上ニハ左肩ヲ相当ニ痛メラレシ由、完全過ギル位完全ニ癒ル迄保養ノ程ヲ切ニ願ヒマス	葉書	1	年は消印、31日の(1)
W	15	45	〔葉書〕	〔昭和17〕	5	31	東京九段東部第二部隊藤井隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛・外一同	何卒健康ヲ害サレ無キ様ニト祈ツテ居リマス	葉書	1	年は消印、31日の(2)
W	15	46	〔葉書〕	〔昭和17〕	5	31	東京九段東部第二部隊藤井隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛・外一同	営外演習ノ時等市街ニ蔬菜出荷ノリヤカーヲ見レバ、早速家ノ事ヲ思出シマス	葉書	1	年は消印、31日の(3)
W	15	47	〔葉書〕	〔昭和17〕	5	31	東京九段東部第二部隊藤井隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛・外一同	軍隊ハ実ニ面白ク愉快ナ処デスヨ、良ク軍隊ヨリ帰ツタ人ガ兎ヤ角云ツテヰルノガ不思議デス	葉書	1	年は消印、31日の(4)
W	15	48	〔葉書〕	〔昭和17〕	6	7	東京九段東部第二部隊藤井隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛・外御一同	伯母様カラハ矢張リ何ノ情報モ有リマセンカ	葉書	1	年は消印
W	15	49-1～6	〔封筒〕	〔昭和17〕	8	7	東部第二部隊藤井隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛・御一同	国立公園　神秘の富士	封筒	1	年は消印、最新原色GM版
W	15	49-1	〔絵葉書〕						瀧河原廠舎	葉書	1	未使用
W	15	49-2	〔絵葉書〕						瀧河原廠舎正門	葉書	1	未使用
W	15	49-3	〔絵葉書〕						瀧河原廠舎	葉書	1	未使用
W	15	49-4	〔絵葉書〕						瀧河原廠舎	葉書	1	未使用
W	15	49-5	〔絵葉書〕						瀧河原廠舎	葉書	1	未使用
W	15	49-6	〔包紙〕						国立公園富士五湖　写真集	包紙	1	
W	15	49-6-1	〔絵葉書〕							葉書	1	
W	15	49-6-2	〔絵葉書〕							葉書	1	
W	15	49-6-3	〔絵葉書〕							葉書	1	
W	15	49-6-4	〔絵葉書〕						逆富士、山中湖	葉書	1	
W	15	49-6-5	〔絵葉書〕							葉書	1	
W	15	50	〔葉書〕	〔昭和16〕	11	14	南支派遣今村部隊気付駒木隊奥川隊　太田秀夫	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	御礼並びに近況報告	葉書	1	年は団兵衛メモ、裏ハ絵葉書（五眼橋部落）
W	15	51	〔書簡〕	〔昭和16〕	11	3	〔北支派遣若松部隊佐々木部隊本部　入江〕節雄	〔福岡県遠賀郡芦屋町粟屋〕安高団兵衛・外御一同	近況報告（樹木の少い当地日一日ト少なくなる様子を眺める時寂しさと共に冬の近づきを感じます）	罫紙	2	封筒あり
W	15	52	〔葉書〕	〔昭和16〕	11	20	黒崎西岡田町1丁目　広渡タツノ	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	いよいよ藤吉さんも兵隊に出るのか近くなりまして忙しい事と思ひます	葉書	1	年は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	15	53	〔葉書〕	〔昭和16〕	12	3	北支派遣軍甲第一八〇九部隊 藤野隊　広渡活身	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	ご子息藤吉さまの件、切に御祝い申し上げます	葉書	1	年は団兵衛メモ、裏は絵葉書(懐来県城遠望)
W	15	54	〔葉書〕	〔昭和16〕	〔12〕	〔25〕	遠賀郡岡垣村元松原　広渡タツノ	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	長い間一方ならぬ御世話になりまして厚く御礼申します	葉書	1	年月日は団兵衛メモ
W	15	55	〔葉書〕	〔昭和16〕	〔12〕	〔13〕	八幡市黒崎町2丁目　広渡□一郎	遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛	藤吉氏ハ名誉有ル近衛兵ニ合格ノ由、私家族一同喜ビ申上ル次第デ有マス	葉書	1	年月日は団兵衛メモ
W	15	56	〔葉書〕	昭和16	12		東京市渋谷区千駄ヶ谷3丁目507　永井柳太郎	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	先般貴地に罷出で候節は御歓迎を辱ふし御芳情誠に感激に不堪衷心より御礼申上候	葉書	1	
W	15	57	〔葉書〕	〔昭和16〕	〔12〕	〔17〕	満洲牡丹江省石門子第一〇八部隊田畑隊　三木春男	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	「時間は生命である」「生きて居る中にしっかり働いて死んでからゆっくり休みます」等のお言葉、強烈な励ましと存じます	葉書	1	年月日は団兵衛メモ
W	15	58	〔葉書〕	〔昭和16〕	〔12〕	〔31〕	東京九段東部第二部隊野口隊　門司庫雄	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛	藤吉勲は目出度く甲種合格、非常に幸栄に存じます	葉書	1	年月日は団兵衛メモ
W	15	59	〔葉書〕	〔昭和17〕	〔1〕	〔2〕	岡垣村糠塚　桃川学	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	先日売約仕候藁道端ノ一本ハ倒レル恐レ有之、至急御取リ運有之可御通知	葉書	1	年月日は消印
W	15	60	〔葉書〕	昭和17	1	元旦	若松市浜二番町2丁目　永井柳太郎先生講演会　代表者津山政夫	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	興亜新春の誓ひ	葉書	1	
W	15	61	〔葉書〕	〔昭和17〕	〔1〕	〔10〕	東京市神田区錦町3-3　新東京ホテル気付　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛・外一同	新東京ホテルに無事着	葉書	1	年月日は消印
W	15	62	〔葉書〕		1	10	東京九段東部第二部隊　安高藤吉	八幡市黒崎西岡田町　縄製造業伊豆敏雄・外一同	御見送・御餞別賜り厚く御礼申上候	葉書	1	
W	15	63	〔葉書〕		1	10	西部第七六部隊田中隊	福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋　安高団兵衛		葉書	1	
W	15	64	〔葉書〕		1	10	東部第二部隊平松隊　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・外一同	以御陰本日無事入隊仕候	葉書	1	
W	15	65	〔葉書〕	〔昭和17〕	1	14	東京九段東部第二部隊平松隊第五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡蘆屋町1205　安高団兵衛・外一同	元気に訓練を受けて居ります	葉書	1	年は消印
W	15	66	〔葉書〕	〔昭和17〕	〔1〕	〔18〕	東京九段東部第二部隊野口隊　門司庫雄	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛	藤吉君の無事入隊御祝致します	葉書	1	年月日は団兵衛メモ
W	15	67	〔葉書〕		1	18		蘆屋町粟屋区　安高団兵衛	藤吉兄より礼状頂戴し御礼申し上げます、愚生至極元気です	葉書	1	年月日は団兵衛メモ
W	15	68	〔葉書〕	〔昭和17〕	1	20	遠賀郡岡垣村元松原　広渡タツノ	遠賀郡芦屋町粟屋　安高・御一同	野菜沢山いただきまして誠に有難く御一同様に御礼申します	葉書	1	年月日は団兵衛メモ
W	15	69	〔葉書〕	〔昭和17〕	1	20	東京九段東部第二部隊平松隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛・外一同	今後家よりの手紙は特別の事以外は是非葉書に願ひます	葉書	1	年は団兵衛メモ
W	15	70	〔葉書〕	昭和17	1	23	市場区　小野成一	芦屋町字粟屋　安高団兵衛・安高幸治郎	信用組合の件	葉書	1	
W	15	71	〔葉書〕	〔昭和17〕	〔2〕	〔19〕	岡垣村元松原　広渡団兵	遠賀郡蘆屋町粟屋　安高団兵衛	正月客を正月の三日目（新暦二月十七日）に致します故万障御繰合せの上御出で下さい	葉書	1	年月日は団兵衛メモ
W	15	72	〔葉書〕	昭和17	1	20	陸軍獣医部見習士官　小野重吉	福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋　安高団兵衛	今般陸軍獣医部見習士官に被任候処本日無事入隊仕候	葉書	1	
W	15	73	〔葉書〕	昭和17	1	29	〔遠賀川駅〕	芦屋町粟屋　安高団兵衛	到着通知	葉書	1	
W	15	74	〔葉書〕	〔昭和17〕	〔1〕	〔30〕	東京九段東部第二部隊平松隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛・外御一同	本日は当隊の軍旗祭	葉書	1	年月日は団兵衛メモ
W	15	75	〔葉書〕	〔昭和17〕	〔1〕	〔31〕	北支派遣勝第四二一二部隊　入江節雄	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	新春を迎へられ益々御元気の事と存じます	葉書	1	裏は絵葉書(「広安門」)、年月日は団兵衛メモ
W	15	76	〔葉書〕	〔昭和17〕	2	1	岡垣村字糠塚　桃川学	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	米藁売約の件	葉書	1	
W	15	77	〔葉書〕	〔昭和17〕	〔2〕	〔5〕	佐賀県三養基郡基山町　岸金四郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	屑野菜買入の紹介を御願い	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	15	78	〔葉書〕	〔昭和17〕	2	5	折尾町陣原宮下　安高重二郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	餅の数量変更を御願い	葉書	1	年は消印
W	15	79	〔葉書〕	昭和17	2	9	南支派遣第八一一一部隊川島部隊　小野利則	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	銃前銃後一致団結して国防態勢を完備	葉書	1	
W	15	80	〔葉書〕	〔昭和17〕	〔2〕	〔8〕	静岡県沼津郵便局気付　野村守	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛	恥じざる軍人にと軍務に精勤しております	葉書	1	
W	15	81	〔葉書〕	昭和17	2	1	西部第四十六部隊太田清隊　大庭寛	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	以御陰本日無事入隊仕候	葉書	1	
W	15	82	〔葉書〕	昭和17	2	15	西部第六十六部隊井上隊　三好喜七郎	遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	以御陰本日無事入隊仕候	葉書	1	
W	15	83	〔葉書〕	昭和17	2	20	遠賀郡蘆屋町山鹿字柏原　田中健介ほか5名	芦屋町粟屋　安高団兵衛	告別式通知	葉書	1	
W	15	84-1～2	〔封筒〕				遠賀郡蘆屋町大字蘆屋　本田三二・親族一同	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
W	15	84-1	〔葉書〕	昭和17	2	15	本田三二・親族一同		会葬御礼	葉書	1	
W	15	84-2	〔葉書〕	昭和17	2	15	蘆屋町銃後奉公会長・蘆屋町長長野政八		会葬御礼	葉書	1	
W	15	85	〔葉書〕	〔昭和17〕	〔2〕	〔27〕	中支派遣鏡第五五二〇部隊春藤隊　和田清	福岡県遠賀郡芦屋町芦屋　安高団兵衛	軍務に奮闘中	葉書	1	裏は絵葉書（「杭州西湖」）、年月日は団兵衛メモ
W	15	86	〔葉書〕	〔昭和17〕	〔3〕	〔3〕		福岡県遠賀郡蘆屋町字粟屋　安高団兵衛	道中無事ニテ鉄輪ニ到着	葉書	1	
W	15	87	〔葉書〕	〔昭和17〕	〔3〕	〔6〕	東京市麹町区代官町東部第二部隊平松隊　野村守	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛	今が一番大切な時です。お家からも時々励ましてやって下さい	葉書	1	
W	15	88	〔葉書〕	〔昭和17〕	〔3〕	〔9〕	〔鉄輪温泉みなとやより〕	福岡県遠賀郡蘆屋町字粟屋　安高団兵衛	無事ニ入湯いたしてをりますから御安心被下度候	葉書	1	年月日は団兵衛メモ
W	15	89	〔葉書〕									
W	15	90	〔葉書〕									
W	15	91	〔葉書〕	〔昭和17〕	〔3〕	〔10〕	下関郵便局気附西部第二七三五部隊渕野隊　松本七三夫	福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋　安高団兵衛	御陰を以て無事勤務在罷候	葉書	1	年月日は団兵衛メモ
W	15	92	〔葉書〕	〔昭和17〕	〔3〕	〔11〕	遠賀郡香月町□　林農園	蘆屋町大字粟屋　安高団兵衛	参上仕べく候	葉書	1	年月日は団兵衛メモ
W	15	93	〔葉書〕	〔昭和17〕	〔3〕	〔11〕	別府市鉄輪みなとや内　本田ハツノ	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安宅(ママ)団兵衛・リキノ	私共無事に入湯致して居ります	葉書	1	年月日は団兵衛メモ
W	15	94	〔葉書〕	〔昭和17〕	〔3〕	〔12〕	北支派遣衣四二九三部隊上村隊　本田仲雄	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	元気で軍務に精励して居ります	葉書	1	裏は絵葉書（戦塵を洗ふ）、年月日は団兵衛メモ
W	15	95	〔葉書〕	〔昭和17〕	〔4〕	〔11〕	遠賀郡岡垣村元松原　広渡団平	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	法要通知	葉書	1	
W	15	96	〔葉書〕	昭和17	4	4	東部第十七部隊附陸軍獣医少尉　小野重吉	福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋　安高団兵衛	第三十六期乙種学生として陸軍獣医学校に入校	葉書	1	
W	15	97	〔葉書〕	昭和17	4		遠賀郡蘆屋町　永淵五郎・親族一同	〔遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛〕	会葬御礼	葉書	1	封筒あり
W	15	98	〔葉書〕	〔昭和17〕	〔4〕	26	宗像郡池野村大字池田　占部幸平	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	苗物を分与頂き有難く存じ候	葉書	1	年月は消印
W	15	99	〔葉書〕	〔昭和17〕	〔4〕	〔29〕	南支派遣富九七一七部隊奥川隊　太田秀夫	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	元気にて御奉公致居候へば他事乍御安心下さい	葉書	1	年月日は団兵衛メモ
W	15	100	〔葉書〕	〔昭和17〕	4	4	北支派遣軍甲第一八〇九部隊福田隊・川波隊　広渡活身	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	留守中は種々御配慮に預かりまして唯々感謝	葉書	1	裏は絵葉書（南京郊外）、年は団兵衛メモ
W	15	101	〔葉書〕	昭和17	4		高雄市　早川万次郎	〔福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団蔵〕	4月11日附を以て州経済警察課勤務を命ぜられ、以御陰無事着任	葉書	1	封筒あり
W	15	102	〔葉書〕	〔昭和17〕	〔5〕	〔4〕	満州牡丹紅省石門司第一〇八部隊田畑隊　三木春男	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	多忙な日常の御時間を私共の為お割き下さいましたことを非常に恐縮に存じて居ります	葉書	1	年月日は団兵衛メモ
W	15	103	〔葉書〕	〔昭和17〕	4	1	払印派遣岡第九七二四部隊武田部隊　吉田金太郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	御陰様にて無事現地に到着	葉書	1	年は団兵衛メモ

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	15	104	〔葉書〕	〔昭和17〕	5	2	遠賀郡水巻町大字猪熊　大貝琢丸	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	南瓜苗で御配慮に預かりお陰様で丈夫に太って居ります	葉書	1	年は団兵衛メモ
W	15	105	〔葉書〕	〔昭和17〕	4	8	遠賀郡芦屋町山鹿　花田六之助	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	ナスビ苗がありましたら50本ほどわけて頂きたくございます	葉書	1	年は団兵衛メモ
W	15	106	〔葉書〕	昭和17	5	27	福岡県宗像郡池野村池田　占部幸三	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	皆発育大良好です	葉書	1	
W	15	107	会葬御礼	昭和17	2	12	本田三二ほか5名		会葬御礼	葉書	1	封筒あり
W	15	108-1	〔封書〕	昭和16	12	18	蘆屋町銃後奉公会会長　長野政八	安高団兵衛	船頭町堤元信、銃後奉公会に対し金50円寄付	紙	1	封筒あり、108-1と108-2同封
W	15	108-2	〔封書〕				芦屋船頭町　堤元信		寄付に関するご挨拶	紙	1	封筒あり、108-1と108-2同封
W	15	109	〔書簡〕		1	4	石原広	安高団兵衛	藤吉君入隊祝いの挨拶ほか	罫紙	1	封筒あり
W	15	110	〔書簡〕		1	9	藤吉	御一同	道中（静岡）での近況報告	罫紙	5	封筒あり
W	15	111	〔封筒〕	昭和			福岡県遠賀郡遠賀村農会	芦屋町粟屋　安高福蔵		封筒	1	封筒のみ
W	15	112	〔封筒〕				藤田善兵衛商店	福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	封筒のみ
W	15	113	〔書簡〕		1	21	天関打開期成会理事長　満井佐吉	福岡県遠賀郡芦屋町芦屋1205　安高団兵衛	2月11日午後、本会全国幹部並ニ希望者大会	紙	1	封筒あり
W	15	114	〔封筒〕	〔昭和17〕	1	27	東京九段東部第二部隊平松隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛・外一同		封筒	1	封筒のみ
W	15	115	〔書簡〕	昭和17	3		福岡県遠賀郡蘆屋町山鹿柏原田中健介ほか4名・蘆屋町長　長野政八	安高団兵衛	葬儀礼状	紙	2	封筒あり
W	15	116	〔書簡〕		3	26	三村俊蔵	安高団兵衛	油及提灯用の紙代を暫く融通していただきたくお願い	罫紙	2	封筒あり
W	15	117	〔書簡〕	〔昭和17〕	4	8	弟（大分県宇佐郡龍王村竜王中村藤治郎）	御兄（福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛）	藤吉君御入営の由、御目出度く御祝い申し上げます	罫紙	3	封筒あり、差出・宛名の（）内は封筒より
W	15	118	〔書簡〕		4	28	満井佐吉	安高団兵衛	総選挙ハ競馬馬の如く満井はゴール直前にて、決勝迄に飛び込ませ下され度奉願候	紙	1	封筒あり
W	15	119	〔書簡〕			21	石川□□	安高団兵衛	会員中希望者の出席は結構ながら無理は要しない	罫紙	1	封筒あり
W	15	120	〔挨拶状〕				藤井隊長	〔福岡県遠賀郡蘆屋町大字蘆屋1205　安高団兵衛〕	今般当隊隊長たる大命を拝し、新任に際し御挨拶	紙	2	封筒あり
W	15	121	〔封筒〕		5	17	山鹿　秋山光清	安高団兵衛		封筒	1	封筒のみ
W	15	122	領収証				県社高倉神社社司　蒐田大彦	安高団兵衛	高倉神社寄附金壱百円	罫紙	1	封筒あり
W	15	123	〔書簡〕				芦屋駐在所	安高	企業許可令実施ニツキ農業用ノ牛馬・馬車使用者ハ二月五日午前半迄折尾警察署へ出頭願い	罫紙	1	封筒あり
W	15	124	御餞別				二村清吉			封筒	1	封筒のみ
W	15	125	兵籍異動届書							封筒	1	125-1～3同封
W	15	125-1	兵籍異動届	昭和14年	3		佐世保海軍人事部長	戸主　安高福蔵	異動ノ本人安高繁治郎、異動事項入籍のため	紙	1	※個人情報
W	15	125-2	婚姻届	昭和14年	3	18	届出人安高繁治郎・入江スマ子、証人石松伝次・安高幸治郎	芦屋町長　小田利三郎	夫安高繁治郎、妻入江スマ子	紙	1	※個人情報
W	15	125-3	〔戸籍〕	昭和14年	3	3	福岡県遠賀郡岡垣村長　太田達雄		（入江芳五郎、保雄、イソ、スマ子）	紙	1	閲覧不可
W	15	126	払込票・払込通知票				財団法人軍人会館図書部			紙	1	封筒あり
W	15	127	〔書簡〕		5	19	〔農林省福岡統計調査事務所〕隆盛	父上・兄上	退院の知らせ	罫紙	2	封筒あり
W	15	128	〔葉書〕	昭和28	6	2	嗣子長野政彦ほか6名	粟屋　安高団兵衛	父長野政八永眠	葉書	1	速達
W	15	129	〔葉書〕	昭和28	4	1	遠賀郡遠賀村浅木82番地　有吉正	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	この度遠賀村農業委員会専任技師として遠賀村役場に在籍	葉書	1	
W	15	130	〔葉書〕	〔昭和28〕	〔6〕	〔8〕	遠賀郡岡垣村元松原　広渡たつの	芦屋町粟屋　安高団兵衛	大雨で大変でしたね。私も一度会いたいと思います	葉書	1	日付は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	15	131	〔葉書〕	〔昭和28〕	〔6〕	〔11〕	東京都千代田区麹町1-12　光益新蔵	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋1205　安高団兵衛	今回は意外の災害で県下到る処に相当被害ある様ですが貴町の被害は如何ですか	葉書	1	日付は消印
W	15	132	〔葉書〕	〔昭和28〕	〔6〕	〔16〕	東京都中野区　渕上房太郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	先般選挙では多大の援助を賜り厚く御礼申し上げます	葉書	1	日付は消印
W	15	133	〔葉書〕	〔昭和28〕	〔6〕	24	遠賀村若松　小野藤右衛門	郡下芦屋町粟屋　安高団兵衛	近日中に暇を得て服を送ります	葉書	1	年月は消印
W	15	134	〔葉書〕	〔昭和28〕	6	27	山鹿　中西商店	遠賀郡芦屋町粟屋　安宅(ママ)団兵衛	玉子二貫何卒御願致します	葉書	1	年は消印
W	15	135	〔葉書〕	〔昭和28〕	〔6〕	〔29〕	山鹿　秋山光清	芦屋町粟屋　安高団兵衛	水渦御見舞申します	葉書	1	日付は消印
W	15	136	〔葉書〕	〔昭和28〕	7	3	芦屋町内　早田熊雄	芦屋町内粟屋　安高藤七	卵価ですが今迄組合員相談の上950でしたが1、000円に値上げする事にしました	葉書	1	年は消印
W	15	137	〔葉書〕	昭和28	6	30	東京都京橋局区内明石町32番地　東邦生命保険相互会社	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛	尊家には御変りも無之候や、取急ぎ御見舞申上候	葉書	1	
W	15	138	〔葉書〕	〔昭和28〕	〔7〕	〔5〕	八幡青果株式会社	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団平	水害への御見舞申し上げます	葉書	1	日付は消印
W	15	139	〔葉書〕	〔昭和28〕	7	5	大分県宇佐郡安心院町竜王　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋安高団兵衛	水害への御見舞申し上げます	葉書	1	年は消印
W	15	140	〔葉書〕	〔昭和28〕	〔7〕	〔2〕	東京都世田谷区鳥山　中村ツタ	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	水害への御見舞申し上げます	葉書	1	日付は消印
W	15	141	〔葉書〕	昭和28	7	9	東京都京橋局区内明石町32番地　東邦生命保険相互会社	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	保険料の御払込につき今年末まで延長する特別取扱	葉書	1	
W	15	142	〔葉書〕	昭和28	盛夏		津山得船株式会社津山組　津山房雄	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中御見舞	葉書	1	
W	15	143	〔葉書〕	〔昭和28〕	〔7〕	〔19〕	山鹿　中西商店	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	毎度御手数ながら玉子何卒御願い致します	葉書	1	日付は消印
W	15	144	〔葉書〕	昭和28	7		株式会社富士銀行八幡支店	遠賀郡芦屋町　安高保正	第22回富士定期当籤番号のお知らせ	葉書	1	
W	15	145	〔葉書〕	〔昭和28〕	7	12	門司市大里住吉町ビール粕一手販売　大高俊三	遠賀郡芦屋町粟屋　安高藤吉	水害への御見舞申し上げます	葉書	1	年は消印
W	15	146	〔葉書〕	〔昭和28〕	7	22	山鹿三軒屋　中西商店	遠賀郡芦屋町粟屋　安高藤吉	毎度御手数ながら玉子二貫匁何卒御願い致します	葉書	1	年は消印
W	15	147	〔葉書〕	昭和28	盛夏		八幡市折尾町日の出2丁目日本観光社　植田儀三郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高藤吉	暑中お見舞い	葉書	1	
W	15	148	〔葉書〕	昭和28	盛夏		富士銀行	遠賀郡芦屋町粟屋　安高保正	暑中お見舞い	葉書	1	
W	15	149	〔葉書〕	〔昭和28〕	7	26	山鹿三軒屋　中西商店	芦屋町粟屋　安高団兵衛	本日の玉子百匁不足しておりましたので売らずにおいております	葉書	1	年は消印
W	15	150	〔葉書〕	昭和28	盛夏		山口県大津郡俵山温泉　岡島旅館	福岡県遠賀郡芦屋町芦屋　安高団兵衛・同リキノ	暑中お見舞い	葉書	1	
W	15	151	〔葉書〕	〔昭和28〕	〔7〕	〔26〕	東京都港区芝神谷町　山本佳子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中お見舞い	葉書	1	日付は消印
W	15	152	〔葉書〕	〔昭和28〕	〔6〕	〔12〕	海老津　中村正広	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中お見舞い	葉書	1	日付は消印
W	15	153	〔葉書〕	〔昭和28〕	〔8〕	〔3〕	山鹿三軒屋　中西商店	遠賀郡芦屋町粟屋　安高保正	玉子二貫匁何卒御願い致します	葉書	1	日付は消印
W	15	154	〔葉書〕	〔昭和28〕	8	5	大分県宇佐郡安心院町竜王　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中お見舞い	葉書	1	年は消印
W	15	155	〔葉書〕	〔昭和28〕	8	6	芦屋町山鹿　秋山光清	芦屋町粟屋　安高団兵衛	御暇を得て森本君御尋ね被下	葉書	1	年は消印
W	15	156	〔葉書〕	昭和28	8	8	九州電力株式会社小倉支店若松営業所	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	割当電力量のお知らせ	葉書	1	
W	15	157	〔葉書〕	昭和28	8	8	九州電力株式会社小倉支店若松営業所	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	割当電力量のお知らせ	葉書	1	
W	15	158	〔葉書〕	昭和28	盛夏		中間町議会議長　加来繁雄	芦屋町1205　安高団兵衛	暑中お見舞い	葉書	1	
W	15	159	〔葉書〕	昭和28	8	16	福岡県芦屋町大字山鹿　佐野貫次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	葬儀礼状	葉書	1	
W	15	160	〔葉書〕	昭和28	8	12	東京都千代田区永田町参議院会館　吉田法晴	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋1205　安高団兵衛	残暑お見舞い	葉書	1	
W	15	161	〔葉書〕	〔昭和28〕	〔8〕	〔21〕	芦屋町山鹿　鶴原吉平	芦屋町粟屋　安高団兵衛	初盆に際する御供物へのお礼状	葉書	1	日付は消印
W	15	162	〔葉書〕	〔昭和28〕	〔8〕	〔23〕	岡垣村海老津　中村正広	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛・御一同	残暑お見舞い	葉書	1	日付は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	15	163	〔葉書〕	〔昭和28〕	〔8〕	〔23〕	熊本県天草郡中村長砂連　松川佐吉	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵エ	残暑お見舞い	葉書	1	
W	15	164	〔葉書〕	〔昭和28〕	〔8〕		八幡市大字陣原　安高重二琅	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵エ	残暑お見舞い	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	15	165	〔葉書〕	昭和28	8	16	福岡県芦屋町大字山鹿　重岡長市	芦屋町粟屋　安高団兵衛	初盆に際する御供物へのお礼状	葉書	1	
W	15	166	御礼				安産男女青年会			祝儀袋	1	
W	15	167	〔書簡〕				良子	団兵衛	おば様も元気な体でいらっしゃいます様に天草よりお祈りして居ります	罫紙	2	
W	15	168	福岡青果、福印青果、の合併御挨拶	昭和28	5		福岡青果株式会社取締役社長木立喜三郎・福岡福印青果株式会社幾野次平ほか11名	安高団兵衛	市場の強化について企業の合併を期する意図から去る2月28日両社円満裡に合併	紙	1	封筒あり
W	15	169	〔封筒〕	〔昭和28〕	〔6〕	〔6〕	福岡市浪人谷八雲会　岡沢麟太郎	遠賀郡芦屋町粟屋1205　安高団兵衛		封筒	1	封筒のみ、日付は団兵衛メモ
W	15	170	〔書簡〕		6	13	三村俊蔵	安高団兵衛	7月末迄に金弐万円御都合して下されば幸甚と存じます	罫紙	2	封筒あり
W	15	171	〔書簡〕		6	29	植木保	安高団兵衛	水害への御見舞申し上げます	罫紙	2	封筒あり
W	15	172	〔書簡〕				〔荒井初次〕	〔安高団兵衛〕	水害への御見舞申し上げます	罫紙	2	封筒あり
W	15	173	電報	昭和28	7	26		アシヤマチアワヤ　アタカトウキチ	「テンキイタ」アスヨリサジ　ニクルママワスカワハラ	電報	1	
W	15	174	電報				安高藤吉	モジシダイリスミヨシマチ　オオタカシュンゾウ	アメフラヌヒオクレ　アシヤアタカ	電報	1	
W	15	175	〔書簡〕			元旦	在米桑港　扇谷与次郎	団兵衛御夫妻	恭賀新年	紙	1	写真1枚と「扇谷与次郎」名刺同封、封筒あり
W	15	176	〔書簡〕	昭和28	7	22	在米　与次郎	敬愛なる団兵衛殿	水害への御見舞と近況報告	紙	2	封筒あり、写真21枚同封
W	15	177	〔書簡〕	昭和28	6	30	北米　扇谷与次郎	団兵衛	水害へのお見舞い	紙	1	封筒あり
W	16	1-1	〔書簡〕				八幡市上本町三丁目古賀栄吉	安高団兵衛殿	南瓜の売値、公では四銭故、三銭二厘位で出来れば、至急一台御願申上度	便箋	1	封筒あり、古賀栄吉より安高団兵衛宛、「八月八日」とあり
W	16	1-2	〔電報〕				八幡市上本町三丁目古賀栄吉	安高団兵衛	「カボチヤイマナラトラツクニモアルスグコイアタカダンベエ」とあり	紙	1	1-1同折
W	16	2-1	年賦償還金員貸借契約公正証書正本	昭和5	12	10	債務者安高福蔵、債務者安高団兵衛、代理人貴島慶夫	公証人国崎清、伊関敬太郎、貴島慶夫	安高福蔵、安高団兵衛連帯で金壱千弐百円を昭和五年拾弐月より昭和拾六年弐月拾五日まで借受	書綴	1	封筒あり、日本勧業銀行福岡支店の封筒
W	16	2-2	仏込通知書	昭和13	2	15	安高団兵衛	株式会社日本勧業銀行福岡支店	元金67.23円、利子16.02円、計83.25円の仏込	紙	1	
W	16	2-3	領収証	昭和13	3	4	株式会社日本勧業銀行福岡支店	安高団兵衛殿	御借入金期限前全部償還金、455円28銭の領収書	紙	1	
W	16	2-4	債券消滅証	昭和13	3	4	株式会社日本勧業銀行支配人西尾喜太三(印)	安高団兵衛殿	昭和五年からの借用金全部償還の証明書	紙	1	
W	16	2-5	領収証	昭和13	3	11	福岡地方裁判所司法書士松井賢治(印)	安高団兵衛殿	抵当権抹消の手続き費用の領収証	紙	1	
W	16	3-1	〔書簡〕	昭和14	6	8	日清製粉株式会社調査部	安高団兵衛殿	昭和十四年度御地小麦作柄、出荷予想等の尋書、内封筒日清製粉株式会社調査課より安高団兵衛宛、3-1～3-2一括	紙	2	外封筒あり、日清製粉株式会社調査課より安高団兵衛宛、3-1～3-4一括
W	16	3-2	〔書簡〕	皇紀2599	6	22	福岡県遠賀郡芦屋町安高団兵衛	日清製粉株式会社調査課御中	3-1の尋書の返答控	罫紙	2	3-1同折
W	16	3-3	〔書簡〕	昭和15	6	8	日清製粉株式会社調査部	(安高団兵衛)	昭和十五年度御地小麦作柄、出荷予想等の尋書と返答の控	書綴	1	
W	16	3-4	葉書	昭和15	7	6	日清製粉株式会社調査部	安高団兵衛様	昭和十五年度御地小麦作柄等の尋書返答の礼状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	16	4-1	戸籍謄本	昭和13	12	14	福岡県遠賀郡岡垣村長太田達雄(印)		入江保雄他入江家の戸籍謄本	書綴	1	封筒あり、上書「岡垣村大字糠塚九百五拾壱番地 入江保雄氏方戸籍謄本入　昭和十三年十二月十四日受」とあり、4-1～4-2一括
W	16	4-2	領収証				岡垣村収入役梅田竜介	安高団平	戸籍謄本請求手数料の領収証	紙	1	4-1同折
W	16	5	〔葉書〕		7	19	阿蘇山麓小原頼雄	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋 安高団兵衛殿	時候見舞	葉書	1	
W	16	6-1	消息通信転送ニ関スル件	昭和18	3	14	日本赤十字社俘虜救恤委員部		赤十字国際委員会より貴殿宛通信送付に付転送、返信希望の節は通信送達依頼書等を送付のこと。封筒あり、日本赤十字社俘虜救恤委員部より安高福蔵宛、6-1～6-4一括	紙	1	封筒あり、6-1～6-14小括
W	16	6-2	〔通信文〕	1942	August	13	SHIOYA、Maki(塩矢まき)	ATAKA、fukuzo	「私達一同皆々無事元気で居りますから、他事乍らも御安心下さい。何卒御身大切に」とあり	紙	1	6-1同折、紙背に返信の電文控あり
W	16	6-3	特殊郵便物受領証	〔昭和〕18	4	6	芦屋郵便局	安高福蔵殿	日本赤十字社本部俘虜救恤委員部宛郵便物の領収証	紙	1	6-1同折
W	16	6-4	小為替金受領証書						金七拾銭の領収証、消印「福岡芦屋 18.4.6」	紙	1	6-1同折
W	16	6-5	〔葉書〕	昭和18	6		日本赤十字社俘虜救恤委員部	安高福蔵殿	赤十字通信郵税並手数料金七拾銭の領収証	葉書	1	
W	16	6-6	〔葉書〕						愚生の『私の日常信條とし実行しつつある事の一部』をお送り申し候付、御笑覧下され度	葉書	1	
W	16	6-7	〔封筒〕						「会葬御礼　長野クニ外親戚一同」とあり	封筒	1	
W	16	6-8	〔葉書〕						無記入、「貴族院参観記念、1511.10」のスタンプ	葉書	6	
W	16	6-9	〔葉書〕						無記入、「東郷神社参拝記念、紀元2601.1.2」のスタンプ	葉書	1	
W	16	6-10	〔葉書〕						無記入	葉書	3	
W	16	6-11	〔葉書〕						無記入	往復葉書	5	
W	16	6-12	〔払込通知票〕						無記入、受領票、受付票、仏込票、仏込通知票が一連になった冊子	書綴	1	
W	16	6-13	〔払込通知票〕						無記入、仏込票、仏込通知票が一連になった用紙	紙	2	
W	16	6-14	〔記〕						知人との郵便物の受渡の記録、封筒の一部を利用	紙	1	
W	16	7	戸籍謄本	昭和6	12	15	福岡県遠賀郡芦屋町町長小田利三郎(印)		安高福蔵他安高家の戸籍謄本	書綴	1	封筒あり、遠賀郡芦屋尋常高等小学校の印、上書「粟屋安高団兵衛殿」
W	16	8	戸籍謄本	昭和5	10	3	福岡県遠賀郡芦屋町町長小田利三郎(印)		安高福蔵他安高家の戸籍謄本	書綴	1	封筒あり、上書「芦屋町役場内芦屋分会長殿」「安高団兵衛謄本在中」
W	16	9	〔封筒〕				福岡貯金支局	遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛殿	封筒のみ	封筒	1	
W	16	10-1	借用証	大正14	5	13	借用主安高団兵衛(印)、同安高幸次郎(印)	花田佐九郎殿	金参百円を借用。利息は壱ヶ月元金拾円に付金二銭、抵当の土地目録あり	書綴	1	封筒あり、上書「支払済の借用証書「保存」安高団兵衛」
W	16	10-2	御通知	大正15	2	12	芦屋信用組合	安高福蔵殿	資金貸与決定ニ付、借用証書記入捺印の上、持参相成度	紙	1	
W	16	10-3	金借用証書	〔大正15〕			借用主安高福蔵	有限責任芦屋信用組合御中	金弐百円を産業資金として借用。大正15年2月20日を期し返済	紙	1	10-2同折

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	16	10-4	金借用証書	大正15	3	22	借用主安高福蔵(印)、安高団兵衛(印)	有限責任芦屋信用組合御中	金参百円を農業資金として借用。大正16年3月20日を期し返済。抵当の土地目録あり	書綴	1	
W	16	10-5	委任状	昭和2	3	28	遠賀郡芦屋町芦屋安高福蔵(印)		抵当権抹消登記申請の件、安高団兵衛を代理人とし、権限を委任	罫紙	1	
W	16	10-6	受領証	昭和2	3	28	有限責任芦屋信用組合長下郡一成(印)	安高福蔵殿	金参百円の受領証	罫紙	1	10-5と同折
W	16	10-7	金借用証書	昭和2	7	30	借用主安高福蔵(印)	有限責任芦屋信用組合組合理事長下郡一成殿	金七拾円を肥料資金として借用。昭和2年12月20日を期し返済。担保物件の目録あり	書綴	1	
W	16	10-8	金借用証書	昭和3	2	15	安高福蔵(印)	有限責任芦屋信用組合組合理事長下郡一成殿	金参百円を漬物資金として借用。昭和3年8月20日を期し返済。担保物件の目録有り	書綴	1	
W	16	10-9	受領証	昭和3	8	25	有限責任芦屋信用組合組合長下郡一成(印)	安高福蔵殿	昭和3年2月15日に貸付た金参百円、利子と共に受取	紙	1	
W	16	10-10	登記簿抄本	昭和3	2	15	小倉区裁判所芦屋出張所裁判所書記力丸要一郎(印)	(安高団兵衛)	遠賀郡芦屋町芦屋字サヤノの畑弐反壱畝拾七歩は芦屋信用組合を抵当権者とする	罫紙	1	
W	16	10-11	登記簿抄本	昭和3	2	15	小倉区裁判所芦屋出張所裁判所書記力丸要一郎(印)	(安高団兵衛)	遠賀郡芦屋町芦屋字サヤノの畑弐反九畝拾九歩は芦屋信用組合を抵当権者とする	罫紙	1	10-10同折
W	16	10-12	金員借用証書	昭和3	10	19	借主安高団兵衛(印)	有限責任芦屋信用組合御中	金壱百弐拾円を肥料購入資金として借用。昭和4年4月20日限りで弁済	紙	1	
W	16	10-13	金借用証書	昭和4	2	7	安高団兵衛(印)	有限責任芦屋信用組合	金壱百参拾円を漬物原料資金として借用。昭和4年8月20日限りで弁済	書綴	1	
W	16	10-14	計算書	昭和5	3	24	司法代書人松井賢治(印)	安高団兵衛殿	抵当権設定、登記簿抄本の作成費用の計算書	紙	1	
W	16	10-15	計算書	昭和5	12	17	司法代書人松井賢治(印)	安高団兵衛殿	抵当権設定、謄本請求、抄本請求、土地台帳謄本請求の計算書	紙	1	10-14同折
W	16	10-16	領収証	昭和5	12	17	活版印刷諸帳簿杉一知(印)	安高団兵衛様	活字組立の金壱円九拾九銭の領収証	紙	1	10-14同折
W	16	10-17	金員借用証書	昭和5	4	8	借用主安高福蔵(印)	木原与之吉殿	金七百円を借用。昭和5年12月20日までに返済	罫紙	1	
W	16	10-18	金員借用証書	昭和5	6	24	借主安高団兵衛(印)	有限責任芦屋信用組合御中	金壱百円を肥料資金として借用。昭和5年12月20日限りで弁済	紙	1	
W	16	11	大日本道中大絵図	昭和16	6	15	東京大阪日本統制地図株式会社発行		鉄道路線などを記した日本地図	紙	1	折本形式、折り目破損
W	16	12	全国鉄道旅行案内地図	昭和25	1	1	鉄道弘済会発行		日本全国鉄道路線図	紙	1	折本形式、折り目破損
W	16	13	最新鉄道線路図	昭和24	3	20	日本交通公社		日本全国鉄道路線図	紙	1	折本形式、折り目破損
W	16	14	〔包装紙〕						「益田みやげさくら餅」とあり、包装紙の一部ヵ	紙	1	
W	16	15	〔記〕				関東関西山陰観光団体写真班	各位様	旅行の記念写真の販売案内	紙	1	
W	16	16	〔葉書〕		6	25	(印で遠賀郡芦屋町光明寺)	町内粟屋区安高団兵衛殿	唐芋蔓御分譲願	葉書	1	
W	16	17	〔葉書〕		8	15	八幡市祇園町二丁目石川茂平	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛殿	御礼状、残暑見舞	葉書	1	
W	16	18	〔葉書〕		8	18	八幡市祇園町二丁目石川為市拝	遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	南瓜十貫程分譲の依頼	葉書	1	
W	16	19	〔葉書〕	〔昭和17〕			芦屋町中の浜刀根善太郎	芦屋町粟屋安高団兵衛様	祖母の初盆における御礼状	葉書	1	
W	16	20	〔葉書〕		8	24	八幡市祇園町二丁目石川為市拝	安高団兵衛様	昨日の御馳走の御礼状	葉書	1	
W	16	21	〔葉書〕	〔昭和17〕			芦屋町山鹿〇ハ(屋号)本店	芦屋町粟屋安高団兵衛様	キウリ二十、南瓜二十の注文書	葉書	1	
W	16	22	〔葉書〕		6	24	芦屋町山鹿〇ハ(屋号)本店	芦屋町アワヤ安高団兵衛様	玉ネギ三十貫とキウリ五十貫の注文書	葉書	1	
W	16	23	〔葉書〕	〔昭和17〕			遠賀郡岡垣村元松原広渡タツノ	遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	御機嫌伺、近況報告	葉書	1	
W	16	24	〔葉書〕	〔昭和〕17	6	14	南支派遣勝第八一一一部隊安武部隊小野利則	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛殿	御芳書の御礼、御令息藤吉様御入営祝、隆盛様農学校入校の祝、郷里近況承知のこと	葉書	1	
W	16	25	〔葉書〕			17	折尾町陣の原宮下八八八安高すま子	遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	御兄様御負傷の事、骨がひびいているとのこと、其の後の御経過は如何	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	16	26	〔葉書〕	〔昭和17〕			北支派遣勝第四二一二部隊入江節雄拝	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	近況報告、米機の帝都空襲に銃後の国民の沈着な行動に感謝	葉書	1	
W	16	27	〔葉書〕		7	22	遠賀村鬼津太田豊造	遠賀軍芦屋町粟屋安高団兵衛殿	御礼状	葉書	1	
W	16	28	〔葉書〕	昭和17	7	26	福岡市室見町田中健介	遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	法性院初盆会を当地自宅にて営む事、御諒承被下度	葉書	1	
W	16	29	〔葉書〕	〔昭和17〕			宗像郡河東村山田吉田虎雄	遠賀郡芦屋町安高団兵衛様	御子息藤吉殿の御写真御恵送被下御礼申上	葉書	1	
W	16	30	〔書簡〕				重岡本芳	安高福蔵、仝幸次郎様	母一周忌法事相営度、御参仏被下御案内申上	便箋	1	封筒あり、重岡本芳より安高福蔵宛
W	16	31	〔書簡〕	〔昭和〕14	孟夏		本田虎雄	安高団兵衛様外一同様	時候見舞	便箋	2	封筒あり、本田虎雄より安高団兵衛宛
W	16	32	〔葉書〕		8	盛夏	若松市浜三香町蔵野亀太郎	遠賀郡芦屋町粟屋安高団平殿	暑中見舞	葉書	1	
W	16	33	〔葉書〕	昭和14	8	4	西川村永谷神谷千太郎	遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	暑中見舞	葉書	1	
W	16	34	〔葉書〕	昭和14	8		タネとナエの卸森種苗農園本店卸売部	福岡県遠賀郡芦屋町芦屋安高団兵衛様	種苗の謝恩特価の案内と注文葉書	約束郵便	1	
W	16	35	〔葉書〕				黒崎広渡タツノ	遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	御機嫌伺、近況報告	葉書	1	
W	16	36	〔葉書〕	昭和17	3		父古野彦市、兄古野昭男		繁実戦死の御弔問の御礼	葉書	1	封筒あり、古野彦市より安高団兵衛宛
W	16	37	〔葉書〕	〔昭和16〕			満州国北安省嫩江満州第一四二部隊斎藤隊本田増往	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋安高団兵衛様	御機嫌伺、近況報告	葉書	1	
W	16	38	〔葉書〕	〔昭和16〕			南支派遣軍今村部隊気付駒木部隊中川原隊吉津市次	福岡県遠賀郡芦屋町安高団兵衛様	御礼、近況報告、中西久雄、占部虎夫も元気	葉書	1	
W	16	39	〔葉書〕	〔昭和17〕			福岡市向田町大庭金作	遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様方安高隆盛君	夏季休業の御機嫌伺、二学期には最上の成績に達するようにと激励	葉書	1	
W	16	40	〔葉書〕		3	16	錦州市正陽区妙義街広渡成男、団平	福岡県遠賀郡芦屋町外粟や安高団兵衛様	去る二日女子安産。二三日後新京以南の古戦城の戦友の墓参を致し、帰国致す心底	葉書	1	
W	16	41	〔葉書〕		2	22	熊本県阿蘇郡内牧町西園小島頼男	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋安高団兵衛殿	近況報告、本年是非噴火阿蘇登山被下	葉書	1	
W	16	42	〔葉書〕		3	30	芦屋町金屋占部吉三郎	芦屋町粟屋安高団兵衛殿	ナスビ苗出来ましたなら、是非お分け下さい。百本程御願致します	葉書	1	
W	16	43	〔葉書〕	〔昭和17〕			大場藤夫	遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛殿	不肖入隊の際、御見送、御餞別など御厚情を賜り、御礼申上	葉書	1	
W	16	44	〔葉書〕	昭和18	8	15	佐世保第一海兵団大庭達城	芦屋町粟屋安高団兵衛殿	小生入団に際して御見送、御餞別を賜り深謝	葉書	1	
W	16	45-1	〔葉書〕	昭和18	6	9	佐野孝福、親族総代佐野伝一		父伝次郎死去に際し、御吊詞、御供物を賜り、深謝	葉書	1	
W	16	45-2	〔葉書〕	昭和18	6	9	芦屋町方面事業成助会長芦屋町銃後奉公会長長野政八		本町佐野伝次郎殿逝去に際し、御供物を頂戴したが、返礼をせず、本町銃後奉公会と本町方面事業助成会に金一封を寄附	葉書	1	
W	16	46	〔書簡〕	〔昭和18〕			中間町中鶴鉱業所第二坑第六報国寮野間完治	(安高団兵衛)	人物調査の依頼	罫紙	1	封筒あり、野間完治より安高団兵衛宛
W	16	47	〔葉書〕	〔昭和18〕			岡垣村山田広渡長一	芦屋町粟屋安高団平殿	昨日御仏参の御礼	葉書	1	
W	16	48	〔葉書〕		9	7	徳満神社日南当場	遠賀郡芦屋町粟屋大場良夫殿、安高団兵衛殿	秋季大祭を九月十三日より執行、御参拝被下度	葉書	1	
W	16	49-1	明治三十五年四月小学校入学同窓生第五回集会記念	〔昭和33〕					昭和33年11月5日の同窓会の記念撮影での各人の位置を示す図と名簿一覧表	紙	1	封筒あり、安高りきのより安高団兵衛宛、49-1～49-13一括
W	16	49-2	芦屋町役場主催写真募集入選の分	昭和34	12	19			芦屋町の風景、史蹟、文化財の写真の特選から佳作までの入選点数と作品名、撮影者氏名の一覧表	罫紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	16	49-3	申請書	昭和35	2	15	八幡市古屋敷製鉄社宅一〇三号大庭浅男	福岡調達局長鳩野清殿	芦屋町粟屋に所有の土地が昭和15年より飛行場拡張で接収され、戦後も米軍の借上地となっており、他の借上地同様買収するよう御願する	罫紙	1	
W	16	49-4	芦屋観光数へうた				安高団兵衛		町の名所を一から十までうたったもの	紙	1	
W	16	49-5	〔郵便貯金案内〕						郵便貯金の利子と貯金を勧めるパンフレット	紙	1	
W	16	49-6	〔和歌〕				団兵衛		岡沢先生の米寿をお祝ひまつりて「すこやかに･･･」で始まる和歌1首	短冊	1	
W	16	49-7	〔自転車預り収支表〕	〔昭和34〕					昭和34年5月9日から同年11月9日までの自転車預り業の収支	罫紙	3	無記入罫紙2枚同折
W	16	49-8	〔和歌〕	〔昭和35〕					安高団兵衛、秋山かめの他4名の詠んだ和歌9首	葉書	1	年賀葉書使用
W	16	49-9	〔書簡〕				りきの	主人様	「14日に福岡のにうきうの人がみえました。東京からかいれたなら福岡にきてください」	便箋	1	
W	16	49-10	芦屋タイムス	昭和35	4	8	浜中茂足		芦屋基地からの米軍撤退について黒山町長上京や町経済への影響を懸念した記事	新聞紙	2	
W	16	49-11	〔書簡〕	皇紀2630	1	18	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛(印)	東京都渋谷区桜ヶ丘九六旅寮しんめん御中御一同様玉案下	名刺送付の御礼。撮影した写真の映像が悪いことの謝罪と同写真二枚送付のこと。自身の睡眠時間のこと	継紙	1	日付、差出の所に写真あり、剥離できず
W	16	49-12	〔封筒〕				福岡県遠賀郡芦屋町役場	粟屋安高団兵衛殿	封筒のみ	封筒	1	
W	16	49-13	〔木片〕						木箱等の一部分ヵ	木	1	
W	16	50	〔書簡〕		10	24	園田晋毅	安高団兵衛侍史	講吾会開催につき、十二月廿三日から廿五日の間に、壱岐へ御出下さるよう御願いする。雑誌キング所載の先生の御言葉について	継紙	1	封筒あり、園田晋毅より安高団兵衛宛
W	16	51	〔書簡〕	〔昭和14〕	9	28	大日本青年団本部総務部編輯課加藤平太郎	安高団兵衛様	「旱害地の青年諸君に与ふ」、「銃後農村生活十訓」の2題で原稿執筆依頼	紙	2	封筒あり、大日本青年団本部総務部編輯課より安高団兵衛宛
W	16	52	〔書簡〕				鹿松	安高様	御機嫌伺、来四日に御相談致し度事あるので、御出下さい。私病床にて行けないので宜敷御願する	便箋	1	封筒あり、重岡鹿松より安高団兵衛宛
W	16	53	〔書簡〕	昭和14	7	10	南支派遣鈴川部隊西川隊小田虎雄	安高団平様	戦地の近況報告	紙	1	封筒あり、小田虎雄より安高団平宛
W	17	1	〔葉書〕	昭和19	4	23	芦屋中小路　本郷照山	芦屋粟屋　安高団兵衛様	条幅ようやく出来き本日守田君が持参の事	葉書	1	W17-1～封筒一括。封筒上書「手紙在中」
W	17	2	〔葉書〕	昭和19	1	14	ビルマ派遣　龍第六七三四部隊嶋田隊　大場藤夫	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	近郊報告	葉書	1	軍事郵便
W	17	3	〔年賀状〕	昭和19	1	1	ビルマ派遣六七四二部隊吉田隊　本田太郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団衛(ママ)様		葉書	1	軍事郵便
W	17	4	〔封筒〕	昭和18	8	21	東京都牛込区津久戸町三十一番地　農山漁村出版社	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様		封筒	1	
W	17	5	〔葉書〕	〔昭和10年代〕						葉書	1	未使用
W	17	6	〔葉書〕	昭和19	4	6	芦屋町東町　中西勝次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	なすび苗100本ほか取り置き願い	葉書	1	
W	17	7	〔葉書〕	昭和19	4		蘆屋町大字蘆屋船頭町　中村邦平	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	蘆屋町国民学校より折尾町則松国民学校へ転勤の事	葉書	1	
W	17	8	〔葉書〕	〔昭和10年代〕						葉書	1	未使用
W	17	9	〔葉書〕	昭和18	4	11	東京九段東部第二部隊藤井隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五安高団兵衛様・御一同様	祖母の腰の具合につきお知らせ願い、保正の学校通学の事	葉書	1	裏面右上に「(1)」とあり。W17-15～17まで続きもの
W	17	10	〔葉書〕	昭和18	5	3	千葉県下志津下志津廠舎　東部第二部隊藤井隊五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五安高団兵衛様・御一同様	千葉県下志津廠舎にて出張演習中の事	葉書	1	検閲済。一行分墨書抹消あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	17	11	〔葉書〕	昭和18	5	6	千葉県印幡郡シモシズ、ショウシヤ トウブ、ダイニブタイ、フヂイタイ、ダイゴハン 安藤藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高団兵衛方 安高保正君	近郊報告	葉書	1	
W	17	12	〔葉書〕	昭和18	5	6	千葉県印幡郡下志津廠舎 東部第二部隊藤井隊第五班 安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高隆盛様	隆盛の学業について	葉書	1	
W	17	13	〔葉書〕	昭和18	5	15	東京九段東部第二部隊藤井隊五班 安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高団兵衛様・御一同様	母上様の御便り拝見の事、隆盛が予科士官学校を受験することほか	葉書	1	
W	17	14	〔葉書〕	昭和18	4	11	東京九段東部第二部隊藤井隊五班 安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高団兵衛様・御一同様	米国の伯母もおそらく浮虜収容所に収容されている事ほか	葉書	1	裏面右上に「(2)」とあり。W17-9、W17-15～16まで続きもの
W	17	15	〔葉書〕	昭和18	4	11	東京九段東部第二部隊藤井隊五班 安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高団兵衛様・御一同様	九段の桜の事、靖国神社臨時大祭の事ほか	葉書	1	裏面右上に「(3)」とあり。W17-9、W17-15～16まで続きもの
W	17	16	〔葉書〕	昭和18	4	11	東京九段東部第二部隊藤井隊五班 安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高団兵衛様 御一同様	祖父の健康の事ほか	葉書	1	裏面右上に「(4)」とあり。W17-9、W17-15～16まで続きもの
W	17	17	〔葉書〕	昭和18	4	4	東京九段東部第二部隊藤井隊五班 安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高団兵衛様	正義と父母との関係について	葉書	1	裏面右上に「(1)」とあり。W17-17～19まで続きもの
W	17	18	〔葉書〕	昭和18	4	4	東京九段東部第二部隊藤井隊五班 安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高団兵衛様	先日三原広太郎氏ほかより慰問金を受取たる事、苗の生育状況の事ほか	葉書	1	裏面右上に「(2)」とあり。W17-17～19まで続きもの
W	17	19	〔葉書〕	昭和18	4	4	東京九段東部第二部隊藤井隊五班 安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高団兵衛様	先日送付の古書簡など確実保存され度事ほか	葉書	1	裏面右上に「(3)」とあり。W17-17～19まで続きもの
W	17	20	〔葉書〕	昭和18	4	4	東京九段東部第二部隊藤井隊五班 安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高恵美子様	処女会で毎月慰問文を認める様決議があった件ほか	葉書	1	裏面右上に「(1)」とあり。W17-20、21まで続きもの
W	17	21	〔葉書〕	昭和18	4	4	東京九段東部第二部隊藤井隊五班 安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高恵美子様	昨日戦友と銀座へ行くが全く面白くなかった事ほか	葉書	1	裏面右上に「(2)」とあり。W17-20、21まで続きもの
W	17	22	〔葉書〕	昭和18	3	21	東京九段東部第二部隊藤井隊五班 安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高団兵衛様	隊外より飲食物の郵送は厳禁の達しがあった事	葉書	1	
W	17	23	〔葉書〕	昭和18	3	23	東京九段東部第二部隊藤井隊五班 安高藤吉	福岡県遠賀郡蘆屋町一二〇五 安高団兵衛様・御一同様	父母及び正義からのお便りの御礼ほか	葉書	1	
W	17	24	〔葉書〕	昭和17	12	31	東京九段東部第二部隊藤井隊五班 安高藤吉	福岡県遠賀郡蘆屋町一二〇五 安高団兵衛様・御一同様	粟屋の出荷組合の活動も旺盛と察する事ほか	葉書	1	裏面右上に「(1)」とあり。W17-24、25まで続きもの
W	17	25	〔葉書〕	昭和17	12	31	東京九段東部第二部隊藤井隊五班 安高藤吉	福岡県遠賀郡蘆屋町一二〇五 安高団兵衛様・御一同様	軍隊の正月に聊か期待を持っている事ほか	葉書	1	裏面右上に「(2)」とあり。W17-24、25まで続きもの
W	17	26	〔葉書〕	昭和17	12	27	東京九段東部第二部隊藤井隊五班 安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高団兵衛様・御一同様	初年兵入隊氏名住所が判明するにつき全員に葉書を出した事ほか	葉書	1	
W	17	27	〔葉書〕	昭和17	12	13	東京九段東部第二部隊藤井隊五班 安高藤吉	福岡県遠賀郡蘆屋町一二〇五 安高団兵衛様・御一同様	帰郷したのが夢の様に思われる事、初年兵教育に励む事ほか	葉書	1	
W	17	28	〔葉書〕	昭和17	12	2	東京九段東部第二部隊藤井隊五班 安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高団兵衛様・御一同様	帰農時の礼状が未着の件、上等兵に進級せし事ほか	葉書	1	裏面右上に「(1)」とあり。W17-28、29続きもの
W	17	29	〔葉書〕	昭和17	12	2	東京九段東部第二部隊藤井隊五班 安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高団兵衛様・御一同様	中隊で一番の先任上等兵となる事、来年入隊の初年係助手の命令を受けし事	葉書	1	裏面右上に「(2)」とあり。W17-28、29続きもの
W	17	30	〔葉書〕	昭和17	11	22	東京九段東部第二部隊藤井隊五班 安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高団兵衛様・御一同様	帰農中御世話の御礼ほか	葉書	1	
W	17	31	〔葉書〕	昭和18	2	11	東京九段東部第二部隊藤井隊五班 安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高団兵衛様・御一同様	初年兵教育に多忙の事	葉書	1	裏面右上に「(1)」とあり。W17-31～40まで続きもの
W	17	32	〔葉書〕	昭和18	2	11	東京九段東部第二部隊藤井隊五班 安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高団兵衛様・御一同様	小田太さん方其の他にも無沙汰の件ほか	葉書	1	裏面右上に「(2)」とあり。W17-31～40まで続きもの

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	17	33	〔葉書〕	昭和18	2	11	東京九段東部第二部隊藤井隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高団兵衛様・御一同様	軍隊の正月の雑煮について	葉書	1	裏面右上に「(3)」とあり。 W17-31～40まで続きもの
W	17	34	〔葉書〕	昭和18	2	11	東京九段東部第二部隊藤井隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高団兵衛様・御一同様	初年兵と二年兵の食事の違いについて	葉書	1	裏面右上に「(4)」とあり。 W17-31～40まで続きもの
W	17	35	〔葉書〕	昭和18	2	11	東京九段東部第二部隊藤井隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高団兵衛様・御一同様	他班に負けぬ様に初年兵教育に全力を尽くして居る事	葉書	1	裏面右上に「(5)」とあり。 W17-31～40まで続きもの
W	17	36	〔葉書〕	昭和18	2	11	東京九段東部第二部隊藤井隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高団兵衛様・御一同様	両国国技館での軍隊招待の大相撲について、上野動物園観覧の感想	葉書	1	裏面右上に「(6)」とあり。 W17-31～40まで続きもの
W	17	37	〔葉書〕	昭和18	2	11	東京九段東部第二部隊藤井隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高団兵衛様・御一同様	都会の東京より粟屋の方がよい事	葉書	1	裏面右上に「(7)」とあり。 W17-31～40まで続きもの
W	17	38	〔葉書〕	昭和18	2	11	東京九段東部第二部隊藤井隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高団兵衛様・御一同様	今年は出荷が共同故、安心致して居る事ほか	葉書	1	裏面右上に「(8)」とあり。 W17-31～40まで続きもの
W	17	39	〔葉書〕	昭和18	2	11	東京九段東部第二部隊藤井隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高団兵衛様・御一同様	道路拡張のため畑地が潰れている件	葉書	1	裏面右上に「(9)」とあり。 W17-31～40まで続きもの
W	17	40	〔葉書〕	昭和18	2	11	東京九段東部第二部隊藤井隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高団兵衛様・御一同様	岸金四郎さん・庫雄さん・上原広さんの件	葉書	1	裏面右上に「(10)」とあり。 W17-31～40まで続きもの
W	17	41	〔葉書〕	昭和18	2	21	東京九段東部第二部隊藤井隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高団兵衛様・御一同様	米国の伯母の安否の件、日曜の外出者は殆ど浅草辺りへ映画を見に行く事ほか	葉書	1	裏面右上に「(1)」とあり。 W17-41、42続きもの
W	17	42	〔葉書〕	昭和18	2	21	東京九段東部第二部隊藤井隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高団兵衛様・御一同様	東京の名所についてほか	葉書	1	裏面右上に「(2)」とあり。 W17-41、42続きもの
W	17	43	〔葉書〕	昭和18	3	6	東京九段東部第二部隊藤井隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高団兵衛様・御一同様	入隊後小魚をよく食べる故、歯が丈夫となった事	葉書	1	裏面右上に「(1)」とあり。 W17-43、44続きもの
W	17	44	〔葉書〕	昭和18	3	6	東京九段東部第二部隊藤井隊 五班　安高藤吉	福岡県遠賀郡芦屋町一二〇五 安高団兵衛様・御一同様	岸金四郎氏より久保山氏が入隊した事を承り、行って種々話を致した事	葉書	1	裏面右上に「(2)」とあり。 W17-43、44続きもの
W	17	45	辞職届	昭和18	9	1	食料管理事務取扱員　粟屋安高 団兵衛(印)	農林省御中	今般家事ノ都合ニ依リ辞職仕ル事	罫紙	1	
W	17	46	〔葉書〕	昭和18	12	3	遠賀郡蘆屋町粟屋　安高藤吉	福岡市西部第四六部隊田辺隊 第六内務班　安高正義殿	先日の面会は衛兵の宮崎上等兵の御配慮があった故、同人へ御礼申し上ぐべき事	葉書	1	
W	17	47-1	〔書簡〕	〔昭和18〕	5	18	藤吉仁太郎(飯塚町吉原町三丁目)	安高正義殿(芦屋町粟屋)	上京後は一途に指導者の言に従い精進致すべき事ほか上京の心構えについて	罫紙	1	W17-1～3封筒一括
W	17	47-2	〔書簡〕	昭和18	6	6	安高団兵衛(芦屋町粟屋)	藤吉仁太郎様(飯塚市吉原町三丁目)	正義上京について懇切なる御世話下さる件につき御礼、正義5月24日無事鴻巣塾着の事	罫紙	1	罫紙2枚
W	17	47-3	〔書簡〕	〔昭和18〕	5	18	藤吉仁太郎(飯塚町吉原町三丁目)	安高団兵衛様(芦屋町粟屋)	正義君上京は赤誠会本部八紘塾千葉分塾主任戸部先生に依頼せし事、八紘塾長西谷菊夫先生も何かと御斡旋下さる筈の事	罫紙	1	罫紙3枚
W	17	48	〔書簡〕	皇紀2603	6	6	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高 団兵衛(印)	千葉県東葛飾郡土村逆井　鴻巣 塾々長　戸部先生様	正義入塾の御礼	罫紙	1	罫紙2枚
W	17	49	〔葉書〕	昭和18	5	14	飯塚市吉原町三丁目　藤吉仁太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	東京での交渉結果などつきご来宅願い	葉書	1	年月日は消印
W	17	50	〔葉書〕	昭和18	5	25	千葉県東葛飾郡土村逆井鴻巣 塾　安高正義	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高 団兵衛様・仝一同様	22日東京着、宮城・靖国神社・明治神宮に参拝し兄上にも面会して、24日無事着塾の事、何から何迄藤吉さんの世話になり居る事	葉書	1	年月日は消印
W	17	51	〔葉書〕	昭和18	5	28	千葉県東葛飾郡土村逆井鴻巣 塾　安高正義	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高 団兵衛様	青壮国民登録の件につき依頼	葉書	1	年月日は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	17	52	〔書簡〕	〔昭和18〕	12	16	(木原)文子(遠賀郡芦屋町粟屋)	正義様(福岡市西部第四十六部隊田辺隊六班)	お宅も立派な帝国軍人として2人も出し一家一門の誉れの事ほか軍務の慰労	罫紙	1	年月は消印
W	17	53	〔葉書〕	昭和18	12	10	東京市渋谷区隠田一丁目一二五　大日本赤誠会本部　門岡政芳	福岡県福岡市西部第四十六部隊田辺隊六班　安高正義殿	入隊祝い、北九州30地区を会長として巡る予定なれども、行事の都合上御面接出来ぬ事	葉書	1	年月日は消印
W	17	54	〔葉書〕	昭和18	12	8	遠賀郡遠賀村松ノ本　柴田儔	福岡県西部第四六部隊田辺隊第六班	入隊祝い、万葉歌1首書上	葉書	1	年月日は消印
W	17	55	〔葉書〕	昭和18	12	8	遠賀郡遠賀村？？？　縄田益三拝	福岡西部第四六部隊田辺隊第六班　安高正義殿	入隊祝い、戦況について	葉書	1	年は消印
W	17	56	〔葉書〕	昭和18	12	8	佐世保市宮崎町？松田　中西幸造	福岡市西部四六部隊田辺隊六班　安高正義様	入隊祝い、戦況について	葉書	1	年月日は消印
W	17	57	〔葉書〕	〔昭和18〕	12	10	芦屋町粟屋　安高りきノ	福岡市西部第四十六部隊田辺隊第六班　安高正義様	コヤス様の白菜はもう一度荷をこしらえば終りの事、面会には行けない事	葉書	1	
W	17	58	〔葉書〕	〔昭和18〕	12	6	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	福岡市西部第四十六部隊田辺隊第六班　安高正義君	大町田の小麦蒔き終り、今日は白菜出荷の準備中の事、藤吉は10日頃上京の診断を受ける事	葉書	1	
W	17	59	〔葉書〕	昭和18	12	15	福岡県遠賀郡蘆屋町字粟屋　安高隆盛	福岡市西部第四十六部隊田辺第六班　安高正義様	勉学に励んでいる事ほか	葉書	1	年は消印
W	17	60	〔葉書〕				福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋大庭清光	福岡市西部四六部隊田辺隊第六班　安高正義様	葉書の御礼ほか	葉書	1	
W	17	61	〔書簡〕	昭和18	12	14	広渡団平(遠賀郡岡塩村元松原)	安高正義殿(福岡市西部第四十六部隊田辺隊第六班)	入隊祝い	紙	1	封筒あり。山田共済頼母子講会仮領収証(未使用、2枚)の裏面利用
W	17	62	〔葉書〕	昭和6			山口県厚狭郡宇部村字梶返古重久雄拝	小倉市輜重兵第拾弐大隊第一中隊　安高上等兵殿	坂本廉太郎君等に御世話になった件につき御礼	葉書	1	W17-62～紐一括、さらにW17-62～68紐一括。付紙「郷里ノ友より来る書信」「□方請人より来る書信」付。年は消印
W	17	63	〔葉書〕	〔昭和6カ〕	9	29	遠賀軍蘆屋町中小路　矢野庄三郎拝	北方輜重兵第十二隊第一中隊予備輸卒係　安高団兵衛様	同中隊第三班の瓜生延一様に色々御世話になった件につき御礼	葉書	1	
W	17	64	〔葉書〕	昭和7	10	5	大分県東海部郡東中浦村大字丹賀　神崎庄吉拝	小倉北方輜重兵　十二大隊大一中隊内	兄兼吉召集の件につき通知	葉書	1	年は消印
W	17	65	〔葉書〕	昭和7	8	27	大分県大分郡岡村字原　池永仁三郎	北方輜重兵第十二大隊第一中隊二班　安高団兵衛殿	拙息広一入隊後の御厚情と御引立の御礼	葉書	1	年月日は消印
W	17	66	〔葉書〕	昭和7	8	24	大分県大分郡別保村　藤島一雄	北方輜重兵第十二大隊第一中隊二班　安高上等兵殿　外ニ班教官係御中	入営中の御配慮の御礼	葉書	1	
W	17	67	〔葉書〕	〔昭和7頃〕	12	19	宮崎県東臼杵郡北川村市棚　米田今朝太郎	小倉北方輜重兵第十二大隊第一中隊第三内務班　安高上等兵殿	入営中の御配慮の御礼	葉書	1	
W	17	68	〔葉書〕	昭和7	9	7	嘉穂郡鯰田三坑背戸納屋方　前田タケ	北方軽重兵十二大隊第一中隊一内務班　前田鶴夫殿	弟敏夫病気に罹り牛乳も食し難き状態につき通知	葉書	1	年は消印
W	17	69	〔書簡〕	昭和7	2	5	在米　門司重吉	安高福蔵様(福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋)	渡航手続きのための写真・戸籍謄本を神谷繁吉君へ相渡し候につき通知	罫紙	1	封筒あり
W	17	70	〔書簡〕	昭和7	12	13	蘆屋町山鹿　中西栄次郎	北方輜重兵第十二大隊第一中隊陸軍輜重兵伍長勤務上等兵安高団兵衛殿	新兵君の教練充分訓励あらん事を願うほか	葉書	1	年は消印
W	17	71	〔絵葉書〕	〔昭和7頃〕			在あしや町にて　小田生	北方輜重兵第拾二大隊第一中隊第一内務班　安高団兵衛殿	昨日は天神祭りにて賑わい候事ほか	絵葉書	1	筑前蘆屋柏原地蔵尊の写真
W	17	72	〔葉書〕	昭和7	12	17	遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋木原武雄拝	北方輜重兵第十二大隊第一中隊陸軍輜重兵伍長勤務上等兵安高団兵衛兄江	近郊報告	葉書	1	年は消印
W	17	73	〔葉書〕	昭和7	8	14	芦屋町　林完蔵	北方輜重兵第十二大隊第一中隊　安高団兵衛君	先日は時間を違え貴君へ面会出来ずに帰った事ほか	葉書	1	年月日は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	17	74	〔葉書〕	昭和7	8	-7	遠賀郡あしや町山鹿　三村俊蔵	北方輜重兵第十二大隊第一中隊第二内務班　安高団兵衛君	当12師団へ動員下令あり今や大混雑と存ずる事、貴君は未だ動員ならず嘸無念と察する事ほか	葉書	1	年月日は消印
W	17	75	〔葉書〕	昭和7	6	21	遠賀郡山鹿　中西栄次郎	北方輜重兵第拾弐大隊第一中隊　安高団兵衛兄	時候見舞	葉書	1	
W	17	76	〔葉書〕	昭和7	5	27	？？故郷ノ古里ニテ　本田茂雄	北方輜重兵第十二大隊第一中隊　安高団兵衛君	時候見舞	葉書	1	年は消印
W	17	77	〔葉書〕	昭和7	6	13	遠賀郡芦屋幸町　冨永まさ	北方輜重兵第十二中隊第壱中隊第一内務班　安高団兵衛様	過日御立寄の節不在のお詫び	葉書	1	年は消印
W	17	78	〔葉書〕	昭和7	6	21	遠賀芦屋町字粟屋　木原武雄・儀荘	北方輜重兵第十二大隊　第一中隊輸卒係　安高団兵衛君	時候挨拶、麦取入れ・野菜手入れなどの件	葉書	1	年は消印
W	17	79	〔葉書〕	昭和7	8	5	芦屋町粟屋　大庭良作	北方輜重兵第拾二大隊第一中隊第二内務班　安高団兵衛殿	出征祝い	葉書	1	年月日は消印
W	17	80	〔葉書〕	昭和7	8	22	粟屋より　小野？	北方輜重兵第拾弐大隊第壱中隊上等兵　安高団兵衛殿	時候見舞	葉書	1	年は消印
W	17	81	〔葉書〕	昭和7	11	4	蘆屋町字粟屋　木原儀荘	北方輜重兵第十二大隊第一中隊第三班輸卒係　安高団兵衛君	時候見舞、本年は流行性感冒蔓延につき御自愛下さるべき事	葉書	1	年は消印
W	17	82	〔葉書〕	昭和7	11	17	遠賀郡芦屋町　冨田まさ	北方輜重兵第十二大隊第壱中隊上等兵　安高団兵衛様	時候見舞、流行風邪の事	葉書	1	年は消印
W	17	83	〔葉書〕	〔昭和7頃〕	□	17	遠賀町蘆屋町粟屋　木原泰平	北方輜重兵第十二大隊第一中隊　安高団兵衛殿	休戦条約締結せられ慶賀の至りの事、当町よりの出征勇士は皆無事の事、市場出身砲兵輸卒中西重右衛門氏戦地にて病死の事	葉書	1	年月日は消印
W	17	84	〔書簡〕	昭和18	9	10	愚人恵啓拝（あしや古賀恵啓）	安高様（芦屋町粟屋）	長野氏町費私用の件などにつき大審院検事局へ訴願仕りし事	罫紙	1	封筒あり。罫紙2枚
W	17	85	〔葉書〕	昭和7	12	12	筑前八幡市中本町菓子まんす□（氷）卸小売立山商店　吉岡宙逸	小倉北方輜重兵拾二大隊第一中隊三　安高上等兵様・勝尾様	時候見舞、軍より帰りてより日々業務に勉励仕り居る事	葉書	1	年月日は消印
W	17	86	〔葉書〕	昭和7	12	12	企救郡中谷村大字須吉　松村安馬拝	小倉市外北方輜重兵第十二大隊第一中隊　安高上等兵殿	小生前日開除となり目下客庭にて業務に服し居る事	葉書	1	年月日は消印
W	17	87	〔葉書〕	昭和7	12	12	八幡市枝光北本町五丁目　木村益太	北方輜重兵第十二大隊第一中隊　安高上等兵殿	在隊中の御厚情の御礼ほか	葉書	1	年は消印
W	17	88	〔葉書〕	〔昭和7頃〕	12	13	宮崎県東臼杵郡東郷村大字稲葉崎　小田秋（カ）三郎	北方輜重兵第拾弐大隊第壱中隊上等兵　安高団兵衛殿	手紙・写真2袋送付の御礼	葉書	1	
W	17	89	〔葉書〕	昭和19	5	17	若松市外島御浅川副島こうぬニテ書ス　示誠（古賀恵啓カ）	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	奉賛会の件につき村上様・松尾代議士と面会の事	葉書	1	
W	17	90	〔葉書〕	昭和19	5	1	鞍手郡宮田町大之浦第二坑　坂田辰夫宅ニテ　示誠（古賀恵啓カ）	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛様	直方市長遠寺住職栗原正隆師の働き掛けにて不敬罪により検束され1ヶ月留置所に入れられし事	葉書	1	
W	17	91	〔葉書〕	〔昭和10年代〕					未記入	葉書	1	
W	17	92	貯金局たより	昭和16	2		貯金局発行（福岡県粟屋郵便局）	粟屋　安高リキノ殿		紙	1	封筒あり。W17-92～160-2袋一括
W	17	93-1	〔書簡〕	昭和15	10	11	マキヨリ（塩谷マキ）	父母上様や御家内様へ（福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛様）	鎌倉丸にて横浜港へ帰国する事	罫紙	1	W93-1、2封筒一括。罫紙3枚
W	17	93-2	電報送達紙	昭和15	10	24	（塩谷マキ）	アシヤマチアワヤ　アタカダンベイ（芦屋町粟屋安高団兵衛）	コンヤオンガエキヘ二ジツクムカヘタノムマキ（今夜遠賀駅へ2時着く、迎え頼む　マキ）	電報	1	
W	17	94	〔葉書〕	昭和14	4	30	熊本県内牧町　小島頼男	福岡遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛殿	時候見舞	葉書	1	年月日は消印
W	17	95	〔葉書〕	昭和14	1	25	黒崎駅前　広渡タツノ	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	玉ねぎなど送付願い	葉書	1	年月日は消印
W	17	96	〔葉書〕	昭和14	4	27	八幡市通町壱丁目　藤原代吉	遠賀郡芦屋町　安高団平様	御来幡願い	葉書	1	年月日は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	17	97	〔書簡〕	昭和13	10	25	小田（日豊線築城駅前坑木商小田藤男）	安高様（福岡県遠賀郡芦屋局区内粟屋）	京都郡・築城郡にて松木切出し居る処、「キリコ」不足につき人夫御世話願い	罫紙	1	封筒あり。罫紙2枚
W	17	98	〔葉書〕	昭和14	4	28	福岡県遠賀郡芦屋町　堤義雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	茄子苗約40本ほか御譲賜願い	葉書	1	
W	17	99	出征軍人家族慰安招待券	〔昭和10年代〕			大国座長野興行部		活動写真につき	紙	1	封筒あり
W	17	100	〔葉書〕	昭和14	4	30	工藤（日向工藤六郎）	安高様（福岡県遠賀郡芦屋町）	銃後国民の一員として大いに頑張って居る事ほか	葉書	1	
W	17	101-1	〔案内状〕	昭和14	4	5	遠賀郡岡垣村長　太田達雄		本村出身故陸軍歩兵上等兵広渡芳美君戦死につき葬儀案内	紙	1	W17-101-1～6封筒一括
W	17	101-2	式次第	〔昭和14〕	-4				一、開式、二、例事作法ほか。弔辞につき安高団兵衛のメモ書きあり	紙	1	
W	17	101-3	〔通知〕	〔昭和14〕	-4		岡垣村長　太田達雄		葬儀執行日変更につき	紙	1	
W	17	101-4	〔通知〕	昭和14	4	2	岡垣村吉木　広渡経次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	偶息芳美の村葬などにつき	葉書	1	年は消印。W17-101-4～6封筒一括
W	17	101-5	〔礼状〕	昭和14	4	11	遠賀郡岡垣村　太田達雄・遺族広渡経次郎		村葬会葬の御礼	紙	1	
W	17	101-6	〔礼状〕	昭和14	4	11	遺族　広渡経次郎		御供物御香華料の御礼、岡垣村銃後奉公会などに寄付仕りし事	紙	1	
W	17	102	〔葉書〕	〔昭和戦前期〕			芦屋郵便局	粟屋　安高団兵衛殿	支那事変国債郵便局売出しにつき案内	葉書	1	
W	17	103	〔葉書〕	昭和6	1	31	奉天紅葉町二十二　一ノ七　広渡成男	福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋　安高団兵衛様	先日祝儀に際しての御配慮などの御礼	葉書	1	年は消印
W	17	104	〔葉書〕	昭和12	12	26	喪主　太田豊造	郡下芦屋町粟屋　安高団兵衛様	亡父惣次郎葬儀会葬の御礼	葉書	1	
W	17	105	〔通知〕	昭和12	11	17	蘆屋郵便局	安高団兵衛殿（粟屋）	戦時国債予約承り居る処、本日迄到着分売切れの事	罫紙	1	封筒あり
W	17	106	〔礼状〕	昭和12	12	21	福岡県遠賀郡蘆屋町山鹿　田中新・男　田中健介ほか7名	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	荊妻死去に際しての御弔詞などの御礼	紙	1	封筒あり
W	17	107	〔慰問状〕	〔昭和戦前期〕			蘆屋尋常高等小学校		「慰問　蘆屋尋常高等小学校」とあり	紙	1	
W	17	108-1	〔書簡〕	昭和12	冬		高野山　発光院	（粟屋安高団兵衛）	御出征の方々に武運長久の御守護を授与致すにつき案内	紙	1	W17-108-1～4封筒一括
W	17	108-2	御願	昭和12	冬		高野山　発光院	（粟屋安高団兵衛）	戦死者の廻向につき案内	紙	1	戦死者廻向申込書共
W	17	108-3	御祈祷のお勧め	昭和12	冬		高野山　発光院	（粟屋安高団兵衛）	祈祷開催日、祈祷種類など案内	紙	1	
W	17	108-4	振込票	〔昭和12頃〕				和歌山県伊都郡高野山　発光院	未記入	紙	1	払込通知票共
W	17	109	会葬御礼	〔昭和戦前期〕			嗣子　三原六男・親族総代　梶原博・友人総代　田中新			封筒	1	封筒のみ
W	17	110	礼状	昭和13	1	6	嗣子　三原六男・親族総代　梶原博・友人総代　田中新	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	亡父死去に際しての弔詞などの御礼	紙	1	
W	17	111	〔書簡〕	昭和13	3	16	在東京　本田虎雄（東京目黒区富士見台町筑紫電業社一五六三番）	安高団兵衛様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）	事変は自然に治まると存じ居る事、品物送贈の事ほか	罫紙	1	封筒あり。罫紙3枚
W	17	112	〔年賀状〕	昭和13		元旦	岩手県和賀郡横川目村三菱鉱業株式会社綱取鉱山　原口五六	福岡県芦屋町　安高団兵衛殿		葉書	1	
W	17	113	〔年賀状〕	昭和13		元旦	海老津　永田精墨	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿		葉書	1	
W	17	114	〔葉書〕	〔昭和13〕			阿蘇郡内牧町　小島頼雄	福岡県遠賀郡芦屋粟屋　安高団兵衛殿	田川方面経由にて3日頃遠賀駅下車の積りの事	葉書	1	
W	17	115	〔年賀状〕	昭和13		元旦	小島頼男	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿		葉書	1	
W	17	116	〔年賀状〕	昭和13	1	1	福岡県宗像郡池野村池田　占部幸平　勤務先直方市県社多賀神社改築工務所	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様		葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	17	117	〔年賀状〕	昭和13		元旦	下関市　近藤融	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様		葉書	1	
W	17	118	〔年賀状〕	昭和13	1	元旦	西川村永谷　神谷千太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様		葉書	1	
W	17	119	〔葉書〕	昭和13	1	29	岡垣村元松原　広渡一敬	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	都合により来年度の年始は旧正月の3日御出下され度事	葉書	1	年月日は消印
W	17	120	〔広告葉書〕	昭和12	11	30	蘆屋町　吉田呉服店	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	誓文晴大売出しにつき	葉書	1	年月日は消印
W	17	121	〔葉書〕	昭和12	11	15	小島頼雄	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋安高団兵衛様	時候挨拶	葉書	1	年月日は消印
W	17	122	〔葉書〕	昭和11	11	4	遠賀郡遠賀村別府　区長事務所内　今泉神社昇格委員一同	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	寄付願い	葉書	1	
W	17	123	〔葉書〕	昭和12	盛夏		特務艦佐多　安高重二琅（佐世保）	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞	葉書	1	
W	17	124	〔書簡〕	昭和12	7	26	安高重二琅（佐世保海軍病院第三号病舎）	安高団兵衛様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）	角膜表層炎にて佐世保海軍病院に入院致すにつきお知らせ	罫紙	1	封筒あり。年は消印
W	17	125	〔書簡〕	昭和12	8	3	安高重二琅（佐世保海軍病院三号病舎）	安高団兵衛様（福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋）	今月中旬には退院出来る事ほか	罫紙	1	封筒あり。罫紙2枚。年は消印
W	17	126	〔葉書〕	昭和12	8	16	特ム艦佐多　安高重二琅	福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋　安高団兵衛様	退院のお知らせ	葉書	1	年は消印
W	17	127	〔書簡〕	昭和12	8	29	安高重二琅（特ム艦佐多四分隊）	御両親様（福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋安高福蔵）	本日佐世保入港の事ほか	罫紙	1	封筒あり。年は消印
W	17	128	〔書簡〕	昭和12	9	25	繁治郎（特務艦佐多第四分隊安高重二琅）	安高団兵衛様（福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋安高団兵衛）	御両親煙草銭に郵便小為替送付の事ほか	罫紙	1	封筒あり。年は消印
W	17	129	下士官兵家族扶助金受領者ヘノ希望	〔昭和12頃〕			佐世保海軍経理部	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋（ママ）一、二〇五　安高福蔵殿	扶助金の支給方法ほか書上	紙	1	封筒あり
W	17	130	〔葉書〕	昭和12	10	11	特ム艦佐多第四分隊　安高重二琅	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	本日入港の事ほか	葉書	1	年月日は消印
W	17	131	電報送達紙	昭和12	10	30	発信局　サセホシオハマ（安高重二琅）	アシヤマチアワヤ　アタカダンベエ殿（芦屋町粟屋安高団兵衛）	リンゴ　オクツタアスヒルエヒツエキニユケ（リンゴ送った。明日昼海老津駅に行け）	電報	1	
W	17	132	〔書簡〕	昭和12	10	30	重二琅（特務艦佐多第四分隊）	御一同様（福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋安高団兵衛）	旅順のリンゴを送付せし事ほか	罫紙	1	封筒あり。年は消印
W	17	133-1	〔書簡〕	昭和13	6	29	安高重二琅（佐世保海軍港務部旧二十五隊）	安高団兵衛様（福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋）	検閲準備にて多忙の事、佐世保方面では長期防空演習による夜間灯火管制にて街を歩くのが困難な事、佐世保でのトマトの値段書上ほか	罫紙	1	W17-133-1～4封筒一括。罫紙2枚。年は消印
W	17	133-2	〔写真〕	昭和13	6	5			永田佳子の写真	写真	1	W17-133-2～4包紙一括
W	17	133-3	〔写真〕	昭和13	6	3			風呂敷包みを持つ少女の写真	写真	1	
W	17	133-4	〔写真〕	昭和13	6	4			自転車と少年の写真	写真	1	
W	17	134	〔葉書〕	昭和13	7	13	佐世保市祇園町九二　川下金重・安高重二琅	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	トマト受取につきお知らせ	葉書	1	
W	17	135	〔書簡〕	昭和13	7	16	安高重二琅（佐世保海軍港ム部旧二十五隊）	安高団兵衛様（福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋）	トマト送付の御礼	罫紙	1	封筒あり。罫紙2枚
W	17	136	電報送達紙	昭和13	6	1	発信局サセホシオハマ（安高繁治郎）	アシヤマチアワヤ　アタカダンベエ殿（芦屋町粟屋安高団兵衛）	アスヒルマデニカヘルシケシロ（明日昼までに帰る。繁治郎）	電報	1	
W	17	137	〔葉書〕	昭和13	5	9	佐世保海軍港務部旧二十五駆逐隊　安高重二琅	福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋　安高団兵衛様	佐世保海軍港務部へ転勤のお知らせ	葉書	1	年月日は消印
W	17	138	〔葉書〕	昭和13	4	19	佐世保海兵団第七分隊　安高重二琅	福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋　安高団兵衛様	長崎三菱造船所にて本艦の大修理致すにつき、隊員は全員佐世保海兵団へ転勤となる事	葉書	1	年月日は消印
W	17	139	〔書簡〕	昭和13	5	12	安高重二琅（佐世保海軍港務部旧二十五駆逐隊）	安高団兵衛様（福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋一二〇五）	勤務形態・給与などを考えて港務部では妻帯する方がよいかと思う事、妻帯すべきかどうか伺い	罫紙	1	封筒あり。罫紙2枚。年は消印
W	17	140	〔書簡〕	昭和13	5	19	安高重二琅（佐世保海軍港務部旧二十五隊）	安高団兵衛様（福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋）	妻帯を決心致すにつき嫁の斡旋願いほか	罫紙	1	封筒あり。罫紙5枚。年は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	17	141	〔書簡〕	昭和12	12	6	安高重二琅（特務艦佐多）	安高団兵衛様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）	御手紙・慰問小包の御礼、母港へ帰港の事、今回の行動中香港沖にて航空機の襲撃を受けし事ほか	罫紙	1	封筒あり。罫紙2枚
W	17	142	〔書簡〕	昭和12	12	28	安高重二琅（特務艦佐多）	家内一同様（福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋安高団兵衛）	来月出港致し〇〇方面へ遠洋航海に出る事、時局柄戦死者などもあり年賀状は出さぬようにして居る事ほか	罫紙	1	封筒あり。罫紙2枚。年は消印
W	17	143	〔書簡〕	昭和11	7	27	安高マキヨリ（北米合衆国加洲桑湊）	父母上様・御家内様（大日本帝国福岡県芦屋郡字粟屋安高団兵衛）	主婦の友5月号に家族の写真などが掲載されたる件につき御祝い、来年6月頃までには一度帰国致し度事ほか	罫紙	1	封筒あり。罫紙5枚
W	17	144-1	〔書簡〕	昭和11	9	9	マキより	父母上様・御家内様	平木善三郎さん帰国につき桃の缶詰など送付の事ほか	罫紙	1	W17-144-1～3封筒一括。罫紙3枚
W	17	144-2	〔書簡〕	昭和11	9	9	安高マキヨリ	安高りきの様	手足痛むとのことにつき見舞いほか	罫紙	1	罫紙2枚
W	17	144-3	〔書簡〕	1936	9	9	塩谷喜一郎（印）・マキ拝	安高福蔵様・御一同様	平木善三郎一家帰国の事、母国財界に海外より成功者が帰朝する事は国家への御奉公の一助と考え居る事ほか	罫紙	1	罫紙2枚クリップ綴り（クリップ除去済）
W	17	145-1	〔書簡〕	1936	11	9	塩谷喜一郎拝（印）	安高福蔵様・一同様	御地神社奉納金のため別紙日貨50円送金の事ほか	罫紙	1	145-1～9封筒一括。145-1～8同折・クリップ綴（クリップ除去済）。罫紙2枚
W	17	145-2	〔書簡〕	昭和11	11	10	まきより	父母上様・御一同様	平木さん御世話などの御礼、繁治郎ロサンゼルス来訪の件ほか	罫紙	1	罫紙4枚
W	17	145-3	〔送金手形写〕	1936	11	9	差出人　塩谷喜一郎	受取人　安高団兵衛	円貨50円、横浜正金銀行桑湊支店扱	紙	1	
W	17	145-4	〔写真〕	-1936					裏に「ウワテ　92」とあり	写真	1	
W	17	145-5	〔写真〕	-1936					安高マキほか3人の写真。裏に「92」とあり	写真	1	
W	17	145-6	〔写真〕	-1936					安高マキほか海軍兵との集合写真、裏に「92」とあり	写真	1	
W	17	145-7	〔写真〕	-1936					装甲巡洋艦八雲の写真、裏に「ヤグモ　92」とあり	写真	1	
W	17	145-8	〔写真〕	昭和11	5	6			安高マキと車の写真、裏に「フデスノコヲエンチ」とあり	写真	1	
W	17	145-9	払出通知票	昭和11	11	28	横浜市南仲通五丁目　横浜正金銀行本店	遠賀芦屋粟屋　安高団兵衛殿	50円につき	紙	1	封筒あり
W	17	146	〔書簡〕	昭和12	9	14	安高マキヨリ（北米合衆国加洲桑湊）	母上・父上様・御家内様（大日本帝国福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋安高団兵衛）	慰問袋を少し作りし事、日本円にて金100円寄付せし事ほか	罫紙	1	封筒あり。罫紙5枚
W	17	147	〔封筒〕	〔昭和戦前期〕			熊本県八代郡昭和村　大日本農友会出版部	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋一二〇五　安高団兵衛殿		封筒	1	
W	17	148	〔葉書〕	昭和12	6	22	町会議員候補者　入江清	蘆屋町大字粟屋　安高団兵衛殿	投票依頼	葉書	1	年月日は消印
W	17	149	〔葉書〕	昭和12	6	19	田川郡伊田町糸飛　久野鉱業所所主　久野保	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	錦地町会議員補欠選挙にて久野一美への投票依頼	葉書	1	
W	17	150	〔葉書〕	昭和12	5	20	東京市日本橋区小網町一丁目合資会社三栄商店	福岡県遠賀郡蘆屋町農会　安高団兵衛殿	農薬試験調査の回答依頼	葉書	1	
W	17	151	〔葉書〕	昭和12	6	9	黒崎　広瀬タツノ	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	此頃多雨にて麦取り困り居ると存ずる事ほか	葉書	1	年月日は消印
W	17	152	〔封筒〕						未記入	封筒	1	
W	17	153	〔葉書〕	昭和13	4	15	岡塩村元松原　広渡団平	芦屋町外粟屋　安高団兵衛様	当区春祭の案内	葉書	1	
W	17	154	払込票	〔昭和戦前期〕				鹿児島市本駅通り　九州興農園	未記入、裏に農薬の広告あり	紙	1	
W	17	155	〔葉書〕	昭和13	7	28	東京市目黒区富士見台町一五六三番地　本田虎雄	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	当地土用中の温度書上ほか	葉書	1	W17-155～158封筒一括。封筒に「昭和十三年度来信ハガキ入」とあり
W	17	156	改名御披露	昭和13	10	15	福岡市簔島東町五二〇　古屋博敏　荒次郎改	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	荒次郎より博敏と改名の事	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	17	157	〔葉書〕	昭和13	10	21	郡下岡塩村元松原　広渡団平	遠賀郡芦屋町外粟屋　安高団兵衛殿	先夜の御礼	葉書	1	年は消印
W	17	158	〔葉書〕	昭和13	7	31	大分県宇佐郡龍王村　中村茂次郎	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛兄	近況見舞	葉書	1	年は消印
W	17	159-1	〔礼状〕	昭和13	10	26		福岡県遠賀郡芦屋町　男　長野政八・親族　長野藤太郎ほか4名	亡母タミ葬儀会葬の御礼	葉書	1	W17-159-1、2封筒一括
W	17	159-2	〔礼状〕	昭和13	10	26		福岡県遠賀郡芦屋町　男　長野政八	亡母葬儀に際しての御供物の御礼	葉書	1	
W	17	160-1	〔書簡〕	昭和12	6	28	（福岡県芦屋郵便局）	安高団兵衛殿	政府発刊の「週報」講読案内	紙	1	W17-160-1、2封筒一括
W	17	160-2	〔「週報」申込用紙〕	〔昭和12〕			（福岡県芦屋郵便局）	（安高団兵衛）	未記入	紙	2	
W	18	1	〔書簡〕	昭和24	4	11	神武天皇社奉賛会発起者安高団兵衛（印）	古賀恵啓殿	昭和拾四年壱月神武天皇社奉賛会発起以来、御賛同、御尽力について深甚の謝意を表す	罫紙	1	W18-1～29縒紐一括
W	18	2	〔葉書〕		4	25	山鹿浦多々野	芦屋町粟屋安高団兵衛様	松田様に長遠寺の事をお話した処、四月三十日に行うことになったのでお知らせします	葉書	1	
W	18	3	〔葉書〕		4	13	芦屋中ノ浜奉賛会事ム所（印で中村）	芦屋町粟屋安高団兵衛様	黒山氏と多々野氏の会見を十七日午後五時に変更	葉書	1	
W	18	4	〔葉書〕		4	12	芦屋中ノ浜中村健二	安高団兵衛様	小倉に日蓮宗管長出浮に付、古賀君昇格の懇願の為、奉賛会への妨害行為なきことの証明書発行について、二十四日午后五時に黒山氏宅へ多々野、古賀両氏を招き証明書を発行のため御準備を願う	葉書	1	
W	18	5	〔書簡〕	〔昭和24〕	3	29	多々野	安高団兵衛殿	三月三十日私宅にて古賀氏の件に付、信者代表などと談合するので是非来て戴く様御願します	便箋	1	封筒あり、多々野より安高団兵衛宛
W	18	6	〔書簡〕	〔昭和24〕	3	6	多々野	安高様	古賀氏の件に付、水巻方面の信者から速やかな解決を要望されたので松田様、久野様へ御相談を御願いします	便箋	1	封筒あり、多々野友光より安高団兵衛宛
W	18	7	〔葉書〕				中小路区愚人示誠	芦屋町粟屋区安高団兵衛先生	久野一美町会議員によって起こった諸問題の件、十一月一日に全町民へ発表する。先生より全関係者へ御伝え下さい	葉書	1	消印「23.10.30」
W	18	8	〔葉書〕				求法求道人示誠	遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛先生	町会決議した事件の解決のため、日蓮宗管長宛書類を提出、宗門の善処方を御願いした	葉書	1	消印「23.10.25」
W	18	9	〔葉書〕				芦屋町山鹿浦多々野友光	芦屋局芦屋町大字粟屋安高団兵衛様	管長に対し陳情書連名した方々により、取下願の実行を致して下されば、長遠寺より八月約束條件の不実行の問題は必要ない	葉書	1	消印「23.11.10」
W	18	10-1	〔書簡〕	昭和23	12	5	神仏の使ひ示誠日雄	安高団兵衛先生	奉賛会をめぐる事件の解決を要望	紙	1	封筒あり、示誠より安高団兵衛宛、10-1～10-3一括
W	18	10-2	〔書簡〕		12	5	神仏ノ使ヒ示誠日雄	安高先生	奉賛会をめぐる事件について奉賛会並町会議員より日蓮宗門へ謝意状と弁償を求める。奉賛会発起者の責任を完遂して下さい	便箋	2	
W	18	10-3	〔書簡〕		12	5	示誠日雄	安高先生	奉賛会をめぐる十五年以来の事件の解決に向けて先生の御意中を御一報下さい。先生の返報により多々野様へ御願致す考えである	便箋	1	
W	18	11	〔葉書〕	〔昭和23〕	12	9	中小路区日蓮宗芦屋教会古賀恵啓	芦屋町粟屋区安高団兵衛先生	事件に対する善処方を先生より発言して下さい	葉書	1	
W	18	12	〔書簡〕	〔昭和23〕	12	11	神仏の使ひ示誠日雄	安高団兵衛先生	事件解決と日蓮宗門、示誠一家への謝罪方法を発表すべきことお知らせする	罫紙	2	封筒あり、示誠日雄より安高団兵衛宛

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	18	13	〔葉書〕	〔昭和24〕	1	27	日蓮宗芦屋教会所内示誠拝	芦屋町粟屋区安高団兵衛先生	私の罪悪と長遠寺の栗原上人の善悪を安高先生他仲介人の協力により全関係者に発表することが芦屋町や奉賛会のためになる	葉書	1	
W	18	14	〔葉書〕	〔昭和24〕	1	29	古賀恵啓	芦屋町粟屋区安高団兵衛先生	事件解決のため御尽力下さい。解決方法を御協議して下さい	葉書	1	
W	18	15	〔葉書〕	〔昭和24〕	1	31	日蓮宗芦屋教会内示誠	芦屋町粟屋区安高団兵衛先生	中村翁と御相談の上、事件解決方法を御協議して下さい	葉書	1	
W	18	16	〔葉書〕	〔昭和24〕	2	2	日蓮宗芦屋教会内示誠	芦屋町粟屋区安高団兵衛先生	事件に関して安高先生が多々野様に御話したこと事実なら重大問題故、奉賛会理事長か総務理事立会の上、拙僧は先生に対して要求致したき問題あり、返信を願う	葉書	1	
W	18	17	〔葉書〕	〔昭和24〕	2	4	奉賛会理事長代理示誠	芦屋町粟屋区奉賛会役員安高団兵衛先生	至急協議事項あり。中村翁と御協議の上、拙宅まで御来篤下さい	葉書	1	
W	18	18	〔書簡〕				神仏の使示誠	国宝的人格者安高団兵衛先生	事件解決のために会員内で裁判を要請。未解決の原因を箇条書で示す	紙	1	
W	18	19	〔書簡〕				神仏の使示誠	国宝的人格者安高団兵衛先生	事件解決のために安高先生と中村翁の協議を要請。事件解決を懇願	紙	1	
W	18	20	〔葉書〕	〔昭和24〕	2	2	中小路日蓮宗教会内愚人示誠	芦屋町粟屋区安高団兵衛先生	久野氏や栗原師の行為の件を天皇陛下へ郵便にて上告	葉書	1	
W	18	21	〔書簡〕		2	1	中村健	安高団兵衛様	古賀氏要求の件について、黒山氏と長野氏と面会。奉賛会幹部召集及び召集人物の選定などについて御打合度	罫紙	1	封筒あり、中村健二より安高団兵衛宛
W	18	22	〔書簡〕		2	3	健二	安高殿	一昨日の返信なく病気ではと考えている。古賀君毎日午前午後に来宅、貴下と話し合って開会せよ、開会日を知らせよなど言って困っている	罫紙	1	封筒あり、中村健二より安高団兵衛宛
W	18	23	〔葉書〕		4	15	芦屋町山鹿浦多々野友光	芦屋町大字粟屋安高団兵衛様	直方行きの件、栗原氏に二十日頃御伺したいと連絡、返信待ち。確定次第お知らせする	葉書	1	
W	18	24	〔書簡〕	〔昭和〕23	2	12	求道愚人恵啓	安高団兵衛先生	奉賛会の件で、栗原師へ謝罪を要求したところ、脅迫として告訴され折尾署で逮捕され、小倉刑務所へ拘置され、1月30日釈放された。栗原師の悪行を全国民へ公表して下さい。	便箋	1	
W	18	25	〔書簡〕		4	13	多々野	安高団兵衛様	直方行きの件、信者と相談の上18日10時10分折尾発にて行くことに決定。奉賛会よりの書類を持参、黒山様にも相談しており、御協力御願致します	便箋	1	封筒あり、多々野友光より安高団兵衛宛、W18-23の関連文書
W	18	26	〔書簡〕		5	1	山鹿浦多々野(印)	安高団兵衛様	話合の結果は後日お知らせ。胡瓜苗弐十本御都合出来れば宜敷御願い致します	紙	1	
W	18	27-1	覚書	昭和23	4	3	長遠寺住職栗原正隆、芦屋教会古賀恵啓	立会人矢野喜五郎他8名	三ヶ条、各条要約、日蓮宗管長に対し和解解決の報告、僧階昇叙の申請、僧階昇叙の返報の上、芦屋教会にで円満解決報告法要を修行	罫紙	1	
W	18	27-2	〔葉書〕		7	1	長遠寺住職栗原正隆	遠賀郡芦屋町字山鹿松田長八様	古賀師僧階昇叙は宗務管長と面談の上決定。古賀師は法要の件で各方面に手紙を出しているので報告相談のため四日午前中に貴宅へ出向	葉書	1	
W	18	27-3	〔書簡〕	昭和23	7	2	松田長八	安高団兵へ殿	古賀恵啓氏の件に付、明後四日午前中直方より栗原氏来芦の報に付、御来車願います	罫紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	18	27-4	〔書簡〕	昭和23	8	25	総代東仁八郎	松田長八他4名	約束を着々と履行していたが、古賀氏より約束を破棄するような過去の事件を書き立てた手紙が毎日来る。このような状況であれば約束を履行できないので皆々様で御協議の上、至急回答相願度	罫紙	2	
W	18	27-5	〔書簡〕			9	多々野	安高団兵衛様	直方行きは十一日午前八時四十分芦屋発にて行くことになったので御足労御願いします	紙	1	
W	18	27-6	〔書簡〕	昭和23	3	24	長遠寺総代東仁八郎	安高団兵衛様御一同様	御話合の決末も次回となり、皆様の御尽力に対し、円満解決のために宜敷御願申上候	罫紙	1	紙背に農業協同組合設立につき御集会の案内
W	18	27-7	〔和歌〕				中野亨再拝	秋山先生	中野亨作の和歌10首と川柳2首	罫紙	1	
W	18	27-8	道路ノ整備改善ニ就テ	昭和23	3		同志者		道路整備促進を願う	罫紙	2	
W	18	28	〔葉書〕	〔昭和24〕	8	16	日蓮宗教会内示誠	芦屋町粟屋区安高団兵衛先生長野政八様	久野新君に対する告発状	葉書	1	
W	18	29	〔葉書〕	〔昭和〕24	9	2	芦屋町中小路区示誠	芦屋町粟屋区神武の使ひ安高団兵衛先生	自己の信じる処へ猛進するので御支援を願う	葉書	1	
W	19	1-1	〔書簡〕	昭和22	4	17	安高団兵衛、同リキノ	父上様外御一同様	山口俵山温泉への旅程について、関門連絡船に乗船したことや長門鉄道に乗車し、俵山までバスで移動したことなど。便箋四枚目は団兵衛達から子供のアタカヤスマサ、アタカマコトへ宛てた内容	便箋	4	W19-1～紐一括、封筒あり、安高団兵衛、リキノより安高福蔵外一同様宛、一1-1～1-2一括
W	19	1-2	〔書簡〕					姉上様	無事朝倉に到着したこと、下書ヵ	便箋	1	
W	19	2	〔葉書〕	昭和24	1		日本共産党公認衆議院議員候補田代文久	芦屋町粟屋安高団兵衛様	開票、選挙立会人依頼	葉書	1	
W	19	3-1	〔書簡〕	昭和24	1	17	姉マキ	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高リキノ	御手紙拝見。近況報告。やすまさと、まことの足の型が入っていたので靴を仕立てて送った。またお手紙を頂きたい	紙	2	国際郵便用封筒あり、安高まきより安高りきの宛、ローマ字表記、3-1～3-3一括
W	19	3-2	〔書簡〕	〔昭和24〕	1	17	をばまき	安高保正様	手紙を拝見。近況報告。一生懸命勉強するように	紙	1	
W	19	3-3	〔書簡〕	〔昭和24〕	1	17	をばまき	あたかまことさま	近況報告。サンフランシスコも寒い。一生懸命勉強するように。シズエさんをよくしてあげてください	紙	1	
W	19	4	〔書簡〕	昭和24	1	17	姉マキ	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋安高団兵衛様	手紙、写真拝見。近況報告。家族の息災を喜ぶ	紙	3	国際郵便用封筒あり、安高まきより安高団兵衛宛
W	19	5	〔葉書〕	〔昭和24〕			福岡市警察局入江節雄	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
W	19	6	〔葉書〕				若松市海岸通り三丁目不二海事内安高正義	遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	藤吉先生は二週間上京中。月二回健康診断を受けているので健康保険証をお送り下さい。半長靴を佐野君に届けて頂けないか	葉書	1	消印「24.2.6」
W	19	7	〔書簡〕	〔昭和24〕	2	4	渕上房太郎	安高団兵衛様侍史	農林省採用試験延期について。発表期日に注意のこと	便箋	2	封筒あり、渕上房太郎より安高団兵衛宛
W	19	8	〔葉書〕	〔昭和24〕			芦屋局	粟屋安高団兵衛様	外国小包来てますから印鑑と通関料弐拾円持参して取りにおいでください	葉書	1	
W	19	9	〔書簡〕	〔昭和24〕			紋治	安高様	近況報告。家庭の状況をお察し下さいまして準備されているのは気の毒。雇い入れられなかったら是非行く様に申してくれとのこと	便箋	1	封筒あり、藤本紋治より安高団兵衛宛
W	19	10	〔葉書〕				若松市海岸通り三丁目不二海事工業所内安高正義拝	遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	健康保険証は芦屋で取れるか御伺	葉書	1	消印「24.2.10」、W19-6の関連文書
W	19	11	〔葉書〕	〔昭和24〕	2	13	(印で福岡県遠賀郡岡垣村吉木山□□	芦屋町粟屋安高団兵衛殿	本春の孵化は二月十三日から。アヒル及び鶏のヒヨコの分譲は三月に沢山できるので御用命下さい	葉書	1	□は印章不鮮明

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	19	12	〔葉書〕	〔昭和24〕			太宰府天満宮飛梅講社本部	遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛、仝リキノ殿	二月廿四日、廿五日に飛梅講社大祭を執行、御参拝下さい	葉書	1	消印「24.2.13」
W	19	13	〔葉書〕	〔昭和24〕	2	中浣	衆議院議員渕上房太郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	先般選挙では鄭重なる御激励、御祝詞を賜り感佩。今後も宜敷御指導御鞭撻の程御願致します	葉書	1	
W	19	14	〔書簡〕	〔昭和24〕	2	19	荒井モヨ	安高団早様	アサエの移動証明書が豊川村から送ってこないが、来たらすぐに送る。幸次郎様宅にも宜しくお伝え下さい。シズ子も何かと御世話になるので宜しく御指導下さい	便箋	3	封筒あり、荒井モヨより安高団兵衛宛
W	19	15	〔書簡〕		1	14	農調委員会	安高団兵衛殿	別紙松井氏分供出に付、御連絡の上入庫くださるようお取計らい下さい	便箋	1	
W	19	16	〔葉書〕		2	25	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋安高団兵衛	熊本県天草郡中村柳局内長砂連字前平荒井モヨ様	アサエ様移動証明の件で、去年アサエ様の居住の家が移動証明を送らなければ至急知らせて下さい。雇主が移動証明を押さえているのなら、勤労署から手続する。移動証明が着ていれば知らせて下さい	葉書	1	
W	19	17	〔葉書〕				若松市海岸通り三丁目不二海事工業所内安高正義	遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	味噌の件、出来たら御願いします。代金は後に持参します	葉書	1	
W	19	18	〔葉書〕				別府市鉄輪雷園ニテ安高幸治郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	昨日急行バス折尾九時半発にて午后三時半鉄輪雷園に到着につき、御休心下さい	葉書	1	
W	19	19	〔書簡〕	昭和24	3	4	安高藤吉	父母上様	家族や農作業の近況報告。役場より税金の通知あり、父不在に付保留。町内で古賀さんに会った。今年中の現金収入の予定を立てたので御覧下さい	便箋	4	封筒あり、安高藤吉から山口県大津郡俵山温泉岡島旅館内安高団兵衛、リキノ宛
W	19	20	〔書簡〕				尾崎亭吉	安高団兵衛様	御手紙拝見、敏枝も元気で働いているとの事、喜んでいる。来年は内の都合上出来ないのでおひまをやって下さい	便箋	2	封筒あり、尾崎亭吉より安高団兵衛宛
W	19	21	〔書簡〕	昭和24	2	10	安高マキ	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	転居の知らせ。また手紙を出す	紙	1	国際郵便用封筒あり、アタカマキより安高団兵衛宛
W	19	22	〔葉書〕		1	7	山口県俵山温泉岡島旅館	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	宿泊料金の照会の返答。食事付と自炊の料金記載。御勉強の上、御相談に応じる旨	葉書	1	
W	19	23	〔書簡〕	昭和24	1	8	安藤一二三		筑豊地区農民総力との統一を理由に立候補辞退	紙	1	封筒あり、遠賀地方農村連盟より安高団兵衛宛
W	19	24	〔葉書〕	昭和24	4	5	遠賀郡芦屋町船頭町喪主仰木実、外親族一同	芦屋町大城安高団兵衛殿	亡父又助の告別式執行に際して、御会葬の御礼	葉書	1	
W	19	25	〔葉書〕				天草郡阿村塚本初市	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋一二〇五安高団兵衛様	先日参上した際の御礼	葉書	1	
W	19	26	〔葉書〕	昭和24	4	2	芦屋郵便局	粟屋安高団兵衛殿	郵便物配達の確認	葉書	1	
W	19	27-1	〔書簡〕	昭和24	3	6	安高マキ	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	御手紙拝見。くつを作り送ること。新居の住所を書いて送る	便箋	2	国際郵便用封筒あり、アタカマキより安高団兵衛宛、27-1～27-2一括
W	19	27-2	〔住所〕						手紙用ヵ新居の住所を16回記載	便箋	2	
W	19	28	〔葉書〕		3	14	山口県俵山温泉岡島旅館	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋安高団兵衛様、リキノ様	御礼状	葉書	1	
W	19	29	〔書簡〕	昭和23	12	16	安高マキ	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋安高団兵衛様	御機嫌伺。近況報告。品物を送ったので受け取ってほしいこと。	紙	2	封筒あり、アタカマキより安高団兵衛宛
W	19	30	〔電報〕				アトフミマサヨシ	アシヤマチアワヤアタカダンベイ	「オカガミ一1クミコモチ六〇ホド三〇ヒマデニサノカタニトドケテクダサルヤウ」とあり	紙	1	消印「23.12.29」

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	19	31	〔葉書〕		10	末	民主自由党総務衆議院議員渕上房太郎	遠賀郡芦屋町芦屋粟屋安高団兵衛様	昭電事件と共に炭礦国管問題について反対運動を実施。反対運動によって不当財産取引調査委員会において証人として質問されている。調査の進行によって疑いが晴れるので現状を報告	葉書	1	
W	19	32	〔書簡〕		12	20	吉田三郎	安高団兵衛様	恩借の米五升御受取被下度、御願の玉葱の苗千本御渡被下度	紙	1	封筒あり、吉田三郎より安高団兵衛宛
W	19	33	〔葉書〕		12	4	柏原田中健介	福岡県芦屋局区内粟屋安高団兵衛大兄	玉ネギ苗恵贈の御礼	葉書	1	
W	19	34-1	〔書簡〕	昭和23	10	26	安高マキ	安高チズ子様	御手紙拝見。近況報告。写真を送ってもらいありがたい。正月までに何か送り、私の写真もその内撮って送る	紙	2	国際郵便用封筒あり、アタカマキより安高チズ子宛、34-1～34-2一括
W	19	34-2	〔書簡〕	昭和23	10	28	安高マキ	安高まこと様	御手紙拝見。勉強すること。くつを買うために紙に足の型をとって送って下さい	紙	2	
W	19	35	〔葉書〕		9	10	芦屋町山鹿秋山光清	芦屋町粟屋安高団兵衛殿	御礼状	葉書	1	
W	19	36	〔書簡〕	〔昭和24〕	3	22	塚本初市	安高団兵衛殿	私の子供二十三才になる青年がおり、漁業に従事し、機械などに経験があるので、その方面の仕事に適当と思いますので面会して下さい	便箋	3	封筒あり、塚本初市より安高団兵衛宛
W	19	37	〔葉書〕	昭和23	8		衆議院議員渕上房太郎	遠賀郡芦屋町芦屋安高団兵衛様	第二回国会報告	封緘葉書	1	
W	19	38-1	〔書簡〕	昭和23	6	7	安高マキ	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	御手紙拝見。近況報告	紙	2	国際郵便用封筒あり、アタカマキより安高団兵衛宛、38-1～38-5一括
W	19	38-2	〔書簡〕	昭和23	6	7	安高マキ	安高リキノ様	御手紙拝見。近況報告。チズ子さんに赤ちゃんができたそうですが、亡くなられたそうでお悔やみ申し上げます	紙	1	
W	19	38-3	〔書簡〕	昭和23	6	7	おば安高マキ	安高ヤスマサ様	御手紙拝見。よく勉強し、父母さまみなさまの言いつけを良く聞きなさい。何か良いものを作ってあげますから楽しみにして下さい	紙	1	
W	19	38-4	〔書簡〕		6	7	おば安高マキ	安高まことさま	御手紙拝見。よく勉強し、父母さまみなさまの言いつけを良く聞きなさい。何か良いものを作ってあげますから楽しみにして下さい	紙	1	
W	19	38-5	〔書簡〕						御手紙拝見。普通の手紙を下さい。多くの印紙はもったいないです	紙	1	
W	19	39	〔書簡〕	昭和23	5	11	安高マキ	安高リキノ様	近況報告。小包が来たらお受取ください。次の返事をお待ちしています	紙	2	国際郵便用封筒あり、アタカマキより安高団兵衛宛
W	19	40	〔葉書〕	〔昭和24〕			福岡県芦屋町重岡長市	山口県大津郡俵山温泉岡島旅館内安高団兵衛様	そちらの様子が解ったので十六日に出発する準備をしています。五六人の同中になる予定です	葉書	1	
W	19	41-1	〔書簡〕				荒井	安高様	昨日送って参りましたので早速お送り致します。子供の事は何分共宜しく御願い致します	便箋	1	封筒あり、荒井初次より安高団兵衛宛、41-1～41-2一括
W	19	41-2	砂糖登録店舗抹消証明書	昭和24	2	21	登録店舗名杉本商店(印)		世帯主松本米寿、転出該当者荒井アサエを転出により登録台帳より抹消した事を証明	紙	1	
W	19	42	〔書簡〕		3	8	塚本	安高様	和子のこと宜しく御願いします。貴男様よりお聞きした漁業の件で息子が業業を希望しているので御都合が良ければ御願い致します	便箋	2	封筒あり、塚本初市より安高団兵衛宛

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	19	43	〔書簡〕		3	7	渕上房太郎	安高団兵衛様	令息様農林省志願の件、如何相成也。私事二月十日頃より健康を害し、臥床中にて失礼致候	便箋	1	封筒あり、渕上房太郎より安高団兵衛宛
W	19	44	〔書簡〕		3	5	恵美子	父母上様	葉書拝見。近況報告。新聞にて鶴見山が活動を始めたので別府ではなく、俵山へ行こうと母上様が言っている。充分カロリをとって入湯して下さい	便箋	2	封筒あり、重岡恵美子より安高団兵衛、リキノ宛
W	19	45	〔書簡〕		2	25	敏江	叔父様	御手紙、御写真を御送呈の御礼。仕事、道具皆が福岡と違い習い直しです。親切な叔父様が天草に来られた時はお便り下さい。ご家族はお元気ですか	便箋	4	封筒あり、山本芳太郎方尾崎敏江より安高団兵衛宛
W	19	46	〔書簡〕		3	3	チズ子	お父様お母様へ	家族は元気に付、保養入湯に専念の事。養鶏組合の例会のこと、税金のこと、学校で学芸会があったこと。分家の叔父様も鉄輪雷園に到着の知らせが届いた。門司敬太郎さん死去、葬儀のこと	便箋	3	封筒あり、安高チズ子より安高団兵衛、リキノ様宛
W	19	47	定期積金案内						パンフレット	紙	1	
W	20	1	〔県議補選成績通知〕	昭和25	3	10	遠賀地方農村連盟	芦屋町粟屋　安高団兵衛	町村別候補者別得票数	紙	2	封筒あり
W	20	2	〔葉書〕	昭和25	3	14	芦屋町山鹿柏原　田中健介	芦屋町粟屋　安高団兵衛	大庭なる人物に付き問い合わせ	葉書	1	
W	20	3	〔葉書〕	昭和25	3	10	山鹿　秋山光清	芦屋町粟屋　安高団兵衛	種芋融通以来	葉書	1	
W	20	4	〔封筒〕	昭和25	3	19	U Hirowatari	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛		封筒	1	封筒のみ　日付は団兵衛メモ
W	20	5	〔葉書〕	昭和25	3	20	宗像郡岬村大字上八　和田積蔵	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	近況	葉書	1	
W	20	6	〔書簡〕	昭和25	3	23	宗教研究会併に世話人　守田藤一郎外	芦屋町粟屋　安高団兵衛	日蓮700年記念寺改築の相談	紙	1	封筒あり日付は消印
W	20	7	〔貯金通帳提出依頼〕	昭和25	3	11	福岡地方貯金局	芦屋局区内粟屋　安高団兵衛	利子記入のため通帳提出依頼	葉書	1	
W	20	8	〔書簡〕	昭和25	3	29	中小路区第四組　古賀恵啓	芦屋町粟屋区　安高団兵衛	御神霊の大精神を全世界へ発表して云々	紙	1	封筒あり
W	20	9	〔葉書〕	昭和25	3	23	俵山温泉　岡島	遠賀郡芦屋局区内粟屋　安高団兵衛	温泉滞在中の礼	葉書	1	
W	20	10	〔封筒〕					芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	10-1、2封入
W	20	10-1	〔書簡〕	昭和25	3	31	中ノ浜区常任評議員　陣川武彦		消火協力と義援金に対する礼状	紙	1	活版印刷
W	20	10-2	〔書簡〕	昭和25	3	31	高崎新三郎、赤間進外2名		消火協力と義援金に対する礼状	紙	1	活版印刷
W	20	11	〔葉書〕	昭和25	4	15	中小路区第四組　示誠	芦屋町粟屋区　安高団兵衛	僧侶栗原告発報告	葉書	1	
W	20	12	〔葉書〕	昭和25	4		鹿児島県伊佐郡本城村楠原　入江実	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	養鶏業用のひなの買い入れ先紹介依頼	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	20	13	〔葉書〕	昭和25	4	22	津川商店	芦屋町粟屋　安高団兵衛	荷馬車売り出し報告	葉書	1	日付は消印
W	20	14	〔葉書〕	昭和25	5	2	芦屋町大竹ツル方　大竹嘉三郎	芦屋町芦屋粟屋　安高団兵衛	調停に対する礼状	葉書	1	
W	20	15	〔葉書〕	昭和25	5	2	柏原　田中健介	芦屋町粟屋　安高団兵衛	野菜苗引き取り予定	葉書	1	
W	20	16	〔葉書〕	昭和25	5	4	岡垣村元松原　広渡一敬	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	部落公民館落成式通知	葉書	1	
W	20	17	〔葉書〕	昭和25	5	14	中ノ浜　中村建二	芦屋町粟屋　安高団兵衛	神武肖像安置用台座完成通知	葉書	1	
W	20	18	〔書簡〕	昭和25	5	13	安高（扇谷）マキ	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高リキノ	近況報告	紙	2	航空書簡　封筒あり
W	20	19	〔書簡〕	昭和25	5	6	Kay Ohgitani　Sanfrancisco	遠賀郡芦屋町粟屋　安高福蔵団兵衛	アメリカ出発通知	罫紙	1	航空書簡　封筒あり
W	20	20	〔書簡〕	昭和25	5	5	Maki Ataka Sanfrancisco	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況報告	罫紙	2	航空書簡　封筒あり
W	20	21	〔葉書〕	昭和25	5	10	岡垣村元松原　吉田文蔵	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	公民館落成式挙行報告	葉書	1	
W	20	22	〔葉書〕	昭和25	5	16	山鹿　堀江良幸	芦屋町粟屋区　安高団兵衛	茄子苗と黒山氏病気見舞依頼	葉書	1	日付は消印
W	20	23	〔農村恐慌対策協議会通知〕	昭和25	5	16	遠賀地方農村連盟	芦屋局区内粟屋　安高団兵衛		紙	1	封筒あり
W	20	25	〔書簡〕	昭和25	5	17	与次郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	妻横浜到着予定	罫紙	5	航空書簡　封筒あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	20	24	〔書簡〕	昭和25	5	14	与次郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高シゲ	母の日挨拶	罫紙	3	航空書簡　封筒あり　扇谷の名刺同封
W	20	26	〔葉書〕	昭和25	5		淵上房太郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	国会報告	葉書	1	
W	20	27	〔葉書〕	昭和25	5	23	紀ノ国屋旅館	遠賀郡芦屋町粟屋　安高マキ	利用案内	葉書	1	活版印刷
W	20	28	〔葉書〕	昭和25	5		吉田茂　淵上房太郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	自由党公認参議院議員候補者河北敬二推薦	葉書	1	活版印刷
W	20	29	〔書簡〕	昭和25	5	26	遠賀地方農村連盟	芦屋局区内粟屋　安高団兵衛	平尾卯二郎選挙応援文書	紙	2	
W	20	30	〔葉書〕	昭和25	5	27	芦屋マーケット田中健介	芦屋町粟屋　安高団兵衛	マーケット利用依頼	葉書	1	
W	20	31	〔書簡〕	昭和25	5	25	与次郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	妻帰国出迎え礼	紙	1	航空書簡　封筒あり
W	20	32	〔葉書〕	昭和25	5	26	ジャパンエキスプレス	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高マキ	荷物発送通知	葉書	1	日付は消印
W	20	33	〔葉書〕	昭和25			農民協同党書記長河口陽一外	芦屋町粟屋　安高団兵衛	参議院議員候補者田中鈎一推薦文	葉書	1	活版印刷
W	20	34	〔荷札〕	1950	5	5	Maki Ataka Sanfrancisco	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛		荷札	1	日付は消印
W	20	35	〔葉書〕	昭和25	6	3	芦屋町柏原　田中健介	芦屋町粟屋　安高団兵衛	マーケット利用依頼、ナス苗分譲依頼	葉書	1	
W	20	36	〔葉書〕	昭和25	5	26	大庭善三郎外	芦屋町粟屋　安高団兵衛	参議院議員候補者田中鈎一推薦文	葉書	1	活版印刷　日付は団兵衛メモ
W	20	37	〔葉書〕	昭和25	5	26	大庭善三郎外	芦屋町粟屋　安高団兵衛	参議院議員候補者平尾卯二郎推薦文	葉書	1	活版印刷　日付は団兵衛メモ
W	20	38	〔葉書〕				三井田川鉱業所　徳富正高	芦屋町粟屋　安高団兵衛	参議院議員候補者山川良一推薦文	葉書	1	活版印刷
W	20	39	〔葉書〕	昭和25	5	28	岡部徳三	芦屋町粟屋　安高団兵衛	参議院議員候補者西田隆男推薦文	葉書	1	活版印刷　日付は団兵衛メモ
W	20	40	〔葉書〕	昭和27	8	5	福岡地方貯金局	芦屋局区内粟屋　安高隆盛	利子記入のため通帳提出依頼	葉書	1	活版印刷
W	20	41	〔葉書〕	昭和27	8	5	福岡地方貯金局	芦屋局区内粟屋　安高団兵衛	利子記入のため通帳提出依頼	葉書	1	活版印刷
W	20	42	〔葉書〕	昭和27	8	5	福岡地方貯金局	芦屋局区内粟屋　安高団兵衛	利子記入のため通帳提出依頼	葉書	1	活版印刷
W	20	43	通帳受領証	昭和27	8	9				紙	1	
W	20	44	〔葉書〕	昭和27	8	5	福岡地方貯金局	芦屋局区内粟屋　安高団兵衛	利子記入のため通帳提出依頼	葉書	1	活版印刷
W	20	45	〔葉書〕	昭和27	8	5	福岡地方貯金局	芦屋局区内粟屋　安高リキノ	利子記入のため通帳提出依頼	葉書	1	活版印刷
W	20	46	〔葉書〕	昭和25	6	11	柏原　田中健介	芦屋町粟屋　安高団兵衛	ナス苗礼、コンチョウ苗依頼	葉書	1	
W	20	47	〔通知〕	昭和25	6	7	芦屋町公安委員会外	安高団平	自警発足二周年記念式の通知	紙	1	封筒あり
W	20	48	〔書簡〕	昭和25	6	11	扇谷与次郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	妻日本滞在中の礼状	紙	1	航空書簡　封筒あり
W	20	49	〔葉書〕	昭和25	5	23	遠賀郡岡垣村元松原　広渡タツノ	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	訪問日時問い合わせ	葉書	1	日付は消印
W	20	50	〔葉書〕	昭和25	6	30	芦屋幸町　山本義一	芦屋町阿波屋　安高団兵衛	土地代支払い猶予依頼	葉書	1	日付は消印
W	20	51	〔葉書〕	昭和25	7	2		芦屋町粟屋区　安高団兵衛	寄付依頼	葉書	1	
W	20	52	〔封筒〕	昭和25	7	8	遠賀郡水巻町梅ノ木京町　宗教研究会併供養会会員　春原七子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	52-1、2、3封入、日付は消印
W	20	52-1	〔書簡〕	昭和25	7	7	春原七子	安高	寄付依頼	罫紙	1	
W	20	52-2	〔書簡〕	昭和25	7	7	示誠		寄付依頼	罫紙	1	
W	20	52-3	〔和歌〕				示誠		和歌二首	紙	2	
W	20	53	〔葉書〕	昭和25	7	6	宗教研究会併供養会中小路第四組発願主　示誠	芦屋町粟屋区　安高団兵衛	寄付依頼	葉書	1	52に同封
W	20	54	〔葉書〕	昭和25	6	17	黒山高麿外	芦屋町粟屋　安高団平	自治体警察二周年記念式挙行報告	葉書	1	
W	20	55	〔葉書〕	昭和25	7	10	芦屋幸町　守田藤一郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	払い日程延引の詫び	葉書	1	
W	20	56	〔葉書〕	昭和25	7	10	熊本県天草郡維和村　藤本富士男	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋芦屋局区内　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	20	57	〔葉書〕	昭和25	7	15	佐世保市黒髪町　豊増広衛	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
W	20	58	〔書簡〕	昭和25	7	13	扇谷	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛方安高まき子	暑中見舞	罫紙	1	航空書簡　封筒あり
W	20	59	〔葉書〕	昭和25	7	24	福岡地方貯金局	芦屋局区内粟屋　安高福蔵	利子記入のため通帳提出依頼	葉書	1	活版印刷

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	20	60	〔葉書〕	昭和25	7		福岡区検察庁　早川万次郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	転勤通知	葉書	1	
W	20	61	〔葉書〕	昭和25	7	28	芦屋町山鹿浦　多々野友光	芦屋局区内粟屋　安高団兵衛	訪問依頼	葉書	1	
W	20	62	〔葉書〕	昭和25	8	3	若松市小石　岡部得三	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	20	63	〔書簡〕	昭和25			後藤巌	芦屋町粟屋　安高団平	高菜代金支払い猶予依頼	罫紙	1	後藤商会封筒あり
W	20	64	〔葉書〕	昭和25	8	1	大分県宇佐郡竜王町　中村藤三郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況他	葉書	1	日付は消印
W	20	65	〔封筒〕				芦屋郵便局	粟屋　安高団兵衛		封筒	1	65-1、2封入
W	20	65-1	外国来小包郵便物到着通知書	昭和25	8	12	芦屋郵便局	安高まき		紙	1	
W	20	65-2	救恤小包検査票	昭和25	8	8	門司税関	安高まき	小型ラジオ	紙	1	
W	20	66	〔書簡〕	昭和25	8	7	与次郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞と近況	罫紙	1	航空書簡　封筒あり
W	20	67	〔葉書〕	昭和25	7	23	歯科医師　加来繁雄	芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	20	68	〔葉書〕	昭和25	7	24	あしや町　江田商店	芦屋局区内粟屋　安高団兵衛	トマト二箱注文	葉書	1	
W	20	69	〔葉書〕	昭和25	7	24	岡島旅館	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　リキノ	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	20	70	〔葉書〕	昭和25	7	25	芦屋町中小路　江田商店	芦屋町粟屋芦屋局区内　安高団平	トマト注文取り消し	葉書	1	
W	20	71	〔葉書〕	昭和25	7	21	福岡地方貯金局	芦屋局区内粟屋　安高団兵衛	利子記入のため通帳提出依頼	葉書	1	活版印刷
W	20	72	〔葉書〕	昭和25	7	24	福岡地方貯金局	芦屋局区内粟屋　安高マキ	利子記入のため通帳提出依頼	葉書	1	活版印刷
W	20	73	〔葉書〕	昭和25	7	24	福岡地方貯金局	芦屋局区内粟屋神武天皇社奉賛会計管理者　安高団兵衛	利子記入のため通帳提出依頼	葉書	1	活版印刷
W	21	1	〔葉書〕	昭和25	3	5	芦屋町粟屋　安高藤吉	山口県大津郡俵山温泉　安高団兵衛・母上	留守中の状況報告	葉書	1	1～16一括り
W	21	2	〔封書〕	〔昭和25〕	3	6	芦屋町粟屋　安高千鶴子	山口県大津郡俵山温泉　安高団兵衛・リキノ	留守中の状況報告	封筒	1	1～16一括り
W	21	3	〔葉書〕	〔昭和25〕	3	7	芦屋町　黒山高麿	山口県大津郡俵山温泉　安高団兵衛	二水クラブ延期通知	葉書	1	1～16一括り
W	21	4	〔葉書〕	〔昭和〕25	3	8	芦屋町粟屋　安高正義	山口県大津郡俵山温泉　安高団兵衛	留守中の状況報告	葉書	1	1～16一括り
W	21	5	〔葉書〕	〔昭和〕25	3	7	芦屋町粟屋　安高千鶴子	山口県大津郡俵山温泉　安高団兵衛・リキノ	留守中の状況報告	葉書	1	1～16一括り
W	21	6	〔葉書〕	〔昭和〕25	3	9	芦屋町　中村建二	山口県大津郡俵山温泉　安高団兵衛・奥	県議選挙結果（三原朝雄当選）報告	葉書	1	1～16一括り
W	21	7	〔葉書〕	〔昭和〕25	3	9	芦屋町粟屋　安高千鶴子	山口県大津郡俵山温泉　安高団兵衛・リキノ	留守中の状況報告	葉書	1	1～16一括り
W	21	8	〔葉書〕	〔昭和〕25	3	10	芦屋町粟屋　安高保正	山口県大津郡俵山温泉　安高団兵衛・リキノ	留守中の状況報告（三原朝雄当選、小倉地方検察庁より出頭命令）	葉書	1	1～16一括り
W	21	9-1	〔葉書〕	〔昭和〕25	3	12	芦屋町粟屋　安高藤吉	山口県大津郡俵山温泉　安高団兵衛・母上	留守中の状況報告（選挙結果、寒波の様子）	葉書	1	1～16一括り
W	21	9-2	〔葉書〕	〔昭和〕25	3	12	芦屋町粟屋　安高藤吉	山口県大津郡俵山温泉　安高団兵衛・母上	留守中の状況報告（検察庁より出頭の要請、景況など）	葉書	1	1～16一括り
W	21	10	〔葉書〕	〔昭和〕25	3	13	芦屋町粟屋　安高千鶴子	山口県大津郡俵山温泉　安高団兵衛・リキノ	留守中の状況報告（安否窺い、子供の様子、寒気など）	葉書	1	1～16一括り
W	21	11	〔葉書〕	〔昭和〕25	3	14	芦屋町　安高正義	山口県大津郡俵山温泉　安高団兵衛	11日帰宅	葉書	1	1～16一括り
W	21	12	〔葉書〕	〔昭和〕25	3	13	芦屋町粟屋　安高千鶴子	山口県大津郡俵山温泉　安高団兵衛・リキノ	留守中の状況報告	葉書	1	1～16一括り
W	21	13	〔葉書〕	〔昭和〕25	3	15	芦屋町粟屋　安高誠	山口県大津郡俵山温泉　安高団兵衛・リキノ	手紙へのお礼	葉書	1	1～16一括り
W	21	14	〔葉書〕	〔昭和〕25	3	15	芦屋町粟屋　安高保正	山口県大津郡俵山温泉　安高団兵衛	手紙へのお礼	葉書	1	1～16一括り
W	21	15-1	〔葉書〕	〔昭和〕25	3	15	芦屋町粟屋　安高保正	山口県大津郡俵山温泉　安高リキノ	留守中の状況報告（遠足様子）	葉書	1	1～16一括り

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	21	15-2	〔葉書〕	〔昭和〕25	3	15	芦屋町粟屋　安高保正	山口県大津郡俵山温泉　安高リキノ	留守中の状況報告(遠足様子)	葉書	1	1～16一括り
W	21	16	〔封書〕	昭和25	3	13	芦屋町粟屋　安高藤吉	山口県大津郡俵山温泉　安高団兵衛・母上	今年の現金収入の見通し	葉書	1	1～16一括り
W	22	1	〔書簡〕	昭和25	12	25	扇谷	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高福蔵　しげ	クリスマスカード	カード	1	封筒あり
W	22	2	〔書簡〕	昭和25	12	25	扇谷	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛　御家族	クリスマスカード	カード	1	封筒あり
W	22	3	〔書簡下書〕	昭和25	5	21	安高団兵衛	扇谷与次郎	マキ出迎え報告	罫紙	1	
W	22	4	〔電報〕	昭和25	5	23	アタカ	アシヤマチアワヤ　アタカフクゾウ	到着予定連絡	紙	1	日付は消印
W	22	5	〔電報〕	昭和25	5	22	アタカ	アシヤマチアワヤ　アタカフクゾウ	到着予定連絡	紙	1	日付は消印
W	22	6	〔電報〕	昭和25	5	16	Maki	Danbei Ataka	到着予定連絡と出迎え依頼	紙	1	船舶電報、クリーブランド号より
W	22	7	〔送金領収書写〕	昭和25	12	20	Bank of Montreal	D. Ataka	5ドルの送金領収書	罫紙	1	
W	22	8	〔書簡〕	昭和25	1	1	U　Hirowatari	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	年賀状	カード	1	封筒あり
W	22	9	〔封筒〕							封筒	1	9-1～4封入
W	22	9-1	〔書簡〕	昭和25	2	3	広渡卯壮	安高団兵衛	近況報告その他	紙	1	
W	22	9-2	〔書簡〕	昭和23	3	1	広渡卯壮	安高団兵衛	居留民財産に対する合衆国政府の戦後補償について	紙	1	
W	22	9-3	〔葉書〕	昭和24	1		U .Hirowatari	Mr&Mrs D.Ataka	年賀状	絵葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	22	9-4	〔封筒〕	昭和24	3	7	U .Hirowatari	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛		封筒	1	写真3葉在中
W	22	10	〔封筒〕	昭和26	2	9	U .Hirowatari	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛				10-1～3同封、日付は消印
W	22	10-1	〔書簡〕						兄死亡、娘結婚その他近況	紙	1	
W	22	10-2	〔書簡〕	昭和26	2	8	広渡卯壮	安高ツキノ	兄死亡、娘結婚その他近況	罫紙	1	
W	22	10-3	〔写真〕	昭和26	1	10			娘結婚式	写真	1	
W	22	11	〔書簡〕	昭和25	11	30	U .Hirowatari	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	お礼5ドル送金通知、その他	紙	1	封筒あり
W	22	12	〔書簡〕	昭和25	12	13	U .Hirowatari	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛　御家族	年賀状	カード	1	封筒あり
W	22	13	〔書簡〕	昭和25	12	23	英領加奈陀ｷｬﾑﾙｰﾌﾟｽ市　広渡卯壮	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	兄病状、娘結婚予定連絡その他近況	簡易書簡	1	
W	22	14	〔電報〕	昭和26	11	14		アワヤ　アタカトウキチ		紙	1	日付は消印
W	22	15	〔書簡〕	昭和26	5	28	芦屋町市場　上田燃料店　上田秀男	芦屋町粟屋　安高団兵衛	上田モータース開店通知	紙	1	封筒あり
W	22	16	〔電報〕	昭和26	6	5	アマモト	アワヤ　アタカダンベーエ	ハチミツイソギツメ	紙	1	日付は消印
W	22	17	〔書簡〕	昭和26	7	9	折尾町陣原公園内　安高重二琅	筑前芦屋町粟屋　安高団兵衛	子供を預けたいがいかがという問い合わせ	罫紙	1	
W	22	18	〔葉書〕	昭和26	7	8	幸町木原ウメヨ方　中村正宏	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	近況報告	葉書	1	日付は消印
W	22	19	〔葉書〕	昭和26	7	12	天草郡維和村鷺之浦　藤本富士男	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	22	20	〔書簡〕	昭和26	7	15	折尾町陣原公園内　安高重二琅	筑前芦屋町粟屋　安高団兵衛	おばさん同伴お礼	罫紙	1	
W	22	21	〔葉書〕	昭和26	7	18	中小路　永田	芦屋町粟屋　安高団兵衛	蜂蜜分与依頼	葉書	1	日付は消印
W	22	22	〔葉書〕	昭和26	7	25	山鹿歴木区町内会長　三枡嘉壮	芦屋町粟屋　安高団兵衛	天満宮千五十年祭挙行通知	葉書	1	
W	22	23	〔葉書〕	昭和26	8	盛夏	遠賀郡芦屋町幸町木原ウメヨ方中村正宏	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	22	24	〔葉書〕	昭和26	7	31	山口県大津郡俵山温泉　岡島旅館	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛　御令閨	暑中見舞	葉書	1	日付は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	22	25	〔書簡〕	昭和26	8	1	鞍手郡古月村　粟田家	芦屋町粟屋　安高団兵衛	トマト礼状	罫紙	1	
W	22	26	〔葉書〕	昭和26	8	8	福岡県遠賀郡芦屋町　安部自転車商会	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	22	27	〔葉書〕	昭和26	8	4	八幡市折尾町日の出　植田儀三郎	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	22	28	〔葉書〕	昭和26	8	4	大分県宇佐郡竜王村　中村藤作郎	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	正広が世話になった礼	葉書	1	日付は消印
W	22	29	〔書簡〕	昭和26	8	7	東京都中野区昭和通　淵上房太郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	農業委員居住地問い合わせ	罫紙	1	
W	22	30	〔葉書〕	昭和26	8	12	八幡市折尾町本城　大庭善三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	22	31	〔葉書〕	昭和26	8	12	若松市小石下ノ鴻　岡部得三	粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	22	32	〔葉書〕	昭和26	8	15	長崎県北松浦郡平戸町　山鹿光世	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	贈答への礼	葉書	1	
W	22	33	〔葉書〕	昭和26	7		三原朝雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	22	34	〔葉書〕	昭和26	8	27	折尾町本城大浦　香山満寿郎	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	訪問への礼	葉書	1	
W	22	35	〔葉書〕	昭和26	8		芦屋町仲小路　久野一美	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	日本生命代理店開業通知	葉書	1	
W	22	36	〔葉書〕	昭和26	8	28	芦屋町　ふさの	粟屋　安高団兵衛	薪炭料への礼	葉書	1	
W	22	37	〔葉書〕	昭和26	9	5	芦屋中央映画劇場　長野政八	粟屋　安高団兵衛	映画館開館通知	葉書	1	
W	22	38	〔電報〕	昭和26	9	18		アシヤマチアワヤ　アタカダンベエ	スマニワルイインキヨモシラセ	紙	1	日付は消印
W	22	39	〔書簡〕	昭和26	9	11	北九州青果株式会社八幡支店	出荷者各位	当店に対する中傷への注意喚起	紙	1	封筒あり
W	22	40	〔葉書〕	昭和26	9	20	八幡市折尾町陣原　安高繁治郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	会葬礼状	葉書	1	
W	22	41	〔葉書〕	昭和26	9	13	淵上房太郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	挨拶状	葉書	1	
W	22	42	〔葉書〕	昭和26	9	19	中小路　永田	芦屋町粟屋　安高団兵衛	蜂蜜分与依頼	葉書	1	
W	22	43	〔葉書〕	昭和26	10	5	岡垣村元松原　広渡一敬	芦屋町粟屋　安高団兵衛	放生祭案内	葉書	1	日付は消印
W	22	44	〔葉書〕	昭和26	10	13	城野拘置所　示誠日雄	日蓮宗教会所内　安高団兵衛	近況報告	葉書	1	日付は消印
W	22	45	〔封筒〕				安部	安高団兵衛	お礼	封筒	1	
W	22	46	〔葉書〕				東邦生命保険相互会社	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	災害見舞	葉書	1	
W	22	47	〔通知書〕	昭和26	10	11	九州電力株式会社	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	電気使用制限通知	葉書	1	
W	22	48	〔通知書〕	昭和26	10	11	九州電力株式会社	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	電気使用制限通知	葉書	1	
W	22	49	〔葉書〕	昭和26	10	19	塩田国相	粟屋　安高団兵衛　正義	伝道集会案内	葉書	1	
W	22	50	〔葉書〕	昭和26	10	25	黒山青年会	芦屋町粟屋　安高団兵衛	来場お礼	葉書	1	日付は消印
W	22	51	〔書簡〕	昭和26	10	27	小倉市紺屋町　衛藤敬	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	遍啓の国選弁護士からの保釈相談	罫紙	1	封筒あり
W	22	52	〔書簡〕	昭和26	12	10	小倉市紺屋町　衛藤敬	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	古賀の保釈について身元引受人になるよう依頼	罫紙	1	封筒あり
W	22	53	〔通知書〕	昭和26	11	2	富士銀行八幡支店	遠賀郡芦屋町粟屋　安高保正	定期預金満期通知	紙	1	封筒あり
W	22	54	〔葉書〕	昭和26	11	23	安部卯一郎	芦屋町粟屋　安高団平	孫祝事への招待	葉書	1	日付は消印
W	22	55	〔葉書〕	昭和26	11	24	岡垣村元松原　広渡一敬	芦屋町粟屋　安高団兵衛	御十夜案内	葉書	1	日付は消印
W	22	56	〔書簡〕	昭和26	11	17	和歌山県高野山　大円院	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	開運星祭祈祷簿送付案内	紙	1	返信用申込用紙、振込用紙同封
W	22	57	〔葉書〕	昭和26	12	11	折尾町本城　香山満寿郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	式挙行について相談のため面会依頼	葉書	1	
W	22	58	〔葉書〕	昭和26	8	13	幸町木原ウメヨ方　中村昌弘	遠賀郡芦屋局区内粟屋　安高団兵衛	近況報告	葉書	1	日付は消印
W	22	59	〔葉書〕	昭和26	9	28	丸栄米油株式会社	芦屋町あわや　安高団兵衛	出張所開業案内	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	23	1-1	〔書簡〕	昭和28	2	22	福岡県東京事務所六号室安高団兵衛	安高福蔵様及母上様、安高りきのどの、安高藤吉様、同チズ子様、外一同様へ	上京後の状況報告。資料の地図や書類作りで多忙。農林委員会や衆議院議員の中村氏や荒木氏を訪問のこと。二月十三日から同二十二日までの動静を書上	便箋	3	W23-1～紐一括。封筒あり、安高団兵衛より安高藤吉外一同様宛、W23-1-1～1-2一括
W	23	1-2	〔案内状〕				日本食堂		一般急行列車朝食用の朝食案内	紙	1	
W	23	2-1	〔書簡〕	昭和29	5		明治神宮崇敬会	安高団兵衛殿	初穂料奉納受納仕に付、明治神宮神符、撒饌等御送附候間御受納被下度。神宮奉賛の御協力相煩度宜敷吹聴御勤簿被成下度御願申上候	紙	1	封筒あり、明治神宮崇敬会より安高団兵衛宛、W23-2-1～2-4一括
W	23	2-2	領収証	昭和29	5	17	明治神宮崇敬会	安高団兵衛殿	二十九年度、金五百円の領収証	紙	1	
W	23	2-3	〔御札〕						上書「明治神宮」	木	1	封筒あり、上書「明治神宮上」、W23-2-3～2-4一括
W	23	2-4	〔御札〕						上書「明治神宮」、包紙あり	紙	1	
W	23	3	〔葉書〕	〔昭和29〕			福岡県東京事務所第十七号室安高団兵衛	福岡県遠賀郡（芦屋局区内）粟屋安高藤吉様、〃チヅ子様、〃りきの様、御一同様	上京途上各地の田植状況。二十八日午前七時二十三分東京駅着、七時四十分宿着。今から調達庁に行くつもり	葉書	1	消印「29.6.28」
W	23	4	〔書簡〕	昭和29	5	14	福岡県東京事務所第十五号室安高団兵衛	安高藤吉様、〃りきの様、〃千鶴子様、外御一同様	上京途次の様子。宿舎の手配に苦労し、ようやく福岡県東京事務所に宿泊。今日午後は調達庁に出頭、明日は農林省に行く積もり	便箋	3	封筒あり、安高団兵衛より、安高藤吉、りきの、千鶴子、外御一同様宛
W	23	5	原乳代金支仏延期の件	昭和29	5	16	八幡牛乳処理販売協同組合理事長中村重太郎（印）	安高殿	四月分原乳代金支払を二十八日に御願い致したく御願い申し上げます	紙	1	封筒あり、八幡牛乳処理販売共同組合より安高藤吉宛
W	23	6	〔葉書〕	〔昭和29〕			岡垣村元松原広渡タツノ	遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛、りきの様	鬼津の姉さんが帰られて女の人をやとって御飯炊き、洗濯して貰っている	葉書	1	消印「29.5.28」
W	23	7	〔葉書〕	〔昭和33〕			芦屋町駅前花屋安高正義	芦屋町粟屋安高リキノ様	誠に会った。勉強は何処までもするし、試験は受けるとのこと心配は要らない	葉書	1	消印「33.6.18」
W	23	8	〔書簡〕	〔昭和33〕	5	19	自由民主党若松支部幹事長横田初次郎	安高団兵衛様	総選挙終盤戦、岡部候補も当選圏に今一歩ゆえ、最後の御奮闘お願い申し上げます	紙	1	封筒あり、横田初次郎より安高団兵衛宛
W	23	9	〔書簡〕	〔昭和33〕			保正	父上、母上様	学校で身体検査。五月五日夜歯痛に付、翌日歯科医で虫歯の乳歯二本抜いた。東京方面に適当な所がないなら某電気会社重役に相談。入学時の日本大学の債券の証書を送って下さい	便箋	1	封筒あり、安高保正より安高団兵衛、りきの様宛」
W	23	10	御案内	昭和33	5	20	芦屋町公民館長松浦猛	御老人様	本年度町敬老会挙行の案内	紙	1	封筒あり、芦屋町公民館より安高シゲ宛
W	23	11-1	〔書簡〕				与次郎	団兵衛殿家内御一同	葛生先生御逝去に当たり任務は遂げた。儀礼として鈴木委員長より礼状のこと	便箋	4	国際郵便用封筒あり、北米桑港日本社扇谷与次郎より安高団兵衛宛、W23-11-1～11-5一括
W	23	11-2	謹告	昭和33	3	2	扇谷	北米旧本会員同志御中	葛生能久先生逝去と告別式の広告	新聞	1	
W	23	11-3	〔写真〕						葛生先生追悼式の様子	写真	1	
W	23	11-4	〔写真〕						葛生先生追悼式の集合写真	写真	1	
W	23	11-5	〔写真〕						大川周明先生追悼の幟の写真	写真	1	
W	23	12-1	〔書簡〕	昭和33	5	13	扇谷拝	団兵衛殿	帰朝近づき出発までは多忙。帰国お迎え下さるとのこと誠に有難く恐縮	便箋	2	国際郵便用封筒あり、北米桑港日本社扇谷与次郎より安高団兵衛宛、W23-12-1～12-4一括
W	23	12-2	〔封筒〕						国際郵便用封筒のみ扇谷氏のアメリカ住所記載	封筒	1	
W	23	12-3	〔写真〕						今上陛下天長節の幟の写真	写真	1	
W	23	12-4	〔写真〕						屏風を前にした扇谷氏ヵの写真	写真	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	23	13	〔クリスマスカード〕	〔昭和31〕			Takeda family	Mr. &Mrs. D. Ataka	カナダ在住のタケダ氏よりクリスマスカード	紙	1	封筒あり、M. TAKEDA より安高団兵衛宛
W	23	14	〔来信控〕						来信数、差出人等の控	紙	1	
W	23	15	〔書簡下書〕	昭和31	1	27			酒井大先生に診察して頂き、服薬して全快	紙	1	割り箸入れの紙を利用
W	23	16	〔葉書〕	〔昭和31〕			（横川直彦）	遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	歌道若松三日会の昭和三十一年度歌題。毎月の歌題一覧と締切、用紙、会費などについて	葉書	1	
W	23	17	〔電報〕				クマモトヤナギ	アシヤマチアワヤアタカダンベエ殿	「リキエチチシスタノム」とあり	紙	1	消印「31.1.21」
W	23	18	〔電報〕				トク七フクオカアシヤ	アワヤアタカダンベイ殿	サイドキキタ	紙	1	消印「31.5.4」
W	23	19	〔書簡写〕						御無事御到着とのこと安心した。おまへの手紙と同日に日本大学世田谷教養部よりも三枚封書で来た。積水化学などの株数書上あり	罫紙	1	
W	23	20	〔電報〕				トク七フクオカナカマ	アワヤアタカダンベイ殿	シキゴ四ジニスルマサヨシ	紙	1	
W	23	21	〔電報〕				ウナトク二五フクオカナカマ	アシヤマチアワヤアタカダンベエ殿	ケツコンスルシキ一一ヒヒルアゲルオイデコウマサ	紙	1	
W	23	22	〔書簡下書〕						永田要蔵さんが入院のこと。療養費について	紙	1	進駐軍伐採以前の被害の調書に書き込み
W	23	23	〔葉書〕	昭和28	4	28	八幡青果内岡田秋寿	遠賀郡芦や町字粟や安高団平様	安高様買付通知書。人参出荷の書上	葉書	1	
W	23	24	〔天言〕						天言、大和魂、横川法語、感謝文の題名がついた文章等あり。人生訓ヵ	紙	1	
W	23	25-1	〔書簡〕	昭和25	5	3	扇谷与次郎、まき	団兵衛様	先に妻を帰国させる。私が帰国するまで御世話を御願いする。五月七日に出発、同二十一日、二十二日に到着。引越にて荷物沢山に付、御手数の程、御願いする	便箋	2	国際郵便用封筒あり、安高まきより安高団兵衛宛、W23-25-1～25-2一括
W	23	25-2	〔書簡〕	昭和25	5	5	安高マキ	父上様、母上様	私が先に帰国。ハワイを出てから電報を打つので、迎えに来て下さい	便箋	2	
W	23	26-1	〔書簡〕	昭和25	2	15			手紙の御礼。近況報告。一月十六日に日本から議員が米国視察に来て、主人のお友達が来たので迎えに行った。父上様、母上様の達者な内に帰りたく、近所で暮らしたいと思っている	紙	2	国際郵便用封筒あり、扇谷まきより安高団兵衛宛、W23-26-1～26-2一括
W	23	26-2	〔写真〕						集合写真。裏に「昭和二十五年一月十八日記付、訪米議員一行一月十六日桑着、交友及知人と記念の一葉、山崎、浅沼、大池、扇谷」とあり	写真	1	
W	23	27	〔書簡〕			元旦	与次郎、満喜子	父上様、母上様	「謹賀新年、御年賀申し治メ候」	紙	1	国際郵便用封筒あり、扇谷まきより安高団兵衛宛
W	23	28	〔書簡〕			元旦	与次郎、満喜子	団兵衛御夫妻、御家族一同へ	「謹賀新年、御年賀申し治メ候」	紙	1	国際郵便封筒あり、扇谷夫妻より安高夫妻宛
W	23	29-1	〔書簡〕	昭和24	12	7	扇谷与次郎、仝まき	団兵衛様、仝りきの様	近況報告。去十一月廿九日に種々の品を送附したので、お受け取り下さい。取り合わせて入れているので、御分配下さい。ブランケートや父上様にビロドのズボンを送ります	紙	2	国際郵便用封筒あり、扇谷まきより安高団兵衛宛、W23-29-1～29-5一括
W	23	29-2	〔品物目録〕				与次郎、まきより	団兵衛様、りきの様	チューニガム、シエーターなど送附品の目録	紙	1	
W	23	29-3	〔写真〕	昭和24	5	5			扇谷まきの写真。裏に「昭和二十四年五月五日写、在米桑港にてまき」とあり	写真	1	
W	23	29-4	〔荷札〕						安高団兵衛への送附品の荷札	紙	1	
W	23	29-5	〔通知〕	昭和24	12	24	芦屋郵便局	安高団兵衛殿	外国来小包郵便物到着通知書	紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	23	30-1	〔書簡〕		12	7	与次郎、まき		御機嫌伺。近況報告。去る十一月二十九日附でお土産物をお送りしたのでお納め下さい	紙	1	国際郵便用封筒あり、扇谷夫妻より安高夫妻宛、W23-30-1～30-8一括
W	23	30-2	〔写真〕	昭和24	5	5			扇谷まきの写真。裏に「昭和二十四年五月五日写、在米桑港にてまき」とあり	写真	1	W23-30-1同折
W	23	30-3	〔写真〕	昭和24	7	3			サンフランシスコ空港前での写真。裏に「昭和二十四年七月三日、北米サンフランシスコ市の飛行場にてのまき子、自家用自動車の前にて、与次郎写撮」とあり	写真	1	W23-30-1同折
W	23	30-4	〔品物目録〕	昭和24	11	7	与次郎、まき		上袋、縫針、切れ地など送附品の目録	紙	1	
W	23	30-5	〔荷札〕						安高福蔵への送附品の荷札	紙	1	
W	23	30-6	〔領収証〕		10	28			送附品に関する領収証ヵ。アメリカで作成のもの	紙	1	
W	23	30-7	〔救恤小包検査票〕		12	22			門司税関における送附品の内容検査の証明書	紙	1	
W	23	30-8	〔救恤小包検査票〕		12	24			門司税関における送附品の内容検査の証明書	紙	1	
W	23	30-9	〔通知〕	昭和24	12	23	芦屋郵便局	安高福蔵殿	外国来小包郵便物到着通知書	紙	1	
W	23	31-1	〔書簡〕	昭和24	11	3	在北米扇谷与次郎、仝まきヨリ	敬愛なる安高団兵衛様	御機嫌伺。近況報告。祖国情勢通知の御礼。今度の結縁は良好、幸福に付、御父上御母上に良くお伝え下さるよう申し上げます。御家族一同の御健康と、日本再建への御奮闘、国民一般の幸福を祈る	紙	4	国際郵便用封筒あり、扇谷かいより安高夫妻宛、W23-31-1～31-3一括
W	23	31-2	〔書簡〕	昭和24	11	3	与次郎、まき様	父上様、母上様御許へ	時候御見舞。私共元気に付、御安心下さい	紙	1	
W	23	31-3	〔名刺〕						「御礼　内閣総理大臣　広田弘毅」の名刺。加筆で「記念一九参拾五年扇谷国士与次郎、保存して下さい。昭和二十三年十二月二十三日亡ス、命日」とあり、裏書に「若し機会が在りましたら、遺族広田様家に宜ろ敷く、命日は拝んで居ます」とあり	名刺	1	
W	23	32-1	〔書簡〕	昭和24	9	7	与次郎、まき	父上様、母上様	時候御見舞。私共仲良く元気。御存在の内お逢いに行く心懸けです	紙	1	国際郵便用封筒あり、扇谷かいより安高夫妻宛、W23-32-1～32-2一括
W	23	32-2	〔書簡〕	昭和24	9	7	業扇谷与次郎	安高団兵衛殿	先達の事変に就いて御一族の御安否を案じて居ます。当方、元気に幸福に過ごしている。再建日本の姿を見るまで死なない。皆様の張り切った御奮活を遙かに祈る	紙	1	
W	23	33-1	〔書簡〕	昭和24	9	5	マキヨリ	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋弟安高団兵衛様	時候見舞。シゲズミサンやスズキサンのお勧めで結婚した。扇谷与次郎という方で頭山満の弟子にあたる方です。日曜には遊びに行く。私は歯が一本もなく、入歯にします。歯が入ったら二人で写真に写って送ります	紙	2	国際郵便用封筒あり、扇谷まきより安高団兵衛宛、W23-33-1～33-2一括
W	23	33-2	〔書簡〕	昭和24	9	5	マキヨリ	安高リキノ様	時候見舞。あなたのお兄様はバンクーバーのどこかお知らせ下さい。内の弟の腎臓の病はいかがですか。	紙	2	
W	23	34-1	〔書簡〕	昭和24	7	11	北米扇谷与次郎	安高御夫妻外一同	まきとの結婚挨拶。御家族一同様には国家再建のため御奮闘のこと、豊かに恵まれることを祈る	紙	3	国際郵便用封筒あり、扇谷かいより安高福蔵宛、W23-34-1～34-9一括
W	23	34-2	〔切抜〕						ヨセミテ国立公園の観光の新聞広告の切抜。日本タキシー旅行案内主任扇谷とあり、事務所や自宅の住所明記	紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	23	34-3	〔写真〕						扇谷与次郎の写真。裏に「一九四七年六月七日　クリスタル市収容所記念、シイミングポールにて扇谷です」とあり	写真	1	
W	23	34-4	〔写真〕						収容所の航空写真。裏に「一九四五年日本人ドイツ人合六千四百数十各収容の記念、扇谷、テキサス州クリスタ収容所全景、飛行上から見たキンプ」とあり	写真	1	
W	23	34-5	〔写真〕						扇谷与次郎の写真。表に「1941、12-7捕われ1947七月釈放、1947北米扇谷」、裏に「一九四七年六月五日収容記念クリスタル園庭にて扇谷です」とあり	写真	1	
W	23	34-6	〔写真〕						扇谷与次郎の写真。表に「1941、12-7捕われ1947七月一日釈放、北米ニテ扇谷」、裏に「クリスタ収容所にて区長当時、十二月七日満五ヶ年記念扇谷です」「日米開戦により監禁サレタ代表人数は三千五十人でし、開戦十二月七日揮導者として亦南北米国ハワイ合せて四十八万之代表即日捕われ十一各内の数いられた一人り私しです」とあり	写真	1	
W	23	34-7	〔写真〕						扇谷与次郎の写真。表に「1941、12-7捕われ1947七月一日釈放、北米ニテ扇谷」、裏に「クリスタル収容キンプ大庭にて、十二月三日勅語奉読後祝式当日記念撮影、扇谷です」とあり	写真	1	
W	23	34-8	〔写真〕						扇谷与次郎の写真。表に「1941、12-7捕われ1947七月一日釈放、北米ニテ扇谷」、裏に「収容性活五ヶ年記念クリスタル監禁所にて区長当時の扇谷です。エンターメントキンプ、今日は静休です」とあり	写真	1	
W	23	34-9	〔写真〕						扇谷与次郎の写真。表に「2/11 AT 1947 AT CRYSTAL CITY CAMP、北米ニテ扇谷」とあり、裏に「一九四七、二月十一日記念に自住内にて扇谷です」「クーリスタル収容所」とあり	写真	1	
W	23	35-1	〔書簡〕		7	11	まき	父上母上外一同	御地方の暴風について、御家族親類他一同の御安否、慰問旁御見舞申上	紙	1	国際郵便用封筒あり、扇谷まきより安高福蔵宛、W23-35-1～35-16一括
W	23	35-2	〔書簡〕	昭和24	7	11	在北米桑港にてまきより、代筆夫与次郎	父上様、母上様外御一同	今度良縁にて結婚。本人は富山県出身、元黒龍会及祖国会在米支部長兼幹事、故頭山満先生の表照、扇谷与次郎明治二十二年十一月生。媒介人重住杏之助氏と鈴々木俊三氏により、六月五日式を挙げ、日常朗らかに過ごしている	紙	2	
W	23	35-3	〔切抜〕						扇谷与次郎氏五日結婚式の見出しの新聞記事切抜	紙	1	
W	23	35-4	〔切抜〕						扇谷氏旅行の見出しの新聞記事切抜	紙	1	
W	23	35-5	〔切抜〕						扇谷与次郎氏結婚式盛大の見出しの新聞記事切抜	紙	1	
W	23	35-6	〔写真〕						日本建築の写真。裏に「サンフランシスコ市各所の内、日本園庭金門公園正門です」「一九四九年五月十日記念梅花盛開の日に」とあり	写真	1	
W	23	35-7	〔写真〕						自家用車を背景に扇谷まき子の写真	写真	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	23	35-8	〔写真〕						扇谷まき子の写真。裏に「ハリウード市スターメーレピーク嬢之園庭に於けり撮写記念、シエメングポール庭にてまき、昭和二十四年六月十三日、メーレピークホード女の庭」とあり	写真	1	
W	23	35-9	〔写真〕						扇谷まき子の写真。裏に「一九四九六月十三日ハリウードドオグラースフエーやパンク、活役、自宅正門にて安高事扇谷まき子と愛車です」とあり	写真	1	
W	23	35-10	〔写真〕						扇谷まき子の写真。裏に「一九四九年五月十五日金門公園にて梅洋花見学記念にまき子」とあり	写真	1	
W	23	35-11	〔写真〕						自家用車の写真。裏に「一九四九年サンフランシスコ萬国飛行です、私用自動車最高級ヤダラーク車、エンベリヤルモジン号七人乗」とあり	写真	1	
W	23	35-12	〔写真〕						扇谷まき子の写真。裏に「昭和二十四年六月一日、桑港高地にて、まき子」とあり	写真	1	
W	23	35-13	〔写真〕						扇谷まき子の写真。裏に「こでは今年の三月にこをえんてさくらのしたでうつしていたらきました」とあり	写真	1	
W	23	35-14	〔写真〕						人物、車の写真。裏に「同じく一九四九六月十三日本田家前にて、私之愛車と本田夫人（仙平氏妻）」とあり	写真	1	
W	23	35-15	〔写真〕						人物、車の写真。裏に「今回旅行途上一九四九六月十三日ロサンゼルス市に本田仙平氏宅訪之時に仙平息女房子と私之の姿です」とあり	写真	1	
W	23	35-16	〔写真〕						扇谷まき子の写真。「こでは私の内で今年の二月にうつしていたらきました」とあり	写真	1	
W	23	36	〔書簡〕		10	7	佳子	叔父様へ	御手紙拝見。父の病気はこちらの医者にお伺いした処、本人に言えない病気が他にあるのではないか、直接医者に病名を聞いて頂く方がよいとのこと。家の件は整理することに賛成。父が東京に来ることは反対。理由は夫の親類との関係、私の体、居住環境、経済の問題	便箋	8	封筒あり、山本佳子より安高団兵衛あて
W	23	37	〔書簡〕				ハツ子	安高様	姉の三回忌法要参会の御礼。家の件も皆様のお力で片付き、松原の問題も協議して頂き、私も悦んでいる。立替下さった金子三阡五百円他同封に付、お修め下さい	罫紙	1	現金書留用封筒あり、畠中ハツ子より安高団兵衛宛、消印「31.9.18」
W	23	38-1	〔皇居参観の手続〕	〔昭和30〕	3	9			皇居参観の手続を尋ねた際に写した、参観者、参観日、参観時間及入門、参観の願出及許可の詳細	罫紙	1	封筒あり、安高団兵衛より宮内庁総務課御中宛、W23-38-1～38-3一括
W	23	38-2	皇居拝観許可願	昭和30	3	9	本籍福岡県遠賀郡蘆屋町大字蘆屋千弐百五番地農業安高団兵衛明治二十九年三月二十二日生（印）、右ノ四男安高保正昭和十二年二月二十日生（印）	宮内庁総務課御中	皇居拝観の許可願	罫紙	1	
W	23	38-3	〔皇居拝観許可願下書〕	昭和30	3	9	本籍福岡県遠賀郡蘆屋町大字蘆屋千弐百五番地農業安高団兵衛明治二十九年三月二十二日生	宮内庁総務課御中	皇居拝観の許可願	罫紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	23	39	〔書簡〕		早月	6	藤	安高様	お写真をお送り下さり有難うございました。御子息様日大に御入学のことお喜び申上ます。福岡県東京事務所の職員の動静について	便箋	2	封筒あり、藤祥子より安高団兵衛宛
W	23	40-1	〔案内状〕	昭和31	5		田中健介(印)	安高団兵衛殿	故深田鶴松翁の慰霊祭執行。故翁記念事業推進について	紙	1	封筒あり、故深田翁記念頌徳館建設委員会より安高団兵衛宛、W23-40-1～40-3一括
W	23	40-2	〔支払用紙〕						故深田翁記念頌徳舘建設委員会御中の払込用紙	紙	1	W23-40-1同折
W	23	40-3	深田鶴松翁記念頌徳館建設趣意書	昭和31	4		吉田徳壮、田中健介、大庭実		高倉神社境内に故翁記念の頌徳館建設計画につき、御協力を御願い申上	紙	1	
W	23	41	催告書	昭和31	6	15	福岡県遠賀保健所長渋江有明	安高団兵衛殿	狂犬病予防法に基づき、狂犬病予防注射を実施したが、接種もれであるので催告する	紙	1	
W	23	42	〔記〕	昭和31	9	6	芦屋町総務課渉外係	安高団兵衛殿	接収地借上料が送ってきたのでお支払いする	紙	1	
W	23	43	〔書簡〕				千鶴子	父上様	味噌用大豆八升買って来て下さい	便箋	1	
W	23	44	〔書簡〕				信子より	母上様	お餅の御礼。羽織の寸法について尋ね事。明日、隆盛さんが私の家に来るのでお返事下さい	便箋	1	封筒あり、表裏に雑記あり
W	23	45	〔書簡〕	昭和31	11	15	秋山光見	安高団兵衛様	金九千円也、十一月分利息を同封御送附申上。本日、航空便にてハンガリーのソ連虐殺について学界をあげてこれを阻止し、原爆戦禁止についての問題などで忙殺されている	便箋	3	封筒あり、秋山光見より安高団兵衛宛
W	23	46	〔書簡〕				儀壮		廿九年殿の被害補償金支払に御尽力下さい。米駐留軍による山林伐採による被害の状況が判明	罫紙	1	封筒あり、木原儀壮より安高団兵衛宛
W	24	1	〔封筒〕	〔昭和28〕	6	17	歌道若松三日会　横川直彦	安高団兵衛		封筒	1	
W	24	1-1	〔書簡〕	〔昭和28〕	6	17	歌道若松三日会　横川直彦	安高団兵衛	入会お礼	紙	1	
W	24	1-2	〔短歌〕							紙	1	
W	24	1-3	昭和二十八年度歌題				若松三日会			紙	1	
W	24	1-4	〔短歌草稿〕							紙	1	
W	24	2	〔封筒〕	〔昭和〕28	7	20	歌道若松三日会	安高団兵衛	三日会六月分短歌	封筒	1	
W	24	3	〔封筒〕	〔昭和〕28	9	8	歌道若松三日会	安高団兵衛	三日会七月分短歌	封筒	1	
W	24	4	〔封筒〕	〔昭和〕28	10	7	歌道若松三日会	安高団兵衛	三日会短歌	封筒	1	
W	24	5	〔封筒〕	〔昭和〕28	11	17	歌道若松三日会	安高団兵衛	三日会短歌	封筒	1	
W	24	6	〔封書〕	〔昭和〕28	12	14	歌道若松三日会	安高団兵衛		紙	1	
W	24	6-1	〔歌道若松三日会十一月分短歌〕							紙	1	
W	24	6-2	昭和二十九年度歌題							紙	1	
W	24	7	〔封筒〕	〔昭和〕29	2	3	歌道若松三日会	安高団兵衛	三日会十二月分短歌	封筒	1	
W	24	8	〔封筒〕	〔昭和〕29	3	18	歌道若松三日会	安高団兵衛	三日会一月分短歌	封筒	1	
W	24	9	〔封筒〕	〔昭和〕29	6	1	歌道若松三日会	安高団兵衛	三日会三月分短歌	封筒	1	
W	24	10	〔封筒〕	〔昭和〕30	2	11	歌道若松三日会	安高団兵衛		封筒	1	
W	24	10-1	〔歌道若松三日会短歌〕							紙	1	
W	24	10-2	〔通達〕	〔昭和〕29	12	9	芦屋町総務課渉外係	安高福蔵	高射砲陣地関係借上料について	紙	1	
W	24	10-3	明細書	昭和29	12	21	芦屋町総務課渉外係	安高福蔵	借上料明細	紙	1	
W	24	11	〔封筒〕	昭和30	1	8	福岡調達局長　渋谷寛吾	安高福蔵	芦屋高射砲陣地用地の返還通知	封筒	1	
W	24	12	〔封筒〕	〔昭和30〕	2	19	八幡牛乳処理販売協同組合	安高藤吉	一月分原乳代金支払日変更	封筒	1	
W	24	13	〔時局下の農業について〕	昭和18	4	17	安高団兵衛	毎日新聞社福岡支局		綴	1	
W	24	14	〔葉書〕	昭和30	1	1	戸次義澄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	15	〔葉書〕	〔昭和30〕	1	1	山辺国政	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	16	〔葉書〕	〔昭和30〕	1	1	山田源太郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	17	〔葉書〕	昭和30	1	1	秋山光見	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	24	18	〔葉書〕	昭和30	1	1	福岡郵便局保健課　畠中直次	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	19	〔葉書〕	昭和30	1	1	政治経済研究所　安藤敏夫	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	20	〔葉書〕	昭和30	1	1	早川利夫	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	21	〔葉書〕	昭和30	1	1	内山昌亮	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	22	〔葉書〕	昭和30	1	1	日本観光社　上田儀三郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	23	〔葉書〕	昭和30	1	1	阿蘇町　小島頼男	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	24	〔葉書〕	昭和30	1	1	芦屋郵便局長　吉永光雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	25	〔葉書〕	昭和30	1	1	遠賀村議会議長　井口強	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	26	〔葉書〕	昭和30	1	1	三村俊蔵	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	27	〔葉書〕	昭和30	1	1	明前高等学校　酒井善左衛門	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	28	〔葉書〕	昭和30	1	1	刀根善太郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	29	〔葉書〕	昭和30	1	1	福岡県農政部農務課　八尋成美	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	30	〔葉書〕	昭和30	1	1	安部自転車商会	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	31	〔葉書〕	昭和30	1	1	田窪雅宣	安高福蔵・内	年賀状	葉書	1	
W	24	32	〔葉書〕	昭和30	1	1	参議院議員　野田俊作	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	33	〔葉書〕	昭和30	1	1	福岡県警察本部秘書課　入江節雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	34	〔葉書〕	昭和30	1	1	荒井しずこ	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	35	〔葉書〕	〔昭和〕30	1	1	京都市　森本政次郎	安高団平	年賀状	葉書	1	
W	24	36	〔葉書〕	〔昭和〕30	1	1	小野藤右衛門	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	37	〔葉書〕	〔昭和〕30	1	1	松尾豊	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	38	〔葉書〕	昭和30	1	1	福岡県議会議員　松岡功	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	39	〔葉書〕	昭和30	1	1	俵山温泉　岡島旅館	安高団兵衛・りきの	年賀状	葉書	1	
W	24	40	〔葉書〕	〔昭和〕30	1	1	浜中耕三郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	41	〔葉書〕	昭和30	1	1	早川朝洋	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	42	〔葉書〕	昭和30	1	1	富山市　田村兵治	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	43	〔葉書〕	〔昭和〕30	1	10	河内石松家一同	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	44	〔葉書〕	昭和30	1	1	福岡県議会議員　栗川正雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	45	〔葉書〕	昭和30	1	1	岡垣村　中村昌弘	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	46	〔葉書〕	昭和30	1	1	俵山温泉　山口屋旅館	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	47	〔葉書〕	昭和30	1	4	洞海プリント社	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	48	〔葉書〕	昭和30	1	1	植木保	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	49	〔葉書〕	昭和30	1	1	宮川義雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	50	〔葉書〕	昭和30	1	1	柴田喜次郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	51	〔葉書〕	昭和30	1	1	白垣弥次	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	52	〔葉書〕	昭和30	1	1	中間町議会議長　加来繁雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	53	〔葉書〕	昭和30	1	1	東京都　笠国男	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	54	〔葉書〕	昭和30	1	1	前原町　舟の湯　旅館此の里	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	55	〔葉書〕	昭和30	1	1	日本民主党相談役　渕上房太郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	56	〔葉書〕	昭和30	1	1	水巻中学校　近松一好	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	57	〔葉書〕	昭和30	1	1	坂田熊一	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	58	〔葉書〕	昭和30	1	1	堤写真館	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	59	〔葉書〕	〔昭和30〕	1	1	旅館豊水園	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	60	〔葉書〕	昭和30	1	1	筑水旅館	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	61	〔葉書〕	〔昭和〕30	1	1	香山満寿郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	62	〔葉書〕	昭和30	1	1	佐賀県基山町　岸金四郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	63	〔葉書〕	昭和30	1	1	運輸省羽田航空保安事務所　亀津広門	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	64	〔葉書〕	昭和30	1	1	大分県安心院町　中村藤治郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	65	〔葉書〕	昭和30	1	1	東京都　一ツ橋　旅館一橋寮	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	66	〔葉書〕	昭和30	1	1	株式会社　白羊商店	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	67	〔葉書〕	昭和29	12	31	吉武弥太郎・としゑ	安高団兵衛	喪中欠礼状	葉書	1	
W	24	68	〔葉書〕	〔昭和〕30	1	1	東京都渋谷区　大庭勝一	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	24	69	〔葉書〕	昭和30	1	1	旅館　九州　陣場政則	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	70	〔葉書〕	昭和30	1	1	東京都墨田区　陣場正輝	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	71	〔葉書〕	〔昭和〕30	1	1	東京都港区　山本武	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	72	〔葉書〕	〔昭和〕30	1	1	八幡市　藤崎正次郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	73	〔葉書〕	〔昭和〕30	1	1	東京都新宿区　原田晴実	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	74	〔葉書〕	昭和30	1	1	直方市　石橋良之	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	75	〔葉書〕	〔昭和〕30	1	4	山鹿　秋山光清	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	76	〔葉書〕	昭和30	1	1	折尾簡易裁判所　高尾勇	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	77	〔葉書〕	昭和30	1	1	明治大学理事　市川文雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	78	〔葉書〕	昭和30	1	1	農林省農地局　内藤良雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	79	〔葉書〕	〔昭和〕30	1	1	吉田三郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	80	〔葉書〕	昭和30	1	1	東京都練馬区　秋山光材	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	81	〔葉書〕	昭和30	1	12	岡湊神社宮司　林田守治	安高団兵衛	正祭祭典執行案内	葉書	1	
W	24	82	〔往復葉書〕	〔昭和〕30	1	7	芦屋町二水倶楽部	安高団兵衛	新年宴会案内	葉書	1	
W	24	83	〔葉書〕	昭和30	1	12	二日市町　波多野アサノ	安高団兵衛・りきの	年賀状	葉書	1	
W	24	84	〔葉書〕	〔昭和〕30	1	1	福岡県治山課　秋吉徹郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	85	〔葉書〕	昭和30	1	1	岡湊神社宮司　林田守治	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	86	〔葉書〕	昭和30	1	1	醤油問屋酒類商桑原勇吉商店	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	87	〔葉書〕	昭和30	1	1	直方市　椛田清太郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	88	〔葉書〕	昭和30	1	1	福岡地方裁判所小倉支部　東文男	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	89	〔葉書〕	昭和30	1	1	森山武夫	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	90	〔葉書〕	昭和30	1	1	材木商　吉田徳蔵・吉田徳夫	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	91	〔葉書〕	昭和30	1	1	福岡県農政部農務課　鈴木四市	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	92	〔葉書〕	昭和30	1	1	宇美町　南英子	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	93	〔葉書〕	昭和30	1	1	筑紫郡那珂町　八坂甚弥	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	94	〔葉書〕	〔昭和〕30	1	1	霊験寺　宇野莞爾	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	95	〔葉書〕	〔昭和〕30	1	1	遠賀川局　永田	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	96	〔葉書〕	昭和30	1	1	三原朝雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	97	〔葉書〕	昭和30	1	10	水巻町　小田藤男	安高団兵衛	亡父葬儀会葬礼状	葉書	1	
W	24	98	〔葉書〕	昭和35	1	1	八幡市　安高繁治郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	99	〔葉書〕	昭和35	1	1	芦屋町　秋山かめの	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	100	〔葉書〕	昭和35	1	1	佐藤太市	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	101	〔葉書〕	昭和35	1	1	岡垣村高倉神社	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	102	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	1	宗像郡赤間町　中村正広	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	103	〔葉書〕	昭和35	1	1	福岡市大盛産業株式会社　妹尾悦輔	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	104	〔葉書〕	昭和35	1	1	東京都　秋山光民	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	105	〔葉書〕	昭和35	1	1	鞍手郡小竹町　渕上房太郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	106	〔葉書〕	昭和35	1	1	遠賀村議会議員　重広新	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	107	〔葉書〕	昭和35	1	1	芦屋町教育長　松浦猛	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	108	〔葉書〕	昭和35	1	1	直方市　石橋良之	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	109	〔葉書〕	昭和35	1	1	福岡中央郵便局保険課　畠中直次	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	110	〔葉書〕	昭和35	1	1	東京都渋谷区　工藤八代子	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	111	〔葉書〕	昭和35	1	1	岡垣村議会副議長　広渡松雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	112	〔葉書〕	昭和35	1	1	遠賀郡　麻生建材店	あたか団平	年賀状	葉書	1	
W	24	113	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	1	芦屋町　黒山□□	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	114	〔葉書〕	昭和35	1	1	芦屋町　中西勇雄・光子	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	115	〔葉書〕	昭和35	1	1	八幡市　香山和寛・秀子	安高団兵衛・御一同	年賀状	葉書	1	
W	24	116	〔葉書〕	昭和35	1	1	東京都港区　有馬英治	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	117	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	1	岡垣村　広渡成男	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	118	〔葉書〕	昭和35	1	1	河野名島病院内　古賀恵啓	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	119	〔葉書〕	昭和35	1	1	芦屋町　三村俊蔵	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	24	120	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	6	東京都港区　山本武	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	121	〔葉書〕	昭和35	1	1	芦屋町　安高幹雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	122	〔葉書〕	昭和35	1	1	日本住宅公団福岡支所　鈴木四市	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	123	〔葉書〕	昭和35	1	1	戸畑市　塚原たよ子	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	124	〔葉書〕	昭和35	1	1	有限会社新生舎　津田為次	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	125	〔葉書〕	昭和35	1	1	岡垣村　花田永造	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	126	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	1	富山広貫堂　田村兵治	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	127	〔葉書〕	昭和35	1	1	東京都港区　神谷莞爾	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	128	〔葉書〕	昭和35	1	1	直方市　合資会社椛田商店	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	129	〔葉書〕	昭和35	1	1	東京都練馬区　秋山光一	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	130	〔葉書〕	昭和35	1	1	安高久米吉	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	131	〔葉書〕	昭和35	1	1	平戸市長　山鹿光世	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	132	〔葉書〕	昭和35	1	1	福間町　香豊園　松尾豊	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	133	〔葉書〕	昭和35	1	1	渋谷区　大庭勝一	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	134	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	1	渋谷区　旅寮しんめん	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	135	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	1	八幡市　藤崎正次郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	136	〔葉書〕	昭和35	1	1	遠賀青果株式会社	安高団平	年賀状	葉書	1	
W	24	137	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	1	東京都大田区　亀津広門	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	138	〔葉書〕	昭和35	1	1	稲築町　参議院議員　西田隆男	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	139	〔葉書〕	昭和35	1	1	水巻町　白垣弥次	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	140	〔葉書〕	昭和35	1	1	東京都　菊本ニッポン服装社	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	141	〔葉書〕	昭和35	1	1	福岡県総務部　深沢裕次	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	142	〔葉書〕	昭和35	1	1	衆議院議員　岡部得三	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	143	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	1	芦屋町　小野浅次郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	144	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	1	芦屋町　浜中耕三郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	145	〔葉書〕	昭和35	1	1	若松市　津山つる	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	146	〔葉書〕	昭和35	1	1	中間市　岡部実太郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	147	〔葉書〕	昭和35	1	1	福岡県議会議員　三原朝雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	148	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	1	佐賀県基山町　岸金四郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	149	〔葉書〕	昭和35	1	1	衆議院議員　渡辺本治	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	150	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	1	石橋つもる	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	151	〔葉書〕	昭和35	1	1	芦屋町　中山司	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	152	〔葉書〕	昭和35	1	1	松本道子(松本七郎妻)	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	153	〔葉書〕	昭和35	1	1	玄海町神湊　永島伝三郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	154	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	1	芦屋町農業協同組合　大野達雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	155	〔葉書〕	昭和35	1	1	俵山温泉　糸永旅館	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	156	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	1	佐賀県肥前町山田屋旅館　山田源太郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	157	〔葉書〕	昭和35	1	1	大天野町　荒井初次	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	158	〔葉書〕	昭和35	1	1	久留米市　酒井善左衛門	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	159	〔葉書〕	昭和35	1	1	芦屋町　吉永光雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	160	〔葉書〕	昭和35	1	1	梅林土木株式会社芦屋出張所所長森山武夫	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	161	〔葉書〕	昭和35	1	1	参議院議員　剱木亨弘	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	162	〔葉書〕	昭和35	1	1	永田要蔵	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	163	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	1	芦屋町　柴田喜次郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	164	〔葉書〕	昭和35	1	1	水巻町　栗川正雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	165	〔葉書〕	昭和35	1	1	八幡市　高橋時計店	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	166	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	1	桑原勇吉・桑原菊夫	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	167	〔葉書〕	昭和35	1	1	芦屋台地土地改良区理事長　松井勝	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	168	〔葉書〕	昭和35	1	1	芦屋町　吉田呉服店	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	169	〔葉書〕	昭和35	1	1	西日本相互銀行	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	24	170	〔葉書〕	昭和35	1	1	芦屋町　筑水旅館	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	171	〔葉書〕	昭和35	1	1	八幡市　株式会社花屋　吉田節	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	172	〔葉書〕	昭和35	1	1	芦屋町商工会会頭　徳永勝一	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	173	〔葉書〕	昭和35	1	1	芦屋町　早川利夫	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	174	〔葉書〕	昭和35	1	1	遠賀村　永田賀一	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	175	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	1	福岡市　高群花子	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	176	〔葉書〕	昭和35	1	1	東京　早川朝洋	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	177	〔葉書〕	昭和35	1	1	伊東市　秋山光見	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	178	〔葉書〕	昭和35	1	1	相模原市　内山昌亮	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	179	〔葉書〕	昭和35	1	1	長崎県鯛之鼻　伊豆清	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	180	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	1	芦屋町　瀬戸正広	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	181	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	1	龍区　中村藤治郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	182	〔葉書〕	昭和35	1	1	幸町　波田健三郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	183	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	1	山鹿小学校　藤本春秋子	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	184	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	1	八幡市　香山満寿郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	185	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	1	岡山市　和栗博	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	186	〔葉書〕	昭和35	1	1	梅林土木株式会社芦屋出張所所長森山武夫	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	160と同文
W	24	187	〔葉書〕	昭和35	1	1	鳥栖市　宇野得三	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	188	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	1	芦屋町　永野電気工業所　永野健太郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	189	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	1	遠賀村　小野藤右衛門	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	190	〔葉書〕	昭和35	1	1	福岡市　岡沢麟太郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	191	〔葉書〕	昭和35	1	1	遠賀村　豊水園	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	192	〔葉書〕	昭和35	1	1	芦屋町　岡湊神社宮司　林田守治	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	193	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	1	岡垣村　麻生治正	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	194	〔葉書〕	〔昭和〕36	1	1	芦屋　重岡達雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	195	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	1	芦屋町　重岡達雄	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	196	〔葉書〕	昭和35	1	1	東町新川　渡辺一郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	197	〔葉書〕	昭和35	1	1	山口県豊浦郡　伊藤百太郎	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	198	〔葉書〕	昭和35	1	1	八幡市　石松恒芳	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	199	〔葉書〕	昭和35	1	1	遠賀村　太田恵美子	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	200	〔葉書〕	昭和35	1	1	東京味噌醸造機製作所	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	201	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	1	立山洋品店・立山友の会	安高りきの	年賀状	葉書	1	
W	24	202	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	1	中野区　橘喜朔	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	203	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	1	千代田区　旅館一橘寮	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	204	〔葉書〕	昭和35	1	1	東京都練馬区　秋山光材	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	205	〔葉書〕	昭和35	1	10	熊本県阿蘇町　小島頼男	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	206	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	5	八幡市　安武たま	安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	24	207	〔年始挨拶状〕	〔昭和〕35	1	1	芦屋町　坂口新聞店			紙	1	
W	24	208	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	3	宗像町東郷　安高隆盛	安高団兵衛・りきの	2、3日中に帰宅の予定、	葉書	1	速達
W	24	209	〔葉書〕	〔昭和〕35	1	11	八幡市　田窪雅宣	安高団兵衛	賀状への礼状	葉書	1	
W	24	210	〔現代用語辞書〕						〔前後欠〕	綴	1	
W	25	1	〔葉書〕	昭和31	8	5	日本ヒューム管株式会社八幡営業所・日本ヒューム管株式会社八幡出張所	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印、1から54まで一括
W	25	2	〔葉書〕	昭和31	1	1	三原朝雄	安高団兵衛	年賀欠礼	葉書	1	日付は消印
W	25	3	〔葉書〕	昭和31	1	1	柴田喜次郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	4	〔葉書〕	昭和31	1	1	吉田三郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	花屋
W	25	5	〔葉書〕	昭和31	1	1	吉田三郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	芦屋砂組合長
W	25	6	〔葉書〕	昭和31	1	1	刀根善太郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	7	〔葉書〕	昭和31	1	1	堤写真館	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	8	〔葉書〕	昭和31	1	1	森藤雄商会	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	9	〔葉書〕	昭和31	1	1	松尾豊	安高団兵衛	年賀	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	25	10	〔葉書〕	昭和31	1	1	山賀ポンプ店	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	11	〔葉書〕	昭和31	1	1	原田春実	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	12	〔葉書〕	昭和31	1	1	小島頼男	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	13	〔葉書〕	昭和31	1	1	陣場正輝・陣場正則	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	14	〔葉書〕	昭和31	1	1	山本武	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	15	〔葉書〕	昭和31	1	1	遠賀商事株式会社	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	16	〔葉書〕	昭和31	1	1	小野藤右衛門	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	17	〔葉書〕	昭和31	1	1	宮崎ヒナ	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	18	〔葉書〕	昭和31	1	1	近松一好	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	19	〔葉書〕	昭和31	1	1	長野クニ	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	20	〔葉書〕	昭和31	1	1	東京味噌醸造機製作所	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	21	〔葉書〕	昭和31	1	1	旅館一橋寮	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	22	〔葉書〕	昭和31	1	1	天本六蔵	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	23	〔葉書〕	昭和31	1	1	藤崎正次郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	日付は消印
W	25	24	〔葉書〕	昭和31	1	1	広田豪佐	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	25	〔葉書〕	昭和31	1	1	吉田徳蔵	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	26	〔葉書〕	昭和31	1	3	原田春実	安高団兵衛	年末滞在の際の欠礼おわびと海の幸お礼	葉書	1	日付は消印
W	25	27	〔葉書〕	昭和31	1	1	右山寿夫	安高団平	年賀	葉書	1	
W	25	28	〔葉書〕	昭和31	1	2	不詳	安高団兵衛	年賀	葉書	1	日付は消印
W	25	29	〔葉書〕	昭和31	1	1	橘喜朔	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	30	〔葉書〕	昭和31	1	5	遠藤一興	安高団兵衛	年賀	葉書	1	日付は消印
W	25	31	〔葉書〕	昭和31	1	1	森山武夫	安高団兵衛	年賀欠礼	葉書	1	
W	25	32	〔葉書〕	昭和31	1	9	波多野アサノ	安高りきの	友人近況報告	葉書	1	
W	25	33	〔葉書〕	昭和31	8	21	原田春実	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	25	34	〔葉書〕	昭和31	12	18	安高重二琅	安高団兵衛	粟屋行きの誘い	葉書	1	
W	25	35	〔書簡〕	〔昭和31〕	10	17	示誠日雄	安高団兵衛	役場内での読経支援依頼	紙	2	封筒あり
W	25	36	〔書簡〕	昭和31	10	25	秋山光見	安高団兵衛	借用依頼	紙	4	封筒あり
W	25	37	〔書簡〕	昭和31	9	16	芦屋町消防団第三分団	安高団兵衛	素人相撲大会ご案内	紙	1	封筒あり
W	25	38	〔書簡〕	〔昭和31〕	9	22	山本佳子	安高団兵衛	父親につき相談	紙	4	封筒あり、要蔵手紙同封
W	25	39	〔書簡〕	〔昭和31〕	9	17	安高信子	安高団兵衛	近況伺い	紙	2	封筒あり
W	25	40	〔書簡〕	〔昭和31〕	10	7	安高信子	安高団兵衛外御一同	近況報告	紙	2	封筒あり
W	25	41	〔書簡〕	昭和31	9	18	門司又一	安高団兵衛	ハワイ帰朝広渡君歓迎相撲大会御案内	紙	1	封筒あり
W	25	42	〔葉書〕	昭和31	12	15	小倉調達事務所長	安高団兵衛	芦屋飛行場地区境界現地調査立会願い	葉書	1	日付は消印
W	25	43	〔葉書〕	昭和31	10	5	東筑高校野球部	安高団兵衛	九州大会応援依頼	葉書	1	日付は消印
W	25	44	〔葉書〕	昭和31	10	4	高倉神社社務所・高倉神社復興奉賛会	安高団兵衛	秋季例大祭ご案内	葉書	1	日付は消印
W	25	45	〔葉書〕	昭和31	10	21	永田金十郎	安高団兵衛	法事ご案内	葉書	1	日付は消印
W	25	46	〔葉書〕	〔昭和31〕	10	2	広渡博岡垣村壮行会	安高団兵衛	広渡君歓迎相撲大会後援お礼	葉書	1	
W	25	47	〔葉書〕	〔昭和31〕	10	10	佐藤太市・重子	安高団兵衛・りきの	披露宴招待お礼	葉書	1	
W	25	48	〔葉書〕	昭和31	10	18	第二船頭町青年会外後援者一同	安高団兵衛	岡湊神社宮日大祭奉納相撲大会ご芳志お礼	葉書	1	
W	25	49	〔葉書〕	昭和31	8		山崎小五郎	安高団兵衛	残暑お見舞い	葉書	1	
W	25	50	〔葉書〕	昭和31	9	8	折尾警察署長	安高団兵衛	運転免許証臨時検査および法令講習案内	葉書	1	日付は消印
W	25	51	〔葉書〕	昭和31	9	19	永田要蔵	安高団兵衛	来宅ご案内	葉書	1	日付は消印
W	25	52	御通知	昭和31	12	15	芦屋小学校長河原勝	御父兄各位	感冒流行につき臨時休校	紙	1	
W	25	53	〔写真〕						RANTOUL TOWNSHIP HIGH SCHOOL、少女時代の通学校	紙	1	53と54は裏書が誤っているかもしれない
W	25	54	〔写真〕						FREDWRICK STREET SCHOOL、来年入学の高等学校	紙	1	
W	25	55	〔葉書〕	〔昭和31〕	5	5	秋山光民	安高団兵衛	父死去前後のお骨折りのお礼	葉書	1	55から185まで一括
W	25	56	〔葉書〕	〔昭和31〕	5	16	酒井幸子	安高団兵衛	父死去に際してお世話になったお礼	葉書	1	
W	25	57	〔葉書〕	〔昭和31〕	5	17	山鹿光世	安高団兵ヱ	写真お礼	葉書	1	
W	25	58	〔葉書〕	〔昭和31〕	3	18	水野豊作	安高団兵平	妹につきお礼	葉書	1	
W	25	59	〔書簡〕	昭和31	2	15	松藤綾子	安高団兵衛	歌のお礼	紙	2	日付は消印、封筒あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	25	60	〔書簡〕	〔昭和31〕	2	13	松藤綾子	安高団兵衛	手紙のお礼	紙	3	封筒あり
W	25	61	〔書簡〕		2	24	小田隆一	安高団兵衛	高校受験のための受験生宿泊の勧め	紙	1	封筒あり
W	25	62	〔書簡〕	〔昭和30〕	12	24	荒井初次	安高団兵衛	婚礼の日取り変更のお知らせ	紙	2	日付は受取人注記、封筒あり
W	25	63	〔葉書〕	昭和31	5	15	陣場正輝・陣場正則	安高団兵衛	旅館「九州」の利用案内	葉書	1	日付は消印
W	25	64	〔葉書〕	昭和31	7	26	旅館一橋寮	安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日付は消印
W	25	65	〔葉書〕	昭和31	7	27	津山房雄	安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日付は消印
W	25	66	〔葉書〕	昭和31	7	21	三村俊蔵	安高団兵衛	蜂蜜追加注文	葉書	1	日付は消印
W	25	67	〔葉書〕	昭和31	7	21	桑原勇吉	安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日付は消印
W	25	68	〔葉書〕	昭和31	7	20	加来歯科医院	安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日付は消印
W	25	69	〔葉書〕	昭和31	7	21	長野工務店長野佐二郎	安高団兵衛	足場の竹不用	葉書	1	日付は消印
W	25	70	〔葉書〕	〔昭和31〕	6	22	秋山光見	安高団兵衛	アルバム1冊送付	葉書	1	
W	25	71	〔葉書〕	〔昭和31〕	7	19	塚原たよ子	安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日付は消印
W	25	72	〔葉書〕	昭和31	6	13	芦屋郵便局	安高団兵衛	通信事務	葉書	1	日付は受取人注記
W	25	73	〔葉書〕	昭和31	6	23	広渡一敬	安高団兵衛	子供博壮行会参会お礼	葉書	1	
W	25	74	〔葉書〕	〔昭和31〕	8	3	衆議院議員野田俊作	安高団兵衛	石黒忠篤当選お礼	葉書	1	
W	25	75	〔葉書〕	昭和31	8	9	天本六蔵	安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日付は消印
W	25	76	〔絵葉書〕	昭和31	8	11	波多野アサノ	安高団兵衛・りきの	暑中見舞いお礼	葉書	1	日付は消印
W	25	77	〔葉書〕	昭和19	3	7	安高正義	安高団兵衛	陸軍病院からの近況報告	葉書	1	日付は消印
W	25	78	〔簡易書簡〕	昭和18	9	18	満州中西栄次	安高団兵衛	渡満養蜂事業の報告	紙	1	
W	25	79	〔葉書〕	昭和31	7	21	岩崎天外	安高団兵衛	揮毫展案内	葉書	1	日付は消印
W	25	80	〔葉書〕	昭和31	7	27	衆議院議員渕上房太郎	安高国兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日付は消印
W	25	81	〔葉書〕	昭和30	7	1	森本いし子	安高団兵衛	送付の品返送なきよう願う	葉書	1	日付は消印
W	25	82	〔書簡〕	〔昭和31〕	3	22	黒山高磨	安高団兵衛	元衆議院議員A級戦犯橋本欣五郎氏を囲む座談会ご案内	紙	2	封筒あり
W	25	83	〔書簡〕	昭和31	6	17	広渡一敬	安高団兵衛	博ハワイ遠征門出の祝宴ご案内	紙	1	日付は消印、封筒あり
W	25	84	〔書簡〕	昭和31	1	9	広渡卯壮（カナダ）	安高団兵衛	病気見舞いとカナダ日系人の近況報告	紙	1	
W	25	85	〔葉書〕	昭和19	2	2	安高福蔵	安高団兵衛	鉄輪温泉到着、幸次郎さん来別府なら木炭だけ持参すれば、味噌醤油は不要	葉書	1	日付は消印
W	25	86	〔書簡〕	大正カ			安高福蔵・外御一同	花田佐九郎	残金支払いを願う	紙	3	封筒あり
W	25	87	〔葉書〕	昭和31	8	3	農林省和栗博	安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日付は消印
W	25	88	〔葉書〕	昭和31	8	5	毎日新聞販売店中西喜荘	安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日付は受取人注記
W	25	89	〔葉書〕	昭和31	8	7	旅館九州陣場正輝・陣場正則	安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日付は受取人注記
W	25	90	〔書簡〕	昭和31	5	26	入江文太郎	安高団兵衛・御一同	短歌を贈る、日本孝道会の案内	紙	5	
W	25	91	〔書簡〕	昭和31	1	11	荒井朝枝	安高団兵衛	結婚祝のお礼	紙	2	日付は消印
W	25	92	〔葉書〕	昭和31	3	14	早川敏捷	安高団兵衛	父への還暦祝のお礼	葉書	1	日付は消印
W	25	93	〔葉書〕	昭和31	3	13	秋山光見	安高団兵衛	父死去に際しての心遣いへのお礼	葉書	1	日付は消印
W	25	94	〔葉書〕	昭和29	9	16	陣場正輝・陣場正則	安高団兵衛	旅館九州開店通知	葉書	1	日付は受取人注記
W	25	95	〔書簡〕	昭和31	3	27	日高ツヨミ方朝枝	安高団兵衛	突然訪問したお礼	紙	2	日付は消印
W	25	96	〔葉書〕	〔昭和31〕	4	13	永田	安高団兵衛	蜂蜜送付の依頼	葉書	1	
W	25	97	〔葉書〕	昭和31	3	29	山本佳子	安高団兵衛	転居の知らせ	葉書	1	
W	25	98	〔葉書〕	昭和31	4	3	石川重夫	安高団兵衛	ヒロ子お世話になったお礼	葉書	1	日付は消印
W	25	99	〔葉書〕	昭和31	4	10	安高正義	安高リキノ	弟の件は心配不要、香月に行けない日のおしらせ	葉書	1	日付は消印
W	25	100	〔葉書〕	昭和31	4	21	発起人代表中西伝次郎ほか7名	安高団兵衛	元運輸次官山崎小五郎氏を囲む座談会のご案内	葉書	1	
W	25	101	〔葉書〕	昭和31	4	21	原田春実	安高団兵衛	元運輸次官山崎小五郎の略歴のお知らせ	紙	1	日付は受取人注記
W	25	102	〔葉書〕	昭和31	1	1	薛蔦子	安高隆盛	年賀	葉書	1	
W	25	103	〔葉書〕	〔昭和31〕	1	1	大久保一巳	安高隆盛	年賀	葉書	1	
W	25	104	〔葉書〕	〔昭和31〕	1	1	呉羽ポンプ工業所	安高隆盛	年賀	葉書	1	
W	25	105	〔葉書〕	昭和31	1	1	石松豊彦	安高隆盛	年賀	葉書	1	
W	25	106	〔葉書〕	昭和31	1	1	木村広夫	安高隆盛	年賀	葉書	1	
W	25	107	〔書簡〕	昭和31	1	1	花屋運送店吉田三郎	安高団兵衛	事故見舞お礼	紙	1	
W	25	108	〔書簡〕	昭和31〕	7	4	安高隆盛	安高団兵衛・藤吉	入院に際し荷物運搬の依頼	紙	2	
W	25	109	〔書簡〕	〔昭和31〕	7	1	参議院議員野田俊作	安高団兵衛	参議院選挙投票依頼	紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	25	110	〔書簡〕	〔昭和31〕	6	29	安高信子	安高りきの	近況報告	紙	2	
W	25	111	〔葉書〕	昭和31	6	12	山崎久太郎・林田守治	安高団兵衛	投票依頼	葉書	1	日付は消印
W	25	112	〔葉書〕	昭和31	6		天谷虎之助	安高団兵衛	投票依頼	葉書	1	
W	25	113	〔葉書〕	昭和31	6	12	橘喜朔	安高団兵衛	投票依頼	葉書	1	日付は消印
W	25	114	〔葉書〕	昭和31	6	12	有田誠人	安高団兵衛	投票依頼	葉書	1	日付は消印
W	25	115	〔葉書〕	昭和31	7	1	永島武雄	安高団兵衛	投票依頼	葉書	1	日付は消印
W	25	116	〔葉書〕	〔昭和31〕	6	28	石黒忠篤選挙事務所	安高団兵衛	投票依頼	葉書	1	
W	25	117	〔葉書〕	〔昭和31〕	6	28	石黒忠篤選挙事務所	安高団兵衛	投票依頼	葉書	1	
W	25	118	〔葉書〕	昭和31	6	14	安高正義	安高団兵衛	小田の件内容証明送付	葉書	1	日付は消印
W	25	119	〔葉書〕	昭和31	6	16	安高信子	安高りきの	近況報告と招待	葉書	1	日付は消印
W	25	120	〔書簡〕	〔昭和31〕	6	7	佐藤太市	安高団兵衛	ご招待とお土産のお礼	紙	2	
W	25	121	〔書簡〕	〔昭和31〕	6	7	安高信子	安高団兵衛	訪問のお礼と近況報告	紙	2	
W	25	122	〔書簡〕	〔昭和31〕	5	31	安高信子	安高団兵衛	訪問予定日の知らせ	紙	2	
W	25	123	〔葉書〕	昭和31	5	20	吉田三郎	安高団兵衛	小倉出張所開設通知	葉書	1	
W	25	124	〔葉書〕	〔昭和31〕	5	20	石松恒芳	安高団兵衛	写真お礼	葉書	1	
W	25	125	〔葉書〕	〔昭和31〕	5	20	秋山光民	安高団兵衛	埋葬お礼と女中お礼	葉書	1	
W	25	126	〔書簡〕	〔昭和31〕	5	18	三村俊蔵	安高団兵衛	借用依頼	紙	2	
W	25	127	〔書簡〕	昭和31	5	20	秋山光一	安高団兵衛	母および女中の件お礼	紙	2	
W	25	128	〔葉書〕	〔昭和31〕	1	15	楢崎ツル子	安高団兵エ	写真お礼	葉書	1	
W	25	129	〔葉書〕	昭和31	4		明治神宮宮司鷹司信輔	安高団兵衛	崇敬者大祭の案内	葉書	1	
W	25	130	〔書簡〕	〔昭和31〕	5	9	秋山かめの	安高団兵衛	相談あり、お立寄りを願う	紙	1	
W	25	131	〔葉書〕	昭和31	5	14	安高正義・信子	安高団兵衛	結婚に際しご出席お礼	葉書	1	日付は消印
W	25	132	〔書簡〕	〔昭和31〕	5	21	安高信子	安高団兵衛	結婚挨拶と父母新居への招待	紙	2	
W	25	133	〔書簡〕	昭和31	5	14	安高正義	安高団兵衛	栗屋水道施設工事の工事者推薦	紙	3	日付は消印
W	25	134	〔書簡〕	〔昭和31〕	4	18	敷田正夫	安高団兵衛	身元調べ報告	紙	3	
W	25	135	〔葉書〕	昭和31	1	16	安高正義	安高リキノ	近況報告	葉書	1	日付は消印
W	25	136	〔葉書〕	〔昭和31〕	1	29	藤江熊太郎	安高団兵ヱ衛	乳牛買い入れ人の斡旋を願う	葉書	1	
W	25	137	〔葉書〕	昭和31	2	10	安高正義	安高リキノ	近況報告	葉書	1	日付は消印
W	25	138	〔書簡〕	〔1956〕	1	20	武田みち子(カナダ)	安高りきの	新年の挨拶とお小遣い送金のお知らせ	紙	1	
W	25	139	〔葉書〕	〔昭和31〕	3	5	重岡本芳	安高団兵衛	亡父および長女の法事のご案内	葉書	1	
W	25	140	〔葉書〕	〔昭和31〕	3	7	太田豊造	安高団兵衛	お祝い物のお礼	葉書	1	
W	25	141	〔葉書〕	昭和31	3	9	小田久子	安高団兵衛	お祝い物のお礼	葉書	1	日付は消印
W	25	142	〔葉書〕	昭和31	2	27	早川万次郎	安高団兵衛	転勤挨拶	葉書	1	
W	25	143	〔葉書〕	〔昭和31〕	2	17	秋山かめの	安高団兵衛	お立寄りを願う	葉書	1	
W	25	144	〔書簡〕	〔昭和31〕	2	12	安高隆盛	安高団兵衛	結婚の件	紙	2	
W	25	145	〔葉書〕	昭和31	8	12	山本佳子	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	25	146	〔葉書〕	昭和31	8	15	秋山光材	安高団兵衛	亡父初盆につきお礼	葉書	1	
W	25	147	〔葉書〕	昭和31	8	22	芦屋町先賢顕彰会副会長	安高団兵衛	先賢慰霊祭および本会総会案内	葉書	1	
W	25	148	〔葉書〕	昭和31	8	29	俵山温泉町糸永旅館	安高団兵衛	ご利用および写真お礼	葉書	1	
W	25	149	〔葉書〕	昭和31	8	27	東筑高校野球部	安高団兵衛	監督交代と練習試合のお知らせ	葉書	1	日付は消印
W	25	150	〔葉書〕	昭和31	8		山崎小五郎	安高団兵衛	落選挨拶	葉書	1	
W	25	151	〔葉書〕	昭和31	9	24	畠中直次	安高団兵衛	法事お礼	葉書	1	
W	25	152	〔葉書〕	〔昭和31〕	9	22	岩下明夫	安高団兵衛	療養中の御見舞お礼	葉書	1	
W	25	153	〔葉書〕	〔昭和31〕	9	19	金台寺内	安高団兵ヱ	蜂蜜注文	葉書	1	
W	25	154	〔葉書〕	昭和31	9	11	藤本冨士男	安高団兵衛	台風見舞	葉書	1	日付は消印
W	25	155	〔葉書〕	昭和31	9	6	折尾警察署長	安高保正	自動車運転免許証検査と法令講習の通知	葉書	1	日付は消印
W	25	156	〔葉書〕	昭和31	9	9	広渡素一郎	安高団兵衛	法事の案内	葉書	1	日付は消印
W	25	157	〔葉書〕	昭和31	9	10	荒井静子	安高団兵衛	突然訪問したお礼	葉書	1	日付は消印
W	25	158	〔葉書〕	昭和31	8	10	田窪昇之助	安高福造	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	25	159	〔葉書〕	〔昭和31〕	8	12	俵山温泉岡嶋旅館	安高団兵衛・御令室	残暑見舞	葉書	1	
W	25	160	〔葉書〕	昭和31	7	25	三原朝雄	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	25	161	〔葉書〕	昭和31	1	1	坂口新聞店	愛読者	年賀	葉書	1	
W	25	162	〔葉書〕	昭和31	盛夏		毎日新聞販売店中西喜荘	愛読者	暑中見舞	葉書	1	
W	25	163	〔葉書〕	昭和31	7	25	酒井善右衛門	安高団兵衛	退職挨拶	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	25	164	〔葉書〕	昭和31	7	30	坂口新聞店	安高団兵エ	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	25	165	〔葉書〕	昭和31	7	23	吉田三郎	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	25	166	〔葉書〕	昭和31	7	23	藤本冨士男	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	25	167	〔書簡〕	〔昭和31〕	8	28	伊藤百太郎	安高団兵衛	療養中の御見舞お礼と帰宅挨拶	葉書	1	
W	25	168	〔書簡〕	〔昭和31〕	9	16	安高久米吉	安高団兵衛	神武宮放生会の案内につき質問	葉書	1	
W	25	169	〔書簡〕					進藤みね子		袋	1	封筒のみ
W	25	170	〔書簡〕	昭和31	8	12	安高信子	安高団兵衛	暑中見舞と近況報告	紙	2	日付は消印
W	25	171	〔書簡〕	昭和31	7	29	西田隆男	安高団兵衛	参議院議員当選挨拶	紙	1	日付は受取人注記
W	25	172	〔封筒〕	昭和31	2	7	芦屋郵便局	安高団兵衛		封筒	1	日付は受取人注記、封筒のみ
W	25	173	〔書簡〕	〔昭和31〕	4	2	石川ヒロ子	安高団兵衛	お世話になったお礼	紙	2	
W	25	174	〔書簡〕	〔昭和31〕	3	16	黒山高磨	安高団兵衛	橘本均五郎来芦につき打合せ案内	紙	1	
W	25	175	〔書簡〕	昭和31	3	4	秋山光材ほか	安高団兵衛	会葬御礼	紙	1	
W	25	176	〔葉書〕	〔昭和31〕	8	9	岩崎天外	安高団兵衛	ご注文の高砂の図完成の予定につきお立寄りを願う	葉書	1	
W	25	177	〔葉書〕	昭和31	8	6	秋山光民	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は受取人注記
W	25	178	〔葉書〕	昭和31	7	25	坂田熊一	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は受取人注記
W	25	179	〔葉書〕	昭和31	7	23	平戸市長山鹿光世	安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は受取人注記
W	25	180	〔葉書〕	昭和31	4		東邦生命保険相互会社保全部	安高団兵衛	加入者へ配当率変更の通知	葉書	1	
W	25	181	〔葉書〕	昭和31	4		東邦生命保険相互会社保全部	安高誠	加入者へ配当率変更の通知	葉書	1	
W	25	182	第26回富士定期預金割増金・利息計算書	昭和29	8	2	富士銀行八幡支店	安高マキ		紙	1	
W	25	183	診察券	昭和31	3	19	坂口医院	安高チズ子		紙	1	
W	25	184	〔写真〕						OUTLOOKING RENTOUL AND CHANUTE AIR FORCE BASE 私達の学校と私の内	紙	1	
W	25	185	〔写真〕						歯科医院診療室	紙	1	
W	25	186	〔葉書〕	昭和28	1	1	上原三郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	186～250まで一括
W	25	187	〔葉書〕	〔昭和28〕	1	1	永田要蔵	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	188	〔葉書〕	〔昭和28〕	1	1	西満寿美	安高福蔵	年賀	葉書	1	
W	25	189	〔葉書〕	昭和28	1	1	松本七郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	190	〔葉書〕	昭和28	1	1	山鹿光世	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	191	〔葉書〕	昭和28	1	1	荒井智恵子	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	192	〔葉書〕	昭和28	1	1	植田儀三郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	193	〔葉書〕	〔昭和28〕	1	1	小野藤右衛門	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	194	〔葉書〕	昭和28	1	1	辻守荘	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	195	〔葉書〕	〔昭和28〕	1	1	藤本冨士男	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	196	〔葉書〕	昭和28	1	1	三原朝雄	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	197	〔葉書〕	昭和28	1	1	早川朝洋	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	198	〔葉書〕	昭和28	1	1	野田俊作	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	199	〔葉書〕	昭和28	1	1	松本七郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	200	〔葉書〕	昭和28	1	1	宮地ヱイ	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	201	〔葉書〕	昭和28	1	1	中村昌弘	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	202	〔葉書〕	〔昭和28〕	1	1	早川万次郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	203	〔葉書〕	〔昭和28〕	1	1	永田	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	204	〔葉書〕	昭和28	1	1	山本武・佳子	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	205	〔葉書〕	〔昭和28〕	1	1	香山満寿郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	206	〔葉書〕	昭和28	1	1	吉武弥太郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	207	〔葉書〕	昭和28	1	1	石橋良之	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	208	〔葉書〕	昭和28	1	1	三村俊蔵	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	209	〔葉書〕	昭和28	1	1	林田守治	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	210	〔葉書〕	昭和28	1	1	堤写場	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	211	〔葉書〕	昭和28	1	1	長野くに	安高団兵衛	年賀	葉書	1	日付は消印
W	25	212	〔葉書〕	昭和28	1	1	芦屋町新聞販売所	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	213	〔葉書〕	〔昭和28〕	1	1	俵山温泉岡島旅館	安高団兵衛・同りきの	年賀	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	25	214	〔葉書〕	昭和28	1	1	俵山温泉町山口屋旅館・光陽園	安高団兵衛・同りきの	年賀	葉書	1	
W	25	215	〔葉書〕	昭和28	1	1	松尾豊	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	216	〔葉書〕	昭和28	1	1	内山昌亮	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	217	〔葉書〕	昭和28	1	1	栗川正雄	安高団兵ヱ	年賀	葉書	1	
W	25	218	〔葉書〕	昭和28	1	1	吉田法晴	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	219	〔葉書〕	〔昭和28〕	1	1	津山組・津山得船株式会社	安高団兵ヱ	年賀	葉書	1	
W	25	220	〔葉書〕	昭和28	1	1	白垣弥次	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	221	〔葉書〕	昭和28	1	1	山賀ポンプ店	安高団平	年賀	葉書	1	
W	25	222	〔葉書〕	昭和28	1	1	渕上房太郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	223	〔葉書〕	昭和28	1	1	加来歯科医院	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	224	〔葉書〕	昭和28	1	1	中村藤治郎	安高団兵衛・御一同	年賀	葉書	1	日付は消印
W	25	225	〔葉書〕	〔昭和28〕	1	1	花屋吉田三郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	226	〔葉書〕	昭和28	1	1	大庭善三郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	227	〔葉書〕	昭和27	12	29	広渡一義	安高団兵衛	会葬御礼	葉書	1	
W	25	228	〔葉書〕	昭和27	12	29	北村道夫	安高団兵衛	卵注文	葉書	1	日付は消印
W	25	229	〔葉書〕	昭和28	2	10	浅川久彦	安高団兵衛	手紙のお礼	葉書	1	日付は消印
W	25	230	〔葉書〕	〔昭和28〕	1	8	北村道夫	安高団兵衛	卵注文	葉書	1	
W	25	231	〔葉書〕	昭和28	2	5	香山和寛	安高団兵衛・奥様	粗餐差し上げたく招待	葉書	1	日付は消印
W	25	232	〔葉書〕	〔昭和28〕	1	1	岸金四郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	25	233	〔葉書〕	昭和28	1	8	波多野アサノ	安高りきの	年賀状のお礼	葉書	1	日付は消印
W	25	234	〔葉書〕	昭和28	1	19	中西商店	安高団兵衛	卵注文	葉書	1	日付は消印
W	25	235	〔葉書〕	昭和27	12	31	中村つた代筆恵美子	安高団兵衛	粗品送付のお知らせ	葉書	1	日付は消印
W	25	236	〔葉書〕	昭和28	1	7	小島頼男	安高団兵衛	賀状お礼	葉書	1	
W	25	237	〔葉書〕	〔昭和28〕	1	18	中村藤治郎	安高団兵衛	訪問のお礼	葉書	1	
W	25	238	〔葉書〕	〔昭和27〕	〔12〕	28	中村藤治郎	安高団兵衛	訪問のお礼と正広の近況報告	葉書	1	
W	25	239	〔葉書〕	〔昭和27〕	〔11〕	24	北村道夫	安高団兵衛	卵注文	葉書	1	
W	25	240	〔葉書〕	昭和27	12	25	内山昌亮	安高団兵衛	改名のお知らせ	葉書	1	
W	25	241	〔葉書〕	昭和27	12	9	福岡地方貯金局	安高団兵衛	通信事務	葉書	1	
W	25	242	〔葉書〕	〔昭和27〕	11	30	安高団兵衛	安高りきの・藤吉	留守中新聞保存を願う	葉書	1	
W	25	243	〔書簡〕	〔昭和27〕	12	5	松尾文子	安高団兵衛	近況報告と母を帰郷させたい件	紙	3	電報1
W	25	244	〔書簡〕	昭和27	6	21	遠賀村長古野繁樹	安高団兵衛	固定資産税督促	紙	1	
W	25	245	〔書簡〕	昭和27	12	2	富士銀行八幡支店長那須孝	安高保正	定期預金満期通知	紙	1	
W	25	246	電報	昭和27	5	1		アタカマサヨシ	ホンマチカノウセイツヨシ」スグコラレヨ	紙	1	
W	25	247	電報	昭和27	12	12	アタカダン	アタカトウキチ	11ヒ21ジアシヤエキツク	紙	1	
W	25	248	電報頼信紙						ケンガククルナオラヌ	紙	1	
W	25	249	〔覚〕				山辺国攻		履歴書等の準備メモ	紙	1	
W	25	250	〔書簡〕				遠賀青果株式会社	安高団平	封筒のみ	袋	1	
W	26	1	〔書簡〕	昭和32	9	13	東京都新宿区戸塚町東筑学舎 安高保正	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高 団兵衛　藤吉	仕送り催促	罫紙	2	封筒あり
W	26	2	〔葉書〕	昭和32	9	29	東京都新宿区戸塚町東筑学舎 安高保正	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高 団兵衛　藤吉	近況報告	葉書	1	
W	26	3	〔書簡〕	昭和32	10	6	東京都新宿区戸塚町東筑学舎 安高保正	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高 団兵衛　藤吉	仕送り送金への礼、近況	罫紙	2	封筒あり
W	26	4	〔領収通知〕	昭和32	10	9	日本大学工学部後援会	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋 安高団兵衛	後援会費領収通知	葉書	1	
W	26	5	〔書簡〕	昭和32	10	13	東京都新宿区戸塚町東筑学舎 安高保正	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高 団兵衛　藤吉	仕送り催促	罫紙	3	封筒あり
W	26	6	〔書簡〕	昭和32	10	29	東京都新宿区戸塚町東筑学舎 安高保正	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高 団兵衛　藤吉	仕送り催促、近況	罫紙	3	封筒あり
W	26	7	〔封筒〕	昭和32	11	10	東京都新宿区戸塚町東筑学舎 安高保正	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高 団兵衛　藤吉		封筒	1	7-1、2同封
W	26	7-1	〔書簡〕				保正		誠が修学旅行上京につき、その様子	罫紙	5	
W	26	7-2	〔電報〕	昭和32	11	12	トウチク	アワヤ　アタカダンベ	カゼ　オクレル	紙	1	日付は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	26	8	〔書簡〕	昭和32	11	24	東京都新宿区戸塚町東筑学舎 安高保正	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　藤吉	仕送り催促、近況	罫紙	4	封筒あり
W	26	9	〔葉書〕	昭和32	12	7	東京都新宿区戸塚町東筑学舎 安高保正	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　藤吉	近況報告	葉書	1	
W	26	10	〔封筒〕	昭和32	10	25	芦屋町市場　瓜生天全	粟屋区　安高団兵衛		封筒	1	10-1封入
W	26	10-1	〔書簡〕	昭和32	10	24	歌会始詠進歌委員会	福岡県遠賀郡芦屋町市場　瓜生天全	詠進歌規則	紙	1	封筒あり
W	26	11	〔封筒〕				司法書士松井賢治			封筒	1	11-1、2、3同封
W	26	11-1	〔案内状〕				芦屋公民館長　松浦猛		演劇「愛の妖精」上演案内	紙	2	
W	26	11-2	〔メモ〕						不動産関係費用書上げ	罫紙	1	一級建築士早川利夫用紙使用
W	26	11-3	〔入場券〕						「愛のよう精」入場券	紙	1	
W	26	12	〔葉書〕	昭和32	10	5	長崎県福島鯛之鼻二葉町　伊豆清	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	祖母写真送付への礼	葉書	1	日付は消印
W	26	13	〔葉書〕	昭和32	9	16	下関市長府町才川　河辺宏	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	滞在中の世話への礼	葉書	1	日付は消印
W	26	14	〔葉書〕	昭和32	9	20	中間町下大隈　西マスミ	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	傘を忘れた、写真送付依頼	葉書	1	日付は消印
W	26	15	〔葉書〕	昭和32	9		田中家畜病院　獣医師田中文敏	遠賀郡芦屋町阿波屋　安高団兵衛	電話開通通知	葉書	1	
W	26	16	〔葉書〕	昭和32	10	5	遠賀村別府　永田賀一	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	会葬礼と法事への出席依頼	葉書	1	日付は消印
W	26	17	〔葉書〕	昭和32	10	24	八幡市香月　岩崎清吾	芦屋町粟屋　安高団兵衛	大根の有無について連絡依頼	葉書	1	日付は消印
W	26	18	〔葉書〕	昭和32	11	10	下関市長府町才川　河辺トクノ	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	写真送付への礼	葉書	1	日付は消印
W	26	19	〔葉書〕	昭和32	10	2	井上自転車商会	芦屋町粟屋　安高団兵衛方安高正男	自転車代支払い催促	葉書	1	日付は消印
W	26	20	〔葉書〕	昭和32	10	18	井上自転車商会	芦屋町粟屋　安高団兵衛方安高正男	自転車代支払い催促	葉書	1	
W	26	21	〔売出案内〕	昭和32	10	21	嶺磯男商店	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	農具安売り案内	葉書	1	日付は消印
W	26	22	〔通知〕	昭和32	10	16	日本生命小倉支社	オンガグンアシヤチョウアザアワヤ　ヤスタカフジキチ	保険配当金支払い通知	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	26	23	〔通信事務〕	昭和32	10	1		芦屋町粟屋　安高団兵衛	郵便局利用に関するアンケート回答依頼	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	26	24	〔封筒〕				正門町青年会	粟屋　安高団兵衛		封筒	1	24-1、2同封
W	26	24-1	〔書簡〕	昭和32	10		正門町青年会他		相撲大会開催通知	紙	1	
W	26	24-2	〔礼状〕	昭和32	10	5	正門町青年会他	安高	寄付金領収書	紙	1	
W	26	25	〔通知〕	昭和32	10	16	日本生命小倉支社	オンガグンアシヤチョウアザアワヤ　ヤスタカマサヨシ	保険配当金支払い通知	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	26	26	〔通知〕	昭和32	10	16	日本生命小倉支社	オンガグンアシヤチョウアザアワヤ　ヤスタカタカモリ	保険配当金支払い通知	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	26	27	〔通知〕	昭和32	10	16	芦屋町長　黒山高麿	粟屋　安高団兵衛	町制70周年記念アルバム発行中止の通知	紙	1	封筒あり
W	26	28	〔書簡〕	昭和32	9	6	熊本県天草郡大矢野町　片山綾子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況報告	罫紙	2	封筒あり
W	26	29	〔書簡〕	昭和32	11	26	熊本県天草郡大矢野町　片山あや子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	玉葱苗分与依頼、近況	罫紙	2	封筒あり、日付は消印
W	26	30	〔書簡〕	昭和32	12	11	熊本県天草郡大矢野町　片山綾子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	玉葱苗分与依頼、近況	罫紙	1	封筒あり
W	26	31	〔書簡〕	昭和32	10	9	宗像郡宗方町大字東郷　安高隆盛	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛りきの	療養所入所連絡、ラジオ購入依頼	罫紙	2	封筒あり
W	26	32	〔広告〕						ソニーラジオ広告	紙	1	31と関連ありか
W	26	33	〔葉書〕	昭和32	10	1	宗像郡宗方町大字東郷桑野恵方　安高隆盛	遠賀郡芦屋町粟屋　安高りきの	近況報告	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	26	34	〔書簡〕	昭和32	10	9	福岡市上若久町　畠中初子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの	遺産争いについて	罫紙	3	封筒あり
W	26	35	〔書簡〕	昭和32	11	3	尾道市栗原町亀川　小林アヤ子方　信子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの	正義との離婚後の近況	罫紙	3	封筒あり
W	26	36	〔封筒〕	昭和32	12	4	久留米市櫛原町　酒井善左衛門	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	36-1、2同封
W	26	36-1	〔書簡〕		12	4	酒井善左衛門	安高団兵衛	家の売却完了の連絡と礼	罫紙	2	
W	26	36-2	〔書簡〕		12	4	酒井幸子	安高団兵衛	家売却についての礼	罫紙	1	
W	26	37	〔葉書〕	昭和32	10	10	久留米市櫛原町　酒井幸子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	母の世話と家の事についての礼	葉書	1	
W	26	38	〔書簡〕	昭和32	9	15	静岡県伊東市松原猪戸　秋山光見	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	利息送付、近況	罫紙	2	現金書留封筒
W	26	39	〔書簡〕	昭和32	9	27	中央大学日本比較法研究所　秋山光見	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	借金皆済（郵便為替同封か）と礼	罫紙	3	封筒あり
W	26	40	〔会葬礼状〕	昭和32	5	7	東京都新宿区下落合　原田登喜江			葉書	1	封筒あり
W	26	41	〔荷札〕	昭和32	11	12	Ohgitani	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	クリスマスプレゼント	紙	1	
W	26	42	〔書簡〕	昭和32	12	12	遠賀郡芦屋町山鹿田屋　重岡恵美子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高りきの	胃の具合について	罫紙	2	封筒あり
W	26	43	〔書簡〕	昭和32	9	30	若松市波打町　藤吉仁太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	利子送付	罫紙	1	現金書留封筒
W	26	44	〔書簡〕	昭和32	12	7	遠賀郡県政推進懇談会	粟屋　安高団兵衛	県政推進懇談会開催通知	紙	1	封筒あり
W	26	45	〔書簡〕	昭和32	12	1	古賀恵啓	芦屋町粟屋　安高団兵衛	土屋県知事に対する謝罪要求他	紙	2	封筒あり
W	26	46	〔書簡〕	昭和32	8	18	Mitiko Takeda(カナダ)	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	家族親戚の近況問い合わせ他	紙	3	航空郵便封筒あり
W	26	47	〔新年挨拶状〕	昭和33	1	1	扇谷	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　家族一同	クリスマスカードと年賀	カード	1	航空郵便封筒あり
W	26	48	〔書簡〕	昭和32	12	6	扇谷与次郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	妻の近況	紙	1	航空郵便封筒あり
W	26	49	〔書簡〕	昭和32	10	19	扇谷与次郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況報告	紙	1	航空郵便封筒あり、自身の写真2葉、遠山満十五回忌式の写真1葉同封
W	26	50	〔書簡〕	昭和32	9	3	扇谷与次郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	翌年帰国予定連絡他	紙	2	航空郵便封筒あり
W	26	51	〔書簡〕	昭和32	9	16	扇谷与次郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高りきの	明春帰国予定連絡	紙	1	航空郵便封筒あり、自身の写真1葉と返信用封筒同封
W	26	52	〔封筒〕	昭和32	11	20	久留米市櫛原町　酒井善左衛門	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	52-1、2、3、4同封
W	26	52-1	〔書簡〕	昭和32	11	20	酒井善左衛門	安高団兵衛	書類送付通知	罫紙	1	
W	26	52-2	〔書簡〕	昭和32	11	22	安高団兵衛	酒井善左衛門	不動産関係書類捺印依頼	罫紙	1	
W	26	52-3	〔領収証〕	昭和32	11	22	芦屋町収入役　熊野太郎	酒井善左衛門	証明費用領収証	紙	1	
W	26	52-4	〔戸籍抄本写〕	昭和32					酒井善左衛門戸籍抄本手書き写	罫紙	1	
W	26	53	〔封筒〕	昭和32	11	24	久留米市櫛原町　酒井善左衛門	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	53-1、2、3同封
W	26	53-1	〔書簡〕	昭和32	11	24	酒井幸子	安高団兵衛	書類送付連絡	罫紙	1	
W	26	53-2	〔家屋登録訂正申告書〕	昭和32	11	18	土地家屋調査士　早川利夫		控え	罫紙	2	
W	26	53-3	〔戸籍抄本写〕	昭和32	11	19	久留米市長　杉本勝次		酒井善左衛門戸籍抄本	罫紙	1	
W	26	54	〔書簡〕	昭和32	11	13	扇谷与次郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	クリスマスプレゼント贈答連絡	紙	1	明治節記念写真1葉同封
W	27	1	〔葉書〕				小倉衛戍病院第三病棟外科室　山本治郎	軽重兵十二大隊第一中隊第一班　安高上等兵	お見舞いに対するお礼状	葉書	1	
W	27	2	〔葉書〕	〔昭和7〕	〔8〕	〔15〕	まえだ□	軽重兵壱中壱班　安高上等兵	明午前2時当地出発、御身体を大切に	葉書	1	日付は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	27	3	〔葉書〕	〔昭和7〕	〔8〕	〔13〕	豊浦郡豊西上村　笹山極	北方軽重兵第十二大隊第一中隊　安高上等兵	出征せし人等御面倒ながら御知らせ下さい	葉書	1	日付は消印
W	27	4	〔葉書〕	〔昭和7〕	〔8〕	〔12〕	小倉市米町1丁目第17番地宿屋山本香二郎内　坂本広太郎	北方軽重兵第十二大隊第一中隊　安高上等兵	河村大尉の馬出征致す事となり、みな上等兵の御蔭に御座候	葉書	1	日付は消印
W	27	5	〔葉書〕	〔昭和7〕	6	11	若松市本町宮本商店内　渡辺訥郎	北方軽重兵第十二大隊第一中隊第一内ム班輸卒係　日高(ママ)上等兵	御貴官の御教練に預り誠に幸福	葉書	1	年は消印
W	27	6	〔葉書〕	〔昭和7〕	11	23	桝本弥右衛門	小倉北方軽重兵第十二大隊第一中隊第三班　安高上等兵	御安心被下度候	葉書	1	年は消印
W	27	7	〔葉書〕			17	佐賀県西松浦郡西山代村大字楠久津　前田増市	小倉市北方軽重兵第十二大隊第一中隊第三班　安高上等兵	小生義在隊は一方ならぬ御世話に預り忝奉存候	葉書	1	
W	27	8	〔葉書〕	〔昭和7〕	〔12〕	〔22〕	佐賀県東松浦郡打上村　太田政太郎	小倉市北方軽重兵第十二大隊第一中隊ノ三班　安高上等兵	小生其後無事に暮らし居り候、御休心下被度候	葉書	1	日付は消印
W	27	9	〔葉書〕		12	23	穂波村南尾　井田	小倉市外北方軽重兵第十二大隊中隊三班　安高団兵衛	写真早速御送り被下候	葉書	1	
W	27	10	〔葉書〕				第四糧食縦列第六小隊　松村安馬	北方軽重兵補充隊第十二大隊第一中隊第二班　安高上等兵	実はかかる文面差出兼ね候へ共其葉書若し居らざる事と思い居り候間失礼ながら一寸御尋申上候	葉書	1	
W	27	11	〔葉書〕		11	15	八幡市徳広町1丁目　吉岡宙逸	小倉北方軽重兵拾二大隊一中隊三班　安高上等兵	無事に着分仕り候	葉書	1	
W	27	12	〔葉書〕				朝倉郡金川村　今福甚六	北方軽重兵十二大隊第一中隊阿高上等兵	小生御蔭を以て無事に午後五時頃着宅	葉書	1	
W	27	13	〔葉書〕		6	7	宮崎県東臼杵郡東郷村大字坪谷　長野実	小倉北方軽重兵第拾大隊第壱中隊第壱内務班　安高団兵衛	入営中色々御教訓に預り厚くお礼申し上げます	葉書	1	
W	27	14	〔葉書〕		8	30	大分県大分郡湯之平　古長政平	北方軽重兵第十二大隊第一中隊輸卒舎第二班　安高団兵衛	貴兄にはお体お気を付け下さい	葉書	1	
W	27	15	〔葉書〕		6	3	大分県大野郡野津市村原　長野秋男	北方軽重兵第拾弐大隊第一中隊第一内務班　安高上等兵	6月1日に我家に帰着、農業に従事致居候間御休意下被度候	葉書	1	
W	27	16	〔葉書〕		6	3	白石寿	北方軽重兵第十二大隊第壱中隊第一班輸卒舎　安高上等兵	無事に帰宅御休心被下度候	葉書	1	
W	27	17	〔葉書〕				若松市　牧太二郎	北方軽重兵第十二大隊第一中隊第一班　安高団兵衛	無事に帰り仕候間御休心下され度候	葉書	1	
W	27	18	〔葉書〕				大分県大分郡鶴崎町　房前常記	小倉北方軽重兵第十二大隊第一中隊第一内務班　安高上等兵	小生儀去る31日無事帰国致し候間御休意被下候	葉書	1	
W	27	19	〔葉書〕	〔昭和7〕	〔6〕	〔2〕	山口県厚狭郡宇部字上宇部村□宇太郎	小倉北方軽重兵第十二大隊第一中隊第一班　安高団兵衛	午後4時頃無事に帰宅致し候間御安心被下度候	葉書	1	日付は消印
W	27	20	〔葉書〕				日向国東臼杵郡西郷村田代　橋口	小倉市外北方軽重兵第拾弐大隊第壱中隊　安高上等兵	上等兵の健康を日向山間より祈り居候	葉書	1	
W	27	21	〔葉書〕		5	6	衛戍病院第三病棟外科室　山本治郎	軽重兵十二大隊第一中隊第一班官部　安岡(ママ)上等兵	早時手術を受け全快致す事眼に見ゆる如し	葉書	1	
W	27	22	〔葉書〕				大分県七十二聯隊第二大隊本部付　□	北方軽重兵第十二大隊第一中隊　安高上等兵	小生五日午後6時無事到着	葉書	1	
W	27	23	〔葉書〕		12	6	宮崎県西臼杵郡諸□村　奈須成市	小倉北方軽重兵第十二大隊第壱中隊第参班　安高上等兵	写真出来次第大至急御送被下度候	葉書	1	
W	27	24	〔葉書〕		12	9	佐賀県伊万里蝋屋呉服店　中尾浩	小倉北方軽重兵第十二大隊第一中隊輸卒舎ニテ　安高団兵衛	軍服すがたと申しましてもまだ二十日ぐらいの新兵	葉書	1	
W	27	25	〔葉書〕				遠賀郡底井野村上底井野　瓜生延一	小倉北方軽重兵第十二大隊第一中隊内　安高上等兵	写真御送付被下正ニ領受仕り候	葉書	1	
W	27	26	〔葉書〕		10	17	青木呉服店　藤原学	北方軽重兵第十二大隊第一中隊　安高上等兵	小生も達者であります。私も9日より郷里に行き14日帰りました	葉書	1	絵ハガキ(阿蘇鮎返り瀧)
W	27	27	〔葉書〕	〔昭和12〕	3	19	大阪日本橋日本館旅館内　安高団兵衛	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高福蔵	今回の旅行之も皆父母様のお陰、家内一同留守を勤めて下さるお陰で深く感謝する次第です	葉書	1	年は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	27	28	〔葉書〕	〔昭和12〕	3	19	神戸ニテ　安高団兵衛	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高福蔵・家内一同	旅先からの知らせ	葉書	1	年は消印
W	27	29	〔葉書〕	〔昭和12〕	3	22	高野山より　安高団兵衛	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高福蔵	旅先からの知らせ	葉書	1	年は消印
W	27	30-1	〔葉書〕	昭和12	3	16	永島徳雄ほか5名		会葬御礼	葉書	1	
W	27	30-2	〔葉書〕	昭和12	4	2	山鹿尋常小学校　川原国松		山鹿尋常小学校長に任命せられ、ご指導ご鞭撻の栄を賜りたくお願い申し上げ候	葉書	1	
W	27	31	〔封筒〕	昭和14	10	25	佐世保市松川町216佐々木様方安高重二琅・スマ子	サンフランシスコ街　塩谷まき		封筒	1	封筒のみ
W	27	32	〔葉書〕	〔昭和15〕	10	18	直方市古街2丁目　椛田清太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	新築造作仕り候については丁重なる御祝詞並びに御祝物を頂き厚く御礼申し上げます	葉書	1	年は消印
W	27	33	〔葉書〕	昭和15	12		福岡市二見町38　岸野武秀		この度福岡県農会勤務を被命候、一層のご指導に預かり度奉願上候	葉書	1	
W	27	34	〔葉書〕				折尾町陣原宮ノ下888　安高重二琅	遠賀郡蘆屋町粟屋　安高団兵衛	父母上様も遠き所お見舞い下され有難うございました	葉書	1	
W	27	35	〔葉書〕	昭和15	12		山口県俵山温泉温泉旅館　山口屋	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	温泉報国の為明年は更に一層の努力を致し酬ひ奉る覚悟でございます	葉書	1	
W	27	36	〔葉書〕				和歌山県海草郡亀川村字多田山本□	福岡県遠賀郡蘆屋町1205　塩谷まき	貴女には何日頃再渡米なさいますか御手数ながら右確定次第お知らせ下さい。神戸まで御見送り	葉書	1	
W	27	37	〔葉書〕	〔昭和16〕	〔1〕	〔18〕	長崎県北松浦郡吉井村直谷　三木春男	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	今月下旬温床踏込の為炭坑の屋根解きを引受けて相当多くの古藁を得ました。下肥も帳簿につけるのが楽しみで一生懸命取っております	葉書	1	
W	27	38	〔葉書〕				中西新聞舗	芦屋町粟屋　安高団兵衛	読者少キ関係上販売ヲ一時中止	葉書	1	
W	27	39	〔葉書〕			15	広渡辰次郎	郡下芦屋町粟屋　安高団兵衛	坪、把お知らせ下さい	葉書	1	
W	27	40	〔葉書〕				岡垣村元松原　広渡団平	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・安高幸次郎	来る4月17・18日は当区春祭りにつき皆様万障御繰り合わせの上御出浮下され度ご案内	葉書	1	
W	27	41	〔葉書〕	昭和16	1	21	遠賀郡芦屋町山鹿　佐野貫次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	会葬御礼	葉書	1	封筒あり
W	27	42	〔葉書〕	昭和16	1		宗像郡田島村　占部要市	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	当選挨拶（田島村長）	葉書	1	封筒あり
W	27	43	〔葉書〕		4	11	安高リキノ	別府市鉄輪温泉みなとや旅館内安高福蔵	何とぞご無理にならぬ様御入湯遊ばされる様お願い申し上げます	葉書	1	
W	27	44	〔葉書〕	昭和16	5		香月町角田駐在　阿部義雄	遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛	芦屋町在任中は到底筆や言葉に尽されぬ御厚情の数々御礼申し上げます	葉書	1	
W	27	45	〔葉書〕	〔昭和18〕	〔4〕	〔15〕	東京市　天谷虎之助	福岡県遠賀郡蘆屋町大字蘆屋　安高団兵衛	業績書及び参考書類御送付頂き厚く御礼申し上げます	葉書	1	日付は消印
W	27	46	〔葉書〕	〔昭和20〕	〔2〕	〔21〕	遠賀郡岡垣村元松原　広渡タツノ	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	正儀さんに来る23日朝より加勢して下さる事はできますでしょうか	葉書	1	日付は消印
W	27	47	〔葉書〕		3	7	芦屋幸町　黒山内	芦屋町粟屋　安高団兵衛	御立チ寄リ下サイマセンガ先日カラ御待チ致シテ居リマス	葉書	1	
W	27	48	〔葉書〕	〔昭和20〕	〔2〕	〔2〕	遠賀郡岡垣村元松原　広渡□五郎	芦屋町大字粟屋　安高団兵衛・高盛	一昨日ハ御多忙中ニモ係ラズ高盛君ノ加勢ヲ以テ農業者ノ義務タル供出米モ完納、貴家ノ御蔭デ助カリマシタ	葉書	1	日付は消印
W	27	49	〔葉書〕		3	3	遠賀郡遠賀村　永田□	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・安高りきの	早速お話いたしました処よろしくございますので左様御承知下さい	葉書	1	
W	27	50	〔葉書〕	〔昭和20〕	〔2〕	〔23〕	小倉市陸軍病院第一内科東二病棟　広渡一敬	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	叔母様には遠路わざわざ御出で下され厚く御礼申し上げます	葉書	1	日付は消印
W	27	51	〔葉書〕				第一一九六部隊気付第六七五七部隊　田中初夫	福岡遠賀郡芦屋町粟屋　粟屋正交会総代者　安高団兵衛	元気で日夜軍務に精励致しております、安心下され	葉書	1	
W	27	52	〔葉書〕				大村市西部四十七部隊小宮隊重岡一馬	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋　安高団兵衛	小生も相変わらず元気で日夜軍務に精励致しております、安心下され	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	27	53	〔葉書〕							葉書	1	未使用
W	27	54	〔葉書〕	〔昭和27〕	〔2〕	〔18〕	芦屋幸町木原ウメヨ様方　中村正公	遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛	国鉄に知人の方はいないでしょうか、有る様でしたら御力添えできないでしょうか	葉書	1	日付は消印
W	27	55	〔葉書〕	昭和31	10	31	東京都港区赤坂氷川町17　広田郁子ほか9名	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋粟屋　安高団兵衛	広田豪佐逝去、謹んで御通知	葉書	1	
W	27	56	〔葉書〕				芦屋郵便局	芦屋町粟屋　安高団兵衛	定額貯金の払い戻し時における意見、附近のポストにお差入れ下さい	葉書	1	往復はがき
W	27	57	〔葉書〕	〔昭和31〕	〔11〕	〔12〕	熊本県飽託郡託麻村大字下南部　藤本富士男	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋安高団兵衛	この度私達一家表記の所に移転しましたのでお知らせ致します	葉書	1	日付は消印
W	27	58	〔葉書〕	昭和31	11	10	芦屋町長黒山高麿・教育委員長長野佐二郎・教育長松浦猛・中学校々長安部庫平	粟屋　安高団兵衛	去る11月6日未明芦屋中学校火災の節は丁重なお見舞いに接し衷心感謝致しております	葉書	1	封筒あり
W	27	59	〔葉書〕	〔昭和31〕	11	21	隆盛	遠賀郡芦屋町大字芦屋1205　安高団兵衛	選挙権の件宗像町の方において作成してありましたので取り急ぎお知らせ申しておきます	葉書	1	年は消印
W	27	60	〔葉書〕	昭和32	1	6	遠賀郡芦屋町金屋　江島徳・外親族一同	芦屋町大城　安高団兵衛	会葬御礼	葉書	1	
W	27	61	〔葉書〕	〔昭和32〕	〔1〕	〔9〕	芦屋町芦屋　セト薬局	芦屋町大城　安高団兵衛	安心して使えるホルモン注射	葉書	1	
W	27	62	〔葉書〕	〔昭和32〕	1	9	芦屋町農業協同組合	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	不動産競売事件は来る1月23日芦屋町役場において競売致す事に決定	葉書	1	年は消印
W	27	63	〔葉書〕	昭和32	1		橋本欣五郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	肺臓癌らしいとの事で目下国立病院へ入院	葉書	1	
W	27	64	〔葉書〕	〔昭和32〕	〔1〕	〔25〕	岡垣村元松原　広渡一敬	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	来る1月30日、亡父七回忌・亡母十三回忌法要を営みますので御仏参下さい	葉書	1	日付は消印
W	27	65	〔葉書〕	〔昭和32〕	〔1〕	23	長崎県福島局内鯛之鼻二葉町　伊豆清	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	キヌエの件につきましては何かと御配慮を賜っておりましたが客年末復籍致しました	葉書	1	年月は消印
W	27	66	〔葉書〕	〔昭和32〕	〔1〕	〔26〕	飽託郡託麻村字下南部　藤本富士男	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	私の様な者の働き所が有りましたらお知らせ下さいませんか	葉書	1	日付は消印
W	27	67	〔葉書〕	〔昭和34〕	12	4	東京都練馬区　秋山光材	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年金証明書の件、本日母宛送りましたの何卒よろしくお願いします	葉書	1	年は消印
W	27	68	〔葉書〕	昭和37	12	25	芦屋町身体障害者福祉協議会事務所　畑辺半次郎	町内粟屋　安高団兵衛	執行部総辞職の件、顧問・理事・幹部諸氏の仲介の労により留職を決意しました	葉書	1	
W	27	69	〔葉書〕	〔昭和38〕	1	1	福岡市今泉　すま	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	70	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔10〕	あしや町　たか	芦屋町粟屋　安高団兵衛	詠草写し、当方面へお出での便でもありましたらお届け下さい	葉書	1	日付は消印
W	27	71	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔18〕	福岡県遠賀郡芦屋町　芦屋町農業協同組合	芦屋町粟屋　安高団兵衛	旅行の出発日が2月26日に決定しましたのでお知らせ申し上げます	葉書	1	日付は消印
W	27	72	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔2〕	〔25〕	西春町2丁目　半田とき	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	詠草、25日正午落手致しました。有り難うございます	葉書	1	日付は消印
W	27	73	〔葉書〕	〔昭和38〕	3	1	今泉　半田とき	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	御写真ありがとうございます	葉書	1	年は消印
W	27	74	〔葉書〕	昭和11	5	29		芦屋町在郷軍人分会長　敷田正夫	6月4日、遠賀郡傷病軍人会結成式挙行、御案内申上候。ほか式順案内等あり	葉書・紙	3	
W	27	75	〔葉書〕	昭和5	1	元旦	山梨県南都留郡宝村三菱宝鉱山　原口五六	筑前芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	76	〔葉書〕	昭和30	1	1	大牟田市大字川尻434　前原孝人	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋1205　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	77	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	岡山市国富御堂町2-4　和栗博	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安岡(ママ)団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	78	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	福岡県福岡市　妹尾□	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	79	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	明善高等学校　酒井善左衛門	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	27	80	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	福岡県遠賀郡水巻町吉田　白垣弥次	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	81	〔葉書〕	昭和31	1	1	大分県宇佐郡安心院町竜王　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	82	〔葉書〕	昭和31	1	1	佐賀県三養基郡基山町　岸金四郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	83	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	福岡郵便局保険課　畠中直次	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	84	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	福岡市大字春吉866　鈴木四市	福岡県芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	85	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	福岡県宮田町中有木　宇野莞爾	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・りきの	年賀状	葉書	1	
W	27	86	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	田窪昇之助	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	87	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	早川朝洋	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	88	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	昭	遠賀郡芦屋町粟屋　安高誠	年賀状	葉書	1	
W	27	89	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	早川利夫	遠賀郡芦屋町大字芦屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	90	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	遠賀郡岡垣村海志原　山辺国政	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	91	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	遠賀郡芦屋町　中山司	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	92	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	中間町唐戸　佐藤信子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	93	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	福岡県若松市有毛1592　松浦猛	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	94	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	折尾町本城　香山満寿郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	95	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	福岡市大字名島新町和洋酒類醤油問屋　桑原勇吉商店	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	96	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	山口の自転車代理店　安部自転車商会	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	97	〔葉書〕	昭和31	1	1	戸畑市東中原皆好園内　塚原たよ子	遠賀郡芦屋町大字芦屋粟屋1205　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	98	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	八幡市折尾駅前福岡銀行折尾支店　支店長相部寛志・外一同	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	99	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	八幡市折尾国道西鉄バス横三栄企業　高橋時計店	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	100	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	遠賀村別府　永田金十郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛・外御一同	年賀状	葉書	1	
W	27	101	〔葉書〕	昭和31	1	1	福岡県遠賀郡芦屋町中小路　黒山高麿	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	102	〔葉書〕	昭和31	1	1	山鹿　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	103	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	佐賀県高串局区内　山田屋旅館・山田源太郎	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	104	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	福岡県遠賀郡中間町　加来歯科医院	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	105	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	福岡市天神町福岡県農政部特産課　岸野武秀	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	106	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	東京都千代田区神田須田町2-15　株式会社白羊商店	福岡県芦屋町芦屋粟屋1205　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	107	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	海老津駅　中村正広	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	108	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	直方市津田町　合資会社椛田商店	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	109	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	参議院議員　野田俊作	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋1205　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	27	110	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	神奈川県相模原市小山787　内山昌亮	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	111	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	豊後高田市　安藤昭	福岡県遠賀郡芦屋町　安高隆盛兄	年賀状	葉書	1	
W	27	112	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	二日市湯町　波多野アサノ	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・リキノ	年賀状	葉書	1	
W	27	113	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	福岡市大字松崎　池田二郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・リキノ	年賀状	葉書	1	
W	27	114	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	福岡県遠賀郡遠賀村遠賀川橋橋畔　川魚料理旅館豊水園	芦屋町安屋（ママ）　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	115	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	直方市　石橋つもる・同良之	遠賀郡芦屋町粟屋1205　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	116	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	福岡県八幡市折尾町浅川通5　戸次岩雄	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	117	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	福岡県遠賀郡芦屋第二船頭町　津田為次	芦屋町字粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	118	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	福岡県遠賀郡芦屋町朝日新聞専売店　坂口新聞店	芦屋町字粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	119	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	植木保	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	120	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	東京都練馬区南町2-3710　秋山光民	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	121	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	衆議院議員　渕上房太郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	122	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	山口県長門市俵山温泉　岡嶋旅館	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	123	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	天草郡大矢野町中　荒井初次	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	124	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	岡湊神社宮司　林田守治	町内粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	125	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	石松恒芳・周・光	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	126	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	福岡市多々町大字千早2-1　入江節雄	遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	127	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	福岡県遠賀郡遠賀村議会議長　井口強	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	128	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	田中重男	遠賀郡芦屋町粟屋1205　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	129	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	福岡県林務部治山課　秋吉徹郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	130	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	伊東市松原区猪戸2-593	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	131	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	東京都練馬区上石神井1-79　笠国男	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	132	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	東京都大田区糀谷町2-653　亀津広門	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	133	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	福岡県遠賀郡芦屋町　吉永光雄	町内粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	134	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	遠賀郡水巻町　栗川正雄	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	135	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	東京都中野区江古田1-240　内藤良雄	福岡県遠賀郡芦屋局区内粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	136	〔葉書〕	明治43	1	1	四国霊場第七十番讃岐三豊郡本山村　準別格本山本山寺	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　小野吉次郎・安高藤右衛門	年賀状	葉書	1	
W	27	137	〔葉書〕		1	1	四国霊場第七拾番讃岐三豊郡本山村　準別格本山本山寺	筑前芦屋町字粟屋　安高藤右衛門・小野吉次郎	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	27	138	〔葉書〕	昭和31	1	元旦	中村つた	福岡県遠賀郡芦ヤ町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	139	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	福岡県遠賀郡芦屋町朝日新聞専売店　坂口新聞店	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	140	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	山口県長門市俵山温泉　岡嶋旅館	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・リキノ	年賀状	葉書	1	
W	27	141	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	若松市山手通り3丁目　吉浦英信	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・リキノ	年賀状	葉書	1	
W	27	142	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	久留米市櫛原町4丁目　酒井善左衛門	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・リキノ	年賀状	葉書	1	
W	27	143	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	福岡県遠賀郡水巻町　栗川正雄	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	144	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	大庭善三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	145	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	長崎駅前　植木保・トミ	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛・外御一同	年賀状	葉書	1	
W	27	146	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	東京都練馬区上石神井1-79　笠国男	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	147	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	遠賀郡岡垣村吉木　入江岩太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	148	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	佐賀県基山町　岸金四郎	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	149	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	八幡市立河内小学校　石松恒芳・光	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	150	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	遠賀郡中間町唐戸　佐藤太市	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	151	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	参議院議員　野田俊作	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	152	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	沼津市上香貫　酒井由夫	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	153	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	遠賀郡芦屋町正門町　坂田熊一	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	154	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	戸畑市東中原皆好園内　塚原たよ子	遠賀郡芦屋町大字芦屋粟屋1205　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	155	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	山崎小五郎	福岡県遠賀郡山鹿粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	156	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	中村昌広	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	157	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	八幡市大字小嶺594　医療法人八幡保養院	遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	158	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	福岡県遠賀郡芦屋町　津田為次	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	159	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	東京都武蔵野市吉祥寺2326　佐野惣蔵	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	160	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	大分市南大分大分農試　津野林士	福岡県遠賀郡芦屋町　安高隆盛	年賀状	葉書	1	
W	27	161	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	福岡県芦屋郵便局長　吉永光雄	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	162	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	福岡県芦屋町　瀬戸正広	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	163	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	東京都港区芝神谷町6　山本武・佳子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	164	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	東京都渋谷区上通1-7　大庭勝一	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	165	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	166	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	松浦猛	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	27	167	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	和洋酒類・醤油問屋　桑原勇吉・菊夫	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	168	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	豊浦町黒井　伊藤百太郎	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	169	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	福岡県遠賀郡遠賀村遠賀川橋橋畔　川魚料理旅館豊水園	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	170	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	岡湊神社宮司　林田守・西田広義・江南学舎	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	171	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	福岡県遠賀郡岡垣村　高倉神社	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	172	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	山口県長門市俵山温泉魚市場隣　糸永旅館	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	173	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	早川朝洋	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	174	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	東筑高等学校野球部　竹尾昭	遠賀郡芦屋町1205　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	175	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	宮川義雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	176	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	福岡県遠賀郡遠賀川　安高輝雄・田中順一	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	177	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	高群花子	遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	178	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	山鹿　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	179	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	東京都新宿区下落合4-2254　原田春実	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	180	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	福岡県宗像郡玄海町大字神湊　永島伝三郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	181	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	富山広貫堂　田村兵治	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	182	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	東京都文京区白山前町2　安藤敏夫	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	183	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	東京都中野区江古田1-240　内藤良雄	福岡県遠賀郡芦屋局区内粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	184	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	神奈川県相模原市小山787　内山昌亮(旧名要太)	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	185	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	園田家一同	遠賀郡芦屋町　安高団平・外御一族	年賀状	葉書	1	
W	27	186	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	福岡県中間町　遠賀青果株式会社	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	187	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	中村つた代・文子	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	188	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	福岡県遠賀郡岡垣村　吉田徳壮	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	189	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	京都市右京区太秦安井車道町　吉見輝義	福岡県遠賀郡芦屋町　安高隆(ママ)	年賀状	葉書	1	
W	27	190	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	宗像郡福間町　松尾豊	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	191	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	中津市長　市川文雄	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	192	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	遠賀郡中間町　安高正義・信子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・外御一同	年賀状	葉書	1	
W	27	193	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	佐賀県東松浦郡入野村　山田屋旅館	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	194	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	福岡市上若久町339　畠中直次	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	195	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	桑原宗人	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団平	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	27	196	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	長崎県平戸市長　山鹿光世	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	197	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	安高久米吉	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	198	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	福岡県遠賀郡水巻町吉田　白垣弥次	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	199	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	山口県長門市俵山　同嶋公・富美子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・御令室	年賀状	葉書	1	
W	27	200	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	小倉市紺屋町7丁目裁判所官舎東文男	遠賀郡芦屋町大字芦屋1205　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	201	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	八幡市折尾鷹見1-2　洞海プリント社江藤優・美奈子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	202	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	筑前芦屋町旅館筑水　中西ハナ	市内粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	203	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	福岡県遠賀郡芦屋町船頭町　堤義雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	204	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	折尾本城　香山満寿郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	205	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	高橋時計店	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	206	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	福岡県遠賀郡芦屋町　花屋	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	207	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	芦屋町正門町　柴田喜次郎	福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	208	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	旅館九州　陣場正輝・政則	福岡県遠賀郡芦屋町芦屋粟屋1205　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	209	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	早川利夫	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	210	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	福岡県遠賀郡芦屋町中小路　吉田呉服店	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	211	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	八幡市桃園アパート北13-10　藤崎正次郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	212	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	東京都千代田区神田一ツ橋2-9旅館一橋寮	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋1205　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	213	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	近松一好	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	214	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	若松市波打町　藤吉仁太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・他御一家	年賀状	葉書	1	
W	27	215	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	本田□	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・保正	年賀状	葉書	1	
W	27	216	〔葉書〕	昭和32	1	1	福岡県遠賀郡芦屋町中の浜　刀根善太郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	217	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	八幡市折尾町　田窪昇之助	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	218	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	篠原清吉	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	219	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	遠賀村今古賀　加藤慶太	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	服喪中につき新年の御祝詞失礼致します	葉書	1	
W	27	220	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	福岡市住吉　森由夫	遠賀郡芦屋町粟屋　安高段平（ママ）	年賀状	葉書	1	
W	27	221	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	福岡県遠賀郡芦屋町金屋　森山武夫	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	222	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	東京都中野区打越町11　橘喜朔	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋1205　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	223	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	株式会社東京味噌醸造機製作所	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	224	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	福岡市天神町1　入江節雄	遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	27	225	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	福岡市　妹尾喜久子	遠賀郡安志阿町大城　安高岩雄・安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	226	〔葉書〕	昭和30	1	元旦	小長光与壮	遠賀郡芦屋町粟屋　安高隆盛	年賀状	葉書	1	
W	27	227	〔葉書〕	昭和30	1	元旦	梶原利重	遠賀郡芦屋町大城　安高隆盛	年賀状	葉書	1	
W	27	228	〔葉書〕	昭和30	1	元旦	若松市修多羅波打　藤吉享江	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・御一同	年賀状	葉書	1	
W	27	229	〔葉書〕	昭和30	1	元旦	若松市修多羅波打　藤吉春江	遠賀郡芦屋町粟屋　安高正義	年賀状	葉書	1	
W	27	230	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	福岡県若松市小竹　中山司	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	231	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	加来繁雄	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	232	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	遠賀村別府　永田金十郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	233	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	鈴木四市	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	234	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	株式会社　白羊商店	福岡県芦屋町粟屋1205　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	235	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	天草郡苓北町坂瀬川大岳炭鉱　金子朝枝	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・御一同	年賀状	葉書	1	
W	27	236	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	遠賀村議会議員議会副議長　仲野馨	芦屋町大城　安高団平	年賀状	葉書	1	
W	27	237	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	東京都大田区糀谷町2-653　亀津広門	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	238	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	農林省岡山農地事務局長　和栗博	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	239	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	福岡県知事　土屋香鹿	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	240	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	福岡県議会副議長　三原朝雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	241	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	飯塚市川島甘木町市営住宅12号　松本喜代平	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	242	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	小倉市須賀町39　波多野アサノ	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・リキノ	年賀状	葉書	1	
W	27	243	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	遠賀郡芦屋町山鹿　浜中耕三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	244	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	長崎県平戸市長　山鹿光世	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	245	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	谷岡光次	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	246	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	衆議院議員　渕上房太郎	福岡県遠賀郡芦屋粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	お年玉くじ切り取り
W	27	247	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	大分県豊後高田市玉津城山　安藤昭	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高隆盛	年賀状	葉書	1	お年玉くじ切り取り
W	27	248	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	直方市上宇頓野出口　石橋良之	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	お年玉くじ切り取り
W	27	249	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	正門町　岩崎天外	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	27	250	第39回寿定期割増金計算書	昭和31	9	11	福岡銀行折尾支店	安高保正	422円	紙	1	
W	27	251	御餞別				安高モヽ代	お母	お母さんからお父さんに御餞別に手渡し下さいませんか	罫紙	1	封筒あり
W	27	252	〔書簡〕	〔昭和38〕	〔5〕	〔26〕	熊本県天草郡大矢野町中江後西山ユキ子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・安高リキノ	病院でも原因が解らなく自分の体が恐ろしくなり、挙句の果てにもう駄目と思って無理な相談をして帰らせて貰いました	罫紙	2	封筒あり、差出・宛名は封筒より
W	27	253	〔書簡〕	昭和38	1	26	あしや町にて　河村	遠賀郡あしや町粟屋　安高団兵衛	都合で今月一杯で帰る事になりそうです。お身体を大切に同窓会には来るつもりでおりますがもし欠席する時でも会費だけはお送りします	罫紙	1	封筒あり、差出・宛名は封筒より
W	27	254	〔和歌〕				福岡市新麦野1-57　河村たか	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	第五種和歌詠草	罫紙	4	封筒あり、差出・宛名は封筒より

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	27	255	〔書簡〕	〔昭和38〕	〔2〕	〔20〕	福岡市　河村	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	2月の詠草はまだでしょうか。私は12月の詠草ももらっておりません	罫紙	2	封筒あり、差出・宛名は封筒より、日付は消印
W	27	256-1～3	〔封筒〕				あしや町中小路区　古賀恵啓	芦屋町粟屋区　安高団兵衛		封筒	1	256-1～3を収める
W	27	256-1	〔書簡〕	昭和18	9	17	仏弟子愚人　恵啓	神子　安高団兵衛	尊徳の断の一字の叫びこそなやめる人の精神的良薬（安高様円満解決の秘伝（鍵）断の一字にあり）	紙	2	
W	27	256-2	〔書簡〕		9	17	恵啓	安高	安高様ハ親デありマス、親ノ言葉ニ従フハ子ノ道、叫んで下さい忠孝の道を	紙	1	
W	27	256-3	〔書簡〕		9	17	愚人　恵啓	安高団兵衛	安高様去る昭和16年12月断の一字決行して下さいとお願い申したのは只不肖恵啓神仏の為、皇国の為、聖地芦屋町の為、関係者御一同の為であり、御皇室に関する問題であります	紙	2	反故紙（裏は「県社神武天皇社奉賛会趣意書」）
W	27	257-1～2	〔封筒〕				芦屋町中小路区　町内会長久野一美	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	257-1～2を収める
W	27	257-1	〔書簡〕		10	26	愚人　恵啓	神子　安高	今般の件は一生涯の問題いな末代までの問題であります、今後は町内会長名義にて各方面書を発送致します	紙	1	
W	27	257-2	〔書簡〕	昭和18	10	24	古賀恵啓	安高団兵衛	本日夕刻警察官殿二人参りました。円満解決の光明は去る昭和16年12月津山様仲裁云々の時書面にてお願い申し上げその後今日までお願い申し上げる通り断の一字の決行の外に道は無いと信じます	紙	1	
W	27	258-1～2	〔封筒〕				静岡県伊東市松原猪戸2-593　秋山光見	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	258-1～2を収める
W	27	258-1	〔書簡〕	昭和31	9	27	伊東市松原猪戸2-593　秋山光見	安高団兵衛	お陰様にて父の初盆の供養も済み、且つ又先賢顕彰会何かと御厚配の事お礼申し上げとてございません	罫紙	5	
W	27	258-2	〔書簡〕		5	9	秋山光見	安高	写真は誠にありがとうございました。何卒万々宜敷願い上げます	罫紙	1	
W	27	259	〔書簡〕	昭和31	10	7	秋山光見	安高団兵衛	先般お願い申し上げました金子借用の件如何でございますか	罫紙	2	封筒あり
W	27	260	〔書簡〕	昭和31	12	19	合資会社ミヨシ商会	安高団兵衛	甚だ申しかねますが御約束の支払金を御猶予の程御願申し上げ致したいのです	罫紙	1	封筒あり
W	27	261	〔書簡〕	〔昭和〕16	4	15	八幡市黒崎西岡田町　広渡タツノ	安高団兵衛様内　リキノ様	せっかく来てくれたのに工場の休みが取れず残念だったこと	便箋	2	封筒あり
W	27	262	領収証	昭和16	5	7	福岡県折尾国道筋ラジオ電器具販売　早間商店	安高団兵衛	金52円	領収書	1	封筒あり（封筒差出人は大和ラヂオ配給株式会社折尾配給所）
W	27	263	〔書簡〕		10	6	満洲国城子満郵便所気付河嶋部隊気付江口隊　松川嘉永	安高団兵衛	自分も満期の暁には農村に立ち戻り良き青年の指導者となり日本農業の根本的立て直しをしようと思っております	罫紙	6	
W	27	264	〔書簡〕	昭和15	10	12	日本農村文化研究所理事長　草場七郎次	安高団兵衛	資料御貸与に相成り候処、早ニ返納申上度存居候	紙	1	封筒あり
W	27	265	〔挨拶状〕	昭和16	5	17	福岡県遠賀郡岡垣村　日本生命保険株式会社岡垣代理店　太田達雄	安高団兵衛	小生事、今般日本生命保険株式会社岡垣代理店を引受け業務を開始致す事と相成候	紙	1	封筒あり
W	27	266	〔書簡〕				遠賀村農会　津田	安高団兵衛	納税通知書、遠賀村農会まで御通知お願い申し上げます	罫紙	1	封筒あり
W	27	267	〔書簡〕		11	15	大日本聯合青年団　加藤平太郎	安高団兵衛	貴家にとってかえがたい記録を紛失してしまい、何ともお詫びの言葉もありません	罫紙	1	封筒あり
W	27	268	〔書簡〕		3	25	安高半次郎	安高団兵衛	会計報告につき台帳御貸与についてご足労被下度候ハヾ尚更好都合	紙	1	封筒あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	27	269	〔書簡〕			19	隆盛	父上・母上	おたふく風邪に罹り11日の午後から休んでおりますが、もう心配はありません、今度の日曜に帰ります	罫紙	4	封筒あり
W	27	270	〔書簡〕		10	15	森由夫	安高団兵衛	先日は別府の件の御厚誼に対し厚くお礼申し上げます。写真3葉有難く頂いております	罫紙	1	封筒あり
W	27	271	〔書簡〕	大正5	11	9	軽重兵第十二大隊第一中隊長中村喜代蔵	安高藤平	御令孫団兵衛氏今般名誉ある軍籍に身を投せらるることに相成、以下の点につき充分御説示せらるる事。1入営を祝する為酒肴を以て親戚知己等饗応せらるるは極めて無益の事、2入営の直前に慰安の目的で業を休み送別の宴をなし飲酒等の為病気に罹り入営時の身体検査において治療投薬等を受けるは不名誉の極み、ほか3点	紙	1	封筒あり
W	27	272	〔書簡〕	〔昭和31〕	〔11〕	〔17〕	安高正義	父上	小生今持っているオーバーは悪く正月用にはならず新調は高いので山鹿の質屋さんに頼んでください	罫紙	2	封筒あり、日付は消印
W	27	273	電報	昭和10	1	15		アシヤマチアワヤ　アタカダンベエー	エビツ　ヨル七ジハンツク　リヤカムカイタノム			
W	27	274-1～3	〔封筒〕				東京市本郷区5-29　国民軍事教育会々長　陸軍少尉深谷又三郎	福岡遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	274-1～3を収める
W	27	274-1	郵便物受領証	昭和5	9	7		深谷又三郎		断簡	1	
W	27	274-2	〔記〕						軽重兵科の4頁第2行目の下部に兵站とありますが此の意味を御教示下さい（演習行軍のとき糧食その他兵隊の給与品を取扱う所）	断簡	1	
W	27	274-3	〔記〕						陸軍礼式の9頁第12行目に直属とありますが、此の解釈を言語にて明確に申しますには如何申しますか御教示下さい（自分の部隊の即ち聯隊・大隊・中隊の長官なり）	断簡	1	
W	27	275	〔記〕	昭和37			秋山光清先生歌碑建設委員会		秋山先生は徳島の産。有志相計って歌碑を建て先生の清徳を偲ぶ	紙	1	
W	27	276	〔記〕	昭和37			秋山光清先生歌碑建設委員会有志一同		秋山先生は徳島の産。有志相計って歌碑を建て先生の清徳を偲ぶ	紙	1	
W	27	277	〔書簡〕		1	13	秋山光材	安高	歌碑の件につき碑文の説明	罫紙	3	
W	27	278	〔封筒〕					福岡県遠賀郡芦屋局区内芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	裏面破損
W	27	279	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	宗像町東郷　桑野恵	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・安高隆盛	年賀状	葉書	1	
W	27	280	〔葉書〕	昭和32	1	元旦	福岡県若松市浜2番町2　津山つる	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	28	1	〔書簡〕	昭和34	5	1	中西五郎六	安高団兵衛様	今回の地方選挙で町会議員に立候補した際の、御激励の御言葉、御見舞の御礼	紙	1	封筒あり、中西五郎六より安高団兵衛宛。W28-1～138ビニール紐一括
W	28	2-1	〔書簡〕	昭和34	4	18	山崎小五郎	安高団兵衛様	友人天の良吉君の学識と経験を活かす今後の活躍に期待し、小生同様格別の御鞭撻を賜りたい	紙	1	封筒あり、山崎小五郎より安高団兵衛宛、W28-2-1～2一括
W	28	2-2	〔天の良吉略歴〕						天の良吉氏の略歴、現在の役職、顔写真付	紙	1	
W	28	3	わたくしたちの生活を守る二本の柱	昭和34	1	15	鹿島守之助、全国社会保険協会連合会		社会保険制度整備を推進するための小冊子	書冊	1	封筒あり、鹿島守之助九州後援会より安高団兵衛宛

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	28	4	〔書簡〕	〔昭和34〕	3	31	保正	父上様	誠の大学入学の件、学債紛失の件、洋服の件、立川市の下宿先のこと、大学卒業式のこと	便箋	4	封筒あり、安高保正より安高団兵衛宛
W	28	5	〔書簡〕	〔昭和34〕	3	20	保正	父上、母上様	十九日夜無事東筑学舎に到着。道中の汽車中のこと。会社の入寮のこと、出勤のこと。寮の住所の報知	便箋	3	封筒あり、安高保正より安高団兵衛宛
W	28	6	〔書簡〕	昭和34	3	6	保正	父上様	誠到着、芝浦工業大学受験、日大受験に向けて勉強中。東筑学舎が高田馬場から北多摩郡に移転、田無の町についての感想。	便箋	5	封筒あり、安高保正より安高団兵衛宛
W	28	7-1	〔書簡〕	〔昭和34〕	2	14	保正	父上様	学年試験始まる。卒論提出、その際教授と話をして会社に出勤することを勧められたので、出勤のつもりだが会社の先輩に様子を聞くつもり。東筑学舎の移転先について	便箋	3	封筒あり、安高保正より安高団兵衛宛。日付は封筒記載月日、W28-7-1～2一括
W	28	7-2	〔書簡〕	〔昭和34〕	2	16	保正	父上様	日本工営の先輩を訪ね、寮に入れること、学年試験が終われば出勤する人がいることを聞いた。帰省や誠の入試のこと。背広をつくってもらうこと	便箋	3	
W	28	8	〔書簡〕		2	10	小倉市曽根町九州労災病院五病棟13号秋枝正助	安高団兵衛殿	同窓会欠席にて失礼のこと。病気入院中にて案内状の返事が出せなかった。貴兄より御見舞及写真をお送り頂き感謝。参月頃退院のこと	便箋	2	封筒あり、秋枝正助より安高団兵衛宛
W	28	9	〔書簡〕	〔昭和34〕	1	8	保正	父上、母上様	無事東筑学舎に到着。上京中の汽車中の様子。東京の様子。掛け布団が届いたこと	便箋	3	封筒あり、安高保正より安高団兵衛宛。日付は封筒記載月日
W	28	10	〔書簡〕		12	12	アヤ子ヨリ	安高団兵衛様	近況報告。玉葱苗五六百本御送り下さい。	便箋	3	封筒あり、片山綾子より安高団兵衛宛
W	28	11	共済組合新聞	昭和34	2	15	国家公務員共済組合連合会		年金問題に関する記事	新聞紙	1	封筒あり、農林省福岡統計調査事務所より安高隆盛宛
W	28	12	共済組合新聞	昭和34	2	1	国家公務員共済組合連合会		恩給、年金問題に関する記事	新聞紙	1	封筒あり、農林省福岡統計調査事務所より安高隆盛宛
W	28	13	〔書簡〕		8	27	はたの拝	安高団兵衛様、安高りきの様	去年来、中風症にかかり右手、右足が不自由。内浦の長畑みき・さん夫妻が選挙日に来た。一昨年来葉書の御返事せずお恨みのことと思う。十月頃一度来て下さい。自動車、バス料金を記す	便箋	5	封筒あり、波多野アサノより安高団兵衛、りきの宛
W	28	14-1	〔入会案内〕	昭和34	3		日本大学工科校友会会長柴田衛他5名	父兄各位	日本大学工科校友会正会員入会案内、終身会費金弐千円納入の案内	紙	1	封筒あり、日本大学工科校友会より安高団兵衛宛。W28-14-1～2一括
W	28	14-2	〔払込用紙〕						日本大学工科校友会終身会費の払込用紙	紙	1	
W	28	15	〔書簡〕	〔昭和33〕	11	4	保正	兄上、姉上様	送金の御礼。学舎で日光へ一日ピクニックに行った際に東照宮や華厳の滝などを見物したこと	便箋	4	封筒あり、安高保正より安高藤吉、千鶴子宛
W	28	16	〔書簡〕	〔昭和33〕	11	4	保正	父上、母上様	学生服下ズボン到着、ズボンの替わりに三千五百円か四千円送って頂きたい。できれば返品したいが可能かお尋ねする	便箋	2	封筒あり、安高保正より安高団兵衛、りきの宛
W	28	17	〔書簡〕	〔昭和30〕	2	9	はつ子	りきの様へ	昨年中は亡き姉上の為、御世話になり御礼申上。姉上のことが日々思い出される。亡姉の夫は後妻を貰いたいとのことについて	便箋	3	封筒あり、畠中はつ子より安高団兵衛、りきの宛。日付は封筒記載月日

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	28	18	〔書簡〕	〔昭和34〕	10	4	安高保正	父上、母上様	先月急性湿疹になり、大学三年時のインフルエンザとともに苦しかった病気に感じる。自分の体を気を付けねばならないと思う。	便箋	3	封筒あり、安高保正より安高団兵衛、りきの宛。日付は封筒記載月日。W28-18～39輪ゴム一括
W	28	19	〔書簡〕	〔昭和34〕	9	25	保正	父上、母上様	学債は誠のところへ行って渡した。先日より急性湿疹になり療養中。冬季用の背広一着を新調したいので一万五千円程貸して頂きたい。オーバーについても新調する予定	便箋	3	封筒あり、安高保正より安高団兵衛、りきの宛。日付は封筒記載月日。
W	28	20	〔書簡〕	昭和34	9	20	佐藤信子	安高団兵衛、りきの様	近況報告。安高正義がもうちょうで入院し、花屋を辞めて八幡にいると聞いたこと。正義と一緒にいた頃の話	便箋	2	封筒あり、安高団兵衛、りきの宛
W	28	21	〔書簡〕		8	20	かめの	安高さま	此度のお盆の御礼。先賢慰霊祭の案内は不要、御香料は御願いします。私の眼病は白内症にて養生	便箋	3	封筒あり、秋山かめのより安高団兵衛宛
W	28	22	〔書簡〕			18	恵美子	父母上様	達雄、幸枝の診察結果、今後の対応について。先日話した上衣のこと、誠のおべんとうの折り箱のこと	便箋	3	封筒あり、恵美子より母上様宛
W	28	23	〔書簡〕		8	5	かめの	安高さま	御機嫌伺。私は目を病んでいるので養生中。東京滞在中に夏休みとなり、孫たちにまつわられ、山鹿に帰りたい。お盆を山鹿式でした。親類が次々亡くなった悲しい便りに心さびしい	便箋	3	封筒あり、秋山かめのより安高団兵衛宛
W	28	24	〔書簡〕	〔昭和34〕	8	3	保正	父上、母上様	先月十五日立川の寮に誠が来て、その後帰郷。誠が変わっていれば知らせて下さい。最近の天候のこと。東京は七月十五日に盆が終わったこと。日大の学校債券の件	便箋	4	封筒あり、安高保正より安高団兵衛、りきの宛。日付は封筒記載月日
W	28	25	〔書簡〕		7	23	波多野アサノ	安高団兵衛様、仝りきの様	今日夕刊福日に安高団兵衛が出た。瓜生辰雄さん午後より来て夕方まで、翌日私の友人十時頃より午後十二時まで。広渡リキノは中風症に倒れる共、夫の側にて加勢すべき	便箋	3	封筒あり、波多野アサノより安高団兵衛宛
W	28	26	〔通知〕	昭和33	6	16	芦屋町農業協同組合組合長理事安高松次郎(印)	粟屋安高団兵衛殿	第拾回通常総会で特別配当金を決定。貸付金利息に応じて金員を貯金口座に振込んだ	紙	1	
W	28	27	〔取扱説明書〕						バイエルのはえ取の説明書	紙	1	
W	28	28	〔書簡〕	昭和34	7	14	佐藤信子	安高団兵衛、〃りきの様	御手紙拝見、同封の写真を懐かしく拝見。保正さん大学卒業、誠さん入学のお喜び申上ます。来月8日に帰福し、御礼旁御伺い致したい	便箋	2	封筒あり、安高団兵衛、りきの宛
W	28	29	〔書簡〕		7	11	かめの	安高さま	時候見舞。七月十日頃帰りたいが、迎えに来る筈の幸子が病気、酒井も諸用のため上京。光材の内にてお盆をした。本郷先生御死去のお知らせの御礼。本郷先生追悼や武蔵野市を題材に歌5首	便箋	3	封筒あり、秋山かめのより安高団兵衛宛
W	28	30	〔書簡〕	〔昭和34〕	7	10	片山アヤ子	安高団兵衛様	御機嫌伺。子供のこと。玉葱の出来栄えについて	便箋	2	封筒あり、片山アヤ子より安高団兵衛宛。差出、宛名、日付は封筒記載のもの
W	28	31	〔書簡〕	〔昭和34〕	7	5	保正	父上、母上様	手紙の御礼。昨日誠の所へ参り勉強の助言。よく勉強し、考えて生活している。原動機付自転車運転免許証の更新はしない。会社生活は相変わらずで健康診断も異常なし	便箋	5	封筒あり、安高保正より安高団兵衛、りきの宛。日付は封筒記載月日

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	28	32	〔案内状〕	昭和34	6	1	芳村圭助	安高団兵衛様	西式健康法を聞く会を催すので、御参加下さい	紙	1	封筒あり、芳村圭助より安高団兵衛宛
W	28	33	〔書簡〕		5	28	かめの	安高さま	光明寺お和尚さま御死去の知らせに驚き、弔電と御香典を送った。私方へ来た七島晴夫にも宜敷お伝え下さい。御許様御上京の時はお立寄り下さい。和尚追悼歌1首、他1首	便箋	4	封筒あり、秋山かめのより安高団兵衛宛。日付は封筒記載月日
W	28	34	〔書簡〕	昭和34	5	25	光一	安高様	老母、伊東に安着。私達の会長（鹿島守之助）も参議院の全国区で立候補したので宜敷御願いする。上京の節は御立寄り下さい	便箋	2	封筒あり、秋山光一より安高団兵衛宛
W	28	35	〔書簡〕		5	17	保正	父上、母上様	手紙、写真受取。五月二日に中山の誠の所を訪ね、話をした。自分で考えて生活し、勉強もよくやっている。私の会社は馴れてきた。一日の生活について。一昨日健康診断を受けた	便箋	3	封筒あり、安高保正より安高団兵衛宛。日付は封筒記載月日
W	28	36	〔書簡〕		5	15	かめの	安高さま	出立の折に御世話になった御礼。汽車の車中の様子。此頃は日に二、三回温泉に入り、四人の孫にかこまれて夢のように楽しい日を送っている	便箋	3	封筒あり、秋山かめのより安高団兵衛宛。日付は封筒記載月日
W	28	37	〔戒名〕						「賢明院貫旨理徹居士」とあり	紙	1	
W	28	38	〔書簡〕				恵美子より	安高様	遠路お祝いを頂き御礼申上。写真受取ました家の全景大切にします。米国の姉にも同じものを送って下さり御礼申上。私お父さんも御世話になるので何卒宜しく御願いします	便箋	1	封筒あり、大和恵美子より安高団兵衛宛。消印「34.5.14」
W	28	39	〔商品案内〕						リーダーズダイジェストという雑誌の購読案内	紙	3	封筒あり
W	28	40	〔葉書〕	〔昭和34〕	12	1	東京都世田ヶ谷区烏山一四六三松尾文子	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋一二〇五安高団兵衛様	過日丁寧なお便りとお供えを頂き御礼申上。同封のお写真は何によりのよすがとなり感謝にたえない。	葉書	1	
W	28	41	〔葉書〕	昭和34	11		西田広義	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	神社新報研究室に勤務の報知。神官制度改正の問題に取り組んでいる。御餞別の御礼	葉書	1	
W	28	42	〔葉書〕				西日本相互銀行	芦屋町粟屋安高団兵衛様	西日本相互銀行の創立15周年の葉書	葉書	1	消印「34.12.1」
W	28	43	〔葉書〕				山口銀行	芦屋町粟屋安高団兵衛様	山口銀行八幡支店の葉書	葉書	1	消印「34.12.1」
W	28	44	〔葉書〕				鳥栖市村田町宇野得三	福岡県遠賀郡芦屋町安高団兵衛様、仝御令室様	拝借していた秘蔵の御玉稿は読みかけだが、只今書留便で発送したので、御査収下さい。着否について一筆おしらせ下さい	葉書	1	消印「34.11.30」
W	28	45	〔葉書〕		11	13	鳥栖市村田町宇野得三	福岡県遠賀郡芦屋町安高団兵衛様	昨日は御手づからの御撮影の写真御恵贈有難うございました。家宝として秘蔵の覚悟。御玉稿は今暫く御猶予下さい	葉書	1	
W	28	46	〔葉書〕			22	鳥栖市村田町宇野得三	福岡県遠賀郡芦屋町安高団兵衛様	先日は遠路御光来を感謝。御下命のもの只今出来たので明朝発送	葉書	1	
W	28	47	〔葉書〕				小倉市須賀町波多野あさの、すが子	遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様、りきの様	先日は不自由な足で、又ご多忙な主人様とお越し頂き、牛乳や玉子を沢山頂き有難うございました。有意義なお話も拝聴し、よい日を過ごさせて頂きました。	葉書	1	消印「34.10.15」
W	28	48	〔葉書〕		10	10	菊本ニッポン服装社菊本実	福岡県芦屋局区内芦屋町粟屋安高団兵衛様	本日御令息様御来店、長谷川毛織の上等品を格安にてお勧めいたし御下命頂きました。御礼申上	葉書	1	
W	28	49	〔葉書〕				福岡県遠賀郡岡垣村高倉神社々務所	遠賀郡芦屋町大城安高団兵衛殿	高倉神社秋季大祭の案内	葉書	1	消印「34.10.2」
W	28	50	〔葉書〕				岡垣村元松原広渡一敬	遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	来る九日高倉神社祭礼に付、前夜より皆様御揃の上、御出浮下さい	葉書	1	消印「34.10.5」

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	28	51	〔葉書〕	昭和34	10	22	芦屋基地貸地主組合組合長佐多房太郎	八幡市大門町四丁目門司重頼殿	米軍使用中の芦屋基地内の土地売却の件、調達庁との接渉に結論を得たので組合臨時総会を開催	葉書	1	消印「34.10.24」
W	28	52	〔葉書〕				小倉市須賀町三九波多野アサノ	遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様、〃りきの様	転居報告。市場町が名残惜しい	葉書	1	消印「34.3.27」
W	28	53	〔封筒〕				黒山てる	安高団兵衛様	封筒のみ	封筒	1	
W	28	54	〔電報〕					アワヤアタカトウキチカタオザキヒロコ殿	「ハハキトクコイチチ」とあり	紙	1	消印「34.9.4」
W	28	55	〔書簡〕		11	29	保正	兄上、姉上様	急性湿疹完治。会社で十月三十一日から那須温泉に一泊二日の旅行。健康診断異常なし。誠と相互に行き来している。誠にオーバーを譲った	便箋	5	封筒あり、安高保正より安高藤吉、千鶴子宛。日付は封筒記載月日
W	28	56	〔書簡〕				酒井幸子	安高様	母不在中に御世話頂いた御礼。母も多くの孫に囲まれた生活から一人になって寂しいので、女中がいたら宜しく御願いする。	便箋	2	封筒あり酒井幸子より安高団兵衛宛。消印「34.11.29」
W	28	57	〔書簡〕	昭和34	11		株式会社西日本相互銀行取締役社長東令三郎	安高団兵衛様	創立十五年記念の挨拶	紙	1	封筒あり、東令三郎から安高団兵衛宛
W	28	58-1	〔書簡〕		11	25	信子	安高団兵衛、〃りきの様	近況報告。事故に遭わないよう気を付けて体を大切にして下さい。十一月十五日に三川ダムに遊びに行った折の写真を同封	便箋	2	封筒あり、安高団兵衛、りきの宛。W28-58-1～58-5一括
W	28	58-2	〔写真〕						男女各2名の集合写真	写真	1	
W	28	58-3	〔写真〕						女性4名、子供2名の集合写真	写真	1	
W	28	58-4	〔写真〕						女性2名の写真	写真	1	
W	28	58-5	〔写真〕						三川ダムの写真	写真	1	
W	28	59	〔書簡〕		11	15	信子	安高団兵衛、〃りきの様	近況報告。誠さん、保正さんの成長や母様が元気になったことを喜ぶ。芦屋の妹も元気になり、赤ん坊大会の県大会3位とのこと。御父様をほめる妹の便りがあった	便箋	2	佐藤信子より安高団兵衛、〃りきの宛
W	28	60	〔書簡〕				りきの	主人様	百円ぐらいの東京の印が入った風呂敷を買って来て下さい。あいさんにやるふろしき金は私がなおしている	便箋	1	封筒あり安高リキノより安高団兵衛宛。消印「34.11.14」
W	28	61-1	〔案内状〕	昭和34	11	10	株式会社山口銀行八幡支店支店長出口一視	安高団兵衛様	米軍芦屋ベース用地の調達庁買上が決定の由。その収入を山口銀行へお預け入れ頂きたい	紙	1	封筒あり、株式会社山口銀行八幡支店より安高団兵衛宛。W28-61-1～61-4一括
W	28	61-2	〔パンフレット〕				山口銀行		預金のご案内	紙	1	
W	28	61-3	〔簡易カレンダー〕				山口銀行		1959年10月～1960年3月までの栞状のカレンダー	紙	1	
W	28	61-4	〔時刻表〕	1959	10		福岡県貯蓄推進委員会山口銀行八幡支店		鹿児島本線、日豊本線、日田線、国鉄・関門急行バス、西鉄特急バス、関門連絡船、唐戸連絡船の時刻表	紙	1	
W	28	62	〔書簡〕	昭和34	11	10	安高正義	母上様	お手紙の御礼。元気で商売も順調。嫁を探している	便箋	1	封筒あり、安高正義より安高リキノ宛
W	28	63	〔通知〕	昭和34	8	25	芦屋町役場衛生係	粟屋区安高団兵衛殿	レントゲン結果、要精密検査に付、十月に芦屋小学校講堂にて実施	紙	1	封筒あり、福岡県遠賀郡芦屋町役場より安高団兵衛宛
W	28	64	〔書簡〕		4	24	恵美子	母上様	御手紙拝見。関節痛の治療についての見聞の報告。母上様も養生第一で良くなられることを祈る	便箋	3	封筒あり、重岡恵美子より安高りきの宛
W	28	65-1	〔記〕	昭和12	1	13	株式会社日本勧業銀行福岡支店支店長西尾喜太三(印)	安高団兵衛殿	金壱千弐百円を融通、利率年七分二厘。毎期御払込金額は金八参円弐五銭	紙	1	封筒あり、日本勧業銀行福岡支店より安高団兵衛宛、W28-65-1～9一括。W28-65～82輪ゴム一括
W	28	65-2	〔監査票〕				株式会社日本勧業銀行福岡支店支店	安高団兵衛殿	返済金の払込通知書	紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	28	65-3	〔振替貯金受領証〕	〔昭和12〕	2	5	安高団兵衛	日本勧業銀行福岡支店	金83円25銭の払込	紙	1	W28-65-2の同折
W	28	65-4	〔払込通知書〕	昭和12	2	15	株式会社日本勧業銀行福岡支店支店	安高団兵衛殿	金83円25銭の払込の領収証	紙	1	W28-65-2の同折
W	28	65-5	〔監査票〕				株式会社日本勧業銀行福岡支店支店	安高団兵衛殿	返済金の払込通知書。払込期日や払込金額の詳細の手書きあり	紙	1	
W	28	65-6	〔振替貯金受領証〕	〔昭和12〕	8	7	安高団兵衛	日本勧業銀行福岡支店	金83円25銭の払込	紙	1	W28-65-5の同折
W	28	65-7	〔払込通知書〕	昭和12	8	15	株式会社日本勧業銀行福岡支店支店	安高団兵衛殿	金83円25銭の払込の領収証	紙	1	W28-65-5の同折
W	28	65-8	〔監査票〕				株式会社日本勧業銀行福岡支店支店	安高団兵衛殿	返済金の払込通知書。払込期日や払込金額の詳細の手書きあり	紙	1	
W	28	65-9	〔振替貯金受領証〕	〔昭和13〕	2	4	安高団兵衛	日本勧業銀行福岡支店	金83円25銭の払込	紙	1	W28-65-8の同折
W	28	66-1	〔払込通知書〕	昭和7	2	15	株式会社日本勧業銀行福岡支店支店	遠賀郡芦屋町芦屋一二〇五番地安高団兵衛殿	金八拾五円弐拾銭の払込通知書	紙	1	封筒あり、日本勧業銀行福岡支店より安高団兵衛宛。W28-66-1～2一括
W	28	66-2	〔受領票〕	〔昭和7〕	2	5	株式会社日本勧業銀行福岡支店支店		金八拾五円弐拾銭の受領票	紙	1	
W	28	67-1	〔通知〕	昭和33	7		日本大学理工学部後援会会長大槻金次		昭和三十三年度後援会総会にて会長選出につき就任挨拶。昭和三十二年度決算報告並びに新役員表、昭和三十三年度予算等の送附について	紙	1	封筒あり、日本大学工学部後援会より安高団兵衛宛。W28-67-1～5一括
W	28	67-2	日本大学理工学部後援会会則						全15条の会則	紙	1	W28-67-1同折
W	28	67-3	日本大学理工学部後援会役員	〔昭和33〕	7				保護者側役員と大学側役員の計50名の名簿	紙	1	W28-67-1同折
W	28	67-4	工学部後援会昭和三十二年度決算書	昭和33	6	7	監事青山幸隆(印)、同菅沼清美(印)		決算報告書	紙	1	
W	28	67-5	昭和三十三年度日本大学理工学部後援会予算						予算書	紙	1	W28-67-4同折
W	28	68-1	〔案内状〕	昭和33	3		日本大学工学部後援会会長大角武	御父兄各位殿	後援会費を三回(計五〇〇〇円)に分割して受領料と同時に一括納入していただくよう懇願申上	紙	1	封筒あり、日本大学工学部後援会より安高団兵衛宛。W28-68-1～2一括
W	28	68-2	〔払込用紙〕						後援会費払込用紙	紙	1	
W	28	69	〔書簡〕		11	15	隆盛より	父上、母上様	本所の事務所から退所の件で連絡してもらい、再発の心配がないなら自宅療養で良いと連絡があったとのこと。許可が出れば今月末に退所したい。退所の際、家の車を借りたい。医療費を用意してほしい	便箋	4	封筒あり、安高隆盛より安高団兵衛、りきの宛
W	28	70	〔書簡〕		10	15	隆盛より	父上、母上様	写真の御礼。厚生年金病院で受診し急性鼻炎との診断。誰かが鶏卵を持参してくれた。病院から九月分の請求書が来たので御願いする。十月から医療費値上げ、十一月一杯で退院したい。保正の就職、誠の勉強の知らせについて	便箋	4	封筒あり、安高隆盛より安高団兵衛、りきの宛
W	28	71	〔書簡〕		11	1	隆盛より	父上、母上様	中間市発足、芦屋町の文化祭、和歌大会、郷土史料展のこと。遠賀療養所での自殺者のこと、僕達の三病棟での自殺者のこと	便箋	4	封筒あり、安高隆盛より安高団兵衛、りきの宛
W	28	72	〔書簡〕				恵美子	(母上様)	注文の合服の件、母上様に似合いそうなのが見当たらないので、着地を選んで近所の人に仕立てて貰う。便のない時は安部自転車屋まで届け、父上様に持って帰ってもらって下さい	紙	1	封筒あり恵美子より母上様宛
W	28	73	〔書簡〕		10	14	かめの	安高さま	九月二十一日より中村町長男宅に来ている。眼の養生のためにも帰省する。幸子が迎えに来る。波田様の御許様よりの御手紙拝見。光一のことについて。歌3首。	便箋	3	封筒あり、秋山かめのより安高団兵衛宛

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	28	74-1	第二代宇野家家憲(写)	昭和15	11	10	第三代戸主宇野得三		第二代戸主宇野正元が誌した十三条の家憲を宇野得三が写。クリップにて一括	罫紙	2	封筒あり、宇野得三より安高団兵衛宛。W28-74-1～2一括
W	28	74-2	孝論	昭和34	10	22	鳥栖市村田町宇野得三(印)	昭和の二宮尊徳先生	家訓、人生訓。クリップにて一括	便箋	8	
W	28	75-1	〔書簡〕		2	4	安高隆盛	父上様	同封の封筒(福岡統計調査事務所行)を芦屋局消印にて投函下さい。差出月日は2月5日にしているので、早めに投函下さい。	便箋	1	封筒あり、安高隆盛より安高団兵衛宛、『至急』とあり。W28-75-1～2一括
W	28	75-2	〔書簡〕						同封の金、写真は受け取った。一度子供連れで遊びに行きたい。俵山温泉に行かれる時は天草にも廻って遊びに来て下さい。	便箋	2	封筒あり、片山あや子より安高団兵衛宛
W	28	76	〔葉書〕				東京都世田ヶ谷区烏山一四六三松尾文子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	母中村ツタ十月十八日に他界。二人共生前ずい分とお世話になり、お礼申上げます	葉書	1	消印「34.10.19」
W	28	77	〔葉書〕		9	18	伊東市松原猪戸二ノ五九三秋山かめの	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	十四号の台風の被害有無伺い。お世話になっているお礼。私も幸子が上京を待っている	葉書	1	
W	28	78	〔葉書〕	昭和34	10	29	佐賀県鳥栖市村田町七二四番地イ宇野得三(印)	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋一二〇五番地安高団兵衛様	昨日御葉書、只今玉稿拝受。御秘蔵の御家宝暫く拝借。貴町役場出火の由、御見舞申し上げます	葉書	1	
W	28	79	〔書簡〕		11	3	宇野得三	安高様	御申込の件について、気付いたことを書いた家訓。	便箋	3	封筒あり、宇野得三より安高団兵衛宛
W	28	80	〔書簡〕		9	30	安高正義	父上様	仕事の件で三万円入用に付、現金送金を願う	紙	1	封筒あり、安高正義より安高団兵衛宛
W	28	81	〔書簡〕	昭和34	10		株式会社西日本相互銀行取締役社長東令三郎	安高団兵衛様	収穫の御準備で多忙のことと存じます。御収穫代金を預金戴き、日々業績は親展しており、引き続き御引立の程、御願い申し上げます	便箋	3	封筒あり、株式会社西日本相互銀行取締役社長東令三郎より安高団兵衛宛
W	28	82	〔書簡〕		10	15	保正	父上様	菊本さんに背広を注文。兄のジャンパーは背広と共に送って下さい。先月二十三日の急性湿疹は完治。今月末に会社で那須温泉へ旅行する	便箋	2	封筒あり、安高保正より安高団兵衛宛。日付は封筒記載月日
W	28	83	〔電報控〕					オンガガワキョクナイナカノカホルオノトウエモンシゲヒロアラタ	「ネマハアタカダンベイ」とあり	紙	1	
W	28	84	〔電報控〕					オカガキムラモトマツバラヒロワタリマツヲ	「ネマハアタカダンベイ」とあり	紙	1	
W	28	85	〔雑記〕						野菜の品目、人名などの書上	罫紙	1	
W	28	86	〔書簡写〕	昭和34	2	9	安高団兵衛	片山様	玉葱苗送付のこと。米軍芦屋基地用地等の被害者組合補償金申請につき上京し、調達庁との交渉。保正は日本大学を今春卒業、日本工営に就職	罫紙	1	
W	28	87	〔書簡写〕						五男誠が工業経営学科に入学につき、手続きなど	紙	1	
W	28	88	〔書簡写〕						愚息の入学について、御相談申上る事を御承諾下され感謝。日大理工科に入られぬ場合は、工業経営学科へ入れる様御願いします	紙	1	
W	28	89	〔電報控〕					アシヤマチアワヤアタカダンベイ殿	「ブジツイタヨロシクタノムアキヤマ」とあり	紙	1	
W	28	90	〔電報控〕					オンガガワキョクナイオンガムラヤクバアリヨシソンチョウワカマツヨシダケイタロウ	「ネマハアタカダンベイ」とあり。紙背ニ室貸契約書ノ写しあり	紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	28	91	〔電報控〕					トウキョウトキタタマグンホウヤマチカミホウヤカミヤギザワ二九ー二トウチクガクシャナイアタカヤスマサ	「一〇ヒアサカゼニテツクダン」とあり	紙	1	
W	28	92	〔電報控〕					フクオカケンオンガグンアシヤマチアシヤキョクナイアワヤアタカトウキチ	表反故、裏に「一四ヒキタクスルダンベイ」とあり	紙	1	
W	28	93	〔電報〕					フクオカノアタカダンベイ殿	「イズモデユクヤス」とあり	紙	1	
W	28	94	〔電報〕					アワヤアタカトウキチ殿	「二〇ヒキタクスルアタカダン」とあり	紙	1	
W	28	95	〔電報控〕					フクオカケンオンガグンアシヤキョククナイアワヤアタカトウキチ	「二〇ヒキタクスルアタカダン」とあり	紙	1	
W	28	96	〔電報〕					アシヤマチアワヤアタカトウキチ殿	「一四ヒキタクスルダンベ」とあり	紙	1	
W	28	97	〔電報控〕						「一二ヒヘイワニテツクアダン」とあり	紙	1	
W	28	98	昭和34年お年玉つき年賀はがき当せん番号						商品と当選番号一覧	紙	1	
W	28	99	〔電報〕					アワヤアタカトウキチ殿	「二五ヒチクシニテオリオニツクアタカダン」とあり	紙	1	
W	28	100	〔電報控〕					フクオカケンオンガグンアシヤキョククナイアワヤアタカトウキチ	「二五ヒチクシニテオリオニツクアタカダン」とあり	紙	1	
W	28	101	〔葉書〕				東京都千代田区麹町一丁目十二番地福岡県東京事務所九号室安高団兵衛	福岡県遠賀郡（芦屋局区内）芦屋町粟屋安高藤吉様、安高りきの様、安高千鶴子様、外御一同様	安岩、重広、辻三人と共に防風林伐採禁止のため福岡県庁渉外課と福岡調達局事業部補償二課に陳情書を提出。東京行き西海号で上京。東京事務所に宿泊、明日は日大の先生の所へ行く。十九日よりいよいよ運動する	葉書	1	
W	28	102	〔葉書〕	〔昭和34〕	3	9	東京行特急あさかぜ号にて安高団兵衛	福岡県遠賀郡芦屋局区内粟屋安高藤吉様、〃チツ子様、〃りきの様	特急あさかぜで大阪までの乗車券を買い、東京へは車掌に頼んで乗るつもり。この葉書は下関で買い三田尻か徳山で出す予定	葉書	1	
W	28	103	〔葉書〕	〔昭和34〕	3	10	東京都千代田区半蔵門前福岡県東京事務所九号室安高団兵衛	福岡県遠賀郡芦屋局区内粟屋安高藤吉様、〃りきの様、チヅ子様	特急あさかぜで東京駅に十時着、迎えの保正と出会い東京事務所に宿泊。午后、保正と行きつけの洋服店に行った。今晩、誠も一緒に泊まる	葉書	1	
W	28	104	〔葉書〕	〔昭和34〕	4	11	門司駅にて安高団兵衛	遠賀郡芦屋町粟屋安高藤吉様、安高りきの様、安高チヅ子様、外御一同様	特急平和で上京。明日十二日午前十一時十分東京駅着の予定	葉書	1	
W	28	105	〔葉書〕	昭和34	4	12	東京都千代田区麹町一ノ十二番地福岡県東京事務所安高団兵衛	遠賀郡芦屋町粟屋安高藤吉様、安高りきの様、安高千鶴子様、外御一同様	午前十一時十分東京着、保正が来て東京事務所に宿泊を決めた。午后港区芝神谷町の山本佳子方へ参上、武氏もいたので話した。保正は寮へ帰り、誠と第7号室に宿泊	葉書	1	
W	28	106	〔電報控〕	昭和34	2	5		ナガサキケンヒラドシイワノウエマチヤマガテルヨ	「ゴケントウヲイノルアタカ」とあり	紙	1	
W	28	107	〔電報控〕		1	17		シンジュククトヅカマチ四ノ六九ートウチクガクシャナイアタカヤスマサ	「イマキタヤドトウキフジムシヨアタカダンベ」とあり	紙	1	
W	28	108	〔電報控〕					フクオカケンオンガグンアシヤキョククナイアワヤホンダヒロシ	「クマリアタカダンベイ」「御母堂様の御逝去を悼み謹んでお悔やみ申しあげます」安高団兵衛	紙	1	
W	28	109	〔電報控〕	昭和34	2	9		ナガサキケンヒラドシイワノウエマチヤマガテルヨ	「ネラリアタカダンベエ」とあり	紙	1	
W	28	110	〔電報控〕	昭和34	2	9		ナガサキケンヒラドシイワノウエマチヤマガテルヨ	「ネチサカラダジチヨウセヨカメノ」とあり	紙	1	
W	28	111	〔電報控〕	〔昭和〕34	6	3		フクオカシセンキョジムショカシマモリノスケシゲマサヨウトク	「ネマハアシヤアタカダンベ」とあり	紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	28	112	〔電報控〕	昭和34	4	10		トウキョウトチヨダクマルノウチコウエイセツケイカアタカヤスマサ	「一一ヒアサヤマモトケイコカタニツクタチバナセンセイカタユキアニノドウコウタノムマコト」とあり	紙	1	
W	28	113	〔書簡〕	昭和34	11	17	安高団兵衛	安高藤吉様、安高りきの様、安高千鶴子様、外御一同様	封書拝見。政治経済研究所へ電話、安藤敏夫氏不在だったが、自分達が上京中の旨知らせた。十四日保正と夕食、十五日重広さんと日光へ日帰り、十六日渡辺代議士を訪問。30、31年の補償金の件、伊勢湾台風の急救費もあり、二十五日頃判る。来る十一月二十五日は楠木神社祭典に付、一切を安高久米吉氏他に頼んでいる	便箋	3	封筒あり安高団兵衛より安高藤吉、安高りきの、安高千鶴子、外御一同様宛
W	28	114	〔書簡〕		1	22	幸治郎拝	兄上様	補償金問題で御上京中の由、十九日午前調達庁より借上地実地調査に来た。宮池排水工事の件、二十一日より掘り始める。本田浩養母シゲさん死去。二十二日天草女中が貴家四人、拙宅一人来た	便箋	1	封筒あり安高幸治郎より安高団兵衛宛
W	28	115	〔封筒〕				安高りきの	東京都新宿戸塚町四丁目六九一番地東筑学舎内安高保正様	封筒のみ	封筒	1	
W	28	116	〔葉書〕				水巻日赤中央病院内安高正義	芦屋町粟屋安高団兵衛様外御一同様	十七日退院。四五日花屋にて遊び、ボツボツ仕事にかかる予定	葉書	1	
W	28	117	〔御礼状〕	昭和34	6	5	福岡県遠賀郡芦屋町光明寺住職瓜生幸俊、檀神徒総代世話人一同、親族一同	安高団兵衛殿	亡光明寺第二十七世天全老師本葬儀に御会葬下さり、御香華を辱ふし御芳情の程、厚く御礼申上げます	紙	1	差出、宛名は封筒記載のもの
W	28	118	〔書簡〕	昭和34	1	21	安高団兵衛	安高りきの様、安高藤吉様、安高千鶴子様	御手紙拝読。誠の服の件について。十九日に調達庁や農林省に出頭。二十日は保正と日大の橘先生の自宅に挨拶に参上。北九州は寒冷であるというが皆元気か	罫紙	1	封筒あり安高団兵衛より安高りきの、安高藤吉、安高千鶴子、外御一同様宛
W	28	119	〔書簡控〕	昭和34	11	7	安高団兵衛	安高保正様、〃誠様	来る十一月十日の特急さくらで上京。十一月十一日十一時十分東京着。四人連れ。東京事務所に宿泊予定。服とセーターを持参する	封筒	1	封筒の中に日本生命保険相互会社のパンフレットあり
W	28	120	御取引順序御案内	昭和5	12	11	日本勧業銀行福岡支店(印)	安高団兵衛殿	資金借入の件に関する書類送付の通知	紙	1	封筒あり、日本勧業銀行福岡支店より安高団兵衛宛、W28-120～138一括
W	28	121	不動産抵当貸営業案内				株式会社日本勧業銀行福岡支店		不動産抵当で貸出の場合の取扱について	紙	1	W28-120同折
W	28	122	〔通知〕	昭和5	12	4	日本勧業銀行福岡支店	安高福蔵殿	借入申込、金壱弐〇〇円につき、貸借契約証書作成のため書類御携帯の上、御来行のこと	紙	2	封筒あり、日本勧業銀行福岡支店より安高福蔵宛、W28-120同折。クリップ一括
W	28	123	〔通知〕	昭和5	12	17	日本勧業銀行福岡支店	安高福蔵殿	借入申込、金壱弐〇〇円につき、貸借契約証書作成のため書類御携帯の上、御来行のこと	紙	5	封筒あり、日本勧業銀行福岡支店より安高福蔵宛、W28-120同折。クリップ一括
W	28	124	〔通知〕		11	15	日本勧業銀行福岡支店	安高福蔵殿	借入御申込の件、抵当物拝見のため御伺	紙	1	封筒あり、日本勧業銀行福岡支店より安高福蔵宛、W28-120同折
W	28	125	〔通知〕	昭和5	12	18	株式会社日本勧業銀行福岡支店(印)	安高団兵衛殿	金千弐百円貸付の通知、貸付手続手数料領収証、払込金領収証綴	紙	3	封筒あり、日本勧業銀行福岡支店より安高団兵衛宛、クリップ一括
W	28	126-1	払込通知書				株式会社日本勧業銀行福岡支店	遠賀郡芦屋町大字芦屋一二〇五番地安高団兵衛殿	金四円弐拾銭也、二月十五日迄に御払込相成度	紙	1	封筒あり、W28-126-1～3一括
W	28	126-2	受領票					株式会社日本勧業銀行福岡支店	金拾四円弐拾銭	紙	1	受付日附印「6.2.5」

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	28	126-3	〔御払込期日通知〕						払込期日厳守の御願い	紙	1	
W	28	127-1	払込通知書				株式会社日本勧業銀行福岡支店	遠賀郡芦屋町大字芦屋一二〇五番地安高団兵衛殿	金八拾五円弐拾銭也、八月十五日迄に御払込相成度	紙	1	封筒あり、W28-127-1～3一括
W	28	127-2	受領票					株式会社日本勧業銀行福岡支店	金八拾五円弐拾銭	紙	1	受付日附印「6.8.8」
W	28	127-3	〔御払込期日通知〕						払込期日厳守の御願い	紙	1	
W	28	128-1	払込通知書				株式会社日本勧業銀行福岡支店	遠賀郡芦屋町大字芦屋一二〇五番地安高団兵衛殿	金八拾五円弐拾銭也、八月十五日迄に御払込相成度	紙	1	封筒あり、W28-128-1～3一括
W	28	128-2	受領票					株式会社日本勧業銀行福岡支店	金八拾五円弐拾銭	紙	1	受付日附印「7.8.5」
W	28	128-3	〔御払込期日通知〕						払込期日厳守の御願い	紙	1	
W	28	129-1	払込通知書				株式会社日本勧業銀行福岡支店	遠賀郡芦屋町大字芦屋一二〇五番地安高団兵衛殿	金八拾五円弐拾銭也、二月十五日迄に御払込相成度	紙	1	封筒あり、W28-129-1～2一括
W	28	129-2	受領票					株式会社日本勧業銀行福岡支店	金八拾五円弐拾銭	紙	1	受付日附印「8.2.10」
W	28	130-1	払込通知書				株式会社日本勧業銀行福岡支店	遠賀郡芦屋町大字芦屋一二〇五番地安高団兵衛殿	金八拾五円弐拾銭也、二月十五日迄に御払込相成度	紙	1	封筒あり、W28-130-1～2一括
W	28	130-2	受領票					株式会社日本勧業銀行福岡支店	金八拾五円弐拾銭	紙	1	受付日附印「8.8.7」
W	28	131-1	受領票					株式会社日本勧業銀行福岡支店	金八拾五円弐拾銭	紙	1	封筒あり、W28-131-1～2一括。受付日附印「9.2.9」
W	28	131-2	〔通知〕						払込通知書様式変更について	紙	1	
W	28	132	受領票					株式会社日本勧業銀行福岡支店	金八拾五円弐拾銭	紙	1	封筒あり、受付日附印「9.8.4」
W	28	133	受領票					株式会社日本勧業銀行福岡支店	金八拾五円弐拾銭	紙	1	封筒あり、受付日附印「10.2.8」
W	28	134	受領票					株式会社日本勧業銀行福岡支店	金八拾五円弐拾銭の受領票、紙背は払込通知書	紙	1	封筒あり、受付日附印「10.8.5」
W	28	135	受領票					株式会社日本勧業銀行福岡支店	金八拾五円弐拾銭の受領票、紙背は払込通知書	紙	1	封筒あり、受付日附印「11.2.6」
W	28	136	受領票					株式会社日本勧業銀行福岡支店	金八拾五円弐拾銭	紙	1	封筒あり、受付日附印「11.8.4」
W	28	137	〔葉書〕				株式会社日本勧業銀行福岡支店	遠賀郡芦屋町大字芦屋一二〇五番地安高団兵衛殿	払込通知書を切り取った残りヵ	紙	1	
W	28	138	〔葉書〕				株式会社日本勧業銀行福岡支店	遠賀郡芦屋町大字芦屋一二〇五番地安高団兵衛殿	払込通知書を切り取った残りヵ	紙	1	
W	29	1	芦屋モーターボートレース出走表	昭和34	5	10				紙	1	W29-1～233紐一括
W	29	2	〔電気代請求書〕	〔昭和34頃〕			九州電力株式会社　営業所		未記入	紙	1	
W	29	3	〔武丸正助翁弐百回忌法要記念封筒〕	〔昭和34頃〕			福岡県宗像郡宗像町冨地原　浮蓮寺		「30年度第四期3060」ほかメモ書きあり	封筒	1	
W	29	4	〔絵葉書〕	昭和33	12	6	於南米　三原生	日本福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛様	南米旅行はアマゾン地区を残すのみの事、北米を廻り18日頃帰国する事	葉書	1	
W	29	5	〔葉書〕	昭和33	11	20	遠賀郡遠賀村別府　永田賀一	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	新築棟上につきお知らせ	葉書	1	
W	29	6	〔葉書〕	昭和33	11	8	長崎県平戸市岩ノ上町　松尾久子	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	山鹿家も元気で居る事、写真送付の御礼	葉書	1	
W	29	7	〔葉書〕	昭和33	11	2	八幡市大字市瀬　吉武一美	遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛殿	相談につき来訪願い	葉書	1	
W	29	8	〔葉書〕	昭和33	10	7	高倉神社奉讃会長　俵口静江	遠賀郡芦屋町大城　安高団平殿	御神門など落成式の案内	葉書	1	日は消印
W	29	9	〔クリスマスカード〕	昭和34	1	11	Mrs. Michiko Takeda & Family（武田みち子）	Mr. & Mrs. Ataka、& Family（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋千二百五番地安高団兵衛）		紙	1	封筒あり。年月日は封筒メモ書きより

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	29	10	〔葉書〕	昭和34		元旦	本田智恵	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様・りきの様	年賀状	葉書	1	
W	29	11	〔クリスマスカード〕	1958	12	9	U. Hirowatari and family. R.R. no.1. Kamloops B.C. Canada（広渡卯壮 カナダ）	Mr+Mrs Danbe. Ataka and family（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛）		紙	1	封筒あり。年月日は消印
W	29	12	〔葉書〕	昭和34	1	23	遠賀郡芦屋町粟屋　喪主　本田浩・親族代表　立石猪走（ほか2名）	芦屋町粟屋　安高リキノ様	亡母シゲノ葬儀会葬の御礼	葉書	1	
W	29	13	〔葉書〕	昭和34	1	23	遠賀郡芦屋町粟屋　喪主　本田浩・親族代表　立石猪走（ほか2名）	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	亡母シゲノ葬儀会葬の御礼	葉書	1	
W	29	14	〔葉書〕	昭和34	1	30	喪主　奥村俊美・妻　奥村とり・親族総代　下田一喜	遠賀郡芦屋町　安高壇（ママ）兵衛様	父奥村利雄死去致すにつき通知	葉書	1	
W	29	15	〔葉書〕	昭和34	1	28	凡人より	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	車中でのお話とお土産の御礼、お話を聞き日記を附けようと思っている事	葉書	1	
W	29	16	〔葉書〕	昭和34	1	30	東京都練馬区中村町三ノ七七一　秋山光材	福岡県遠賀郡（遠賀局区内）芦屋町粟屋　安高団兵衛様	母宛に「IM」1ケースを送りし事	葉書	1	
W	29	17	〔葉書〕	昭和34	2	4	久留米市櫛原町四丁目　酒井幸子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	老母の件につき願い	葉書	1	
W	29	18	〔簡易書簡〕	昭和27	11	14	広渡卯壮拝（R.R. no.1. Kamloops.B.C. Canada　カナダ）	安高団兵衛様（福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋）	長男敏邦の妻よしゑの両親が母国訪問する事、家族近況書上、米国大統領選挙の模様について	簡易書簡	1	
W	29	19	〔簡易書簡〕	昭和33	12	13	広渡卯壮拝（R.R. no.1. Kamloops.B.C. Canada　カナダ）	安高団兵衛御夫妻様（福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋）	当地クリスマス祭の模様、世界情勢と日本の政治状況について、皇太子婚約の件ほか	簡易書簡	1	
W	29	20-1	〔書簡〕	昭和34	1	15	武田みち子（Siscome B.C. Canada　カナダ）	叔父上様・外御一同様（安高団兵衛）	写真・手紙の御礼、長男弘人高校卒業など家族近況について	紙	1	紙2枚。W29-20-1～3封筒一括
W	29	20-2	〔書簡〕	昭和34	1	15	武田みち子（Siscome B.C. Canada　カナダ）	叔母上様へ（安高りきの）	家族近況・移民地の様子について、カナダドル10ドル送付の事	紙	1	紙2枚
W	29	20-3	〔封筒〕	昭和34	2	12	福岡県芦屋局区内　芦屋郵便局	芦屋局区内粟屋　アタカダンベイ殿	カナダドル10ドル送金につき	封筒	1	
W	29	21	〔簡易書簡〕	昭和34	1	13	広渡卯壮（742 Windsor. Ave. north Kamloops. B.C. Canada カナダ）	安高団兵衛・リキ様（福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋）	妹リキノの件につき御礼、当地の人口・産業などについて	簡易書簡	1	月日は消印
W	29	22	〔書簡〕	昭和34	2	17	平戸市長　山鹿光世	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛殿	市長再選につき挨拶	紙	1	封筒あり
W	29	23	〔葉書〕	昭和11	9	9	（福岡貯金支局）	遠賀郡蘆屋町字粟屋　正交会総代　本田豊吉殿	当局原簿と対照のため貯金通帳差出願い	葉書	1	
W	29	24	参議院選挙地方区より立候補の御挨拶	昭和34	5	7	野田俊作	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	写真・略歴ほか	葉書	1	
W	29	25	〔葉書〕	昭和34	3	11	総務課長　波多野正敏	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	相談につき来訪願い	葉書	1	日は消印
W	29	26	〔書簡〕	昭和34	3	10	東町区・船頭町区	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	当区大火時における消火協力の御礼	紙	1	封筒あり
W	29	27	〔葉書〕	昭和34	3	16	岡垣村元松原　広渡素一郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	リキノ御祝品の御礼	葉書	1	日は消印
W	29	28	〔葉書〕	昭和34	3	16	八幡市陣ノ原下西　安高繁治郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	姉様（リキノ）御祝品の御礼	葉書	1	日は消印
W	29	29	〔葉書〕	昭和34	3	17	八幡市石坪町三丁目　広渡寿雄	遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛様	品物の御礼	葉書	1	
W	29	30	〔葉書〕	昭和34	3	19	岡垣村吉木　広渡成男	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	叔母様（リキノ）六十一賀御祝品の御礼	葉書	1	
W	29	31	〔葉書〕	昭和34	3	23	遠賀郡遠賀村別府　永田賀一	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	御祝品の御礼	葉書	1	日は消印
W	29	32	〔葉書〕	昭和34	3	27	遠賀村字鬼津　太田シゲ	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛様	リキノ様六十一才の御祝品の御礼、三千子様の件につき御礼	葉書	1	日は消印
W	29	33	〔葉書〕	昭和34	3	27	水巻町大字杁　小田久子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	御祝品の御礼	葉書	1	日は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	29	34	立候補御挨拶	昭和34	3	29	福岡県知事候補　土屋香鹿	遠賀郡芦屋町　安高リキノ・シゲ・マキ様		葉書	1	年月日は消印
W	29	35	〔葉書〕	昭和34	4	13	遠賀郡芦屋町中小路　喪主　久野雅一・外親族一同	町内粟屋　安高団兵衛様	亡父一美葬式への会葬の御礼	葉書	1	
W	29	36	〔葉書〕	昭和34	4	21	責任者　高山正吉	芦屋町粟屋下組　安高団兵衛様	芦屋町町会議員立候補者重岡武雄へ投票願い	葉書	1	日は消印
W	29	37	お願ひ	昭和34	4	25	責任者　久保国正	芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	町議会議員候補柴田喜次郎へ投票願い	葉書	1	日は消印
W	29	38	御挨拶	昭和34	4	26	町議会議員候補者　小田勝視	粟屋　安高団兵衛殿	投票願い	葉書	1	日は消印
W	29	39	〔葉書〕	昭和34	4	28	山鹿にて　秋山光材	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	帰省中につき来訪願い	葉書	1	
W	29	40	〔葉書〕	昭和34	5	2	小野藤右衛門	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	祝電の御礼	葉書	1	日は消印
W	29	41	〔葉書〕	昭和34	5	9	小倉市新京町（小倉新駅前）　剣木選挙事務所　剣木亨弘後援会	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	選挙事務所開きの案内	葉書	1	日は消印
W	29	42	〔葉書〕	昭和34	5	7	（全国農業会議所事務局長大坪藤市）	芦屋粟屋　安高団兵衛様	投票願い	葉書	1	日は消印
W	29	43	〔往復葉書〕	昭和34	5	18	八幡乳業株式会社　取締役社長逸見尚絅（印）	遠賀郡芦屋町粟屋　安高藤吉殿	第2回定時株主総会の案内	往復葉書	1	
W	29	44	〔書簡〕	昭和34	5	5	若松市長　吉田敬太郎	遠賀郡芦屋町　安高段平（ママ）殿	市長選挙当選の御礼	紙	1	封筒あり
W	29	45	〔葉書〕	昭和34	5	16	折尾自動車運転者協会・折尾警察署交通課	芦屋町一二〇五　安高団兵衛殿	免許証更新のため来署願い	葉書	1	
W	29	46	〔葉書〕	昭和34	5	24	土屋香鹿・清根・真千枝・叔子	遠賀郡芦屋町粟屋一二〇五　安高団兵衛殿	福岡県知事選挙落選のお詫び、住居・弁護士事務所の住所のお知らせ	葉書	1	日は消印
W	29	47	〔封筒〕	〔昭和34〕			遠賀郡芦屋町　光明寺		「会葬御礼」とあり	封筒	1	
W	29	48	〔葉書〕	昭和34	6	9	折尾警察署・交通課免許係	芦屋町粟屋一二〇五　安高団兵衛殿	免許証作成済につき来署願い	葉書	1	
W	29	49	〔葉書〕	昭和34	6	11	久留米市櫛原町四丁目　酒井善左衛門・幸子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	母上京の節御配慮の御礼、ボートなどで御世話になって居る事ほか	葉書	1	
W	29	50	〔葉書〕	昭和34	6	13	東京都練馬区中村町三ノ七七一　秋山かめの	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	伊東の静養より戻り、中村町光材方に居る事、上京の節来訪願い	葉書	1	
W	29	51	〔葉書〕	昭和34	6	13	東京都練馬区中村町三ノ七七一　秋山かめの	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	中西寿氏夫人死去の件につき御礼ほか	葉書	1	
W	29	52	〔葉書〕	昭和34	6	27	芦屋幸町　黒山てる	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	浜中先生選挙の頃より雇い人を探して居る事ほか	葉書	1	
W	29	53-1	〔通知〕	昭和34	7	10	東邦生命保険相互会社　料金課	ご契約者各位	新種保険販売につき通知	紙	1	W29-53-1、2封筒一括。年月日は封筒メモ書きより
W	29	53-2	業績のお知らせ	1957			東邦生命保険相互会社			紙	1	
W	29	54	〔葉書〕	昭和34	7	8	福岡県遠賀郡芦屋町　海雲山金台寺・檀信徒総代・親族一同	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	海雲山金台寺第三十世葬儀会葬の御礼	葉書	1	
W	29	55	〔葉書〕	昭和34	7	16	東京都練馬区下石神井二ノ一一〇八　秋山光一	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	
W	29	56	〔葉書〕	昭和34	盛夏（7）	20	戸畑市中原一〇七二　天籟荘・東京都新宿区市谷砂土原町三ノ二〇　松木道子	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋一二〇五　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	29	57	〔葉書〕	昭和34	盛夏（7）	22	東京都千代田区神田小川町一一三（ミナト羅紗店内）小川町ビル　株式会社菊本ニツポン服装社	福岡県芦屋町芦屋一、二〇五　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	29	58	〔葉書〕	昭和34	7	21	経済企画政務次官　岡部得三　東京都千代田区霞ヶ関一ノ二　経済企画庁政務次官室	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	経済企画政務次官就任の祝意に対し御礼	葉書	1	日は消印
W	29	59	〔葉書〕	昭和34	盛夏（7）	24	若松市浜二番町二丁目　津山つる	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	日は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	29	60	〔葉書〕	昭和34	7	25	正門町　岩崎天外	芦屋町粟屋　安高団兵衛	茄子の栽培方法に関し相談あるにつき芦屋へ御出の節御来訪願い	葉書	1	
W	29	61	〔葉書〕	昭和34	盛夏(7)	23	福岡市大字名島　桑原勇吉・桑原菊夫	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	29	62	〔葉書〕	昭和34	盛夏(7)	25	若松市本町五丁目　住友銀行若松支店　支店長　矢野好信	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	29	63	〔葉書〕	昭和34	7	29	宗像町赤間本町田中利助方　中村正広	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	29	64	〔葉書〕	昭和34	盛夏(7)	27	福岡県中間市屋島町　岡部実太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	29	65	〔葉書〕	昭和34	盛夏(7)	30	瀬戸正広　福岡県芦屋町本町通り	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	29	66	〔葉書〕	昭和34	盛夏(7)	31	福岡県遠賀郡芦屋町正門町　坂田熊一	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
W	29	67	〔葉書〕	昭和34	盛夏(7)	31	八幡市大字市ノ瀬　吉武四男美	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	29	68	〔葉書〕	昭和34	盛夏(7)	31	伊藤百太郎	福岡県遠賀郡芦屋町	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	29	69	〔葉書〕	昭和34	盛夏(8)	1	参議院議員　西田隆男　福岡県嘉穂郡稲築町鴨生	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	29	70	〔葉書〕	昭和34	盛夏(8)	2	福岡県遠賀郡芦屋町中之浜　刀根善太郎	芦屋町粟屋区　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
W	29	71	〔葉書〕	昭和34	盛夏(8)	3	平戸市長　山鹿光世	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
W	29	72	〔葉書〕	昭和34	盛夏(8)	3	遠賀郡芦屋町市場　筑水旅館・中西五郎六・中西ハナ	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
W	29	73	〔葉書〕	昭和34	盛夏(8)	1	渕上房太郎　住所福岡県鞍手郡小竹町・仮寓東京都中野区昭和通二ノ四七	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	29	74	〔葉書〕	昭和34	8	2	八幡市折尾町陣原中新地菊池泰雄方　安高正義	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・安高藤吉	引越の際の御礼、事務所が決定した事ほか	葉書	1	日は消印
W	29	75	〔葉書〕	昭和34	9	3	福岡県遠賀郡芦屋町　熊野太郎	粟屋　安高団兵衛	芦屋町助役就任につき挨拶	葉書	1	
W	29	76	〔葉書〕	昭和34	盛夏(8)	3	東京都武蔵野市西窪公団住宅26-107　秋山光民	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞い、母上京中の御世話につき御礼	葉書	1	日は消印
W	29	77	〔葉書〕	昭和34	盛夏(8)	3	福岡県遠賀郡遠賀村　県議会議員　三原朝雄	芦屋町粟屋下組　安高団兵衛	暑中見舞い、選挙当選の御礼	葉書	1	日は消印
W	29	78	〔葉書〕	昭和34	10	9	鳥栖市村田町　宇野得三	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	15日には神幸の行列に参加する故、お迎え致し兼ねる事	葉書	1	
W	29	79	〔葉書〕	昭和34	10	7	鳥栖市村田町　宇野得三	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	返書の御礼、拙宅御来訪の日取りについて	葉書	1	
W	29	80	〔葉書〕	昭和34	9	29	鳥栖市村田町　宇野得三	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋　安高団兵衛	『義人烈士の面影』続感激実話集第2巻にて貴下の崇高なる人格を知り、一度是非拝顔仕り度事	葉書	1	
W	29	81	〔葉書〕	昭和34	10	7	東京都千代田区神田小川町一ー三　株式会社菊本ニツポン服装社　菊本実	福岡県芦屋局区内芦屋粟屋　安高団兵衛	御令息御？服の件について	葉書	1	年は消印
W	29	82	〔葉書〕	昭和34	10	7	福岡市花畑町四組檜原アパート入江節雄	遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛	警察大学校（東京都中野区囲町）に入校につきお知らせ	葉書	1	
W	29	83	〔葉書〕	昭和34	9		勤務先福岡県総務部渉外移住課　自宅福岡県粕屋郡篠栗町大字若杉六三〇　深沢祐次	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	東京事務所連絡主任（農林担当）より総務部渉外移住課渉外係長に転任につきお知らせ	葉書	1	
W	29	84-1	〔講読申込み礼状〕	〔昭和34〕			東京都千代田区竹平町　リーダーズダイジェスト　予約部長　高橋一雄	（安高団兵衛）	リーダーズダイジェスト講読の御礼	紙	1	W29-84-1、2封筒一括

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	29	84-2	〔広告〕	〔昭和34〕			(リーダーズダイジェスト)		予約代金支払の方より抽選で国内旅行御招待の事	紙	1	
W	29	85	〔葉書〕	昭和34	9	11	芦屋町中小路　永田宗輔	芦屋町粟屋　安高団兵衛	息子の八幡の社宅にある蜜蜂の巣の処置願い	紙	1	日は消印
W	29	86	運転免許(許可)証の臨時検査筒地	昭和34	9	1	折尾警察署長・折尾自動車運転協会長	芦屋町粟屋芦屋町粟屋　安高団兵衛		紙	1	
W	29	87	〔葉書〕	昭和34	9	10	遠賀郡遠賀村永田賀一	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	日は消印
W	29	88	〔葉書〕	昭和34	8		多賀谷真稔　東京都千代田区永田町　衆議院第一議員会館	福岡県遠賀郡芦屋町芦屋飛行場地区　防風林伐採被害者組合	残暑見舞い、炭坑危機打開のため懸命に努力する事	葉書	1	
W	29	89	領収証	昭和34	8	29	鳥取市吉方鳥取大学農学部　日本砂丘研究会(印)	安高団兵衛	昭和34年度会費金300円領収	葉書	1	
W	29	90	〔葉書〕	昭和34	8	31	八幡市折尾町陣の原菊安雄方安高正義	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	品物送付の御礼、事務所の場所など決定せし事	葉書	1	月日は消印
W	29	91	〔葉書〕	昭和34	8	17	遠賀郡岡垣村野間　辻守荘	芦屋町粟屋　安高団兵衛	故長男達行初盆へ御仏参下さるにつき御礼	葉書	1	
W	29	92	〔葉書〕	昭和34	8	21	門司市大里新原町　志和不二夫	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	亡長女靖子初盆への御供物などにつき御礼	葉書	1	日は消印
W	29	93	〔葉書〕	昭和34	8	16	遠賀郡芦屋町中小路　久野雅一	町内粟屋(ママ)　安高団兵衛殿	亡父一美初盆会へ御仏参下さるにつき御礼	葉書	1	
W	29	94	〔葉書〕	昭和34	8	17	京都市岡崎　森本伝(カ)作	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	年月日は消印
W	29	95	〔葉書〕	昭和34	8	18	京都市左京区岡崎西福川ニて森本政次郎・イヨ	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞いの礼状	葉書	1	
W	29	96	〔葉書〕	昭和34	8	11	東京都練馬区中村町三ノ七七一　秋山光材	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	母上京以来色々御世話下さるにつき御礼、東京は7月が盆にて、拙宅にて御祭り致した事	葉書	1	日は消印
W	29	97	〔葉書〕	昭和34	8	12	第二船頭町　宮内玲子(東筑高校社会部員)	芦屋町粟屋　安高団兵衛	夏休みの宿題のため「つきのき長者」について御教示願い	往復葉書	1	返信葉書は使用済み
W	29	98	〔葉書〕	昭和34	8	9	東京都南区芝神谷町六　神谷莞爾	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
W	29	99	〔葉書〕	昭和34	8	10	戸畑市東中原十九ノ十七　塚原たよ子	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い、秋山の奥様が上京なされいよいよ寂しくなる事	葉書	1	
W	29	100	〔葉書〕	昭和34	8	10	久留米市櫛原町四丁目　酒井善左衛門・幸子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い、お盆には墓参りに参りたいと存じ居る事	葉書	1	
W	29	101	〔葉書〕	昭和34	8	16	八幡市河内　石松恒芳	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞いの御礼	葉書	1	月日は消印
W	29	102	〔葉書〕	昭和34	8	8	東京世田谷区船橋町三の五　山崎小五郎	福岡県遠賀郡芦屋町防風林伐採被害者組合　深田順一	暑中見舞いの御礼、安高・重広各氏へもよろしくお伝え下され度事	葉書	1	日は消印
W	29	103	〔葉書〕	昭和34	8	5	大分県宇佐郡安心院町竜王　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋安高団兵衛・御一同	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	29	104	〔葉書〕	昭和34	盛夏(8)	3	吉田節　株式会社花屋　八幡市三ノ四五三・花屋運送店　福岡県遠賀郡芦屋町駅前	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	29	105	〔葉書〕	昭和34	8	6	喪主　辻守荘・親戚総代　広瀬清・辻方明		亡長男達之葬儀会葬の御礼	葉書	1	封筒あり
W	29	106	〔書簡〕	〔昭和34頃〕			小田	正義	御母上様病気様子伺いのため静子さんをお見舞いに差上げる事	罫紙	1	
W	29	107	八雲　拾五号	昭和28	7		八雲短歌会			書綴	1	封筒あり(遠賀郡遠賀村広渡織田方遠賀洗心歌会→遠賀郡芦屋町安高団兵衛)

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	29	108-1	〔書簡〕	昭和34	5		鹿島守之助九州後援会　世話人一同	会員	鹿島守之助君が学士院賞を授けられたるにつき本会より同君へ博多織の肖影を差上げし事	紙	1	W29-108-1～3封筒一括（福岡市三宅本町七一五貞方藤次郎→芦屋安高団兵衛）
W	29	108-2	〔選挙公報〕	〔昭和34〕	-5		公明選挙期成会		参議院選挙投票の呼び掛け	紙	1	
W	29	108-3	国土開発ニュース　第129号	昭和34	3	30	国土開発ニュース社		鹿島守之助聞書きなどの記事あり	紙	1	
W	29	109	〔葉書〕	〔昭和〕9	1	元旦	坂本長年　勤先　福岡県農会・自宅　福岡市春吉高畑本町三六ノ一	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年は消印
W	29	110	〔債券〕				貯金局	遠賀郡芦屋町芦　安高団兵衛		紙	1	封筒上書「債券　保存　安高団兵衛」
W	29	111	〔葉書〕	昭和11	11	27	東京市芝区田村町　市町村雑誌社	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	名誉職諸君参考用の『市町村雑誌』送付の事	葉書	1	W29-111～126封筒一括
W	29	112	〔絵葉書〕				博多大崎周水堂製		未使用	絵葉書	1	絵葉書は「（福岡と博多名所）輪奐の美堂々たる福岡県庁」の写真
W	29	113	〔葉書〕	昭和11		元旦	戸畑市東常盤町一　石川元太郎	遠賀郡蘆屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	114	〔葉書〕	皇紀2596		元旦	吉谷荒志朗　福岡県蘆屋町	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	115	〔葉書〕	昭和11		元旦	福岡県直方市上頓野萬福寺　壬生勝龍	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	116	〔葉書〕	皇紀2596		元旦	福岡県蘆屋町　大統社工業塾	芦屋町粟屋　安高団兵衛	塾歌書上	葉書	1	
W	29	117	〔葉書〕	紀元2596		元旦	福岡県遠賀農学校　吉武彌太郎自宅宗像郡東郷町	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	118	〔葉書〕	昭和丙子〔11〕	正		中野亨	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	喪中につき年賀差控えの事	葉書	1	
W	29	119	〔葉書〕	昭和11	1	1	福岡市極楽寺町中島家事ム所永島武雄	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	120	〔葉書〕	紀元2596	1	1	石橋開蔵　福岡県蘆屋町	遠賀郡芦屋粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	121	〔葉書〕	丙子〔昭和11〕		元旦	哈爾浜森林町二〇　今村貞治（ハルピン）	福岡県芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	122	〔葉書〕	昭和10	12		福岡県遠賀郡香月町　木曾重義		喪中につき年賀差控えの事	葉書	1	
W	29	123	〔名刺〕				福岡県遠賀郡芦蘆屋町尋常高等学校　山崎久太郎	安高団兵衛	名刺持参人の息子に結婚のため芦屋方面の女性を紹介下され度事	名刺	1	
W	29	124	〔名刺〕				当地特約宣伝員住所　福岡県折尾町長崎区国道筋　竹中重晴		自転車販売につき	名刺	1	
W	29	125	〔名刺〕				帝国在郷軍人会若松市海軍班長　正七位勲五等　大庭伝作若松市山手通町六丁目			名刺	1	裏に「一、時計常時　一、趣味ノ選定」など鉛筆書きあり
W	29	126	〔絵葉書〕	昭和10	10	12	北満派遣兼部隊見習士官三原朝雄　勤務先黒河省公□□	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	兵役満期も目前に迫り有終の美を修めるべく精進致し居る事	絵葉書	1	年月日は消印。絵葉書は「第一線ノ猛特訓－毒瓦斯襲来下の機関銃射撃－」の写真
W	29	127	〔葉書〕	昭和34	1	元旦	神奈川県相模原市小山七八七番地　内山昌□・旧名要〔 〕	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	お年玉くじの景品交換のため下部欠
W	29	128	昭和34年お年玉つき年賀はがき当せん番号	昭和34	1		郵政省		賞品、当せん番号早見表ほか書上	紙	1	
W	29	129	〔葉書〕	昭和34		元旦	東京都千代田区有楽町一の九農林漁業金融公庫　和栗博	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	130	〔葉書〕	昭和34		元旦	福岡県知事　土屋香鹿	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	131	〔葉書〕	昭和34		元旦	福岡郵便局保険課　畠中直次住所福岡市上若久町三三九	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	29	132	〔葉書〕	己亥〔昭和34〕		元旦	八幡市河内　石松恒芳	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	133	〔葉書〕	昭和34		元旦	福岡県若松市浜二番地二丁目　津山つる	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	134	〔葉書〕	1959	1	1	財団法人政治経済研究所　安藤敏夫　東京都渋谷区隠田一の四	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	135	〔葉書〕	昭和34		元旦	福岡県宗像郡宗像町赤間本町　田中利助様方　中村昌弘	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	136	〔葉書〕	昭和34		元旦	山口県長門俵山温泉　糸水旅館	福岡県遠賀郡芦屋町芦屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	137	〔葉書〕	昭和34	1	1	芦屋町　瓜生ふさの	本町栗(ママ)屋　安高団兵衛	和歌1首書上	葉書	1	
W	29	138	〔葉書〕	昭和34		元旦	東京都板橋区常盤台四丁目一番地公務員宿舎十二号の二　笠国男	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	居所変更につきお知らせ	葉書	1	
W	29	139	〔葉書〕	昭和34		元旦	遠賀郡岡垣村　広渡松雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	140	〔葉書〕	昭和34		元旦	特許防塵機製作販売　あさの工業株式会社　東京都中央区新佃島西町二丁目四番地、東京都練馬区中村町三ノ七七一　秋山光材拝		年賀状	葉書	1	
W	29	141	〔葉書〕	昭和34		元旦	福岡市簀子町　高群花子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	142	〔葉書〕	昭和34		元旦	毛織物・毛糸卸小売　紳士服・婦人服　東京都千代田区神田小川町一ノ三（小川町ビル）　株式会社菊本ニツポン服装社　取締役社長菊本実	福岡県芦屋町　芦屋飛行場防風林伐採被害者組合　安高岩雄、安高団兵衛、辻守荘	年賀状	葉書	1	
W	29	143	〔葉書〕	昭和34	1	1	鹿島建設株式会社会長　参議院議員　法学博士　鹿島守之助　福岡市上西町二七後援会事務所	福岡県遠賀郡芦屋町芦屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	144	〔葉書〕	昭和34		元旦	筑紫郡春日町春日原東町四の八一　津田為次	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	年賀状	葉書	1	
W	29	145	〔葉書〕	昭和34	1	1	戸畑市東中原十九ノ十七　塚原たよ子	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛様	和歌1首書上	葉書	1	
W	29	146	〔葉書〕	昭和34		元旦	早川朝洋　東京都杉並区西高□□一ノ五三	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	147	〔葉書〕	昭和34	1	元旦	福岡市東光町四八　大盛産業株式会社　妹尾悦輔（旧名環）・美予子（旧名喜久子）　自宅福岡市杵屋谷三番地	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	148	〔葉書〕	昭和34		元旦	尾道市栗原町五五二二　小林アヤ子方　佐藤信子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・同りきの	年賀状	葉書	1	
W	29	149	〔葉書〕	昭和34		元旦	平戸市長　山鹿光世	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	150	〔葉書〕	昭和34		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町中小路　黒山高麿	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	151	〔葉書〕	昭和34		元旦	長崎駅前　植木保	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・外御一同	年賀状	葉書	1	
W	29	152	〔葉書〕	昭和34		元旦	長崎県福島局区内朝之鼻二葉町　伊豆清	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	153	〔葉書〕	昭和34		元旦	天草郡大矢野町中？？　荒井千枝子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	29	154	〔葉書〕	昭和34	1	元旦	世田谷区烏山一四六三　松尾平次・文子・中村ツタ	福岡県遠賀郡芦屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	155	〔葉書〕	昭和34		元旦	富山広貫堂「〇タ」田村平治　富山清水町十一区南部	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	薬の広告あり	葉書	1	
W	29	156	〔葉書〕	昭和34		元旦	熊本県天草郡苓北町坂瀬川大岡　金子朝枝	福岡県遠賀郡芦屋粟屋　安高団兵衛・御一同	年賀状	葉書	1	
W	29	157	〔葉書〕	昭和34		元旦	東京都港区芝神谷町六　山本武・佳子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	158	〔葉書〕	昭和34		元旦	佐賀県東松浦郡肥前町　山田屋旅館　山田源太郎	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	159	〔葉書〕	昭和34		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町　吉永光雄	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	160	〔葉書〕	昭和34		元旦	福岡県八幡市黒崎駅前新天街　谷岡光次	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	161	〔葉書〕	昭和34	1	1	芦屋町山鹿　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	162	〔葉書〕	昭和34		元旦	加来繁雄（福岡県中間市加来歯科医院）	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	163	〔葉書〕	昭和34		元旦	武蔵野市西窪公団住宅26-107　秋山光民	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	164	〔葉書〕	昭和34		元旦	東京都太田区糀谷町二ノ六五三番地　亀津広門	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	165	〔葉書〕	昭和34		元旦	久留米市櫛原町四丁目　酒井善左衛門・幸子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	秋山の母が色々と御世話になりたるにつき御礼	葉書	1	
W	29	166	〔葉書〕	昭和34		元旦	東京都港区芝神谷町六番地　神谷莞爾	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	167	〔葉書〕	昭和34		元旦	遠賀郡芦屋町幸町　安高幹夫	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	168	〔葉書〕	昭和34		元旦	中間市屋島　岡部実太郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	169	〔葉書〕	昭和34		元旦	直方市上頓野出口　石橋良之	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛先生	年賀状	葉書	1	
W	29	170	〔葉書〕	昭和34		元旦	静岡県伊東市松原区猪戸二ノ五九三　秋山光見	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	171	〔葉書〕	昭和34		元旦	東京都渋谷区上通一丁目七番地　大庭勝一	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	172	〔葉書〕	昭和34	1	1	福岡市長浜町3丁目17番地　日本住宅公団福岡支所　総務部総務課　鈴木四市　自宅福岡市昭代町3丁目26	福岡県芦屋町　安高団兵衛	今年より新事務所へ移転の事	葉書	1	
W	29	173	〔葉書〕	昭和34		元旦	福岡県芦屋町教育長　松浦猛　福岡県若松市有毛一五九二	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	174	〔葉書〕	昭和34	1	1	市場　瓜生天金・同ふさの	粟屋　安高団兵衛	和歌1首書上	葉書	1	
W	29	175	〔葉書〕	昭和34		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町本町通り　朝日新聞夕刊・フクニチ　坂口新聞店	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	176	〔葉書〕	昭和34		元旦	福岡県遠賀郡水巻町吉田　白垣弥次	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	177	〔葉書〕	昭和34		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町正門町　柴田喜次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	178	〔葉書〕	昭和34		元旦	宗像郡赤間町　土地家屋調査士　赤星重夫	遠賀郡芦屋町芦屋字粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	179	〔葉書〕	昭和34		元旦	長府市才川　安辺トクノ	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	180	〔葉書〕	昭和34		元旦	大分県宇佐郡安心院町　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	29	181	〔葉書〕	昭和34		元旦	八幡市本城碇地　大庭善三郎 福岡市須崎土手町三七　福岡県園芸組合連合会	芦屋町大字粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	182	〔葉書〕	昭和34		元旦	近松一好	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	183	〔葉書〕	昭和34		元旦	遠賀郡遠賀村別府　永田賀一	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	184	〔葉書〕	昭和34		元旦	福岡県嘉穂郡稲築町鴨生　参議院議員西田隆男	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	185	〔葉書〕	昭和34	1	1	安高久米吉	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	186	〔葉書〕	〔昭和33頃〕			小倉大阪町九丁目一二二の一　日本生命保険相互会社小倉支社(印・「浜脇」)(印・「比後」)	遠賀郡アシヤマチアワヤ　アスタカ(ママ)タカモリ(安高隆盛)	保険料払込期日ほか書上	葉書	1	
W	29	187	〔葉書〕	昭和33	11	23	遠賀村別府　永田賀一	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・安高藤吉	棟上げは土地抵当のため一時中止につき通知	葉書	1	速達
W	29	188	〔葉書〕	昭和34	1	1	渕上房太郎　福岡県鞍手郡小竹村　東京都中野区昭和通二丁目	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	189	〔白紙〕							紙	1	
W	29	190	〔葉書〕	昭和34		元旦	東京都練馬区下石上井二ノ一、一〇八　秋山光一	福岡県遠賀郡芦屋町芦屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	裏に東京合同庁舎の絵あり
W	29	191	〔葉書〕	昭和34		元旦	鹿島守之助　福岡市西町二七後援会事務所	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高シゲ	年賀状	葉書	1	裏にRKB毎日放送会館の写真あり
W	29	192	〔葉書〕	昭和34		元旦	鹿島守之助　福岡市西町二七後援会事務所	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高リキノ	年賀状	葉書	1	裏に九州電力上椎原アーチダムの写真あり
W	29	193	〔葉書〕	昭和34		元旦	鹿島守之助　福岡市西町二七後援会事務所	福岡県遠賀郡芦屋町芦屋　安高マキ	年賀状	葉書	1	裏に九州電力大村発電所の絵あり
W	29	194	〔葉書〕	昭和34	1	1	福岡県遠賀川駅前国道筋木村農機具店	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	裏に精米機の写真あり
W	29	195	〔葉書〕	昭和34		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町中小路　吉田呉服店　吉田達雄	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	196	〔葉書〕	昭和34		元旦	福岡県芦屋町山鹿　浜中耕三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	197	〔葉書〕	昭和34	1	1	芦屋町大字山鹿田屋　重岡達雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	198	〔葉書〕	昭和34		元旦	東京都千代田区神田一ツ橋二丁目九番地教育改革会館隣　旅館一橋寮	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	199	〔葉書〕	昭和34	1	1	若松市山手通り　吉浦英信	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	200	〔葉書〕	昭和34	1	元旦	山口県豊浦郡豊浦町黒井　伊藤百太郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	201	〔葉書〕	昭和34		元旦	八幡市桃園アパ(ママ)ート北十三ノ十　藤崎正次郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	202	〔葉書〕	昭和34	1	元旦	八幡市清田町一丁目　安武タマ	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	写真送付の御礼	葉書	1	
W	29	203	〔葉書〕	昭和34		元旦	直方市津田町　梶田清太郎	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	204	〔葉書〕	昭和34		元旦	参議院議員剣木亨弘　東京宅東京都港区芝白金今里町三九番地　事務所東京都千代田区永田町一ノ一参議院議員会館六八号	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	29	205	〔葉書〕	昭和34		元旦	吉田節　八幡市黒崎三丁目　花屋運送店花屋砂利八幡連絡所・八幡市筒井通一丁目花屋別館八幡・福岡県遠賀郡芦屋町花屋運送店本店	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	206	〔葉書〕	昭和34	1	元旦	京都市左京区岡崎西福の川　森本政次郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	207	〔葉書〕	昭和34		元旦	全味号味噌醸造機一般専門設計製作　株式会社東京味噌醸造機製作所　東京都港区芝金杉浜町三十五番地　社長大庭増次・常務大庭利生・業務課鈴木利政・従業員一同	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	208	〔葉書〕	昭和34		元旦	遠賀郡芦屋町市場　筑水旅館　中西五郎六・ハナ	蘆屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	209	〔葉書〕	昭和34		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町　坂田熊一	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	210	〔葉書〕	昭和34		元旦	八幡市折尾　田窪雅宣	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	211	〔葉書〕	昭和34		元旦	芦屋町議会議員　芦屋町住宅組合長　刀根善太郎　福岡県遠賀郡芦屋町中ノ浜	芦屋町粟屋区　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	212	〔葉書〕	昭和34		元旦	時計商　高橋清一　営業所八幡市折尾八幡町二丁目　自宅八幡市折尾八幡町四丁目	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	213	〔葉書〕	昭和34		元旦	一級建築士・土地家屋調査士・裁判所所属鑑定人　取扱業務　建築設計・土地測量・家屋登記・不動産鑑定　早川利夫　自宅遠賀郡芦屋町大字芦屋三〇九六番地の一　事務所八幡市陣ノ原八〇四番地	遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	214	〔葉書〕	昭和34		元旦	筑紫郡大野町下大杉　入江節雄	遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	215	〔葉書〕	昭和34		元旦	遠賀郡広渡　重広新	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	216	〔葉書〕	昭和34		元旦	福岡市大字名島　桑原勇吉・桑原菊夫	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	217	〔葉書〕	昭和34	1	元旦	茶原もゝよ	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	218	〔葉書〕	昭和34		元旦	八幡市折尾町本城大浦　香山満寿郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	219	〔葉書〕	昭和34	1	元旦	公民館　中山司	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	220	〔東洋レーヨンカッターシャツのタグ〕							紙	1	
W	29	221	〔釘類〕							釘・針	1	釘5本・刺繍針1本が割り箸の袋に留められている
W	29	222	〔葉書〕	昭和34	1	1	芦屋町山鹿　中西勇雄	町内粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	223	〔葉書〕	昭和34			鶴原吉平　やまが	芦屋町粟屋区　安高団兵衛	和歌1首書上	葉書	1	
W	29	224	〔葉書〕	昭和34		元旦	福岡県芦屋町　堤義雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	225	〔葉書〕	昭和34	1	元旦	宗像郡福間町　松尾豊	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	226	〔葉書〕	昭和34	1	3	あしや幸町　黒山てる	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	日は消印
W	29	227	〔葉書〕	昭和34	1	1	奈良県生駒町　今中八重子	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛・りきの	旧年旅行中車中お目に掛かりし事が思い出される事	葉書	1	日は消印。日本肢体不自由児協会発行友情年賀絵はがき使用

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	29	228	〔葉書〕	昭和34		元旦	石橋つもる	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	229	〔葉書〕	昭和34		元旦	福岡県議会副議長　三原朝雄 自宅福岡県遠賀郡遠賀村	芦屋町粟屋下組　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	230	〔葉書〕	昭和34		元旦	橘喜朔　東京都中野区打越町十一番地	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	231	〔葉書〕	昭和34	1	1	吉木　広渡成男	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	232	〔葉書〕	昭和34		元旦	佐賀県三養基郡基山町　岸金四郎	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	29	233	〔葉書〕	昭和34		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町　梅林土木株式会社芦屋出張所　所長森山武夫	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	30	1	〔書簡〕	昭和35	10	3	宗像郡宗像町東郷　安高隆盛	遠賀郡芦屋町大字芦屋　安高団兵衛・りきの	面接の結果は良いが学業につては学校で調査する旨の連絡	罫紙	1	封筒あり、1～91一括
W	30	2	〔葉書〕	昭和35	9	29	遠賀郡芦屋町大城　安高実雄他	芦屋町粟屋　安高団兵衛	会葬礼状	葉書	1	
W	30	3	〔葉書〕	昭和35	9	24	高倉神社社務所	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	秋季例大祭通知	葉書	1	日付は消印
W	30	4	〔葉書〕	昭和35	9	26	筑紫野警察署　入江節雄	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	転任挨拶	葉書	1	日付は消印
W	30	5	〔書簡〕	昭和35	9	26	芦屋中学校長　安部庫平他	粟屋　安高団兵衛	運動会への寄付金礼状	紙	1	封筒あり
W	30	6	〔封筒〕				芦屋中学校	粟屋　安高団兵衛		封筒	1	6-1、2、3同封
W	30	6-1	〔運動会プログラム〕	昭和35					昭和35年度秋期運動会芦屋中学校プログラム	紙	1	
W	30	6-2	〔決勝出場チーム表〕						部落リレー決勝出場部落	紙	1	
W	30	6-3	〔運動会案内状〕	昭和35	9	21	芦屋中学校長　安部庫平他		運動会案内	紙	1	
W	30	7	〔葉書〕	昭和35	9	15	福岡県警察本部秘書課　入江節雄	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	帰任挨拶	葉書	1	
W	30	8	〔書簡〕	昭和35	9	7	長崎県北松浦郡福島町鯛之鼻二葉町　伊豆清　キヌエ	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	大叔母の葬儀不参の詫び	継紙	1	
W	30	9	〔葉書〕	昭和35	9	10	渕上房太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	残暑見舞、演説会案内	葉書	1	日付は消印
W	30	10	〔葉書〕	昭和35	9	7	徳満神社社務所	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	秋季大祭通知	葉書	1	日付は消印
W	30	11	〔葉書〕	昭和35	9	7	本田常之	遠賀郡芦屋町粟屋　安高リキノ	会葬礼状	葉書	1	封筒あり
W	30	12	〔書簡〕	昭和35	9	8	芦屋町山鹿　秋山かめの	芦屋町粟屋　安高団兵衛	母親死去に対するお悔やみ	罫紙	1	和歌一首、香料同封
W	30	13	〔書簡〕	昭和35	9	7	宗像郡宗像町東郷　安高隆盛	遠賀郡芦屋町大字芦屋　安高団兵衛　りきの	復職通知	罫紙	2	封筒あり
W	30	14	〔書簡〕	昭和35	9	1	八幡市陣原菊池安雄方　安高正義	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	会社（大安工業）立上げと団兵衛の健康保険加入	大安工業罫紙	2	封筒あり
W	30	15	〔葉書〕	昭和35	8	26	芦屋町山鹿　秋山かめの	芦屋町粟屋　安高団兵衛	立ち寄り依頼	葉書	1	
W	30	16	〔葉書〕	昭和35	8	14	下関市長府才川　渡辺宏	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	香典の礼	葉書	1	日付は消印
W	30	17	〔葉書〕	昭和35	8	10	東京味噌醸造機製作所　大庭増次	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	30	18	〔葉書〕	昭和35	8	12	門司市　中林昌広	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	30	19	〔書簡〕	昭和35	8	13	芦屋町山鹿　秋山かめの	芦屋町粟屋　安高団兵衛	盆の挨拶	罫紙	1	封筒あり
W	30	20	〔玉葱の効用〕	昭和35	8	9	遠賀郡芦屋町　芳村圭助	粟屋　安高団兵衛	効能の一覧	紙	1	封筒あり
W	30	21	〔書簡〕	昭和35	8	4	立川市富士見町日本工営富士見荘　安高保正	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高藤吉　千鶴子	富士登山報告	罫紙	6	封筒あり
W	30	22	〔葉書〕	昭和35	8	1	東京都新宿区旅館九州　陣場正輝	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	30	23	〔葉書〕	昭和35	8	1	東京都練馬区中村町　秋山光我	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞と近況	葉書	1	
W	30	24	〔書簡〕	昭和35	8	2	立川市富士見町日本工営富士見荘　安高保正	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　きりの	誠の下宿について、近況	罫紙	3	封筒あり
W	30	25	〔決算書・寄付金一覧〕	昭和35	7		岡湊神社社務所	粟屋　安高団兵衛	岡湊神社祇園山笠祭決算書と寄付金人名一覧	書綴	1	封筒あり
W	30	26	〔葉書〕	昭和35	8	8	東京　西田広義	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	30	27	〔葉書〕	昭和35	8	14	遠賀村会議員　仲野香	遠賀郡芦屋町大城　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	30	28	〔葉書〕	昭和35	8	10	岡垣農業協同組合酪農被害者組合	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞と日当通知	葉書	1	日付は消印
W	30	29	〔葉書〕	昭和35	8	8	山口県長門市俵山温泉　糸永旅館	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	30	30	〔葉書〕	昭和35	8	2	東京都大田区糀谷町　亀津黄門	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	30	31	〔葉書〕	昭和35	8	3	遠賀郡遠賀村別府　永田賀一	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	30	32	〔葉書〕	昭和35	8	7	内山正亮	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞と電話番号変更通知	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	30	33	〔葉書〕	昭和35	7	29	天草郡大矢野町　荒井千恵子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	30	34	〔葉書〕	昭和35	8	7	平戸市長　山鹿光世	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞	絵葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	30	35	〔葉書〕	昭和35	7	31	大分県宇佐郡安心院町　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	30	36	〔葉書〕	昭和35	7	31	参議院議員　西田隆男	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	30	37	〔葉書〕	昭和35	8	6	県議会議員　三原朝雄	芦屋町粟屋下組　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	30	38	〔案内〕	昭和35	8	1	安養寺住職　富士原劉城	安高団兵衛	御門主様巡教の案内	葉書	1	
W	30	39	〔葉書〕	昭和35	7	26	菊本ニッポン服装社　菊本実	福岡県芦屋町芦屋　安高団兵衛	暑中見舞と訪問への礼	葉書	1	
W	30	40	〔葉書〕	昭和35	7	29	久留米市櫛原町　酒井善左衛門幸子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞と近況	葉書	1	日付は消印
W	30	41	〔葉書〕	昭和35	7	27	尾道市栗原町亀川小林アヤ子方　佐藤信子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	30	42	〔葉書〕	昭和35	8	2	筑水旅館　中西五郎市　ハナ	粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	30	43	〔封筒〕	昭和35	8	2				封筒	1	43-1、2、3同封、日付は団兵衛メモ
W	30	43−1	〔予約申込葉書〕	昭和35			リーダーズダイジェスト日本支社			葉書	1	
W	30	43-2	〔広告〕	昭和35			リーダーズダイジェスト日本支社		リーダーズダイジェスト購読予約の勧誘	紙	1	
W	30	43-3	〔広告〕	昭和35					懸賞広告	紙	1	
W	30	44	〔書簡〕	昭和35	8	1	八幡市陣原菊池安雄方　安高正義	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	団兵衛の身体状況の問い合わせ	日新工業罫紙	2	
W	30	45	〔葉書〕	昭和35	7	31	大安工業内　安高正義	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	印鑑証明入手依頼と近況	葉書	1	日付は消印
W	30	46	〔葉書〕	昭和35	7	30	渕上房太郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	30	47	〔葉書〕	昭和35	7	26	東京都武蔵野市　秋山光民	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞と近況	葉書	1	日付は消印
W	30	48	〔葉書〕	昭和35	7	30	遠賀郡芦屋町幸町　小野浅次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	30	49	〔葉書〕	昭和35	7	26	東京都杉並区西高井戸　早川朝洋	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	30	50	〔葉書〕	昭和35	7	25	住友銀行若松支店　矢野好信	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	30	51	〔葉書〕	昭和35	7	24	神谷莞爾	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞と近況	葉書	1	日付は消印
W	30	52	〔葉書〕	昭和35	7	27	坂口新聞店	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	30	53	〔葉書〕	昭和35	7	28	小野藤太郎	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	30	54	〔葉書〕	昭和35	7	25	久松旅館　吉田郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞と療養近況	定形外絵葉書	1	料金不足
W	30	55	〔葉書〕	昭和35	7	24	中間市屋島　岡部実太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	30	56	〔葉書〕	昭和35	7	22	鳥栖市村田町　宇野得三	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞と短歌	葉書	1	
W	30	57	〔葉書〕	昭和35	7	23	戸畑市東中原　塚原たよ子	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞と消息問い合わせ、近況	葉書	1	日付は消印
W	30	58	〔葉書〕	昭和35	7	22	桑原勇吉　菊夫	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	30	59	〔葉書〕	昭和35	7	23	八幡市河内　石松恒芳	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	来状への礼	葉書	1	
W	30	60	〔通信事務〕	昭和35	7	23	芦屋郵便局	芦屋局区内粟屋　安高団兵衛	安高マキ名義郵便貯金に関する調査結果通知	葉書	1	
W	30	61	〔葉書〕	昭和35	7	19	旅館一橋寮	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	30	62	〔葉書〕	昭和35	7	22	高光産業株式会社	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	30	63	〔葉書〕	昭和35	7	18	若松市二番町　津山つる	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛		葉書	1	日付は消印
W	30	64	〔葉書〕	昭和35	7	15	山鹿　秋山かめの	粟屋　安高団兵衛	立ち寄り依頼	葉書	1	
W	30	65	第七回日本砂丘研究全国大会通知	昭和35	7	9	鳥取大学農学部内日本砂丘研究会	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋　安高団兵衛	会期8月2日、3日、参加申込書共	紙	3	日付は消印、封筒あり
W	30	66	〔葉書〕	昭和35	7	8	熊本県阿蘇郡阿蘇町　小島頼男	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況、来訪以来	葉書	1	日付は消印
W	30	67	〔挨拶状〕	昭和35	6		経済企画政務次官　岡部得三	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	新安保条約批准について	紙	1	封筒あり
W	30	68	〔封筒〕	昭和35	6	24	土地家屋調査士　赤星重夫	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	68-1、2、3同封
W	30	68-1	〔書簡〕	昭和35	6	24	土地家屋調査士　赤星重夫	安高団兵衛	書類送付のこと	紙	1	
W	30	68-2	〔土地分筆申告書〕	昭和35	6	23	土地家屋調査士　赤星重夫			書綴		
W	30	68-3	〔請求書〕	昭和35	6	24	土地家屋調査士　赤星重夫	安高団兵衛		紙	1	
W	30	69	〔葉書〕	昭和35	6	16	別府温研　吉田三郎	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	近況報告	絵葉書	1	日付は消印
W	30	70	〔葉書〕	昭和35	6	12	港区芝神谷町　山本睦子	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	姉死去へのお悔やみ	葉書	1	日付は消印
W	30	71	〔書簡〕	昭和35	6	7	安高正義	父上、母上	日新工業整理について	罫紙	1	日付は団兵衛メモ
W	30	72	〔葉書〕	昭和35	5	31	大城　安高久米吉	粟屋　安高団兵衛	預かり金返戻のこと	葉書	1	
W	30	73	〔葉書〕	昭和35	5	27	八幡市折尾町本城　香山満寿郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	写真送付への礼	葉書	1	日付は消印
W	30	74	〔書簡〕	昭和35	5	24	八幡市折尾町陣原　菊池安雄方安高正義	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	訴訟事件後始末について	罫紙	3	日新工業封筒あり
W	30	75	〔葉書〕	昭和35	5	20	八幡市折尾町陣原　安高正義	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	控訴審勝訴の件	葉書	1	日付は消印
W	30	76	〔会葬礼状〕	昭和35	5	16	観音寺　遺弟他	芦屋町粟屋　安高団兵衛		紙	1	封筒あり
W	30	77	会葬御礼	昭和35						封筒	1	封筒のみ
W	30	78	〔書簡〕	昭和35	5	10	陣の原　安高正義	遠賀郡芦屋町粟屋　安高リキノ	近況報告	罫紙	2	日新工業封筒あり
W	30	79	〔葉書〕	昭和35	5	9	光明寺住職　瓜生幸俊	粟屋　安高団兵衛	参詣、寄付への礼	葉書	1	日付は消印
W	30	80	〔葉書〕	昭和35	5	1	芦屋町仏教会	芦屋町粟屋　安高団兵衛	花まつり法要の通知	葉書	1	
W	30	81	〔葉書〕	昭和35	5	2	八幡市折尾町陣原　安高繁治郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	姉法要欠席について	葉書	1	
W	30	82	〔葉書〕	昭和35	4	25	光明寺住職　瓜生幸俊	粟屋　安高団兵衛	法然上人七百五十年忌開催通知	葉書	1	日付は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	30	83	〔葉書〕	昭和35	4	25	芦屋町山鹿　秋山カメノ	芦屋町粟屋　安高団兵衛	立ち寄り依頼	葉書	1	日付は消印
W	30	84	〔葉書〕	昭和35	5	11	芦屋町山鹿　秋山かめの	芦屋町粟屋　安高団兵衛	詠草を先生に送る前に見せて欲しい旨	葉書	1	
W	30	85	〔葉書〕	昭和35	4	10	八幡市石坪町　広渡寿雄	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	姉死去へのお悔やみ	葉書	1	日付は消印
W	30	86	〔葉書〕	昭和35	4	5	菊本ニッポン服装社	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	店舗移転通知	葉書	1	
W	30	87	会葬御礼	昭和35	4	2	田中守成他			紙	1	封筒あり、芦屋町役場職員組合共済会
W	30	88	〔葉書〕	昭和35	3	31	川西霊場参拝団	芦屋町粟屋　安高団兵衛	焼香料への礼状	葉書	1	
W	30	89	〔葉書〕	昭和35	3	26	芦屋町　瓜生ふさの	粟屋　安高団兵衛	立ち寄り依頼	葉書	1	
W	30	90	〔葉書〕	昭和35	3	25	芦屋町山鹿　秋山かめの	芦屋局区内粟屋　安高団兵衛	立ち寄り依頼	葉書	1	日付は消印
W	30	91	〔葉書〕	昭和35	3	13	遠賀村鬼津　太田秀夫	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	息子結婚披露出席案内	葉書	1	
W	30	92	小倉百人一首				東筑三年十組　安高誠		百人一首写し	書冊		罫紙使用
W	30	93	〔封筒〕	昭和35	5	24	あしや歌会	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛		封筒	1	封筒のみ
W	30	94	〔書簡〕	昭和35	5	17	日本工営富士見荘　安高保正	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高藤吉　千鶴子	自身と誠の近況報告	罫紙	3	封筒あり
W	30	95	〔書簡〕	昭和35	5	16	千葉県市川市中山遠寿院　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高藤吉・千鶴子	近況報告	罫紙	3	封筒あり
W	30	96	〔書簡〕				〔安高保正〕		近況報告、後欠	罫紙	3	95に同封、封筒なし
W	30	97	〔封筒〕				安高りきの			封筒	1	97-1、2同封
W	30	97-1	〔書簡〕				りきの	たかもり	近況照会	罫紙	1	
W	30	97-2	〔書簡〕				りきの	正義	嫁のはなしはどうしたか	罫紙	1	
W	30	98	〔封筒〕							封筒		99、100同封
W	30	99	〔電報頼信紙〕				シウギインダイイチギインカイカンワタナベモトジ	アシヤボウフウリンクミアイ	予算獲得への礼	紙	1	芦屋農業協同組合封筒入れ
W	30	100	〔封筒〕	昭34	5	16	岡湊神社奉賛会	粟屋　安高団兵衛		封筒	2	100-1、2同封
W	30	100-1	〔御礼状〕	昭34	10	15	金屋青年会他	安高団兵衛	寄付金礼状	紙	1	
W	30	100-2	第二回「福岡文芸」作品募集				福岡県教育委員会他		作品募集要項	紙	1	岡湊神社奉賛会封筒入れ
W	30	101	〔書簡〕			2	鶴原吉平	安高団兵衛	出席できない節は何分宜しく	紙	1	封筒あり
W	30	102	〔領収書〕	昭和35	10	6	日本砂丘研究会	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年度会費領収書	葉書	1	102～124一括袋入れ
W	30	103	〔葉書〕	昭和35	11	23	鬼津　太田秀夫	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	部屋見舞礼状	葉書	1	
W	30	104	〔葉書〕	昭和35	11	22	芦屋町身障事務所　畑辺	粟屋　安高団兵衛	身障会開催通知	葉書	1	
W	30	105	〔葉書〕	昭和35	11	28	千葉県市川市真間町内田権一方　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・りきの	セーター送れ	葉書	1	
W	30	106	〔写真〕						岩崎天外喜寿祝賀会写真2葉	写真	2	封筒あり
W	30	107	〔広告〕	昭和35	10	7	日本功労顕彰協会	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	自治功労者之章の広告	紙	1	封筒あり
W	30	108	〔書簡〕	昭和35	12		岡芳太郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	選挙落選挨拶	紙	1	封筒あり
W	30	109	〔御挨拶〕	昭和35	11	27	東京都杉並区西高井戸　早川シナ		朝洋の法要挙行報告	紙	1	封筒あり
W	30	110	〔案内〕	昭和35	10	28	芦屋町公民館長　松浦　猛	粟屋　安高団兵衛	第七回文化祭開催案内、プログラム共	紙	2	封筒あり
W	30	111	〔葉書〕	昭和35	10	31	芦屋町身障事務所　畑辺平次郎	粟屋　安高団兵衛	知事表彰希望者募集	葉書	1	110に同封
W	30	112	〔小包発送票〕	昭和35	11	28	早川シナ	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	風呂敷	紙	1	三越封筒あり
W	30	113	〔葉書〕	昭和35	11	26	遠賀村若松　小野藤太郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	義弟門司亮総選挙当選につき礼	葉書	1	日付は消印
W	30	114	〔葉書〕	昭和35	12	6	福岡市藤崎町　中山竜蔵	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	写真送付への礼	葉書	1	日付は消印
W	30	115	〔葉書〕	昭和35	12	3	若松市小石原　吉浦英信	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	転居通知	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	30	116	〔葉書〕	昭和35	11	14	指宿観光ホテル　桑原	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	東京大相撲見物の誘い	絵葉書	1	日付は消印
W	30	117	〔書簡〕	昭和35	12	2	福岡市名島　桑原勇吉	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	来福の誘い	方眼紙	2	
W	30	118	〔電報頼信紙〕				安高誠	アタカダン	着京予定連絡	紙	1	
W	30	119	〔葉書〕	昭和35	11	3	Uso Hirowatari	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	妻一時帰国予定連絡と近況	簡易書簡	1	航空便
W	30	120	〔葉書〕	昭和35	10	7	高田郡吉田町　竹内小春	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	来状への礼	葉書	1	日付は消印
W	30	121	〔封筒〕	昭和35			千葉県市川市真間町内田権一方　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・りきの		封筒	1	121-1、2、3同封
W	30	121-1	〔書簡〕	昭和35	11	20	安高誠	安高団兵衛・りきの	帰省予定連絡と仕送り催促	罫紙	2	
W	30	121-2	〔11月分出納表〕						11月分生活費	罫紙	1	
W	30	121-3	〔12月分予算〕							切り紙	1	
W	30	122	〔葉書〕	昭和35	11	27	千葉県市川市真間町内田権一方　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・りきの	送金への礼状	葉書	1	
W	30	123	〔書簡〕	昭和35	10	18	高田郡吉田町宮司　竹内小春	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	書留参着と松茸送付の連絡	罫紙	2	封筒あり
W	30	124	〔封筒〕	昭和35	9	25	広島県高田郡吉田町宮司　竹内小春	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	124-1、2、3同封
W	30	124-1	〔書簡〕				竹内	安高	夫遺言書送付のこと	罫紙	2	
W	30	124-2	〔遺言書写し〕				竹内薫		ビルマ戦線進撃前に書いた遺言書の写し	罫紙	4	
W	30	124-3	〔書簡〕				安高団兵衛	竹内小春・忠範	遺言書写し送付に関する礼と近況	継紙	1	
W	31	1	〔案内状〕	昭和34	9	7	芦屋町農業雇傭主組合　小田勝視	雇主各位	雇人慰安旅行	紙	1	
W	31	2	〔封筒〕	〔昭和〕34	8	31	〔カナダ〕武田みち子	安高団兵衛	娘の結婚報告外家族の近況報告	封筒	1	
W	31	3	〔封筒〕	〔昭和〕34	9	23	〔カナダ〕広渡卯壮・ゆう	安高団兵衛	四男結婚式のためトロント訪問、カナダの都市などについての様子	封筒	1	結婚挨拶の新聞切り抜き3枚同封
W	31	4	〔書簡〕	〔昭和〕35	8	23	〔カナダ〕広渡卯壮・ゆう	安高団兵衛	団兵衛姉死去への悔やみ、妻郷里訪問予定、日本政治への私見	簡易封筒	1	
W	31	5	〔住所メモ〕						広渡卯壮のカナダの住所	紙	1	
W	31	6	〔葉書〕	昭和35	5	5	岩崎天外先生後援会	安高団兵衛	喜寿祝賀会案内	葉書	1	
W	31	7	電報	〔昭和〕35	8	4	安高団兵衛	平戸市　山鹿光代	五ヒサイカイニテユク」アタカ	頼信紙	1	
W	31	8	〔葉書〕	〔昭和〕35	9	15	東京都渋谷区　安高団兵衛	安高藤吉・リキノ・千鶴子・外一同	上京の旅中の様子	葉書	1	
W	31	9	〔封筒〕	〔昭和〕35	9	29	東京都杉並区　早川朝洋	安高団兵衛	土産品への御礼	封筒	1	
W	31	10	〔書簡〕	昭和35	10	1	安高団兵衛	片山暁・あや子	近況報告	便箋	1	
W	31	11	〔封筒〕	〔昭和〕35	10	4	リーダーズダイジェスト日本支社	安高団兵衛	講読勧誘広告	封筒	1	申込葉書同封
W	31	12	〔葉書〕	〔昭和〕35	10	7	芦屋町　秋山カメノ	安高団兵衛	「若の路草」送付についての問い合わせ	葉書	1	
W	31	13	領収証	昭和35	10	13	太田□□	安高団兵衛		紙	1	
W	31	14	〔葉書〕	〔昭和〕35	10	14	芦屋町　芳村圭助	安高団兵衛	三輪村農協組合長米倉茂俊より近況伺い	葉書	1	
W	31	15	〔封筒〕	昭和35	10	13	芦屋町中小路青年会	安高団兵衛	岡湊神社宮日大祭奉納素人相撲大会案内	封筒	1	
W	31	16	〔葉書〕	昭和35	10	15	宮日祭々典当番　中小路区	安高団兵衛	岡湊神社大祭執行案内	葉書	1	
W	31	17	〔礼状〕	昭和35	10	15	勧進元　中小路青年会	安高団兵衛	奉納素人大相撲臨席の御礼	封筒	1	
W	31	18	〔葉書〕	〔昭和〕35	10	18	折尾町　香山満寿郎	安高団兵衛	御母堂死去悔やみ状	葉書	1	
W	31	19	〔葉書〕	〔昭和〕35	10	19	遠賀村　太田秀夫	安高団兵衛	妻病気見舞いへの御礼	葉書	1	
W	31	20	〔封筒〕	〔昭和〕35	10	20	リーダーズダイジェスト日本支社	安高団兵衛	講読勧誘広告	封筒	1	申込葉書同封
W	31	21	〔封筒〕	〔昭和〕35	10	25	市川市　安高誠	安高団兵衛・リキノ	生活費及びアンカ代送金依頼、金銭出納表、予算表とも	封筒	1	
W	31	22	〔封筒〕	〔昭和〕35	10	26	渡辺本治	安高シゲ	衆議院銀選挙への所信	封筒	1	
W	31	23	〔葉書〕	〔昭和〕35	10	28	東京都杉並区　早川シナ	安高団兵衛	夫早川朝洋死亡通知	葉書	1	
W	31	24	〔葉書〕	〔昭和〕35	10	30	鞍手郡小竹町　渕上房太郎	安高団兵衛	渕上房太郎衆議院議員推薦葉書	葉書	1	
W	31	25	〔葉書〕	〔昭和〕35	10	30	鵜崎多一外	安高団兵衛	松本七郎衆議院議員推薦葉書	葉書	1	
W	31	26	〔封筒〕	〔昭和〕35	10	31	市川市　安高誠	安高団兵衛	在学証明書送付	封筒	1	在学証明書同封

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	31	27	〔封筒〕	〔昭和〕35	11	3	市川市　安高保正	安高団兵衛・りきの	会社慰安旅行の様子、弟誠の様子報告	封筒	1	
W	31	28	〔封筒〕	〔昭和〕35	11	12	日本大学本部　津田沼校舎	安高団兵衛	70周年記念事業寄付金募集	封筒	1	挨拶文・振込用紙・返信用封筒一括
W	31	29	〔葉書〕	〔昭和〕35	11	9	安高太四郎	安高団兵衛	亡妻17回忌法要案内	葉書	1	
W	31	30	〔葉書〕	〔昭和〕35	11	12	遠賀村　太田秀夫	安高団兵衛	妻病気見舞いへの御礼	葉書	1	
W	31	31	電報	〔昭和〕35	7	9		アワヤ」アタカダンベエ	九ヒアサハハシスアベ	電報	1	
W	31	32	電報				安高団兵衛	サガケントスシムラタマチ　ウノトクゾウ	一〇ジ　三一フントスエキツク」アタカ	頼信紙	1	
W	31	33	〔葉書〕	昭和35	9	20	折尾警察署長・折尾運転者協会長	安高団兵衛	運転免許（許可）証の臨時検査通知	葉書	1	
W	31	34	〔封筒〕	〔昭和〕35	8	24	リーダーズダイジェスト日本支社	安高団兵衛	講読勧誘広告	封筒	1	申込葉書同封
W	31	35	〔封筒〕				リーダーズダイジェスト日本支社	安高団兵衛	講読勧誘広告	封筒	1	申込葉書同封
W	31	36	〔案内状〕		7	3	天外先生後援会	安高団兵衛	天外先生喜寿祝賀会	紙	1	
W	31	37	〔葉書〕		10	1	芦屋町安養寺　冨士原劉城	安高団兵衛	開山聖人700回忌大遠忌大法要完遂門主巡教案内	葉書	1	
W	31	38	〔封筒〕		10	11	吉田三郎	安高団兵衛	病見舞い礼状、内祝い送付通知、デパートの納品書同封	封筒	1	
W	31	39	〔パンフレット〕				琉球海運株式会社		運賃・渡航手続等	紙	1	
W	31	40	観光の福岡県				福岡県観光連盟		観光地案内	冊子	1	W41～43折込
W	31	41	〔葉書〕	昭和35	10	25	福岡県観光連盟会長 小倉市長	安高団兵衛	第十回福岡県郷土芸能大会案内	葉書	1	W40に挟み込み
W	31	42	〔パンフレット〕				小倉市観光係		平尾台観光案内	折紙	1	W40に挟み込み
W	31	43	〔パンフレット〕				北九州五市		北九州五市の観光と産業の案内	折紙	1	W40に挟み込み
W	31	44	〔映画案内〕						映画館上映案内	紙	3	同一三枚
W	31	45	請求書	昭和35	6	23	農業協同組合	安高藤吉	蚊帳請求書	紙	1	
W	31	45	〔断簡〕	昭和35	盛夏			芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合	裏面にメモあり	紙	1	
W	31	46	〔断簡〕						裏面にメモ、「早川修三　三男　昭和十三年八月十三日生」他	紙	1	
W	31	47	〔レシート〕				九州厚生年金病院			紙	1	
W	31	48	〔断簡〕						郵便貯金通帳預り証破損	紙	1	
W	31	49	領収証	〔昭和〕35	8		芦屋町収入役	安高団兵衛	印鑑証明手数料	紙	1	
W	31	50	領収証	〔昭和〕35	8	2	芦屋町収入役	安高藤吉	印鑑証明手数料	紙	1	
W	31	51	仕切書	〔昭和〕34	12	8	東筑青果株式会社	芦や　安団	葱　売仕切り	紙	1	
W	31	52	仕切書	〔昭和〕34	12	8	東筑青果株式会社	芦や　安団	ニラ　売仕切り	紙	1	
W	31	53	〔断簡〕						花屋運送店納品書用紙　裏面にメモ	紙	1	
W	31	54	〔断簡〕						金銭支出メモ他	紙	3	
W	31	55	仕切書	昭和34	11	7	八幡西日本青果株式会社	ア	葱・ニラ売仕切り	紙	1	
W	31	56	〔断簡〕							紙	1	
W	31	57	〔断簡〕						代議士等書上	紙	2	
W	31	58	〔断簡〕						人名メモ	紙	1	
W	31	59	〔断簡〕							紙	6	
W	31	60	〔ちらし〕				福岡県警察本部			紙	1	
W	31	61	〔葉書〕						書き損じ1、未使用12	葉書	13	
W	31	62	〔封筒〕							封筒	4	
W	32	1	〔会葬御礼〕	昭和36	2	3	遠賀郡遠賀村鬼津喪主太田秀夫、親族代表小田藤男		亡父豊造の葬儀御会葬、御香料の御礼	葉書	1	W32-1～43ビニール紐一括
W	32	2	会葬御礼	昭和36	2	7	福岡県遠賀郡芦屋町中之浜喪主中原岩男ほか4名		亡父富造の葬儀御会葬、御香料の御礼	紙	1	封筒あり
W	32	3	会葬御礼	昭和36	2	13	喪主西義男ほか2名		亡父轍之助の葬儀御会葬、御香料の御礼	葉書	1	封筒あり
W	32	4	〔御報告〕	昭和36	2	17	中間市社会福祉協議会長添田八尾亀	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	故西轍之助葬儀御香典返につき、西義男殿より中間市社会福祉協議会に御寄付を戴いた旨の報告	葉書	1	
W	32	5	〔会葬御礼〕	昭和36	4	29	遠賀郡芦屋町山鹿喪主畑野善亮、芦屋町社会福祉協議会長黒山高麿	粟屋　安高団兵衛	亡妻ツウ葬儀の御会葬、御香華の御礼。香典返につき、喪主から社会福祉協議会に金壱封の御寄贈	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	32	6	〔着任挨拶〕	昭和36	2	1	松宮信之	安高団兵衛	小倉調達事務所長に着任	紙	1	封筒あり安高団兵衛宛
W	32	7-1	会葬御礼	昭和36	3	26	福岡県嘉穂郡二瀬町横田二九六喪主渡辺一ほか12名		亡祖父本治の葬儀御会葬、御供物の御礼。	紙	1	封筒あり、W32-7-1～2一括
W	32	7-2	〔会葬御礼〕	昭和36	4	1	福岡県嘉穂郡二瀬町横田二九六喪主渡辺一ほか4名	安高団兵衛	亡祖父本治の葬儀御会葬、御供物の御礼。御返礼に代え国立の児童社会事業及び嘉飯山地区社会福祉事業費に寄付の報告	紙	1	封筒あり渡辺一より安高団兵衛宛
W	32	8	〔葉書〕				福岡県八幡市折尾町折尾駅横弘文堂白石書店	芦屋町大字粟屋　安高団兵衛	来店御礼。懐中日記の件、今しばらくお待ち下さい	葉書	1	消印「36.1.17」
W	32	9	〔葉書〕				岡垣村元松原広渡一敬	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	来る一月二十九日正午故祖母サヨの十七回忌に付、御詣り下さい	葉書	1	消印〔36.1.25」
W	32	10	〔葉書〕				福岡市簀子町高諢花子	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	来る二月十二日午前十一時よりKBC朝日放送にて「若山牧水」の和歌ラヂオ放送致します	葉書	1	消印「36.2.9」
W	32	11	〔葉書〕		5	1	久留米市櫛原町酒井幸子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	母病気に際しての御懇情の御礼。	葉書	1	消印「36.5.2」
W	32	12	〔葉書〕	昭和36	5	6	蘆屋安養寺恵信仏教婦人会	芦屋町粟屋　安高団兵衛	来ル五月十二日午后一時安養寺にて亡会員の追弔法要会を営む	葉書	1	
W	32	13	〔葉書〕		5	12	岡垣村大字野間辻寿一方広渡ゆう	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	先日参上の処、珍味山海の御馳走に預り、あちこち見物の御礼	葉書	1	
W	32	14	〔葉書〕				福岡県芦屋局区内芦屋郵便局	粟屋　安高団兵衛	契約の保険金お支払いできないので、来局下さい	葉書	1	
W	32	15	渡辺家告別式々順	昭和36	3	26			告別式式次第、会葬者書上	紙	1	
W	32	16	電報					アシヤマチアタカトウキチカタ、イケダミヨコ	「一シヨニカエレイケタ」とあり	紙	1	消印「36.12.29」
W	32	17	〔書簡〕	〔昭和36〕	5	1	誠	父上、母上	送金の御礼。保正兄と電話したこと。大学の成績、学費納入について	便箋	2	封筒あり、安高誠より安高団兵衛、同りきの宛
W	32	18-1	〔書簡〕	〔昭和36〕	-4	20	誠	父上、母上	送金の御礼。先便の写真の御礼。生活費、授業料のこと。	便箋	1	封筒あり、安高誠より安高団兵衛、同りきの宛。W32-18-1～2一括
W	32	18-2	〔4月分金銭出納表〕						4月8日～4月20日までの出納表、紙背に5月予算	罫紙	1	
W	32	19	〔書簡〕		5	17	隆盛	父上、母上	嫁探しのこと。通勤事情について	便箋	4	封筒あり安高隆盛より安高団兵衛、りきの宛
W	32	20-1	〔書簡〕		12	2	中村正広、美智子	叔父	御機嫌伺。近況報告。	便箋	2	封筒あり、中村正広より安高団兵衛宛、W32-20-1～4一括
W	32	20-2	〔写真〕						水前寺背景の女性の写真。裏に「36.11.19水前寺にて」とあり	写真	1	
W	32	20-3	〔写真〕						水前寺の写真。裏に「36.11.19」とあり	写真	1	
W	32	20-4	〔写真〕						阿蘇での男女の写真。裏に「アソロープエ乗場屋上ニテ下に見えるのは神社･･･」とあり	写真	1	
W	32	21	御案内	昭和36	5	12	芦屋町教育委員会	安高団兵衛	当地民芸「はねそ」が福岡県無形文化財に指定。記念式挙行	紙	1	封筒あり、芦屋町公民館より安高団兵衛宛
W	32	22	〔葉書〕		5	23	岡垣村野間辻寿一	芦屋町粟屋　安高団兵衛	妹ゆう本月廿六日帰国。粗酒差上に付、当日拾弐時御来賀下さい。鬼津にも御通知下さい	葉書	1	
W	32	23	〔書簡〕	昭和36	3	27	安高繁治郎	安高団兵衛	正義より聞き、後になったが御仏前を送る	紙	1	封筒あり、安高繁治郎より安高団兵衛宛
W	32	24-1	〔書簡〕		5	22	誠	父上、母上	近況報告。六月分生活費送付の御願い	便箋	1	封筒あり、安高誠より安高団兵衛、りきの宛、W32-24-1～2一括
W	32	24-2	〔5月金銭出納表〕						4月21日～5月20日までの金銭出納表。6月分予算	罫紙	2	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	32	25	〔書簡〕	昭和36		元旦	倉庫業高光産業株式会社会長妹尾環、社長妹尾キク	安高団兵衛	年始挨拶	継紙	1	封筒あり、妹尾キクより安高団兵衛宛
W	32	26	〔葉書〕	昭和36	1	22	自由民主党遠賀連合支部長住吉鹿之助	芦屋町大城　安高団兵衛	来る一月二十九日午后二時より自民党郡連会議を水巻町々民会舘広間にて開催	葉書	1	
W	32	27	〔葉書〕				芦屋町山鹿秋山かめの	芦屋区内粟屋　安高団兵衛	芦屋にお出の時お立寄り下さい。相談したき事あり	葉書	1	消印「36.1.28」
W	32	28	〔書簡〕				誠	父上、母上	予定通り四国旅行終了の知らせ	便箋	1	封筒あり、安高誠より安高団兵衛、りきの宛
W	32	29-1	〔書簡〕				誠	父上、母上	近況報告。二月分生活費送付の御願。二月一日から学年末試験	便箋	1	封筒あり、安高誠より安高団兵衛、りきの宛、W32-29-1～3一括
W	32	29-2	〔領収書〕	〔昭和〕36	1	9	有限会社渋谷商店	あたか上様	木炭代640円	紙	1	W32-29-3同折
W	32	29-3	〔1月分金銭出納表〕						1月2日～同20日までの金銭出納表。2月分予算	罫紙	2	
W	32	30	〔書簡〕			11	隆盛より	父上、母上	嫁探しのこと。仕事について	便箋	4	封筒あり、安高隆盛より安高団兵衛、りきの宛
W	32	31	〔書簡〕		2	16	誠	父上、母上	御手紙の返礼。住民票取得につき送付、国保も同封。保正兄から手紙をもらった	便箋	1	封筒あり、安高誠より安高団兵衛、りきの宛
W	32	32	〔書簡〕		2	7	安高隆盛より	父上・母上	嫁探しの件	便箋	2	封筒あり安高隆盛より安高団兵衛、りきの宛
W	32	33	〔書簡〕		2	16	恵美子	父上・母上	写真機の御礼。長崎、雲仙、熊本へ2泊3日の旅行に行ったこと。母の頼みの品を購入したこと	便箋	2	封筒あり、安岡恵美子より安高りきの宛
W	32	34	〔請求書〕	〔昭和〕34	12	末日	加藤医院	粟屋　安高藤吉	静江様の医療費、目薬代	紙	1	封筒あり、加藤医院より安高藤吉宛
W	32	35	延命御屠蘇				門司薬局		家伝王樹屠蘇散の実物。説明書に包まれた上、包紙状の紙に包まれる	布	1	封筒あり、門司又一より安高団兵衛宛
W	32	36-1	日光定期観光バス遊覧券	〔昭和〕36	3	3	東武鉄道自動車局		使用済み遊覧券	紙	1	封筒あり日本交通公社のもの
W	32	36-2	〔領収証〕						鉛筆削器購入のレシートヵ	紙	1	
W	32	36-3	〔抽選券〕	昭和36			日本交通公社、日本交通公社協定旅館連盟		旅館クーポン券	紙	1	
W	32	36-4	〔葉書〕		3	5	福岡県遠賀郡芦屋町安高団兵衛	財団法人日本交通公社旅館係	宿泊者アンケート	葉書	1	
W	32	37	〔葉書〕				宗像郡宗像町東郷　安高隆盛	遠賀郡芦屋町粟屋　安高りきの様	嫁探しについて	葉書	1	消印「36.3.4」
W	32	38	〔葉書〕				八幡市本町五丁目　安高正義	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	健康保険証が出来たこと。誠の分は住民票を送付の上、作成	葉書	1	
W	32	39	領収証				遠賀郡芦屋町収入役縄田寿美雄	安高団兵衛	金20円	紙	1	
W	32	40	〔葉書〕			13	市川市真間町一ノ二五二内田権一方安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・りきの	第三期授業料納入の御願い。保正兄、佳子さんに会った	葉書	1	
W	32	41-1	〔書簡〕			11	誠	父上・母上	三年生の講義等の説明と二年時の成績表について。予算、魚の眼治療費送付の御願い	便箋	1	封筒あり、安高誠より安高団兵衛、りきの宛、W32-41-1～3一括
W	32	41-2	〔4月分金銭出納表〕						4月2日～7日の四国旅行費用計上。4月追加予算	罫紙	1	
W	32	41-3	〔二年次成績〕						成績表の写	罫紙	1	
W	32	42-1	〔書簡〕			22	誠	父上・母上	近況報告。工業経営研究会で名古屋の愛知機械やトヨタ自動車などの工場見学に参加予定。三月分生活費、帰省費、見学費送付の御願い	便箋	2	封筒あり、安高誠より安高団兵衛、りきの宛、W32-42-1～4一括
W	32	42-2	〔領収証〕				日本大学理工学部会計課	安高誠	授業料10000円	紙	1	
W	32	42-3	〔2月分金銭出納表〕						1月21日～2月20日の金銭出納表	罫紙	1	
W	32	42-4	〔三月分予算〕						下宿代、昼食費他予算14900円	罫紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	32	43-1	〔12月分出納帳〕						11月20日～12月24日までの金銭出納帳	罫紙	5	封筒あり、W32-43-1～4一括
W	32	43-2	〔葉書〕						定期購読本ダイジェスト丸特別割引乗船券の申込用葉書	葉書	1	
W	32	43-3	〔案内状〕						定期購読本ダイジェスト丸特別割引の案内	紙	1	
W	32	43-4	〔案内状〕						購読申込による周遊旅行の申込	紙	1	
W	33	1	〔書簡〕	昭和36	7	2	八幡市陣の原　安高正義	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	父の病気に関して	罫紙	1	大安工業封筒あり
W	33	2	〔葉書〕	昭和37	6	7	東京都練馬区下石神井　秋山光一	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	下条康麿立候補挨拶状	葉書	1	日付は消印
W	33	3	〔葉書〕	昭和37	6	4	市川市真間町　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高藤吉・千鶴子	着京連絡	葉書	1	
W	33	4	〔封筒〕	昭和36	11	28	宗像町士穴　安高繁治郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	4-1、2、3、4、5、6同封、日付は消印
W	33	4-1	〔書簡〕		11	28	繁治郎	安高団兵衛	結納を納めた事の報告、結婚式等の段取り予定	罫紙	2	
W	33	4-2	誓ひの言葉						新郎　安高隆盛　新婦　古賀モモヨ	罫紙	1	
W	33	4-3	〔覚〕						祝儀書上げ他	罫紙	1	
W	33	4-4	〔覚〕						結婚式新婦方出席予定者他	罫紙	1	
W	33	4-5	〔覚〕						披露宴出席予定者他	紙	1	
W	33	4-6	〔領収書〕	昭和36	10	24	梅野商店			紙	1	
W	33	5	〔書簡〕	昭和36			八幡市陣の原菊池安雄方　安高正義	遠賀郡芦屋町粟屋　安高りきの	父の病気に関して	罫紙	2	封筒あり
W	33	6	〔書簡〕	昭和36	6	30	市川市真間町内田権一方　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・りきの	送金への礼	罫紙	1	
W	33	7	〔封筒〕	昭和36	6	22	市川市真間町内田権一方　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・りきの		封筒	1	7-1、2、3同封
W	33	7-1	〔書簡〕	昭和36	6	22	安高誠	父上・母上	帰省予定、送金依頼	罫紙	2	
W	33	7-2	6月分金銭出納表							罫紙	1	
W	33	7-3	7月分生活費及び帰省費							罫紙	1	
W	33	8	〔会葬御礼〕						未使用葉書3枚入り	封筒	1	
W	33	9	〔封筒〕				黒山てる	安高	表に写真代265円とあり	封筒	1	
W	33	10	〔葉書〕	昭和36	6	8	東京都練馬区中村町　秋山光我	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	墓碑建設について他	葉書	1	
W	33	11	美術品鑑賞会ご案内	昭和36	6	8	林田守治他			紙	1	岡湊神社封筒入
W	33	12	〔葉書〕	昭和36	5	25	八幡市本城　小田悟	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	結婚通知	葉書	1	
W	33	13	〔書簡〕	昭和36	5	29	市川市真間町内田権一方　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・りきの	送金への礼	罫紙	2	封筒あり
W	33	14	〔葉書〕	昭和36	5	29	広渡ユウ	福岡県遠賀郡芦屋町あわや　安高団兵衛・りきの	見送りと餞別への礼、渡米予定報告	葉書	1	
W	33	15	〔書簡〕	昭和36	5	24	八幡市折尾町陣の原　安高繁治郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	婚礼出席依頼	罫紙	1	封筒あり
W	33	16	〔書簡〕	昭和36	5	23	宗像郡宗像町東郷　安高隆盛	遠賀郡芦屋町大字芦屋　安高団兵衛	自身の結婚話について	罫紙	4	封筒あり
W	33	17	〔葉書〕	昭和36	6	4	若松市交通局折尾営業所　河田文太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	貸し切りバス使用への礼状	葉書	1	日付は消印
W	33	18	〔葉書〕	昭和36	5	25	遠賀郡誌復刊刊行会	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	遠賀郡誌発行期日通知	葉書	1	
W	33	19	〔葉書〕	昭和36	5	1	遠賀郡誌復刊刊行会	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	増補改訂遠賀郡誌発行について	葉書	1	
W	33	20	〔葉書〕	昭和36	5		遠賀郡芦屋町粟屋　木原孝雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛	会葬礼状	葉書	1	
W	33	21	〔葉書〕	昭和36	5	1	正門町　岩崎天外	芦屋町粟屋　安高団兵衛	神武天皇社顧問就任辞退	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	33	22	〔葉書〕	昭和36	4	30	福岡市渡辺通　伊豆清	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	移転通知	葉書	1	日付は消印
W	33	23	〔葉書〕	昭和36	3	27	川西霊園参拝団	芦屋町粟屋　安高団兵衛	焼香料への礼	葉書	1	
W	33	24	〔書簡〕	昭和36	3	8	福岡市警固新町　中村正広	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	結婚の報告	罫紙	3	
W	33	25	〔書簡〕	昭和36	3	1	大分県宇佐郡安心院町　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	正広結婚の報告	罫紙	1	封筒あり、日付は消印
W	33	26	〔葉書〕	昭和36	1	28	市川市真間町内田権一方　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・りきの	送金への礼	葉書	1	
W	33	27	〔葉書〕	昭和36	10	12	日本生命小倉支社	フクオカケンアシヤマチアワヤアスタカタカモリ	配当金、払込額通知	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	33	28	〔葉書〕	昭和36	10	12	日本生命小倉支社	フクオカケンアシヤマチアワヤアスタカマサヨシ	配当金、払込額通知	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	33	29	〔葉書〕	昭和36	1		菊本ニッポン服装社	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛	寒中見舞	葉書	1	
W	33	30	〔書簡〕	昭和36	6	1	日本大学理工学部後援会会長大槻金次	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋安高団兵衛	後援会総会開催通知	葉書	1	
W	33	31	〔封筒〕				岡湊神社社務所	粟屋　安高団兵衛		封筒	1	封筒のみ
W	33	32	会葬御礼				木原孝雄他			封筒	1	封筒のみ
W	33	33	会葬御礼				安高実雄他			封筒	1	封筒のみ
W	34	1	〔書簡〕	昭和36	11	16	誠（市川市真間町一ノ二五二内田権一方）	父上・母上（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛・りきの）	保険証同封につき更新手続き願い	罫紙	1	封筒あり。W34-1～126紙紐一括
W	34	2-1	〔書簡〕	昭和36	11	12	畑辺半次郎（芦屋町身体障害者福祉協議会・事務所福岡県遠賀郡芦屋町正門町）	安高団兵衛（町内粟屋）	12月県大会開催につきお知らせ、大正5年頃米の価格などお教え願い	罫紙	1	W34-2-1、2封筒一括
W	34	2-2	〔写真〕	〔昭和36〕	-11		（畑辺半次郎）	（安高団兵衛）	安高団兵衛ほか会食中の写真	写真	1	裏に「7」とあり
W	34	3	〔葉書〕	昭和36	11	13	八幡市本町五丁目四八番地大安工業株式会社	遠賀郡芦屋町大字芦屋　安高団兵衛	健康保険証更新のため誠様の分も含め送付願い	葉書	1	
W	34	4	〔書簡〕	昭和36	11	4	誠（市川市真間町一ノ二五二内田権一方）	父上・母上（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・りきの）	本代送付願い	罫紙	1	封筒あり
W	34	5-1	〔書簡〕	昭和36	11	24	誠（市川市真間町一ノ二五二内田権一方）	父上・母上（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・りきの）	設計製図の課題と実験報告書に取組中の事、航空研究会に入会した事、12月分生活費送付願い	罫紙	1	罫紙2枚。W34-5-1～2封筒一括
W	34	5-2	11月分金銭出納表	〔昭和36〕	11	-24	（安高誠）	（安高団兵衛）	食費ほか書上	罫紙	1	罫紙2枚
W	34	6	〔愛宕山十二烈士女慰霊祭案内状〕	昭和36	8	16	高倉神社社務所	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	谷川仁君ほか10烈士2貞婦の慰霊祭開催のお知らせ	葉書	1	日は消印
W	34	7	秋季例大祭御案内状	昭和36	10	4	遠賀郡岡垣村　高倉神社々務所・高倉神社奉賛会	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	行事予定書上	葉書	1	日は消印
W	34	8	例会御案内	昭和36	10	6	二水倶楽部	町内粟屋　安高団兵衛	自衛隊の加納司令殿を招き公民館にて座談会を開催する事	葉書	1	日は消印
W	34	9	御案内	昭和36	8		主催岡湊神社敬神婦人会・後援岡湊神社氏子総代会	安高団兵衛	元広島文理大学石井寿夫先生講演会開催のお知らせ	紙	1	
W	34	10	〔葉書〕	昭和36	7	3	芦屋町　カメラクラブ	粟屋　安高団兵衛	町公民館にてカメラクラブ世話人会開催のお知らせ	葉書	1	日は消印
W	34	11	〔葉書〕	昭和36	7	12	祇園祭々典当番　東町氏子中	粟屋　安高団兵衛	氏神岡湊神社祇園大祭開催のお知らせ	葉書	1	
W	34	12	〔葉書〕	昭和36	9	13	神武天皇社放生会祭典当番　正門町氏子中	神武天皇社奉賛会　安高団兵衛外御一同	神武天皇社放生会大祭開催のお知らせ	葉書	1	
W	34	13	〔案内状〕	昭和36	10	11	遠賀郡芦屋町立芦屋小学校長中村甚平（印）	安高千鶴子（粟屋）	秋季大運動開催のお知らせ	紙	1	封筒あり
W	34	14	〔案内状〕	昭和36	9	5	瑜珈神社奉賛会　会長中西雅由・名誉会長中西森之助・外一同（芦屋町山鹿厂木区）	安高団兵衛（芦屋町粟屋）	神社新築落成式開催のお知らせ	紙	1	封筒あり
W	34	15	〔葉書〕	昭和36	4	20	岡垣村　高倉神社々務所　大庭実	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	昨日御来社の際、留守のお詫び	葉書	1	日は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	34	16	〔葉書〕	昭和36	5	16	福岡市警固本通り一丁目二番地 三原春夫様方　中村正広・美智子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	御来訪と写真の御礼	葉書	1	日は消印
W	34	17	〔葉書〕	昭和36	6	8	小倉市金田町仲通六七　高木雪子様方　安高隆盛	遠賀郡蘆屋町大字蘆屋　安高団兵衛	新住所をお知らせ	葉書	1	
W	34	18	〔葉書〕	昭和36	6	15	東京都練馬区中村北三ノ七　秋山光材	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	墓石の件は当初の予算内で弟達打合せ分担金定め居る事、先日光民より母宛に1万円送付の事ほか	葉書	1	
W	34	19	〔葉書〕	〔昭和36〕	6	19	福岡県遠賀郡芦屋局区内　安高団兵衛	東京都練馬区中村北三ノ七	石代金の件、石が来たら木原先生に酒井幸子さんの名の次に石松恒芳氏の名を書いて貰う事ほか	葉書	1	消印なし、未送付か
W	34	20	〔書簡〕	昭和36	6	21	八幡市黒崎茶筅町七六　岩崎九州男	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	前八幡市長守田道隆氏を主幹に九州総合開発研究会を発会いたす件につき御相談のため大塚塗料社長大塚良彬氏と同道不日参上する事	罫紙	1	封筒あり。罫紙2枚ステンプラーにて綴り
W	34	21	〔封筒〕	昭和36	8	11	福岡県遠賀郡岡垣吉木1.705番地　岡垣農業協同組合	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
W	34	22	〔葉書〕	昭和36	7	4	東京都練馬区中村北三ノ七　秋山光材	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	腎臓・心臓の医師の診断と自覚症状などをお知らせ下され度事、母宛3万円送付につき貴殿必要経費差引かれ度事、建碑の敷石台の設計の件ほか	葉書	1	
W	34	23	〔書簡〕	昭和36	7	10	安高正義（八幡市本町五丁目大安工業KK）	父上（遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛）	充分な睡眠や読書・記帳時間の縮小など安静に務め養生され度事	罫紙	1	罫紙6枚。封筒あり。年は消印
W	34	24	〔葉書〕	昭和36	7	12	正門町　岩崎天外	芦屋町粟屋　安高団兵衛様	平戸へ秋山未亡人の山鹿城趾の額を送付下され度事	葉書	1	年は消印
W	34	25	〔葉書〕	昭和36	7	13	東京都練馬区中村北三ノ七　秋山光材	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	秋山家の方は台石を入れた方がよいと思う事、母の事につきお願い	葉書	1	年は消印
W	34	26	〔葉書〕	昭和36	7	10	東京都練馬区中村北三ノ七　秋山光材	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	母宛に送金の3万円は安高さんが受取、必要時に母に御渡し下され度事、建碑の件は万事鶴原さんと御相談下され度事	葉書	1	年は消印
W	34	27	〔葉書〕	昭和36	7	15	東京都千代田区神田一ツ橋二丁目九番地教育会館隣　旅館一橋寮	福岡県遠賀郡蘆屋字粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	年月日は消印
W	34	28	〔葉書〕	昭和36	7	19	八幡市折尾陣原下西　安高繁治郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	34	29	〔葉書〕	昭和36	7	20	梅林忠春　福岡県遠賀郡芦屋町	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	34	30	〔葉書〕	昭和36	7	19	福岡県遠賀郡芦屋字粟屋一二〇五　安高団兵衛様	戸畑市夜宮町三ノ一天籟荘　松本道子	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	34	31	〔葉書〕	昭和36	盛夏（7）	26	福岡県遠賀郡芦屋町市場　御旅館筑水　中西五郎六・中西ハナ	町内粟屋　安高団兵衛様	暑中見舞い	葉書	1	
W	34	32	〔葉書〕	昭和36	7	24	渕上房太郎	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	34	33	〔葉書〕	昭和36	盛夏（7）	25	福岡市警固本通り一ノ二　三春春三郎様方　中村正広・美智子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	34	34	〔書簡〕	昭和36	7	23	秋山光民（東京都武蔵野市西窪公団住宅26号館107号）	安高団兵衛（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）	父の建碑につき御配慮のお礼、金2万円送付の事	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
W	34	35	〔葉書〕	昭和36	7	25	福岡市大字名島　桑原勇吉・桑原菊夫	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	34	36	〔葉書〕	昭和36	盛夏（7）	24	旅館九州　陣場正輝・トキエ　東京都新宿区四谷町一ノ八	福岡市遠賀郡芦屋粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	34	37	〔葉書〕	昭和36	盛夏（7）	26	福岡県太宰府町北神園　吉村茶店	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	34	38	〔葉書〕	昭和36	7	24	東京都練馬区中村北三ノ七　秋山光材	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	御墓支払いのため2万円送金の事ほか	葉書	1	日は消印
W	34	39	〔葉書〕	昭和36	7	26	久留米市櫛原町四丁目　酒井善左衛門・幸子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	母の御世話・墓碑建設につき御配慮のお礼、	葉書	1	日は消印
W	34	40	〔葉書〕	昭和36	盛夏(7)	28	芦屋町中小路　和田友秀	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
W	34	41	〔葉書〕	昭和36	盛夏(7)	28	福岡県嘉穂郡稲築町鴨生　参議院議員西田隆男	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	34	42	〔葉書〕	昭和36	盛夏(7)	28	芦屋町幸町　小野浅次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	34	43	〔葉書〕	昭和36	盛夏		協和農機株式会社　本社高知県南国市里改田	福岡県遠賀郡芦屋町　あたかとうきち	暑中見舞い	葉書	1	
W	34	44	〔葉書〕	昭和36	盛夏(7)	28	東京都千代田区神田紺屋町七K.K.菊本ニツポン服装社	福岡県芦屋町芦屋粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い、毎度御令息様に御厄介になりし事	葉書	1	日は消印
W	34	45	〔葉書〕	昭和36	7	30	大分県宇佐郡安心院町　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い、正広の祝儀の件や御祝に御出いただいた事につき御礼	葉書	1	日は消印
W	34	46	〔葉書〕	昭和36	盛夏(7)	31	福岡県遠賀郡芦屋町中小路　黒山高麿	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	月日は消印
W	34	47	〔葉書〕	昭和36	7	31	鳥栖市村田町　宇野得三・外一同	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞い、新国道開通につき自宅の一部を移転せし事ほか	葉書	1	
W	34	48	〔葉書〕	昭和36	盛夏(7)	31	尾道市栗原町亀川　佐藤信子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛外御一同	暑中見舞い	葉書	1	月日は消印
W	34	49	〔葉書〕	昭和36	8	2	八幡市河内　石松恒芳	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	お礼状	葉書	1	
W	34	50	〔書簡〕	昭和36	7	31	中村正広・美智子（福岡市警固本通り一ノ六　三春春三方）	叔父・叔母（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛）	先日訪問の際の御配慮のお礼	葉書	1	封筒あり
W	34	51	〔封筒〕	〔昭和36カ〕			日本鋼管株式会社　東京中央郵便局区内　東京都千代田区大手町1丁目2番地	福岡県遠賀郡芦屋町正門町　柴田喜次郎	封筒に「安高団兵衛様　八百円在中」と朱書あり	封筒	1	
W	34	52	〔封筒〕	〔昭和36カ〕					封筒上書「祭辞」	封筒	1	
W	34	53	〔封筒〕	〔昭和36カ〕			福岡県遠賀郡芦屋町2970番地芦屋町立芦屋中学校		封筒に「受験料」とあり	封筒	1	
W	34	54	〔封筒〕	〔昭和36カ〕			芦屋局区内　福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋2022　芦屋町農業協同組合	粟屋　安高正義		封筒	1	
W	34	55	〔封筒〕	〔昭和36カ〕			芦屋局区内　福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋2022　芦屋町農業協同組合	粟屋　安高隆盛		封筒	1	
W	34	56	〔封筒〕	〔昭和36カ〕			芦屋局区内　福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋2022　芦屋町農業協同組合	粟屋　安高誠		封筒	1	
W	34	57-1	〔書簡〕	昭和36	7		日本大学理工学部後援会　会長坪内八郎	（安高団兵衛）	今年度総会にて会長に選任されし事、決算書ほか送付の事	紙	1	印刷。W34-57-1～4封筒一括
W	34	57-2	日本大学理工学部後援会役員	昭和36	6		（日本大学理工学部後援会）		会長理事坪内八郎ほか人名書上	紙	1	印刷
W	34	57-3	日本大学理工学部後援会　昭和三十五年度決算書	昭和36	5	27	（日本大学理工学部後援会）			紙	1	印刷
W	34	57-4	日本大学理工学部後援会　昭和三十六年度収支予算書	〔昭和36〕			（日本大学理工学部後援会）			紙	1	印刷
W	34	58	〔葉書〕	昭和36	8	2	高田郡吉田町国司　竹内小春	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	34	59	〔葉書〕	昭和36	盛夏(8)	4	福岡県議会議員　三原朝雄・満寿枝　福岡県遠賀郡遠賀村	県下芦屋町粟屋下組　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	34	60	〔葉書〕	昭和36	盛夏(8)	7	直方市津田町　梶田清太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	34	61	〔葉書〕	昭和36	8	4	渋谷区桜丘九ノ六　しんめん	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛外御一同	暑中見舞い	葉書	1	日は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	34	62	〔紙帯〕	昭和36	8	8	八幡市折尾字栴子二.〇二三 北九州産業文化社　発行人神崎悟	遠賀郡芦屋町大城　安高団兵衛		紙帯	1	郵送に使用。上書に「寄贈」とあり
W	34	63	〔葉書〕	昭和36	8	4	平山流舞鶴吟詠会　福岡市東簀子町一三九番地　高群花子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
W	34	64	〔書簡〕	昭和36	8	6	太田夏子（若松市乙丸）	安高（団兵衛）	暑中見舞い、写真送付のお礼	葉書	1	封筒あり。日は消印
W	34	65	遠賀郡誌発刊御案内	昭和36	8	1	八幡市本町4丁目八幡市立図書館内　遠賀郡誌復刊刊行会　刊行責任者加瀬康作	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛		葉書	1	
W	34	66	〔葉書〕	昭和36	8	6	神谷莞爾　東京都港区芝神谷町六番地	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い、永田の父の所在について	葉書	1	
W	34	67	〔葉書〕	昭和36	盛夏(8)	7	静岡県伊東市松原猪戸二ノ五九三　秋山光見	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞い、母の病気・父の墓碑などにつきお礼	葉書	1	日は消印
W	34	68	〔葉書〕	昭和36	8	10	直方市上頓野　石橋一同	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	34	69	〔書簡〕	昭和36	8	9	保正（立川市富士見町一ノ二四日本工営富士見荘安高保正）	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・りきの	ベトナムの発電所建設に電力を供給するための工事用ディーゼル発電所関係の仕事を担当している事、祖母初盆につき御霊前として金千円送付	罫紙	1	罫紙3枚。封筒あり
W	34	70	〔葉書〕	昭和36	8	11	熊本県天草郡苓北町大岳炭坑　金子朝枝	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・御一同	暑中見舞いのお礼	葉書	1	日は消印
W	34	71	〔封筒〕	〔昭和36カ〕			秋山		「御霊前　秋山」、「1000」とあり	封筒	1	
W	34	72	〔包紙〕	〔昭和36カ〕			黒山・本郷・江嶋ほか7名		「御霊前」とあり	包紙	1	
W	34	73	〔葉書〕	昭和36	8	16	遠賀郡鬼津　太田秀夫	芦屋町粟屋　安高団兵衛	亡父初盆会仏参の御礼	葉書	1	
W	34	74	〔葉書〕	昭和36	8	12	同町浜崎　中西常吉	芦屋町字粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い、中村健次様の住所お知らせ願い	葉書	1	
W	34	75	〔封筒〕	昭和36	8	16	畑野善亮	安高	「初盆御礼」とあり	封筒	1	
W	34	76	〔葉書〕	昭和36	8	14	東京　西田広義	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
W	34	77	〔葉書〕	昭和36	盛夏(8)	16	福岡県遠賀郡芦屋町中ノ浜　刀根善太郎	芦屋町粟屋区　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	年は消印
W	34	78	〔葉書〕	昭和36	8	17	芦屋町山鹿田屋　重岡一馬	芦屋町粟屋　安高団兵衛	亡父本芳初盆会仏参の御礼	葉書	1	亡母シゲ初盆会の礼状見本として団兵衛の追記あり
W	34	79	〔書簡〕	昭和36	8	18	中村正広（福岡市警固本通り一ノ二　三春春三郎方）	叔父様（遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛）	父訪問の際の御配慮の御礼	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
W	34	80	〔書簡〕	昭和36	8	20	弟藤治郎（大分県宇佐郡安心院町竜王中村藤治郎）	御兄様（福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋安高団兵衛）	先日訪問の際、あちこちと御案内下され御見送り下されし事などにつき御礼、腰の状態が全快するよう祈念して居る事ほか	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり。日は消印
W	34	81	〔葉書〕	昭和36	盛夏(8)	19	三原朝雄・満寿枝　福岡県遠賀郡遠賀村	県下芦屋町粟屋下組　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	34	82	〔葉書〕	昭和36	8	21	福岡市上若々町三三九　畠中直次・初子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・御一同	暑中見舞い、自宅新築のお知らせ	葉書	1	日は消印
W	34	83	〔葉書〕	昭和36	8	22	若松市二丸　太田祐介	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	18番の14を2枚送付願い	葉書	1	日は消印
W	34	84	〔葉書〕	昭和36	8	25	東京都練馬区中村北三ノ七　秋山光材	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	22日帰京の事、帰省中御高配の御礼	葉書	1	
W	34	85	〔葉書〕	昭和36	8	26	遠賀郡芦屋町大城　喪主小田勝視・外親族一同	（安高団兵衛）	亡母イト葬儀会葬の御礼	葉書	1	封筒あり
W	34	86	〔葉書〕	昭和36	8	27	遠賀郡鬼津　太田秀夫	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	34	87	〔葉書〕	昭和36	8	27	市場町　北村志賀	芦屋町粟屋　安高団兵衛	半田とき様が貴殿に会えずに帰る事を残念がっていた事ほか	葉書	1	
W	34	88	〔葉書〕	昭和36	8	30	宗像郡宗像町赤間　団地住宅九十六号　安高繁治郎・美記代	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	転宅のお知らせ	葉書	1	日は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	34	89	〔葉書〕	昭和36	8	29	市川市真間町一ノ二五二　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・同りきの	本日東京到着の事、直俊さんの下宿も直ぐ分り本人とも連絡つきし事ほか	葉書	1	
W	34	90	〔葉書〕	昭和36	8	31	田川市西区宮野　白木原藤枝	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	写真送付の御礼	葉書	1	月日は消印
W	34	91	〔葉書〕	昭和36	9	2	大分県宇佐郡安心院町　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛兄	写真・芦屋絵葉書送付の御礼	葉書	1	日は消印
W	34	92	〔葉書〕	昭和36	9	2	鞍手郡鞍手町永谷　神谷理髪館松尾カオル	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	亡母キクエ初盆会御供物の御礼	葉書	1	日は消印
W	34	93	〔葉書〕	昭和36	9	3	宗像郡宗像町赤間　団地住宅九六号　安高繁治郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	昨日書面拝見せし事ほか	葉書	1	日は消印
W	34	94	〔葉書〕	昭和36	9	4	若松市大字外小竹　大庭すえ	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	上京で誠さんなどに御世話になるにつき御礼、御陰様で直俊にも会って色々話せし事	葉書	1	日は消印
W	34	95-1	〔書簡〕	昭和36	9	3	中島貞巳（小倉市日明上の原佐藤被服合資会社）	安高団兵衛	結婚のお知らせ	罫紙	1	W34-95-1、2封筒一括
W	34	95-2	〔書簡〕	〔昭和36〕	9	3	中島恵美子（小倉市日明上の原佐藤被服合資会社、旧姓太田）	お伯父様、安高団兵衛	結婚祝い・写真などの御礼	罫紙	1	
W	34	96	〔書簡〕	〔昭和36〕	9	1	祐介（若松市二丸太田祐介）	安高団兵衛（遠賀郡芦屋町粟屋）	写真送付の御礼	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
W	34	97-1	四国観光旅行日程のご案内	昭和36	9	11	芦屋町農業協同組合（印）	安高団兵衛		紙	1	印刷
W	34	97-2	遠賀地区農協四国観光旅行日程	〔昭和36〕	-9	-11	（芦屋町農業協同組合）		尾道・今治・道後温泉などの旅程書上	紙	1	印刷
W	34	97-3	遠賀地区農協四国観光団参加申込書	昭和36	9		（未記入）	芦屋町農業協同組合		紙	1	印刷
W	34	98	〔書簡〕	昭和36	9	11	長崎県平戸市岩の上町山鹿様方　松尾久子	安高（福岡県筑前芦屋町安高団兵衛）	先生の外国旅行の日程について、電々公社や平戸城など平戸の建築ブームについてほか	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり。日は消印
W	34	99-1	〔書簡〕	昭和36	9	11	誠（市川市真間町一ノ二五二内田権一方）	父上・母上（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・りきの）	第2期分授業料送付願い、先日保正に会い父上の様子などを話せし事	罫紙	1	罫紙2枚。W34-99-1、2封筒一括
W	34	99-2	〔書簡控え写〕	昭和36	9	14	安高団兵衛	安高誠	授業料は近日中送付する事、分家の忠は大阪の民ヶ崎鉄工所に就職の事、山吉佳子が来訪し高倉の百合野へ行きし事ほか	罫紙	1	
W	34	100	〔封筒〕	昭和36	9	20	福岡県教区遠賀郡組芦屋町　浄土真宗本願寺派　安養寺	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	日は消印
W	34	101	〔葉書〕	昭和36	9	14	芦屋町　瓜生ふさの	本町粟屋区　安高団兵衛	先日は遠路わざわざ御出下され亡き仏も喜び居る事、歌・写真の御礼	封筒	1	
W	34	102	〔葉書〕	昭和36	9	20	田屋　佐野春樹	芦屋町粟屋　安高団兵衛	亡父葬儀会葬・御弔歌などの御礼	葉書	1	
W	34	103-1	〔書簡〕	昭和36	9	22	誠（市川市真間町一ノ二五二内田権一方）	父上・母上（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛・りきの）	授業料は先日納付せし事、10月分生活費送付願い	罫紙	1	罫紙2枚。W34-103-1～3封筒一括
W	34	103-2	昭和36年9月分金銭出納表	昭和36	9		（安高誠）	（安高団兵衛）	汽車賃・下宿代など書上	罫紙	1	罫紙2枚
W	34	103-3	10月分予算	〔昭和36〕	-9		（安高誠）	（安高団兵衛）	下宿代・昼食費など書上	罫紙	1	
W	34	104	〔通知〕	昭和36	9	28	芦屋町役場厚生課衛生係	芦屋区　安高リキノ	レントゲン撮影の結果は陰性の事	紙	1	印刷
W	34	105	〔書簡〕	昭和36	9	24	安高正義（八幡市陣の原）	父上・母上様（遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛）	養生のため安静にされ度事、嫁の件につき式の日取りなどについて	罫紙	1	罫紙4枚。封筒あり
W	34	106	電報	昭和36	9	29	（安高隆盛）	アワヤ　アタカダンベエ殿（粟屋安高団兵衛）	「四ヒタノムタカモリ」（4日頼む、隆盛）とあり	電報	1	
W	34	107	〔葉書〕	昭和36	11	8	東京都練馬区中村北三ノ七　秋山光材	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	10日朝帰省する事ほか	葉書	1	
W	34	108	預り証	昭和36	11	1	（福岡芦屋郵便局）	山鹿　秋山カメノ	通帳預り金につき	紙	1	
W	34	109	〔葉書〕	昭和36	10	26	東京都練馬区中村北三ノ七　秋山光材	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	御令息結婚の御祝い、帰省予定日についてほか	葉書	1	
W	34	110	〔葉書〕	昭和36	10	21	久留米市櫛原町四丁目　酒井幸子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	東京の弟（秋山光材）が母を迎えに帰省するのにあわせ、私も参上する事	葉書	1	
W	34	111	〔葉書〕	昭和36	9	20	東京都練馬区中村北三ノ七　秋山光材	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	山鹿を羽田まで見送りし事、メキシコ・ブラジル・アルゼンチンなどを経て帰国する事、郡碑建設の時期について	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	34	112	〔葉書〕	昭和36	10	5	岡垣村元松原　広渡一敬	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	高倉神社祭礼の案内	葉書	1	日は消印
W	34	113	〔書簡〕	昭和36	10	1	隆盛より（小倉市金田町仲通り六七高木雪子様方）	父上	頃末の水上君の世話していた縁談の件について	罫紙	1	罫紙5枚。封筒あり
W	34	114	〔葉書〕	昭和36	10	7	町内正門町五組　石橋兼蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	放生会大祭当日に岡湊神社中島居前にて撮影の写真受取の事	葉書	1	
W	34	115	〔書簡〕	昭和36	10	10	八幡市陣の原　安高正義	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	団兵衛の病気について、安静が肝要な事	罫紙	1	罫紙4枚。封筒あり。日は消印
W	34	116	〔葉書〕	昭和36	10	11	遠賀村鬼津　太田秀夫	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	元松原宮日を兼ね子供名付祝い開催につきお知らせ	葉書	1	
W	34	117	〔案内状〕	昭和36	10	吉日	勧進元　市場青年会・岡湊神社責任役員　黒山高麿・梅林忠春ほか23名	安高団兵衛	当町氏神神岡湊神社宮日大祭に際し恒例の奉納素人相撲大会挙行につき案内	紙	1	印刷。封筒あり
W	34	118	〔葉書〕	昭和36	10	11	宮日祭々典当番　市場区	粟屋　安高団兵衛	氏神神岡神社宮日大祭の案内	葉書	1	印刷
W	34	119	〔書簡〕	昭和36	9	28	誠（市川市真間町一ノ二五二内田権一方）	父上・母上（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・りきの）	送金御礼、先日遠寿院に行き御上人と会いし事、中間考査は明日終わる事	罫紙	1	封筒あり
W	34	120	〔書簡〕	昭和36	10	16	安高繁治郎（赤間局区内宗像郡宗像町土穴製鉄団地96　安高繁治郎）	安高団兵衛（芦屋局区内遠賀郡芦屋町粟屋）	隆盛の結婚費用・結納金について	罫紙	1	封筒あり
W	34	121	〔書簡〕	昭和36	10	21	鈴木シゲ子・	安高御一同	上京の際の餞別の御礼ほか	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり。日は消印
W	34	122-1	〔書簡〕	昭和36	10	23	誠（市川市真間町一ノ二五二内田権一方）	父上・母上（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛・同りきの）	学校は実験報告書の提出があり2年次よりも緊張を要する事ほか	罫紙	1	罫紙2枚。W34-122-1、2封筒一括
W	34	122-2	金銭出納表（昭和36年10月分）	昭和36	10		（安高誠）	（安高団兵衛）	映画・昼食代ほか	罫紙	1	罫紙2枚S
W	34	123	御礼状	昭和36	10	15	勧進元市場青年会・祭典当番市場区氏子中・区長豊島辰平（印）・氏子総代大内音松	安高団兵衛	奉納素人大相撲臨席の御礼、金壱百円領収	紙	1	封筒あり
W	34	124	〔葉書〕	昭和36	10	29	市川市真間町一ノ二五二内田権一方　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・同りきの	西日本に大きな被害を出した今度の雨は関東方面には特に影響なけれども、ただ放射能が入っているとのことで気持ちがよくない事	葉書	1	
W	34	125	〔葉書〕	昭和36	10	31	喪主広渡卓次郎・孫広渡正道・親族広渡武・総代三谷薫	芦屋町大字粟屋　安高団兵衛	亡養母マツ葬式会葬の御礼	葉書	1	
W	34	126	〔書簡〕	昭和36	11	2	八幡市穴生西鉄バス八幡営業所　野口和仁	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	写真送付の御礼ほか	罫紙	1	封筒あり
W	35	1	〔封筒〕	〔昭和〕36	3	18	福岡市浪人谷　岡沢麟太郎	遠賀郡芦屋町粟や　安高団兵衛		封筒	1	35-2～45を同封 日付は消印
W	35	2	〔書簡〕	〔昭和37〕	〔10〕	16	福岡市　紫音	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	封筒に「第49号　（37、10、18来ル）」とあり	罫紙	2	封筒あり、閲覧不可
W	35	3	〔書簡〕	〔昭和37〕	10	3朝	福岡市ニテ　紫音	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	封筒に「第48号　（37、10、4来ル）」とあり	罫紙	2	封筒あり、閲覧不可
W	35	4	〔葉書〕	〔昭和〕36	5	30	福岡市西原町二丁目　半田トキ	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	赤鉛筆にて「第1号　（36、5、31来ル）」とあり親展	葉書	1	閲覧不可
W	35	5	〔書簡〕	昭和36	6	2	安高団兵衛	半田トキ様	封筒に「第二信　（36、6、2発信）紫音様へ粟団子より」とあり、短歌の添削1枚同折	紙	2	封筒あり、閲覧不可
W	35	6	〔書簡〕	〔昭和36〕	6	5	福岡市にて　紫音	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	封筒に「第3号、（36、6、7来ル）とあり	方眼紙	3	封筒あり、閲覧不可
W	35	7-1	〔書簡〕	昭和36年	6	12	安高団兵衛	半田トキ様・半田恵美子様・外御一同様	封筒に「第4の1　（36、6、12発ス）福岡市西原町二丁目半田智昭様方 半田トキ様・半田恵美子様・外御一同様」とあり	紙	1	封筒あり。中に7-2を同封。閲覧不可
W	35	7-2	〔書簡〕	皇紀二千六百二十一年	6	12	団	紫音さま	封筒に「4の2　福岡市 紫音様」とあり	紙	2	封筒あり、閲覧不可
W	35	8	〔書簡〕	〔昭和36〕	6	14	福岡市にて　紫音	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	封筒に「第五番　（36、6、16来ル）」とあり	方眼紙	2	封筒あり、閲覧不可

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	35	9	〔書簡〕	昭和36	6	25	団扇	紫音様	封筒に「第六信　(36、6、25発信)紫音様へ」とあり	紙	1	封筒あり、閲覧不可
W	35	10	〔書簡〕	〔昭和36〕	6	29夜	福岡にて　紫音	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	封筒に「第七信　(36、7、2来ル)」とあり	方眼紙	2	封筒あり、閲覧不可
W	35	11-1	〔書簡〕	昭和36	7	4夕	安高団兵衛	半田様	封筒に「第八信　36、7、4発信　紫音様へ」とあり	罫紙	1	封筒あり。中に11-2を同封。閲覧不可
W	35	11-2	〔書簡〕	昭和36	7	4夕			封筒に「第八信　」とあり	紙	1	封筒あり、閲覧不可
W	35	12	〔葉書〕	〔昭和36〕	〔8〕	12	福岡にて　紫音	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	表に「第九信　(36、8、13来ル)」とあり	葉書	1	閲覧不可
W	35	13	〔書簡〕	昭和36	盛夏〔8〕	25	安高団兵衛	半田トキ様	封筒に「第十信　(36、8、25出す)　福岡市西春町二丁目　半田智昭様方半田トキ様・外一同様　粟団子より」とあり	紙	1	封筒あり、閲覧不可
W	35	14	〔葉書〕	〔昭和36〕	8	29	筑前芦屋町　粟団子	福岡市西春町二丁目　半田智昭様方半田トキ様	表に「第十一信」とあり	葉書	1	閲覧不可
W	35	15	〔書簡〕	〔昭和36〕	9	1	福岡市西春町　紫音	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	封筒に「第十二信　(36、9、3来ル)」とあり	方眼紙	2	封筒あり、閲覧不可
W	35	16-1	〔書簡〕	昭和36	9	5夜	安高団兵衛	半田様	封筒に「第十三信　(36、9、6)　紫音様へ」手紙に「第十三信写し」とあり	紙	1	封筒あり。中に16-2を同封。閲覧不可
W	35	16-2	〔書簡〕	昭和辛丑	ながつき	6	忘れ得ざるものより	懐かしき女神さまへ	封筒に「第十三信　36、9、6)」手紙に「第十三信の弐うつし」とあり	紙	1	封筒あり、閲覧不可
W	35	17	〔葉書〕	昭和36	9	18	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	福岡市西春町二丁目　半田智昭様方半田トキ様	表に「第十四信写し　(36、9、18発信)」とあり	葉書	1	閲覧不可
W	35	18	〔書簡〕	〔昭和36〕	9	23	福岡にて　紫音	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	封筒に「第十五信　(36、9、23来ル)」とあり	方眼紙	2	封筒あり、閲覧不可
W	35	19	〔書簡〕	〔昭和36〕	10	6	福岡にて　紫音	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	封筒に「第十六信　(36、10、7来ル)」とあり　親展	方眼紙	1	封筒あり、閲覧不可
W	35	20	〔書簡〕	〔昭和36〕	〔10〕	〔10〕]	筑前芦屋　粟団子	福岡市　紫音様	封筒に「第十七信　(36、10、10発信)」とあり	紙	1	封筒あり、閲覧不可
W	35	21	〔書簡〕	〔昭和36〕	〔11〕	11夜	福岡市にて　紫音	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	封筒に「第十八信　(36、11、12来ル)」とあり	方眼紙	1	封筒あり、閲覧不可
W	35	22-1	〔書簡〕	昭和36	11	18	懐かしき同窓の友より	紫音様	封筒に「第十九信　昭和36年11月20日」とあり	紙	1	封筒あり。22-2を同封。閲覧不可
W	35	22-2	〔書簡〕	昭和36	11	18			22-1の下書きか	紙	1	閲覧不可
W	35	23	〔書簡〕	〔昭和36〕	11	21	福岡市今泉一ノ三二　長野様方森田	遠賀郡あしや町粟屋　安高団兵衛様	封筒に「第二十信　(36、11、25来ル)」とあり　親展	方眼紙	2	封筒あり、閲覧不可
W	35	24	〔書簡〕	昭和36	11	29	愛子	御姉様	封筒に「第二十一信　森田事紫音様へ　粟団子より」とあり	紙	1	封筒あり、閲覧不可
W	35	25	〔葉書〕	〔昭和36〕	〔11〕]	27	福岡市今泉町一ノ三二　長乃様内　半田利起	遠賀郡あしや町粟屋　安高団兵衛	表に「第二十二信　(36、11、29来ル)」とあり	葉書	1	閲覧不可
W	35	26	〔葉書控〕	〔昭和36)	11	30	筑前芦屋町　同窓生代表　粟団子	福岡市今泉町壱丁目参拾弐番地　長野政彦様方　半田トキ様	「第二十三信」とあり	紙	1	閲覧不可
W	35	27	〔書簡〕	〔昭和36〕	12	20	福岡市今泉にて　紫音	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	封筒に「第二十四信　(36、12、21来ル)」とあり　親展	便箋	2	封筒あり、閲覧不可
W	35	28	〔書簡〕	〔昭和36〕	12	30	福岡市今泉　紫音	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	封筒に「第二十五信　(36、12、31来ル)」とあり　親展	便箋	2	封筒あり、閲覧不可
W	35	29	〔書簡〕	〔昭和37〕	〔1〕		福岡市藤崎町二　守田	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	封筒に「第二十六信　(37、1、22来ル)とあり	方眼紙	1	封筒あり、閲覧不可
W	35	30	〔書簡〕	昭和壬寅	如月	甲戌	新しき友より	守田紫音様	封筒に「第二十七信」とあり　旧正月元日	紙	1	封筒あり、閲覧不可
W	35	31	〔書簡〕	〔昭和37〕	3	5	福岡市今泉　紫音	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	封筒に「第二十八信　(37、3、7来ル)」とあり　親展	罫紙	2	封筒あり、閲覧不可
W	35	32	〔書簡〕	〔昭和37〕	3	9	福岡市今泉　紫音	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	封筒に「第二十九信」とあり　親展	罫紙	1	封筒あり、閲覧不可
W	35	33	〔書簡〕	〔昭和37〕	3	16夜	福岡市六本松　紫音	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	封筒に「第三十一信　(37、3、17)」とあり　親展	罫紙	1	封筒あり、閲覧不可

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	35	34	〔書簡〕	〔昭和37〕	4	2	遠賀郡芦屋町山鹿　野口	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	封筒に「第32信　(37、4、4来ル)」とあり	方眼紙	1	封筒あり、閲覧不可
W	35	35	〔書簡〕	昭和37	卯月	7	同窓生	半田様	封筒に「第三十三信　(37、4、7)」	紙	1	封筒あり、閲覧不可
W	35	36	〔書簡〕	〔昭和37〕	5	3朝	福岡市六本松　紫音	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	封筒に「第34信　(37、5、3来ル)」とあり	罫紙	2	封筒あり、閲覧不可
W	35	37	〔書簡〕	〔昭和37〕	5	16	福岡市　妹尾	遠賀郡阿芦屋町粟屋　安高団兵衛	封筒に「第35信　(37、5、17来ル)」とあり	罫紙	1	封筒あり、閲覧不可
W	35	38	〔書簡〕	〔昭和〕37	5	29	福岡市ニテ　紫音	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	封筒に「第37信」とあり	罫紙	1	封筒あり、閲覧不可、日付は消印
W	35	39	〔書簡〕	〔昭和37〕	6	12夜	福岡市　紫音	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	封筒に「第三十九信　(37、6、13来ル)」とあり　親展	罫紙	2	封筒あり、閲覧不可
W	35	40	〔書簡〕	昭和37	6	16	安高団兵衛	半田様	「第40信　第四十信はハガキ出した」とあり	紙	1	閲覧不可
W	35	41	〔書簡〕	〔昭和37〕	7	1	福岡市　紫音	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	封筒に「第42信　(37、7、2来ル)」とあり	罫紙	2	封筒あり、閲覧不可
W	35	42-1	〔書簡〕	〔昭和37〕	8	7夜	福岡市　紫音	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	封筒に「第四十四号　第45信入　(37、8、8来ル) 37、8、9□□」とあり	紙	1	封筒あり、42-2を同封、閲覧不可
W	35	42-2	〔書簡〕	昭和37	9	21	淋しきふるさとの友より	半田とき様	「第四十五信、昭和三十七年九月二十一日出シタ写真」	紙	1	閲覧不可
W	35	43	〔書簡〕	〔昭和37〕	9	21	福岡市　紫音	遠賀郡芦屋粟屋　安高団兵衛	封筒に「第四十六信　(37、9、22来ル)」とあり　親展	罫紙	2	封筒あり、閲覧不可
W	35	44	〔書簡〕	〔昭和〕37	9	30			封筒に「第47信」とあり	紙	1	封筒あり、閲覧不可
W	35	45	〔封筒〕	12	2	24	向坊然寿	芦屋町軍人会長　列士　安高団兵衛		封筒	1	封筒のみ 日付は消印、閲覧不可
W	36	1	〔葉書〕	昭和36	1	1	秋山光一	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	2	〔葉書〕	〔昭和36〕	1	1	不詳	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	3	〔葉書〕	昭和36	1	1	重岡政徳	安高吉明	年賀	葉書	1	日付は消印
W	36	4	〔葉書〕	〔昭和36〕	1	1	家具旅館商山田屋	安高団兵ェ	年賀	葉書	1	
W	36	5	〔葉書〕	昭和36	1	1	株式会社菊本ニッポン服装社	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	6	〔葉書〕	昭和36	1	1	森本政次郎・家族一同	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	7	〔葉書〕	皇紀2621	1	1	西田広義	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	8	〔葉書〕	昭和36	1	1	三原朝雄・妻満寿枝	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	9	〔葉書〕	〔昭和36〕	1	1	高崎サト	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	10	〔葉書〕	〔昭和36〕	1	1	浜中耕三郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	11	〔葉書〕	昭和36	1	1	豊水園	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	12	〔葉書〕	〔昭和36〕	1	1	石橋良之	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	13	〔葉書〕	〔昭和36〕	1	1	安藤セツ子	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	14	〔葉書〕	昭和36	1	1	金子あさえ	安高団兵衛・御一同	年賀	葉書	1	
W	36	15	〔葉書〕	昭和36	1	1	安高保正	安高団兵衛・りきの	年賀	葉書	1	
W	36	16	〔葉書〕	昭和36	1	1	瀬戸正広	安高団兵ェ	年賀	葉書	1	
W	36	17	〔葉書〕	昭和36	1	1	波田健三郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	18	〔葉書〕	昭和36	1	1	秋山光材	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	19	〔葉書〕	昭和36	1	1	椛田清太郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	20	〔葉書〕	昭和36	1	1	香豊園・松尾豊・松尾香苗	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	21	〔葉書〕	昭和36	1	1	安高繁治郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	22	〔葉書〕	昭和36	1	1	瀬井明生	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	23	〔葉書〕	〔昭和36〕	1	1	川下幸子	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	24	〔葉書〕	昭和36	1	1	吉永光雄	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	25	〔葉書〕	昭和36	1	1	剣木亨弘・昌子	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	26	〔葉書〕	昭和36	1	1	津山つる	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	27	〔葉書〕	昭和36	1	1	荒井初次	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	28	〔葉書〕	〔昭和36〕	1	1	柴田美津枝	安高静江	年賀	葉書	1	
W	36	29	〔葉書〕	昭和36	1	1	松本道子	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	30	〔葉書〕	昭和36	1	1	岡沢麟太郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	31	〔葉書〕	昭和36	1	1	中村正広	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	32	〔葉書〕	昭和36	1	1	橋本松雄	安高団兵衛	年賀	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	36	33	〔葉書〕	昭和36	1	1	西田隆男	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	34	〔葉書〕	昭和36	1	1	中西勇雄	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	35	〔葉書〕	昭和36	1	1	本田法	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	36	〔葉書〕	昭和36	1	1	内山昌亮	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	37	〔葉書〕	〔昭和36〕	1	1	石田節子	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	38	〔葉書〕	昭和36	1	1	伊藤百太郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	39	〔葉書〕	昭和36	1	1	田村兵治	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	40	〔葉書〕	〔昭和36〕	1	1	山本脩一郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	41	〔葉書〕	昭和36	1	1	広渡一敬	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	42	〔葉書〕	午	1	1	石橋つもる	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	43	〔葉書〕	昭和36	1	1	大庭勝一	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	44	〔葉書〕	昭和36	1	1	高倉神社宮司大庭実	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	45	〔葉書〕	昭和36	1	1	石松恒芳・周・昌子・貞	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	46	〔葉書〕	昭和36	1	1	津田為次	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	47	〔葉書〕	昭和36	1	1	秋山光民	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	48	〔葉書〕	昭和36	1	1	赤星重夫	安高団兵ヱ	年賀			
W	36	49	〔葉書〕	〔昭和36〕	1	1	高群花子	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	50	〔葉書〕	昭和36	1	1	平戸市長山鹿光世	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	51	〔葉書〕	昭和36	1	1	花田永造	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	52	〔葉書〕	〔昭和36〕	1	1	安高幹雄	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	53	〔葉書〕	〔昭和36〕	1	1	桑野恵	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	54	〔葉書〕	昭和36	1	1	松浦猛	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	55	〔葉書〕	昭和36	1	1	松井勝	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	56	〔葉書〕	昭和36	1	1	重広新	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	57	〔葉書〕	昭和36	1	1	麻生治正	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	58	〔葉書〕	昭和36	1	1	吉田徳蔵	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	59	〔葉書〕	〔昭和36〕	1	1	秋山うめの	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	60	〔葉書〕	昭和36	1	1	神谷莞爾	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	61	〔葉書〕	昭和36	1	1	永田賀一	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	62	〔葉書〕	〔昭和36〕	1	1	亀津広門	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	63	〔葉書〕	昭和36	1	1	広渡松雄	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	64	〔葉書〕	昭和36	1	1	白垣弥次	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	65	〔葉書〕	昭和36	1	1	酒井善左衛門・幸子	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	66	〔葉書〕	昭和36	1	1	和栗博	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	67	〔葉書〕	昭和36	1	1	中村藤治郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	68	〔葉書〕	昭和36	1	1	岡湊神社宮司林田守治・江南学舎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	69	〔葉書〕	〔昭和36〕	1	1	柴田喜次郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	70	〔葉書〕	昭和36	1	1	三村俊蔵	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	71	〔葉書〕	昭和36	1	1	秋山光見	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	72	〔葉書〕	〔昭和36〕	1	1	小野藤右ェ門	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	73	〔葉書〕	〔昭和36〕	1	1	畠中直次	安高団兵衛・りきの	年賀	葉書	1	
W	36	74	〔葉書〕	〔昭和36〕	1	1	伊豆清	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	75	〔葉書〕	昭和36	1	1	〔黒山てる〕	安高団兵衛	年賀	葉書	1	日付は消印
W	36	76	〔葉書〕	昭和36	1	1	塚原たよ子	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	77	〔葉書〕	辛丑	1	1	田中日浄	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	36	78	〔葉書〕	昭和36	1	1	竹内忠範・小春	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	37	1	〔通知〕	昭和37	5	18	芦屋町郷土史研究会会長　岩崎天外	粟屋　安高団兵衛	郷土史研究会開催通知	紙	1	芦屋町公民館封筒あり
W	37	2	〔葉書〕	昭和37	7	28	筑水旅館　中西五郎六　ハナ	粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	37	3	〔葉書〕	昭和37	7	23	酒井善左衛門　幸子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	37	4	〔葉書〕	昭和37	8		福岡市浪人谷　岡沢麟太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛水茎会一同	暑中見舞	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	37	5	〔葉書〕	昭和37	7	31	大安工業　安高正義	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	37	6	〔葉書〕	昭和37	7	30	岡部得三	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	37	7	〔葉書〕	昭和37	7	28	筑紫郡春日町春日原東　津田為次	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	37	8	〔葉書〕	昭和37	8	1	福岡県遠賀郡遠賀村広渡　重広新	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	37	9	〔葉書〕	昭和37	7	31	遠賀郡芦屋町　森山武夫	粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	絵葉書	1	日付は消印
W	37	10	〔葉書〕	昭和37	7	31	八幡　石松恒芳	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	墓参り予定の連絡	葉書	1	
W	37	11	〔葉書〕	昭和37	7	31	宇佐郡安心院町　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況と暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	37	12	〔葉書〕	昭和37	7	30	東京　渕上芳太郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	絵葉書	1	日付は消印
W	37	13	〔葉書〕	昭和37	8	1	タクボ歯科医院　田窪照逸	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	37	14	〔葉書〕	昭和37	8	4	福岡県筑紫郡太宰府町　吉村茶店	遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	37	15	〔葉書〕	昭和37	8	2	福岡市土手町　小田十壮	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	37	16	〔葉書〕	昭和37	8	3	大分県竹田市岩本　工藤続	福岡県遠賀郡芦屋町芦屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	37	17	〔葉書〕	昭和37	8	4	福原勇	粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	37	18	〔葉書〕	昭和37	8	5	梅林忠春	粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	絵葉書	1	日付は消印
W	37	19	〔葉書〕	昭和37	8	4	岩崎国江	福岡県芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞	絵葉書	1	日付は消印
W	37	20	〔葉書〕	昭和37	8	7	商工会長　徳永勝一	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	37	21	〔葉書〕	昭和37	8	5	東京都港区芝神谷町　神谷莞爾	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞と近況	葉書	1	
W	37	22	〔葉書〕	昭和37	8	7	遠賀郡遠賀村鬼津　井口強	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	37	23	〔葉書〕	昭和37	8	6	千代田区一ツ橋　旅館一橋寮	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	37	24	〔葉書〕	昭和37	8	7	小倉日明上ノ原　牛島貞巳　恵美子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	37	25	〔葉書〕	昭和37	8	8	若松市東二丁目　水田市太郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	団兵衛の農業経営に対する感想	葉書	1	日付は消印
W	37	26	〔葉書〕	昭和37	8	7	平戸市長　山鹿光世	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	37	27	〔書簡〕	昭和37	8		天坊会福岡支部　永島武雄	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞と天坊祐彦への支援要請	紙	1	天坊会事務所の封筒あり
W	37	28	〔葉書〕	昭和37	8	7	福岡市簀子町　高群花子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞礼	葉書	1	
W	37	29	〔葉書〕	昭和37	8	11	東京味噌醸造機製作所	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	37	30	〔葉書〕	昭和37	8	11	市川市中山町　遠寿院日浄	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	37	31	〔葉書〕	昭和37	8	13	東京都武蔵野市緑町　秋山光民	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	残暑見舞と長男誕生命名報告	葉書	1	日付は消印
W	37	32	〔葉書〕	昭和37	8	12	尼崎市元浜町尼鉄武庫川寮　安高忠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	残暑見舞	葉書	1	
W	37	33	〔会葬御礼〕	昭和37	8	18	木原義美他			紙	1	封筒あり
W	37	34	〔仏参御礼〕	昭和37	8	16	小田勝視	芦屋町粟屋　安高団兵衛	亡母初盆仏参礼状	葉書	1	
W	37	35	〔葉書〕	昭和37	8	19	中西盛雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛	中西静子初盆供物礼状	葉書	1	日付は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	37	36	〔葉書〕	昭和37	8	15	静岡県伊東市　秋山光見	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞と近況	葉書	1	日付は消印
W	37	37	〔葉書〕	昭和37	9	10	千葉県市川市真間町内田権一方　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの	着京報告	葉書	1	
W	37	38	〔書簡〕	昭和37	9	12	福岡市警固本通　中村正広	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況報告	罫紙	2	封筒あり
W	37	39	〔書簡〕	昭和37	9	16	安高幸治郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	療養所入所報告	罫紙	1	封筒あり
W	37	40	〔書簡〕	昭和37	9	13	千葉県市川市真間町内田権一方　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの	授業料送金依頼	罫紙	1	封筒あり
W	37	41	〔葉書〕	昭和37	9	20	千葉県市川市真間町内田権一方　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの	来翰礼	葉書	1	
W	37	42	〔通信事務〕	昭和37	9	14	芦屋郵便局	粟屋　安高団兵衛	アンケート記入依頼	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	37	43	〔葉書〕	昭和37	8	22	遠賀郡芦屋町柏原善福寺	芦屋町粟屋　安高団兵衛	地蔵尊大祭記念写真焼き増し依頼	葉書	1	日付は消印
W	37	44	〔香典返報告〕	昭和37	8	23	芦屋町福祉協議会会長　黒山高麿	芦屋町粟屋　安高団兵衛	木原より香典返しとして寄付金受け取った旨の報告	葉書	1	封筒あり
W	37	45	〔葉書〕	昭和37	9	18	芦屋町柏原善福寺	芦屋町粟屋　安高団兵衛	同行衆記念撮影参加依頼	葉書	1	日付は消印
W	37	46	〔封筒〕	昭和37	9	19	千葉県市川市真間町内田権一方　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの		封筒	1	46-1、2、3、4、5、6、7同封
W	37	46-1	〔書簡〕	昭和37	9	19	安高誠	父上　母上	腰痛診察報告、送金依頼	罫紙	2	
W	37	46-2	7、8、9月分金銭出納表	昭和37						罫紙	2	
W	37	46-3	9月分予算							罫紙	1	
W	37	46-4	9月分金銭出納表	昭和37						罫紙	1	
W	37	46-5	10月分予算							紙	1	
W	37	46-6	国立国府台病院領収証	昭和37	9	13				紙	2	
W	37	46-7	〔書簡下書〕				安高団兵衛	安高誠	送金通知	紙	1	電報頼信紙裏
W	37	47	〔書簡〕	昭和37	9	24	千葉県市川市真間町内田権一方　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの	近況報告	罫紙	1	封筒あり
W	37	48	〔書簡〕	昭和37	9	22	東京都練馬区中村町　秋山光我	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	初盆、お祭り費用等の精算依頼と近況報告	罫紙	2	封筒あり
W	37	49	〔書簡〕	昭和37	9	24	東京都練馬区中村町　秋山光我	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	亡父慰霊祭挙行への礼と精算金送金依頼	罫紙	2	封筒あり
W	37	50	〔封筒〕	昭和37	9	27	帝国功労顕彰会	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛		封筒	1	50-1、2、3、4同封
W	37	50-1	〔書簡〕	昭和37	7	1	帝国功労顕彰会	自治功績者	自治功績者佩用品等頒布について	紙	1	
W	37	50-2	申込書						佩用品購入申込書	紙	1	
W	37	50-3	〔広告〕						佩用品広告	紙	1	
W	37	50-4	〔広告〕						自治功労者手帳等広告	紙	1	
W	37	51	〔書簡〕	昭和37	9	24	芦屋中学校長　安部庫平他	粟屋　安高団兵衛	秋期運動会寄付礼状	紙	1	芦屋中学校封筒あり
W	37	52	〔葉書〕	昭和37	8	1	遠賀郡誌復刊刊行会	遠賀郡芦屋町三軒屋　秋山かめの	遠賀郡誌発刊案内	葉書	1	
W	37	53	〔葉書〕	昭和37	5	20	遠賀郡誌復刊刊行会責任者　加瀬康作	遠賀郡粟屋　安高団兵衛	遠賀郡誌完成予定通知	葉書	1	
W	37	54	〔葉書〕	昭和37	7	25	遠賀郡誌復刊刊行会責任者　加瀬康作	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	遠賀郡誌下巻刊行遅延通知	葉書	1	
W	37	55	〔葉書〕	昭和37	10	12	宮日祭祭典当番　浜崎氏子中	粟屋　安高団兵衛	湊岡神社宮日大祭期日通知	葉書	1	
W	37	56	〔葉書〕	昭和37	1	13	岡湊神社宮司　林田守治	粟屋　安高団兵衛	正祭期日通知	葉書	1	
W	37	57	〔葉書〕	昭和37	9	17	神武天皇社放生会祭典当番　正門町氏子中	粟屋神武天皇社奉賛会　安高団兵衛	台風による延期放生会大祭期日通知	葉書	1	
W	37	58	〔葉書〕	昭和37	9	13	神武天皇社放生会祭典当番　中之浜氏子中	粟屋神武天皇社奉賛会　安高団兵衛	放生会大祭期日通知	葉書	1	
W	37	59	〔葉書〕	昭和37	3	31	神武天皇祭祭典当番　正門町氏子中	粟屋　安高団兵衛方神武天皇社奉賛会	神武天皇祭期日通知	葉書	1	
W	37	60	〔葉書〕	昭和37	7	10	祇園祭祭典当番第一船頭町氏子中	粟屋　安高団兵衛	岡湊神社祇園祭期日通知	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	37	61	〔葉書〕	昭和37	10	2	岡垣村　広渡一敬	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	亡祖父、亡父の法要出席依頼	葉書	1	
W	37	62	〔書簡〕	昭和37	10	4	東京都練馬区中村町　秋山光我	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	ボート余剰金受け取り連絡と近況	罫紙	2	封筒あり
W	37	63	〔封筒〕	昭和37	9	30	千葉県市川市真間町内田権一方　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの		封筒	1	63-1、2、3、4同封
W	37	63-1	〔書簡〕	昭和37	9	30	誠	父上　母上	静江上京時の案内費用送金依頼	罫紙	2	
W	37	63-2	〔書簡〕	昭和37	10	7	誠	父上　母上	送金依頼	罫紙	1	
W	37	63-3	〔書簡〕	昭和37	9	17	安川電機製作所総務部労働課長　田中清太郎	安高団兵衛	息子の誠採用予定通知	紙	2	
W	37	63-4	〔書簡下書〕	昭和37	10	18	安高団兵衛	安川電機製作所総務部労働課長　田中清太郎	誠採用通知に対する礼状	紙	1	
W	37	63-5	〔書簡下書〕	昭和37	10	8	安高団兵衛	安高誠	静江修学旅行上京時の案内依頼と注意	紙	1	電報頼信紙裏
W	37	64	〔展示会案内〕	昭和37	9	18	松下電器産業	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	商品展示会及び映画会案内	紙	1	封筒あり、日付は団兵衛メモ
W	37	65	〔書簡〕	昭和37	9	30	日本工営大井寮　安高保正	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの	寮の様子、仕事等近況報告	罫紙	5	封筒あり
W	37	66	〔封筒〕	昭和37	10	7	千葉県市川市真間町内田権一方　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの		封筒	1	67同封
W	37	67	〔書簡下書〕	昭和37	10	13	安高団兵衛	安高誠	送金依頼に対する苦情と節約勧奨	紙	1	電報頼信紙裏
W	37	68	〔書簡〕	昭和37	9	25	遠賀郡誌復刊刊行会代表者　加瀬康作	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	遠賀郡誌復刊完成通知	紙	1	遠賀郡誌復刊刊行会封筒あり、払込用紙共
W	37	69	香典返通知	昭和37	10	2	三原広他	安高団兵衛	香典返しとして中間市遠賀郡共同経営養老院施設静光園に納骨堂を建立する旨の通知	紙	1	封筒あり
W	37	70	不動産競売期日通知書	昭和37	10	17	福岡地方裁判所小倉支部	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛		紙	1	福岡地方裁判所小倉支部封筒あり
W	37	71	〔葉書〕	昭和37	10	10	千葉県市川市真間町内田権一方　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの	封書受け取り連絡	葉書	1	
W	37	72	〔封筒〕	昭和37	10	18	千葉県市川市真間町内田権一方　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの		封筒	1	72-1、2、3同封
W	37	72-1	〔書簡〕	昭和37	10	18	誠	父上　母上	送金依頼	罫紙	3	
W	37	72-2	10月分金銭出納表	昭和37						罫紙	3	
W	37	72-3	〔書簡〕	昭和37	10	8	日本大学理工学部経営工学科機械研究室代表　端山隆三	父兄各位	卒業記念アルバム代振込依頼	紙	1	
W	37	73	〔葉書〕	昭和37	11	3	八幡市本城　香山満寿郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	勝手なお願いで恐縮とのこと	葉書	1	
W	37	74	通信事務	昭和37	11	18	福岡市福岡中央郵便局	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	伊豆清の住居番号変更通知	葉書	1	
W	37	75	〔書簡〕	昭和37	12	19	日本大学理工学部経営工学科機械専攻謝恩会準備委員会	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	謝恩会通知と会費振込依頼	紙	1	現金書留封筒同封、封筒あり
W	37	76	〔書簡〕	昭和37	12	16	福岡市警固本通り　中村正広	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況報告	罫紙	2	封筒あり
W	37	77	〔書簡〕	昭和37	12		第一銀行八幡支店	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	預金勧誘	紙	1	第一銀行営業案内同封、封筒あり
W	37	78	〔葉書〕	昭和37	11	6	正門町五組　石橋兼蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	身障者慰安見学旅行の写真請求	葉書	1	
W	37	79	〔葉書〕	昭和37	11	16	芦屋町身体障害者福祉協議会　畑辺半次郎	粟屋　安高団兵衛	写真焼き増し依頼	絵葉書	1	
W	37	80	〔葉書〕	昭和37	12	3	正門町　畑辺半次郎	粟屋　安高団兵衛	辞職連絡	葉書	1	
W	37	81	〔葉書〕	昭和37	10	15	東京都練馬区中村町　秋山光我	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	遠賀郡誌受け取り依頼	葉書	1	
W	37	82	〔葉書〕	昭和37	10	17	岡垣町里山　岩崎信雄	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	写真送付への礼	葉書	1	
W	37	83	〔書簡〕	昭和37	11	18	善福寺　智田礼仙	芦屋町粟屋　安高団兵衛	写真代金送付連絡	罫紙	1	封筒あり
W	37	84	12月分出納表	昭和37						罫紙	3	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	37	85	〔領収証〕	昭和38	1	4	江島靴店	安高	靴修理代領収	紙	1	
W	37	86	〔書簡〕	昭和37	11	16	大安工業　安高正義	遠賀郡芦屋町粟屋　安高りきの	カラセミソの礼と近況	罫紙	2	封筒あり
W	38	1	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔1〕	芦屋町金屋　入江栄	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	2	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔2〕	大城　安高岩雄	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	3	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔2〕	(代)篠原清七	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	不参加	往復葉書	1	日付は消印
W	38	4	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔2〕	芦屋町　皆川重蔵	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	5	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔2〕	中間市大辻町　島田マツノ	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	6	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔3〕	遠賀郡芦屋町　刀根伊七	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	7	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔1〕	八幡市清田町1丁目　安武タマ	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	8	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔4〕	兵道武一	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	9	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔4〕	畑野善亮	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	10	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔4〕	芦屋町山鹿三軒屋　岩崎誉次	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	11	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔4〕	矢野恵壮	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	12	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔5〕	刀根藤造	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	不参加	往復葉書	1	日付は消印
W	38	13	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔5〕	名古屋市西区替地町70　三木呈子	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	不参加	往復葉書	1	日付は消印
W	38	14	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔6〕	神奈川県横浜市鶴見区向井町3-74-19新川荘　本田清司方畑元	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	不参加	往復葉書	1	日付は消印
W	38	15	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔3〕	立花康平	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	16	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔7〕	山田キエ	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	17	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔8〕	上田久三郎	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	18	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔8〕	宗トヤ	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	19	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔8〕	芦屋町　和田ツネ	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	20	〔葉書〕	〔昭和38〕	正月	8	桑原勇吉	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	年は消印
W	38	21	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔9〕	中小路　黒山高麿	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	22	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔10〕	半田トキ	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	23	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔10〕	若松市小石原町11-6　吉浦英信	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	24	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔11〕	高倉敏夫	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	25	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔7〕	福岡市杵屋谷三　妹尾キク	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	26	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔10〕	列田久雄	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	不参加	往復葉書	1	日付は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	38	27	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔15〕	中西治八	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	28	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔16〕	芦屋町　石松サヨ	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	不参加	往復葉書	1	日付は消印
W	38	29	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔17〕	池田近太郎	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	30	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔19〕	芦屋町　高山孫六	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	31	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔21〕	矢野タケ	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	32	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔21〕	芦屋町第一船頭町　吉田増雄	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	33	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔21〕	佐世保市光町110　中山龍蔵	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	34	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔24〕	小倉市京町11丁目　秋枝正助	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	35	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔25〕	中西ユキ・中西シオ	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	不参加	往復葉書	1	日付は消印
W	38	36	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔28〕	早田熊雄	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	37	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔28〕	芦屋町幸町吉田宅　川崎シモ	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	38	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔28〕	梅崎善雄	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	39	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔30〕	塩田虎吉	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	38	40	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔30〕	野口イト	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	41	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔2〕	〔1〕	株式会社東京味噌醸造機製作所取締役社長　大庭増次	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	38	42	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔30〕	遠賀郡遠賀川駅前　宮崎サト	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	賛同出席	往復葉書	1	日付は消印
W	38	43	〔葉書〕	〔昭和37〕	11	26	八幡市清田町1丁目　安武タマ	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	同窓会でのお礼	葉書	1	年は消印
W	38	44	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔20〕	正門町　岩崎天外	町内栗屋　安高団兵衛	安武氏より返事が来ました。承諾してくれましたので御安心下さい	葉書	1	日付は消印
W	38	45	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔26〕	八幡市黒崎神原町1丁目鮮魚商上田寅□商店	遠賀郡芦屋町大城　安高団兵衛	新年のご挨拶	葉書	1	日付は消印
W	38	46	〔葉書〕	〔昭和38〕	1	28	正門町　岩崎天外	芦屋町栗屋　安高団兵衛	絵馬板の代金なるべく早く御心配下さる様お願い申し上げます	葉書	1	日付は消印
W	38	47	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔3〕	〔8〕	北九州市八幡区清田町1丁目安武たま	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	同窓会でのお礼	葉書	1	日付は消印
W	38	48	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔3〕	〔27〕	中間市大辻町　島田マツノ	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	写真のお礼	葉書	1	日付は消印
W	38	49	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔11〕	〔26〕	八幡区南陳山町　梅崎善雄	遠賀郡芦屋町大城　安高団兵衛	写真のお礼	葉書	1	日付は消印
W	38	50	〔葉書〕	〔昭和37〕	10	21	土地建物取引業　立花商会	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	同窓会出席の返事	葉書	1	年は消印
W	38	51	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔1〕	〔1〕		芦屋町粟屋　安高団兵衛	同窓会・建国祭の案内	葉書	1	日付は消印
W	38	52	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔10〕	〔4〕	岡垣町元松原　広渡一敬	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	高倉神社祭礼に付御出浮下さい	葉書	1	日付は消印
W	38	53	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔3〕	〔1〕	北九州市八幡区南陳山町　梅崎善雄	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	写真のお礼	葉書	1	日付は消印
W	38	54	電報	昭和38	2	11	タチバナ	ヤスタカダンヘイ	ケンコクサイヲシユクス	電報	1	
W	38	55	〔葉書〕					芦屋町金屋　芦屋町農業協同組合	南九州一周旅行申込	葉書	1	封筒あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	38	56	〔書簡〕				（福岡市西春町　半田とき）	（遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛）	詠歌のことなどについて	罫紙	1	封筒あり、河村たか詠歌同封
W	38	57	〔書簡〕		2	3	藤崎正次郎	安高団兵衛	不参加のお詫び	紙	2	封筒あり
W	38	58	〔書簡〕		2	9	立花康平	世話人代表　安高団兵衛	建国祭欠席のお詫びと会費を同封	罫紙	3	封筒あり
W	38	59-1	証	昭和38	1	30	八幡市鳴水　安西政雄	安高団兵衛	金6千円	領収書	1	封筒あり（封筒差出人は塩田虎吉）、59-2と同封
W	38	59-2	電報	昭和38	1	23		アワヤ　アタカダンベエ	ツマシスアスシキシノハラ	電報	1	封筒あり、59-1と同封
W	38	60	〔封筒〕				東京都港区芝金杉浜町35　株式会社東京味噌醸造機製作所	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛		封筒	1	封筒のみ
W	38	61	〔書簡〕		2	11	桑原勇吉	安高	本日会費郵送申し上げました	罫紙	1	封筒あり
W	38	62	〔書簡〕	昭和38	11	13	立花康平	安高団兵衛	写真のお礼	罫紙	2	封筒あり
W	38	63	九州一周の栞	昭和38	2	26	遠賀地区農協団・全日本観光株式会社		旅程	紙	1	印刷
W	38	64	南九州一周旅行実施について	昭和38	2	7	芦屋町農業協同組合	安高団兵衛	南九州一周旅行の実施計画	紙	1	印刷
W	38	65	〔封筒〕				瓜生ふさの		詠歌在中	封筒	1	
W	38	66	〔断簡〕						建国祭のメモなど	紙	4	
W	39		〔封筒〕				品川区大井林町334日本工営大井寮　安高保正	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛		封筒	1	1-1～1-3同封
W	39	1-1	調査報告書	昭和38	5	31	株式会社東京興信所	安高保正	結婚調査報告書	冊子	1	閲覧不可
W	39	1-2	家系図							紙	2	閲覧不可
W	39	1-3	〔書簡〕	昭和38	6	13	保正	父上	結婚の件について	罫紙	6	閲覧不可
W	40		〔封筒〕				品川区大井林町334日本工営大井寮　安高保正	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛		封筒	1	1-1～1-3同封
W	40	1-1	調査報告書	昭和38	5	31	株式会社東京興信所	安高保正	結婚調査報告書	冊子	1	閲覧不可
W	40	1-2	〔書簡〕	昭和38	6	6	保正	父上	結婚の件について	罫紙	6	閲覧不可
W	40	2-1	抵当権壱部抹消登記申請書	昭和38	1	23	登記権利者安高幸治郎・登記義務者安高団兵衛	福岡法務局芦屋出張所	土地七筆	綴	1	封筒あり、2-1～2-5同封
W	40	2-2	抵当権壱部抹消登記申請書	昭和35	11	10	登記権利者安高幸治郎・登記義務者安高団兵衛	福岡法務局芦屋出張所	土地二筆	綴	1	
W	40	2-3	抵当権壱部抹消登記申請書	昭和35	11	10	登記権利者安高団兵衛・登記義務者竹石茂雄	福岡法務局芦屋出張所	土地四筆	綴	1	
W	40	2-4	抵当権壱部抹消登記申請書	昭和35	1	4	登記権利者安高幸治郎・登記義務者安高団兵衛	福岡法務局芦屋出張所	土地二筆	綴	1	
W	40	2-4	土地抵当権抹消登記申請書	昭和33	5	9	登記権利者安高幸治郎・登記義務者芦屋町農業協同組合	福岡法務局芦屋出張所	土地九個	綴	1	
W	41	1	〔封筒〕	〔昭和〕38	3	11	品川区　安高保正	安高団兵衛・りきの	自分の結婚の相談　　写真2葉同封　速達便	封筒	1	
W	41	2	〔封筒〕	昭和38	3	17	品川区　安高保正	安高団兵衛	結婚相手の身元調査について、弟の卒業式の案内の往復葉書同封　　速達便	封筒	1	
W	41	3	〔封筒〕	昭和38	6	3	品川区　安高保正	安高団兵衛	結婚相手の身元調査について	封筒	1	
W	41	4	〔封筒〕	昭和38	6	14	杉並区　藤枝秀之助	安高団兵衛	結婚の同意に対する礼状	封筒	1	
W	41	5	〔封筒〕	昭和38	7	8	品川区　安高保正	安高団兵衛	結婚式の日取り、式場、予算等報告　結婚式場のパンフレット同封	封筒	1	
W	41	6	〔封筒〕	昭和38	7	28	品川区　安高保正	安高団兵衛	結婚式の日取りについて　披露宴司会の栞、見積書同封	封筒	1	
W	41	7	〔葉書〕	〔昭和〕38	7	30	杉並区　藤枝秀之助	安高団兵衛	暑中見舞状へのお礼	葉書	1	
W	41	8	〔封筒〕	昭和38	8	2	品川区　安高保正	安高団兵衛	結婚式の日取りについて　　速達便	封筒	1	
W	41	9	〔封筒〕	〔昭和〕38	8	8	品川区　安高保正	安高団兵衛	結婚式の日取り、仲人について　　速達便	封筒	1	
W	41	10	〔封筒〕	昭和38	8	12	品川区　安高保正	安高団兵衛	仲人について　　速達便	封筒	1	
W	41	11	〔封筒〕	昭和38	8	19	品川区　安高保正	安高団兵衛	仲人、結婚式出席者について　写真5葉同封　速達便	封筒	1	
W	41	12	〔封筒〕	〔昭和〕38	8	23	伊東市　秋山光見	安高団兵衛	仲人辞退の断り状、団兵衛差出の依頼状同封　速達便	封筒	1	
W	41	13	〔封筒〕	〔昭和〕38	8	27	品川区　安高保正	安高団兵衛	仲人依頼、新婚旅行の日程について　旅行日程表同封　速達便	封筒	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	41	14	〔封筒〕	昭和38	9	1	杉並区　藤枝秀之助	安高団兵衛	披露宴前日に堅めの杯の件了解、団兵衛より依頼の手紙および返事の下書同封　速達便	封筒	1	
W	41	15	〔封筒〕	昭和38	9	1	伊東市　秋山光見	安高団兵衛	仲人を柴田氏へ依頼予定　団兵衛よりの秋山光材への仲人依頼状同封　速達便	封筒	1	
W	41	16	〔封筒〕	昭和38	9	4	伊東市　秋山光見	安高団兵衛	柴田氏仲人引受ずとの連絡　速達便	封筒	1	
W	41	17	〔封筒〕	昭和38	9	6	品川区　安高保正	安高団兵衛	仲人依頼方依頼　仲人依頼状下書および旅行日程表同封　速達便	封筒	1	
W	41	18	〔封筒〕	昭和38	9	10	品川区　安高保正	安高団兵衛	菊本氏仲人承諾、芦屋での宿予約依頼、案内状差出人書上　速達便	封筒	1	
W	41	19	〔封筒〕	昭和38	9	10	文京区　菊本実	安高団兵衛	仲人承諾　　仲人承諾に対する団兵衛の礼状控え同封	封筒	1	
W	41	20	〔葉書〕	〔昭和〕38	9	13	伊東市　秋山光身	安高団兵衛	祝品送付	封筒	1	
W	41	21	〔封筒〕	〔昭和〕38	9	16	文京区　菊本実	安高団兵衛	挙式費用について報告　安高家の由来の報知依頼	封筒	1	
W	41	22	〔葉書〕	〔昭和〕38	9	22	文京区　菊本実	安高団兵衛	手紙拝受	封筒	1	
W	41	23	〔封筒〕	〔昭和〕38	9	25	品川区　安高保正	安高団兵衛・りきの・藤吉・千鶴子	式の参列者、東京での宿舎の手配など　披露宴案内状・地図同封	封筒	1	
W	41	24	〔封筒〕	〔昭和〕38	9	30	杉並区　小松八代子	安高団兵衛	しんめん（東京の旅館）についての情報	封筒	1	
W	41	25	〔封筒〕	〔昭和〕38	10	1	品川区　安高保正	安高団兵衛	式の服装、仮祝儀の仲人立会等について　速達便	封筒	1	
W	41	26	〔封筒〕	昭和38	10	6	杉並区　藤枝秀之助	安高団兵衛	仮祝儀媒酌人出席の件了解、媒酌人へのお礼などについて　速達便	封筒	1	
W	41	27	〔葉書〕	昭和38	10	6	文京区　菊本実	安高団兵衛	仮祝儀参上	封筒	1	
W	41	28	〔封筒〕	〔昭和〕38	10	8	品川区　安高保正	安高団兵衛	式の服装、出席者などについて　速達便	封筒	1	
W	41	29	〔封筒〕	〔昭和〕38	10	11	杉並区　安高保正	安高団兵衛	式の服、15日の仮祝儀、披露宴の進行等について	封筒	1	
W	41	30	〔封筒〕	〔昭和〕38	10	16	文京区　菊本実	安高団兵衛	媒酌に対するお礼への礼状　この礼状及び土産に対しての団兵衛の礼状控同封	封筒	1	
W	42	1	〔書簡〕	1964	12	20	誠	父上・母上	仕事や旅行のことなど近況報告	罫紙	3	封筒あり、写真8枚同封
W	42	2	〔葉書〕	昭和39	11	10	遠賀郡遠賀町別府　永田賀一	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	退院の報告とお見舞いへのお礼	葉書	1	
W	42	3	〔葉書〕		11	26	北九州市八幡区清田町1丁目　安武タマ	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	写真のお礼	葉書	1	
W	42	4	〔葉書〕	〔昭和39〕	〔11〕	〔16〕	精華寮　安高静江	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・リキノ	九州旅行のこと	葉書	1	日付は消印
W	42	5	〔葉書〕				芦屋祇園　東村口朋	芦屋町粟屋　安高団兵衛	モチ米お届のお願い	葉書	1	
W	42	6	〔葉書〕	昭和39	12		みんせい新聞社	町内　安高団兵衛	正月第16号年賀企画のお願い	葉書	1	
W	42	7	〔葉書〕	昭和39	12		福岡県遠賀郡芦屋町東町日の出一組　福原勇	町内粟屋　安高団兵衛	喪中につき年末年始の御挨拶御遠慮申し上げます	葉書	1	
W	42	8	〔葉書〕	昭和39	12		芦屋町浜口　皆田ユキエ	町内粟屋　安高団兵衛	喪中につき年末年始の御挨拶御遠慮申し上げます	葉書	1	
W	42	9	〔葉書〕				杉並郵便局	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	住居表示制度実施のお知らせ	葉書	1	
W	42	10	御供者				大本山九州成田山			袋	1	袋のみ
W	42	11	〔封筒〕						表に「御見舞の印　祈一日も早く御全快を安高団兵衛」とあり	封筒	1	封筒のみ
W	42	12	〔封筒〕						表に「東京都千代田区宮内省　献詠歌係御中」とあり	封筒	1	封筒のみ
W	42	13	〔書簡〕	昭和39	12		岡湊神社宮司　林田守治	（粟屋　安高団兵衛）	歳旦祭・神酒授与の案内	紙	1	封筒あり
W	42	14	〔封筒〕		6	11	東京都中野区上高田　河村たか	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛		封筒	1	
W	42	15	〔書簡〕		6	29	（神奈川県相模原市上鶴間鶴ヶ丘公団26-2　瓜生ふさの）	（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋区　安高団兵衛）	歌原稿	罫紙	4	封筒あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	42	16	〔書簡〕		7	24	(福岡市　半田とき)	(遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛)	和歌詠歌の返送について	罫紙	1	封筒あり
W	42	17-1	〔書簡〕	昭和39	10	22	保正	父上・母上	阿佐々谷のお父さん・お母さんの九州方面への旅行日程について	罫紙	5	封筒あり、17-1と17-2同封
W	42	17-2	予定表						旅行スケジュール	紙	1	封筒あり、17-1と17-2同封
W	42	18	〔書簡〕	昭和39	10	23	藤枝秀之助・ゆき	安高団兵衛	貴家訪問・九州旅行の件	罫紙	4	封筒あり
W	42	19	〔書簡〕	昭和39	11	9	藤枝秀之助・ゆき	安高団兵衛	九州旅行のお礼	紙	1	封筒あり
W	42	20	〔書簡〕	昭和39	11	13	藤枝秀之助・ゆき	安高団兵衛	九州旅行のお礼と写真送付	罫紙	3	封筒あり、写真14枚在中
W	42	21	〔書簡〕	昭和39	11	12	保正	父上・母上	九州旅行のお礼	罫紙	4	封筒あり
W	42	22	〔書簡〕	昭和39	11	14	藤枝秀之助・ゆき	安高団兵衛	野菜・漬け物など贈り物へのお礼	罫紙	3	封筒あり
W	42	23	〔書簡〕		11	25	秀之助	安高団兵衛	写真送付へのお礼ほか	罫紙	7	封筒あり
W	42	24	〔封筒〕				福岡市浪人谷13　岡沢麟太郎	遠賀郡芦屋町水くきうた会　安高団兵衛		封筒	1	封筒のみ
W	42	25	〔書簡〕	昭和39	11	30	静江	おじいちゃん・おばあちゃん	お菓子の贈り物へのお礼と近況報告	罫紙	3	封筒あり、中に空の封筒2通同封
W	42	26	〔書簡〕				禎子		遅くなりましたが、編み物を父母に預けます	罫紙	2	封筒あり、封筒表に編み物へのお礼を書いた文面あり
W	42	27	あしや郵便局だより	昭和39	12	1	芦屋郵便局		郵便貯金増強運動のお知らせほか	紙	1	封筒あり
W	42	28	不動産競売期日通知書	昭和39	11	2	福岡地方裁判所小倉支部裁判所書記官　山崎秀雄		競売期日昭和39年11月26日	紙	1	封筒あり
W	42	29	〔書簡〕			26	河村たか	安高先生	詠歌のお礼ほか	罫紙	1	封筒あり、写真2枚、詠歌1通同封
W	42	30	〔封筒〕				田主丸役場	遠賀郡芦屋町幸町　塩足文世		封筒	1	封筒のみ
W	42	31	〔雑〕						日本経済新聞建て頁変更のお知らせほか	紙	4	
W	43	1	〔葉書〕	〔昭和39〕	2	5	芦屋町　吉田徳佐	当町粟屋　安高団兵衛	購入希望の土地について。図面つき	葉書	1	W43-1～105紙縒一括
W	43	2	〔葉書〕	〔昭和39〕	5	1	東京都練馬区中村町北三ノ七　秋山光材	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	母恢復。今夏母同伴で帰省予定	葉書	1	
W	43	3	〔葉書〕	〔昭和39〕	5	7	遠賀郡遠賀町鬼津　入江繁子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	写真持参のお礼。静江さんに手紙を出した	葉書	1	
W	43	4	〔葉書〕	昭和39	5	7	遠賀郡芦屋町東町司法書士　松井賢治	芦屋町粟屋　安高団兵衛	芦屋法務局の水巻町移転に伴い、私事務所も移転	葉書	1	
W	43	5	〔葉書〕	〔昭和39〕	5	19	福岡県遠賀郡芦屋町龍昇館　石松新	町内粟屋　安高団兵衛	聖地芦屋名勝案内の原稿があれば写を御恵与願う	葉書	1	
W	43	6	〔葉書〕	昭和39	5		東京都千代田区大手町一の五　農林漁業金融公庫　和栗博	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	農林漁業金融公庫融資第一部長に転任の挨拶	葉書	1	
W	43	7	〔葉書〕	〔昭和39〕	5	30	北村志賀	芦屋町粟屋　安高団兵衛	芦屋にお出かけの節、お立寄りを乞う	葉書	1	
W	43	8	〔葉書〕	昭和39	7	盛夏	小倉区井堀町一丁目四ノ三塚原たよ子	遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛	暑中見舞。秋山先生のお墓のおもりのお礼	葉書	1	
W	43	9	〔葉書〕	昭和39	盛夏		北九州市八幡区本町五丁目大安工業株式会社　安高正義	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	43	10	〔葉書〕	昭和39	盛夏		福岡県遠賀郡遠賀町大字島津六三二　矢野智	芦屋町大字粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	43	11	〔葉書〕	昭和39	盛夏		福岡県遠賀郡芦屋町芦屋　梅林組	町内粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	43	12	〔葉書〕	昭和39	盛夏		衆議院議員　三原朝雄	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	43	13	〔葉書〕	〔昭和39〕	盛夏		芦屋町　久野知英	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	43	14	〔葉書〕	昭和39	盛夏		福岡県遠賀郡芦屋町東町一六七九の二　福原勇	町内粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	43	15	〔葉書〕	昭和39	盛夏		北九州市戸畑区弁入町一ノ六　藤山円藏	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	43	16	〔葉書〕	昭和39	7	14	遠賀郡芦屋町大城喪主　守田正義ほか2名	芦屋町粟屋　安高団兵衛	亡母マサエ葬儀御会葬お礼。香典返は芦屋町社会福祉協議会に寄附の御報告	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	43	17	〔葉書〕	昭和39	盛夏		参議院議員農学博士　野知浩之	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	43	18	〔葉書〕	昭和39	盛夏		平戸市岩ノ上町山鹿　光世	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	43	19	〔葉書〕	〔昭和39〕			福岡県遠賀郡芦屋町　熊野太郎	粟屋　安高団兵衛	暑中見舞。神武天皇聖蹟崗水門顕彰碑の写真付	絵葉書	1	
W	43	20	〔葉書〕	昭和39	盛夏		川崎市小倉南耕地一六六一株式会社全味号社長　大庭増次	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	43	21	〔葉書〕	〔昭和39〕		26	岡垣町遠療七　安高幸治郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	御見舞、御芳志御恵贈のお礼。墓地登記の件承知	葉書	1	
W	43	22	〔葉書〕	昭和39	盛夏		福岡県遠賀郡芦屋町第二船頭町　本田菊郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	43	23	〔葉書〕	昭和39	盛夏		北九州市八幡区折尾町タクボ歯科　田窪友博	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	43	24	〔葉書〕	昭和39	盛夏		北九州市八幡区黒崎町三丁目金物荒物種苗農具古賀屋本店古賀源市外従業員一同	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	43	25	〔葉書〕	〔昭和39〕			山口県豊浦郡豊田町殿居狗留孫山御嶽観音修禅寺	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞。御恵送のお礼	葉書	1	
W	43	26	〔葉書〕	昭和39	盛夏		衆議院議員　三原朝雄	芦屋町粟屋下組　安高団兵衛御一同	暑中見舞	葉書	1	
W	43	27	〔葉書〕	昭和39	盛夏		福岡県遠賀郡芦屋町　森山武夫	町内粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	43	28	〔葉書〕	昭和39	盛夏		福岡県遠賀郡水巻町大字頃末福岡法務局水巻出張所前司法書士　松井賢治	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	43	29	〔葉書〕	昭和39	盛夏		福岡県遠賀郡芦屋町　梅林忠春	町内粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	43	30	〔葉書〕	昭和39	盛夏		福岡県遠賀郡芦屋町浜中茂足、桂子	町内粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	43	31	〔葉書〕	〔昭和39〕			福岡市白金一丁目十二街区七号　伊豆清	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞。御出浮の際はお立ち寄り下さい	葉書	1	
W	43	32	〔葉書〕	昭和39	盛夏		北九州市若松区浜二番町二丁目　津山つる	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	43	33	〔葉書〕	昭和39	盛夏		福岡県遠賀郡芦屋町芦屋基地被害対策組合	芦屋町粟屋区　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	43	34	〔葉書〕	昭和39	盛夏		福岡県遠賀郡芦屋町市場　中西五郎六	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	43	35	〔葉書〕	〔昭和39〕	盛夏		福岡県筑紫郡太宰府町北神苑吉村茶店	遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	43	36	〔葉書〕	昭和39	8	1	北九州市八幡区大蔵河内　石松恒芳	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	便りのお礼。国民宿舎完成の祝	葉書	1	
W	43	37	〔葉書〕	昭和39	盛夏		東京都千代田区神田紺屋町七番地株式会社菊本ニッポン服装社菊　本実	福岡県芦屋町芦屋粟屋　安高団兵衛	暑中見舞。商品案内	葉書	1	
W	43	38	〔葉書〕	昭和39	盛夏		北九州市八幡区中央町一丁目株式会社玄洋社々長　重岡重俊	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	43	39	〔葉書〕	〔昭和39〕			直方市上頓野出口　石橋良之	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞のお礼	葉書	1	
W	43	40	〔葉書〕	昭和39	盛夏		宗像町城ヶ谷九六号　安高繁治郎、美記代	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛、りきの	暑中見舞	葉書	1	
W	43	41	〔葉書〕	〔昭和39〕	8	3	西宮市満池谷町三三−　六秋山光民	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞。平素のお礼	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	43	42	〔葉書〕	〔昭和39〕	8	5	宗像町城ヶ谷九六号　安高繁治郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	お墓掃除の御願い。十三日には誰かが墓参の予定	葉書	1	
W	43	43	〔葉書〕	〔昭和39〕			北九州市若松区小竹　中山司	遠賀郡芦屋町大字粟屋安高団兵衛	六月十五日常陸丸殉難六十周年慰霊祭の報道拝見。源平合戦の研究について	葉書	1	
W	43	44	〔葉書〕	〔昭和39〕	盛夏		福岡県遠賀郡芦屋町幸町　入江勝	粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	43	45	〔葉書〕	〔昭和39〕	8	5	小金井市　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・りきの	御手紙のお礼。先月寮の人と伊豆にキャンプへ行った。東京はオリンピックの雰囲気が高まっている	絵葉書	1	東京オリンピックの絵葉書
W	43	46	〔葉書〕	〔昭和39〕			宇佐郡安心院町竜王　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	43	47	〔葉書〕	〔昭和39〕	8	7	正門町　岩崎天外	芦屋町粟屋　安高団兵衛	西瓜御恵投のお礼。前社会主事中山氏へ記念品料三万円御寄贈の御願	葉書	1	
W	43	48	〔葉書〕	昭和39	盛夏		福岡市東光町48番地高光産業株式会社会長　妹尾悦輔、社長妹尾キク	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	43	49	〔葉書〕	〔昭和39〕			東京都港区芝神谷町六　神谷莞爾	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	43	50	〔葉書〕	昭和39	8	5	筑紫郡春日町十九連隊三中隊安高秋生	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	43	51	〔葉書〕	〔昭和39〕			芦屋町幸町　安高幹雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞。千畳敷岩の絵葉書	絵葉書	1	
W	43	52	〔葉書〕	昭和39	盛夏		東京都港区青山南町六丁目五十番地　大庭勝一	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	43	53	〔葉書〕	〔昭和39〕	8	16	芦屋第一船頭町　池田ひさえ	遠賀郡芦屋あわ屋　安高団兵衛	亡父近太郎の新盆の御仏前のお礼	葉書	1	
W	43	54	〔葉書〕	昭和39	8	16	遠賀郡芦屋町山鹿元町法輪寺右田	芦屋町粟屋町　安高団平	当山紹章和尚の初盆会御仏参、御供物のお礼	葉書	1	
W	43	55	〔葉書〕	昭和39	8	15	遠賀郡芦屋町大城　小田稔之	町内粟屋　安高団兵衛	亡長女睦美の初盆会御仏参、御供物のお礼	葉書	1	
W	43	56	〔葉書〕	昭和39	8	15	遠賀郡芦屋町山鹿　富永寿	芦屋町粟屋　安高団兵衛	亡父弥門の初盆会御仏参、御供物のお礼	葉書	1	
W	43	57	〔葉書〕	昭和39	8	17	遠賀郡芦屋町大城　守田正義	芦屋町粟屋　安高団兵衛	亡母マサエの初盆会御仏参、御供物のお礼	葉書	1	
W	43	58	〔葉書〕	〔昭和39〕			芦屋　佐々木	安高	日本画展示即売会の案内	葉書	1	
W	43	59	〔葉書〕	昭和39	9	17	遠賀郡芦屋町浜口喪主　石川重則		亡母有田コト葬儀の御会葬、御香華のお礼	葉書	1	封筒あり、上書に「会葬御礼」とあり
W	43	60-1	〔葉書〕	昭和39	9	24	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋浜口喪主　石川重則ほか2名		亡母有田コト葬儀の御会葬、御供物御香華のお礼。御香典返しは芦屋町社会福祉協議会及浜口公民分館へ寄贈の御報告	葉書	1	封筒あり、安高団兵衛宛、W43-60-1～2一括
W	43	60-2	〔葉書〕	昭和39	9	24	芦屋町社会福祉協議会長中西森之助、芦屋町浜口公民分館		亡母有田コト殿葬儀御香典返しは芦屋町社会福祉協議会及浜口公民分館へ寄贈の御報告	葉書	1	
W	43	61	〔葉書〕	〔昭和39〕			遠賀郡岡垣町高倉神社々務所	遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛	秋季例大祭執行の御案内	葉書	1	
W	43	62	〔葉書〕	昭和39	9	15	喪主航空救難群司令町田久雄、基地代表芦屋基地司令草刈武男		航空事故で殉職した隊員の葬送式の弔辞、御香奠、御会葬のお礼	葉書	1	封筒あり、航空自衛隊芦屋教難分遣隊より安高団兵衛宛
W	43	63	〔葉書〕	〔昭和39〕	10	4	小金井市安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・外御一同	正義兄より式は八日と連絡あり、帰省の知らせ。結婚式場直行の可能性あり	葉書	1	
W	43	64	〔葉書〕	〔昭和39〕		13	福岡市半田拝	遠賀郡あしや町粟屋　安高団兵衛	十五日日帰りで参加、よろしく御願いする	葉書	1	
W	43	65	〔葉書〕	〔昭和39〕			福岡市浪人谷岡沢隣太郎	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	写真四枚とペン壱本送付のお礼	葉書	1	
W	43	66	〔封筒〕				福岡県遠賀郡水巻町大字頃末司法書士　松井賢治		封筒のみ、上書に「立石ハツエ氏権利証入」とあり	封筒	1	
W	43	67	〔葉書〕	〔昭和39〕	10	31	北九州市戸畑区弁入町一ノ六藤山円藏、佐々木妙子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	御機嫌伺、時候挨拶	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	43	68	〔葉書〕	昭和39	9		東京都中央区新川二丁目十二番地鹿島守之助後援会会長関野次郎	福岡県遠賀郡芦屋町芦屋　安高団兵衛・御家族御一同	鹿島守之助後援会御入会のお礼	葉書	1	
W	43	69	〔封筒〕	〔昭和39〕				遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	封筒のみ	封筒	1	
W	43	70	〔書簡〕	〔昭和39〕	1	1			明治神宮献詠会の件の相談、今月の詠単の件	便箋	1	封筒あり、半田より安高団兵衛宛
W	43	71	〔封筒〕	〔昭和39〕			明治神宮献詠会	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	封筒のみ、朱筆で（39.2.9来ル）とあり	封筒	1	
W	43	72	〔封筒〕	〔昭和39〕			明治神宮献詠会	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	封筒のみ、朱筆で（39.5.13来ル）とあり	封筒	1	
W	43	73	御案内	昭和39	7	3	岡湊神社敬神婦人会	安高団兵衛	昭和三十九年度総会開催の案内	紙	1	封筒あり、岡湊敬神婦人会より安高団兵衛宛
W	43	74	〔書簡〕	昭和39	7	4	安高秋生	安高団兵衛	手紙、写真のお礼。射撃大会終了	便箋	2	封筒あり、安高秋生より安高団兵衛宛
W	43	75	〔書簡〕	〔昭和39〕	7	22	酒井幸子	安高	和歌添削は、若葉会と桜楓会久留米支部長、当市国際ライオンズ婦人部会長の任にあるためお断り。四月二日の写真のお礼	便箋	3	封筒あり、酒井幸子より安高団兵衛宛
W	43	76	〔書簡〕	昭和39	7	24	藤枝秀之助・ゆき	安高団兵衛・御一同	朝日新聞天声人語の引用。静江よりの手紙の感想。御機嫌伺。静江への挿絵あり	便箋	3	封筒あり、藤枝秀之助より安高団兵衛宛
W	43	77	〔書簡〕	〔昭和39〕	7	24	（岡沢拝）	（安高団兵衛）	詠単のお礼。近況報告。金欠につき、中元の会費や年会費を立替を願う	便箋	2	封筒あり、岡沢より安高団兵衛宛
W	43	78-1	〔書簡〕	〔昭和39〕			初村	安高	昨日訪問のお礼。証明書送付	紙	1	封筒あり、立石ハツエより安高団兵衛宛、W43-78-1～2一括
W	43	78-2	〔封筒〕	昭和37	11	5	芦屋町公民館	安高団兵衛	封筒のみ。上書に「和歌大会費2000円、クルーフ助成金1000円受領」とあり	封筒	1	
W	43	79	〔書簡〕	〔昭和39〕	8	5	秋山光見	安高団兵衛	平素のお礼。母は石神井の光一の所にいる。今年始めに骨折したが回復。山鹿の土地の件は光材兄や光民と話し、現状のままにする	便箋	3	封筒あり、秋山光見より安高団兵衛宛
W	43	80	〔報告書〕	昭和39	7		岡湊神社祇園大祭山笠総委員長　本田菊郎ほか8名		子供山笠への御寄附御礼。寄附者一覧。ピンで一括	紙	4	封筒あり、岡湊神社々務所より安高団兵衛宛
W	43	81	〔書簡〕	〔昭和39〕	8	7	秋山光材	安高団兵衛	今夏の帰省見送り、来春帰省予定。法輪寺へ送金。七月末のおートの貯金や山鹿の家の管理について	便箋	5	封筒あり秋山光材より安高団兵衛宛
W	43	82	〔書簡〕	〔昭和39〕					暑中見舞。お産後の近況報告	便箋	2	封筒あり成田ユキ子より安高団兵衛、りきの宛
W	43	83-1	〔書簡〕	昭和39	8	6	保正	父上・母上	暑中見舞。東京は水不足で給水制限。先月会社で海に行った。西瓜、扇風機購入。公団住宅に申込	便箋	4	封筒あり、安高保正より安高団兵衛、りきの宛、W43-83-1～2一括
W	43	83-2	〔書簡〕	〔昭和39〕			禎子		暑中見舞。通勤や水不足のことなど近況報告	便箋	1	
W	43	84	〔封筒〕				芦屋町農業委員会	芦屋町大字芦屋字粟屋代理申請人　安高団兵衛	封筒のみ	封筒	2	封筒あり、安高団兵衛宛、もと登記書類在中ヵ、雑記あり
W	43	85	〔書簡〕	昭和39	8	18	保正・禎子	父上・母上	佃煮送付、東京は水不足	便箋	2	封筒あり、安高保正、禎子より安高団兵衛、りきの宛
W	43	86	〔書簡〕	〔昭和39〕	8	23	中村正広・美智子	叔父	叔母様との話で三十日上京と聞き、切符を入手したか尋ねる。もし入手出来なかったら二十八日に霧島号乗務につき、お出で下さい	便箋	2	封筒あり、中村正広より安高団兵衛宛
W	43	87-1	お届品承り票（地方発送）	昭和39	8	15	杉並区成宗2-840佐佐木方　安高保正	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	佃煮詰め合わせ送付の伝票	紙	1	封筒あり、大丸の封筒、W43-87-1～2一括

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	43	87-2	〔御案内〕	昭和39	8	18	株式会社大丸東京店輸送課		書留小包便にて送付の通知書	紙	1	
W	43	88-1	〔書簡	1964	6	25	お姉ちゃんより	澄夫君	お手紙、絵のお礼。勉強も遊びも大切なこと	便箋	2	封筒あり、安高静江より安高吉明、澄夫宛、W43-88-1～2一括
W	43	88-2	〔書簡〕	1964	6	25	お姉さんより	吉明君	期末考査の準備を察する。勉強も遊びもすること	便箋	1	
W	43	89-1	〔書簡〕	〔昭和〕39	8	29	誠	父上、母上	父、恵美子姉さん、達雄君からの芦屋の葉書拝見。正義兄の結婚式詳細お知らせ下さい。今月始め西田先生のお宅訪問、西武園を案内して頂いた。七月末に伊豆へ行った写真を同封	便箋	2	封筒あり、安高誠より安高団兵衛、りきの宛、W43-89-1～5一括
W	43	89-2	〔写真〕						男性3人の写真。裏に「伊豆半島、身体にオリーブ油をぬって泳いだので光っているのです」とあり	写真	1	
W	43	89-3	〔写真〕						男性4人の写真。裏に「伊豆小土肥」とあり、表の男性の姓名記載	写真	1	
W	43	89-4	〔写真〕						男性3人の写真。裏に「伊豆小土肥海岸」とあり	写真	1	
W	43	89-5	〔写真〕						男性3人の写真。裏に「伊豆洞ヶ島ニテ、真中岩に立ッテイルノガ私デス」とあり	写真	1	
W	43	90	〔書簡〕	〔昭和39〕			（半田拝）	（安高団兵衛）	「待ちわびし・・・」で始まる和歌	紙	1	封筒あり、半田より安高団兵衛宛
W	43	91	〔書簡〕	〔昭和39〕	9	1	藤枝秀之助・ゆき	安高団兵衛	昨日無事帰宅。保正、禎子を呼び土産話。静江様安着の知らせとお礼	便箋	1	封筒あり藤枝秀之助より安高団兵衛宛
W	43	92	〔書簡〕	昭和39	9	2	保正	父上	手紙、ラッキョウ受取。別府の要蔵さんの病状などの件。医師の診断書などの送付依頼。公団住宅当選	便箋	8	封筒あり、安高保正より安高団兵衛宛
W	43	93	〔書簡〕	昭和39	9	7	藤枝秀之助・ゆき	安高団兵衛	天候のこと。有意義な御言葉頂戴のお礼。静江様伊香保の合宿から帰宅お土産を頂いた。日曜日に保正様と夕食を共にし、誠様とも会う約束	便箋	4	封筒あり、藤枝秀之助より安高団兵衛宛
W	43	94	〔書簡〕	〔昭和39〕	9	8	正広・美智子	叔父・叔母	静江さんが発たれたこと。皆様留守中に弟と二人でお伺いしたこと。中々子供に恵まれないこと	便箋	2	封筒あり、中村正広より安高団兵衛宛
W	43	95	〔書簡〕	〔昭和39〕	9	9	幸治郎拝	御姉上	大分元気になり、時々帰れるように療養に専念	便箋	1	封筒あり、安高幸治郎より安高りきの宛
W	43	96	〔書簡〕	昭和39	9	13	保正	父上	永田要蔵氏に関する件。同封の母の写真受取。静江の日本女子大入寮のこと。禎子の姉出産前に九州へ旅行の予定。公団住宅入居手続きについて	便箋	3	封筒あり、安高保正より安高団兵衛宛
W	43	97	〔書簡〕	〔昭和39〕	9	15	静江	おじいちゃん・おばあちゃん	写真、手紙のお礼。正義の結婚式日取り決定について。先日誠と一緒に阿佐ヶ谷の藤枝宅へ行き保正夫婦らと夕食をとったこと。寮生活について	便箋	4	封筒あり、安高静江より安高団兵衛、りきの宛
W	43	98	〔封筒〕	〔昭和39〕			福岡市浪人谷　岡沢隣太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	封筒のみ	封筒	1	
W	43	99-1	〔御案内〕	昭和39	9	21	遠賀郡芦屋町立芦屋小学校長入江義政（朱印）	安高団兵衛	秋季大運動会の開催案内	紙	1	封筒あり、福岡県遠賀郡芦屋町立芦屋小学校より安高団兵衛宛、W43-99-1～2一括
W	43	99-2	御案内	昭和39	9	21	芦屋小学校		昭和三十九年度秋季大運動会次第	紙	1	
W	43	100	〔書簡〕	昭和39	9	30	遠賀郡芦屋町立芦屋小学校長入江義政（朱印）	安高団兵衛	秋季大運動会の御臨席のお礼。御芳志五百円のお礼	紙	1	封筒あり、福岡県遠賀郡芦屋町立芦屋小学校より安高団兵衛宛

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	43	101-1	〔書簡〕	〔昭和39〕	10	1	(半田拝)	(安高団兵衛)	外出先から一日に帰宅。詠単は出来たのだけ送る	便箋	1	封筒あり、半田より安高団兵衛宛、W43-101-1～2一括
W	43	101-2	〔和歌〕						「すみ渡る･･･」と「黄金波･･･」で始まる和歌	便箋	1	W43-101-1同折
W	43	102	不動産競売期日通知書	昭和39	5	22	福岡地方裁判所小倉支部裁判所書記官　山崎秀雄(朱印)	所有者	債権者株式会社正金相互銀行、債務者本田、久野、所有者安高幸治郎の不動産を芦屋町役場にて競売の通知	紙	1	封筒あり福岡地方裁判所小倉支部裁判所、小倉簡易裁判所より安高団兵衛宛
W	43	103	不動産競売期日通知書	昭和39	8	20	福岡地方裁判所小倉支部裁判所書記官　山崎秀雄(朱印)	所有者	債権者株式会社正金相互銀行、債務者本田、久野、所有者安高幸治郎の不動産を芦屋町役場にて競売の通知	紙	1	封筒あり福岡地方裁判所小倉支部裁判所より安高団兵衛宛
W	43	104	不動産競売期日通知書	昭和39	10	6	福岡地方裁判所小倉支部裁判所書記官　山崎秀雄(朱印)	所有者	債権者株式会社正金相互銀行、債務者本田、久野、所有者安高幸治郎の不動産を芦屋町役場にて競売の通知	紙	1	封筒あり福岡地方裁判所小倉支部裁判所より安高団兵衛宛
W	43	105	御案内	昭和39	10	吉日	勧進元東町青年会ほか32名		岡湊神社宮日大祭に際し奉納素人相撲大会挙行の案内	紙	1	封筒あり、勧進元芦屋町東町区青年会より安高団兵衛宛
W	44	1	〔葉書〕	昭和39	1	2	芦屋町　宮本武雄	芦屋局区内栗屋　安高団兵衛	喪中につき新年のご挨拶欠礼致します	葉書	1	
W	44	2	〔葉書〕	昭和38	12		福岡県遠賀郡岡垣町大字野間辻守荘	芦屋町栗屋　安高団兵衛	喪服中につき年末年始の御挨拶御遠慮申し上げます	葉書	1	
W	44	3	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	株式会社全味号	福岡県遠賀郡芦屋町栗屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	4	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	鮮魚･食料品･水仲買販売　塩田虎吉	遠賀郡芦屋町栗屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	5	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	北九州市八幡区本城西　小田万三郎	福岡県芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	6	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	大安工業株式会社　安高正義	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	7	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	遠賀村別府　永田要蔵	遠賀郡芦屋町栗屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	8	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	東京都港区芝神神谷町6　神谷完爾	福岡県遠賀郡芦屋町栗屋　安高団兵エ	年賀状	葉書	1	
W	44	10	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	芦屋町　久野知英	蘆屋町栗屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	10	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	渕上芳太郎	福岡県遠賀郡芦屋町栗屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	11	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	旅館九州	福岡県遠賀郡芦屋栗屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	12	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	東京都中野区上高田　河村たか	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	13	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	福岡市土手町20　小田十壮	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	14	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	北九州市八幡区折尾八幡町2高橋時計店	芦屋町栗屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	15	〔葉書〕	昭和39	1	1	市場町　北村志賀	福岡県遠賀郡芦屋町字栗屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	16	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	福岡県遠賀郡遠賀村広渡　重広新	芦屋町栗屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	17	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	芦屋町字柏原玉屋マリーナ　田中丸益一	福岡県遠賀郡芦屋町字栗屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	18	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	福岡県遠賀郡芦屋町町長　中西森之助	町内栗屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	19	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	北九州市小倉区香春口6丁目樋口宗利	遠賀郡芦屋大字芦屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	20	〔葉書〕	昭和39			福岡県園芸農業協同組合連合会　大庭善三郎	芦屋町芦屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	44	21	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	福岡県遠賀郡芦屋町町長　中西五郎六・ハナ	町内粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	22	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	福岡県遠賀郡遠賀村木守　溝辺好一	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	23	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	福岡県遠賀郡芦屋町　吉田呉服店	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	24	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	福岡県遠賀郡芦屋町山鹿　浜中耕三郎	町内粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	25	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	芦屋町中小路　和田友秀	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	26	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	芦屋町幸町　波田健三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	27	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	芦屋町金屋　有吉ミネ	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	28	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	福岡県遠賀郡芦屋町幸町　入江勝	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	29	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	赤間　立石初枝	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	30	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	基山町　岸金四郎	筑前国芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	31	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	福岡市外太宰府町北神苑　吉村茶店	遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋1205　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	32	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	重岡重俊	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	33	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	遠賀郡芦屋町金屋六組　江島義□	遠賀郡芦屋粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	34	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	畑辺半次郎	町内粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	35	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	芦屋町中之浜　矢野タケ	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	36	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	鶴原吉平	町内粟屋区　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	37	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	秋枝正助	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	38	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	遠賀郡芦屋町山鹿　波多野正敏ほか4名	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	39	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	北九州市八幡区折尾高尾通り1　洞海プリント	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	40	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	北九州市小倉区上の原町　牛島貞己	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	41	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	中間市大字下大隈　西マスミ・正幸	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	42	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	遠賀郡遠賀村別府　永田賀一	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	43	〔葉書〕	昭和39	1	1	岡垣町山田　友納美治	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	44	〔葉書〕	昭和39			矢の智	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	45	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	鳥栖市村田町　宇野得三	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	46	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	岡垣町元松原　広渡素一郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛・御一同	年賀状	葉書	1	
W	44	47	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	吉田嘉一	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	48	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	杉並区成宇 安高正義・禎子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・りきの	年賀状	葉書	1	
W	44	49	〔葉書〕	昭和38	12	23	遠賀郡芦屋町粟屋　田中初夫ほか2名	芦屋町粟屋　安高団兵衛	会葬御礼	葉書	1	
W	44	50	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	北九州市小倉区篠崎字朝倉安川電機小倉寮　土手康彦	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・皆々様	正月にお世話になったお礼	葉書	1	
W	44	51	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	天草郡大矢野町　坂口チエ子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	52	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	熊本市南高江町　成田ユキ子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・安高りきの	年賀状	葉書	1	
W	44	53	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	白石太基・美寿枝・智子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	44	54	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	若松玉浅川縄手社宅　柳原春子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	55	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	福岡市白金1　伊豆清・伊豆キヌエ	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・外御一同	年賀状	葉書	1	
W	44	56	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	福岡県遠賀郡芦屋町正門通り　本田菊郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	57	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	東京都港区青山南町6-50　大庭勝一	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	58	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	福岡市大字名島　桑原勇吉・桑原菊夫	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	59	〔葉書〕	昭和39	1	元旦	遠賀郡遠賀川駅前　宮崎サト	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	44	60	会葬御礼	昭和37	8	18	遠賀郡芦屋町粟屋　木原義美ほか4名		会葬御礼	葉書	1	封筒あり
W	44	61	会葬御礼	昭和39	3	13	遠賀郡芦屋町粟屋　加来多助ほか3名		会葬御礼	葉書	1	封筒あり
W	44	62	会葬御礼	昭和38	12	23	遠賀郡芦屋町粟屋　田中初夫ほか2名		会葬御礼	葉書	1	封筒あり
W	44	63	会葬御礼	〔昭和39〕	〔2〕	〔19〕	安高周平ほか5名		会葬御礼	封筒	1	封筒のみ、日付は団兵衛メモ
W	44	64	会葬御礼	昭和39	3	7	遠賀郡芦屋町幸町　早田房治ほか4名		会葬御礼	封筒	1	封筒あり
W	44	65	〔葉書〕		3	2	京都受験旅館連盟加盟旅館　丹波家	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高静江	宿泊御引受書	葉書	1	
W	44	66	〔葉書〕		憲法記念の日		筑前芦屋町　重岡重俊	芦屋町粟屋　安高藤吉	町議選ご援助の御礼	葉書	1	
W	44	67	〔葉書〕	〔昭和38〕	〔12〕	〔1〕	熊本市南高江町　成田ユキ子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋	結婚の報告ほか	葉書	1	日付は消印
W	44	68	〔葉書〕	〔昭和39〕	〔1〕	〔28〕	東京都練馬区中村町　秋山光材	福岡県遠賀郡(芦屋局区内)芦屋町粟屋　安高団兵衛	「いりこ」送付への御礼ほか近況報告	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	44	69	〔葉書〕	〔昭和39〕	〔1〕	〔27〕	芦屋町役場民生課福祉係	芦屋町粟屋　安高リキ	手帳更新のお知らせ	葉書	1	日付は消印
W	44	70	〔葉書〕		1	26	遠賀村　三原朝雄	郡内芦屋町山鹿　安高団兵衛	早春には色々とお世話になりお礼申し上げます	葉書	1	
W	44	71	〔葉書〕	〔昭和39〕	〔2〕	〔4〕	福岡市南大橋町　中村正広	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	新春のお見舞い状	葉書	1	日付は消印
W	44	72	〔葉書〕	〔昭和39〕	〔2〕	〔10〕	福岡市大字名島　桑原酒店	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	電話番号変更の御案内	葉書	1	日付は消印
W	44	73	〔葉書〕	〔昭和39〕	2	11	宗像町城ヶ谷　安高繁治郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	早川叔母の扶助料の件	葉書	1	年は団兵衛メモ
W	44	74	〔葉書〕	〔昭和39〕	2	21	北九州市八幡区本城大浦　香山満寿郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	山崎一夫宅の嫁の件	葉書	1	年は消印
W	44	75-1	〔葉書〕	昭和39	3	10	福岡県遠賀郡芦屋町幸町　早田房治	芦屋町粟屋　安高団兵衛	会葬御礼	葉書	1	封筒あり、75-1と75-2同封
W	44	75-2	〔葉書〕	昭和39	3	10	芦屋町社会福祉協議会長　中西森之助	芦屋町粟屋　安高団兵衛	会葬御礼	葉書	1	封筒あり、75-1と75-2同封
W	44	76	〔葉書〕	昭和39	3	16	喪主加来多助・芦屋町社会福祉協議会長中西森之助	芦屋町粟屋　安高団兵衛	会葬御礼	葉書	1	
W	44	77	〔葉書〕	〔昭和39〕	3	22	小金井市　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・りきの	帰着報告	葉書	1	年は消印
W	44	78	〔葉書〕	〔昭和39〕	〔3〕	30	久留米市櫛原町4丁目　酒井幸子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	帰省の知らせ	葉書	1	年月は消印
W	44	79	〔葉書〕	昭和39	3	31	北九州市若松区字小竹　中山司	芦屋町粟屋　安高団兵衛	退職の知らせ	葉書	1	
W	44	80	〔葉書〕	〔昭和39〕	4	6	久留米市櫛原町4丁目　酒井幸子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	帰省時へのお礼	葉書	1	年は消印
W	44	81	〔葉書〕	〔昭和39〕	〔4〕	〔13〕	福岡市南大橋町　中村正広・美智子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	お礼状	葉書	1	日付は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	44	82	〔葉書〕	昭和39	4		秋山光民	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	移転先新住所の知らせ	葉書	1	
W	44	83	〔葉書〕	〔昭和39〕	〔4〕	〔13〕	杉並区阿佐ヶ谷3-517藤枝秀之助様方　安高静江	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋1205　安高団兵衛・藤吉・千鶴子	無事東京着の知らせ	葉書	1	日付は消印
W	44	84	〔葉書〕	〔昭和39〕	〔4〕	〔16〕	岡垣町元松原　広渡一敬	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	孫の名付祝のお誘い	葉書	1	日付は消印
W	44	85	〔葉書〕	〔昭和39〕	〔5〕	2	古賀利起	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	3日の予定が15日に変更になったことの知らせ	葉書	1	年月は消印
W	44	86	〔葉書〕	〔昭和39〕	〔5〕	〔27〕	東京都千代田区衆議院第二議員会館　三原朝雄	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	開放農地問題の件	葉書	1	日付は消印
W	44	87	〔葉書〕	〔昭和39〕	6	13	東京都練馬区中村町　秋山光材	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	贈り物（わかめ）へのお礼	葉書	1	
W	44	88	〔葉書〕	〔昭和39〕	6	25	安高久米吉	粟屋　安高団兵衛	開花の知らせ	葉書	1	年は消印
W	44	89	〔葉書〕	昭和39	6	15	松本七郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
W	44	90-1	〔書簡〕		1	11	門司又一	安高	新年の挨拶と連絡	罫紙	1	封筒あり、90-1と90-2同封
W	44	90-2	〔請求書〕	昭和37	1	11	遠賀郡岡垣村吉木　門司薬局	粟屋　安高団兵衛	1、062円	紙	1	封筒あり、90-1と90-2同封
W	44	91	〔書簡〕		1	17	□		家族の様子など近況報告	罫紙	2	封筒あり、但し封筒差出人は「熊本県天草郡大矢野町中小瀬戸　片山アヤ子」とあり
W	44	92	〔書簡〕	昭和39	1	24	（筑紫郡春日町第十九普連第三中隊　安高）秋生	叔父様	二等陸士から一等陸士への昇進の知らせ	罫紙	2	封筒あり
W	44	93	〔書簡〕		1	24	秋山光材	安高団兵衛	いりこ、わかめなどの送付依頼	罫紙	3	封筒あり
W	44	94	〔封筒〕			29	福岡市西春町　半田	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	封筒のみ
W	44	95-1	趣意書	昭和38			参議院議員　米田正文後援会世話人一同		後援会入会のお誘いと加入者名簿	紙	5	封筒あり、95-1と95-2同封
W	44	95-2	〔趣意書〕				永島武雄	安高団兵衛	後援会入会のお願い	紙	1	封筒あり、95-1と95-2同封
W	44	96	〔書簡〕		2	27	秋山光材	安高団兵衛	法要に際し金2千円をお願い、ほかいりこのお礼など	罫紙	2	封筒あり
W	44	97	〔書簡〕		3	1	誠	父上・母上	転勤の知らせ	罫紙	2	封筒あり
W	44	98	〔書簡〕	昭和39	3	17	香山満寿郎	安高	役場勤務の方、如何でしょうか。ご意見をお伺いさせて下さい	罫紙	2	封筒あり
W	44	99	〔書簡〕		3	20	秋山光材	安高団兵衛	母の容体について	罫紙	3	封筒あり
W	44	100	〔書簡〕		3	26	正広・美智子	叔父・叔母	合格祝	罫紙	2	封筒あり
W	44	101	不動産競売期日通知書	昭和39	3	5	福岡地方裁判所小倉支部裁判所書記官　山崎秀雄	所有者・抵当権者	競売期日昭和39年4月1日	紙	1	封筒あり
W	44	102	不動産競売期日通知書	昭和39	4	7	福岡地方裁判所小倉支部裁判所書記官　山崎秀雄	所有者・抵当権者	競売期日昭和39年5月13日	紙	1	封筒あり
W	44	103-1	〔書簡〕		4	7	中村正広	叔父	普通急行の座席手配について	罫紙	3	封筒あり、103-1と103-2同封
W	44	103-2	〔書簡〕				福岡県立農業試験場農業経営部農業機械研究室　毛利雅彦	遠賀郡芦屋町粟屋　安高藤吉	農業用トラクターの利用調査について、貴家会場借上代支払いの件	罫紙	1	封筒あり、103-1と103-2同封
W	44	104	〔書簡〕	昭和39	4	21	藤枝秀之助・ゆき	安高団兵衛	静江さんの近況について	罫紙	5	封筒あり、静江氏の写真など7葉同封
W	44	105-1	〔書簡〕		4	22	静江	おじいちゃん・おばあちゃん	状況直後の近況報告	罫紙	3	封筒あり、105-1と105-2同封
W	44	105-2	〔書簡〕	昭和39	4	26	安高団兵衛	安高静江	祖父から孫への激励文	紙	1	封筒あり、105-1と105-2同封
W	44	106	〔書簡〕		4	28	幸治郎	御兄	お見舞いへのお礼状	罫紙	1	封筒あり
W	44	107	〔書簡〕		5	3	正広・美智子	叔父・叔父(ママ)	近況報告	罫紙	2	封筒あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	44	108	〔書簡〕	昭和39	5	7	東京都小金井市貫井北町5-663 安川電機小金井寮　誠	父上・母上	新住所の連絡と返金ほか	罫紙	3	封筒あり
W	44	109-1	〔書簡〕		5	11	孫の静江	大好きなおじいさま	東京では保正ちゃんや誠ちゃんに何やかやとお世話になっています	罫紙	2	封筒あり、109-1と109-2同封
W	44	109-2	〔書簡〕		5	11	しずえ	おばあちゃん	銭湯での様子	罫紙	2	封筒あり、109-1と109-2同封
W	44	110	〔書簡〕		6	3	田中丸	安高団兵衛	神武社御供養の節のスナップ写真送付について	罫紙	1	封筒あり、写真2葉同封
W	44	111	〔挨拶状〕	昭和39	5	27	第11回全日本吟詠大会大会副会長桜井信一ほか2名ほか役員一同		第11回全日本吟詠大会開催後のお礼	紙	1	封筒あり、印刷
W	44	112	〔書簡〕		6	2	瓜生ふさの	安高団兵衛	6月6日のお世話お願い致します	罫紙	1	封筒あり
W	44	113	〔書簡〕	昭和39	6	5	芦屋郵便局長		簡易保険満期の知らせ	罫紙	1	封筒あり、印刷
W	44	114	〔書簡〕		6	4	（福岡市西春町　半田とき）	（遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛）	詠草指導のお願い	罫紙	1	封筒あり
W	44	115	〔書簡〕		6	15	幸治郎	団兵衛兄	近況報告と留守中のお願いなど	罫紙	1	封筒あり
W	44	116	〔書簡〕		6	14	緒方	安高	幸次郎の容体について	罫紙	2	封筒あり、看護婦の写真1葉同封
W	44	117	〔書簡〕	1964	6	23	静江	おじいちゃん・おばあちゃん	東京からの近況報告	罫紙	3	封筒あり
W	44	118	〔書簡〕		6	27	正広・美智子	叔父	博多山笠見物のお誘い	罫紙	2	封筒あり
W	44	119	〔封筒〕				福岡県遠賀郡芦屋町役場	町内粟屋　安高団兵衛		封筒	1	封筒のみ
W	44	120	〔書簡〕				広島保人	安高	写真送付へのお礼状	罫紙	2	封筒あり
W	44	121-1	趣意書	昭和38			参議院議員　米田正文後援会世話人一同		後援会入会のお誘いと加入者名簿	紙	1	封筒あり、121-1と121-2同封、印刷
W	44	121-2	〔依頼状〕	昭和38	12		米田正文後援会幹事永島武雄・同沢村義道	安高団兵衛	会員勧誘のご依頼	紙	1	封筒あり、121-1と121-2同封、印刷
W	44	122	〔空封筒〕							封筒	8	封筒のみ
W	44	123	〔葉書〕							葉書	5	未使用
W	45	1	〔葉書〕	昭和40	1	1	東京都港区青山北　白石太基他	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	2	〔葉書〕	昭和40	1	1	北九州市戸畑区夜宮町　松本道子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	3	〔葉書〕	昭和40	1	1	東松浦郡相知町　高田千代次	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	4	〔葉書〕	昭和40	1	1	北九州市八幡東区黒崎西筒井通　前田勇	遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	5	〔葉書〕	昭和40	1	1	芦屋梅林組	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	6	〔葉書〕	昭和40	1	1	鳥栖市　宇野得三	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	7	〔葉書〕	昭和40	1	1	北九州市八幡区　田窪友博	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	8	〔葉書〕	昭和40	1	1	八幡区本城　小田万三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	9	〔葉書〕	昭和40	1	1	福岡市福海町　秋山光民	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	10	〔葉書〕	昭和40	1	1	福岡県遠賀郡芦屋町　森山武夫	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	11	〔葉書〕	昭和40	1	1	福岡県遠賀郡芦屋町　久野知英	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	12	〔葉書〕	昭和40	1	1	福岡県芦屋町教育長　松浦猛	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	13	〔葉書〕	昭和40	1	1	港区芝神谷町　山本佳子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	14	〔葉書〕	昭和40	1	1	稲築町鴨生東町　安高保人	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	15	〔葉書〕	昭和40	1	1	芦屋幸町　赤星歌子	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	16	〔葉書〕	昭和40	1	1	遠賀郡水巻町　矢野恵水	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	45	17	〔葉書〕	昭和40	1	1	中間市　島田マツノ	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	18	〔葉書〕	昭和40	1	1	岡垣町山田　友納美治	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	19	〔葉書〕	昭和40	1	1	東京都練馬区中村町　秋山光材孝子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　御一同	年賀状	葉書	1	
W	45	20	〔葉書〕	昭和40	1	1	福岡市呉服町　大橋喜一	福岡県芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	21	〔葉書〕	昭和40	1	1	衆議院議員　三原朝雄	芦屋町粟屋下組　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	22	〔葉書〕	昭和40	1	1	宗像郡宗像町　安高繁治郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	23	〔葉書〕	昭和40	1	1	安高幸次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	24	〔葉書〕	昭和40	1	1	遠賀郡遠賀町別府　永田賀一	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	25	〔葉書〕	昭和40	1	1	東京都中野区打越町　橘喜朔	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	26	〔葉書〕	昭和40	1	1	宗像郡福間町津丸　松尾豊	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	27	〔葉書〕	昭和40	1	1	杉並区成宗　安高保正　禎子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　リキノ	年賀状	葉書	1	
W	45	28	〔葉書〕	昭和40	1	1	鶴原造園　鶴原吉平　真一	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	29	〔葉書〕	昭和40	1	1	東京都世田谷区本町　鈴木康浩	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	30	〔葉書〕	昭和40	1	1	堺市家原寺尼鉄寮　安高忠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	31	〔葉書〕	昭和40	1	1	瓜生ふさの	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	32	〔葉書〕	昭和40	1	1	遠賀郡遠賀町広渡　重広新	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	33	〔葉書〕	昭和40	1	1	参議院議員　剣木亨弘	遠賀郡芦屋町山鹿　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	34	〔葉書〕	昭和40	1	1	若松区小竹　中山司	遠賀郡芦屋町山鹿　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	35	〔葉書〕	昭和40	1	1	福岡市名島　桑原勇吉　菊夫	遠賀郡芦屋町山鹿　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	36	〔葉書〕	昭和40	1	1	芦屋町市場　梅林忠春	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	37	〔葉書〕	昭和40	1	1	東京都杉並区善福寺　和栗博	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	38	〔葉書〕	昭和40	1	1	東京都文京区関口台町　菊本実	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	39	〔葉書〕	昭和40	1	1	小倉区到津新町　松村安馬	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	40	〔葉書〕	昭和40	1	1	立花商会　立花喜太郎	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	41	〔葉書〕	昭和40	1	1	遠賀郡農業協同組合　麻生治正	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	42	〔葉書〕	昭和40	1	1	福岡市南大橋町　中村正広	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	43	〔葉書〕	昭和40	1	1	芦屋町助役　熊野太郎	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	44	〔葉書〕	昭和40	1	1	遠賀郡水巻町頃末　渡辺正	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	45	〔葉書〕	昭和40	1	1	遠賀郡岡垣町吉木　広渡成男	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	46	〔葉書〕	昭和40	1	1	筑紫郡春日町第十九連三中隊安高秋生	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	47	〔葉書〕	昭和40	1	1	北九州市若松区二番町　津山つる	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	45	48	〔葉書〕	昭和40	1	1	北九州市戸畑区弁入町　藤山円蔵	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	49	〔葉書〕	昭和40	1	1	中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	50	〔葉書〕	昭和40	1	1	福岡市白金　伊豆清	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	51	〔葉書〕	昭和40	1	1	宗像町吉留　伊豆英夫	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	52	〔葉書〕	昭和40	1	1	芦屋幸町　安高幹雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	53	〔葉書〕	昭和40	1	1	東松浦郡肥前町　山田源太郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	54	〔葉書〕	昭和40	1	1	岡湊神社宮司　林田守治	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	55	〔葉書〕	昭和40	1	1	小倉区井堀町　塚原秀蔵　たよ子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	56	〔葉書〕	昭和40	1	1	遠賀郡芦屋町金屋　宮本武雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	57	〔葉書〕	昭和40	1	1	芦屋町山鹿浦　藤本春秋子	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	58	〔葉書〕	昭和40	1	1	遠賀郡遠賀町木守　溝辺好一	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	59	〔葉書〕	昭和40	1	1	熊本県上益城郡益城町　永田三郎　テツ	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　御一家	年賀状	葉書	1	
W	45	60	〔葉書〕	昭和40	1	1	鹿島守之助九州後援会	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	61	〔葉書〕	昭和40	1	1	東京都杉並区阿佐谷　藤枝秀之助　ゆき	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	62	〔葉書〕	昭和40	1	1	東京都港区青山南町　大庭勝一	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	63	〔葉書〕	昭和40	1	1	若松区小石　秋山実雄	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	64	〔葉書〕	昭和40	1	1	福岡市上若久町　畠中直次　ハツ子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの	年賀状	葉書	1	
W	45	65	〔葉書〕	昭和40	1	1	東京都小平市花小金井南町　西田広義	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	66	〔葉書〕	昭和40	1	1	江島美奈	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	67	〔葉書〕	昭和40	1	1	東京都練馬区下石神井　秋山光一	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	68	〔葉書〕	昭和40	1	1	内山昌亮	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	69	〔葉書〕	昭和40	1	1	荒巻きよ	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	70	〔葉書〕	昭和40	1	1	東京都杉並区荻窪　小松八代子	福岡県遠賀郡芦屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	71	〔葉書〕	昭和40	1	1	福岡市桑原　重松千策	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	72	〔葉書〕	昭和40	1	1	芳村圭助	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	73	〔葉書〕	昭和40	1	1	京都市左京区　森本政次郎	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	74	〔葉書〕	昭和40	1	1	高倉神社宮司波多野正敏他	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	75	〔葉書〕	昭和40	1	1	八幡区本城　香山満寿郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	76	〔葉書〕	昭和40	1	1	遠賀郡遠賀町若松　小野藤右衛門	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	77	〔葉書〕	昭和40	1	1	小金井市　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　御一同	年賀状	葉書	1	
W	45	78	〔葉書〕	昭和40	1	1	明治神宮研修寮　はやしだもりくに	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	79	〔葉書〕	昭和40	1	1	芦屋町中小路　黒山高麿	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	45	80	〔葉書〕	昭和40	1	1	航空自衛隊芦屋基地基地指令 草刈武男他	芦屋町大城　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	81	〔葉書〕	昭和40	1	1	鬼津　太田秀夫	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	82	〔葉書〕	昭和40	1	1	芦屋幸町　波田健三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	83	〔葉書〕	昭和40	1	1	芦屋町山鹿　浜中耕三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	84	〔葉書〕	昭和40	1	1	伊丹市行基町　兼松喜太郎	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	85	〔葉書〕	昭和40	1	1	渕上房太郎	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	86	〔葉書〕	昭和40	1	1	守田ヨシ	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	87	〔葉書〕	昭和40	1	1	芦屋町山鹿　三村俊蔵	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	88	〔葉書〕	昭和40	1	1	北九州市若松区藤木唐戸　藤吉仁太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	89	〔葉書〕	昭和40	1	1	鹿島守之助九州後援会	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	90	〔葉書〕	昭和40	1	1	芦屋町山鹿　瀬井明生　満智子	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	91	〔葉書〕	昭和40	1	1	立花商会　立花喜太郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	92	〔葉書〕	昭和40	1	1	竹田与八郎	遠賀郡芦屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	93	〔葉書〕	昭和40	1	1	芦屋町山鹿　浜中茂足　桂子	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	94	〔葉書〕	昭和40	1	1	北九州市若松区原町　吉浦英信	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	95	〔葉書〕	昭和40	1	1	府中市武蔵台　松尾平槌　文子	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	96	〔葉書〕	昭和40	1	1	芦屋町　坂田熊一	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	97	〔葉書〕	昭和40	1	1	吉田呉服店　吉田達雄	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	98	〔葉書〕	昭和40	1	1	岡垣町元松原　広渡一敬	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	99	〔葉書〕	昭和40	1	1	芦屋町役場産業観光課長　波多野正敏	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	100	〔葉書〕	昭和40	1	1	東京都港区芝神谷町　神谷莞爾	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	101	〔葉書〕	昭和40	1	1	北九州市八幡区大蔵河内　石松恒芳　周　昌子他	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	102	〔葉書〕	昭和40	1	1	宗像郡玄海町　永島伝三郎	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	103	〔葉書〕	昭和40	1	1	瀬戸正広　セト薬局	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	104	〔葉書〕	昭和40	1	1	山本眼科　山本脩一郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	105	〔葉書〕	昭和40	1	1	芦屋町　吉永光雄	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	106	〔葉書〕	昭和40	1	1	桑田喜次郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	107	〔葉書〕	昭和40	1	1	芦屋町山鹿三軒屋　岩崎誉□	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	差出人名破損
W	45	108	〔通信事務〕	昭和39	12	18	杉並郵便局	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	藤枝秀之助住居表示制度実施通知	葉書	1	
W	45	109	〔葉書〕	昭和39	12	23	東京都練馬区中村町　秋山光材	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	先賢顕彰会、法論会会費納入依頼	葉書	1	
W	45	110	〔葉書〕	昭和39	12	25	平戸市岩の上町　山鹿光世	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	喪中につき年賀欠礼	葉書	1	
W	45	111	〔葉書〕	昭和36	12	17	久留米市櫛原町　酒井幸子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	息子結構写真送付の礼と近況	葉書	1	
W	45	112	〔葉書〕	昭和36	12	3	中間市大辻町　島田マツノ	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	写真送付への礼	葉書	1	
W	45	113	〔葉書〕	昭和36	12	13	岡湊神社宮司　林田守治	粟屋　安高団兵衛	新嘗祭執行通知	葉書	1	
W	45	114	〔葉書〕	昭和40	1	1	久留米市櫛原町　酒井善左衛門幸子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状、近況	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	45	115	〔葉書〕	昭和40	1	1	大分県南海部郡米水津村　佐脇弥十　千代	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　リキノ	年賀状	葉書	1	
W	45	116	〔葉書〕	昭和40	1	1	九州女子大学　石橋つもる	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	117	〔葉書〕	昭和40	1	1	株式会社全味号　社長大庭増次	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	118	〔葉書〕	昭和40	1	1	高光産業株式会社　会長妹尾悦輔他	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	119	〔葉書〕	昭和40	1	1	芦屋町山鹿歴木　中西勇雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	120	〔葉書〕	昭和40	1	1	中西五郎六	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	121	〔葉書〕	昭和40	1	1	芦屋町役場　和田友秀	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	122	〔葉書〕	昭和40	1	1	安部商会	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	123	〔葉書〕	昭和40	1	1	高橋時計店　高橋清一	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	124	〔葉書〕	昭和40	1	1	吉田徳蔵	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	125	〔葉書〕	昭和40	1	1	東亜工業株式会社　社長樋口宗利	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	126	〔葉書〕	昭和40	1	1	大本山九州成田不動尊建立奉賛会理事長　辻守荘	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	127	〔葉書〕	昭和40	1	1	平戸市岩の上町　山鹿光世	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	128	〔葉書〕	昭和40	1	1	福岡市浪人谷　岡沢麟太郎	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛　外会員一同	年賀状	葉書	1	
W	45	129	〔葉書〕	昭和40	1	1	福岡県第一信用組合　理事長長崎秀雄	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	130	〔葉書〕	昭和40	1	1	福岡県園芸農業協同組合連合会　大庭善三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	131	〔葉書〕	昭和40	1	1	小倉区京町　秋枝正助	遠賀郡芦屋町山鹿　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	132	〔葉書〕	昭和40	1	1	塩田虎吉	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	133	〔葉書〕	昭和40	1	1	芦屋町正門通り　本田菊郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	134	〔葉書〕	昭和40	1	1	大分県日田市　権藤熊彦	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	135	〔葉書〕	昭和40	1	1	米田正文	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛　りきの	年賀状	葉書	1	
W	45	136	〔葉書〕	昭和40	1	1	遠賀町駅前　宮崎サト	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	137	〔葉書〕	昭和40	1	1	筑紫郡春日原東町　津田為次	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	138	〔葉書〕	昭和40	1	1	佐世保市旅館丸見荘	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	139	〔葉書〕	昭和40	1	1	大安工業株式会社　代表取締役安高正義	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	140	〔葉書〕	昭和40	1	1	伊東市松原区　秋山光見	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	141	〔葉書〕	昭和40	1	1	芦屋町幸町　入江勝	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	142	〔葉書〕	昭和40	1	1	福岡県東京事務所　吉川秀	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	143	〔葉書〕	昭和40	1	1	鹿島守之助九州後援会	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	144	〔葉書〕	昭和40	1	1	参議院議員　野知浩之	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	145	〔葉書〕	昭和40	1	1	佐賀県基山町　岸重四郎	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	146	〔葉書〕	昭和40	1	1	直方市津田町　椛田清太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	147	〔葉書〕	昭和40	1	1	渡辺新平	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	45	148	〔葉書〕	昭和40	1	1	畑辺半次郎	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	149	〔葉書〕	昭和40	1	1	○久本店　長野久一郎	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	150	〔葉書〕	昭和40	1	1	徳信工芸社　徳永勝一	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	151	〔葉書〕	昭和40	1	1	株式会社玄洋社　重岡重俊	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	152	〔葉書〕	昭和40	1	1	宮川鮮魚店　宮川博善	粟屋　安高団兵衛　リキノ	年賀状	葉書	1	
W	45	153	〔葉書〕	昭和40	1	1	折尾駅前旭遊技場　小田藤男	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	154	〔葉書〕	昭和40	1	1	旅館喜楽外従業員一同	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	155	〔葉書〕	昭和40	1	1	吉田二郎	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	156	〔葉書〕	昭和40	1	1	芦屋町中之浜　矢野政勝　久子　タケ	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	157	〔招待状〕	昭和39	12		広渡一敬　水島秀夫		結婚披露宴招待	紙	1	封筒あり
W	45	158	〔葉書〕				安高団兵衛	明治神宮献詠会	短歌一首	葉書	1	157に同封
W	45	159	〔書簡〕	昭和40	1		福岡県農政部次長　島上正三	遠賀郡芦屋町あたか農園　安高団兵衛	新任挨拶	紙	1	封筒あり
W	45	160	〔書簡〕	昭和40	1		東京都品川区西中延　広渡博誠子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	結婚挨拶	紙	1	封筒あり
W	45	161	〔書簡〕	昭和40	2		草刈武男　上田泰弘	芦屋町粟屋芦屋町父兄会　安高団兵衛	芦屋基地司令転出、新任挨拶	紙	1	封筒あり
W	45	162	〔書簡〕	昭和40	4		農林漁業金融公庫　和栗博	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	理事就任挨拶	紙	1	封筒あり
W	45	163	〔書簡〕	昭和40	1	1	Hirowatari	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	カード	1	封筒あり
W	45	164	〔葉書〕	昭和40	2	18	八幡区清納町　安高励子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	両親が世話になった礼	葉書	1	日付は消印
W	45	165	〔書簡〕	昭和40	1	1	Michiko Takeda VANCOUVER（カナダ）	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀と転居連絡	カード	1	
W	45	166	〔葉書〕	昭和39	12	5	東京都練馬区中村町　秋山光材	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	法輪会補助金払込み依頼	葉書	1	
W	45	167	大本山九州成田不動尊奉迎式御案内	昭和39	12	10	大本山九州成田不動尊建立奉賛会	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛		葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	45	168	〔葉書〕	昭和40	1	3	タマヤ・マリーナ　田中丸益一	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	日付は消印
W	45	169	〔葉書〕	昭和40	1	4	芦屋町祇園崎　東村場朋	芦屋町粟屋　安高団兵衛	新年挨拶	葉書	1	
W	45	170	〔葉書〕	昭和40	1	6	北九州市戸畑区東本町　佐々木旭昉	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	45	171	〔葉書〕	昭和40	1	1	直方市上頓野　石橋良之	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	172	〔葉書〕	昭和40	1	1	平山流舞鶴吟詠会本部　高群花子	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	173	〔葉書〕	昭和40	1	1	久野知美	芦屋町大城　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	174	〔葉書〕	昭和40	1	1	白石芳子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高萬兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	175	〔葉書〕	昭和40	3	2	亀屋	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	最中発送通知	葉書	1	
W	45	176	〔葉書〕	昭和40	2	27	芦屋給油所　長野シケ	芦屋町粟屋　安高団兵衛	開業通知	葉書	1	
W	45	177	〔葉書〕	昭和40	2		鹿島守之助九州後援会	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	寒中見舞	葉書	1	
W	45	178	〔葉書〕	昭和40	1	30	岡垣町吉木　広渡梅子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	写真送付への礼	葉書	1	日付は消印
W	45	179	〔葉書〕	昭和40	2		鹿島守之助九州後援会	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　リキノ　外御一同	寒中見舞	葉書	1	
W	45	180	〔葉書〕	昭和40	1	24	北九州市戸畑区弁入町　藤山円蔵	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況伺い	葉書	1	
W	45	181	〔葉書〕	昭和40	1	15	東京都新宿区下落合　原田登喜江	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	賀状への礼	葉書	1	日付は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	45	182	〔葉書〕	昭和40	1	10	北九州市八幡区　藤崎正次郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀と転居通知	葉書	1	日付は消印
W	45	183	〔葉書〕	昭和40	1	8	大分県竹田市　工藤二男	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀と父親病気報告	葉書	1	日付は消印
W	45	184	〔葉書〕	昭和40	1	1	芦屋町長　中西森之助	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	185	〔葉書〕	昭和40	1	18	遠賀郡水巻町　川上祥登	遠賀郡芦屋町粟屋　安高誠　御家族	東筑会同窓会名簿作成通知	葉書	1	
W	45	186	〔葉書〕	昭和40	1	7	水巻町　小田藤男　久子	芦屋町粟屋　安高団兵衛	賀状への礼	葉書	1	日付は消印
W	45	187	〔葉書〕	昭和40	1	6	東京都港区芝神谷町　山本武	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀挨拶	葉書	1	日付は消印
W	45	188	〔葉書〕	昭和40	1	1	北九州市小倉区日明　牛島貞己恵美子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛リキノ	年賀挨拶	葉書	1	
W	45	189	〔葉書〕	昭和40	1	5	岡垣町元松原　広渡素一郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀挨拶と近況	葉書	1	日付は消印
W	45	190	〔葉書〕	昭和40	1	1	中間市下大隈　西マスミ　正幸	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	191	〔葉書〕	昭和40	1	1	東京都府中市紅葉ヶ丘　須知正和	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	192	〔葉書〕	昭和40	1	1	宮本武雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	45	193	〔葉書〕	昭和40	2	27	泉屋旅館　村上ヤスエ	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛　奥様	近況伺い	葉書	1	
W	45	194	〔葉書〕	昭和40	3	5	上益城郡益城町　永田三郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	写真送付への礼と病状伺い	葉書	1	日付は消印
W	45	195	〔葉書〕	昭和40	3	5	市場　長野シケ	芦屋町粟屋　安高団兵衛	開店の祝儀に対する礼	葉書	1	
W	45	196	〔葉書〕	昭和40	2		航空自衛隊術科教育本部　町田忠次郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	着任挨拶	葉書	1	
W	45	197	〔葉書〕	昭和40	2	14	北九州市戸畑区弁入町　藤山円蔵　佐々木妙子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況伺い	葉書	1	
W	45	198	〔葉書〕	昭和40	3	11	八幡区清納町　安高励子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況伺い	葉書	1	
W	45	199	〔葉書〕	昭和40	4	1	福岡市　半田	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	詠草送付の礼と近況伺い	葉書	1	
W	45	200	〔葉書〕	昭和40	3	31	東京都杉並区阿佐谷　藤枝秀身	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	写真送付への礼	葉書	1	
W	45	201	〔葉書〕	昭和40	4	4	伊東市松原区　秋山光見	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	いりこ送付への礼と母親の近況	葉書	1	
W	45	202	〔葉書〕	昭和40	2		鹿島守之助　平泉渉	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	平泉渉専務取締役就任挨拶	葉書	1	
W	45	203	〔葉書〕	昭和40	4	10	小金井市　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　藤吉	蜂蜜の礼と帰郷予定連絡	葉書	1	
W	45	204	〔書簡下書〕						母親死亡に対する悔やみ、いりこ送付連絡、書簡写し同封	紙	1	
W	45	205	〔書簡写か〕						バイク事故報告他	紙	1	
W	45	206	〔葉書〕	昭和40	3	28	伊東市松原区　秋山光見	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	怪我見舞他	葉書	1	
W	45	207	会葬御礼	昭和40	5	8	木原国弘他		亡父葬儀会葬礼状	紙	1	封筒あり
W	45	208	〔葉書〕	昭和40	4	6	恵美子	芦屋町粟屋　安高りきの	達雄旅行同行への礼、瓜種子を分けること	葉書	1	
W	45	209	〔葉書〕	昭和40	4		防衛施設庁施設部施設対策課　河合俊彦	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	着任挨拶	葉書	1	
W	45	210	〔葉書〕	昭和40	5	5	小金井市安川電機小金井寮　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　藤吉	着京連絡	葉書	1	
W	45	211	〔会葬礼状、香典返報告〕	昭和40	5	21	藤江恒雄、芦屋町福祉協議会長　中西森之助他	粟屋　安高団兵衛		紙	1	封筒あり
W	45	212	〔葉書〕	昭和40	5	1	平泉渉後援会	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	後援会入会への礼状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	45	213	〔葉書〕	昭和40	5	6	伊東市松原区　秋山光見	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	わかめ、ひじき受け取り連絡	葉書	1	
W	45	214	〔封筒〕				藤江恒雄他		会葬御礼	封筒	1	封筒のみ
W	45	215	〔葉書〕	昭和40	5	19	折尾運転者協会	芦屋町芦屋粟屋　安高団兵衛	免許証更新期限通知	葉書	1	
W	45	216	〔葉書〕	昭和40	5	23	平泉渉後援会	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	後援会入会への礼状	葉書	1	日付は消印
W	45	217	〔葉書〕	昭和40	5	12	遠賀町鬼津　太田秀夫	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	母八十一賀への記念へ礼	葉書	1	
W	45	218	〔葉書〕	昭和40	6	7	平泉渉後援会事務局長伊坂隆衛	福岡県遠賀郡芦屋町芦屋　安高団兵衛	事務局長就任挨拶	葉書	1	日付は消印
W	45	219	〔葉書〕	昭和40	6	11	剣木亨弘後援会	芦屋町粟屋　安高団兵衛	剣木事務所開所通知	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	45	220	〔葉書〕	昭和40	6	16	北九州市戸畑区弁入町　藤山円蔵　佐々木妙子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	常陸丸殉難勇士六十一年祭のこと	葉書	1	
W	45	221	会葬御礼	昭和40	6	28	堀江吉一他		亡父葬儀会葬礼状	紙	1	封筒あり
W	45	222	〔葉書〕	昭和40	7	2	山鹿　畑野善亮	粟屋　安高団兵衛	場所変更通知	葉書	1	
W	45	223	〔葉書〕	昭和40	6	4	平泉渉後援会	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	後援会入会への礼状	葉書	1	日付は消印
W	45	224	〔葉書〕	昭和40	6	20	伊東市松原区　秋山光見	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	菓子贈答連絡	葉書	1	
W	45	225	〔葉書〕	昭和40	5	3	伊東市松原区　秋山光見	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	海藻送付への礼と代金支払い方法について	葉書	1	
W	45	226	〔葉書〕	昭和40	6	28	芦屋町浜口　堀春枝	芦屋町粟屋　安高団兵衛	息子の見合いについて	葉書	1	日付は消印
W	45	227	〔葉書〕	昭和40	7	18	泉屋旅館　村上ヤスエ	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	45	228	〔葉書〕	昭和40	7	20	八幡区清納町　安高励子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高藤吉姉上	冷蔵庫購入報告	葉書	1	日付は消印
W	45	229	〔葉書〕	昭和40	7	20	芦屋町中小路　吉田徳蔵	粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	45	230	〔葉書〕	昭和40	7	20	北九州市小倉区　塚原秀文	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	45	231	〔葉書〕	昭和40	7	20	春日町十九連三中隊　安高秋生	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	45	232	〔葉書〕	昭和40	7	20	参議院議員　野知浩之	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	45	233	〔葉書〕	昭和40	7	20	立花商会　立花喜太郎	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	45	234	〔葉書〕	昭和40	7	22	福岡市名島　桑原勇吉	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	45	235	〔葉書〕	昭和40	7	25	高光産業株式会社　会長妹尾悦輔他	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	45	236	〔葉書〕	昭和40	7	23	東京都練馬区下石神井　秋山光一	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	45	237	〔葉書〕	昭和40	7	25	久留米市櫛原町　酒井善左衛門	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	45	238	〔葉書〕	昭和40	7	26	北九州市戸畑区弁入町　藤山円蔵　サト子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	45	239	〔葉書〕	昭和40	7	27	芦屋町芦屋東町　福原勇	粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	45	240	〔葉書〕	昭和40	7	28	北九州市若松区二番町　津山つる	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	45	241	〔葉書〕	昭和40	7	30	東京都新宿区四谷　陣場正輝	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	45	242	〔葉書〕	昭和40	8	1	幸町十五組　入江勝	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	45	243	〔葉書〕	昭和40	7	30	筑紫郡春日原東町　津田為次	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	45	244	〔葉書〕	昭和40	7	31	衆議院議員　三原朝雄	芦屋町粟屋下組　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	45	245	〔葉書〕	昭和40	7	30	北九州市八幡区神原町　上田寅吉	遠賀郡芦屋町大城　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	45	246	〔葉書〕	昭和40	8	1	平戸市岩の上町　山鹿光世	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	45	247	〔葉書〕	昭和40	8	10	芦屋町市場　中西五郎六	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	45	248	〔葉書〕	昭和40	8	5	株式会社玄洋社　重岡重俊	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	45	249	〔葉書〕	昭和40	8	3	益城町　永田三郎　テツ	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	45	250	〔葉書〕	昭和40	8	2	福岡市大名　小田十壮	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	45	251	〔葉書〕	昭和40	8	4	八幡区河内　石松恒芳	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	45	252	〔葉書〕	昭和40	8	7	福岡市南大橋　中村正広　美智子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	45	253	〔葉書〕	昭和40	8	9	タクボ歯科　田窪友博	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	45	254	〔葉書〕	昭和40	8	8	遠賀郡遠賀町広渡　重広新	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	45	255	〔葉書〕	昭和40	8	8	大分市明治横尾　小野寛平	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	45	256	〔葉書〕	昭和40	8	8	八幡区南陳山町　梅崎善雄	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	残暑見舞	葉書	1	日付は消印
W	45	257	〔葉書〕	昭和40	8	8	熊本県阿蘇郡阿蘇町　小島頼男	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況報告	葉書	1	日付は消印
W	45	258	〔葉書〕	昭和40	8	10	中間市大辻町　島田マツ	遠賀郡芦屋町粟屋あたか農園　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	45	259	〔葉書〕	昭和40	8	11	北九州市八幡区清田町　安武タマ	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋あたか農園　安高団兵衛	暑中見舞の礼と近況	葉書	1	日付は消印
W	45	260	〔葉書〕	昭和40	8	10	伊東市松原区　秋山光見	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	プロツク増設と天満宮初穂料のこと	葉書	1	日付は消印
W	45	261	〔葉書〕	昭和40	8	12	福岡市福海町　秋山光民	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	残暑見舞	葉書	1	日付は消印
W	45	262	〔葉書〕	昭和40	8	10	東京都文京区関口台町　菊本実	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛	残暑見舞	葉書	1	
W	45	263	〔葉書〕	昭和40	8	13	水巻町杁　小田藤徳	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	45	264	〔葉書〕	昭和40	8	15	東京都港区芝神谷町　神谷莞爾	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況	葉書	1	
W	45	265	〔葉書〕	昭和40	8	21	株式会社全味号　社長大庭増次	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋あたか農園　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	日付は消印
W	45	266	〔葉書〕	昭和40	8	16	法輪寺　右田幸代	粟屋　安高団兵衛	初盆仏参礼状	葉書	1	
W	45	267	〔葉書〕	昭和40	8	24	東京都文京区関口台町　菊本実	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛	土産の礼	絵葉書	1	日付は消印
W	45	268	〔葉書〕	昭和40	8	27	俵山温泉　吉田徳蔵	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	静養の近況	葉書	1	
W	45	269	〔葉書〕	昭和40	8	27	北九州市戸畑区弁入町　藤山円蔵　佐々木妙子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況伺い	葉書	1	
W	45	270	〔葉書〕	昭和40	9	3	杉並区阿佐ヶ谷北　藤枝秀之助	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	荷物受け取り連絡	葉書	1	
W	45	271	〔葉書〕	昭和40	9	5	小金井市　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの	近況報告	葉書	1	
W	45	272	〔葉書〕	昭和40	9	7	正門町　岩崎天外	芦屋町粟屋　安高団兵衛	画が完成したので受け取りに来て欲しい	葉書	1	
W	45	273	〔葉書〕	昭和40	9	15	福岡県東京事務所　吉川秀子	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	岡垣町町長に関する問い合わせ	葉書	1	返信写しあり
W	45	274	〔葉書〕	昭和40	9	20	福岡県東京事務所　吉川秀子	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	九州旅行の予定	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	45	275	〔葉書〕	昭和40	9	28	宗像郡宗像町　安高繁治郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	本田と会った事の報告	葉書	1	日付は消印
W	45	276	〔葉書〕	昭和40	5	8	宗教研究会並供養会　示誠日雄善子	神武天皇社奉賛会発起者　安高団兵衛	町長との面談要請	葉書	1	
W	45	277	〔葉書〕	昭和40	5	17	中小路区　古賀恵啓	粟屋　安高団兵衛	僧侶修行のための費用無心	葉書	1	古賀恵啓は示誠日雄と同一人物
W	45	278	〔葉書〕	昭和40	5	22	宗教研究会並供養会　示誠日雄善子	神武天皇社奉賛会発起者　安高団兵衛	奉賛会総裁黒田への連絡要請	葉書	1	
W	45	279	〔葉書〕	昭和40	10	19	中小路区　古賀恵啓	神武天皇社奉賛会発起者　安高団兵衛	岡湊神社の事件について	葉書	1	
W	45	280	〔葉書〕	昭和40	6	10	宗教研究会並供養会　示誠日雄善子	神武天皇社奉賛会発起者　安高団兵衛	御神霊の大精神のこと	葉書	1	
W	45	281	〔葉書〕	昭和40	10	5	古賀恵啓	神武天皇社奉賛会発起者先賢顕彰会副会長　安高団兵衛	金の無心	葉書	1	
W	45	282	〔葉書〕	昭和40	10	11	古賀恵啓	神武天皇社奉賛会発起者　安高団兵衛	町会議長宅に糞水をばらまくこと	葉書	1	日付は消印
W	45	283	〔葉書〕	昭和40	9	15	吉田徳蔵	粟屋　安高団兵衛	相撲の写真送付への礼	葉書	1	
W	45	284	〔葉書〕	昭和40	10	12	岡垣町吉木門司方　本田しゆう	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団平	蜂蜜の礼	葉書	1	日付は消印
W	45	285	〔葉書〕	昭和40	10	5	岡垣町元松原　広渡一敬	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	高倉神社祭礼案内	葉書	1	日付は消印
W	45	286	〔葉書〕	昭和40	10	9	福岡市南大橋　中村正広　美智子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況伺い	葉書	1	
W	45	287	〔葉書〕	昭和40	10	13	八幡区清納町　安高励子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	ご馳走への礼	葉書	1	日付は消印
W	45	288	〔葉書〕	昭和40	10	22	北九州市戸畑区弁入町　藤山円蔵	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	壱岐、対馬旅行の予定	葉書	1	
W	45	289	〔葉書〕	昭和40	10	11	福岡県東京事務所　吉川秀	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	九州旅行の礼と帰京報告	葉書	1	日付は消印
W	45	290	〔葉書〕	昭和40	10	19	福岡県東京事務所　吉川秀子	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	写真送付への礼	葉書	1	
W	45	291	〔葉書〕	昭和40	10	4	福岡県農地解放者同盟遠賀支部長　大貝五十三	芦屋町　安高団兵衛	支部総決起大会案内	葉書	1	日付は消印
W	45	292	通信事務	昭和40	10		熊本郵政局	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	郵便局利用アンケート協力依頼	葉書	1	回答書き込みあり
W	45	293	〔葉書〕	昭和40	10	27	古賀恵啓	神武天皇社奉賛会発起者　安高団兵衛	御神霊に対すること	葉書	1	
W	45	294	〔葉書〕	昭和40	10	15	高倉神社社務所	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	秋季例大祭無事終了礼状	葉書	1	
W	45	295	〔葉書〕	昭和40	10	26	八幡区南陳山町　梅崎善雄	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	藤崎の住所について判明せず	葉書	1	日付は消印
W	45	296	〔葉書〕	昭和40	11	15	元日蓮宗芦屋教会古賀恵啓事示誠	神武天皇社奉賛会発起者先賢顕彰会副会長　安高団兵衛	御神霊の大精神顕現のこと	葉書	1	
W	45	297	〔葉書〕	昭和40	11	2	東京都練馬区中村町　秋山光材	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	住居修理依頼他	葉書	1	日付は消印
W	45	298	〔葉書〕	昭和40	12	10	大本山九州成田不動尊建立奉賛会	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	本山より貫主来山通知	葉書	1	
W	45	299	〔葉書〕	昭和40	12		山本脩一郎他	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	喪中につき年賀欠礼	葉書	1	
W	45	300	〔葉書〕	昭和40	12	9	八幡区清納町　安高励子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高リキノ	心当たりを捜してみるということ	葉書	1	日付は消印
W	45	301	〔葉書〕	昭和40	12	3	東京都練馬区中村町　秋山光材	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	法輪会補助金払込み依頼	葉書	1	
W	45	302	〔葉書〕	昭和40	11	29	中村正広	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	静江帰郷予定の問い合わせ	葉書	1	日付は消印
W	45	303	〔葉書〕	昭和40	12		瀬戸正広　峰子	芦屋町粟屋　安高団兵衛	喪中につき年賀欠礼	葉書	1	
W	45	304	〔葉書〕	昭和40	12	1	福岡市西春町　半田とき	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	写真送付への礼	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	45	305	〔葉書〕	昭和40	12	3	中間市大辻町　島田マツノ	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	写真送付への礼	葉書	1	日付は消印
W	45	306	通信事務	昭和40	12	4	芦屋郵便局	福岡県遠賀郡粟屋　安高団兵衛	住居番号変更通知	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	45	307	会葬御礼	昭和40	11	23	本田英他			封筒	1	封筒のみ
W	45	308	会葬御礼	昭和40	11	24	小野貞雄		亡父葬儀会葬礼状	紙	1	封筒あり
W	45	309	〔葉書〕	昭和40	11	10	中西治雄　中西森之助	粟屋　安高団兵衛	亡父葬儀会葬礼状と香典返し礼	葉書	1	
W	45	310	〔葉書〕	昭和40	11		北九州市戸畑区浅生通　藤山円蔵	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	市役所退職挨拶	葉書	1	
W	45	311	〔葉書〕	昭和40	8	16	重岡徳十	芦屋町粟屋　安高団兵衛	初盆仏参礼状	葉書	1	
W	45	312	〔葉書〕	昭和40	10	1	三原朝雄	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	議員会館入居通知	葉書	1	
W	45	313	〔葉書〕	昭和40	11	10	古賀恵啓	神武天皇社奉賛会発起者先賢顕彰会副会長　安高団兵衛	法華塔追善供養に関して仏教会長からの相談について	葉書	1	
W	45	314	〔葉書〕	昭和40	9	30	福岡市香椎宮前　矢野洋之	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
W	45	315	〔葉書〕	昭和40	12		水巻町樋口　矢野敏夫	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	喪中につき年賀欠礼	葉書	1	
W	45	316	〔葉書〕	昭和40	12	11	東京都練馬区中村町　秋山光材	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	住居修理依頼他	葉書	1	
W	45	317	〔葉書〕	昭和40	10	18	福岡市福海町　秋山光材	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	帰省予定	葉書	1	
W	45	318	〔葉書〕	昭和40	12	19	北九州市戸畑区浅生通　藤山円蔵	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況伺い	葉書	1	
W	45	319	〔葉書〕	昭和40	12	20	坂田熊一	芦屋町粟屋　安高団兵衛	喪中につき年賀欠礼	葉書	1	
W	45	320	〔葉書〕	昭和40	12	22	光明寺内芦屋仏教協会	粟屋　安高団兵衛	街頭募金実施の通知	葉書	1	
W	46	1	〔書簡〕	昭和40	1	12	研究所にて　秋山光見（伊東市松原区猪戸二―五九三）	安高（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）	山鹿土地の件につき御礼、年2回位収支報告して下され度事ほか	罫紙	1	罫紙3枚。封筒あり。中央大学比較研究所の封筒・罫紙使用。W46-1～64紐一括
W	46	2	〔書簡〕	昭和39	12	21	みんせい社（芦屋町金屋）	安高（町内粟屋安高団兵衛）	13号より未送信の件につきお詫び	紙	1	封筒あり
W	46	3	〔封筒〕	昭和40	2	12	福岡県遠賀郡芦屋町役場	町内粟屋　安高団兵衛		封筒	1	封筒あり。年月日は消印
W	46	4	〔封筒〕	〔昭和40頃〕			水茎会一同	（安高団兵衛）	封筒上書「御見舞　水茎会一同」	封筒	1	ビニール袋1枚同封
W	46	5	〔封筒〕	昭和40	1	12	福岡県遠賀郡芦屋町役場	町内粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
W	46	6	〔書簡〕	昭和40	1	25	秋山光見（伊東市松原区猪戸二―五九三）	安高団兵衛	現金為替3万円受領の事、厂木の土地は兄（光材）管理より私の管理に戻り、母が健康な間は母のための諸費用に当てる積もりの事ほか	罫紙	1	罫紙3枚。封筒あり。中央大学比較研究所の封筒・罫紙使用
W	46	7-1	〔書簡〕	昭和40	1	30	保正（東京都足立区花畑町日本住宅公団花畑団地七四号館五〇三号室）	父上・母上（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛・りきの）	公団住宅への引越の模様と部屋の間取り・通勤時間などについて	罫紙	1	罫紙7枚。W46-7-1、2封筒一括
W	46	7-2	地下鉄路線図	〔昭和40〕			帝都高速度交通営団	（安高団兵衛）		紙	1	印刷
W	46	8	〔通知〕	昭和40	1	25	日本砂丘研究会（印）（鳥大学農学部砂丘研究会内）	安岡(ママ)団兵衛殿（福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋）	昭和37年度よりの未納会費納入依頼	紙	1	印刷。裏に未納会費送金時の振替用紙返信文の写あり（講読の中止とその理由について）
W	46	9-1	〔書簡〕	昭和40	2	17	永田哲子	御両親（福岡県遠賀郡芦屋町安高団兵衛）	先日訪問の御礼、正義様と暖かい家庭を築いて行く事ほか	罫紙	1	W46-9-1、2封筒一括
W	46	9-2	〔書簡〕	昭和40	2	17	永田三郎・テツ	安高団兵衛（福岡県遠賀郡芦屋町）	先日の訪問・蜂蜜の御礼、現今政府の奨めている大農式経営の規模の大きさに驚いた事ほか	罫紙	1	罫紙2枚
W	46	10	〔書簡〕	昭和41	2	26	保正（足立区花畑町日本住宅公団花畑団地七四－五〇三号室）	父上・母上（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛・リキノ）	先日ハイヤーと正面衝突されたことを知りびっくりした事、阿佐ヶ谷の秀身さん・静江ちゃんほか九州旅行の件	罫紙	1	罫紙3枚。封筒あり
W	46	11	〔書簡〕	昭和40	2	28	秋山光材拝（東京都練馬区中村北三ノ七）	安高団兵衛（福岡県遠賀郡芦屋局区内粟屋）	法輪寺御長老逝去につきお悔やみ	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり。年は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	46	12	〔書簡〕	昭和40	3	3	秀之助・ゆき（東京都杉並区阿佐ヶ谷北二ノ二三ノ一〇藤枝秀之助）	安高団兵衛（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）	秀身の九州旅行の件ほか	罫紙	1	罫紙3枚。封筒あり
W	46	13	〔書簡〕	昭和40	3	4	藤枝秀之助・ゆき（東京都杉並区阿佐ヶ谷北二ノ二三ノ一〇）	安高団兵衛（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）	新住所お知らせの件、小包1個未着の件ほか	罫紙	1	罫紙3枚。封筒あり
W	46	14	〔封筒〕	昭和39	12	20	明治神宮社務所・明治神宮崇敬会　東京都渋谷区代々木外輪町	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
W	46	15	〔封筒〕	〔昭和40頃〕			本郷芳香	安高団兵衛様	封筒上書に「歌会」とあり	封筒	1	
W	46	16	〔封筒〕	昭和40	3	3	久留米市野中町大園七八七の一五　吉田義春方　塩足文世	遠賀郡芦屋町金谷　江島みな子様		封筒	1	日は消印
W	46	17	結核患者家族の健康診断（X線間接撮影）の実施について	昭和40	3	5	福岡県遠賀郡保健所長原田一正（北九州市八幡区折尾町末里520の1）	安高団兵衛殿（粟屋）	結核予防法の規程に基づき家族の健康診断を実施する事	紙	1	印刷。封筒あり
W	46	18	〔書簡〕	昭和40	3	9	藤枝秀之助・ゆき（東京都杉並区阿佐谷北二の二三の一〇）	安高団兵衛様・奥様	静江芦屋に無事到着の件、小包到着の件ほか	罫紙	1	罫紙3枚。封筒あり
W	46	19	〔書簡〕	昭和40	3	23	秀身（東京都杉並区阿佐ヶ谷北二丁目二十三の十〇号藤枝秀身）	団兵衛・皆々様（福岡県遠賀郡芦屋）	昨日無事家に帰り着いた事、お土産などの御礼、叔父様の足の骨折について	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり。日は消印
W	46	20	〔書簡〕	昭和40	3	22	秋山光見（伊東市松原区猪戸二ノ五九三）	安高団兵衛（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）	長女大学入学などにつき戸籍謄本送付依頼ほか	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり。中央大学比較研究所の封筒・罫紙使用
W	46	21	〔書簡〕	昭和40	3	21	秋山光材拝（東京都練馬区中村北三ノ七）	安高団兵衛（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）	いりこ2俵受領の事、聖光院法要の件、父母の健康状態についてほか	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
W	46	22	〔書簡〕	昭和40	3	31	福岡市西春町　半田拝	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	お会いできず苦しんで居る事ほか	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり。封筒に「（第五種郵便和歌詠草入り）」とあり
W	46	23	〔書簡〕	昭和40	2	31	誠（小金井市）	父上・母上（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛・りきの様）	会社の勤務状況について	罫紙	1	罫紙3枚。封筒あり。月日は消印
W	46	24	〔書簡〕	昭和40	4	8	芳村靖子（芦屋船頭町）	安高団兵衛	先日送付の鯉2尾の御礼、数年前の農協総会で芳村の報酬の件で敢然と一人立って論陣を張って下さった事をこの時期になると思い出す事	罫紙	1	罫紙4枚。封筒あり
W	46	25	〔書簡〕	昭和40	4	12	藤枝秀之助・ゆき（東京都杉並区阿佐ヶ谷北二ノ二三ノ一〇）	安高団兵衛・御家族御一同（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）	静江さんが無事上京し、お土産持参のうえ私共を訪問してくれた事、禎子の勤務先が替わった事ほか	罫紙	1	罫紙3枚。封筒あり
W	46	26-1	登記簿抄本の返送について	昭和40	4	23	芦屋町農業委員会（印・「戸田」）	安高団兵衛（粟屋）		罫紙	1	「芦屋町」罫紙使用。W46-26-1、2クリップ綴り。封筒あり
W	46	26-2	登記簿抄本	昭和40	4	14	福岡法務局水巻出張所　登記官絹川照夫（印）		安高幸治郎所有芦屋大字大久保山林1反余について	罫紙	1	
W	46	27	〔封筒〕	昭和40	4	23	福岡市浪人谷　岡沢麟太郎	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	上書に「五種」とあり	封筒	1	日は消印
W	46	28	〔包紙〕	〔昭和40〕					上書に「御礼」とあり	包紙	1	罫紙を使用
W	46	29-1	〔封筒〕	〔昭和40頃〕			（河村富）	（岡沢先生）	上書に「岡沢先生様　河村富・御礼」とあり	封筒	1	W29-1、2封筒一括
W	46	29-2	〔封筒〕	昭和40	1	27	明治神宮献詠会　東京都渋谷区代々木外輪町　明治神宮社務所内	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛		封筒	1	月日は消印
W	46	30	〔書簡〕	昭和40	4	24	中の浜　榎枝卯七	安高団兵衛（芦屋町粟屋）	喜寿の宴の案内	継紙	1	封筒あり
W	46	31	〔書簡〕	昭和40	3	1	保正	父上（安高団兵衛様）	阿佐ヶ谷に行きイリコを貰って来た事、イリコ代金送付の事、秀身さん・静江ちゃん九州旅行についてほか	罫紙	1	罫紙3枚。封筒あり。封筒に「静江ちゃんの便」とあり
W	46	32	〔葉書〕	昭和40	4	16	遠賀郡芦屋町粟屋　喪主安高鶴雄・親族総代安高団兵衛・仝広渡一敬・仝安部良		亡父幸治郎葬儀会葬の御礼	葉書	1	封筒あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	46	33-1	〔書簡〕	昭和40	5	3	成田ユキ子（熊本市高江町一〇五九下田進方）	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	おじさん達の農園の状態について、写真2枚送付の事ほか	罫紙	1	罫紙2枚。W46-33-1～3封筒一括。封筒に「写真同封」とあり
W	46	33-2	〔写真〕	〔昭和40〕	5		（成田ユキ子）		成田千恵の写真	写真	1	裏に「タンジヨウ前」とあり
W	46	33-3	〔写真〕	〔昭和40〕	5		（成田ユキ子）		成田千恵の写真	写真	1	裏に「ひな祭り後」とあり
W	46	34	〔封筒〕	昭和40	5	17	〔　　〕（福岡市浪）人谷　岡沢麟太郎	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛		封筒	1	
W	46	35-1	〔書簡〕	〔昭和40〕	5	18	嘉穂郡嶺田町　田辺哲夫	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	写真の御礼	罫紙	1	罫紙2枚。W35-1、2封筒一括
W	46	35-2	〔写真〕	〔昭和40〕	5		（田辺哲夫）	（安高団兵衛）	宗像市織幡神社境内にて男性4人の集合写真、安高団兵衛撮影	写真	1	裏に名前のメモ書きあり
W	46	36-1	〔書簡〕	昭和40	5	18	（印・「安養寺事務印」）（福岡県遠賀郡芦屋町浄土真宗本願寺派安養寺）	安高団兵衛（芦屋町粟屋）	永代門徒講進納の御礼、鶴雄氏へ未納分を進納するよう御説明下され度事	罫紙	1	罫紙2枚。W36-1、2封筒一括
W	46	36-2	門徒講趣意書	〔昭和40頃〕			安養寺住職富士原劉城・〃総代一同		門徒講金納入方法など書上	紙	1	印刷
W	46	37-1	〔書簡〕	〔昭和40〕	6	1	示誠拝（古賀恵啓）	安高先生	宗教家日蓮宗管理職への訴えに協力願い	紙	1	W46-37-1～3封筒一括
W	46	37-2	〔書簡〕	昭和40	6	1	神仏の使ひなりと自覚したる　古賀恵啓事示誠より	（黒山家）	前芦屋町長黒山高麿弾劾書	紙	1	
W	46	37-3	〔要求書等綴〕	昭和40	6	1	福岡県遠賀郡芦屋町中小峰四組　宗教研究会并供養会　発願主示誠日雄（古賀恵啓）・妻善子）	神武天皇奉賛会発起者　安高団兵衛先生ほか	黒山高麿前町長黒山高麿・長遠寺住職栗保正隆の弾劾文ほか	書綴	1	ステンプラーにて綴り
W	46	38-1	〔封筒〕	昭和40	5	8	福岡県芦屋局区内　芦屋郵便局	粟屋局区内　安高団兵衛		封筒	1	W46-38-1、2封筒一括
W	46	38-2	御計算袋	〔昭和40頃〕			郵便局取扱者	安高保正	保険金額ほか376円支払	袋	1	
W	46	39	〔書簡〕	昭和40	5	26	市内高江町一〇五九　下田進方成田ユキ子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・安高りきの	写真拝見の事、その内に天草のめずらしい魚で年よりおじちゃん達が食べられるものを送付する事ほか	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり。日は消印
W	46	40-1	同意書	〔昭和40頃〕				行政管理庁長官	行政相談委員委嘱の件について、未記入	紙	1	W46-40-1、2同折。印刷
W	46	40-2	〔書簡〕	〔昭和40頃〕			行政相談委員　白木啓三郎	安高農園主	「補充選挙人名簿の登録申出」の提出の件について	罫紙	1	
W	46	41	〔書簡〕	昭和40	6	13	秋山光見（伊東市松原区猪戸二ノ五九三）	安高団兵衛（福岡県遠賀郡芦屋町）	若芽1貫目有難く頂戴の事、自転車置場雇い人の給与の件	罫紙	1	罫紙4枚。封筒あり
W	46	42	〔書簡〕	昭和40	8(7)	15	秋山光材拝（東京都練馬区中村北三ノ七）	安高団兵衛（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）	わかめ落掌の事、父親と山鹿の母の看護について、長男光久が大学受験の準備などのため九州に帰省する事ほか	罫紙	1	罫紙5枚。封筒あり。推定月は消印
W	46	43	〔書簡〕	昭和40	8	5	秋山光見（伊東市松原区猪戸二一五九三）	安高団兵衛（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）	長兄の帰省は中止との事、金千円同封につき自転車置き場の皆さんとお茶でも飲んで頂きたき事ほか	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
W	46	44-1	〔書簡〕	昭和40	8	6	藤枝秀之助・ゆき（東京都杉並区阿佐ヶ谷北二ノ二三ノ一〇）	安高団兵衛・御家族御一同	暑中見舞いの御礼、東北・関東地方の作柄についてほか	罫紙	1	罫紙4枚。W46-44-1、2封筒一括
W	46	44-2	〔書簡案文〕	昭和40	8	13	安高団兵衛・同りきの	藤枝	保正・禎子両人途中秋芳洞の観光を済ませ先日来着の事、昨夜初めて兄姉夫婦が集合し懇談宴会をした事ほか	紙	1	半紙2枚
W	46	45	〔崇徳天皇八百年大祭筑前琵琶奉納演奏者書上〕	昭和40	9		主催大祭事務局・司会藤山円蔵（北九州市戸畑区弁入町一ノ六）	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	四国讃岐金比羅宮神楽殿で開催の演奏会につき	紙	1	印刷。封筒あり
W	46	46	〔書簡〕	昭和40	8	31	秋生（福岡県筑紫郡春日町十九普連三中隊安高秋生）	伯父（遠賀郡芦屋町大字芦屋安高団兵衛）	手紙・写真、及びお盆中の御配慮の御礼	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり。月日は消印
W	46	47	〔書簡〕	昭和40	9	2	秋山光民（福岡市福海町四四）	安高団兵衛（遠賀郡芦屋町粟屋）	先月墓参りの際の御配慮と写真の御礼、写真送付の事	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり。封筒に「写真仝封」とあり。
W	46	48	〔書簡〕	昭和40	9	5	宗像郡宗像町城ヶ谷　安高明美	伯父様（遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛）	お盆の際の御世話と写真送付の御礼	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり。日は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	46	49	〔書簡〕	昭和40	10	24	大分県宇佐郡安心院町竜王　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	事故のお見舞いほか	罫紙	1	封筒あり。日は消印
W	46	50-1	〔書簡〕	昭和40	10	26	おじいちゃん・おばあちゃんのマゴより（豊島区雑司ヶ谷日本女子大学精華寮安高静江）	大好きな　じいちゃん・ばあちゃんへ（福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛・りきの様）	手紙・写真送付の御礼、保正叔父さんが風邪をひいた事、同封の写真は阿佐ヶ谷の小父さんが撮影した事ほか	罫紙	1	罫紙2枚。W46-50-1～4封筒一括
W	46	50-2	〔写真〕	〔昭和40〕	10		（安高静江）	（安高団兵衛・りきの）	保正・禎子ほか1名の写真	写真	1	
W	46	50-3	〔写真〕	昭和40	10	17	（安高静江）	（安高団兵衛・りきの）	安高静江と繁の写真	写真	1	裏に「繁ちゃんと」とあり
W	46	50-4	〔写真〕	昭和40	10	3	（安高静江）	（安高団兵衛・りきの）	安高静江と真奈美の写真	写真	1	裏に「阿佐ヶ谷の庭で真奈美ちゃんと」とあり
W	46	51-1	〔書簡〕	昭和40	8	7	足立区花畑団地七四―五〇三　安高保正	父上・兄上（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・藤吉）	帰省時の列車指定席券が取れない事、帰省時の予定について	罫紙	1	罫紙2枚。W46-51-1、2封筒一括
W	46	51-2	〔列車予定表〕	〔昭和40〕	8		（安高保正）	（安高団兵衛・藤吉）	列車の発車・到着時刻など書上	紙	1	複写コピー
W	46	52	〔書簡〕	昭和40	8	16	保正・禎子（東京都足立区花畑町日本住宅公団花畑団地七四―五〇三）	父上・母上（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・リキノ）	帰省中の御世話の御礼、バイクには気をつけ御自愛下され度事	罫紙	1	罫紙4枚。封筒あり
W	46	53	〔書簡〕	昭和40	10	16	秋山光材（東京都練馬区中村北三ノ七）	安高団兵衛（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）	家内実父の葬式済みたるにつき本日帰省致す事、帰省時には福岡・平戸など親戚廻りをする事ほか	罫紙	1	罫紙3枚。封筒あり
W	46	54	〔封筒〕	昭和40	9	24	福岡県遠賀郡芦屋町　岡湊神社々務所	粟屋　安高団兵衛		封筒	1	日は消印
W	46	55	崇徳天皇奉斎百年大祭日程表	〔昭和40〕	9		（北九州市戸畑区弁入町一ノ六藤山円蔵）	（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛）		紙	1	印刷。封筒あり
W	46	56	〔封筒〕	昭和40	6	6	明治神宮献詠会　東京都渋谷区代々木外輪町　明治神宮社務所内	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛		封筒	1	
W	46	57-1	〔書簡〕	昭和40	9	27	遠賀郡芦屋町立芦屋小学校長入江義政（印）	安高団兵衛	秋季大運動会開催の通知	紙	1	印刷。W46-57-1、2封筒一括
W	46	57-2	御案内	昭和40	9	27	芦屋小学校	各位	秋季大運動会の演技名ほか書上	紙	1	印刷
W	46	58	〔書簡〕	昭和40	10	6	遠賀郡芦屋町立芦屋小学校長入江義政（印）	安高団兵衛	秋季大運動会臨席と御芳志200円の御礼	紙	1	印刷。封筒あり
W	46	59-1	〔書簡〕	昭和40	10	23	芦屋仏教協会	（安高団兵衛）	芦屋町戦役者追悼慰霊祭は有意義裡に終了の事、仏教協会の視察見学の案内	紙	1	印刷。W46-59-1、2封筒一括
W	46	59-2	終戦廿周年戦死戦役者慰霊祭並びに記念講演会会計報告書	昭和40	10	19	芦屋仏教教会々計	（安高団兵衛）		紙	1	印刷
W	46	60	〔書簡〕	昭和40	11	12	保正（足立区花畑町日本住宅公団花畑団地七四―五〇三）	父上・兄上（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛・藤吉）	誠がスケート場で転倒し脳震盪で入院した件につきお知らせ	罫紙	1	罫紙8枚。追而書1枚あり。封筒あり
W	46	61-1	〔書簡〕	昭和40	11	21	保正（足立区花畑町日本住宅公団花畑団地七四―五〇三号）	父上・兄上（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛・安高藤吉）	先日の手紙と電話の御礼、電話でも話した通り誠は元気になった事、先日日光に行った際のカラー写真を送付する事	罫紙	1	罫紙4枚。W46-61-1～3封筒一括
W	46	61-2	〔写真〕	〔昭和40〕	11		（安高保正）	（安高団兵衛）	保正・禎子夫婦の写真	写真	1	裏に「昭和40年10月17日日光にて」とあり
W	46	61-3	〔写真〕	〔昭和40〕	11		（安高保正）	（安高団兵衛）	保正・禎子夫婦の写真	写真	1	裏に「昭和40年10月17日日光神橋を背景に」とあり
W	46	62	〔書簡〕	〔昭和40〕			□城　西原	安高	日曜日に夕刊福岡新聞社が伺うにつき御在宅願い	紙	1	封筒あり
W	46	63	〔書簡〕	昭和40	12	25	伊東市松原区猪戸二―五九三　秋山光見	安高団兵衛（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）	母は伊東に来て段々調子がよくなり大変元気な事、自転車置場の貯金の内5万円送付願いほか	罫紙	1	「日本比較法研究所用箋」3枚使用。封筒あり
W	46	64	〔書簡〕	昭和40	12	27	保正・禎子	父上・母上（安高団兵衛・りきの）	今年度のボーナスが出たので小遣いに金1万円送付の事	罫紙	1	封筒あり。封筒に「静江より受取る」とあり
W	47	1	〔書簡〕	〔昭和41〕	9	23	安高りきの	安高団兵衛	見舞と農業状況報告	紙	1	封筒あり、1～45まで袋入り
W	47	2	〔書簡〕	昭和41	9	21	安高りきの	安高団兵衛	見舞と家庭近況報告	紙	1	封筒あり、日付は受取人注記
W	47	3	〔書簡〕	昭和41	9	15	北村志賀	安高団兵衛	お礼と近況報告	紙	3	封筒あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	47	4	〔書簡〕	昭和41	9	17	桑原勇吉	安高団兵衛	見舞	紙	2	封筒あり
W	47	5	〔書簡〕	昭和41	9	15	桑原勇吉	安高団兵衛	見舞	紙	2	封筒あり
W	47	6	〔書簡〕	昭和41	7	19	成田ユキ子	安高団兵衛	近況報告と出稼ぎ農業従事者不在の報告	紙	2	封筒あり
W	47	7	〔書簡〕	〔昭和41〕	7	9	安高りきの	安高団兵衛	見舞	紙	1	封筒あり
W	47	8	〔書簡〕	〔昭和41〕	7	10	安高リキノ	安高団兵衛	見舞	紙	2	封筒あり
W	47	9	〔書簡〕	昭和41	7	13	安高保正・禎子	安高団兵衛	見舞と近況報告	紙	5	封筒あり
W	47	10	〔書簡〕	昭和41	7	17	安高誠	安高団兵衛	見舞と近況報告	紙	5	封筒あり
W	47	11	〔書簡〕	昭和41	7	15	吉田徳蔵	安高団兵衛	暑中および病気見舞	紙	1	封筒あり
W	47	12	〔書簡〕	昭和41	7	21	安高りきの	安高団兵衛	見舞	紙	1	封筒あり
W	47	13	〔書簡〕	〔昭和41〕	7	25	木原泰平	安高団兵衛	見舞と粟屋老人会の状況報告	紙	3	封筒あり
W	47	14	〔書簡〕	〔昭和41〕	7	20	北村志賀	安高団兵衛	見舞と近況報告	紙	2	封筒あり
W	47	15	〔書簡〕	〔昭和41〕	7	16	塚原たよ子・塚原秀蔵	安高団兵衛	見舞と近況報告	紙	4	封筒あり
W	47	16	〔書簡〕	〔昭和41〕	7	10	塚原たよ子	安高団兵衛	見舞	紙	2	封筒あり
W	47	17	〔書簡〕	昭和41	7	23	自民党芦屋支部長浜中茂足	安高団兵衛	役員会のお知らせ	紙	1	封筒あり
W	47	18	〔書簡〕	〔昭和41〕	7	21	永田三郎	安高団兵衛	暑中およびご尊父病気見舞	紙	2	封筒あり
W	47	19	〔書簡〕	〔昭和41〕	9	11	江島和子	安高団兵衛	レース場勤務者について相談	紙	3	封筒あり
W	47	20	〔書簡〕	〔昭和41〕	9	12	桑原勇吉	安高団兵衛	見舞と老人の日の報告	紙	2	封筒あり
W	47	21	〔書簡〕	〔昭和41〕	9	10	安高りきの	安高団兵衛	見舞	紙	1	封筒あり、写真6枚（阿蘇・熊本旅行）封入
W	47	22	〔書簡〕	昭和41	9	9	小島菊枝	安高団兵衛	病気および残暑見舞い	紙	3	封筒あり
W	47	23	〔書簡〕	〔昭和41〕	9	8	大阪、立花喜太郎	安高団兵衛	芦屋観音寺落慶式出席の際お会いしたい	紙	2	封筒あり
W	47	24	〔書簡〕	〔昭和41〕	9	6	北村志賀	安高団兵衛	見舞	紙	2	封筒あり
W	47	25	〔書簡〕	〔昭和41〕	9	7	安高りきの	安高団兵衛	見舞と家庭近況報告	紙	1	封筒あり
W	47	26	〔書簡〕	〔昭和41〕	8	29	江島みな	安高団兵衛	見舞	紙	2	封筒あり
W	47	27	〔書簡〕	〔昭和41〕	9	6	安高久米吉	安高団兵衛	見舞	紙	2	封筒あり
W	47	28	〔書簡〕	〔昭和41〕	9	2	桑原勇吉	安高団兵衛	新聞切り抜き送付	紙	2	封筒あり、切り抜きなし
W	47	29	〔書簡〕	〔昭和41〕	8	31	安高りきの	安高団兵衛	見舞と家庭近況報告	紙	1	封筒あり
W	47	30	〔書簡〕	〔昭和41〕	8	30	兵道武一	安高団兵衛	貴名等で見舞金送付したので了解を乞う	紙	1	封筒あり
W	47	31	〔書簡〕	〔昭和41〕	8	27	安高りきの	安高団兵衛	見舞と家庭近況報告	紙	1	封筒あり
W	47	32	〔書簡〕	〔昭和41〕	8	29	安高りきの	安高団兵衛	見舞と家庭近況報告	紙	1	封筒あり
W	47	33	〔書簡〕	〔昭和41〕	8	25	安高りきの	安高団兵衛	見舞	紙	1	封筒あり
W	47	34	〔書簡〕	〔昭和41〕	8	27	塚原たよ子	安高団兵衛	見舞と詠草添削送付の件	紙	4	封筒あり、封筒日付は8月25日
W	47	35	〔書簡〕	昭和41	8	25	岡本まさゑ	安高団兵衛	見舞と短歌会の近況報告	紙	3	封筒あり、日付は受取人注記
W	47	36	〔書簡〕	〔昭和41〕	8	24	安高りきの	安高団兵衛	見舞	紙	1	封筒あり
W	47	37	御見舞				秋山光見			紙	1	お見舞い品の付け札
W	47	38	〔書簡〕	昭和41	8	20	立花喜太郎	安高団兵衛	見舞	紙	2	封筒あり
W	47	39	〔書簡〕	昭和41	8	22	小嶋頼男	安高団兵衛	見舞と近況報告	紙	3	封筒あり
W	47	40	〔書簡〕	〔昭和41〕	8	20	岡沢馨	安高団兵ヱ	初盆会のお礼と病気見舞	紙	2	封筒あり
W	47	41	〔書簡〕	〔昭和41〕	8	19	兵道武一	安高団兵衛	自動車事故の知らせ	紙	2	封筒あり
W	47	42	〔書簡〕	〔昭和41〕	8	3	河村たか	安高団兵衛	和歌送付	紙	1	封筒あり、和歌なし
W	47	43	〔書簡〕	〔昭和41〕	8	5	河村たか	安高団兵衛	お見舞い送付	紙・袋	各1	封筒あり
W	47	44	〔書簡〕	昭和41	8	19	黒山てる	安高団兵ヱ	和歌15首	紙	2	封筒あり
W	47	45	〔書簡〕	〔昭和41〕	8	18	安高りきの	安高団兵衛	見舞	紙	2	封筒あり
W	48	1	〔書簡〕	昭和41	9	17	芦屋町船頭町　北村初穂	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	病気見舞、土地入手に際して世話になった礼他	罫紙	3	封筒あり
W	48	2	〔書簡〕	昭和41	9	23	東京都杉並区阿佐谷北　藤枝秀之助　ゆき	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	病気見舞と家族の近況報告他	罫紙	3	封筒あり
W	48	3	〔書簡〕	昭和41	9	27	安高りきの	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	家族の近況	罫紙	1	封筒あり
W	48	4	〔書簡〕3に同封	昭和41	10	7	安高りきの		帰宅に際してはタクシーを利用すること	罫紙	1	
W	48	5	〔書簡〕	昭和41	9	25	東京都足立区花畑町　安高保正　禎子	福岡市九大医学部附属病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	病気見舞、台風26号の様子、電話番号連絡他	罫紙	6	封筒あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	48	6	〔書簡〕	昭和41	9	28	北九州市小倉区井堀町　塚原たよ子	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	病状見舞、孫の就職、井堀町老人会出席のこと他	罫紙	3	封筒あり
W	48	7	〔書簡〕	昭和41	9	29	芦屋町粟屋　安高千鶴子	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	病状見舞、常美交通事故公判のこと等	罫紙	3	封筒あり
W	48	8	〔書簡〕	昭和41	10	4	安高りきの	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	家族の近況と見舞金受け取り報告	罫紙	1	封筒あり
W	48	9	〔書簡〕	昭和41	10	13	芦屋町正門町　黒山てる	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	天草旅行報告	罫紙	2	封筒あり
W	48	10	〔書簡〕	昭和41	10	12	安高りきの	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	写真送付のこと、家族近況他	罫紙	1	封筒あり
W	48	11	〔書簡〕	昭和41			りきの		病状見舞他	罫紙	1	W48-10に同封
W	48	12	〔書簡〕	昭和41	10	17	芦屋町中ノ浜　吉永光雄	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	病気見舞、先賢顕彰会名簿返却連絡	罫紙	2	封筒あり
W	48	13	〔書簡〕	昭和41	10	9	北九州市小倉区井堀町　塚原たよ子	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	水茎歌会のこと	罫紙	1	封筒あり
W	48	14	〔書簡〕	昭和41	10	9	塚原秀蔵	安高団兵衛	病気見舞、就職祝いへの礼と職場の近況	罫紙	2	W48-13に同封
W	48	15	〔書簡〕	昭和41	10	18	安高りきの	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	家族近況	罫紙	1	日付は消印、封筒あり
W	48	16	〔包紙〕	昭和41	10	19	安高	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛		紙		包紙のみ
W	48	17	〔書簡〕	昭和41	10	30	芦屋町西浜町　北村志賀	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	病気見舞と歌会のこと	罫紙	2	封筒あり
W	48	18	〔書簡〕	昭和41	10	24	安高りきの	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	病気見舞、藤吉のこと	罫紙	1	封筒あり
W	48	19	〔書簡〕	昭和41	10	21	安高りきの	福岡市九大医学部附属病院二内科新病棟　安高団兵衛	長野宅で町の敬老会が開かれたこと他	罫紙	1	封筒あり
W	48	20	〔書簡〕	昭和41	10	26	芦屋町山鹿　安高隆盛	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	病気見舞、ボートレース場自転車預かり場収支のこと、家族近況他	罫紙	3	封筒あり
W	48	21	〔書簡〕	昭和41	10	18	塚原たよ子	安高団兵衛	病気見舞、詠草のこと	罫紙	2	封筒あり
W	48	22	〔書簡〕	昭和41	10	25	北九州市小倉区井堀町　塚原たよ子	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	病気見舞、歌会のこと他	罫紙	2	封筒あり
W	48	23	〔書簡〕	昭和41	10	24	安高千鶴子	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	病気見舞、農事のこと、藤吉関係訴訟のことと他	罫紙	4	封筒あり
W	48	24	〔書簡〕	昭和41	10	28	福岡市南大橋　中村正広	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	病気見舞、近況報告、短歌添削依頼他	罫紙	2	封筒あり
W	48	25	〔短歌添削〕	昭和41					中村正広の短歌の添削	紙	1	W48-24に同封
W	48	26	〔書簡〕	昭和41	10	28	安高りきの	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	農作物（人参）の売れ行き他	罫紙	1	封筒あり
W	48	27	〔封筒〕	昭和41	10	29	安高りきの	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛		封筒	1	封筒のみ
W	48	28	〔書簡〕	昭和41	10	30	安高りきの	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	病気見舞	罫紙	1	封筒あり
W	48	29	〔書簡〕	昭和41	11	4	福山市城見町　大宝和三郎	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	病気見舞、呼吸法に関するアドヴァイス他	罫紙	4	封筒あり
W	48	30	〔書簡〕	昭和41	11	3	東京都足立区花畑町　安高保正禎子	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	病状見舞、吉明、成美が修学旅行で上京した折のこと、他	罫紙	6	封筒あり
W	48	31	〔書簡〕	昭和41	11	3	日本女子大学精華寮　安高静江	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	病状見舞、新宿伊勢丹で開催された芦屋釜展示会のこと	罫紙	3	封筒あり
W	48	32	役場だより　第246号	昭和41	11	1	芦屋町役場庶務課			書冊	1	安高りきのからの郵送、封筒あり
W	48	33	〔書簡〕	昭和41	11	5	安高りきの	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	あいうれしかった　あなたのかほを見た時‥‥　病状安定の喜び他	罫紙	1	封筒あり
W	48	34	〔商品案内〕	昭和41			明月堂		カステラの商品案内	紙	4	袋入り
W	48	35	〔葉書〕	昭和41	9	23	安高静江	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	近況報告	絵葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	48	36	〔葉書〕	昭和41	9	21	東京駿河台ホテル　畑野善亮	福岡市大学通り新病棟第二内科二号　安高団兵衛	病気見舞、靖国団参で上京中のこと	葉書	1	
W	48	37	〔葉書〕	昭和41	9	26	北九州市戸畑区天神　藤山円蔵	福岡市九大病院　安高団兵衛	病気見舞	葉書	1	
W	48	38	〔葉書〕	昭和41	9	27	芦屋町山鹿　三村俊蔵	福岡市九大医学部附属病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	病気見舞、光明寺での先賢慰霊祭のこと	葉書	1	
W	48	39	〔葉書〕	昭和41	10	9	木原泰平	安高	粟屋老人倶楽部集会のこと、大場サダ死去の連絡	葉書	1	
W	48	40	〔葉書〕	昭和41	10	5	岡垣町元松原　広渡一敬	遠賀郡芦屋町粟屋　安高藤吉	高倉神社祭礼通知	葉書	1	日付は消印
W	48	41	〔葉書〕	昭和41	10	5	高倉神社社務所	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	秋季例大祭開催通知	葉書	1	日付は消印
W	48	42	〔書簡〕	昭和41	10	1	芦屋町山鹿　畑野善亮	福岡市大学通り新病棟第二内科二号　安高団兵衛	靖国団参から帰宅した連絡	罫紙	1	封筒あり
W	48	43	〔葉書〕	昭和41	10	1	渕上房太郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	住居番号変更通知	葉書	1	
W	48	44	〔葉書〕	昭和41	9	30	芦屋町大城　安高久米吉	福岡市九大病院内科第二棟新館二階　安高団兵衛	病気見舞、慰霊祭開催のこと	葉書	1	
W	48	45	〔葉書〕	昭和41	10	3	芦屋町西浜町　岡本まさ枝	福岡市九大医学部附属病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	短歌詠草通知、短歌会の動向他	葉書	1	
W	48	46	〔葉書〕	昭和41	10	18	芦屋町山鹿　三村俊蔵	福岡市九大医学部附属病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	同窓会会場の件連絡	葉書	1	
W	48	47	〔葉書〕	昭和41	10	6	塚原たよ子	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	病気見舞、秀蔵への就職祝いの礼	葉書	1	
W	48	48	〔葉書〕	昭和41	10	26	岡垣町山田　井出成徳	福岡市九大病院内科共新二の二　安高団兵衛	病気見舞	葉書	1	
W	48	49	〔葉書〕	昭和41	10	27	芦屋町西浜町　北村志賀	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	金員受取り通知、短歌添削依頼他	葉書	1	
W	48	50	〔葉書〕	昭和41	10	28	芦屋町山鹿　三村俊蔵	福岡市九大医学部附属病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	同窓会開催日時、場所、要領等通知他	葉書	1	
W	48	51	〔葉書〕	昭和41	11	5	芦屋町西浜町　北村志賀	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	新築町民館祝賀の様子他	葉書	1	
W	48	52	〔葉書〕	昭和41	11	3	芦屋町西浜町　岡本まさ枝	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	十月歌会での短歌、歌会の様子他	葉書	1	
W	49	1	〔書簡〕	昭和41	8	1	黒山てる（遠賀郡芦屋町正門町十四―一五）	安高団兵衛（福岡市九大病院内科共同新病棟二内二号室）	暑中見舞い、和歌書上	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり。W49-1～袋入り（九州大学医学部附属病院薬剤部の袋）
W	49	2	〔書簡〕	〔昭和41〕	7	31	りきの	父上様	先日本原先生宅で寄合をした事ほか	罫紙	1	
W	49	3	〔書簡〕	昭和41	7	28	伊東市松原区猪戸二―五九三秋山光見	安高団兵衛（芦屋町粟屋）	子供達4人の帰省予定ほか	罫紙	1	罫紙3枚。日本比較法研究所用箋使用
W	49	4	〔書簡〕	昭和41	8	3	瓜生ふさの（遠賀郡芦屋町西浜町十一ノ四）	安高団兵衛（福岡市九大病院内科共新二内二号室）	成子に頼まれた製本出来上がり、塚原先生・塩足・河村・半田様へ郵送した事、和歌2首書上	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
W	49	5-1	〔書簡〕	昭和41	7	29	文世（東京都東村山市多摩湖町一ノ八一四）	安高（福岡市九大医学部付属病院二内科新病棟）	岡沢先生御他界のお悔やみ、安高様の腰痛は温泉で御静養なされたらと存じ居る事、会費などとして200円同封の事ほか	罫紙	1	罫紙2枚。W49-5-1～3封筒一括
W	49	5-2	蓮花詠草	〔昭和41〕	-7		塩足文世	（安高団兵衛）	和歌1首書上	罫紙	1	
W	49	5-3	〔百円札〕							紙幣	2	
W	49	6	〔書簡〕	昭和41	8	3	りきの	父上（福岡市九大医学部付属病院二内科新病棟）	奈良漬けの事、よし子さんが手紙を私とチヅ子に手紙をくれた事ほか	罫紙	1	封筒あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	49	7	〔書簡〕	昭和41	7	28	禎子（足立区花畑町住宅公団花畑団地七四―五〇三）	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋 安高りきの・千鶴子	つわりが続き毎日さえない日を送っている事、毛糸の編み物を習い始めた事ほか	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
W	49	8-1	〔書簡〕	昭和41	8	9	桑原勇吉（福岡市大字名島）	安高団兵衛（福岡市大学通九州大学病院内科共同新病棟第二内科弐号室）	名島老人クラブ健寿会の紹介、全快帰宅の砌りは名島へ御立寄り下され度事	罫紙	1	罫紙2枚。W49-8-1、2封筒一括
W	49	8-2	健寿会八月例会について	〔昭和41〕	-8		（名島健寿会）		8月例会は妙見島妙見荘で開催する事	紙	1	印刷
W	49	9	〔葉書〕	昭和41	7	29	熊本県阿蘇郡阿蘇町内牧区大字西小園　小嶋頼男	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋 安高団兵衛	阿蘇郡波野村の佐藤惟続氏などとの会見の件についてほか	葉書	1	
W	49	10	〔葉書〕	昭和41	盛夏(7)	26	福岡市名島　桑原勇吉・桑原菊夫	福岡市九大医学部付属病院二内科新病棟　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	月日は消印
W	49	11	〔葉書〕	昭和41	盛夏(7)	26	福岡市鳥飼三丁目七の四　小田十壮	福岡市九大医学部付属病院二内科新病棟　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	月日は消印
W	49	12	〔葉書〕	昭和41	盛夏(7)	26	北九州市若松区二番町二丁目津山つる	福岡市九大医学部付属病院二内科新病棟　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	月日は消印
W	49	13	〔葉書〕	昭和41	盛夏(7)	27	福岡県遠賀郡芦屋町船頭町一三番二五号　福原勇	福岡市九大医学部付属病院二内科新病棟　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	月日は消印
W	49	14	〔葉書〕	昭和41	7	25	衆議院議員三原朝雄秘書　竹内初男　事務所東京都千代田区永田町衆議院第二議員会館三三一号室・帰省地福岡県遠賀郡若松	福岡市九大医学部付属病院二内科新病棟　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	49	15	〔葉書〕	昭和41	盛夏(7)	26	北九州市戸畑区天神町一丁目二ノ二一　藤山円蔵	福岡市九大医学部付属病院二内科新病棟　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	月日は消印
W	49	16	〔葉書〕	昭和41	7	29	福岡市西春町　半田拝	福岡市九大医学附病院内科共同新病棟第二号室　安高団兵衛	病気お見舞い	葉書	1	
W	49	17	〔葉書〕	昭和41	盛夏(7)	28	発券倉庫業　高光産業株式会社会長妹尾悦輔・社長妹尾キク・専務妹尾隆一郎　倉庫部福岡市東光町48・自宅福岡市杵屋谷3	福岡市九大医学部付属病院二内科新病棟　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	49	18	〔葉書〕	昭和41	7	21	遠賀郡芦屋町西浜町一―二二本郷芳香拝	福岡市箱崎九大病院内科共新2号　安高団兵衛	暑中見舞い、病気見舞い	葉書	1	
W	49	19	〔葉書〕	昭和41	7	29	遠賀郡芦屋町西浜町一一の五北村志賀	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室内　安高団兵衛	暑中見舞い、和歌書上	葉書	1	
W	49	20	〔葉書〕	昭和41	7	30	遠賀郡岡垣町海老津　小西千万億・小西きくえ	福岡県福岡市九大医学部付属病院二内科新病棟　安高団兵衛	暑中見舞い、写真の御礼	葉書	1	日は消印
W	49	21	〔葉書〕	昭和41	7	29	別府市亀川黒木病院五、七九号広瀬光義	福岡市九大医学部付属病院二内科新病棟　安高団兵衛	暑中見舞い、次回の輜友会には参加致し度事	葉書	1	
W	49	22	〔葉書〕	昭和41	盛夏(8)	5	芦屋町議会議長・自由民主党芦屋支部長・芦屋町三原朝雄後援会会長・東筑高校PTA副会長浜中茂足	福岡市九大医学部付属病院二内科新病棟　安高団兵衛	暑中見舞い、次回の輜友会には参加致し度事	葉書	1	
W	49	23	〔葉書〕	1966	盛夏(7)	29	福岡市南大橋三ノ一組　中村正広・美智子	福岡市九大医学部付属病院二内科新病棟　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	月日は消印
W	49	24	〔葉書〕	昭和41	8	3	遠賀郡芦屋町西浜町二ノ三一岡本まさ枝	福岡市九大病院内共新二内二号室　安高団兵衛	病気見舞い、瓜生様お骨折で歌集は出来つつある事ほか	葉書	1	日は消印
W	49	25	〔葉書〕	昭和41	8	2	芦屋町　久野和英	福岡市九大内科共同新二内二号室　安高団兵衛	病気見舞い	葉書	1	日は消印
W	49	26	〔葉書〕	昭和41	8	4	遠賀郡芦屋町西浜町一一の五北村志賀	福岡市九大病院内共新二内二号室　安高団兵衛	7月号の水茎誌瓜生成子様のおかげで立派に出来上がった事、歌会誌が出来るまでは随分骨折られたとの事で、安高様の御恩がしみじみと分かった事ほか	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	49	27	〔葉書〕	昭和41	8	7	伊東市松原区猪戸二一五九三　秋山光見	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室内　安高団兵衛	病気お見舞い、子供達4人は先日帰郷の事ほか	葉書	1	
W	49	28	〔葉書〕	昭和41	8	1	東京都練馬区中村北三ノ七　秋山光材	福岡市九大医学部付属病院二内科新病様(ママ)　安高団兵衛	帰省のお知らせ	葉書	1	
W	49	29	〔葉書〕	昭和41	盛夏(8)	3	福岡県遠賀郡芦屋町西浜町一〇ノ四　梅林忠春	福岡市九大医学部付属病院二内科新病様(ママ)　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	49	30	〔葉書〕	昭和41	盛夏(8)	2	東京都文京区関口台十三　菊本実	福岡市九大医学部付属病院二内科新病棟　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	49	31	〔葉書〕	昭和41	盛夏(8)	5	堺市家原寺町二丁一の一向ヶ丘神鋼寮二一三　安高忠	福岡市九大医学部付属病院二内科新病棟　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	49	32	〔葉書〕	昭和41	盛夏(8)	8	芦屋町議会議員　中西五郎六	福岡市九大医学部付属病院二内科新病様(ママ)　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	49	33	〔葉書〕	昭和41	8	6	宗像郡宗像町大字吉田　伊豆英夫	福岡市九大医学部付属病院二内科新病棟　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	49	34	〔葉書〕	昭和41	盛夏(8)	7	北九州市八幡区折尾町　クボタ歯科医院　田窪友博(照逸)	福岡市九大医学部付属病院二内科新病棟　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	49	35	〔葉書〕	昭和41	盛夏(8)	7	福岡市中間市岩瀬六四三　吉村義雄	福岡市九大医学部付属病院二内科新病棟　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
W	49	36	〔葉書〕	昭和41	8	4	福岡県芦屋町西浜町十一、四瓜生ふさの	福岡市九大病院内科共新二内二号室	「歌舎の本をしばりて一安堵君は毎月なされし物を」ほか短歌書上	葉書	1	
W	49	37	〔葉書〕	昭和41	8	9	別府市亀川黒木病院五、七九　広瀬光蔵	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	病気見舞い、輻友会の写真の御礼	葉書	1	
W	50	1	〔葉書〕	昭和41	1	1	芦屋町教育長　松浦猛	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	2	〔葉書〕	昭和41	1	1	和栗博	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	3	〔葉書〕	昭和41	1	1	中間市議会議員　貞末満	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	4	〔葉書〕	昭和41	1	1	芦屋梅林組	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	5	〔葉書〕	昭和41	1	1	渕上房太郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	6	〔葉書〕	昭和41	1	1	秋山光一	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	7	〔葉書〕	昭和41	1	1	蓮住嶽鷹	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	8	〔葉書〕	昭和41	1	1	芦屋基地司令　黒田保	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	9	〔葉書〕	昭和41	1	1	大庭勝一	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	10	〔葉書〕	〔昭和〕	1	1	小野藤右ェ門	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	11	〔葉書〕	昭和41	1	1	花田七五三	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	12	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	藤崎正次郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	13	〔葉書〕	昭和41	1	1	町田忠次郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	14	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	松尾平槌・文子	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	15	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	橘喜朔	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	16	〔葉書〕	昭和41	1	1	藤本春秋子	安高団兵衛	年賀	葉書	1	日付は受取人注記
W	50	17	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	塩足文世	安高団兵衛・水くき会一同	年賀	葉書	1	
W	50	18	〔葉書〕	昭和41	1	1	鈴木康治	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	19	〔葉書〕	〔昭和〕41	1	1	藤吉仁太郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	20	〔葉書〕	昭和41	1	1	久野誠・兎耳山洋	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	21	〔葉書〕	昭和41	1	1	友納美治	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	22	〔葉書〕	昭和41	1	1	旅館　喜楽	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	23	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	安武たま	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	24	〔葉書〕	昭和41	1	1	安高誠	安高団兵衛・りきの	年賀	葉書	1	
W	50	25	〔葉書〕	昭和41	1	1	江藤優・美奈子	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	26	〔葉書〕	昭和41	〔1〕	〔1〕	大庭善三郎	安高団兵ヱ	年賀	葉書	1	
W	50	27	〔葉書〕	昭和41	1	1	安高幹雄	安高団兵ヱ	年賀	葉書	1	
W	50	28	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	三村俊蔵	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	29	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	中山司	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	30	〔葉書〕	昭和41	1	1	広渡一敬	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	31	〔葉書〕	昭和41	1	1	森本政次郎	安高団兵	年賀	葉書	1	
W	50	32	〔葉書〕	昭和41	1	1	司法書士　松井賢治	安高団兵衛	年賀	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	50	33	〔葉書〕	昭和41	1	1	小田十壮	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	34	〔葉書〕	昭和41	1	1	吉永光雄	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	35	〔葉書〕	昭和41	1	1	吉田徳蔵・俊子	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	36	〔葉書〕	昭和丙午	1	1	玄洋社代表取締役　重岡重俊	安高団兵衛・外御一同	年賀	葉書	1	
W	50	37	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	重松千歳	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	38	〔葉書〕	昭和41	1	1	安高秋生	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	39	〔葉書〕	昭和41	1	1	芦屋町助役　熊野太郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	40	〔葉書〕	昭和41	1	1	衆議院議員　三原朝雄	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	41	〔葉書〕	昭和41	1	1	太田秀夫	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	42	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	塩田帋吉	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	43	〔葉書〕	昭和41	1	1	岡部得三	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	44	〔葉書〕	昭和41	1	1	椛田清太郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	45	〔葉書〕	昭和41	1	1	参議院議員　野知浩之	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	46	〔葉書〕	昭和41	1	1	酒井善左衛門	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	47	〔葉書〕	昭和41	1	1	栗山高麿	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	48	〔葉書〕	昭和41	1	1	松尾豊	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	49	〔葉書〕	昭和41	1	1	甲斐清馬	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	50	〔葉書〕	昭和41	1	1	高倉神社　波多野正俊・吉田太郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	51	〔葉書〕	昭和41	1	1	岩崎誉次	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	52	〔葉書〕	昭和41	1	1	タクボ歯科　田窪友博	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	53	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	入江勝	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	54	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	渡辺新平	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	55	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	安高久米吉	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	56	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	島田マツノ	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	57	〔葉書〕	昭和41	1	1	此口貞雄	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	58	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	波多野邦夫	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	59	〔葉書〕	昭和41	1	13	松尾豊	安高団兵衛	他の住所を教示	葉書	1	
W	50	60	〔葉書〕	昭和41	1	10	矢野洋三	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	61	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	広渡博・誠子	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	62	〔葉書〕	昭和41	1	7	佐々木旭日方	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	63	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	小恒原文夫	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	64	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	広渡素一郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	65	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	田中丸益一	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	66	〔葉書〕	〔昭和40〕	12	30	秋山光材	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	67	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	香山満床郎	安高団兵衛	押し入れ等修理のお礼	葉書	1	
W	50	68	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	鶴原造□（不詳）	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	69	〔葉書〕	昭和41	1	1	梅林忠春	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	70	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	久野知□（不詳）	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	71	〔葉書〕	昭和41	1	1	福原勇	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	72	〔葉書〕	昭和41	1	1	内山昌亮	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	73	〔葉書〕	昭和41	1	1	安高保人詞	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	74	〔葉書〕	昭和丙午	1	1	石松恒芳外一同	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	75	〔葉書〕	昭和41	1	1	須知正和	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	76	〔葉書〕	昭和41	1	1	太田善胤	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	77	〔葉書〕	昭和41	1	1	石橋良之・玲子	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	78	〔葉書〕	昭和41	1	1	波田健三郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	79	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	菊本実	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	80	〔葉書〕	昭和41	1	1	内山昌亮	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	81	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	柴田喜次郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	82	〔葉書〕	昭和41	1	1	丸西輿運株式会社　吉浦英進	安高団兵ェ	年賀	葉書	1	
W	50	83	〔葉書〕	昭和41	1	1	安高保正・禎子	安高団兵衛・りきの	年賀	葉書	1	
W	50	84	〔葉書〕	昭和41	1	1	中村正広・ミチ子	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	85	〔葉書〕	昭和41	1	1	森山武夫	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	86	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	永島信三郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	50	87	〔葉書〕	昭和41	1	1	津山つる	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	88	〔葉書〕	昭和41	1	1	立花商会	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	89	〔葉書〕	昭和41	1	1	神谷莞爾	安高団兵ヱ	年賀	葉書	1	
W	50	90	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	兼松喜太郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	91	〔葉書〕	昭和41	1	1	重広新	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	92	〔葉書〕	昭和41	1	1	高群花子・高群博文	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	93	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	武田八郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	94	〔葉書〕	昭和41	1	1	渡辺正	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	95	〔葉書〕	昭和41	1	8	宇野より子	安高団兵衛	賀状のお礼	葉書	1	
W	50	96	〔葉書〕	昭和41	1	1	永田三郎・哲子	安高団兵衛・外御一同	年賀	葉書	1	
W	50	97	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	松村安馬	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	98	〔葉書〕	昭和41	1	1	水田市太郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	99	〔葉書〕	昭和丙午	1	1	林田守邦	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	100	〔葉書〕	昭和41	1	1	宮崎サト	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	101	〔葉書〕	丙午	1	1	石川重則	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	102	〔葉書〕	昭和41	1	1	岡湊神社宮司　林田守治	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	103	〔葉書〕	昭和41	1	1	藤山円蔵	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	104	〔葉書〕	昭和41	1	1	溝辺好一・環	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	105	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	佐藤弥十	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	106	〔葉書〕	昭和41	1	1	半田とき	安高団兵衛・奥様	年賀	葉書	1	
W	50	107	〔葉書〕	昭和41	1	1	秋山光見	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	108	〔葉書〕	昭和41	1	1	秋山光民	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	109	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	旅館泉屋	安高団兵衛・りきの	年賀	葉書	1	
W	50	110	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	小田万三郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	111	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	皆田ユキヱ	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	112	〔葉書〕	昭和41	1	1	権藤熊彦	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	113	〔葉書〕	昭和41	1	1	塚原たよ子	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	114	〔葉書〕	昭和41	1	1	藤枝秀身	安高団兵衛・皆々様	年賀	葉書	1	
W	50	115	〔葉書〕	昭和41	1	1	中村藤次郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	116	〔葉書〕	昭和41	1	1	藤枝秀之助・ゆき	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	117	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	梅崎美雄	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	118	〔葉書〕	昭和41	1	1	赤星一男・歌子	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	119	〔葉書〕	昭和41	1	1	西田広義	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	120	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	瓜生ふさの	安高団兵ヱ	年賀	葉書	1	
W	50	121	〔葉書〕	昭和41	1	1	中西勇雄	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	122	〔葉書〕	昭和41	1	1	吉田嘉一	安高団兵衛	年賀	葉書	1	日付は消印
W	50	123	〔葉書〕	昭和41	1	1	波多野正敏	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	124	〔葉書〕	昭和41	1	1	松本道子	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	125	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	伊豆英夫	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	126	〔葉書〕	昭和41	1	1	秋山光材	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	127	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	倉恒徳太郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	128	〔葉書〕	昭和41	1	1	鹿島守之助	安高団兵門	年賀	葉書	1	
W	50	129	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	荒巻きよ	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	130	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	溝口初男	安高団平	年賀	葉書	1	
W	50	131	〔葉書〕	昭和41	1	1	本田菊郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	132	〔葉書〕	うまとし	1	3	石橋つもる	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	133	〔葉書〕	昭和41	1	1	釼木亨弘	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	134	〔葉書〕	昭和41	1	2	秋山光見	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	135	〔葉書〕	昭和41	1	1	宮本武雄	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	136	〔葉書〕	昭和41	1	1	刀根善太郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	137	〔葉書〕	昭和41	1	1	芳村圭助	安高団兵衛	年賀	葉書	1	日付は受取人注記
W	50	138	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	石松トキ子	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	139	〔葉書〕	昭和41	1	1	和田友秀	安高団兵ヱ	年賀	葉書	1	
W	50	140	〔葉書〕	昭和41	1	1	浜中耕三郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	141	〔葉書〕	1966	1	1	○久本店　長野久一郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	50	142	〔葉書〕	66	1	1	吉田呉服店　吉田達雄	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	143	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	徳永勝一	安高団兵ヱ	年賀	葉書	1	
W	50	144	〔葉書〕	昭和41	1	1	浜中茂足	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	145	〔葉書〕	昭和41	1	1	桑原勇吉・桑原菊夫	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	146	〔葉書〕	昭和41	1	1	中西五郎六	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	147	〔葉書〕	昭和41	1	1	高光産業株式会社	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	148	〔葉書〕	昭和41	1	1	上田勇三郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	149	〔葉書〕	昭和41	1	1	吉川秀	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	150	〔葉書〕	皇紀2626	1	1	安高正義	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	151	〔葉書〕	昭和41	1	1	永田賀一	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	152	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	畠中直次	安高団兵衛・御一同	年賀	葉書	1	
W	50	153	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	高橋時計店　高橋清一	安高団兵衛・御一同	年賀	葉書	1	
W	50	154	〔葉書〕	昭和41	1	1	長崎秀雄	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	155	〔葉書〕	昭和41	1	1	長崎秀雄	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	156	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	広瀬光義	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	157	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	小野寛平	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	158	〔葉書〕	昭和41	1	1	山本佳子	安高団兵衛	年賀	葉書	1	日付は受取人注記
W	50	159	〔葉書〕	1966	1	1	辻守荘	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	160	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	麻生治正	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	161	〔葉書〕	昭和41	1	1	山鹿光世	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	162	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	伊豆清	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	163	〔葉書〕	昭和41	1	1	旅館九州　陣場正輝・トキヱ	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	164	〔葉書〕	昭和41	1	1	樋口宗利	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	165	〔葉書〕	昭和41	1	1	高田千代次	安高団兵衛・奥様	年賀	葉書	1	
W	50	166	〔葉書〕	昭和41	1	1	小嶋頼男	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	167	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	山田源太郎	安高団兵ェ	年賀	葉書	1	
W	50	168	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	大橋喜一	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	169	〔葉書〕	昭和41	1	1	安部商会　安部守雄	安高団兵衛	年賀	葉書	1	日付は受取人注記
W	50	170	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	1	堀春枝	安高団兵衛・りきの	年賀	葉書	1	
W	50	171	〔葉書〕	昭和41	1	1	山本金四郎	安高団兵衛	年賀	葉書	1	
W	50	172	〔葉書〕	昭和41	1	1	福岡ヤンマー販売株式会社遠賀川支店	粟屋生産組合	年賀	葉書	1	
W	51	1	〔葉書〕	昭和42	1	1	東京都府中市武蔵台　松尾平槌文子	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	2	〔葉書〕	昭和42	1	1	静岡県富士宮市白糸　内山昌亮	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	3	〔葉書〕	昭和42	1	1	高倉神社　宮司波多野正敏	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	4	〔葉書〕	昭和42	1	1	高光産業株式会社　会長妹尾悦輔他	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	5	〔葉書〕	昭和42	1	1	北九州市若松区浜二番町　津山つる	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	6	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町議会議員　坂田熊一	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	7	〔葉書〕	昭和42	1	1	白石太基　美寿子　智子	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	8	〔葉書〕	昭和42	1	1	水道課長　波多野正敏	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	9	〔葉書〕	昭和42	1	1	東京都練馬区下石神井　秋山光一	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	10	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町中の浜　久野和美	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	11	〔葉書〕	昭和42	1	1	山田屋旅館　山田淙太郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	12	〔葉書〕	昭和42	1	1	船頭町　上田久三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	13	〔葉書〕	昭和42	1	1	伊東市松原　秋山光見	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	51	14	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町山鹿　中西勇雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	15	〔葉書〕	昭和42	1	1	岡垣町緑ヶ丘　友納美治	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	16	〔葉書〕	昭和42	1	1	岡垣町吉木　広渡成男	福岡市吉塚九州大学附属第二内科病棟　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	17	〔葉書〕	昭和42	1	1	北九州市戸畑区夜宮　松本七郎道子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	18	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町　本郷芳香	福岡市九大病院内共新二内二安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	19	〔葉書〕	昭和42	1	1	平山流和歌朗詠会　高群花子博文	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	20	〔葉書〕	昭和42	1	1	北九州市小倉区到津新町　松村安馬	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	21	〔葉書〕	昭和42	1	1	石川重助	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	22	〔葉書〕	昭和42	1	1	東京都港区芝神谷町　神谷莞爾	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	23	〔葉書〕	昭和42	1	1	小倉区井堀町　塚原たよ子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	24	〔葉書〕	昭和42	1	1	和栗博	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	25	〔葉書〕	昭和42	1	1	大分県米水津村　佐藤弥十	福岡県芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	26	〔葉書〕	昭和42	1	1	熊本市黒髪町　藤本富士男	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	27	〔葉書〕	昭和42	1	1	日田市中央区　権藤熊彦	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	28	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町　兵道武一	福岡市九大附属病院内科共同病棟第二内科　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	29	〔葉書〕	昭和42	1	1	静岡県富士宮市白糸　内山昌亮	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	30	〔葉書〕	昭和42	1	1	旅館喜楽　一同	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	31	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町議会議長　浜中茂足	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	32	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町西浜　江島みな	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	33	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町西浜　江島徳	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	34	〔葉書〕	昭和42	1	1	遠賀町若松　小野藤右衛門	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	35	〔葉書〕	昭和42	1	1	吉田呉服店	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	36	〔葉書〕	昭和42	1	1	大分市安藤　甲斐清馬	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	37	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町西浜町　黒山高麿	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	38	〔葉書〕	昭和42	1	1	福岡市名島　桑原勇吉　菊夫	福岡市千代町九大内科第二新病棟二室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	39	〔葉書〕	昭和42	1	1	北九州市小倉区到津新町　松村安馬	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛　御家族	年賀状	葉書	1	
W	51	40	〔葉書〕	昭和42	1	1	中野区中野　橘喜朔	福岡県芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	41	〔葉書〕	昭和42	1	1	岡湊神社宮司　林田守治	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	42	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町中の浜　安部商会　安部守雄	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	43	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町西浜町　森山武夫	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	44	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町中ノ浜　吉永光雄	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	45	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町正門町　黒山てる	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	51	46	〔葉書〕	昭和42	1	1	久留米市櫛原町　酒井善左衛門	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	47	〔葉書〕	昭和42	1	1	セト薬局　瀬戸正広　峰子	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	48	〔葉書〕	昭和42	1	1	戸畑区天神　永田加津恵	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	49	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町西浜町　梅林忠春　美代子　庸子　詔子	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	50	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町山鹿　三村俊蔵	福岡市九大附属病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	51	〔葉書〕	昭和42	1	1	東京都世田谷区喜多見町　岡部得三	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	52	〔葉書〕	昭和42	1	1	東京都港区赤坂　黒田長礼	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	53	〔葉書〕	昭和42	1	1	遠賀町広渡　重広新	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	54	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町　芳村圭助	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	55	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町中の浜　榎枝卯七	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	56	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町船頭町　佐々木□国	福岡市九大附属病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	57	〔葉書〕	昭和42	1	1	東京都杉並区阿佐谷　藤枝秀之助　ゆき	福岡市九大附属病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	58	〔葉書〕	昭和42	1	1	福岡県遠賀保護区保護司　福原勇	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	59	〔葉書〕	昭和42	1	1	福岡市南大橋町　中村正広	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	60	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町山鹿　畑野善亮	福岡市大学通り新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	61	〔葉書〕	昭和42	1	1	直方市上垣野　石橋良之	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	62	〔葉書〕	昭和42	1	1	北九州市小倉区日明　牛島貞己　恵美子	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	63	〔葉書〕	昭和42	1	1	若松区小竹　中山司	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	64	〔葉書〕	昭和42	1	1	足立区花畑　安高保正　禎子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状　帰郷予定	葉書	1	
W	51	65	〔葉書〕	昭和42	1	1	浜口町　皆田ユキエ	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	66	〔葉書〕	昭和42	1	1	遠賀町尾崎　安部良　富枝	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	67	〔葉書〕	昭和42	1	1	宗像郡宗像町　伊豆英夫	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	68	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町山鹿　浜中耕三郎	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	69	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町山鹿　中西雅由　みどり他	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	70	〔葉書〕	昭和42	1	1	遠賀町鬼津　太田善胤	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	71	〔葉書〕	昭和42	1	1	福岡県東京事務所　吉川秀	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	72	〔葉書〕	昭和42	1	1	北九州市八幡区清田町　安武タマ	福岡市九大附属病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	73	〔葉書〕	昭和42	1	1	公認会計士　花田七五三	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	51	74	〔葉書〕	昭和42	1	1	岡垣町元松原　広渡一敬	福岡市九大病院第二内科新病棟　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	75	〔葉書〕	昭和42	1	1	遠賀町木守　溝辺好一　環	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	76	〔葉書〕	昭和42	1	1	遠賀郡山鹿　野口イト	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	77	〔葉書〕	昭和42	1	1	安養寺　富士原劉城	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	78	〔葉書〕	昭和42	1	1	北九州市八幡区本城　大庭善三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	79	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町浜口　堀春枝	福岡市九大医学部附属病院内共新二内二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	80	〔葉書〕	昭和42	1	1	岡垣町　岡部明美	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	81	〔葉書〕	昭和42	1	1	遠賀町別府　永田賢一	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	82	〔葉書〕	昭和42	1	1	京都市左京区　森本政次郎	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	83	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町助役　熊野太郎	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	84	〔葉書〕	昭和42	1	1	三原朝雄秘書　竹内初男　康子	福岡県遠賀郡芦屋町大城　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	85	〔葉書〕	昭和42	1	1	伊東市松原　秋山光見	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	86	〔葉書〕	昭和42	1	1	大分県臼杵市　広瀬光義	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	87	〔葉書〕	昭和42	1	1	東京都港区芝神谷町　山本武	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	88	〔葉書〕	昭和42	1	1	中間市大辻　島田マツノ	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	89	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町西浜町　岡本まさ▪	福岡市九大病院内科共同新病棟二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	90	〔葉書〕	昭和42	1	1	東京都小平市花小金井　西田広義	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	91	〔葉書〕	昭和42	1	1	武田与八郎	遠賀郡芦屋町芦屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	92	〔葉書〕	昭和42	1	1	北九州市小倉区井堀町　塚原秀蔵	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	93	〔葉書〕	昭和42	1	1	小金井市　安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　りきの	年賀状	葉書	1	
W	51	94	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町山鹿　岩崎誉次	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	95	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町山鹿　波多野邦夫	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	96	〔葉書〕	昭和42	1	1	岡垣町　辻守荘	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	97	〔葉書〕	昭和42	1	1	京都市左京区　森本政次郎	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	98	〔葉書〕	昭和42	1	1	八幡区本城　小田万三郎	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	99	〔葉書〕	昭和42	1	1	安高鶴雄	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	100	〔葉書〕	昭和42	1	1	タクボ歯科医院　田窪友博	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	101	〔葉書〕	昭和42	1	1	福岡市桑原　重松千年	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	102	〔葉書〕	昭和42	1	1	岡垣町吉木　麻生治正	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	103	〔葉書〕	昭和42	1	1	渋谷区本町　鈴木康次	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	51	104	〔葉書〕	昭和42	1	1	福岡市上若久町　畠中直次　初子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛御一同	年賀状	葉書	1	
W	51	105	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町高浜町　木田菊郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	106	〔葉書〕	昭和42	1	1	北九州市戸畑区天神　藤山円蔵	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	107	〔葉書〕	昭和42	1	1	菊本ニッポン服装社　菊本実	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	108	〔葉書〕	昭和42	1	1	上益城郡益城町　永田三郎	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	109	〔葉書〕	昭和42	1	1	立花商会　立花喜太郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	110	〔葉書〕	昭和42	1	1	白浜町　波田健三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	111	〔葉書〕	昭和42	1	1	北九州市小倉区常磐町　秋山光民	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	112	〔葉書〕	昭和42	1	1	水巻町頃末　渡辺正	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	113	〔葉書〕	昭和42	1	1	竜王　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	114	〔葉書〕	昭和42	1	1	相知町　高田千代次	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	115	〔葉書〕	昭和42	1	1	義仲寺史蹟保存会　大庭勝一	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	116	〔葉書〕	昭和42	1	1	渋谷区本町　鈴木康次	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　御一同	年賀状	葉書	1	
W	51	117	〔葉書〕	昭和42	1	1	糟屋郡古賀町　長崎秀雄	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	118	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町西浜町　中西五郎六	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	119	〔葉書〕	昭和42	1	1	東亜工業株式会社　社長樋口宗利	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	120	〔葉書〕	昭和42	1	1	新生舎　代表津田為次	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	121	〔葉書〕	昭和42	1	1	宗像郡福間町　松尾豊	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	122	〔葉書〕	昭和42	1	1	佐賀県基山町　山本重四郎	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	123	〔葉書〕	昭和42	1	1	大本山九州成田不動尊	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	124	〔葉書〕	昭和42	1	1	旅館九州　陣場正輝　ﾄｷｴ	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	125	〔葉書〕	昭和42	1	1	八幡区本城大浦　香山満寿郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	126	〔葉書〕	昭和42	1	1	石橋つもる	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	127	〔葉書〕	昭和42	1	1	福岡市白金　伊豆清	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	128	〔葉書〕	昭和42	1	1	平戸市岩の上　山鹿光世	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	129	〔葉書〕	昭和42	1	1	鶴原造園　鶴原吉平　鶴原真一	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	130	〔葉書〕	昭和42	1	1	直方市古町　椛田清太郎　くに子	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	131	〔葉書〕	昭和42	1	1	参議院議員　野知浩之他	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	132	〔葉書〕	昭和42	1	1	参議院議員　米田正文	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	133	〔葉書〕	昭和42	1	1	航空自衛隊芦屋基地司令空将補　緒方奨	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	51	134	〔葉書〕	昭和42	1	1	航空自衛隊芦屋基地広報班長　富永毅	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	135	〔葉書〕	昭和42	1	1	航空自衛隊芦屋警務分遣隊　川原茂	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	136	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町西浜町　吉田徳蔵	福岡市九大病院第二内科新病棟　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	137	〔葉書〕	昭和42	1	1	東京都中野区上高田　河村たか	福岡市九大病院内共新二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	138	〔葉書〕	昭和42	1	1	株式会社玄洋社社長　重岡重俊	福岡市九大病院内共新二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	139	〔葉書〕	昭和42	1	1	宗像郡玄海町　永島伝三郎	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	140	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町西浜町　北村志賀	福岡市九大病院内科新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	141	〔葉書〕	昭和42	1	1	二島　水田市太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	142	〔葉書〕	昭和42	1	1	福山市城見町　大室靖之　大室利三郎	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	143	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町　長野佐二郎	福岡市九大病院内科共同新病棟　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	144	〔葉書〕	昭和42	1	2	あしや町山鹿　藤本寿秋子	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	日付は消印
W	51	145	〔葉書〕	昭和42	1	1	府中市武蔵台　松尾平槌	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状の礼	葉書	1	
W	51	146	〔葉書〕	昭和42	1	2	日田市中央区　権藤熊彦	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	病院滞在について問い合わせ	葉書	1	日付は消印
W	51	147	〔葉書〕	昭和41	12	30	伊丹市　兼松喜太郎	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	病状問い合わせと自分の病状、近況報告	葉書	1	
W	51	148	〔葉書〕	昭和42	1	1	新生舎　代表津田為次	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	149	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町役場民生課衛生係　和田友秀	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	150	〔葉書〕	昭和42	1	1	宗方町　中村彦三郎	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	151	〔葉書〕	昭和41	12	25	石松周	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	父親死亡の通知	葉書	1	
W	51	152	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町中ノ浜　入江栄	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	153	〔葉書〕	昭和42	1	1	北九州市八幡区黒崎　岩崎正次郎	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状と入院事情の問い合わせ	葉書	1	
W	51	154	〔葉書〕	昭和42	1	1	半田とき	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	155	〔葉書〕	昭和42	1	3	芦屋町中ノ浜　高山正吉	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	日付は消印
W	51	156	〔葉書〕	昭和42	1	1	参議院議員　亀井光	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	157	〔葉書〕	昭和42	1	1	唐津市呉服町　大橋喜一	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	158	〔葉書〕	昭和42	1	1	福岡市飯倉　塩足にさ	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	159	〔葉書〕	昭和42	1	1	熊本県阿蘇郡阿蘇町　小島頼男	福岡県若松市芦屋区粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	160	〔葉書〕	昭和42	1	1	芦屋町長　中西森之助	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	51	161	〔葉書〕	昭和42	1	7	岡垣町緑ヶ丘　友納美治	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	病気見舞と爆音被害事件について報告	葉書	1	日付は消印
W	51	162	〔葉書〕	昭和42	1	5	八幡区本町　福田恵一	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	日付は消印
W	51	163	〔葉書〕	昭和42	1	1	八幡区石坪町　広渡寿雄	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	破損
W	51	164	〔葉書〕	昭和42	1	1	府中市紅葉ヶ丘　須知正和	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	絵葉書	1	
W	51	165	〔葉書〕	昭和42	1	1	徳信工芸社　徳永勝一	福岡市九大病院共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	166	〔葉書〕	昭和42	1	2	飯塚市吉宗町　荒巻きよ	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状の礼と近況	葉書	1	日付は消印
W	51	167	〔葉書〕	昭和42	1	1	北九州市小倉区堅町　田中丸益一	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	168	〔葉書〕	昭和42	1	7	八幡区清納町　白石芳子	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	日付は消印
W	51	169	〔葉書〕	昭和42	1	8	大分県米水津村　佐脇弥十	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	病気見舞	葉書	1	日付は消印
W	51	170	〔葉書〕	昭和42	1	5	伊丹市　兼松喜太郎	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	51	171	〔葉書〕	昭和42	1	7	北九州市若松区原町　吉浦英信	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	病気見舞	葉書	1	
W	51	172	〔葉書〕	昭和42	1	13	東京都杉並区阿佐谷北　藤枝秀之助　ゆき	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	病状見舞と保正長男出産報告	葉書	1	
W	51	173	〔葉書〕	昭和42	1	12	福岡県第一信用組合理事長　長崎秀雄	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	輜友会会員小野寅平死亡の連絡	葉書	1	日付は消印
W	51	174	〔葉書〕	昭和42	1	11	宗像郡宗像町吉留　伊豆英夫	福岡市九大病院内科共同新病棟二内科二号室　安高団兵衛	病状見舞	葉書	1	日付は消印
W	51	175	〔葉書〕	昭和42	1	12	岡湊神社宮司　林田守治	粟屋　安高団兵衛	正祭挙行の通知	葉書	1	
W	52	1	〔葉書〕	〔昭和41〕	〔7〕	〔4〕	遠賀郡水巻町　渡辺正	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	7月1日の大雨、被害は如何だったでしょうか	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	52	2	〔葉書〕	〔昭和41〕	7	6	大分市明治二目川　小野寛平	福岡市九大医学附属病院内科共同新病棟2号室　安高団兵衛	お見舞い状	葉書	1	年は消印
W	52	3	〔葉書〕	昭和41	盛夏		宅地・建物取引業建設省公認立花商店	福岡県遠賀郡芦屋町字芦屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	52	4	〔葉書〕				芦屋仏教教会々長　瓜生幸俊	町内粟屋　安高団兵衛	キャンプの御案内	葉書	1	
W	52	5	〔葉書〕	昭和丙午	盛夏		北九州市八幡区中央町1丁目株式会社玄洋社　重岡重俊	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	52	6	〔葉書〕		盛夏		福岡県遠賀郡芦屋町幸町　入江勝	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	52	7	〔葉書〕	〔昭和41〕	〔7〕	〔14〕	遠賀郡芦屋町　本脇芳春	福岡市九大附属病院内科共同新病棟2号　安高団兵衛	お見舞い状	葉書	1	日付は消印
W	52	8	〔葉書〕	昭和41	盛夏		遠賀郡水巻町　渡辺正	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	52	9	〔葉書〕	昭和41	盛夏		参議院議員農学博士　野知浩之	福岡市堅粕1276九大医学部付属病院二内科新病棟　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	52	10	〔葉書〕	昭和41	盛夏		北九州市小倉区香春口6丁目東亜工業株式会社	福岡市堅粕1276九大医学部付属病院二内科新病棟　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	52	11	〔葉書〕	昭和41	盛夏		福岡県遠賀郡遠賀町大字広渡1687　重広新	福岡市九大付属病院二内科2号室　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	52	12	〔葉書〕		盛夏		宗像郡玄海町神湊　永島伝三郎	福岡市九大付属病院二内科2号室　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	52	13	〔葉書〕		盛夏		福岡県遠賀郡蘆屋町　久野知英	福岡市九大付属病院新病棟二内科2号室　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	52	14	〔名刺〕				錦・黄金鯉養魚場　吉田富士造			葉書	1	
W	52	15	〔葉書〕	昭和41	盛夏		福岡県糟屋郡古賀町大字古賀755　長崎秀雄	福岡市九大付属病院新病棟二内科2号室　安高団兵衛	暑中見舞	葉書	1	
W	52	16	〔葉書〕		7	25	北九州小倉区井堀町1丁目　塚原たよ子	福岡市九大付属病院内科共同新病棟二内科2号室　安高団兵衛	お見舞い状	葉書	1	
W	52	17	〔書簡〕	〔昭和41〕	〔7〕	〔28〕	りきの	父上	お見舞い	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	52	18	〔葉書〕	〔昭和41〕	8	18	芦屋町西浜町　瓜生ふさの	福岡市九大病院内　安高団兵衛	西瓜のお礼	葉書	1	
W	52	19	〔葉書〕		8	21	遠賀郡芦屋町山鹿三軒や　畑野善亮	福岡市九大医学附属病院内科共同新病棟　安高団兵衛	大庭君の事故の件	葉書	1	
W	52	20	〔葉書〕				遠賀郡芦屋町山鹿　陣内繁太郎	福岡市九大病院内　安高団兵衛	残暑お見舞い	葉書	1	
W	52	21	〔葉書〕		8	26	芦屋町西浜町　瓜生ふさの	福岡市九大医学部附属病院内安高団兵衛	病気見舞	葉書	1	
W	52	22	〔葉書〕				遠賀郡芦屋町粟屋　三原熊壮	福岡市九大病院内　安高団兵衛	病気見舞	葉書	1	
W	52	23	〔葉書〕				遠賀郡芦屋町山鹿　陣内繁太郎	福岡市九大医学部附属病院　安高団兵衛	病気見舞	葉書	1	
W	52	24	〔葉書〕		8	29	遠賀郡芦屋町山鹿　三村俊蔵	福岡市九大医学部附属病院　安高団兵衛	病気見舞	葉書	1	
W	52	25	〔葉書〕			30	芦屋町浜口　堀春枝	福岡市九大病院内　安高団兵衛	病気見舞	葉書	1	
W	52	26	〔葉書〕	昭和41	9	6	遠賀郡芦屋町船頭町　北村恭之・芦屋町社会福祉協議会会長　中西森之助	福岡市九大病院　安高団兵衛	会葬礼状	葉書	1	
W	52	27	〔葉書〕	昭和41	8	25	遠賀郡芦屋町中ノ浜　安部進・芦屋町社会福祉協議会会長　中西森之助	福岡市九大医学部附属病院　安高団兵衛	会葬礼状	葉書	1	
W	52	28	〔葉書〕		9	5	遠賀郡芦屋町西浜町　黒山高井麿	福岡市九州大学医学部附属病院　安高団兵衛	病気見舞	葉書	1	
W	52	29	〔葉書〕				小島	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	病気見舞	葉書	1	
W	52	30	〔葉書〕		9	8	福岡市西春町　半田とき	福岡市九大医学部附属病院　安高団兵衛	病気見舞	葉書	1	
W	52	31	〔葉書〕		9	10	遠賀郡芦屋町山鹿　三村俊蔵	福岡市九大医学部附属病院　安高団兵衛	病気見舞	葉書	1	
W	52	32	〔葉書〕		9	13	福岡市西春　半田	福岡市九大病院　安高団兵衛	病気見舞	葉書	1	
W	52	33	〔葉書〕		9	9	北九州市小倉区　塚原たよ子	福岡市九大病院　安高団兵衛	病気見舞	葉書	1	
W	52	34	〔葉書〕		9	14	遠賀郡芦屋町山鹿　三村俊蔵	福岡市九大医学部附属病院　安高団兵衛	26日に執行することに決定したので御連絡	葉書	1	
W	52	35	〔葉書〕		9	16	遠賀郡芦屋町　安高久米吉	福岡市大学病院　安高団兵衛	お礼と病気見舞	葉書	1	
W	52	36	〔葉書〕				北九州市戸畑区天神　藤山円蔵・佐々木妙子	福岡県遠賀郡芦屋町芦屋　安高団兵衛	病気見舞	葉書	1	
W	52	37	〔葉書〕	昭和41	9		東京都港区南青山5丁目　大庭勝一	福岡県芦屋町粟屋　安高団兵衛	残暑お見舞い	葉書	1	
W	52	38	〔葉書〕				遠賀郡芦屋町　北村志賀	九大病院　安高団兵衛	病気見舞	葉書	1	
W	52	39	〔葉書〕				安高りきの	福岡市九大医学部附属病院内安高団兵衛	病気見舞（何でも買って食べなさい）	葉書	1	
W	52	40	〔葉書〕		9	22	芦屋町　本郷芳香	福岡市箱崎九大病院　安高団兵衛	病気見舞	葉書	1	
W	52	41	〔葉書〕						未使用	葉書	4	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	53	1	〔葉書〕	昭和14	12		八幡市八王寺町　出利葉国次郎　常夫	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	喪中につき年賀欠礼	葉書	1	
W	53	2	〔葉書〕	昭和14	12	25	朝鮮　日毛緬羊牧場　韓竜□	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況報告	葉書	1	日付けは消印
W	53	3	〔葉書〕	昭和15	1	1	芦屋町山鹿　中西市郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	53	4	〔葉書〕	昭和15	1	1	久留米市長門石町　執行伊太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	53	5	〔葉書〕	昭和15	1	1	山口県俵山温泉　山口屋	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	53	6	〔葉書〕	昭和15	1	1	折尾町本城　小田充雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	53	7	〔葉書〕	昭和15	1	1	南支派遣軍久納部隊中村悌二隊　木庭盈	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	絵葉書	1	軍事郵便
W	53	8	〔葉書〕	昭和15	1	1	芦屋町柏原　亀津藤太郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	53	9	〔葉書〕	昭和15	1	1	中西伝次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状　奉祝戦捷ノ春　祈皇軍勇士ノ春	葉書	1	
W	53	10	〔葉書〕	昭和15	1	1	西田芳次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	53	11	〔葉書〕	昭和15	1	1	山田源太郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	53	12	〔葉書〕	昭和15	1	1	折尾町　波多野倉吉	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	53	13	〔葉書〕	昭和15	1	1	松田旅館　持永寅男	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	53	14	〔葉書〕	昭和15	1	1	宗像郡神湊　永島伝三郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	53	15	〔葉書〕	昭和15	1	1	村田二郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	53	16	〔葉書〕	昭和15	1	1	八幡市黒崎西岡田町　伊豆敏雄	遠賀郡芦屋町粟屋　安高福造	年賀状	葉書	1	
W	53	17	〔葉書〕	昭和15	1	1	遠賀村　和田弘夫	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛　正義	年賀状	葉書	1	
W	53	18	〔葉書〕	昭和15	1	1	遠賀郵便局　加藤慶太	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	53	19	〔葉書〕	昭和15	1	1	岡垣村糠塚　入江節雄	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	53	20	〔葉書〕	昭和15	1	1	水巻村農産物配給所　堀山敏夫	芦屋町粟屋　安宅団平	年賀状	葉書	1	
W	53	21	〔葉書〕	昭和15	1	7	第十三航志崎八分隊　小野確雄	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀挨拶と近況	葉書	1	軍事郵便、日付は消印
W	53	22	〔葉書〕	昭和15	1	5	此木部隊高の隊　入江初夫	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀と近況	葉書	1	軍事郵便
W	53	23	〔葉書〕	昭和15	1	17	満州国北安省野口部隊村上部隊　本田増往	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状の礼	絵葉書	1	軍事郵便、日付は団兵衛メモ
W	53	24	〔葉書〕	昭和15	1	11	三江省鶴岡炭礦総務課　伊豆清	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	新年挨拶と近況報告	葉書	1	
W	53	25	〔葉書〕	昭和15	1	9	石田善四郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	会葬礼状	葉書	1	
W	53	26	〔葉書〕	昭和15	1	14	遠賀村　村田三郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	滞在中の礼と近況報告	葉書	1	
W	53	27	〔葉書〕	昭和15	1	1	満州国黒河省入江部隊川口隊石井隊　太田国夫	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	軍事郵便
W	53	28	〔葉書〕	昭和15	1	1	香月運蔵	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	53	29	〔葉書〕	昭和15	1	1	臨時第一陸軍病院　三原稔	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	病状報告	葉書	1	
W	53	30	〔葉書〕	昭和15	1	1	八幡市西本町　小田勝吉	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	53	31	〔葉書〕	昭和15	1	5	重岡長市	芦屋町粟屋　安高団兵衛	会葬礼状	葉書	1	
W	53	32	〔葉書〕	昭和15	1	1	奉天紅葉町　広渡成男　久枝	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	53	33	〔葉書〕	昭和15	1	1	坑木商　小田商店	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	53	34	〔葉書〕	昭和15	1	1	大連市聖徳街　本田谷之	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	53	35	〔葉書〕	昭和15	1	1	大連市聖徳街　本田キクエ	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高リキ	年賀状	葉書	1	
W	53	36	〔葉書〕	昭和14	12	30	大庭製作所　大庭延治	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	喪中につき年賀欠礼	葉書	1	日付けは消印
W	53	37	〔葉書〕	昭和15	1	1	占部岩夫	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	絵葉書	1	
W	53	38	〔葉書〕	昭和15	1	1	東京目黒　本田虎雄	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	53	39	〔葉書〕	昭和15	1	1	阿蘇郡内牧町　小島頼男	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	53	40	〔葉書〕	昭和15	1	1	岡村部隊金沢部隊石原隊本部田中栄吉	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	軍事郵便
W	53	41	〔葉書〕	昭和14	10	19	北支派遣軍平田部隊此木部隊高野隊　入江初夫	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	軍事郵便、日付けは消印
W	53	42	〔葉書〕	昭和15	1	1	倉垣茂雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	53	43	〔葉書〕	昭和15	1	1	福岡市浜田町　平木善三郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	53	44	〔葉書〕	昭和15	1	1	直方市畑　安田良市	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	54	1	〔葉書〕	昭和15	4	21	福岡県直方市上頓野　石橋玲子	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛殿	父石橋開蔵葬儀への弔電の御礼	葉書	1	封筒あり
W	54	2	出征現役軍人遺家族慰安　御招待券	昭和15	4	1	蘆屋かもめ会	安高福蔵殿		紙	1	印刷。封筒あり
W	54	3	〔書簡〕	昭和15	4(3)	30	八幡市不老町四丁め　吉田清	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	金婚式の御祝いに金子送付の事	罫紙	1	封筒あり。推定月は消印
W	54	4	〔書簡〕	昭和14	7	23	安高スマ子（佐世保市松川町二一六）	兄上様（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛）	滞在中の御世話や御土産への御礼、	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり。年月日は消印
W	54	5	速達、航空、別配達便の改正と其利用	昭和14	7	1	熊本逓信局		郵便物の差出方法・取扱料金などについて	紙	1	印刷
W	54	6	電報送達紙	昭和14	7	14	（佐世保市繁治郎）	アシヤマチアワヤ　アダカフクゾウ（芦屋町粟屋　安高福蔵）	アスアサアワヤニツクシゲジ（明日朝粟屋に着く　繁治）	電報	1	
W	54	7	〔書簡〕	昭和14	6	7	安高スマ子（佐世保市松川町二一六）	兄上（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛）	先日御出の節の件について、夏野菜の御礼、写真同封の事	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり。年月日は消印
W	54	8	〔書簡〕	昭和14	11	13	スマ子（佐世保市松川町二一六）	兄上（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛）	主人の目は今の所悪い様でもなく入院はしない事、私の手術費用借用の件ほか	罫紙	1	罫紙5枚。封筒あり。年は消印
W	54	9	〔封筒〕	〔昭和14頃〕						封筒	1	封筒上書「御見舞之印」。安高団兵衛による受領書簡の内容メモなどあり
W	54	10-1	耕地支障木伐採願	昭和11	4		遠賀郡蘆屋町大字蘆屋　安高団兵衛（印）・安高幸治郎		国有林の枝条により字蘆屋浜の民有耕地毎年被害を被るにつき伐採方御取計い願	罫紙	1	10-1～14封筒一括
W	54	10-2	売払承諾通知書	昭和11	6	24	直方営林署長（印）	芦屋町芦屋本田惣吉外一五人代人兼　安高団兵衛	芦屋浜クロマツほか248束、代10円余にて売払承諾の事	紙	1	
W	54	10-3	〔人別松木束数ほか書上〕	〔昭和11〕			（安高団兵衛）		安高団兵衛ほか16名薪代金10円余書上	罫紙	1	W54-10-3～5同折
W	54	10-4	諸費用	〔昭和11〕			（安高団兵衛）		酒・世話人礼金ほか代金諸費用合計金29円余書上	罫紙	1	
W	54	10-5	八月七日迄ニ搬出シ得ザル束数届出	〔昭和11〕			（安高団兵衛）		安高団兵衛ほか6名計92束書上	罫紙	1	
W	54	10-6	〔人別木材束数書上〕	〔昭和11〕			（安高団兵衛）		小田福太郎ほか6名計92束書上	罫紙	1	10-6～14封筒一括
W	54	10-7	耕地支障木伐採費用一切	〔昭和11〕			（安高団兵衛）		世話人安高太四郎氏への御礼ほか代金書上	罫紙	1	裏に伐採数値検査表あり
W	54	10-8	領収証書	昭和11	7	3	日本銀行直方代理店（印）	安高団兵衛納	クロマツほか特売代金10円余書上	紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	54	10-9	〔材木売買契約書案文〕	昭和11	6	11	(安高団兵衛)		材木売払案内・買受申込書ほか	紙	1	蘆屋高報第19号(昭和10年12月)の裏使用。付箋1枚紙留め(針)にて付属(10円以上に非ざれば処方致し難き事)
W	54	10-10	記	昭和11	5	5	銘酒年乃梅醸造元　蘆屋町　新玉酒場	安高	酒1升代1円受取	紙	1	
W	54	10-11	記	昭和11	5	5	海産物・蒲鉾・煎子　筑前蘆屋港「○久」長野商店	安高	此白10尾代80銭受取	紙	1	
W	54	10-12	小為替金受領証書	昭和11	7	2			金10円余受領	紙	1	
W	54	10-13	特殊通常郵便物受領証	昭和11	6	23	芦屋郵便局	芦屋　安高団兵衛	受取人直方営林署長、郵便料13銭	紙	1	
W	54	10-14	特殊通常郵便物受領証	昭和11	7	2	芦屋郵便局	芦屋町　安高団兵衛	受取人直方日本銀行代理店、郵便料13銭	紙	1	
W	54	11-1	〔書簡〕	〔昭和戦前期〕			財団法人軍人会館出版部(東京市麹町区九段一ノ五)	誌友各位(安高団兵衛)	雑誌戦友前金切れにつき振込願い	紙	1	印刷。11-1～3封筒一括
W	54	11-2	〔雑誌広告〕	〔昭和戦前期〕			東京九段　軍人会館出版部		『戦友』・『我か家』の広告、帝国在郷軍人会々歌の歌詞・楽譜	紙	1	印刷
W	54	11-3	〔雑誌広告〕	〔昭和戦前期〕			東京麹町区九段一ノ五　財団法人軍人会館出版部		『訓練』の広告、訓練歌の歌詞・楽譜	紙	1	印刷
W	54	12	〔通知〕	〔昭和戦前期〕	10	28	吉田三郎・石橋開蔵(福岡県直方市上頓野)	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	大統社工業塾教師山本三男氏国境ノムハン(ママ)の激戦にて戦死致すにつき葬儀日時など通知	紙	1	印刷。封筒あり
W	54	13	〔書簡〕	皇紀2595	10	28	岸保夫(南支派遣久納部隊井場部隊古賀隊吉村隊)	安高団兵衛様・御家内御一同々(福岡県遠賀郡芦屋町粟屋)	慰問や班の共同作業など軍隊生活について	罫紙	1	罫紙3枚。封筒あり。検閲済
W	54	14	〔書簡〕	昭和14	12	24	小田勝吉(八幡市西本町九丁目)	安高団兵衛様(遠賀郡芦屋町字粟屋)	戦死者中間町故河合忠若氏の墓所・遺家族の居所など御教え願い	罫紙	1	封筒あり
W	54	15-1	〔書簡〕	〔昭和14頃〕			愚人恵啓拝(中小路区古賀恵啓)	安高様(芦屋町粟屋区)	今後共御誘導御鞭撻御願い申し上げる事、我が宗祖の教訓同封の事	罫紙	1	W54-15-1、2封筒一括
W	54	15-2	日蓮聖人訓　新池御所	〔昭和14頃〕			(古賀恵啓)			罫紙	1	罫紙4枚
W	54	16	〔書簡〕	昭和14	10	22	川下熊四郎(筑前若松市小石)	安達(ママ)団兵(ママ)(遠賀郡芦屋町粟屋)	飛行場よりも筑港に重きを置き、大規模筑港実現のため吉田三郎氏を町長にするよう協力願い	罫紙	1	罫紙3枚。封筒あり。年は消印
W	54	17	〔書簡〕	昭和14	9	11	太田達雄(福岡県遠賀郡岡垣村手野)	安高団平(遠賀郡芦屋町粟屋)	県議会選挙への支援願い	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり。年は消印
W	54	18	〔書簡〕	昭和14	9	18	小田充雄(福岡県折尾町字本城)	安高団兵衛(芦屋町粟屋)	県議会選挙への支援願い	罫紙	1	封筒あり。年は消印
W	54	19	〔書簡〕	昭和24	3	3	安高正義(若松市海岸通り三丁目不二海事工業所内)	父上・母上(山口県湯本大津郡俵山温泉岡島旅館内　安高団兵衛)	レントゲン検査の結果は異常なかった事、金千円同封の事ほか	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
W	54	20	〔書簡〕	昭和16	12	23	津山つる(若松市浜二ノ二)	安高(遠賀郡芦屋町　安高団兵衛)	明日刀根まで使いを出すにつき御逢い下され度事	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり。年月日は消印。郵便料金受領証1枚封筒に貼付(速達不足料金22銭受領)
W	54	21	御願状	昭和19	3	20	恵啓(芦屋町古賀恵啓)	安高団兵衛(芦屋町粟屋町)	長遠寺へ850円返戻しの件などにつき御協力願い	罫紙	1	罫紙5枚。封筒あり
W	54	22	〔葉書〕	昭和14	12	28	佐世保市松川町二一六　安高すま子	福岡県遠賀郡芦屋町アワヤ　安高団兵衛	帰省日時のお知らせ	葉書	1	
W	54	23	〔葉書〕	昭和14	10	29	佐世保市松川町二一六　安高すま子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・皆々	帰佐の節の御心遣いなどへの御礼ほか	葉書	1	
W	54	24	〔葉書〕	皇紀2599	10	25	佐世保海軍病院三号病舎　安高重二琅	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	退院のお知らせ	葉書	1	
W	54	25	〔葉書〕	昭和14	10	18	岡垣村糠塚　入江節雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛・外御一同	来る21日の当地おくんちの案内	葉書	1	年は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	54	26	〔葉書〕	〔昭和14頃〕			黒崎西岡田町　広渡素一郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	今回の応召を拝受し、8月15日黒崎より小倉へ入営致すにつきお知らせ	葉書	1	
W	54	27	〔絵葉書〕	昭和14	8	26	北支派遣平田部隊気付此木部隊高野隊　入江初夫	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	○○省の山岳地帯にて討伐に参加致して居る事ほか近況報告	絵葉書	1	陸軍恤兵部発行・和田香苗氏筆「爆撃の跡」の絵葉書
W	54	28	〔葉書〕	昭和14	10		中支金沢部隊古川隊横山実	福岡県遠賀郡芦屋町　安高国(ママ)兵衛	近々帰還の予定につきお知らせ	葉書	1	印刷
W	54	29	〔葉書〕	昭和14	11	2	八幡市中本町四丁目　本田金蔵	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	御見舞金の御礼、小生の病気は快方にむかいし事	葉書	1	年は消印
W	54	30	〔葉書〕	昭和14	6	3	北支派遣平田部隊此木部隊高野隊　入江初夫	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	衛生部員として奮闘中のほか近況報告	葉書	1	検閲済
W	54	31	〔葉書〕	昭和14	5	1	南支派遣久納部隊中島部隊黒田隊　入江勝	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	時候挨拶	葉書	1	検閲済
W	54	32	〔絵葉書〕	昭和14	7	8	中島徳部隊高木隊　小野岩雄	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	時候挨拶	絵葉書	1	陸軍恤兵部隊発行・武内英男氏筆「蘇州城外横塘の亭子橋」の絵葉書
W	54	33	〔葉書〕	昭和14	7	9	東京市京橋区石川島造船所内第十三号掃海艇艤装員事務所小野？雄	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況報告	葉書	1	年は消印。？は「石」＋「又」
W	54	34	〔葉書〕	〔昭和14頃〕	7	19	南支派遣久納部隊本部経理部小野利則	福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋　安高団兵衛	小生出発時の餞別などの御礼ほか	葉書	1	
W	54	35	〔絵葉書〕	昭和14	盛夏(7)		南支派遣久納部隊長谷川部隊井上隊　内田栄蔵	福岡県遠賀郡蘆屋町大字芦屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	検閲済
W	54	36	〔葉書〕	昭和14	盛夏(7)		久納部隊中島部隊菅隊　二村寛市	福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	検閲済
W	54	37	〔絵葉書〕	昭和14	7	23	中支派遣軍岡村(寧)部隊丸山(八)部隊馬場様　堀江房吉	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	絵葉書		検閲済。陸軍恤兵部隊発行「日本兵士と支那小児」の絵葉書
W	54	38	〔葉書〕	昭和14	7	15	南支派遣久納部隊中島部隊黒田隊　入江勝	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	手紙の御礼	葉書	1	検閲済
W	54	39	〔葉書〕	昭和14	6	26	中支派遣菅原部隊山野部隊皆川隊　本田増往	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	本格的な夏も台湾での教育などにより少しも苦労がない事、日頃貴殿や幸次郎様の軍隊生活中についての指導・教訓を守り働いて居る事、区交会々員一同様にも宜しくお伝え下され度事ほか	葉書	1	検閲済
W	54	40	〔絵葉書〕	昭和14	10	1	満州国北安省嫩江　野口七部隊村上隊　本田増往	福岡県遠賀郡蘆屋町字粟屋　安高団兵衛	皆様御承知の通りノモンハン事件も落付き、駐屯地に戻った事	絵葉書	1	絵葉書はロバと馬に乗る中国人の図
W	54	41	〔葉書〕	昭和14	11	16	中西雄次郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	当選に際しての御祝詞の御礼	葉書	1	年月日は消印
W	54	42	〔葉書〕	昭和14	11	19	芦屋町　高崎新三郎	蘆屋町粟屋　安高団兵衛	御尊書の御礼	葉書	1	
W	54	43	〔葉書〕	昭和14	11	10	筑前植木町　草野作太郎	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	当選祝い	葉書	1	年月日は消印
W	54	44	〔絵葉書〕	昭和14	8	23	北支派遣平田部隊気付此木部隊小久保隊　石田勝海	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛	小さい子供迄日の丸の歌や憂国行進曲などを歌っており、これも国威の輝きと喜んで服務して居る事ほか	絵葉書	1	検閲済。陸軍恤兵部隊発行・鶴田吾郎氏筆「野菜を買つて来た女」の絵葉書
W	54	45	〔葉書〕	昭和14	11	17		粟屋　安高団兵衛	当選に際しての御祝詞の御礼	葉書	1	年月日は消印
W	54	46	〔葉書〕	昭和14	11	26	八幡市東千代町壱丁目　村田三郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	亡妻サヽヱの取上げのお知らせ	葉書	1	年は消印
W	54	47	〔葉書〕	昭和14	11	3	父山本藤三郎・母山本ケイ・ほか3名	遠賀郡芦屋町　安宅(ママ)団平様	故陸軍衛生伍長山本三男葬儀会葬の御礼	葉書	1	封筒あり。日は消印
W	54	48	〔葉書〕	昭和14	8	15	小倉歩兵第十四聯隊片岡部隊岡崎隊　秋山光見	芦屋町粟屋　安高団兵衛	入隊報告	葉書	1	印刷

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	54	49	〔葉書〕	昭和14	8	15	小倉市北方歩兵第十四聯隊第一中隊熊野隊第三隊　応召兵　中西健蔵　福岡県公立小学校訓導・全日本綴方教育聯盟九州評議員	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	入隊報告、和歌1首書上	葉書	1	印刷
W	54	50	〔葉書〕	昭和14	8	15	野中岩雄	遠賀郡芦屋町軍友会長　安高団兵衛	入隊試験不合格の事	葉書	1	
W	54	51	〔葉書〕	昭和14	8	15	小倉片岡部隊野上隊　吉永茶峻	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	入隊報告	葉書	1	印刷
W	54	52	〔葉書〕	昭和14	8	15	小倉歩兵第十四聯隊第一中隊第四班　広渡活身	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	出征時御餞別の御礼	葉書	1	印刷
W	54	53	〔葉書〕	昭和14	盛夏		中支那派遣岡村部隊金沢部隊古川隊　横山実	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	印刷。検閲済
W	54	54	〔葉書〕	昭和14	盛夏(8)	6	小倉野戦重砲兵第8隊第三中隊本田国雄	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	
W	54	55	〔書簡〕	昭和14	7	14	湖北戦線にて　安高文雄（中支派遣軍大越野重部隊高橋隊荒木隊）	安高団兵衛（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）	暑中見舞い	罫紙	1	封筒あり
W	54	56	〔絵葉書〕	昭和14	盛夏(7)		中支派遣菅原部隊山野部隊皆川隊　本田増往	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	絵葉書	陸軍恤兵部発行「悪路を進む」の絵葉書
W	54	57	〔葉書〕	昭和6	11	25	三江省桂木斯江北鶴岡炭礦総務課　伊豆清	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	先般小生家族帰省中の御配慮への御礼、近況報告	葉書	1	年月日は消印
W	54	58	〔葉書〕	昭和14	12	12	台北武智部隊梅北隊ノ一　大庭要	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	入隊報告	葉書	1	
W	54	59	〔絵葉書〕	昭和14	11	14	佐世保局気附第十三航空隊主計科　小野？雄	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	中支へ転勤につきお知らせ	葉書	1	年日は消印。検閲済。「江ノ島・鎌倉の風光」の写真の絵葉書。？は「石」＋「又」
W	54	60	〔葉書〕	昭和14	11	25	小倉片岡部隊熊野隊五班　広渡活身	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	先日の面会の御礼	葉書	1	年月日は消印
W	54	61	〔葉書〕	昭和14	12	8	永田要蔵・親族一同	芦屋町粟屋　安高福蔵	亡母ヒサ葬送会葬の御礼	葉書	1	
W	54	62	〔書簡〕	〔昭和14頃〕	10	26	南支派遣安藤部隊鈴川部隊武田隊　小田虎夫	安高団兵衛	手紙の御礼、近況報告	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
W	54	63	〔簡易書簡〕	昭和14	10	10	東京目黒区冨士見台一五六三番地　本田虎雄	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高福蔵・外一同	御尊母様がバセドオ病に罹られた時の入院期間などについて	簡易書簡	1	
W	54	64	〔葉書〕	昭和14	10	8	豊杉町　池田	遠賀郡芦屋町　安高園(ママ)兵衛	返事催促	葉書	1	年月日は消印
W	54	65	〔葉書〕	昭和14	10	17	福岡市九州大学病院後藤外科北第一室　広渡一敬	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	手紙の御礼、手術後経過良好にて退院間近の事	葉書	1	年月日は消印
W	54	66	〔葉書〕	昭和14	10	21	岡垣村元松原　広渡一敬	本郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	退院のお知らせ	葉書	1	年月日は消印
W	54	67	〔葉書〕	昭和14	10	23	八幡市黒崎東千代町壱丁目　村田三郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	亡妻サヽヱ葬送会葬の御礼ほか	葉書	1	年は消印
W	54	68	〔葉書〕	昭和14	10	28	父吉田伊太郎・兄吉田三郎ほか3名	芦屋町　安高団兵衛	四女輝子葬送会葬の御礼	葉書	1	封筒あり
W	54	69	〔葉書〕	昭和14	6	10	山鹿字田家　重岡本芳	芦屋町粟屋　安高団兵衛	光治結婚式の案内	葉書	1	年月日は消印
W	54	70	〔葉書〕	昭和14	盛夏(7)	30	鉄道省・島根県庁指定　出雲今市駅前通り　紙屋旅館　後藤定市	福岡県遠賀郡芦屋町　安高福蔵・安高重二琅	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	54	71	〔葉書〕	昭和14	6	21	「マル八」本店	蘆屋町粟屋　安高団兵衛	先日注文のきゅうり4、5日間御見合せ願い	葉書	1	年月は消印。「マル八」は「〇」の中に「八」
W	54	72	〔葉書〕	昭和14	6	6	芦屋町山鹿　「マル八」吉永みの	芦屋町粟屋　安高団兵衛	至急きゅうり入用の事	葉書	1	年月日は消印。「マル八」は「〇」の中に「八」
W	54	73	〔葉書〕	昭和14	6	17	山鹿　「マルハ」本店	芦屋町粟屋　安高団兵衛	玉ねぎ・ジャガイモほか注文	葉書	1	年月日は消印。「マル八」は「〇」の中に「八」
W	54	74	〔葉書〕	昭和14	6	24	芦屋町中小路区　古賀拝	蘆屋町粟屋区　安高団兵衛	相談の御礼	葉書	1	年月は消印

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	54	75	〔葉書〕	昭和14	9	9	遠賀郡芦屋町　禅寿寺(印・「堤」)・総代世話人一同	芦屋町粟屋　安高団兵衛	亡当山蘭谷和尚津葬における御焼香と御供物の御礼	葉書	1	封筒あり。年は消印
W	54	76	〔葉書〕	昭和14	9	10	全羅北道井邑　入江薬局房	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	亡英十郎初盆に際しての格別なる御心使いへの御礼	葉書	1	年月日は消印
W	54	77	〔葉書〕	昭和14	9	11	日向高千穂より　工藤六郎	福岡県遠賀郡あしや町　安高団兵衛	補充兵教育のため高千穂に出張して居る事	葉書	1	年月日は消印
W	54	78	案内状	昭和14	9	8	徳満神社日南当場	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	牛馬安全祈願大祭並に御座執行の案内	葉書	1	年は消印
W	54	79	〔葉書〕	昭和14	9	7	八幡市西本町九丁目　有吉病院内　村田三郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	先日の御見舞の御礼	葉書	1	年月日は消印
W	54	80	〔葉書〕	昭和14	8	14	若松市小石教員住宅　川下熊四郎	遠賀郡芦屋町粟や　安高団兵衛	遠賀川口に飛行場が出来るとの風聞から土地売買の事が新聞に出たが、それは事実無根である事	葉書	1	年月は消印
W	54	81	〔葉書〕	昭和14	8	9	東京市豊島区目白町三丁目三五二二番地　ヤマト種苗農具株式会社	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	丁号極早生甘藍外5点代金19円余の注文受注の事	葉書	1	
W	54	82	〔葉書〕	昭和14	盛夏(8)	9	福岡県遠賀郡岡垣村　太田達雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞い	葉書	1	日は消印
W	54	83	〔葉書〕	昭和14	8	18	遠賀郡芦屋町　本田三二	芦屋町粟屋　安高団兵衛	負傷のため召集解除となるにつきお知らせ	葉書	1	
W	54	84	〔葉書〕	昭和19	8	22	南支派遣安藤部隊本郷部隊野口部隊村上隊　本田増往	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	近況報告	葉書	1	
W	54	85	〔葉書〕	昭和14	11	20	遠賀郡芦屋町　矢野喜五郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	町会議員選挙当選の際における御祝詞などへの御礼	葉書	1	年は消印
W	54	86	〔葉書〕	昭和14	9	10	満洲国海拉爾軍事郵便局気付野口七部隊本部　本田増往	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	輸送途中無事にて北安省嫩江に到着の事、皆様も新聞ラジオニュース等にて御承知のノモンハン事件に微力ながらつくして居る事ほか	葉書	1	
W	54	87	〔葉書〕	昭和14	9	17	若松市古前小学校前　垂水信一郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・外御連中	亡長男葬送御香典の御礼	葉書	1	年は消印。表に郵便局配達時の付箋の貼付あり
W	54	88	〔葉書〕	昭和14	9	28	岡垣村大字糠塚　入江節雄	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	先日拝領した放生会御案内の御礼	葉書	1	
W	54	89	〔葉書〕	昭和14	6	10	佐世保軍港ム部平海　安高重二琅	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	先日の慰問の御礼	葉書	1	年は消印
W	54	90	〔葉書〕	昭和14	4	14	黒崎　広渡立野	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・りきの	松原の放生会に行くにつき衣類送付願い	葉書	1	年月日は消印
W	54	91	〔葉書〕	昭和14	7	24	佐世保市松川町二一六　安高重二琅	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	帰省中の御世話などへの御礼	葉書	1	年は消印
W	54	92	〔葉書〕	昭和15	4	15	女玲子・親族総代中川伍郎次・吉田三郎ほか4名	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	石橋開蔵病気療養中の処死亡につきお知らせ	葉書	1	封筒あり
W	54	93	〔葉書〕	昭和15	3	30	郡下中間町下大隈　西轍之助	遠賀郡芦屋町粟屋　安高福蔵	記念杯の御礼	葉書	1	年は消印
W	54	94	〔葉書〕	昭和15	4	22	八幡市中本町四丁目　本田薬局内　本田喜十	芦屋町粟屋　安高団兵衛	舎弟金蔵病気中の処、永眠仕るにつき告別式のお知らせ	葉書	1	年は消印
W	54	95	〔葉書〕	昭和15	5	6	八幡市黒崎西岡田町　広渡素一郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高福蔵	繁次郎様帰郷に際しての御土産の御礼	葉書	1	年月日は消印
W	55	1	〔葉書〕	昭和12	4	28	芦屋町　鶴原茂七郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	吾党候補田尻生五氏へ投票願い	葉書	1	印刷。年月日は消印。W55-1～18封筒一括(「選挙公報在中」などとあり)
W	55	2	〔葉書〕	〔昭和12〕	4		飯塚市立岩一九〇〇　衆議院議員候補者　岩成自助	遠賀郡蘆屋町大字芦屋　安高団兵衛	投票願い、岩成自助の主張・略歴など書上	葉書	1	印刷
W	55	3	〔葉書〕	〔昭和12〕	4		金丸勘吉・末吉慎一・太田達雄・江藤清太郎	遠賀郡蘆屋町大字蘆屋　安高団兵衛	民政党公認松尾三蔵へ投票願い	葉書	1	印刷
W	55	4	〔選挙広告〕	昭和12	4		立憲養正会所定衆議院議員候補者・立憲養正会幹事　内田信男	有権者各位(遠賀郡安高団兵衛)	立候補宣言・推薦文	紙	1	印刷

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	55	5	〔書簡〕	昭和12	4		春孝一・冨安重行ほか5名（福岡市西職人町八番地春孝一）	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	衆議院議員立候補者石井徳久次氏へ投票願い	紙	1	印刷。封筒あり
W	55	6	〔書簡〕	〔昭和12〕	4	27	毛利安吉・太田清九郎ほか12名（遠賀村有権者有志・岡垣村有権者有志・蘆屋町有権者有志）	遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	田尻生五君へ投票願い	紙	1	印刷。封筒あり
W	55	7	〔書簡〕	昭和12	4	27	吉田俊幸（若松市浜三番町四丁目七拾八番地）	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	松尾三蔵への支持願い	紙	1	印刷。封筒あり。年月日は消印
W	55	8	〔書簡〕	〔昭和12〕	4		藤田清次（若松市連歌町）	安高団兵衛	松尾三蔵氏への講演支持願い	紙	1	印刷。封筒あり
W	55	9-1	〔松尾三蔵選挙広告〕	〔昭和12〕	4		責任者　飯塚市吉原町五五〇　藤内芳兵衛（飯塚市大字宮ノ下　衆議院議員候補者松尾三蔵）	遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	立候補の挨拶・推薦状ほか	紙	1	印刷。W55-9-1～3封筒一括
W	55	9-2	推薦状	昭和12	4		前代議士　高野喜六・金丸勘吉ほか11名	有権者各位	松尾三蔵君へ投票願い	紙	1	印刷
W	55	9-3	〔名札〕	〔昭和12〕	4		（松尾三蔵）		「松尾三蔵」とあり	紙	1	印刷
W	55	10-1	〔田尻生五選挙広告〕	〔昭和12〕	4		責任者　八幡市通町十八丁目　山本東樹（立憲政友会公認衆議院議員候補者田尻生五）	遠賀蘆屋町　安高団兵衛	立候補の御挨拶・立憲政友会政綱一般ほか	紙	1	印刷。10-1、2封筒一括
W	55	10-2	〔名札〕	〔昭和12〕	4		（田尻生五）		「政友会公認　田尻生五」（カタカナ・ハングルのルビ付）とあり	紙	1	印刷
W	55	11	〔推薦状〕	昭和12	4		中島徳松（福岡市極楽寺町）	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	松尾三蔵君へ投票願い	紙	1	印刷。封筒あり
W	55	12	〔推薦状〕	昭和12	4	25	遠賀郡選出　県会議員太田達雄・県会議員江藤清太郎（責任者香月町江藤清太郎）	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	松尾三蔵君を推薦する事	紙	1	印刷
W	55	13-1	〔亀井貫一郎選挙広告〕	〔昭和12〕	4		責任者　八幡市曙町一丁目　安日新（八幡市通町十二丁目　社会大衆党公認亀井貫一郎選挙事務所）	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	過去一年の情勢・社会大衆党総選挙政策及びスローガンほか	紙	1	印刷。W55-13-1、2封筒一括
W	55	13-2	〔名札〕	〔昭和12〕	4		（亀井貫一郎）		「社会大衆党公認候補者　亀井貫一郎」（カタカナ・ハングルのルビ付）とあり	紙	1	印刷
W	55	14-1	〔西田隆男選挙広告〕	〔昭和12〕	4		責任者　福岡県嘉穂郡稲築村岩崎　衆議院議員候補者西田隆男選挙事務長　野見山幡次郎（嘉穂郡稲築村大字岩崎一五〇七番地　衆議院議員候補者西田隆男）	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	立候補挨拶・推薦文ほか	紙	1	印刷。W55-14-1、2封筒一括
W	55	14-2	〔名札〕	〔昭和12〕	4		（西田隆男）		「西田隆男」（カタカナ・ハングルのルビ付）とあり	紙	1	印刷
W	55	15	〔書簡〕	昭和12	4		遠賀郡香月町　金丸勘吉（候補者松尾三蔵推薦者）	遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	松尾三蔵君を推薦する事	紙	1	印刷。封筒あり
W	55	16-1	〔石井徳久次選挙広告〕	〔昭和12〕	4		責任者　鞍手郡植木町　本松太三（衆議院議員候補者立憲政友会候補者石井徳久次）	遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	立候補者の御挨拶・推薦状ほか	紙	1	印刷。16-1、2封筒一括
W	55	16-2	〔名札〕	〔昭和12〕	4		（石井徳久次）		「石井徳久次」（カタカナ・ハングルのルビ付）とあり	紙	1	印刷
W	55	17	〔三浦愛二選挙広告〕	〔昭和12〕	4		責任者　八幡市神明町四　青野武一（八幡市通町五丁目日本無産政党公認候補者三浦愛二）	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	略歴・推薦文ほか	紙	1	印刷。紙帯あり
W	55	18	選挙公報	昭和12	4	20	発行人　福岡県知事　畑山四男美・印刷人福岡市天神町二十八番地　株式会社九州日報社		福岡県第2区議員立候補者10名の公報	紙	10	印刷
W	55	19	〔葉書〕	昭和14	盛夏(7)		南支派遣久納部隊井場部隊古賀隊森隊　岸保夫	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	暑中見舞、近況報告	葉書	1	検閲済
W	55	20	軍事郵便案内	昭和12	8		熊本逓信局		料金表・差出上の注意ほか	紙	1	印刷

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	55	21	〔封筒〕	昭和11	7	18	陸海軍・各団体御用達　特撰歯刷子製造直売　峯岡両太郎商店　大阪市東成区鶴橋北之町三丁目	福岡県遠賀郡折尾町　田窪歯科医院		封筒	1	年月日は消印
W	55	22	〔封筒〕	皇紀2598	12	14	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	佐世保海軍港務部平海　安高重二琅		封筒	1	墨にて差出人住所を抹消
W	55	23	〔封筒〕	〔昭和戦前期〕			筑前芦屋町　安高団兵衛	久留米野砲兵第十八聯隊内乙部隊長　陸軍輜重兵少尉　植木保		封筒	1	上部欠
W	55	24-1	〔葉書〕	昭和13	盛夏		小倉市京町三百五十八番地ノ二　九州電気軌道株式会社	芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞い、追って中元御伺いの印まで粗品呈上仕る事	葉書	1	W55-24-1～3封筒一括。W55-24～26紙帯一括。紙帯に朱印(藤井)あり
W	55	24-2	〔葉書〕	昭和13	8	29	直方市羽衣町　吉谷荒士郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	残暑見舞い	葉書	1	
W	55	24-3	〔葉書〕	昭和13	9	10	久留米市高橋部隊有吉隊　隊長有吉有	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	応召入隊に際しての御祝詞などへの御礼	葉書	1	
W	55	25	〔葉書〕	昭和13	12		小倉市京町三百五十八番地ノ二　九州電気軌道株式会社	芦屋町　安高団兵衛	歳末挨拶	葉書	1	封筒あり
W	55	26	〔葉書〕	昭和12	盛夏(8)	14	小倉市京町　九州電気軌道株式会社	遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	暑中見舞い、追って中元御伺いの印まで粗品呈上仕る事			日は消印
W	55	27	謹んで二百七十万県民諸賢に呈す	昭和11	9		福岡市医師会		日本赤十字社福岡支部の総合病院設立計画は民衆を欺瞞するものである事、福岡医師会は福岡県健康国防協会を創設し、県民のため模範的防毒救護所の急設を進めている事ほか	紙	1	印刷。W55-27～39袋入り(東京神田錦町一明文堂の袋)
W	55	28	〔覚書〕	〔昭和戦前期〕					「若松市老松町七丁目　阿部薬局御中」とあり	罫紙	1	
W	55	29	〔書籍広告〕	〔昭和11〕			東京神田神保町一ノ五五　賢文館	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	尾崎重夫氏著『農作害虫精説』ほかにつき	紙	2	印刷。封筒あり
W	55	30	〔封筒〕	〔昭和戦前期〕			(印・「福岡県蘆屋町青年団」)	芦屋　安高団兵衛		封筒	1	
W	55	31	〔封筒〕	〔昭和11頃〕			蘆屋町消防組第二部	粟屋　安高団兵衛町会議員		封筒	1	
W	55	32	〔封筒〕	昭和11	8	21	蘆屋商工会	芦屋町粟屋町会議員　安高団兵衛		封筒	1	年月日は消印
W	55	33	〔封筒〕	昭和11	6	15	福岡県遠賀郡遠賀村役場	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	年月日は消印
W	55	34	〔封筒〕	昭和11	4	13		粟屋　安高団兵衛町会議員		封筒	1	年月日は消印
W	55	35	領収証	昭和11	5	3	福岡市下洲崎町三八　那爛陀学園	芦屋町粟屋　安高団兵衛	空ビン領収	紙	1	
W	55	36	大日肥ニュース　第七号	昭和11	8		発行所　大阪市東区高麗橋四丁目三五　大日本人造肥料株式会社大阪支店	福岡県遠賀郡芦屋町　高安(ママ)団兵衛	「創刊一周年を迎えて」、「物価から見たる農村の恢復」ほか	紙	1	印刷。封筒あり
W	55	37	〔書簡〕	昭和11	4	21	安高団兵衛(福岡県芦屋町粟屋)	村田彰・鈴木梅吉(東京市神田区駿河台主婦之友社編輯局)	『主婦の友』五月号受取の事、先日御撮影の私共一同の写真を記念のため送付下され度事	罫紙	1	封筒あり
W	55	38	日赤福岡支部に要望す	昭和11	10	1	発行所　福岡市因幡町二五　福岡市医師会・発行兼編集人　福岡市大字小田部五六〇　福田丑之助			書冊	1	印刷
W	55	39	〔書簡〕	昭和15	2	1	九州電気軌道株式会社　取締役社長村上巧児・九州水力電気株式会社　取締役会長松本健次郎ほか1名		監督官庁の内示により九州電気軌道株式会社の電灯電力事業を九州水力電気株式会社に譲渡する事に相成るにつきお知らせ	紙	1	印刷。封筒あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	55	40-1	〔書簡〕	昭和17	2	22	古賀恵啓(芦屋町)	安高(蘆屋町粟屋区安高団兵衛)	直方長遠寺総代ほかへ問題の件について調停の有無御確認願い	罫紙	1	罫紙2枚。W55-40-1、2封筒一括。W55-40～49封筒一括
W	55	40-2	〔告発状写〕	〔昭和17〕			愛国に燃る一員(古賀恵啓か)		直方市長遠寺住職栗原正隆師、長遠寺総代茅野万太郎・村上福太郎・高須寿三郎の悪徳行為について	罫紙	1	
W	55	41-1	〔防空演習欠勤届関係綴〕	昭和17			警報部員古賀恵啓	芦屋町警防団第一分団長　久野一美ほか	自身に危機迫害の恐怖心あるにつき防空演習欠勤願いほか	綴	1	W55-41-1～8封筒一括
W	55	41-2	地元代議士松尾三蔵先生ニ差上シ手紙ノ写シ	昭和15	12	12	愚人恵啓	松尾三蔵先生	芦屋町会議員決議の上直方長遠寺により追放された件で小倉検事局へ出頭した事についてほか	罫紙	1	
W	55	41-3	〔書簡写〕	昭和15	10	13	愚人恵啓	栗木正隆聖人	芦屋入仏式の時の暴行、妙運寺現住の問題などにつき反省願い	書綴(罫紙)	1	罫紙2枚。W55-43-3～7同折
W	55	41-4	〔書簡写〕	昭和15	10	12	愚人恵啓	身延山　望月日謙大僧正	問題の件は安高団兵衛君に御聞き下され度事	罫紙	1	
W	55	41-5	〔書簡写〕	昭和15	10	13	古賀恵啓	永江義情聖人	事の真相は安高団兵衛君に御聞き下され度事	罫紙	1	
W	55	41-6	〔書簡写〕	昭和15	10	22	愚人古賀恵啓	永江義情聖人	本日安高氏立会の事ほか	罫紙	1	
W	55	41-7	〔書簡写〕	昭和15	10	16	愚人恵啓	日蓮宗宗務総監	直方市長遠寺住職栗原正隆様の高圧的行為などについて	綴(罫紙)	1	罫紙3枚
W	55	41-8	〔書簡綴〕	〔昭和15〕	9	16	愚人恵啓	長野誠八	役場町長室にいて守田吉助と対談せし事について	綴(罫紙)	1	罫紙3枚
W	55	42	〔書簡〕	皇紀2602	2	24	古賀恵啓(芦屋町中小路区)	安高団兵衛(芦屋町粟屋区)	緊急相談あるにつき御来訪願い	罫紙	1	封筒あり
W	55	43	〔葉書〕	昭和17	3	21	古賀恵啓(若松市浜二番町津山政夫内ニテ)	県下芦屋町粟屋区　安高団兵衛	24日に津山政夫様が刀根善太郎様宅まで行くにつきお知らせ	葉書	1	
W	55	44	〔書簡〕	昭和17	3		恵啓拝(当町中小路区)	安高(芦屋町粟屋区安高団兵衛)	直方の総代津山夫人の策謀に掛からぬよう御願いほか	罫紙	1	罫紙4枚。封筒あり
W	55	45	〔葉書〕	昭和17	3	11	中小路区　古賀恵啓	芦屋町粟屋区　安高団兵衛	若松の津山様が御来芦なされるならば、津山様御面談前に拙宅に御立寄り願い	葉書	1	
W	55	46	〔葉書〕	昭和17	3	13	あしや町　古賀恵啓	芦屋町粟屋区　安高団兵衛	本日総本山身延山貫主に御貴方様の要求を御願いする事ほか	葉書	1	
W	55	47-1	書置	皇紀2602	1	30	恵啓拝(芦屋町中小路区)	安高団兵衛(芦屋町粟屋区)	問題の円満解決を期する事	紙	1	W55-47-1、2封筒一括
W	55	47-2	電報送達紙	昭和17	2	3	(古賀恵啓)	アシヤマチアワヤク　アタカダンへ(安高団兵衛)	「スマヌガ　アスアサ一〇ジ　オテラニオコシヲタノム」(すまぬが明日朝10時お寺お越しを頼む)	電報	1	
W	55	48	〔書簡〕	昭和16	4	20	古賀拝	安高(芦屋町粟屋区安高団兵衛)	小倉検事局取調内容につきお知らせ	罫紙	1	封筒あり
W	55	49-1	〔書簡〕	昭和15	12	7	芦屋町　古賀恵啓	安高団兵衛	本日検事局より呼出状が届いた事、呼出状写あり	罫紙	1	W55-49-1～4封筒一括
W	55	49-2	告訴状	昭和15	11	28	告訴人　古賀恵啓(書印)	小倉区裁判所検事局	自由名誉に対する脅迫の件の告訴、写	綴(罫紙)	1	
W	55	49-3	民事告訴状	昭和15	11	18	原告　古賀恵啓(印)	小倉検事局	原告を芦屋町より理由なく放逐せよと策動を為したる事、写	書綴(罫紙)	1	
W	55	49-4	御伺	昭和15	10	27	芦屋町二千六百二十七番地　古賀恵啓(書印)	折尾警察署長　只松富三郎ほか	訴状採否につきお知らせ願い、写。同年11月18日まで	罫紙	1	
W	55	50-1	銃後の花　第五十号	昭和16	4	1	小倉聯隊司令部内　編輯兼発行小林甚兵衛・発行所小倉聯隊区司令部			紙	1	w55-50-1、2紙帯一括
W	55	50-2	銃後の花送付ノ件	昭和16	4	13	安高団兵衛殿	大日本国防婦人会	銃後の花4月号1部送付の事	紙	1	
W	55	51	〔書簡〕	〔昭和戦前期〕	12	30	石橋生(石橋開蔵)	安高尊兄(蘆屋粟屋)	行楽3人紹介の事	罫紙	1	封筒あり
W	55	52	〔書簡〕	昭和14	12	19	園田晋毅(福岡県遠賀郡芦屋町)	安高(福岡県遠賀郡芦屋町	博多港より平戸までの船路の案内ほか	罫紙	1	封筒あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	55	53	〔書簡〕	昭和14	12	15	東京市日本橋区小網町壱丁目弐番地四　日清製粉株式会社調査課	安高団兵衛（福岡県遠賀郡芦屋町）	小麦事情調査協力の御礼、当社製造の小麦粉1袋送付の事	紙	1	封筒あり
W	55	54-1	〔書簡〕	〔昭和15〕	1	1	芳村金太郎（福岡県遠賀郡蘆屋町）	栗(ママ)屋　安高団兵衛	愚息周次儀結婚のお知らせ、非常時局の折柄故、披露宴は一切中止し費用は郷軍基金に寄付する事	紙	1	印刷。W55-54-1、2封筒一括
W	55	54-2	〔寄付金礼状〕	〔昭和15〕			蘆屋郷軍分会長　守田吉助	芳村周次		紙	1	印刷
W	55	55	〔書簡〕	昭和14	10	28	大日本青年団総務部　編輯課（東京市四谷区明治神宮外苑霞ヶ丘口）	安高団兵衛（福岡県遠賀郡芦屋町）	戦時下において政府当局に対する質問要望事項をお教え下され度事	紙	1	印刷。封筒あり。文末に団兵衛の返答写あり（養鶏飼料の高騰などについて）
W	55	56	〔葉書〕	昭和14	12	8	壱岐支庁内　園田晋毅	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	博多築港より壱岐郷之浦までの船路などの案内	葉書	1	年は消印
W	55	57	〔書簡〕	昭和14	9	29	園田晋毅（長崎県壱岐支庁　長崎県社会教育主事補）	安高（福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋）	昨年11月突然の訪問の御礼、先般『キング』の中のあなたのお言葉に底知れぬ感激を覚えた事、後援会・懇話会の依頼	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり。年は消印
W	55	58	〔書簡〕	昭和14	11	29	壱岐支庁　園田晋毅	安高（福岡県遠賀郡蘆屋町外粟屋）	青年幹部講演会への臨席願い	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり。年は消印
W	56	1	〔封筒〕	皇紀2600	1	10	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛	若松市浜二番町二丁目　津山		封筒	1	
W	56	2	〔書簡〕	皇紀2599	12	17	安高重二琅（佐世保市松川町二一六佐々木様方）	安高団兵衛（福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋）	別府の伯母様御逝去につき悔状・香典など送付の事、妻スマ子が海軍工廠女工員となるにつき戸籍謄本など送付願いほか	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
W	56	3	〔封筒〕	〔昭和戦前期〕			長野政八			封筒	1	封筒上書「会葬御礼　長野政八」
W	56	4	〔新聞断簡〕	〔昭和戦前期〕					広告・奉納武道試合結果ほか	紙	1	
W	56	5	〔封筒〕	〔昭和戦前期〕			？？　芦屋法友会	安高団平		封筒	1	
W	56	6	〔書簡〕	昭和14	8	28	安高すま子（佐世保市松川町二一六）	父・母・兄ほか6名（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛・皆様）	主人は眼病にて入院するかも知れない事、当地は水道水が3日に1時間半ほどしか出ず困っている事ほか	罫紙	1	罫紙3枚。封筒あり
W	56	7	〔書簡〕	昭和14	8	24	安高重二琅（佐世保市松川町二一六）	安高団兵衛（福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋）	糠塚の中元の件について、佐世保水不足について	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
W	56	8	〔書簡〕	昭和16	5	1	古賀拝（中小路区古賀恵啓）	安高（芦屋町粟屋区安高団兵衛）	信者は検事殿の話しにて願下げに参りし事、東京審査会委員長宛の町議委員連署の陳情書の件ほか	罫紙	1	W56-8～23封筒一括（安高団兵衛宛遠賀村役場封筒）
W	56	9	〔書簡〕	昭和16	5	4	愚人恵啓拝（中小路区古賀恵啓）	安高（芦屋町粟屋区安高団兵衛）	先日お話の件は其の筋に提出した方がよいと思う事ほか	罫紙	1	W56-9～13封筒一括
W	56	10	〔葉書〕	昭和16	11	8	中小路区　古賀恵啓	芦屋町粟屋区　安高団兵衛	若松にて御話の件は理事長にも話す共に副会長に至急返事を聴く方がよいと思う事	葉書	1	年は消印
W	56	11	〔葉書〕	昭和16	11	14	芦屋町中小路区　古賀恵啓拝	蘆屋町粟屋区　安高団兵衛	緊急要談あるにつき御立寄願い	葉書	1	年は消印
W	56	12	〔葉書〕	昭和16	11	22	中小路区　古賀恵啓	蘆屋町粟屋区　安高団兵衛	御尊像完成につき頭山翁・田尻先生ほかへ報知すべきと思う事	葉書	1	
W	56	13	〔葉書〕	昭和16	11	25	芦屋町　古賀恵啓	芦屋町粟屋区　安高団兵衛	津山様帰郷の件について	葉書	1	
W	56	14	〔封筒〕	昭和16	2	24	芦屋町　古賀恵啓拝	芦屋町粟屋区　安高団兵衛		封筒	1	年月日は消印
W	56	15	〔書簡〕	皇紀2601	12	6	愚人恵啓（中小路区古賀恵啓）	安高団兵衛（芦屋町粟屋区）	今般事件の公明正大なる解決の道は安高様の掌中にあると信ずる事ほか	紙	1	紙3枚。封筒あり
W	56	16	〔書簡〕	昭和16	8	28	古賀恵啓（中小路区）	安高団兵衛（蘆屋町粟屋区）	昨年度栗原師ほか一同より提訴の陳情書の件ほか	罫紙	1	罫紙5枚。封筒あり
W	56	17	〔書簡〕	昭和16	9	13	古賀恵啓拝（中小路区）	安高団兵衛（芦屋町粟屋区）	直方長遠寺・福岡宗務所訪問に際しては、宗団的問題には触れず、個人的問題と国家的問題（神武天皇社奉賛会に対する妨害・不敬）を力説されればよい事	罫紙	1	罫紙3枚。封筒あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	56	18-1	〔書簡〕	昭和16	9	13	古賀恵啓(芦屋町)	安高団兵衛(芦屋町粟屋区)	今般の件は新聞紙上に報道するのが先方が悔悟する近道と思う事	罫紙	1	W56-18-1、2封筒一括
W	56	18-2	照会ノ件回答	昭和16	6	19	福岡県宗務所長　本田日秀(書印)(福岡市蓮池町妙典寺内)	古賀恵啓	陳情書取下申請一件は書類返送に相成る事	罫紙	1	写
W	56	19-1	〔書簡〕	昭和16	11	4	古賀恵啓拝(芦屋町中小路区)	安高団兵衛(芦屋町粟屋区)	別紙の如く松尾代議士に書面を差上げるにつき通知	紙	1	W56-19-1、2封筒一括。
W	56	19-2	〔書簡写〕	昭和16	11	4	遠賀郡芦屋町中小路区　神武天皇社奉賛会発起者ノ一員　古賀恵啓(印)	遠賀郡香月町　神武天皇社奉賛会　副会長松尾三蔵	奉賛会役員中の悪徳行為者について処分協議の依頼			
W	56	20	〔書簡〕	昭和16	12	1	愚人恵啓(中小路区古賀恵啓)	安高(芦屋町粟屋区安高団兵衛)	夜中の不思議な事が神示かどうか御貴方様と御話して判断致し度につき来訪願い	罫紙	1	封筒あり
W	56	21-1	〔書簡〕	昭和16	12	3	愚人恵啓拝(芦屋町中小路区古賀恵啓)	安高(芦屋町粟屋区安高団兵衛)	昭和14年安高様の発起せられたる皇祖神武天皇御東征の御聖蹟顕彰奉賛会などについて	罫紙	1	罫紙3枚。W56-21-1～3封筒一括
W	56	21-2	〔書簡〕	昭和16	12	4	愚人恵啓(中小路区古賀恵啓)	安高(芦屋町粟屋区安高団兵衛)	今般の事件の円満解決のための方策について	紙	1	
W	56	21-3	〔書簡〕	昭和16	12	4	愚人恵啓(中小路区古賀恵啓)	安高(芦屋町粟屋区安高団兵衛)	厳正中立の立場を捨て、積極的に戦う態度を発揮され度事	紙	1	
W	56	22	〔葉書〕	昭和17	3	1	直方市　村上福太郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	教会所問題解決のため出芦の件、古賀氏にはもう手紙を出さぬようにされ度事	葉書		日は消印
W	56	23	〔葉書〕	昭和17	3	8	芦屋町　古賀恵啓	芦屋町粟屋区　安高団兵衛	直方の村上・東氏は近日中来芦する事、相談あるにつき来訪願い	葉書	1	
W	56	24-1	〔書簡〕	昭和17	4	25	古賀恵啓(芦屋町)	安高(蘆屋町粟屋区安高団兵衛)	栗原師ほか一同に対し積極的要求を申し入れた事、先日実兄の名にて差出したる書面の写しなど同封の事、本日福岡日蓮上人様の御銅像に参拝致す事	罫紙	1	24-1～3封筒一括
W	56	24-2	〔書簡写〕	昭和17	4	25	古賀恵啓(印)	長遠寺住職　栗原正隆様・総代村上福太郎・外御総代一同	安高氏より一同様への書面に対し返信を出すべき事などの要求6ヶ条書上	罫紙	1	
W	56	24-3	〔書簡写〕	昭和17	4	19	古賀恵啓	東仁八郎・村上福太郎・外御総代一同	先日皆様が約束された事を実行し、問題の円満和解を祈り申す事ほか。昭和17年4月23日まで計3通の書簡写	罫紙	1	罫紙3枚
W	56	25-1	〔葉書〕	昭和17	4	20	芦屋町中小路区　古賀恵啓	芦屋町粟屋区　安高団兵衛	直方総代全員に配達証明にて御伺申した処、高瀬茂一郎様より何も知らぬと回答があった事ほか	葉書	1	W56-25-1～7同折
W	56	25-2	〔書簡写〕	昭和17	5	22	芦屋町字粟屋区元区長　本田豊吉(書印)・船頭町元区長　山脇秀寿(書印)・浜口元区長永見政市(書印)	栗原正隆	別紙陳情書には全く覚えのない事	罫紙	1	
W	56	25-3	御願	昭和17	5	22	芦屋町船頭町区長　山脇秀寿(書印)・仝粟屋区長　本田豊吉(書印)・仝浜口区長　永見政一(書印)	直方市長遠寺住職栗原正隆・外総代御一同	芦屋町々会議員区長より古賀恵啓師に対し提訴された陳情書の閲覧願い	罫紙	1	写
W	56	25-4	〔葉書〕	昭和17	4	29	芦屋町中小路　古賀恵啓	蘆屋町粟屋区　安高団兵衛	福岡の実兄と相談の件ほか	葉書	1	
W	56	25-5	御伺状	昭和17	5	30	福岡県遠賀郡芦屋町　日蓮宗教会所古賀恵啓宅ニ於テ　古賀虎雄(印)・古賀秋義(印)・古賀フサエ(印)・外親族一同	日蓮宗管長　酒井日慎	愚弟恵啓に対する追放などの処分につき至急御通達願い	書綴(罫紙)	1	
W	56	25-6	〔願書〕	昭和17	6	4	福岡市馬出新富町古賀虎雄(印)・古賀秋義(印)・古賀フサエ(印)・坂田辰夫(印)・森茂(印)・多々野友光(印)	川浪敏郎殿・外御一同	古賀恵啓に対する提訴の件につき和解願い	書綴(罫紙)	1	
W	56	25-7	〔願書綴〕	昭和17	6	4	古賀虎雄(印)・古賀秋義(印)・古賀フサエ(印)・坂田辰夫(印)・森茂(印)・多々野友光(印)	奉賛会会長　広田弘毅閣下・副会長　松尾三蔵殿ほか	町当局より古賀恵啓に対する日蓮宗管長への提訴の件につき願い	書綴(罫紙)	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	56	26	〔書簡〕	昭和17	3	25	古賀恵啓(印)	直方市羽衣長遠寺住職　栗原正隆・外総代一同	施餓鬼供養開催の件につき伺い	罫紙	1	
W	56	27-1	〔書簡〕	昭和19	5	3	古賀恵啓	安高	福岡裁判所検事局の出頭通知につき取調べ願い	罫紙	1	W56-27-1～3同折
W	56	27-2	〔書簡〕	昭和19	4	29	古賀恵啓(印)	実兄古賀虎雄様・義兄坂田辰夫	不敬罪にて検束されたる件について	罫紙	1	
W	56	27-3	〔書簡〕	皇紀2604・昭和17	4	末	古賀恵啓	折尾警察署　司法主任	折尾署での取調べに対する返答など	書綴（罫紙）	1	
W	56	28	〔願書綴〕	昭和19	4	3	(古賀恵啓)		不敬罪の罪名にて追放されたる件につき内務大臣・文部大臣などへ送付した願書写など	書綴（罫紙）	1	
W	56	29	〔願書〕	〔昭和19頃〕			神武天皇社奉賛会発起人ノ一人古賀恵啓(印)	奉賛会発起者　安高団兵衛様・外奉賛会役員御一同	昭和15年芦屋町々会議員18名ほかより恵啓に対する提訴の取下げ願い	罫紙	1	
W	56	30-1	〔書簡〕	昭和19	4	28	古賀拝(印)（芦屋町中小路）	安高様（遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛・外御一同）	別紙御覧の上、該問題につき奉賛会各役員などへ御伝声願い	罫紙	1	W56-30-1～3封筒一括
W	56	30-2	〔願書写〕	〔昭和19〕			(古賀恵啓)		施餓鬼法要の件などにつき要望書など	罫紙	1	
W	56	30-3	〔書簡〕	昭和19			古賀恵啓(印)	皇国愛ニ燃ル聖地芦屋町々会議員区長御一同・神武天皇社奉賛会役員御一同・全芦屋町々民・代表者安高団兵衛倉垣茂雄御両人	古賀恵啓に対する処分につき協議願い、神武天皇社奉賛会副会長松尾三蔵宛願書など写	書綴（罫紙）	1	
W	56	31	〔封筒〕						未記入	封筒	1	
W	56	32	〔町民各位ニ告グ〕	昭和17	11	20	長野政八	(芦屋町民)	奉賛会役員人事をめぐる古賀恵啓との争論につきその経緯など書上、芦屋町内に配布されたもの	紙	1	印刷。安高団兵衛の註書あり
W	56	33	〔書簡〕	皇紀2602・昭和17	1	21	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛(印)	福岡県遠賀郡芦屋町　神武天皇社奉讃会理事長　長野政八	貴殿署名にて配布された「町民各位ニ告グ」の文中に事実と相違する点がある事	罫紙	1	福岡県蘆屋郵便局の内容証明あり
W	56	34	〔書簡〕	皇紀2602			遠賀郡芦屋町大字芦屋一、二〇五番地　安高団兵衛	遠賀郡折尾警察署内　司法主任坪井	長野政八氏名義にて配布された「町民各位ニ告グ」の文中に事実と相違する点がある事	罫紙	1	
W	56	35-1	〔書簡〕	昭和19	4	8	古賀恵啓	安高団兵衛(芦屋町粟屋)	長遠寺の件につき願い、別紙2通同封の事ほか	罫紙	1	W56-35-1～3封筒一括
W	56	35-2	〔書簡〕	昭和19	4	7	愚人恵啓	安高団兵衛・津山御夫人	長野政八・栗原正隆氏などとの争論について	罫紙	1	罫紙2枚
W	56	35-3	〔新聞切抜〕	昭和19	3	17			福岡県嘉穂郡における軍翼献金の記事	新聞	1	発行日の切抜あり
W	56	36	〔書簡〕	昭和18	11	14	神武天皇社奉讃会発起人ノ一人古賀恵啓(書印)	芦屋町神武天皇社奉讃会　発起者安高団兵衛・副会長松尾三蔵・理事久野一美外役員一同	折尾署での取調べの模様、今日までの事件の全責任は奉讃会にある事	罫紙	1	罫紙3枚。写
W	56	37	〔書簡〕	皇紀2603	11	17	芦屋町粟屋　安高団兵衛(印)	芦屋町中小路区　古賀恵啓	今回の問題は奉讃会には何ら関係ない事ほか	書綴（罫紙）	1	福岡蘆屋郵便局の内容証明あり
W	56	38	電報送達紙	昭和17	11	30	アシヤマチアワヤ　アタカダンベ（芦屋町粟屋安高団兵衛）		ヨウありイマキオリオタタノ（用あり、今来て居り…）	電報	1	W56-38～53封筒一括
W	56	39	通知状	昭和17	11	20	芦屋町駐在小川(印)	安高団兵衛	折尾警察署に来署依頼	罫紙	1	
W	56	40	〔書簡〕	皇紀2602	12	17	安高団兵衛(印)	古賀恵啓	折尾署坪井司法主任殿の処置により問題解決につき御祝い、御祝いとして金員送付の事	罫紙	1	
W	56	41	〔書簡〕	昭和17	12	11	古賀恵啓(拇印)（芦屋町）	安高団兵衛(芦屋町粟屋区)	長遠寺住職などへの告訴取下願状には絶対押印致さざる事	紙	1	封筒あり
W	56	42	〔書簡〕	昭和17	12	11	愚人恵啓(拇印)	安高	御尊台様方々には死の一字を以て御詫びする事	紙	1	
W	56	43-1	〔書簡〕	昭和16	8	1	芦屋町々会議員　久野一美(印)・立会人　安高団兵衛(印)	古賀恵啓	昭和15年の芦屋町より日蓮宗管長に提出の町々会議員及び区長連名の陳情書の件は一切存じ申さざる事	罫紙	1	W56-43-1～3同折

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	56	43-2	〔書簡〕	昭和17	10	1	遠賀郡芦屋町　古賀恵啓(印)	遠賀郡香月町　神武天皇奉賛会副会長　松尾三蔵	長野政八氏の悪徳行為の件につき奉賛会として処置願い、返信なき場合は御尊台名義を以て長野政八氏の悪徳行為を奉賛会会員に発表する事	罫紙	1	福岡県蘆屋郵便局の内容証明あり
W	56	43-3	〔書簡〕	皇紀2602	10	7	神武天皇社奉賛会発起社ノ一員　古賀恵啓(印)	神武天皇社奉賛会発起人　現理事　中村建二	長野政八氏の悪徳行為の件につき奉賛会として処置願い、返信なき場合は奉賛会発起者の名を以て長野政八氏の悪徳行為を奉賛会会員に発表する事	罫紙	1	W56-45と同じ
W	56	44	福岡県宗務所長本田日秀師ノ偽リノ通知書ノ写	〔昭和16〕			(安高団兵衛)		陳情書取下申請一件書類について	罫紙	1	罫紙2枚。綴じ跡あり
W	56	45	〔書簡〕	皇紀2602	10	7	神武天皇社奉賛会発起者ノ一員　古賀恵啓(印)	神武天皇社奉賛会発起者　現理事　中村建二	長野政八氏の悪徳行為の件につき奉賛会として処置願い、返信なき場合は奉賛会発起者の名を以て長野政八氏の悪徳行為を奉賛会会員に発表する事	罫紙	1	W56-43-2と同じ
W	56	46	〔書簡〕	昭和16	6	10	遠賀郡芦屋町　古賀恵啓(印)	門司市谷町本正寺　福岡県宗務所長　永江義情・吉倉前誠	栗原正隆師の件については、大審院に訴状を提出する信念である事	書綴（罫紙）	1	写
W	56	47-1	〔書簡写〕	〔昭和16〕	3	8	古賀恵啓(書印)	芦屋町　長野政八	陳情書提出の件につき反省を求む	罫紙	1	W56-47-1～2同折
W	56	47-2	〔書簡〕	昭和16	6	11	芦屋町中小路区　古賀恵啓(印)	神武天皇奉賛会役員　理事中村邦平・黒山武彦・林田守治ほか26名	無実の陳情書を提出せし件などにつき伺い	書綴（罫紙）	1	
W	56	48	〔書簡写綴〕	〔昭和16〕			(古賀恵啓)		陳情書の件につき長野政八など宛の書簡写	罫紙	1	罫紙2枚
W	56	49	〔書簡〕	昭和16	11	2	古賀恵啓(印)	神武天皇奉賛会会長　広田弘毅閣下	長野政八氏が何のために小生を芦屋町よりの通報を申告したか取調べ願い	罫紙	1	
W	56	50	〔書簡〕		10	7	愚人恵啓	安高	長野氏の精神的撲滅と浄化の断行を決意する事	紙	1	
W	56	51	陳情書	昭和15	12	5	遠賀郡芦屋町長(書印)・町会議員　松野信太郎(書印)ほか17名・区長　石松勝三郎ほか19名	日蓮宗管長望月日謙殿・福岡県宗務所長　永江義情	古賀恵啓の悪行など書上、古賀氏に対する処置願い	書綴	1	写
W	56	52	〔書簡〕	皇紀2602・昭和17	1	21	福岡県遠賀郡蘆屋町　安高団兵衛(印)	福岡県遠賀郡芦屋町　神武天皇社奉讃会理事長　長野政八	貴殿署名にて配布された「町民各位ニ告グ」の文中に事実と相違する点がある事	罫紙	1	W56-33と同じ
W	56	53	〔書簡〕	皇紀2602			遠賀郡芦屋町大字芦屋一、二〇五番地　安高団兵衛	遠賀郡折尾警察署内　司法主任　坪井	長野政八氏名義にて配布された「町民各位ニ告グ」の文中に事実と相違する点がある事	罫紙	1	W56-34と同じ
W	56	54	〔封筒〕	〔昭和10年代〕				安高		封筒	1	封筒上書「安高様　重要書類入」
W	56	55	〔書簡〕	〔昭和10年代〕	12	20	古賀拝	安高(安高団兵衛)	赤誠会の講演の相談のため柴田様宅訪問願い	紙	1	
W	56	56	〔書簡〕	昭和16	12	27	愚人恵啓(芦屋町)	安高団兵衛(芦屋町粟屋区)	長野氏への策略など書上	罫紙	1	罫紙3枚。封筒あり
W	56	57-1	〔書簡〕	皇紀2602	1	12	愚人恵啓(芦屋町中小路区)	安高団兵衛・津山政夫・仝つる・山本たつ・中川さだ(蘆屋町粟屋区)	来る調定の日は安高様にとって真実の誠心(日本精神)を発揮させる機会と確認する事ほか	継紙	1	W56-57-1、2封筒一括
W	56	57-2	〔書簡〕	〔昭和17〕			愚人恵啓		調印の日より悦びに満ちた心境が起こると確信仕る事	紙	1	
W	56	58	〔書簡〕	昭和17	1	18	古賀善子(芦屋町)	安高団兵衛(芦屋町粟屋区)	夫恵啓が奉賛会を妨害致した事実がないという証明を頂き度事	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
W	56	59	〔書簡〕	〔昭和10年代〕	4	1	古賀恵啓	安高	本日相談のため面談願い、該問題の件に関して先日直方へ行き村上様へ面接致した事	紙	1	
W	56	60	〔書簡〕	皇紀2602	1	16	示誠院日雄(芦屋町中小路区古賀恵啓)	安高(芦屋町粟屋区安高団兵衛)	来る調定日に津山様と御貴郎様とが積極的であれば長野氏も悔悟・反省する事ほか	罫紙	1	罫紙4枚。封筒あり
W	56	61	〔葉書〕	昭和16	8	23	アシヤ　古賀恵啓	芦屋町粟屋区　安高団兵衛	東京石橋先生への書面送付の件につき伺い	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	56	62	〔葉書〕	昭和16	11	16	芦屋町中小路区　古賀恵啓	芦屋町粟屋区　安高団兵衛	若松到着につきお知らせほか	葉書	1	
W	56	63-1	〔書簡〕	皇紀2602	12	31	愚人恵啓	安高団兵衛	昨年4月の一般加入以来、奉賛会要職に顕官名士が就任し、事業の主人がかわりたる形となった事ほか	紙	1	紙3枚。W56-63-1、2封筒一括
W	56	63-2	〔書簡〕	皇紀2602	1	1	古賀恵啓	安高団兵衛・仝御夫人	年頭挨拶	紙	1	
W	56	64-1	〔書簡案文〕	皇紀2601・昭和16	2	25	神武天皇社奉賛会発起者　安高団兵衛	東京市芝区二本榎二丁目　日蓮宗宗務院内　日蓮宗審査会	古賀恵啓師による奉賛会寄付金の横領の件などについて	罫紙	1	罫紙2枚。W56-64-1、2封筒一括
W	56	64-2	神武天皇社奉賛会々則	〔昭和16頃〕						紙	2	印刷
W	56	65	〔書簡〕	〔昭和10年代〕			恵啓拝（中小路区）	安高団兵衛（芦屋町粟屋区）	相談のため来訪願い	紙	1	
W	57	1	〔封筒〕							封筒	1	
W	57	2	〔封筒〕	〔昭和戦前期〕			福岡県遠賀郡蘆屋町　岡湊神社々務所	粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
W	57	3	〔封筒〕	〔昭和戦前期〕			芦屋尋常高等小学校	粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
W	57	4-1	〔太田達雄選挙広告〕	〔昭和14〕	9		責任者　遠賀郡遠賀村　吉田利七		立候補挨拶・県政に対する信念ほか	紙	1	印刷。W57-4-1～3封筒一括
W	57	4-2	〔小田充雄選挙広告〕	〔昭和14〕	9		遠賀郡中間町　責任者　岡部龍太郎		立候補挨拶・スローガンほか	紙	1	印刷
W	57	4-3	〔原広次選挙広告〕	昭和14	9	6	責任者　遠賀郡水巻村字二、金子秀雄		立候補挨拶・スローガンほか	紙	1	印刷
W	57	5	福岡日日新聞号外	昭和12	8	24	発行所　福岡日日新聞合資会社・発行兼編集人　池原丈太郎・印刷人　古屋熊三郎		上海上陸作戦について	紙	5	
W	57	6	〔封筒〕	〔昭和10年代〕			父垂水信一郎・親族今土久米蔵・総代横田泰蔵・友人総代広瀬茂夫	（安高団兵衛）		封筒	1	上書に「会葬御礼」とあり
W	57	7	電報送達紙	〔昭和10年代〕			（安高繁次郎）	アシヤマチアワヤ　アタカダンベエ（芦屋町粟屋安高団兵衛）	「一ヒアサ？ジ　エヒツツクリヤカタノムシケ」（？？？？？繁）	電報	1	
W	57	8-1	〔書簡〕	皇紀2600	1	25	重二琅（佐世保市松川町二一六佐々木方）	父上（福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋安高福蔵）	目の具合は大変良くなった子と、糠塚の御歳暮の件本日葉書到来につき同封の事ほか	罫紙	1	罫紙2枚。W57-8-1、2封筒一括
W	57	8-2	〔葉書〕	昭和15	1	22	福岡県遠賀郡岡垣村大字糠塚　入江雄三	佐世保市松川町佐々木今朝太郎様方　安高スマ子	古足袋及び風呂敷入りの小包受取の事、粟屋御歳暮の件について	葉書	1	年月日は消印
W	57	9	〔葉書〕	昭和15	4	17	佐世保市松川町二一六　安高重二琅	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	金子送付の御礼	葉書	1	
W	57	10	〔葉書〕	皇紀2600	4	8	佐世保市松川町二一六　安高重二琅	福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋　安高正義	眼病は完治した事、先月末より防空砲台引上道路工事のため出張していた事ほか	葉書	1	
W	57	11	〔葉書〕	昭和15	1	9	佐世保市松川町二一六　安高重二琅・スマ子　勤務所佐世保海兵団第七分隊	福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋　安高団兵衛	休暇帰省中の御世話への御礼	葉書	1	
W	57	12	〔書簡〕	皇紀2600	4	13	安高重二琅（印）（佐世保市松川町二一六）	安高団兵衛様（福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋）	近日中服役延期解除となるにつき金100円借用願い	葉書	1	罫紙3枚。封筒あり
W	57	13-1	郵便貯金通帳	昭和13	6	26	福岡貯金支局	福岡県芦屋町　芦屋国防婦人会粟屋班　愛国規約貯金組合　安高リキノ	昭和16年6月26日まで	通帳	1	W57-13-1～15封筒一括
W	57	13-2	郵便貯金通帳	昭和7	8	31	福岡貯金支局	遠賀郡芦屋町粟屋　安高リキノ	禁煙貯金、昭和17年4月15日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳付箋紙あり
W	57	13-3	郵便貯金通帳	昭和7	9	3	福岡貯金支局	遠賀郡蘆屋町粟屋　安高団兵衛	昭和大典記念貯金、昭和17年3月まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳付箋紙あり
W	57	13-4-1	郵便貯金通帳	昭和7	9	10	福岡貯金支局	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	理髪貯金、昭和16年3月まで	通帳	1	W57-13-4-1、2同折
W	57	13-4-2	貯金通帳・保管通帳　再度保管証請求書	〔昭和戦前期〕			遠賀郡芦屋町字粟屋　安高保正	（郵便局）		紙	1	印刷

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	57	13-5	貯金通帳	昭和16	6	21	福岡貯金支局	遠賀郡芦屋町字粟屋　国民貯蓄組合　安高団兵衛	昭和18年3月まで	通帳	1	
W	57	13-6	貯金通帳	昭和10	8	15	有限責任　蘆屋信用組合(印)	組合員　安高団兵衛	中買売上労収貯金・電動力節約貯金、昭和18年7月16日まで	通帳	1	
W	57	13-7	貯金預入申込書	〔昭和戦前期〕						紙	1	印刷
W	57	13-8	受領証	昭和19	1	9	芦屋郵便局	契約者　安高団兵衛	当局原簿と対照のため保険料・掛金領収帳4冊御渡し願い	紙	1	印刷
W	57	13-9	第一回保険料領収証	昭和18	7	31	アシヤ郵便局	安高リキノ	20年養老保険金6円領収、被保険者藤吉	紙	1	印刷
W	57	13-10	第一回保険料領収証	昭和17	6	30	芦屋郵便局	安高団兵衛	20年満期小児保健金2円余領収、被保険者誠	紙	1	印刷
W	57	13-11	第一回保険料領収証	昭和17	6	30	芦屋郵便局(印・「吉永」)	安高団兵衛	20年満期養老保険金5円余領収、被保険者隆盛	紙	1	印刷
W	57	13-12	第一回保険料領収証	昭和17	6	30	芦屋郵便局(印・「吉永」)	安高団兵衛	20年満期養老保険金5円余領収、被保険者恵美子	紙	1	印刷
W	57	13-13	第一回保険料領収証	昭和17	6	30	芦屋郵便局(印・「吉永」)	安高団兵衛	20年満期養老保険金5円余領収、被保険者正義	紙	1	印刷
W	57	13-14	第一回保険料領収証	昭和17	6	30	芦屋郵便局(印・「吉永」)	安高団兵衛	20年満期養老保険金5円余領収、被保険者藤吉	紙	1	印刷
W	57	13-15	郵便貯金通帳	大正15	8	28	郵便貯金支局	遠賀郡芦屋町粟屋　安高福蔵	昭和14年8月25日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳付箋紙あり
W	57	14	郵便貯金通帳	昭和39	8	27	福岡地方郵便局	福岡県芦屋町粟屋　貴船神社積立金代表者　安高団兵衛		通帳	1	封筒あり。表紙に「貯金預入申込書の提出について」貼付あり
W	57	15	簡易保険契約に関する注意(小児保健)				福岡県蘆屋郵便局	粟屋　安高藤吉		紙	1	印刷。封筒あり
W	57	16	〔書簡〕		5	5	芳子	兄上	先日相談の件について	罫紙	1	封筒あり
W	57	17	〔書簡〕	皇紀2599	10	10	安高重二琅(佐世保市海軍病院三号病舎)	安高団兵衛(福岡県遠賀郡蘆屋町粟屋)	眼病にて入院中は妻スマ子は糠塚に帰らす事	罫紙	1	罫紙3枚。封筒あり
W	57	18	〔書簡写〕	皇紀2599	12	27	(安高団兵衛)		壱岐での講演会の礼状写	継紙	1	包紙あり
W	57	19	〔葉書〕	昭和14	8	19	すま子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・姉上	さらし猿股の件について	葉書	1	
W	57	20	〔書簡〕	昭和14	8	12	スマ子(佐世保市松川町二一六)	姉上(福岡県遠賀郡芦屋町粟屋安高団兵衛・姉上)	兄様の着物羽織の裁縫の件につき伺い	罫紙	1	罫紙2枚。封筒あり
W	57	21	婚姻同意書	昭和13	12	21	本人ノ父安高福蔵(書印)ほか5名		繁治郎とスマ子の婚姻につき。案文	紙	1	封筒あり。清書用紙1枚同封
W	57	22	〔封筒〕							封筒	1	
W	57	23-1	〔封筒〕	昭和14	9	1	花田(百姓町花田六之助)	(芦屋町粟屋　安高団兵衛)	「初盆御礼」と上書あり	封筒	1	年月日は消印。W57-23-1、2封筒一括
W	57	23-2	〔封筒〕	〔昭和10年代〕			福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	南支派遣軍久納部隊中島部隊高下隊　小野岩雄		封筒	1	
W	57	24	〔通知〕	昭和15	2	16	福岡県遠賀郡蘆屋町山鹿　佐野伝次郎・嗣子佐野孝福ほか4名	芦屋町粟屋　安高団兵衛	荊妻ジユン永眠につき通知	紙	1	印刷。封筒あり
W	57	25	〔封筒〕	〔昭和戦前期〕	4	10	あしや町　古賀恵啓拝	芦屋町粟屋区　安高団兵衛様		封筒	1	
W	57	26-1	〔書簡〕	昭和18	7	18	古賀拝(古賀恵啓)	(安高団兵衛)	守田藤一郎所持の門司市炭田杭区を安川が購入するよう協力依頼	罫紙	1	W57-26-1、2封筒一括
W	57	26-2	〔試掘許可証写〕	〔昭和18〕			門司市長谷町　片山松一	芦屋大城　守田藤一郎	西戸崎炭田合計21杭区採掘許可	罫紙	1	
W	57	27	〔書簡〕		3	14	戸畑市打越町二　河名日明	安高大人	講演内容取り決めのため赤誠会の団体的性格につき伺い	紙	1	封筒あり
W	57	28-1	事件の調定方に関し御願の件	昭和17	1	2	古賀恵啓(印)	津山政夫・安高団兵衛	長野氏との事件の調定願い	書綴(罫紙)	1	W57-28-1、2封筒一括
W	57	28-2	〔書簡〕	〔昭和17〕	1	2	愚人恵啓拝	安高	別紙願状を見て下されば、津山夫人は悦びに満ちて御主人につかえる事が出来る事	紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	57	29-1	〔書簡〕	昭和17	12	14	古賀拝	安高（芦屋町粟屋区安高団兵衛）	和田様より金300円の恵贈を受けた事、昨日司法主任殿へ別紙写の如く願下状を提出した事	紙	1	紙4枚。W57-29-1、2封筒一括
W	57	29-2	告訴願下状	昭和17	12		古賀恵啓（書印）	小倉裁判所検事局	直方市羽衣町長遠寺住職栗原正隆ほか19名への告訴取下げ	紙	1	写
W	57	29-3	〔書簡写〕	昭和17	12	13	古賀恵啓（書印）	坪井春次主任	2ヶ年の争論円満解決の御礼、坪井主任の高徳により直方長遠寺などから千円贈呈となったことにつき御礼	紙	1	
W	57	30-1	〔書簡〕	〔昭和戦前期〕			財団法人軍人会館出版部（東京市麹町区九段一ノ五）	誌友各位（安高団兵衛）	雑誌戦友前金切れにつき振込願い	紙	1	印刷。11-1～2封筒一括
W	57	30-2	〔雑誌広告〕	〔昭和戦前期〕			東京九段　軍人会館出版部		『戦友』・『我か家』の広告、帝国在郷軍人会々歌の歌詞・楽譜	紙	1	印刷
W	57	31	〔封筒〕	〔昭和戦前期〕			福岡県遠賀郡遠賀村役場	芦屋町粟屋　安高団兵衛		封筒	1	
W	58	1	〔年賀状〕	〔昭和41〕	〔1〕	〔21〕	U.Y Hirowatari 742windsor ave. N.Kamloops B.C. CANADA（カナダ）	（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）　安高団兵衛御家族	年始挨拶	カード	1	封筒あり、日付は団兵衛メモ、宛名補足は封筒
W	58	2	〔簡易書簡〕	昭和41	1	12	（742.WINSOR.AVE NORTH.KAMLOOPS.B.C. CANADA）　広渡卯壮・ゆう（カナダ）	（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）安高団兵衛御夫妻	カナダの社会情勢	簡易書簡	1	差出・宛名補足は表書
W	58	3	〔年賀状〕	昭和27	1	元旦（ママ）	（R.R.#.1.Kamloops B.C. Canada） Mr&Mrs.U.Hirowatari.and family（カナダ）	（福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋） Mr&Mrs.D.R.Ataka.and family		カード	1	封筒あり、差出・宛名補足は封筒
W	58	4	〔書簡〕	皇紀2612	1	7	（1449.Raguna.St. San francisco.15 California. U.S.A 扇谷）与次郎（カリフォルニア）	（日本福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋）団兵衛・同りきの并御家族一同	年始挨拶	紙	1	封筒あり、差出・宛名補足は封筒
W	58	5-1	〔書簡〕	〔昭和36〕	1	10	（Siscome B.C. Canada）　武田みち子（カナダ）	（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）叔父・叔母外御一同	年始挨拶の礼、子供の成長など報告	紙	2	封筒一括W58-5-1～W58-5-2、差出・宛名補足は封筒
W	58	5-2	〔写真〕						「長男弘二十才　B.C.大学在学中」	写真	1	
W	58	6	〔年賀状〕	〔昭和27〕	1	元旦（ママ）	（1449.Raguna.St. San francisco.15 California. U.S.A） 扇谷与次郎（カリフォルニア）	（日本福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋）団兵衛・同りきの・同御家族一同		紙	1	封筒あり、年は団兵衛メモ、差出・宛名補足は封筒
W	58	7-1	〔書簡〕	昭和26	9	26	（1449.Raguna.St. San francisco.15 California. U.S.A） 扇谷与次郎（カリフォルニア）カリフォルニア）	（日本福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋）父上母上・団兵衛・外兄弟妹御一同	講和調印に付報告	紙	9	封筒一括W58-7-1～W58-7-3、差出・宛名補足は封筒
W	58	7-2	〔写真〕							写真	4	
W	58	7-3	〔雑誌切抜〕							紙	4	
W	58	8-1	〔書簡〕	昭和26	9	10	北米桑港市元祖国会黒龍会支部会長扇谷与次郎	（日本福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋）団兵衛	講和調印に付報告	紙	5	封筒一括W58-8-1～W58-8-3、宛名補足は封筒
W	58	8-2	〔写真〕							写真	4	
W	58	8-3	〔名刺〕				桑港市ラグナ街一四四九　日本媾（ママ）和会議員特別送迎車独占員　扇谷与次郎（カリフォルニア）			名刺	1	
W	58	9-1	〔書簡〕	昭和26	2	28	（1449.RAGUNA.St. SAN FRANCISCO.CALIFORIA. U.S.A）　扇谷（与次郎）（カリフォルニア）	（日本福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋）団兵衛	妻まき子の安否うかがい、講和調印に付報告	紙	5	封筒一括W58-9-1～W58-9-2、差出・宛名補足は封筒
W	58	9-2	〔写真〕							写真	2	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	58	10	〔書簡〕	昭和26	5	5	(1449.Raguna.St. San francisco. California. U.S.A) 扇谷(与次郎)(カリフォルニア)	(日本福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋)団兵衛	家族の安否うかがい	紙	1	封筒あり
W	58	11-1	〔書簡〕	昭和26	6		(1449.Raguna.St. San francisco. California. U.S.A 扇谷)与次郎(カリフォルニア)	(日本福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋)安高団兵衛・同りき乃	帰国準備の報告	紙	2	封筒一括W58-11-1～W58-11-2
W	58	11-2	〔新聞切抜〕	1951	5	25			立退損害賠償妥協支払案についての記事	紙	1	
W	58	12	〔書簡〕	昭和26	2	26	(1449.Raguna.St. San francisco. California. U.S.A) 扇谷(与次郎)(カリフォルニア)	(日本福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋)団兵衛	近況報告	紙	1	封筒あり、差出・宛名補足は封筒
W	59	1	〔葉書〕	〔昭和41〕	〔1〕	〔24〕	東京都練馬区中村北五ノ七 秋山逸我	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋(芦屋局区内)安高団兵衛	いりこ送付の礼、写真の所在確認	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	59	2	〔葉書〕	〔昭和41〕	〔1〕	〔11〕	東京都杉並区阿佐谷北二ノ二三ノ一〇 藤枝秀之助・ゆき	福岡県遠賀郡芦屋町 安高団兵衛	静江が来訪した際の様子について	葉書	1	日付は消印
W	59	3	〔葉書〕	〔昭和41〕	〔1〕	〔17〕	八幡区清納町五丁目白石アパート3号 安高励子	遠賀郡芦屋町粟屋 安高りきの・お姉上	野菜頂戴の礼	葉書	1	日付は消印
W	59	4	〔書簡〕	〔昭和41〕	6	10	(小倉区井堀町一丁目)塚原たよ子	(遠賀郡芦屋町あしや水くき歌会)安高	中元として過分の金子頂戴の礼	便箋	2	封筒あり、年は消印、差出・宛名補足は封筒
W	59	5	〔葉書〕	昭和35	12	20	東京都杉並区西高井戸一ノ五三 早川シナ	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋 安高団兵衛	喪中に付年末年始挨拶欠礼	葉書	1	
W	59	6	〔葉書〕	昭和35	12		福岡県遠賀郡水巻町頃末 粟川正雄	芦屋町粟屋 安高団兵衛	喪中に付年始挨拶欠礼	葉書	1	
W	59	7	〔年賀状〕	昭和36		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町役場 和田友秀	芦屋町粟屋 安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	8	〔年賀状〕	〔昭和36〕		元旦	芦屋町本通り 朝日新聞・夕刊フクニチ 坂口新聞店	遠賀郡芦屋町粟屋 安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年は消印
W	59	9	〔年賀状〕	昭和36		元旦	幸町一組 小野浅次郎	芦屋町粟屋 安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	10	〔年賀状〕	〔昭和36〕		元旦	東京都千代田区一ツ橋二丁目九番地教育会館隣 旅館一橋寮	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋字粟屋 安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年は消印
W	59	11	〔年賀状〕	昭和36		元旦	八幡市折尾・本城・碇地 大庭善三郎	芦屋町粟屋 安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	12	〔年賀状〕	昭和36		元旦	遠賀郡岡垣村野間 辻守荘	芦屋町粟屋 安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	13	〔年賀状〕	〔昭和36〕		元旦	東京都中野区打越町十一番地 橘喜朔	福岡県芦屋町 安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年は消印
W	59	14	〔年賀状〕	昭和36		元旦	東京都港区芝金杉浜町三十五番地 株式会社東京味噌醸造機製作所 社長大庭増次・常務大庭利生・業務課鈴木利政・従業員一同	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋 安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	15	〔年賀状〕	〔昭和36〕		元旦	福岡県玄海町神ノ湊 永島伝三郎	遠賀郡芦屋町 安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	16	〔年賀状〕	昭和36		元旦	福岡市大字名島 桑原勇吉・桑原菊夫	遠賀郡芦屋町粟屋 安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	17	〔年賀状〕	昭和36		元旦	八幡市本町五丁目四八番地 大安工業株式会社 安高正義・藤吉仁太郎	遠賀郡芦屋町 安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	18	〔年賀状〕	〔昭和36〕	〔1〕	1	安高久米吉	粟屋 安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年月は団兵衛メモ
W	59	19	〔年賀状〕	昭和36		元旦	福岡県筑紫郡筑紫野町上古賀警察公舎 入江節雄	遠賀郡芦屋町大字粟屋 安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	20	〔年賀状〕	昭和36		元旦	八幡市黒崎町三丁目株式会社花屋・福岡県遠賀郡芦屋町駅前花屋運送店 吉田朝	芦屋町粟屋 安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	59	21	〔年賀状〕	〔昭和36〕	1	1	福岡県遠賀郡芦屋町中ノ浜　刀根善太郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年は団兵衛メモ
W	59	22	〔年賀状〕	昭和36		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町正門通り商工会会長・体育協会会長・自民党支部幹事長　会長徳永勝一	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	23	〔年賀状〕	昭和36		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町正門町　坂田熊一	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	24	〔年賀状〕	昭和36		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町中小路　吉田呉服店　吉田達雄	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	25	〔年賀状〕	昭和36		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町　山口モーター・山口の自転車　安部商会	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	26	〔年賀状〕	昭和36		元旦	芦屋町山麓　鶴原吉平	町内粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	27	〔年賀状〕	昭和36		元旦	八幡市通町七丁目　福岡相互銀行八幡支店　森山博文	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	28	〔年賀状〕	〔昭和36〕	1	1	岡垣村吉木　広渡成男	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年は団兵衛メモ
W	59	29	〔年賀状〕	〔昭和36〕	1	1	水巻町吉田片山　白石貞蔵	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年は団兵衛メモ
W	59	30	〔年賀状〕	〔昭和36〕		元旦	東京都渋谷区桜丘九六番地　旅寮しんめん	福岡県遠賀郡芦屋粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年は消印
W	59	31	〔年賀状〕	〔昭和36〕	1	元旦（ママ）	芦屋町　江島みな	芦屋町アワヤ　安高団兵エ	年賀状	葉書	1	年は消印
W	59	32	〔年賀状〕	〔昭和36〕		元旦	八幡市折尾町本城　香山満寿郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	年は消印
W	59	33	〔年賀状〕	昭和36		元旦	尾道市栗原町亀川　佐藤信子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	34	〔年賀状〕	〔昭和36〕		元旦	工藤八代子	福岡県遠賀郡芦屋粟屋　安高団兵衛・御一同	年賀状	葉書	1	年は消印
W	59	35	〔年賀状〕	昭和36		元旦	遠賀郡芦屋町市場　筑水旅館中西五郎六・中西ハナ	町内粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	36	〔年賀状〕	昭和36		元旦	東京都新宿区四谷町一ノ八　旅館九州　陣場正輝・トキエ	福岡県遠賀郡芦ヤ町芦屋粟屋安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	37	〔年賀状〕	昭和36		元旦	鳥栖市村田町　宇野得三	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	38	〔年賀状〕	昭和36		元旦	八幡市折尾本町二　洞海プリント社	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	39	〔葉書〕	昭和36	1	12	福岡県行橋市行事京町九六二荒木正広	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	芦屋特別電話局から行橋電報電話局施設課へ赴任の挨拶	葉書	1	
W	59	40	〔年賀状〕	〔昭和36〕	〔1〕	〔3〕	東京都港区芝神谷町六　山本武	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年月日は消印
W	59	41	〔年賀状〕	辛卯〔昭和26〕		元旦	芦屋中ノ浜　中村達二・同つた	芦屋町粟屋　安高団兵衛様・御同家	年賀状	葉書	1	
W	59	42	〔年賀状〕	辛卯〔昭和26〕		元旦	山鹿　秋山光清	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	43	〔年賀状〕	〔昭和26〕		元旦	遠賀川局区内別府　永田金十郎	芦屋局区内芦屋町粟屋　安高団兵衛殿	年賀状	葉書	1	年は消印
W	59	44	〔年賀状〕	〔昭和26〕	1（ママ）	元旦	遠賀村別府　永田要蔵	遠賀郡芦屋町粟屋　安高福蔵	年賀状	葉書	1	
W	59	45	〔年賀状〕	昭和26		元旦	佐賀県東松浦郡入野村　山田屋旅館山田弥太郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵エ	年賀状	葉書	1	
W	59	46	〔年賀状〕	皇紀2601		元旦	備前中間町唐戸　加来歯科医院加来繁雄	芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	59	47	〔年賀状〕	昭和26	1(ママ)	元旦	芦屋局区内幸町木原ウメヨ様 中村正広	芦屋局区内大字粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	48	〔年賀状〕	昭和26		元旦	宗像郡岬村上八　和田積蔵	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	49	〔年賀状〕	昭和26		元旦	福岡県遠賀郡水巻町　高崎種苗店高崎文助	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	50	〔年賀状〕	〔昭和26〕		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町　岡湊神社々務所宮司林田守治	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年は消印
W	59	51	〔年賀状〕	昭和26		元旦	八幡市折尾町本城　大庭善三郎	芦屋町粟屋　安高団兵エ	年賀状	葉書	1	
W	59	52	〔年賀状〕	昭和26	1(ママ)	元旦	伊豆安夫	遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	53	〔年賀状〕	〔昭和26〕	1(ママ)	元旦	福岡県遠賀郡芦屋町　柴田喜次郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年は消印
W	59	54	〔年賀状〕	〔昭和26〕	1(ママ)	元旦	佐賀県基山町　岸金四郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年は消印
W	59	55	〔年賀状〕	昭和26	1(ママ)	元旦	山形種鶏場　場主山形鐵郎　種鶏部福岡県遠賀郡岡垣村吉木　主任山形誠　孵卵部福岡県遠賀郡岡垣村海老津　主任山形吉信	遠賀郡芦屋町大字粟屋　安高団平(ママ)	年賀状	葉書	1	
W	59	56	〔年賀状〕	〔昭和26〕	1	1	広渡寿雄	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年は消印
W	59	57	〔年賀状〕	1951		元旦	直方市古町二丁目　椛田清太郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	58	〔年賀状〕	昭和26	1	1	福岡県遠賀郡遠賀村遠賀川　三原朝雄	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	59	〔年賀状〕	1951		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町　堤写場	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	60	〔年賀状〕	〔昭和26〕	1(ママ)	元旦	若松市小石下鴻　岡部得三	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年は消印
W	59	61	〔年賀状〕	昭和26	1	1	中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋 安高団兵衛大兄	年賀状	葉書	1	
W	59	62	〔年賀状〕	昭和26		元旦	福岡県遠賀郡芦屋町金屋　大竹嘉三郎	遠賀郡芦屋局区内粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	63	〔葉書〕	〔昭和26〕			遠賀郡岡垣村元松原　広渡タツノ	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況うかがい	葉書	1	
W	59	64	〔年賀状〕	昭和26		元旦	東京都杉並区西高井戸一ノ五三　早川朝洋(悠行荘)	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋1205 安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	65	〔年賀状〕	〔昭和26〕		元旦	高倉　安部庫平	芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年は消印
W	59	66	〔葉書〕	〔昭和26〕	1	7	金屋　大竹ヒデ	町内粟屋　安高団兵衛	喪中に付年始挨拶欠礼	葉書	1	年は消印
W	59	67	〔年賀状〕	〔昭和26〕	1	5	大分県宇佐郡竜王村　中村藤治郎	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋 安高団兵衛兄	年賀状	葉書	1	年は消印
W	59	68	〔年賀状〕	〔昭和26〕	1	3	東京都杉並区西高井戸一ノ五三　原口ハマ	福岡県遠賀郡(芦屋局区内)芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年は団兵衛メモ
W	59	69	〔年賀状〕	〔昭和26〕	1(ママ)	元旦	小倉市大字北方九四九　株式会社内山組取締役社長内山要太	芦屋町粟屋芦屋局区内　安高団兵エ	年賀状	葉書	1	年は消印
W	59	70	〔年賀状〕	昭和26	1(ママ)	元旦	冨山局区内清水町十一区南部一八〇　株式会社広貫堂田村兵治	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	71	〔年賀状〕	〔昭和26〕	〔1〕	〔10〕	底井野小学校　戸次義悦	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	72	〔葉書〕	昭和26	1	11	遠賀郡芦屋芦屋町金屋　男大竹誠・同大竹武・親族総代林敏夫	町内粟屋　安高団兵衛	亡父嘉三郎葬儀会葬の礼	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	59	73	〔書付〕						手紙下書き、農家への嫁入りについて？	紙	1	
W	59	74	〔葉書〕	昭和26	1		鞍手郡小竹町　衆議院議員渕上房太郎	芦屋粟屋　安高団兵衛	寒中見舞い	葉書	1	
W	59	75	〔葉書〕	昭和26	2	11	遠賀支部　八幡市折尾国道筋　大庭善三郎	芦屋町字粟屋　安高団兵エ	農協遠賀支部長就任の挨拶	葉書	1	
W	59	76	〔葉書〕	〔昭和26〕	2	18	東京都港区芝神谷町六番地神谷克爾方　永田佳子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・シゲ	閉塞した生活について報告	葉書	1	
W	59	77	〔案内状〕	〔昭和26〕	3	19	長野政八	(粟屋)安高団兵エ	長野政八娘豊子に菅島政一長男政彦を婿養子に迎えての結婚	印刷物	1	封筒あり、年は団兵衛メモ、宛名補足は封筒
W	59	78	〔葉書〕	〔昭和26〕	〔3〕	19	芦屋局区内幸町木原ウメヨ方　中村正広	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	帰村報告	葉書	1	年月は消印
W	59	79	〔葉書〕	〔昭和26〕	〔3〕	〔27〕	福岡県若松市中川通り四丁目　九州配電株式会社若松営業所	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	サイクル変更の通知	葉書	1	日付は消印
W	59	80	〔葉書〕	〔昭和26〕	〔3〕	〔27〕	福岡県若松市中川通り四丁目　九州配電株式会社若松営業所	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	サイクル変更の通知	葉書	1	日付は消印
W	59	81	〔葉書〕	昭和26	3	29	福岡県遠賀郡遠賀川駅前　安川モートル福岡県代理店　福岡県指定農機具卸小売商津川商店	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	モーター修理完了の通知	葉書	1	
W	59	82	〔葉書〕	〔昭和26〕	〔3〕	〔29〕	福岡県遠賀川国道筋　農薬・種子・肥料商泉原商店	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団平	肥料入荷案内	葉書	1	日付は消印
W	59	83	〔書簡〕	〔昭和26〕	3	29	(福岡県若松市大字安屋)　本田十一郎	(遠賀郡芦屋町粟屋)　安高団兵衛	縁談依頼(農家の嫁探し)	罫紙	1	封筒あり、年は消印、差出・宛名補足は封筒
W	59	84	〔葉書〕	〔昭和26〕	4	6	八幡市折尾町浅川通り　梅田梅吉	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	ガチョウの卵注文	葉書	1	年は消印
W	59	85	〔葉書〕	〔昭和26〕	〔4〕	〔9〕	県内宗像郡岬村上八平原魚□喜雄様内　塚本かず子	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況うかがい	葉書	1	日付は消印
W	59	86	〔葉書〕	〔昭和26〕	4	8	福岡県若松市大字安屋　本田十一郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	縁談の礼	葉書	1	
W	59	87	〔葉書〕	〔昭和26〕	〔4〕	〔11〕	遠賀村尾崎　安部卯一郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団平	亡妻葬儀会葬の礼	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	59	88	〔葉書〕	〔昭和26〕	4	10	折尾町陣原　安高重二琅	遠賀郡芦屋局区内芦屋町粟屋　安高団兵衛	餅頂戴の礼	葉書	1	年は団兵衛メモ
W	59	89	〔葉書〕	〔昭和26〕	4	19	遠賀川駅前　安松商店	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛様	麩入荷の通知	葉書	1	年は団兵衛メモ
W	59	90	〔名刺〕				竹本礦業株式会社取締役吉田俊幸　本社福岡県田川郡金田町神崎竹本礦業福吉炭坑　主張所福岡県若松市本町七丁目竹本礦業若松出張所			名刺	1	
W	59	91-1	剣木亨弘略歴							印刷物	1	封筒(遠賀地方農村連盟→芦屋町粟屋　安高団兵エ殿)一括W59-91-1～W59-91-4
W	59	91-2	〔選挙広告〕						選挙公約	印刷物	1	
W	59	91-3	〔選挙広告〕						県知事立候補の理由	印刷物	2	
W	59	91-4	〔選挙広告〕						社会党・共産党について	印刷物	2	
W	59	92	〔葉書〕	昭和27	2		東京都千代田区衆議院第三議員会館・中野区昭和通二丁目四七　衆議院議員　渕上房太郎	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	寒中見舞い	葉書	1	
W	59	93	〔葉書〕	〔昭和27〕	1	25	折尾町本城　香山満寿郎	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	藤江氏との待ち合わせ時間について	葉書	1	年は消印
W	59	94	〔年賀状〕	〔昭和27〕	1(ママ)	元旦	和歌山県(高野局区内)高野山準別格本山　大円院	福岡県遠賀郡芦屋町　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年は消印
W	59	95	〔年賀状〕	昭和27	1		東京都杉並区西高井戸一ノ五三　原口ハマ	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	59	96	〔書簡〕	〔昭和27〕	5	4	東京都港区芝神谷町六　山本佳子	福岡県遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	亡父告別式会葬の礼	便箋	1	封筒あり、年は消印
W	59	97	〔葉書〕	昭和27	9	29	中小路区　示誠日雄　愚人恵啓	芦屋町粟屋区　安高団兵衛先生	精神病者発言確認のため、多々野氏との面談願い	葉書	1	日付は消印
W	59	98	〔年賀状〕	昭和5		元旦	筑前若松　中西儀助	遠賀郡芦屋町字粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	
W	59	99	〔葉書〕	〔昭和40〕	〔12〕	〔16〕	東京・日本女子大学　安高静江	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	近況報告	葉書	1	日付は消印
W	59	100	〔年賀状〕	〔昭和41〕	〔1〕	15	浜崎　入江満	粟屋　安高団兵衛	年賀状	葉書	1	年・月は消印
W	59	101	〔書簡〕	〔昭和40〕	〔8〕	〔17〕	熊本県阿蘇郡阿蘇町内牧大字西園　小島頼男	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	健康管理など近況報告	原稿用紙	1	封筒あり、日付は消印
W	59	102	〔葉書〕	〔昭和40〕	〔8〕	〔17〕	阿蘇郡内牧大字西園　小島頼男	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋安高団兵衛	戦時中の思い出話	葉書	1	日付は消印、102の記述は、103～105へ続く
W	59	103	〔葉書〕	〔昭和40〕	〔8〕	〔17〕	熊本県阿蘇郡阿蘇町大字内牧西園　小島頼男	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋安高団兵衛	団兵衛との面会依頼	葉書	1	日付は消印
W	59	104	〔葉書〕	〔昭和40〕	〔8〕	〔17〕	熊本県阿蘇町内牧大字西園　小島頼男	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋安高団兵衛	家族の近況報告	葉書	1	日付は消印
W	59	105	〔葉書〕	〔昭和40〕	〔8〕	〔17〕	熊本県内牧大字西園　小島頼男	福岡県遠賀郡芦屋町大字粟屋安高団兵衛	「余欲排斥、如少年」を座右の銘とする生活について	葉書	1	日付は消印
W	59	106	〔書付〕	〔昭和25〕	〔11〕	〔13〕	岡垣村元松原　広渡一敬	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	金額・住所・氏名	紙	4	封筒あり、日付は団兵衛メモ
W	59	107	〔年賀状〕	昭和26		元旦	山口県大津郡俵山温泉　岡島旅館	福岡県遠賀郡芦屋町大字芦屋(ママ)安高団兵衛・同リキノ	年賀状	葉書	1	
W	59	108	〔葉書〕	〔昭和26〕	〔5〕	〔17〕	福岡県遠賀郡国道筋　農薬・種子・肥料商　泉原商店	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	肥料入荷案内	葉書	1	日付は消印
W	59	109	〔葉書〕	昭和26	5	20	小倉区検察庁　早川万次郎　戸畑市中本町二丁目五番地	遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	転勤通知	葉書	1	
W	59	110	〔葉書〕	〔昭和26〕	〔5〕	〔21〕	船頭町禅寿寺　藤隣応	芦屋町粟屋　安高団兵衛	先和尚13回忌の案内	葉書	1	日付は消印
W	59	111	〔葉書〕	〔昭和26〕	〔5〕	〔23〕	福岡県遠賀郡中間町唐戸　蔬菜種子・荒物ロープ・園芸農具　嶺興農園	遠賀郡芦屋町粟屋　阿(ママ)高団兵衛	永光印鎌の案内	葉書	1	日付は消印
W	59	112	〔書簡〕	昭和36	2	26	保正	母上	東京での生活や生活費などについて	便箋	4	封筒あり
W	59	113-1	〔書簡〕	〔昭和27〕	1	6	渕上房太郎	安高団兵衛	カレンダー送付	便箋	1	封筒（福岡県鞍手郡小竹町　渕上房太郎→芦屋町粟屋　安高団兵衛様）一括113-1～113-2、年は団兵衛メモ
W	59	113-2	〔封筒断簡〕				鞍手郡小竹町渕上房太郎	芦屋町粟屋　安高団兵衛	封筒の差出・宛名部分のみを切り抜き	断簡	1	
W	59	114	〔葉書〕	〔昭和36〕	11	30	市川市真間町1-252　内田権一方安高誠	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛・同りきの	年末の帰省予定について	葉書	1	年は消印
W	59	115	〔書簡〕	〔昭和36〕	11	1	東京都渋谷区東町4-43　高野きい方鈴木康治	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	無沙汰の詫び、怪我の快復状況について	便箋	1	封筒あり、年は消印
W	59	116	〔葉書〕	〔昭和36〕	12	1	芦屋町農業協同組合	芦屋町粟屋　安高団兵衛	火災保険期日到来の案内	葉書	1	年は消印
W	59	117	〔葉書〕	〔昭和36〕	〔12〕	〔14〕	芦屋町山鹿田広　裏岡一馬	芦屋町粟屋　安高団兵衛	亡父1周忌の案内	葉書	1	日付は消印
W	59	118	〔葉書〕	〔昭和36〕	11	9	福岡市大字名島　桑原勇生	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	同窓会での配慮の礼	葉書	1	年は消印
W	59	119	〔葉書〕	〔昭和36〕	〔11〕	〔19〕	福岡県遠賀郡芦屋町正門町　芦屋基地貸地主組合	芦屋町粟屋　安高団兵衛・安高幸次郎	組合員総会の案内	葉書	1	日付は団兵衛メモ
W	59	120	〔書簡〕	昭和19	2	8	（福岡県遠賀郡芦屋町粟屋）　安高団兵衛	（別府市鉄輪温泉みなとや旅館　安高福蔵・外御一同）　父母上・他御一同	留守中の近況報告	便箋	4	封筒あり、差出・宛名補足は封筒
W	59	121-1	〔広告〕	〔昭和37〕	〔10〕	〔7〕	東京都千代田区竹平町一　リーダーズダイジェスト		リーダーズダイジェスト1962年11月号目次、愛読者の声	紙	1	日付は団兵衛メモ、封筒一括121-1～121-3、印刷物

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	59	121-2	〔広告〕						リーダーズダイジェスト特別奉仕価格の案内	紙	2	印刷物
W	59	121-3	〔懸賞案内〕							紙	1	印刷物
W	59	122	〔葉書〕	昭和17	6	20	中支派遣鎮五五二〇部隊春康隊　和田清	福岡県遠賀郡芦屋町粟屋　安高団兵衛	部隊での安否報告	葉書	1	軍事郵便
W	60	1	〔書簡〕	〔昭和16〕	6	30	中村邦平[芦屋国民学校長]	安高団兵衛	研究会にトマト恵贈のお礼	紙	1	
W	60	2	〔書簡〕	〔昭和16〕	8	29	吉田三郎	安高団兵衛	芦屋町長就任について質問	紙	3	
W	60	3	〔葉書〕	昭和25	3		衆議院議員山口シヅエ・山口重彦	安高団兵衛	国会報告並びに経営方針の説明	葉書	1	
W	60	4	〔葉書〕	昭和25	3	6	重岡本介	安高団兵衛	法要の案内	葉書	1	
W	60	5	〔葉書〕	〔昭和36〕	2	4	太田秀夫	安高団兵衛	法要の案内	葉書	1	
W	60	6	〔葉書〕	昭和36	3	6	黒山高麿	安高団兵衛	社会福祉協議会への寄附御礼	葉書	1	
W	60	7	〔葉書〕	〔昭和36〕	〔3〕	31	花田京染店	安高リキノ	柄染品到着の通知	葉書	1	
W	60	8	〔葉書〕	不詳			二水倶楽部	安高団兵衛	旅行案内	葉書	1	
W	60	9	〔葉書〕	昭和36	3	20	西田広義	安高団兵衛	転居通知	葉書	1	
W	60	10	〔葉書〕	〔昭和36〕	3	12	太田秀夫	安高団兵衛	法要の案内	葉書	1	
W	60	11	〔書簡〕	昭和36	7	20	第8回日本砂丘研究会事務局	安高団兵衛	第8回日本砂丘研究全国大会通知	紙	3	
W	60	12	〔書簡〕	昭和15	3	20	遠賀郡家畜保健組合長小田利三郎	安高団兵衛	総会召集通知	紙	4	牛籍証・家畜保険証券封入
W	60	13-1	血統証明書〔写〕	昭和14	7	15	熊本種馬所		買収の馬の証明書	紙	1	13-1・13-2同封
W	60	13-2	売買(交換)証明書〔写〕	昭和16	9	17	北九州畜産組合家畜市場		売主安高団兵衛、買主黒田辰一	紙	1	
W	60	14	〔封筒〕				福岡県遠賀郡芦屋町役場	安高団兵衛		袋	1	14-1～14-9同封
W	60	14-1	受領証	昭和28	12	23	安高団兵衛	安高幸治郎・安高鶴雄	返済金受領証	紙	1	
W	60	14-2	記	昭和29	2	26	安高マキ代理安高団兵衛	安高鶴雄	受領証	紙	1	
W	60	14-3	金員借用申込書	昭和27	10	10	安高団兵衛	芦屋農業協同組合長安高岩雄		紙	1	
W	60	14-4	原乳受入通知	〔昭和〕30	11	30			安高外5名の原乳数量書上げ	紙	1	
W	60	14-5	借用証書					芦屋農業協同組合長理事	用紙	紙	1	
W	60	14-6	担保品差入証					芦屋町農業協同組合	用紙	紙	1	
W	60	14-7	支払明細書	昭和30	12	1	福岡県遠賀郡芦屋町総務課渉外係	安高福蔵	借上料明細	紙	1	
W	60	14-8	支払明細書	昭和30	12	1	福岡県遠賀郡芦屋町総務課渉外係	安高福蔵	借上料明細	紙	1	
W	60	14-9	支払明細書	昭和30	12	1	福岡県遠賀郡芦屋町総務課渉外係	安高団兵衛	借上料明細	紙	1	
W	60	15	〔封筒〕				遠賀郡家畜保健組合	安高団兵衛		袋	1	15-1～15-6同封
W	60	15-1	証明書	昭和16	8	4	北九州畜産組合		安高団兵衛所有牛の証明書	紙	1	
W	60	15-2	領収書	昭和14			北九州畜産組合第七支部長小田利三郎	安高団兵衛	組合費	紙	1	
W	60	15-3	領収書	昭和12	6	4	遠賀郡畜産組合第八支部長小田利三郎代理野中獣医	安高団兵衛	組合費	紙	1	
W	60	15-4	領収書	昭和16	5	26	北九州畜産組合第七支部長小田利三郎	安高団兵衛	組合費	紙	1	
W	60	15-5	領収書	昭和15			北九州畜産組合第七支部長小田利三郎	安高団兵衛	組合費	紙	1	
W	60	15-6	領収書	昭和11	12	23	遠賀郡家畜保健組合長小田利三郎	安高団兵衛	組合費	紙	1	
W	60	16	〔通信事務〕	〔昭和〕40	12	1	福岡地方貯金局	安高吉明	貯金高通知	紙	1	
W	60	17	〔通信事務〕	〔昭和〕40	12	1	福岡地方貯金局	安高澄夫	貯金高通知	紙	1	
W	60	18	〔書簡〕	昭和40	7	5	堀江吉一	安高団兵衛	会葬御礼	紙	1	
W	60	19	〔書簡〕	昭和41	1	18	成田ユキ子	安高団兵衛	年賀および近況報告	紙	3	日付は消印
W	60	20	〔書簡〕	〔昭和〕41	6	9	大場文吉	安高団兵衛	お見舞いお礼と時候お見舞い	紙	1	
W	60	21	〔書簡〕	昭和41	2	2	藤原丈雄	安高団兵衛	写真送付、但し写真はなし	紙	1	日付は消印
W	60	22	〔葉書〕	昭和41	2	9	安高繁治郎	安高団兵衛	忘れ傘の保管依頼	葉書	1	日付は消印
W	60	23	〔書簡〕	昭和41	2	6	安高保正	安高団兵衛	名産お礼と健康伺いおよび弟の転職について	紙	4	写真在中

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
W	60	24	〔葉書〕	〔昭和41〕	1	18	藤枝秀之助・ゆき	安高団兵衛	名産お礼	葉書	1	
W	60	25	〔葉書〕	〔昭和41〕	2	17	太田秀夫	安高団兵衛	結婚式案内	葉書	1	
W	60	26	〔葉書〕	昭和41	2	20	広渡素一郎	安高団兵衛	上棟式案内	葉書	1	日付は消印
W	60	27	〔葉書〕	昭和41	2	15	安高励子	安高リキノ	先日訪問のお礼	葉書	1	日付は消印
W	60	28	〔書簡〕	〔昭和41〕	2	22	立花商会立花喜太郎	安高団兵衛	お見舞い品送付と好物頂戴のお礼	紙	2	
W	60	29	〔葉書〕	昭和41	2	4	若松税務署	安高団兵衛	口座振替納付説明会ご案内	葉書	1	日付は受取人注記
W	60	30	〔葉書〕	昭和41	3	1	善福寺内	安高団兵衛	仏教協会旅行の際の写真について	葉書	1	日付は消印
W	60	31	〔封筒〕				九州厚生年金病院			封筒	1	封筒のみ
W	60	32	〔葉書〕	〔昭和41〕	2	3	秋山光材	安高団兵衛	写真の件と光民の近況	葉書	1	
W	60	33	〔葉書〕	〔昭和41〕	2	22	秋山光材	安高団兵衛	法事帰省不可能につきお願い	葉書	1	
W	60	34	〔葉書〕	〔昭和41〕	2	24	秋山光材	安高団兵衛	写真落手、本の返却は少しお待ち願う	葉書	1	
W	60	35	〔書簡〕	〔昭和41〕	1	4	小島頼男	安高団兵衛	軍隊時代の思い出と近況	紙	2	
W	60	36	〔葉書〕	昭和41	2	20	九州電力株式会社若松営業所	安高団兵衛	電柱敷地料払込み	葉書	1	日付は受取人注記
W	60	37	〔葉書〕	昭和41	2	17	遠賀郡農業協同組合長仲野馨	安高団兵衛	倉庫米盗難報告	葉書	1	
W	60	38	〔葉書〕	昭和41	3	[10]	辻誠吾・ヨシ子	安高団兵衛	結婚挨拶	葉書	1	
W	60	39	〔葉書〕	昭和41	3	10	皆川重蔵	安高団兵エ	会葬御礼	葉書	1	
W	60	40	〔葉書〕	昭和41	3	14	安高隆盛	安高団兵衛	会葬御礼	葉書	1	
W	60	41-1	〔書簡〕	昭和41	3	20	小島頼男	安高団兵衛	軍隊時代の思い出と近況	紙	2	41-2、41-3は41-1に同封、内容は41-3、41-2、41-1の順
W	60	41-2	〔葉書〕	昭和41	3	20	小島頼男	安高団兵衛	軍隊時代の思い出と近況	葉書	1	日付は消印
W	60	41-3	〔葉書〕	昭和41	3	20	小島頼男	安高団兵衛	軍隊時代の思い出と近況	葉書	1	日付は消印
W	60	42	〔書簡〕	〔昭和41〕	4	12	安高静江	安高千鶴子・澄夫	入学のお祝い	紙	4	
W	60	43	〔書簡〕	昭和41	3	25	芦屋少年剣道部父兄会	安高団兵衛	黒竜旗創設、剣道大会の案内	紙	4	
W	60	44	〔葉書〕	昭和41	4	12	中西孝之	安高団兵衛	会葬御礼	葉書	1	
W	60	45	〔葉書〕	〔昭和41〕	5	16	吉田徳蔵	安高団兵衛	写真お礼	葉書	1	
W	60	46	〔書簡〕	昭和41	5	16	小田福彦	安高団兵衛	会葬御礼	紙	1	
W	60	47	歌在中				瓜生			封筒	1	封筒のみ
W	60	48	歌在中		2	6	瓜生成子	安高団兵衛		封筒	1	封筒のみ
W	60	49	〔封筒〕	〔昭和41〕	2	10	河村ため	安高団兵衛	和歌詠草入の表書き	封筒	1	封筒のみ
W	60	50	〔封筒〕	〔昭和41〕	1	23	河村ため	安高団兵衛	和歌詠草の表書き	封筒	1	封筒のみ
W	60	51	〔封筒〕	昭和41	5	20	立正佼成会小倉支部長高嶋康雄	安高団兵衛		封筒	1	
W	60	52-1	〔書簡〕	〔昭和41〕	5	6	秋山光見	安高団兵衛	競艇場車預かり場の経営の件	紙	5	52-1～52-4は同封
W	60	52-2	〔書簡〕	昭和41	4	30	安高団兵衛	秋山光見	競艇場車預かり場の経営報告	綴り	1	
W	60	52-3	〔書簡〕	昭和41	4	30	安高団兵衛	秋山光見	同上および雇人給与	紙	1	
W	60	52-4	〔葉書〕	〔昭和41〕	5	14	秋山光見	安高団兵衛	訪問予定日の知らせ	葉書	1	
W	60	53	〔葉書〕	〔昭和41〕	[5]	20	秋山光見	安高団兵衛	訪問予定日の知らせ	葉書	1	
W	60	54	〔書簡〕	昭和41	4	11	藤枝秀之助	安高団兵衛	近況報告	紙	3	
W	60	55	〔葉書〕	〔昭和41〕	5	8	石橋つもる	安高団兵衛	退職挨拶	葉書	1	
W	60	56	〔葉書〕	〔昭和41〕	5	18	秋山光材	安高団兵衛	所望論文は夏に持ち帰る予定	葉書	1	
W	60	57	〔書簡〕	昭和41	6	2	藤枝秀之助・ゆき	安高団兵衛	孫誕生予定の知らせ	紙	4	
W	60	58	〔葉書〕	昭和41	5	8	広渡博	安高団兵衛	転居通知	葉書	1	日付は消印
W	60	59	〔葉書〕	昭和41	4	20	有吉朝美・良子・有吉みね	安高団兵衛	転居通知	葉書	1	
W	60	60	〔書簡〕	〔昭和41〕	6	2	桑原勇吉	安高団兵衛	芦屋町の清掃記事を見て	紙	4	
W	60	61	〔書簡〕	昭和41	1	17	安高保正	安高団兵衛	いりこ送付のお願い	紙	3	
W	60	62	〔書簡〕	昭和41	6	10	秋山光見	安高団兵衛	駐車場および帰省の件	紙	3	
W	60	63	〔葉書〕	〔昭和41〕	6	30	藤山円蔵	安高団兵衛	お見舞い	葉書	1	
W	60	64	〔書簡〕	昭和40	9	15	相羽光文・秋山光材		弔詞・供物お礼	紙	1	
W	60	65	〔書簡〕	〔昭和41〕	6	29	安高静江	安高団兵衛・りきの	写真お礼	紙	3	
W	60	66	〔葉書〕	昭和41	5	27	安部徳太郎・征子	安高団兵衛	結婚挨拶	葉書	1	
W	60	67	〔葉書〕	昭和41	3	15	山陽町長白石龍彦	安高団兵衛	1周年記念式招待	葉書	1	
W	60	68	〔葉書〕	〔昭和41〕	6	13	藤山円蔵	安高団兵衛	お見舞い	葉書	1	
W	60	69	〔書簡〕	〔昭和41〕	6	12	安高円蔵	安高団兵衛・りきの	近況報告	紙	4	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
X	1		皇紀弐千五百九拾五年(昭和拾年)拾壱月拾五日以降町会議員職務ニ関スル書類綴(第一号)	昭和10			安高団兵衛			書冊	1	
X	2		皇紀千五百九拾七年(昭和拾弐年)拾壱月拾五日以降町会議員職務ニ関スル書類綴(第弐号)	昭和12			安高団兵衛			書冊	1	
X	3		皇紀弐千五百九拾八年(昭和拾参年)拾壱月十五日以降町会議員職務ニ関スル書類綴(第参号)	昭和13			安高団兵衛			書冊	1	
X	4		市制町村制及関係法令	昭和11	2	15	東京　市町村雑誌社			書冊	1	
X	5		〔封筒〕				遠賀郡芦屋尋常高等小学校			封筒	1	
X	6		鉄道図	昭和12	1	1	株式会社　旅行案内社			パンフレット	1	
X	7		査閲要項	昭和14			芦屋町立青年学校			書冊	1	
X	8	1	芦屋町選挙人名簿	昭和14						書冊	1	
X	8	2	〔書簡〕		11	12	愚人直啓	安高幸次郎		罫紙	1	
X	8	3	〔熨斗〕						表に「陣中見舞　愚人直啓」とあり	熨斗	1	
X	9		町会議員事項記帳	昭和10			安高団兵衛			ノート	1	
Y	1		昭和十五年度　青年学校査閲要録	昭和15年度			遠賀郡芦屋町立青年学校		ガリ版刷り	冊子	1	
Y	2		二六会入会申込書	昭和15年か			聖地筑前芦屋二六会		皇紀2600年記念として結成された組織の入会申込書	一紙	8	
Y	3		〔ちらし〕	昭和12年か			帝国農会		「金肥が高い、無駄なく使へ！　割安な石灰窒素を奨む、自給肥料を減らすな増やせ！」の表示と文章	一紙	1	
Y	4		〔婚儀3件メモ〕	昭和26～27					媒酌人・証人としての婚儀3件のメモ 封筒あり「御見料」、封筒表に別件のメモ	罫紙	6	
Y	5		貨幣価値之騰落　原因と其結果	昭和8年か			新聞聯合社		23頁から始まる、冊子の表紙を自前で作成	書冊	1	
Y	6		〔差出した手紙の控〕	昭和34	9	10	安高団兵衛		昭和34年9月10日から35年1月18日までの手紙複写、コクヨの便箋複写簿、下書きや来信の手紙が差し込んである	専用紙綴	1	
Y	7		報徳	昭和16	4	1	東亜報徳会総務所		第31巻第4号	冊子	1	
Y	8		〔ちらし〕	昭和17年か			長野政八		昭和15年神武天皇社奉賛会を組織して以降、2年間にわたる古賀氏の誹謗浮説について町民に対する説明文	一紙	13	
Y	9	1	藤田の種子	昭和12年春			藤田善兵衛商店		種子目録	冊子	1	
Y	9	2	専門園芸家用高級品　昭和十四年　種苗目録	昭和14			大日本農友会斡旋部八代農産斡旋所			冊子	1	
Y	10		野菜と花　九州実際園芸　昭和十五年春季増大号	昭和15	1	1	九州園芸研究会			冊子	1	
Y	11		〔ビラ〕	昭和10	9	22	福岡県		県会議員選挙のビラ、「大君に答へまつらんこの一票 粛正は先ず自分から」	一紙	3	
Y	12		東方時報　第317号	昭和17	11	25	東方時報社		東方同志会機関紙	新聞	1	
Y	13		時報　第三十八号	昭和16	4	25	福岡県総務部時局課編集、福岡県発行		8頁(毎月25日発行、第三種郵便)	新聞	1	
Y	14		選挙資格資料申告書	昭和10年か					「粟屋」の押印(朱)、提出期限9月16日とあり、未記入	一紙	3	
Y	15		〔要求状〕	昭和19	4	1	古賀恵啓	安高団兵衛	長野政義(神武天皇社奉賛会理事長)氏を役員一同不敬罪として告発することに協力を求める	書綴	1	
Y	16		芦屋町常会ノ規約　冠婚葬祭改善実行事項	昭和16	4	10			結婚・出産・入退営・葬祭の改善事項、印刷物	一紙	5	
Y	17	1	徴兵適齢届提出方ノ件	昭和17	10	23	福岡県遠賀郡芦屋町長 長野政八	安高福蔵	安高正義の適齢届を11月10日まで提出のこと	一紙	3	
Y	17	2	徴兵適齢者心得概要	昭和17	10		芦屋町役場		印刷物	一紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
Y	17	3	〔徴兵適齢届書式見本〕						印刷物	一紙	1	
Y	18		〔写真〕						安高団兵衛写真1葉、8×6楕円銅版写真原版1枚、『私の日常信條とし実行しつゝある事の一部』の口絵写真注文書1枚		3	
Y	19	1	契約書	昭和41	2	22	買受人 井上芳枝・中条茂実、仲介人 安高定十、証人 安高団兵衛		封筒あり「安高定十氏土地の件」Y19-1～3一括、故小野成一所有地の売買につき	一紙	1	
Y	19	2	契約書	昭和41	3	16	倉迫孝義・江島信幸・安高一雄・安高団兵衛		故小野成一所有地の贈与につき	一紙	1	
Y	19	3	理由書	昭和41	3	16	和解者 池田寛兵衛・倉迫孝義・江島信幸・安高一雄、証人 安高団兵衛		故小野成一所有地の贈与につき	一紙	1	
Y	20	1	弔詞	昭和14	7	18	大日本国防婦人会関門北九州本部長		日中戦争の犠牲者3人の芦屋町葬に際して、封筒あり「弔辞」	一紙	1	
Y	20	2	〔弔辞写し〕	昭和14	7	18			同上、福岡県知事、折尾土木管区事務所所長、小倉連隊区司令官の弔辞	罫紙	2	
Y	20	3	〔祝辞写し〕	昭和12	5	14	芦屋町長　小田利三郎		須賀神社神殿竣工式	罫紙	1	
Y	21		生徒募集〔ちらし〕				折尾高等簿記学校		生徒募集のちらし、年月日不明、印刷物	一紙	1	
Y	22		地林永代売渡証	明治15午	3	15	売渡主 矢田仁助、弁償人 本田久吉	大屋又作	奥書朱書きにて「前記地所売渡聞届候事 戸長欠員ニ付用掛 青木辰巳」	罫紙	1	
Y	23		国民体力検査施行通知書	昭和15	12	5	芦屋町長 小田利三郎	安高団兵衛	被管理者安高正義の体力検査を保護者安高団兵衛に通知、ガリ版刷り	一紙	1	
Y	24		粟屋排水路竣工記念碑建設見取図	昭和42カ			安高団兵衛		記念碑、表裏の碑文、建設場所をペン書きで記す	一紙	1	
Y	25		神武天皇社奉賛会解散通知（報告）	昭和39	8	8	元神武天皇社奉賛会役員一同	各役員各位	草稿カ	罫紙	1	
Y	26	1	借用証書	昭和24	7	9	安高一雄	安高団兵衛	10万円、利子月に5000円、抵当として新築の家	一紙	1	
Y	26	2	借用証書	昭和24	7	14	安高一雄	安高団兵衛	10万円、利子月に5000円	一紙	1	
Y	27	1	昭和34年生命保険料払込表	昭和34					東邦生命への払込証2枚をゼムピンで綴る	綴	1	封筒（写真プリント入）あり「昭和三十四年所得税調査資料入」Y27-1,2を一括 ゼムピンをはずしこよりに付け替え
Y	27	2	昭和34年医療費	昭和34					病院の領収書3枚、番犬の首輪のレシート1枚をゼムピンで綴る	綴	1	ゼムピンをはずしこよりに付け替え
Y	28		〔名刺〕						遠賀地方事務所経済課長 石松康夫、福岡県巡査 奥井恒之・貞島俊夫、鮮魚仲買 加藤健次郎、福岡県漬物商工業協同組合 天本六蔵、日豊青果（株）渡辺槌	名刺	6	
Y	29	1～131	〔通帳類〕									預金通帳、貯金通帳、保険料領収帳ほか、安高団兵衛はじめ各家族名義、紐で一括
Y	29	1	郵便貯金通帳	昭和16	6	2	福岡貯金支局	安高団兵衛（遠賀村納税組合 粟屋組合代表者）	自由貯金、昭和31年6月14日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳付箋紙あり
Y	29	2	郵便貯金通帳	昭和18	8	13	福岡貯金支局	安高団兵衛（粟屋共同出荷組合代表）	自由貯金、昭和22年5月9日まで	通帳	1	
Y	29	3	郵便貯金通帳	昭和20	12	26	福岡貯金支局	安高団兵衛（粟屋出荷組合 運用資金管理者）	自由貯金、昭和26年12月18日まで	通帳	1	
Y	29	4	郵便貯金通帳	昭和27	1	28	福岡貯金支局	安高団兵衛（粟屋出荷組合 運用資金管理者）	利貯蓄□□、昭和27年5月14日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳付箋紙あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
Y	29	5	郵便貯金通帳	昭和16	9	30	福岡貯金支局	安高団兵衛	自由貯金、粟屋公会堂建設費貯金帳、昭和31年6月14日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳付箋紙あり
Y	29	6	郵便貯金通帳	〔大正〕15	5	28	福岡貯金支局	安高団兵衛	家計貯金・自由貯金、昭和23年4月17日まで	通帳	1	
Y	29	7	郵便貯金通帳	昭和23	4	21	福岡貯金支局	安高団兵衛	自由貯金、昭和31年6月14日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳付箋紙あり
Y	29	8	郵便貯金通帳	昭和3	8	2	福岡貯金支局	安高団兵衛	証券償還・自由貯金、昭和29年9月2日まで	通帳	1	
Y	29	9	郵便貯金通帳	昭和7	10	24	福岡貯金支局	安高団兵衛	禁煙節酒貯金、昭和19年6月27日	通帳	1	芦屋郵便局通帳付箋紙あり
Y	29	10	郵便貯金通帳	昭和19	□	11	福岡貯金支局	安高団兵衛	禁煙節酒貯金・自由貯金、昭和29年9月2日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳付箋紙あり
Y	29	11	郵便貯金通帳	昭和11	12	11	福岡貯金支局	安高団兵衛	肥採貯金、昭和29年8月30日まで	通帳	1	
Y	29	12	郵便貯金通帳	昭和15	9	18	福岡貯金支局	安高団兵衛	御成婚記念貯金、昭和31年6月14日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳付箋紙あり
Y	29	13	郵便貯金通帳	昭和15	10	1	福岡貯金支局	安高団兵衛	少年時代貯金・自由貯金、昭和29年9月2日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳付箋紙あり
Y	29	14	郵便貯金通帳	昭和15	10	30	福岡貯金支局	安高団兵衛	節約貯金・自由貯金、昭和29年8月30日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳付箋紙あり
Y	29	15	郵便貯金通帳	昭和16	6	25	福岡貯金支局	安高団兵衛	理髪貯金・自由貯金、昭和23年9日2日まで	通帳	1	
Y	29	16	郵便貯金通帳	昭和26	7	9	福岡貯金支局	安高団兵衛	理髪貯金、昭和31年6月14日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳付箋紙あり
Y	29	17	郵便貯金通帳	昭和17	6	3	福岡貯金支局	安高団兵衛	昭和大典記念貯金・自由貯金、昭和31年6月14日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳付箋紙あり
Y	29	18	郵便貯金通帳	昭和18	4	22	福岡貯金支局	安高団兵衛	被贈謝礼貯金、昭和29年9月2日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳付箋紙あり
Y	29	19	郵便貯金通帳	昭和18	9	1□	福岡貯金支局	安高団兵衛	戸主会貯金　、昭和31年6月14日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳付箋紙あり
Y	29	20	郵便貯金通帳	昭和19	7	26	福岡貯金支局	安高団兵衛	労収貯金・自由貯金、昭和29年9月2日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳付箋紙あり
Y	29	21	郵便貯金通帳	昭和22	10	18	福岡貯金支局	安高団兵衛	勤倹貯金・自由貯金、昭和27年10月2日まで	通帳	1	
Y	29	22	郵便貯金通帳	昭和25	10	14	福岡貯金支局	安高団兵衛	昭和30年3月4日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳付箋紙あり
Y	29	23	郵便貯金通帳	昭和30	4	21	福岡地方貯金局	安高団兵衛	二男用、昭和40年4月30日まで	通帳	1	
Y	29	24	郵便貯金通帳	昭和9	2	19	福岡貯金支局	安高リキノ	愛国貯金・自由貯金、昭和22年9月20日まで	通帳	1	
Y	29	25	郵便貯金通帳	昭和22	9	25	福岡貯金支局	安高リキノ	自由貯金、昭和31年6月14日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳付箋紙あり
Y	29	26	郵便貯金通帳	昭和15	9	24	福岡貯金支局	安高リキノ	自由貯金、昭和22年9月20日まで	通帳	1	
Y	29	27	郵便貯金通帳	昭和22	9	25	福岡貯金支局	安高リキノ	自由貯金、昭和31年6月14日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳付箋紙あり
Y	29	28	郵便貯金通帳	昭和17	6	3	福岡貯金支局	安高リキノ	禁煙貯金・自由貯金、昭和31年6月14日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳付箋紙あり
Y	29	29	郵便貯金通帳	昭和17	9	15	福岡貯金支局	安高リキノ	日□貯金・自由貯金、昭和23年9月2日まで	通帳	1	
Y	29	30	郵便貯金通帳	昭和23	9	8	福岡貯金支局	安高リキノ	昭和31年6月14日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳付箋紙あり
Y	29	31	郵便貯金通帳	昭和23	10	9	福岡貯金支局	安高リキノ	禁煙節約貯金、昭和30年5月13日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳付箋紙あり
Y	29	32	郵便貯金通帳	昭和26	1	8	福岡貯金支局	安高リキノ	昭和30年3月4日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳付箋紙あり
Y	29	33	郵便貯金通帳	昭和9	10	23	福岡貯金支局	安高藤吉	出生貯金・自由貯金、昭和31年6月14日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳附箋紙あり

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
Y	29	34	郵便貯金通帳	昭和11	4	13	福岡貯金支局	安高藤吉	節約貯金・自由貯金、昭和27年1月5日まで	通帳	1	芦屋郵便局貯金通帳用附箋あり
Y	29	35	郵便貯金通帳	昭和27	2	4	福岡貯金支局	安高藤吉	節約貯金、昭和31年6月14日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳附箋紙あり
Y	29	36	郵便貯金通帳	昭和13	5	9	福岡貯金支局	安高藤吉	出荷貯金・自由貯金、昭和31年6月14日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳附箋紙あり
Y	29	37	郵便貯金通帳	昭和14	6	14	福岡貯金支局	安高藤吉	愛国貯金、昭和17年1月22日まで	通帳	1	
Y	29	38	郵便貯金通帳	昭和17	1	27	福岡貯金支局	安高藤吉	青年愛国貯金、昭和31年6月14日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳付箋紙あり
Y	29	39	郵便貯金通帳	昭和16	1	15	福岡貯金支局	安高藤吉	実習地収入貯金・自由貯金、昭和26年6月16日まで	通帳	1	
Y	29	40	郵便貯金通帳	昭和26	6	21	福岡貯金支局	安高藤吉	実習地収入貯金、昭和31年6月14日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳付箋紙あり
Y	29	41	郵便貯金通帳	昭和9	11	19	福岡貯金支局	安高正義	出生貯金・自由貯金、昭和31年6月14日まで	通帳	1	
Y	29	42	郵便貯金通帳	昭和12	5	5	福岡貯金支局	安高正義	出荷貯金・自由貯金、昭和31年6月14日まで	通帳	1	
Y	29	43	郵便貯金通帳	昭和14	6	14	福岡貯金支局	安高正義	昭和17年1月22日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳附箋紙あり、愛国貯金のシール貼付
Y	29	44	郵便貯金通帳	昭和17	2	25	福岡貯金支局	安高正義	青年愛国貯金・自由貯金、昭和31年6月14日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳附箋紙あり
Y	29	45	郵便貯金通帳	昭和15	11	26	福岡貯金支局	安高正義	実習地収入貯金、証券保管、昭和21年5月16日まで	通帳	1	
Y	29	46	郵便貯金通帳	昭和21	5	□	福岡貯金支局	安高正義	実習地収入貯金・自由貯金、昭和31年6月14日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳附箋紙あり
Y	29	47	郵便貯金通帳	昭和18	12	15	福岡貯金支局	安高正義	現役兵時代貯金・自由貯金、昭和31年6月14日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳附箋紙あり
Y	29	48	郵便貯金通帳	昭和9	12	18	福岡貯金支局	安高隆盛	出荷貯金、昭和15年4月5日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳附箋紙あり
Y	29	49	郵便貯金通帳	昭和15	4	10	福岡貯金支局	安高隆盛	出生貯金・自由貯金、昭和31年6月14日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳附箋紙あり
Y	29	50	郵便貯金通帳	昭和16	6	21	福岡貯金支局	安高隆盛	実習地収入貯金・自由貯金、昭和31年3月31日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳附箋紙あり
Y	29	51	郵便貯金通帳	昭和16	7	15	福岡貯金支局	安高隆盛	昭和18年12月18日まで	通帳	1	
Y	29	52	郵便貯金通帳	昭和18	12	22	福岡貯金支局	安高隆盛	自由貯金、昭和31年6月14日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳附箋紙あり
Y	29	53	郵便貯金通帳	昭和17	1	7	福岡貯金支局	安高隆盛	俸給貯金・出荷貯金・自由貯金、昭和28年3月25日まで	通帳	1	
Y	29	54	郵便貯金通帳	昭和12	4	10	福岡貯金支局	安高保正	出生貯金、昭和17年7月29日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳附箋紙はずれ
Y	29	55	郵便貯金通帳	昭和17	8	11	福岡貯金支局	安高保正	出生貯金（第二冊目）、昭和24年4月11日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳附箋紙あり
Y	29	56	郵便貯金通帳	昭和24	4	19	福岡貯金支局	安高保正	出生貯金、昭和28年7月24日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳附箋紙あり
Y	29	57	郵便貯金通帳	昭和28	7	28	福岡地方貯金局	安高保正	出生貯金、昭和37年8月11日まで	通帳	1	
Y	29	58	郵便貯金通帳	昭和15	9	18	福岡貯金支局	安高誠	出生貯金、昭和19年7月23日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳附箋紙あり
Y	29	59	郵便貯金通帳	昭和19	7	26	福岡貯金支局	安高誠	出生貯金（第二冊目）・自由貯金、昭和23年9月2日まで	通帳	1	
Y	29	60	郵便貯金通帳	昭和23	9	8	福岡貯金支局	安高誠	出生貯金、昭和27年1月30日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳附箋紙あり
Y	29	61	郵便貯金通帳	昭和27	2	4	福岡地方貯金局	安高誠	出生貯金、昭和31年3月31日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳附箋紙あり
Y	29	62	郵便貯金通帳	昭和16	5	14	福岡貯金支局	安高福蔵	昭和29年4月7日まで	通帳	1	紙2枚同折

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
Y	29	63	郵便貯金通帳	昭和11	11	15	福岡貯金支局	安高シゲ	昭和20年3月13日まで	通帳	1	
Y	29	64	郵便貯金通帳	昭和20	3	17	福岡貯金支局	安高シゲ	自由貯金、昭和31年6月14日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳附箋紙あり
Y	29	65	郵便貯金通帳	昭和16	6	30	福岡貯金支局	安高シゲ	自由貯金、昭和31年6月14日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳附箋紙あり
Y	29	66	郵便貯金通帳	昭和18	10	22	福岡貯金支局	安高シゲ	自由貯金、昭和31年6月14日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳附箋紙あり
Y	29	67	郵便貯金通帳	大正7	8	3	福岡為替貯金支局	安高繁次郎	昭和5年6月12日まで	通帳	1	
Y	29	68	据置郵便貯金通帳	大正13	1	26	福岡貯金支局	安高繁次郎	大正15年7月31日まで	通帳	1	
Y	29	69	据置郵便貯金通帳	大正15	7	31	福岡貯金支局	安高繁次郎	大正15年11月26日まで	通帳	1	
Y	29	70	据置郵便貯金通帳	大正15	11	26	福岡貯金支局	安高繁次郎	昭和5年6月12日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳附箋紙あり
Y	29	71	郵便貯金通帳	昭和16	4	12	福岡貯金支局	安高（重岡）千津子	□□□…、自由貯金、昭和31年6月14日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳附箋紙あり
Y	29	72	郵便貯金通帳	昭和17	7	11	福岡貯金支局	安高（重岡）千津子	節約貯金・自由貯金、昭和27年1月5日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳附箋紙あり
Y	29	73	郵便貯金通帳	昭和20	10	23	福岡貯金支局	安高静江	出生貯金・自由貯金、昭和31年6月14日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳附箋紙あり
Y	29	74	郵便貯金通帳	昭和27	5	22	福岡地方貯金局	安高静江	昭和32年12月17日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳附箋紙あり
Y	29	75	郵便貯金通帳	昭和24	8	11	福岡貯金支局	安高吉明	出生貯金、昭和31年6月14日まで	通帳	1	芦屋郵便局通帳附箋紙あり
Y	29	76	郵便貯金通帳	昭和20	12	□	福岡貯金支局	広渡タツノ	住所は安高団兵衛方	通帳	1	芦屋郵便局通帳附箋紙あり、32.10.10付の「貯金通帳・貯金証書受領証」1枚同折
Y	29	77	郵便貯金通帳	昭和36	11	6	福岡地方貯金局	秋山カメノ	昭和38年12月6日まで 住所は安高団兵衛方	通帳	1	通帳返付の付箋あり
Y	29	78	家族貯金通帳	昭和22	3	15	芦屋町農業会	植田サヨノ	自由、昭和23年9月7日まで	通帳	1	
Y	29	79	団体貯金通帳	昭和12	7	26	保証責任芦屋町信用購買利用組合	遠賀納税組合粟屋組合代表安高団兵衛	昭和16年6月2日まで	通帳	1	
Y	29	80	組合員貯金通帳	昭和13	9	1	保証責任芦屋町信用購買利用組合	安高団兵衛	昭和23年12月23日まで	通帳	1	
Y	29	81	販売代金貯金通帳	昭和16	9	16	芦屋町信用購買販売利用組合	安高団兵衛	昭和19年10月2日まで	通帳	1	
Y	29	82	販売代金貯金通帳	昭和19	10	2	芦屋町信用購買販売利用組合改め芦屋町農業会	安高団兵衛	昭和22年2月10日まで	通帳	1	
Y	29	83	組合員貯金通帳	昭和18	10	4	芦屋町信用購買販売利用組合	安高団兵衛	□□、電動力節約貯金、昭和22年6月30日まで	通帳	1	
Y	29	84	組合員貯金通帳	昭和21	5	7	芦屋町農業会	安高団兵衛	自由、昭和22年12月10日まで	通帳	1	
Y	29	85	組合員貯金通帳	昭和22	12	10	芦屋町農業会	安高団兵衛	自由、昭和23年9月7日まで	通帳	1	
Y	29	86	組合員貯金通帳	昭和25	2	7	芦屋町農業協同組合	安高団兵衛	昭和28年10月22日まで	通帳	1	
Y	29	87	家族貯金通帳	昭和22	7	1	芦屋町農業会	安高団兵衛	電節約貯金、自由、昭和23年9月7日まで	通帳	1	
Y	29	88	家族貯金通帳	昭和23	3	31	芦屋町農業会	安高団兵衛	自由、昭和23年9月4日まで	通帳	1	
Y	29	89	家族貯金通帳	昭和23	9	4	芦屋町農業協同組合	安高団兵衛	昭和29年4月13日まで	通帳	1	
Y	29	90	家族貯金通帳	昭和23	9	7	芦屋町農業協同組合	安高団兵衛	禁煙節約貯金、昭和28年2日1日まで	通帳	1	
Y	29	91	家族貯金通帳	昭和13	2	17	保証責任芦屋町信用購買販売利用組合	安高リキノ	愛国貯金、昭和23年10月1日まで	通帳	1	
Y	29	92	家族貯金通帳	昭和13	5	3	保証責任芦屋町信用購買販売利用組合	安高リキノ	節約貯金、昭和23年1月23日まで	通帳	1	
Y	29	93	家族貯金通帳	昭和21	12	6	芦屋町農業会	安高リキノ	自由、昭和23年9月7日まで	通帳	1	
Y	29	94	家族貯金通帳	昭和11	5	25	保証責任芦屋町信用購買利用組合	安高藤吉	研究畑収入貯金、昭和23年1月23日	通帳	1	
Y	29	95	家族貯金通帳	昭和21	12	6	芦屋町農業会	安高藤吉	自由、昭和23年9月7日まで	通帳	1	
Y	29	96	家族貯金通帳	昭和21	12	6	芦屋町農業会	安高正義	自由、昭和23年9月7日まで	通帳	1	
Y	29	97	家族貯金通帳	昭和23	9	7	芦屋町農業協同組合	安高正義	昭和29年4月13日まで	通帳	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
Y	29	98	普通貯金通帳	昭和29	4	13	芦屋町農業協同組合	安高正義	芦屋町農協預金者貯蓄組合員、昭和36年2月17日まで	通帳	1	
Y	29	99	家族貯金通帳	昭和14	5	22	保証責任芦屋信用組合	安高隆盛	昭和23年1月23日まで	通帳	1	
Y	29	100	家族貯金通帳	昭和21	12	6	芦屋町農業会	安高隆盛	自由、昭和23年9月7日まで	通帳	1	
Y	29	101	家族貯金通帳	昭和23	9	7	芦屋町農業協同組合	安高隆盛	昭和29年4月13日まで	通帳	1	
Y	29	102	普通貯金通帳	昭和29	4	13	芦屋町農業協同組合	安高隆盛	芦屋町農協預金者貯蓄組合員、昭和35年2月17日まで	通帳	1	
Y	29	103	入学記念〔貯金通帳〕	昭和18	4	18	保証責任芦屋町信用購買販売利用組合	安高保正	昭和20年7月10日まで	通帳	1	
Y	29	104	記念貯金通帳	昭和20	7	14	芦屋町農業会	安高保正	昭和22年1月1日まで	通帳	1	
Y	29	105	家族貯金通帳	昭和21	12	6	芦屋町農業会	安高保正	自由、昭和23年9月7日まで	通帳	1	
Y	29	106	家族貯金通帳	昭和23	9	7	芦屋町農業協同組合	安高保正	昭和29年4月13日まで	通帳	1	
Y	29	107	普通貯金通帳	昭和29	4	13	芦屋町農業協同組合	安高保正	理髪貯金、芦屋町農協預金者貯蓄組合員、昭和35年2月17日まで	通帳	1	
Y	29	108	家族貯金通帳	昭和21	12	6	芦屋町農業会	安高誠	自由、昭和23年9月7日まで	通帳	1	
Y	29	109	家族貯金通帳	昭和23	9	7	芦屋町農業協同組合	安高誠	昭和29年4月13日まで	通帳	1	
Y	29	110	普通貯金通帳	昭和29	4	13	芦屋町農業協同組合	安高誠	理髪貯金、芦屋町農協預金者貯蓄組合員、昭和36年2月17日まで	通帳	1	
Y	29	111	家族貯金通帳	昭和21	6	6	芦屋町農業会	安高福蔵	昭和23年1月26日まで	通帳	1	
Y	29	112	家族貯金通帳	昭和21	12	6	芦屋町農業会	安高福蔵	自由、昭和23年9月7日まで	通帳	1	
Y	29	113	家族貯金通帳	昭和23	9	7	芦屋町農業協同組合	安高福蔵	昭和29年4月13日まで	通帳	1	
Y	29	114	家族貯金通帳	昭和21	12	6	芦屋町農業会	安高シゲ	自由、昭和23年9月7日まで	通帳	1	
Y	29	115	家族貯金通帳	昭和23	9	7	芦屋町農業協同組合	安高しげ	昭和29年4月13日まで	通帳	1	
Y	29	116	普通貯金通帳	昭和29	4	13	芦屋町農業協同組合	安高しげ	節煙貯金、芦屋町農協預金者貯蓄組合員、昭和36年2月17日まで	通帳	1	
Y	29	117	家族貯金通帳	昭和21	12	6	芦屋町農業会	安高千鶴子	自由、昭和23年9月7日まで	通帳	1	
Y	29	118	家族貯金通帳	昭和21	12	6	芦屋町農業会	安高静江	自由、昭和23年9月7日まで	通帳	1	
Y	29	119	家族貯金通帳	昭和23	9	7	芦屋町農業協同組合	安高静江	昭和23年4月13日まで	通帳	1	
Y	29	120	保険料領収帳	昭和21	12	5	逓信省	安高団兵衛	保険料月額3円50銭、昭和24年1月19日まで	通帳	1	
Y	29	121	保険料領収帳	昭和31	4	29	郵政省	安高団兵衛	保険料月額3円50銭、昭和33年5月26日まで	通帳	1	
Y	29	122	保険料領収帳	昭和33	5	26	郵政省	安高団兵衛	保険料月額13円50銭、昭和34年5月29日まで	通帳	1	
Y	29	123	保険料領収帳	昭和33	5	26	郵政省	安高団兵衛	保険料額月1円、昭和35年6月28日まで	通帳	1	
Y	29	124	保険料領収帳	昭和33	5	26	郵政省	安高団兵衛	保険料月額100円、昭和33年5月26日まで	通帳	1	
Y	29	125	保険料領収帳	昭和31	4	29	郵政省	安高団兵衛	被保険者 安高誠、保険料月額210円、昭和34年5月29日まで	通帳	1	
Y	29	126	保険料領収帳	昭和32	5	28	郵政省	安高藤吉	被保険者　安高誠、保険料月額2円、昭和35年6月28日まで	通帳	1	
Y	29	127-1	〔新出資証券発行のお知らせ〕	昭和31	2	1	芦屋町農業協同組合組合長理事　安高岩雄	組合員安高団兵衛・千鶴子・リキノ・藤吉	農協法改正により出資金一口が100円から1000円に。旧証券との引替えを願う	紙	1	封筒あり「栗屋 安高団兵衛様・千鶴子様・リキノ様・藤吉様」 127-1,2はゼムピンで一括
Y	29	127-2	芦屋町農業協同組合出資				〔安高団兵衛〕		団兵衛・藤吉・リキノ・千鶴子4名の出資金一覧表	封筒	1	封筒の裏を利用
Y	29	128	出資証券	昭和12	2	15	保証責任芦屋町信用購買販売利用組合	安高団兵衛	金20円　一口券	紙	3	
Y	29	129	戦時報国債券 第16回	昭和19	8		株式会社日本勧業銀行		金10円	紙	1	
Y	29	130	〔簡易保険満期のお知らせ〕	昭和35	6	7	芦屋郵便局長		計6件、6月10日満期	紙	1	
Y	29	131	〔通帳預り証〕	昭和39	8	21	芦屋郵便局	木原儀壮	てん8364の2	紙	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
Y	30	1	戸籍謄本〔安高藤平方ノ分〕	明治36	4	15	福岡県遠賀郡芦屋町戸籍吏石川重雄 認証			専用紙	1	閲覧不可 封筒あり「□□謄本　保存　安高団兵衛」Y30-1～7一括
Y	30	2	戸籍謄本〔安高福蔵方ノ分〕	昭和4	12	4	福岡県遠賀郡芦屋町長代理助役 縄田高次郎 認証			専用紙綴	1	閲覧不可
Y	30	3	戸籍謄本(写し)　神谷三吾氏方ノ分	昭和5	8	12	福岡県遠賀郡岡垣村長深田鶴松 認証		「岡垣村大字高倉字百合野千九百八十八番地」	書綴	1	閲覧不可 被害補償に使用か
Y	30	4	戸籍謄本(写し)〔安川亀五郎方ノ分〕	昭和5	9	13			「宗像郡河東村役場ニ於テ戸籍謄本ヲ閲覧シ筆写ス　安高団兵衛」	書綴	1	閲覧不可
Y	30	5	戸籍謄本(写し)〔吉田伊太郎方ノ分〕	昭和5	10	9			「芦屋町役場ニ於テ戸籍謄本ト閲覧シ筆者ス　安高団兵衛」	書綴	1	閲覧不可
Y	30	6	〔住民名簿〕						選挙人名簿より作成か	紙	15	閲覧不可。裏紙を利用
Y	30	7	〔雑〕						備忘録、広渡団平ほかの戸籍のメモあり	紙	3	閲覧不可
Y	31		〔雑1〕						昭和17年11月21日西日本新聞ほか			
Y	32		〔雑2〕						未使用罫紙ほか			
Z	0		重用日記						包紙に「安高団兵衛上京日記6冊在中(重要日記)」とある。実際には7冊。	包紙	1	Zの手帳7冊は安高澄夫氏(安高藤吉氏次男)の家に保管されていたもの T9(上京日誌No.7～10)と関連
Z	1		〔上京日誌〕(第1冊目)				安高団兵衛		昭和27年10月13日～10月22日(第1回)。芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合の代表として被害補償のため上京。 写真撮影記録2枚(昭和27/9/29～10/23)、衆議院議員紹介傍聴券(昭和27/12/9)、特別2等乗車券(東京→折尾、10/20)、メモ紙4枚同折	手帳	1	
Z	2		〔上京日誌〕(第2冊目)				安高団兵衛		昭和27年11月30日～12月11日(第2回)。Z-1と同じ。 一橋寮(神田一橋教育会館横)の電話番号が書かれたメモ用紙1枚同折	手帳	1	
Z	3		〔上京日誌〕(第3冊目)				安高団兵衛		昭和27年12月25日～12月29日(第3回)、28年2月13日～3月1日(第4回)。Z-1と同じ。 箸袋利用のメモ1枚、吉備団子のしおり片1枚、福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合5名記載の名刺6枚同折	手帳	1	
Z	4		〔上京日誌〕(第4冊目)				安高団兵衛		昭和28年5月21日～5月29日(第5回)、28年11月5日～11月13日(第6回)、28年12月10日～12月21日(第7回)。Z-1と同じ。 箸袋8枚、家族の服の寸法書、福岡県芦屋飛行場地区防風林伐採被害者組合5名記載の名刺2枚、明治座入場券半券、乗車券(東京駅発行28/11/13)2枚、帝国劇場入場券半券3枚、箸袋利用の現金出納メモ、映画館の入場券カ、車内補充券3枚、メモ紙3枚、箸袋利用のメモ2枚、割箸のしおり片2枚、駅弁のしおり片カ、甘納豆のしおり片1枚同折	手帳	1	

史料番号			表題	年	月	日	作成者（差出人）	宛名	註記	形態	数量	備考
Z	5		〔上京日誌〕(第5冊目)				安高団兵衛		昭和29年5月13日～5月21日(第8回)、29年6月27日～7月3日(第9回)、29年7月13日～7月27日(第10回)。Z-1と同じ。 メモ紙5枚、乗車券(東京駅発行赤間行29/7/26)、富士五湖・箱根観光の東海自動車のちらし、爪楊枝、箸袋利用のメモ3枚、箸袋1枚、弁当のしおり片1枚同折	手帳	1	28頁～39頁、40頁～43頁ゼムピン留め、腐食につき除去
Z	6		〔上京日誌〕(第6冊目)				安高団兵衛		昭和30年2月2日～2月10日(第11回)、30年2月22日～3月4日(第12回)、Z-1と同じ。30年3月5日～3月22日は、四男保正の大学受験で上京。 キャラメルの箱を利用したメモ2枚、乗車券2枚、急行券1枚(東京→博多)、車内補充券、箸袋利用のメモ7枚、原田春実の名刺(メモあり)、メモ2枚、芦屋西部山鹿商店連盟の福引券2枚(裏にメモもあり)、新宿御苑の入場券半券、箸袋1枚、カメラ雑誌の1頁カ、映画館南明座の団体割引優待券(メモあり)、お菓子のしおりカ、そば屋のしおり(メモあり)、インク吸取紙同折	手帳	1	102～107頁ゼンムピン留め、腐食につき除去
Z	7		〔上京日誌〕(第11冊目)				安高団兵衛		昭和36年1月1日のみ日記、2月27日～3月7日は上京日誌、交付金のお礼回り、京都・山陰を観光して帰県。 メモ紙4枚、インク吸取紙、箸袋1枚同折 以下は最終頁を袋にしたものの中にあり、メモ紙8枚、海苔袋紙、食堂ちんかい食券5枚、箸袋5枚、はとバス観光写真領収書、乗車券3枚、京都名所遊覧バス乗車券、西武鉄道乗車券、車内補充券、泉岳寺・三十三間堂・清水寺・広隆寺・金閣寺・銀閣寺入場券、京都名所遊覧ご乗車記念しおり、電報(メモあり)、出雲大社名物福飴のしおり片、鳥羽ホテルちんかいの名刺、三菱シャープナーの保証書、領収書3枚	手帳	1	54～80頁ゼムピン留め、ほか2本、腐食につき除去